トラクター 6090M、6100M、6110M、6120M (WB2400) (MY20 ~)

(シリアル番号 4 気筒エンジン 4045U-)

JOHN DEERE

取扱説明書

トラクター 6090M、6100M、6110M、6120M (WB2400) (MY20 ~)

OMAL229654 J5 版 (JAPANESE)

John Deere GmbH & Co. KG
John Deere Werk Mannheim
欧州版/輸出版
PRINTED IN U.S.A.

概要

序文

このマニュアルをよく読んで、機械を正しく運転、整備する方法を習得してください。これを守らないと、けがをしたり、装置が損傷したりするおそれがあります。このマニュアルと機械上の安全標示ラベルは、他の言語でも入手可能です。注文については、www.techpubs.deere.com (Ag&Turf/JDPS)、www.johndeeretechinfo.com (C&F) にアクセスするか、John Deere 販売店にお問い合わせください。

このマニュアルは機械の常備部品と見なし、機械を売却する場合は一緒に引き渡してください。

本取扱説明書では、メートル法、および対応する米国慣用単位 (ヤード ポンド法) の両方で測定値を記載しています。正しい交換部品と留め具のみを使用してください。メートル単位またはインチ単位の留め具には、専用のメートル単位またはインチ単位のレンチが必要になることがあります。

右側か左側かは、前進方向に向かった状態で決まります。

製品識別番号 (PIN) を「仕様」のセクションまたは「機械番号」のセクションに記入してください。すべての数字を正確に記入しておくと、盗難時に機械を追跡するために役立ちます。PIN 情報は部品を注文する際に使用します。識別番号は機械とは別に安全な場所に保管してください。

保証については、このマニュアルで説明されているように装置の操作とメンテナンスを実行しているお客様に対して、John Deere サポートプログラムの一部として提供されます。保証に関しては、お客様が購入時に受け取った保証証明書または納品書に説明されています。

この保証は、保証期間内に欠陥が確認された John Deere 製品について John Deere 社が支援することを保証しています。状況によっては、John Deere は、製品が保証期間を過ぎていても頻繁にお客様に無料で現場改善を提供しています。装置が間違って使用された場合、または工場出荷時の本来の仕様を超えて性能を変更するために改造された場合、この保証は無効となり、現場改善も拒否されます。燃料供給量を仕様以上に設定した場合、または機械が過剰に出力を発生するように設定した場合、このような措置が講じられます。

この機械の元々の所有者でないお客様は、このユニットのシリアル番号を John Deere™ 販売店に伝えてください。これにより、John Deere は製品の問題や改良についてお客様に迅速に通知できます。

DX,IFC1-40-03APR09

必要な排出ガス関連情報

整備会社

修理工場または所有者の選任したスタッフは、純正部品または同等品を使用して、排出ガス制御装置とシステムのメンテナンス、交換、修理を行うことができます。ただし、John Deere によって支払われる保証、リコール、その他のすべての整備は、認定 John Deere サービスセンターで行う必要があります。

DX,EMISSIONS,REQINFO-40-08DEC23

排ガス性能と不正改造

操作とメンテナンス

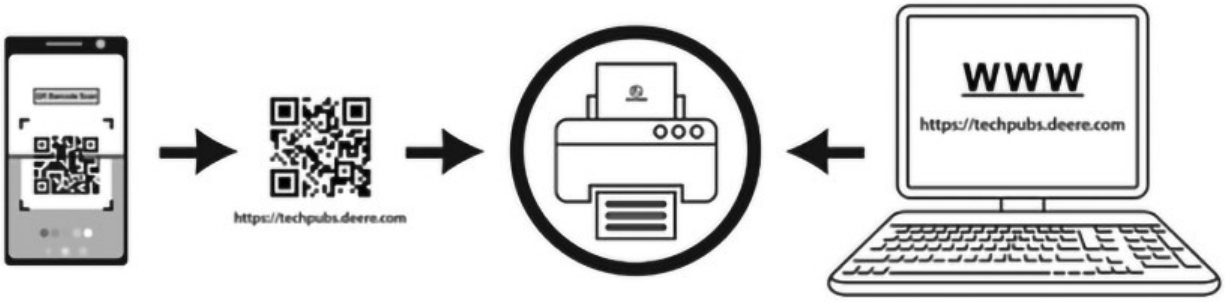
排ガス制御システムを含め、エンジンはこのマニュアルに記載の手順に従って操作、使用、およびメンテナンスすることによりエンジンのカテゴリ / 証明書に適用可能な要件の範囲内でエンジン排ガス性能を維持する必要があります。

不正改造

エンジン排ガス制御システムの意図的な改造や誤用は、特に排ガス再循環装置 (EGR) や DEF 供給システムの無効化または維持の不履行により発生します。エンジン排ガス制御システムの不正改造を行うと、欧州連合 (EU) の型式認証および適用可能な排ガス関連保証は無効になります。

DX,EMISSIONS,PERFORM-40-12JAN18

ダウンロード手順



Instructions, manuals, and other documents may be downloaded at www.techpubs.deere.com. Scanning the QR code on a mobile device will route to the site automatically.
Les instructions, les manuels et autres documents peuvent être téléchargés à cette adresse: www.techpubs.deere.com. Scanner le QR code via un appareil mobile mène automatiquement au site.
Istruzioni, manuali e altri documenti possono essere scaricati su www.techpubs.deere.com. La scansione del codice QR su un dispositivo portatile indirizza automaticamente al sito.
Anleitungen, Handbücher und andere Dokumente können unter www.techpubs.deere.com heruntergeladen werden. Durch Scannen des QR-Codes mit einem Mobilgerät wird man automatisch zur Webseite weitergeleitet.
Las instrucciones, los manuales y otros documentos se pueden descargar en www.techpubs.deere.com. Al escanear el código QR en un dispositivo móvil, se abrirá automáticamente el sitio web.
Instruções, manuais e outros documentos podem ser baixados em www.techpubs.deere.com. A leitura do código QR em um dispositivo móvel levará você automaticamente para o site.
Инструкции, руководства и другие документы можно загрузить на странице www.techpubs.deere.com. Сканирование QR-кода на мобильном устройстве будет автоматически отправлять на сайт.

目次

ページ

用語集
用語集 00-1
商標 00-2

安全
安全情報の理解 05-1
シグナルワードについて 05-1
安全上の注意事項の順守 05-1
緊急事態に対する準備 05-1
保護服の着用 05-2
騒音対策 05-2
燃料の安全な取り扱い：火災防止 05-2
エンジン始動液の安全な取り扱い 05-2
火災予防 05-3
火災が発生した場合 05-3
燃料再補充時の静電気発生リスクの防止 05-4
ROPS の適切な取り付けの維持 05-4
折りたたみ式 ROPS の使用とシートベルトの適切な着用 05-4
回転しているドライブラインへの接近禁止 05-5
ステップと手掛りの正しい使用 05-5
ISOBUS コントローラのオペレータマニュアルを読む 05-6
シートベルトの適切な着用 05-6
トラクターの安全な運転 05-6
後退時の事故の回避 05-7
林業での操作での限定使用 05-7
ローダートラクターの安全な運転 05-8
同乗禁止 05-8
教習シート 05-8
安全ライトと安全装置の使用 05-9
安全速度での牽引装置の輸送 05-9
傾斜地、不均一な地形、および荒れた地面では十分注意してください。 05-10
ぬかるみからの機械の脱出 05-10
農薬には触らない 05-11
農薬の安全な取り扱い 05-11
バッテリの安全な取り扱い 05-12
加圧流体ライン近くでの加熱の回避 05-12
溶接または加熱作業前の塗料の除去 05-13
電子部品とブラケットの安全な取り扱い 05-13
安全メンテナンスの実行 05-14
高温排気の回避 05-14
エグゾーストフィルタの安全なクリーニング 05-14
作業場所の換気 05-15
機械の適切な支持 05-15
機械の暴走防止 05-16
機械の安全な駐車 05-16
トラクターの安全な輸送 05-16
冷却システムの安全な整備 05-16
アキュムレータシステムの安全な整備 05-17

ページ

タイヤの安全な整備 05-17
前輪駆動トラクターの安全な整備 05-17
ホイール取り付けボルト / ナットの締め付け 05-18
高圧流体の回避 05-18
高圧燃料システムの開放禁止 05-18
アタッチメントの安全な保管 05-18
廃棄 — フルードや部品の適切なリサイクルと廃棄 05-19

安全標識
絵入りの安全標識 05A-1
取扱説明書 05A-1
シートベルトの適切な着用 05A-1
ピックアップヒッチ 05A-1
フロントヒッチの圧力アキュムレータ (トリプルリンクサスペンションなしのトラクター) 05A-2
フロントアクスルサスペンションの圧力アキュムレータ 05A-2
ブレーキシステムの圧力アキュムレータ 05A-2
同乗禁止 (中国向けのみ) 05A-3
PTO およびインプルメントの回転部品 (中国のみ) 05A-3
ヒッチリモートコントロール (中国向けのみ) 05A-3
エンジン冷却システム (中国のみ) 05A-4
燃料タンク (中国向けのみ) 05A-4
..... 05A-5

車両の概要
識別図 10-1
識別図 10-2

取扱説明書 - 一般情報
一般情報とマニュアルの範囲 10A-1
本取扱説明書の使用方法 10A-1
作業機メーカーの取扱説明書の順守 10A-1

エンジンの運転
EU 認可の非常時使用 — SCR ディレートオーバーライド (ディレート無効化) オプション 20-1
重要なエンジン情報 20-1
ターボチャージャ付きエンジン 20-1
エンジンの保護 20-1
機械停止必要警告 20-2
エンジンメニュー 20-3
エンジン表示灯とディスプレイの点検 20-4
Intelligent Power Management (出力増大) 20-5
エンジンの始動 20-5
補助バッテリーによるエンジンの始動 20-6

次のページへ

本文書は翻訳版です。 このマニュアルに掲載の全ての情報、画像、仕様は、発行時の情報に基づいています。 予告なしに変更されることがあります。

COPYRIGHT © 2025
John Deere GmbH & Co. KG Mannheim Regional Center
Zentralfunktionen
All rights reserved.
Previous Editions
Copyright © J4

ページ

エンジンの停止 20-7
バッテリー遮断システム (装備されている場合) 20-7
PowrQuad™/AutoQuad™ PLUS を装備したトラクターの駐車 20-8
CommandQuad™ PLUS を装備したトラクターの駐車 20-8
AutoPowr™/IVT™ 装備のトラクターの駐車 20-8
牽引による始動 20-9
燃料タンクへの給油 20-9
DEF タンクの補充 20-10

寒冷時の操作

寒冷時始動補助装置 20A-1
クーラントヒーター 20A-1
クーラントヒーターを 230 V 電力網に接続する 20A-1
漏電回路遮断器 (GFCI)、120 V 20A-2

後処理装置

排ガスフィルタクリーニング、一般情報 20B-1
機械停止必要警告 20B-1
後処理装置表示灯の概要 20B-2
エンジンメニューへのアクセス 20B-3
排ガスフィルタクリーニングの概要 20B-3
DEF (排ガス処理用尿素水) レベルゲージ 20B-5
選択接触還元 (SCR) システムの概要 20B-7

オペレータコントロール

PowrQuad™ PLUS/AutoQuad™ PLUS トランスミッション搭載車両のコントロール 30-1
CommandARM™ なし CommandQuad™ PLUS トランスミッション搭載車両のコントロール 30-2
CommandARM™ 付き CommandQuad™ PLUS トランスミッション搭載車両のコントロール 30-3
CommandARM™ なし AutoPowr™ トランスミッション搭載車両のコントロール 30-4
CommandARM™ 付き AutoPowr™ トランスミッション搭載車両のコントロール 30-5
サイドコンソールのコントロール、概要 30-6
キースイッチ 30-7
カムホームモード 30-7
イモビライザ 30-8
非常ブレーキシステム 30-8
クリーパー - コントロール 30-8
PTO - コントロール 30-9
エコノミーフロントヒッチ - コントロール 30-9
リアヒッチ - コントロール 30-10
機械式選択制御弁 (SCV) - コントロール 30-11
電子制御選択制御弁 - コントロール 30-12
機械式ジョイスティック (工場取り付け) 30-12
機械式ジョイスティック (後付け)、6M シリーズトラクター用 R シリーズローダー (MY20 ~) 30-13
電気式ジョイスティック (バージョン 1) 30-13
電気式ジョイスティック (バージョン 2) 30-14
前輪駆動 - コントロール 30-15
デフロック - コントロール 30-15
iTEC™ Basic — Intelligent Total Equipment Control - コントロール 30-15
AutoTrac™ - コントロール 30-16
ISOBUS ボタン (ISB) 30-16
ヒーター、ベンチレーション、エアコンシステム - コントロール 30-16
ラジオ A — 追加の電話コントロール 30-17

コーナーポストディスプレイ

コーナーポストディスプレイ 30A-1
警告インジケータ 30A-2
デジタルインジケーター – 回転数カウンター、移動速度、トランスミッション、および設定速度 30A-3
ゲージ - クーラント温度、DEF レベル、燃料レベル 30A-3
すべてのメニューの概要 30A-4
基本的なメニューナビゲーション 30A-5
情報ディスプレイ、実行 30A-5
ディスプレイの設定、メニュー 30A-5
ディスプレイの設定、輝度 30A-6
ディスプレイの設定、ディスプレイのモード (昼/夜) 30A-6
ディスプレイの設定、言語 30A-7
ディスプレイの設定、単位 30A-7
ディスプレイの設定、数値形式 30A-8
ディスプレイの設定、コーナーポストディスプレイの情報 30A-9
作業モニター、メニュー 30A-9
作業モニター、カウンター A、B 30A-9
作業モニター、読み値 30A-10
作業モニター、作業機幅 30A-11
作業モニター、記録のトリガー 30A-12
レイアウトマネージャー、設定 30A-13
コントロールのセットアップ 30A-15

CommandARM™ のコントロール

CommandARM™、コントロール (CommandQuad™ Plus 装備) 30C-1
CommandARM™ コントロール (AutoPowr™ / IVT™ 装備) 30C-2

ラジオ A – 操作

ラジオ A - コントロールと計器 30E-1
ラジオ A — 追加の電話コントロール 30E-2
ラジオ A - Bluetooth® アプリケーション用マイク 30E-3
ラジオ A - メモリストレージとマルチメディア機器の接続 30E-3
FM、MW、LW、DAB/DAB+ 対応ラジオアンテナ (欧州のみ) 30E-3

ラジオ B - 操作

ラジオ B - 識別図と機能 30F-1
ラジオ B - コントロールと計器 30F-2
ラジオ B - メモリストレージとマルチメディア機器の接続 30F-3
FM、MW、LW、DAB/DAB+ 対応ラジオアンテナ (欧州のみ) 30F-3

ガイダンス

AutoTrac™ ガイダンスシステム (装備されている場合) 40-1
AutoTrac™ ガイダンスと GreenStar™ ディスプレイ 40-1
AutoTrac™ Basic ガイダンスとコーナーポストディスプレイ 40-2

ページ

ガイダンスシステムの安全な操作 40-3
AutoTrac™ Basic の有効化 40-3
AutoTrac™ Basic の無効化 40-3
AutoTrac™ 復帰スイッチ 40-4
AutoTrac™ Basic の起動 40-4
AutoTrac™ Basic の解除 40-4
次の走行パスで AutoTrac™ Basic を再起動 40-5
AutoTrac™ Basic メニュー 40-5
AutoTrac™ Basic マップ 40-6
AutoTrac™ ステータス円グラフ 40-7
AutoTrac™ Basic の軌道セットアップ 40-8
AutoTrac™ Basic トレッド幅 40-10
AutoTrac™ Basic トラック変更サイズ 40-11
AutoTrac™ Basic 車両 40-11
AutoTrac™ Basic チューニング 40-12
StarFire™ 補正モード 40-13
AutoTrac™ Basic の TCM キャリブレーション 40-14
StarFire™ USB ドライブ 40-16
StarFire™ GPS ステータス 40-17
AutoTrac™ Basic 設定がロックされている 40-18
AutoTrac™ Basic バージョン情報 40-18
GPS レシーバのオフセット値 40-18
Autotrac™ Universal について 40-18

Intelligent Total Equipment Control (iTEC™)
iTEC™ Basic、一般情報 40A-1
基本的なメニューナビゲーション 40A-1
iTEC™ Basic、メニュー 40A-1
iTEC™ Basic、機能へのアクセス 40A-2
iTEC™ Basic の操作 40A-2
iTEC™ Basic、設定 40A-3

ドライブトレイン
駆動システム - 概要 50-1

前輪駆動
前輪駆動、コントロールの要素と表示灯 50A-1
前輪駆動、手動起動 / 解除 50A-1
前輪駆動、自動接続 / 解除 50A-1
フロントサスペンションオプション装備のトラクター 50A-2

デフロック
デフロック、コントロールと表示灯 50B-1
デフロック、手動接続/解除 50B-1
デフロック、自動接続/解除 50B-1

ブレーキ
油圧フットブレーキ 50C-1
非常ブレーキシステム 50C-2
シングルライン油圧トレーラーブレーキ (装備されている場合) 50C-2
デュアルライン油圧トレーラーブレーキ* (装備されている場合) 50C-3
空気トレーラーブレーキ (装備されている場合) 50C-3
トレーラーブレーキテスト 50C-5
PowrQuad™/AutoQuad™ PLUS を装備したトラクターの駐車 50C-5
CommandQuad™ PLUS を装備したトラクターの駐車 50C-6
AutoPowr™/IVT™ 装備のトラクターの駐車 50C-6

ページ

輪止め 50C-6

トランスミッション - 一般情報
燃料消費量の低減 50D-1
正しい移動速度の選択 50D-1
異なるサイズのタイヤに交換する場合の注意事項 50D-2
クリーパートランスミッションの接続 50D-2
移動速度表および SRI 値 50D-2
走行速度 - PowrQuad™ PLUS トランスミッションで 30 km/h (16/16) (SRI 700 および 725 のタイヤ使用時) 50D-3
走行速度 - PowrQuad™ PLUS トランスミッションで 30 km/h (16/16) (SRI 750 および 800 のタイヤ使用時) 50D-3
走行速度 - PowrQuad™ PLUS トランスミッションで 30 km/h (16/16) (SRI 825 のタイヤ使用時) 50D-4
走行速度 - PowrQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (16/16) (SRI 700 および 725 のタイヤ使用時) 50D-5
走行速度 - PowrQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (16/16) (SRI 750 および 800 のタイヤ使用時) 50D-6
走行速度 - PowrQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (16/16) (SRI 825 のタイヤ使用時) 50D-7
走行速度 - 工場出荷時にクリーパートランスミッション装備の PowrQuad™ PLUS および AutoQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 700 および 725 のタイヤ使用時) 50D-8
走行速度 - 工場出荷時にクリーパートランスミッション装備の PowrQuad™ PLUS および AutoQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 750 および 775 のタイヤ使用時) 50D-9
走行速度 - 工場出荷時にクリーパートランスミッション装備の PowrQuad™ PLUS および AutoQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 800 および 825 のタイヤ使用時) 50D-10
走行速度 - 工場出荷時にクリーパートランスミッション非装備の PowrQuad™ PLUS および AutoQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 700、725、750、775 のタイヤ使用時) 50D-11
走行速度 - 工場出荷時にクリーパートランスミッション非装備の PowrQuad™ PLUS および AutoQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 800 および 825 のタイヤ使用時) 50D-13
移動速度 - Eco Shift™ 装備の AutoQuad™ PLUS トランスミッション 40 km/h (24/24) (SRI 700、725 のタイヤ装着時) 50D-14
移動速度 - Eco Shift™ 装備の AutoQuad™ PLUS トランスミッション 40 km/h (24/24) (SRI 750、775 のタイヤ装着時) 50D-15
移動速度 - Eco Shift™ 装備の AutoQuad™ PLUS トランスミッション 40 km/h (24/24) (SRI 800、825 のタイヤ装着時) 50D-16
走行速度 - CommandQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 700、725、750、775 タイヤ使用時) 50D-17

ページ

走行速度 - CommandQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 800 および 825 タイヤ使用時) 50D-19
走行速度 - Eco Shift™ 装備の CommandQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 700、725、750、775 のタイヤ使用時) 50D-20
走行速度 - Eco Shift™ 装備の CommandQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 800 および 825 のタイヤ使用時) 50D-21

PowrQuad™ PLUS トランスミッション

PowrQuad™ PLUS トランスミッション - コントロール 50F-1
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - 駐車ブレーキロック 50F-1
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - リバースドライブレバー 50F-1
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - 副変速レバー 50F-2
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - ギヤシフトボタン 50F-3
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - クラッチペダルとクラッチボタン 50F-4
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - アクセルペダルとアクセルレバー 50F-5
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - エンジン設定回転数 50F-5
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - 寒冷時の操作 50F-6
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - カムホームモード 50F-6
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - トラクターの牽引 50F-6
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - メニュー 50F-7
「トランスミッション」メニューの絵記号 50F-7
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - PowrReverser™ 50F-7
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - 後進/前進比 50F-8
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - バックアップアラーム 50F-8

AutoQuad™ PLUS トランスミッション

AutoQuad™ PLUS トランスミッション — コントロール 50G-1
AutoQuad™ PLUS トランスミッション — 駐車ブレーキロック 50G-1
AutoQuad™ PLUS トランスミッション — リバースドライブレバー 50G-1
AutoQuad™ PLUS トランスミッション — 副変速レバー 50G-2
AutoQuad™ PLUS トランスミッション — ギヤシフトボタン 50G-3
AutoQuad™ PLUS トランスミッション — クラッチペダルとクラッチボタン 50G-4
AutoQuad™ PLUS トランスミッション — 自動ギヤシフト 50G-4
AutoQuad™ PLUS トランスミッション — アクセルペダルとアクセルレバー 50G-5
AutoQuad™ PLUS トランスミッション - エンジン設定回転数 50G-5
AutoQuad™ PLUS トランスミッション — 寒冷時の操作 50G-6
AutoQuad™ PLUS トランスミッション — カムホームモード 50G-6
AutoQuad™ PLUS トランスミッション — トラクターの牽引 50G-6
AutoQuad™ PLUS トランスミッション - メニュー 50G-7
「トランスミッション」メニューの絵記号 50G-7
AutoQuad™ PLUS トランスミッション - トランスミッションモード 50G-7
AutoQuad™ PLUS トランスミッション — PowrReverser™ 50G-8
AutoQuad™ PLUS トランスミッション — 後進/前進比 50G-9
AutoQuad™ PLUS トランスミッション - バックアップアラーム 50G-9

CommandQuad™ PLUS トランスミッション

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - CommandARM™ 非装備のコントロール 50H-1
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - CommandARM™ 装備のコントロール 50H-2
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - 駐車ブレーキロックのコントロールレバー 50H-3
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - リバースドライブレバー 50H-3
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - レンジシフトユニット 50H-4
CommandQuad™ PLUS トランスミッション — シフトレバー 50H-5
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - 最高移動速度の設定 50H-6
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - アクセルペダルとアクセルレバー 50H-6
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - エンジン設定回転数 50H-7
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - 始動ギヤの選択 50H-7
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - ブレーキペダルおよびクラッチペダル (オートクラッチ機能) 50H-8
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - トラクターの操縦時の特殊機能 50H-8
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - 走行特性の調整 50H-9
CommandQuad™ PLUS トランスミッション — 傾斜地の滑りやすい条件でのトラクターの操作 50H-9
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - トラクターの停止と駐車 50H-9
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - カムホームモード 50H-10
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - トラクターの牽引 50H-11
CommandQuad™ PLUS トランスミッション — メニュー 50H-12
「トランスミッション」メニューの絵記号 50H-13
CommandQuad™ PLUS トランスミッション — 始動ギヤ 50H-13
CommandQuad™ PLUS トランスミッション — PowrReverser™ 50H-14

ページ

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - 後進/前進比 50H-15
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - 最低回転数 50H-15
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - 予測負荷 50H-16
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - PTO OFF/ON でのドループ 50H-16
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - オートクラッチ 50H-17
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - バックアップアラーム 50H-18

AutoPowr™/IVT™ トランスミッション
AutoPowr™/IVT™ — リバースドライブレバー 50J-1
AutoPowr™/IVT™ - 速度コントロールレバー 50J-2
AutoPowr™/IVT™ — トラクターの停止と駐車 50J-3
AutoPowr™/IVT™ — アクセルペダルとアクセルレバー 50J-3
AutoPowr™/IVT™ - エンジン設定回転数 50J-4
AutoPowr™/IVT™ - 設定走行速度 50J-5
AutoPowr™/IVT™ - 設定走行速度、ガイドライン 50J-6
AutoPowr™/IVT™ - クラッチペダル 50J-6
AutoPowr™/IVT™ — トラクター操作時の特殊機能 50J-7
AutoPowr™/IVT™ - 下り坂でのトレーラー付きトラクターのブレーキ操作 50J-7
AutoPowr™/IVT™ - 個別のブレーキペダルの使用 50J-8
AutoPowr™/IVT™ — 寒冷時の始動 50J-8
AutoPowr™/IVT™ — カムホームモード 50J-9
AutoPowr™/IVT™ — トラクターの牽引 50J-9
AutoPowr™/IVT™ - メニュー 50J-10
AutoPowr™/IVT™ - トランスミッションメニューの絵記号 50J-10
AutoPowr™/IVT™ - トランスミッションモード 50J-11
AutoPowr™/IVT™ - PowrReverser™ 50J-11
AutoPowr™/IVT™ - 後進/前進速度比 50J-12
AutoPowr™/IVT™ - 最低回転数 50J-12
AutoPowr™/IVT™ - トランスミッション、予測負荷 50J-13
AutoPowr™/IVT™ - PTO ON/OFF でのドループ 50J-14
AutoPowr™/IVT™ - オートクラッチ 50J-14
AutoPowr™/IVT™ - バックアップアラーム 50J-15

PTO シャフト、ヒッチ、トレーラーヒッチ
ヒッチ - 最大吊上げ力 60-1

PTO シャフト - 一般情報
フロント PTO — PTO シールド 60A-1
リア PTO — PTO シールド 60A-1
回転しない PTO ガード ..... -2
操作に関する指示 60A-2
PTO 回転速度 60A-3
PTO オプション 60A-3

フロント PTO
フロント PTO 60B-1
フロント PTO の接続と接続解除 60B-1
フロント PTO - PTO 自動停止機能 60B-3

リア PTO
リア PTO 60C-1
リア PTO の接続と接続解除 60C-1
リア PTO — 標準回転速度の選択 (シフト可能 PTO) 60C-2
リア PTO — リモートコントロールと機能 60C-3
リア PTO - PTO 自動停止機能 (MY25 以降) 60C-5
リア PTO - PTO 自動停止機能 (~ MY25) 60C-7
リア PTO — PTO スタブシャフトの交換 60C-8
リア PTO — 作業機の接続 60C-9

フロントヒッチ
エコノミーフロントヒッチのコントロール 60D-1
エコノミーフロントヒッチ 60D-1
フロントヒッチ — センターリンク 60D-5
フロントヒッチ - センターリンクの位置 60D-5
フロントヒッチ — フック型センターリンク 60D-5

リアヒッチ
リアヒッチ - メニュー 60E-1
リアヒッチ — CommandARM™ なしでの操作 60E-2
リアヒッチ - CommandARM™ による操作 60E-2
リアヒッチ - 深さ制御ストップの設定 60E-3
リアヒッチ - 作業機を連結して負荷がかかった状態での運転 60E-4
リアヒッチ - Hitch Dampening 60E-5
リアヒッチ - 上昇高さ制限 60E-5
リアヒッチ - 下降率の調整 60E-5
リアヒッチ - 上昇率の調整 60E-6
リアヒッチ - ドラフト/深さ制御の調整 60E-6
リアヒッチ - ドラフトコントロールの使用 60E-7
リアヒッチ - フロート位置 60E-8
リアヒッチ - リモコン 60E-8
リアヒッチ - 直接作動 60E-9
3 点ヒッチ 60E-10
平鋼ドラフトリンク 60E-10
テレスコピックけん引リンク 60E-10
クイックカップリング型 (フック型) ドラフトリンク 60E-10
3 点ヒッチ装着式 / 牽引式作業機の取り付け 60E-12
作業機のレベル調整 60E-12
センターリンク 60E-13
センターリンクの位置 60E-13
フック型センターリンク 60E-13
油圧センターリンク (装備されている場合) 60E-14
リフトリンクの調整 60E-15
リフトリンク – さまざまなユースケースに適応 60E-16
スウェイブロック (蜂の巣)、カテゴリ II (装備されている場合) 60E-17
スタビライザバー (装備されている場合) 60E-18
安定化システム (装備されている場合) 60E-18
ドラフトリンク — 展開サイズの調整 60E-18
カテゴリ II/IIIN または III 用のドラフトリンクの調整 (装備されている場合) 60E-19

トレーラーヒッチ
トレーラーヒッチ - 序文 60F-1
CAT II ドローバー 60F-1
ドローバーの適切な使用 60F-1

ページ

ヒッチピンをロックする 60F-1
高さ調整式トレーラーヒッチのロック 60F-3
テレスコピックけん引リンク (ドラフトリンク) 用掛け金ラッチ 60F-3
ヒッチの爪 60F-3
ピトン固定またはボール形トレーラーヒッチ (固定式) (~ MY25) 60F-4
ピトン固定またはボール形トレーラーヒッチ (固定式) (MY25 ~) 60F-5
高さ調整式ボール形ヒッチ (バージョン 1) 60F-8
高さ調整式ボール形ヒッチ (バージョン 2) 60F-9
高さ調整式トレーラーヒッチ 60F-10
トレーラーヒッチのリモートコントロール (装備されている場合) 60F-10
油圧ピックアップヒッチ (機械駆動) 60F-10
油圧ピックアップヒッチ (電動) 60F-11

油圧系統
選択制御弁 (SCV) — 最大許容オイル取り出し量 70-1
選択制御弁 (SCV) - ハイドロスタティック駆動 (PC 油圧システム) におけるオイル取り出し量 70-1
選択制御弁 (SCV) - ハイドロスタティック駆動 (PFC 油圧システム) におけるオイル取り出し量 70-2
大容量油圧シリンダの使用 70-2
予備オイルリザーバー 70-2

油圧接続
選択制御弁 (SCV) の継手 70A-1
SCV への油圧ホースの接続 70A-1
SCV からの油圧ホースの取り外し 70A-2
フロントヒッチでの SCV との油圧ホースの接続または接続の解除 (装備されている場合) 70A-4
作業機および油圧モーターの油圧接続 70A-6
SCV への作業機の接続 70A-7
調整可能パワービヨンドバルブ 70A-8

選択制御弁 (SCV) - コントロール
SCV - コントロールの設定 70B-1
機械式 SCV - コントロール 70B-1
機械式 SCV - コントロールレバー 70B-1
機械式 SCV - 輸送用ロック 70B-3
電子制御 SCV - コントロール 70B-3
電子制御 SCV - コントロールレバー 70B-4
電子制御 SCV - ニュートラル位置 70B-5
電子制御 SCV - 伸長および伸長クリック位置 70B-6
電子制御 SCV - 収縮および収縮クリック位置 70B-6
電子制御 SCV - フロート位置 (戻り止め) 70B-7

選択制御弁 (SCV) - 設定
機械式 SCV - 上昇率 70C-1
機械式 SCV - 機能モードの設定 70C-1
機械式 SCV - シリーズ 450 の圧力設定 70C-1
電子制御 SCV - メニュー 70C-2
電子制御 SCV - SCV 流量とフロー時間の調整 70C-2
電子制御 SCV - ローダーモード 70C-3
電子制御 SCV - ジョイスティックモード 70C-3
電子制御 SCV - 詳細設定 70C-4

ページ

オペレータ着席センサー (北米、オーストラリア、ニュージーランドのみ) 70C-4

フロントローダー
公道でのローダーの運転 70D-1
ローダー 620R/623R 用フロントローダー取り付けフレーム 70D-1
フロントローダー - 油圧クイックリリース (装備されている場合) 70D-2
フロントローダー - エンジン回転数がリフト機能に与える影響 70D-2
機械式ジョイスティック (工場取り付け) – コントロール 70D-2
機械式ジョイスティック (後付け)、6M シリーズトラクター用 R シリーズローダー (MY20 ~) – コントロール 70D-3
電気式ジョイスティック – バージョンの識別 ... 70D-4
電気式ジョイスティック (バージョン 1) - コントロール 70D-4
電気式ジョイスティック (バージョン 1) - レイアウトと機能 70D-5
電気式ジョイスティック (バージョン 1) - ロック機能 (トランスポートロック) 70D-7
電気式ジョイスティック (バージョン 2) - コントロール 70D-7
電気式ジョイスティック (バージョン 2) - ハンドプレゼンス検出システム 70D-8
電気式ジョイスティック (バージョン 2) - ハンドプレゼンス検出システム、エラーメッセージ 70D-9
電気式ジョイスティック (バージョン 2) - レイアウトと機能 70D-10
電気式ジョイスティック (バージョン 2) – 使用可能なプリセット 70D-12
電気式ジョイスティック (バージョン 2) - ロック機能 (トランスポートロック) 70D-13

ホイールとタイヤ
トラクターモデルと対応する車軸 - 概要、6M トラクター、キャブ付き (MY20 ~) 80-1
タイヤとホイール - 序文 80-2
一般的なホイール、タイヤ、トレッドのガイドライン 80-2
前輪またはフェンダーとトラクター部品の接触の防止 80-3
異なるタイヤサイズへの変更 80-4
タイヤの組み合わせの変更 80-5
デュアルホイールの使用 (簡易取り付け) 80-5
タイヤの安全な整備 80-6
ホイールの安全な交換 80-6
ホイールをホイールウエイト付きに交換 80-7
タイヤの組み合わせ - 調整式フロントアクスル、キャブ付き 6M トラクター (MY20 ~) 80-8
タイヤの組み合わせ - 前輪駆動車軸、キャブ付き 6M トラクター (MY20 ~) 80-9
タイヤラベリング - タイヤの耐荷重の確認 80-12
タイヤ荷重指数 80-13
タイヤ圧 80-14
タイヤ空気圧のガイドライン 80-14
道路走行時の非常に高い屈曲 (VF) フロントタイヤの特殊要件 80-15
タイヤ空気圧の選択 80-17

ページ

前輪、タイヤ、トレッド幅 (MC)
タイヤとホイール - 序文 80A-1
調整式フロントアクスル - トーインの点検 80A-1
調整式フロントアクスルタイプ B - トーインの調整 80A-1
調整式フロントアクスルタイプ B - 車軸ボルトとホイールボルトの締め付け 80A-2
調整式フロントアクスル タイプ B - ホイールトレッドの調整 80A-2
調整式フロントアクスルタイプ B - トレッド幅 80A-3
前輪駆動のフロントタイヤ 80A-3
前輪駆動車軸 — トーインの点検と調整 80A-4
前輪駆動車軸 — トーインの点検 (従来の方法) 80A-4
前輪駆動車軸 - レーザーホイール測定工具の使用によるトーインの点検 80A-4
前輪駆動車軸 — トーインの調整 80A-5
2、8、16、32 ポジションリムを使用している前輪のトレッド調整手順 80A-5
前輪のホイールボルトの締め付け - 前輪駆動車軸付き 80A-6
リムアセンブリ構成の図 80A-7
スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) - 2 ポジションリムを使用した前輪のトレッド幅 (MC フレームバージョン) 80A-15
スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) - 16 ポジションリムを使用した前輪のトレッド幅 (MC フレームバージョン) 80A-16
スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) - 32 ポジションリムを使用した前輪のトレッド幅 (MC フレームバージョン) 80A-18

ステアリングストップとフェンダー - 設定
フェンダーの設定 80B-1
ステアリングストップの設定 80B-2

後輪、タイヤ、トレッド幅 (MC)
タイヤとホイール - 序文 80C-1
2、8、16、32 ポジションリムを使用している後輪のトレッド調整手順 (フランジ付き車軸) 80C-1
リアホイールボルトの締め付け - フランジ付き車軸 80C-2
リムアセンブリ構成の図 80C-3
2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン) 80C-11
2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン) 80C-12
2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅、ヘビーデューティタイプ - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン) 80C-13
2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅、ヘビーデューティタイプ - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン) 80C-14
8 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン) 80C-15
16 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン) 80C-15
16 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン) 80C-18
32 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン) 80C-19
32 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン) 80C-20
調整式リアアクスルと組み合わせたスチール製調整式ホイール 80C-24
後輪に関する注意事項 — ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 79 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き 80C-25
後輪ボルトの締め付け — ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 79 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き 80C-26
ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 79 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き — トレッド幅の調整 80C-26
2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 79 mm (MC フレームバージョン) 80C-28
スチール製調整式ホイールを使用した後輪のトレッド幅 - ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 79 mm (MC フレームバージョン) 80C-30
後輪に関する注意事項 - ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 86、92、100 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き 80C-31
後輪ボルトの締め付け — ラックアンドピニオン車軸、ハブ直径 86、92、100 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き 80C-32
ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 86、92、100 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き — 鋳鉄ホイール後輪のトレッド幅の調整 80C-32
ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 86、92、100 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き — スチールホイール後輪のトレッド幅の調整 (調整ピニオン付き) 80C-33
ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 86、92、100 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き — スチールホイール後輪のトレッド幅の調整 (調整ピニオンなし) 80C-34
2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 86 mm (MC フレームバージョン) 80C-35

運転キャビン
農薬には触らない 90-1
車両からの有害殺虫剤の除去 90-1
非常出口 90-2
転倒時保護構造 90-2
落下物保護構造 90-3
シートベルトの着用 90-3
キャブ サスペンション装備のトラクター 90-3

ページ

シートの調整
シートの調整と機能 (6M シリーズ) 90A-1
CommandARM™ — 高さの調整 90A-4
トレーニング用の教習シート 90A-4

ステアリングコラム
ステアリングホイールの調整 90B-1

ミラー
外部ミラー、手動調整可能 90C-1
室内ミラーの調整 90C-1

乗降ステップ
乗降ステップと手すり 90D-1
左側の乗降ステップの取り外しと取り付け 90D-1
右側の乗降ステップの取り外しと取り付け 90D-2

ワイパー/ウォッシャーシステム
ワイパーおよびウォッシャーシステム 90E-1

ヒーター / 換気 / エアコンシステム (HVAC)
ヒーター / 換気 / エアコンシステム (HVAC) 90F-1

ライト
ライトの概要 90G-1
方向指示器とホーン用シフトレバー 90G-3
ライトスイッチ 90G-3
ヘッドライトの選択 90G-4
作業灯の選択 90G-5
ISOBUS 作業機の作業灯 90G-7
ハザードライトの点灯 90G-7
ビーコンライト (オプション) 90G-8
室内灯 90G-8
乗降ステップライト 90G-8
7 ピントレーラーソケット 90G-8

電源コンセントメス端子
GreenStar™ ディスプレイ用メス端子 90H-1
ユニバーサルディスプレイ用イーサネットソケット (装備されている場合) 90H-1
3 端子電源コンセントソケットおよび電源コンセントソケットストリップ (12 V、ECE) 90H-1
12 V 電源コンセントソケット/シガーライター 90H-2
ISO 規格 11786 準拠の信号ソケット 90H-2
キャブの ISOBUS メス端子 90H-3
整備用メス端子 (CAN バス) 90H-3
ラジオ A - メモリストレージとマルチメディア機器の接続 90H-3
ラジオ B - メモリストレージとマルチメディア機器の接続 90H-3
3 端子メス電源コンセント (12 V、ECE)、フロントヒッチ 90H-4
ISOBUS メス端子 (ISB)、リアヒッチ 90H-4
ISOBUS メス端子 (ISB)、フロントヒッチ (一部のモデルには装備されていません) 90H-5
7 ピントレーラーソケット、リアヒッチ 90H-5
7 端子トレーラーソケット、フロントヒッチ 90H-5

付属品
保管トレイ 90I-1

ページ

フロントローダーの油圧クイックリリースと作業灯のコントロール (装備されている場合) 90I-1
バックアップアラームのオンとオフの切り替え (オプション装置) 90I-1
追加モニターの取り付け 90I-2
リアウィンドウとサイドウィンドウを開く 90I-2
リアウィンドウ - ケーブルガイド 90I-2
ルーフハッチ (装備されている場合) 90I-3
引き下げ式サンシェード 90I-3
ロック可能なタンクフィラーキャップ 90I-3

バラスト方法
シングルタイヤ装着のトラクターに対するバラスト情報とガイドライン 100-1
エンジンの馬力に基づくトラクター重量の一般的ガイドライン (UN ECE R120、測定単位に PS を使用) 100-1
ウエイトの選択 100-2
後輪にかかる荷重 100-2
後輪の空転の測定 100-2
タイヤへの水の注入 100-3
タイヤからの抜き取り 100-3
ホイールウエイトの安全な交換 (タイプ A) 100-4
ホイールウエイトの安全な交換 (タイプ B) 100-5
3 点ヒッチのウエイト 100-6
前部ヒッチへのピックアップウエイトの取り付け 100-6
リアヒッチへのピックアップウエイトの取り付け 100-7
基本ウエイトへのピックアップウエイトの取り付け 100-8
フロントウエイトの取り付け 100-9

輸送
トラクターの輸送 110-1
トラクターを連結してトレーラーを輸送する 110-1
荷下ろし後の機械の洗浄 110-3
公道での運転 110-4
負荷、牽引 110-4
ぬかるみからの機械の脱出 110-5
ぬかるみにはまった機械の解放 - 牽引ポイント 110-5
トラクターの牽引 110-6
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - トラクターの牽引 110-6
AutoQuad™ PLUS トランスミッション — トラクターの牽引 110-6
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - トラクターの牽引 110-6
AutoPowr™/IVT™ — トラクターの牽引 110-6
駐車ブレーキロックの手動解除 110-7

ディーゼル燃料
ディーゼル燃料 200A-1
ディーゼル燃料の取り扱いと保管 200A-1
ディーゼル燃料の潤滑性 200A-2
ディーゼル燃料のテスト 200A-2
バイオディーゼル燃料 200A-2
ディーゼルエンジンに対する寒冷気候の影響を最小限に抑える方法 200A-3
ディーゼル燃料の補助添加剤 200A-4

ページ

排ガス処理用尿素水
ディーゼルエグゾーストフルード (DEF) : 選択接触還元 (SCR) を装備したエンジンへの使用 200B-1
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクの補給 200B-1
ディーゼルエグゾーストフルード (DEF) の保管 200B-2
排ガス処理用尿素水 (DEF) のテスト 200B-2
ディーゼルエグゾーストフルード (DEF) の廃棄 200B-3

エンジンオイル - ファイナルティア 4 エンジン専用
ディーゼルエンジン慣らし運転用オイル 200CA-1
ディーゼルエンジンオイル — インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ IIIB、ステージ IV、およびステージ V .. 200CA-1
エンジンオイルとフィルタの整備間隔 200CA-2
高高度での運転時のディーゼルエンジンオイルの点検間隔 200CA-2

エンジンクーラント
ディーゼルエンジンクーラント (ウェットスリーブシリンダライナー付きエンジン) 200D-1
温暖気候での運転 200D-1
クーラント濃縮タイプと混合する場合の水質 200D-2
クーラントの凝固点のテスト 200D-2

その他の潤滑剤
トランスミッションオイルと作動油 200E-1
前輪駆動車軸用オイル 200E-1
多目的極圧 (EP) グリース 200E-2
自動潤滑システム用グリース 200E-2
グリース 200E-3
汎用グリース 200E-3
潤滑剤の混合 200E-4
潤滑剤の保管 200E-4

整備 - 一般情報
安全なメンテナンスとクリーニング 210-1
高圧洗浄機の使用 210-1
整備間隔の順守 210-1
メンテナンス間隔 210-1
メンテナンスメニュー 210-2
フードを上げる 210-3
整備用ドアを開く 210-4
燃料系統からのエア抜き (4 気筒エンジン) 210-4
トラクターのジャッキアップ、リフトポイント 210-5
トラクターの状態に関する一般指示事項 210-7
油圧ホースの点検/交換 210-7
オルタネータに関する重要な指示事項 210-7
ホイールとタイヤに関する注意 210-8
初回始動の前と日常の整備に関する注意事項 210-8
エンジンシリアル番号、ステージ、後処理装置に関する情報 210-8
エアコンシステムの起動の手順 210-8
ユニファイインチボルトとねじのトルク値 210-9
メトリックボルトとねじのトルク値 210-10

ページ

整備間隔 - ファイナルティア 4 エンジン装備のトラクター専用 (4 気筒)
一般情報 210A-1
注記 210A-1
毎日または 10 運転時間ごとの整備 210A-1
整備 (必要に応じて、1 年ごと、2 年ごと、および 3 年ごと) - ファイナルティア 4 エンジン装備のトラクターのみ (4 気筒) 210A-2
定期整備 — ファイナルティア 4 エンジン搭載のトラクター専用 (4 気筒) 210A-3
エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔 210A-3
エンジンオイルとフィルタの交換 210A-6
エンジンオイルとフィルタの交換 210A-7
エンジンオイルとフィルタの交換 210A-8
エンジンオイルとフィルタの交換 210A-9
[3] 「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルターの整備」参照 210A-10
[3] 「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルターの整備」参照 210A-12
冷却システムの整備 210A-14
冷却システムの整備 210A-15
DEF システムの整備 210A-16
DEF システムの整備 210A-17
1 年ごと 210A-18
1 年ごと 210A-19
100 運転時間後の整備 210A-20
500 運転時間後の整備 210A-21
1000 運転時間後の整備 210A-22
1500 運転時間後の整備 210A-23
2000 運転時間後の整備 210A-25
2500 運転時間後の整備 210A-26
3000 運転時間後の整備 210A-27
3500 運転時間後の整備 210A-29
4000 運転時間後の整備 210A-30
4500 運転時間後の整備 210A-31
5000 運転時間後の整備 210A-33
5500 運転時間後の整備 210A-34
6000 運転時間後の整備 210A-36
6500 運転時間後の整備 210A-37
7000 運転時間後の整備 210A-38
7500 運転時間後の整備 210A-40
8000 運転時間後の整備 210A-41
8500 運転時間後の整備 210A-42
9000 運転時間後の整備 210A-44
9500 運転時間後の整備 210A-45
10000 運転時間後の整備 210A-47
その他の整備に関する情報 210A-49
その他の整備の記録 210A-49

整備 - 清掃
ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲の清掃 220A-1
エンジンエアクリーナ - プレクリーナーの清掃 220A-1
キャビンエアフィルターの清掃 220A-2
燃料フィルタの点検 (4 気筒エンジン) 220A-2
燃料タンクの整備 220A-3
燃料タンク通気穴のフィルタの点検 (バヨネットロック付きタンクキャップのみ) **および** (ショートシャフト) 220A-3
DEF タンクでのフィラーネックのスクリーンの清掃 220A-3
DEF タンク通気穴フィルタの点検 220A-4

ページ

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクの清掃 220A-4

整備 - 電気システム

バッテリーの電気回路の接続解除 220B-1
バッテリーへのアクセス 220B-1
ヒューズへのアクセス 220B-1
電気始動補助装置のヒューズとリレー 220B-2
PLB - ヒューズ/リレー 220B-3
LCS - ヒューズとリレー、その 1 ..... 220B-5
LCS - ヒューズとリレー、その 2 ..... 220B-6
PSB - ヒューズ/リレー 220B-9
エンジンのアース接続の点検 220B-10
スタータモーター 220B-10
PTO 作動の安全装置の点検 220B-10
動き出し防止装置の点検 (PowrQuad™ PLUS および AutoQuad™ PLUS トランスミッション) 220B-10
動き出し防止装置の点検 (CommandQuad™ トランスミッション) 220B-10
動き出し防止装置の点検 - (AutoPowr™/IVT™ トランスミッション) 220B-11
ライトテスト 220B-11
ハロゲンバルブの安全な取り扱い 220B-11
安全なメンテナンスとクリーニング 220B-12
エンジンフードのヘッドライトのバルブの交換 220B-12
エンジンフードの作業灯のバルブの交換 220B-13
キャブフレームの方向指示灯およびクリアランスライトのバルブの交換 220B-13
キャブフレームのヘッドライトのランプの交換 220B-14
フェンダーのテールライトおよび停止灯/方向指示灯のバルブの交換 220B-14
作業灯のバルブ (丸型) の交換 220B-15
作業灯のバルブ (楕円形) の交換 220B-15
ナンバープレートライトバルブの交換 220B-16
ビーコンライトバルブの交換 220B-17
キャブのライトのバルブの交換 220B-18
トランスミッションシフトユニットのライトのバルブ交換 220B-18

整備 - ハードウェアのトルクの点検

フロントアクスルボルトの締め付け - 調整式フロントアクセル、タイプ B 220C-1
フロントホイールボルトの締め付け - 調整式フロントアクセル、タイプ B 220C-1
前輪のホイールボルトの締め付け - 前輪駆動車軸付き 220C-1
リアホイールボルトの締め付け - フランジ付き車軸 220C-2
後輪ボルトの締め付け — ラックアンドピニオン車軸、ハブ直径 79 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き 220C-3
後輪ボルトの締め付け — ラックアンドピニオン車軸、ハブ直径 86、92、100 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き 220C-4
ホイールウエイトのボルトの締め付け 220C-4
フロントヒッチの金具トルクの点検 - 220C-5
フロントローダー取り付けフレーム (メンテナンス) 220C-5
CAT II ドローバーのねじの締め付け 220C-5
トレーラーヒッチのねじの締め付け - ガイドレール 220C-6

ページ

ピトン固定またはボール形トレーラーヒッチ (固定式) のねじを締めます 220C-6
強制操舵用アーム付きボール形ヒッチのねじの締め付け 220C-6
ピックアップヒッチのねじの締め付け 220C-6

整備 - 点検

エンジンオイルレベルの点検 220D-1
エンジン駆動ベルトの摩耗の点検 220D-1
冷却システムのビスカスファンの点検 220D-1
クーラントレベルの点検 220D-1
吸気ホースの点検 (4 気筒エンジン) 220D-2
前輪駆動車軸 (730、733、735) の車軸ハウジングのオイルレベルの点検 220D-2
前輪駆動車軸 (730、733、735) のブレーキなしファイナルドライブのオイルレベルの点検 220D-2
フロントアクスルサスペンションのアキュムレータの点検 220D-3
トランスミッション / 油圧系統のオイルレベルの点検 220D-3
リークオイル回収容器の点検 (装備されている場合) 220D-4
油圧ホースの点検 220D-4
機械式キャブサスペンションの点検 220D-4
キャブのドア、ウィンドウ、ルーフハッチの閉機構とゴムシールの点検 220D-5
シートベルトの点検 220D-5
ブレーキの点検 220D-5
ブレーキシステムのエア抜きと点検 220D-5
エアブレーキシステムの凝縮水の点検 220D-5
手動操作ヒッチの摩耗の点検 220D-6
CUNA トレーラーヒッチ (手動操作) の摩耗の点検 220D-7
トレーラーヒッチ (遠隔操作) の摩耗の点検 220D-7
トレーラーヒッチ、ガイドレールの点検 220D-8
ピトン固定型トレーラーヒッチの摩耗の点検 220D-9
ボールジョイントヒッチの摩耗の点検 220D-9
ドローバーの摩耗の点検 220D-9
ピックアップヒッチ上の牽引フックの摩耗の点検 220D-10

整備 - 交換

バルブの交換 220E-1
エンジンオイルフィルタの交換 220E-1
エンジンオイルの交換 220E-1
エンジンクランクケース通気穴のオイルセパレータフィルタの交換 (装備されている場合) 220E-2
燃料フィルタの交換 220E-3
エンジンエアクリーナの交換 220E-3
エンジンエアクリーナの二次フィルタの交換 220E-4
キャビンエアフィルターの交換 220E-4
キャビンエアフィルターの活性炭フィルタの交換 (装備されている場合) 220E-5
クーラントの交換 220E-5
排ガス処理用尿素水 (DEF) 供給装置フィルタの交換 220E-6
直列 DEF フィルターの取り付け位置 220E-8
排ガス処理用尿素水 (DEF) インラインフィルタの交換 220E-8

ページ

前輪駆動車軸 — オイル交換の手順 (車軸ハウジングおよびファイナルドライブ) 220E-11
前輪駆動車軸 (730、733、735) - ブレーキ付きファイナルドライブのオイル交換 220E-11
前輪駆動車軸 (730、733、735) - ブレーキなしファイナルドライブのオイル交換 220E-12
前輪駆動車軸 (730、733、735) - 車軸ハウジングのオイル交換 220E-12
トランスミッションオイルと作動油フィルタの交換 220E-13
トランスミッションオイルおよび作動油の交換とインテークスクリーンの清掃 (PowrQuad™、AutoQuad™、CommandQuad™ PLUS トランスミッション) 220E-14
トランスミッションオイルと作動油の交換と、インテークスクリーンの清掃 (AutoPowr™/IVT™ トランスミッション) ...220E-15
エアブレーキシステムのエアドライヤカートリッジの交換 220E-16
フロント PTO のオイルフィルタの交換 (装備されている場合) 220E-16
フロント PTO のオイルの交換 (装備されている場合) 220E-17

整備 — 潤滑
潤滑に関する一般情報 220F-1
不定期の潤滑 220F-1
トラクターの潤滑 - 潤滑箇所 220F-2
リア PTO スタブシャフトサポートの潤滑 220F-4
リアアクスルベアリングの潤滑 220F-4
調整式フロントアクスルタイプ B のグリースニップルの潤滑 220F-5

トラブルシューティング
トランスミッション 300A-1
油圧系統 300A-1
選択制御弁 300A-2
エンジン 300A-3
電気システム 300A-4
運転キャビン 300A-5

トラブルシューティング - 診断トラブルコードとカスタマイズ
停止、整備、情報、安全警告の警告灯 300B-1
診断メニュー 300B-2
診断トラブルコード 300B-2
診断アドレスの入力 (顧客レベル) 300B-3

保管
長期間の停止 400-1
保管からの復帰 400-1

仕様
一般情報 500A-1
仕様に関する注意事項 500A-1
寸法 (キャブと調整式フロントアクスル付き 6090M ~ 6120M) 500A-1
寸法 (6090M ~ 6120M、キャブと前輪駆動車軸装備) 500A-3
エンジン (6090M) 500A-4
エンジン (6100M) 500A-5
エンジン (6110M) 500A-6

ページ

エンジン (6120M) 500A-7
PTO 出力 (6090M) 500A-8
PTO 出力 (6100M) 500A-8
PTO 出力 (6110M) 500A-8
PTO 出力 (6120M) 500A-9
トランスミッション 500A-9
ヒッチ 500A-11
油圧系統 500A-11
容量 500A-12
オイル取り出し量 500A-12
大容量油圧シリンダの使用 500A-13
荷重と重量、その 1 .....500A-13
荷重と重量 - パート 2、MY19~ 500A-16
最大許容車軸荷重とタイヤ耐荷重 500A-17
トレーラーヒッチにかかる最大許容下向き荷重の計算方法 500A-19
許容質量の計算 500A-20
電気システム 500A-20
振動 500A-20
キャブ、分類 500A-21
騒音レベル 500A-21
エアコンシステムの識別 500A-21
電気・電子機器、およびその構成要素の追加設置に関する安全のしおり 500A-21
二酸化炭素排出量 (CO_2) 500A-22
ユーラシア経済連合 500A-22
韓国 - ノンロード排出ガス規制保証ステートメント - 圧縮点火 500A-23
排出ガス制御システム証明ラベル (韓国) 500A-24
中国排出ガス規制保証規定 500A-25

シリアル番号
型式プレート 500B-1
製品識別プレートと構成部品のシリアル番号 500B-1
製品識別番号のプレート 500B-1
エンジンシリアル番号 500B-2
トランスミッションのシリアル番号 500B-4
ファイナルドライブのシリアル番号によるディファレンシャル 500B-4
前輪駆動のシリアル番号 500B-5
運転キャビンのシリアル番号 500B-5
運転席のシリアル番号 500B-6
サブアセンブリのシリアル番号 500B-6

所有権の変更
所有権の変更記録 600-1

納品前点検
納品前点検の注意事項 700-1
整備手順 700-3
所有者用控え 700-5
販売店用控え 700-6

用語集

	O	中速
	++	最高速
回転数/分	rpm	省略形
エアコンシステム	A/C	オペレータキャビン内の空気調整に使用するシステム
交流電流	AC	周期的に方向が反転する電流
付属品	ACC	二次電気システム
ひじかけコントロールユニット	ACU	トラクター機能を操作するためのひじかけコントロール
AutoQuad™ Plus トランスミッション	AQ+	部分的パワーシフト可能なトランスミッション
空気品質システム (Air Quality System)	AQS	オペレータキャビン内の空気調整の制御に使用するシステム
自動温度制御	ATC	省略形
カテゴリ 4	CAT 4	EN 15695-1 によるキャブの分類、作物保護薬剤および液体肥料の散布用
冷間クランキングアンペア	CCA	低温時のバッテリーのアンペア値
CommandCenter™	CC	トラクターのモニタリング用のコンピュータシステム
部品技術マニュアル	CTM	部品メンテナンス テクニカルマニュアル
排ガス処理用尿素水	DEF	**D**iesel **E**xhaust **F**luid の省略形
直流	DC	一方向にのみ流れる電流
ディーゼル微粒子フィルタ	DPF	省略形
動的計量システム	DWS	重量と数量の記録システム (フロントローダー)
エンジンコントロールユニット	ECU	エンジン回転数の制御に使用するコンピュータシステム
電気油圧式 :	EH	電気的に制御される油圧バルブ機能
電気油圧式深さ制御	EHDC	省略形
電気油圧式選択制御弁	EH-SCV	電磁スイッチによる選択制御弁
エレクトロニクス	ELX	省略形
電子制御セルフレベリング	ESL	ローダー装置の電子制御セルフレベリング (フロントローダー)
前進設定速度	FSS	IVT (Infinitely Variable Transmission) の回転数制御
ガロン/分	gpm	1 分間に測定された体積流量
ヒッチコントロールユニット	HCU	ヒッチ機能の制御に使用するコンピュータシステム
ヘビーデューティタイプ	HD	省略形
高輝度放電	HID	フロントライトに使用するキセノンワークライトの一種
ヒッチスリップコマンド	HSC	ヒッチの牽引応答制御をサポートするためのコンピュータシステム
計器コントロールユニット	ICU	トラクターの警告機能を制御するコンピュータシステム
イグニッション	IGN	エンジンの始動と停止のためのコントロール
インプルメント管理システム	IMS	圃場端での方向転換時の機能制御に使用するシステム
国際標準化機構	ISO	省略形
電子オペレータサポート	iTEC	**I**ntelligent **T**otal **E**quipment **C**ontrol の省略形
リットル/分	L/min	1 分間に測定された体積流量
水平方向のレベリング	LTH	運転条件 (チルト / 勾配) 変更時のローダー装置の自動整列 (フロントローダー)
前輪駆動	MFWD	機械駆動フロントアクスル
PowrQuad™ PLUS トランスミッション	PQ+	部分的パワーシフト可能なトランスミッション
圧力制御弁	PCV	システム内の圧力を調整する装置
製品識別番号	PIN	製品識別用のシリアル番号
パワーテイクオフ	PTO	省略形
位置復帰	RTP	ローダーブームとローダー装置をあらかじめ選択した位置に自動的に戻します (フロントローダー)
SCV バルブのコントロールユニット	SCU	選択制御弁機能の制御に使用するコンピュータシステム
選択制御弁	SCV	リモート油圧機能の制御に使用する装置
低速車両	SMV	トラクター後部に付ける警告標識
Tractor-Implement Automation	TIA	**T**ractor **I**mplement **A**utomation の略語 TIM に付属。
Tractor Implement Management	TIM	**T**ractor **I**mplement **M**anagement の略語 ISOBUS アプリケーション
フロントアクスルサスペンション	TLS	**T**riple **L**ink **S**uspension の略語

LX25458,MY20,000096F-40-26JUN24

商標

商標	
AutoPowr™	Deere & Company の商標
AutoPowr™/IVT™	Deere & Company の商標
AutoQuad™ II	Deere & Company の商標
AutoQuad™ PLUS	Deere & Company の商標
AutoTrac™	Deere & Company の商標
Bio Hy-Gard ™	Deere & Company の商標
ClimaTrak™	Deere & Company の商標
ComfortGard™	Deere & Company の商標
ComfortGard Deluxe™	Deere & Company の商標
CommandARM™	Deere & Company の商標
CommandCenter™	Deere & Company の商標
CommandPRO™	Deere & Company の商標
CommandQuad™	Deere & Company の商標
Cool-Gard™ II	Deere & Company の商標
CoolScan™	Deere & Company の商標
CoolScan PLUS™	Deere & Company の商標
Deere	Deere & Company の商標
Eco Shift™	Deere & Company の商標
EasyGuide™	Deere & Company の商標
DieselScan™	Deere & Company の商標
FieldCruise™	Deere & Company の商標
Field Doc™	Deere & Company の商標
Field Office™	Deere & Company の商標
GreenStar™	Deere & Company の商標
Hy-Gard™	Deere & Company の商標
ILS™	Deere & Company の商標
iTEC™	Deere & Company の商標
iTEC™ Basic	Deere & Company の商標
iTEC™ Pro	Deere & Company の商標
IVT™	Deere & Company の商標
IVT Selector™	Deere & Company の商標
JDLink™	Deere & Company の商標
JDOffice™	Deere & Company の商標
John Deere	Deere & Company の商標
Oilscan™	Deere & Company の商標
Parallel Tracking™	Deere & Company の商標
Plus-50™	Deere & Company の商標
PowerTech™	Deere & Company の商標
PowerTech™ Plus	Deere & Company の商標
PowerZero™	Deere & Company の商標
PowrQuad™	Deere & Company の商標
PowrQuad™ PLUS	Deere & Company の商標
PowrReverser™	Deere & Company の商標
Service ADVISOR™	Deere & Company の商標
SERVICEGARD™	Deere & Company の商標
StarFire™	Deere & Company の商標
StarFire™ iTC	Deere & Company の商標
StellarSupport™	Deere & Company の商標
SyncroPlus™	Deere & Company の商標
TLS™	Deere & Company の商標
Tractor-Implement Automation™	Deere & Company の商標

LX25458,MY20,0000970-40-05MAY23

安全情報の理解



T81389—UN—28JUN13

これは安全アラート絵記号です。機械またはこの取扱説明書でこの絵記号を目にした場合は、けがの可能性に注意してください。

推奨されている注意事項と安全な操作方法に従ってください。

DX,ALERT-40-03OCT22

シグナルワードについて

⚠ 危険

⚠ 警告

⚠ 注意

TS187—40—20JUN12

危険：シグナルワード「危険」は、回避しなかった場合、人が死亡または重傷を負う危険な状況を示しています。

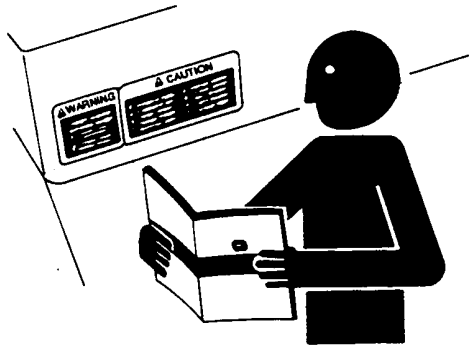
警告：シグナルワード「警告」は、回避しなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況を示しています。

注意：シグナルワード「注意」は、回避しなかった場合、人が軽度または中程度の傷害を負う可能性がある危険な状況を示しています。「注意」は、人が傷害を負う可能性がある事象に関連する危険な行為を警戒するためにも使用される場合があります。

シグナルワード「危険」、「警告」、「注意」は安全警告マークと共に使用されます。「危険」は最も重大な危険要素を示します。「危険」または「警告」安全標示ラベルは、特定の危険要素の近くにあります。一般注意事項は「注意」安全標示ラベルに記載されています。「注意」はこのマニュアルに記載されている安全上の注意事項への注意も促しています。

DX,SIGNAL-40-05OCT16

安全上の注意事項の順守



TS201—UN—15APR13

この取扱説明書および機械の安全標識に記載されている安全上の注意事項をすべて注意深く読んでください。安全標識を良好な状態に保ってください。安全標識が足りない場合は補充し、破損しているものは交換してください。装置の新しい構成部品と修理部品に、最新の安全標識が付いているか確認してください。交換用の安全標識は John Deere から入手できます。

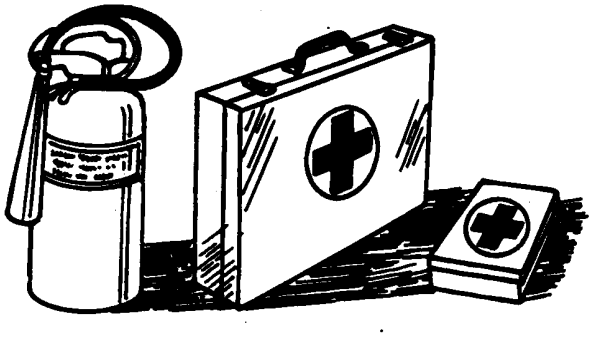
サプライヤから供給される部品については、この取扱説明書に記載されていない追加の安全情報が存在する可能性があります。

適切な機械の操作方法とコントロールの使用方法を習得してください。説明なしで他の人に操作させないでください。

機械を適切な作動状態に保ってください。許可なく機械を改造すると、機能や安全性を損なう可能性があり、機械寿命に影響を及ぼすことがあります。

DX,READ-40-01AUG22

緊急事態に対する準備



TS291—UN—15APR13

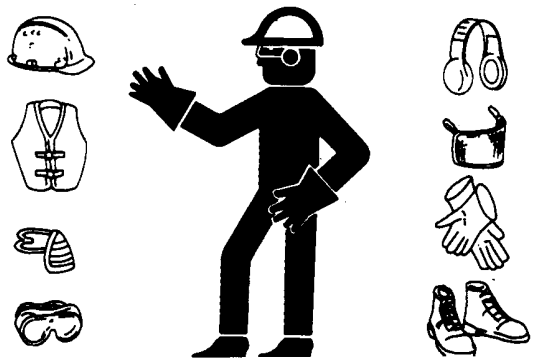
火災に備えてください。

救急箱と消火器を手近に置いてください。

医師、救急車サービス、病院、消防署の緊急番号を電話の近くに備えてください。

DX,FIRE2-40-03MAR93

保護服の着用



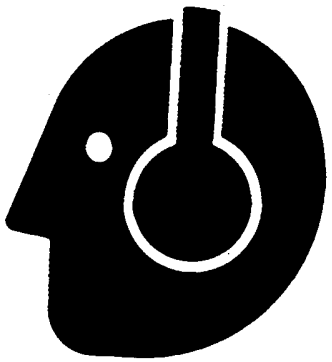
TS206—UN—15APR13

ぴったりした衣類と作業に適した安全具を着用してください。

機械の安全な操作のために、オペレーターは細心の注意を払う必要があります。 機械の操作中にラジオや音楽用ヘッドフォンを着用しないでください。

DX,WEAR2-40-03MAR93

騒音対策



TS207—UN—23AUG88

機械構成、機械の状態とメンテナンスレベル、地面、操作環境、デューティサイクル、環境騒音、およびアタッチメントなど、騒音レベル範囲に影響を与えるさまざまな変動要素があります。

大きな騒音への暴露は、聴力の障害や損失を引き起こす可能性があります。

必ず聴覚保護具を着用してください。好ましくない不快な騒音から保護するため、耳あてや耳栓などの適切な聴覚保護具を着用してください。

DX,NOISE-40-03OCT17

燃料の安全な取り扱い：火災防止



TS202—UN—23AUG88

燃料は慎重に取り扱ってください。 高い引火性があります。 喫煙しながら、または直火や火花がある状況で給油しないでください。

必ずエンジンを停止してから給油してください。 燃料タンクは屋外で補充してください。

廃棄物、油脂類、堆積物が機械にたまらないように清掃し、火災を防止してください。 こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。

引火性液体の持ち運びには認可された燃料容器だけを使用してください。

プラスチック製ベッドライナーを敷いたピックアップトラックで、絶対に燃料容器を充填しないでください。 補充の前に必ず燃料容器を地面に置いてください。 缶の蓋を外す前に燃料容器を燃料ディスペンサーのノズルで触ります。 補充時は、燃料ディスペンサーのノズルが常に燃料容器に触れているようにします。

直火、火花、または給湯器その他の電気器具内などの点火用ライトがあるところに燃料容器を保管しないでください。

DX,FIRE1-40-12OCT11

エンジン始動液の安全な取り扱い



TS1356—UN—18MAR92

エンジン始動液は高い引火性があります。

使用する場合は、すべての火気を遠ざけてください。 エンジン始動液はバッテリとケーブルから離してください。

加圧された缶の保管時には、中身が誤って放出されないよう、蓋をして涼しい安全な場所に保管してください。

エンジン始動液の容器を焼却したり、穴を開けたりしないでください。

グロープラグまたは吸気ヒーター装備のエンジンでは始動液を使用しないでください。

DX,FIRE3-40-14MAR14

火災予防

火災の危険を減らすため、トラクターは定期的に点検、清掃してください。

- 鳥などの動物がエンジンルームや排気システムに巣を作ったりその他の引火性物を持ち込んだりすることがあります。 トラクターは毎日最初に使用する前に点検、掃除を行ってください。
- 通常の使用中にも草、農作物、その他のごみがたまることがあります。 これは、非常に乾燥した条件、または浮遊性の農作物や散布農薬が存在する条件で運転する場合に特に当てはまります。 このような堆積物を取り除いて機械の適切な動作を保ち、火災の危険を減らす必要があります。 トラクターは一日を通して定期的に点検し、清掃する必要があります。
- トラクターの定期的で丁寧な清掃とオペレータマニュアルに記載されている定期メンテナンス手順を組み合わせることで、火災の危険性や費用のかかる中断時間を大幅に減らすことができます。
- 直火、火花、または給湯器その他の電気器具内などの点火用ライトがあるところに燃料容器を保管しないでください。
- 燃料配管、タンク、キャップ、継手の損傷、亀裂、または漏れを点検頻繁に点検し、 必要に応じて交換してください。

機械およびオペレータマニュアルに表示されているすべての運転手順および安全上の手順に従ってください。 点検、清掃の際は熱くなっているエンジンや排気系部品に注意してください。 点検、清掃の前には常にエンジンをオフにし、トランスミッションをパーキングに入れるかパーキングブレーキをかけてください。 点検、清掃中にキーを取り外しておくと、他の人がトラクターを始動するのを防止できます。

DX,WW,TRACTOR,FIRE,PREVENTION-40-12OCT11

火災が発生した場合



TS227—UN—15APR13

注意： けがをしないようにしてください。

火災の兆候が認められた場合はすぐに作業機を止めてください。 火災は煙の臭いや炎により発見することができます。 火災は急速に拡大するため、すぐに作業機を降りて火元から離れてください。 絶対に作業機には戻らないでください。 安全を最優先してください。

消防署に通報してください。 携帯型の消火器でも小さな火災を消火したり消防車が到着するまで抑えることができますが、それにも限界があります。 必ずオペレータと同伴者の安全を最優先してください。 消火を試みる場合は、風を背にして避難路を確保し、消火に失敗した時にすぐに離れられるようにしてください。

消火器の説明書を読み、火災が発生する前にその位置、部品、および操作を理解しておいてください。 現地の消防署または防火装置の販売店から消火器の講習や推薦を受けることができます。

お使いの消火器に説明書がない場合は、以下のガイドラインに従ってください。

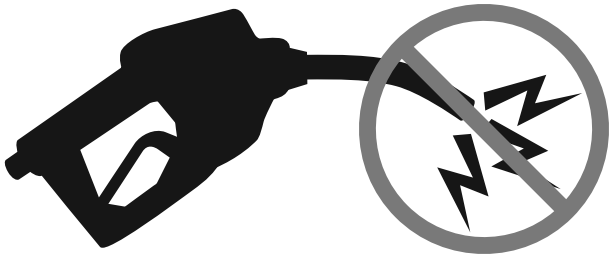
1. ピンを引きます。 ノズルを自分から離して消火器を保持し、ロック機構を解除します。
2. 低い場所を狙います。 消火器は火の根元に向けてください。
3. レバーをゆっくり均等に握ります。
4. 横から横へノズルを動かします。

DX,FIRE4-40-22AUG13

燃料再補充時の静電気発生リスクの防止



RG22142—UN—17MAR14



RG21992—UN—21AUG13

超低硫黄ディーゼル (ULSD) 燃料内の硫黄と他の化合物が除去されると導電性が低下するため、静電気を帯電しやすくなります。

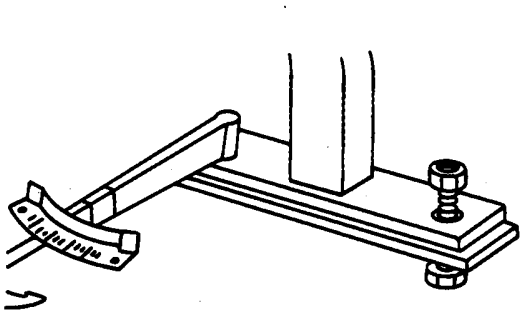
製油業者が帯電防止添加剤で燃料を処理している場合もあります。 しかし時間の経過により、添加剤の効果が低下するさまざまな要因があります。

燃料供給システム内を ULSD 燃料が流れるにしたがい、静電気が帯電する可能性があります。 燃焼性のガスが存在する場合に静電放電が発生すると、火災や爆発のおそれがあります。

したがって、お使いの作業機に燃料を補充するためのシステム全体 (燃料供給タンク、移送ポンプ、移送ホース、ノズル等) を適切に接地し接合することが重要です。 燃料供給システムが、適切な接地および接合に関して燃料補給系としての基準を満たしているかどうか確認するには、お使いの燃料または燃料システムのメーカーにお問い合わせください。

DX,FUEL,STATIC,ELEC-40-12JUL13

ROPS の適切な取り付けの維持



TS212—UN—23AUG88

ROPS (転倒時保護構造) が緩んでいたり、何らかの理由で取り外されている場合は、確実にすべての部品を正しく再度取り付けてください。 取り付けボルトを適切なトルクで締め付けます。

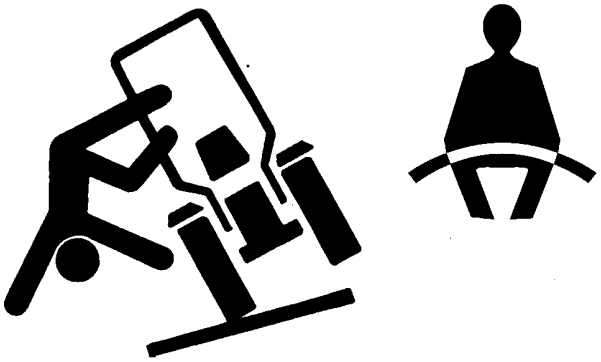
ROPS が構造的な損傷を受けた場合、横転事故にあった場合、または溶接、曲げ、穴あけ、切断により何らかの改造を施された場合、ROPS の保護機能が損なわれます。 損傷した ROPS は交換し、再使用しないでください。

シートは ROPS の安全ゾーンの一部です。お使いのトラクター用に認められている John Deere シートのみと交換してください。

ROPS の改造はメーカーが承認する必要があります。

DX,ROPS3-40-12OCT11

折りたたみ式 ROPS の使用とシートベルトの適切な着用



TS1729—UN—24MAY13

転倒中の死傷事故を防止してください。

- 作業機に折りたたみ式転倒時保護構造 (ROPS) が装備されている場合は、ROPS を完全に伸ばしてロック位置にしてください。 ROPS を伸ばした位置にして作業する際はシートベルトを着用してください。
  - ラッチを保持し、シートベルトを引いて体にかけます。
  - ラッチをバックルに挿入します。 カチッと音がしたか確認します。

- シートベルトを引き、しっかり固定されていることを確認します。
- シートベルトを腰にぴったり合わせてください。

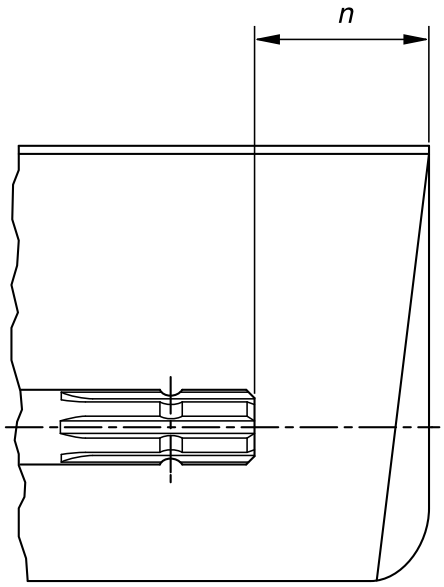
- ROPS を折りたたんだ状態で作業機を操作する場合は (低い建物に入る場合等)、十分注意してください。 ROPS が折りたたまれている場合はシートベルトは決して使用しないでください。
- トラクターを通常の状態での運転に戻し次第、ROPS は上に上げて完全に伸ばした位置に戻してください。

DX,FOLDROPS-40-22AUG13

回転しているドライブラインへの接近禁止



TS1644—UN—22AUG95



H96219—UN—29APR10

回転しているドライブラインに巻き込まれると、大けがや死亡事故が発生する可能性があります。

トラクターのマスタシールドやドライブラインシールドは、常時所定の位置に取り付けてください。回転するシールドが自由に回転することを確認してください。

適切なガードやシールドを備えている PTO ドライブシャフトのみを使用してください。

ぴったりした衣類を着用してください。調整や接続を行う前に、または PTO で駆動される装置を清掃する前に、エンジンを停止し、PTO ドライブラインが停止していることを確認してください。

1000 rpm のトラクターシャフトで 540 rpm の装置を 540 rpm よりも高い速度で駆動できるようにするアダプタ装置を、トラクターと主要な装置ドライブシャフト間に取り付けないでください。

回転している装置シャフト、トラクターシャフト、またはアダプタの部分がガードされなくなるアダプタ装置を取り付けないでください。トラクターのマスタシールドは、表で説明されているようにスプラインシャフトの端部と追加されたアダプタ装置にオーバーラップしている必要があります。

1 次装置の PTO ドライブシャフトを傾けることができる角度は、トラクターのマスタシールドおよび 1 次装置の PTO ドライブシャフトの形状やサイズに応じて減少することがあります。

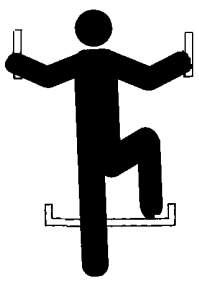
トラクターのマスタシールドや 1 次装置の PTO ドライブシャフトが損傷するほど高くまで装置を上昇させないでください。装置の高さを上げる必要がある場合は、PTO ドライブラインシャフトを取り外してください。(「PTO ドライブラインの取り付け/取り外し」を参照してください)。

タイプ 3/4 PTO の使用時は、PTO マスタシールドとカップリングレールの種類によっては、傾きと旋回角度が低下することがあります。

PTO の種類	直径	スプラインの数	n ± 5 mm (0.20 in)
1	35 mm (1.378 インチ)	6	85 mm (3.35 インチ)
2	35 mm (1.378 インチ)	21	85 mm (3.35 インチ)
3	45 mm (1.772 インチ)	20	100 mm (4.00 インチ)
4	57.5 mm (2.264 インチ)	22	100 mm (4.00 in)

DX,PTO-40-28FEB17

ステップと手掛りの正しい使用



T133468—UN—15APR13

機械に乗り降りする際は機械の方を向いて落下しない

ようにしてください。 ステップと手すりを使用して 三点支持を保ってください。

泥、雪、水気で滑りやすい場合は特に注意してください。 ステップはグリースやオイルがないようにきれいに保ってください。 機械から出るときに絶対に飛び降りないでください。 移動中の作業機への乗り降りを絶対にしないでください。

DX,WW,MOUNT-40-12OCT11

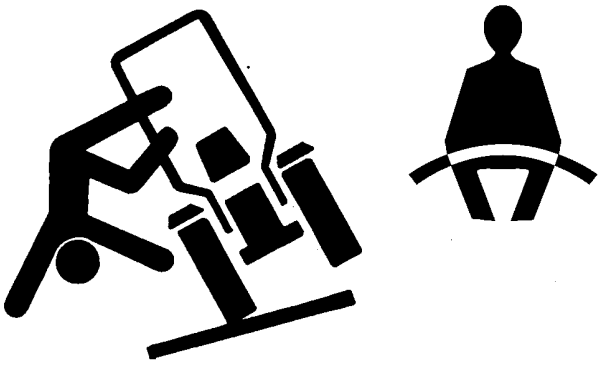
ISOBUS コントローラのオペレータマニュアルを読む

GreenStar™ アプリケーションに加えて、このディスプレイは ISO 11783 規格に適合する ISOBUS コントローラ用ディスプレイ装置として使用することができます。これには ISOBUS 装置を制御する機能が含まれています。この方法で使用する場合、ディスプレイに表示される情報と制御機能は ISOBUS コントローラにより提供されるものであり、その責任は ISOBUS コントローラのメーカーが担うことになります。これらの機能の一部には、オペレータや周りの人に危険を及ぼすものもあります。使用する前に ISOBUS コントローラのメーカーが提供するオペレータマニュアルを読み、マニュアルおよび ISOBUS コントローラの製品に記載されている安全上の注意事項をすべて守ってください。

注記： ISOBUS は ISO 規格 11783 に該当します。

DX,WW,ISOBUS-40-15JUL15

シートベルトの適切な着用



TS1729—UN—24MAY13

転倒時に押しつぶされてけがや死亡事故が発生しないようにしてください。

この作業機には転倒時保護構造 (ROPS) が装備されています。ROPS を使用して作業する際はシートベルトを着用してください。

- ラッチを保持し、シートベルトを引いて体にかけます。
- ラッチをバックルに挿入します。カチッと音がするまで差し込みます。
- シートベルトのラッチを引張って、ベルトがしっかり固定されていることを確認します。
- シートベルトを腰にぴったり合わせてください。

シートベルトの取り付け具、バックル、ベルト、引き込み部に損傷の見られる場合は、シートベルト全体を交換してください。

シートベルトと取り付け金具は少なくとも年に 1 回点検してください。金具の緩みや、ベルトの傷み (切れ、ほつれ、過剰または異常な擦り切れ、変色、摩耗など) の兆候に注意してください。お使いの機械の仕様に合った交換部品のみと交換してください。

DX,ROPS1-40-22AUG13

トラクターの安全な運転

以下の簡単な注意事項を守ることにより、事故のリスクを低減できます：

- トラクターは、農作業を行うために設計された多様な取り換え可能な装置を押す、引く、牽引する、作動させる、運搬するなど、意図された作業にのみ使用してください。
- オペレータは、運転プラットフォームやコントロールにアクセスできて、機械を適切かつ安全に操作できる知的能力および身体的能力を有している必要があります。
- 注意散漫の場合、疲れている場合、および健康を害している場合は、絶対に機械を操作しないでください。機械の適切な操作には、最大限の注意と認識が必要です。
- このトラクターは、レクリエーション用車両として使用することを目的としていません。
- トラクターの操作を行う前にこの使用説明書を読み、本書に記載され、トラクターに表示されている操作上および安全上の指示に従ってください。
- フロントローダーなどの作業機 / アタッチメントの使用説明書に記載されている操作およびバラストに関する指示に従ってください。
- 取り付けまたは牽引している機械やトレーラーのオペレータマニュアルに記載されている指示に従ってください。すべての指示を理解するまで、トラクターと機械またはトラクターとトレーラーを組み合わせて操作しないでください。
- エンジンを始動したり、操作を開始したりする前に、機械、取り付けた装置、および作業エリアの周辺に人がいないことを確認してください。
- 3 点リンクおよびピックアップヒッチ (装備されている場合) を制御するときは、これらから離れてください。
- 動力で駆動される部品から手、足、衣服を遠ざけてください。

GreenStar は Deere & Company の商標です。

運転に関する注意事項

- 動いているトラクターには、決して乗り込んだり降りたりしないでください。
- 車両を操作する前に、必要なすべてのトレーニングを完了してください。
- 子供や不要な人員をトラクターや装置に近づけないでください。
- シートベルトを着用して John Deere 認定の座席に着席している場合を除き、決してトラクターを運転しないでください。
- シールド / ガードはすべて所定の位置に維持してください。
- 公道を走行するときは、適切な視覚的信号および音声による信号を使用してください。
- 停止するときは車両を路肩に寄せてください。
- 右左折する場合や、凹凸のある場所または急な坂で危険物の近くで操作する場合は、個別のブレーキを使用して速度を落としてください。
- 取り付けた装置が高い位置にあるときは、安定性が低下します。
- 道路での運転にはブレーキペダル同士を連結してください。
- 滑りやすい場所で停止するときは、ブレーキを小刻みにかけてください。
- フェンダーとフェンダーの保護板 (泥よけフラップ) が取り付けられている場合は、定期的に清掃してください。公道で運転する前に、泥を除去してください。

ヒーター / 換気機能付き運転席

- シートヒーターの過熱によりやけどやシートの損傷が発生することがあります。やけどの危険を減らすため、長時間延長してシートヒーターを使用する場合、特にオペレータが温度変化や肌の痛みを感じることができない場合に注意喚起を行うようにしてください。シートに毛布やクッション、カバー、または類似のものを置かないようにしてください。シートヒーターが過熱することがあります。

負荷の牽引

- 荷重の大きな装置等を牽引して停止するときは、注意を払ってください。速度および牽引負荷の重量が増えた場合、および傾斜地では、停止距離が伸びます。ブレーキ付き、ブレーキなしにかかわらず、牽引される荷重がトラクターにとって重すぎる場合、または牽引速度が速すぎる場合は、制御不能に陥る可能性があります。
- 装置とその荷重の合計重量を考慮してください。
- 後方への転覆を防ぐために、牽引荷重は認定済みのカプリングのみに連結してください。

トラクターの駐車

- 取り外す前に、SCV を遮断し、PTO の接続を解除し、エンジンを停止し、作業機 / アタッチメントを地面に降ろし、作業機 / アタッチメントの制御装置をニュートラルにし、駐車つめや駐車ブレーキなどの駐車機構をしっかりと作動させてください。また、トラクターから離れる場合は、キーを抜いてください。
- エンジンを止めてトランスミッションのギヤを入れてもトラクターが動くのを防ぐことはできません。
- 作動中の PTO または装置の近くには、決して近づかないでください。
- 機械を整備する前に、すべての動きが止まるのを待ってください。

よくある事故の例

トラクターの危険な操作や誤った使用により、事故につながるおそれがあります。トラクターの操作中の危険に対して注意を払ってください。

トラクターに関連する最も一般的な事故は次のとおりです：

- トラクターの横転
- 自動車との衝突
- 不正な始動手順
- PTO シャフトへの巻き込み
- トラクターからの落下
- 連結中の衝突や挟み込み

DX,WW,TRACTOR-40-08MAY19

後退時の事故の回避



PC10857XW—UN—15APR13

作業機を動かす前に、作業機の進路に人がいないことを確認してください。 振り向いて、直接最良の視界を得るようにしてください。 後退時に視界が遮られている場合、または狭い場所では合図を出してくれる人を配置してください。

作業機の後ろに人や障害物が存在するかどうかを確認する場合は、カメラだけに頼らないでください。 システムはメンテナンス、環境条件、動作範囲など、多くの要因によって制限される可能性があります。

DX,AVOID,BACKOVER,ACCIDENTS-40-30AUG10

林業での操作での限定使用

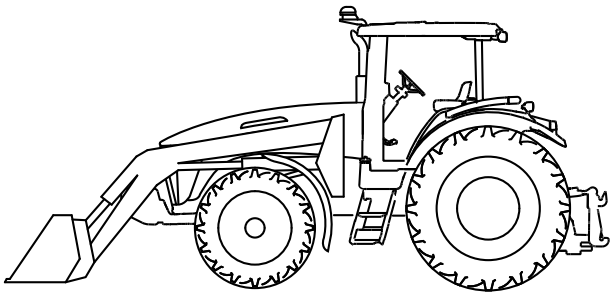
林業での操作で使用する際の John Deere 製トラクター

の使用目的は、輸送、木材を切るなどの静止作業、推進、または PTO、静油圧式、または電気システム付きの作業機の操作のようなトラクターに特定した用途に限定されます。

これらは通常の操作では落下や物体への貫通のリスクがないような用途です。これらの特定の用途の他の、運送、積卸しなどの林業用途では、用途特定のコンポーネントで、転倒時保護構造（FOPS）や機能的保護構造 (OPS) などの付属品が必要です。

DX,WW,FORESTRY-40-12OCT11

ローダートラクターの安全な運転



TS1692—UN—09NOV09

ローダー用途で機械の運転をする場合には、必要に応じて速度を落とし、トラクターとローダーの安定性を確保してください。

トラクターの転倒やフロントタイヤへの損傷を避けるため、10 km/h (6 mph) を超える速度でローダーでの運搬を行わないでください。

トラクターに 3 m のフロント車軸が装備されている場合は、トラクターへの損傷を避けるためにフロントローダーや噴霧機タンクを使用しないでください。

上昇したローダーの下を歩いたり、その下で作業することは絶対に避けてください。

ローダーを作業台として使用しないでください。

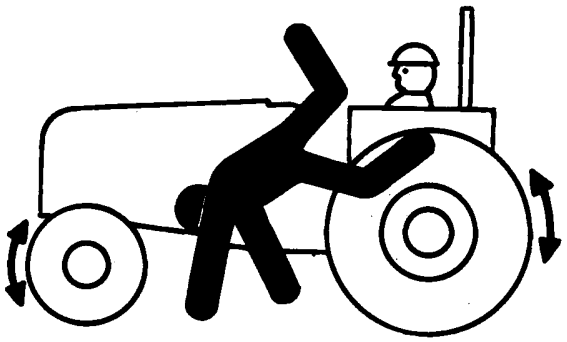
ローダー、バケット、インプルメント、アタッチメントで人を持ち上げたり、運搬したりしないでください。

オペレータステーションを離れる前に、ローダーを地面まで降ろしてください。

ROPS (転倒防止構造) やキャビンルーフ (装備されている場合) は、オペレータステーション上に落下した荷に対して十分な保護を提供できない場合があります。 荷がオペレータステーション上に落下するのを防ぐには、常に用途に応じた適切なインプルメント (堆肥フォーク、丸ベールフォーク、丸ベールグリッパー、クランパー) を使用してください。

DX,WW,LOADER-40-18SEP12

同乗禁止



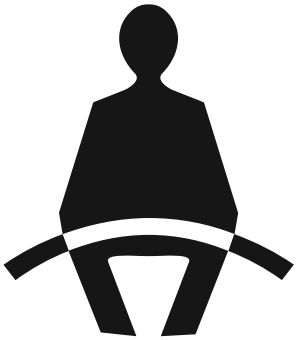
TS290—UN—23AUG88

作業機にはオペレーターのみが乗り込むことができます。 同乗は禁止してください。

同乗者は外の物にぶつかったり、作業機から振り落とされてけがをする危険があります。 また、同乗者がオペレーターの視界の妨げとなり、機械の安全運転が損なわれることがあります。

DX,RIDER-40-03MAR93

教習シート

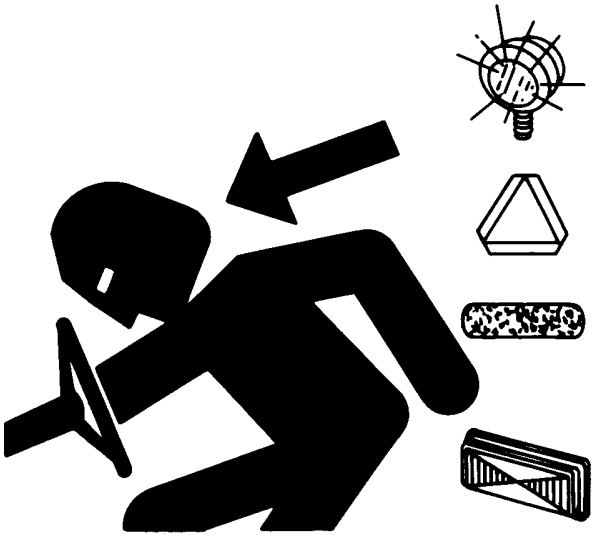


TS1730—UN—24MAY13

教習シートはオペレータの研修、作業機の問題の診断用にのみ用意されています (装備されている場合)。

DX,SEAT,NA-40-22AUG13

安全ライトと安全装置の使用



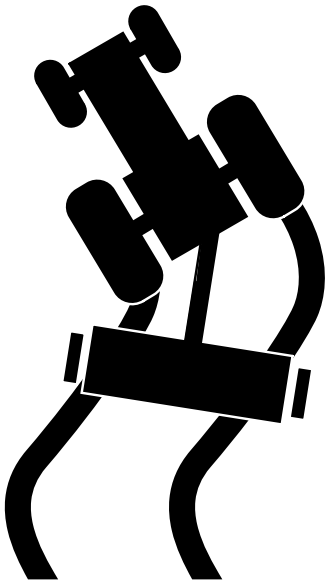
TS951—UN—12APR90

公道では、他の道路利用者、アタッチメントや牽引式装置を備えた低速走行のトラクター、自走式機械との衝突を防止してください。特に右折や左折時など、後方からの交通をこまめに確認し、方向指示灯を使用してください。

ヘッドライト、点滅警告灯、および方向指示灯を昼夜とも使用してください。装置の照明や標識についての各地の規制に従ってください。照明やマーキングの視認性、清浄度、および良好な作動状態を維持してください。照明や識別標識の破損や紛失の際は、交換または修理してください。

DX,FLASH-40-07JUL99

安全速度での牽引装置の輸送



TS1686—UN—27SEP06

最高走行速度を超えないでください。この牽引ユニットは、牽引装置に対して許容されている最高輸送速度を超える輸送速度て運転できます。

インプルメントを牽引して輸送する前に、インプルメントの表示ラベルまたはオペレーターマニュアルに記載されている情報から最高走行速度を決定します。絶対にインプルメントの最高輸送速度を超える速度で輸送しないでください。インプルメントの最高輸送速度を超える速度を超えると、次の問題を生じる可能性があります。

- 牽引ユニット / 装置の組み合わせを制御できなくなる
- ブレーキで停止できないか、停止までに時間がかかる
- 装置のタイヤの不具合
- 装置の構造や部品の損傷

最大負荷重量が 1500 kg (3307 lb) を超え、牽引ユニットの重量の 1.5 倍を超える場合は、装置にブレーキを装備します。

例：装置の質量は 1600 kg (3527 lb) で、牽引ユニットの質量は 1600 kg (3527 lb) であるため、例の装置にはブレーキは不要です。

ブレーキを装備していない装置：32 km/h (20 mph) を超える速度で輸送しないでください。

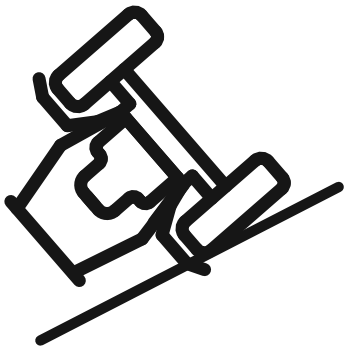
ブレーキを装備している装置：

- メーカーが最高輸送速度を指定していない場合は、40 km/h (25 mph) を超える速度で牽引しないでください。
- 40 km/h (25 mph) 以下の速度で輸送するときは、装置の満載時の重量を牽引ユニットの重量の 4.5 倍未満にする必要があります。
- 40 ~ 50 km/h (25 ~ 31 mph) の速度で輸送するときは、装置の満載時の重量を牽引ユニットの重量の 3.0 倍未満にする必要があります。

トレーラーの牽引時は、ブレーキ特性に習熟し、減速率に関するトラクター / トレーラーの組み合わせの適合性を確認してください。

DX,TOW1-40-28FEB17

傾斜地、不均一な地形、および荒れた地面では十分注意してください。



RXA0103437—UN—01JUL09

特に傾斜地ではトラクターが転倒する可能性があるため、穴、溝、および障害物を避けてください。急な上り坂での旋回は避けてください。

溝や抜け出せない状態から前進走行して出たり、急な斜面を上がったりすると、トラクターが後方に転覆することがあります。可能な場合、これらの状況では後退してください。

狭いトレッド設定で高速の場合、転覆の危険が著しく増大します。

トラクターが転覆する可能性があるすべての条件をここに記載しているわけではありません。安定性が損なわれることがある状況に注意してください。

傾斜地は、重大なけがまたは死亡を招く可能性がある制御不能や転倒事故に関連する重要な要因です。傾斜地で操作する際は、いかなる場合でも特別な注意が必要となります。

不均一な地形や荒れた地面は、重大なけがや死亡につながる制御不能や転倒事故の原因になることがあります。不均一な地形や荒れた地面での操作には特に注意が必要です。

溝、断崖、配水溝、急な土手、または水域の縁部近くでは絶対に運転しないでください。車輪が縁の部分にかかった場合、または縁に落ち込んだ場合には、機械が急に転倒することがあります。

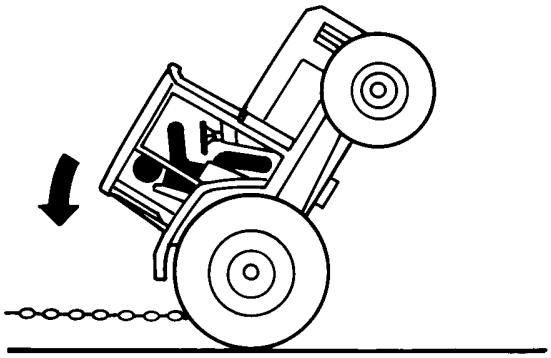
傾斜地で停車またはシフトする必要がないように低い対地速度を選択してください。

傾斜地での発進、停止、または旋回は避けてください。タイヤのトラクションがなくなった場合は、PTOを解除し、斜面をゆっくり真直ぐに降りてください。

傾斜面ではすべての動きをゆっくりと徐々に行ってください。急に速度や方向を変えないでください。機械が横転する可能性があります。

DX,WW,SLOPE-40-28FEB17

ぬかるみからの機械の脱出



TS1645—UN—15SEP95



TS263—UN—23AUG88

ぬかるみにはまった機械の引き出しには安全上の問題が付きまとい、ぬかるみにはまったトラクターの後ろへの転倒、牽引トラクターの転倒、牽引チェーンやドローバー (ケーブルは推奨しません) の損傷やその伸長状態からの巻き上がりといった危険があります。

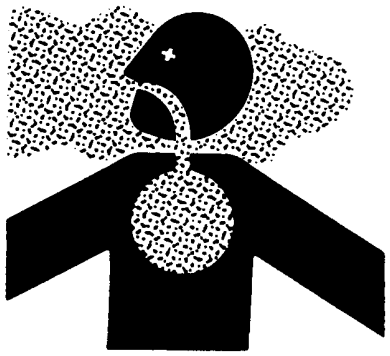
泥にはまった場合にはトラクターを後退させてください。 牽引しているインプルメントからヒッチを外してください。 後輪の背後から泥を取り除きます。 ホイールの後ろに板を敷いてしっかりした基盤を作り、ゆっくりと後退させてください。 必要に応じてすべてのホイールの前から泥を取り除き、ゆっくりと前進してください。

別のユニットで牽引する必要がある場合は、ドローバーまたは長いチェーンを使用してください (ケーブルの使用は推奨しません)。 チェーンに損傷がないことを確認してください。 牽引装置のあらゆる部分が荷重に対して十分な大きさと強度を備えていることを確認してください。

必ず、牽引しているユニットのドローバーにヒッチを連結してください。 フロントプッシュバー取り付けポイントには連結しないでください。 動く前に周囲の人を遠ざけてください。 徐々に力をかけてたるみを取ってください。 急激に引っ張ると、牽引装置がはねて鞭のように動いたり、巻き上がったりして危険です。

DX,MIRED-40-07JUL99

農薬には触らない



TS220—UN—15APR13



TS272—UN—23AUG88

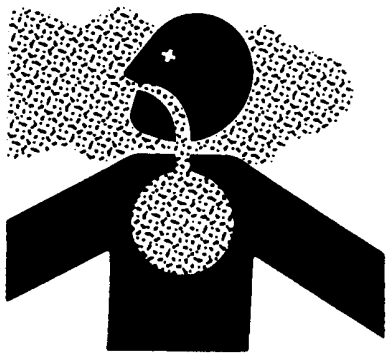
囲いのあるキャビンも蒸気、煙霧、ほこりの吸引に対する保護は与えません。 殺虫剤の使用説明書で求められている場合は、キャビン内部で適切なマスクを着用してください。

キャビンから出る前に、殺虫剤使用方法で必要とされている保護具を着用してください。 キャビンに再度入る場合は、保護具を取り外してキャビンの外のきっちりと閉まる箱などの容器に保管するか、またはキャビン内ではプラスチックの袋などの殺虫剤に耐える容器に保管してください。

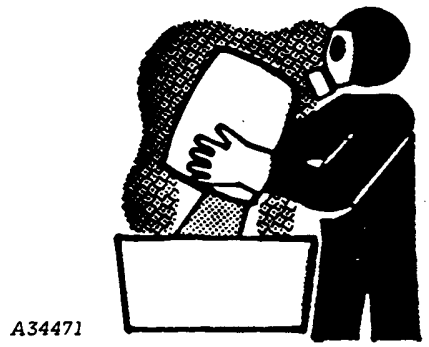
キャビンに入る前には靴やブーツをきれいにして土などの汚染された物質を取り除いてください。

DX,CABS-40-25MAR09

農薬の安全な取り扱い



TS220—UN—15APR13



A34471—UN—11OCT88

殺菌剤、除草剤、殺虫剤、害虫駆除剤、殺鼠剤、肥料など、農作業で使われる薬剤は、注意深く使わないと健康と環境へ害となる可能性があります。

農薬の効率的、安全かつ合法的な使用のために、ラベルに書かれたすべての指示に必ず従ってください。

暴露と事故の危険を減らすために

- メーカー推奨の適切な保護具を着用してください。 メーカーの指示がない場合は、次の一般的なガイドラインに従ってください。
  - 「**危険**」ラベルの薬剤： 毒性は最も高い。 一般的に、ゴーグル、マスク、手袋、皮膚の保護具を使用する必要があります。
  - 「**警告**」ラベルの薬剤： 比較的毒性は少ない。 一般的に、ゴーグル、手袋、皮膚の保護具を使用する必要があります。
  - 「**注意**」ラベルの薬剤： 毒性は最も低い。 一般的に、手袋と皮膚を保護するものの使用が必要です。
- 蒸気、煙霧またはほこりを吸い込まないようにしてください。
- 薬剤を取り扱うときは常に石鹸、水、タオルを用意しておいてください。 薬剤が皮膚、手または顔に触れた場合、直ちに石鹸と水で洗ってください。 薬剤が目に入った場合、直ちに水で洗い流してください。
- 薬剤を取り扱った後は、飲食、喫煙、トイレの前に手と顔を洗ってください。
- 薬剤の使用中に、喫煙または食事をしないでください。
- 薬剤を取り扱った後は必ず風呂に入るかシャワーを浴び、服を着替えてください。 再度着用する前に服を洗ってください。
- 薬剤の使用中または直後に気分が悪くなったら、すぐに治療を受けてください。
- 薬剤の保管には元の容器を使ってください。 ラベルのない容器や飲食物用に使った容器に薬剤を移し替えないでください。
- 薬剤は人や家畜飼料から離れた、安全な、鍵の掛かった場所に保管してください。 子供の手の届かない所に保管してください。
- 容器は常に正しく廃棄してください。 空になった容

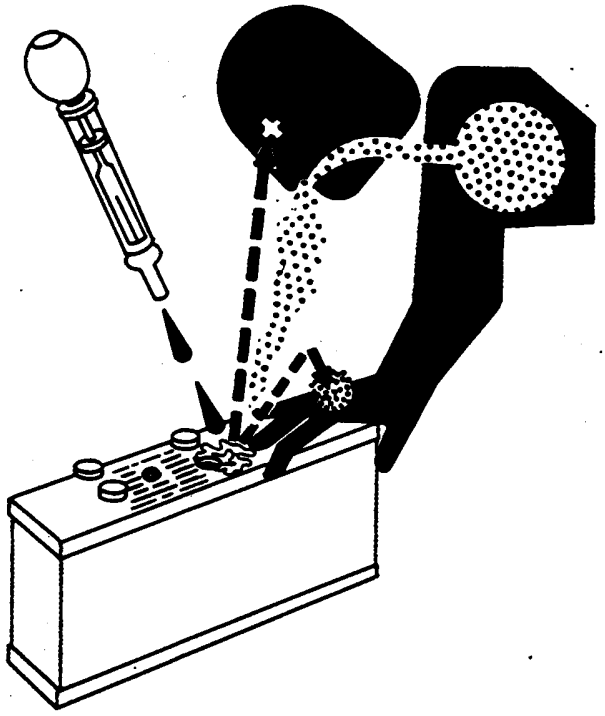
器は 3 回すすぎ、穴を開けるか潰してから、正しく廃棄してください。

DX,WW,CHEM01-40-24AUG10

バッテリの安全な取り扱い



TS204—UN—15APR13



TS203—UN—23AUG88

バッテリガスは爆発する可能性があります。 バッテリに火花や火気を近づけないでください。 バッテリ電解液の点検には、懐中電灯を使用します。

バッテリーの電極間に金属を入れて充電状態を確認することは絶対にしないでください。 電圧計または比重計を使用します。

バッテリーの接続を外すときはアース側 (-) のクランプを必ず最初に外し、バッテリーを接続するときはアース側を必ず最後に接続します。

バッテリー電解液の硫酸は有害で強力なので、やけどをしたり、衣類に穴が開いたり、目にはねると失明する恐れがあります。

危険回避のための注意事項

- 十分に換気された場所でバッテリ液を補充してください。
- ゴーグルとゴム手袋を着用してください。
- バッテリ清掃に圧縮空気を使用しないでください。
- 電解液の追加時にガスを吸い込まないようにしてください。
- 電解液をこぼしたり、たらさないようにしてください。
- バッテリブースターやバッテリ充電器は正しい手順で使用してください。

酸が皮膚や目にかかった場合の処置

1. 水で洗い流してください。
2. 酸を中和するため、重曹または石灰をかけてください。
3. 目に入った場合は、15 ~ 30 分間水で洗い流してください。 直ちに治療を受けてください。

酸を飲み込んだ場合の処置

1. 吐出しようとしないでください。
2. 大量の水または牛乳を飲んでください。ただし 2 L (2 qt.) を超えないこと。
3. 直ちに治療を受けてください。

警告： バッテリ電極、端子、および関連アクセサリには、癌の原因になったり、生殖機能に有害なことがカリフォルニア州により確認されている鉛や鉛化合物が含まれています。 **取り扱い後は手を洗ってください。**

DX,WW,BATTERIES-40-02DEC10

加圧流体ライン近くでの加熱の回避



TS953—UN—15MAY90

加圧流体ラインの近くで加熱を行なうと、引火性の噴霧が生成され、自身や近くの人に大やけどをさせる可能性があります。 加圧流体ラインやその他の引火性材料の近くで溶接、はんだ付け、またはトーチ使用によ

る加熱を行わないでください。 作業域を越えて熱が伝わると、加圧ラインが誤って破裂する恐れがあります。

DX,TORCH-40-10DEC04

溶接または加熱作業前の塗料の除去



TS220—UN—15APR13

有毒ガスや粉塵が出ないようにしてください。

溶接、はんだ付け、またはトーチの使用によって塗料が加熱されると、有害なガスが発生する可能性があります。

加熱前に次のように塗料を除去してください。

- 加熱の影響を受ける領域から最低 100 mm (4 in)、塗料を除去してください。 塗料を除去できない場合は、適切なマスクを着用してから加熱や溶接を行ってください。
- 塗料を研摩する場合は、粉塵を吸い込まないようにしてください。 適切なマスクを着用してください。
- 溶剤や塗料除去剤を使用した場合は、溶接の前にせっけんと水で除去剤を洗い流してください。 溶剤または塗料除去剤の容器や、その他の引火性材料は作業域から遠ざけてください。 溶接または加熱前に最低 15 分間有毒ガスを消散させてください。

溶接を行う作業域で塩素系溶剤を使用しないでください。

有毒なガスや粉塵を消散させるために、すべての作業は十分に換気された場所で行ってください。

塗料や溶剤は適切に処分してください。

DX,PAINT-40-24JUL02

電子部品とブラケットの安全な取り扱い



TS249—UN—23AUG88

装置への電子部品の取り付けまたは取り外し中に落下すると、大けがをすることがあります。 取り付け位置に容易に近づけるように、はしごや作業台を使用してください。 安全で強固な足場と手掛りを使用してください。 濡れたり凍ったりした状態での部品の取り付け、取り外しは避けてください。

RTK 基地局をタワーその他の高架構造物に設置したり、整備する場合は、認可された昇降器具を使用してください。

インプルメントに使用する測位受信機のマストを設置したり、整備する場合は、適切なつり上げ方法を使用して適切な保護具を着用してください。 マストは重いので、取り扱いは容易ではありません。 地上または整備用作業台から近づけない取り付け位置での作業は、2 人で行ってください。

DX,WW,RECEIVER-40-24AUG10

安全メンテナンスの実行



TS218—UN—23AUG88

作業を開始する前に、整備の手順を確認してください。作業域を清潔で乾いた状態に保ってください。

機械が動いている間は、絶対に潤滑、整備、調整を行わないでください。動力で駆動される部品から手、足、衣服を遠ざけてください。すべての電源および操作スイッチをオフにして圧力を下げてください。装置を地面に降ろします。エンジンを停止します。キーを抜きます。機械が冷めるまで待ちます。

整備作業を行うために持ち上げる必要のある機械部品はしっかりと支持してください。

すべての部品を良好な状態、および正しく取り付けられた状態に保ってください。破損は速やかに修理してください。摩耗または破損している部品は交換してください。堆積したグリース、オイル、破片などは取り除いてください。

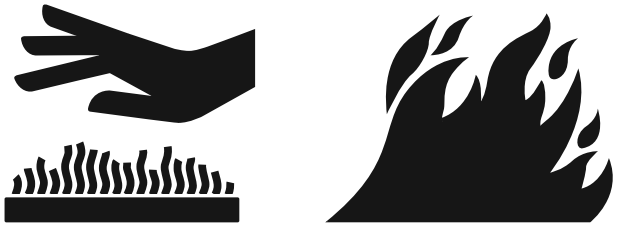
自走式装置では、電気システムの調整や機械の溶接作業の前に、バッテリーのアースケーブル (-) の接続を外してください。

牽引式装置では、電気システム部品の整備や機械の溶接作業の前に、トラクターからワイヤハーネスの接続を外してください。

高所での清掃や作業中に落下して大けがをすることがあります。各位置に容易に到達できるよう、はしごや作業台を使用してください。安全でしっかりした足場と手すりを使用してください。

DX,SERV-40-28FEB17

高温排気の回避



RG17488—UN—21AUG09

エンジンの運転中に機械や付属品の整備を行うと、大けがをすることがあります。 高温の排気ガスにさらされたり、高温の部品に触れたりしないように気を付けてください。

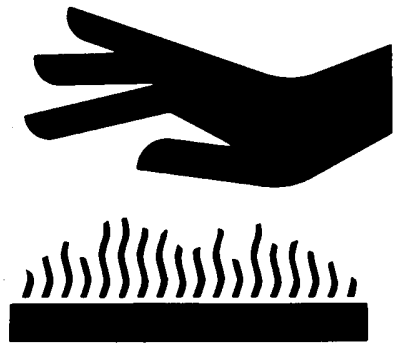
排気部品や排気流は運転中非常に熱くなります。 排気ガスや部品は、やけど、発火を引き起こしたり、一般材料を溶かすほど高温になります。

DX,EXHAUST-40-20AUG09

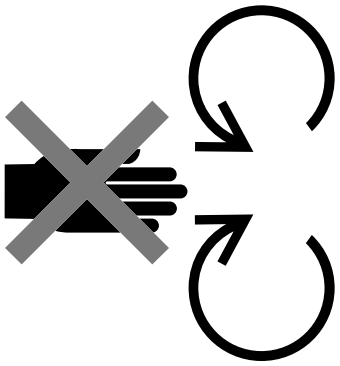
エグゾーストフィルタの安全なクリーニング



TS227—UN—15APR13



TS271—UN—23AUG88



TS1693—UN—09DEC09



TS1695—UN—07DEC09

自動または手動 / 駐車エグゾーストフィルタクリーニング中に、エンジンは高アイドル回転数、高温の状態で長時間運転します。 排気ガスやエグゾーストフィルタは、やけど、発火を引き起こしたり、一般材料を溶かすほど高温になります。

機械から人や動物、また熱い排気ガスや部品から悪影響を受けて損傷を受ける可能性のある構造物を遠ざけてください。 排気管近くの引火性物質や蒸気による火災や爆発の危険性を避けてください。 エグゾーストアウトレットから人員を遠ざけ、熱で溶け、燃え、爆発する物がないようにしてください。

エグゾーストフィルタクリーニング中とその後には、機械と周辺をよく見てくすぶっているゴミがないことを確認してください。

エンジン運転中の給油は火災や爆発の危険を伴います。 必ずエンジンを停止し、こぼれた燃料をきれいにしてから給油してください。

機械をトラックやトレーラーで運搬する際は、必ずエンジンを停止してください。

排気系部品がまだ熱い時に触れると、重傷を負う可能性があります。

これらの部品には、安全な温度に冷めるまでは触らないでください。

整備手順でエンジンを運転する必要がある場合

- 整備手順で必要がある場合のみ、動力で駆動される部品を接続してください。
- オペレータステーションと機械から他の人を遠ざけてください。

動力で駆動される部品から手、足、衣服を遠ざけてください。

オペレータステーションを去る前に、常に動きを停止し (ニュートラル) 、パーキングブレーキを入れるかパーキング機構をかけ、アタッチメントやツールから動力を切断してください。

機械から離れる前に、エンジンを停止し、キーを抜いてください (装備されている場合)。

DX,EXHAUST,FILTER-40-12JAN11

作業場所の換気



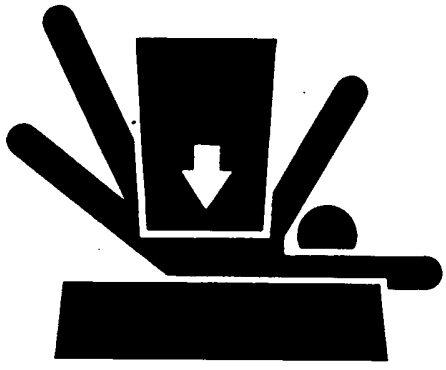
TS220—UN—15APR13

エンジンの排気ガスは病気や死亡の原因になる可能性があります。 閉鎖された場所でエンジンを運転する必要がある場合は、排気管エクステンションを使って排気ガスを除去してください。

排気管エクステンションがない場合は、ドアを開けて外気を取り入れてください。

DX,AIR-40-17FEB99

機械の適切な支持



TS229—UN—23AUG88

機械に作業をする前には必ずアタッチメントやインプルメントを地面まで下降させてください。 作業で機械やアタッチメントを持ち上げておく必要がある場合は、これらをしっかりと支持してください。 油圧で支持された機器を上昇位置に保っておくと、少しずつ下がったり、漏れにより下降することがあります。

軽量コンクリートブロック、中空のタイル、支柱など

で機械を支えないでください。これらは連続負荷によりくずれる可能性があります。 ジャッキのみで支持されている機械の下では作業をしないでください。 このマニュアルに記載の推奨手順に従ってください。

機械でインプルメントやアタッチメントを使用する際は、インプルメントやアタッチメントのオペレータマニュアルに記載されている安全上の注意事項に常に従ってください。

DX,LOWER-40-24FEB00

機械の暴走防止



TS177—UN—11JAN89

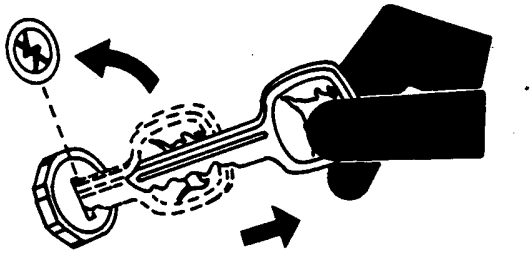
機械の暴走による死傷事故が起きないようにしてください。

スタータ端子を短絡させてエンジンを始動しないでください。 通常の回路がバイパスされると、機械はギアが入った状態で始動します。

絶対に、床や地面に立ったままエンジンを始動しないでください。 エンジンの始動は、運転席から、ギアをニュートラルまたはパーキングにした状態でのみ行ってください。

DX,BYPAS1-40-29SEP98

機械の安全な駐車



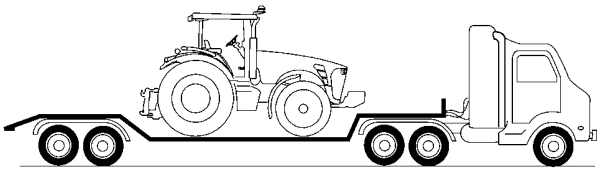
TS230—UN—24MAY89

機械で作業をする前に

- すべての装置を地面に降ろします。
- エンジンを停止し、キーを抜いてください。
- バッテリのアースケーブルの接続を外してください。
- オペレータステーションに「DO NOT OPERATE」(運転禁止) タグをかけてください。

DX,PARK-40-04JUN90

トラクターの安全な輸送



RXA0103709—UN—01JUL09

動かなくなったトラクターは平台トレーラーで輸送するのが最も適切です。 トラクターはチェーンを使用してトレーラ上にしっかり固定してください。 取り付け場所としては車軸とトラクターのフレームが適しています。

低床トラックや平台貨車でトラクターを搬送する前に、トラクターのエンジンボンネットがしっかりと固定され、ドア、屋根ハッチ (装備されている場合)、窓が完全に閉まっていることを確認してください。

10 km/h (6 mph) を超える速度で絶対にトラクターを牽引しないでください。 オペレータは、牽引中のトラクターの操舵とブレーキの操作を行ってください。

DX,WW,TRANSPORT-40-19AUG09

冷却システムの安全な整備



TS281—UN—15APR13

加圧された冷却システムから流体が噴出すると、大やけどをすることがあります。

エンジンを停止します。 素手で触れられるぐらい冷めてからのみ、フィラーキャップを外してください。 完

全に外す前に、最初に止まるところまでキャップをゆっくりと緩めて圧力を解放してください。

DX,WW,COOLING-40-19AUG09

アキュムレータシステムの安全な整備



TS281—UN—15APR13

エアコン、油圧系、エアブレーキシステムで使用されている圧力のかかったアキュムレータ系統からの液体やガスは、重大なけがを引き起こすことがあります。アキュムレータは過熱により爆発し、圧力のかかったラインが切れる事故が起こることがあります。 圧力のかかったアキュムレータや圧力のかかったラインの近くでは溶接をしたりトーチを使用しないでください。

アキュムレータを取り外す前に、圧力のかかったシステムから圧力を抜いてください。

アキュムレータを取り外す前に、圧力のかかったシステムから圧力を抜いてください。 継手を緩めて油圧システムやアキュムレータから絶対に圧力を抜かないでください。

アキュムレータは修理できません。

DX,WW,ACCLA2-40-22AUG03

タイヤの安全な整備



RXA0103438—UN—11JUN09

タイヤやリム部品の破裂は死傷事故の原因となることがあります。

適切な装置と十分な経験がない場合は、タイヤの取り付けを行わないでください。

常に正しいタイヤ空気圧を維持してください。推奨タイヤ空気圧を超えてタイヤに空気を入れないでください。決して、ホイールおよびタイヤアセンブリを溶接したり加熱したりしないでください。加熱すると空気圧が上がり、タイヤが爆発します。溶接すると、ホイールが構造的に弱くなったり、変形することがあります。

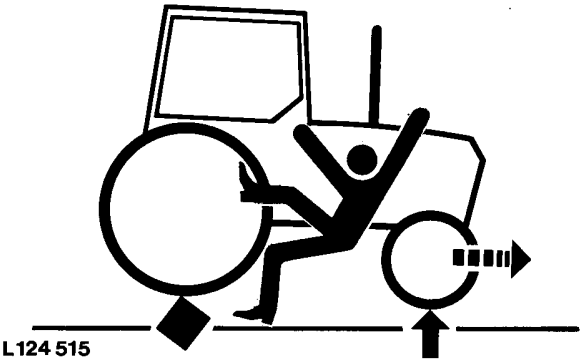
タイヤに空気を入れるときは、クリップオン式のチャックと、タイヤアセンブリの前や上ではなく片側に立つことができる程度に十分長い延長ホースを使用してください。必要に応じて安全ケージを使用してください。

ホイールを点検し、圧不足、切れ、泡、リムの損傷、ラグボルトとナットの不足がないかどうかを確認します。

ホイールとタイヤは非常に重量があります。ホイールとタイヤを取り扱うときは、安全なリフト装置を使用するか、持ち上げ、取り付け、または取り外しのアシスタントを依頼してください。

DX,WW,RIMS-40-28FEB17

前輪駆動トラクターの安全な整備

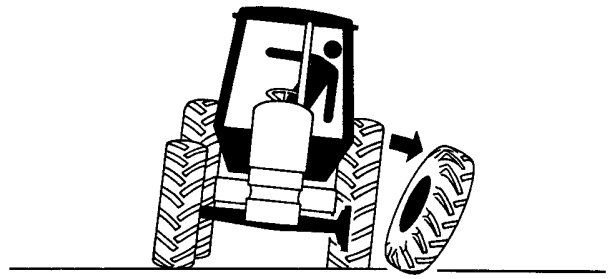


L124515—UN—06AUG94

前輪駆動のトラクターの後輪を地面から浮かせるように支持し、エンジンの動力でホイールを回転させながら整備する場合は、常に前輪を同様の方法で支持してください。 電力またはトランスミッション用油圧システムの圧力が失われると、フロント駆動輪に動力が伝わり、前輪が持ち上げられていない場合は後輪がサポートから引き離されます。 このような条件では、フロント駆動輪はスイッチが切断位置にあってもかむ合うことがあります。

DX,WW,MFWD-40-19AUG09

ホイール取り付けボルト / ナットの締め付け



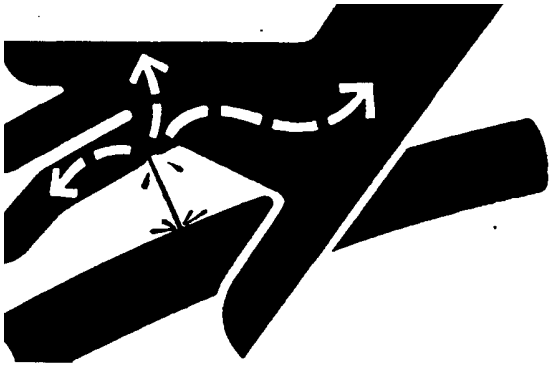
L124 516

L124516—UN—03JAN95

ホイール取り付けボルト / ナットは、「慣らし運転期間」と「整備間隔」のセクションで指定されている間隔で締め付けてください。

DX,WW,WHEEL-40-12OCT11

高圧流体の回避



X9811—UN—23AUG88

油圧ホースは – 1 年に 1 回以上 – 漏れ、よじれ、切れ、亀裂、摩耗、膨れ、腐食、ワイヤブレードの露出、または他の摩耗または損傷の兆候がないか定期的に点検してください。

摩耗または損傷しているホースアセンブリは John Deere 認定交換部品とただちに交換してください。

圧力がかかっている液体が噴き出すと、皮膚に浸透して大けがをするおそれがあります。

油圧ラインや他のラインの接続を外す前に圧力を解放して、危険を回避してください。また、圧力をかける前にすべての接続をしっかり締めてください。

ボール紙で漏れを探してください。手や身体を高圧流体から保護してください。

事故が発生した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚にかかった液体は、数時間以内に外科的に除去する必要があります。除去しないと、壊疽を引き起こす場合があります。このような外傷に慣れていない医師は、専門医療機関に問い合わせてください。このような情報は、Deere & Company Medical Department (Moline, Illinois, U.S.A.) (電話番号 1-800-822-8262 または +1 309-748-5636) から入手できます。

DX,FLUID-40-12OCT11

高圧燃料システムの開放禁止



TS1343—UN—18MAR92

燃料ラインに残っている高圧流体により、大けがをすることがあります。この種類のシステムを熟知している技術者のみが修理を行ってください。高圧燃料ポンプと、高圧コモンレール (HPCR) 燃料システムを備えたエンジンのノズルの間にある燃料配管、センサー、その他の部品を取り外したり、修理したりしないでください。

DX,WW,HPCR1-40-07JAN03

アタッチメントの安全な保管



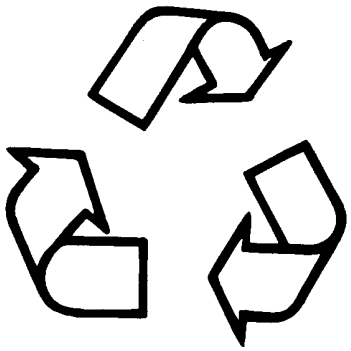
TS219—UN—23AUG88

デュアルホイール、ケージホイール、ローダーなどの保管されているアタッチメントは落下して、重傷や死亡事故の原因になることがあります。

落下しないように、アタッチメントや作業機をしっかりと保管してください。保管場所で子供が遊んだり、人が近づいたりしないようにしてください。

DX,STORE-40-03MAR93

廃棄 — フルードや部品の適切なリサイクルと廃棄



TS1133—UN—15APR13

機械や部品の廃棄時は、安全と環境の管理対策を考慮する必要があります。これらの対策には、以下が含まれます。

- 物や機材の取り外しまたは取り扱い中は、衣服、手袋、顔面保護用遮蔽具、メガネなど、適切な工具や個人用保護具を使用してください。
- 特殊部品に関する指示に従ってください。
- サスペンション式機械要素を下げる、スプリングを緩める、バッテリーやその他の電源の接続を外す、油圧部品、アキュムレータ、他の同様のシステムの圧力を解放するなどにより、蓄積されているエネルギーを解放してください。
- 肥料や殺虫剤など、農薬が残っている可能性がある部品には可能な限り触れないでください。これらの部品は適切に取り扱って廃棄してください。
- エンジン、燃料タンク、ラジエータ、油圧シリンダ、リザーバー、ラインから慎重に抜き取ってからこれらの部品をリサイクルしてください。フルードを抜き取るときは漏れない容器を使用してください。食品や飲料水用の容器を使用しないでください。
- 排水を地面、排水管、水源に流さないでください。
- 次の廃棄物の取り扱いや廃棄に関する国や地方自治体の法律、規則、指示に従ってください。排水(例：オイル、燃料、クーラント、ブレーキフルード)、フィルタ、バッテリー、その他の物質や部品。専用の焼却炉以外で可燃性の液体や部品を燃やすことは法律により禁止されている場合があり、有害ガスや灰にさらされる可能性があります。
- エアコンシステムの整備や廃棄は適切に実施してください。国の規則では、認定サービスセンターでエアコン冷媒の回収とリサイクルを行うことが要求されている場合があます。エアコン冷媒は大気中に放出された場合、大気を汚染する可能性があります。
- タイヤ、金属、プラスチック、ガラス、ゴム、電子部品のリサイクルオプション (部分的に、または完全にリサイクル可能かどうか) を評価してください。
- 廃棄物の適切なリサイクルや廃棄方法については、地域の環境センターやリサイクルセンター、または John Deere 取扱店にお問い合わせください。

DX,DRAIN-40-01JUN15

安全標識

絵入りの安全標識

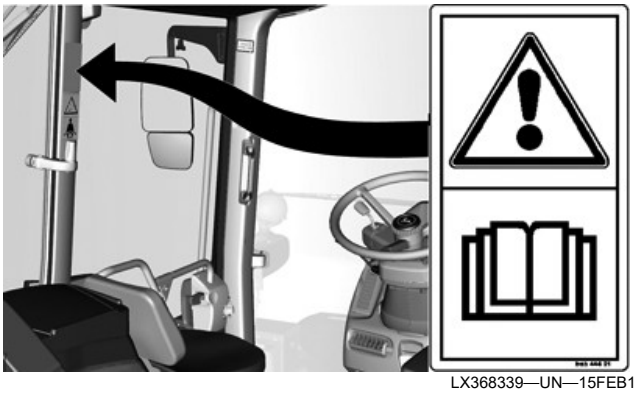


TS231—40—20JUN12

この機械のいくつかの重要な場所には、潜在的な危険を知らせるために安全標示ラベルが貼られています。危険要素は、警告用三角ラベルの絵で示されます。隣接する絵はけがを防ぐための情報を提供します。これらの安全標識、機械上の安全標識の位置、および簡単な説明を以下に示します。

OULXA64,EU01,LABEL,0005317-40-22SEP23

取扱説明書



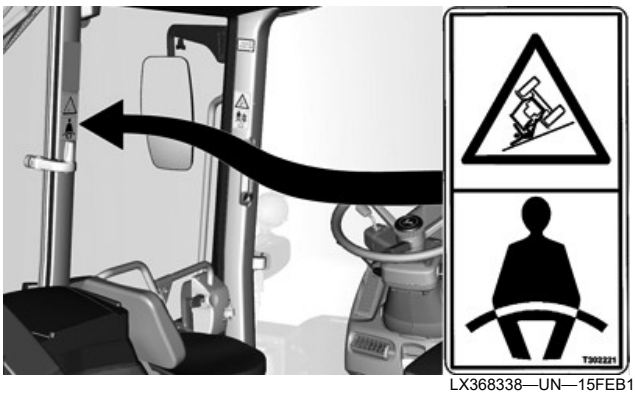
LX368339—UN—15FEB19

注意： けがの危険を回避してください。

この取扱説明書には、機械を安全に運転する上で必要な重要な情報と、安全標示ラベルについての説明が記載されています。事故を防止するため、安全上の注意事項をすべて注意深く守ってください。

OULXA64,EU02,CAB,6M,000556B-40-22SEP23

シートベルトの適切な着用



LX368338—UN—15FEB19

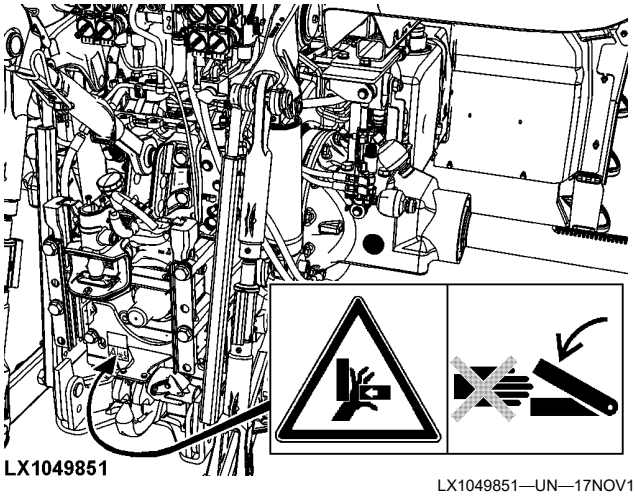
注意： トラクターの転倒による深刻な圧挫傷や死亡事故を防止してください。

この機械には転倒時保護構造 (ROPS) が装備されています。転倒時保護構造を使用する際は、必ずシートベルトを着用してください。

- ラッチを保持し、シートベルトを引いて体にかけます。
- ラッチをベルトのバックルに挿入します。
- カチッと音がするまで差し込みます。
- シートベルトのラッチを引張って、ベルトがしっかり固定されていることを確認します。
- シートベルトを腰にぴったり合わせてください。

OULXA64,EU04,CAB,6M,000556C-40-22SEP23

ピックアップヒッチ



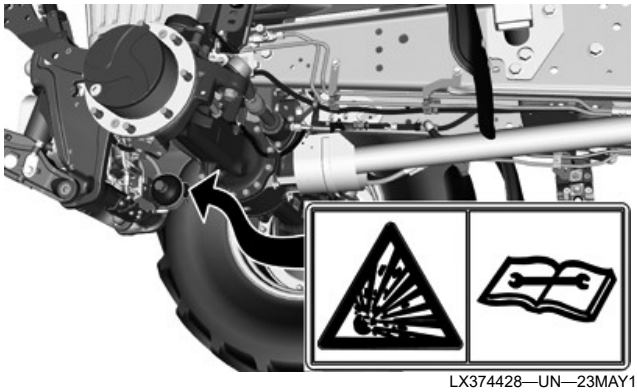
LX1049851—UN—17NOV10

注意： 押しつぶしや挟み込みによるけがを防止してください。

作業機を着脱する際には、トラクターと作業機の間に挟まれる危険があります。ピックアップヒッチを操作中は、ピックアップヒッチの部品から離れてください。

OULXA64,EU07,000556D-40-22SEP23

フロントヒッチの圧力アキュムレータ (トリプルリンクサスペンションなしのトラクター)



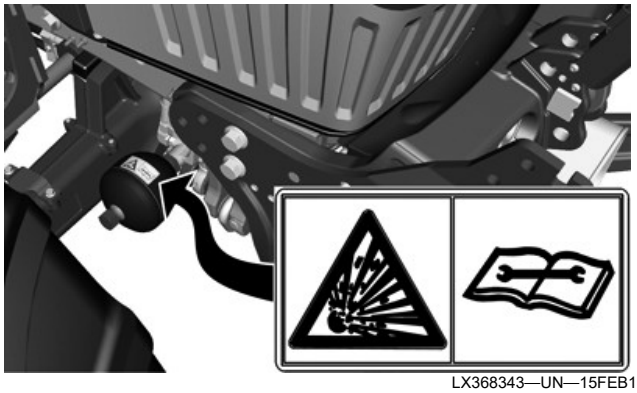
LX374428—UN—23MAY19

注意： 押しつぶされてけがをしないようにしてください。噴出する液体によるけがを防止してください。

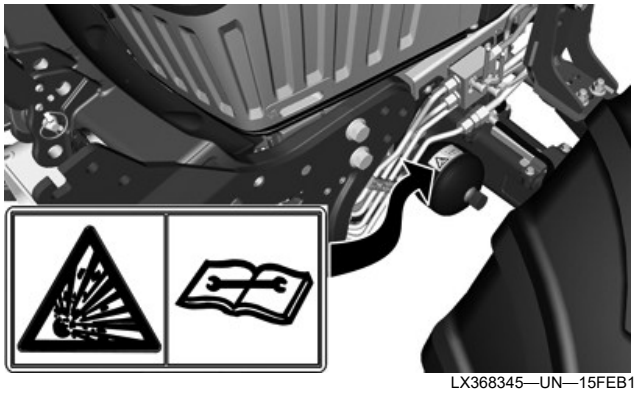
圧力を解放すると機械が動き、圧力がかかった液体が噴出するおそれがあります。システムの整備を行う前に、圧力の解放手順について John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

OULXA64,EU09,000556E-40-16JUL25

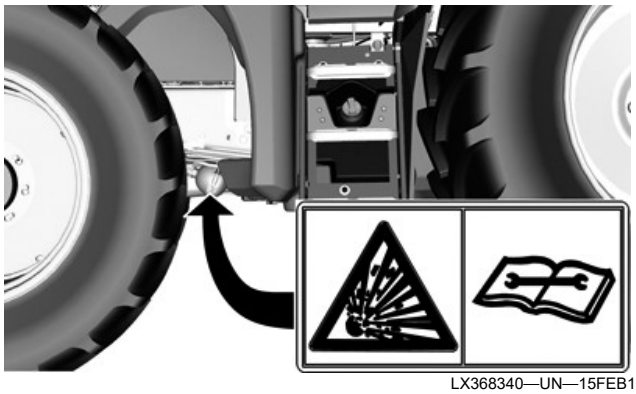
フロントアクスルサスペンションの圧力アキュムレータ



LX368343—UN—15FEB19



LX368345—UN—15FEB19



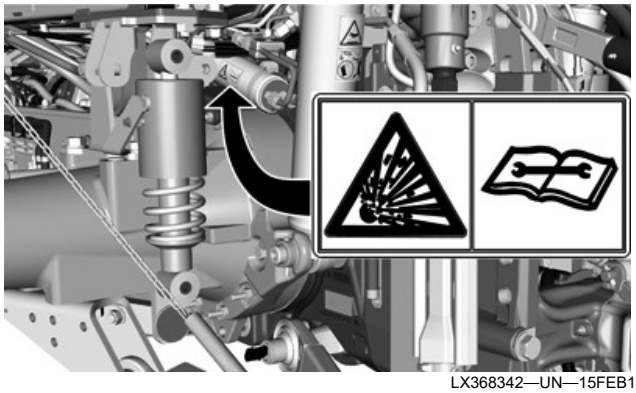
LX368340—UN—15FEB19

注意： 押しつぶされてけがをしないようにしてください。噴出する液体によるけがを防止してください。

圧力を解放すると機械が動き、圧力がかかった液体が噴出するおそれがあります。システムの整備を行う前に、圧力の解放手順について John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

OULXA64,EU10,MCtoMX,00057AE-40-16JUL25

ブレーキシステムの圧力アキュムレータ



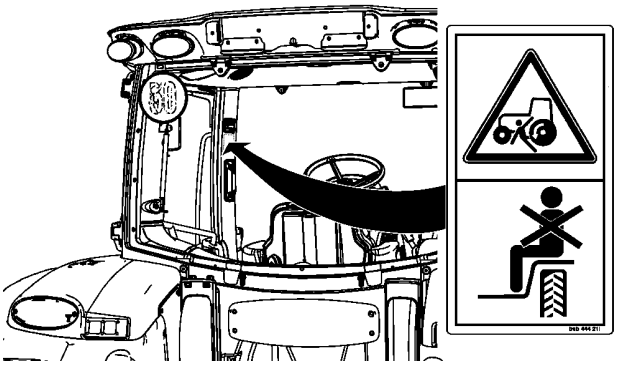
LX368342—UN—15FEB19

注意： 押しつぶされてけがをしないようにしてください。噴出する液体によるけがを防止してください。

圧力を解放すると機械が動き、圧力がかかった液体が噴出するおそれがあります。システムの整備を行う前に、圧力の解放手順について John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

OULXA64,EU12,6M,MC,00058A7-40-17JUL25

同乗禁止 (中国向けのみ)



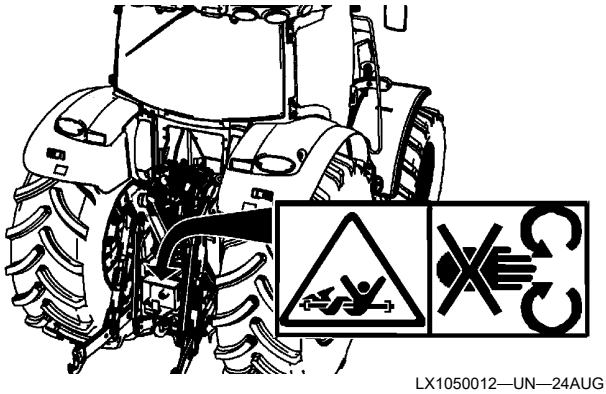
LX1050015—UN—26AUG11

注意： 転落と衝突を回避してください。

同乗は禁止されています。機械に人が乗ると、異物に当たったり機械から振り落とされてけがを負う可能性があります。また、同乗者がオペレータの視界の妨げとなり、機械の安全な操作が損なわれることがあります。

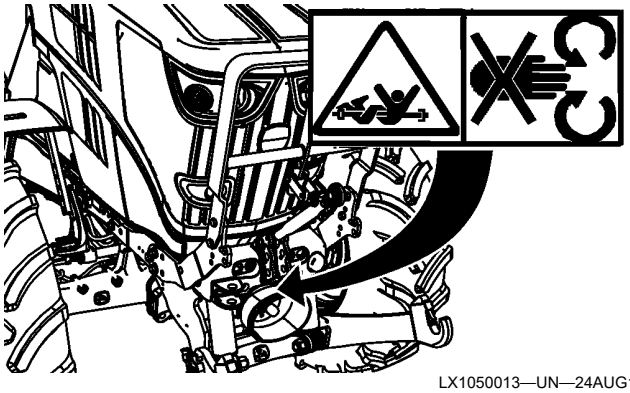
OULXA64,EX01,China,0005570-40-22SEP23

PTO およびインプルメントの回転部品 (中国のみ)



LX1050012—UN—24AUG11

リア PTO



LX1050013—UN—24AUG11

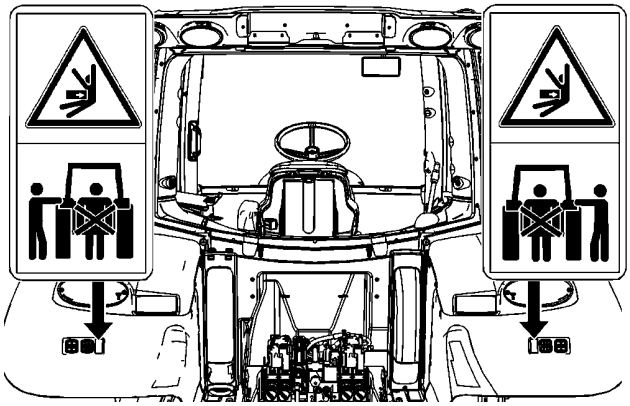
フロント PTO (装備されている場合)

注意： 巻き込まれに注意してください。

回転する部品から離れてください。エンジンを停止し、すべての部品の回転が停止するまで待ってください。

OULXA64,EX02,China,000531E-40-22SEP23

ヒッチリモートコントロール (中国向けのみ)



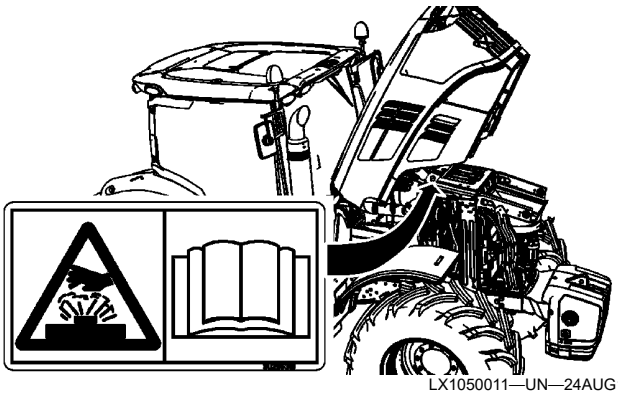
LX1057495—UN—10DEC14

注意： 挟み込みによるけがに注意してください。

作業機を着脱する際には、トラクターと作業機の間に挟まれる危険があります。ヒッチを取り付けるときは、3 点ヒッチが上昇する区域から離れ、その区域への立ち入りを禁止してください。

OULXA64,EX04,China,000531F-40-22SEP23

エンジン冷却システム (中国のみ)



LX1050011—UN—24AUG11

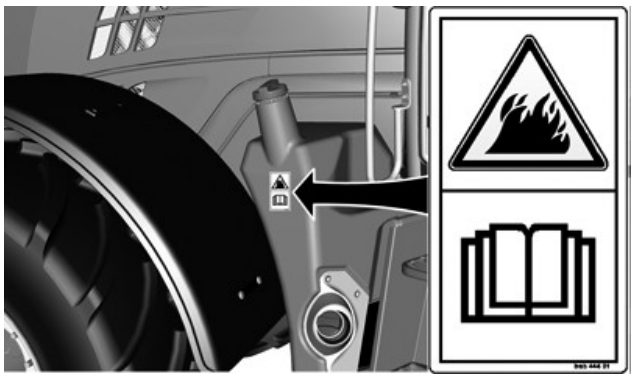
注意： やけどを防止してください。

クーラントには高い圧力がかかっています。キャップを取り外す前に、冷却システムが冷めて圧力が低下するまで十分な時間をかけてください。

エンジンを停止し、フードを開けて、冷却システムが冷めるまで待ってください。冷却システムのホースが十分に冷めて素手で触れるようになるまでは、キャップを開けないでください。最初はキャップを少しだけ緩めて圧力を低下させ、その後完全に緩めてください。

OULXA64,EX05,China,0005320-40-22SEP23

燃料タンク (中国向けのみ)



LX364066—UN—25OCT18

注意： 燃料は慎重に取り扱ってください。高い引火性があります。

喫煙中に、または直火やスパークの近くでは給油しないでください。

必ずエンジンを停止してから給油してください。燃料の給油は必ず屋外で行ってください。

廃棄物、油脂類、堆積物が機械にたまらないように清掃して、火災を防止してください。こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。

OULXA64,EX06,China,0005321-40-22SEP23

.

LX25458,00009AE-40-05JUN20

車両の概要

識別図



LX364421—UN—23AUG19

運転キャビンと追加装置付きトラクター

OULXA64,SP1,4WD,EU,00058A8-40-17NOV20

識別図



LX364395—UN—15MAY19

運転キャビンと追加装置付きトラクター

OULXA64,SP1,2WD,EX,00058A9-40-17NOV20

一般情報とマニュアルの範囲

本マニュアルは詳細な整備マニュアルではありません。機械の操作と定期メンテナンスに関する情報を中心に記載しています。より詳細な整備情報については、テクニカルマニュアルを注文してください。www.techpubs.deere.com (Ag&Turf/JDPS) を参照してください。

重要：地域の特殊性や個々の車両の構成に応じて、該当する装置が使用可能な場合のみ仕様が適用されます。

この構成は車両の注文情報に記載されています。

その後の追加と改造も考慮する必要があります。

- この取扱説明書の技術情報は、印刷時点での最新の情報に対応しています。
- 内容には国やモデル固有の差異がある可能性があります。ここで説明しているすべてのオプションがお使いのトラクターに装備されているわけではないことを考慮してください。
- 国によっては、記載されている一部のモデルと機器のタイプが使用できない場合があります。
- オプション装置と関連する仕様について質問がある場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

LX25458,00009B0-40-11JUL25

本取扱説明書の使用方法

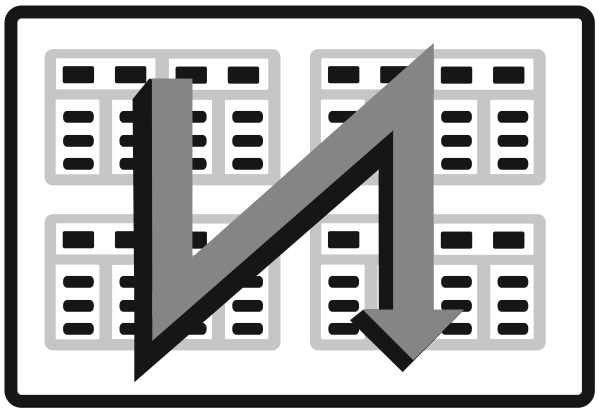
この取扱説明書の情報は複数のセクションに分かれています。セクションは、機械の代表的な特長や機能システム別に整理されています (エンジン、電気、油圧、トランスミッションなど)。これらのセクションは、各ページの上部で確認できます。各セクション内の特定の情報は、ブロック単位で整理されています。これらの基本ブロックはボックスで囲まれ、主要基本単位は左上の見出しで識別できます。ページ番号は、セクションとそのセクションのページを示しています。

このマニュアルを頻繁に読むと、どのセクションで特定の情報を確認できるか理解できます。例：

- 安全情報は巻頭で扱っています。
- すべての機能やシステムの操作はマニュアルの前半で扱っています。
- メンテナンス間隔は、この取扱説明書の中間に記載しています。
- すべての機能やシステムのメンテナンスについては、マニュアルの後半で扱っています。
- 仕様は最後に掲載しています。

詳細な目次の表を用語集の前に掲載しています。また、本取扱説明書の最後にあいうえお順の索引を掲載しています。

取扱説明書の内容は、段落ごとに左から右に表示されます。

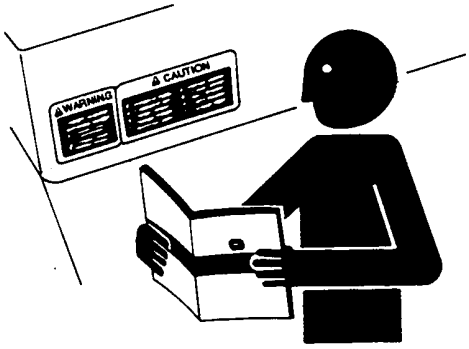


W28329—UN—18OCT17

図のように、文や図は段落内で上から下に連続的に表示されます。

LX25458,MY20,00009B1-40-28MAR23

作業機メーカーの取扱説明書の順守



TS201—UN—15APR13

注意：作業機やトレーラーに関するメーカーの規定および関連する取扱説明書に従わないことにより、重傷や死亡事故の危険が生じます。

装備した装置やトレーラーと一緒にを操作する前に、オペレータは関連するオペレータマニュアルをよく理解する責任があります。オペレータの誤りは重大な結果を引き起こすことがあります。

連結されている装置およびトレーラーのオペレータマニュアルと安全ステッカーは、これらの装置を安全に操作する方法に関する重要な情報を提供します。このため、作業を開始する前にこれらの装置をよく理解することが重要です。本取扱説明書はトラクターのすべてのオペレータが利用できるようにする必要があります。

LX25458,MY20,00009B2-40-27MAR23

EU 認可の非常時使用 — SCR ディレートオーバーライド (ディレート無効化) オプション

注記： これは EU のみのオプションです。

重要： **排出ガス関連のディレートなしにエンジンを運転すると、後処理装置が損傷する可能性があります。**

説明：**EU 認可の非常時使用 — SCR ディレートオーバーライド (ディレート無効化) オプション**

EU 規則により、このエンジンは、認可された非常時中にオペレータ誘導の無効化手段 (SCR ディレートオーバーライド) を装備できます。このオプションの使用は、国または地域の政府、非常時サービス機関、または軍により宣言された非常時中にのみ許可されます。この機能の起動はオンボードコンピュータのログに記録され、国の検査機関はこれらの記録をスキャンツールで読み取ることができます。

非常時 SCR ディレートオーバーライドは、認可された非常事態中に、選択触媒還元 (SCR) を装備したアプリケーションを排出ガス関連のディレートなしに操作できるようにします。認可された非常事態とは、エンジンの排出ガス規制により人命に対して直接的または間接的に重大な危険が及ぶ状況を指します。直接的な危険の例としては、排出ガス規制の条件により、人命が失われようとする事態から人を救出するためのエンジンの動作が禁じられるような状況が挙げられます。間接的な危険の例としては、排出ガス規制の条件により、「911」の緊急連絡をルーティングするデータセンターに電力を供給するエンジンの運転が禁止される状況が挙げられます。

非常時 SCR ディレートオーバーライドの起動 / 報告

オペレータは、オペレータインターフェースを介して非常時 SCR ディレートオーバーライドを起動できます。起動すると、排出ガス関連のディレートなしにエンジンを 120 時間の間運転できます。120 時間の間にディレート条件が修正された場合は、非常時 SCR ディレートオーバーライドを一時停止して、残りの時間を今後のために保留しておくことができます。非常時 SCR オーバーライドを起動した後、このオプションは 240 時間が経過すると残り時間とともに期限が切れます。

非常時 SCR ディレートオーバーライドの期限が切れると、エンジンを始動するたびにエンジンの情報を提供する診断トラブルコード (DTC) がオペレータに表示され、オペレータが確認するまで 1 時間ごとに表示されます。次に使用するときのために DTC を消去して非常時 SCR ディレートオーバーライドのタイマーをリセットするには、オペレータ (またはエンジン / 装置の他の責任者) が以下の内容を記載したレポートを John Deere™ 販売店テクニカルアシスタンスセンターに提出する必要があります：

- 責任がある企業または組織の担当者の氏名、住所、メールアドレス、電話番号
- 非常事態についての説明、非常事態発生時のエンジンの場所、非常事態を立証できる当局担当者の連絡先 (州保安官、消防署員、病院職員など)
- 非常事態発生中の非常時 SCR ディレートオーバーライドの起動の理由 (排ガス処理用尿素水 (DEF) の不足、非常事態に応答してエンジンで必要であった場合の排出ガス関連センサーの故障など)
- エンジンシリアル番号
- 非常時 SCR ディレートオーバーライド起動中のエンジン運転範囲と時間の説明 (非常事態終了後にオーバーライドを手動で無効にしたかどうかの記述を含む)

いかなる場合も、非常用 SCR ディレートオーバーライドを起動した後 60 日よりも遅れて John Deere™ または他の資格を有するサービス提供者にレポートを提出することはできません。

法的通知

この機能の起動はオンボードコンピュータのログに記録され、国の検査機関はこれらの記録をスキャンツールで読み取ることができます。

DX,SCR,EMRGNCY,OVERIDE,EU-40-19JAN18

重要なエンジン情報

保証は、許可されていないエンジン設定により生じたエンジンや駆動列の損傷には適用されません。

このエンジンに適用される排ガス規制に違反する操作は訴追を受ける場合があります。

020,001,ALL,LX25458,00009B4-40-10APR24

ターボチャージャ付きエンジン

ターボチャージャの損傷のほとんどは、エンジンの始動および停止時に適切な手順に従わないことが原因です。始動後および停止前に、エンジンを無負荷で 30 秒以上アイドリングします。

重要： **エンジン運転中にエンジンが停止した場合は、直ちに再始動してください。これによりターボチャージャのオーバーヒートを防止します。**

020,002,ALL,LX25458,00009B5-40-21JUL25

エンジンの保護

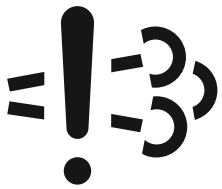
燃料系統とエンジンの故障は停止灯によって示され、注意灯と情報灯が点灯します。さらに、メッセージがコーナーポストディスプレイに表示されます。

注記： 発生する可能性があるエラーと診断トラブルコードについて詳しくは、燃料系統の部品マニュアルを参照してください。

020,003,ALL,MY20,LX25458,0009B6-40-16JUL25

機械停止必要警告

機械の停止が必須である条件が発生しました



RG22491—UN—21AUG13

重要：状況によっては、説明のように機械のエンジン出力が減少することがあります。通知された場合、機械をすぐに安全な状態にするか、安全な場所に移動させてください。必須の機械停止を削除できるのは、整備技術者だけです。

排出ガス関連の故障が発生すると、エンジン排出ガスシステム故障表示灯が点灯します。



RG22492—UN—21AUG13

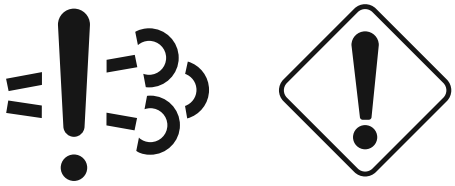
オペレータによる処置を必要とする条件が存在する場合、警告表示灯が点灯します。



RG22493—UN—21AUG13

エンジン STOP 表示灯は、オペレータによる即時の処置と整備を必要とする条件が存在する場合に点灯します。

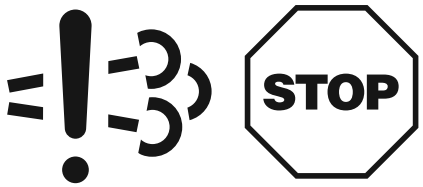
排出ガスシステムの故障の発生



RG26361—UN—04SEP14

「30 minutes remaining, Emissions System Malfunction (残り 30 分、エンジン排出ガスシステム故障)」と表示され、警告灯が点灯し、アラームが鳴って排出ガス関連の故障をオペレータに警告します。ディスプレイ付きの機械では、「Less than 30 minutes to Power Restriction (出力制限まで 30 分未満です)」と表示されます。

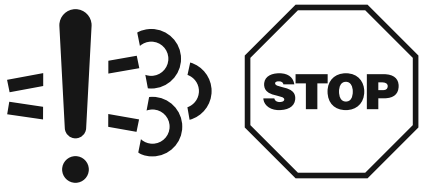
- エンジン出力は正常です。
- 機械の操作は正常です。
- 機械を安全な状態にしてください。
- 整備会社に連絡してください。



RG26972—UN—26MAR15

「20 minutes remaining, Emissions System Malfunction (残り 20 分、エンジン排出ガスシステム故障)」と表示され、警告灯が点灯し、アラームが鳴って排出ガス関連の故障をオペレータに警告します。ディスプレイ付きの機械では、「Less than 20 minutes to Power Restriction (出力制限まで 20 分未満です)」と表示されます。

- エンジン出力とトルクは下げられます。
- キーをオフにしてオンにすると、一時的にフル出力が得られます。
- 機械を安全な状態にしてください。
- 整備会社に連絡してください。



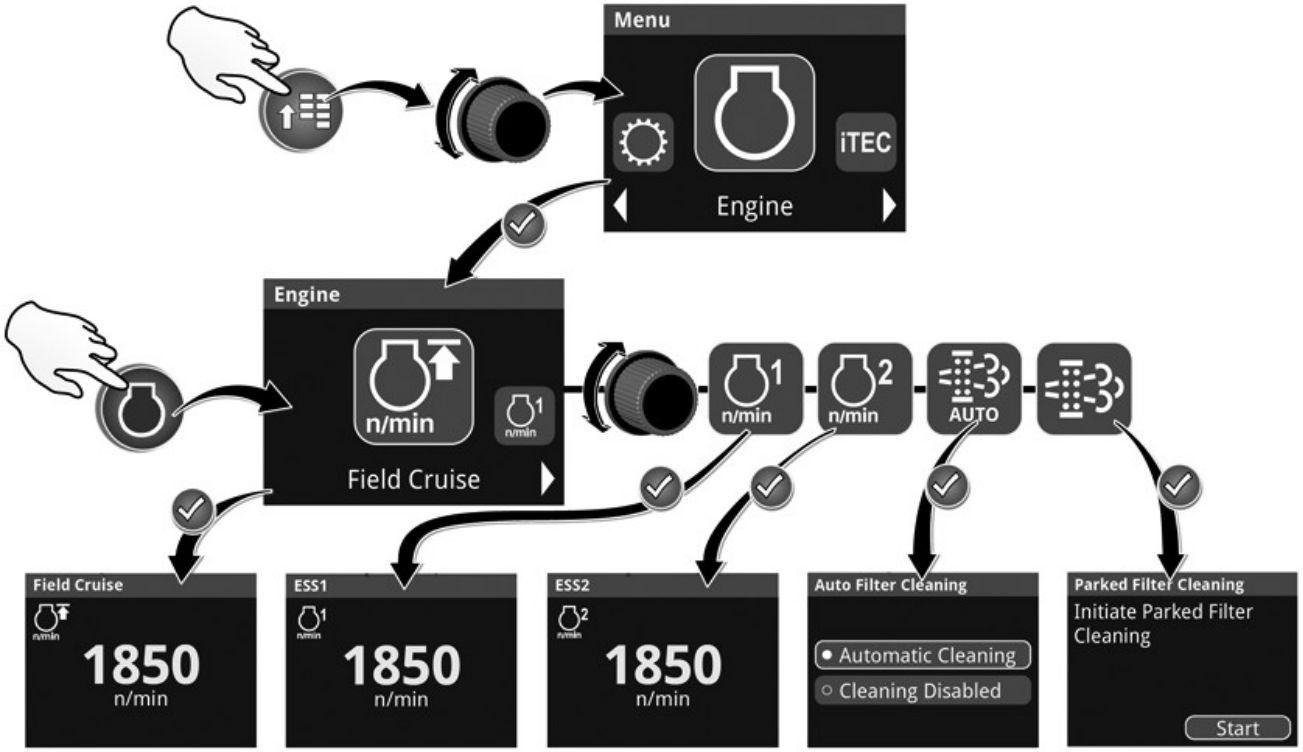
RG26972—UN—26MAR15

「2 minutes or less remaining, Engine Emissions System Malfunction (残り 2 分以内、エンジン排出ガスシステム故障)」と表示され、エンジン Stop 表示灯が点灯し、アラームが鳴って修正されなかった排出ガス関連の故障をオペレータに警告します。ディスプレイ付きの機械では、「Power Restriction (出力制限)」と表示されます。

- エンジン出力はアイドルのみです。
- 機械を安全な状態にしてください。
- 整備会社に連絡してください。

DX,MACHSTOPWARN,AG-40-02OCT15

エンジンメニュー

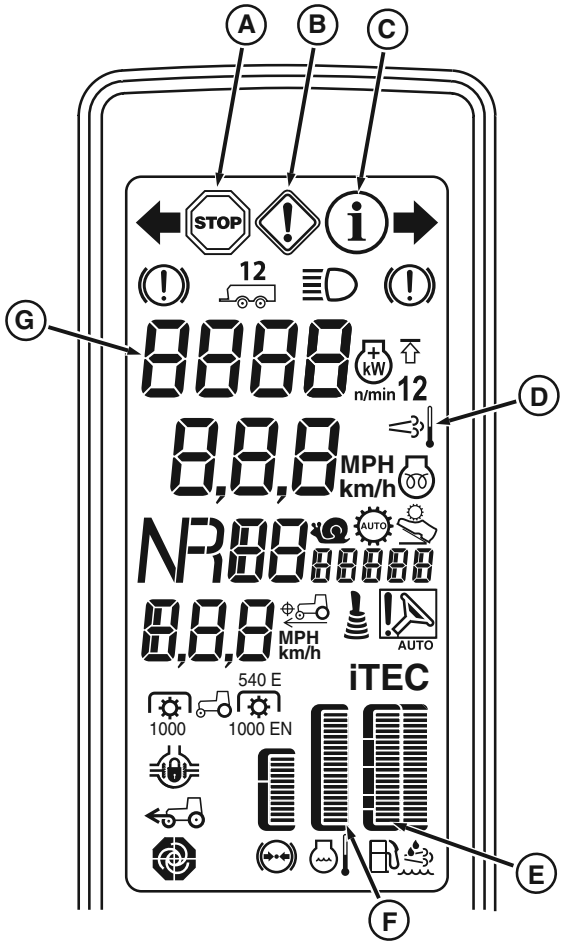


LX368269—UN—15FEB19

エンジンメニュー

OULXA64,6M,0005573-40-04SEP20

エンジン表示灯とディスプレイの点検



RXA0155018—UN—26OCT16

A：**停止インジケータ**
B：**注意インジケータ**
C：**情報インジケータ**
D：**高排ガス温度インジケータ**
E：**燃料計**
F：**クーラント温度計**
G：**エンジン回転数**

A — 停止インジケータ： 重大な故障が発生した場合、点滅して警報音が鳴り続けます。機械を停止する必要がある診断トラブルコードが存在します。すぐに機械を停止し、エンジン回転数を下げます。次に、エンジンを停止してください。そうでない場合、エンジンの損傷が発生します。

B - 注意インジケータ： 故障が発生した場合、点滅して警報音が 5 回鳴ります。診断トラブルコードが存在しますが、機械をすぐに停止する必要はありません。診断メニューにアクセスして、診断トラブルコードが存在するかどうかを確認します。セクション 300B を参照してください。

B - 情報インジケータ： 連続的に点灯して可能性のある問題を示します。診断トラブルコードが存在する可能性があります。診断メニューにアクセスして、診断トラブルコードが存在するかどうかを確認します。セクション 300B を参照してください。

D - 高排ガス温度インジケータ： 自動排ガスフィルタクリーニング中に点灯します。

E - 燃料計： タンクに残っている燃料の量が表示されます。量が少なくなるにつれてディスプレイのバーが消えます。エンジン部品の損傷を防止するため、燃料を切らさないでください。

F — クーラント温度計： エンジンクーラント温度が表示されます。インジケータのバーがディスプレイのレッドゾーンに達した場合は、エンジンを停止してください。グリル、ラジエータ、クーラーからごみを取り除きます。エンジンを完全に冷ましてからクーラントレベルとファンベルトの張力を点検します。

G - エンジン回転数： エンジン回転数/分 (rpm) が百単位で表示されます。

OULXA64,6M,0005574-40-16JUL25

Intelligent Power Management (出力増大)

Intelligent Power Management は、運転モードでリア PTO を使って作業する場合や、リア PTO をオフにして輸送作業中に追加のエンジン出力を提供します。出力増大が有効になっている場合は、次の絵記号がコーナーポストディスプレイに表示されます。



LX364493—UN—15OCT19

出力増大の絵記号

出力増大は、エンジン始動時に自動的に起動します。

リア PTO をオフにした輸送作業中は、移動速度が 15 km/h (9.3 mph) を超えると、出力増大が自動的に提供されます。最大出力増大は、20 km/h (12.4 mph) から利用できます。この出力増大は、移動速度が 10 km/h (6.2 mph) 未満に下がるまで持続します。

PTO 駆動の装置で作業を行う場合、走行速度 1 km/h (0.6 mph) から無段階に出力増大が行われます。リア PTO でかなりの動力が必要であることをトラクターが検出した場合のみパワーブーストが作動します。最大出力増大は、速度 2.5 km/h (1.5 mph) から利用できます。この場合も、リア PTO にかかっている負荷が同様に高いことが条件です。

注記： PTO を使って作業をしているときは、基本的にリア PTO でかなりの動力が必要な場合のみ出力増大が得られます。

フロント PTO で作業している場合は、出力増大を利用できません。

OULXA64,6M,0005575-40-19APR23

エンジンの始動

⚠ 注意： 密閉された建物内では絶対にエンジンを始動しないでください。中毒の危険！

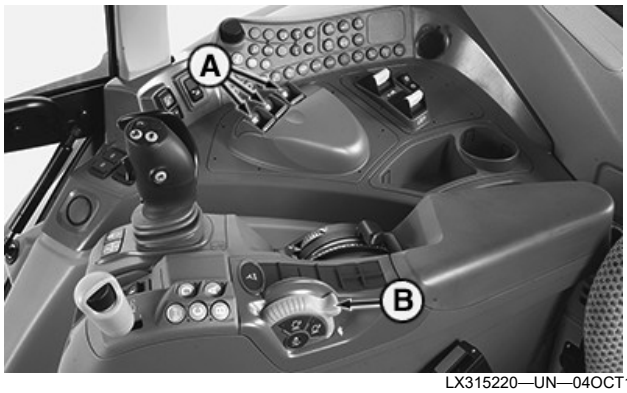
エンジンを始動する前にフードを閉めてください。

1. レバー (A) をニュートラル位置にシフトします。



LX315219—UN—04OCT18

PowrQuad™ PLUS / AutoQuad™ PLUS



LX315220—UN—04OCT18

CommandQuad™ PLUS

A：**SCV コントロールレバー**
B：**アクセルレバー**

2. アクセルレバー (B) を中速度設定 (最初の 3 分の 1) に動かします。
3. リバースドライブレバー (C) を「ニュートラル」位置に入れて、駐車ブレーキロックをかけます。



LX315221—UN—04OCT18

C：**リバースドライブレバー**
D：**キースイッチ**

4. キースイッチ (D) のキー位置を右に 1 つ回します。
5. グロープラグ表示灯 (E) が消灯するまで待ちます。



LX315222—UN—04OCT18

E：**グロープラグ表示灯**

6. キースイッチ (D) のキーを時計方向に最後の位置まで回します。エンジンが始動したらすぐにキーを放します。

注記： 外気温度が低いと、コーナーポストディスプレイにエンジン予熱式ヒーターのカウントダウンが表示されます。最高のエンジン低温始動性能を可能にするには、タイマーが 0 に達したときにのみエンジン始動イベントを発生させる必要があります。カウントダウン時間は、燃料、クーラント、吸気温度によって異なります。

スタータモーターは 1 回に 30 秒以上作動させないでください。キースイッチのキーを「ゼロ」まで回します。再始動を試みる場合は 1 分以上待ってください。

エンジンを始動した後、トラクターがセルフチェックを完了する間、2 秒待ってからスイッチまたはコントロールを操作してください。

重要： 暖機運転中は、中程度の負荷でのみトラクターを操作してください。使用温度に達すると (温度計で確認)、全出力が得られます。

注記： クーラント温度が 20°C (68°F) に達するまで、エンジンは高いローアイドル回転数 (1050 rpm 以上) で回転します。エンジン回転数はトランスミッションの種類により変わります。

注記：

エンジンが停止して再始動すると、さまざまな機能が既定の設定にリセットされます。

再始動時に既定の設定にリセットされる機能。一部の機能はトラクターの装置によって異なります。	
機能	再始動時の設定
ローダーサスペンションシステム	オフ
パワーテイクオフ	オフ
PTO、リモートコントロール	オフ
デフロック	オフ
移動の方向	NEUTRAL
ジョイスティック、電気	ロック済み
E-SCV	ロック済み
iTEC™	オフ

OULXA64,6M,0005576-40-12DEC23

補助バッテリーによるエンジンの始動

注意： John Deere によって認可されたジャンプスタート用接続を備えたトラクターでのみ、補助バッテリーによるトラクターの始動が許可されます。補助バッテリーによるジャンプスタート用接続がないトラクターの場合、放電または故障したバッテリーは十分に充電されているバッテリーと交換する必要があります。

注意： けがや爆発のおそれがあります！安全上の注意事項に従ってください。「バッテリーの安全な取り扱い」(セクション 05) および「バッテリー – 電気回路の接続解除」(セクション 220B) を参照してください。

注意： 接続前に、極性が正しいことを確認してください。

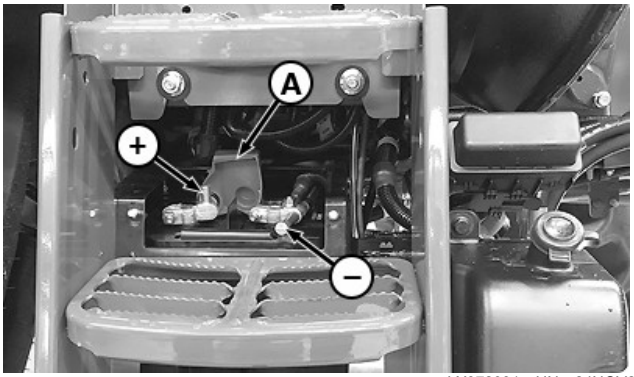
- **接続： 最初にプラスターミナル (+)、次にマイナスターミナル (-) を接続してください。**
- **接続の切り離し： 最初にマイナス端子 (-)、次にプラス端子 (+) の接続を外します。**
- **極性を間違えると電気システムに損傷を与えます。**

重要： ジャンプスタートに使用するケーブルは、ジャンプスタート用の (+) および (-) ターミナルにのみ接続してください。

- **ジャンプスタートの場合は、断面が 70 mm² のトラクター用途に設計された認可済みのジャンプスタートケーブルのみを使用してください。**
- **端子が絶縁されているジャンプスタートケーブルのみを使用してください。**
- **絶縁に破損があるジャンプスタートケーブルは使用しないでください。**

重要： 補助バッテリーでエンジンを始動させる場合、あるいはバッテリーなしでエンジンを短時間作動させる場合は、エンジン回転数が 1000 rpm を超えないようにしてください。また、エンジン作動中は追加電流 (ライト) を使用してください。

重要： バッテリーの接続を外している間はバッテリーのプラスケーブル (+) を適切に絶縁して、オルタネータが損傷しないようにしてください。「オルタネータに関する重要な指示事項」(セクション 210) も参照してください。



LX372931—UN—24NOV20

ほとんどのトラクターには、ジャンプスタート用接続が装備されています。[1]

ジャンプスタートを行うには、カバー (A) を持ち上げ、プラスターミナル (+) を接続してからマイナスターミナル (-) を接続します。

作業終了後は、マイナスターミナル (-) を外してからプラスターミナル (+) を外します。カバー (A) を再度閉じます。

OULXA64,SP1,00058AA-40-17JUL25

エンジンの停止

重要：**トラクターが動いているときは (徐々に動きを止めようとしている場合でも)、エンジンを停止しないでください。停止すると、電子制御装置やトランスミッションが損傷するおそれがあります。**

重要：**重負荷作業や高エンジン回転数での走行の直後にエンジンを停止しないでください。エンジンをローアイドル回転数で運転しながら数分間待ってください。これにより、エンジンルームが非常に高温になるのを防止します。**

重要：**トラクターから離れる前に取り付けている装置や機器を地面に下ろしてください。メインスイッチからキーを抜きます。**

重要：**トラクターから離れる前に、キースイッチが STOP 位置 (A) にあることを確認してください。キースイッチが「STOP」位置にない場合、バッテリーが放電する可能性があります。**



LX315197—UN—06NOV18

1. トラクターを停止します。
2. 駐車ブレーキロックをかけます。
3. 次に、キースイッチを反時計回りに STOP 位置 (A) まで回してエンジンを停止します。

OULXA64,6M,0005578-40-22MAR21

バッテリー遮断システム (装備されている場合)

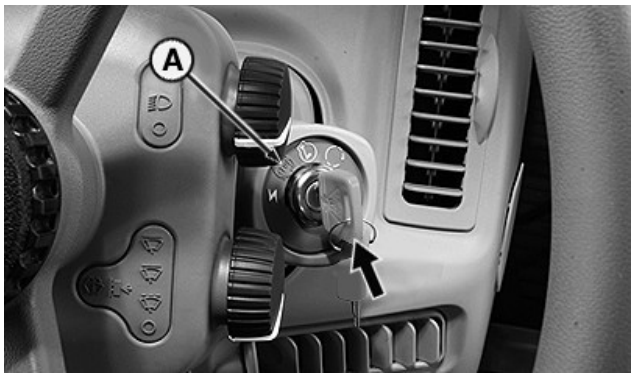
バッテリー遮断システムにより、オンボード電圧を自動的にオン、オフします。

オンボード電圧は以下の操作によりオンになります。

- ドアを開く
- ライトシステムをオンにする
- ハザード警告灯をオンにする
- キースイッチでイグニッションをオンにする

注記：オンボード電圧がオンになり、他の電気機器がオンにならなかった場合、5 分後にオンボード電圧は自動的に遮断されます。

イグニッションをオフ (キースイッチ位置 (A)) にすると、ドアを閉じてから遅くとも 4 分後にオンボード電圧が自動的にオフになります。



LX315197—UN—06NOV18

[1] *ジャンパ接続がない場合、放電したバッテリーを充電済みバッテリーに交換する必要があります。*

重要： **エンジンを停止した後 (キースイッチ位置 (A))、4 分待ってからバッテリーの接続解除または取り外しを行ってください。**

オフへの切り替えは以下の条件により遅れる場合があります。

- ドアが閉じられていない
  ► 5 分後に自動的にオフになる
- 出口ライトが作動している
  ► 点灯時間が最大 5 分間経過した後、自動的にオフになる
- 車両のライトがオフになっていない
  ► 5 分後に自動的にオフになる
- ハザードライトがオンになっている
  ► バッテリー保護電圧に達すると、自動的にオフになる

OULXA64,6M,0005579-40-08SEP20

PowrQuad™/AutoQuad™ PLUS を装備したトラクターの駐車

重要： **駐車ブレーキロックはトラクターが静止しているときにのみかけてください。**

重要： **駐車ブレーキロックをかけると、次のトレーラーブレーキが作動します**：

- **空気トレーラーブレーキ (装備されている場合)**
- **二系統油圧トレーラーブレーキ (装備されている場合)**

駐車時または静止位置でトラクターを操作するときは、駐車ブレーキロックをかけてください。



LX315213—UN—05NOV18
PowrQuad™/AutoQuad™ で駐車ブレーキロックがかかった状態

注記： 斜面で駐車ブレーキロックをかけるときは、必ずフットブレーキもかけてください。

OULXA64,SP,EU,00057B0-40-26OCT20

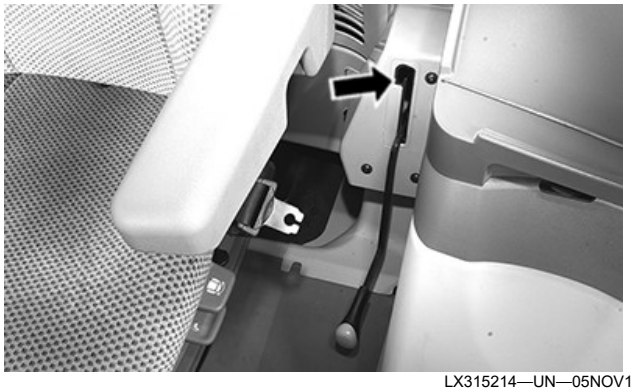
CommandQuad™ PLUS を装備したトラクターの駐車

重要： **駐車ブレーキロックはトラクターが静止しているときにのみかけてください。**

重要： **駐車ブレーキロックをかけると、次のトレーラーブレーキが作動します**：

- **空気トレーラーブレーキ (装備されている場合)**
- **二系統油圧トレーラーブレーキ (装備されている場合)**

駐車時または静止位置でトラクターを操作するときは、駐車ブレーキロックをかけてください。



LX315214—UN—05NOV18
CommandQuad™ PLUS で駐車ブレーキロックがかかった状態

注記： 斜面で駐車ブレーキロックをかけるときは、必ずフットブレーキもかけてください。

OULXA64,SP,EU,00057B1-40-17NOV20

AutoPowr™/IVT™ 装備のトラクターの駐車

重要： **駐車ブレーキロックはトラクターが静止しているときにのみかけてください。**

重要： **駐車ブレーキロックをかけると、次のトレーラーブレーキが作動します**：

- **空気トレーラーブレーキ (装備されている場合)**
- **二系統油圧トレーラーブレーキ (装備されている場合)**

駐車時または静止位置でトラクターを操作するときは、駐車ブレーキロックをかけてください。



LX372924—UN—27OCT20

駐車ブレーキロック作動 *(AutoPowr™/IVT™ の場合)*

注記： 極端に温度が低いと、駐車ブレーキが作動するまでに最大 20 秒かかる場合があります。

斜面で駐車ブレーキロックをかけるときは、必ずフットブレーキもかけてください。

OULXA64,SP,EU,00057B2-40-26OCT20

牽引による始動

重要： 牽引で始動することによってエンジンを始動させないでください。

始動の問題がある場合は、このセクションの「補助バッテリーによるエンジンの始動」を参照してください。

エンジンを始動できない場合は、平床式キャリアーでトラクターを輸送してください。

重要： セクション 110 に記載の情報を参照してください。

LX25458,ALL,00009BF-40-23NOV20

燃料タンクへの給油



TS202—UN—23AUG88

注意： 燃料は慎重に取り扱ってください。高い引火性があります。喫煙しながら、または直火や火花がある状況で給油しないでください。

必ずエンジンを停止してから給油してください。燃料の給油は必ず屋外で行ってください。

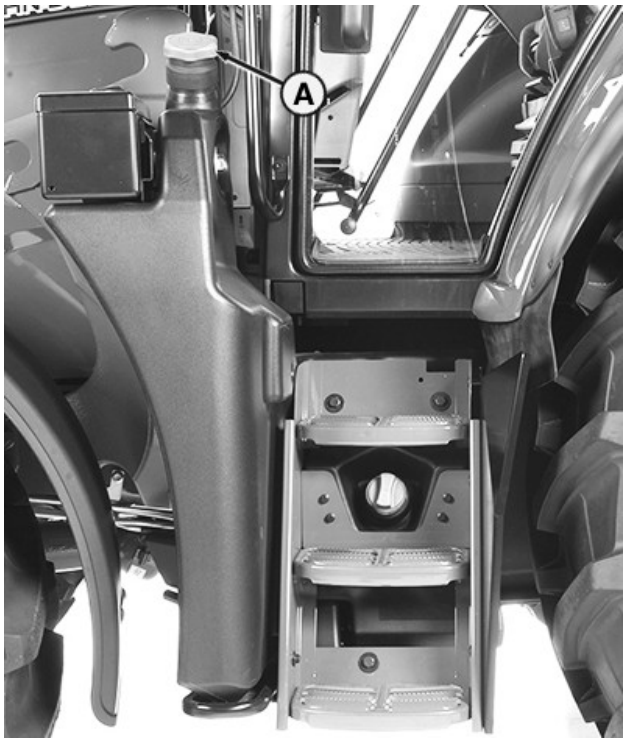
廃棄物、油脂類、堆積物が機械にたまらないように清掃して、火災を防止してください。こぼれた燃料は必ず拭き取ってください。

重要： トラクターの燃料噴射システムの損傷を避けるため、絶対に燃料タンクまたは燃料系統に排ガス処理用尿素水 (DEF) を入れないでください。

注記： 燃料レベルインジケーターが点滅し始めた場合、燃料レベルは予備範囲にあります。

燃料タンクに給油してください！

注記： 絶対にタンクを完全に空にしないでください。空にすると燃料系統のエア抜きが必要になります。



LX364420—UN—28AUG19

例：燃料タンク

A：**燃料タンク**

毎日の終わりに超低硫黄燃料のみを燃料タンク (A) に給油してください。これにより、湿った空気が冷却されてタンク内で結露するのを防ぎます。

燃料タンクを補充するたびに、フィラーネックにキャップを戻してください。

OULXA64,SP1,00058AB-40-20APR23

DEF タンクの補充

注意： DEF には尿素が含まれています。目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。絶対に口の中に入れないでください。排ガス処理用尿素水 (DEF) を摂取した場合は、すぐ医師に連絡してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

重要： 絶対に排ガス処理用尿素水 (DEF) をディーゼル燃料タンクに入れたり、ディーゼル燃料を DEF タンクに入れたりしないでください。

排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触したりした場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) は塗装済みおよび未塗装の金属面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。



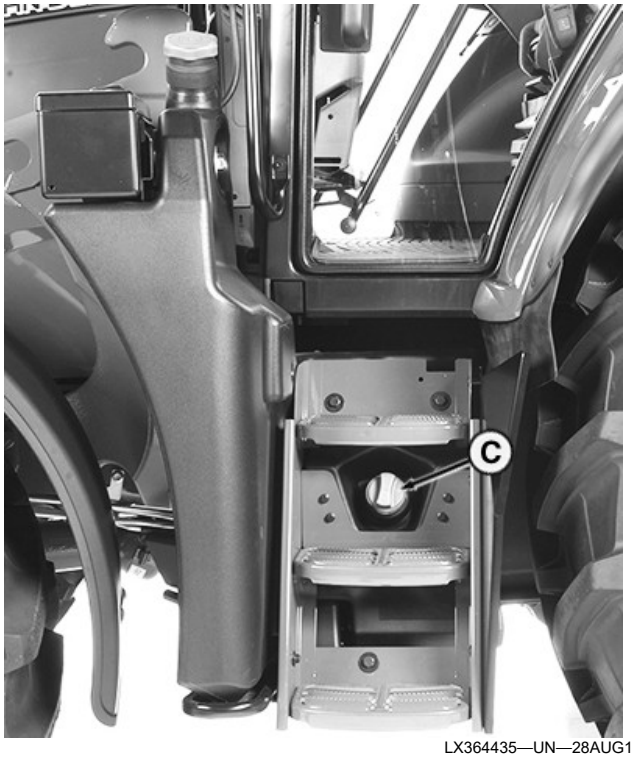
LX315217—UN—04OCT18

A：**DEFタンク内の液体レベル表示灯**
B：**最上部の赤色マーク**

トラクターの燃料を補給するたびに、DEF タンクにも補給してください。これが不可能な場合は、DEF レベルを監視して必要に応じて補給してください。トラクター性能の著しい変化を避けるため、DEF レベルは必ず計器盤の最後の赤色のマーク (B) よりも上に維持してください。

注記： 排ガス処理用尿素水がこぼれた場合にそのまま乾かしたり布で拭いたりしただけでは、白い残留物が残ります。外観上の問題だけではなく、こぼれた DEF を適切に清掃しないと、選択触媒還元 (SCR) システムの漏れの診断で問題になることがあります。

DEF タンクへの注入：



LX364435—UN—28AUG19

例：*DEF* タンクキャップ

C：**DEF タンクキャップ**

1. 容器やじょうごなどを使用して DEF を入れる前に、これらを蒸留水でよく洗浄して汚れを取り除きます。
2. DEF タンクキャップ (C) とキャップおよびフィラーネック周辺部を拭き取り、DEF が汚れないようにします。
3. DEF タンクキャップ (C) を取り外します。
4. ファンネルを使用して、フィラーネックからレベルを見ながら、慎重に排ガス処理用尿素水 (DEF) をタンクに注入します。
5. DEF タンクキャップ (C) を確実に締め付けます。
6. こぼれた DEF を完全に除去して蒸留水のみで清掃します。

車両の DEF タンクにディーゼル燃料、エンジンクーラントなどの認可されていない液体を追加してしまった場合は、タンクから抜き取り、タンクを蒸留水で洗浄してから再注入してください。

OULXA64,SP1,00058AC-40-20APR23

寒冷時の操作

寒冷時始動補助装置



LX374427—UN—05JUN19

トラクターの装備によっては、0°C (32°F) を下回る温度でさまざまな寒冷地始動補助装置を使用できます。

これらには、クーラントヒーター、トランスミッションオイル予熱式ヒーター、またはチャージポンプ予熱式ヒーターなどがあります。

OULXA64,6M,000557D-40-08SEP20

クーラントヒーター

注意： つまずいて大けがをしないようにしてください。

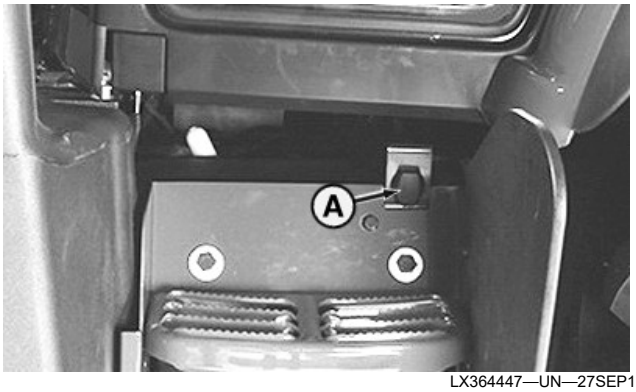
乗降ステップ部にある障害物につまずいて、機械から落ちることがあります。

機械に乗車または降車する前に、すべての障害物を取り除いてください。

これらの障害物には、特に圧縮空気ホース、クーラントヒーターの電気配線、漏電遮断器 (GFCI) などがあります。

重要： 現地の主電源の電圧を確認してください。

クーラントヒーターは、地域の電力網に適している必要があります。クーラントヒーターに応じて、動作電圧 230 V または 120 V を使用できます。両方の電圧を使用できることはありません。コネクタ (A) は、適切な電力網のみに接続ができます



LX364447—UN—27SEP19

注記： 装備されている場合は、トランスミッションオイル予熱式ヒーターとチャージポンプ予熱式ヒーターもコネクタ (A) で作動します。

-15°C (5°F) の外気温では、加熱処理に約 2 時間かかります。外気温が低い場合は加熱時間を延長してください。

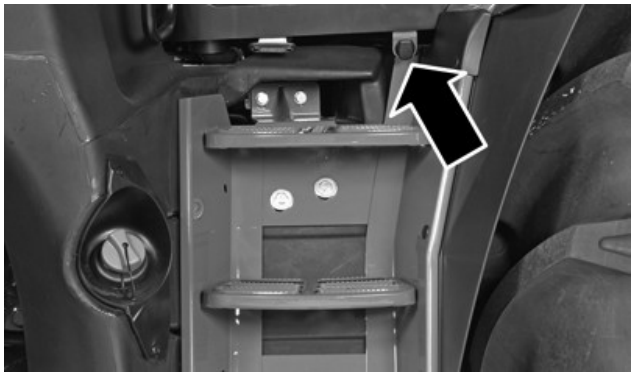
OULXA64,6M,000557E-40-19APR23

クーラントヒーターを 230 V 電力網に接続する

次の説明は、230 V の電源を備えた欧州各国向けのトラクターに適用されます。



LX514238—UN—01FEB22



LX412382—UN—30APR21

予熱システムソケット



LX514240—UN—01FEB22

アダプタコード、EU 230 V、AL159497

注意： 感電や火災による生命の危険があります。

アースに短絡すると、致命的な感電が発生することがあります。損傷しているケーブルや通電中のケーブルおよび電気部品によって、気付かないうちにトラクター部品にライブ電圧がかかる可能性があり、これにより回路の短絡が引き起こされる可能性もあります。これにより火災が発生する可能性があり、これらの部品に触れると致命的な感電が発生することがあります。

この理由から、予熱システムは、常に最大電流が 15 A のソケットおよび故障電流モニタリングに接続されている必要があります。延長ケーブルを使用する場合は、屋外での操作に関する一般的な要件を満たす必要があります。また、15 A 以上の現在の負荷に適している必要があります。

アダプタコード AL159497 (欧州向け) は、接続された 230 V 電源網が統合 GFCI (Ground Fault Circuit Interrupter：漏電回路遮断器) によって保護されている場合のみ許可されます。このアダプタコードは、漏電や他の故障が発生した場合の保護を提供するものではありません。

注意： つまずいて大けがをしないようにしてください。

乗降ステップ部にある障害物につまずいて、機械から落ちることがあります。

乗車または降車の前に、すべての障害物を取り除いてください。

230 V 予熱システムアダプタコード		
市町村	電源網が標準に準拠している	アダプタコード
欧州	EN 50160 あたり 230 V AC 電源	AL159497

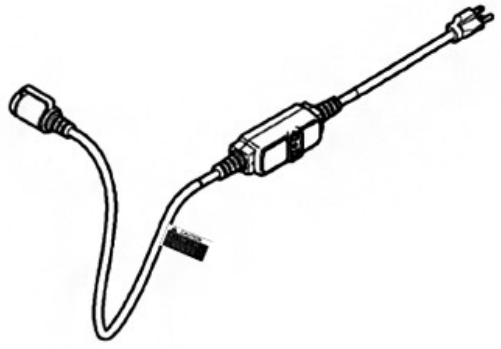
OULXBER,0003157-40-27MAR23

漏電回路遮断器 (GFCI)、120 V

次の説明は、120 V 電源を備えた国向けのトラクターに適用されます。

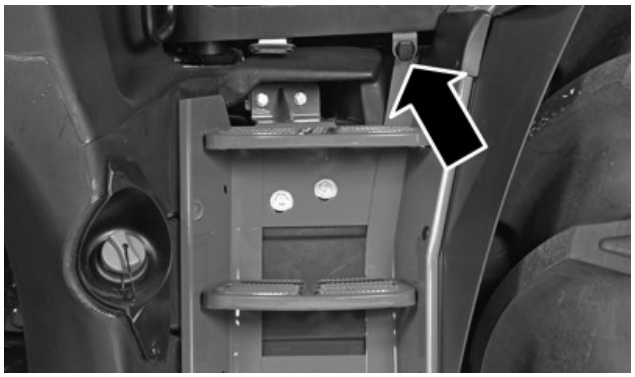


LX514238—UN—01FEB22



LX514239—UN—10FEB22

例：*GFCI AL214182*



LX412382—UN—30APR21

予熱システムソケット

注意： 感電や火災による生命の危険があります。

アースに短絡すると、致命的な感電が発生することがあります。損傷しているケーブルや通電中のケーブルおよび電気部品によって、気付かないうちにトラクター部品にライブ電圧がかかる可能性があり、これにより回路の短絡が引き起こされる可能性もあります。これにより火災が発生する可能性があり、これらの部品に触れると致命的な感電が発生することがあります。

この理由から、予熱システムは、常に最大電流が 15 A のソケットおよび故障電流モニタリングに接続されている必要があります。延長ケーブルを使用する場合は、屋外での操作に関する一般的な要件を満たす必要があります。また、15 A 以上の現在の負荷に適している必要があります。

電気予熱システムが電源網に接続されている場合、漏電回路遮断器(GFCI) を使用する必要があります。GFCI については、使用する前に機能をテストしてください。テストは、GFCI がテスト機能 (バージョン II と III) を提供する場合のみ可能です。

GFCI は、ユーザーが車両の予熱システムの部品に触れた場合にのみユーザーを保護します。GFCI は、GFCI に供給される延長コードや他の配線の不具合や故障、および高温の導体と中性導体の間の短絡が発生した場合の感電からの保護を提供するものではありません。

この取扱説明書の説明に加えて、GFCI に添付されている情報も確認してください。

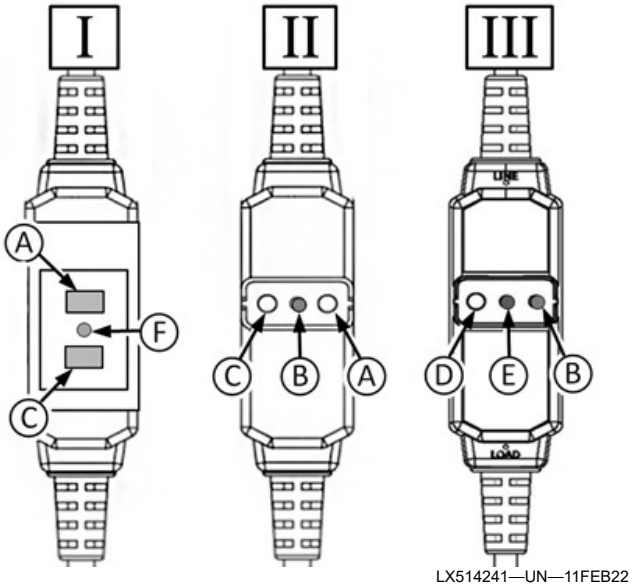
注意： つまずいて大けがをしないようにしてください。

乗降ステップ部にある障害物につまずいて、機械から落ちることがあります。

乗車または降車の前に、すべての障害物を取り除いてください。

注記： ソケットの位置を確認して、電動予熱システムを車両に接続します。矢印を参照してください。

漏電回路遮断器 (GFCI) - 異なるバージョンの識別



LX514241—UN—11FEB22

GFCI バージョン

A：**「リセット」ボタン**
B：**操作表示灯 (緑)**
C：**テストボタン**
D：**リセット / テストボタン (2 in 1)**
E：**故障表示灯 (赤)**
F：**操作表示灯**

含まれる機能	バージョン I	バージョン II	バージョン III
自動セルフテスト	no	no	yes
手動セルフテスト	yes	yes	yes
自動リセット	no	yes	yes
手動リセット	yes	yes	yes
部品番号	AL214182	AL221662	AL237293

120 V 漏電回路遮断器 (GFCI)		
市町村	電源網が標準に準拠している	GFCI
北米	ANSI C84.1 レンジ B あたり 120 V AC 電源	バージョン I : AL214182 バージョン II : AL221662 バージョン III : AL237293
その他の国		

操作に関する指示

操作手順、バージョン I :

注記： バージョン I のみ、(タイマーに関係なく) 電動予熱システムを ON に切り替えるたびに、使用前に漏電回路遮断器 (GFCI) のリセットボタン (A) を押す必要があります。

1. GFCI を電動予熱システムのソケットに接続します。
2. GFCI を電源網に接続します。
3. リセットボタン (A) を押して放します。操作表示灯 (F) が点灯する必要があります。
4. 毎回使用する前に GFCI をテストします。テストボタン (C) を押して、ライト (F) が消灯していることを確認します。これは、テストが成功したことを示します。GFCI テストが失敗した場合は、予熱システムを操作しないでください。
5. リセットボタン (A) を押して放し、デバイスを再起動します。ライト (F) が点灯すると、GFCI を使用できるようになります。

リセットに失敗した場合、電気システムに故障があることを示します。機能が保証されていない場合は、絶

対に GFCI を使用しないでください。必要に応じて予熱システムを確認し、修理します。

操作手順、バージョン II：

1. GFCI を電動予熱システムのソケットに接続します。
2. GFCI を電源網に接続します。
3. 緑のライト (C) が点灯している必要があります。緑のライトが点灯していない場合は、リセットボタン (B) を押して放します。
4. 毎回使用する前に GFCI をテストします。テストボタン (D) を押して、緑のライト (C) が消灯していることを確認します。これは、テストが成功したことを示します。GFCI テストが失敗した場合は、予熱システムを操作しないでください。
5. リセットボタン (B) を押して放し、デバイスを再起動します。緑のライト (C) が点灯すると、GFCI を使用できるようになります。リセットが失敗した場合、電気システムに故障があることを示します。

操作手順、バージョン III：

1. GFCI を電動予熱システムのソケットに接続します。
2. GFCI を電源網に接続します。
3. 緑のライト (G) が点灯している必要があります。緑のライトが点灯していない場合は、「Reset/Test (リセット/テストボタン)」(E) を押して放します。
4. 毎回使用する前に GFCI をテストします。「Reset/Test (リセット/テスト)」ボタン (E) を押します。赤の故障表示灯 (F) が点滅を始め、緑の操作表示灯 (G) が点灯した状態を維持します。テストシーケンスの後、赤のライト (F) が OFF になり、緑のライト (G) が点灯したままになると、これはテストが成功したことを示します。GFCI テストが失敗した場合は、予熱システムを操作しないでください。
5. 緑のライト (C) が点灯し、赤のライトが消灯すると、GFCI を使用できるようになります。

リセットまたはテストが失敗した場合、電気システムに故障があることを示します。機能が保証されていない場合は、絶対に GFCI を使用しないでください。必要に応じて予熱システムを確認し、修理します。

注記：バージョン II と III のみ、自動リセット機能が切断された後、または電源の中断後にデバイスを接続する電源を自動的に復元します。

すべての GFCI に対して、15A 定格のデバイスの場合は、12 AWG もしくはそれ以下の数値 (数値が小さい) の延長コードを使用し、20A 定格のデバイスの場合は、12 AWG もしくはそれより太い延長コードを使用してください。これらの延長コードは、GFCI デバイスの負荷 (レセプタクル / コネクタ) 側に接続してください。

OULXA64,ALL,0005785-40-27MAR23

排ガスフィルタクリーニング、一般情報

トラクターは、効果的な排ガスフィルタシステムを装備しています。センサーが排気システムの状態をモニタし、エグゾーストフィルタの負荷が過剰になるとクリーニングを開始します。

1. 受動的排ガスフィルタクリーニングは、エンジンが中負荷または高負荷の場合に常に行われます。
2. 自動排ガスフィルタクリーニングは、排ガスフィルタのすすが特定のレベルに達するとすぐに開始されます。
3. 手動開始の駐車排ガスフィルタクリーニングにより、該当するメッセージがデジタル表示に表示されたときにオペレータがクリーニングプロセスを手動で開始できます。
4. 整備クリーニングの際は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

エグゾーストフィルタクリーニングについて詳しくは、後続のページを参照してください。

重要： **自動エグゾーストフィルタクリーニングをオンにしておくことをお勧めします。このセクションの関連する説明を参照してください。**

安全上の注意事項に従ってください (「排ガスフィルタの安全なクリーニング」(セクション 05) を参照してください)。



LX364317—UN—22FEB19

排ガスフィルタが現在クリーニング中であることを示す表示灯が点灯します (矢印参照)。

整備クリーニングまたはトラクターを駐車してのフィルタクリーニングを回避するためのヒント：

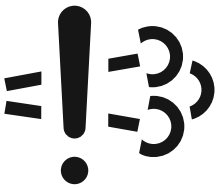
- 自動排ガスフィルタクリーニングを作動させてください。
- 不要なアイドリングを避けます。
- 絶対に必要な場合以外はクリーニングプロセスを中断しないでください。
- 可能な場合、排ガスフィルタクリーニング表示灯が点灯しているときはエンジンを停止しないでください。
- 硫黄含有量の非常に低い燃料のみを使用してください。
- オペレータに対して表示される情報に注意し、必要な措置をとってください。

注記： 高品質の消耗品を使用することは重要です。セクション 200A ~ 200E で指定されている消耗品のみを使用してください。

OULXA64,6M,000557F-40-15JUL25

機械停止必要警告

機械の停止が必須である条件が発生しました



RG22491—UN—21AUG13

重要： **状況によっては、説明のように機械のエンジン出力が減少することがあります。通知された場合、機械をすぐに安全な状態にするか、安全な場所に移動させてください。必須の機械停止を削除できるのは、整備技術者だけです。**

排出ガス関連の故障が発生すると、エンジン排出ガスシステム故障表示灯が点灯します。



RG22492—UN—21AUG13

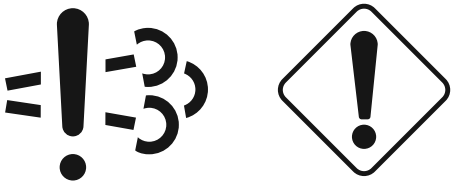
オペレータによる処置を必要とする条件が存在する場合、警告表示灯が点灯します。



RG22493—UN—21AUG13

エンジン STOP 表示灯は、オペレータによる即時の処置と整備を必要とする条件が存在する場合に点灯します。

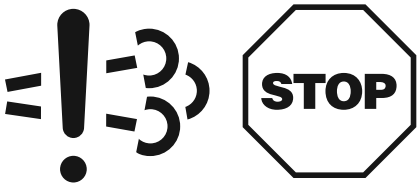
排出ガスシステムの故障の発生



RG26361—UN—04SEP14

「30 minutes remaining, Emissions System Malfunction (残り 30 分、エンジン排出ガスシステム故障)」と表示され、警告灯が点灯し、アラームが鳴って排出ガス関連の故障をオペレータに警告します。ディスプレイ付きの機械では、「Less than 30 minutes to Power Restriction (出力制限まで 30 分未満です)」と表示されます。

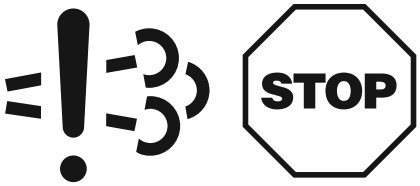
- エンジン出力は正常です。
- 機械の操作は正常です。
- 機械を安全な状態にしてください。
- 整備会社に連絡してください。



RG26972—UN—26MAR15

「20 minutes remaining, Emissions System Malfunction (残り 20 分、エンジン排出ガスシステム故障)」と表示され、警告灯が点灯し、アラームが鳴って排出ガス関連の故障をオペレータに警告します。ディスプレイ付きの機械では、「Less than 20 minutes to Power Restriction (出力制限まで 20 分未満です)」と表示されます。

- エンジン出力とトルクは下げられます。
- キーをオフにしてオンにすると、一時的にフル出力が得られます。
- 機械を安全な状態にしてください。
- 整備会社に連絡してください。



RG26972—UN—26MAR15

「2 minutes or less remaining, Engine Emissions System Malfunction (残り 2 分以内、エンジン排出ガスシステム故障)」と表示され、エンジン Stop 表示灯が点灯し、アラームが鳴って修正されなかった排出ガス関連の故障をオペレータに警告します。ディスプレイ付きの機械では、「Power Restriction (出力制限)」と表示されます。

- エンジン出力はアイドルのみです。
- 機械を安全な状態にしてください。
- 整備会社に連絡してください。

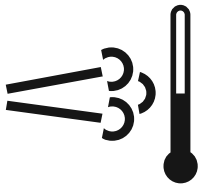
DX,MACHSTOPWARN,AG-40-02OCT15

後処理装置表示灯の概要



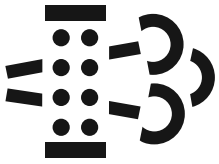
RG22487—UN—21AUG13

ディーゼルエグゾーストフルード表示灯



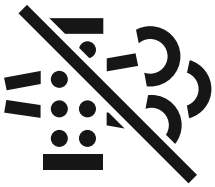
RG22488—UN—21AUG13

エンジン排出ガス温度表示灯



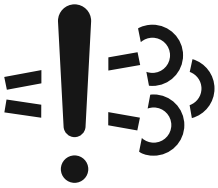
RG22489—UN—21AUG13

エグゾーストフィルタ表示灯



RG22490—UN—21AUG13

自動クリーニング無効表示灯



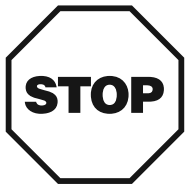
RG22491—UN—21AUG13

エンジン排出ガスシステム故障表示灯



RG22492—UN—21AUG13

警告表示灯



RG22493—UN—21AUG13
エンジンストップインジケーター

重要：**排出ガス制御システムが正しく機能しない場合やエンジンコントロールユニットによりエンジン故障が検出された場合は、オペレータ警告システムによりオペレータに通知されます。オペレータ警告信号を無視すると、排出ガス関連のディレートが発生し、ノンロード移動機械の運転に影響のある障害を生じます。**

以下に示す警告により指示された是正措置に従って不適切な作動を修正し、排出ガス制御システムを使用またはメンテナンスする迅速な行動を取ることが不可欠です。

排ガス処理用尿素水 (DEF) の残量が低下すると、DEF 表示灯が点灯します。DEF タンクに注入してください。

排ガス処理用尿素水 (DEF) 表示灯が警告灯またはエンジン STOP 表示灯とともに点灯した場合、DEF が測定可能レベル未満であるため、エンジン性能はエンジンコントロールユニット (ECU) により下げられます。DEF タンクに注入してください。

エンジン排出ガス温度表示灯が点灯する場合は、エグゾーストガスの温度が高い、高アイドル運転が有効、またはエグゾーストフィルタクリーニングが進行中であることを示します。オペレータが高温の排気ガスがその場所では安全ではないと判断して自動クリーニングをオフにしない限り機械は通常通り運転可能です。

エンジン排出ガス温度表示灯が警告灯またはエンジン STOP 表示灯とともに点灯した場合、排ガス温度が想定よりも高いため、エンジン性能は ECU により下げられます。診断トラブルコード (DTC) の手順を実行するか、認定サービスディーラーにお問い合わせください。

エグゾーストフィルタ表示灯は、エグゾーストフィルタクリーニングが進行中、後処理システムの故障、またはエグゾーストフィルタの清掃が必要にもかかわらずオペレータが自動クリーニングをオフにしている場合に点灯します。状況が安全であれば、エグゾーストフィルタの自動クリーニング設定を有効にするか、手動整備再生を実行するか、DTC 手順に従ってください。

エグゾーストフィルタ表示灯が警告インジケーターとともに点灯する場合は、後処理システムの故障またはエグゾーストフィルタのすすの量がやや高くなっているため、エンジンの性能が ECU により制限されています。状況が安全であれば、自動エグゾーストフィルタクリーニング機能を有効にする必要があります。安全ではない場合は、オペレータは機械を安全な場所に移動した上、自動エグゾーストフィルタクリーニングモードをオンにしてください。手動整備再生を実行するか、DTC 手順に従ってください。

エグゾーストフィルタ表示灯がエンジン STOP 表示灯とともに点灯した場合、後処理装置に故障があるか、エグゾーストフィルタのすすレベルが極端に高いため、エンジン性能は ECU によりさらに下げられます。この組み合せが発生した場合、認定サービスディーラーにお問い合わせください。

自動クリーニング無効表示灯は、オペレータが自動エグゾーストフィルタクリーニング機能をオフにする要求を出した場合に点灯します。オペレータが自動エグゾーストフィルタクリーニングを診断ゲージから再起動するまでこのアイコンは点灯したままになります。安全関連の状況が存在するか、クリーニングプロセスを完了するために必要な燃料が燃料タンクにない場合を除き、どのような状況でも自動モードを無効にすることはお勧めできません。

エンジン排出ガスシステム故障表示灯は、エンジン排出ガスが正常な作動範囲を外れているか、エンジン排出ガスシステムが故障している場合に点灯します。DTC の手順に従うか、正規整備・販売店にお問い合わせください。

エンジン排出ガスシステム故障表示灯が警告インジケーターとともに点灯する場合は、エンジン排出ガスが正常な作動範囲から外れているか、エンジン排出ガスシステムが故障しているため、エンジンの性能が ECU により制限されます。DTC の手順に従うか、正規整備・販売店にお問い合わせください。

DX,AFTRTREAT,INDCATRS-40-12FEB18

エンジンメニューへのアクセス

「エンジンメニュー」(セクション 20) を参照してください。

OULXA64,6M,0005580-40-08OCT20

排ガスフィルタクリーニングの概要

概要：

重要：**手動排ガスフィルタクリーニング中は、エンジンの上部や周囲に可燃物がないようにしてください。排ガスは、550°C (1022°F) の温度に達します。**

排ガスフィルタは定期的なメンテナンスが必要です。メンテナンスの一部はオペレータには見えません。継続的な重負荷やその他の条件中に、排ガスフィルタにたまったすすを自然に除去できる熱をエンジンが発生します。

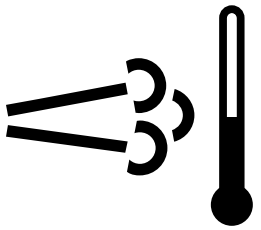
排ガスフィルタに堆積したすすの量が多くなると、コーナーポストディスプレイが排ガスフィルタクリーニングを要求します。この要求が出ているときは、装置を十分に換気された適切な場所に配置または移動する必要があります。エンジン回転数を 1200 rpm より

も高く維持し、フィルタクリーニングを中断なしに終了する必要があります。機械を使用して作業を実行している場合、ほとんどの場合、フィルタクリーニングはアプリケーションにほとんど影響なしに実行されます。

図は、オペレータインターフェイスに表示される絵記号です。これらの絵記号はコーナーポストディスプレイ内に表示されます。

絵記号に加えて、排ガスフィルタクリーニングに関連する通知、アラーム、診断トラブルコードがあります。これらのメッセージは情報ディスプレイに表示され、オペレータの注意を喚起します。

排出ガス制御システムの温度 / フィルタクリーニングインジケータ



H94829—UN—13OCT09
排出ガス制御システムの温度 / フィルタクリーニングの絵記号

このインジケータは、ライト付きのアイコンとしてコーナーポストディスプレイに表示されます。このアイコンが点灯している場合、排出ガスシステム温度は自動フィルタクリーニングまたはフィルタクリーニングを実行できる十分高い温度です。

自動排ガスフィルタクリーニングは、排ガスフィルタの硫黄または尿素付着物が一定のレベルに達し、エンジン回転数が 1200 rpm を上回っている場合に開始されます。エンジンシステム温度 / フィルタクリーニングのシンボルは、排ガスフィルタクリーニングの実行中に点灯し続けます。自動排ガスフィルタクリーニングは、オペレータ側の介入なしに開始、実行されます。

自動フィルタクリーニングアイコン：



RXA0152960—UN—21JUL16
自動フィルタクリーニングの選択

このアイコンは、情報ディスプレイのエンジンメニューに表示されます。この設定を変更すると、機械性能が時間の経過とともに低下します。エンジンメニューでこのオプションを選択すると、「自動クリーニング」と「クリーニング無効」の間で選択を切り替えることができます。

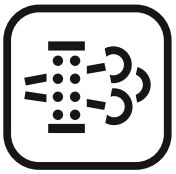
高い排ガス温度が受け入れられない条件が存在しない限り、常に「自動クリーニング」のままにしてください。キーを OFF に切り替えるたびに、設定は自動クリーニングに戻ります。

注意： **特定の状況下では、排ガスフィルタクリーニングに関連する高い排ガス温度により火災のおそれがあります。特定のアプリケーションでは、設定を「クリーニング無効」に変更することが望ましい場合があります。密閉空間および可燃物近くでの排ガスダクトが必要な操作は、これに関連して考慮する必要があります。**

重要： **フィルタクリーニングプロセスを無効にすると、多くの場合、エンジン性能の低下が発生し、駐車排ガスフィルタクリーニングをより頻繁に実施することが必要になります。**

注記： その他のディスプレイナビゲーション情報については、「基本的なメニューナビゲーション」(セクション 30AA) を参照してください。

フィルタクリーニングアイコン：



RXA0152961—UN—21JUL16
フィルタクリーニングの選択

重要： **オペレータがインジケータを無視し自動クリーニングを許可しないで機械を操作し続けると、エンジン性能が低下します。駐車排ガスフィルタクリーニングの手順を実行する必要があります。無視し続けると、John Deere 販売店またはその他の整備工場による整備排ガスクリーニング手順が必要になります。**

このアイコンは、情報ディスプレイのエンジンメニューに表示されます。許可されている場合は、駐車フィルタクリーニングをこのメニューで実行できます。排ガスフィルタが定期的に自動クリーニングの実行を許可されていない場合、または詰まった場合、駐車クリーニングが必要です。システムで駐車クリーニングが不要の場合、フィルタクリーニングアイコンは選択できません。

駐車フィルタクリーニング：

注意： **駐車排ガスフィルタクリーニングは高い排ガス温度が発生し、30 ~ 45 分かかります。機械を適切な換気設備を備えた区域に可燃物から離して駐車します。**

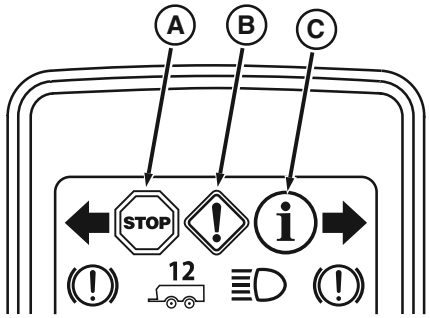
重要： **駐車クリーニングプロセスを開始したら、中断なしに完了させてください。**

1. 燃料レベルを点検します。必要に応じて補給します。

2. 機械を適切な場所に駐車し、PTO と補助機能を解除して作業機を地面まで下ろします。
3. エンジン回転数をローアイドルに設定します。
4. 排ガスフィルタクリーニングの実行中は、他の機械機能を使用しないでください。ただし、機械の非常停止に必要な機能を除きます。
5. 情報ディスプレイの「フィルタクリーニングアイコン」を選択します。
6. 「駐車フィルタクリーニングを開始してください」というメッセージがディスプレイに表示されます。「開始」を押します。
7. 次に、満たす必要がある条件のリストが表示されます。すべてのボックスをオンにしたら、ナビゲーションパッドの「入力/承認」ボタンを押して開始します。
8. 「次へ」を選択し、「入力/承認」キーをもう一度押してプロセスを開始します。
9. 中断なしにプロセスを実行させます。オペレータが入力しないでもエンジン回転数が高くなります。プロセス中は、進行状況バーが情報ディスプレイに表示されます。
10. プロセスが正常に完了すると、「排ガスフィルタクリーニングの完了」メッセージが表示されます。「OK」を選択して、メニューを終了します。
11. プロセスが完了しなかった場合、以下のいずれかの条件に関連するエラーメッセージが表示されます。
    a. スロットルがローアイドルに設定されていません。
    b. 機械が駐車されてなく車輪回転数を検出しました。
    c. PTO 回転速度を検出しました。
    d. フィルタクリーニングを完了できませんでした。このエラーが発生した場合は、機械の整備を John Deere 販売店またはその他の整備工場に依頼することをお勧めします。
12. 機械の操作を通常どおり続けてください。

注記： 機械の操作を再開しない場合は、エンジンが通常の使用温度に戻るまで待ってからエンジンを停止してください。

整備排ガスフィルタクリーニング



RXA0153450—UN—19AUG16

警告インジケータ

A：**停止インジケータ**
B：**警告インジケータ**
C：**情報表示**

重要： **駐車中の排ガスフィルタークリーニング手順の実行を求める停止インジケータ (A)、警告インジケータ (B)、または情報インジケータ (C) を無視すると、最終的に John Deere 販売店またはその他の整備工場による整備が必要な追加のエンジン出力制限が発生します。**

停止インジケータ (A) が点灯し、対応する排出ガスの診断トラブルコードが同時に発生した場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

整備クリーニングを回避するためのヒント：

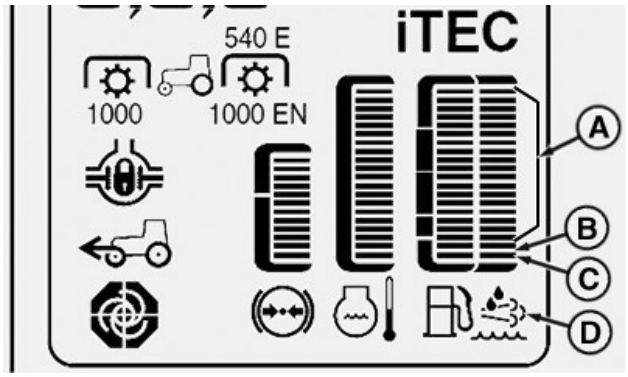
- 超低硫黄燃料のみを使用してください。
- 不要なアイドリングを避けます。
- 必要な場合以外は、排ガスフィルタクリーニングを無効にしないでください。
- 必要な場合以外は、クリーニングプロセスを中断しないでください。
- 可能な場合、排ガスフィルタクリーニング表示灯が点灯しているときはエンジンを停止しないでください。
- オペレータに対して表示される情報に注意し、必要な措置をとってください。

OULXA64,6M,0005581-40-17JUL25

DEF (排ガス処理用尿素水) レベルゲージ

重要： **後処理装置の部品をいじったり取り外したりするのは違法です。基準値に適合しないディーゼルエグゾーストフルード (DEF) を使用することは違法です。**

重要：**不正または認可されていない交換部品を使用すると、車両の後処理装置を損傷させ、正しく機能しなくなるおそれがあります。排気システムを修理する際は、インテリムティア 4/ステージ III B とファイナルティア 4/ステージ IV を装備した車両間で後処理装置の部品を相互に交換することは絶対にしないでください。**



LX364318—UN—11MAR19

A：**正常な DEF レベル**
B：**低 DEF レベル 1**
C：**低 DEF レベル 2**
D：**DEF マーク**

SCR システムにより DEF の品質を監視します。DEF 内の尿素濃度の異常を検出すると、システムが診断トラブルコードを表示します。

SCR 排ガス後処理プロセスは、DEF と排ガスクリーニングシステムの他の部品を使用して排出ガスを低減するためのシステムです。

適正な作動を確保するため、トラクターの電子制御システムは DEF レベルを監視します。DEF のレベルが臨界に達すると、表示灯と診断トラブルコードによりオペレータに通知します。トラクターの性能を維持するため、トラクターの燃料を補給するたびに DEF タンクにも補給することをお勧めします。「DEF タンクへの注入」(セクション 20) 参照。

詳しくは、セクション 200B を参照してください。

正常な DEF レベル：

排ガス処理用尿素水 (DEF) レベルがレンジ (A) 内の場合は、排ガス処理用尿素水 (DEF) マーク (D) がオンになり、トラクターは正常に作動します。常にこのレンジ内にレベルを維持してください。

低 DEF レベル 1：

DEF レベルが 10% (B) 未満になると、DEF レベルゲージの最も下のバーが点滅し、診断トラブルコードが表示されます。トラクターの動作には影響はありませんが、ただちに DEF タンクを補充することを推奨します。

低 DEF レベル 2：

DEF レベルがゼロ (C) に近づくと、DEF マーク (D) が点滅します。エンジンの出力が低下し、診断トラブルコードが表示されます。トラクターを再度通常通りに作動させるには、DEF タンクを補充する必要があります。

低温時の DEF：

排ガス処理用尿素水 (DEF) の凍結温度は約 -11°C (12° F) です。この温度以下では、排ガス処理用尿素水 (DEF) を後処理装置で使用することはできません。トラクターのシステムが温度の低下を検出し、DEF がない状態でもエンジンが作動できるようにします。この作動状態は、診断トラブルコードによりフラグ付けされます。

DEF を融かすため、エンジンの冷却システムから DEF タンクに熱が送り込まれます。DEF が融解すると、SCR システムは通常通りに機能します。しかし DEF が 40 分以内に融解しない場合は別の診断トラブルコードが表示され、エンジンの出力が低下します。

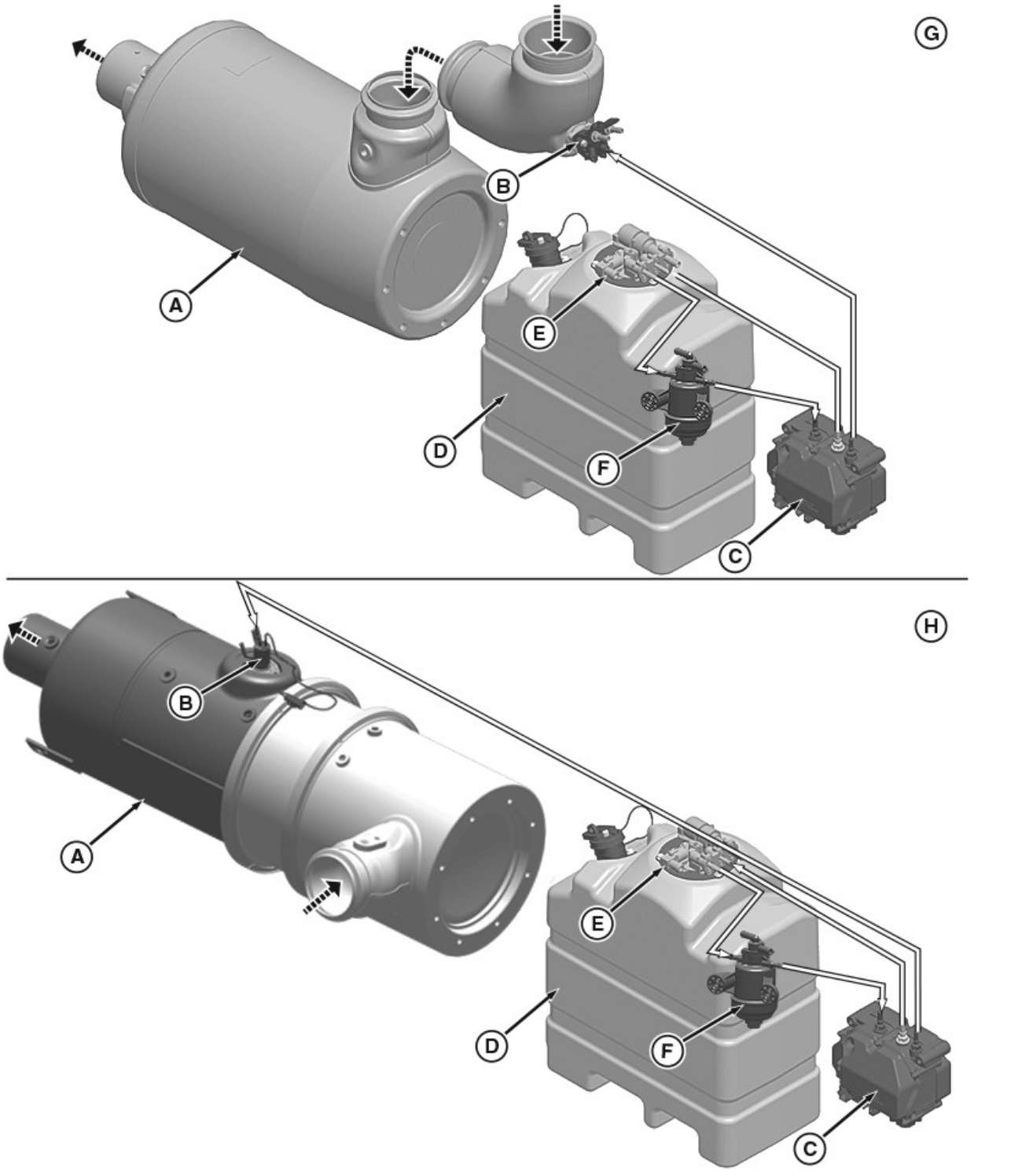
注記：排ガス処理用尿素水 (DEF) の品質は、凍結や融解によって低下することはありません。

必要に応じて、John Deere™ 製付属品として DEF タンク用の施錠可能なキャップをご注文いただけます。

* DEF (排ガス処理用尿素水) = 排ガス後処理装置で使用する尿素系液体。

OULXA64,6M,0005582-40-19APR23

選択接触還元 (SCR) システムの概要



RG22427A—UN—07JAN20

SCR システム

A：**SCR 触媒**
B：**DEF 供給インジェクター**
C：**DEF 供給装置**
D：**DEF タンク**
E：**DEF タンクヘッダーアセンブリ**
F：**インライン DEF フィルタ (装備されている場合)**
G：**モジュール型缶構成**
H：**インライン型缶構成**

重要：**エンジン停止後、4 分以上待ってからバッテリーのリード線を取り外してください。エンジンが停止すると、SCR システムは自動的にその中にあるディーゼルエグゾーストフラッド (DEF) のパージを行います。ラインのパージに十分な時間をかけないと、DEF の残留物が寒冷気候で凍結して SCR システムの部品を損傷させる可能性があります。**

国および現地の排出ガス関連の要件に準拠するため、このエンジンは選択接触還元 (SCR) システムを採用しています。選択触媒還元 (SCR) 装置の主要構成部品には、SCR 触媒 (A)、DEF 供給インジェクター (B)、DEF 供給装置 (C)、DEF タンク (D)、および DEF タンクヘッダーアセンブリ (E) があります。選択触媒還元 (SCR) 装置は、窒素酸化物 (NOx) の排出低減に効果があります。NOx は、スモッグや酸性雨の主な構成要素となるものです。

燃焼中、排気内に NOx が形成されます。DEF は SCR 触媒の前に排気流に注入されます。SCR 内の化学反応により、NOx は窒素と水に変換されます。

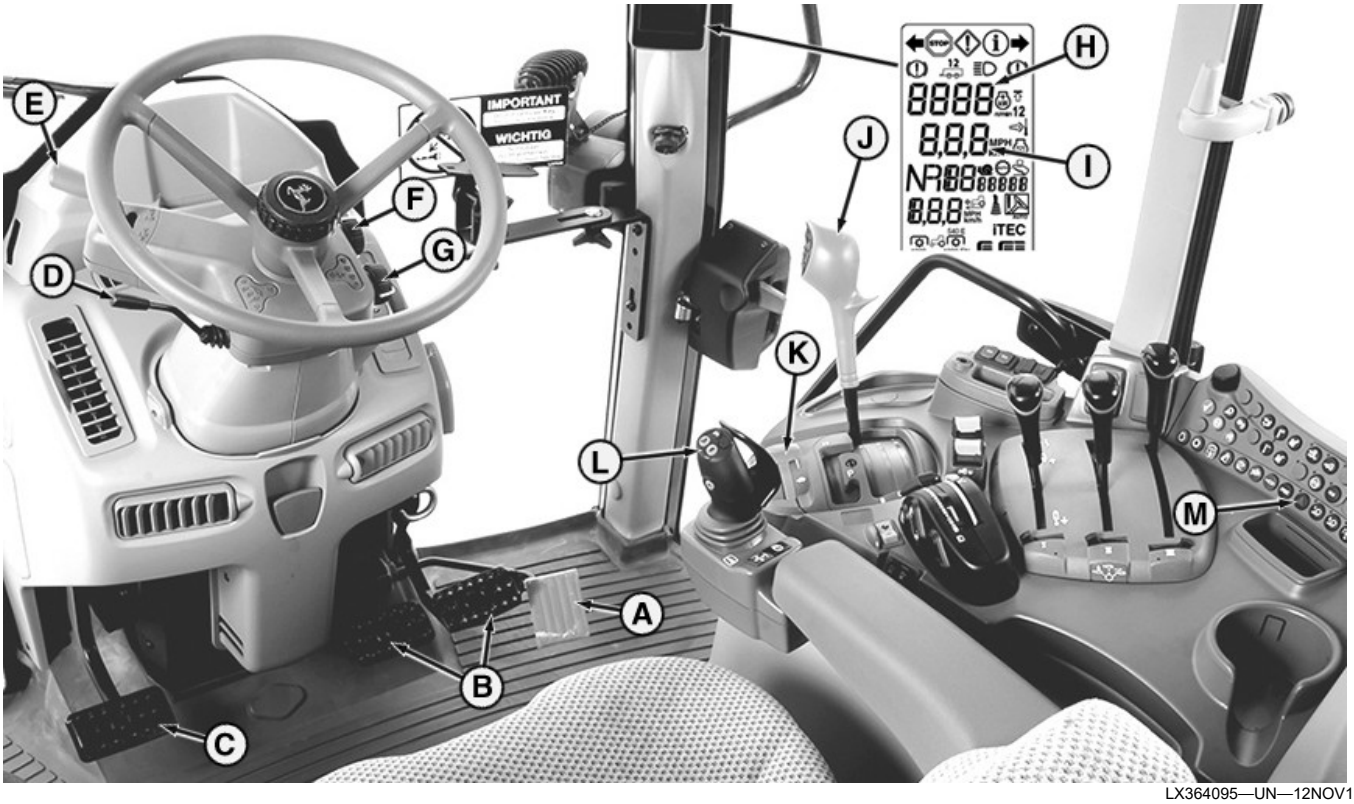
通常は、燃焼の作用により水蒸気となります。排気温度が下がる寒冷気候での運転では、この水蒸気が凝縮して白い排気煙に見えることがあります。これは作動温度が上がって水がさらに蒸発するにつれて収まります。この状況は正常と見なされます。

DEF 溶液は、-11°C (12°F) で結晶化と凍結が始まります。この温度より大幅に低くなることのある寒冷気候では、DEF が DEF タンク内で凍結する可能性があります。このため、DEF タンクにはヒーターエレメントが備えられており、始動時に DEF を急速解凍することができます。ヒーターエレメントは、作動中の流動性を維持するために必要に応じて働きます。DEF は初期始動時にはドージングされないので、冷間始動時に DEF が液体である必要はありません。

DEF の品質が劣化して基準値を満たさなくなると、エンジンディレーティングの可能性があります。DEF は透明でわずかなアンモニア臭があります。DEF が濁って色がつき、アンモニア臭が強くなった場合は、仕様を満たしていない可能性があります。

DX,SCR,OVERVIEW-40-30MAR20

PowrQuad™ PLUS/AutoQuad™ PLUS トランスミッション搭載車両のコントロール



LX364095—UN—12NOV18

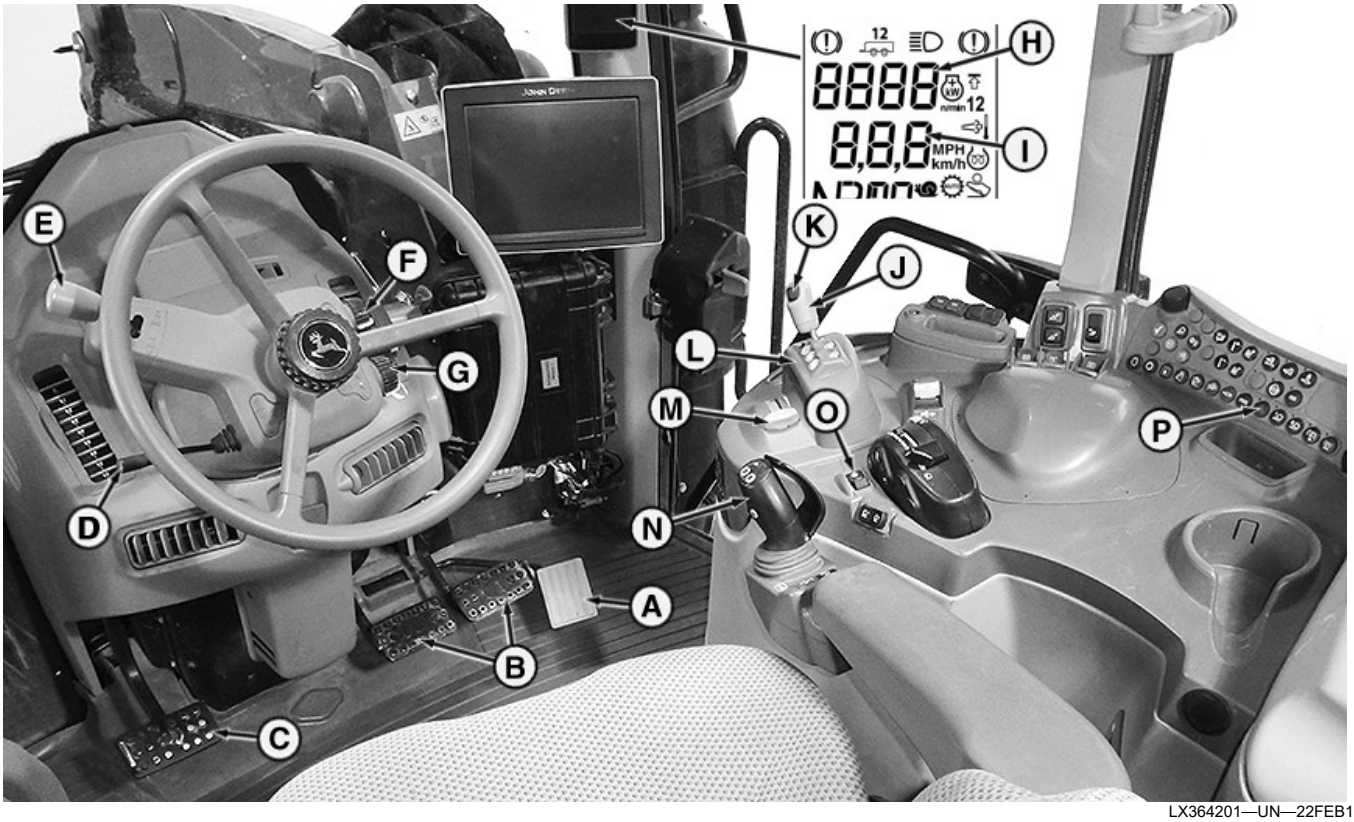
PowrQuad™ PLUS/AutoQuad™ PLUS トランスミッション搭載車両のコントロール

A：アクセルペダル
B：左右のブレーキペダル
C：クラッチペダル
D：方向指示灯レバー
E：リバースドライブレバー
F：ライトスイッチ
G：ワイパー **ON/OFF**
H：エンジン回転数
I：移動速度
J：ギヤシフトボタン、クラッチボタン、および自動シフトボタン付き副変速レバー[1]
K：アクセルレバー
L：ギヤシフトボタンと移動の方向を変更するためのボタン付きジョイスティック
M：ハザードフラッシャー **ON/OFF**

OULXA64,6M,0005367-40-24AUG23

[1] *AutoQuad™ PLUS トランスミッションのみ*

CommandARM™ なし CommandQuad™ PLUS トランスミッション搭載車両のコントロール



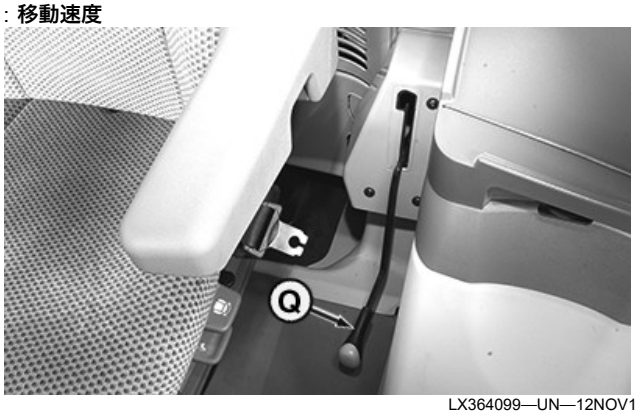
LX364201—UN—22FEB19

車両のコントロール - *CommandARM™ なし CommandQuad™ PLUS* トランスミッション

A：アクセルペダル
B：左右のブレーキペダル
C：クラッチペダル
D：方向指示灯レバー
E：リバースドライブレバー
F：ライトスイッチ
G：ワイパー ON/OFF
H：エンジン回転数
I：移動速度
J：シフトレバー
K：最高速度の速度ホイール
L：レンジシフトユニット
M：アクセルレバー
N：ギヤシフトボタンと移動の方向を変更するためのボタン付きジョイスティック
O：始動ギヤの選択
P：ハザードフラッシャー ON/OFF

Q：駐車ブレーキロックのコントロールレバー

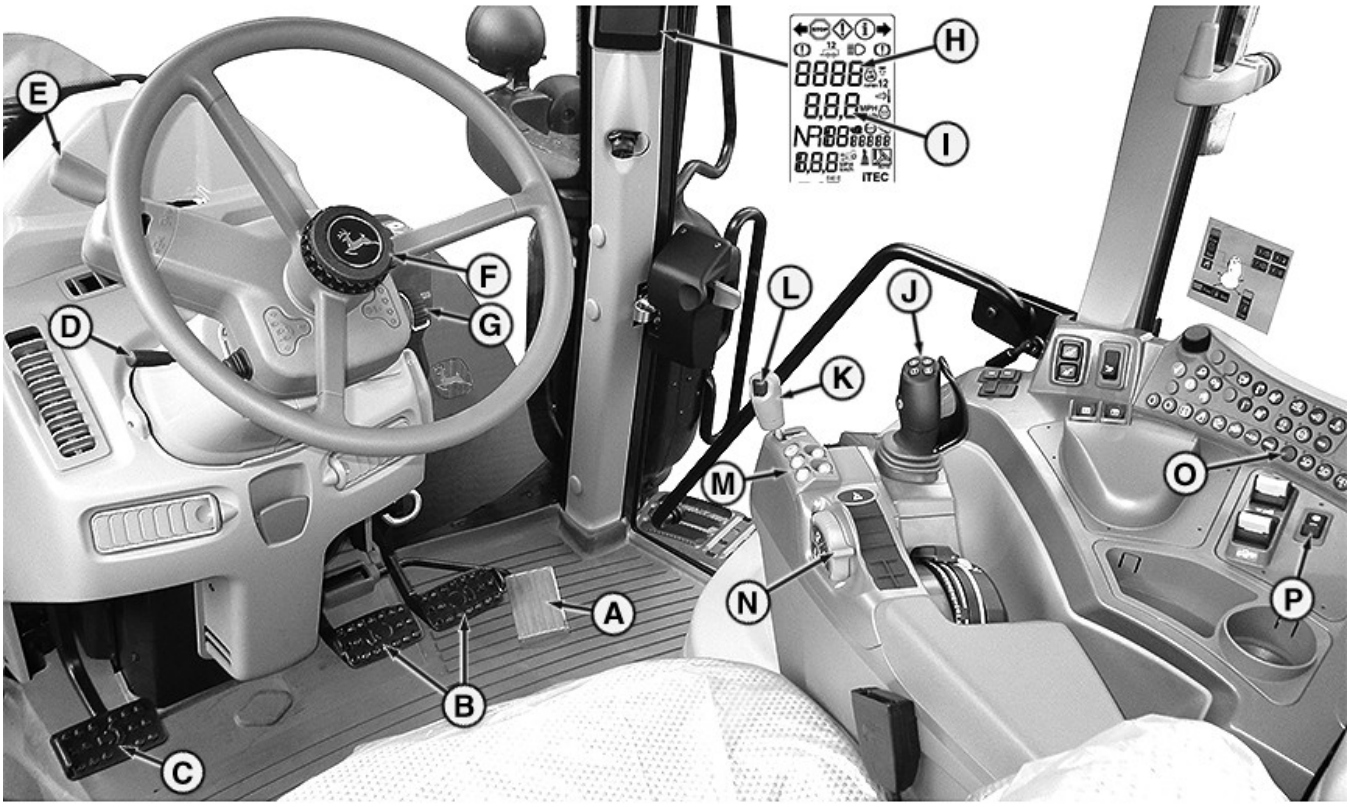
OULXA64,6M,0005368-40-21DEC20



LX364099—UN—12NOV18

駐車ブレーキロックのコントロールレバー

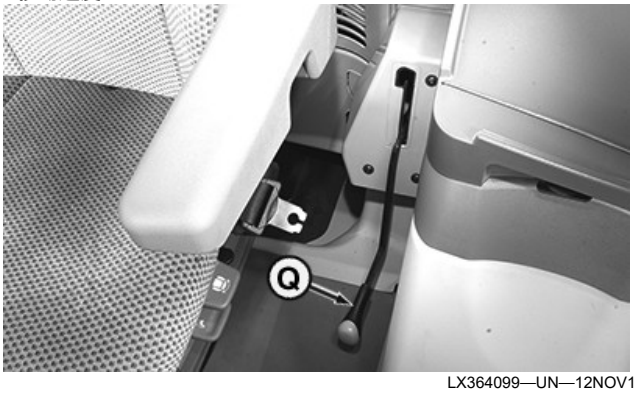
CommandARM™ 付き CommandQuad™ PLUS トランスミッション搭載車両のコントロール



LX364096—UN—13NOV18

車両のコントロール - *CommandARM™ 付き CommandQuad™ PLUS* トランスミッション

A：アクセルペダル
B：左右のブレーキペダル
C：クラッチペダル
D：方向指示灯レバー
E：リバースドライブレバー
F：ライトスイッチ
G：ワイパー ON/OFF
H：エンジン回転数
I：移動速度



LX364099—UN—12NOV18

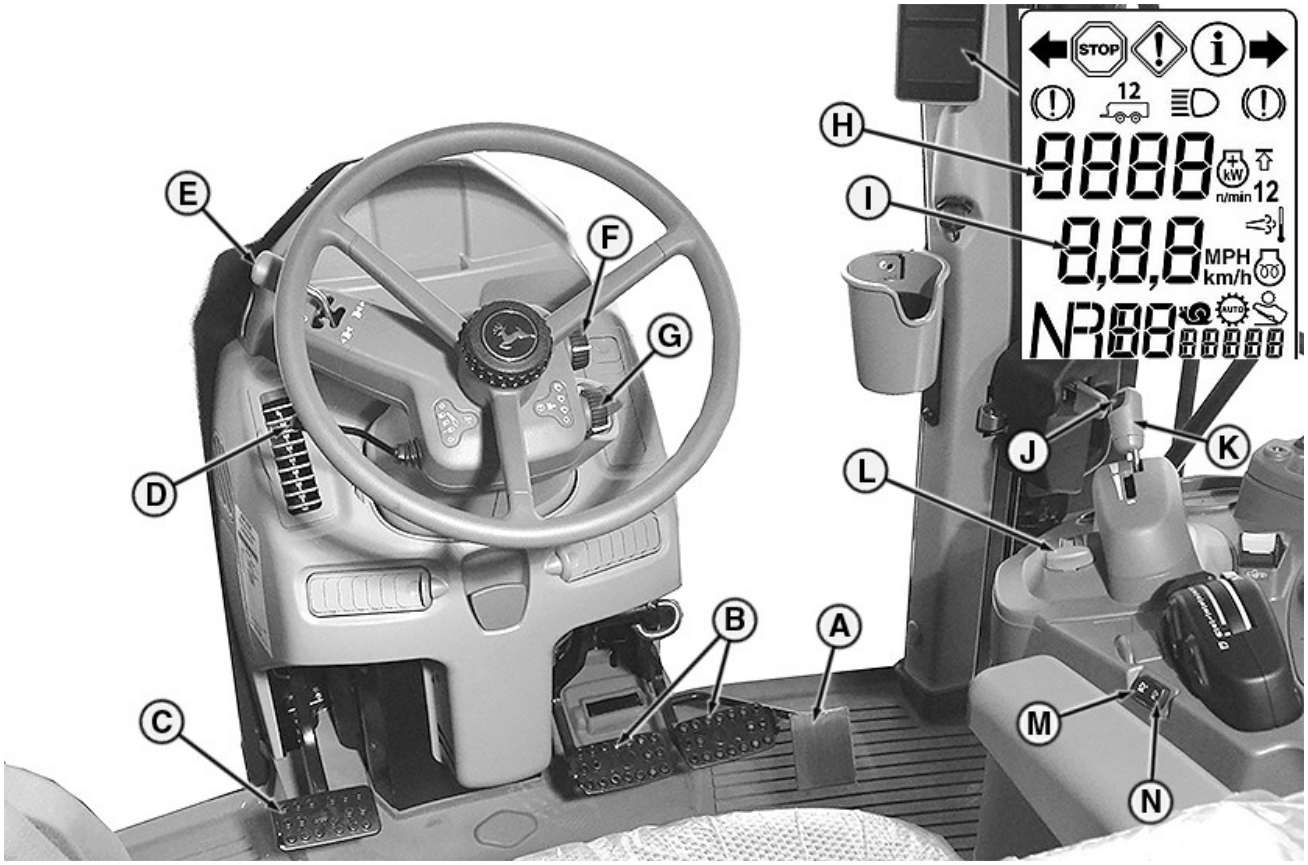
駐車ブレーキロックレバー

J：ギヤシフトボタンと移動の方向を変更するためのボタン付きジョイスティック
K：シフトレバー
L：最高速度の速度ホイール
M：レンジシフトユニット
N：アクセルレバー
O：ハザードフラッシャー ON/OFF
P：始動ギヤの選択

Q：駐車ブレーキロックのコントロールレバー

OULXA64,6M,0005369-40-21DEC20

CommandARM™ なし AutoPowr™ トランスミッション搭載車両のコントロール



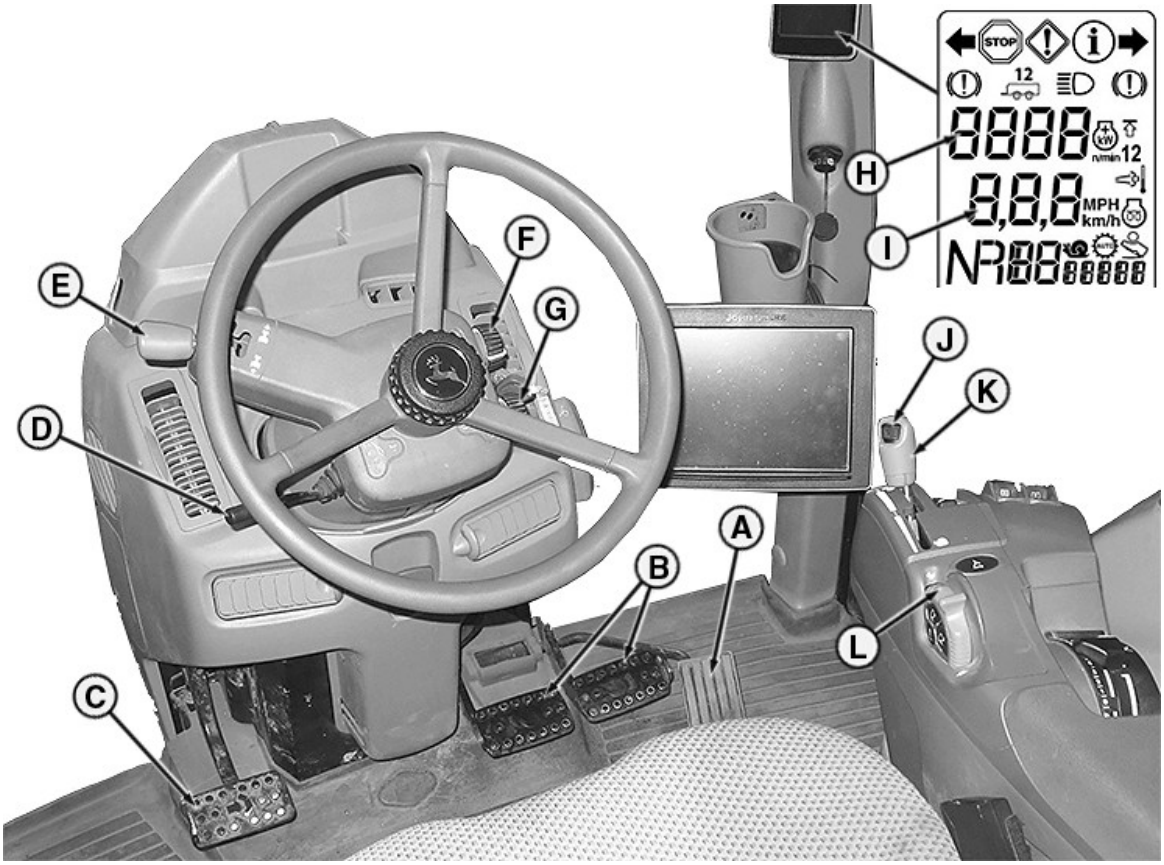
LX364630—UN—24FEB20

AutoPowr™ トランスミッション搭載車両のコントロール

A：アクセルペダル
B：左右のブレーキペダル
C：クラッチペダル
D：方向指示灯レバー
E：リバースドライブレバー
F：ライトスイッチ
G：ワイパー ON/OFF
H：エンジン回転数
I：移動速度
J：最高速度の速度ホイール
K：速度コントロールレバー
L：アクセルレバー
M：エンジン設定回転数 1、ON/OFF
N：エンジン設定回転数 2、ON/OFF

OULXA64,SP,00057B3-40-23NOV20

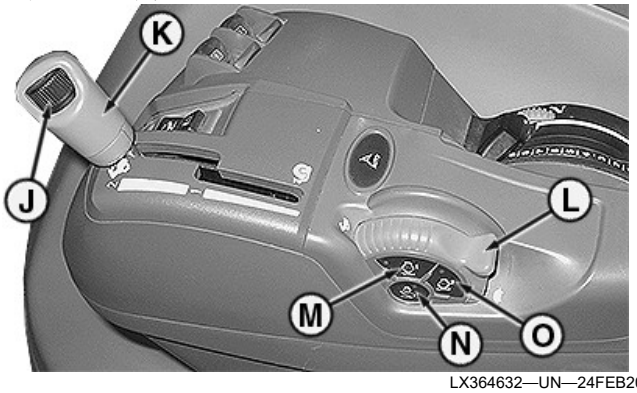
CommandARM™ 付き AutoPowr™ トランスミッション搭載車両のコントロール



LX364631—UN—24FEB20

AutoPowr™ トランスミッション搭載車両のコントロール

A：アクセルペダル
B：左右のブレーキペダル
C：クラッチペダル
D：方向指示灯レバー
E：リバースドライブレバー
F：ライトスイッチ



LX364632—UN—24FEB20

アクセルレバーの車両コントロール

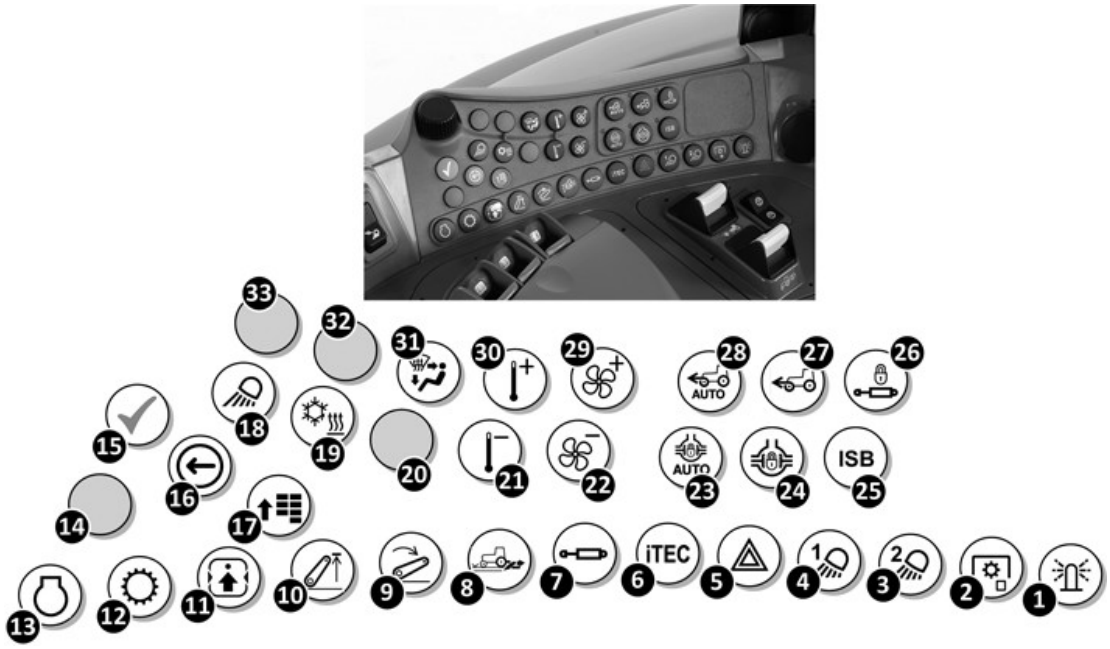
G：ワイパー ON/OFF
H：エンジン回転数
I：移動速度
J：最高速度の速度ホイール
K：速度コントロールレバー
L：アクセルレバー

J：最高速度の速度ホイール
K：速度コントロールレバー
L：アクセルレバー

M：エンジン設定回転数 1、ON/OFF
N：アクセルペダル、速度の保存/削除
O：エンジン設定回転数 2、ON/OFF

OULXA64,SP,00057B4-40-23NOV20

サイドコンソールのコントロール、概要



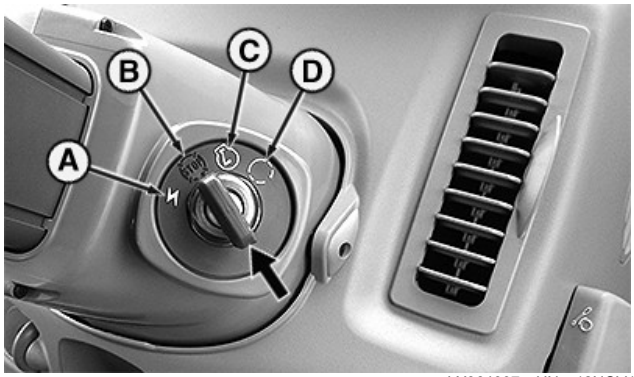
LX315198—UN—26FEB19

1：ビーコンライト ON/OFF
2：リア PTO、リモートコントロールの起動
3：作業灯、ユーザー設定 2
4：作業灯、ユーザー設定 1
5：ハザードフラッシャー ON/OFF
6：iTEC™ Basic、設定
7：選択制御弁、設定
8：ヒッチコントロール、設定
9：リアヒッチ、下降率
10：リアヒッチ、上昇限度
11：詳細設定
12：トランスミッション設定
13：エンジン設定
14：機能なし
15：確定ボタン
16：戻るボタン
17：メインメニューへのアクセス
18：フロント作業灯
19：解凍/曇り防止の自動調整
20：機能なし
21：温度を下げる
22：ブロワ速度を下げる
23：デフロックの自動切り替え
24：デフロックの手動切り替え
25：ISB の起動
26：トランスポートロックの起動 (ミッドマウント SCV 用)
27：前輪駆動の手動 ON/OFF
28：前輪駆動の自動 ON/OFF
29：ブロア速度を上げる
30：温度を上げる
31：気流分配の選択
32：機能なし
33：機能なし

OULXA64,6M,0005366-40-08DEC20

キースイッチ

重要：トラクターから離れる前に、キースイッチが STOP 位置 (B) にあることを確認してください。キースイッチが「STOP」位置にない場合、バッテリーが放電する可能性があります。



LX364097—UN—12NOV18

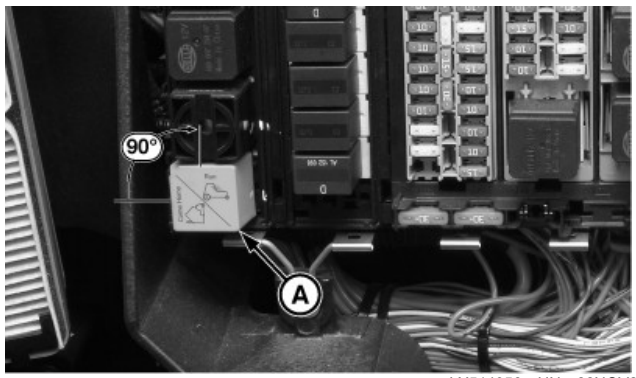
キースイッチ、位置

位置		電装品	電源供給側
A	ACC	運転席 12 V 電源コンセントソケット/シガーライター ラジオ[a]	バッテリー
B	停止	オンボード回路 OFF エンジン OFF	—
C	IGN	オンボード回路 ON エンジン OFF	バッテリー
	RUN	オンボード回路 ON エンジン運転中 バッテリー充電	オルタネータ
D	START	オンボード回路 ON ACC 位置の電装品 OFF 始動モータが作動し、エンジンが始動	バッテリー

[a] *装備されている場合*

OULXA64,6M,000536A-40-09SEP20

カムホームモード



LX514956—UN—22NOV23

時計回りに *90°* 回転させたコネクタ

A：**コネクタ**

トランスミッションに電気的故障がある場合、トラクターをカムホームモードで運転することが可能です。

このためには、エンジンを停止し、図のようにコネクタ (A) を引き抜いて時計回りに 90° 回して再度挿入します。その後、エンジンを再始動します。

セクション 220B のヒューズとリレー (LCS) および (FRM) も参照してください。

カムホームモードでは、トランスミッションに応じてトラクターの操作が異なります。以下の説明を参照してください：

- PowrQuad™ PLUS トランスミッション、カムホームモード — セクション 50F
- AutoQuad™ PLUS トランスミッション、カムホームモード — セクション 50G
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、カムホームモード — セクション 50H
- AutoPowr™/IVT™ トランスミッション、カムホームモード — セクション 50J

OULXA64,SP,IVT,000586B-40-22SEP23

イモビライザ



RXA0108294—UN—24JUN10

A：**イモビライザとの通信用のチップとトランスポンダ付きのキー**
B：**追加機能のない通常のキー**

イモビライザ装備のトラクターは、有効なアクティベーションコードを含むチップを内蔵した特殊なキー (A) によってのみ操作できます。通常のキー (B) またはイモビライザで認識されないコードを含んでいるキーは使用できません。エンジンは始動しますが、すぐに自動的に停止します。さらに試行すると、トラクターのエンジンは回りますが、始動しません。

誤って正しくないキーで始動しようとした後： 有効なキーをキースイッチに挿入し、イグニッションをオンにします。**始動しないでください。**3 秒以上待機してからエンジンを始動します。

注記： イモビライザキー (A) は通常のキー (B) よりも少し厚いため、区別できます。イモビライザキーは、イモビライザがプログラムされたトラクターでのみ機能します。

工場渡し時に、イモビライザを装備しているトラクターには 2 つのキーが用意されています。通常の予備部品チャンネルから、追加のキーを 3 つまで入手できます。

重要： キーを紛失した場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にすぐにご連絡ください。販売店や整備工場では、イモビライザを適宜プログラミングすることにより、紛失したキーを無効にすることができます。これにより、キーを見つけた人によるトラクターの無許可の操作を防止します。

注記： トラクターの生産性を維持するために、紛失したキーはできるだけ早く交換することをお勧めします。

OULXA64,000536C-40-16JUL25

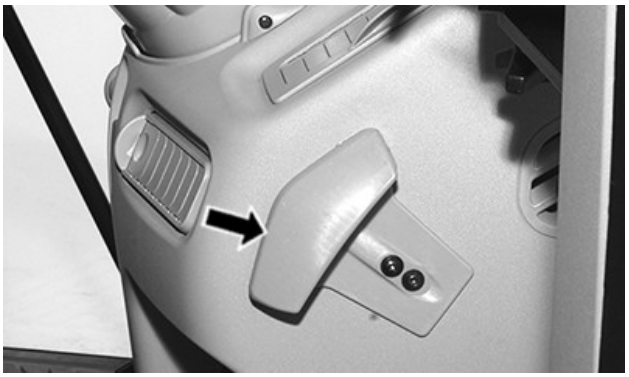
非常ブレーキシステム

注意： 非常ブレーキシステムを駐車ブレーキとして使用しないでください。

非常ブレーキシステムでブレーキをかけると、次のトレーラーブレーキが作動します：

- **空気トレーラーブレーキ[2]**
- **二系統油圧トレーラーブレーキ[2]**

トレーラーブレーキの制動効果は、フットブレーキにより作動した場合よりも小さい可能性があります。



LX364098—UN—14NOV18

フットブレーキが故障した場合は、非常ブレーキシステムでトラクターにブレーキをかけることができます。レバーを引き上げてブレーキをかけます。

注意： トラクターを駐車するには、駐車ブレーキロックをかける必要があります。次のトレーラーブレーキが作動します：

- **空気トレーラーブレーキ[2]**
- **二系統油圧トレーラーブレーキ[2]**

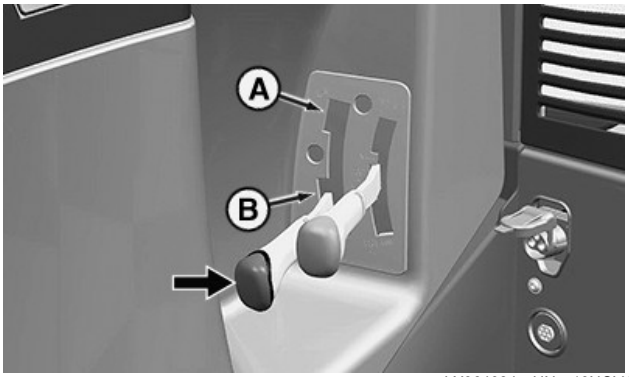
OULXA64,6M,000536D-40-09SEP20

クリーパー - コントロール

重要： 土壌に貫入する作業機や高い牽引力を必要とする作業機で作業するときは、クリーパートランスミッションを使用しないでください。

絶対にクリーパートランスミッションをレンジ D 以上で使用しないでください。このような状況でクリーパートランスミッションを使用すると、機械的故障が発生するおそれがあります。

[2] 装備されている場合



LX364084—UN—13NOV18

PowrQuad™ および *AutoQuad*™ *PLUS* トランスミッションのみでのクリーパー

A：**クリーパー速度**
B：**高速**

詳しくは、セクション 50D を参照してください。

OULXA64,6M,000536E-40-09SEP20

PTO - コントロール



LX364100—UN—12NOV18

CommandARM™ なしのキャブ

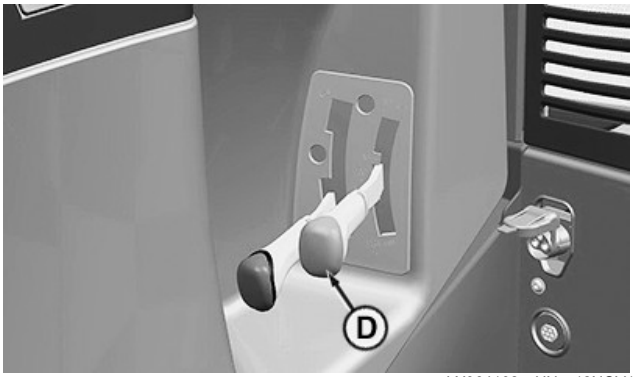


LX364101—UN—12NOV18

CommandARM™ 付きのキャブ

A：**フロント PTO スイッチ**
B：**リア PTO スイッチ**
C：**リモートコントロールモードボタン**[3]

[3] *装備されている場合*



LX364102—UN—12NOV18

CommandARM™ なしのキャブ

D：**PTO 速度レバー**



LX364448—UN—27SEP19

リモートコントロールボタン、バージョン *1*



LX364103—UN—13NOV18

リモートコントロールボタン、バージョン *2*

E：**リモートコントロールボタン**[3]

詳しくは、以下参照：

- フロント PTO (セクション 60B)
- リア PTO (セクション 60C)

OULXA64,6M,000536F-40-08MAY23

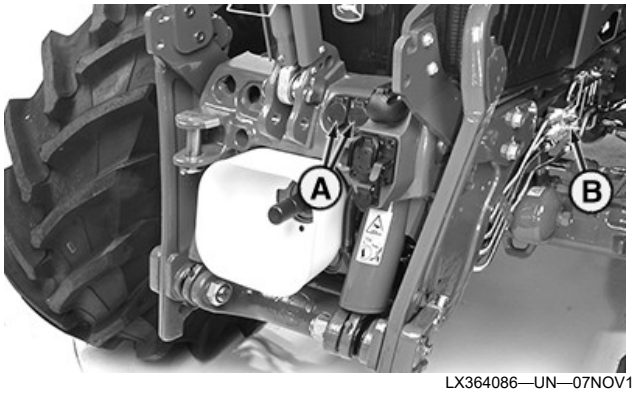
エコノミーフロントヒッチ - コントロール

注意： **致命的な結果を招く可能性がある押しつぶしの危険を回避してください。**

フロントヒッチの近くで作業するときは、予期しない動きが引き起こされて、重大な押しつぶし事故が発生する可能性があります。

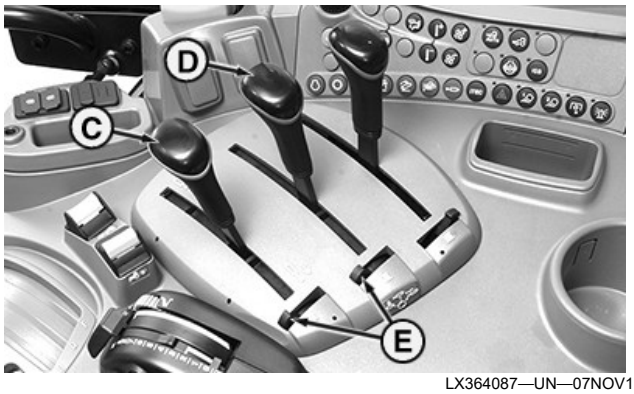
必ず先に作業機を降ろして油圧系統の圧力を解放してから修理や保守作業を行ってください。エンジンを停止して、意図しない再始動から機械を保護します。

不要なコントロール要素は必ずロックして、意図しない作動を防止してください！



LX364086—UN—07NOV18

A：**カプラー - 選択制御弁 II**
B：**フロントヒッチ - 遮断弁**



LX364087—UN—07NOV18

CommandARM™ なしのキャブの場合、機械式 *SCV*



LX364088—UN—14NOV18

CommandARM™ 装備のキャブの場合、電子制御 *SCV*

C：**フロントヒッチ (上昇/下降) - SCV I による制御**
D：**フロントヒッチカプラー - SCV II によるコントロール**
E：**トランスポートロック/ロックボタン、SCV ON/OFF**

注意： 道路走行時や、使用しないコントロールレバーをニュートラル位置に入れておくときは、必ずトランスポートロック (E) でコントロールレバーをロックしてください。

詳しくは、セクション 60D を参照してください。

OULXA64,6M,0005370-40-21DEC20

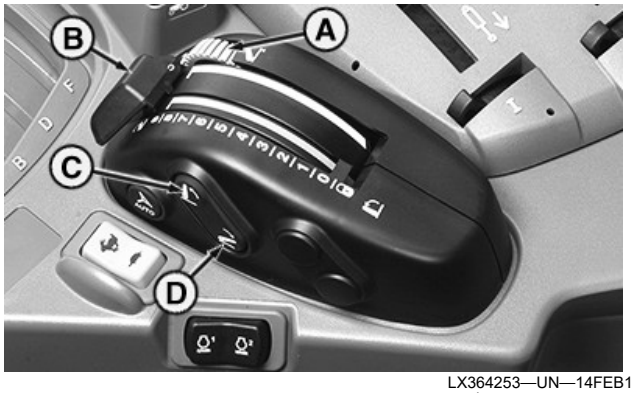
リアヒッチ - コントロール

注意： 致命的な結果を招く可能性がある押しつぶしの危険を回避してください。

フロントヒッチの近くで作業するときは、予期しない動きが引き起こされて、重大な押しつぶし事故が発生することがあります。

必ず先に作業機を降ろして油圧系統の圧力を解放してから修理や保守作業を行ってください。エンジンを停止して、意図しない再始動から機械を保護します。

不要なコントロール要素は必ずロックして、意図しない作動を防止してください！



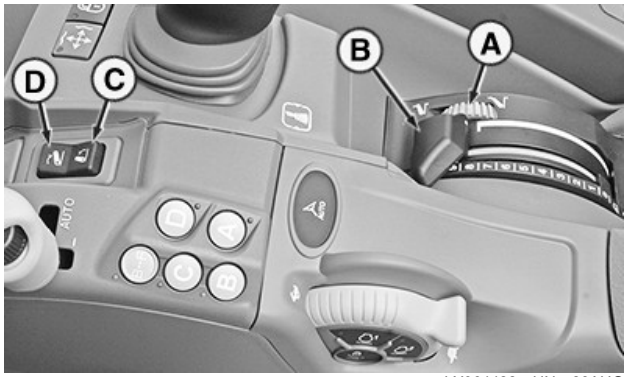
LX364253—UN—14FEB19

CommandARM™ なしのキャブ

A：**コントロールノブ、作業深さの調整**
B：**コントロールノブ、深さ制御の調整 (上昇/下降)**
C：**ボタン、ヒッチ上昇**
D：**ボタン、ヒッチ下降**

注意： トラクターの運転前にヒッチロック/Hitch Dampening™ 機能を必ず作動させてください！

それには、コントロールノブ (B) を *0* の先へ、輸送設定 (ロック記号) で止まるまで動かします。これでヒッチがロックされます。



LX364422—UN—28AUG19

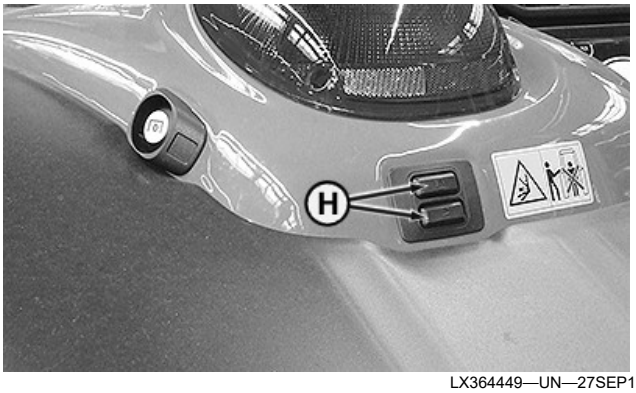
CommandARM™ 付きのキャブ

A：**コントロールノブ、作業深さの調整**
B：**コントロールノブ、深さ制御の調整 (上昇/下降)**
C：**ボタン、ヒッチ上昇**
D：**ボタン、ヒッチ下降**



LX364254—UN—14FEB19

E：**ボタン、上昇限度の設定**
F：**ボタン、下降率の設定**
G：**ボタン、ドラフト/深さ制御の設定**



LX364449—UN—27SEP19



LX364107—UN—25FEB19

H：**リモートコントロール、ヒッチ (上昇/下降)**

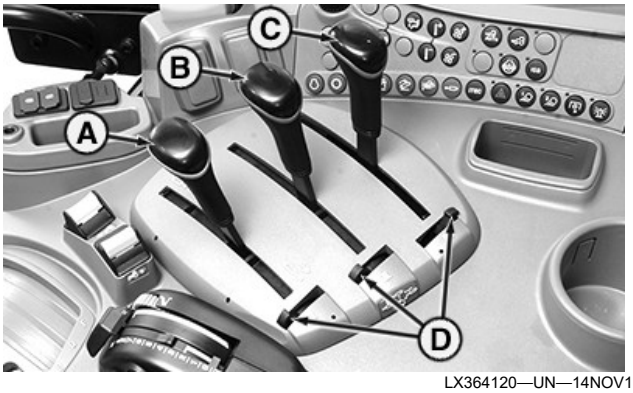
詳しくは、セクション 60E を参照してください。

OULXA64,6M,0005371-40-02DEC20

機械式選択制御弁 (SCV) - コントロール

⚠ 注意： 不要なコントロール要素は必ずロックして、意図しない作動を防止してください。

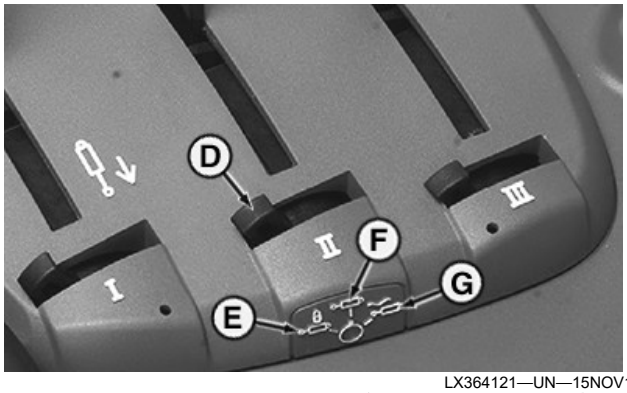
SCV I ~ III のコントロールレバー



LX364120—UN—14NOV18

CommandARM™ なしのキャブ

A：**SCV I コントロールレバー**
B：**SCV II コントロールレバー**
C：**SCV III コントロールレバー**
D：**コントロールレバーのロック用レバー**

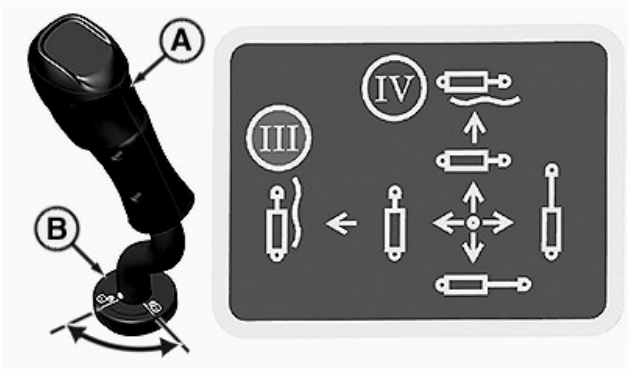


LX364121—UN—15NOV18

E：**コントロールレバーをニュートラル位置にロックします (輸送時のロック)**

F：**コントロールレバーを伸長/収縮位置に入れることができます**
G：**コントロールレバーを伸長/収縮位置に入れてフロート位置に固定することができます**

SCV III および IV 用ジョイスティック (装備されている場合)



LX364344—UN—26MAR19

A：**ジョイスティック**
B：**ロックリング (トランスポートロック)**

詳しくは、セクション 70A と 70B を参照してください。

OULXA64,6M,0005372-40-28JUN22

電子制御選択制御弁 - コントロール

注意： 不要なコントロール要素は必ずロックして、意図しない作動を防止してください！



LX364117—UN—16NOV18

CommandARM™ なしのキャブ



LX364118—UN—16NOV18

CommandARM™ 付きのキャブ

A：**SCV I コントロールレバー**
B：**SCV II コントロールレバー**
C：**SCV III コントロールレバー**
D：**SCV IV コントロールレバー**[4]
E：**SCV コントロールレバーのロックボタン**



LX364119—UN—14NOV18

SCV III 専用リモートコントロール

F：**SCV III 専用リモートコントロール (収縮/伸長)**[4]

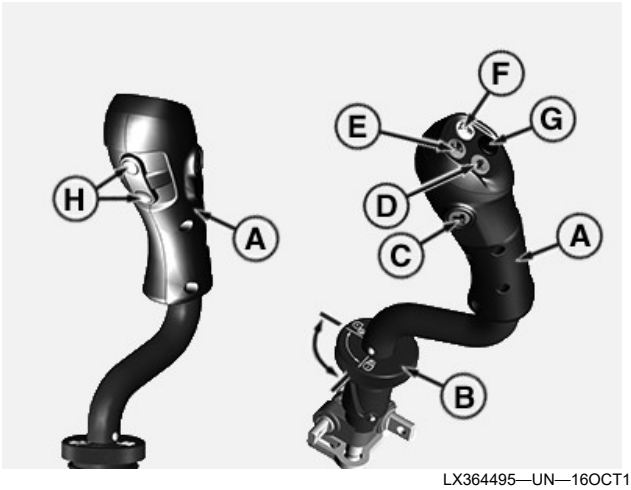
詳しくは、セクション 70A と 70B を参照してください。

OULXA64,6M,0005373-40-21DEC20

機械式ジョイスティック (工場取り付け)

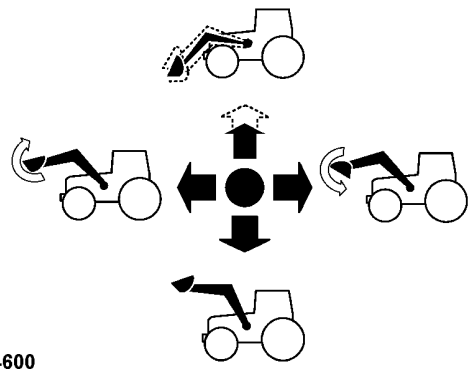
注意： 不要なコントロール要素は必ずロックして、意図しない作動を防止してください。

[4] *装備されている場合*



LX364495—UN—16OCT19

A：ジョイスティック
B：ロックリング (トランスポートロック)
C：ボタン、移動の方向の変更
D：ギヤシフトボタン、シフトダウン
E：ギヤシフトボタン、シフトアップ
F：ローダーサスペンションシステムの起動ボタン[5]
G：作業機の切換弁の起動用ボタン (装備されている場合)
H：ロッカースイッチ、追加制御弁の収縮 / 伸長[5]



LX1054600

LX1054600—UN—10OCT11

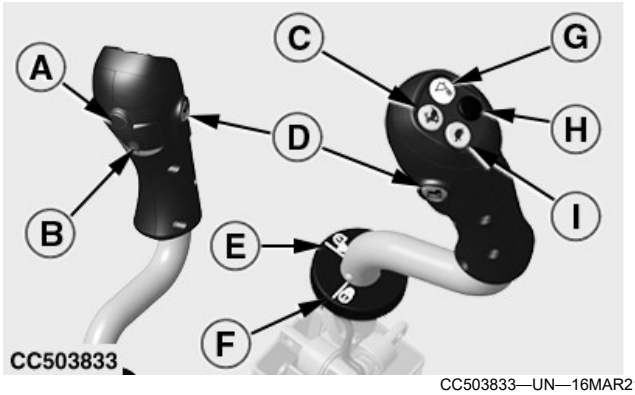
詳しくは、セクション 70D を参照してください。

⚠ 注意： 不要なコントロール要素は必ずロックして、意図しない作動を防止してください！

注記： 図に示すジョイスティックはオプションのコントロールを備えています。

OULXA64,6M,0005374-40-16AUG23

機械式ジョイスティック (後付け)、6M シリーズトラクター用 R シリーズローダー (MY20 ~)



CC503833—UN—16MAR21

A：第 3 機能
B：機能なし
C：ギアシフトアップ
D：後進
E：ロック解除位置
F：ロック機能
G：ローダーサスペンションシステム
H：第 4 機能
I：ギアシフトダウン

詳しくは、セクション 70D を参照してください。

⚠ 注意： 不要なコントロール要素は必ずロックして、意図しない作動を防止してください！

oulxa64,1656419083539-40-29JUN22

電気式ジョイスティック (バージョン 1)

⚠ 注意： 致命的な事故の危険！

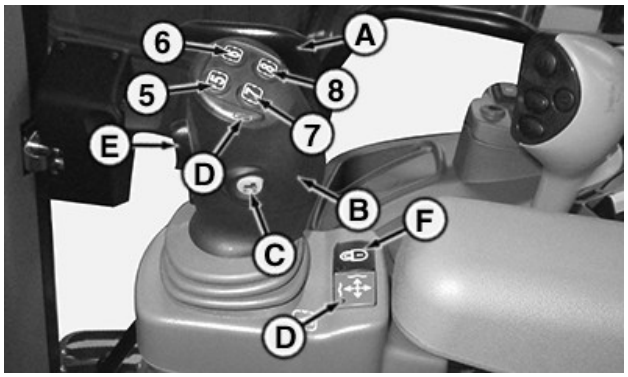
操作エラーが作業機やフロントローダーの不測の動きを引き起こす恐れがあります。

- **常に慎重に集中して作業してください。**
- **切換弁の状態に注意してください。**
- **フロントローダーを iTEC™ と共に操作しないでください。**
- **フロントローダーで作業するには、必ず「ローダーモード」を起動してください。**
- **フロントローダーで作業中は、時限デテント位置を使用しないでください。**
- **道路を運転中にジョイスティックが不要な場合は、ロックボタン (F) でジョイスティックをロックします。ジョイスティックをロックすると、ボタン (F) が点灯します。**

[5] 装備されている場合

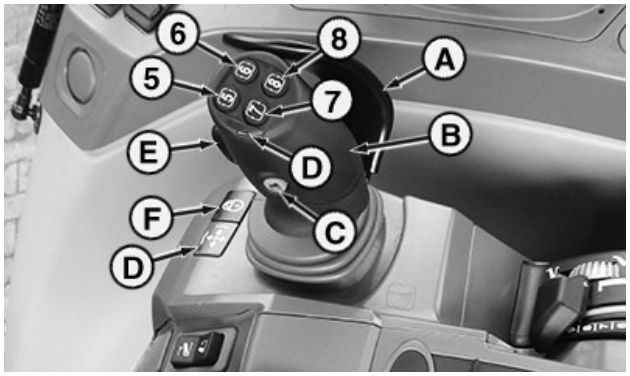
重要：工場出荷時設定以外の既定の設定が有効になっている場合は、ディスプレイをオンにした後に (IGN 位置)、メッセージが表示されます (IGN 位置)。このメッセージは、現在の設定に精通するようにドライバーに促します。メッセージの確認後にのみ、機能を利用できます。セクション 30A の「 コントロールのセットアップ」を参照してください。

ISOBUS 作業機を考慮したプリセットの場合は、必ず作業機の取扱説明書に従ってください。



LX364108—UN—21FEB19

右アームレストのジョイスティック



LX364109—UN—14NOV18

CommandARM™ のジョイスティック

5：**ギヤシフトボタン、シフトアップ (既定の割り当て)**
6：**ローダーサスペンションシステムの起動ボタン (既定の割り当て)**[6]
7：**ギヤシフトボタン、シフトダウン (既定の割り当て)**
8：**切換弁 2 用ボタン (既定の割り当て)**[6]
A：**ハンドフラップ、ジョイスティックの起動**
B：**ジョイスティック**
C：**移動方向の変更用ボタン**
D：**表示灯、ジョイスティック有効**
E：**ロッカースイッチ、上昇 / 下降 (既定の割り当て)**
F：**ロックボタン、ジョイスティック ON/OFF**

電動式ジョイスティックを装備したトラクターでは、ボタン (5) ~ (8)、および (C) とロッカースイッチ (E) を作動させたり、無効にしたりできます。

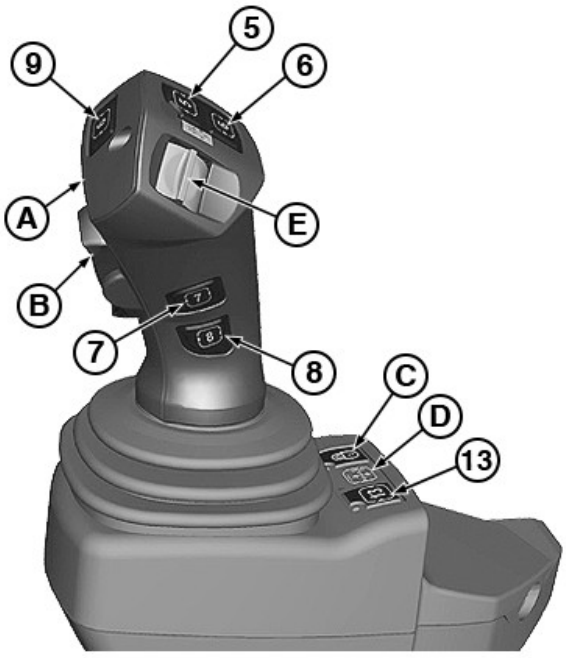
詳しくは、セクション 70D を参照してください。

注意：不要なコントロール要素は必ずロックして、意図しない作動を防止してください！

OULXA64,6M,0005375-40-21APR23

電気式ジョイスティック (バージョン 2)

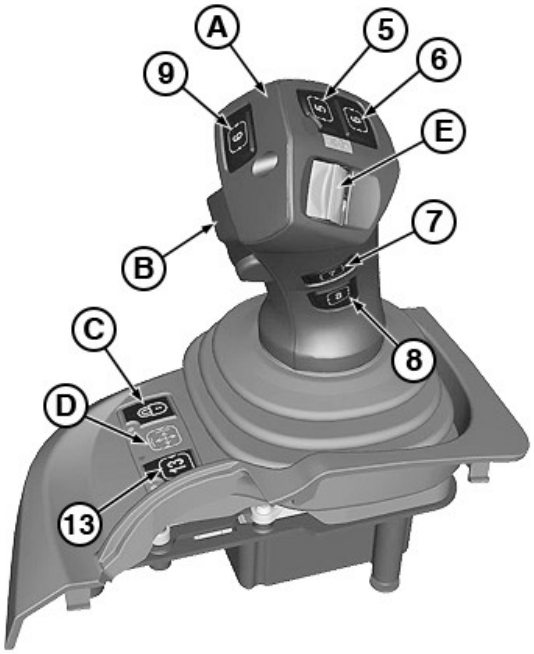
注意：フロントローダーを iTEC™ と同時に使用した場合、突然の動きや事故によりけがをする危険があります。予期しない動きにより死亡事故が発生する可能性があります。



LX373058—UN—28APR21

右アームレストの電気式ジョイスティック

[6] *欧州モデルのみ*



LX373059—UN—28APR21
CommandARM™ の電気式ジョイスティック

5：**ギヤシフトボタン、シフトアップ**
6：**ギヤシフトボタン、シフトダウン**
7：**切換弁 1 用ボタン**
8：**切換弁 2 用ボタン**
9：**エラーメッセージが表示された後、有効化モードでのみ使用されます**
13：**ローダーサスペンションシステムの起動ボタン**
A：**ジョイスティック**
B：**上昇/下降ロッカースイッチ**
C：**ロックボタン、ジョイスティック ON/OFF**
D：**表示灯、ジョイスティック有効**
E：**移動の方向の変更用ロッカースイッチ**

電動式ジョイスティックを装備したトラクターでは、ボタン (5) ~ (9)、および (13) とロッカースイッチ (B) を作動させたり、無効にしたりできます。

ボタン (8) を使用してセットポイント範囲を切り替えます。

詳しくは、セクション 70D を参照してください。

注意： 不要なコントロール要素は必ずロックして、意図しない作動を防止してください！

oulxa64,1656074883674-40-27JUL22

前輪駆動 - コントロール



LX364111—UN—14NOV18
A：**前輪駆動の自動接続/解除表示灯付きボタン**
B：**前輪駆動の手動接続/解除表示灯付きボタン**

詳しくは、セクション 50A を参照してください。

OULXA64,6M,0005376-40-09SEP20

デフロック - コントロール



LX364112—UN—14NOV18
A：**デフロックの自動接続/解除表示灯付きボタン**
B：**デフロックの手動接続/解除表示灯付きボタン**

詳しくは、セクション 50B を参照してください。

OULXA64,6M,0005377-40-09SEP20

iTEC™ Basic — Intelligent Total Equipment Control - コントロール

注意： 突然の作動や事故を防ぐため、絶対にフロントローダーを iTEC™ と組み合わせて操作しないでください。



LX364113—UN—14NOV18

A：**iTEC™ ボタン**

詳しくは、セクション 40A を参照してください。

OULXA64,6M,0005378-40-21APR23

AutoTrac™ - コントロール



LX364114—UN—14NOV18

AutoTrac™ - CommandARM™なし



LX364423—UN—28AUG19

AutoTrac™ 付き CommandARM™

A：**AutoTrac™ 再開ボタン**

復帰ボタン (A) で AutoTrac™ ステアリングシステムを起動します。

注記： AutoTrac™ ステアリングシステムを使用するには、次の追加装置が必要です。

- *StarFire™*
- *GreenStar™ アクティベーション*

詳しくは、AutoTrac™ ステアリングシステムの取扱説明書を参照してください。

OULXA64,6M,0005379-40-02MAY23

ISOBUS ボタン (ISB)

重要： ISOBUS 作業機を使用する前に、ISOBUS ボタンからの信号を作業機で使用できるかどうかを確認してください。

ボタン (A) を押して、ISOBUS 作業機をメーカーが指定する安全な作動条件に設定します。



LX372934—UN—08DEC20

A：**ISOBUS ボタン (ISB)**

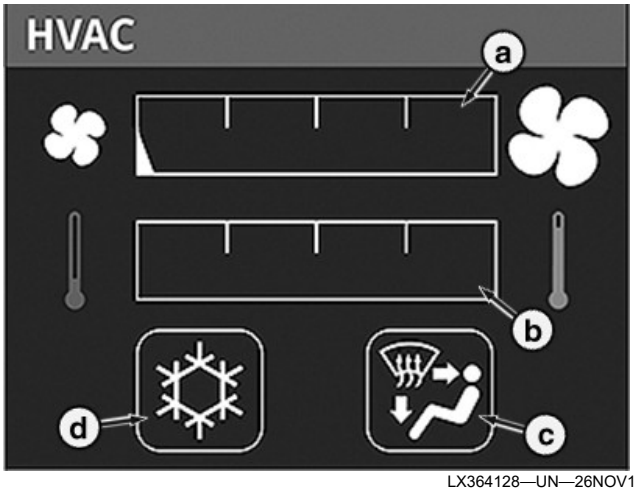
OULXA64,SP,000596E-40-07DEC20

ヒーター、ベンチレーション、エアコンシステム - コントロール



LX364116—UN—26NOV18

A：**ブロワコントロールボタン +/-**
B：**温度コントロールのボタン +/-**
C：**気流分配ボタン**
D：**エアコンボタン ON/OFF**



LX364128—UN—26NOV18

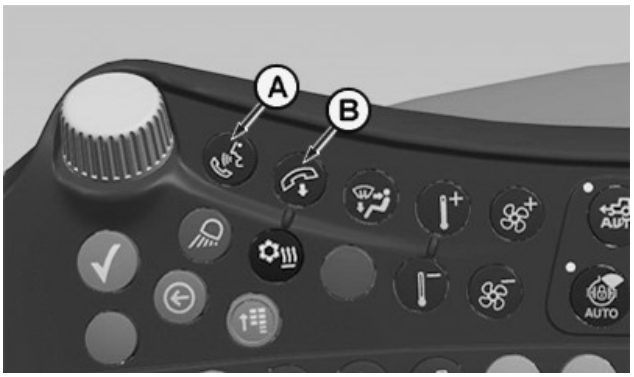
ディスプレイ

a：**ブロワコントロールインジケーター**
b：**温度コントロールインジケーター**
c：**気流分配インジケーター**
d：**エアコンインジケーター**

詳しくは、セクション 90F を参照してください。

OULXA64,6M,000537A-40-21DEC20

ラジオ A — 追加の電話コントロール



LX514735—UN—29JUN21

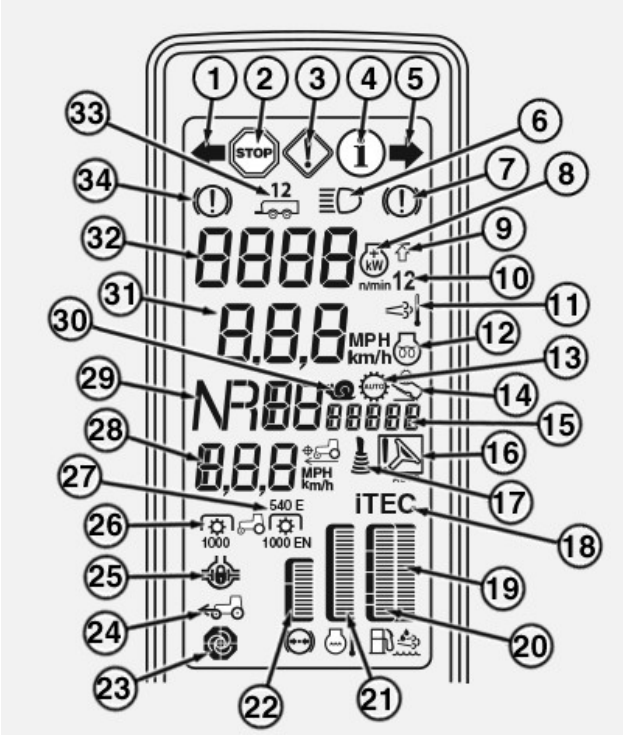
A：**プッシュツートーク / 通話応答ボタン**
B：**通話終了ボタン**

詳しくは、ラジオの関連する取扱説明書を参照してください。

OULXA64,SP,0005DFE-40-21APR23

コーナーポストディスプレイ

コーナーポストディスプレイ



LX364229—UN—25JAN19

1 - 左折インジケータ

2 - 停止インジケータ - 重大な故障が発生すると点滅します。直ちにエンジンを停止してください。情報表示のエラーメッセージを確認して原因を取り除いてください。

3 - 注意インジケータ - 故障が発生した場合に点滅します。情報表示のエラーメッセージを確認して原因を取り除いてください。

4 - 情報インジケータ - 油圧システム、トランスミッションなどに関連する電気部品の故障が発生すると点灯します。ディスプレイのエラーメッセージを確認し、原因を取り除いてください。必要に応じて、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

5 - 右折インジケータ

6 - ハイビームヘッドライト

7 - 警告灯、ブレーキシステム：

-ブレーキシステムで故障が発生した場合は、黄色に点灯します。以下の点に注意してください：

- 車両を平坦な場所に駐車して、車両が動かないように輪止めを取り付けます。
- 情報ディスプレイの指示に従ってください。
- 可能な場合は、原因を修正します。そうしない場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

8 - Intelligent Power Management (IPM) - IPM が有効な場合に点灯します。[1]

9 - 最高エンジン設定回転数 (最高エンジン回転数の制限) - 有効な場合に点灯します。

10 - エンジン設定回転数 **1** または **2** - 有効な場合は、対応する桁が点灯します。

11 - 排ガスフィルタクリーニング - 有効な場合に点灯します。

12 - 予熱式ヒーター表示灯 - キースイッチを右へ最初の位置「IGN」に設定すると点灯します。表示灯が消える前にエンジンを始動しないでください。

13 - 自動シフト - 有効な場合に点灯します。

14 - アクセルペダルモード[2] - 有効な場合に点灯します。

15 - レンジ/ギヤインジケータ[3]

16 - ステアリング故障インジケータ — AutoTrac™ 有効のときに点灯します。ステアリングシステムで重大な故障が発生した場合は、赤色に点灯します。以下の点に注意してください：

- 本機をすぐに停車させます。
- 車両を平坦な場所に駐車して、車両が動かないように輪止めを取り付けます。
- 情報ディスプレイの指示に従ってください。
- 可能な場合は、原因を修正します。そうしない場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

17 - ISO Aux 機能 - ISOBUS コントロールが起動したときに点灯します。

18 - iTEC™ 表示灯 - 有効な場合に点灯します。

19 - レベルゲージ、DEF

20 - レベルゲージ、燃料

21 - クーラント温度

22 - レベルゲージ、空気圧式トレーラーブレーキの空気圧

23 - 不使用

24 - 前輪駆動 - 有効な場合に点灯します。

25 - デフロック - 有効な場合に点灯します。

26 - フロント PTO - フロント PTO の起動と PTO モードを示します。

27 - リア PTO - リア PTO の起動と PTO モードを示します。

28 - mph または km/h 単位の最高前進速度 - 有効な場合に点灯します。

29 - 移動の方向、レンジ、およびギヤ - 移動の方向 (N/

[1] すべてのモデルには該当しません
[2] 次のトランスミッションのみ： AutoPower™/IVT™
[3] 次のトランスミッションを搭載していない場合： AutoPower™/IVT™

F/R)、レンジ、ギヤが有効になっている場合に点灯します。

30 - クリーパーモード[4] - 有効な場合に点灯します。

31 - スピードメータ - mph または km/h 単位の移動速度

32 - 回転数カウンター、エンジン回転数

33 - トレーラー警告灯 - 1 台または 2 台トレーラーが連結され、方向指示灯やハザードライトが作動している場合に点滅します。

34 - 警告灯、ブレーキシステム：

- 空気トレーラーブレーキが動作圧力に達するまで赤く点灯します。

- ブレーキシステムに重大な故障が発生した場合は、赤色に点灯します。以下の点に注意してください：

- 本機をすぐに停車させます。
- 車両を平坦な場所に駐車して、車両が動かないように輪止めを取り付けます。
- 情報ディスプレイの指示に従ってください。
- 可能な場合は、原因を修正します。そうしない場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

- 駐車ブレーキロックをかけることができない場合は、赤色に点灯します。以下の点に注意してください：

- 車両を平坦な場所に駐車して、車両が動かないように輪止めを取り付けます。
- 情報ディスプレイの指示に従ってください。
- 可能な場合は、原因を修正します。そうしない場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

コントロールライトのテスト：

- エンジンを始動すると、すべてのライト (アイコン) が約 1 秒間点灯します。点灯しない場合は、LED の欠陥またはヒューズ切れが原因として考えられます。部品を交換してください。
- キースイッチを右へ最初の位置 IGN に回すと、すべてのライト (アイコン) が約 1 秒間点灯します。点灯しない場合は、LED の欠陥またはヒューズ切れが原因として考えられます。部品を交換してください。

注記： 使用可能な機能のアイコンのみが点灯します。

OULXA64,6M,0005583-40-16JUL25

警告インジケータ



RXA0109847—UN—20AUG10

A：**停止灯**
B：**注意灯**
C：**情報灯**

注記： STOP、注意、情報のすべての警告灯は、メッセージ、診断トラブルコード、および情報表示の故障説明を伴っています。

警報音 (ビープ音や連続音) は、警告灯や情報ディスプレイに表示されているメッセージに対応しています。

「停止、注意、情報の警告インジケータと安全警告」(セクション 300B) も参照してください。

警告インジケータ：

A - 停止： ライトが点滅して警報音が連続して鳴ります。重大な故障が発生し、即時対応が求められています。対応しないと、トラクターが損傷します。

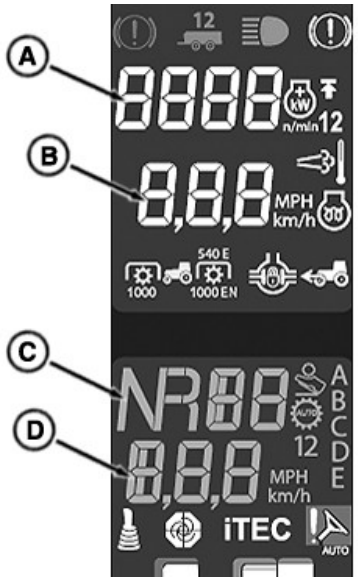
B - 注意：
表示灯が点滅し、安全警報音が 5 回鳴り、性能の問題または早期に修理しなければならない故障が示されます。

C - 情報：
表示灯が点灯したままになり、アラームが 2 秒間鳴り、故障状態を示します。

OULXA64,6M,0005584-40-16JUL25

[4] *次のトランスミッションを搭載していない場合： PowrQuad PLUS™、AutoQuad PLUS™、CommandQuad PLUS™*

デジタルインジケーター – 回転数カウンター、移動速度、トランスミッション、および設定速度



RXA0154166—UN—06OCT16

A – 回転数カウンター：エンジン回転数が表示されます。「- - -」が表示されている場合は、速度信号を受信していません。

B – スピードメータ：移動速度を mph または km/h で表示します (オペレータの単位選択 (ヤード・ポンド法/メートル法) による)。

「- - - -」が表示されている場合は、速度信号を受信していません。

C –トランスミッション情報：トランスミッションのシフト位置、ニュートラル - N、前進 - F、後進 - R、またはパーキング - P を示します。

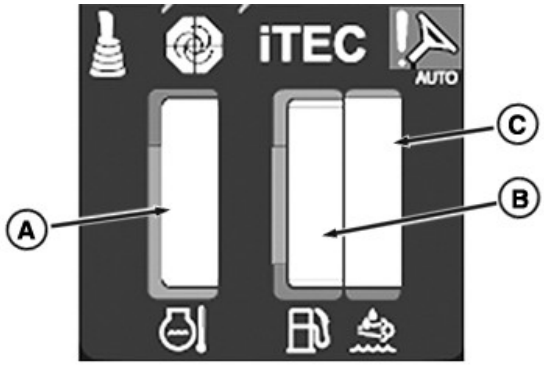
ギヤ信号を受信していない場合、「- - -」が表示されます。

速度バンド 1 または 2 および速度設定が表示されます (次のトランスミッションを搭載していない場合：PowrQuad PLUS™、AutoQuad PLUS™、CommandQuad PLUS™。

D – 設定速度インジケーター：設定速度アジャスタを使用して設定した速度が表示されます。

OULXA64,6M,0005585-40-24NOV20

ゲージ - クーラント温度、DEF レベル、燃料レベル



RXA0154167—UN—28SEP16

A – クーラント温度計： 表示の範囲は、40°C (104°F) ~ 120°C (248°F) です。クーラント温度が 40 ℃ (104 °F) 未満の場合、すべてのセグメントが消灯します。温度が 120°C (248°F) を超えると、すべてのセグメントが点灯します。

B – 燃料レベルモニター：表示されている各セグメントは、容量の 5% を意味します。燃料タンクが満杯の場合はすべてのセグメントが点灯します。最も低いセグメントのみが点灯している場合は、燃料の残量は約 5% だけです。2 つのセグメントが表示されていない場合、警報が鳴り、赤色のゾーンが点滅し始めます。

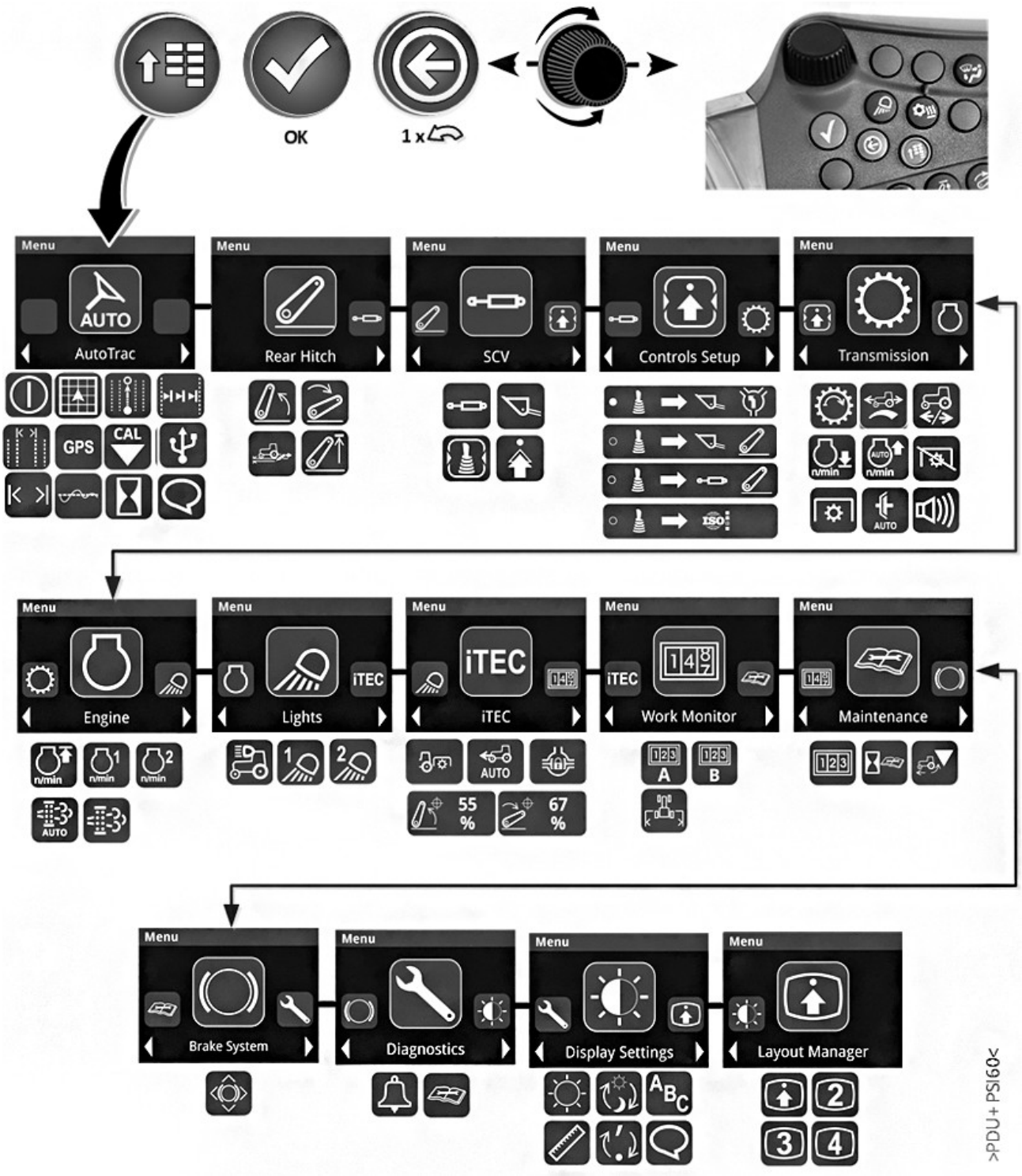
C – DEF フルードレベルの表示 (装備されている場合)：表示されている各セグメントは、容量の 5% を意味します。排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクが満杯の場合は、すべてのセグメントが点灯します。2 つのセグメントが表示されている場合、警報が鳴り、赤色のゾーンが点滅し始めます。

注記： DEFタンク内の液体レベル表示灯は、ファイナルティア 4/ステージ V エンジンを搭載しているトラクターにのみ取り付けられています。

緊急推奨事項：燃料タンクに給油するときは、必ず DEF 溶液タンクにも補給してください。

OULXA64,6M,0005586-40-21DEC20

すべてのメニューの概要



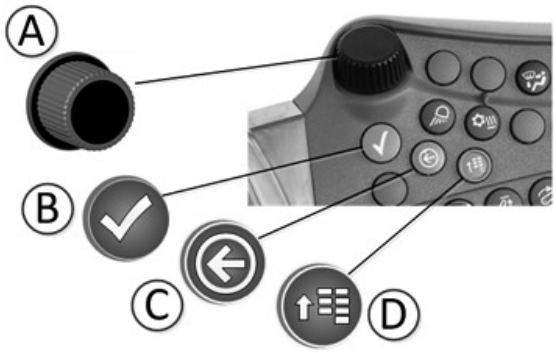
LX412355—UN—21DEC20

機能はトラクターの装備によって異なる

OULXA64,6M,0005587-40-21DEC20

基本的なメニューナビゲーション

移動と設定の基本コントロール：



LX361250—UN—17DEC18

A：**選択と設定**
B：**選択の確定**
C：**1 ステップ戻る**
D：**メインメニューへのアクセス**

OULXA64,6M,0005588-40-09SEP20

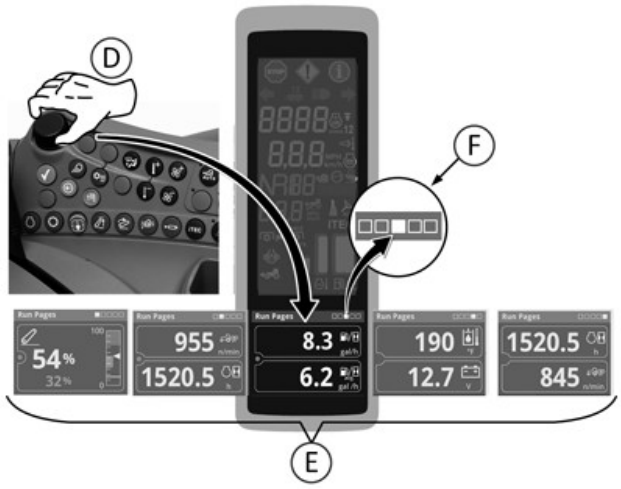
情報ディスプレイ、実行



LX412357—UN—24NOV20

構成

A：**実行**
B：**実行モジュール**
C：**情報ディスプレイ**



LX412356—UN—25NOV20

実行の選択 *(例)*

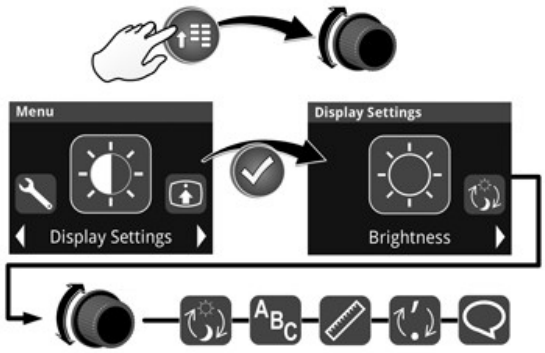
D：**実行の選択**
E：**実行**
F：**実行のシーケンス**

実行は、さまざまな機能のデータに関する情報を提供します。このセクションの「レイアウトマネージャー、設定」も参照してください。工場出荷時に 5 つの実行があらかじめ定義されています。

- ホイール (D) を回すと、情報ディスプレイの実行ページ (E) が交互に切り替わります。
- ディスプレイ領域 (F) には、どの実行ページが開いているかが表示され、位置確認として機能します。

OULXA64,6M,0005589-40-25NOV20

ディスプレイの設定、メニュー



LX412358—UN—25NOV20

注記： ナビゲーション情報について詳しくは、このセクションの「基本的なメニューナビゲーション」を参照してください。

必要な設定を選択して、必要に応じて変更します。設定について詳しくは、このセクションの関連トピックを参照してください。

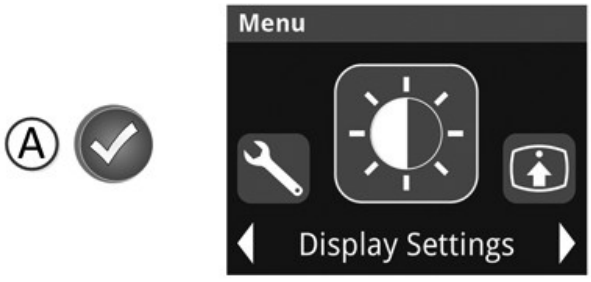
選択	設定	影響
輝度	1～100%	値が高いほど、ディスプレイが明るくなります。
ディスプレイモード	オート、日中、または夜間	オートでは、その日の時刻に応じてディスプレイモードが選択されます。 日中と夜間はそれぞれの時刻に合わせます。
言語	言語の選択	必要な言語が表示されます。
単位	インペリアル、メトリック、または US	必要な単位が表示されます。

OULXA64,6M,000558A-40-26NOV20

ディスプレイの設定、輝度

ディスプレイの輝度を調整します。

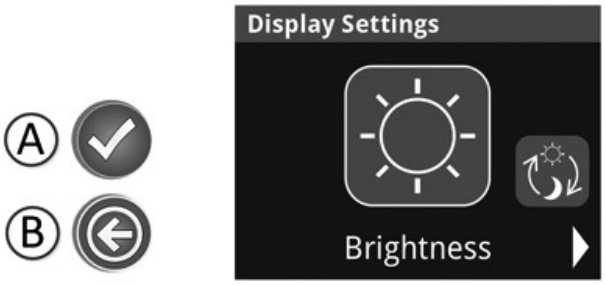
1. メニューボタンを押して「ディスプレイ設定」に移動し、(A) で確定します。



LX368320—UN—22JAN19

A：**確定**

2. 「輝度」を選択して (A) で確定します。

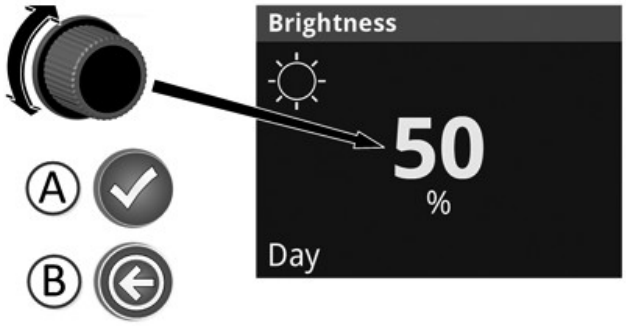


LX368321—UN—22JAN19

A：**確定**
B：**戻る**

3. 輝度の割合の値を設定して (A) で確定します。

注記： ディスプレイの左下隅に現在有効なモード (昼または夜) が表示されます。このセクションの「ディスプレイの設定、ディスプレイのモード (昼/夜)」を参照してください。自動ディスプレイモードでは、ロービームヘッドライトの ON/OFF を切り替えると、輝度が昼モードと夜モード間で変わります。



LX368322—UN—22JAN19

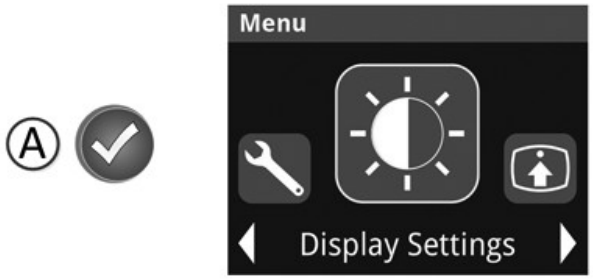
A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,6M,000558B-40-09SEP20

ディスプレイの設定、ディスプレイのモード (昼/夜)

ディスプレイの輝度を調整します。

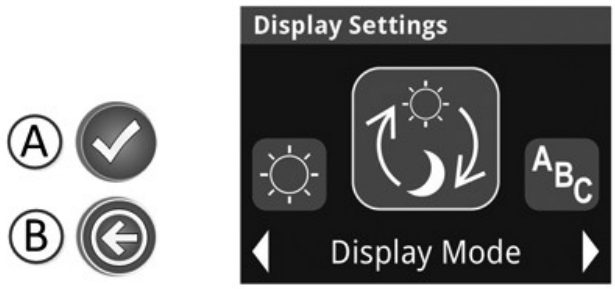
1. メニューボタンを押して「ディスプレイ設定」に移動し、(A) で確定します。



LX368320—UN—22JAN19

A：**確定**

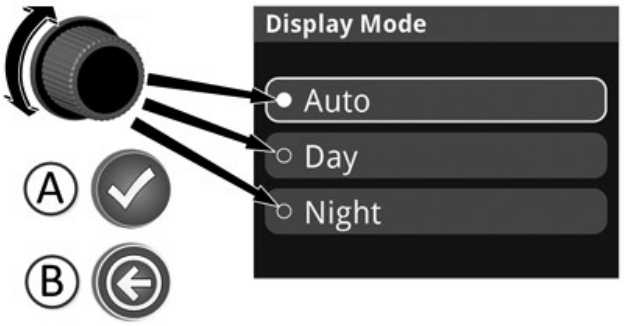
2. 「ディスプレイのモード」を選択して (A) で確定します。



LX368323—UN—22JAN19

A：**確定**
B：**戻る**

3. 設定を選択して (A) で確定します。
   - **自動** - ビームヘッドライトの ON/OFF を切り替えると、輝度が昼モードと夜モード間で変わります。
   - **昼** - 日中用の輝度を使用します。
   - **夜** - 夜間用の輝度を使用します。



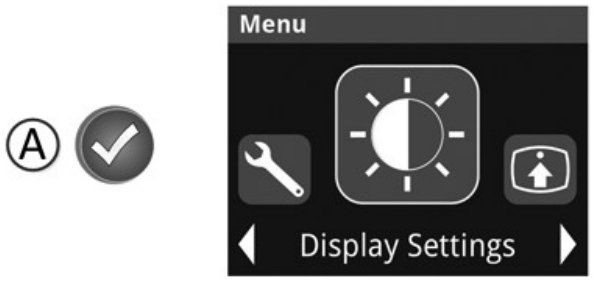
LX368324—UN—22JAN19

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,6M,000558C-40-09SEP20

ディスプレイの設定、言語

1. メニューボタンを押して「ディスプレイ設定」に移動し、(A) で確定します。



LX368320—UN—22JAN19

A：**確定**

2. 「言語」を選択して (A) で確定します。



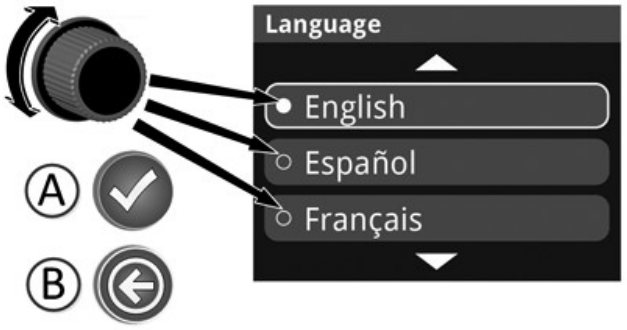
LX368325—UN—22JAN19

A：**確定**
B：**戻る**

3. 希望する言語を選択します。

注記： 理解できない言語を誤って選択した場合：

1. 戻るボタン *(B)* を押します。
2. 確定します。
3. 最初のエントリを選択して確定します。
4. このプロセスでは英語を有効にしています。



LX368326—UN—22JAN19

A：**確定**
B：**戻る**

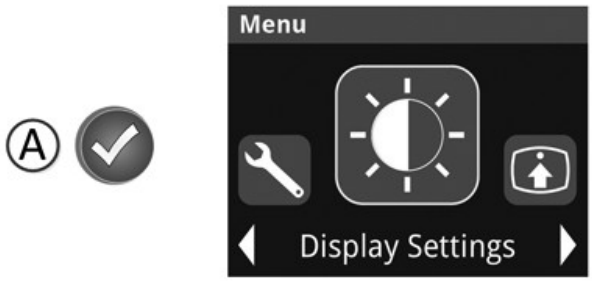
他の言語も利用できますが、表示されません。

4. ボタン (A) で必要な言語を確定します。
5. メニューボタンまたは戻るボタン (B) を押します。
6. システムを再起動します。キースイッチを STOP 位置に回してから IGN 位置に回します。「キースイッチ」(セクション 30) を参照してください。

OULXA64,6M,000558D-40-12JAN22

ディスプレイの設定、単位

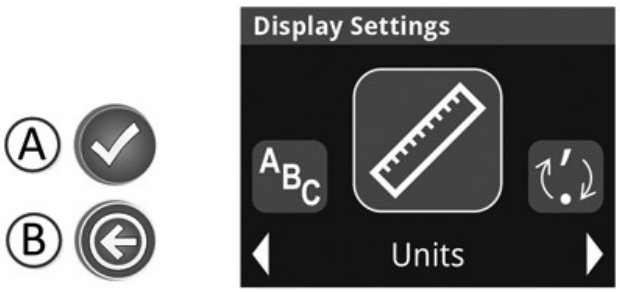
1. メニューボタンを押して「ディスプレイ設定」に移動し、(A) で確定します。



LX368320—UN—22JAN19

A：**確定**

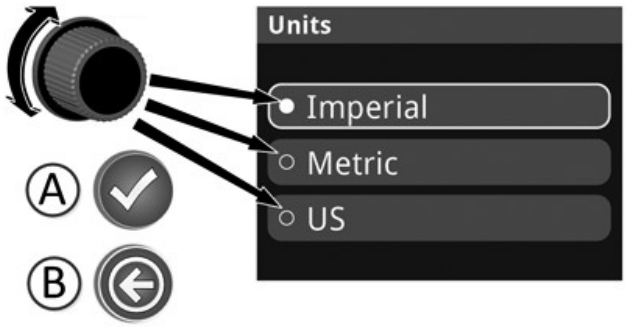
2. 「単位」を選択して (A) で確定します。



LX368327—UN—22JAN19

A：**確定**
B：**戻る**

3. 単位系を選択して (A) で確定します。



LX368328—UN—22JAN19

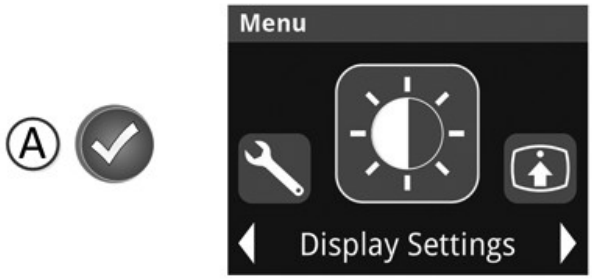
A：**確定**
B：**戻る**

注記： 単位系を選択すると、作業モニターでの圃場作業データの計算に影響があります。「英国単位」と「米国単位」間の変換係数の違いにより、作業モニターで圃場作業データを誤って判定する可能性があります。

OULXA64,6M,000558E-40-09SEP20

ディスプレイの設定、数値形式

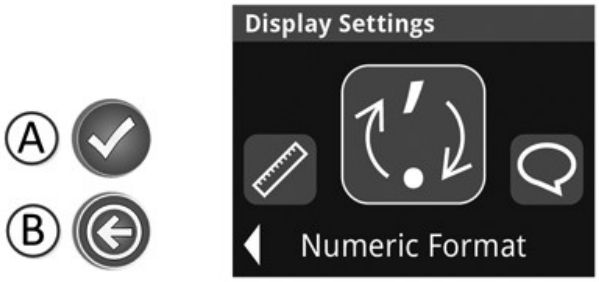
1. メニューボタンを押して「ディスプレイ設定」に移動し、(A) で確定します。



LX368320—UN—22JAN19

A：**確定**

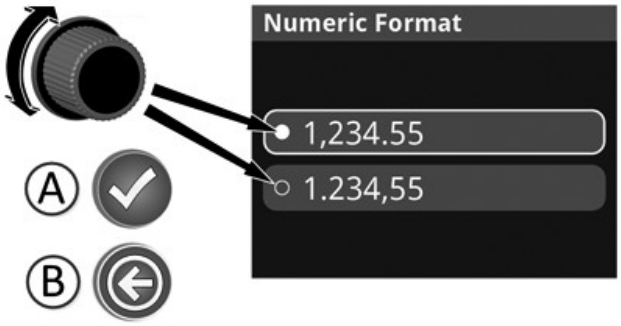
2. 「数値形式」を選択して (A) で確定します。



LX368329—UN—22JAN19

A：**確定**
B：**戻る**

3. 「数値形式」を選択して (A) で確定します。



LX368330—UN—22JAN19

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,6M,000558F-40-09SEP20

ディスプレイの設定、コーナーポストディスプレイの情報

1. メニューボタンを押して「ディスプレイ設定」に移動し、(A) で確定します。



LX368320—UN—22JAN19

A：**確定**

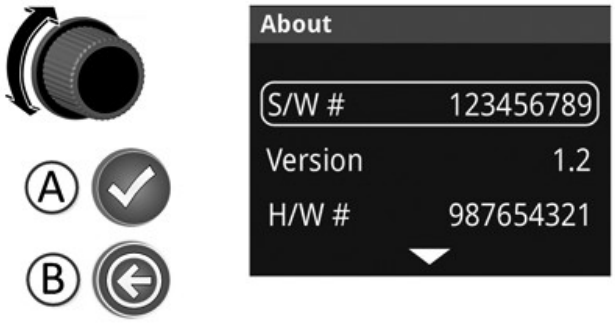
2. コーナーポストディスプレイの情報があるページを選択して (A) で確定します。



LX368331—UN—22JAN19

A：**確定**
B：**戻る**

3. 利用可能な情報を表示します。
   - S/W# - ソフトウェア品番
   - バージョン
   - H/W# - ハードウェア部品番号
   - ハードウェアシリアル番号



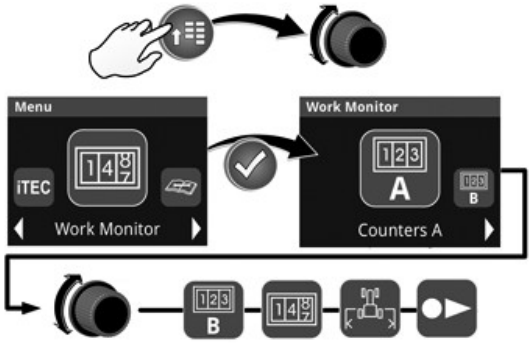
LX368332—UN—22JAN19

A：**確定**

B：**戻る**

OULXA64,6M,0005590-40-09SEP20

作業モニター、メニュー



LX412359—UN—25NOV20

選択	範囲	ディスプレイの応答
カウンター A	すべての値は読み取り専用です。カウンターのリセット機能が表示されます。	リセットにより表示されているすべてのカウンターが消去されます。
カウンター B	すべての値は読み取り専用です。カウンターのリセット機能が表示されます。	リセットにより表示されているすべてのカウンターが消去されます。
読み値	すべての値はリアルタイムで、読み取り専用です。	機械操作中に値は変化します。
作業機幅	0.5 ~ 64 m (1.5 ~ 210 ft)	作業した面積やその他の値の計算に使用します。
記録のトリガー	自動：リアヒッチ、リア/フロント PTO、作業機スイッチ。手動選択により記録を開始することもできます。	必要な記録のトリガーを設定するために使用します。記録が開始されるイベント。

メインメニューから「作業モニター」メニューにアクセスします。必要な設定を選択して、必要に応じて変更します。このセクションの該当するトピックを参照してください。

注記： ナビゲーション情報について詳しくは、このセクションの「基本的なメニューナビゲーション」を参照してください。

OULXA64,6M,0005591-40-26NOV20

作業モニター、カウンター A、B

以下では、例として A カウンターの取り扱いを示しています。

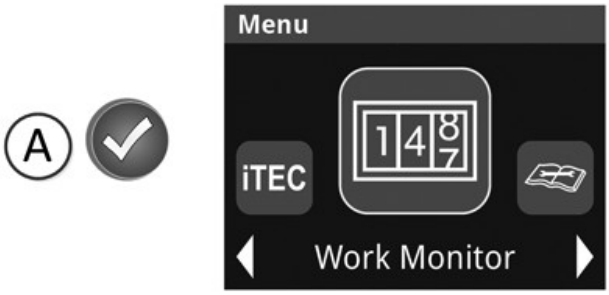
作業モニターの圃場作業データを保存するには、2 つのカウンターを使用できます。収集されたデータは統

計や計算に使用できます。今後の作業のデータのみを記録する必要がある場合は、最初にカウンターをゼロにリセットしてください。

注記：カウンター A と B に表示されるデータは、記録のトリガーに依存する計算に基づいています。このセクションの「作業モニター、記録のトリガー」を参照してください。

正しい単位系の選択は非常に重要です。「英国単位」と「米国単位」間の変換係数の違いにより、作業モニターの圃場作業データを誤って判定する可能性があります。このセクションの「ディスプレイの設定、単位」を参照してください。

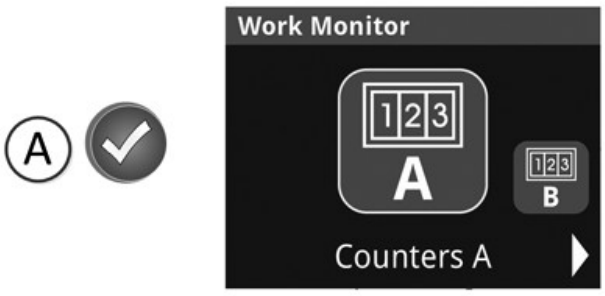
1. メニューボタンを押して「作業モニター」に移動し、(A) で確定します。



LX368318—UN—22JAN19

A：**確定**

2. 「カウンター A」を選択して (A) で確定します。

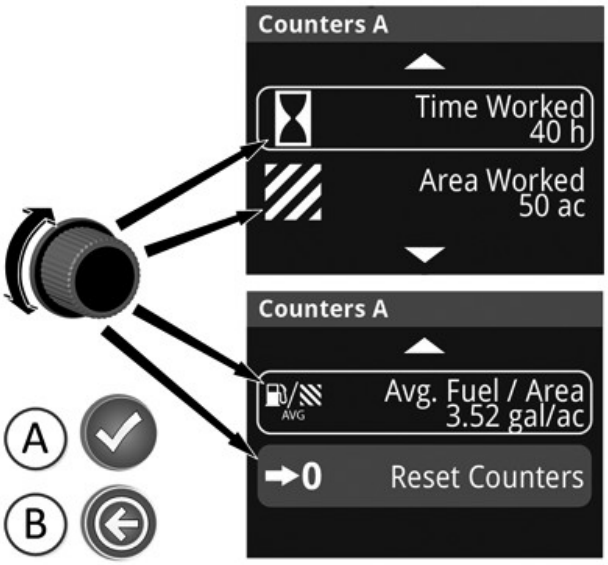


LX368304—UN—06JAN19

A：**確定**

3. 保存されている作業モニターの圃場作業データを表示します。この説明の「使用可能な作業モニターの圃場作業データ」の図を参照してください。

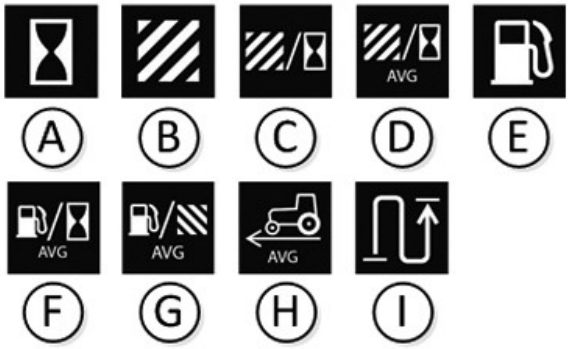
   データをゼロにリセットするには、該当するエントリを選択して (A) で確定します。



LX368305—UN—22JAN19

A：**確定**
B：**戻る**

:



LX368302—UN—06JAN19

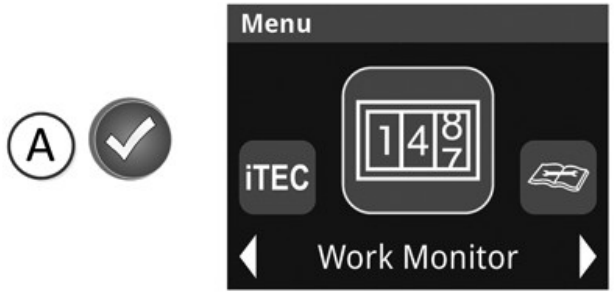
A：**記録開始からの経過時間**
B：**作業済み面積**
C：**作業済み面積 (時間あたりの面積)**
D：**平均作業済み面積**
E：**使用した燃料の量**
F：**時間あたりの燃料使用量**
G：**作業済み面積あたりの燃料使用量**
H：**平均移動速度**
I：**走行距離**

OULXA64,6M,0005592-40-09SEP20

作業モニター、読み値

現在読み取られているすべての機械データは、この読み値メニューに表示されます。設定を行うことはできません。

1. メニューボタンを押して「作業モニター」に移動し、(A) で確定します。



LX368318—UN—22JAN19

A：**確定**

2. 機械データを読み取るメニュー項目を選択して (A) で確定します。

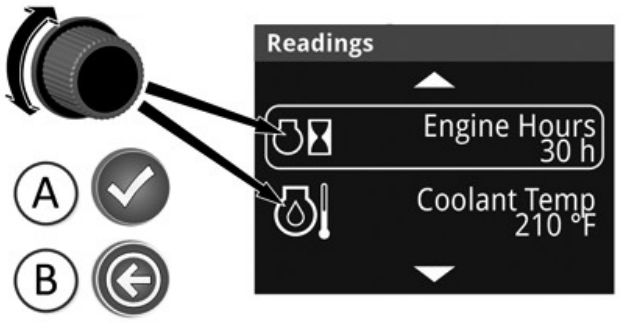


LX368310—UN—06JAN19

A：**確定**

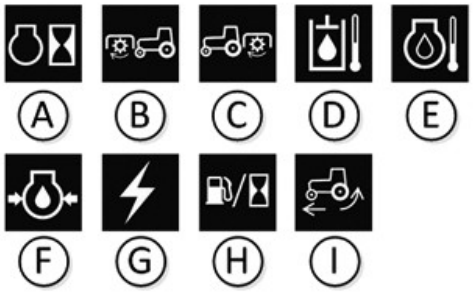
3. 現在の機械データを表示します。この説明の「使用可能な読み値の図」を参照してください。

   ゼロにリセットするには、該当するエントリを選択して (A) で確定します。



LX368311—UN—06JAN19

A：**確定**
B：**戻る**



LX386852—UN—19AUG19

使用可能な読み値

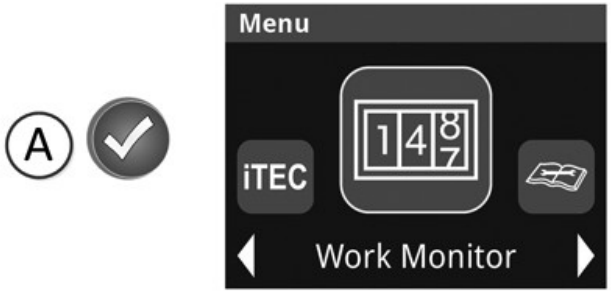
A：**運転時間**
B：**フロント PTO 回転速度 (装備されている場合)**
C：**リア PTO 回転速度**
D：**作動油温度**
E：**エンジンのクーラント温度**
F：**エンジンオイル圧力**
G：**システム電圧 (V)**
H：**時間あたりの燃料使用量**
I：**空転**

OULXA64,6M,0005593-40-25NOV20

作業モニター、作業機幅

作業機幅メニュー項目は作業機の作業幅を定義します。特に、作業幅の値は作業済み面積の計算に重要です。

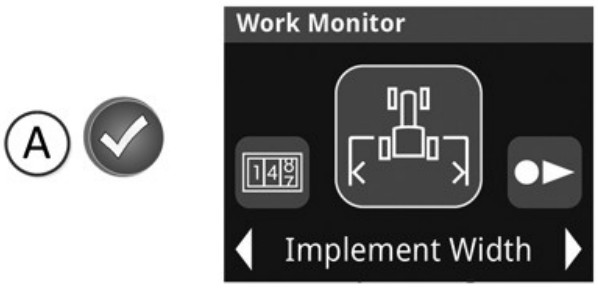
1. メニューボタンを押して「作業モニター」に移動し、(A) で確定します。



LX368318—UN—22JAN19

A：**確定**

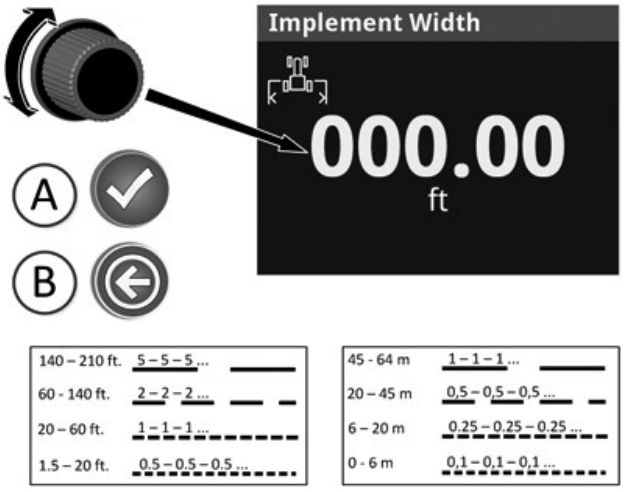
2. 作業幅のメニュー項目「作業機幅」を選択して (A) で確定します。



LX368312—UN—06JAN19

A：**確定**

3. 作業幅を入力して (A) で確定します。設定の精度は作業幅に依存します。例：作業幅が 6～20 m の場合、入力精度は 0.25 m (25 cm) です。範囲の設定については、図を参照してください。



LX368313—UN—06JAN19

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,6M,0005594-40-09SEP20

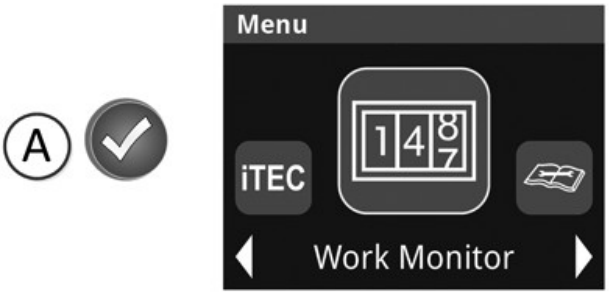
作業モニター、記録のトリガー



RXA0152972—UN—21JUL16
「記録のトリガー」アイコン

読み値のトリガーは、作業モニターでの圃場作業データの記録の開始を決定し、これにより、収集された圃場作業データを生産的な時間中のみに計算することができます。カウンター A と B に表示されるデータは、記録のトリガーに依存する計算に基づいています。このセクションの「作業モニター、カウンター A、B」を参照してください。

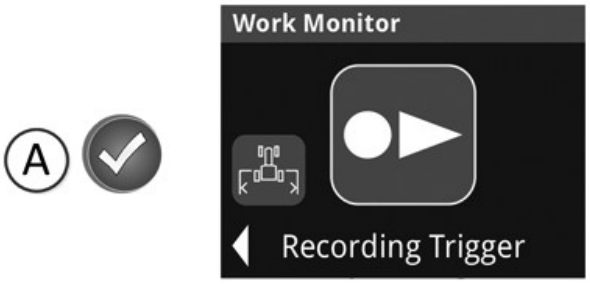
1. メニューボタンを押して「作業モニター」に移動し、(A) で確定します。



LX368318—UN—22JAN19

A：**確定**

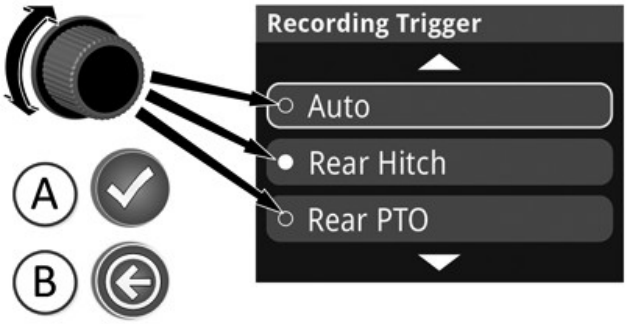
2. メニュー項目の「記録のトリガー」を選択して (A) で確定します。



LX368314—UN—06JAN19

A：**確定**

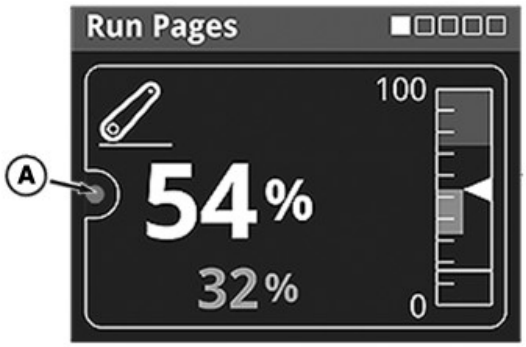
3. 圃場作業データの収集を開始するイベントを選択して、(A) で確定します。
   - **自動** - データ収集は、リア PTO を ON にしたとき、またはリアヒッチが設定されている上昇限度の 85% 未満まで下降したときに始まります。
   - **リアヒッチ** - データ収集は、リアヒッチが設定済み限度レベルの 85% 未満まで下降したときに始まります。
   - **リア PTO** - リア PTO を ON にすると、データ収集が始まります。
   - **フロント PTO** - フロント PTO を ON にすると、データ収集が始まります。
   - **作業機スイッチ** - 作業機スイッチ を ON にすると、データ収集が始まります。
   - **手動** - データ収集は、ドライバーがボタン (A) を 1.5 秒間押し続けたときに始まります。*これは、メニューが現在有効になっていない場合にのみ機能します。*



LX368315—UN—06JAN19

A：**確定**
B：**戻る**

有効になっているデータ収集のインジケーターは、情報ディスプレイの左側の点灯しているドット (A) です。



RXA0162585—UN—23MAR18

OULXA64,6M,0005595-40-25NOV20

レイアウトマネージャー、設定

イグニッションをオンにした後、実行が情報ディスプレイに表示されます。各実行は、最大でそれぞれ 2 つの実行モジュールで構成されます。工場初期設定では、5 つの異なる実行があります。

実行に表示される情報は、レイアウトマネージャーでカスタマイズできます。



RXA0152983—UN—25JUL16

レイアウトマネージャーのアイコン



RXA0152993—UN—25JUL16

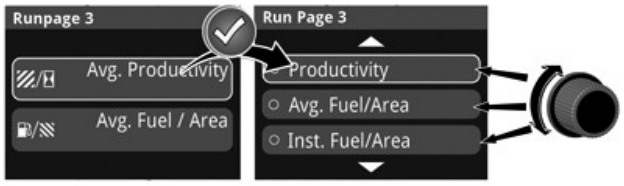
実行のアイコン *(例)*

レイアウトマネージャーへのアクセス



LX412360—UN—25NOV20

レイアウトマネージャーへのアクセス



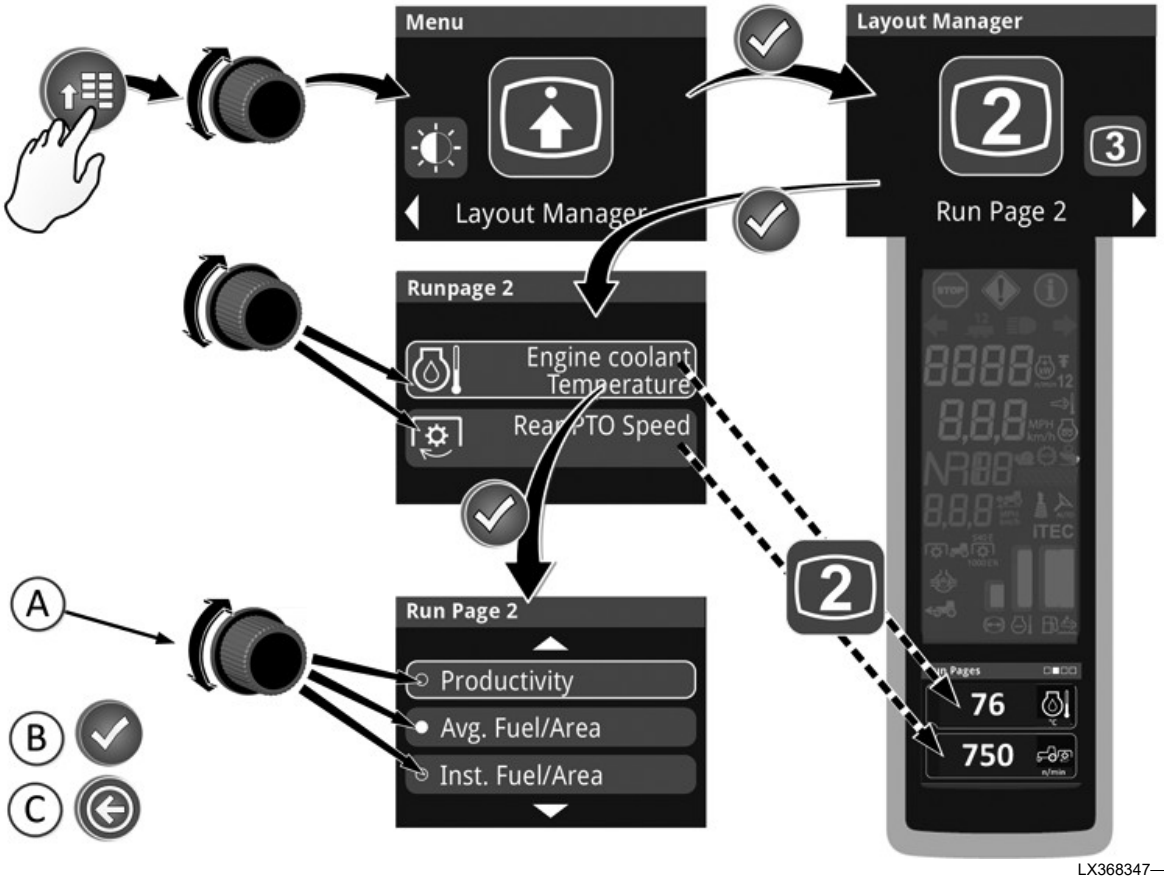
LX412361—UN—30DEC20

実行モジュールの交換

1. 現在表示されている実行は、確定キーを押して構成できます。
2. 例：実行 3 の最初のページは、情報ディスプレイの現在の設定を表しています。
3. 使用可能なすべてのエントリのグループから新しい機能を選択して確定します。「使用可能な実行モジュール」を参照してください。

   これにより、前の実行モジュールが置き換えられます。

メインメニューからのレイアウトマネージャーへのアクセス



LX368347—UN—01FEB19

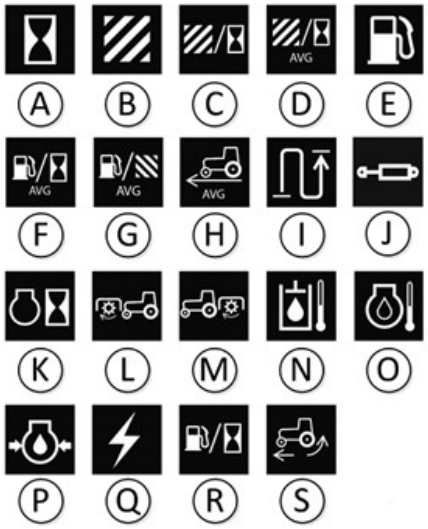
A：**メニューと実行のナビゲーション用スクロールホイール**
B：**確定**
C：**戻る**

1. メニューボタンを押して「レイアウトマネージャー」を選択し、(B) で確定します。
2. 実行を選択して (B) で確定します。
3. 実行 2 の最初のページは、情報ディスプレイの現在の設定を表しています。破線を参照してください。ここで変更する必要があるエントリを選択して (B) で確認します。
4. 使用可能なすべてのエントリのグループから新しい機能を選択して (B) で確認します。

   これにより、前の実行モジュールが置き換えられます。
5. ボタン (C) またはメニューボタンで戻ります。

使用可能な実行モジュール

各実行は、最大でそれぞれ 2 つの実行モジュールで構成されます。実行モジュールは、トラクター機能のデータが表示される表示領域です。情報ディスプレイには、最大で 2 つの実行モジュールを表示できます。工場出荷時の設定として、5 種類の実行があらかじめ定義されています。



LX368350—UN—02JUL20

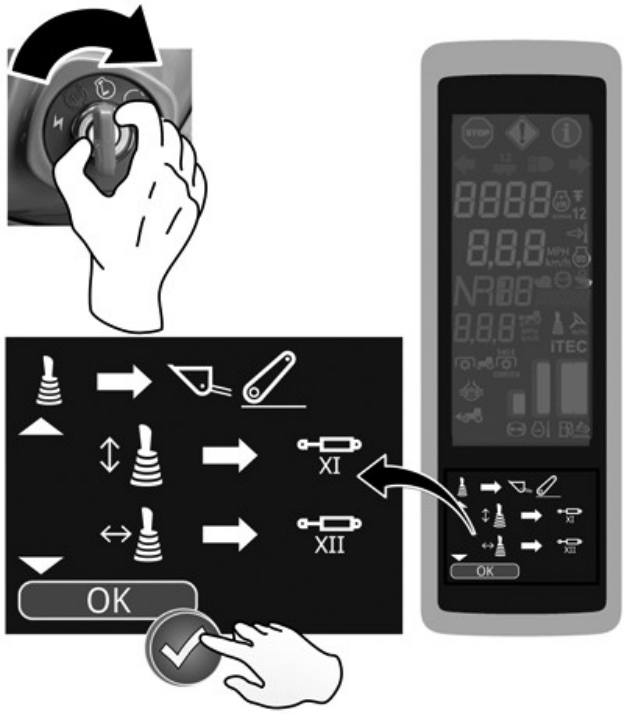
A：**記録開始からの経過時間**
B：**作業済み面積**
C：**作業済み面積 (時間あたりの面積)**
D：**平均作業済み面積**
E：**使用した燃料の量**
F：**時間あたりの平均燃料使用量**
G：**作業済み面積あたりの平均燃料使用量**
H：**平均移動速度**
I：**走行距離**

J：**SCV ステータス**
K：**運転時間**
L：**フロント PTO 回転速度**
M：**リア PTO 回転速度**
N：**作動油温度**
O：**エンジンのクーラント温度**
P：**エンジンオイル圧力**
Q：**システム電圧 (V)**
R：**時間あたりの燃料使用量**
S：**空転**

OULXA64,6M,0005596-40-15JAN21

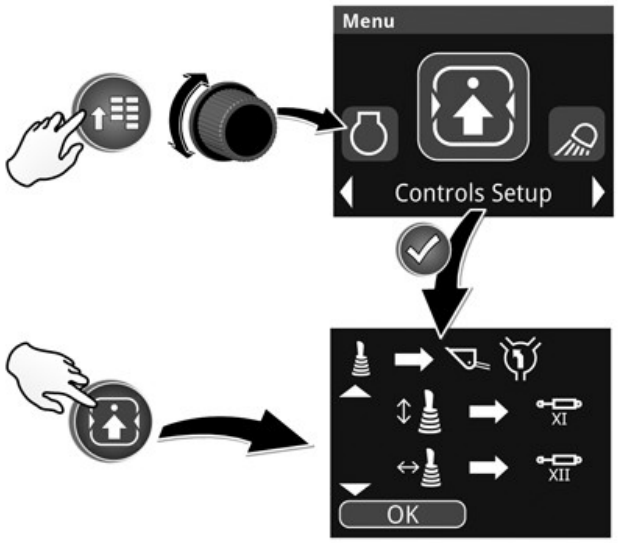
コントロールのセットアップ

重要： 工場出荷時設定以外の既定の設定が有効になっている場合は、ディスプレイをオンにした後にメッセージが表示されます。このメッセージは、現在の設定に精通するようにドライバーに促します。メッセージの確認後にのみ、機能を利用できます。ISOBUS 設定については、必ず作業機の取扱説明書を順守してください。

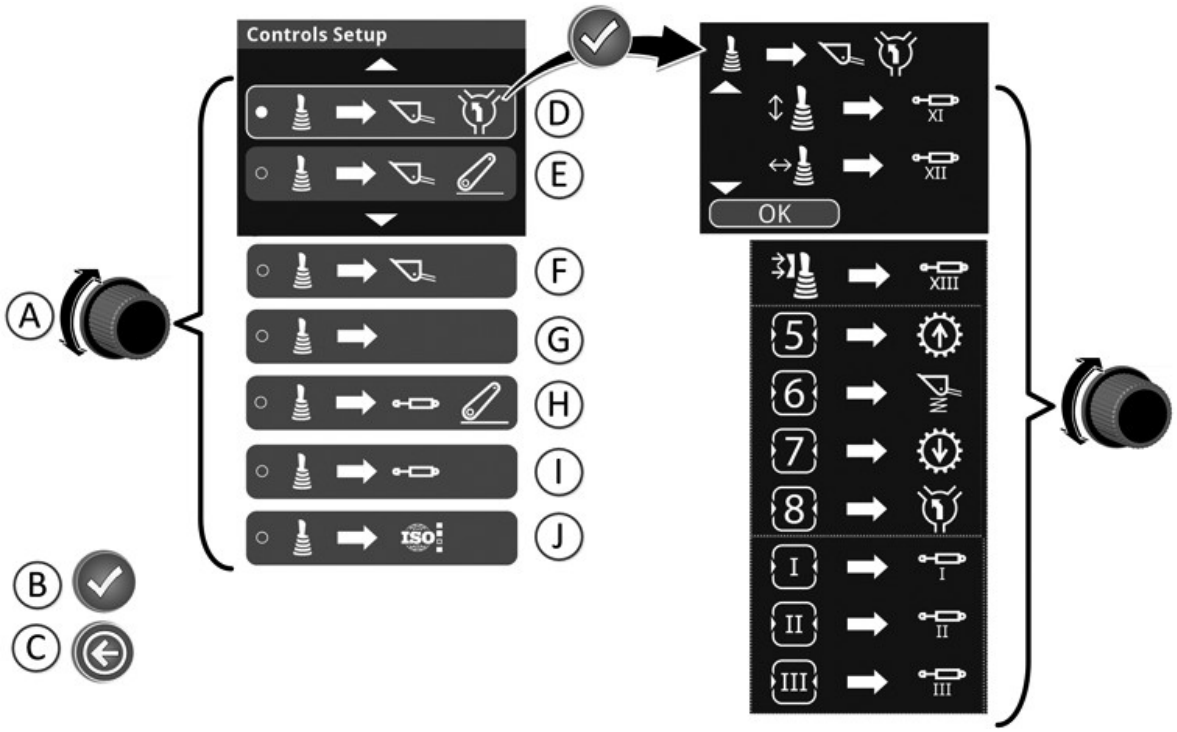


LX368352—UN—12FEB19

コントロールは特定のアプリケーションに合わせてを設定できます。4 種類までのプリセットが可能です。プリセットを使用して、ジョイスティックのコントロールと動作軸に機能を割り当てることができます。既定のプリセットとは異なるカスタマイズされた割り当てを行うことは**できません。**



LX412371—UN—15JAN21
設定の呼び出し



LX368354—UN—12FEB19

プリセットの選択

A：**プリセットの選択**
B：**確定**
C：**後方**
D：**ミッドマウント E-SCV と切換弁**
E：**ミッドマウント E-SCV とリアヒッチ**
F：**ミッドマウント E-SCV**
G：**機能は割り当てられていません**
H：**リア E-SCV とリアヒッチ**
I：**リア選択制御弁**
J：**ISOBUS 作業機の操作**

注記： 選択したプリセットは、別のプリセットが選択されるまでアクティブのままです。再始動しても、現在選択されているプリセットは維持されます。電気式ジョイスティックについての説明があるセクション 70D も参照してください。

コントロールのセットアップ

- *コントロールのセットアップ*のショートカットを押します。
- または、メインメニューを開いて選択に移動します。

1. *コントロールのセットアップ*のメニューを確定した後、選択ウィンドウが開いて使用可能なプリセットが表示されます。トラクターの装置によっては、最大 4 つのプリセットが表示されます。これらは他の既存のプリセットに交換できます。その意味を説明するために、使用可能なすべてのプリセットをこの説明に示しています。したがって、図は実際の例に対応していません。
2. アクティブなプリセットを置き換えるには、必要なプリセット (A) を選択して (B) で確定します (左の図)。
3. 右図：(B) で確認した後、対応する割り当てが一覧表示されるウィンドウが開きます。(A) を使用してリストをスクロールします。
4. [OK] を選択すると、前のウィンドウに戻ります。

記号：



LX514280—UN—28JUL22

K：**リアヒッチ**
L：**リア選択制御弁**
M：**切換弁**
N：**フロントローダー (ミッドマウント E-SCV)**
O：**ISOBUS 作業機**

重要： ISOBUS 設定については、必ず作業機の取扱説明書を順守してください。



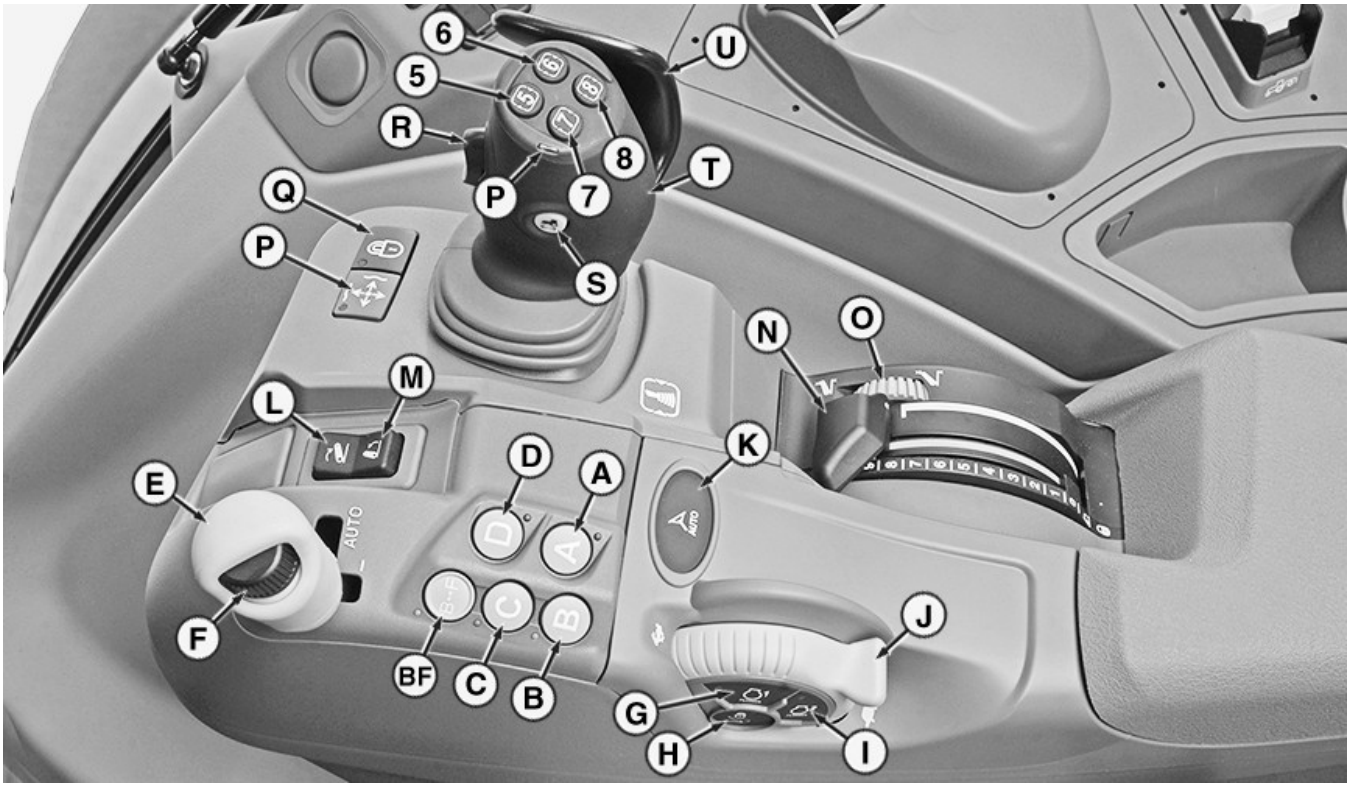
LX514279—UN—28JUL22

1：**E-SCV I コントロールレバー**
2：**E-SCV II コントロールレバー**
3：**E-SCV III コントロールレバー**
4：**ジョイスティック前後**
5：**ジョイスティック左右**
6：**ジョイスティック前部のトグルスイッチ (3 番目の軸)**
7：**ボタン 5**
8：**ボタン 6**
9：**ボタン 7**
10：**ボタン 8**
11：**該当なし**
12：**リア E-SCV I**
13：**リア E-SCV II**
14：**リア E-SCV III**
15：**ミッドマウント E-SCV XI**
16：**ミッドマウント E-SCV XII**
17：**ミッドマウント E-SCV XIII**
18：**ギヤシフトアップ**
19：**ギヤシフトダウン**
20：**第 1 切換弁**
21：**第 2 切換弁**
22：**リアヒッチ下降**
23：**リアヒッチ上昇**

OULXA64,6M,0005597-40-21APR23

CommandARM™ のコントロール

CommandARM™、コントロール (CommandQuad™ Plus 装備)



LX364424—UN—29AUG19

A：**レンジ A の表示灯とボタン**
B：**レンジ B の表示灯とボタン**
BF：**レンジ B~F の表示灯とボタン**
C：**レンジ C の表示灯とボタン**
D：**レンジ D の表示灯とボタン**
E：**シフトレバー**
F：**速度ホイール、最高速度**
G：**エンジン設定回転数 1 (n/min)**
H：**アクセルペダル、ペダル位置の保存/削除**
I：**エンジン設定回転数 2 (n/min)**
J：**アクセルレバー**
K：**AutoTrac™ ボタン**
L：**ボタン、ヒッチ下降**
M：**ボタン、ヒッチ上昇**
N：**コントロールノブ、深さ制御の調整 (上昇/下降)**
O：**コントロールノブ、作業深さの調整**
P：**表示灯、ジョイスティック有効**
Q：**ロックボタン、ジョイスティック ON/OFF**
R：**ロッカースイッチ、上昇/下降 (既定の割り当て)**
S：**ボタン、移動の方向の変更**
T：**ジョイスティック**
U：**ハンドフラップ、ジョイスティックの起動**
5：**ギヤシフトボタン、シフトアップ (既定の割り当て)**
6：**ボタン、ローダーサスペンションシステムの起動 (既定の割り当て)**[1]
7：**ギヤシフトボタン、シフトダウン (既定の割り当て)**
8：**ボタン、切換弁 (既定の割り当て)**[1]

* 可能なグループ (キャプション B~F)
ボタン B~E (5 グループのトランスミッションの場合)
ボタン B~E (6 グループのトランスミッションの場合)

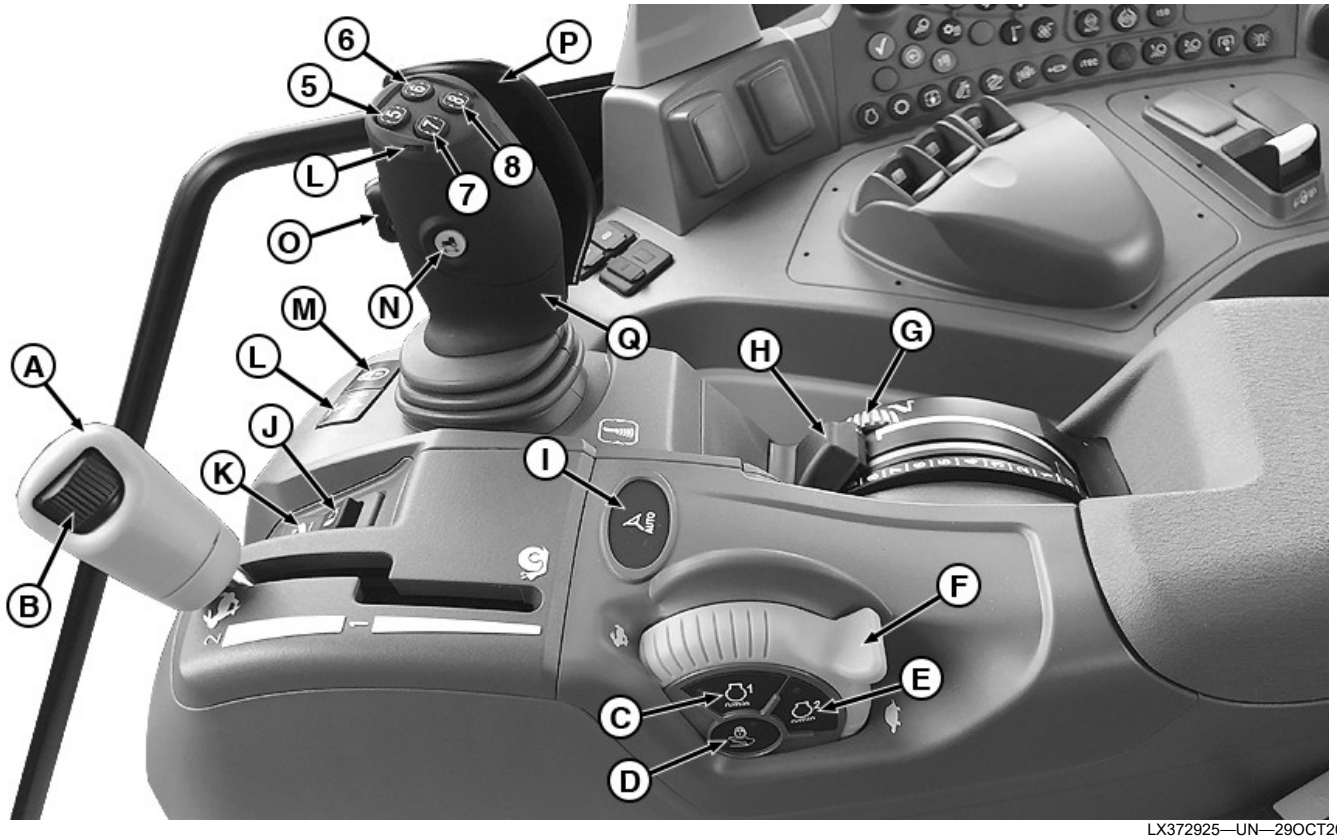
詳しくは、以下を参照してください：

- 「コントロールのセットアップ」(セクション 30A)
- 「CommandQuad™ Plus トランスミッション」(セクション 50H)
- 「AutoTrac™ ガイダンスシステム (装備されている場合)」(セクション 40)
- 「リアヒッチ - CommandARM™ による操作」(セクション 60E)
- 「ジョイスティック、電気制御」(セクション 70D)

OULXA64,SP,0005598-40-27OCT20

[1] *欧州モデルのみ*

CommandARM™ コントロール (AutoPowr™ / IVT™ 装備)



LX372925—UN—29OCT20

A：速度コントロールレバー
B：速度ホイール、最高速度
C：最低エンジン回転数 1、ON/OFF
D：アクセルペダル、速度の保存/削除
E：最低エンジン回転数 2、ON/OFF
F：アクセルレバー
G：コントロールノブ、作業深さの調整
H：コントロールノブ、深さ制御の調整 (上昇/下降)
I：AutoTrac™ ボタン
J：ボタン、ヒッチ上昇
K：ボタン、ヒッチ下降
L：ロックボタン、ジョイスティック ON/OFF
M：表示灯、ジョイスティック有効
N：ボタン、移動の方向の変更
O：ロッカースイッチ、上昇/下降 (既定の割り当て)
P：ハンドフラップ、ジョイスティックの起動
Q：ジョイスティック
5：ギヤシフトボタン、シフトアップ (既定の割り当て)
6：ボタン、ローダーサスペンションシステムの起動 (既定の割り当て)[2]
7：ギヤシフトボタン、シフトダウン (既定の割り当て)
8：ボタン、切換弁 (既定の割り当て)[2]

詳しくは、以下を参照してください：

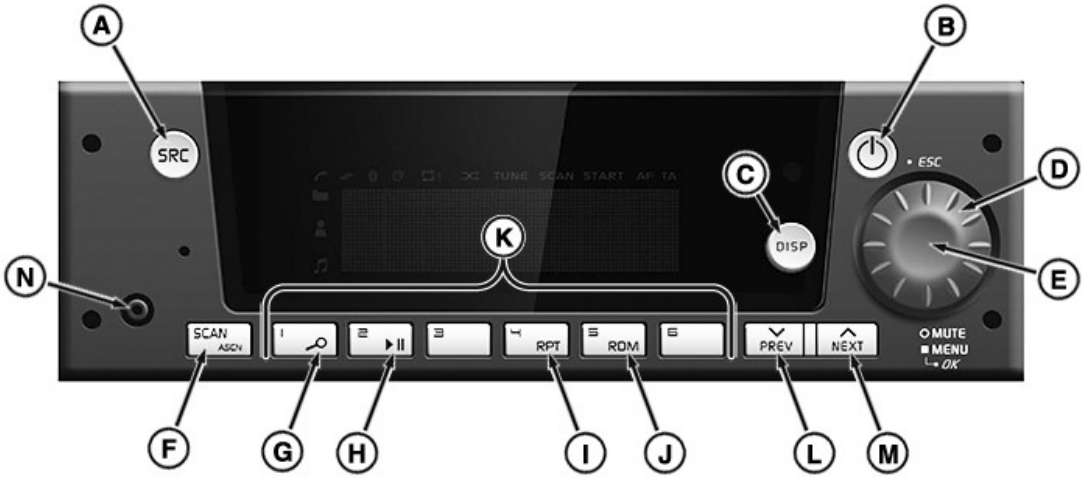
- 「コントロールのセットアップ」(セクション 30AA)
- 「AutoPowr™/IVT™ トランスミッション」(セクション 50)
- 「AutoTrac™ ガイダンスシステム (装備されている場合)」(セクション 40)
- 「リアヒッチ - CommandARM™ による操作」(セクション 60E)
- 「ジョイスティック、電気制御」(セクション 70D)

OULXA64,SP,00057B5-40-17DEC20

[2] *欧州モデルのみ*

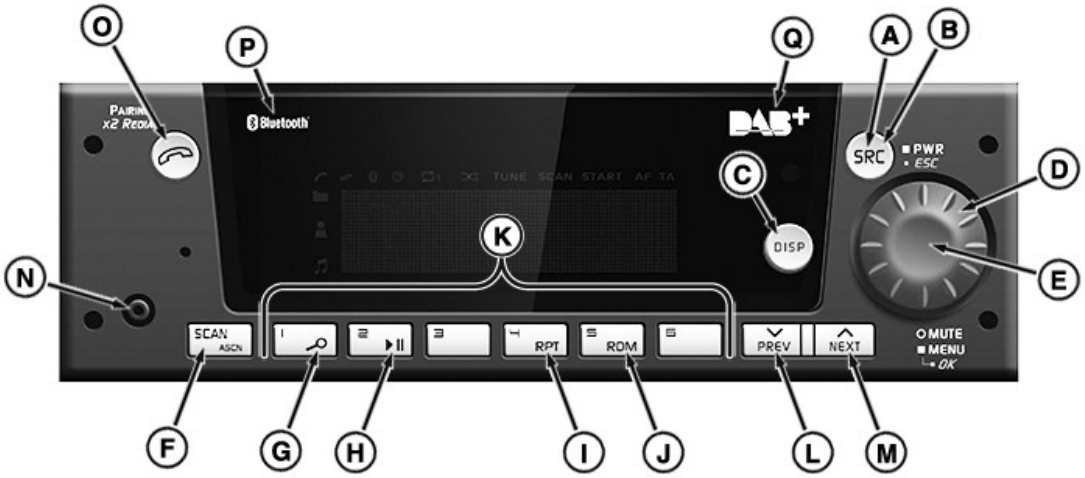
ラジオ A – 操作

ラジオ A - コントロールと計器



RXA0169547—UN—09JUL19

オプション *1*



RXA0169555—UN—09JUL19

オプション *2*

オプション	AM/FM ラジオ	AUX	USB	Bluetooth®	DAB+
1	X	X	—	—	—
2	X	X	X	X[a]	X[b]

[a]*Bluetooth® は場所によっては利用できない場合があります。*
[b]*北米では利用できません。*

A — SRC - 押すとラジオソース (FM、AM、WX/LW、DAB、USB/iPod®、フロント AUX、またはリア AUX) が変わります。使用可能なソースは、ラジオオプションと場所によって異なります。

B — PWR/ESC：

- **PWR** - 押すとラジオが ON になります。押し続けると、ラジオが OFF になります。
- **ESC** - メニューで、押すと 1 つのレベルが終了します。Bluetooth® で、押すと通話を拒否またはキャンセルします。

C—DISP：

- **ソースの表示** - イグニッション ON で、選択するとソースの表示が変わります。
- **時計表示** - イグニッション OFF で、押すと時計を数秒間表示します。

D — 音量 - 時計回りに回すと音量が上がり、反時計回りに回すと音量が下がります。

E - ミュート/メニュー/OK：

- **ミュート** - 短押し (2 秒未満) すると消音になります。もう一度押すと、ミュートが解除されます。
- **メニュー** - 長押し (4 秒以上) すると、メニューに入ります。
- **OK** - メニュー内で押して選択します。

F — SCAN/ASCN：

- **スキャン** - 短押し (2 秒未満) すると、局/トラックをスキャンします。もう一度押すと、スキャンが停止します。
- **オートスキャン** - 長押し (4 秒以上) すると、現在のバンドの最強の 6 つの局を保存します。この取扱説明書の「ラジオの操作 - AM/FM ラジオ A」セクションの「スキャンとオートスキャン」を参照してください。

G — ブラウズ - 押すとUSB ドライブ上のトラックの検索を開始します。

H — 再生/一時停止 - 押すとメディアを再生または一時停止します。

I — RPT - 押すと現在のトラックを繰り返します。もう一度押すと、トラックリストを繰り返します。3 回目を押すと、リピートが無効になります。

J — RDM - 押すとトラックをランダムに再生します。もう一度押すと、ランダム再生が無効になります。

K — プリセット：

- **プリセットの選択** - 番号 (1 ~ 6) 付きのボタンを押すと、保存されている局に移動します。
- **プリセットの保存** - 押し続けると、選択した番号のボタン (1 ~ 6) に局を保存します。この取扱説明書の「ラジオの操作 - AM/FM ラジオ A」セクションの「プリセット」を参照してください。

L — PREV：

注記： チューナーのボタンの構成を変更することができます。この取扱説明書の「ラジオの操作 - AM/FM ラジオ A」セクションの「チューナーの構成」を参照してください。

- **前のトラック/局** - 押すと前のトラック/局に移動します。
- **巻き戻し** - 押し続けると、トラックを巻き戻します。

M — NEXT：

注記： チューナーのボタンの構成を変更することができます。この取扱説明書の「ラジオの操作 - AM/FM ラジオ A」セクションの「チューナーの構成」を参照してください。

- **次のトラック/局** - 押すと次のトラック/局に移動します。
- **早送り** - 押し続けると、トラックを早送りします。

N — 前面の AUX 入力 - 補助 (AUX) デバイス用のコネクタを挿入します。接続されている場合のみ、ソースに F AUX として表示されます。

O — 電話 (Bluetooth® が必要)：

- **Bluetooth® メニュー** - デバイスを接続していないときに押すと、Bluetooth® メニューが表示されます。
- **着信** - デバイスを接続しているときに短押し (2 秒未満) すると、着信に応答します。
- **ダイヤルメニュー** - デバイスを接続して長押し (4 秒以上) すると、ダイヤルメニューが表示されます。

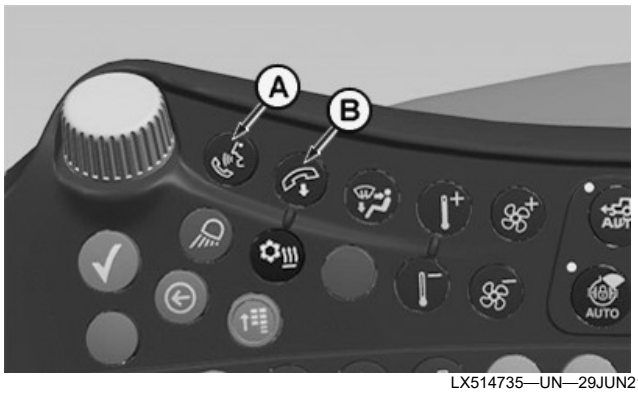
P—Bluetooth® - ラジオが Bluetooth® に対応していることを示します。

Q—DAB+ - ラジオがデジタルオーディオ放送 (DAB+) に対応していることを示します。

詳しくは、ラジオの関連する取扱説明書を参照してください。

OULXA64,0005DFC-40-28MAR23

ラジオ A — 追加の電話コントロール



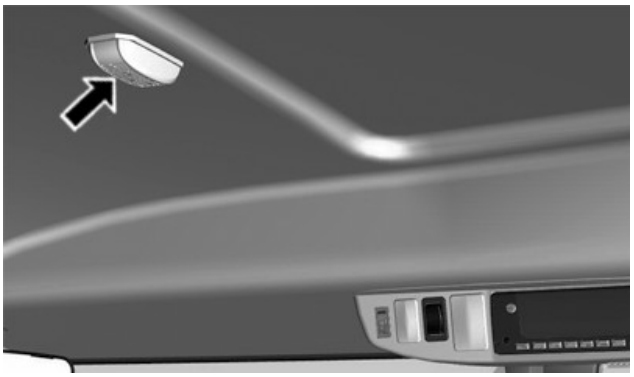
LX514735—UN—29JUN21

A：**プッシュツートーク / 通話応答ボタン**
B：**通話終了ボタン**

詳しくは、ラジオの関連する取扱説明書を参照してください。

OULXA64,SP,0005DFE-40-21APR23

ラジオ A - Bluetooth® アプリケーション用マイク



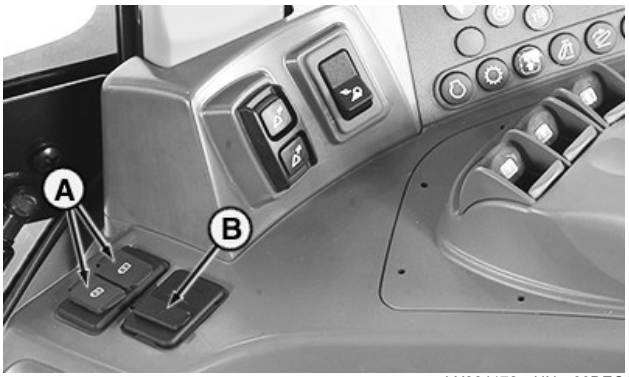
LX514736—UN—29JUN21

詳しくは、関連するラジオの取扱説明書を参照してください。

OULXA64,SP,0005E01-40-02MAY23

ラジオ A - メモリストレージとマルチメディア機器の接続

重要：**この USB ポートは、オーディオデータの送信にのみ適しています。他の装置を接続しないでください。**



LX364172—UN—03DEC18

A - オーディオデータ送信用 USB インターフェース。
B - 外部音源用 AUX ポート (3.5 mm ステレオジャック)

詳しくは、ラジオのマニュアルを参照してください。

OULXA64,SP,0005E22-40-15JAN24

FM、MW、LW、DAB/DAB+ 対応ラジオアンテナ (欧州のみ)

このトラクターは、FM、MW、LW、DAB/DAB+ の周波数範囲に対応するアンテナを装備しています。

ラジオを接続するときは、ラジオがアンテナ (ISO 10487) 用の 12 V 接続を備えていることを確認してください。

OULXA64,SP,EU,0005762-40-14OCT20

ラジオ B - 操作

ラジオ B - 識別図と機能



LX299208—UN—26APR17

オプション *1*



LX299207—UN—13JUN17

オプション *2*

主要機能	ラジオ	外部デバイスの接続	USB	Bluetooth®	SiriusXM® 対応
オプション 1	X	X	—	—	—
オプション 2	X	X	X	X[a]	X[b]

[a] *Bluetooth® は場所によっては利用できない場合があります。*
[b] *SAT ラジオが提供されている地域でのみ使用できます。SiriusXM® ラジオの使用を開始するには、XM ラジオキットを取り付けてサービスを有効にする必要があります。キットは通常の予備部品チャンネルを通じて入手できます。キットは機械によっては使用できない場合もあります。*

詳しくは、ラジオの関連する取扱説明書を参照してください。

OULXA64,0005E02-40-15JUL25

ラジオ B - コントロールと計器



RXA0170332—UN—05SEP19

位置	名称	機能
1	音量コントロール	
2	BND	短く押すと、メモリレベルまたは周波数バンドが選択されます。
		押し続けると、「Travelstore」機能が起動します。
	Bluetooth® を使用、電話が現在ペアリングされている場合	電話の受信
3	ON/OFF キー	短く押すと、ラジオが ON に切り替わります。
		作動中に短く押すと、ラジオがミュートされます。
		押し続けると、ラジオが OFF に切り替わります。
4	ディスプレイ	ディスプレイを切り替えます。
5	メニュー	基本設定用のメニューが表示されます。
	Bluetooth® を使用、電話が現在ペアリングされている場合	通話を拒否または終了します。
6	マルチファンクションロッカースイッチ	ディスプレイ内を移動したり、機能を切り替えます。
7	AUD キー	短く押すと、音質調整 (バス、ミッドレンジ、トレブル)、バランス、フェード*、ラウドネス設定用のオーディオメニューが表示されます。
		押し続けると、工場出荷時の音響設定が復元されます (トレブルとバスは現在使用されている音源に対してのみ)。
8	ラジオモード、1~6 キーブロック 再生モード、キー 1 再生モード、キー 2 再生モード、キー 3 再生モード、キー 4 再生モード、キー 5	プリセット局キー 一時停止/再生 トラックの繰り返し ランダム (トラックのミックス) トラックのスキャン トラック情報のスクロールを ON、ディスプレイを ON/OFF します。
9a	TA キー	ユーザー / オーディオメニューから現在の音源に戻ります。ラジオスキャン機能を終了します。 交通情報の優先の ON/OFF を切り替えます。提供中の交通情報をキャンセルします (欧州のみ)。
9b	Bluetooth® キー	Bluetooth® 機能の ON/OFF を切り替えます。
10	SRC キー	デバイスが接続され、オンになっている場合のラジオと AUX (モデルによっては、さらに USB、BT オーディオ、XM) 間でのソース選択。
11	Bluetooth® および SiriusXM® 対応 (SAT レシーバ)	ラジオオプション 2 のフェースプレートでのブランド表示

*フェードは、フロントスピーカーとリアスピーカーが接続されている場合のみ設定できます。

Bluetooth は Bluetooth SIG の商標です

詳しくは、ラジオの関連する取扱説明書を参照してください。

OULXA64,0005E03-40-21APR23

ラジオ B - メモリストレージとマルチメディア機器の接続

重要： **この USB ポートは、スマートフォンなどの充電にのみ適しています。他の装置を接続しないでください。**



LX364172—UN—03DEC18

A - USB 充電ソケット、各充電ソケット 2.4 A/12 W
イグニッション ON 時に有効

B - オーディオ信号送信用 3.5 mm ステレオジャック

詳しくは、ラジオのマニュアルを参照してください。

OULXA64,SP,000569B-40-15JAN24

FM、MW、LW、DAB/DAB+ 対応ラジオアンテナ (欧州のみ)

このトラクターは、FM、MW、LW、DAB/DAB+ の周波数範囲に対応するアンテナを装備しています。

ラジオを接続するときは、ラジオがアンテナ (ISO 10487) 用の 12 V 接続を備えていることを確認してください。

OULXA64,SP,EU,0005762-40-14OCT20

AutoTrac™ ガイダンスシステム (装備されている場合)

注記： AutoTrac™ が機能するには、電気油圧式ステアリングが必要です。詳細な手順については、AutoTrac™ の取扱説明書を参照してください。

- AutoTrac™ ステアリングシステムは、StarFire™ ポジションレシーバーと GreenStar™ ディスプレイを使用して、トラクター操舵中のオペレータを支援します。
- オペレータは、作業機の幅から必要な軌道オーバーラップを引いて GreenStar™ ディスプレイに入力する必要があります。

  オペレータは、最初の走行パスで直線の軌道を走行して、必要な走行路の始点と終点を入力する必要があります。ステアリングシステムのその他の軌道誘導については、AutoTrac™ の取扱説明書を参照してください。
- AutoTrac™ を有効にするには、GreenStar™ ディスプレイを起動した後にサイドコンソールの AutoTrac™ ボタン (A) を押します。ディスプレイの情報を使用して、ドライバーはトラクターの現在の位置と設定された軌道を比較することができます。



LX364315—UN—22FEB19

CommandARM™ なしのトラクター



LX364316—UN—22FEB19

CommandARM™ 付きのトラクター

- AutoTrac™ は直線路ガイダンスシステムです。オペレータは、ステアリングホイールを操作していつでもトラクターを制御できます。移動速度は、ブレーキの操作、アクセルペダルやアクセルレバーの操作を通じてのオペレータがもっぱら制御します。オペレータは、各走行パスの端部で車両を旋回させて、圃場内の障害物を迂回して走行する必要があります。

注記： AutoTrac™ を使用しているときに達成可能な移動速度は 0.5 ~ 30 km/h (0.3 ~ 16 mph) (前進) および 0.5 ~ 10 km/h (0.3 ~ 5 mph) (後進) です。

注記： 必要な場合は、最低速度を 0.1 km/h (0.05 mph) に下げることができます。

要件：

- *StarFire 3000*、*StarFire 6000*、または *StarFire 7000* レシーバ
- *SF2*、*SF3*、*SF-RTK*、または *RTK* 補正と *AutoTrac™ (*直線路ガイダンスシステム*)*
- *AutoPowr™*、*IVT™* トランスミッション装備
- またはクリーパー付き *AutoQuad™ Plus* トランスミッション

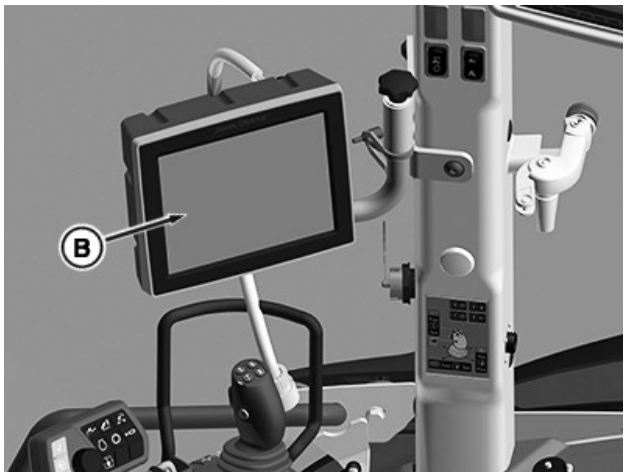
OULXA64,6M,000559A-40-16JUL25

AutoTrac™ ガイダンスと GreenStar™ ディスプレイ



LX386915—UN—14APR20

A：**StarFire™ ポジションレシーバー**



RXA0164104—UN—09AUG18

B：**GreenStar™ ディスプレイ**



LX386915—UN—14APR20

C：**AutoTrac™ 復帰ボタン**

注記： 取り付け、操作、メンテナンスについて詳しくは、関連する『AutoTrac™ 取扱説明書』を参照してください。

注記： GreenStar™ ディスプレイを接続していない場合、AutoTrac™ Basic は次回のキーサイクルで利用可能になります。

AutoTrac™ ガイダンスシステムは、StarFire™ ポジションレシーバー (A) と GreenStar™ ディスプレイ (B) を使用して、機械を操舵中のオペレータを支援します。

AutoTrac™ はガイダンスシステムです。オペレータは、ステアリングホイールを自分で回すことによりいつでも機械の制御を取り戻すことができます。移動速度は、オペレータがブレーキを使用して、またはアクセルペダルやアクセルレバーを操作して自身で制御します。オペレータは、圃場の障害物を避けるため、または各走行パスの終端で機械を旋回させる必要があります。AutoTrac™ を起動するには、オペレータは AutoTrac™ 復帰ボタン (C) を押す必要があります。

注記： GPS レシーバのオフセット値については、このセクションの「GPS レシーバのオフセット値」を参照してください。

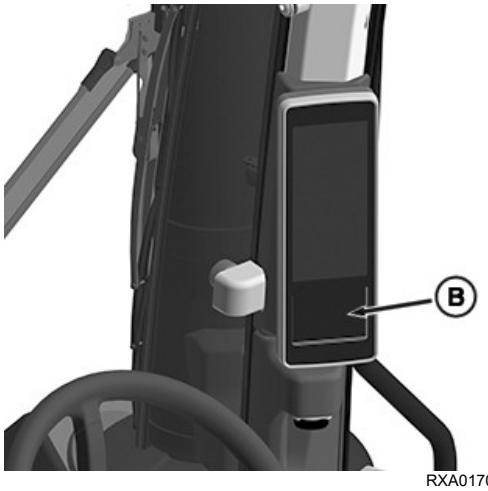
OULXA64,6M,000559B-40-17DEC20

AutoTrac™ Basic ガイダンスとコーナーポストディスプレイ



RXA0164103—UN—09AUG18

A：**StarFire™ ポジションレシーバー**



RXA0170095—UN—11SEP19

B：**コーナーポストディスプレイ**



LX386915—UN—14APR20

C：**AutoTrac™ 復帰ボタン**

注記： GreenStar™ ディスプレイを接続している場合、AutoTrac™ Basic は次回のキーサイクルで利用できません。

AutoTrac™ Basic ガイダンスシステムは、StarFire™ ポジションレシーバー (A) とコーナーポストディスプ

レイの下部画面ディスプレイ (B) を使用して、機械を操舵中のオペレータを支援します。

AutoTrac™ Basic は直線軌道ガイダンスシステムです。オペレータは、ステアリングホイールを自分で回すことによりいつでも機械の制御を取り戻すことができます。移動速度は、オペレータがブレーキを使用して、またはアクセルペダルやアクセルレバーを操作して自身で制御します。オペレータは、圃場の障害物を避けるため、または各走行パスの終端で機械を旋回させる必要があります。AutoTrac™ Basic を起動するには、オペレータは AutoTrac™ 復帰ボタン (C) を押す必要があります。

OULXA64,6M,000559C-40-17DEC20

ガイダンスシステムの安全な操作

ガイダンスシステムを道路で使用しないでください。道路に入る前にガイダンスシステムを必ずオフ (無効) にしてください。道路輸送中はガイダンスシステムをオン (起動) にしないでください。

ガイダンスシステムは、オペレーターが圃場作業をより効果的に実行できるように支援するためのものです。オペレータは機械の進路に対して常に責任があります。誘導システムは、障害物や他の機械との衝突を自動的に検出したり、防止したりはしません。

誘導システムは、機械の操舵を自動化するアプリケーションを付属しています。これには、AutoTrac™、iTEC™、AutoTrac™ 自動旋回機能、AutoTrac™ 作業機誘導 (パッシブ)、AutoTrac™ Basic、AutoTrac™ Universal、RowSense™、John Deere Machine Sync などがあります。

オペレータや周りの人のけがを防止するための注意事項：

- 動いている機械に絶対に乗り降りしないでください。
- 機械、作業機、および誘導システムが正しく設定されていることを確認してください。
  - iTEC™、AutoTrac™ Turn Automation、または AutoTrac™ Implement Guidance (パッシブ) を使用する場合は、正確な境界が定義されていることを確認してください。
  - Machine Sync を使用する場合は、追従している機械のホームポイントが機械の間の十分なスペースを使ってキャリブレーションされていることを確認してください。
- 周囲の環境を常に警戒し、注意を払ってください。
- 必要に応じてステアリングホイールを制御して、圃場の危険要素、周りの人、装置、その他の障害物を避けてください。
- 視界が悪く、機械の操作または機械の経路にいる人や障害物の識別が難しい場合は、操作を停止してください。
- 機械速度を選択するときは、圃場条件、視界、機械構成を考慮してください。

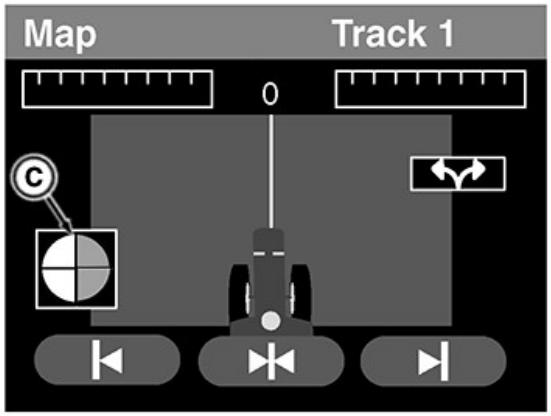
OULXA64,6M,000559D-40-09SEP20

AutoTrac™ Basic の有効化



LX386914—UN—14APR20

A：**ナビゲーションダイヤル**
B：**入力 / 承認ボタン**



RXA0170762—UN—09OCT19

C：**AutoTrac™ ステータス円グラフ**

1. ナビゲーションパッドのナビゲーションダイヤル (A) を使用して、AutoTrac™ Basic マップ画面の AutoTrac™ ステータス円グラフ (C) にスクロールします。
2. ナビゲーションパッドの入力/承認ボタン (B) を押して、「ステアリング ON」を有効にします。
3. ナビゲーションパッドの入力/承認ボタン (B) をもう一度押して、AutoTrac™ Basic を解除します。

OULXA64,6M,000559E-40-09SEP20

AutoTrac™ Basic の無効化

注意： 道路に入る前に必ず AutoTrac™ Basic システムを OFF に (非アクティブ化および無効化) してください。

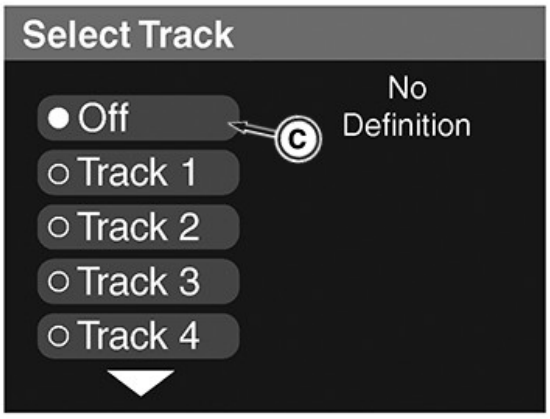
1. ナビゲーションパッドのナビゲーションダイヤル (A) を使用して、AutoTrac™ Basic の軌道セットアップ選択肢にスクロールします。



LX386914—UN—14APR20

A：**ナビゲーションダイヤル**
B：**入力 / 承認ボタン**

2. ナビゲーションパッドの入力/承認ボタン (B) を押して、AutoTrac™ Basic の軌道設定に進みます。
3. 軌道選択画面の「オフ」(C) を選択して、AutoTrac™ Basic を無効にします。

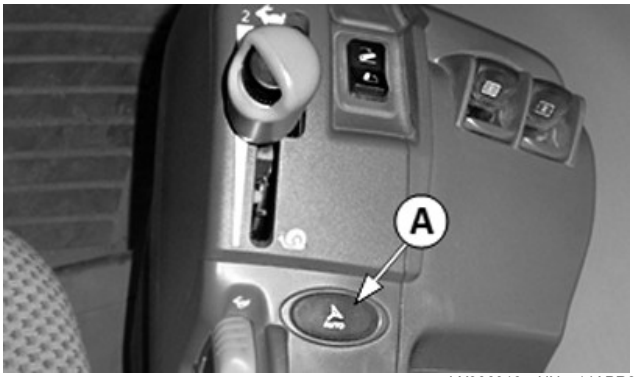


RXA0170767—UN—08OCT19

C：**選択した軌道をオフ**

OULXA64,6M,000559F-40-08OCT20

AutoTrac™ 復帰スイッチ



LX386916—UN—14APR20

CommandARM™ 付きのバージョン

A：**AutoTrac™ 復帰スイッチ**

アームレストまたは右側コンソールのキーパッドの AutoTrac™ 復帰スイッチ (A) を押して、AutoTrac™ Basic を有効化済みステージから起動済みステージにします。

OULXA64,6M,00055A0-40-09SEP20

AutoTrac™ Basic の起動

注意： AutoTrac™ の起動中、オペレータは進路の終端での操舵と衝突回避に責任があります。

注意： 車道で輸送しているときは、AutoTrac™ Basic システムをオンにしない (起動しない) でください。

1. 、「ステアリング ON/OFF」ボタンを選択して、「ステアリング ON」にします。
2. 車両をガイダンストラック上に運転します。強調表示されたナビゲーションラインが機械アイコンの前に表示されます。
3. ステアリングアシスタンスが必要な場合は、AutoTrac™ 復帰スイッチを押して AutoTrac™ Basic を手動で起動します。これにより、パワーステアリングが開始されます

OULXA64,6M,00055A1-40-09SEP20

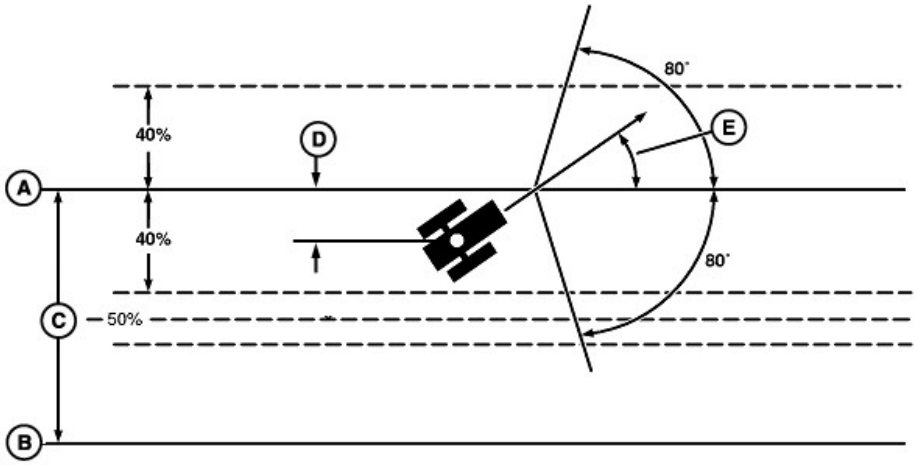
AutoTrac™ Basic の解除

AutoTrac™システムは次の手順により解除されます：

- ステアリングホイールを回す。
- 0.5 km/h (0.3 mph)未満の速度に下げる。
- AutoTrac™ Basic を解除するには、「ステアリング ON/OFF」を選択します。
- シートスイッチを使用している場合にオペレータがシートから 7 秒以上離れる。またはオペレータ着席監視機能により操作が 7 分間検出されない。

OULXA64,6M,00055A2-40-09SEP20

次の走行パスで AutoTrac™ Basic を再起動



PC8866—UN—02NOV05

追跡

A：**軌道 0**
B：**軌道 1 南**
C：**トラック間隔**
D：**軌道逸脱の横方向エラー**
E：**軌道の方向エラー**

条の終端に達すると、オペレータは次の走行パスにシステムを旋回する必要があります。ステアリングホイールを回すと、AutoTrac™ Basic が無効になります。

以下の条件が満たされた場合のみ、AutoTrac™ 復帰スイッチを押して、AutoTrac™ Basic を再起動することができます：

- AutoTrac™ Basic を使用中にステアリングコントロールユニットが最高速度を判定する。
- 機械の前進速度が 30 km/h (18.6 mph) 未満。
- 後進速度が 10 km/h (6 mph) 未満。
- 後進ギヤでは、AutoTrac™ Basic は 45 秒間起動したままです。45 秒後、後進を再起動するには、機械を前進ギヤに入れる必要があります。
- 機械の方向が必要な軌道の 80° 以内にある。
- 機械がトラック間隔の 40% 以内にある。
- オペレータが座っている。
- TCM がオンになっている。

OULXA64,6M,00055A3-40-09SEP20

AutoTrac™ Basic メニュー

注記： ナビゲーション情報について詳しくは、このセクションの「基本的なメニューナビゲーション」を参照してください。

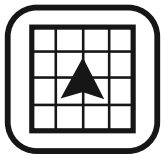
1. AutoTrac™ Basic メニューの位置を確認します。



RXA0170082—UN—10SEP19

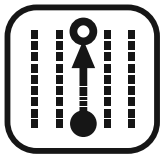
AutoTrac™ Basic メニュー

2. 必要な設定を選択して必要に応じて変更します。設定に関する詳細については、このセクションの関連するトピックを参照してください。



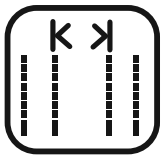
RXA0170083—UN—10SEP19

マップの選択



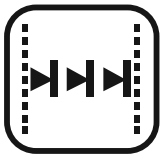
RXA0170084—UN—10SEP19

軌道セットアップの選択



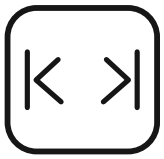
RXA0170085—UN—10SEP19

トレッド幅の選択



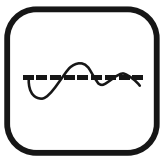
RXA0170086—UN—10SEP19

トラック変更サイズの選択



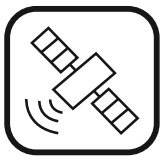
RXA0170087—UN—10SEP19

車両の選択



RXA0170088—UN—10SEP19

調整の選択



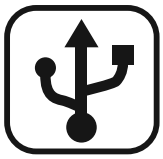
RXA0170089—UN—10SEP19

補正モードの選択



RXA0170090—UN—10SEP19

TCM キャリブレーションの選択



RXA0170091—UN—10SEP19

USB ドライブの選択



RXA0170092—UN—10SEP19

GPS ステータスの選択

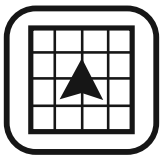


RXA0170093—UN—10SEP19

バージョン情報の選択

OULXA64,6M,00055A4-40-09SEP20

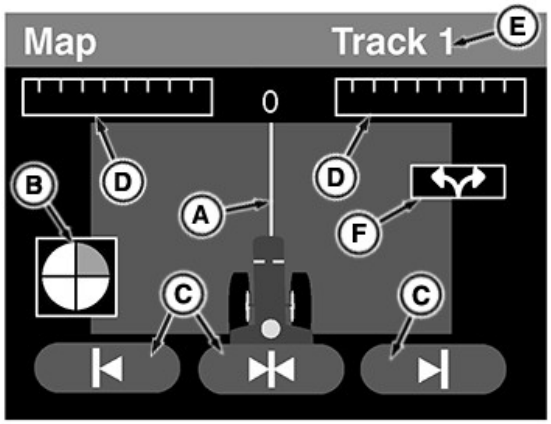
AutoTrac™ Basic マップ



RXA0170083—UN—10SEP19

マップアイコン

マップ画面には、ガイダンスライン (A) に対する機械の位置が表示されます。



RXA0170096—UN—17SEP19

A：**ガイダンスライン**
B：**AutoTrac™ ステータス円グラフ**
C：**トラック変更ボタン (3 個使用)**
D：**ライトバー**
E：**ガイダンスオフ/選択した軌道**
F：**ターンプレディクタ**

また、AutoTrac™ ステータス円グラフ (B)、トラック変更ボタン (C)、ライトバー (D)、誘導オフ/選択した軌道 (E)、ターンプレディクタ (F)、終了コードのテキストも表示されます。

ライトバー

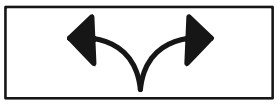
ライトバーは、軌道逸脱エラーのフィードバックをオペレータに提供します。フィードバックは、メイン実行画面の上にあるライトバーに表示されます。

エラーの最小刻み幅は、選択した単位の種類 (ヤードポンド法またはメートル法) に応じて、1 in または 1 cm です。

刻み幅の設定は構成できません。

ライトバーは、AutoTrac™ Basic システムがライトバーに示されたエラーを減らすために、ラインに向かって操舵する必要がある、方向の操舵エラーを示します。

ターンプレディクタ



RXA0170097—UN—17SEP19
ターンプレディクタアイコン

ターンプレディクタは、走行パスの終端を予測してオペレータに警告し、走行パスの終端までの距離をマップビューに表示します。

ターンプレディクタは、機械の旋回点を予測することのみを目的としています。これはターンプレディクタ警告ではありません。ターンプレディクタは、機械の前の旋回動作のみに基づきます。圃場境界が直線的に連続していない場合、または圃場境界の前後でオペレータが旋回した場合、ターンプレディクタは圃場境界と一致しなくなります。

予測旋回地点までの距離がカウントダウンされ、機械が旋回地点と交差するまで 10 秒になると音が鳴ります。予測旋回地点に達するともう一度鳴ります。

予測された旋回地点まで 10 秒以内になると表示灯が黄に変わり、予測旋回地点通過後に赤に変わります。

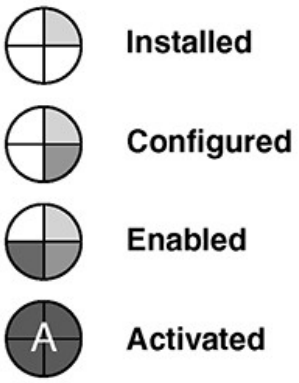
ナビゲーションパッドのナビゲーションダイヤルを使用して、ターンプレディクタアイコンまでスクロールします。ナビゲーションパッドの入力/承認ボタンを押して、ターンプレディクタを無効にします。ナビゲーションパッドの入力/承認ボタンをもう一度押して、ターンプレディクタを有効にします。

無効にすると、オペレータが手動でオンに戻すまでオフのままです。無効にすると、ターンプレディクタアイコンは灰色になり、斜めの線が画像に入ります。

ターンプレディクタが有効になっている場合、ターンプレディクタアイコンは灰色の画像で、斜めの線は画像に表示されません。

OULXA64,6M,00055A5-40-21DEC20

AutoTrac™ ステータス円グラフ



RXA0170098—UN—30SEP19
AutoTrac™ ステータス円グラフアイコン

インストール済み

ステアリングコントロールユニットおよびその使用に必要な他のハードウェアがすべて取り付けられています。システムは無効です。

- AutoTrac™ Basic コントロールユニットが取り付けられています。
- ステアリングコントロールユニットが検出されています。

構成済み

有効な軌道が確立されました。正しい StarFire™ 信号レベルが選択されています。システムを有効にする準備ができました。

次の機械の条件が満たされています：

- 誘導システムが ON になっている。
- 誘導軌道が定義されている。
- StarFire™ 信号が存在します。
- ステアリングコントロールユニットに発生中の故障がない。
- 速度が有効範囲内である。
- TCM メッセージが使用可能で有効である。
- 機械が適切な操作ギヤに入っている。

- 変動比率強化ステアリングスイッチが有効になっている。

有効化済み

AutoTrac™ ON/OFF ボタンが押されています。AutoTrac™ が作動するためのすべての条件が満たされ、システムを起動する準備ができています。

- 「ステアリング ON/OFF」を選択して、「ステアリング ON」を有効にします。

起動済み

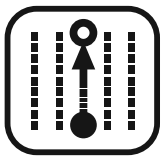
AutoTrac™ 復帰ボタンが押されて、AutoTrac™ が機械を操舵しています。

次の機械の条件が満たされています：

- AutoTrac™ 復帰ボタンが押されて、AutoTrac™ Basic が機械を操舵している。
- 速度が有効範囲内である。
- 方向/角度が有効範囲内である。
- 機械がトラック間隔の 40% 以内にある。

OULXA64,6M,00055A6-40-09SEP20

AutoTrac™ Basic の軌道セットアップ

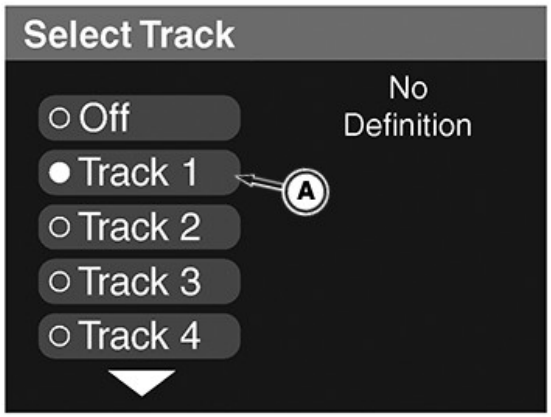


RXA0170084—UN—10SEP19

軌道セットアップアイコン

AutoTrac™ Basic は直線軌道誘導システムのみです。

最大 10 本の事前命名された誘導軌道 (A) を使用できます。オペレータは、軌道名を変更したり、軌道をセットから削除したりすることはできません。

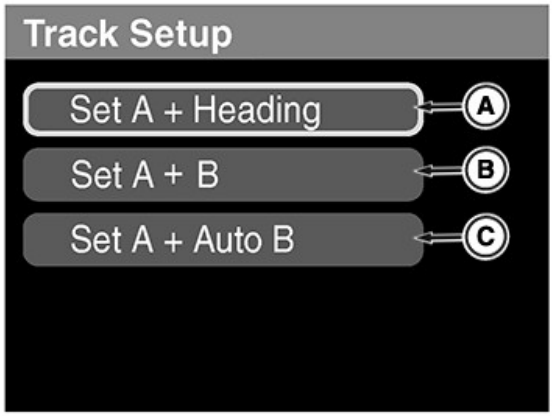


RXA0170099—UN—08OCT19

軌道選択画面

A：**事前命名されたガイダンス軌道 (10 本使用)**

直線軌道のセットアップオプション：



RXA0170100—UN—14OCT19

起動セットアップ画面

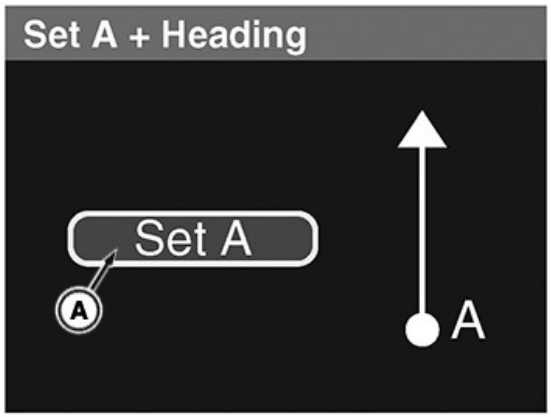
A - A を設定 + 方向

B - A を設定 + B

C - A を設定 + 自動 B

A を設定+ 方向

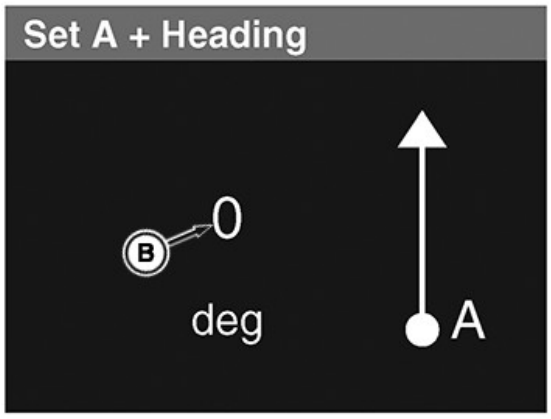
オペレータは必要な A 点 (A) を設定します。



RXA0170432—UN—08OCT19

A：**必要な A 点の設定**

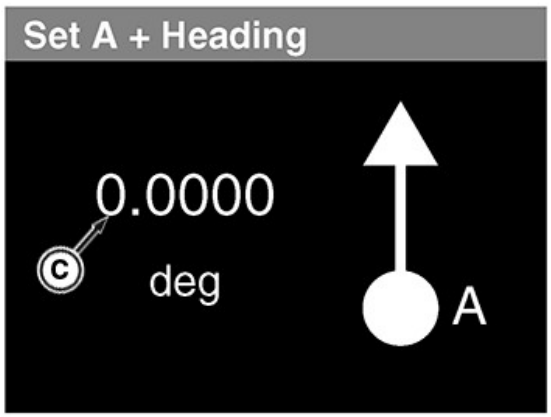
オペレータは機械を運転し、方向は現在の GPS コースに直近の整数角度 (B) が自動的に入力されます。



RXA0170433—UN—08OCT19

B：**方向を直近の整数角度に設定**

オペレータは、自動的に入力された方向値を受け入れるか、小数点以下を含む方向角度 (C) を必要に応じて変更することができます。

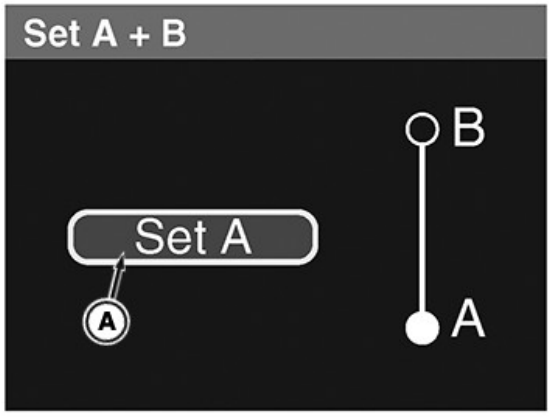


RXA0170434—UN—08OCT19

C：**小数点以下を含む角度の方向**

A を設定 + B

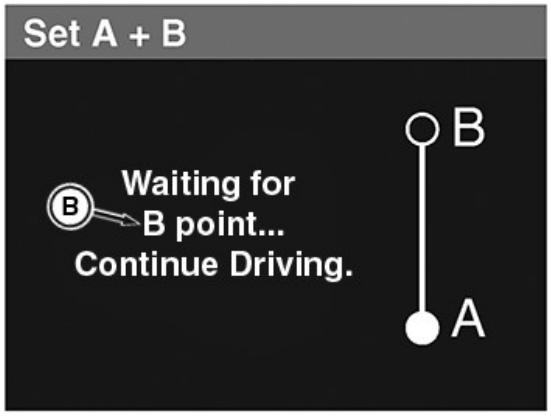
オペレータは必要な A 点 (A) を設定します。



RXA0170435—UN—08OCT19

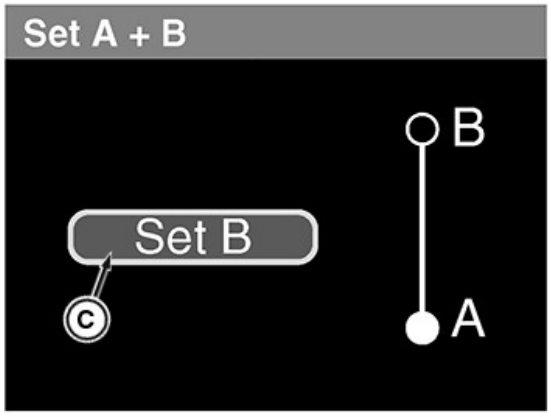
A：**必要な A 点の設定**

オペレータは機械を運転し、オペレータが B 点 (C) を設定できるようになるまで画面 (B) が表示されます。



RXA0170436—UN—08OCT19

B：**「B 点を待機中... 運転を続けてください」 画面**

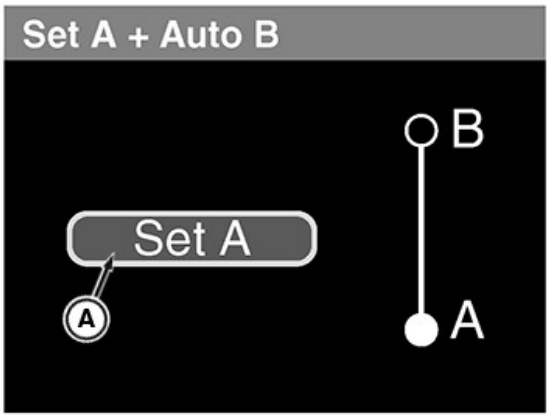


RXA0170437—UN—08OCT19

C：**必要な B 点を設定**

A を設定 + 自動 B

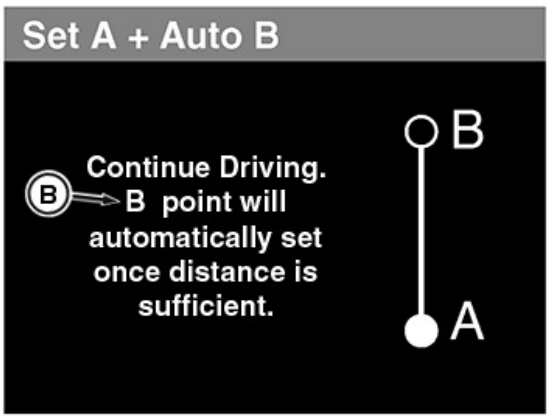
オペレータは必要な A 点 (A) を設定します。



RXA0170438—UN—08OCT19

A：**必要な A 点の設定**

オペレータが機械を運転して、B 点が自動的に設定されるまで画面 (B) が表示されます。

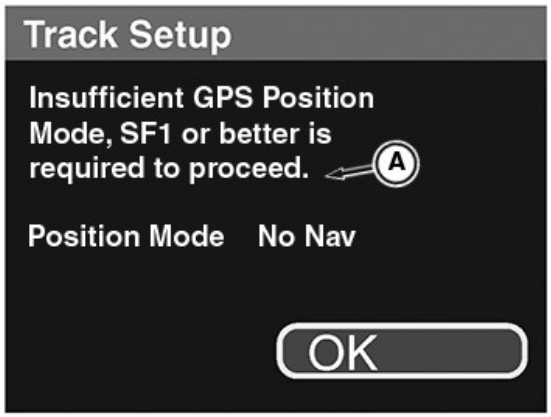


RXA0170439—UN—08OCT19

B：**「運転を続けてください。距離が十分になると、B 点が自動的に設定されます。」 画面**

各ラインの作成後、AutoTrac™ ステータス円グラフが「有効」に移行します。オペレータは、キーパッドの AutoTrac™ 復帰ボタンを押して、AutoTrac™ ステータス円グラフを「起動」に移行させます。

ガイダンスラインをセットアップするための適切な信号が StarFire™ 受信機にない場合は、画面 (A) が表示されます。



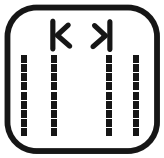
RXA0170440—UN—08OCT19

A：**「GPS 位置モードが不十分です。続行するには、SF1 以上が必要です。位置モードナビゲーション不可」画面**

OULXA64,6M,00055A7-40-09SEP20

AutoTrac™ Basic トレッド幅

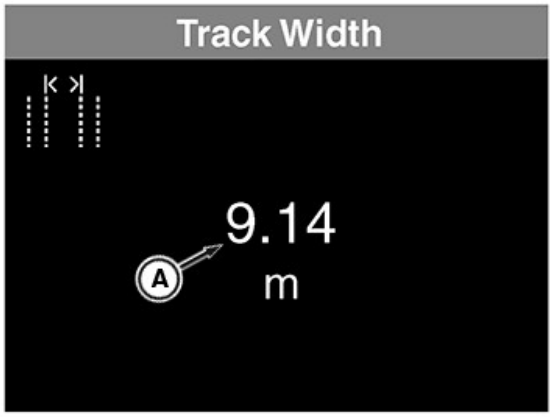
注記： オペレータはメートル法または標準単位を表示するようにディスプレイを構成できます。



RXA0170085—UN—10SEP19

トレッド幅アイコン

オペレータは、トレッド幅 (A) の変更をメートル単位またはフィートとインチ単位で手動入力できます。



RXA0170442—UN—08OCT19

A：**トレッド幅 (メートル法単位)**

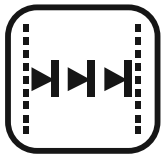
トレッド幅は作業機プロファイルにリンクされていま

せん。また、自動的に更新されません。作業機プロファイルは AutoTrac™ Basic で存在しません。

OULXA64,6M,00055A8-40-09SEP20

AutoTrac™ Basic トラック変更サイズ

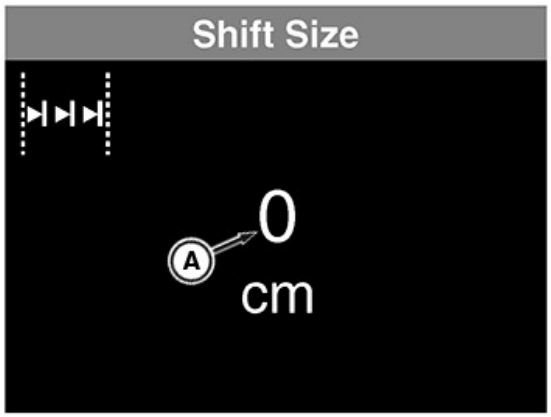
注記： オペレータはメートル法または標準単位を表示するようにディスプレイを構成できます。



RXA0170086—UN—10SEP19

トラック変更サイズアイコン

トラック変更の刻み幅 (A) は既定で 0 cm または 0 in に設定されています。30.48 cm (12 in) 以下のアクティブなトラック変更のみが有効です。



RXA0170444—UN—08OCT19

A：**トラック変更の刻み幅 (メートル法単位の場合)**

左にトラック変更、中心にトラック変更、右にトラック変更ボタンはメインマップ画面の下部にあります。

左にトラック変更ボタンと右にトラック変更ボタンを選択すると、現在選択されているガイダンスラインはトラック変更の刻み幅だけ移動します。

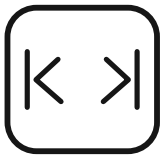
中心にトラック変更ボタンを選択すると、現在選択されているガイダンスラインは現在の機械位置に移動します。

トラック変更の合計量は各軌道に保存されます。これにより、オペレータは以前にトラック変更した軌道に戻って、トラック変更した位置を維持できます。

OULXA64,6M,00055A9-40-27NOV20

AutoTrac™ Basic 車両

注記： オペレータはメートル法または標準単位を表示するようにディスプレイを構成できます。



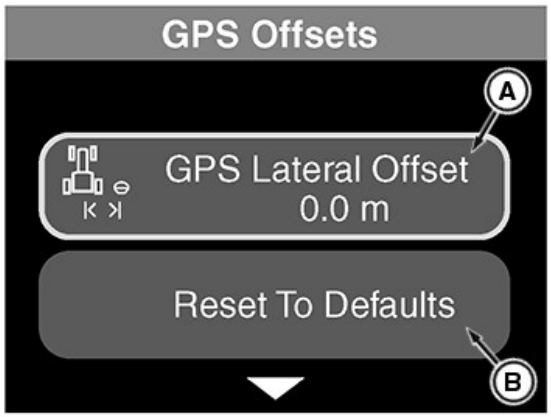
RXA0170087—UN—10SEP19

車両アイコン

注記： GPS レシーバのオフセット値については、このセクションの「GPS レシーバのオフセット値」を参照してください。

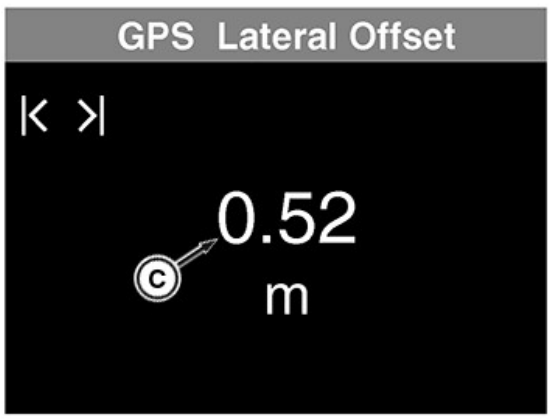
GPS 横方向オフセットは、機械中心の右側にのみ調整できます。

AutoTrac™ Basic には GPS 前後位置 (D)、GPS 高さ (E)、GPS 横方向オフセット (A) の寸法があり、既定値にリセット (B) を選択できます。



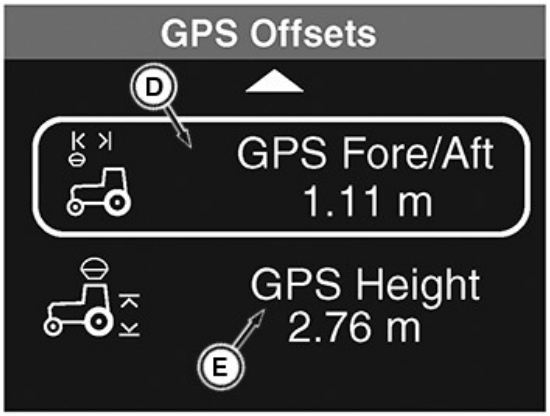
RXA0170446—UN—08OCT19

A：**GPS 横方向オフセット**
B：**既定値にリセット**



RXA0170448—UN—08OCT19

C：**GPS 横方向オフセットの測定値 (メートル法単位の場合)**



RXA0170450—UN—08OCT19

D：**GPS 前後位置調整**
E：**GPS 高さ**

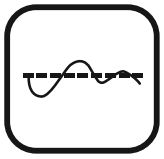
GPS 前後方向の位置 (D) と GPS 高さ (E) は自動的に検出され、機械のステアリングコントロールユニットから入力されます。GPS 前後位置と GPS 高さは編集できません。

GPS 横方向オフセット (A) は、レシーバの取り付け位置に基づく VIN 検出を使用して、適切な機械のオフセットに既定で設定されています。

GPS 横方向オフセット測定値 (C) は、初回検出後にオペレータが編集できます。

OULXA64,6M,00055AA-40-09SEP20

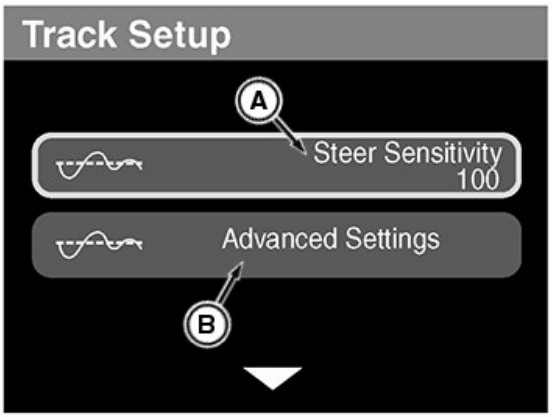
AutoTrac™ Basic チューニング



RXA0170088—UN—10SEP19

チューニングアイコン

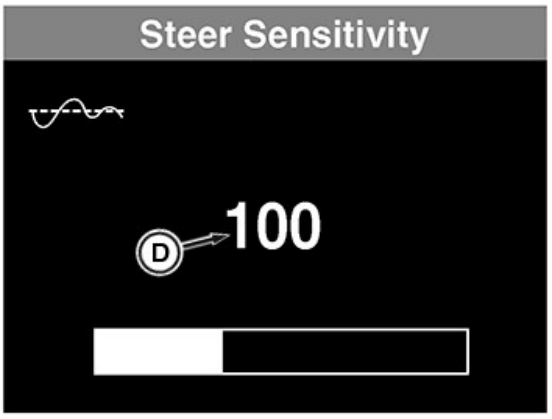
AutoTrac™ Basic には、ステアリング感度 (A) と詳細設定 (B) があります。



RXA0170451—UN—08OCT19

A：**手動ステアリング感度**
B：**詳細設定**

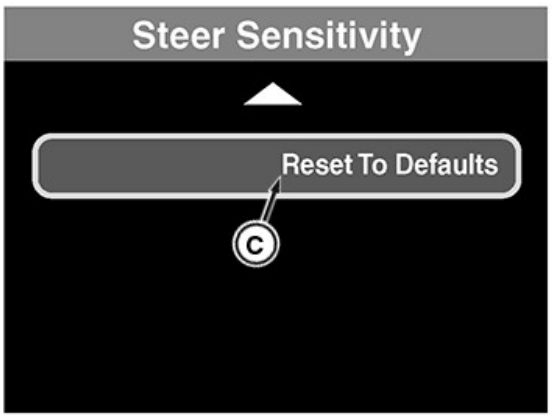
ステアリング感度 (A) は編集可能で、範囲 は 50～200 (D) です。詳細設定 (B) では、AutoTrac™ Basic の詳細設定の詳細なリストが表示されます。



RXA0170453—UN—08OCT19

D：**ステアリング感度範囲**

既定値 (C) にリセットも使用できます。



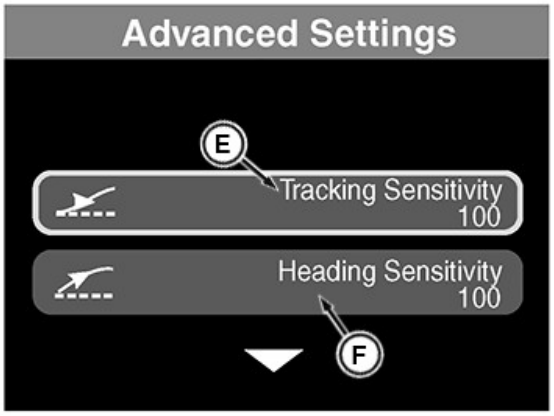
RXA0170452—UN—08OCT19

C：**既定値にリセット**

詳細設定は、ステアリングコントロールユニットによって既定値が設定されています。詳細設定の範囲は 50 ~ 200 です。

詳細設定の項目：

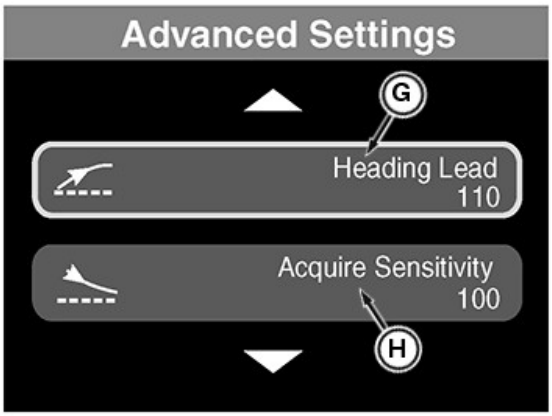
E - 追跡感度



RXA0170454—UN—08OCT19

F - 方向感度

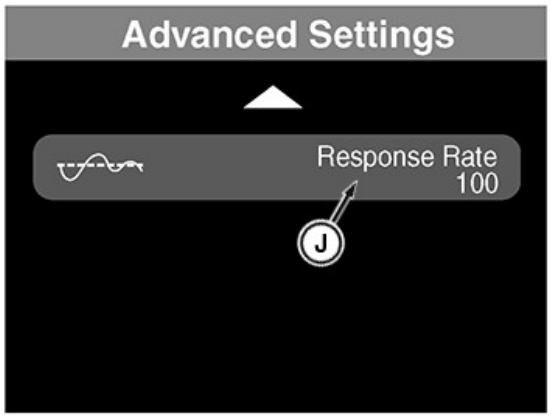
G - 方向案内



RXA0170455—UN—08OCT19

H - 取得感度

J - 応答速度



RXA0170456—UN—08OCT19

OULXA64,6M,00055AB-40-09SEP20

StarFire™ 補正モード

注記： 詳しくは、関連する StarFire™ 受信機取扱説明書を参照してください。



RXA0170089—UN—10SEP19

補正モードアイコン



RXA0170457—UN—08OCT19

A：**StarFire™ ステータス**

補正モードにステータス (A) が表示される StarFire™ 信号：

- **SF1**
- **SF3**
- **RTK** (リアルタイムキネマティック) (ユニバーサルディスプレイを介して、以前有効になっていた場合のみ表示されます)。

注記： オペレータは、コーナーポストディスプレイから RTK を入力することはできません。RTK を入力するには、ユニバーサルディスプレイが必要です。SF1 または SF3 を選択すると、RTK のテキストと選択済みを示す点が消えます。

OULXA64,6M,00055AC-40-09SEP20

AutoTrac™ Basic の TCM キャリブレーション



RXA0170090—UN—10SEP19

TCM キャリブレーションアイコン

注記： キャリブレーションを開始する前に、機械と作業機が正しい作業条件にあり、圃場作業の準備が整っていることを確認してください。

機械はバラストが積まれ、タイヤ圧が正しい必要があります。

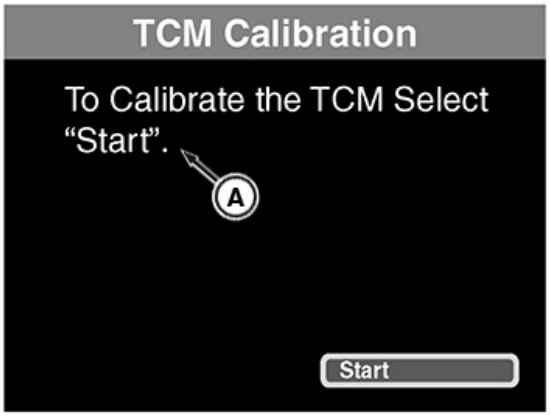
キャリブレーション時は、作業機を可能な限り作業位置の近くまで下げます。

注記： レシーバを機械から取り外して再び取り付けるたびに、または機械に対する TCM の角度が変わった場合に TCM のキャリブレーションを実施してください。

オペレータは地形補正モジュール (TCM) をキャリブレーションします。これにより、StarFire™ 受信機は 0°のロール角度とピッチ角度を決定できます。

オペレータは画面上でのキャリブレーション手順を実行します。

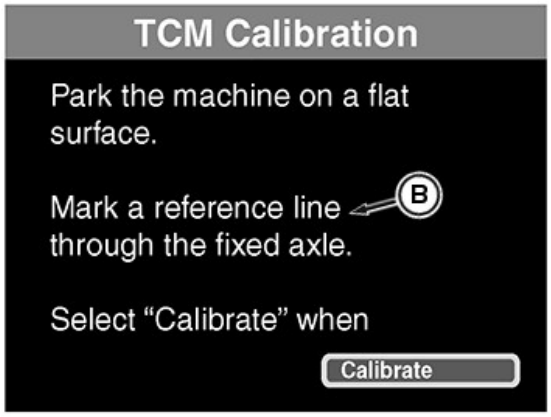
1. オペレータは、キャリブレーション開始画面 (A) で「開始」を選択します。



RXA0170458—UN—08OCT19

A：「TCM をキャリブレーションするには「開始」を選択します。」

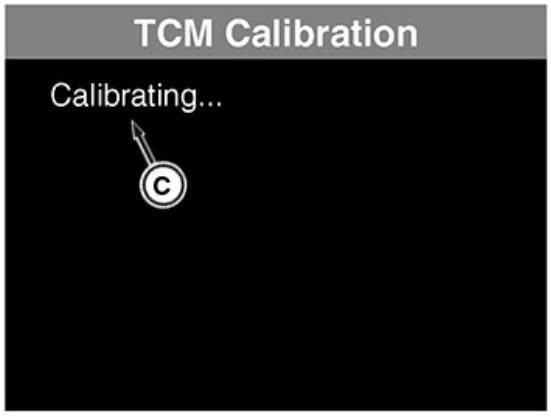
2. 指示画面 (B) が表示されます。



RXA0170459—UN—08OCT19

B：「機械を平坦な場所に駐車します。基準線のマークを固定車軸に付けます。「キャリブレーション」を選択します」

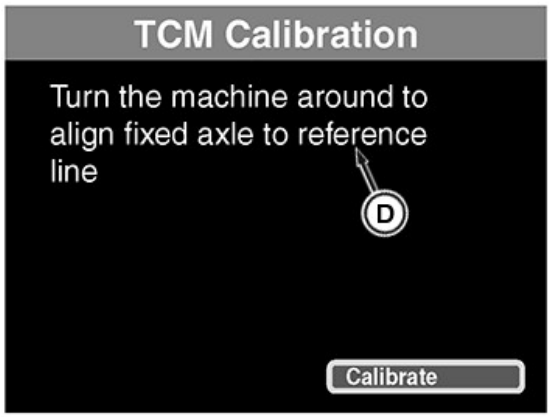
3. オペレータは機械を配置して、「キャリブレーションの実行」を選択します。
4. オペレータは機械を駐車位置に入れたままにします。
5. 「キャリブレーション中」画面 (C) が表示されます。



RXA0170460—UN—08OCT19

C：「キャリブレーション中...」

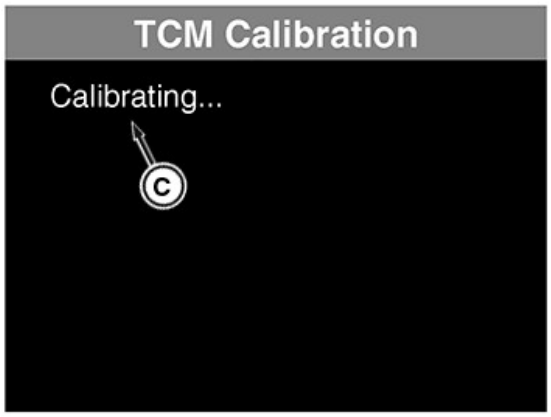
6. 「指示」画面 (D) が表示されます。



RXA0170461—UN—08OCT19

D：**「機械を方向転換して固定車軸を基準線に整列させます」**

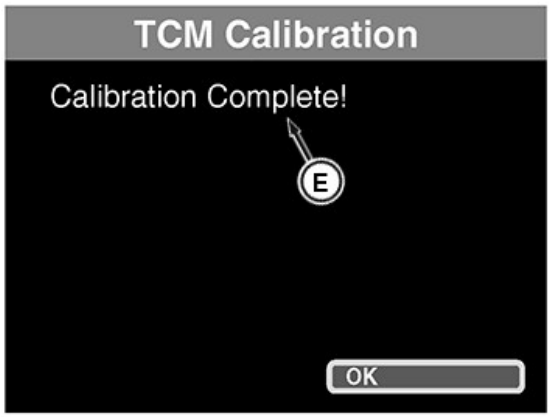
7. オペレータは機械を配置して、「キャリブレーションの実行」を選択します。
8. オペレータは機械を駐車位置に入れたままにします。
9. 「キャリブレーション中」画面 (C) が再表示されます。



RXA0170460—UN—08OCT19

C：**「キャリブレーション中...」**

10. 「キャリブレーション完了」画面 (E) が表示されます。

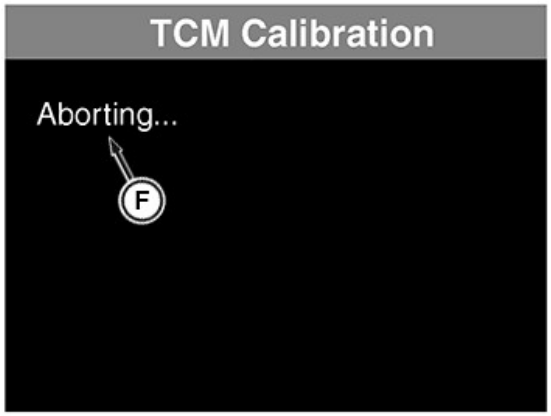


RXA0170462—UN—08OCT19

E：**「キャリブレーション完了！」**

11. 「OK」を選択してキャリブレーションを完了します。

オペレータはナビゲーションパッドの戻るボタンを押して、TCM のキャリブレーションを中止できます。「中止しています」画面 (F) が表示されます。

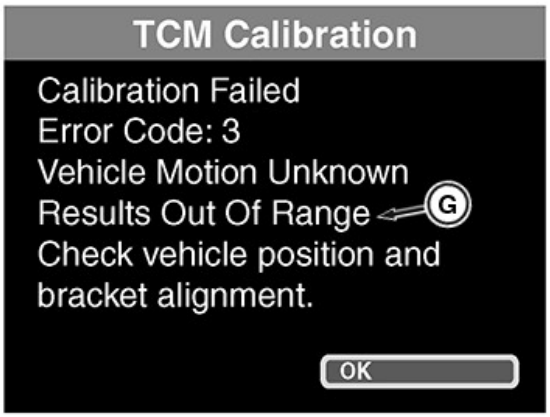


RXA0170568—UN—08OCT19

F：**「中止しています」画面**

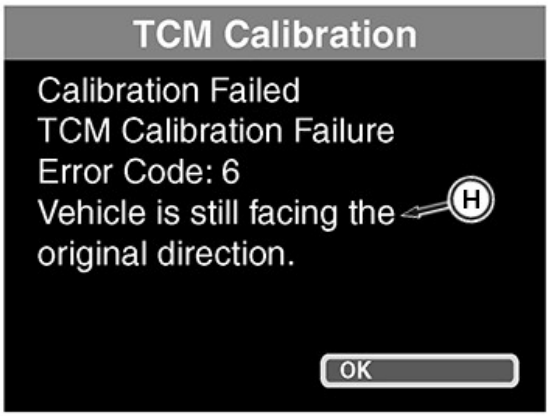
TCM キャリブレーションに失敗しました

TCM のキャリブレーションが失敗すると、メッセージ (G、H、J) が表示されます。TCM キャリブレーション処理を繰り返します。キャリブレーションが再度失敗した場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。



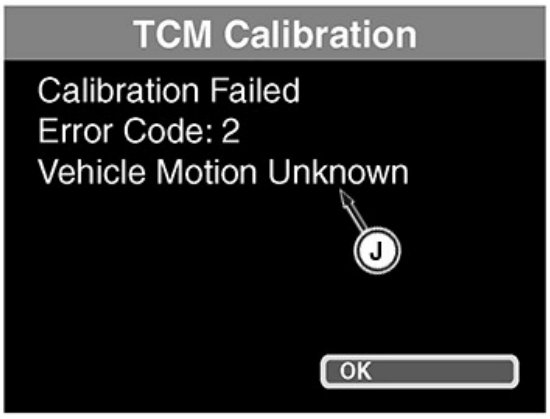
RXA0170569—UN—08OCT19

G：**「キャリブレーションに失敗しました。エラーコード： 3 車両の動きが不明。結果が範囲外。車両の位置とブラケットの整列を確認してください。」**



RXA0170570—UN—08OCT19

H：**「キャリブレーションに失敗しました。TCM キャリブレーションエラー。エラーコード： 6 車両がまだ元の方向に向いています。」**



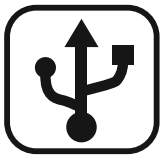
RXA0170571—UN—08OCT19

J：**「キャリブレーションに失敗しました。エラーコード： 2 車両の動きが不明」**

OULXA64,6M,00055AD-40-16JUL25

StarFire™ USB ドライブ

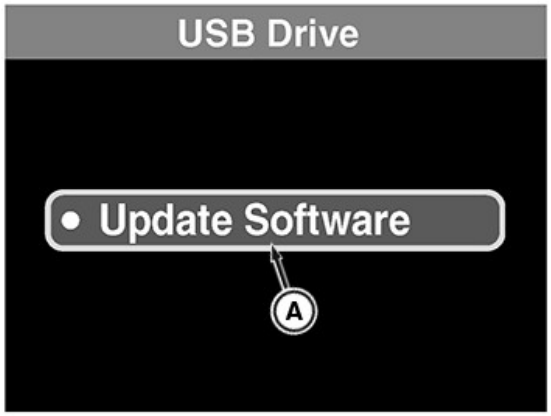
注記： 詳しくは、関連する StarFire™ 受信機取扱説明書を参照してください。



RXA0170091—UN—10SEP19

USB ドライブアイコン

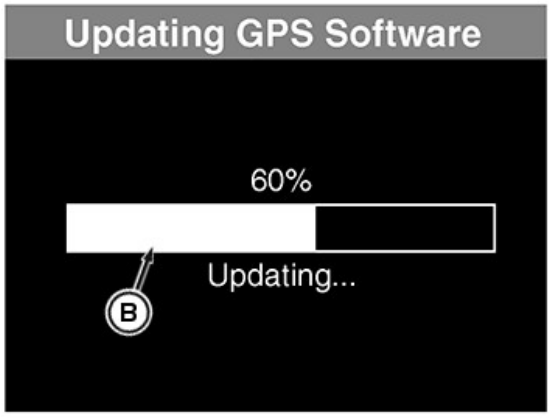
StarFire™ USB ドライブを StarFire™ 受信機に挿入すると、ソフトウェアの更新画面 (A) が表示されます。



RXA0170463—UN—08OCT19

A：**「ソフトウェアの更新」**

StarFire™ USB ドライブは GPS ソフトウェアを更新し、進行状況画面 (B) が表示されます。

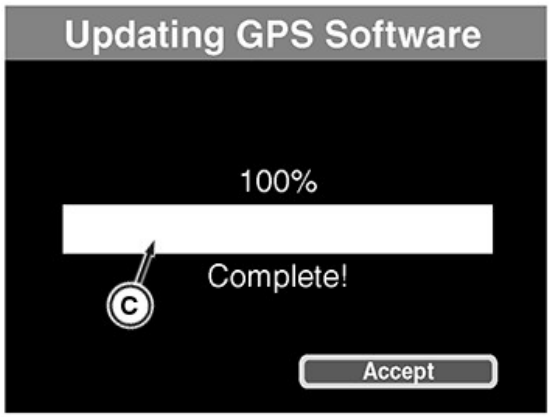


RXA0170464—UN—08OCT19

B：**更新プロセス**

ステータスバーには、更新のステータスが 10% 刻みで表示されます。

StarFire™ USB ドライブが GPS ソフトウェアの更新を完了すると、更新完了画面 (C) が表示されます。

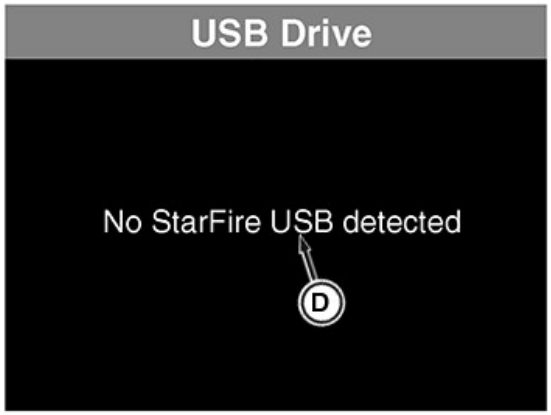


RXA0170465—UN—08OCT19

C：**更新の完了**

注記： プログラミングイベントの後、StarFire™ 受信機が再起動します。

StarFire™ 受信機に USB ドライブが挿入されていない場合、「StarFire™ USB が検出されませんでした」画面 (D) が表示されます。



RXA0170466—UN—08OCT19

D：**「StarFire USB が検出されませんでした」**

注記： USB ドライブが挿入され、「StarFire™ USB が検出されませんでした」画面が表示された場合は、USB を抜いて別のものを挿入してください。一部の USB ドライブは互換性がありません。エラーメッセージが引き続き表示される場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

OULXA64,6M,00055AE-40-16JUL25

StarFire™ GPS ステータス

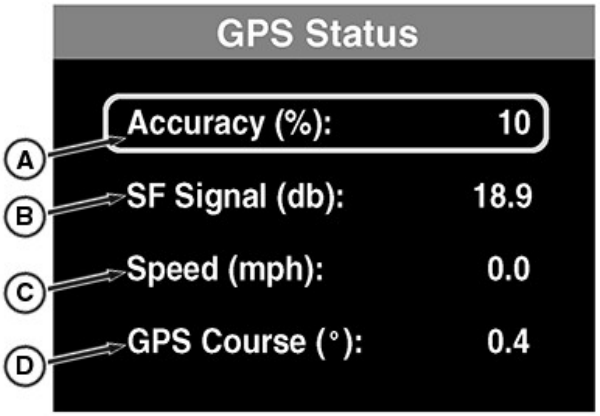
注記： 詳しくは、関連する StarFire™ 受信機取扱説明書を参照してください。

GPS の状態が次のように表示されます：



RXA0170092—UN—10SEP19

GPS ステータスアイコン



RXA0170467—UN—08OCT19

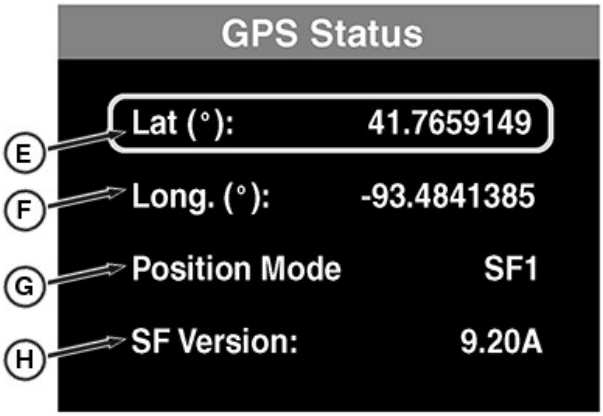
GPS 画面 *1*

A - 精度

B - StarFire™ 受信機信号

C - 機械速度

D - GPS コース



RXA0170468—UN—08OCT19

GPS 画面 *2*

E - 緯度

F - 経度

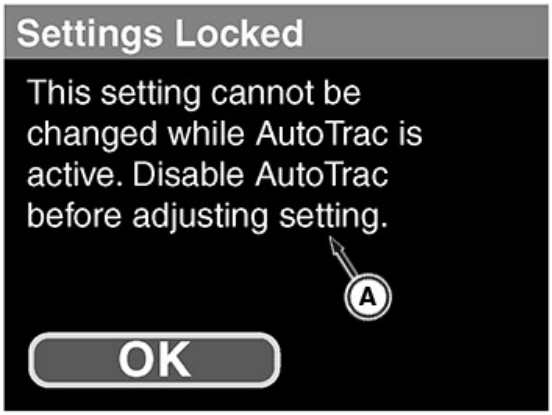
G - 位置モード

H - StarFire™ バージョン

注記： 値は編集できません。

OULXA64,6M,00055AF-40-17DEC20

AutoTrac™ Basic 設定がロックされている



RXA0170470—UN—08OCT19

A：**AutoTrac™ が起動しているときにこの設定を変更することはできません。設定を調整する前に AutoTrac を無効にしてください。**

AutoTrac™ Basic を有効にしているときに次のメニューにアクセスしようとすると、設定はロックされています画面 (A) が表示されます：

- **トレッド幅**
- **車両**
- **TCM キャリブレーション**
- **USB フラッシュドライブ**

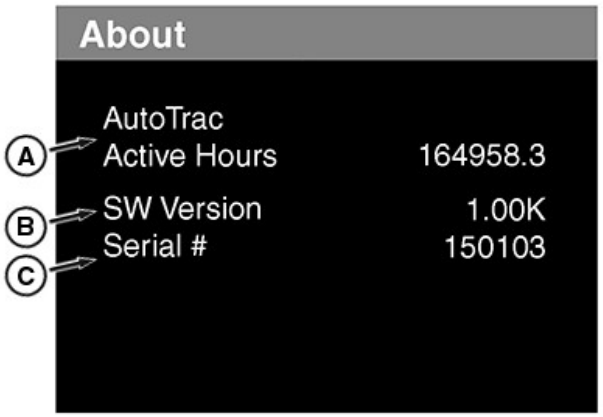
OULXA64,6M,00055B0-40-09SEP20

AutoTrac™ Basic バージョン情報



RXA0170093—UN—10SEP19

バージョン情報アイコン



RXA0170469—UN—08OCT19

バージョン情報に表示される項目：

A - AutoTrac™ Basic 有効になっていた時間

B - ソフトウェアバージョン

C - シリアル番号

注記： 値は編集できません。

OULXA64,6M,00055B1-40-09SEP20

GPS レシーバのオフセット値

GPS オフセット値	
GPS 高さ	2043 mm (80.4 in) + 地面からリアアクスルの中心までの測定値
GPS 横方向オフセット (機械中心の右側)	523 mm (20.6 in)
GPS インライン (前後方向の位置) オフセット	1112.5 mm (43.8 in)

OULXA64,6M,00055B2-40-09SEP20

Autotrac™ Universal について

注意： ガイダンスシステムと ATU の安全と適切な操作については、AutoTrac™ Universal の取扱説明書を参照してください。

AutoTrac™ Universal (ATU) システムは、機械のガイド付きステアリングに GPS (Global Positioning System) を使用します。AutoTrac™ Universal システムが有効ではない場合、オペレータは機械を手動で操舵します。

設置、操作、およびメンテナンスについて詳しくは、ATU リファレンスマニュアルを参照してください。

OULXA64,6M,00055B3-40-09SEP20

iTEC™ Basic、一般情報

iTEC™ (Intelligent Implement Control) を使用すると、ヒッチをクイック上昇/下降スイッチで操作しているときに機能をオンまたはオフに自動的に切り替えることができます。

これは、リア PTO、デフロック、または前輪駆動を手動でオンまたはオフする必要なしに枕地でヒッチを操作する利点があります。iTEC™ Basic が適切に構成されている場合、これらの機能は自動的に制御されます。

シーケンスに PTO の機能を入れる場合は、PTO スイッチを使用して最初に手動で PTO を接続する必要があります。

iTEC™ Basic の設定はメモリに保存され、オペレータが iTEC™ Basic メニューで設定を変更するまでそのまま残ります。

iTEC™ Basic を起動または解除にするには、キーパッドの「iTEC™」ボタンを押すか、「設定」ページの iTEC™ メニューの ON または OFF アイコンを選択します。iTEC™ Basic を起動すると、iTEC™ ディスプレイと各機能 (デフロック、リア PTO、前輪駆動) のアイコンがコーナーポストディスプレイで点灯します。

注意： iTEC™ をオンに切り替えた状態でフロントローダーを操作すると、けがや機械の損傷が発生する可能性があります。

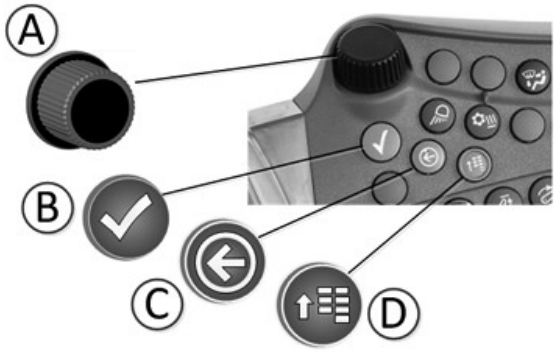
フロントローダーと iTEC™ を同時に操作すると、フロントローダーの予期しない動きが発生することがあります。

iTEC™ をオフにした場合のみ、フロントローダーを操作してください。

OULXA64,6M,00055B4-40-24OCT22

基本的なメニューナビゲーション

移動と設定の基本コントロール：

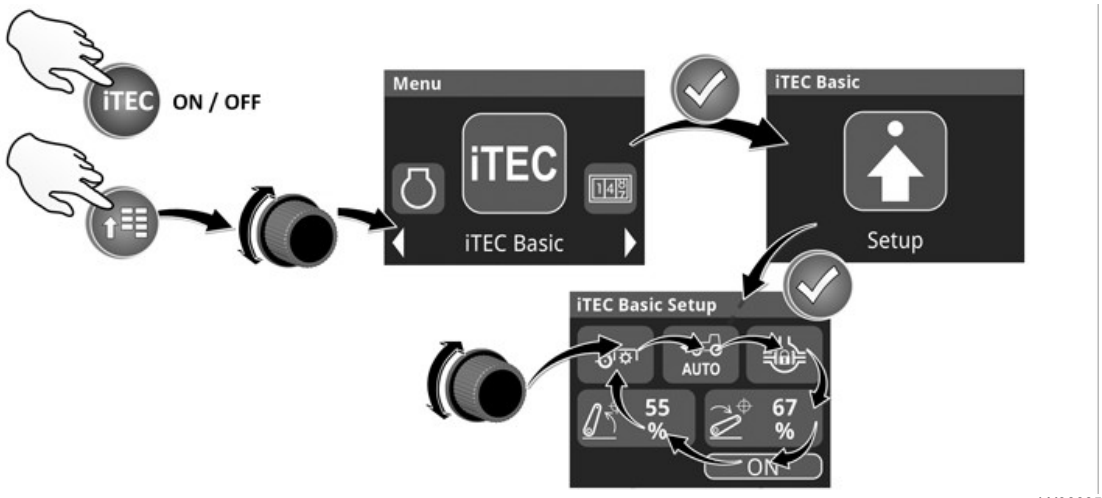


LX361250—UN—17DEC18

A：**選択と設定**
B：**選択の確定**
C：**1 ステップ戻る**
D：**メインメニューへのアクセス**

OULXA64,6M,00055B5-40-09SEP20

iTEC™ Basic、メニュー



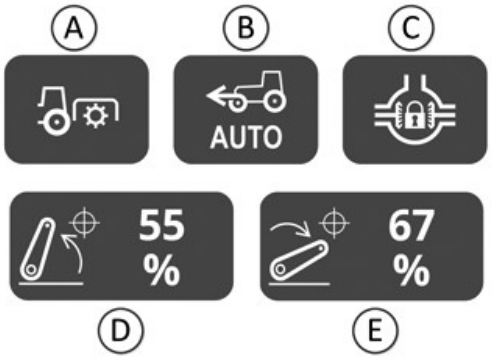
LX386850—UN—19AUG19

- **iTEC™ Basic メニューを開く**：メニューボタンを押して iTEC™ Basic に移動します。
- **iTEC™ Basic を ON または OFF にする**：「iTEC™」ボタンを押して、ON/OFF を切り替えます。

OULXA64,6M,00055B6-40-09SEP20

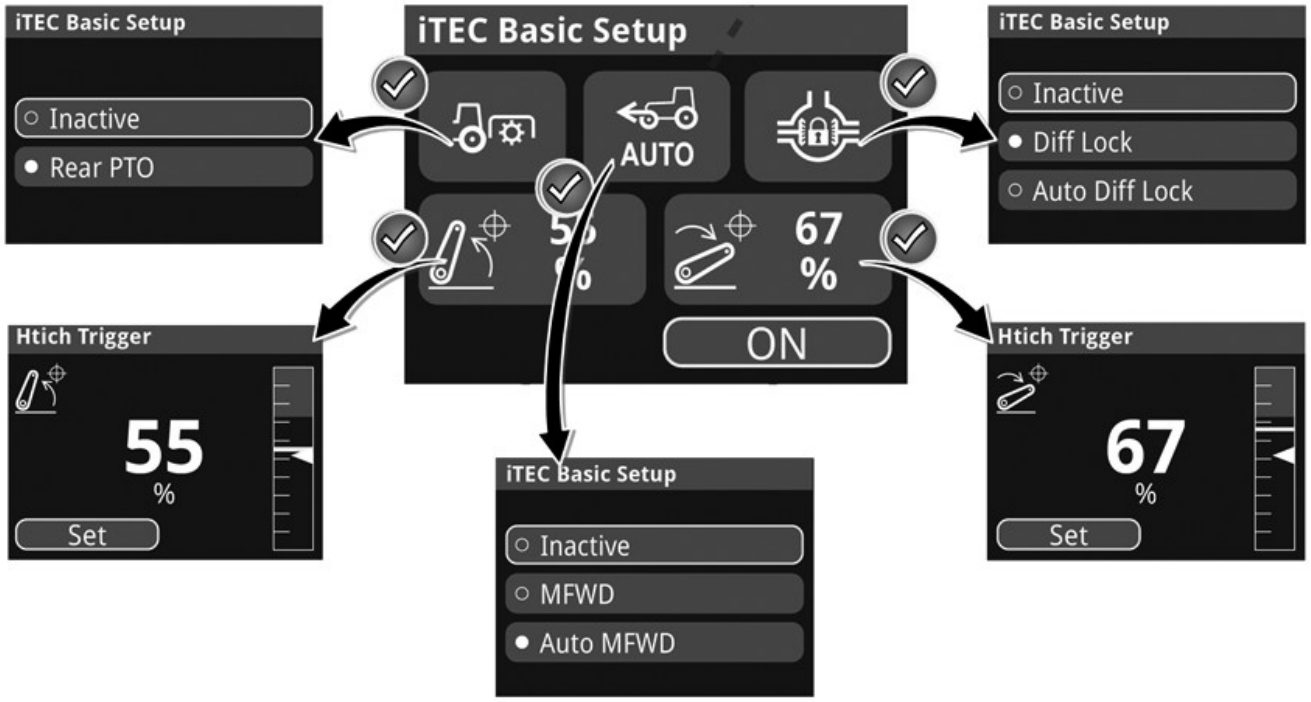
iTEC™ Basic、機能へのアクセス

A：リア PTO の接続 / 解除
B：前輪駆動の接続 / 解除
C：デフロックの接続 / 解除
D：リアヒッチ上昇時の解放位置
E：リアヒッチ下降時の解放位置



LX368333—UN—25JAN19

使用できる機能



LX368254—UN—25JAN19
OULXA64,6M,00055B7-40-20APR23

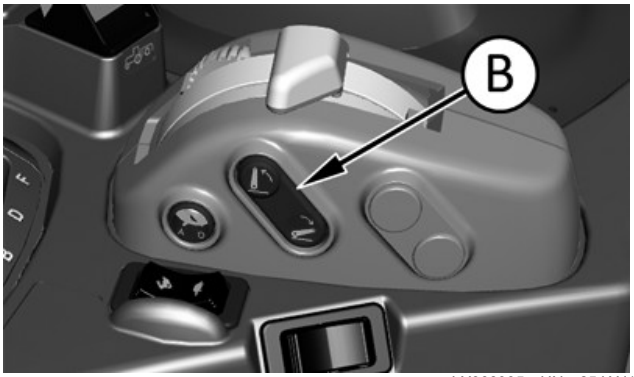
iTEC™ Basic の操作

操作：

クイック上昇/下降スイッチでヒッチを操作します。iTEC™ Basic を有効にすると、解除位置に達したときに機能が自動的にオンまたはオフに切り替わります。



LX368334—UN—25JAN19



LX368335—UN—25JAN19

A：**クイック上昇 / 下降スイッチ (CommandARM™ あり)**
B：**クイック上昇 / 下降スイッチ (CommandARM™ なし)**

トラクターの構成に応じて、バージョン (A) または (B) を使用できます。

iTEC™ Basic の ON/OFF を切り替えるには、iTEC™ ボタン (C) を押します。



LX368336—UN—25JAN19

C：**iTEC™ Basic の ON/OFF を切り替えるための iTEC™ ボタン**

有効な場合、コーナーポストディスプレイで iTEC™ 表示灯が点灯します。

アクティブ機能の点滅シーケンス



LX514306—UN—21APR23

例示

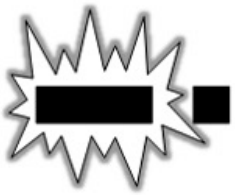
iTEC™ 機能が iTEC™ によって能動的に制御されているかどうかは、コーナーポストディスプレイの該当する記号の点滅シーケンスで識別できます。



LX514307—UN—21APR23

点滅シーケンス – 機能が無効

- 機能は iTEC™ によって選択および制御されていますが、機能は現在無効になっています。点滅シーケンス：ショート ON、ロング OFF



LX514308—UN—21APR23

点滅シーケンス – 機能が有効

- iTEC™ によって選択および制御される機能で、機能は現在有効です。点滅シーケンス：ロング ON、ショート OFF

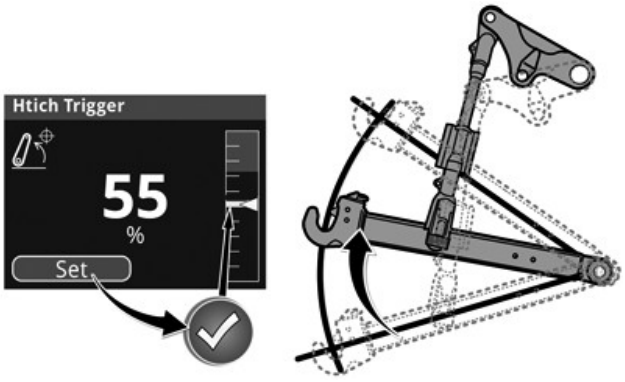
oulxa64,6M,1681978631015-40-26APR23

iTEC™ Basic、設定

リアヒッチ上昇時の解放位置

リアヒッチが上方移動中に解放位置に達すると、選択した機能は自動的に**無効**になります。

1. 解放位置を設定するには、「iTEC™ Basic」メニューを開いて「ヒッチの上昇」アイコンを選択します。
2. 選択した機能を自動的にオフにする位置にリアヒッチを移動します。
3. 設定を確認して保存します。

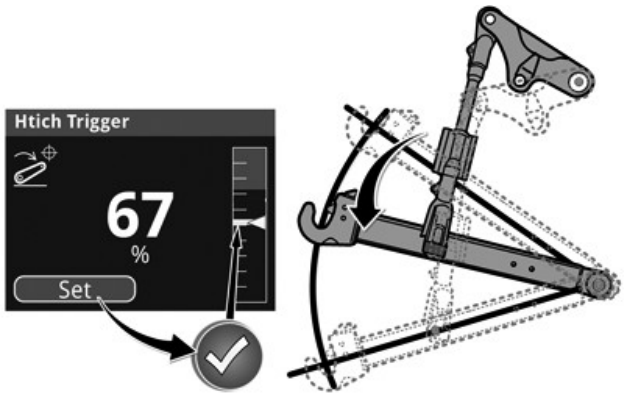


LX368259—UN—25JAN19

リアヒッチ下降時の解放位置

リアヒッチが下方移動中に解放位置に達すると、選択した機能は自動的に**有効**になります。

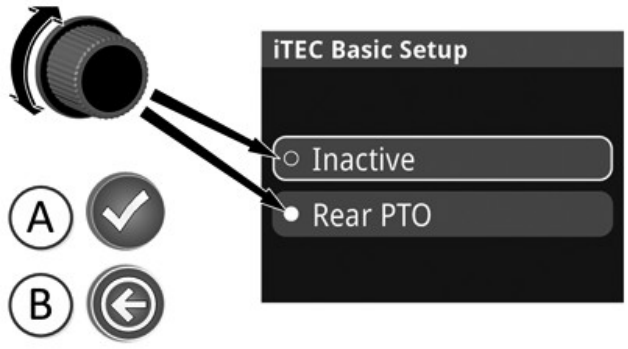
1. 解放位置を設定するには、「iTEC™ Basic」メニューを開いて「ヒッチの下降」アイコンを選択します。
2. 選択した機能を自動的にオンにする位置にリアヒッチを動かします。
3. 設定を確認して保存します。



LX368258—UN—25JAN19

リア PTO の作動/解除

1. 「iTEC™ベーシック」メニューを開いて、リア PTO の絵記号を選択します。
2. 解放位置[1] に達するとリア PTO が自動的に ON になるか、OFF になるかを選択して、(A) で確定します。

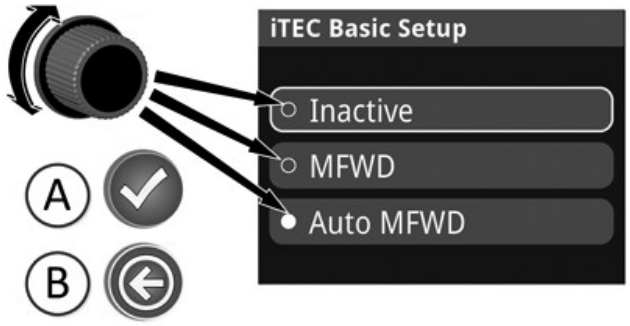


LX368256—UN—25JAN19

A：**確定**
B：**戻る**

前輪駆動の接続/解除

1. 「iTEC™ベーシック」メニューを開いて、「前輪駆動」アイコンを選択します。
2. 高速上昇/下降スイッチを起動すると、前輪駆動が自動的に ON になるか、OFF になるかを選択して、(A) で確定します。装置によっては、「自動」の設定も可能です。この設定については、「前輪駆動」(セクション 50A) を参照してください。

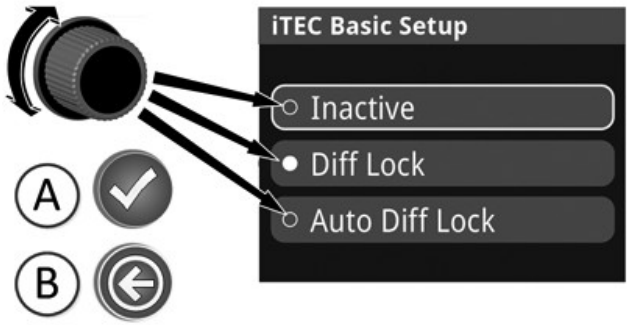


LX368257—UN—25JAN19

A：**確定**
B：**戻る**

デフロックの作動/解除

1. 「iTEC™ Basic」メニューを開いて、「デフロック」アイコンを選択します。
2. 高速上昇/下降スイッチを押すと、デフロックが自動的に ON になるか、OFF になるかを選択して、(A) で確定します。装置によっては、「自動」の設定も可能です。この設定については、「デフロック」(セクション 50B) を参照してください。



LX368255—UN—25JAN19

A：**確定**
B：**戻る**

iTEC™ を起動させたときの機能の反応

	デフロック[a]	リア PTO[a]	前輪駆動[a]
「クイック下降」を押した場合：	すぐに作動する。	作業機が解放位置に達して、走行速度が 0.5 km/h (0.3 mph) を超えている場合に作動します。	すぐに作動する。
「クイック上昇」を押した場合：	すぐに解除される。	作業機が解放位置に達するか、解	リアヒッチが作業位置から離れた

[1] 解放位置により、機能の自動起動と解除を開始するリアヒッチ位置がマークされます。

		放位置を越えた場合に OFF になります。	場合、または輸送位置に変わった場合に OFF になります。

[a] *iTEC Basic 設定メニューでプログラムされている場合。*

OULXA64,6M,00055B8-40-09SEP20

駆動システム - 概要

- 前輪駆動
- デフロック
- ブレーキ
- トランスミッション - 一般情報
- PowrQuad™ PLUS トランスミッション
- AutoQuad™ PLUS トランスミッション
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション

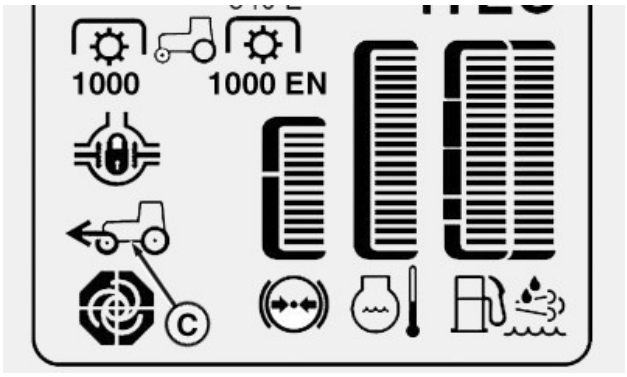
OULXA64,6M,00055B9-40-29AUG23

前輪駆動、コントロールの要素と表示灯



LX364111—UN—14NOV18

A：**自動ロックボタン**
B：**手動ロックボタン**



LX364183—UN—04DEC18

C：**前輪駆動の接続時に点灯する表示灯**

OULXA64,6M,00055BA-40-21DEC20

前輪駆動、手動起動 / 解除

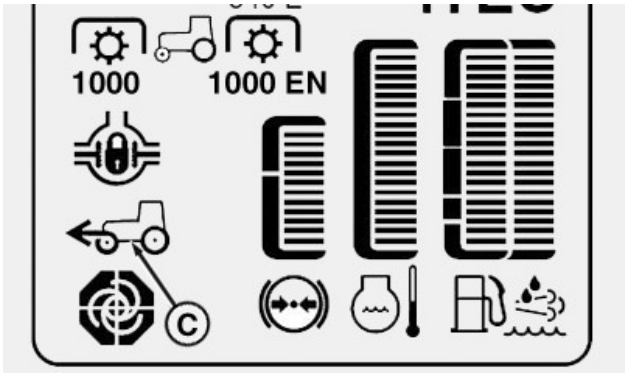
ボタン (B) で前輪駆動をオンにします。



LX364111—UN—14NOV18

A：**自動ロックボタン**
B：**手動ロックボタン**

前輪駆動は、走行中および負荷のかかった状態でもすべてのギヤ (前進と後進) でオンまたはオフにできます。前輪駆動を手動でオンにすると、表示灯 (B) と (C) が点灯します。



LX364183—UN—04DEC18

C：**前輪駆動の接続時に点灯する表示灯**

ブレーキ操作中の前輪駆動の接続に関する情報：

- ブレーキペダルが互いにロックされている場合、ブレーキをかけると、前輪駆動は常に作動します。前輪駆動の自動起動中はボタン (A) と (C) の表示灯が点灯します。
- ブレーキ操作の後、またはトラクターが静止した場合、前輪駆動は最後の作動条件に戻ります (ON のまま、または OFF に切り替え)。
- 公道を 23 km/h (14.3 mph) 以上で走行する場合は、前輪駆動を解除してください。

John Deere 販売店またはその他の整備工場は、診断アドレス CCU046 を使用して、「5 km/h (3.1 mph) での前輪駆動の自動選択」機能を有効または無効にすることができます。

機能	
オン	*走行速度が 5 km/h (3.1 mph) を超えているときにブレーキ操作を開始した場合、前輪駆動が接続されます。*
解除	*前輪駆動はブレーキ中に必ず接続します。*

OULXA64,6M,00055BB-40-15JUL25

前輪駆動、自動接続 / 解除

前輪駆動の接続 / 解除を自動的に有効化

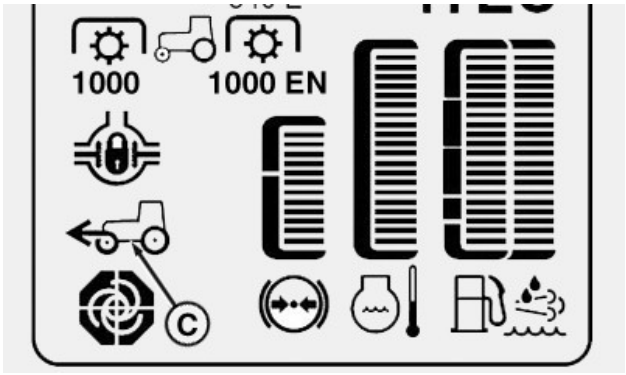
ボタン (A) で前輪駆動をオンにします。



LX364111—UN—14NOV18

A：**自動ロックボタン**
B：**手動ロックボタン**

注記： 表示灯 (A) は、自動モードが有効になっている限り、点灯します。その間、表示灯 (C) は前輪駆動の現在の状態 (ON または OFF) を示します。



LX364183—UN—04DEC18

C：**前輪駆動の接続時に点灯する表示灯**

前輪駆動が自動モードで ON または OFF に切り替わる原因となる運転状況：	**前輪駆動の自動 ON または OFF**
• 移動速度 19 km/h (11.8 mph) 未満 + ステアリング角がカスタム解除角度より小さい[a] .	ON
+ ステアリング角がカスタム解除角度より小さい[a]	ON
• 対地速度 23 km/h (14.3 mph) を超過	OFF
• ボタン (A) を押すと、自動モードが無効になる . .	OFF
• ボタン (B) を押すと、手動モードに切り替わる . .	OFF
• + ステアリング角がカスタム解除角度より大きい[a]	OFF

[a]カスタム解除角度を参照してください (装備されている場合)

カスタム解除角度による前輪駆動の自動接続解除 (装備されている場合)

重要： 前輪駆動の自動接続 / 解除の最大許容解除角度は、次の要因によって決まります：

- **タイヤの種類**
- **トレッド幅**
- **ステアリングストップ**

ステアリングストップは、診断アドレス「CCU 000173」で選択できる値よりも小さい場合があります。「診断アドレスの操作と入力 (顧客レベル)」(セクション 300B) の「CCU - コントロールソフトウェア」を参照してください。

設定されたステアリング角による停止の公差の結果として、前輪駆動の自動モードに対して設定された解除角度にステアリングの片側または両側で達しない可能性があります。この場合は、両側で解除されるように、次に小さいステアリング角を選択する必要があります。

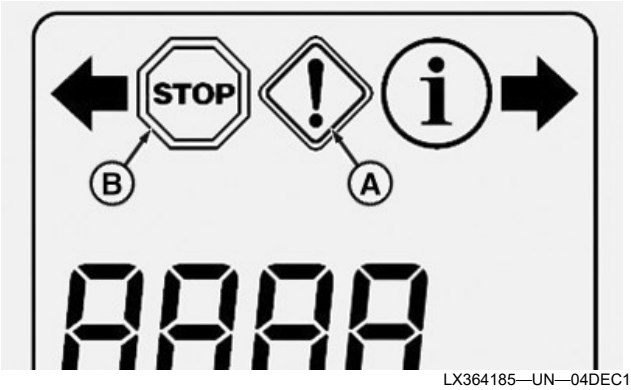
カスタム解除角度を変更するには、診断アドレス「CCU 000173」にアクセスし、適切な入力値を入力します。

次の自動カスタム解除角度を使用できます：

入力値	**解除角度**
1	15°
2	20°
3	25°
4	30°
5	OFF

OULXA64,6M,00055BC-40-21DEC20

フロントサスペンションオプション装備のトラクター



LX364185—UN—04DEC18

A：**黄色の整備アラートライト**
B：**赤色の停止灯**

車軸のレベル制御は、移動速度が 1.5 km/h (0.9 mph) を超えるとすぐに自動的に作動します。

レベル制御は、トラクターが動き始めるとすぐに負荷の変化 (装置の取り付けや取り外しなど) に応答します。

コントロールシステムの故障が発生した場合は、黄色の整備アラートライト (A) または赤色の停止灯 (B) と対応するメッセージが情報ディスプレイに表示されます。エラーメッセージを確認して原因を取り除きます。

黄色の整備アラートライト (A) が点灯している場合、トラクターはまだ運転できます。ただし、高い移動速度で慎重に運転してください。

赤色の STOP 灯 (B) が点灯した場合は、直ちに停止してエンジンのスイッチをオフにします。情報表示のエラーメッセージを確認して原因を取り除いてください。

OULXA64,6M,00055BD-40-19APR23

デフロック

デフロック、コントロールと表示灯

重要：**デフロックを接続した状態で旋回しようとしないでください。**

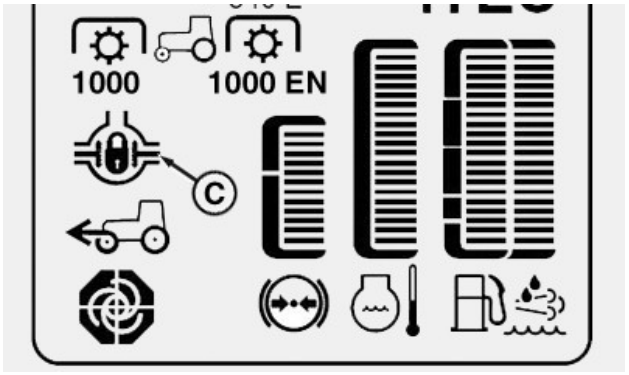
回転数の差が非常に大きい場合、または旋回中は、デフロックをオンにしないでください。

デフロックは、同じ車軸のホイール間の回転数の違いを安定化させます。デフロックは、ホイールを互いに連結して、滑りやすい圃場条件で最良のトラクションを提供します。



LX364112—UN—14NOV18

A：**自動ロックボタン**
B：**手動ロックボタン**



LX364184—UN—04DEC18

C：**デフロック表示灯**

注記：デフロックが作動しているときは、表示灯 (C) が点灯します。

OULXA64,6M,00055BE-40-09SEP20

デフロック、手動接続/解除

重要：**デフロックを接続した状態で旋回しようとしないでください。**

回転数の差が非常に大きい場合、または旋回中は、デフロックをオンにしないでください。

デフロックは、同じ車軸のホイール間の回転数の違いを安定化させます。デフロックは、ホイールを互いに連結して、滑りやすい圃場条件で最良のトラクションを提供します。

デフロックの接続：

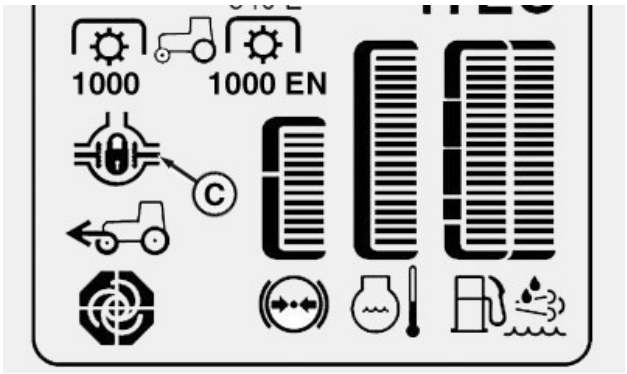
- ボタン (B) を押します。



LX364112—UN—14NOV18

A：**自動ロックボタン**
B：**手動ロックボタン**

注記：デフロックを手動でオンにすると、表示灯 (B) と (C) が点灯します。



LX364184—UN—04DEC18

C：**デフロック表示灯**

デフロックの解除：

- ボタン (B) をもう一度押します。
- 片方または両方のブレーキペダルを踏みます。

デフロックを再接続するには、ボタン (A) をもう一度押す必要があります。

OULXA64,6M,00055BF-40-09SEP20

デフロック、自動接続/解除

重要：**デフロックを接続した状態で旋回しようとしないでください。**

回転数の差が非常に大きい場合、または旋回中は、デフロックをオンにしないでください。

注記：デフロックの自動接続 / 解除は、前輪駆動車軸装備のトラクターでのみ使用できます。

デフロックは、同じ車軸のホイール間の回転数の違い

を安定化させます。不均一な滑りがある場合に、駆動力を改善することができます。

デフロック、自動接続/解除

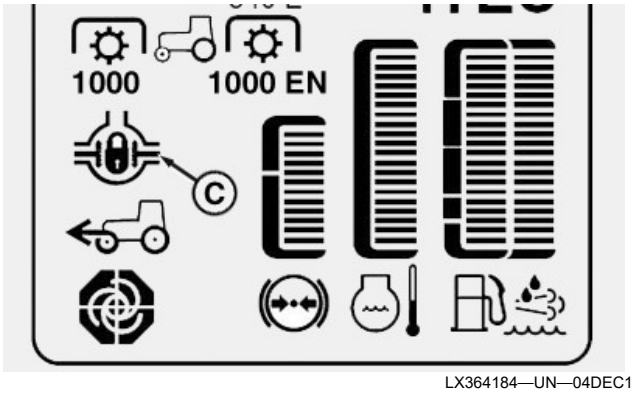
ボタン (A) を押します。



LX364112—UN—14NOV18

A：**自動ロックボタン**
B：**手動ロックボタン**

注記： デフロックが自動モードの場合は、表示灯 (A) が点灯します。その間、表示灯 (C) はデフロックの現在の状態 (ON または OFF) を示します。



LX364184—UN—04DEC18

C：**デフロック表示灯**

デフロックが自動モードで ON または OFF に切り替わる原因となる運転状況：	**デフロック、自動 ON または OFF**
• 移動速度 19 km/h (11.8 mph) 未満 **+** ステアリング角がカスタム解除角度より小さい [a] . . **+** いずれのブレーキペダルも踏み込まれていない. . . .	ON
• 対地速度 23 km/h (14.3 mph) を超過	OFF
• ブレーキペダルが片方あるいは両方踏まれている。 .	OFF
• ボタン (B) を押すと、手動モードに切り替わる . . .	OFF
• + ステアリング角がカスタム解除角度より大きい[a] .	OFF

[a] *カスタム解除角度を参照してください (装備されている場合)*

デフロック、カスタム解除角度による自動起動/解除 (装備されている場合)

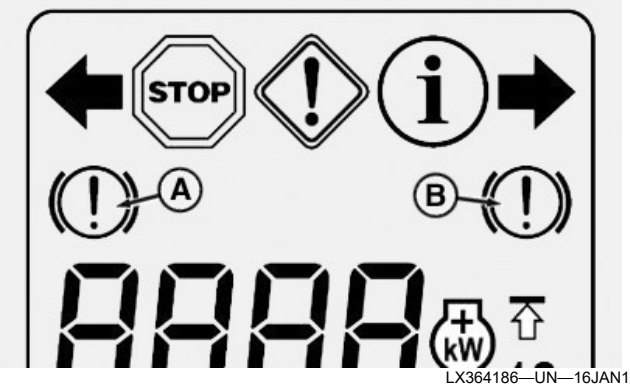
解除角度を変更するには、診断アドレス「CCU 000157」にアクセスし、該当する入力値を選択します。「診断アドレスの操作と入力 (顧客レベル)」(セクション 300B) の「CCU - コントロールソフトウェア」を参照してください。

次の自動カスタム解除角度を使用できます：

入力値	**解除角度**
1	6°
2	9°
3	12°
4	15°

OULXA64,6M,00055C0-40-09SEP20

油圧フットブレーキ



LX364186—UN—16JAN19

重要：**次のいずれかの状況が発生すると、ブレーキシステムの警告灯 (A) または (B) が点灯または点滅します**：

(A) - 空気トレーラーブレーキが動作圧力に達するまで赤く点灯します。

- **動作圧力に達するまで車両を運転しないでください。**

(A) - ブレーキシステムに重大な故障が発生した場合、赤色に点灯します。以下の点に注意してください：

- **本機をすぐに停車させます。**
- **車両を平坦な場所に駐車して、車両が動かないように輪止めを取り付けます。**
- **情報ディスプレイの指示に従ってください。**
- **可能な場合は、原因を修正します。そうしない場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。**

(A) - 駐車ブレーキロックをかけられない場合、ライトが赤く点滅します。以下の点に注意してください：

- **車両を平坦な場所に駐車して、車両が動かないように輪止めを取り付けます。**
- **情報ディスプレイの指示に従ってください。**
- **可能な場合は、原因を修正します。そうしない場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。**

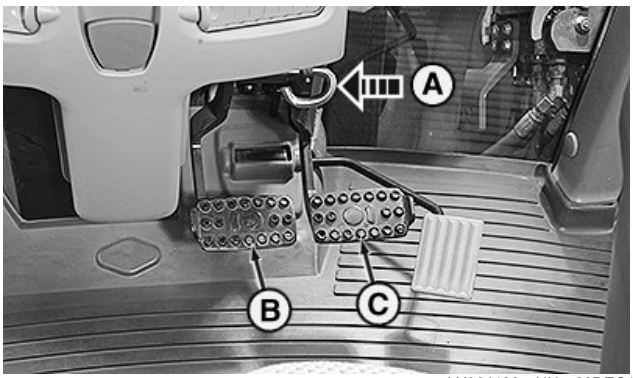
(B) - ブレーキシステムに故障が発生した場合は黄色に点灯します。以下の点に注意してください：

- **車両を平坦な場所に駐車して、車両が動かないように輪止めを取り付けます。**
- **情報ディスプレイの指示に従ってください。**
- **可能な場合は、原因を修正します。そうしない場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。**

注意：**エンジンが停止しているときは (油圧によるアシストなし)、ペダルのストロークが増えます。**

トラクターのフットブレーキは油圧増幅され、ブレーキペダル圧力が比較的に低い場合でも高いブレーキ力を供給します。作動させるには、両方のペダルを必要な力で踏み込みます。必要に応じて、常用ブレーキをトラクターの左側または右側に別々にかけることができます (シングルホイールブレーキ)。運転条件によっては、特定の条件が使用方法に影響します。

道路での運転



LX364199—UN—20DEC18

公道での運転 - ブレーキペダルを互いにロックする

A：**ブレーキペダルロック**
B：**左ブレーキペダル**
C：**右ブレーキペダル**

公道や他の固い路面で運転する場合は、必ず 2 つのペダルを連結してください。基本的には、絶対に必要ではない限り、ブレーキペダルの連結を解除しないでください。2 つのブレーキペダルのいずれかのみを意図せず踏んだ場合、車両が横すべりする危険があります。

圃場作業



LX364200—UN—20DEC18

圃場での操作 - ブレーキペダルの連結を解除

圃場での作業中は、必要に応じてペダルの連結を解除できます。方向補正は、次のいずれかのペダルを踏むことにより実現できます：

- 左ブレーキペダルを踏む - トラクターが左に動きます。
- 右ブレーキペダルを踏む - トラクターが右に動きます。

操作時のステアリング補助機能として、シングルホイールブレーキを使用することもできます。この用途

は、非常に遅い速度で走行中や緩い地盤でのみ可能です。

圃場での使用後は、ブレーキペダルを再度連結する必要があります。

オートクラッチの機能：

オートクラッチ機能付きのトラクターでは、ブレーキを踏むとクラッチは自動的に切り離され、ブレーキを放すと接続します。シングルホイールブレーキが作動し、同時にモーター (エンジン) 回転数が約 900 rpm よりも高い場合、AutoClutch は無効になります。操舵のために一方のブレーキペダルを踏んだ場合は、エンジン回転数が 900 rpm 以上である限りクラッチは作動しません。

注意： エンジン回転数に関係なく、CommandPRO™ ジョイスティックを装備しているトラクターでは片方のブレーキペダルのみを踏んだ場合、オートクラッチは作動しません。オートクラッチを有効にするには、両方のブレーキペダルを連結する必要があります。

注意： **エンジン運転中は、最大の踏力がかかっている場合でも、ペダルをいっぱいまで踏み込めないことを確認してください。ブレーキ操作時にペダルがストップまで達した場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にご連絡ください。**

注記： ブレーキをかけるときにブレーキペダルを同時に踏んだ場合、前輪駆動が自動的に接続され、前輪駆動ブレーキの表示灯が点灯します。これにより、前輪による追加のブレーキ効果が生じます。

シングルホイールブレーキを使用すると、トランスミッションとトランスミッションのモードに応じて、自動クラッチ解除またはエンストが発生することがあります。シングルホイールブレーキを使用して旋回操作中は、十分に高いエンジン回転数が必要です。自動機能が有効になっている場合は、トランスミッション設定の変更が必要になる場合があります。

OULXA64,6M,00055C9-40-14JUL25

非常ブレーキシステム

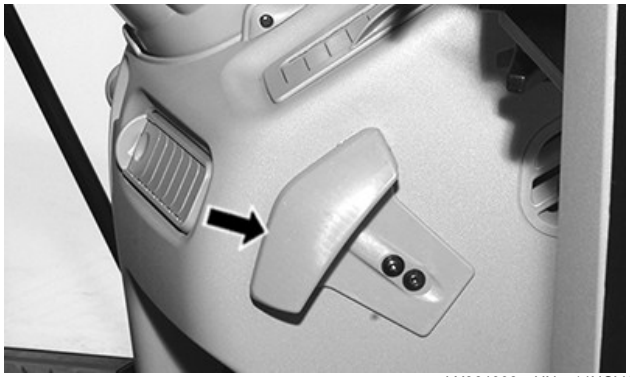
注意： **非常ブレーキシステムを駐車ブレーキとして使用しないでください。**

非常ブレーキシステムでブレーキをかけると、次のトレーラーブレーキが作動します：

- **空気トレーラーブレーキ[1]**
- **デュアルライン油圧トレーラーブレーキ[1]**

トレーラーブレーキの制動効果は、フットブレーキにより作動した場合よりも小さい可能性があります。

[1] 装備されている場合



LX364098—UN—14NOV18

フットブレーキが故障した場合は、非常ブレーキシステムでトラクターにブレーキをかけることができます。レバーを引き上げてブレーキをかけます。

注意： **トラクターを駐車するには、駐車ブレーキロックをかける必要があります。次のトレーラーブレーキが作動します**：

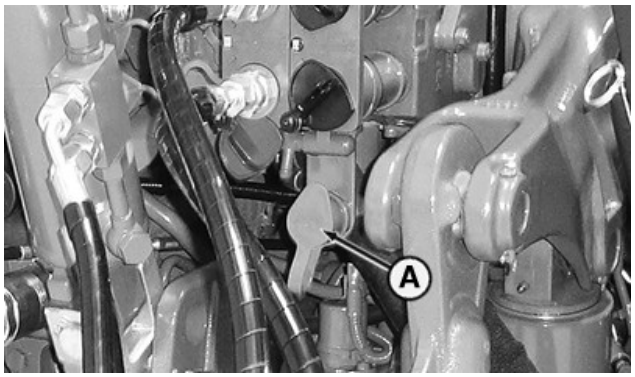
- **空気トレーラーブレーキ[1]**
- **二系統油圧トレーラーブレーキ[1]**

OULXA64,6M,00055CA-40-10SEP20

シングルライン油圧トレーラーブレーキ (装備されている場合)

注意： **油圧ブレーキ装備のトレーラーを連結して走行中は、絶対に速度 25 km/h (15 mph) を超えないでください。**

1. ダストカバーをカプラー (A) から引き抜きます。



LX364187—UN—05DEC18

油圧トレーラーブレーキ

2. 接続部が完全にきれいであることを確認します。
3. 油圧ホースを接続します。
4. カプラー (A) を取り外した後、ダストキャップで密閉します。

フットブレーキを踏んで、油圧トレーラーブレーキを操作します。制動効果はブレーキペダルを踏む力によって変わります。

重要：**ブレーキの過度の摩耗を防ぐため、以下を守ってください**：

- **油圧ホースが接続されていることを確認します。**
- **下り坂の走行時は、上り坂の走行時と同じギヤを選択します。**
- **油圧トレーラーブレーキを点検し、正しく動作することを確認してください。**
- **連結を解除する前およびトラクターを駐車するときは、必ず駐車ブレーキロックをかけてください。**
- **駐車ブレーキロックがかかっている場合、単一系統 (シングルライン) 油圧トレーラーブレーキは*作動しません*。**

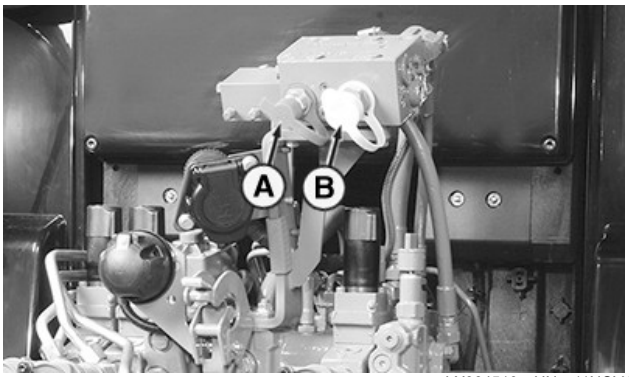
重要：**メーカーの指示に従ってトレーラーを操作してください。このことはトレーラーの駐車ブレーキの操作時に特に重要です。**

OULXA64,6M,00055CB-40-10SEP20

デュアルライン油圧トレーラーブレーキ* (装備されている場合)

***自動検出機能付き**

重要：**CUNA ブレーキシステム付きトレーラーをシングルライントレーラーブレーキに接続しないでください。**



LX364519—UN—11NOV19

A：**デュアルラインまたはシングルライントレーラーブレーキの圧力ライン**
B：**デュアルライントレーラーブレーキ用パイロットオイル**

デュアルラインまたはシングルライントレーラーブレーキ [a] 付きのトレーラーは、油圧トレーラーブレーキに接続することができます。

[a]*CUNA ブレーキシステム付きのトレーラー用ではありません*

デュアルラインとシングルラインブレーキの動作の切り替えは自動的に行われます。

フットブレーキを踏んで、油圧トレーラーブレーキを操作します。

制動効果はブレーキペダルを踏む力によって変わります。

非常ブレーキシステムでブレーキをかけると、フットブレーキを踏むときよりもトレーラーブレーキの制動効果が低下する場合があります。

トレーラーの接続

1. 接続部からキャップを取り外します。
2. 接続部が完全にきれいであることを確認します。
3. トレーラーの種類に応じて、次のように油圧ホースを接続します：

トレーラーの種類：	油圧接続		最大移動速度
- 二系統トレーラーブレーキ	A	B	制限なし
- 単一系統トレーラーブレーキ[a] . . .	A	—	25 km/h (16 mph)

[a]*CUNA ブレーキシステム付きのトレーラー用ではありません*

ホースを外すときは、保護キャップを使用して接続部を密閉します。

重要：**ブレーキの過度の摩耗を防ぐため、以下を守ってください**：

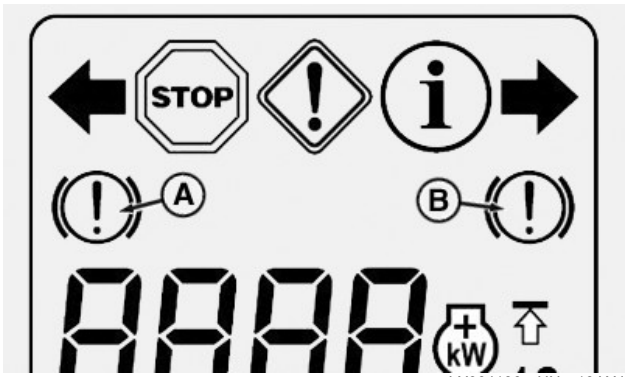
- **油圧ホースが接続されていることを確認します。**
- **下り坂の走行時は、上り坂の走行時と同じギヤを選択します。**
- **油圧トレーラーブレーキを点検し、正しく動作することを確認してください。**
- **連結を解除する前、およびトラクターを駐車するときは、必ず駐車ブレーキロックをかけて接続ラインに圧力がない状態にしてください。**
- **駐車ブレーキロックをかけるとトレーラーのばね式アキュムレータ (デュアルライン油圧トレーラーブレーキ) も作動します。**

重要：**メーカーの指示に従ってトレーラーを操作してください。このことはトレーラーの駐車ブレーキの操作時に特に重要です。**

OULXA64,6M,00055CC-40-12FEB21

空気トレーラーブレーキ (装備されている場合)

注意：**トラクターの運転時は、法定速度制限を守ってください。**



LX364186—UN—16JAN19

重要：**次のいずれかの状況が発生すると、ブレーキシステムの警告灯 (A) または (B) が点灯または点滅します**：

(A) - 空気トレーラーブレーキが動作圧力に達するまで赤く点灯します。

- **動作圧力に達するまで車両を運転しないでください。**

(A) - ブレーキシステムに重大な故障が発生した場合、赤色に点灯します。以下の点に注意してください：

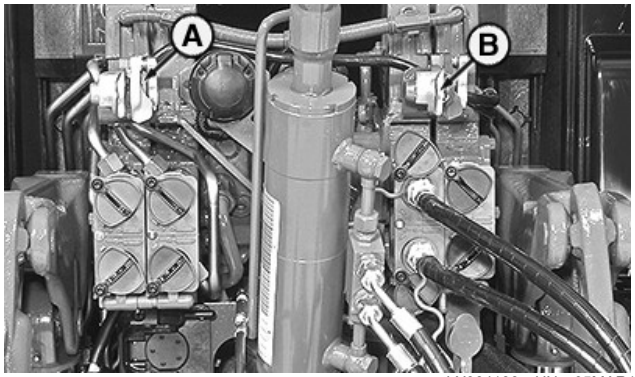
- **本機をすぐに停車させます。**
- **車両を平坦な場所に駐車して、車両が動かないように輪止めを取り付けます。**
- **情報ディスプレイの指示に従ってください。**
- **可能な場合は、原因を修正します。そうしない場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。**

(A) - - 駐車ブレーキロックをかけることができない場合は、赤色に点灯します。以下の点に注意してください：

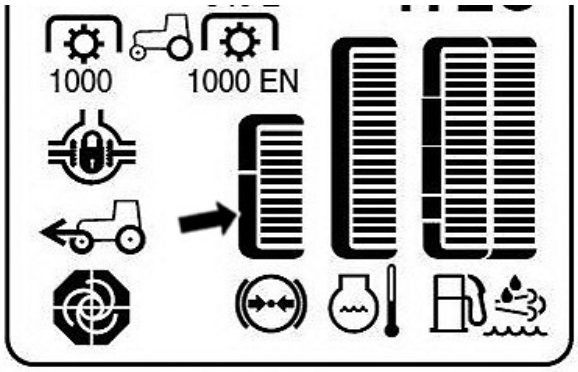
- **車両を平坦な場所に駐車して、車両が動かないように輪止めを取り付けます。**
- **情報ディスプレイの指示に従ってください。**
- **可能な場合は、原因を修正します。そうしない場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。**

(B) - ブレーキシステムに故障が発生した場合は黄色に点灯します。以下の点に注意してください：

- **車両を平坦な場所に駐車して、車両が動かないように輪止めを取り付けます。**
- **情報ディスプレイの指示に従ってください。**
- **可能な場合は、原因を修正します。そうしない場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。**



LX364188—UN—05MAR19



LX364189—UN—05MAR19

A：**黄色の接続部 (デュアルラインブレーキ)**
B：**赤色の接続部 (デュアルラインブレーキ、供給)**

重要：**圧力計が約 800 kPa (8 bar) (116 psi) に達した場合のみ、トレーラー付きで運転を開始してください**！

ブレーキの不要な摩耗の防止：

- 圧力ホースが接続されていることを確認してください。
- 下り坂の走行時は、その坂の上りを走行するときと同じギヤを選択します。
- トレーラーブレーキが点検済みであること、および正しく動作することを確認してください。

二系統ブレーキ装備のトレーラーは接続部 (A) と (B) に接続できます。

圧縮空気ホースを接続する前に接続部に汚れがないことを確認します。ホースの接続を外すときは、必ずダスト保護キャップで接続部を密閉してください。

トレーラーの操作時：

1. トレーラーのエアブレーキシステムの手動操作用ブレーキバルブ (装備されている場合) をトレーラーの積載重量に従って忘れずに設定してください。
2. 圧縮空気タンクに凝縮水がないか毎日点検します (セクション 220D を参照してください)。凝縮水がある場合は、エアドライヤカートリッジを交換してください。
3. トラクターを駐車するときは、必ず駐車ブレーキロックをかけてください。

4.駐車ブレーキロックをかけると、トレーラーのフットブレーキも作動します。

注記： 圧縮空気ブレーキシステムで圧力低下がある場合は、トレーラーのブレーキ効果が低下します。トレーラーを操作するときは、各メーカーの取扱説明書を確認する必要があります。

OULXA64,6M,00055CD-40-15JUL25

トレーラーブレーキテスト

注意： 事故の危険！人や異物を危険区域に近づけないでください。

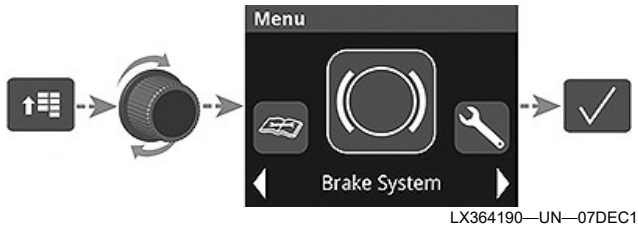
注意： トレーラーを連結したトラクターを傾斜地で駐車する場合は、静止していることを確認してください。輪止めを適切に使用してください。

気象条件が変化する場合 (例：雨、雪、氷)、車両とトレーラーの重量を支持できる平坦な場所に車両とトレーラーを移動してください。

重要： このトレーラーブレーキテストは、以下のタイプのトレーラーブレーキを装備しているトラクターのみで実施してください。

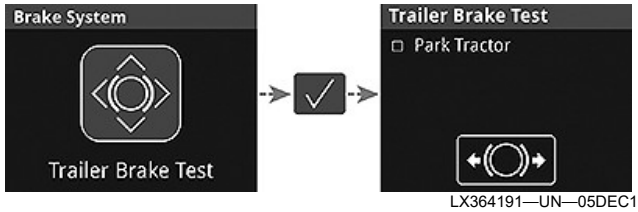
- **空気トレーラーブレーキ**
- **二系統油圧トレーラーブレーキ**

1. トラクターとトレーラーを傾斜地で静止させます。
2. 両方のブレーキペダルを踏みます。
3. エンジンを運転します。
4. メニューボタンを押して下に示すページを選択し、「確定」ボタンを押します。



LX364190—UN—07DEC18

5. 「確定」ボタンを押して指示に従ってください。



LX364191—UN—05DEC18

6. 駐車ブレーキロックをかけて、「確定」ボタンを 3 秒以上押します。



LX364195—UN—05DEC18

7. ブレーキをかけないでください。

トレーラーブレーキが解除され、トラクターが静止していることを確認するテストが実行されます。

重要： トラクターは動いてはなりません。

トラクターが動く場合は、すぐにブレーキペダルを踏み、確定ボタンを放します。

トラクターとトレーラーは静止した状態を維持していることを確認するテストに合格しませんでした。

トラクターとトレーラーを安全な場所に移動させてください。

OULXA64,6M,00055CE-40-08OCT20

PowrQuad™/AutoQuad™ PLUS を装備したトラクターの駐車

重要： 駐車ブレーキロックはトラクターが静止しているときにのみかけてください。

重要： 駐車ブレーキロックをかけると、次のトレーラーブレーキが作動します：

- **空気トレーラーブレーキ (装備されている場合)**
- **二系統油圧トレーラーブレーキ (装備されている場合)**

駐車時または静止位置でトラクターを操作するときは、駐車ブレーキロックをかけてください。



LX315213—UN—05NOV18

PowrQuad™/AutoQuad™ で駐車ブレーキロックがかかった状態

注記： 斜面で駐車ブレーキロックをかけるときは、必ずフットブレーキもかけてください。

OULXA64,SP,EU,00057B0-40-26OCT20

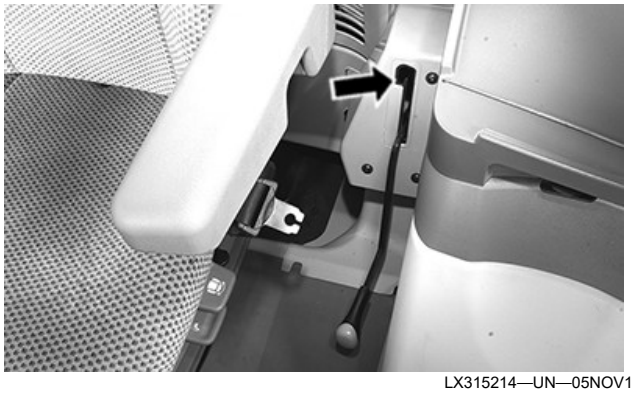
CommandQuad™ PLUS を装備したトラクターの駐車

重要： 駐車ブレーキロックはトラクターが静止しているときにのみかけてください。

重要： 駐車ブレーキロックをかけると、次のトレーラーブレーキが作動します：

- **空気トレーラーブレーキ (装備されている場合)**
- **二系統油圧トレーラーブレーキ (装備されている場合)**

駐車時または静止位置でトラクターを操作するときは、駐車ブレーキロックをかけてください。



LX315214—UN—05NOV18

CommandQuad™ PLUS で駐車ブレーキロックがかかった状態

注記： 斜面で駐車ブレーキロックをかけるときは、必ずフットブレーキもかけてください。

OULXA64,SP,EU,00057B1-40-17NOV20

AutoPowr™/IVT™ 装備のトラクターの駐車

重要： 駐車ブレーキロックはトラクターが静止しているときにのみかけてください。

重要： 駐車ブレーキロックをかけると、次のトレーラーブレーキが作動します：

- **空気トレーラーブレーキ (装備されている場合)**
- **二系統油圧トレーラーブレーキ (装備されている場合)**

駐車時または静止位置でトラクターを操作するときは、駐車ブレーキロックをかけてください。



LX372924—UN—27OCT20

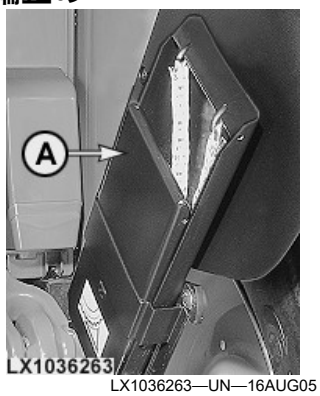
駐車ブレーキロック作動 *(AutoPowr™/IVT™ の場合)*

注記： 極端に温度が低いと、駐車ブレーキが作動するまでに最大 20 秒かかる場合があります。

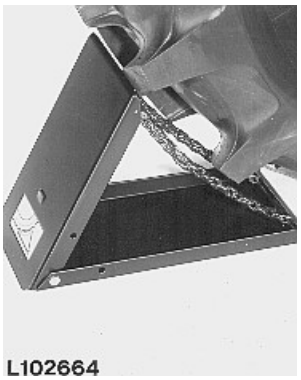
斜面で駐車ブレーキロックをかけるときは、必ずフットブレーキもかけてください。

OULXA64,SP,EU,00057B2-40-26OCT20

輪止め



LX1036263—UN—16AUG05



L102664—UN—03JAN95

トラクターを傾斜地に駐車するときは、次のようにします。

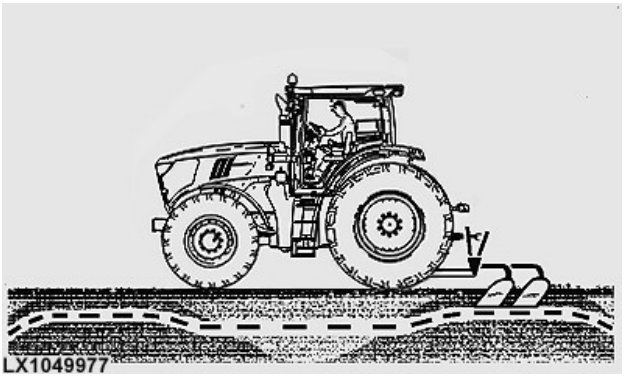
1. 輪止め (A) 全体を押します。
2. 輪止めをブラケットから取り外します。
3. 輪止めを後輪の前または後に置きます。

OULXA64,EU,000532E-40-17MAR25

燃料消費量の低減

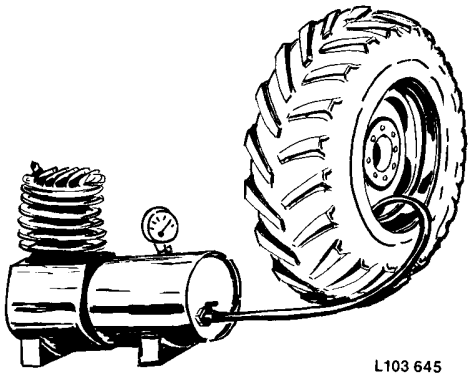
トラクターの適切な整備

- エアクリーナエレメント、燃料、エンジンオイル、およびトランスミッションオイルと作動油フィルタを決められた時期に交換してください。セクション 210A ~ 210C を参照してください。
- John Deere 純正フィルタのみ使用してください。
- 推奨オイルおよび潤滑油のみを使用します。セクション 200 ~ 200E を参照してください。
- 燃料系統の点検を定期的に行ってください。
- ヒッチコントロールを定期的に点検してください。



LX1049977—UN—18MAY11

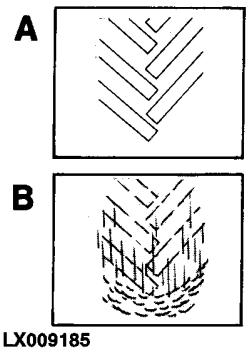
適切なタイヤ空気圧による運転



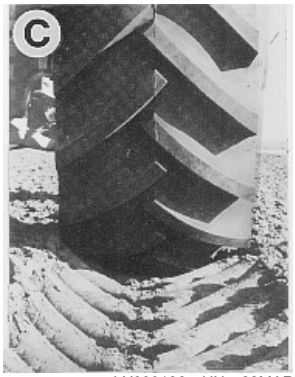
L103645—UN—15AUG94

作業負荷に対してタイヤ空気圧を調整してください (John Deere 販売店、その他の整備工場、またはタイヤメーカーに確認してください)。

適切なバラストの選択



LX009185—UN—01SEP94



LX009186—UN—22MAR24

A : **バラストが多すぎる場合**
B : **バラストが少なすぎる場合**
C : **バラストは適正**

10 ~ 15 % の滑りが得られるように、バラストを選択してください。作業負荷が軽い場合はバラストを減らします。

適切なギヤの選択



LX364194—UN—05DEC18

常に可能な最も高いギヤに入れ、低いエンジン回転数で運転します。

運転中に無負荷時のモーターの回転数 (A) が 150 ~ 250 rpm (B) 下がるようにギヤを選択してください。

注記 : 軽作業負荷の場合は、回転数を 2000 rpm 未満まで下げます。回転数が 200 ~ 300 rpm 下がるようにギヤを選択してください。

OULXA64,6M,00055D1-40-16JUL25

正しい移動速度の選択

各トランスミッション搭載のトラクターのギヤ数 :

PowrQuad™ PLUS トランスミッション (30 km/h、18.5 mph) :

- 前進ギア 16、後退ギア 16

PowrQuad™ PLUS トランスミッション (40 km/h、25 mph) :

- 前進ギア 16、後退ギア 16
- 前進ギア 24、後退ギア 24

AutoQuad™ PLUS トランスミッション (40 km/h、25 mph) : *

- 前進ギヤ 24、リバースギヤ 24

AutoQuad™ PLUS トランスミッション、Eco Shift™ 付き (40 km/h、25 mph) :

- 前進ギヤ 24、リバースギヤ 24

CommandQuad™ PLUS トランスミッション (40 km/h、25 mph) : *

- 前進ギヤ 24、リバースギヤ 24

CommandQuad™ PLUS トランスミッション、Eco Shift™ 付き (40 km/h、25 mph) :

- 前進ギア 24、後退ギア 24

* 法的要件によっては、最高速度は 35 km/h (21 mph) に制限される場合があります。

オプションとして、トラクターの PowrQuad™ PLUS、AutoQuad™ PLUS および Eco Shift™ 付き AutoQuad™ PLUS トランスミッションに加えて 12 のギヤを追加するクリーパートランスミッション[1]を搭載することができます。

エンジンが長時間過負荷にさらされないようにギヤを選択してください。エンジンを定格速度で運転している場合の移動速度を以降の表に示します。

OULXA64,SP,4CYLEU,00057DF-40-14DEC20

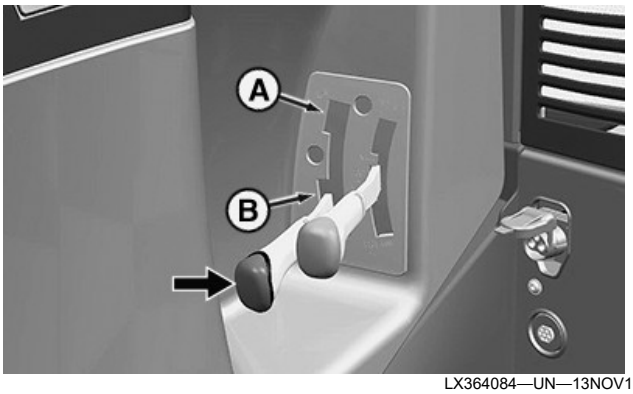
異なるサイズのタイヤに交換する場合の注意事項

重要：**異なるサイズのタイヤに交換する前に、セクション 80 の注意事項を参照してください。**

LX25458,00009ED-40-05JUN20

[1] *IVT トランスミッションは本質的にクリーパー機能を備えています。*

クリーパートランスミッションの接続



LX364084—UN—13NOV18

A：**クリーパー速度**
B：**高速**

クリーパートランスミッションの操作：

1. クラッチペダルを踏んでトラクターを停止します。
2. エンジン回転数を 1000 rpm 未満に下げます。
3. 左側リバーサレバーをニュートラル位置に動かします。
4. レンジ A、B、または C を選択します。
5. クリーパーレバーを動かして、クリーパートランスミッションをオンまたはオフを切り替えます。

エンジン回転数が 1000 rpm より高い状態では絶対にクリーパートランスミッションをオンにしないでください。

重要：**土壌に貫入する作業機や高い牽引力を必要とする作業機で作業するときは、クリーパートランスミッションを使用しないでください。**

絶対にクリーパートランスミッションをレンジ D 以上で使用しないでください。このような状況でクリーパートランスミッションを使用すると、機械的故障が発生するおそれがあります。

OULXA64,6M,00055D3-40-12OCT23

移動速度表および SRI 値

注記： 以下の表の走行速度は理論上の数値です。正確な速度は転がり円周、負荷、タイヤ空気圧、タイヤのブランド、スリップなどによって異なります。特定の装置の正確な走行速度が必要な場合は、測定によって確認する必要があります。

注記： SRI 値に対応するタイヤサイズについては、「タイヤの組み合わせ」(セクション 80) の表を参照してください。

SRI とはタイヤの動的半径を分類するための規格値です。この値は移動速度を計算する場合に重要です。

LX25458,MY20,00009EF-40-10SEP20

走行速度 - PowrQuad™ PLUS トランスミッションで 30 km/h (16/16) (SRI 700 および 725 のタイヤ使用時)

30 km/h (18.6 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
						クリーパートランスミッションの追加ギヤ					
SRI (mm)		700		725		SRI (mm)		700		725	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
A	1	2.4	1.5	2.5	1.5	A	1	0.24	0.15	0.25	0.15
	2	2.9	1.8	3.0	1.9		2	0.29	0.18	0.30	0.19
	3	3.5	2.1	3.6	2.2		3	0.35	0.22	0.36	0.22
	4	4.2	2.6	4.4	2.7		4	0.43	0.26	0.44	0.27
B	1	4.8	3.0	5.0	3.1	B	1	0.48	0.30	0.50	0.31
	2	5.8	3.6	6.0	3.7		2	0.58	0.36	0.60	0.37
	3	6.9	4.3	7.2	4.5		3	0.70	0.43	0.72	0.45
	4	8.5	5.3	8.8	5.5		4	0.85	0.53	0.88	0.55
C	1	7.9	4.9	8.2	5.1	C	1	0.79	0.49	0.82	0.51
	2	9.5	5.9	9.9	6.1		2	0.96	0.59	0.99	0.62
	3	11.4	7.1	11.8	7.3		3	1.14	0.71	1.19	0.74
	4	14.0	8.7	14.5	9.0		4	1.40	0.87	1.45	0.90
D	1	16.3	10.1	16.9	10.5						
	2	19.6	12.2	20.3	12.6						
	3	23.5	14.6	24.3	15.1						
	4	28.7	17.9	29.8	18.5						
A	R1	2.5	1.6	2.6	1.6	A	R1	0.25	0.16	0.26	0.16
	R2	3.0	1.9	3.1	1.9		R2	0.30	0.19	0.31	0.19
	R3	3.6	2.2	3.7	2.3		R3	0.36	0.23	0.38	0.23
	R4	4.4	2.7	4.6	2.8		R4	0.44	0.28	0.46	0.29
B	R1	5.0	3.1	5.2	3.2	B	R1	0.50	0.31	0.52	0.32
	R2	6.0	3.8	6.3	3.9		R2	0.61	0.38	0.63	0.39
	R3	7.2	4.5	7.5	4.7		R3	0.73	0.45	0.75	0.47
	R4	8.9	5.5	9.2	5.7		R4	0.89	0.55	0.92	0.57
C	R1	8.2	5.1	-8.5	-5.3	C	R1	0.83	0.51	0.86	0.53
	R2	9.9	6.2	10.3	6.4		R2	1.00	0.62	1.03	0.64
	R3	11.9	7.4	12.3	7.7		R3	1.19	0.74	1.24	0.77
	R4	14.6	9.1	15.1	9.4		R4	1.46	0.91	1.52	0.94
D	R1	17.0	10.6	17.6	10.9						
	R2	20.4	12.7	21.2	13.2						
	R3	24.5	15.2	25.4	15.8						
	R4	30*	18.6*	30*	18.6*						

* 移動速度は最高設計速度の 30 km/h (18.6 mph) に制限

OULXA64,SP,4CYL,00057CE-40-28AUG23

走行速度 - PowrQuad™ PLUS トランスミッションで 30 km/h (16/16) (SRI 750 および 800 のタイヤ使用時)

30 km/h (18.6 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
						クリーパートランスミッションの追加ギヤ					
SRI (mm)		750		800		SRI (mm)		750		800	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
A	1	2.3	1.4	2.4	1.5	A	1	0.23	0.14	0.24	0.15
	2	2.7	1.7	2.9	1.8		2	0.28	0.17	0.29	0.18

30 km/h (18.6 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
						クリーパートランスミッションの追加ギヤ					
SRI (mm)		750		800		SRI (mm)		750		800	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
	3	3.3	2.0	3.5	2.2		3	0.33	0.21	0.35	0.22
	4	4.0	2.5	4.3	2.7		4	0.40	0.25	0.43	0.27
B	1	4.6	2.8	4.9	3.0	B	1	0.46	0.28	0.49	0.30
	2	5.5	3.4	5.9	3.6		2	0.55	0.34	0.59	0.37
	3	6.6	4.1	7.0	4.4		3	0.66	0.41	0.71	0.44
	4	8.1	5.0	8.6	5.3		4	0.81	0.50	0.86	0.54
C	1	7.5	4.7	8.0	5.0	C	1	0.75	0.47	0.80	0.50
	2	9.0	5.6	9.6	6.0		2	0.91	0.56	0.97	0.60
	3	10.8	6.7	11.5	7.2		3	1.09	0.68	1.16	0.72
	4	13.3	8.2	14.1	8.8		4	1.33	0.83	1.42	0.88
D	1	15.5	9.6	16.5	10.2						
	2	18.6	11.6	19.9	12.3						
	3	22.3	13.9	23.8	14.8						
	4	27.3	17.0	29.1	18.1						
A	R1	2.4	1.5	2.5	1.6	A	R1	0.24	0.15	0.25	0.16
	R2	2.9	1.8	3.1	1.9		R2	0.29	0.18	0.31	0.19
	R3	3.4	2.1	3.7	2.3		R3	0.34	0.21	0.37	0.23
	R4	4.2	2.6	4.5	2.8		R4	0.42	0.26	0.45	0.28
B	R1	4.8	3.0	5.1	3.2	B	R1	0.48	0.30	0.51	0.32
	R2	5.7	3.6	6.1	3.8		R2	0.58	0.36	0.61	0.38
	R3	6.9	4.3	7.3	4.6		R3	0.69	0.43	0.74	0.46
	R4	8.4	5.2	9.0	5.6		R4	0.85	0.53	0.90	0.56
C	R1	7.8	4.9	8.4	5.2	C	R1	0.79	0.49	0.84	0.52
	R2	9.4	5.9	10.1	6.3		R2	0.95	0.59	1.01	0.63
	R3	11.3	7.0	12.1	7.5		R3	1.14	0.71	1.21	0.75
	R4	13.8	8.6	14.8	9.2		R4	1.39	0.86	1.48	0.92
D	R1	16.1	10.0	17.2	10.7						
	R2	19.4	12.1	20.7	12.9						
	R3	23.3	14.5	24.8	15.4						
	R4	28.5	17.7	30*	18.6*						

* 移動速度は最高設計速度の 30 km/h (18.6 mph) に制限

OULXA64,SP,4CYL,00057CF-40-28AUG23

走行速度 - PowrQuad™ PLUS トランスミッションで 30 km/h (16/16) (SRI 825 のタイヤ使用時)

30 km/h (18.6 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm							
				クリーパートランスミッションの追加ギヤ			
SRI (mm)		825		SRI (mm)		825	
範囲	ギヤ	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph
A	1	2.5	1.6	A	1	0.25	0.16
	2	3.0	1.9		2	0.30	0.19
	3	3.6	2.2		3	0.36	0.23
	4	4.4	2.8		4	0.44	0.28
B	1	5.0	3.1	B	1	0.50	0.31
	2	6.0	3.8		2	0.61	0.38
	3	7.2	4.5		3	0.73	0.45
	4	8.9	5.5		4	0.89	0.55

30 km/h (18.6 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm							
				クリーパートランスミッションの追加ギヤ			
SRI (mm)		825		SRI (mm)		825	
範囲	ギヤ	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph
C	1	8.3	5.1	C	1	0.83	0.52
	2	9.9	6.2		2	1.00	0.62
	3	11.9	7.4		3	1.20	0.74
	4	14.6	9.1		4	1.47	0.91
D	1	17.0	10.6				
	2	20.5	12.7				
	3	24.5	15.2				
	4	30*	18.6*				
A	R1	2.6	1.6	A	R1	0.26	0.16
	R2	3.1	2.0		R2	0.32	0.20
	R3	3.8	2.3		R3	0.38	0.24
	R4	4.6	2.9		R4	0.46	0.29
B	R1	5.2	3.3	B	R1	0.53	0.33
	R2	6.3	3.9		R2	0.63	0.39
	R3	7.6	4.7		R3	0.76	0.47
	R4	9.3	5.8		R4	0.93	0.58
C	R1	8.6	5.4	C	R1	0.87	0.54
	R2	10.4	6.4		R2	1.04	0.65
	R3	12.4	7.7		R3	1.25	0.78
	R4	15.2	9.5		R4	1.53	0.95
D	R1	17.7	11.0				
	R2	21.4	13.3				
	R3	25.6	15.9				
	R4	30*	18.6*				

* 移動速度は最高設計速度の 30 km/h (18.6 mph) に制限

OULXA64,SP,4CYL,00057D0-40-28AUG23

走行速度 - PowrQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (16/16) (SRI 700 および 725 のタイヤ使用時)

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
						クリーパートランスミッションの追加ギヤ					
SRI (mm)		700		725		SRI (mm)		700		725	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
A	1	2.9	1.8	3.0	1.9	A	1	0.29	0.18	0.30	0.19
	2	3.5	2.2	3.6	2.2		2	0.35	0.22	0.36	0.22
	3	4.1	2.6	4.3	2.7		3	0.42	0.26	0.43	0.27
	4	5.1	3.2	5.3	3.3		4	0.51	0.32	0.53	0.33
B	1	5.8	3.6	6.0	3.7	B	1	0.58	0.36	0.60	0.37
	2	6.9	4.3	7.2	4.5		2	0.70	0.43	0.72	0.45
	3	8.3	5.2	8.6	5.4		3	0.84	0.52	0.87	0.54
	4	10.2	6.3	10.6	6.6		4	1.02	0.64	1.06	0.66
C	1	9.5	5.9	9.8	6.1	C	1	0.95	0.59	0.99	0.61
	2	11.4	7.1	11.8	7.3		2	1.15	0.71	1.19	0.74
	3	13.7	8.5	14.2	8.8		3	1.37	0.85	1.42	0.88
	4	16.8	10.4	17.4	10.8		4	1.68	1.05	1.74	1.08
D	1	19.5	12.1	20.2	12.6						

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
						クリーパートランスミッションの追加ギヤ					
SRI (mm)		700		725		SRI (mm)		700		725	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
	2	23.5	14.6	24.4	15.1						
	3	28.2	17.5	29.2	18.1						
	4	34.5	21.4	35.7	22.2						
A	R1	3.0	1.9	3.1	1.9	A	R1	0.30	0.19	0.31	0.19
	R2	3.6	2.2	3.7	2.3		R2	0.36	0.23	0.38	0.23
	R3	4.3	2.7	4.5	2.8		R3	0.43	0.27	0.45	0.28
	R4	5.3	3.3	5.5	3.4		R4	0.53	0.33	0.55	0.34
B	R1	6.0	3.7	6.2	3.9	B	R1	0.60	0.38	0.63	0.39
	R2	7.2	4.5	7.5	4.7		R2	0.73	0.45	0.75	0.47
	R3	8.7	5.4	9.0	5.6		R3	0.87	0.54	0.90	0.56
	R4	10.6	6.6	11.0	6.8		R4	1.07	0.66	1.11	0.69
C	R1	9.9	6.1	10.2	6.4	C	R1	0.99	0.62	1.03	0.64
	R2	11.9	7.4	12.3	7.7		R2	1.20	0.74	1.24	0.77
	R3	14.3	8.9	14.8	9.2		R3	1.43	0.89	1.48	0.92
	R4	17.5	10.9	18.1	11.2		R4	1.76	1.09	1.82	1.13
D	R1	20.4	12.7	21.1	13.1						
	R2	24.5	15.2	25.4	15.8						
	R3	29.4	18.3	30.4	18.9						
	R4	36.0	22.4	37.3	23.2						

OULXA64,SP,4CYL,00057D1-40-28AUG23

走行速度 - PowrQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (16/16) (SRI 750 および 800 のタイヤ使用時)

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
						クリーパートランスミッションの追加ギヤ					
SRI (mm)		750		800		SRI (mm)		750		800	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
A	1	3.0	1.9	3.3	2.0	A	1	0.31	0.19	0.33	0.21
	2	3.6	2.2	4.0	2.5		2	0.37	0.23	0.40	0.25
	3	4.3	2.7	4.7	2.9		3	0.45	0.28	0.48	0.30
	4	5.3	3.3	5.8	3.6		4	0.55	0.34	0.58	0.36
B	1	6.0	3.7	6.6	4.1	B	1	0.62	0.39	0.66	0.41
	2	7.2	4.5	7.9	4.9		2	0.75	0.46	0.80	0.50
	3	8.6	5.4	9.5	5.9		3	0.90	0.56	0.95	0.59
	4	10.6	6.6	11.6	7.2		4	1.10	0.68	1.17	0.73
C	1	9.8	6.1	10.8	6.7	C	1	1.02	0.63	1.09	0.68
	2	11.8	7.3	13.0	8.1		2	1.23	0.76	1.31	0.81
	3	14.2	8.8	15.6	9.7		3	1.47	0.91	1.57	0.98
	4	17.4	10.8	19.1	11.9		4	1.80	1.12	1.92	1.20
D	1	20.2	12.6	22.3	13.9						
	2	24.4	15.1	26.9	16.7						
	3	29.2	18.1	32.2	20.0						
	4	35.7	22.2	39.4	24.5						
A	R1	3.2	2.0	3.4	2.1	A	R1	0.32	0.20	0.34	0.21
	R2	3.9	2.4	4.1	2.6		R2	0.39	0.24	0.41	0.26
	R3	4.6	2.9	4.9	3.1		R3	0.47	0.29	0.50	0.31

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
						クリーパートランスミッションの追加ギヤ					
SRI (mm)		750		800		SRI (mm)		750		800	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
	R4	5.7	3.5	6.1	3.8		R4	0.57	0.35	0.61	0.38
B	R1	6.4	4.0	6.9	4.3	B	R1	0.65	0.40	0.69	0.43
	R2	7.8	4.8	8.3	5.1		R2	0.78	0.48	0.83	0.52
	R3	9.3	5.8	9.9	6.2		R3	0.93	0.58	1.00	0.62
	R4	11.4	7.1	12.1	7.5		R4	1.14	0.71	1.22	0.76
C	R1	10.6	6.6	11.3	7.0	C	R1	1.07	0.66	1.14	0.71
	R2	12.8	7.9	13.6	8.5		R2	1.28	0.80	1.37	0.85
	R3	15.3	9.5	16.3	10.1		R3	1.54	0.95	1.64	1.02
	R4	18.7	11.6	20.0	12.4		R4	1.88	1.17	2.01	1.25
D	R1	21.8	13.6	23.3	14.5						
	R2	26.3	16.3	28.0	17.4						
	R3	31.5	19.6	33.6	20.9						
	R4	38.6	24.0	40*	25*						

* 速度は最高設計速度の 40 km/h (25 mph) に制限

OULXA64,SP,4CYL,000596C-40-28AUG23

走行速度 - PowrQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (16/16) (SRI 825 のタイヤ使用時)

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm							
				クリーパートランスミッションの追加ギヤ			
SRI (mm)		825		SRI (mm)		825	
範囲	ギヤ	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph
A	1	3.0	1.9	A	1	0.30	0.19
	2	3.6	2.2		2	0.36	0.22
	3	4.3	2.7		3	0.43	0.27
	4	5.3	3.3		4	0.53	0.33
B	1	6.0	3.7	B	1	0.60	0.37
	2	7.2	4.5		2	0.72	0.45
	3	8.6	5.4		3	0.87	0.54
	4	10.6	6.6		4	1.06	0.66
C	1	9.8	6.1	C	1	0.99	0.61
	2	11.8	7.4		2	1.19	0.74
	3	14.2	8.8		3	1.42	0.88
	4	17.4	10.8		4	1.74	1.08
D	1	20.2	12.6				
	2	24.4	15.1				
	3	29.2	18.1				
	4	35.7	22.2				
A	R1	3.1	1.9	A	R1	0.31	0.19
	R2	3.7	2.3		R2	0.38	0.23
	R3	4.5	2.8		R3	0.45	0.28
	R4	5.5	3.4		R4	0.55	0.34
B	R1	6.2	3.9	B	R1	0.63	0.39
	R2	7.5	4.7		R2	0.75	0.47
	R3	9.0	5.6		R3	0.90	0.56
	R4	11.0	6.8		R4	1.11	0.69
C	R1	10.3	6.4	C	R1	1.03	0.64
	R2	12.3	7.7		R2	1.24	0.77

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm							
				クリーパートランスミッションの追加ギヤ			
SRI (mm)		825		SRI (mm)		825	
範囲	ギヤ	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph
	R3	14.8	9.2		R3	1.49	0.92
	R4	18.1	11.3		R4	1.82	1.13
D	R1	21.1	13.1				
	R2	25.4	15.8				
	R3	30.5	18.9				
	R4	37.3	23.2				

OULXA64,SP,4CYL,00057D2-40-28AUG23

走行速度 - 工場出荷時にクリーパートランスミッション装備の PowrQuad™ PLUS および AutoQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 700 および 725 のタイヤ使用時)

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
SRI (mm)		700		725		クリーパートランスミッション					
						SRI (mm)		700		725	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
A	1	1.5	0.9	1.5	1.0	A	1	0.15	0.09	0.15	0.10
	2	1.8	1.1	1.8	1.1		2	0.18	0.11	0.19	0.12
	3	2.1	1.3	2.2	1.4		3	0.21	0.13	0.22	0.14
	4	2.6	1.6	2.7	1.7		4	0.26	0.16	0.27	0.17
B	1	3.6	2.2	3.7	2.3	B	1	0.36	0.23	0.38	0.23
	2	4.4	2.7	4.5	2.8		2	0.44	0.27	0.45	0.28
	3	5.2	3.2	5.4	3.4		3	0.52	0.33	0.54	0.34
	4	6.4	4.0	6.6	4.1		4	0.64	0.40	0.67	0.41
C	1	5.9	3.7	6.1	3.8	C	1	0.59	0.37	0.61	0.38
	2	7.1	4.4	7.4	4.6		2	0.71	0.44	0.74	0.46
	3	8.5	5.3	8.8	5.5		3	0.85	0.53	0.89	0.55
	4	10.4	6.5	10.8	6.7		4	1.05	0.65	1.08	0.67
D	1	9.7	6.0	10.0	6.2						
	2	11.7	7.2	12.1	7.5						
	3	14.0	8.7	14.5	9.0						
	4	17.1	10.6	17.7	11.0						
E	1	15.7	9.8	16.3	10.1						
	2	18.9	11.8	19.6	12.2						
	3	22.7	14.1	23.5	14.6						
	4	27.8	17.3	28.8	17.9						
F	1	21.2	13.2	22.0	13.7						
	2	25.6	15.9	26.5	16.5						
	3	30.6	19.0	31.7	19.7						
	4	37.5**	23.3**	38.9**	24.1**						
A	R1	1.5	1.0	1.6	1.0	A	R1	0.16	0.10	0.16	0.10
	R2	1.9	1.2	1.9	1.2		R2	0.19	0.12	0.19	0.12
	R3	2.2	1.4	2.3	1.4		R3	0.22	0.14	0.23	0.14
	R4	2.7	1.7	2.8	1.8		R4	0.27	0.17	0.28	0.18
B	R1	3.8	2.3	3.9	2.4	B	R1	0.38	0.24	0.39	0.24
	R2	4.5	2.8	4.7	2.9		R2	0.46	0.28	0.47	0.29
	R3	5.4	3.4	5.6	3.5		R3	0.55	0.34	0.57	0.35
	R4	6.7	4.1	6.9	4.3		R4	0.67	0.42	0.69	0.43

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
SRI (mm)		700		725		クリーパートランスミッション					
						SRI (mm)		700		725	
C	R1	6.2	3.8	6.4	4.0	C	R1	0.62	0.38	0.64	0.40
	R2	7.4	4.6	7.7	4.8		R2	0.74	0.46	0.77	0.48
	R3	8.9	5.5	9.2	5.7		R3	0.89	0.55	0.92	0.57
	R4	10.9	6.8	11.3	7.0		R4	1.09	0.68	1.13	0.70
D	R1	10.1	6.3	10.5	6.5						
	R2	12.2	7.6	12.6	7.8						
	R3	14.6	9.1	15.1	9.4						
	R4	17.8	11.1	18.5	11.5						
E	R1	16.4	10.2	17.0	10.6						
	R2	19.8	12.3	20.5	12.7						
	R3	23.7	14.7	24.5	15.2						
	R4	29.0	18.0	30.0	18.7						
F	R1	22.2	13.8	23.0	14.3						
	R2	26.7	16.6	27.6	17.2						
	R3	32.0	19.9	33.1	20.6						
	R4	39.1**	24.3**	40*、**	25*、**						

* 速度は最高設計速度の 40 km/h (25 mph) に制限

** 日本向けのみ： 最高速度は 35 km/h (22 mph) に制限

制限速度は 2100 rpm 未満のエンジン回転数で得られます。

OULXA64,SP,4CYL,00057D3-40-28AUG23

走行速度 - 工場出荷時にクリーパートランスミッション装備の PowrQuad™ PLUS および AutoQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 750 および 775 のタイヤ使用時)

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
SRI (mm)		750		775		クリーパートランスミッション					
						SRI (mm)		750		775	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
A	1	1.4	0.9	1.5	0.9	A	1	0.14	0.09	0.15	0.09
	2	1.7	1.1	1.8	1.1		2	0.17	0.11	0.18	0.11
	3	2.0	1.3	2.1	1.3		3	0.20	0.13	0.21	0.13
	4	2.5	1.5	2.6	1.6		4	0.25	0.16	0.26	0.16
B	1	3.4	2.1	3.6	2.2	B	1	0.35	0.21	0.36	0.22
	2	4.1	2.6	4.3	2.7		2	0.42	0.26	0.43	0.27
	3	5.0	3.1	5.1	3.2		3	0.50	0.31	0.51	0.32
	4	6.1	3.8	6.3	3.9		4	0.61	0.38	0.63	0.39
C	1	5.6	3.5	5.8	3.6	C	1	0.56	0.35	0.58	0.36
	2	6.7	4.2	7.0	4.3		2	0.68	0.42	0.70	0.44
	3	8.1	5.0	8.4	5.2		3	0.81	0.50	0.84	0.52
	4	9.9	6.2	10.2	6.4		4	0.99	0.62	1.03	0.64
D	1	9.2	5.7	9.5	5.9						
	2	11.1	6.9	11.4	7.1						
	3	13.3	8.2	13.7	8.5						
	4	16.2	10.1	16.8	10.4						
E	1	14.9	9.3	15.4	9.6						
	2	18.0	11.2	18.6	11.6						
	3	21.6	13.4	22.3	13.8						
	4	26.4	16.4	27.3	17.0						
F	1	21.4	13.3	22.2	13.8						
	2	25.8	16.0	26.7	16.6						

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
SRI (mm)		750		775		クリーパートランスミッション					
						SRI (mm)		750		775	
	3	30.9	19.2	32.0	19.9						
	4	37.9**	23.5**	39.1**	24.3**						
A	R1	1.5	0.9	1.5	0.9	A	R1	0.15	0.09	0.15	0.09
	R2	1.8	1.1	1.8	1.1		R2	0.18	0.11	0.18	0.11
	R3	2.1	1.3	2.2	1.4		R3	0.21	0.13	0.22	0.14
	R4	2.6	1.6	2.7	1.7		R4	0.26	0.16	0.27	0.17
B	R1	3.6	2.2	3.7	2.3	B	R1	0.36	0.22	0.37	0.23
	R2	4.3	2.7	4.5	2.8		R2	0.43	0.27	0.45	0.28
	R3	5.2	3.2	5.3	3.3		R3	0.52	0.32	0.54	0.33
	R4	6.3	3.9	6.5	4.1		R4	0.64	0.40	0.66	0.41
C	R1	5.8	3.6	6.0	3.8	C	R1	0.59	0.37	0.61	0.38
	R2	7.0	4.4	7.3	4.5		R2	0.71	0.44	0.73	0.45
	R3	8.4	5.2	8.7	5.4		R3	0.85	0.53	0.88	0.54
	R4	10.3	6.4	10.7	6.6		R4	1.04	0.64	1.07	0.67
D	R1	9.6	6.0	9.9	6.2						
	R2	11.6	7.2	11.9	7.4						
	R3	13.8	8.6	14.3	8.9						
	R4	17.0	10.5	17.5	10.9						
E	R1	15.6	9.7	16.1	10.0						
	R2	18.8	11.7	19.4	12.1						
	R3	22.5	14.0	23.2	14.4						
	R4	27.6	17.1	28.5	17.7						
F	R1	22.4	13.9	23.1	14.4						
	R2	26.9	16.7	27.8	17.3						
	R3	32.3	20.1	33.3	20.7						
	R4	39.5**	24.6**	40*、**	25*、**						

* 速度は最高設計速度の 40 km/h (25 mph) に制限

** 日本向けのみ： 最高速度は 35 km/h (22 mph) に制限

制限速度は 2100 rpm 未満のエンジン回転数で得られます。

OULXA64,SP,4CYL,000596F-40-28AUG23

走行速度 - 工場出荷時にクリーパートランスミッション装備の PowrQuad™ PLUS および AutoQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 800 および 825 のタイヤ使用時)

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
SRI (mm)		800		825		クリーパートランスミッション					
						SRI (mm)		800		825	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
A	1	1.5	0.9	1.5	1.0	A	1	0.15	0.09	0.16	0.10
	2	1.8	1.1	1.9	1.2		2	0.18	0.11	0.19	0.12
	3	2.2	1.3	2.2	1.4		3	0.22	0.14	0.22	0.14
	4	2.7	1.6	2.7	1.7		4	0.27	0.17	0.27	0.17
B	1	3.7	2.3	3.8	2.3	B	1	0.37	0.23	0.38	0.24
	2	4.4	2.7	4.6	2.8		2	0.44	0.28	0.46	0.28
	3	5.3	3.3	5.5	3.4		3	0.53	0.33	0.55	0.34
	4	6.5	4.0	6.7	4.2		4	0.65	0.40	0.67	0.42
C	1	6.0	3.7	6.2	3.8	C	1	0.60	0.37	0.62	0.38
	2	7.2	4.5	7.4	4.6		2	0.72	0.45	0.75	0.46
	3	8.6	5.4	8.9	5.5		3	0.87	0.54	0.89	0.56
	4	10.6	6.6	10.9	6.8		4	1.06	0.66	1.09	0.68

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
SRI (mm)		800		825		クリーパートランスミッション					
						SRI (mm)		800		825	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
D	1	9.8	6.1	10.1	6.3						
	2	11.8	7.3	12.2	7.6						
	3	14.1	8.8	14.6	9.1						
	4	17.3	10.8	17.9	11.1						
E	1	15.9	9.9	16.4	10.2						
	2	19.2	11.9	19.8	12.3						
	3	23.0	14.3	23.7	14.7						
	4	28.2	17.5	29.0	18.0						
F	1	21.5	13.4	22.2	13.8						
	2	25.9	16.1	26.7	16.6						
	3	31.0	19.3	32.0	19.9						
	4	38.0**	23.6**	39.2**	24.4**						
A	R1	1.6	1.0	1.6	1.0	A	R1	0.16	0.10	0.16	0.10
	R2	1.9	1.2	1.9	1.2		R2	0.19	0.12	0.20	0.12
	R3	2.3	1.4	2.3	1.4		R3	0.23	0.14	0.23	0.15
	R4	2.8	1.7	2.9	1.8		R4	0.28	0.17	0.29	0.18
B	R1	3.8	2.4	3.9	2.5	B	R1	0.38	0.24	0.40	0.25
	R2	4.6	2.9	4.8	3.0		R2	0.46	0.29	0.48	0.30
	R3	5.5	3.4	5.7	3.5		R3	0.55	0.34	0.57	0.36
	R4	6.8	4.2	7.0	4.3		R4	0.68	0.42	0.70	0.44
C	R1	6.2	3.9	6.4	4.0	C	R1	0.63	0.39	0.65	0.40
	R2	7.5	4.7	7.7	4.8		R2	0.75	0.47	0.78	0.48
	R3	9.0	5.6	9.3	5.8		R3	0.90	0.56	0.93	0.58
	R4	11.0	6.8	11.4	7.1		R4	1.11	0.69	1.14	0.71
D	R1	10.2	6.4	10.6	6.6						
	R2	12.3	7.7	12.7	7.9						
	R3	14.8	9.2	15.2	9.5						
	R4	18.1	11.2	18.7	11.6						
E	R1	16.6	10.3	17.2	10.7						
	R2	20.0	12.4	20.7	12.8						
	R3	24.0	14.9	24.7	15.4						
	R4	29.4	18.3	30.3	18.8						
F	R1	22.5	14.0	23.2	14.4						
	R2	27.0	16.8	27.9	17.3						
	R3	32.4	20.1	33.4	20.8						
	R4	39.7**	24.7**	40*、**	25*、**						

* 速度は最高設計速度の 40 km/h (25 mph) に制限

** 日本向けのみ： 最高速度は 35 km/h (22 mph) に制限

制限速度は 2100 rpm 未満のエンジン回転数で得られます。

OULXA64,SP,4CYL,00057D5-40-28AUG23

走行速度 - 工場出荷時にクリーパートランスミッション非装備の PowrQuad™ PLUS および AutoQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 700、725、750、775 のタイヤ使用時)

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm									
SRI (mm)		700		725		750		775	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	km/h	mph	km/h	mph
A	1	1.6	1.0	1.6	1.0	1.6	1.0	1.6	1.0

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm									
SRI (mm)		700		725		750		775	
	2	1.9	1.2	2.0	1.2	1.9	1.2	2.0	1.2
	3	2.3	1.4	2.3	1.5	2.3	1.4	2.4	1.5
	4	2.8	1.7	2.9	1.8	2.8	1.7	2.9	1.8
B	1	3.8	2.4	4.0	2.5	3.9	2.4	4.0	2.5
	2	4.6	2.9	4.8	3.0	4.7	2.9	4.8	3.0
	3	5.5	3.4	5.7	3.5	5.6	3.5	5.8	3.6
	4	6.7	4.2	7.0	4.3	6.8	4.3	7.1	4.4
C	1	6.2	3.9	6.4	4.0	6.3	3.9	6.5	4.1
	2	7.5	4.7	7.8	4.8	7.6	4.7	7.9	4.9
	3	9.0	5.6	9.3	5.8	9.1	5.7	9.4	5.9
	4	11.0	6.8	11.4	7.1	11.2	6.9	11.5	7.2
D	1	10.2	6.3	10.6	6.6	10.4	6.4	10.7	6.7
	2	12.3	7.6	12.7	7.9	12.5	7.8	12.9	8.0
	3	14.7	9.2	15.3	9.5	15.0	9.3	15.5	9.6
	4	18.0	11.2	18.7	11.6	18.3	11.4	18.9	11.8
E	1	16.6	10.3	17.2	10.7	16.9	10.5	17.4	10.8
	2	20.0	12.4	20.7	12.9	20.3	12.6	21.0	13.0
	3	23.9	14.9	24.8	15.4	24.3	15.1	25.1	15.6
	4	29.3	18.2	30.4	18.9	29.8	18.5	30.8	19.1
F	1	23.8	14.8	24.7	15.3	24.2	15.0	25.0	15.5
	2	28.7	17.8	29.7	18.5	29.1	18.1	30.1	18.7
	3	34.3	21.3	35.6**	22.1**	34.9	21.7	36.0**	22.4**
	4	40*、**	25*、**	40*、**	25*、**	40*、**	25*、**	40*、**	25*、**
A	R1	1.6	1.0	1.7	1.1	1.7	1.0	1.7	1.1
	R2	2.0	1.2	2.0	1.3	2.0	1.2	2.1	1.3
	R3	2.4	1.5	2.4	1.5	2.4	1.5	2.5	1.5
	R4	2.9	1.8	3.0	1.9	2.9	1.8	3.0	1.9
B	R1	4.0	2.5	4.1	2.6	4.0	2.5	4.2	2.6
	R2	4.8	3.0	5.0	3.1	4.9	3.0	5.0	3.1
	R3	5.7	3.6	5.9	3.7	5.8	3.6	6.0	3.7
	R4	7.0	4.4	7.3	4.5	7.1	4.4	7.4	4.6
C	R1	6.5	4.0	6.7	4.2	6.6	4.1	6.8	4.2
	R2	7.8	4.9	8.1	5.0	7.9	4.9	8.2	5.1
	R3	9.4	5.8	9.7	6.0	9.5	5.9	9.8	6.1
	R4	11.5	7.1	11.9	7.4	11.7	7.2	12.0	7.5
D	R1	10.7	6.6	11.0	6.9	10.8	6.7	11.2	6.9
	R2	12.8	8.0	13.3	8.3	13.0	8.1	13.5	8.4
	R3	15.4	9.6	15.9	9.9	15.6	9.7	16.1	10.0
	R4	18.8	11.7	19.5	12.1	19.1	11.9	19.8	12.3
E	R1	17.3	10.8	17.9	11.1	17.6	10.9	18.2	11.3
	R2	20.9	13.0	21.6	13.4	21.2	13.2	21.9	13.6
	R3	25.0	15.5	25.9	16.1	25.4	15.8	26.2	16.3
	R4	30.6	19.0	31.7	19.7	31.1	19.3	32.1	19.9
F	R1	24.8	15.4	25.7	16.0	25.2	15.7	26.1	16.2
	R2	29.9	18.6	31.0	19.3	30.4	18.9	31.4	19.5
	R3	35.8**	22.3**	37.1**	23.1**	36.4**	22.6**	37.6**	23.4*
	R4	40*、**	25*、**	40*、**	25*、**	40*、**	25*、**	40*、**	25*、**

* 速度は最高設計速度の 40 km/h (25 mph) に制限

** 日本向けのみ： 最高速度は 35 km/h (22 mph) に制限

制限速度は 2100 rpm 未満のエンジン回転数で得られます。

OULXA64,SP,4CYL,00057D6-40-28AUG23

走行速度 - 工場出荷時にクリーパートランスミッション非装備の PowrQuad™ PLUS および AutoQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 800 および 825 のタイヤ使用時)

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm					
SRI (mm)		800		825	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
A	1	1.7	1.1	1.7	1.1
	2	2.0	1.3	2.1	1.3
	3	2.4	1.5	2.5	1.6
	4	3.0	1.9	3.1	1.9
B	1	4.1	2.6	4.3	2.6
	2	5.0	3.1	5.1	3.2
	3	6.0	3.7	6.1	3.8
	4	7.3	4.5	7.5	4.7
C	1	6.7	4.2	7.0	4.3
	2	8.1	5.0	8.4	5.2
	3	9.7	6.0	10.0	6.2
	4	11.9	7.4	12.3	7.6
D	1	11.1	6.9	11.4	7.1
	2	13.3	8.3	13.7	8.5
	3	16.0	9.9	16.5	10.2
	4	19.5	12.1	20.2	12.5
E	1	18.0	11.2	18.5	11.5
	2	21.6	13.5	22.3	13.9
	3	25.9	16.1	26.7	16.6
	4	31.8	19.7	32.8	20.4
F	1	25.8	16.0	25.0	15.6
	2	31.1	19.3	30.1	18.7
	3	37.2**	23.1**	36.1**	22.4**
	4	40*、**	25*、**	40*、**	25*、**
A	R1	1.8	1.1	1.8	1.1
	R2	2.1	1.3	2.2	1.4
	R3	2.5	1.6	2.6	1.6
	R4	3.1	1.9	3.2	2.0
B	R1	4.3	2.7	4.4	2.8
	R2	5.2	3.2	5.4	3.3
	R3	6.2	3.9	6.4	4.0
	R4	7.6	4.7	7.9	4.9
C	R1	7.0	4.4	7.3	4.5
	R2	8.5	5.3	8.7	5.4
	R3	10.1	6.3	10.5	6.5
	R4	12.4	7.7	12.8	8.0
D	R1	11.5	7.2	11.9	7.4
	R2	13.9	8.6	14.3	8.9
	R3	16.6	10.3	17.2	10.7
	R4	20.4	12.7	21.0	13.1
E	R1	18.8	11.7	19.3	12.0
	R2	22.6	14.0	23.3	14.5
	R3	27.1	16.8	27.9	17.3
	R4	33.1	20.6	34.2	21.2
F	R1	26.9	16.7	26.1	16.2
	R2	32.4	20.1	31.4	19.5
	R3	38.8**	24.1**	37.7**	23.4**
	R4	40*、**	25*、**	40*、**	25*、**

* 速度は最高設計速度の 40 km/h (25 mph) に制限

** 日本向けのみ： 最高速度は 35 km/h (22 mph) に制限

制限速度は 2100 rpm 未満のエンジン回転数で得られます。

OULXA64,SP,4CYL,00057D7-40-28AUG23

移動速度 - Eco Shift™ 装備の AutoQuad™ PLUS トランスミッション 40 km/h (24/24) (SRI 700、725 のタイヤ装着時)

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
						クリーパートランスミッションの追加ギヤ					
SRI (mm)		700		725		SRI (mm)		700		725	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
A	1	1.8	1.1	1.8	1.1	A	1	0.18	0.11	0.19	0.11
	2	2.1	1.3	2.2	1.4		2	0.22	0.13	0.22	0.14
	3	2.6	1.6	2.7	1.7		3	0.26	0.16	0.27	0.17
	4	3.1	2.0	3.3	2.0		4	0.32	0.20	0.33	0.20
B	1	4.3	2.7	4.5	2.8	B	1	0.44	0.27	0.45	0.28
	2	5.2	3.2	5.4	3.4		2	0.53	0.33	0.54	0.34
	3	6.3	3.9	6.5	4.0		3	0.63	0.39	0.65	0.40
	4	7.7	4.8	7.9	4.9		4	0.77	0.48	0.80	0.50
C	1	7.1	4.4	7.3	4.6	C	1	0.71	0.44	0.74	0.46
	2	8.5	5.3	8.8	5.5		2	0.86	0.53	0.89	0.55
	3	10.2	6.3	10.6	6.6		3	1.03	0.64	1.06	0.66
	4	12.5	7.8	13.0	8.0		4	1.26	0.78	1.30	0.81
D	1	11.6	7.2	12.0	7.5						
	2	14.0	8.7	14.5	9.0						
	3	16.8	10.4	17.4	10.8						
	4	20.5	12.8	21.3	13.2						
E	1	18.9	11.7	19.6	12.1						
	2	22.7	14.1	23.5	14.6						
	3	27.2	16.9	28.2	17.5						
	4	33.3	20.7	34.5	21.5						
F	1	27.1	16.8	28.1	17.4						
	2	32.6	20.3	33.8	21.0						
	3	39.1	24.3	40*	25*						
	4	40*	25*	40*	25*						
A	R1	1.9	1.2	1.9	1.2	A	R1	0.19	0.12	0.19	0.12
	R2	2.2	1.4	2.3	1.4		R2	0.22	0.14	0.23	0.14
	R3	2.7	1.7	2.8	1.7		R3	0.27	0.17	0.28	0.17
	R4	3.3	2.0	3.4	2.1		R4	0.33	0.20	0.34	0.21
B	R1	4.5	2.8	4.7	2.9	B	R1	0.46	0.28	0.47	0.29
	R2	5.5	3.4	5.6	3.5		R2	0.55	0.34	0.57	0.35
	R3	6.5	4.1	6.8	4.2		R3	0.66	0.41	0.68	0.42
	R4	8.0	5.0	8.3	5.2		R4	0.80	0.50	0.83	0.52
C	R1	7.4	4.6	7.7	4.8	C	R1	0.74	0.46	0.77	0.48
	R2	8.9	5.5	9.2	5.7		R2	0.89	0.56	0.93	0.58
	R3	10.7	6.6	11.0	6.9		R3	1.07	0.66	1.11	0.69
	R4	13.0	8.1	13.5	8.4		R4	1.31	0.81	1.36	0.84
D	R1	12.1	7.5	12.6	7.8						
	R2	14.6	9.1	15.1	9.4						
	R3	17.5	10.9	18.1	11.3						
	R4	21.4	13.3	22.2	13.8						
E	R1	19.7	12.2	20.4	12.7						
	R2	23.7	14.7	24.6	15.3						

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
SRI (mm)		700		725		クリーパートランスミッションの追加ギヤ					
						SRI (mm)		700		725	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
	R3	28.4	17.7	29.4	18.3						
	R4	34.8	21.6	36.0	22.4						
F	R1	28.3	17.6	29.3	18.2						
	R2	34.0	21.1	35.2	21.9						
	R3	40*	25*	40*	25*						
	R4	40*	25*	40*	25*						

* 移動速度は最高設計速度の 40 km/h (25 mph) に制限

制限速度は 2100 rpm 未満のエンジン回転数で得られます。

OULXA64,SP,4CYL,00057D8-40-25AUG23

移動速度 - Eco Shift™ 装備の AutoQuad™ PLUS トランスミッション 40 km/h (24/24) (SRI 750、775 のタイヤ装着時)

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
SRI (mm)		750		775		クリーパートランスミッションの追加ギヤ					
						SRI (mm)		750		775	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
A	1	1.9	1.2	2.0	1.2	A	1	0.19	0.12	0.20	0.12
	2	2.3	1.4	2.4	1.5		2	0.23	0.14	0.24	0.15
	3	2.7	1.7	2.8	1.8		3	0.28	0.17	0.29	0.18
	4	3.4	2.1	3.5	2.2		4	0.34	0.21	0.35	0.22
B	1	4.7	2.9	4.8	3.0	B	1	0.47	0.29	0.48	0.30
	2	5.6	3.5	5.8	3.6		2	0.56	0.35	0.58	0.36
	3	6.7	4.2	6.9	4.3		3	0.67	0.42	0.70	0.43
	4	8.2	5.1	8.5	5.3		4	0.83	0.51	0.85	0.53
C	1	7.6	4.7	7.8	4.9	C	1	0.76	0.47	0.79	0.49
	2	9.1	5.7	9.4	5.9		2	0.92	0.57	0.95	0.59
	3	10.9	6.8	11.3	7.0		3	1.10	0.68	1.14	0.71
	4	13.4	8.3	13.8	8.6		4	1.35	0.84	1.39	0.86
D	1	12.4	7.7	12.9	8.0						
	2	15.0	9.3	15.5	9.6						
	3	17.9	11.2	18.5	11.5						
	4	22.0	13.7	22.7	14.1						
E	1	20.2	12.6	20.9	13.0						
	2	24.4	15.1	25.2	15.6						
	3	29.2	18.1	30.1	18.7						
	4	35.7	22.2	36.9	22.9						
F	1	27.3	17.0	28.2	17.5						
	2	32.9	20.4	34.0	21.1						
	3	39.4	24.5	40*	25*						
	4	40*	25*	40*	25*						
A	R1	2.0	1.2	2.1	1.3	A	R1	0.20	0.12	0.21	0.13
	R2	2.4	1.5	2.5	1.5		R2	0.24	0.15	0.25	0.15
	R3	2.9	1.8	3.0	1.8		R3	0.29	0.18	0.30	0.18
	R4	3.5	2.2	3.6	2.3		R4	0.35	0.22	0.36	0.23
B	R1	4.9	3.0	5.0	3.1	B	R1	0.49	0.30	0.50	0.31
	R2	5.8	3.6	6.0	3.8		R2	0.59	0.36	0.61	0.38

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
SRI (mm)		750		775		クリーパートランスミッションの追加ギヤ					
						SRI (mm)		750		775	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
	R3	7.0	4.3	7.2	4.5		R3	0.70	0.44	0.73	0.45
	R4	8.6	5.3	8.9	5.5		R4	0.86	0.54	0.89	0.55
C	R1	7.9	4.9	8.2	5.1	C	R1	0.80	0.49	0.82	0.51
	R2	9.5	5.9	9.8	6.1		R2	0.96	0.59	0.99	0.61
	R3	11.4	7.1	11.8	7.3		R3	1.15	0.71	1.18	0.74
	R4	14.0	8.7	14.4	9.0		R4	1.40	0.87	1.45	0.90
D	R1	13.0	8.1	13.4	8.3						
	R2	15.6	9.7	16.2	10.0						
	R3	18.7	11.6	19.4	12.0						
	R4	22.9	14.3	23.7	14.7						
E	R1	21.1	13.1	21.8	13.6						
	R2	25.4	15.8	26.3	16.3						
	R3	30.4	18.9	31.5	19.5						
	R4	37.3	23.2	38.5	23.9						
F	R1	28.5	17.7	29.4	18.3						
	R2	34.3	21.3	35.4	22.0						
	R3	40	25	40*	25*						
	R4	40*	25*	40*	25*						

* 速度は最高設計速度の 40 km/h (25 mph) に制限

制限速度は 2100 rpm 未満のエンジン回転数で得られます。

OULXA64,SP,4CYL,00057D9-40-25AUG23

移動速度 - Eco Shift™ 装備の AutoQuad™ PLUS トランスミッション 40 km/h (24/24) (SRI 800、825 のタイヤ装着時)

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
SRI (mm)		800		825		クリーパートランスミッションの追加ギヤ					
						SRI (mm)		800		825	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
A	1	1.8	1.1	1.8	1.1	A	1	0.18	0.11	0.19	0.12
	2	2.2	1.3	2.2	1.4		2	0.22	0.13	0.22	0.14
	3	2.6	1.6	2.7	1.7		3	0.26	0.16	0.27	0.17
	4	3.2	2.0	3.3	2.0		4	0.32	0.20	0.33	0.20
B	1	4.4	2.7	4.5	2.8	B	1	0.44	0.27	0.45	0.28
	2	5.3	3.3	5.4	3.4		2	0.53	0.33	0.54	0.34
	3	6.3	3.9	6.5	4.0		3	0.63	0.39	0.65	0.41
	4	7.7	4.8	7.9	4.9		4	0.77	0.48	0.80	0.50
C	1	7.1	4.4	7.3	4.6	C	1	0.71	0.44	0.74	0.46
	2	8.6	5.3	8.8	5.5		2	0.86	0.53	0.89	0.55
	3	10.3	6.4	10.6	6.6		3	1.03	0.64	1.06	0.66
	4	12.6	7.8	13.0	8.1		4	1.26	0.78	1.30	0.81
D	1	11.7	7.3	12.0	7.5						
	2	14.1	8.7	14.5	9.0						
	3	16.8	10.5	17.4	10.8						
	4	20.6	12.8	21.3	13.2						
E	1	19.0	11.8	19.6	12.2						
	2	22.8	14.2	23.6	14.6						

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm											
SRI (mm)		800		825		クリーパートランスミッションの追加ギヤ					
						SRI (mm)		800		825	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
	3	27.4	17.0	28.2	17.5						
	4	33.5	20.8	34.6	21.5						
F	1	27.2	16.9	28.1	17.4						
	2	32.8	20.4	33.8	21.0						
	3	39.2	24.4	40*	25*						
	4	40*	25*	40*	25*						
A	R1	1.9	1.2	1.9	1.2	A	R1	0.19	0.12	0.19	0.12
	R2	2.2	1.4	2.3	1.4		R2	0.23	0.14	0.23	0.14
	R3	2.7	1.7	2.8	1.7		R3	0.27	0.17	0.28	0.17
	R4	3.3	2.0	3.4	2.1		R4	0.33	0.21	0.34	0.21
B	R1	4.6	2.8	4.7	2.9	B	R1	0.46	0.28	0.47	0.29
	R2	5.5	3.4	5.7	3.5		R2	0.55	0.34	0.57	0.35
	R3	6.6	4.1	6.8	4.2		R3	0.66	0.41	0.68	0.42
	R4	8.0	5.0	8.3	5.2		R4	0.81	0.50	0.83	0.52
C	R1	7.4	4.6	7.7	4.8	C	R1	0.75	0.46	0.77	0.48
	R2	8.9	5.6	9.2	5.7		R2	0.90	0.56	0.93	0.58
	R3	10.7	6.7	11.0	6.9		R3	1.08	0.67	1.11	0.69
	R4	13.1	8.1	13.5	8.4		R4	1.32	0.82	1.36	0.84
D	R1	12.2	7.6	12.6	7.8						
	R2	14.7	9.1	15.1	9.4						
	R3	17.6	10.9	18.1	11.3						
	R4	21.5	13.4	22.2	13.8						
E	R1	19.8	12.3	20.4	12.7						
	R2	23.8	14.8	24.6	15.3						
	R3	28.5	17.7	29.4	18.3						
	R4	35.0	21.7	36.1	22.4						
F	R1	28.4	17.6	29.3	18.2						
	R2	34.2	21.2	35.3	21.9						
	R3	40*	25*	40*	25*						
	R4	40*	25*	40*	25*						

* 速度は最高設計速度の 40 km/h (25 mph) に制限

制限速度は 2100 rpm 未満のエンジン回転数で得られます。

OULXA64,SP,4CYL,00057DA-40-25AUG23

走行速度 - CommandQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 700、725、750、775 タイヤ使用時)

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm									
SRI (mm)		700		725		750		775	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	km/h	mph	km/h	mph
A	1	1.5	0.9	1.5	1.0	1.4	0.9	1.5	0.9
	2	1.8	1.1	1.8	1.1	1.7	1.1	1.8	1.1
	3	2.1	1.3	2.2	1.4	2.0	1.3	2.1	1.3
	4	2.6	1.6	2.7	1.7	2.5	1.5	2.6	1.6
B	1	3.6	2.2	3.7	2.3	3.4	2.1	3.6	2.2
	2	4.4	2.7	4.5	2.8	4.1	2.6	4.3	2.7
	3	5.2	3.2	5.4	3.4	5.0	3.1	5.1	3.2

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm									
SRI (mm)		700		725		750		775	
	4	6.4	4.0	6.6	4.1	6.1	3.8	6.3	3.9
C	1	5.9	3.7	6.1	3.8	5.6	3.5	5.8	3.6
	2	7.1	4.4	7.4	4.6	6.7	4.2	7.0	4.3
	3	8.5	5.3	8.8	5.5	8.1	5.0	8.4	5.2
	4	10.4	6.5	10.8	6.7	9.9	6.2	10.2	6.4
D	1	9.7	6.0	10.0	6.2	9.2	5.7	9.5	5.9
	2	11.7	7.2	12.1	7.5	11.1	6.9	11.4	7.1
	3	14.0	8.7	14.5	9.0	13.3	8.2	13.7	8.5
	4	17.1	10.6	17.7	11.0	16.2	10.1	16.8	10.4
E	1	15.7	9.8	16.3	10.1	14.9	9.3	15.4	9.6
	2	18.9	11.8	19.6	12.2	18.0	11.2	18.6	11.6
	3	22.7	14.1	23.5	14.6	21.6	13.4	22.3	13.8
	4	27.8	17.3	28.8	17.9	26.4	16.4	27.3	17.0
F	1	21.2	13.2	22.0	13.7	21.4	13.3	22.2	13.8
	2	25.6	15.9	26.5	16.5	25.8	16.0	26.7	16.6
	3	30.6	19.0	31.7	19.7	30.9	19.2	32.0	19.9
	4	37.5	23.3	38.9	24.1	37.9	23.5	39.1	24.3
A	R1	1.5	1.0	1.6	1.0	1.5	0.9	1.5	0.9
	R2	1.9	1.2	1.9	1.2	1.8	1.1	1.8	1.1
	R3	2.2	1.4	2.3	1.4	2.1	1.3	2.2	1.4
	R4	2.7	1.7	2.8	1.8	2.6	1.6	2.7	1.7
B	R1	3.8	2.3	3.9	2.4	3.6	2.2	3.7	2.3
	R2	4.5	2.8	4.7	2.9	4.3	2.7	4.5	2.8
	R3	5.4	3.4	5.6	3.5	5.2	3.2	5.3	3.3
	R4	6.7	4.1	6.9	4.3	6.3	3.9	6.5	4.1
C	R1	6.2	3.8	6.4	4.0	5.8	3.6	6.0	3.8
	R2	7.4	4.6	7.7	4.8	7.0	4.4	7.3	4.5
	R3	8.9	5.5	9.2	5.7	8.4	5.2	8.7	5.4
	R4	10.9	6.8	11.3	7.0	10.3	6.4	10.7	6.6
D	R1	10.1	6.3	10.5	6.5	9.6	6.0	9.9	6.2
	R2	12.2	7.6	12.6	7.8	11.6	7.2	11.9	7.4
	R3	14.6	9.1	15.1	9.4	13.8	8.6	14.3	8.9
	R4	17.8	11.1	18.5	11.5	17.0	10.5	17.5	10.9
E	R1	16.4	10.2	17.0	10.6	15.6	9.7	16.1	10.0
	R2	19.8	12.3	20.5	12.7	18.8	11.7	19.4	12.1
	R3	23.7	14.7	24.5	15.2	22.5	14.0	23.2	14.4
	R4	29.0	18.0	30.0	18.7	27.6	17.1	28.5	17.7
F	R1	22.2	13.8	23.0	14.3	22.4	13.9	23.1	14.4
	R2	26.7	16.6	27.6	17.2	26.9	16.7	27.8	17.3
	R3	30**	18.6**	30**	18.6**	30**	18.6**	30**	18.6**
	R4	30**	18.6**	30**	18.6**	30**	18.6**	30**	18.6**

* 速度は最高設計速度の 40 km/h (25 mph) に制限

** 速度は最高設計速度の 30 km/h (18.6 mph) に制限

制限速度は 2100 rpm 未満のエンジン回転数で得られます。

OULXA64,SP,4CYL,00057DB-40-28AUG23

走行速度 - CommandQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 800 および 825 タイヤ使用時)

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm					
SRI (mm)		800		825	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
A	1	1.7	1.1	1.7	1.1
	2	2.0	1.3	2.1	1.3
	3	2.4	1.5	2.5	1.6
	4	3.0	1.9	3.1	1.9
B	1	4.1	2.6	4.3	2.6
	2	5.0	3.1	5.1	3.2
	3	6.0	3.7	6.1	3.8
	4	7.3	4.5	7.5	4.7
C	1	6.7	4.2	7.0	4.3
	2	8.1	5.0	8.4	5.2
	3	9.7	6.0	10.0	6.2
	4	11.9	7.4	12.3	7.6
D	1	11.1	6.9	11.4	7.1
	2	13.3	8.3	13.7	8.5
	3	16.0	9.9	16.5	10.2
	4	19.5	12.1	20.2	12.5
E	1	18.0	11.2	18.5	11.5
	2	21.6	13.5	22.3	13.9
	3	25.9	16.1	26.7	16.6
	4	31.8	19.7	32.8	20.4
F	1	25.8	16.0	25.0	15.6
	2	31.1	19.3	30.1	18.7
	3	37.2	23.1	36.1	22.4
	4	40*	25*	40*	25*
A	R1	1.8	1.1	1.8	1.1
	R2	2.1	1.3	2.2	1.4
	R3	2.5	1.6	2.6	1.6
	R4	3.1	1.9	3.2	2.0
B	R1	4.3	2.7	4.4	2.8
	R2	5.2	3.2	5.4	3.3
	R3	6.2	3.9	6.4	4.0
	R4	7.6	4.7	7.9	4.9
C	R1	7.0	4.4	7.3	4.5
	R2	8.5	5.3	8.7	5.4
	R3	10.1	6.3	10.5	6.5
	R4	12.4	7.7	12.8	8.0
D	R1	11.5	7.2	11.9	7.4
	R2	13.9	8.6	14.3	8.9
	R3	16.6	10.3	17.2	10.7
	R4	20.4	12.7	21.0	13.1
E	R1	18.8	11.7	19.3	12.0
	R2	22.6	14.0	23.3	14.5
	R3	27.1	16.8	27.9	17.3
	R4	30**	18.6**	30**	18.6**
F	R1	26.9	16.7	26.1	16.2
	R2	32.4	20.1	31.4	19.5
	R3	30**	18.6**	30**	18.6**
	R4	30**	18.6**	30**	18.6**

* 速度は最高設計速度の 40 km/h (25 mph) に制限

** 速度は最高設計速度の 30 km/h (18.6 mph) に制限

制限速度は 2100 rpm 未満のエンジン回転数で得られます。

OULXA64,SP,4CYL,00057DC-40-29AUG23

走行速度 - Eco Shift™ 装備の CommandQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 700、725、750、775 のタイヤ使用時)

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm									
SRI (mm)		7800		725		750		775	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph	km/h	mph	km/h	mph
A	1	1.8	1.1	1.8	1.1	1.9	1.2	2.0	1.2
	2	2.1	1.3	2.2	1.4	2.3	1.4	2.4	1.5
	3	2.6	1.6	2.7	1.7	2.7	1.7	2.8	1.8
	4	3.1	2.0	3.3	2.0	3.4	2.1	3.5	2.2
B	1	4.3	2.7	4.5	2.8	4.7	2.9	4.8	3.0
	2	5.2	3.2	5.4	3.4	5.6	3.5	5.8	3.6
	3	6.3	3.9	6.5	4.0	6.7	4.2	6.9	4.3
	4	7.7	4.8	7.9	4.9	8.2	5.1	8.5	5.3
C	1	7.1	4.4	7.3	4.6	7.6	4.7	7.8	4.9
	2	8.5	5.3	8.8	5.5	9.1	5.7	9.4	5.9
	3	10.2	6.3	10.6	6.6	10.9	6.8	11.3	7.0
	4	12.5	7.8	13.0	8.0	13.4	8.3	13.8	8.6
D	1	11.6	7.2	12.0	7.5	12.4	7.7	12.9	8.0
	2	14.0	8.7	14.5	9.0	15.0	9.3	15.5	9.6
	3	16.8	10.4	17.4	10.8	17.9	11.2	18.5	11.5
	4	20.5	12.8	21.3	13.2	22.0	13.7	22.7	14.1
E	1	18.9	11.7	19.6	12.1	20.2	12.6	20.9	13.0
	2	22.7	14.1	23.5	14.6	24.4	15.1	25.2	15.6
	3	27.2	16.9	28.2	17.5	29.2	18.1	30.1	18.7
	4	33.3	20.7	34.5	21.5	35.7	22.2	36.9	22.9
F	1	27.1	16.8	28.1	17.4	27.3	17.0	28.2	17.5
	2	32.6	20.3	33.8	21.0	32.9	20.4	34.0	21.1
	3	39.1	24.3	40*	25*	39.4	24.5	40*	25*
	4	40*	25*	40*	25*	40*	25*	40*	25*
A	R1	1.9	1.2	1.9	1.2	2.0	1.2	2.1	1.3
	R2	2.2	1.4	2.3	1.4	2.4	1.5	2.5	1.5
	R3	2.7	1.7	2.8	1.7	2.9	1.8	3.0	1.8
	R4	3.3	2.0	3.4	2.1	3.5	2.2	3.6	2.3
B	R1	4.5	2.8	4.7	2.9	4.9	3.0	5.0	3.1
	R2	5.5	3.4	5.6	3.5	5.8	3.6	6.0	3.8
	R3	6.5	4.1	6.8	4.2	7.0	4.3	7.2	4.5
	R4	8.0	5.0	8.3	5.2	8.6	5.3	8.9	5.5
C	R1	7.4	4.6	7.7	4.8	7.9	4.9	8.2	5.1
	R2	8.9	5.5	9.2	5.7	9.5	5.9	9.8	6.1
	R3	10.7	6.6	11.0	6.9	11.4	7.1	11.8	7.3
	R4	13.0	8.1	13.5	8.4	14.0	8.7	14.4	9.0
D	R1	12.1	7.5	12.6	7.8	13.0	8.1	13.4	8.3
	R2	14.6	9.1	15.1	9.4	15.6	9.7	16.2	10.0
	R3	17.5	10.9	18.1	11.3	18.7	11.6	19.4	12.0
	R4	21.4	13.3	22.2	13.8	22.9	14.3	23.7	14.7
E	R1	19.7	12.2	20.4	12.7	21.1	13.1	21.8	13.6
	R2	23.7	14.7	24.6	15.3	25.4	15.8	26.3	16.3
	R3	28.4	17.7	29.4	18.3	30**	18.6**	30**	18.6**

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm									
SRI (mm)		7800		725		750		775	
	R4	30**	18.6**	30**	18.6**	30**	18.6**	30**	18.6**
F	R1	28.3	17.6	29.3	18.2	28.5	17.7	29.4	18.3
	R2	34.0	21.1	35.2	21.9	30**	18.6**	30**	18.6**
	R3	30**	18.6**	30**	18.6**	30**	18.6**	30**	18.6**
	R4	30**	18.6**	30**	18.6**	30**	18.6**	30**	18.6**

* 速度は最高設計速度の 40 km/h (25 mph) に制限

** 速度は最高設計速度の 30 km/h (18.6 mph) に制限

制限速度は 2100 rpm 未満のエンジン回転数で得られます。

OULXA64,SP,4CYL,00057DD-40-28AUG23

走行速度 - Eco Shift™ 装備の CommandQuad™ PLUS トランスミッションで 40 km/h (24/24) (SRI 800 および 825 のタイヤ使用時)

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm					
SRI (mm)		800		825	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
A	1	1.8	1.1	1.8	1.1
	2	2.2	1.3	2.2	1.4
	3	2.6	1.6	2.7	1.7
	4	3.2	2.0	3.3	2.0
B	1	4.4	2.7	4.5	2.8
	2	5.3	3.3	5.4	3.4
	3	6.3	3.9	6.5	4.0
	4	7.7	4.8	7.9	4.9
C	1	7.1	4.4	7.3	4.6
	2	8.6	5.3	8.8	5.5
	3	10.3	6.4	10.6	6.6
	4	12.6	7.8	13.0	8.1
D	1	11.7	7.3	12.0	7.5
	2	14.1	8.7	14.5	9.0
	3	16.8	10.5	17.4	10.8
	4	20.6	12.8	21.3	13.2
E	1	19.0	11.8	19.6	12.2
	2	22.8	14.2	23.6	14.6
	3	27.4	17.0	28.2	17.5
	4	33.5	20.8	34.6	21.5
F	1	27.2	16.9	28.1	17.4
	2	32.8	20.4	33.8	21.0
	3	39.2	24.4	40*	25*
	4	40*	25*	40*	25*
A	R1	1.9	1.2	1.9	1.2
	R2	2.2	1.4	2.3	1.4
	R3	2.7	1.7	2.8	1.7
	R4	3.3	2.0	3.4	2.1
B	R1	4.6	2.8	4.7	2.9
	R2	5.5	3.4	5.7	3.5
	R3	6.6	4.1	6.8	4.2
	R4	8.0	5.0	8.3	5.2
C	R1	7.4	4.6	7.7	4.8
	R2	8.9	5.6	9.2	5.7

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm					
SRI (mm)		800		825	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
	R3	10.7	6.7	11.0	6.9
	R4	13.1	8.1	13.5	8.4
D	R1	12.2	7.6	12.6	7.8
	R2	14.7	9.1	15.1	9.4
	R3	17.6	10.9	18.1	11.3
	R4	21.5	13.4	22.2	13.8
E	R1	19.8	12.3	20.4	12.7
	R2	23.8	14.8	24.6	15.3
	R3	28.5	17.7	29.4	18.3
	R4	35.0	21.7	36.1	22.4
F	R1	28.4	17.6	29.3	18.2
	R2	34.2	21.2	35.3	21.9
	R3	40*	25*	40*	25*
	R4	40*	25*	40*	25*

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm					
SRI (mm)		800		825	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
A	1	1.8	1.1	1.9	1.2
	2	2.2	1.4	2.2	1.4
	3	2.7	1.7	2.7	1.7
	4	3.3	2.0	3.3	2.0
B	1	4.5	2.8	4.5	2.8
	2	5.4	3.4	5.4	3.4
	3	6.5	4.0	6.5	4.1
	4	7.9	4.9	8.0	5.0
C	1	7.3	4.6	7.4	4.6
	2	8.8	5.5	8.9	5.5
	3	10.6	6.6	10.6	6.6
	4	13.0	8.1	13.0	8.1
D	1	12.0	7.5	12.1	7.5
	2	14.5	9.0	14.6	9.1
	3	17.4	10.8	17.5	10.8
	4	21.3	13.2	21.4	13.3
E	1	19.6	12.2	19.7	12.2
	2	23.6	14.6	23.7	14.7
	3	28.2	17.5	28.4	17.6
	4	34.6	21.5	34.7	21.6
F	1	28.1	17.4	28.2	17.5
	2	33.8	21.0	34.0	21.1
	3	40*	25*	40*	25*
	4	40*	25*	40*	25*
A	R1	1.9	1.2	1.9	1.2
	R2	2.3	1.4	2.3	1.4
	R3	2.8	1.7	2.8	1.7
	R4	3.4	2.1	3.4	2.1
B	R1	4.7	2.9	4.7	2.9
	R2	5.7	3.5	5.7	3.5

40 km/h (25 mph)、定格エンジン回転数 2100 rpm					
SRI (mm)		800		825	
範囲	ギヤ	km/h	mph	km/h	mph
	R3	6.8	4.2	6.8	4.2
	R4	8.3	5.2	8.3	5.2
C	R1	7.7	4.8	7.7	4.8
	R2	9.2	5.7	9.3	5.8
	R3	11.0	6.9	11.1	6.9
	R4	13.5	8.4	13.6	8.4
D	R1	12.6	7.8	12.6	7.8
	R2	15.1	9.4	15.2	9.4
	R3	18.1	11.3	18.2	11.3
	R4	22.2	13.8	22.3	13.9
E	R1	20.4	12.7	20.5	12.7
	R2	24.6	15.3	24.7	15.4
	R3	29.4	18.3	29.6	18.4
	R4	30**	18.6**	30**	18.6**
F	R1	29.3	18.2	29.4	18.3
	R2	30**	18.6**	30**	18.6**
	R3	30**	18.6**	30**	18.6**
	R4	30**	18.6**	30**	18.6**

* 速度は最高設計速度の 40 km/h (25 mph) に制限

** 速度は最高設計速度の 30 km/h (18.6 mph) に制限

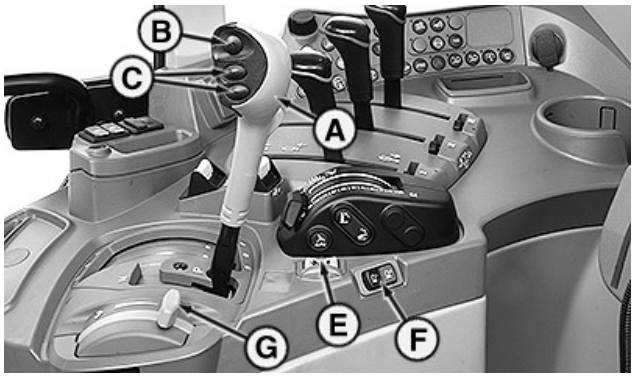
制限速度は 2100 rpm 未満のエンジン回転数で得られます。

OULXA64,SP,4CYL,00057DE-40-29AUG23

PowrQuad™ PLUS トランスミッション

PowrQuad™ PLUS トランスミッション - コントロール

⚠ 注意： エンジン運転中にレンジが選択されている場合、リバースドライブレバーを操作すると、トラクターが動き始めます。



LX364210—UN—18JAN19

副変速レバーとギヤシフ

A：**副変速レバー**
B：**クラッチボタン**
C：**ギヤシフトボタン**
E：**ギヤシフト (追加)**
F：**エンジン設定回転数 1/2**
G：**アクセルレバー**



LX364211—UN—18JAN19

H：**リバースドライブレバー**

その他の設定については、セクション 50F を参照してください：

- PowrQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー
- 「トランスミッション」メニューの絵記号
- PowrQuad™ PLUS トランスミッション、PowrReverser™
- PowrQuad™ PLUS トランスミッション、後進/前進比
- PowrQuad™ PLUS トランスミッション、バックアップアラーム

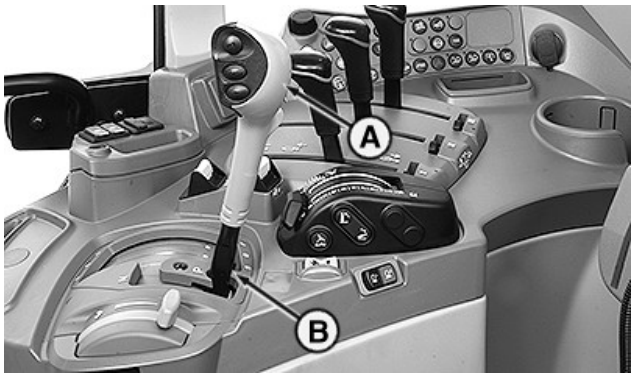
OULXA64,6M,00055E1-40-28AUG23

PowrQuad™ PLUS トランスミッション - 駐車ブレーキロック

重要： トランスミッションの損傷を防止してください。

不適切な操作によりトランスミッションに高い負荷がかかって、物理的損害の原因になることがあります。

駐車ブレーキロックはトラクターが静止しているときにのみかけてください。



LX364213—UN—18JAN19

レバー位置 (B) - 駐車ブレーキロック作動済み

- トラクターが動き出さないようにします。
- 動いていない (静止している) トラクターでの作業用。

トラクターを駐車するには、次の手順に従います：

1. トラクターを静止状態にします。
2. 移動の方向を「ニュートラル」に切り替えます。
3. 副変速レバー (A) を図に示すレバーの位置 (B) に動かして、駐車ブレーキロックがかかるまで保持します。

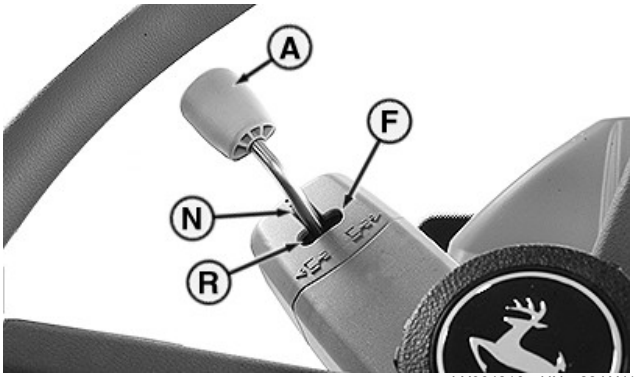
駐車ブレーキロックがかかっているときは、コーナーポストディスプレイに移動の方向 (N/F/R) は表示されません。

OULXA64,6M,00055E2-40-28AUG23

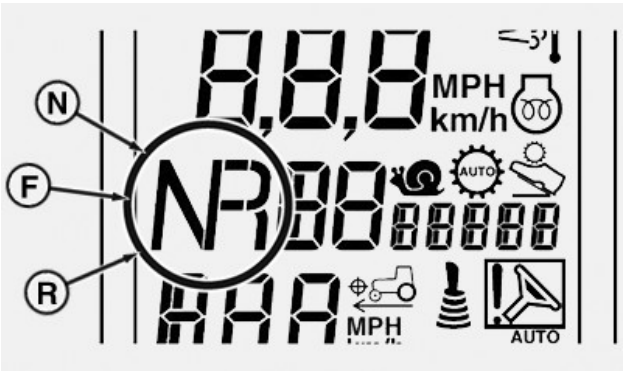
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - リバースドライブレバー

重要： 表示されているシフト位置だけを使用できます。手動で中間位置に保持すると故障する場合があります。

移動の方向を変更するためにクラッチを操作する必要はありません。



LX364216—UN—22JAN19



LX364217—UN—23JAN19

移動方向の表示

リバースドライブレバー (A) をシフト位置にして放すと、図の中心位置に自動的に戻ります。選択した移動の方向が有効になり、レンジが接続されると、トラクターはすぐに動き始めます。

次のいずれかの状況が発生するまで、移動の方向は有効なままです：

- 別の移動方向を選択する。
- シフト位置 (N) を選択する。
- 駐車ブレーキロックをかける。
- エンジンを OFF にする。

エンジンの始動時に移動の方向を指令していない。トランスミッションは、自動的にニュートラルに設定され、ホイールは駆動されません。

動作位置：

(N) - ニュートラル

移動の方向は、自動的にニュートラルに設定され、駆動ホイールは駆動されません。コーナーポストディスプレイには ***N*** が表示されます。

(F) - 前進走行

前進走行が有効になり、駆動ホイールが駆動されます。コーナーポストディスプレイには ***F*** が表示されます。

(R) - 後進走行

後進走行が有効になり、駆動ホイールが駆動されます。コーナーポストディスプレイには ***R*** が表示されます。

トラクターを運転するには、次の手順に従います：

1. クラッチを踏み込みます。
2. 副変速レバーを使用してレンジを選択します。
3. リバースドライブレバーで必要な移動方向を指定します。

   移動の方向を変更するには、フロントローダーの電気式ジョイスティックも使用できます (装備されている場合)。「電気式ジョイスティック - コントロール」(セクション 70D) を参照してください。
4. クラッチを放して走行を開始します。

ニュートラルシフト位置が有効になっている場合、トラクターは惰行します。



LX364209—UN—22JAN19

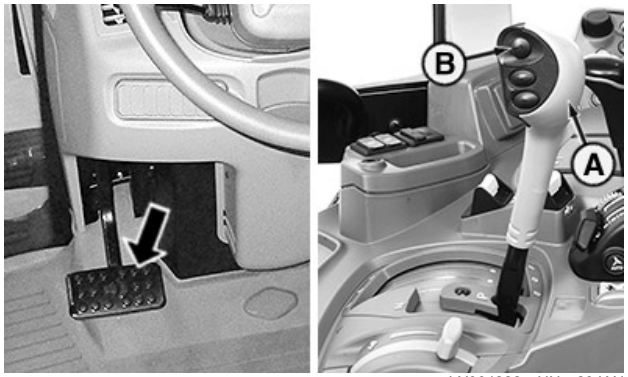
トラクターを停止するときに、副変速レバーを「ニュートラル」のシフトゲート (A) に入れる場合は、次の点に注意してください：

1. 選択した移動方向は有効なままです。
2. トラクターは惰性で動きます。
3. レンジを選択すると、トラクターは選択した移動の方向にすぐに動きます。

OULXA64,6M,00055E3-40-29AUG23

PowrQuad™ PLUS トランスミッション - 副変速レバー

ギヤをシフトするためにクラッチペダルまたはクラッチボタン (B) を使用しないでください。



LX364222—UN—23JAN19

A：**副変速レバー**
B：**クラッチボタン**

レンジをシフトするには、クラッチペダルを踏むか、クラッチボタンを押す必要があります。各レンジは 4 つのギヤで構成されています。

トランスミッションに応じて、次のレンジを使用できます：

- 16/16 トランスミッション、A から D までの 4 つのレンジ
- 20/20 トランスミッション、A から E までの 5 つのレンジ
- 24/24 トランスミッション、A から F までの 6 つのレンジ

各レンジは特定の速度レンジに対応し、特定の作業向けに設計されています：

- **レンジ A**： 一次耕うん用。
- **レンジ B**： リア PTO による二次耕うん、ローダー、噴霧作業用。
- **レンジ C**： ローダーおよび噴霧作業、播種、刈り取り、施肥、および圃場での輸送作業用。
- **レンジ D**、**E**、**F**： 輸送作業用。

注記： 移動速度については、セクション 50D を参照してください。

発進するには、次の手順に従います：

1. クラッチを踏み込みます。
2. 副変速レバー (A) を使用してレンジを選択します。
3. リバースドライブレバーで必要な移動方向を有効にします。
4. クラッチを放して走行を開始します。



LX364209—UN—22JAN19

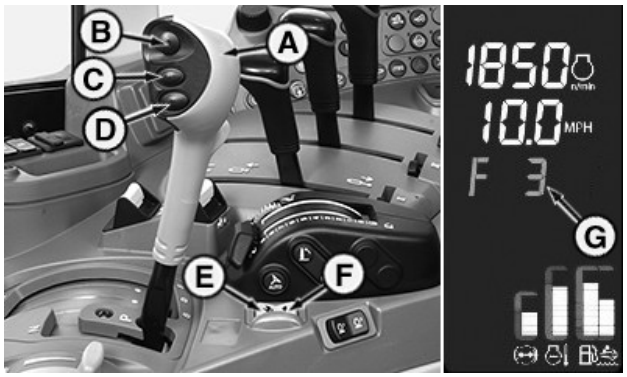
トラクターを停止するときに、副変速レバーを「ニュートラル」のシフトゲート (A) に入れる場合は、次の点に注意してください：

1. 選択した移動方向は有効なままです。
2. トラクターは惰性で動きます。
3. レンジを入れると、トラクターは有効な移動の方向にすぐに動きます。

OULXA64,6M,00055E4-40-28AUG23

PowrQuad™ PLUS トランスミッション - ギヤシフトボタン

ギヤをシフトするためにクラッチペダルまたはクラッチボタン (B) を使用しないでください。

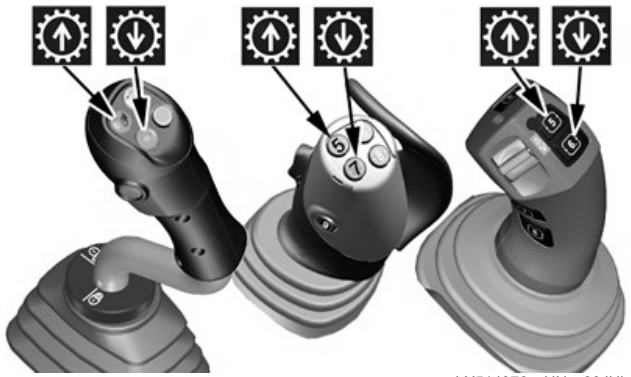


LX364218—UN—29JAN19

A：**副変速レバー**
B：**クラッチボタン**
C：**ギヤシフトボタン、シフトアップ**
D：**ギヤシフトボタン、シフトダウン**
E：**ギヤシフト、シフトアップ**
F：**ギヤシフト、シフトダウン**
G：**選択されたギヤ**

ギヤは、ギヤシフトボタン (C)/(D) またはシフト位置 (E)/(F) によりシフトアップ/ダウンできます。*選択したギヤ (G) がコーナーポストディスプレイに表示されます。*

ジョイスティック装備のトラクターでは、ギヤシフトボタン UP ▲ と DOWN ▼ を使用してギヤをシフトアップ/ダウンできます。



LX514878—UN—26JUL22

機械式ジョイスティック/電気式ジョイスティックバージョン *1* およびバージョン *2*

低負荷運搬に最適なシフト：

1. 負荷条件下での運転に適したレンジを選択します。
2. 1 速ギアに入れます。
3. 運転し、トップレンジに達するまでレンジをシフトアップします。
4. ギヤをシフトアップします。

高負荷運搬に最適なシフト：

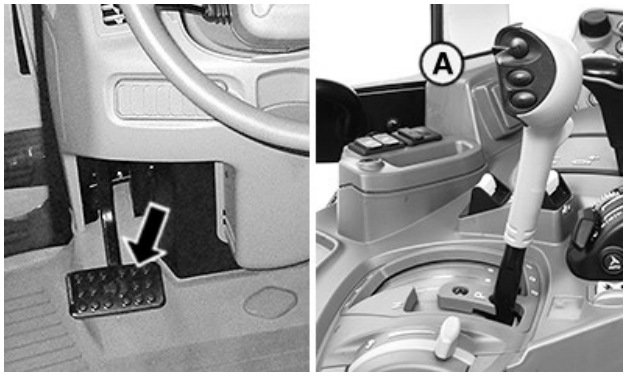
1. 負荷条件下での運転に適したレンジを選択します。
2. 1 速ギアに入れます。
3. トップギアに達するまで運転しながらギアをシフトアップします。
4. 次のレンジを選択します。スピードマッチングにより、対地速度に対応するギアが自動的に選択されます。
5. 適切な移動速度に達するまでギヤをシフトアップしてレンジを切り替えます。

速度信号がない場合の制限

速度信号がないことをコントロールユニットが検出すると、各レンジの最初の 3 つのギヤしか使用できなくなります。

OULXA64,6M,00055E5-40-28AUG23

PowrQuad™ PLUS トランスミッション - クラッチペダルとクラッチボタン



LX364220—UN—23JAN19

クラッチペダルを踏み込むか、クラッチボタン (A) を押します。

► クラッチが解除され、レンジをシフトできるか、トラクターを停止させることができます。

クラッチペダルまたはクラッチボタン (A) を放します。

► クラッチが変調によりかみ合い、動力が後輪に伝達されます。

シートスイッチ (オペレーター着座スイッチ) 装備のトラクターでは、次のようになります。

3 秒以内にクラッチボタンを放してもトラクターは動き出しません：

- 運転席に荷重がかかっていなかった場合。
- クラッチまたはブレーキペダルが操作されなかった場合。

情報表示のメッセージを確認してください。

トラクターを動かすには：

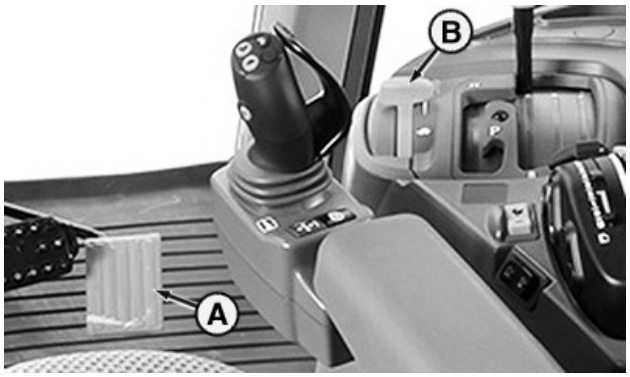
1. リバースドライブレバーで「ニュートラル」位置にします。
2. 必要な移動の方向を有効にします。

注記： クラッチボタンは、トラクターを作業機までクリープ走行させるのに適していません。

アドレス TIQ167 を使用すると、クラッチボタンを有効または無効にすることができます。「診断アドレスの入力 (顧客レベル)」(セクション 300B) を参照してください。

OULXA64,6M,00055E6-40-28AUG23

PowrQuad™ PLUS トランスミッション - アクセルペダルとアクセルレバー



LX364248—UN—29JAN19

A：**アクセルペダル**
B：**アクセルレバー**

速度はアクセルペダルとアクセルレバーで制御します。制御に使用する信号は、常に、高いエンジン回転数を命令する信号です。

エンジン回転数は、アクセルレバーを特定の値にして設定できます。

アクセルペダルまたはアクセルレバーを動かして高いエンジン回転数を命令すると、エンジン回転数が上がります。

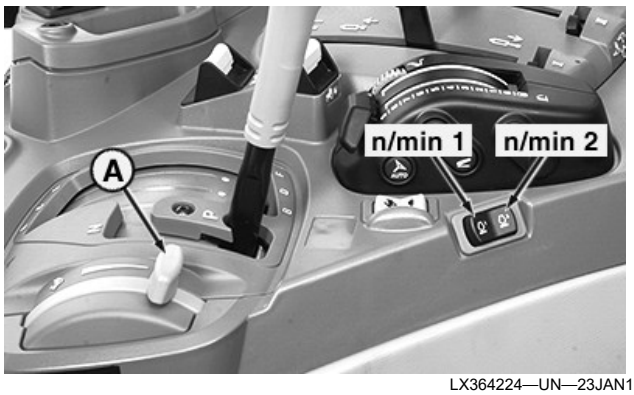
前進または後進走行が有効な場合は、アクセルペダルまたはアクセルレバーを使用して移動速度を調整できます。車両の現在の移動速度は、アクセルペダルまたはアクセルレバーの位置によって直接決まります。

OULXA64,6M,00055E7-40-28AUG23

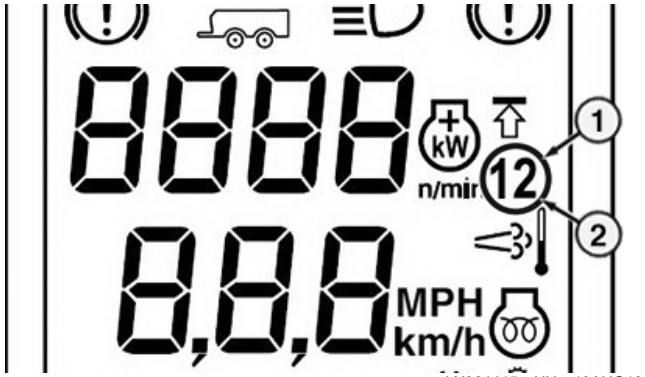
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - エンジン設定回転数

エンジン設定回転数により、最低エンジン回転数で一定に維持されます。エンジン設定回転数が有効な場合は、アクセルレバーまたはアクセルペダルを操作してエンジン回転数を上げることができます。

アクセルレバー (A) またはアクセルペダルを使用して、エンジン回転数を調整します。



LX364224—UN—23JAN19



LX364415—UN—19AUG19

- 「**n/min 1**」、エンジン設定回転数 1 は、起動後に自動的に設定されたエンジン回転数の有効化、無効化、または保存に使用します。
- 「**n/min 2**」、エンジン設定回転数 2 は、起動後に自動的に設定されたエンジン回転数の有効化、無効化、または保存に使用します。

表示灯：
有効になったエンジン回転数メモリが図のように表示されます。

エンジン回転数の設定と保存：
保存するには、アクセルレバーまたはアクセルペダルでエンジン回転数を設定し、ビープ音が聞こえるまで「**n/min 1**」または「**n/min 2**」を押します。

エンジン設定回転数 1 または 2 は、エンジンメニューから設定することもできます。「エンジンメニュー」(セクション 20) を参照してください。

エンジン設定回転数「n/min 1」または「n/min 2」の有効化/無効化：
いずれかの設定回転数ボタンを押すと、エンジン回転数は関連する設定に自動的に変化します。エンジンコントロールユニットにより、エンジン回転数が一定に維持されます。コーナーポストディスプレイに、選択したエンジン設定回転数が表示されます。

ボタンをもう一度押すと、エンジン設定回転数が解除されます。エンジン回転数は、アクセルペダルまたはアクセルレバーにより指定されたエンジン回転数に合わせて調整されます。

注記： エンジン設定回転数を有効にすると、トランスミッションは手動モードに切り替わります。エンジン設定回転数は、トランスミッションが手動モードに設定されている場合、または移動の方向が「ニュートラル」に設定されている場合にのみ使用できます。自動モードに切り替えると、エンジン設定回転数は無効になります。

OULXA64,6M,00055E8-40-28AUG23

PowrQuad™ PLUS トランスミッション - 寒冷時の操作



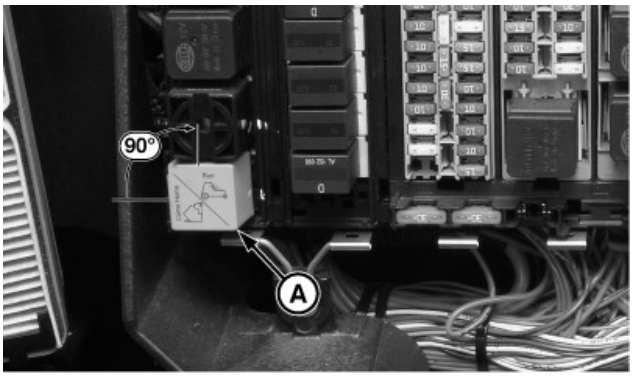
LX374427—UN—05JUN19

約 0°C (32°F) 未満の冷えたオイルは、リバースドライブレバーによる切り替えに影響する可能性があります。温度が -10°C (14°F) 未満では、進行方向の切り替えに時間がかかることがあります。+5 °C (41 °F) よりも低い場合は、エンジン回転数の自動調整が無効になります。

状況によっては、トラクターを動かす前にリバースドライブレバーを数回操作する必要があります。オイルが温まるまでの時間が経過すると、通常の操作が可能になります。

OULXA64,6M,00055E9-40-28AUG23

PowrQuad™ PLUS トランスミッション - カムホームモード



LX514956—UN—22NOV23

時計回りに *90°* 回転させたコネクタ

A：**コネクタ**

トランスミッションに電気的故障がある場合、トラクターをカムホームモードで運転することが可能です。

それには、エンジンを止め、コネクタ (A) (ヒューズ/リレーボックス) を取り外し、右に 90° 回して再度挿入します。

「*Come Home*」の文字を上にする必要があります。その後、エンジンを再始動します。

セクション 220B のヒューズとリレー (LCS) および (FRM) も参照してください。

注記： カムホームモードでは、次のような制限があります：

1. *エンジン回転数は 1500 rpm に制限されます。*
2. *ソフトウェアバージョンに応じて、各レンジで最初または 3 番目のギヤのみを使用できます。*
3. *クラッチボタンは無効です。*
4. *機械を停止して、クラッチペダルを踏み込んだ場合のみ、方向を変えることができます。*

発進するには、次の手順に従います：

1. 情報ディスプレイの指示に従ってください。
2. クラッチペダルを踏み続けます。
3. 必要なレンジを選択します。
4. リバースドライブレバーで必要な移動方向を有効にします。
5. クラッチペダルを放して発進します。

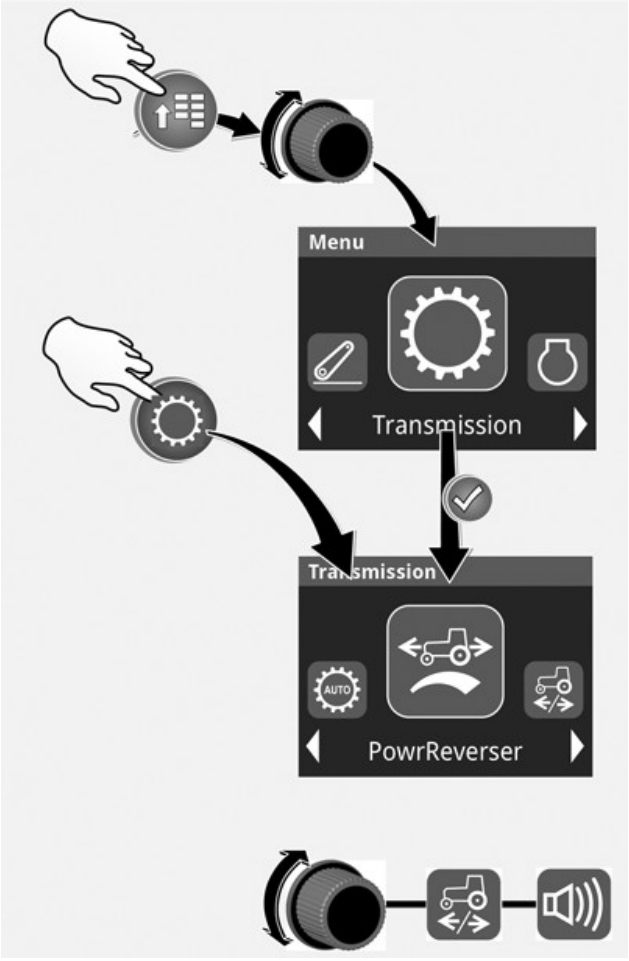
OULXA64,6M,00055EA-40-22SEP23

PowrQuad™ PLUS トランスミッション - トラクターの牽引

トラクターを牽引する必要がある場合は、「トラクターの牽引」(セクション 110) を参照してください。

oulxa64,6M,1690953288607-40-28AUG23

PowrQuad™ PLUS トランスミッション - メニュー

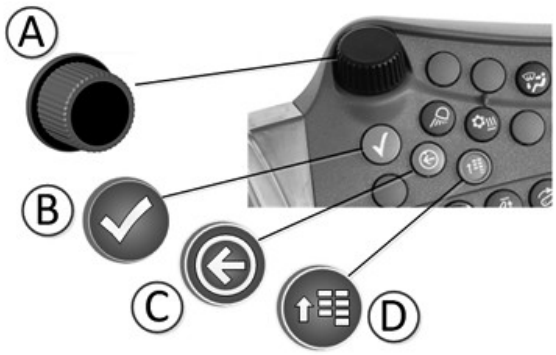


LX386851—UN—19AUG19

「トランスミッション」メニューにアクセスするには、次の 2 つの方法があります：

- 「トランスミッション」ボタンで「トランスミッション」メニューを呼び出します。
- メインメニューから「トランスミッション」メニューに移動します。

移動と設定の基本コントロール：



LX361250—UN—17DEC18

A：**選択と設定**
B：**選択の確定**
C：**1 ステップ戻る**
D：**メインメニューへのアクセス**

OULXA64,6M,00055EB-40-28AUG23

「トランスミッション」メニューの絵記号



RXA0152950—UN—21JUL16

PowrReverser™ の選択



RXA0152953—UN—21JUL16

後進/前進比の選択

OULXA64,6M,00055EC-40-11SEP20

PowrQuad™ PLUS トランスミッション - PowrReverser™



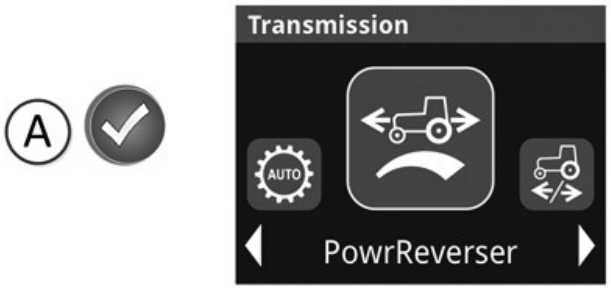
RXA0152950—UN—21JUL16

PowrReverser™ アイコン

PowrReverser™ 変調は、方向変更の感応度を設定します。変調は 1～10 の範囲で設定できます。

「1」の設定は最小の感度で、精密な制御と滑らかな方向変更が必要な用途に使用します。設定「10」は最高の感応度で、すばやい方向変更が必要な高生産性の用途で使用されます。

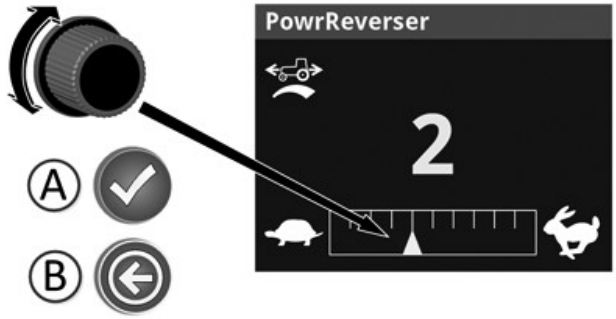
1. トランスミッションメニューで PowrReverser™ にアクセスします。「PowrQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。



LX361251—UN—19DEC18

A：**確定**

3. 方向変更の感度を設定して、(A) を押して確定します。「1」は感度が低で、「10」は感度が高です。



LX361252—UN—19DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,6M,00055ED-40-28AUG23

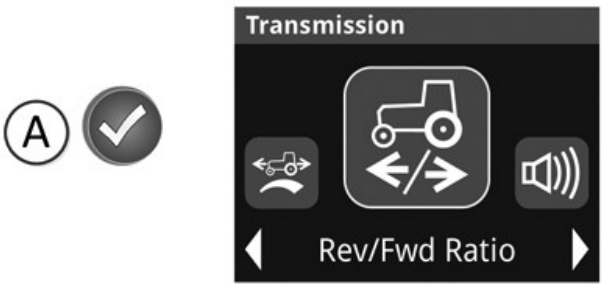
PowrQuad™ PLUS トランスミッション - 後進/前進比



RXA0152953—UN—21JUL16
「後進/前進速度比」アイコン

方向を前進から後進に変更するときは、より高いギヤまたはより低いギヤへの自動変速を選択できます。自動変速は、フロントローダー作業中に発生する運転操作などで役立ちます。

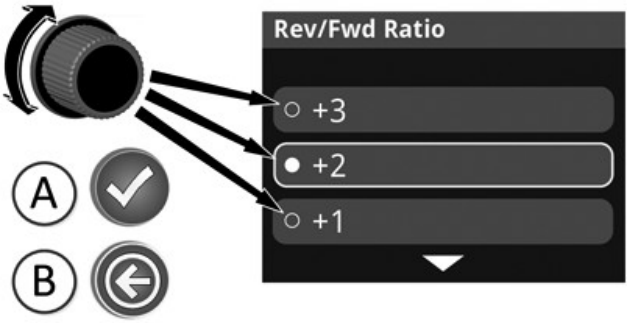
1. 「トランスミッション」メニューの「前進/後退比」にアクセスするには、「AutoQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。



LX361270—UN—19DEC18

A：**確定**

3. 自動的に切り替えるギヤ数を選択して (A) で確定します。*選択肢「+1」、「+2」などは、後進への方向変更中にシフトアップまたはシフトダウンするギヤ数を意味します。*



LX361271—UN—19DEC18

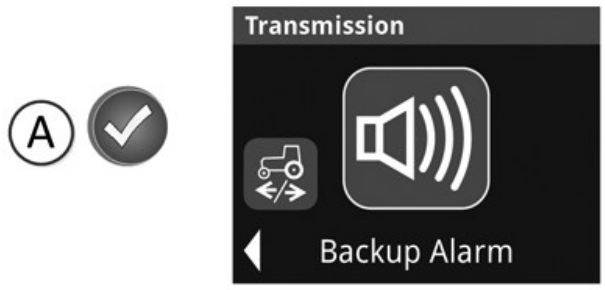
A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,6M,00055EE-40-28AUG23

PowrQuad™ PLUS トランスミッション - バックアップアラーム

バックアップアラームを使用すると、事故防止に役立ちます。また、地域の法律によって必要になる場合があります。バックアップアラームが作動すると、移動の方向を後進に命令したときに警報音が鳴ります。警報音は後進走行しているトラクターの近くの人に警告します。

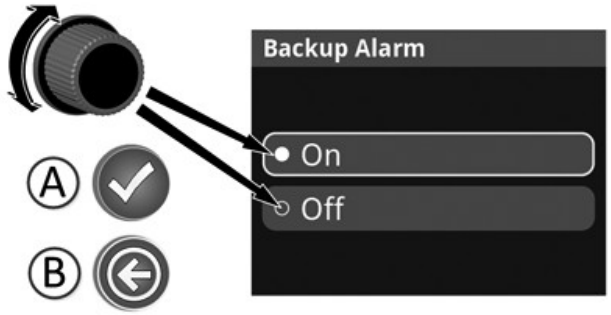
1. 「トランスミッション」メニューの「バックアップアラーム」にアクセスします。「PowrQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。



LX361272—UN—19DEC18

A：**確定**

3. バックアップアラームを ON または OFF に切り替えて、(A) で確定します。



LX361269—UN—19DEC18

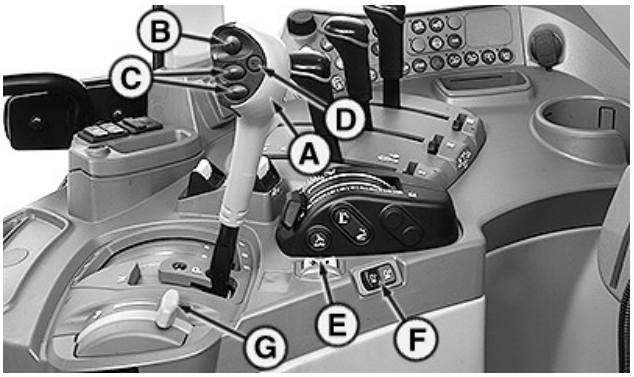
A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,6M,00055EF-40-28AUG23

AutoQuad™ PLUS トランスミッション

AutoQuad™ PLUS トランスミッション — コントロール

注意： エンジン運転中にレンジが選択されている場合、リバースドライブレバーを操作すると、トラクターが動き始めます。



LX364212—UN—18JAN19

副変速レバーとギヤスイッチ

A：**副変速レバー**
B：**クラッチボタン**
C：**ギヤシフトボタン**
D：**自動ギヤシフトボタン**
E：**ギヤスイッチ (追加)**
F：**エンジン設定回転数 1/2**
G：**アクセルレバー**



LX364211—UN—18JAN19

H：**リバースドライブレバー**

その他の設定については、セクション 50G を参照してください：

- AutoQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー
- 「トランスミッション」メニューの絵記号
- AutoQuad™ PLUS トランスミッション、トランスミッションモード
- AutoQuad™ PLUS トランスミッション、PowrReverser™
- AutoQuad™ PLUS トランスミッション、後進/前進比
- AutoQuad™ PLUS トランスミッション、バックアップアラーム

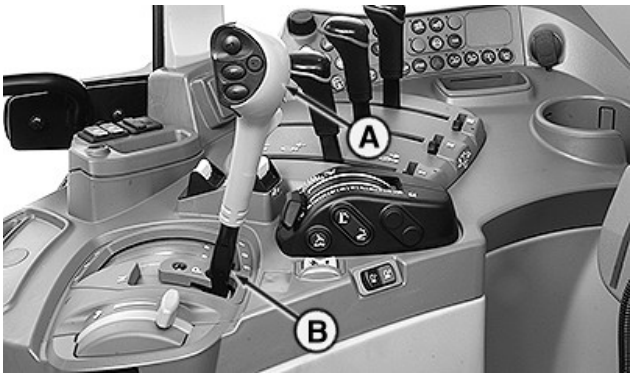
OULXA64,6M,00055F0-40-28AUG23

AutoQuad™ PLUS トランスミッション — 駐車ブレーキロック

重要： トランスミッションの損傷を防止してください。

不適切な操作によりトランスミッションに高い負荷がかかって、物理的損害の原因になることがあります。

駐車ブレーキロックはトラクターが静止しているときにのみかけてください。



LX364214—UN—18JAN19

レバー位置 (B) - 駐車ブレーキロック作動済み

- トラクターが動き出さないようにします。
- 動いていない (静止している) トラクターでの作業用。

トラクターを駐車するには、次の手順に従います：

1. トラクターを静止状態にします。
2. 移動の方向を「ニュートラル」に切り替えます。
3. 副変速レバー (A) を図に示すレバーの位置 (B) に動かして、駐車ブレーキロックがかかるまで保持します。

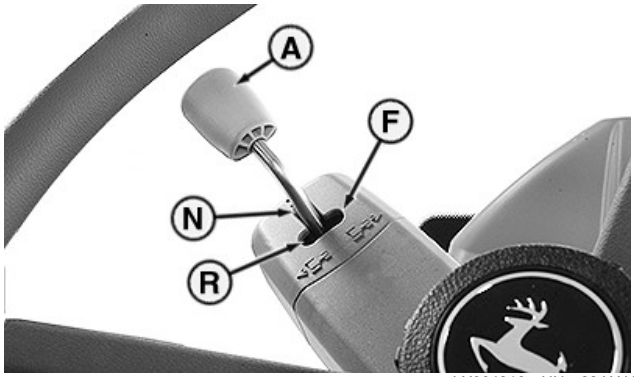
駐車ブレーキロックがかかっているときは、コーナーポストディスプレイに移動の方向 (N/F/R) は表示されません。

OULXA64,6M,00055F1-40-28AUG23

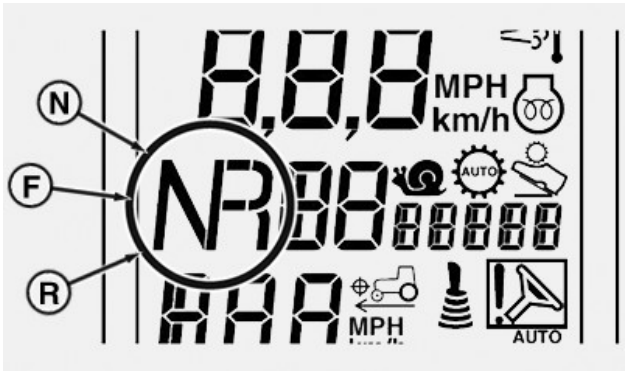
AutoQuad™ PLUS トランスミッション — リバースドライブレバー

重要： 表示されている切り替え位置だけを使用できます。手動で中間位置に保持すると故障する場合があります。

移動の方向を変更するためにクラッチを操作する必要はありません。



LX364216—UN—22JAN19



LX364217—UN—23JAN19

移動方向の表示

リバースドライブレバー (A) をシフト位置にして放すと、図の中心位置に自動的に戻ります。選択した移動の方向が有効になり、レンジが接続されると、トラクターはすぐに動き始めます。

次のいずれかの状況が発生するまで、移動の方向は有効なままです：

- 別の移動方向を選択する。
- スイッチ位置 (N) を選択する。
- 駐車ブレーキロックをかける。
- エンジンを OFF にする。

エンジンの始動時に移動の方向を指令していない。トランスミッションは、自動的にニュートラルに設定され、ホイールは駆動されません。

動作位置：

(N) - ニュートラル

移動の方向は、自動的にニュートラルに設定され、ホイールは駆動されません。コーナーポストディスプレイには ***N*** が表示されます。

(F) - 前進走行

前進走行の移動方向が有効になり、ホイールが駆動されます。コーナーポストディスプレイには ***F*** が表示されます。

(R) - 後進走行

後進走行が有効になり、ホイールが駆動されます。コーナーポストディスプレイには ***R*** が表示されます。

トラクターを運転するには、次の手順に従います：

1. クラッチを踏み込みます。
2. 副変速レバーを使用してレンジを選択します。
3. リバースドライブレバーで必要な移動方向を指定します。

   フロントローダーの電気式ジョイスティックも使用できます (装備されている場合)。「電気式ジョイスティック - コントロール」(セクション 70D) を参照してください。
4. クラッチを放して走行を開始します。

ニュートラルシフト位置が有効になっている場合、トラクターは惰行します。



LX364209—UN—22JAN19

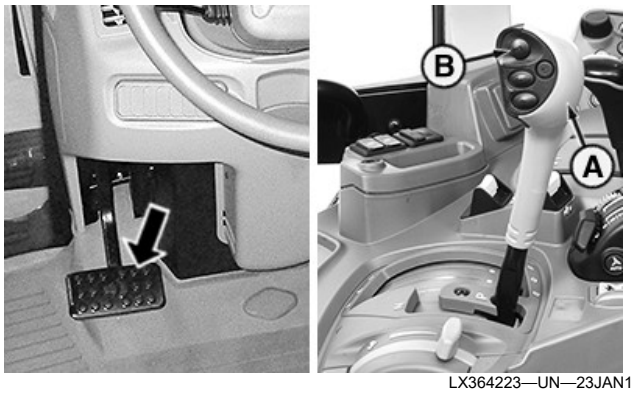
トラクターを停止するときに、副変速レバーを「ニュートラル」のシフトゲート (A) に入れる場合は、次の点に注意してください：

1. 選択した移動方向は有効なままです。
2. トラクターは惰性で動きます。
3. レンジを選択すると、トラクターは有効な移動の方向にすぐに動きます。

OULXA64,6M,00055F2-40-29AUG23

AutoQuad™ PLUS トランスミッション — 副変速レバー

ギヤをシフトするためにクラッチペダルまたはクラッチボタン (B) を使用しないでください。



LX364223—UN—23JAN19

A：**副変速レバー**
B：**クラッチボタン**

レンジをシフトするには、クラッチペダルを踏むか、クラッチボタンを押す必要があります。各レンジは 4 つのギヤで構成されています。

トランスミッションに応じて、次のレンジを使用できます：

- 16/16 トランスミッション、A から D までの 4 つのレンジ
- 20/20 トランスミッション、A から E までの 5 つのレンジ
- 24/24 トランスミッション、A から F までの 6 つのレンジ

各レンジは特定の速度レンジに対応し、特定の作業向けに設計されています：

- **レンジ A**： 一次耕うん用。
- **レンジ B**： リア PTO による二次耕うん、ローダー、噴霧作業用。
- **レンジ C**： ローダーおよび噴霧作業、播種、刈り取り、施肥、および圃場での輸送作業用。
- **レンジ D**、**E**、**F**： 輸送作業用。

注記： 移動速度については、セクション 50D を参照してください。

発進するには、次の手順に従います：

1. クラッチを踏み込みます。
2. 副変速レバー (A) を使用してレンジを選択します。
3. リバースドライブレバーで必要な移動方向を有効にします。
4. クラッチを放して走行を開始します。



LX364209—UN—22JAN19

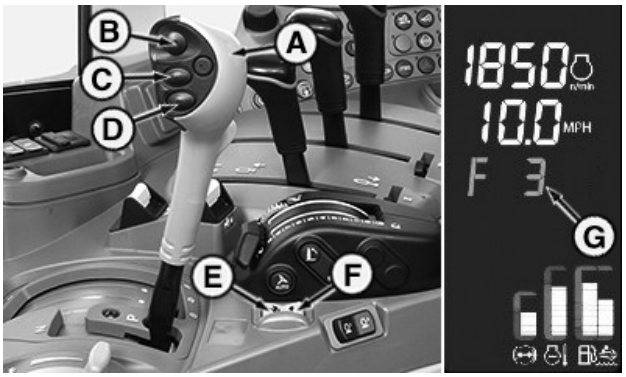
トラクターを停止するときに、副変速レバーを「ニュートラル」のシフトゲート (A) に入れる場合は、次の点に注意してください：

1. 選択した移動方向は有効なままです。
2. トラクターは惰性で動きます。
3. レンジを選択すると、トラクターは有効な移動の方向にすぐに動きます。

OULXA64,6M,00055F3-40-28AUG23

AutoQuad™ PLUS トランスミッション — ギヤシフトボタン

ギヤをシフトするためにクラッチペダルまたはクラッチボタン (B) を使用しないでください。

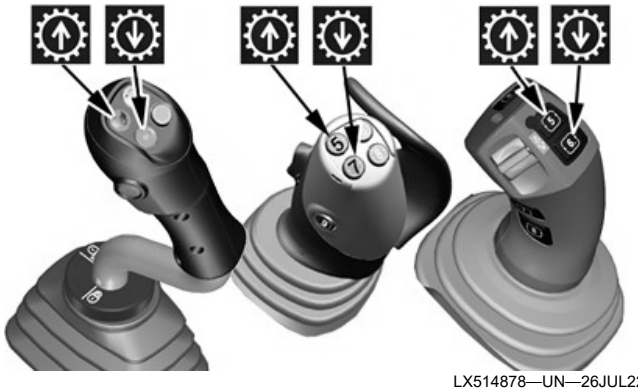


LX364219—UN—29JAN19

A：**副変速レバー**
B：**クラッチボタン**
C：**ギヤシフトボタン、シフトアップ**
D：**ギヤシフトボタン、シフトダウン**
E：**ギヤシフト、シフトアップ**
F：**ギヤシフト、シフトダウン**
G：**選択されたギヤ**

ギヤは、ギヤシフトボタン (C)/(D) またはシフト位置 (E)/(F) によりシフトアップ/ダウンできます。*選択したギヤ (G) がコーナーポストディスプレイに表示されます。*

ジョイスティック装備のトラクターでは、ギヤシフトボタン UP ▲ と DOWN ▼ を使用してギヤをシフトアップ/ダウンできます。



LX514878—UN—26JUL22

機械式ジョイスティック/電気式ジョイスティックバージョン *1* およびバージョン *2*

低負荷運搬に最適なシフト：

1. 負荷条件下での運転に適したレンジを選択します。
2. 1 速ギアに入れます。

3.運転し、トップレンジに達するまでレンジをシフトアップします。
4.ギヤをシフトアップします。

高負荷運搬に最適なシフト：

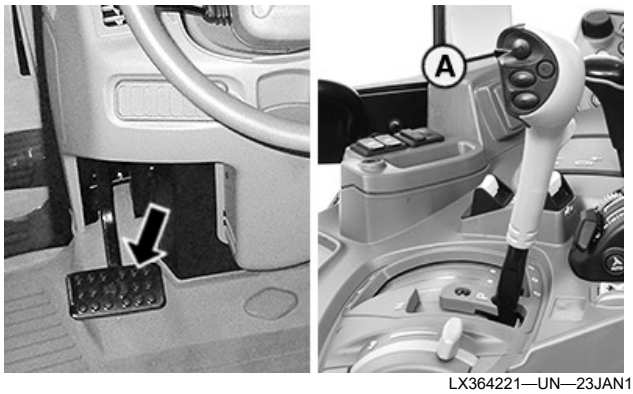
1.負荷条件下での運転に適したレンジを選択します。
2.1 速ギアに入れます。
3.トップギアに達するまで運転しながらギアをシフトアップします。
4.次のレンジを選択します。スピードマッチングにより、対地速度に対応するギアが自動的に選択されます。
5.適切な移動速度に達するまでギヤをシフトアップしてレンジを切り替えます。

速度信号がない場合の制限

速度信号がないことをコントロールユニットが検出すると、各レンジの最初の 3 つのギヤしか使用できなくなります。

OULXA64,6M,00055F4-40-28AUG23

AutoQuad™ PLUS トランスミッション — クラッチペダルとクラッチボタン



LX364221—UN—23JAN19

クラッチペダルを踏み込むか、クラッチボタン (A) を押します。

► クラッチが解除され、レンジをシフトできるか、トラクターを停止させることができます。

クラッチペダルまたはクラッチボタン (A) を放します。

► クラッチが変調によりかみ合い、動力が後輪に伝達されます。

シートスイッチ (オペレーター着座スイッチ) 装備のトラクターでは、次のようになります。

3 秒以内にクラッチボタンを放してもトラクターは動き出しません：

- 運転席に荷重がかかっていない。
- クラッチまたはブレーキペダルを操作していない。

情報表示のメッセージを確認してください。

トラクターを動かすには：

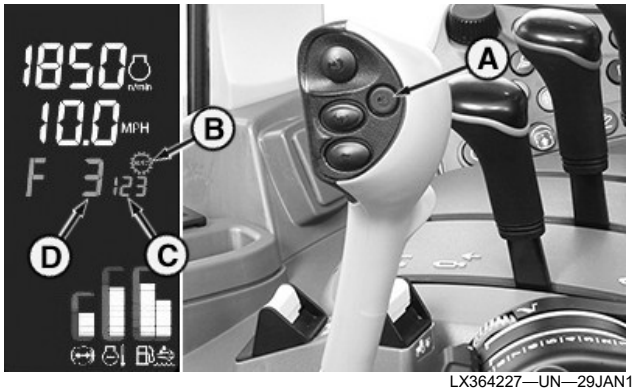
1.リバースドライブレバーで「ニュートラル」位置にします。
2.必要な移動の方向を有効にします。

注記： クラッチボタンは、トラクターを作業機までクリープ走行させるのに適していません。

アドレス TIQ167 を使用すると、クラッチボタンを有効または無効にすることができます。「診断アドレスの入力 (顧客レベル)」(セクション 300B) を参照してください。

OULXA64,6M,00055F5-40-28AUG23

AutoQuad™ PLUS トランスミッション — 自動ギヤシフト



LX364227—UN—29JAN19

A：**自動ボタン**
B：**絵記号、自動ギヤシフト**
C：**使用可能なギヤ**
D：**選択されたギヤ**

ボタン (A) を 1 回押すと、自動シフトが起動します。コーナーポストディスプレイに絵記号 (B)、使用可能なギヤ (C)、現在選択しているギヤ (D) が表示されます。

エンジン回転数が上側しきい値または下側しきい値に達すると、使用可能なギヤ (C) は自動的にシフトアップまたはシフトダウンされます。シフトのタイミングは、選択した操作モードによって異なります。

以下の操作モードを設定できます：

- **エコノミーモード**
- **パワーモード**
- **中間の設定**

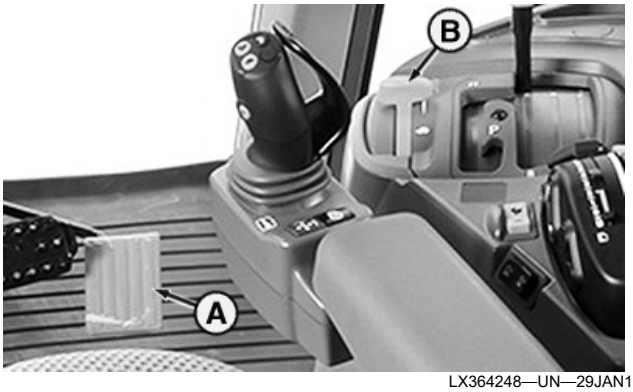
このセクションの「AutoQuad™ PLUS トランスミッション、トランスミッションモード」を参照してください。

重要：**「エコノミーモード」は、圃場での軽作業や牽引負荷が軽い場合の道路走行にのみ適しています。**

自動シフト機能はボタン (A) をもう 1 回押すか、ギヤを手動で選択すると無効化できます。

OULXA64,6M,00055F6-40-28AUG23

AutoQuad™ PLUS トランスミッション — アクセルペダルとアクセルレバー



LX364248—UN—29JAN19

A：**アクセルペダル**
B：**アクセルレバー**

速度はアクセルペダルとアクセルレバーで制御します。制御に使用する信号は、常に、高いエンジン回転数を命令する信号です。

エンジン回転数は、アクセルレバーを特定の値にして設定できます。

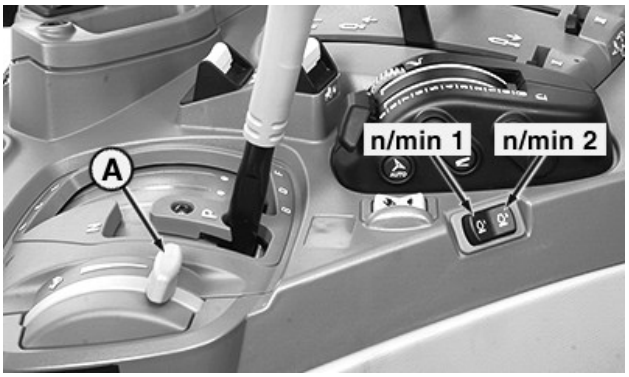
アクセルペダルまたはアクセルレバーを動かして高いエンジン回転数を命令すると、エンジン回転数が上がります。

前進または後進走行が有効な場合は、アクセルペダルまたはアクセルレバーを使用して移動速度を調整できます。車両の現在の移動速度は、アクセルペダルまたはアクセルレバーの位置によって直接決まります。

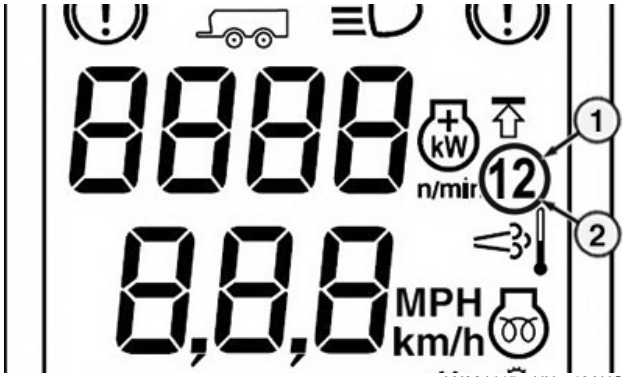
OULXA64,6M,00055F7-40-28AUG23

AutoQuad™ PLUS トランスミッション - エンジン設定回転数

アクセルレバー (A) またはアクセルペダルを使用して、エンジン回転数を調整します。



LX364224—UN—23JAN19



LX364415—UN—19AUG19

- 「**n/min 1**」、エンジン設定回転数 1 は、起動後に自動的に設定されたエンジン回転数の有効化、無効化、または保存に使用します。
- 「**n/min 2**」、エンジン設定回転数 2 は、起動後に自動的に設定されたエンジン回転数の有効化、無効化、または保存に使用します。

表示灯：
有効になったエンジン回転数メモリが図のように表示されます。

エンジン回転数の設定と保存：
保存するには、アクセルレバーまたはアクセルペダルでエンジン回転数を設定し、ビープ音が聞こえるまで「**n/min 1**」または「**n/min 2**」を押します。

エンジン設定回転数 1 または 2 は、エンジンメニューから設定することもできます。「エンジンメニュー」(セクション 20) を参照してください。

エンジン設定回転数「n/min 1」または「n/min 2」の有効化/無効化：
いずれかのボタンを押すと、エンジン回転数は保存されている値に自動的に設定されます。エンジン制御で、エンジン回転数が一定に維持されます。コーナーポストディスプレイに、選択したエンジン設定回転数が表示されます。

ボタンをもう一度押すと、エンジン設定回転数が解除されます。エンジン回転数は、アクセルペダルまたはアクセルレバーにより指定されたエンジン回転数に合わせて調整されます。

注記： エンジン設定回転数が有効な場合、アクセルレバーおよびアクセルペダルによりエンジン回転数をエンジン設定回転数の値よりも上に一時的に上げることができます。

注記： エンジン設定回転数を有効にすると、トランスミッションは手動モードに切り替わります。エンジン設定回転数は、トランスミッションが手動モードの場合、またはトランスミッションをニュートラル位置に設定している場合にのみ使用できます。自動モードに切り替えると、設定回転数は無効になります。

OULXA64,6M,00055F8-40-28AUG23

AutoQuad™ PLUS トランスミッション — 寒冷時の操作



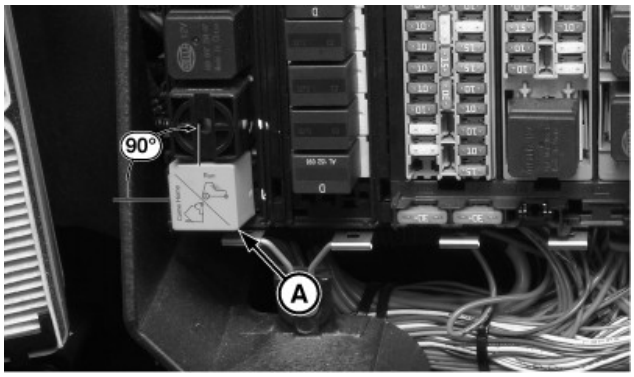
LX374427—UN—05JUN19

約 0°C (32°F) 未満の冷えたオイルは、リバースドライブレバーによる切り替えに影響する可能性があります。温度が -10°C (14°F) 未満では、進行方向の切り替えに時間がかかることがあります。+5 °C (41 °F) よりも低い場合は、エンジン回転数の自動調整が無効になります。

状況によっては、トラクターを動かす前にリバースドライブレバーを数回操作する必要があります。オイルが温まるまでの時間が経過すると、通常の操作が可能になります。

OULXA64,6M,00055F9-40-28AUG23

AutoQuad™ PLUS トランスミッション — カムホームモード



LX514956—UN—22NOV23

時計回りに *90°* 回転させたコネクタ

A : **コネクタ**

トランスミッションに電気的故障がある場合、トラクターをカムホームモードで運転することが可能です。

それには、エンジンを止め、コネクタ (A) (ヒューズ/リレーボックス) を取り外し、右に 90° 回して再度挿入します。

「*Come Home*」の文字を上にする必要があります。その後、エンジンを再始動します。

セクション 220B のヒューズとリレー (LCS) および (FRM) も参照してください。

注記： カムホームモードでは、次のような制限があります：

1. *エンジン回転数は 1500 rpm に制限されます。*
2. *ソフトウェアバージョンに応じて、各レンジで最初または 3 番目のギヤのみを使用できます。*
3. *クラッチボタンは無効です。*
4. *機械を停止して、クラッチペダルを踏み込んだ場合のみ、方向を変えることができます。*

発進するには、次の手順に従います：

1. 情報ディスプレイの指示に従ってください。
2. クラッチペダルを踏み続けます。
3. 必要なレンジを選択します。
4. リバースドライブレバーを使って走行方向を選択します。
5. クラッチペダルを放して発進します。

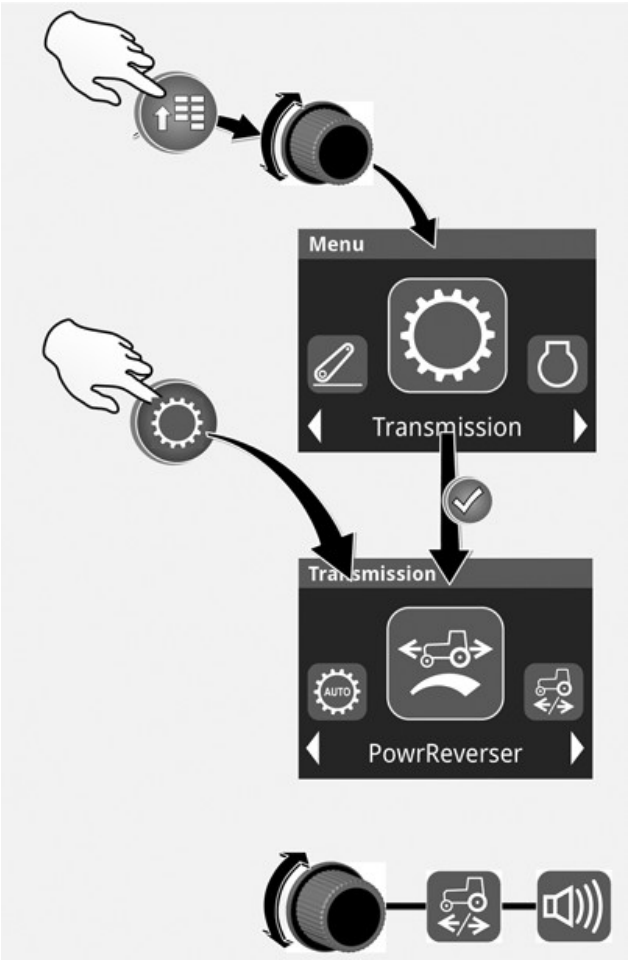
OULXA64,6M,00055FA-40-22SEP23

AutoQuad™ PLUS トランスミッション — トラクターの牽引

トラクターを牽引する必要がある場合は、「トラクターの牽引」(セクション 110) を参照してください。

oulxa64,6M,1690952772371-40-28AUG23

AutoQuad™ PLUS トランスミッション - メニュー

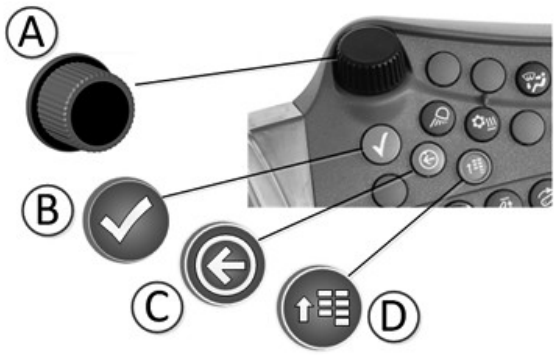


LX368297—UN—15AUG19

「トランスミッション」メニューにアクセスするには、次の 2 つの方法があります：

- 「トランスミッション」ボタンで「トランスミッション」メニューを呼び出します。
- メインメニューから「トランスミッション」メニューに移動します。

移動と設定の基本コントロール：



LX361250—UN—17DEC18

A：**選択と設定**
B：**選択の確定**
C：**1 ステップ戻る**
D：**メインメニューへのアクセス**

OULXA64,6M,00055FB-40-28AUG23

「トランスミッション」メニューの絵記号



RXA0152950—UN—21JUL16

PowrReverser™ の選択



RXA0152953—UN—21JUL16

後進/前進比の選択

OULXA64,6M,00055FC-40-11SEP20

AutoQuad™ PLUS トランスミッション - トランスミッションモード

トランスミッションモードの設定により、エンジン回転数に応じて自動シフトポイントを調整できます。

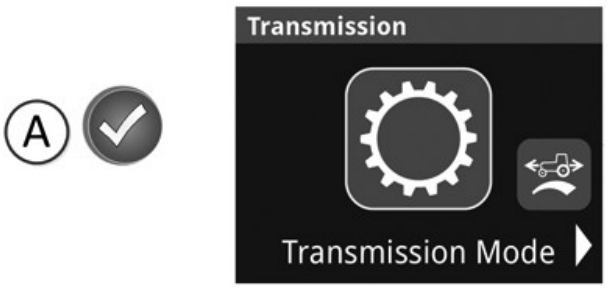
早期のシフトアップと遅いシフトダウンにより、軽作業中の燃料使用量が少なくなります。

遅いシフトアップと早期のシフトダウンにより中程度から重負荷の作業での性能低下を防ぎます。

重要： **重負荷での運転時は、シフト後に高いモーター出力が発生するように「PWR」設定を選択することをお勧めします。**

「ECO」設定は、圃場での軽作業と牽引負荷が重くない場合の道路での運転にのみ適しています。

1. 「トランスミッション」メニューの「トランスミッションモード」にアクセスするには、「AutoQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。



LX368298—UN—19DEC18

A：**確定**

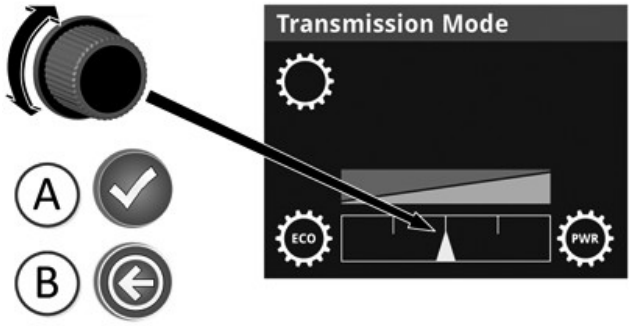
3. 設定を選択して (A) で確定します。

   ECO モード： アクセルレバー/アクセルペダルが最高速度の 85% 以上、エンジン回転数が約 1870 rpm 超で： トランスミッションがシフトアップします。
   アクセルレバー/アクセルペダルが最高速度の 55% 以上、エンジン回転数が 1300 rpm 未満で： トランスミッションがシフトダウンします。
   アクセルレバー/アクセルペダルが最高速度の 55% 未満、エンジン回転数が 1100 rpm 未満で： トランスミッションがシフトダウンします。

   パワーモード： アクセルレバー/アクセルペダルが最高速度の 85% 以上、エンジン回転数が約 2100 rpm 超で： トランスミッションがシフトアップします。
   アクセルレバー/アクセルペダルが最高速度の 55% 以上、エンジン回転数が 1720 rpm 未満で： トランスミッションがシフトダウンします。
   アクセルレバー/アクセルペダルが最高速度の 55% 未満、エンジン回転数が 1100 rpm 未満で： トランスミッションがシフトダウンします。

   中間設定：

   - さらに左に(「ECO」に向かって) 設定すると、トランスミッションはより低いエンジン回転数で次の高いギヤにシフトします。負荷が増加するにつれてエンジン回転数が下がると、トランスミッションは次に低いギヤに後でシフトします。
   - さらに右に (「PWR」に向かって) 設定すると、トランスミッションはより高いエンジン回転数の直前に次の高いギヤにシフトします。負荷が増加するにつれてエンジン回転数が下がると、トランスミッションは次に低いギヤにより早くシフトします。



LX368299—UN—19DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,6M,00055FD-40-28AUG23

AutoQuad™ PLUS トランスミッション — PowrReverser™

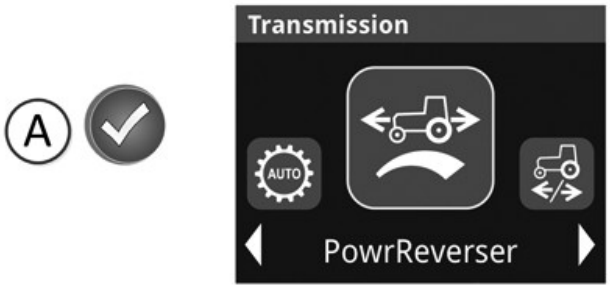


RXA0152950—UN—21JUL16
PowrReverser™ アイコン

PowrReverser™ 変調は、方向変更の感応度を設定します。変調は 1 ~ 10 の範囲で設定できます。

「1」の設定は最小の感度で、精密な制御と滑らかな方向変更が必要な用途に使用します。設定「10」は最高の感応度で、すばやい方向変更が必要な高生産性の用途で使用されます。

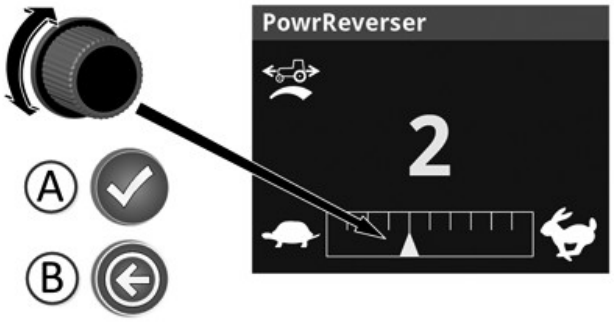
1. 「トランスミッション」メニューの「PowrReverser™」にアクセスするには、「AutoQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。



LX361251—UN—19DEC18

A：**確定**

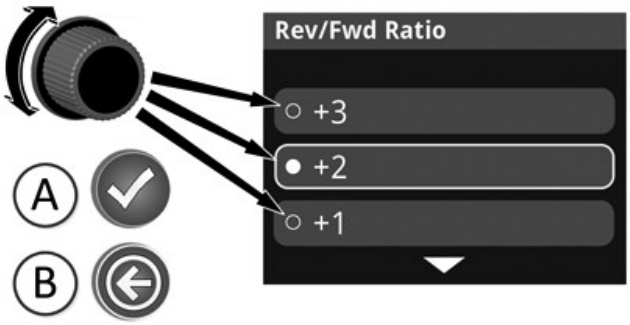
3. 方向変更の感度を設定して、(A) を押して確定します。「1」は感度が低で、「10」は感度が高です。



LX361252—UN—19DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,6M,00055FE-40-28AUG23



LX361271—UN—19DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,6M,00055FF-40-28AUG23

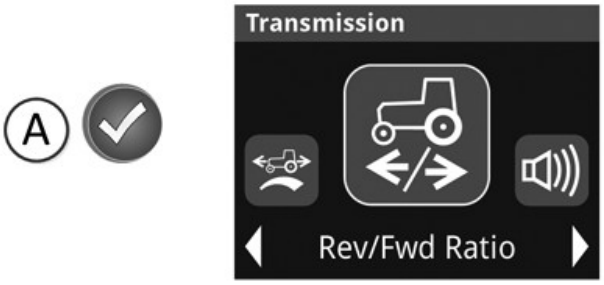
AutoQuad™ PLUS トランスミッション — 後進/前進比



RXA0152953—UN—21JUL16
「後進/前進速度比」アイコン

方向を前進から後進に変更するときは、より高いギヤまたはより低いギヤへの自動変速を選択できます。自動変速は、フロントローダー作業中に発生する運転操作などで役立ちます。

1. 「トランスミッション」メニューの「前進/後退比」にアクセスするには、「AutoQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。



LX361270—UN—19DEC18

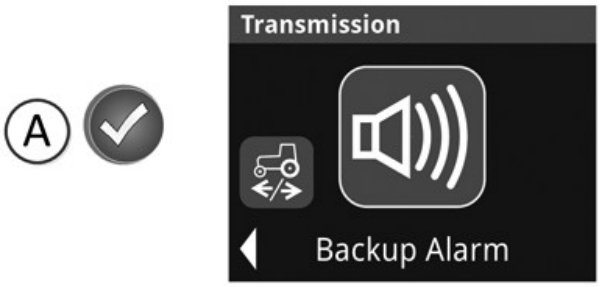
A：**確定**

3. 自動的に切り替えるギヤ数を選択して (A) で確定します。*選択可能なパラメータ「+1」、「+2」などは、後進への方向変更中にシフトアップまたはシフトダウンするギヤ数を意味します。*

AutoQuad™ PLUS トランスミッション - バックアップアラーム

バックアップアラームを使用すると、事故防止に役立ちます。また、地域の法律によって必要になる場合があります。バックアップアラームが作動すると、移動の方向を後進に命令したときに警報音が鳴ります。警報音は後進走行しているトラクターの近くの人に警告します。

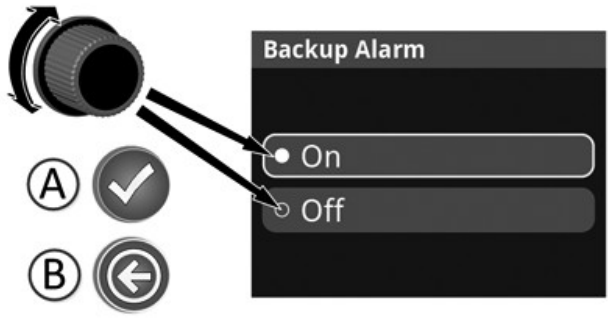
1. 「トランスミッション」メニューの「バックアップアラーム」にアクセスします。「AutoQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。



LX361272—UN—19DEC18

A：**確定**

3. バックアップアラームを ON または OFF に切り替えて、(A) で確定します。



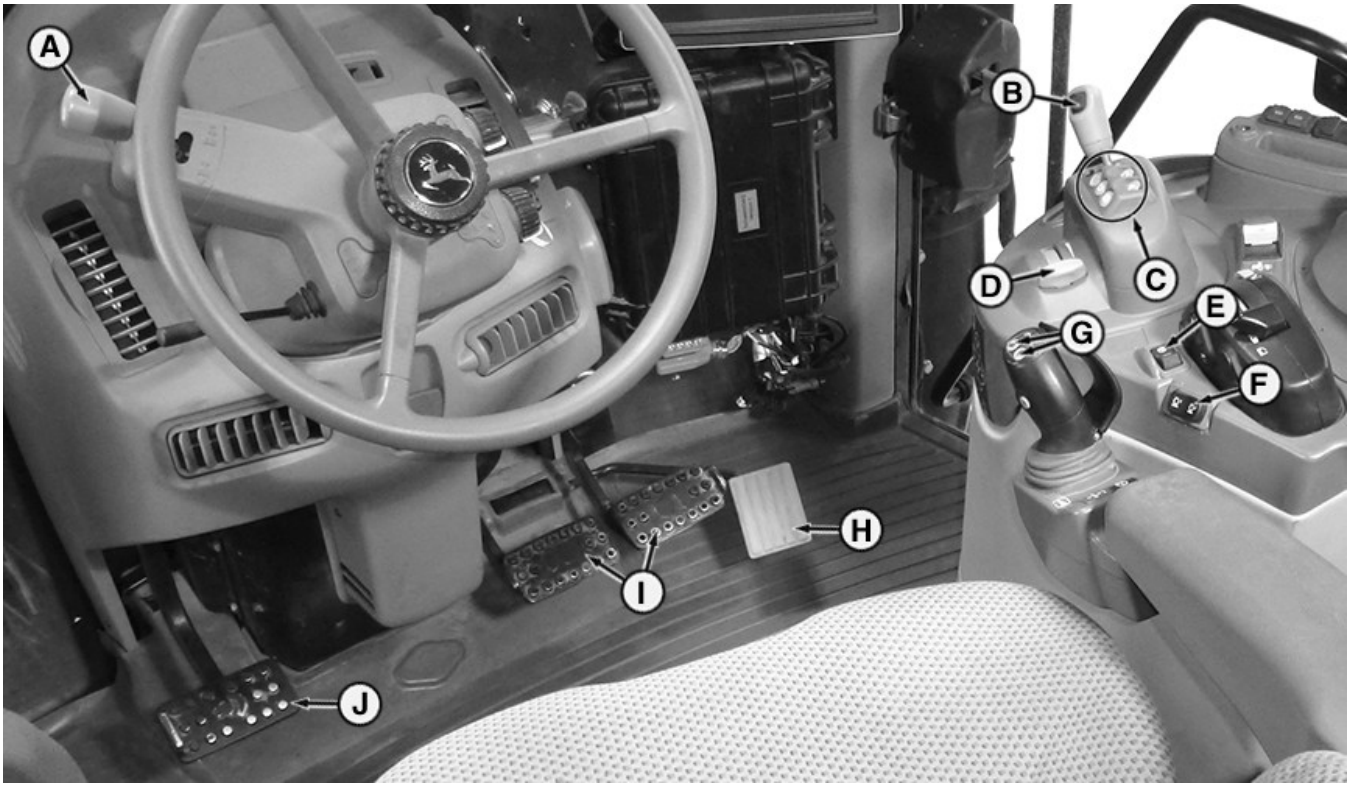
LX361269—UN—19DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,6M,0005600-40-28AUG23

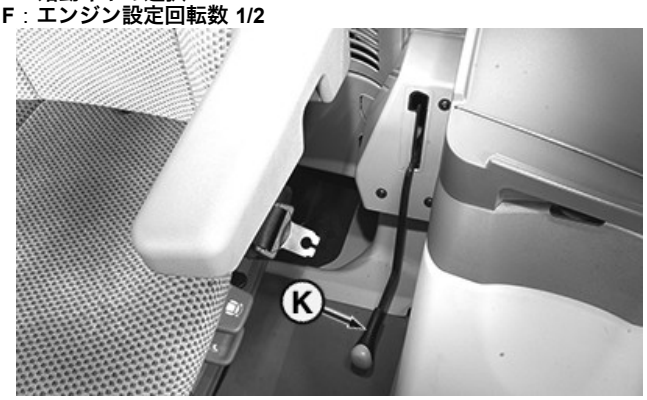
CommandQuad™ PLUS トランスミッション

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - CommandARM™ 非装備のコントロール



LX364234—UN—28JAN19

A：**リバースドライブレバー**
B：**シフトレバー**
C：**レンジシフトユニット**
D：**アクセルレバー**
E：**始動ギヤの選択**
F：**エンジン設定回転数 1/2**



LX364236—UN—28JAN19

K：**駐車ブレーキロックのコントロールレバー**

その他の設定については、セクション 50H を参照してください：

- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー
- 「トランスミッション」メニューの絵記号

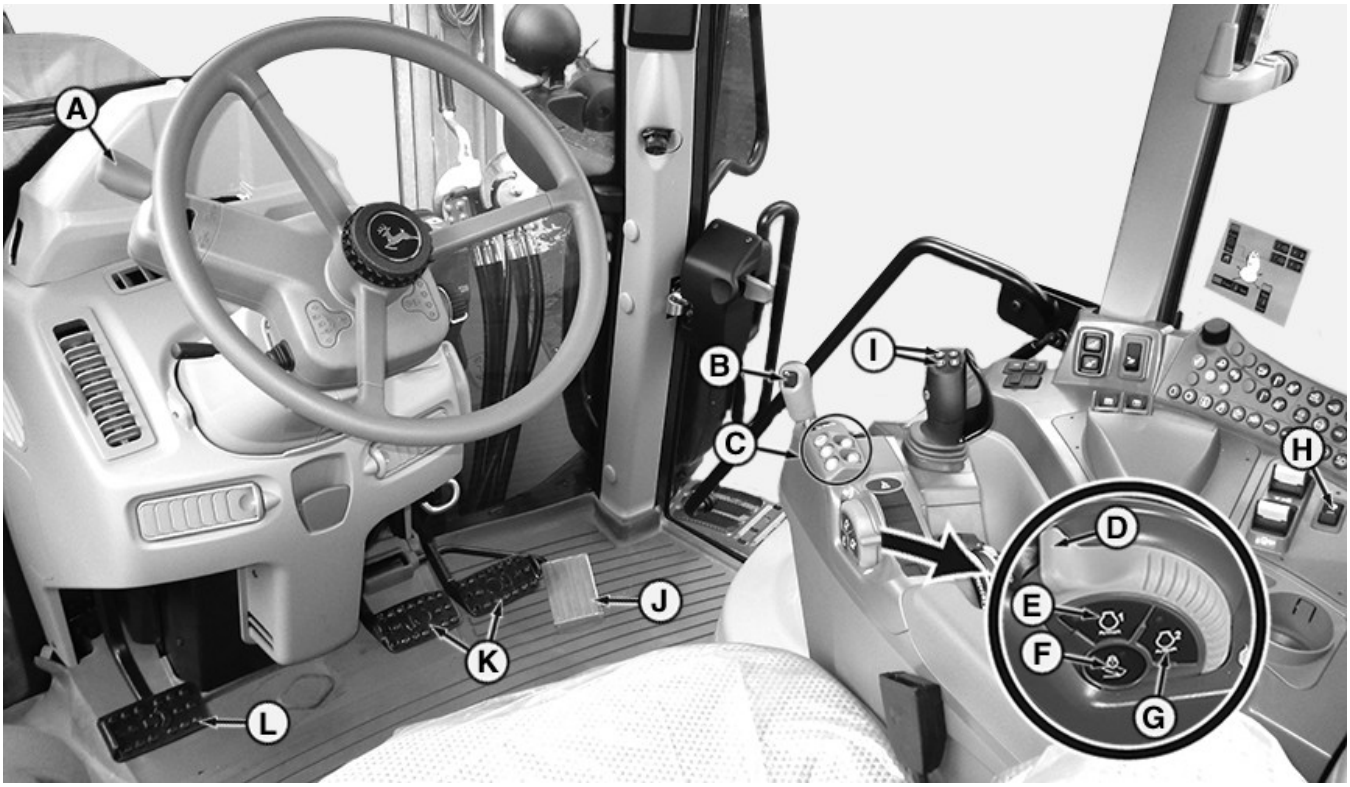
G：**ジョイスティックのシフトアップ/シフトダウン用ギヤシフトボタン**[1]
H：**アクセルペダル**
I：**ブレーキペダル**
J：**クラッチペダル**

- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、始動ギヤ
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、PowrReverser™
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、後進/前進比
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、最低回転数
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、予測負荷
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、ドループ-PTO OFF/ON
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、オートクラッチ
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、バックアップアラーム

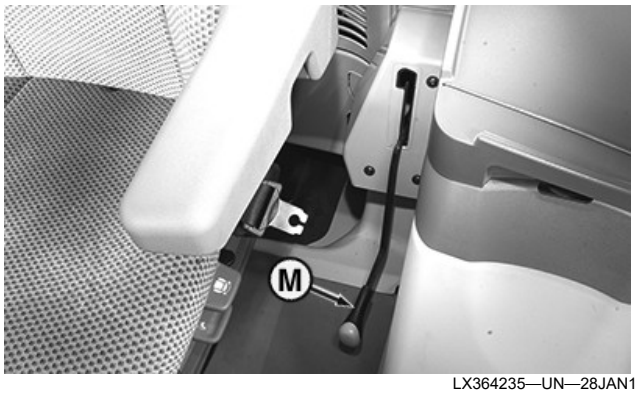
OULXA64,6M,0005601-40-28AUG23

[1] *装備されている場合*

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - CommandARM™ 装備のコントロール



LX364233—UN—28JAN19



LX364235—UN—28JAN19

A：**リバースドライブレバー**
B：**シフトレバー**
C：**レンジシフトユニット**
D：**アクセルレバー**
E：**エンジン設定回転数 1**
F：**アクセルペダル、ペダル位置の保存/削除**
G：**エンジン設定回転数 2**
H：**始動ギヤの選択**
I：**シフトアップ/シフトダウン用ギヤシフトボタン[2]**
J：**アクセルペダル**
K：**ブレーキペダル**
L：**クラッチペダル**
M：**駐車ブレーキロックのコントロールレバー**

その他の設定については、セクション 50H を参照してください：

- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー
- 「トランスミッション」メニューの絵記号
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、始動ギヤ
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、PowrReverser™
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、後進/前進比
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、最低回転数
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、予測負荷
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、ドループ-PTO OFF/ON
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、オートクラッチ
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション、バックアップアラーム

OULXA64,6M,0005602-40-28AUG23

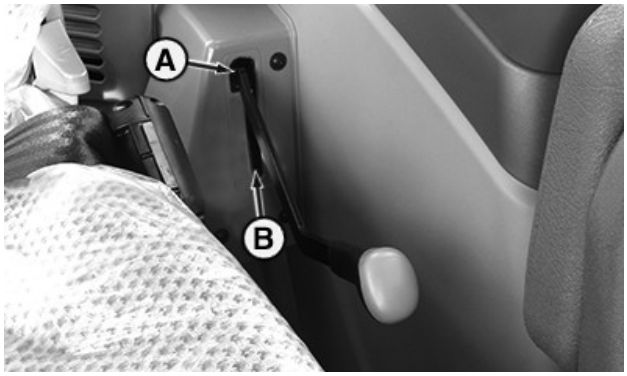
[2] *装備されている場合*

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - 駐車ブレーキロックのコントロールレバー

重要：**トランスミッションの損傷を防止してください。**

不適切な操作によりトランスミッションに高い負荷がかかって、物理的損害の原因になることがあります。

駐車ブレーキロックはトラクターが静止しているときにのみかけてください。



LX364237—UN—28JAN19

レバー位置 (A) - 駐車ブレーキロック作動済み

- トラクターが動き出さないようにします。
- 動いていない (静止している) トラクターでの作業用。

レバー位置 (B) - トラクターを運転する準備が整っています。

- コーナーポストディスプレイには *N* が表示されます。

注記：トラクターが静止している場合のみ、駐車ブレーキロックのコントロールレバーをレバー位置 (B) から動かすことができます。

トラクターを駐車するには、次の手順に従います：

1. トラクターを静止状態にします。
2. 移動の方向を「ニュートラル」に切り替えます。
3. 駐車ブレーキロックのコントロールレバーをレバー位置 (A) に動かして、駐車ブレーキロックがかかるまで保持します。

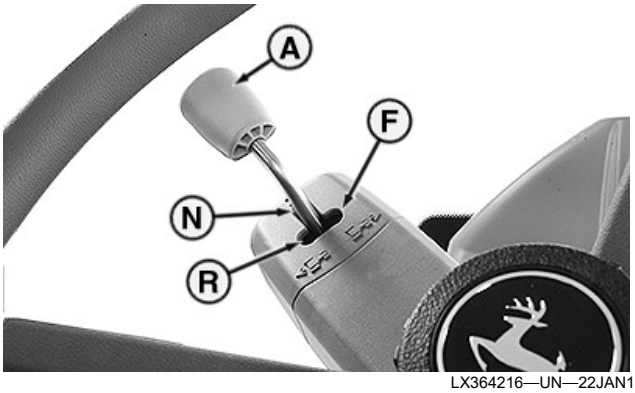
駐車ブレーキロックがかかっているときは、コーナーポストディスプレイに移動の方向 (N/F/R) は表示されません。

OULXA64,6M,0005603-40-28AUG23

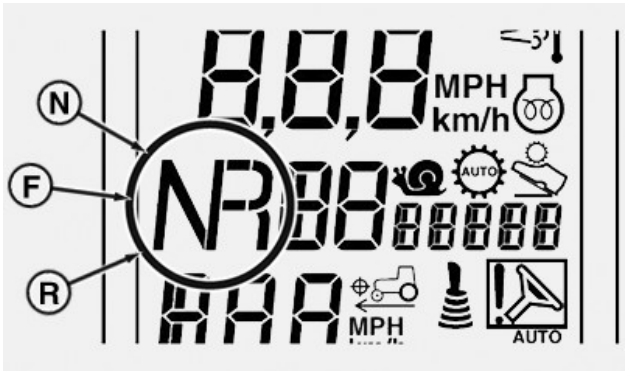
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - リバースドライブレバー

重要：**表示されている切り替え位置だけを使用できます。手動で中間位置に保持すると故障する場合があります。**

移動の方向を変更するためにクラッチを操作する必要はありません。



LX364216—UN—22JAN19



LX364217—UN—23JAN19

移動方向の表示

リバースドライブレバー (A) をシフト位置にして放すと、図の中心位置に自動的に戻ります。選択した移動の方向が有効になり、グループが接続されると、トラクターはすぐに動き始めます。

次のいずれかの状況が発生するまで、移動の方向は有効なままです：

- 別の移動方向を選択する。
- スイッチ位置 (N) を選択する。
- 駐車ブレーキロックをかける。
- エンジンをオフにする。

エンジンの始動時に移動の方向を指令していない。トランスミッションは、自動的にニュートラルに設定され、ホイールは駆動されません。

動作位置：

(N) - ニュートラル

移動の方向は、自動的にニュートラルに設定され、ホ

イールは駆動されません。コーナーポストディスプレイには ***N*** が表示されます。

(F) - 前進走行

前進走行の移動方向が有効になり、ホイールが駆動されます。コーナーポストディスプレイには ***F*** が表示されます。

(R) - 後進走行

後進走行が有効になり、ホイールが駆動されます。コーナーポストディスプレイには ***R*** が表示されます。

トラクターを運転するには、次の手順に従います：

1. ブレーキを踏み込んで、駐車ブレーキのロックを解除します。
2. リバースドライブレバーで必要な移動方向を有効にします。
3. 走行が開始されます。

ニュートラルシフト位置が有効になっている場合、トラクターは惰行します。

注記： 電気式ジョイスティック装備のトラクターでは、適切に構成されている場合、ジョイスティックボタンで前進走行と後進走行を指定できます。

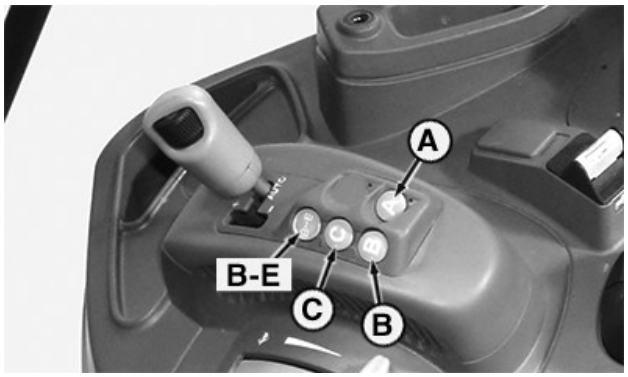
OULXA64,6M,0005604-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - レンジシフトユニット

トランスミッションは、クラッチを使用しないで負荷状態ですべてのギヤおよびレンジをシフトできます。

トランスミッションのレンジは電気シフト式です。この場合、クラッチを操作する必要はありません。各レンジは 4 つのギヤで構成されています。

20/20 トランスミッションの場合、いずれかのボタン (A、B、C、BCDE) を押して必要なレンジに入れます。かみ合ったレンジのボタンが点灯します。

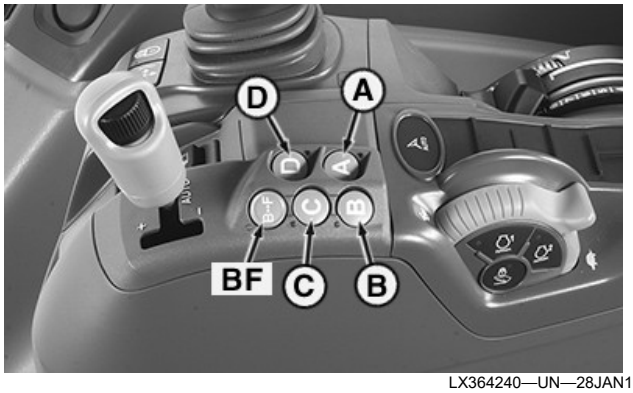


LX364239—UN—28JAN19

レンジシフトユニット、*CommandARM™* なし

A：**レンジ A の表示灯とボタン**
B：**レンジ B の表示灯とボタン**
C：**レンジ C の表示灯とボタン**
BE：**レンジ B ~ E の表示灯とボタン**

24/24 トランスミッションの場合、必要な範囲はいずれかのボタン (A、B、C、D、または BF) を押して、必要なレンジにかみ合わせます。かみ合ったレンジのボタンが点灯します。



LX364240—UN—28JAN19

レンジシフトユニット、*CommandARM™* 付き

A：**レンジ A の表示灯とボタン**
B：**レンジ B の表示灯とボタン**
C：**レンジ C の表示灯とボタン**
D：**レンジ D の表示灯とボタン**
BF：**レンジ B ~ F の表示灯とボタン**

各レンジは特定の速度レンジに対応し、特定の作業向けに設計されています：

- **レンジ A**： 一次耕うん用。
- **レンジ B**： リア PTO による二次耕うん、ローダー、噴霧作業用。
- **レンジ C**： ローダーおよび噴霧作業、播種、刈り取り、施肥、および圃場での輸送作業用。
- **レンジ D**：[3]輸送作業用。
- **レンジ BCDE**：[4]レンジ B、C、D、E の移動速度を組み合わせます。輸送作業にはこのレンジをお勧めします。
- **レンジ BF**：[3]レンジ B、C、D、E、F の移動速度を組み合わせます。このレンジは輸送作業にお勧めします。

注記： 移動速度については、セクション 50D を参照してください。

20/20 トランスミッションのレンジ BCDE で走行時は、トランスミッションは自動モードで、レンジ B から E の間で自動的シフトします。

24/24 トランスミッションのレンジ BF, で走行時は、トランスミッションは自動モードで、レンジ B から F の間で自動的にシフトします。

自動モードでは、レンジの最高ギヤに達すると、トランスミッションは次の高いレンジに自動的にシフトします。トランスミッションは、エンジン回転数を自動的に調整して最も効率的な動力/燃費比を実現します。

[3] 24/24 トランスミッションのみ
[4] 20/20 トランスミッションのみ

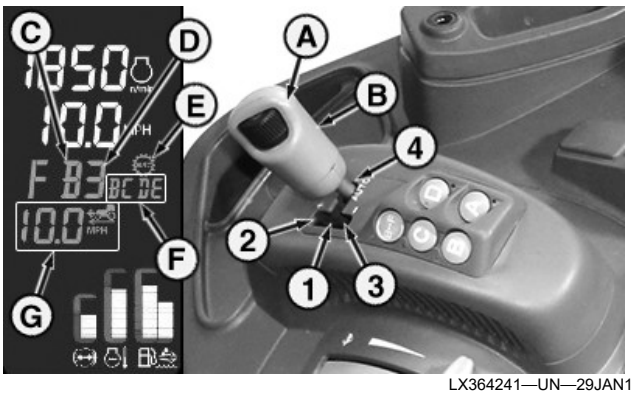
この場合、ギヤとレンジの両方がトランスミッションにより自動的に選択されます。

OULXA64,6M,0005605-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション — シフトレバー

トランスミッションは、クラッチを使用しないで負荷状態ですべてのギヤおよびレンジをシフトできます。

シフトレバー (B) で自動/手動シフトモードを選択できます。



LX364241—UN—29JAN19

CommandARM™ なしのシフトレバー

A：**速度ホイール**
B：**シフトレバー**
C：**選択したレンジ**
D：**選択されたギヤ**
E：**自動モードのマーク**
F：**使用可能なレンジ**
G：**最高速度の設定**
1：**手動モードのレバー位置**
2：**シフトアップのレバー位置**
3：**シフトダウンのレバー位置**
4：**自動モードのレバー位置**

自動モード：

1. シフトレバー (B) をレバー位置 ***4*** に動かします。コーナーポストディスプレイにマーク (E) が表示されます。

   レンジ BE (20/20 トランスミッション) または BF (24/24 トランスミッション) では、エンジン回転数、レンジ、およびギヤは、設定速度に達するように自動的に設定されます。

2. 速度ホイール (A) を使用して、アクセルペダルまたはアクセルレバーによりフルスロットルで自動的に保持される最高速度を設定します。現在選択されている最高速度 (G) がコーナーポストディスプレイに表示されます。

   - 20/20 トランスミッションの場合、各レンジ A、B、C、および BE に対して個別の最高速度を設定できます。
   - 24/24 トランスミッションの場合、各レンジ A、B、C、D、および BF について個別の最高速度を設定できます。

   速度ホイール (A) にはストップがなく、無段階に調整できます。この速度は、アクセルペダルまたはアクセルレバーを使用してエンジンをフルスロットルにした状態で自動的に維持されます。最後の設定からの変更は認識されてトラクターの電子機器によって保存されます。運転中に速度ホイール (A) で最高速度の設定を変更した場合、最後の設定が常に最高速度と見なされます。

手動モード：

手動モードでは、レンジごと 4 つのギヤを選択できます。

1. シフトレバー (B) をレバー位置 ***1*** に動かします。
2. シフトアップするには、シフトレバー (B) をレバー位置 ***1*** からレバー位置 ***2*** まで前に押します。

   放すと、シフトレバー (B) はレバー位置 ***1*** に自動的に戻ります。

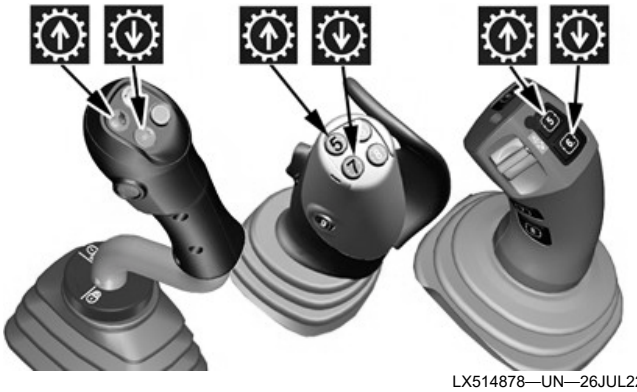
3. シフトダウンするには、シフトレバー (B) をレバー位置 ***1*** からレバー位置 ***3*** に戻します。

シフトレバーを使用してすばやく 2 回続けてシフトアップ/ダウンすると、次の高いレンジまたは低いレンジ (BE または BF のみ) にシフトします。

選択したレンジ (C) と選択したギヤ (D) がコーナーポストディスプレイに表示されます。

- 20/20 トランスミッションは、レンジ C の最高ギヤに達すると、レンジ D (レンジ BE など) に自動的にシフトします。
- 24/24 トランスミッションは、レンジ D の最高ギヤに達すると、レンジ E (レンジ BF など) に自動的にシフトします。

ジョイスティック装備のトラクターでは、ギヤシフトボタン UP ▲ と DOWN ▼ を使用してギヤをシフトアップ/ダウンできます。

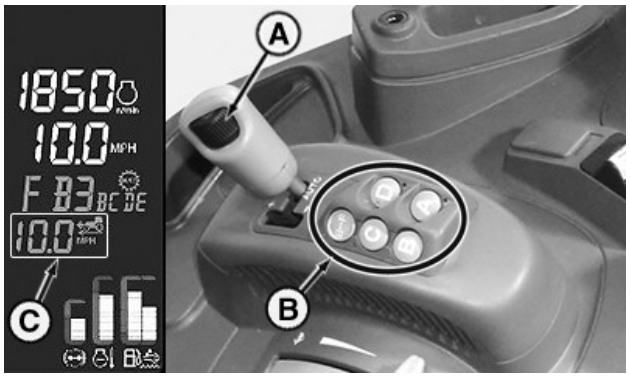


LX514878—UN—26JUL22

機械式ジョイスティック/電気式ジョイスティックバージョン *1* およびバージョン *2*

OULXA64,6M,0005606-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - 最高移動速度の設定



LX364244—UN—29JAN19

A：**最高速度の速度ホイール**
B：**レンジ選択ボタン**
C：**最高移動速度の設定**

ボタン (B) を使用して必要なレンジを選択し、速度ホイール (A) を使用して希望する最高速度 (C) を設定します。

注記： 最高移動速度 (C) は自動モードでのみ有効です。

手動モードでは、トラクターは最高速度の設定よりも速く運転できます。

注記： レンジ BCDE (20/20 トランスミッションの場合) または BF (24/24 トランスミッションの場合)、後進で可能な最高速度は 30 km/h (18.6 mph) です。

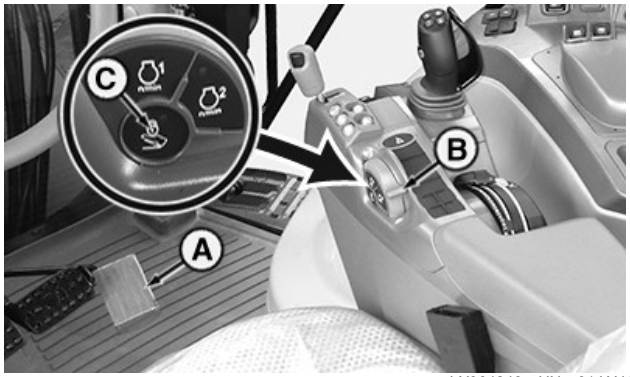
注記： PTO がオンの場合は、PTO 回転速度が優先されます。移動速度を増減させるために、トラクターのトランスミッションは自動的にシフトします。

OULXA64,6M,0005607-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - アクセルペダルとアクセルレバー

注記： 手動モードでは、低負荷時の自動エンジン回転数低下機能は作動しません。

速度はアクセルペダルとアクセルレバーで制御します。制御に使用する信号は、常に、高いエンジン回転数を命令する信号です。



LX364246—UN—31JAN19

A：**アクセルペダル**
B：**アクセルレバー**
C：**ペダル位置の保存/削除ボタン (CommandARM™ のみ)**

アクセルペダルまたはアクセルレバーを動かして高いエンジン回転数を命令すると、エンジン回転数が上がります。

ボタン (C) を使用すると、アクセルペダルの位置を保存できます。保存するには、次の手順に従います：

1. 目標のペダル位置を設定します。
2. ボタン (C) を押して放します。
3. 2 秒以内にペダルを放します。ペダル位置が保存されると、ボタン (C) の表示灯が点灯します。

注記： 次の場合は、ペダル位置を保存できません：

- 駐車ブレーキロックをかける。
- 移動の方向が「ニュートラル」。
- クラッチペダルを踏んでいる。
- ブレーキペダルを踏んでいる。

保存されているペダル位置を削除するには、次のいずれかの操作を行います：

- ボタン (C) をもう一度押す。
- ブレーキをかける。
- クラッチペダルを踏む。
- 保存されているペダル位置にアクセルペダルを再度設定する。

保存されているペダル位置が削除されると、ボタン (C) の表示灯は消灯します。

トラクターを自動モードで運転している場合、負荷依存のエンジン回転数低減が有効です。設定移動速度に達すると、エンジン回転数は必要に応じて自動的に調整されます。

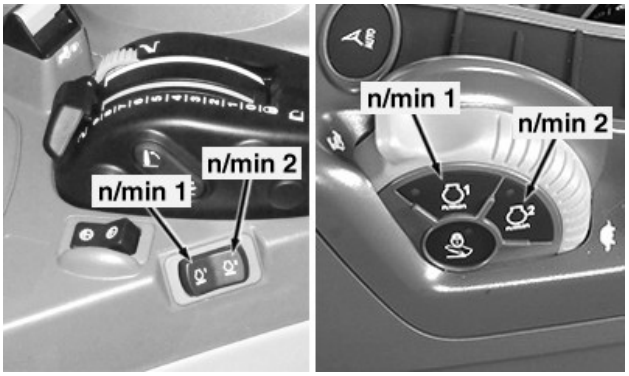
- 手動モードでは、速度はアクセルペダルまたはアクセルレバーの位置によって直接決まります。エンジン回転数は、アクセルペダルの位置に応じて変わります。
- 自動モードでは、負荷に応じてエンジン回転数が制御されます。アクセルレバーまたはアクセルペダルの位置は役割を果たしません。

- エンジン設定回転数が有効な場合、アクセルペダルまたはアクセルレバーによりエンジン回転数を一時的に上げることができます。

OULXA64,6M,0005608-40-28AUG23

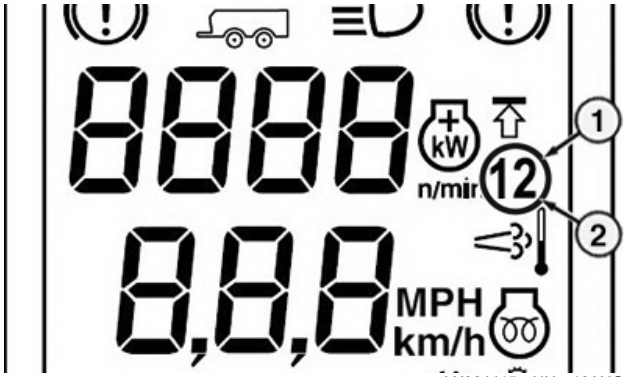
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - エンジン設定回転数

アクセルレバーまたはアクセルペダルでエンジン回転数を調整します。



LX364245—UN—29JAN19

CommandARM™ なし/CommandARM™ 付き



LX364415—UN—19AUG19

- 「**n/min 1**」、エンジン設定回転数 1 は、起動後に自動的に設定されたエンジン回転数の有効化、無効化、または保存に使用します。
- 「**n/min 2**」、エンジン設定回転数 2 は、起動後に自動的に設定されたエンジン回転数の有効化、無効化、または保存に使用します。

表示灯：
有効になったエンジン回転数メモリが図のように表示されます。

エンジン回転数の設定と保存：
保存するには、アクセルレバーまたはアクセルペダルでエンジン回転数を設定し、ビープ音が聞こえるまで「**n/min 1**」または「**n/min 2**」を押します。

エンジン設定回転数 1 または 2 は、エンジンメニューから設定することもできます。「エンジンメニュー」(セクション 20) を参照してください。

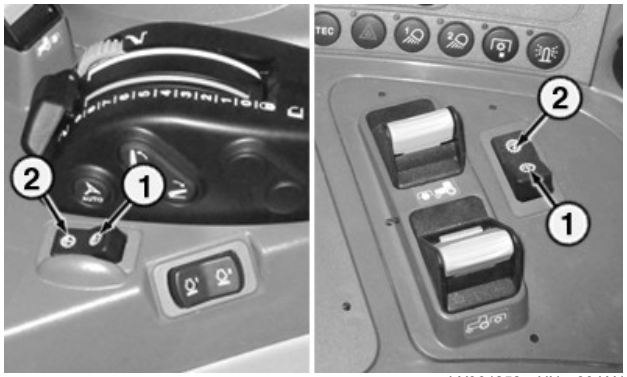
エンジン設定回転数「n/min 1」または「n/min 2」の有効化/無効化：
いずれかのボタンを押すと、エンジン回転数は保存されている値に自動的に設定されます。エンジン制御で、エンジン回転数が一定に維持されます。コーナーポストディスプレイに、選択したエンジン設定回転数が表示されます。

ボタンをもう一度押すと、エンジン設定回転数が解除されます。エンジン回転数は、アクセルペダルまたはアクセルレバーにより指定されたエンジン回転数に合わせて調整されます。

注記： エンジン設定回転数は、トランスミッションが手動モードに設定されている場合、または「ニュートラル」移動方向が有効な場合のみ使用できます。自動モードに切り替えると、設定回転数は無効になります。

OULXA64,6M,0005609-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - 始動ギヤの選択



LX364252—UN—30JAN19

CommandARM™ なし/CommandARM™ 付き

1：**始動ギヤ 1 を選択**
2：**始動ギヤ 2 を選択**

始動ギヤは、トラクターが停止したときにトランスミッションがギヤを自動的にシフトダウンする程度を決定します。

始動ギヤを有効にすると、停止後、トランスミッションは選択したギヤに自動的にシフトします。

注記： 停車すると、現在かみ合っているギヤが選択した始動ギヤよりも高い場合、トランスミッションは始動ギヤのみに自動的にシフトします。

これらの設定は保存され、トラクターを始動すると自動的に再度有効になります。

20/20 トランスミッションで有効：

- レンジ A ~ C では、共通する 1 つの始動ギヤのみを設定できます。
- BCDE レンジには 2 つの始動ギヤを設定できます。

24/24 トランスミッションの場合：

- レンジ A~D では、共通する 1 つの始動ギヤのみを設定できます。
- BF レンジには 2 つの始動ギヤを設定できます。

スイッチを使用して、始動ギヤ 1 と 2 を切り替えることができます。走行中、表示されている始動ギヤにシフトすると、移動速度が上がる可能性があります。

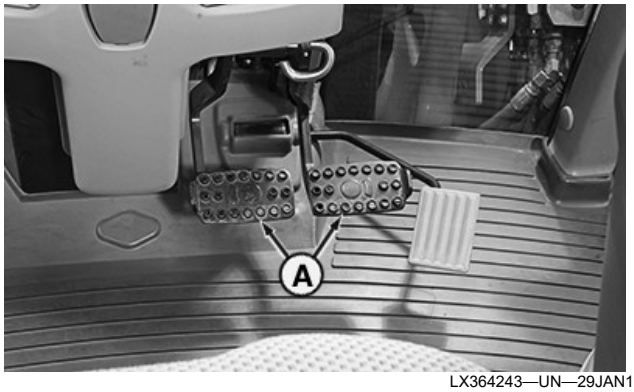
始動ギヤを設定するには、「CommandQuad™ PLUS トランスミッション、始動ギヤ」を参照してください。

OULXA64,6M,000560A-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - ブレーキペダルおよびクラッチペダル (オートクラッチ機能)

重要： **AutoClutch 機能は、両方のブレーキペダルを連結したときのみ作動します。ペダルを単独で操作しても (ステアリングブレーキとしてなど)、AutoClutch 機能は作動しません。**

注記： ステアリングブレーキ を使用する (1 つのブレーキペダルのみを踏み込む) 運転操作の場合 エンジン回転数は 900 rpm 未満に低下してはなりません。低下した場合、オートクラッチ機能が再び有効になります。



LX364243—UN—29JAN19

A：**ブレーキペダル**

AutoClutch ON 時のブレーキ操作とクラッチの使用

- **両方**のブレーキペダルを踏み込むと、走行速度が下がるか、トラクターが停止します。
- ブレーキ操作または停止時にクラッチペダルを踏み込む必要はありません。
- 両方のブレーキを放すと、アクセルレバーまたはアクセルペダルによって現在指令されている速度までトラクターは自動的に加速します。

オートクラッチ OFF 時のブレーキ操作とクラッチの使用

- **両方**のブレーキペダルを踏み込むと、移動速度が下がりますが、トラクターは***停止しません。***
- トラクターを停止するには、ブレーキをかけているときに**クラッチペダルも踏む必要があります。**

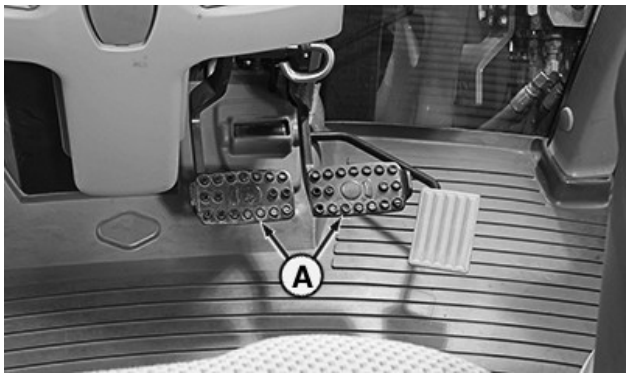
「油圧式フットブレーキ」と「非常ブレーキシステム」*(セクション 50C) も参照してください。

**北米仕様は対象外*

OULXA64,6M,000560B-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - トラクターの操縦時の特殊機能

重要： **この説明は、AutoClutch (自動クラッチ機能) が ON の場合にのみ適用されます。**



LX364243—UN—29JAN19

A：**ブレーキペダル**

自動クラッチ機能は、フットブレーキを踏むと有効になります。**両方**のブレーキペダルを少し踏むと、トラクターを*クリープ走行*させることができます。これにより、たとえば作業機までの後進が容易になります。2 つのブレーキペダルを完全に踏み込むとトラクターは停止します。クラッチペダルを踏む必要はありません。これにより、次のような安全関連の利点があります：

- 超低速でもフルトルクを利用できます。状況によっては、障害物があってもトラクターは静止状態になりません。
- 両方のブレーキを放した後、アクセルレバーまたはアクセルペダルによって現在指令されている速度までトラクターは自動的に加速します。
- 通常の手動変速機 (自動クラッチ機能なし) またはオートクラッチをオフにしたトラクターを使用する場合は、ブレーキペダルをいっぱいまで踏み込んだときにエンジンとトランスミッション間の動力の流れが**切断されない**ことに注意してください。

注記： 傾斜面で駐車ブレーキロックをかけるときは、忘れずに両方のブレーキペダルを操作してください。

下り斜面での方向転換時に両方のブレーキペダルを踏むと、トラクターをすばやく方向転換できます。

OULXA64,6M,000560C-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - 走行特性の調整

CommandQuad™ PLUS トランスミッションには各種のカスタム設定が用意されています。一般に、これらの設定によって車両の動きが改善されます。ただし、不適切な設定によってトラクターが望ましくない反応をする場合があります。

問題 / 解決策
トラクターのシフトアップ/ダウンの頻度が多すぎる。
回転数低減の感度を修正する →「ドループの設定」 運転状況への操作モードの適応 →「シフトレバー」 予想される負荷に応じて、BC または BF レンジで始動ギヤを選択する →「始動ギヤ」
トラクターのシフトが早すぎるまたは遅すぎる。
回転数低減の感度を修正する →「ドループの設定」 エンジン設定回転数をオフにするまたは設定を変更する →「エンジン設定回転数」 運転状況への操作モードの適応 →「シフトレバー」
トラクターのシフトが粗い。
SoftShift を起動する →「ギヤ変更時の SoftShift の起動」 「診断アドレスの入力 (顧客レベル)」(セクション 300B) の「アドレス TIH29」を参照してください。
移動速度が不規則。
運転状況への操作モードの適応 →「シフトレバー」
トラクターが遅すぎる/速すぎる。
最高移動速度の設定を変更する →「最高移動速度の調整」 自動モードでの速度設定は、常にアクセルレバーまたはアクセルペダルの 100% 設定と関連することに注意してください。したがって、速度設定 → アクセルペダルまたはアクセルレバーレバーの調整を確認してください。
エンジン回転数が不安定 (リア PTO 操作時)。
回転数低減の感度を修正する →「ドループ PTO OFF/ON」 運転状況への操作モードの適応 →「シフトレバー」
始動時に不適切なギヤが選択される。
トランスミッションの設定内で、必要な始動ギヤを選択します →「始動ギヤ」
前進と後進間の速度差が大きすぎるか小さすぎる。
トランスミッション設定で適切な後進/前進速度比を選択する →「後進/前進速度比の調整」
変更内容については、このセクションの CommandQuad™ を参照してください

OULXA64,6M,000560D-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション — 傾斜地の滑りやすい条件でのトラクターの操作

注意：下り坂での操作時は、トラクターの制御不能によるけがをしないようにしてください。滑りやすい坂道ではトラクターの車輪がロックして横滑りすることがあります。次の注意事項を守ってください：

- **シフトレバー (A) を左の位置 1 に動かして手動モードを選択します。**
- **適切なギヤを選択して横滑りを抑えます。**



LX364247—UN—30JAN19

CommandARM™ なしのシフトレバー

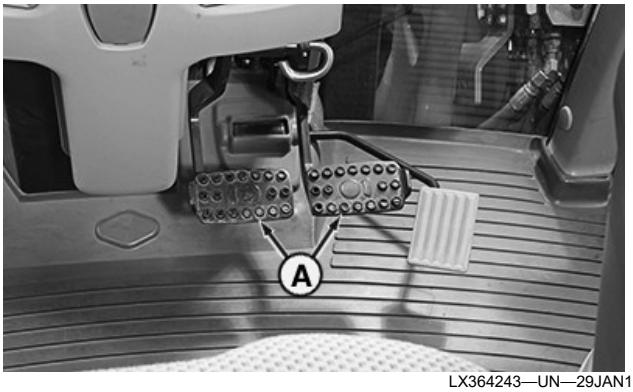
A：シフトレバー
1：手動モード位置

OULXA64,6M,000560E-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - トラクターの停止と駐車

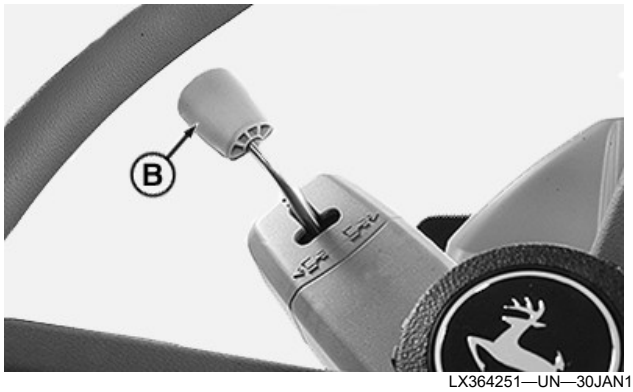
注意：トラクターの制御不能によるけがをしないよう注意してください。道路走行時はブレーキペダル (A) を連結してください。

注記：AutoClutch は、2 つのブレーキペダルを踏み込んだときにエンジンとトランスミッションの間の動力の流れを中断する自動クラッチ機能です。



LX364243—UN—29JAN19

1. アクセルペダルとアクセルレバーを低いエンジン回転数に設定します。
   a. AutoClutch がオフのときは、両方のブレーキペダル (A) とクラッチペダルを踏みます。
   b. AutoClutch がオンのときは、両方のブレーキペダル (A) のみを踏みます。クラッチペダルを踏む必要は**ありません**。ブレーキにより AutoClutch (自動クラッチ機能) が有効化されます。
2. トラクターを停止します。
3. リバースドライブレバー (B) を「ニュートラル」シフト位置に動かします。



LX364251—UN—30JAN19

4. 駐車ブレーキロックのコントロールレバーを位置 (C) に入れます (駐車ブレーキロックをかけます)。



LX364249—UN—30JAN19

5. 作業機を下降させて、リア PTO を停止します。
6. エンジンを停止し、キースイッチを抜きます。

オートクラッチ付きトラクターの停止

注記： シングルホイールブレーキをかけて、エンジン回転数が連続して約 900 rpm よりも高い場合、AutoClutch は解除されます。つまり、 操舵のために一方のブレーキペダルを踏んだ場合は、エンジン回転数が 900 rpm 以上である限りクラッチは作動しません。

両方のブレーキペダルを踏みます。ブレーキによってオートクラッチが作動します。ブレーキを解除すると、トラクターはあらかじめ設定された速度まで加速します。

注意： けがを防止してください。高エンジン回転数でトラクターにブレーキをかけるには、低エンジン回転数の場合より大きなペダル踏力が必要になります。

急加速や予期しない加速によってけがをしないようにしてください。フットブレーキを放すと、トラクターはあらかじめ選択されている速度まで自動的に加速します。

ニュートラル位置の使用

トランスミッションのニュートラル位置は、(エンジン運転中に) リバースドライブレバー (B) をニュートラル位置に動かすと入ります。ニュートラル位置では、トラクターは自由に動きます。

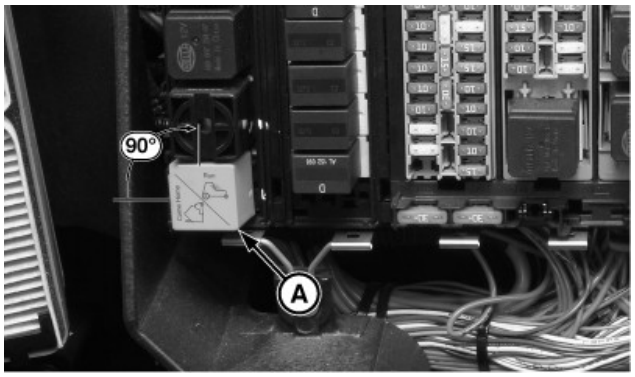
駐車ブレーキロックの使用

注意： トラクターを離れる前に、必ず駐車ブレーキロックをかけてください。

トラクターを静止して動き出さないようにするには、レバー (C) を使って駐車ブレーキロックをかけます。トラクターが静止するまで、駐車ブレーキロックをかけないでください。これにより、トランスミッションにかかる負荷が最小に維持されます。

OULXA64,6M,000560F-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - カムホームモード



LX514956—UN—22NOV23

時計回りに *90°* 回転させたコネクタ

A：**コネクタ**

トランスミッションに電気的故障がある場合、トラクターをカムホームモードで運転することが可能です。

このためには、エンジンを停止し、図のようにコネクタ (A) を引き抜いて時計回りに 90° 回して再度挿入します。その後、エンジンを再始動します。

セクション 220B のヒューズとリレー (LCS) および (FRM) も参照してください。

注記： カムホームモードでは、次のような制限があります：

1. エンジン回転数は *1500 rpm* に制限されます。
2. 速度レンジ *B ~ D* では *3* 速のみを使用できます。速度レンジ *A* は使用できません。
3. *AutoClutch* 機能は無効です。
4. トラクターを停止して速度レンジをシフトします。
5. 機械を停止して、クラッチペダルを踏み込んだ場合のみ、方向を変えることができます。

発進するには、次の手順に従います：

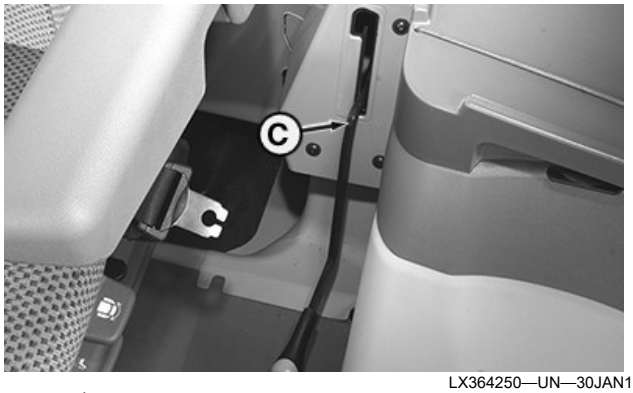
1. 情報ディスプレイの指示に従ってください。
2. クラッチペダルを踏み続けます。
3. 必要なレンジを選択します。
4. リバースドライブレバーを使って走行方向を選択します。
5. クラッチペダルを放して発進します。

OULXA64,6M,0005610-40-22SEP23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - トラクターの牽引

状況 1： 動力伝達に問題があるが、エンジンは作動している。

1. トラクターを牽引車両に取り付けます。
2. エンジンを始動します。
3. 駐車ブレーキレバーを位置 (C) に動かします。



LX364250—UN—30JAN19

C：**駐車ブレーキロックのコントロールレバー**

4. 20/20 トランスミッションの場合は、レンジ BCDE を選択します。24/24 トランスミッションの場合は、レンジ BF を選択します。

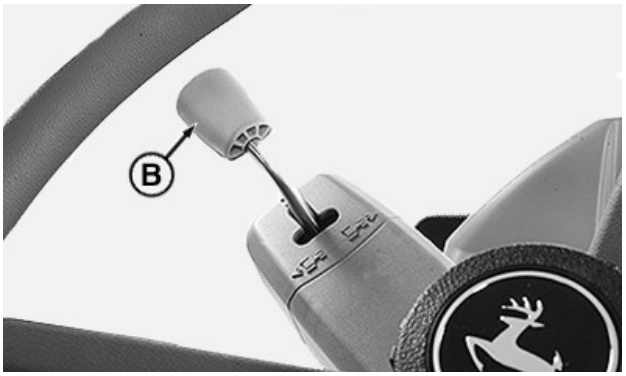


LX364247—UN—30JAN19

CommandARM™ なしのシフトレバー

A：**シフトレバー**
1：**手動モード位置**

5. シフトレバー (A) を手動モード (1) に動かして、ギヤ C4 に入れます。
6. リバースドライブレバー (B) を「ニュートラル」シフト位置に動かします。



LX364251—UN—30JAN19

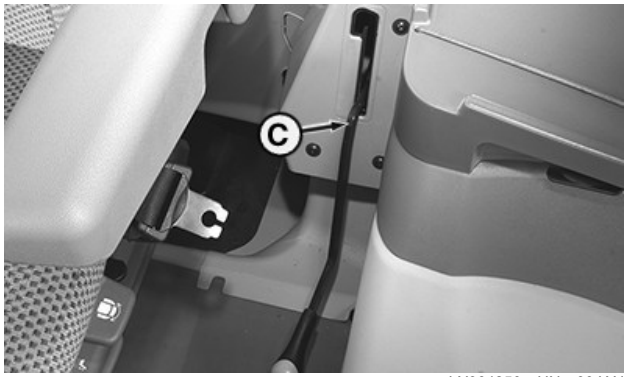
B：**リバースドライブレバー**

7. 前輪駆動を OFF に切り替えます。
8. トラクターを最高速度 10 km/h (6 mph) で牽引します。

状況 2： エンジンが故障し、始動できない。

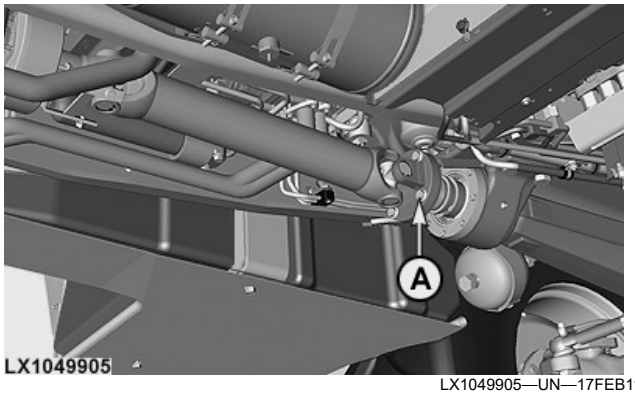
注意： 油圧なしでは、ステアリングシステムは非常用モードでしか作動できません。ステアリングは固く動きは緩慢です。牽引車両の運転手はこのことを考慮して、方向転換の前に大幅に減速することを忘れないでください。

1. トラクターを牽引車両に取り付けます。
2. イグニッションをオフにし、カムホームコネクタをカムホーム位置にします (このセクションの「カムホームモード」を参照してください)。
3. キースイッチを ON に回します。
4. 駐車ブレーキレバーを位置 (C) に動かします。



LX364250—UN—30JAN19

5. トラクターを 1 km (0.6 マイル) 以上牽引する場合は、ユニバーサルジョイントを取り外す必要があります。それにはねじ (A) を取り外します。



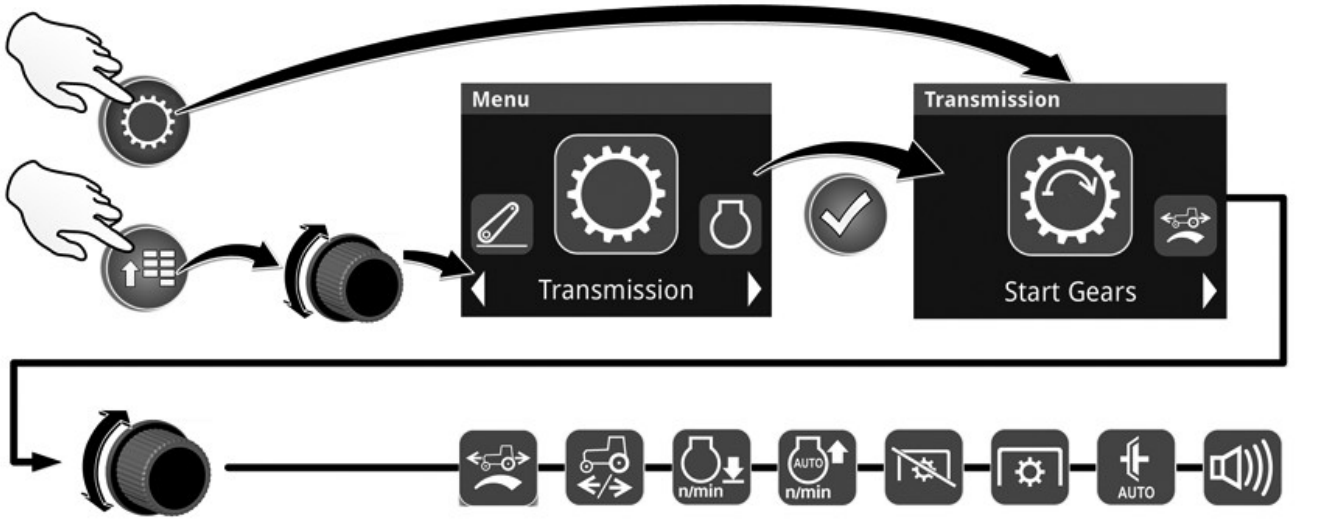
LX1049905—UN—17FEB11

重要：**ユニバーサルジョイントシャフトを取り外さないと、タイヤの摩耗が早まり、ステアリング特性に悪影響が生じます。**

6. 牽引時は、トラクターを安全に操舵できる速度を選択します。絶対に 10 km/h (6 mph) 以上の速度で牽引しないでください。

OULXA64,SP,0005611-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション — メニュー

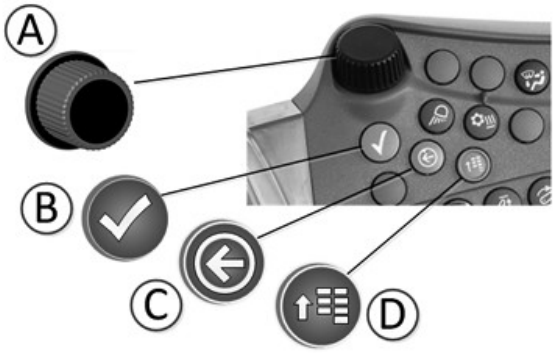


LX368293—UN—06JAN19

「トランスミッション」メニューにアクセスするには、次の 2 つの方法があります：

- 「トランスミッション」ボタンで「トランスミッション」メニューを呼び出します。
- メインメニューから「トランスミッション」メニューに移動します。

移動と設定の基本コントロール：



LX361250—UN—17DEC18

A：**選択と設定**
B：**選択の確定**
C：**1 ステップ戻る**
D：**メインメニューへのアクセス**

OULXA64,6M,0005612-40-28AUG23

「トランスミッション」メニューの絵記号



RXA0152950—UN—21JUL16

PowrReverser™ の選択



RXA0152951—UN—21JUL16

最低回転数の選択



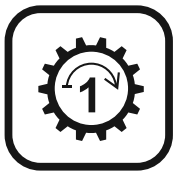
RXA0152953—UN—21JUL16

後進/前進比の選択



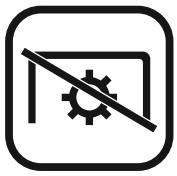
RXA0152954—UN—21JUL16

予測負荷の選択



RXA0152955—UN—21JUL16

始動ギヤの選択



RXA0152956—UN—21JUL16

ドループ *PTO* オフの選択



RXA0152957—UN—21JUL16

ドループ *PTO* オンの選択



RXA0153891—UN—19SEP16

オートクラッチの選択

OULXA64,6M,0005613-40-11SEP20

CommandQuad™ PLUS トランスミッション — 始動ギヤ

レンジ	使用可能な始動ギヤ
A、B、C、D	1～4
BCDE (5 レンジのトランスミッションの場合)	B1～E1
B～F (6 レンジのトランスミッションの場合)	B1～E1

例： BCDE レンジの始動ギヤとして B3 を選択した場合、任意の時点で BCDE ボタンを選択すると、トランスミッションは既定でギヤ B3 に設定されます。ここから任意のレンジと B1～E1 間のギヤにシフトできますが、開始点はオペレータがプログラムした点です。

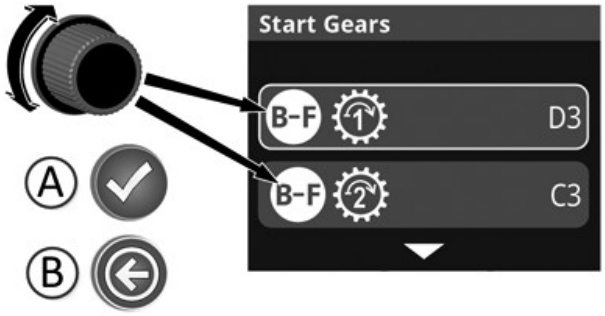
1. 「トランスミッション」メニューの「始動ギヤ」にアクセスします。「CommandQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。



LX361273—UN—19DEC18

A：**確定**

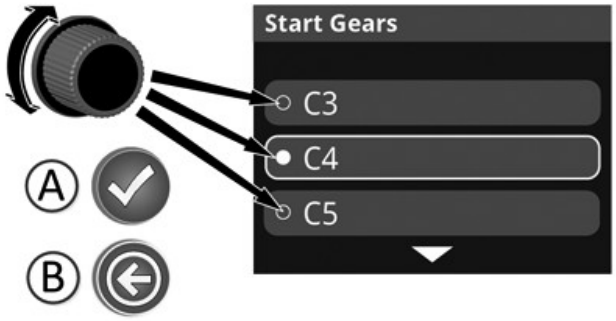
3. 始動ギヤを選択してボタン (A) で確定します。



LX361274—UN—19DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

4. 割り当てを定義してボタン (A) で確定します。



LX361275—UN—19DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,6M,0005614-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション — PowrReverser™



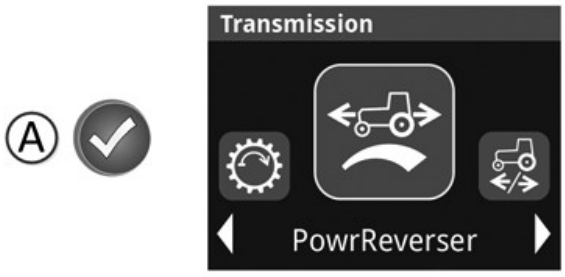
RXA0152950—UN—21JUL16

PowrReverser™ アイコン

PowrReverser™ 変調は、方向変更の感応度を設定します。変調は 1～10 の範囲で設定できます。

「1」の設定は最小の感度で、精密な制御と滑らかな方向変更が必要な用途に使用します。設定「10」は最高の感度で、すばやい方向変更が必要な高生産性の用途で使用されます。

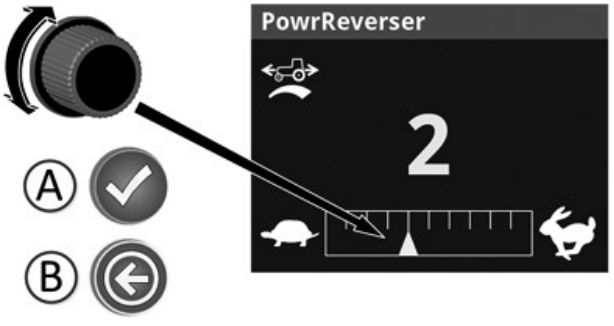
1. 「トランスミッション」メニューの「PowrReverser™」にアクセスします。「CommandQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。



LX361239—UN—19DEC18

A：**確定**

3. 方向変更の感度を設定して、(A) を押して確定します。「1」は感度が低で、「10」は感度が高です。



LX361252—UN—19DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,6M,0005615-40-28AUG23

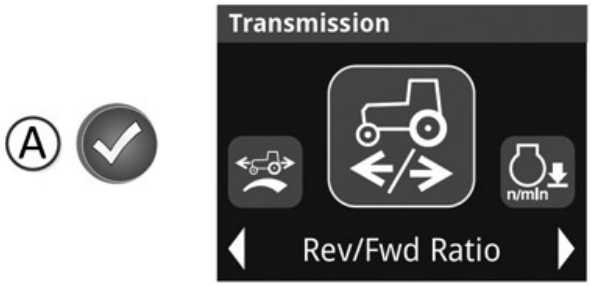
CommandQuad™ PLUS トランスミッション - 後進/前進比



RXA0152953—UN—21JUL16
「後進/前進速度比」アイコン

方向を前進から後進に変更するときは、より高いギヤまたはより低いギヤへの自動変速を選択できます。自動変速は、フロントローダー作業中に発生する運転操作などで役立ちます。

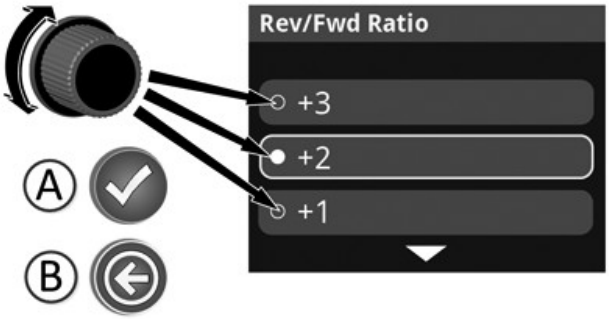
1. 「トランスミッション」メニューの「前進 / 後進速度比」にアクセスします。「CommandQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。



LX361257—UN—19DEC18

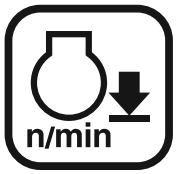
A：**確定**

3. 自動的に切り替えるギヤ数を選択して (A) で確定します。*パラメータ「+1」、「+2」などは、後進への方向変更中にシフトアップまたはシフトダウンするギヤ数を意味します。*



LX361241—UN—19DEC18
OULXA64,6M,0005616-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - 最低回転数

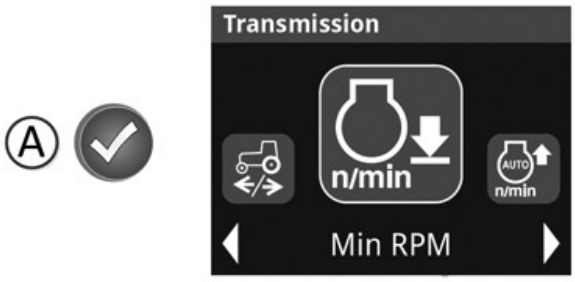


RXA0152951—UN—21JUL16
「最低回転数」アイコン

エンジン回転数の場合は、最低値を指定できます。トランスミッションの制御は、負荷が低い場合でも、エンジンに指定された最低回転数を下回っていないため、適切なギヤに自動的にシフトします。これは、エンジンの最低回転数を必要とする作業で利点があります。

この設定は、シフトレバーが「AUTO」位置にある場合のみ有効です。

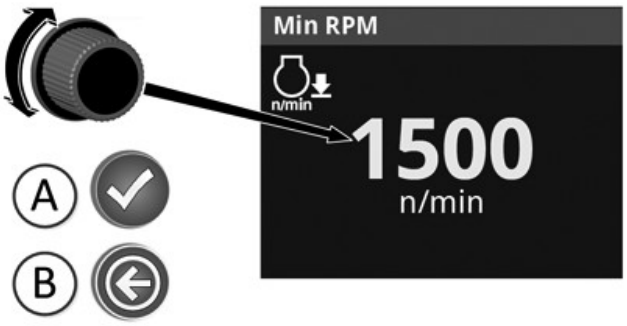
1. 「トランスミッション」メニューの「最低回転数」にアクセスします。「CommandQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。



LX361259—UN—19DEC18

A：**確定**

3. エンジンの最低回転数を設定して (A) で確定します。最低回転数を「AUTO」に設定することも、900 ~ 2100 rpm の間の値にすることもできます。「自動」設定は広く使用可能で、ほとんどの作業に適しています。



LX368296—UN—19DEC18

A：**確定**

B：**戻る**

OULXA64,6M,0005617-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - 予測負荷



RXA0152954—UN—21JUL16
「予測負荷」アイコン

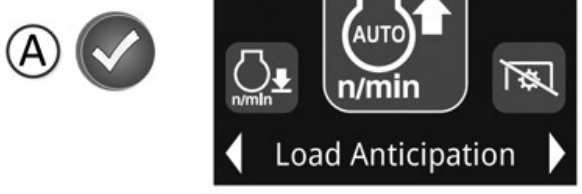
予測負荷が有効になっている場合、作業を開始するとすぐにエンジン回転数は予想される負荷に合わせて自動的に調整されます。予測負荷は個々の用途に対して選択できます。「自動」設定では、ディスプレイに表示されているすべての用途で予測負荷が有効になります。

- PTO をオンにする ⇒ エンジン回転数が最高回転数に自動的に上昇します。
- ヒッチの動き ⇒ ヒッチの動きが検出されると、エンジン回転数は自動的に 1500 rpm に上昇します。
- EH SCV の操作 ⇒ EH SCV の動作を検出すると、エンジン回転数は 1500 rpm に自動的に上昇します。

注記： アクセルレバーまたはアクセルペダルの現在の位置で許される限り、予測負荷機能によりエンジン回転数が上昇します。アイドル回転数よりも高い値への回転数の変化を有効にするには、アクセルレバーを押すか、アクセルペダルを踏む必要があります。

この設定は、シフトレバーが「AUTO」位置にある場合のみ有効です。

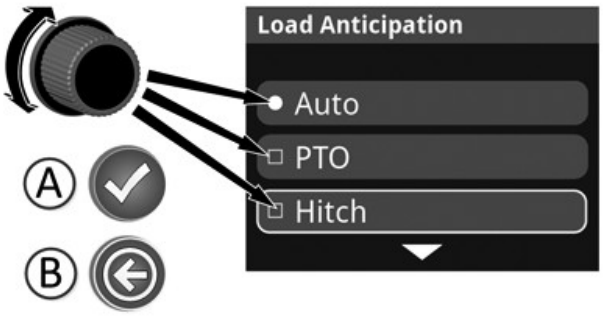
1. 「トランスミッション」メニューの「予測負荷」にアクセスします。「CommandQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。



LX361261—UN—19DEC18

A：**確定**

3. アプリケーションを選択して (A) で確定します。*工場初期設定は「自動」で、すべての用途でエンジン回転数の調整が有効になっています。*



LX361262—UN—19DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,6M,0005618-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - PTO OFF/ON でのドループ



RXA0152956—UN—21JUL16
「*PTO OFF* でのドループ」アイコン



RXA0152957—UN—21JUL16
「*PTO ON* でのドループ」アイコン

PTO OFF . . PTO がオフのときのドループ
PTO ON . . . PTO シャフトがオンになったときのドループ

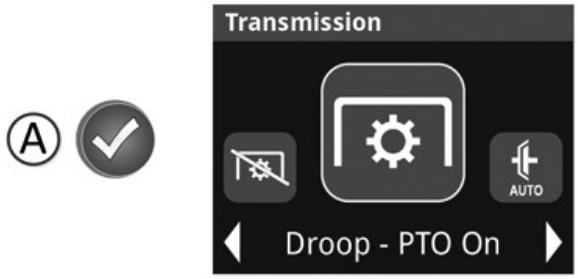
回転数低減 (ドループ) により、自動シフト動作の調整が可能です。トランスミッションの制御は、自動的にシフトダウンすることにより、選択したアプリケーション用の最低エンジン回転数未満にエンジン回転数が下がらないようにします。シフトにより、エンジンは適切な回転数範囲で常に運転されて、作業を行うための十分なトルクが得られます。

この設定は、シフトレバーが「AUTO」位置にある場合のみ有効です。

1. 「トランスミッション」メニューの「ドループ」にアクセスします。「CommandQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー」を参照してください。

- PTO OFF - ドループ OFF
- PTO ON - ドループ ON

2. ボタン (A) で確定します。

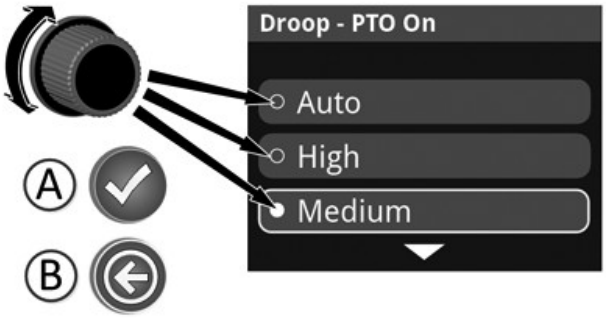


LX361265—UN—19DEC18

PTO オン時のドループ

A：**確定**

3. ドループを選択して (A) で確定します。*工場出荷時の既定値は「自動」で、これによりユニバーサル設定でシフトポイントが設定されます。通常はこの設定で十分です。*



LX368292—UN—19DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

- 自動ドループ
- 高いドループ (感度が少ない、自動シフトが少ない)
- 中ドループ (より感度が高い)
- 低いドループ (感度が非常に高い、自動シフトがより多い)

OULXA64,6M,0005619-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - オートクラッチ



RXA0153891—UN—19SEP16

AutoClutch の絵記号

オートクラッチは自動クラッチ機能です。AutoClutch が ON のときは、トラクターを停止するためにクラッチペダルを踏む必要はありません。

トラクターにブレーキをかけるときに両方のブレーキペダルを踏むと、速度が下がるか、トラクターが停止します。ブレーキペダルを放すと、アクセルレバールまたはアクセルペダルによって現在指令されている速度までトラクターは自動的に加速します。

オートクラッチ感度は、種々の運転状況に合わせて適合できます。

注意： **車両の制御を失って、致命的なけがや物的損害が発生する危険があります。**

オートクラッチ機能の設定不良と不適切な運転により、制御不能な運転状況が発生することがあります。

- **AutoClutch 機能を有効にした状態でブレーキをかけると、モーターの制動効果が低下することがあります。**
- **トレーラーを使用しているときは、特に急な滑りやすい道路で感度を低く設定してください。**
- **トレーラーのブレーキ効果が少なすぎると、トラクター / トレーラーの組み合わせの伸びが不十分になります。**
- **オートクラッチがオフのときは、トラクターを停止するためにクラッチペダルを踏む必要があります。**
- **AutoClutch は、両方のブレーキペダルを連結したときにのみ機能します。ペダルを個別に操作しても (ステアリング操作等)、自動クラッチ機能は作動しません。**

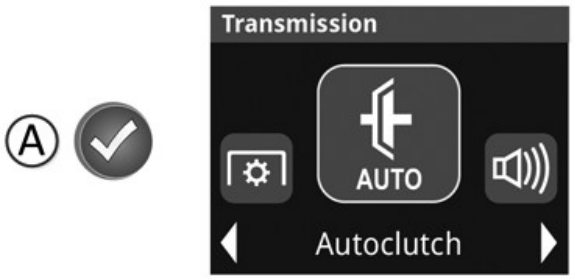
注記：ステアリングブレーキを使用する (1 つのブレーキペダルのみを踏み込む) 運転操作の場合 エンジン回転数は 900 rpm 未満に低下してはなりません。低下した場合、オートクラッチ機能が再び有効になります。

始動後、AutoClutch は ON のままになります。オペレータがオートクラッチをオフにした場合は、トラクターを次回始動するとき自動的にオンになります。

1. 「トランスミッション」メニューの「オートクラッチ」にアクセスします。「CommandQuad™ PLUS

トランスミッション、メニュー」を参照してください。

2. ボタン (A) で確定します。

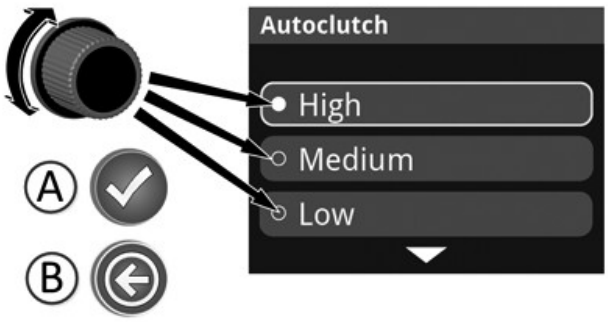


LX361266—UN—19DEC18

A：**確定**

3. AutoClutch 機能の感度を選択して (A) で確定します。*工場出荷時の設定は「高」です。この設定はほとんどの用途で十分です。別の設定が選択されている場合、トラクターを再始動しても選択は有効なままです。*

AutoClutch 感度の設定	
オフ	自動クラッチ機能を OFF にします。OFF は、ブレーキペダルを操作していない場合のみ選択できます。トラクターを再始動すると、自動クラッチは OFF に維持されません。再始動すると、オートクラッチは自動的に ON になります。
低	特に滑りやすい地盤条件でトレーラーを牽引する場合にお勧めします。 急斜面や滑りやすい条件では、OFF の設定を選択すると、制御性が増加します。
中	トレーラーを牽引して少し起伏の多い地形を運転する場合。
高	主にトレーラーを牽引しない走行、およびトレーラーを牽引して水平な地形を走行する場合に適しています。



LX361267—UN—19DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

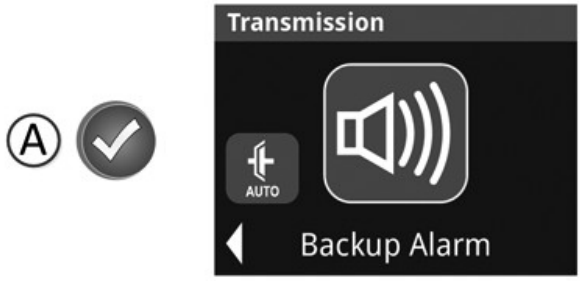
OULXA64,6M,000561A-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - バックアップアラーム

バックアップアラームを使用すると、事故防止に役立ちます。また、地域の法律によって必要になる場合があります。バックアップアラームが作動すると、移動の方向を後進に命令したときに警報音が鳴ります。警報音は後進走行しているトラクターの近くの人に警告します。

1. 「トランスミッション」メニューの「バックアップアラーム」にアクセスします。「CommandQuad™ PLUS トランスミッション、メニュー」を参照してください。

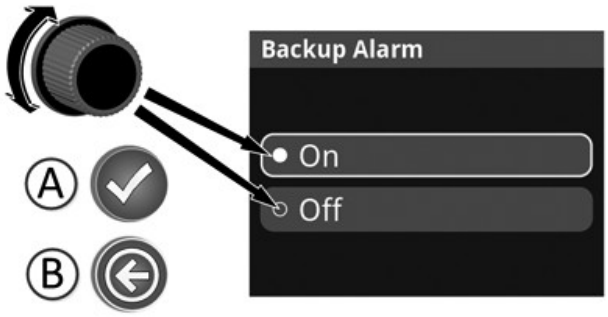
2. ボタン (A) で確定します。



LX361268—UN—19DEC18

A：**確定**

3. バックアップアラームをオンまたはオフに切り替えて、(A) で確定します。



LX361269—UN—19DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,6M,000561B-40-28AUG23

AutoPowr™/IVT™ — リバースドライブレバー



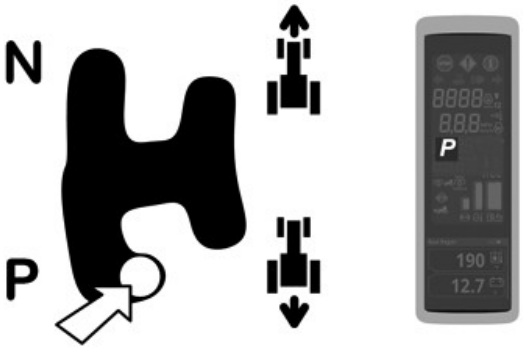
LX386924—UN—31AUG21

リバースドライブレバー

注記： 駐車ブレーキロックをかけるとトレーラーブレーキも作動します。

移動の方向を変更するためにクラッチを操作する必要はありません。

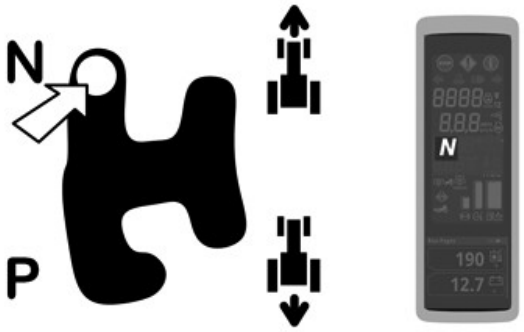
駐車位置：



LX386917—UN—15APR20

この位置では、駐車ブレーキロックがかかってトラクターを静止状態に維持します。これにより、トラクターは動き出しません。コーナーポストディスプレイに「**P**」と表示されます。トラクターが停止しているときは、駐車位置を選択します。リバースドライブレバーは駐車位置にロックされます。駐車ブレーキロックをかけるとトレーラーブレーキも作動します。**トラクターから離れる前に、必ずリバースドライブレバーを駐車位置にしてください。**

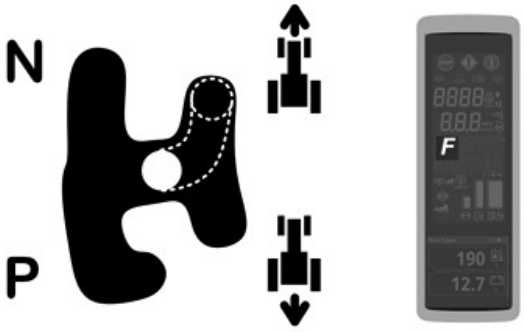
ニュートラル位置：



LX386918—UN—15APR20

駐車ブレーキロックがかかってなく、トランスミッションからホイールまでのドライブトレインが中断されています。トラクターは自由に動き出す可能性があります。計器板に「**N**」が表示されます。リバースドライブレバーはニュートラル位置にロックされます。

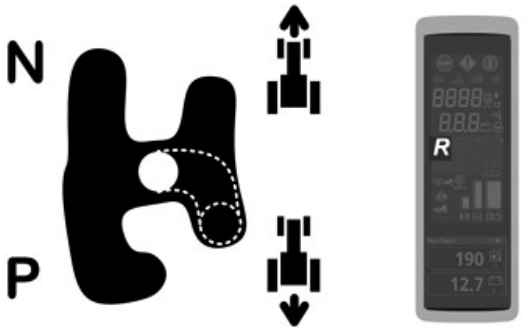
前進走行：



LX386919—UN—16APR20

前進走行のドライブトレインがアクティブです。リバースドライブレバーは前進位置に保持されず、中間位置に戻ります。コーナーポストディスプレイに **F** が表示されます。

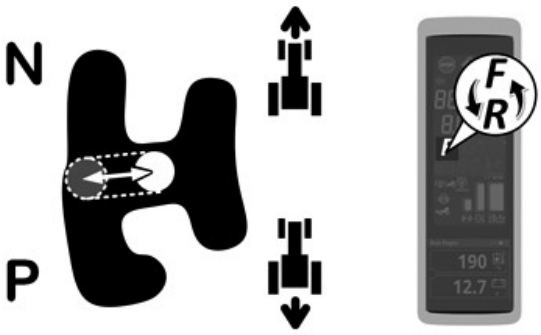
後進走行：



LX386920—UN—16APR20

後進走行のドライブトレインがアクティブです。リバースドライブレバーは後進位置に保持されず、中間位置に戻ります。コーナーポストディスプレイに「**P**」と表示されます。

Power Zero™ :



LX386921—UN—17APR20

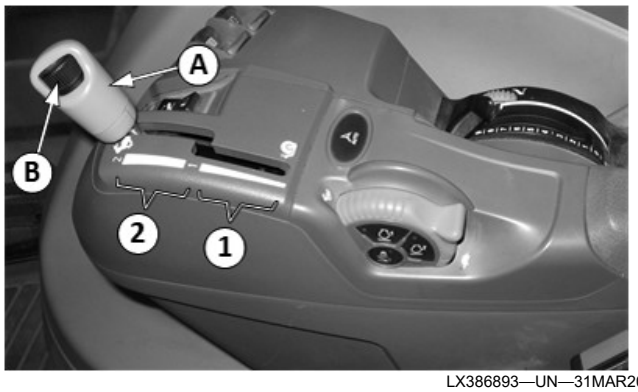
Power Zero™

リバースドライブレバーをシフトゲートの左側に動かす必要があります。Power Zero™ は、前進または後進走行後にトラクターを比較的平坦な場所で一時的に静止させるために使用します。コーナーポストディスプレイに **F** または **R** が表示されます。*レバーを前進または後進から Power Zero™ 位置 (C) に動かすと、トランスミッションによりトラクターは静止するまで減速します。トラクターが静止しても、トランスミッションには動力がかかったままです。速度と負荷によっては、Power Zero™ にしてもすでに動いているトラクターが停止しないことがあります。*リバースドライブレバーを放した後、レバーは中間位置に戻り、Power Zero™ はアクティブなままです。Power Zero™ から移動の方向を指令するには、リバースドライブレバーを能動的に前進または後進位置に動かす必要があります。

いずれかの移動方向から駐車位置に切り替える：
レバーを前進または後進から駐車位置に直接動かすと、トラクターは減速して停止します。下り坂を走行するときは同様に忘れずにブレーキペダルも操作してください。トラクターが静止すると、駐車ブレーキロックが自動的にかかります。

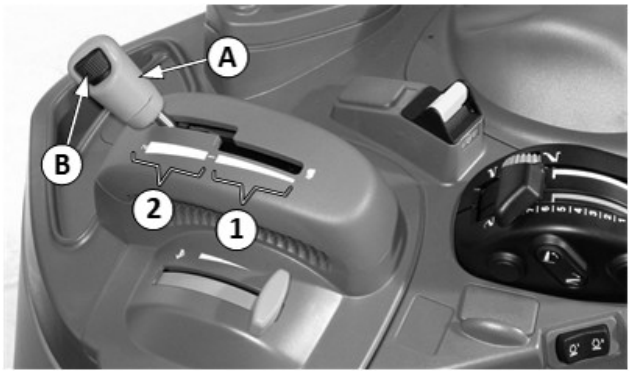
OULXA64,SP,00057B6-40-28AUG23

AutoPowr™/IVT™ - 速度コントロールレバー



LX386893—UN—31MAR20

CommandARM™ 付き



LX386892—UN—31MAR20

コンソールの速度コントロールレバー

A：**速度コントロールレバー**
B：**最高速度の速度ホイール**
1：**速度バンド 1**
2：**速度バンド 2**

移動速度は速度コントロールレバーで調整します。次の 2 種類の速度レンジ (1) と (2) を使用できます：

速度バンド	設定走行速度	
	前進最小	前進最高速度
(1)	2 km/h (1 mph)	20 km/h (12 mph)
(2)	10 km/h (6 mph)	40 km/h (25 mph)
	クリーパー最小	クリーパー最高速度
(1)	30 m/h (100 ft/h)	2 km/h (1 mph)
(2)	40 m/h (130 ft/h)	10 km/h (6 mph)
注： 装着しているタイヤによるわずかな偏差があります。		

速度バンド 1 の最高速度により、速度バンド 2 の最低速度が決まります。バンド (1) からバンド (2) への遷移は滑らかです。

速度バンドの達成可能な最大速度 (設定走行速度) は調整ホイール (B) で設定します。このセクションの説明を参照してください。

クリーパーモード：

- (1) を 2 km/h または 1 mph 未満の値に設定したときにアクティブです。
- (1) を 2 km/h または 1 mph よりも高い値に設定した場合、または (2) を 10 km/h または 6 mph よりも高い値に設定した場合に非アクティブです。

クリーパーモードでの速度バンド 1 と 2 の既定の比率は **1:2.5** です。これは、速度コントロールレバーが速度バンド 1 から 2 に動かされたときに急加速が起こらないようにするためです。

標準的な比率は、速度バンド (2) の速度コントロールレバーを最大の 10 km/h (6 mph) に動かすことで短時間オーバーライドする (無効にする) ことができます (枕地での旋回時など)。速度コントロールレバーを速度バンド 1 に戻すと、値が最後の設定にリセットされます。

後進速度 は前進速度に対する比率の設定によって決まります。このセクションの説明を参照してください。

保存されている速度制限の取得：

- アクセルペダルまたはアクセルレバーを終了位置に動かします。
- 速度コントロールレバーを速度バンド 1 または 2 の終了位置に動かします。
- タイヤサイズが正しく設定されている場合にのみ、保存されている速度が達成されます。

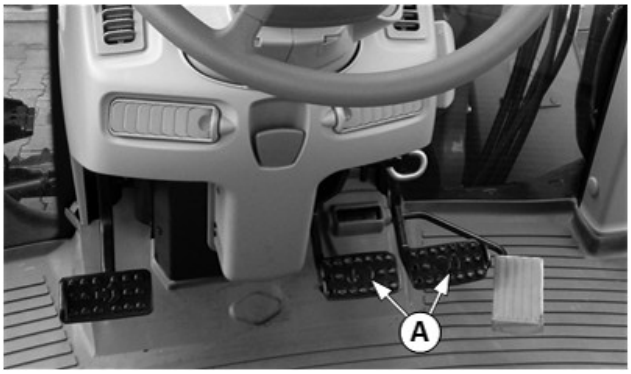
アクセルペダル、アクセルレバー、および速度コントロールレバーを中間位置にすると、レバー位置の比率に対応する移動速度が得られます。

調整式ホイール (B) は停止位置がありません。*無限に*調整できます。調整式ホイールを回すと、達成可能な最高速度の現在保存されている設定が変わります。

OULXA64,SP,00057B7-40-28AUG23

AutoPowr™/IVT™ — トラクターの停止と駐車

フットブレーキとブレーキペダルの動作原理については、「油圧フットブレーキ」(セクション 50C) を参照してください。



LX386895—UN—31MAR20

A：**ブレーキペダル**

トラクターの駐車

1. スロットルを低エンジン回転数に下げます。
2. 両方のブレーキペダルを作動させます。*オートクラッチが作動しているときは、クラッチペダルを踏む必要はありません。*

注記： エンジンを始動した後、オートクラッチ機能がオンになります。このセクションの「AutoPowr™/IVT™ - オートクラッチ」を参照してください。

3. トラクターが静止するまで待って、リバースドライブレバーを駐車位置に切り替えます。
4. 作業機を下降させて、PTO を停止します。
5. エンジンを停止し、キースイッチを抜きます。

オートクラッチによるトラクターの停止

減速または停止するには、両方のブレーキペダル (A) を踏み込みます。オートクラッチ機能が起動しているときは、クラッチペダルを操作する必要はありません。

オートクラッチ機能が有効のときにブレーキペダルを放すと、トラクターは前回の設定速度まで自動的に加速します。

重要： **オートクラッチがオフのときは、トラクターを停止するためにクラッチペダルを踏む必要があります。オートクラッチ機能はブレーキペダルを互いにロックしている場合にのみ作動します。**

注意： **大けがや物損を防止してください。**

高いエンジン回転数でのブレーキ操作には、大きなブレーキペダル踏力が必要です。

ブレーキを放すと、トラクターは自動的に加速します。予期しない加速力により、制御できなくなる可能性があります。

先を見越して運転し、走行速度を運転状況に合わせてください。

片側ブレーキをかけると、車両の制御が失われます。

道路走行時は、両方のブレーキペダルをロックして危険を回避してください。

Power Zero™ の使用 - このセクションの「AutoPowr™/IVT™ - リバースドライブレバー」を参照してください。

ニュートラル位置の使用 - このセクションの「AutoPowr™/IVT™ - リバースドライブレバー」を参照してください。

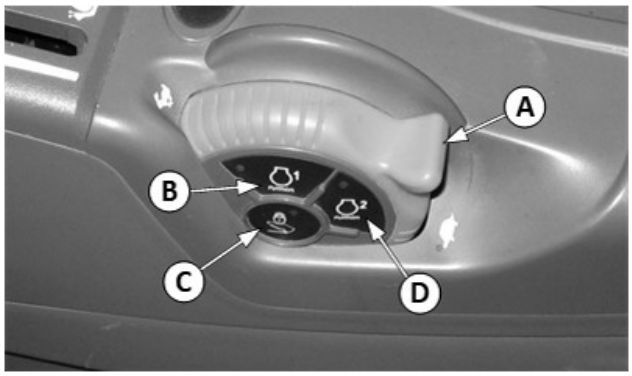
駐車位置の使用 - このセクションの「AutoPowr™/IVT™ - リバースドライブレバー」を参照してください。

OULXA64,SP,00057B8-40-29AUG23

AutoPowr™/IVT™ — アクセルペダルとアクセルレバー

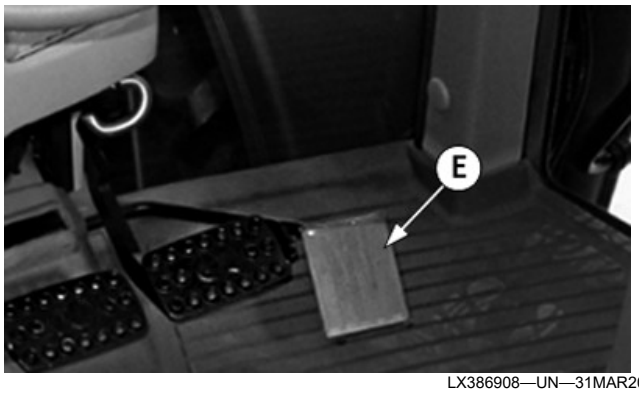
注記： 手動モードでは、低負荷時の自動エンジン回転数低下機能は作動しません。

エンジン回転数はアクセルレバーまたはアクセルペダルで指令します。エンジン回転数は、大きい値を指定する信号によって常に決まります。アクセルペダルで指令した走行速度またはエンジン回転数は (アクセルペダルの位置に応じて) 保存できます。



LX386894—UN—31MAR20

アクセルレバー



LX386908—UN—31MAR20

アクセルペダル

A：**アクセルレバー、前進 = エンジン回転数の増加**
B：**エンジン設定回転数 1、保存/ON/OFF**
C：**アクセルペダルの位置の保存/削除**
D：**エンジン設定回転数 2、保存/ON/OFF**
E：**アクセルペダル**

アクセルペダルの位置の保存/削除

1. ペダルを必要な位置に動かします。
2. ボタン (C) を押して放します。
3. 2 秒以内にペダルを放します。ペダル位置が保存されると、ボタン (C) の表示灯が点灯します。

注記：次のいずれかの操作を行った場合、アクセルペダル位置を保存することはできません：

- 駐車位置が選択されている
- ニュートラル位置が選択されている
- *Power Zero™* 有効
- クラッチペダルが踏まれている

保存されているアクセルペダル位置を削除するには、次のいずれかの操作を行います：

- ボタン (C) をもう一度押す。
- ブレーキをかけます。
- リバースドライブレバーをパーキング位置に入れます。
- アクセルペダル位置を保存されている位置に再度設定する。

アクセルペダル位置が削除されると、ボタン (C) の表示灯が消灯します。

エンジン回転数を上げる方向にアクセルペダルまたはアクセルレバーを動かすと、エンジン回転数が上がります。負荷に応じたエンジン回転数低下機能が有効の場合、設定移動速度に達するとエンジン回転数が自動的に調整されます。

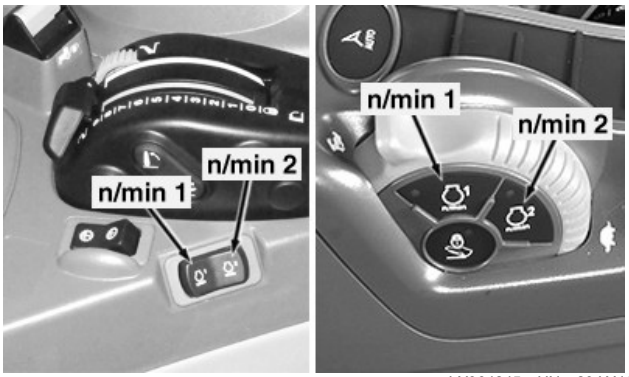
前進または後進走行を選択すると、アクセルペダルまたはアクセルレバーを使って移動速度を調整できます。現在の移動速度は、アクセルペダルまたはアクセルレバーの位置によって直接決まります。*エンジン回転数は手動モードのときにのみアクセルペダルの影響を受けます。*

アクセルペダルまたはアクセルレバーを操作するたびに、自動制御および最高エンジン回転数に設定した値が考慮されます (トランスミッション設定のメニューを参照してください)。フルスロットルの場合でも最高エンジン回転数の設定値を超えることはありません。自動モードでは、フルスロットルの場合もエンジンは必要な回転数で回ります。アクセルペダルおよびアクセルレバーを同時にフルスロットルで操作した場合、負荷依存の操縦制御 (コントロール) は無効です。

OULXA64,SP,00057B9-40-28AUG23

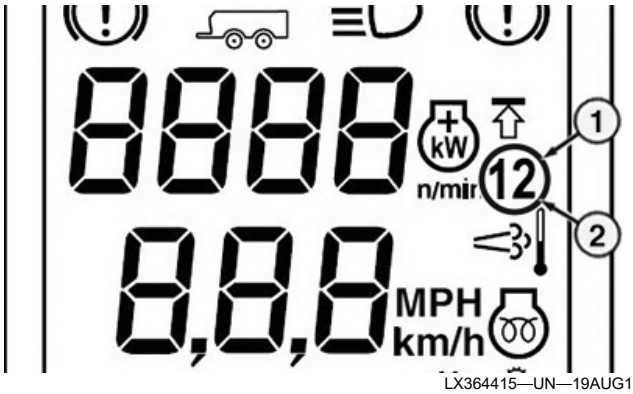
AutoPowr™/IVT™ - エンジン設定回転数

注記：エンジンメニューでは、エンジン設定回転数も呼び出して編集できます。



LX364245—UN—29JAN19

CommandARM™ なし/*CommandARM™* 付き



LX364415—UN—19AUG19

- 「**n/min 1**」、エンジン設定回転数 1
- 「**n/min 2**」、エンジン設定回転数 2

表示灯：
有効にしたエンジン設定回転数は、コーナーポストディスプレイの (1) または (2) に表示されます。

エンジン回転数の設定と保存：
アクセルレバーまたはアクセルペダルでエンジン回転数を設定して、ビープ音が聞こえるまで「**n/min 1**」または「**n/min 2**」を押し続けます。現在のエンジン回転数が保存されます。ボタンを放します。

エンジン設定回転数「n/min 1」または「n/min 2」の有効化/無効化：
いずれかのボタンを押して放すと、エンジン回転数は保存されている値に自動的に調整されます。エンジン制御で、エンジン回転数が一定に維持されます。

ボタンをもう一度押すと、エンジン設定回転数が解除されます。これにより、エンジン回転数はアクセルペダルまたはアクセルレバーの現在の位置によって直接決まります。

エンジン設定回転数が有効の場合は、アクセルレバーまたはアクセルペダルで移動速度を指令します。

OULXA64,SP,00057BA-40-28AUG23

AutoPowr™/IVT™ - 設定走行速度

移動の方向ごとに、速度バンド (1) と (2) の最高速度を保存できます。

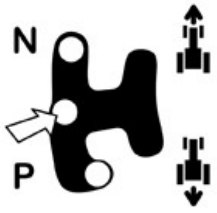
設定走行速度の設定：

1. トラクターを静止させて、イグニッションを ON にするか、エンジンを ON にします。



LX386899—UN—31MAR20

2. リバースドライブレバーを駐車位置 **P**、ニュートラル位置 **N**、または Power Zero™ (矢印) にします。



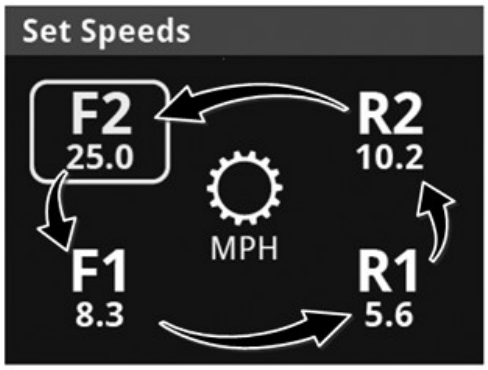
LX386922—UN—16APR20
リバースドライブレバーの位置

3. 調整 (式) ホイールを回します。現在の設定走行速度のウィンドウがコーナーポストディスプレイに表示されます。



LX386901—UN—31MAR20

4. 設定走行速度はそれぞれ 2 秒間強調表示されます。



LX386902—UN—31MAR20
設定画面

F1：**前進、速度バンド 1**
F2：**前進、速度バンド 2**
R1：**後進、速度バンド 1**
R2：**後進、速度バンド 2**

5. 必要な設定走行速度が強調表示されるまで待ってから調整式ホイールを回して設定を変更します。



LX386903—UN—31MAR20

設定の変更

6. 数秒間入力しなかった場合、設定速度は消えます。設定が保存されます。

設定走行速度の有効化：

- アクセルペダルまたはアクセルレバーを終了位置に動かします。
- 速度コントロールレバーを速度バンド 1 または 2 の終了位置に動かします。



LX386905—UN—15APR20

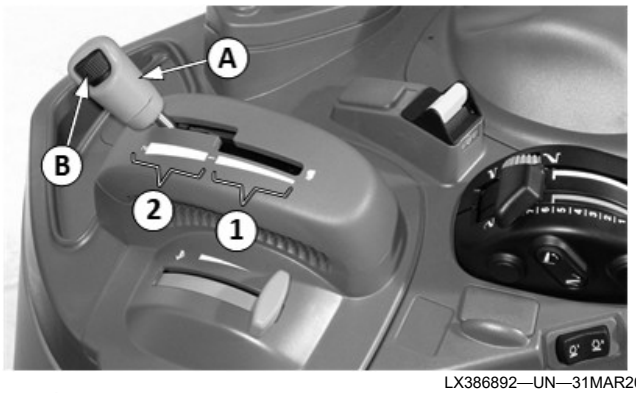
例： 設定走行速度 *F2* の有効化

OULXA64,SP,00057BB-40-28AUG23

AutoPowr™/IVT™ - 設定走行速度、ガイドライン

このセクションの「AutoPowr™/IVT™ - 設定走行速度」も参照してください。

- 1 = 0 から最高速度 F1 (前進 1) までの移動速度。
- 2 = 最高速度 F1 (前進 1) から最高速度 F2 (前進 2) までの移動速度。
- 設定走行速度 F1 = オペレータが選択して保存できる速度。速度バンド 1 の最高速度または速度バンド 2 の初期速度。
- 設定走行速度 F2 = オペレータが選択して保存できる速度。速度バンド 2 の最高速度。



LX386892—UN—31MAR20

A：**速度コントロールレバー**
B：**最高速度の速度ホイール**
1：**速度バンド 1**
2：**速度バンド 2**

速度バンド 1 の最高速度により、速度バンド 2 の最低速度が決まります。

バンド (2) への遷移は滑らかです。

注記： 速度バンドの開始速度と終了速度の差は 12.5% 以上である必要があります。この値未満に設定が下がると、F1 または F2 は自動的に適合されます。

注記： F1 は前進走行、速度バンド 1 の設定走行速度です。

F2 は前進走行、速度バンド 2 の設定走行速度です。

OULXA64,SP,00057BC-40-29AUG23

AutoPowr™/IVT™ - クラッチペダル

クラッチペダル (A) を使って、いつでもエンジンとトランスミッション間のドライブトレインを中断することができます。クラッチを踏み込んでも *PTO* シャフトには影響ありません。



LX386911—UN—06APR20

A：**クラッチペダル**

AutoPowr™/IVT™ トランスミッションには自動クラッチ機能 (オートクラッチ) があります。オートクラッチを有効にしているときは、トラクターを停止するためにクラッチペダルを踏む必要はありません。ブレーキをかけると、トランスミッションはクラッチを自動的に調整し、変調します。

重要： **オートクラッチがオフのときは、トラクターを停止するためにクラッチペダルを踏む必要があります。**

このセクションの「AutoPowr™/IVT™ - トラクターの停止と駐車」も参照してください。

OULXA64,SP,00057BD-40-29AUG23

AutoPowr™/IVT™ — トラクター操作時の特殊機能



LX386896—UN—31MAR20

AutoPowr™/IVT™ トランスミッションでは、トラクターを始動した後、自動クラッチ機能 (オートクラッチ) が有効です。このセクションのオートクラッチの説明も参照してください。

両方のブレーキペダルを少し踏むと、トラクターを*クリープ走行*させることができます。これにより、たとえば作業機までの後進が容易になります。両方のブレーキペダルをいっぱいまで踏み込むと、動力がトランスミッションにかかっている状態でトラクターは停止します。オートクラッチが有効のときは、トラクターを停止するためにクラッチペダルを踏む必要はありません。ただし、以下に注意してください。

- 超低速でもフルトルクを利用できます。状況によっては、障害物があってもトラクターは静止状態になりません。
- ブレーキを放すと、アクセルレバーまたはアクセルペダルによって現在指令されている速度までトラクターは自動的に加速します。
- オペレータがオートクラッチなしのトラクターに戻った場合、ブレーキペダルを踏んでもトランスミッションが**解除されない**ことに注意してください。

下り坂運転時：

- 駐車ブレーキロックをかける前に、フットブレーキでトラクターを停止させます。
- たとえば、前進走行から後進走行への変更を容易にするには、同時にフットブレーキをかけます。

重要： **速度コントロールレバーを使って、非常に短時間に速度の大幅な減速を指令できます。トラクションの安定性を向上させるために、トランスミッションのコントロールユニットは減速の感度を緩和します。**

たとえば、トレーラーの安定性を確保するために、フットブレーキで速度の大幅な減速を支援することを強くお勧めします。

OULXA64,SP,00057BE-40-28AUG23

AutoPowr™/IVT™ - 下り坂でのトレーラー付きトラクターのブレーキ操作

ここでの説明は、AutoPowr™ / IVT™ トランスミッションと空気圧式または油圧式トレーラーブレーキシステム装備のトラクターに有効です。

注意： **大けがや致命傷を負う事故の危険があります。**

滑りやすい傾斜地ではトラクターのホイールがトラクションを失う可能性があります。横滑りしているホイールがブロックされている車両や横滑りしている車両は制御できません。

次の注意事項を守って、リスクを防止してください。

- 常に地面条件や傾斜に注意し、慎重に予測して運転してください。危険区域に達する前に速度を下げてください。
- 急に減速しないで常にゆっくりと減速してください。これは、エンジン回転数を下げる場合とトランスミッションで減速する場合の両方に当てはまります。
- ブレーキペダルを連結して徐々に操作してください。
- 強いステアリング動作を回避してください。

AutoPowr™/IVT™ — トレーラー付きトラクターのブレーキ操作

制御対象であるヒッチで連結された装置 (トラクターとトレーラーなど) にブレーキをかけるには、安定した運転特性のためにヒッチの伸長が必要です。

走行速度の減速により、強いブレーキ効果が発生します。この強いブレーキ効果は、トランスミッションとエンジンのギヤ比によって発生し、走行速度が低い場合に強く発生します。

このような状況で、ヒッチの伸長を保つためには、主にトラクターのフットブレーキでブレーキをかけてください。または、常用ブレーキを踏み込むと同時にクラッチペダルを踏み込むこともできます。どちらの場合も、トレーラーブレーキが十分に作動してヒッチで連結された装置が伸長します。この方法により、停止時または方向転換のための減速時に優れた走行安定性が得られます。

公道以外の圃場用途： 必要な走行速度をアクセルペダルで指令しながら、両方のブレーキペダルを少し踏んで、ブレーキを開始し、トレーラーを伸ばします。この機能は、15 km/h (9 mph) を超える走行速度の場合、および短距離のみの場合には使用しないでください。

注記： この機能は、TIN DA 72 から無効にすることができます。

OULXBER,SP,00030AC-40-28AUG23

AutoPowr™/IVT™ - 個別のブレーキペダルの使用

注意： **大けがや物損を防止してください。**

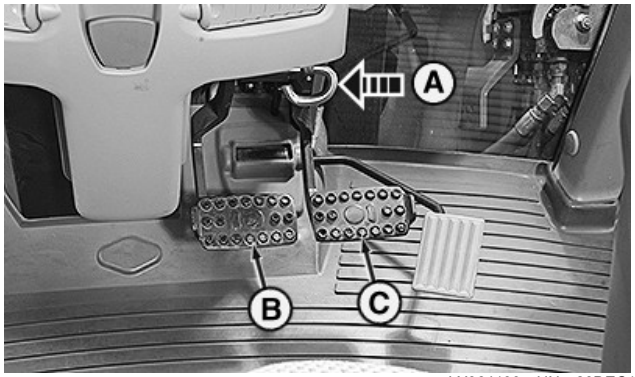
高いエンジン回転数でのブレーキ操作には、大きなブレーキペダル踏力が必要です。

ブレーキを放すと、トラクターは自動的に加速します。予期しない加速力により、制御できなくなる可能性があります。

先を見越して運転し、走行速度を運転状況に合わせてください。

片側ブレーキをかけると、車両の制御が失われます。

道路走行時は、両方のブレーキペダルをロックして危険を回避してください。



LX364199—UN—20DEC18

ブレーキペダル

A：**両方のブレーキペダル用のペダルロック**
B：**左ブレーキペダル**
C：**右ブレーキペダル**

圃場作業のための方向の修正：

ブレーキペダルのロックを解除して、ブレーキペダルを個別に使って方向を修正します。オートクラッチがオンで、いずれかのブレーキペダルを踏むと、クラッチはローアイドル回転数で解除されます。ドライブトレインの中断を回避するには、オートクラッチをオフにするか、エンジン回転数と移動速度を上げます。

重要： **オートクラッチがオフのときは、トラクターを停止するためにクラッチペダルを踏む必要があります。**

作業機またはトレーラーを装着するときの方向修正：

ブレーキペダルのロックを解除して、作業機への接近時にブレーキペダルを個別に使って方向を修正します。ステアリング操作が完了するまで、エンジン回転数をゆっくり上げながらブレーキペダルを踏みます。オートクラッチがオンの場合は、アイドル回転数の低下を避けてください。ブレーキペダルを踏み込んでいるときにエンジン回転数をローアイドルにリセットすると、トラクターは減速して停止します。

OULXA64,SP,00057C0-40-28AUG23

AutoPowr™/IVT™ — 寒冷時の始動



LX374427—UN—05JUN19



LX386897—UN—31MAR20

凍結点未満のオイル温度では、潤滑が不適切になり、油圧バルブの問題が発生することがあります。

トラクターをこのような気候条件で始動した場合、自動機能は駆動システムの早すぎる連結を防ぎます。診断トラブルコード TIN 524193.14 (オペレータへの情報：トランスミッションの暖機ルーチンがアクティブ) が表示されます。

暖機ルーチンの開始：

1. エンジンを始動します。
2. リバースドライブレバーを駐車位置に入れます。
   リバースドライブレバーが駐車位置以外の位置にあると、コード TIN 524193.31 (オペレータへの情報：トランスミッションの暖機ルーチンが起動できません。駐車ブレーキロックをかける必要があります) が表示されます。
3. 暖機ルーチンは自動的に開始されます。表を参照してください。
4. トラクターは、指定された時間が経過した後にのみ運転できます。

暖機ルーチンの時間は、温度に応じて異なります：

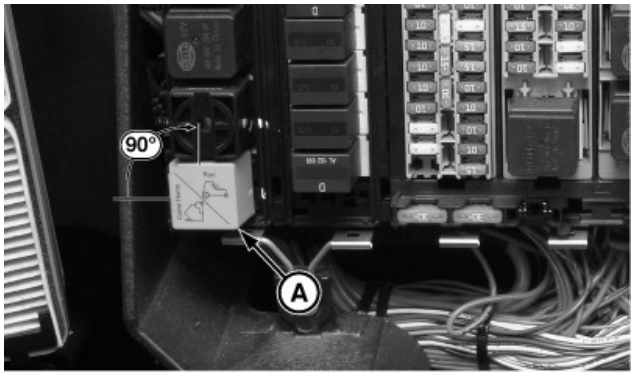
気温範囲	**ウォームアップ時間**
-7°C (19.4°F) 以上	なし
-8°C (17.6°F) ~ -15°C (5°F)	約 95 秒
-16°C (3.2°F) ~ -20°C (-4°F)	約 155 秒
-21°C (-5.8°F) ~ -30°C (-22°F)	約 245 秒

注記： -30°C (-22°F) 以下の気温では、トランスミッション入力シャフトのみが回転します。トランスミッションオイル温度が -30°C (-22°F) に達するとすぐに暖機フェーズが開始されます。暖機ルーチン中、エンジン回転数は 1200 rpm まで上がることがあります。

OULXA64,SP,00057C1-40-28AUG23

AutoPowr™/IVT™ — カムホームモード

トランスミッションに電気的故障がある場合、トラクターをカムホームモードで運転することが可能です。



LX514956—UN—22NOV23

時計回りに *90°* 回転させたコネクタ

A：**コネクタ**

このためには、エンジンを停止し、図のようにコネクタ (A) を引き抜いて時計回りに 90° 回して再度挿入します。その後、エンジンを再始動します。

「AutoPowr™/IVT™ トランスミッションでのヒューズとリレー (LCS)」(セクション 220B) も参照してください。

カムホームモードの場合：

1. 最高速度は 9 km/h (5.6 mph) です。
2. AutoClutch 機能は無効です。
3. Power Zero™ は無効です。
4. 機械を停止して、クラッチペダルを踏み込んだ場合のみ、方向を変えることができます。

発進するには、次の手順に従います：

1. クラッチペダルを踏み続けます。
2. リバースドライブレバーを使って走行方向を選択します。
3. クラッチペダルを放して発進します。

OULXA64,SP,00057C2-40-22SEP23

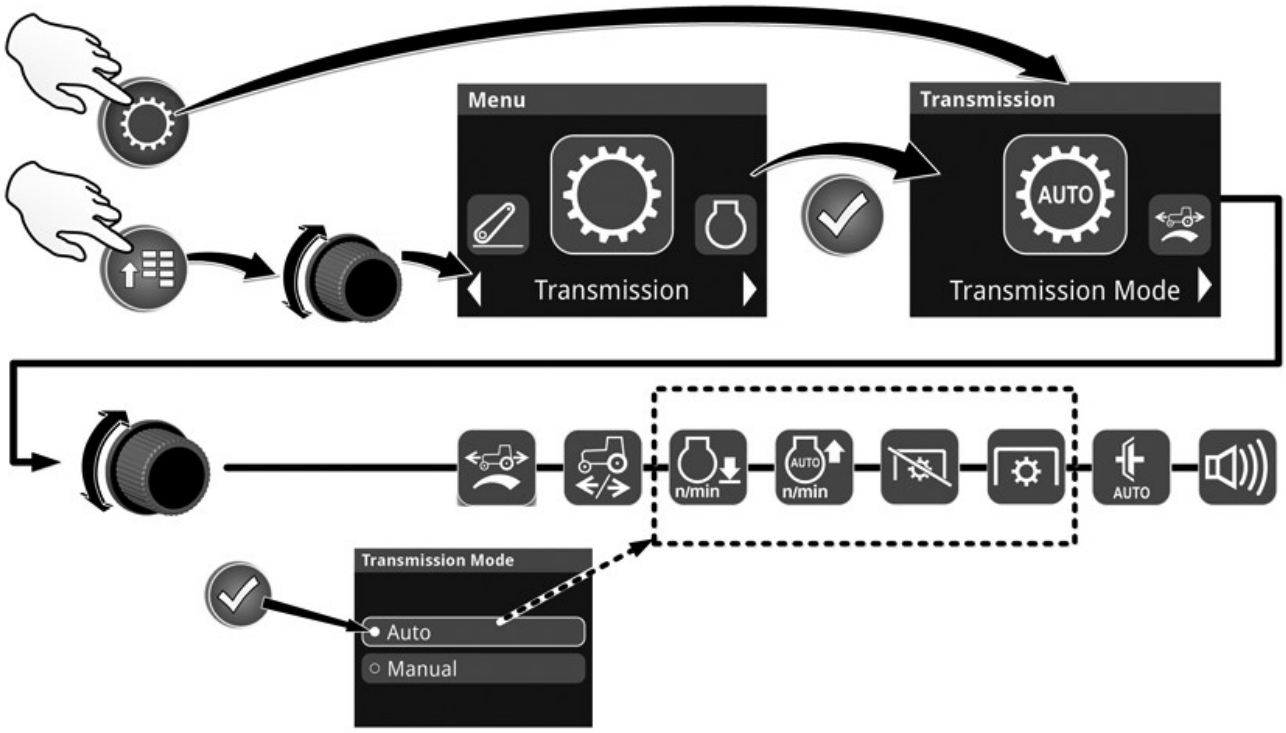
AutoPowr™/IVT™ — トラクターの牽引

トラクターを牽引する必要があり、駐車ブレーキロックを解除できない場合は、セクション 110 の手順に従ってください：

- トラクターの牽引
- 駐車ブレーキロックの手動解除

OULXA64,SP,00057C3-40-29AUG23

AutoPowr™/IVT™ - メニュー

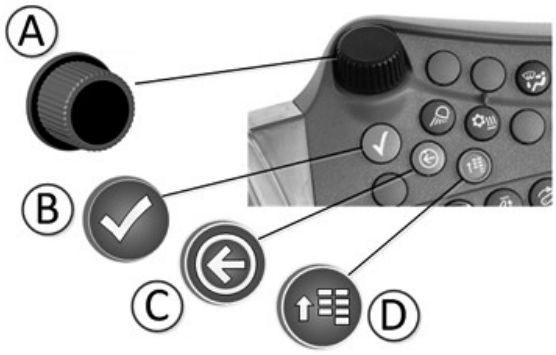


LX368294—UN—19DEC18

「トランスミッション」メニューにアクセスするには、次の 2 つの方法があります：

- 「トランスミッション」ボタンで「トランスミッション」メニューを呼び出します。
- メインメニューから「トランスミッション」メニューに移動します。

移動と設定の基本コントロール：



LX361250—UN—17DEC18

A：**選択と設定**
B：**選択の確定**
C：**1 ステップ戻る**
D：**メインメニューへのアクセス**

OULXA64,SP,00057C4-40-28AUG23

AutoPowr™/IVT™ - トランスミッションメニューの絵記号



RXA0152950—UN—21JUL16

PowrReverser™ の選択



RXA0152951—UN—21JUL16

最低回転数の選択



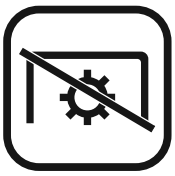
RXA0152953—UN—21JUL16

後進/前進比の選択



RXA0152954—UN—21JUL16

予測負荷の選択



RXA0152956—UN—21JUL16

PTO OFF 選択時のドループ



RXA0152957—UN—21JUL16

PTO ON 選択時のドループ



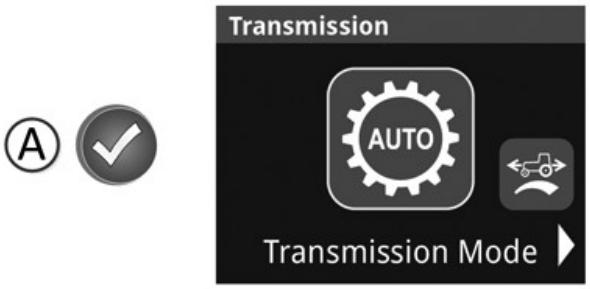
RXA0153891—UN—19SEP16

オートクラッチの選択

OULXA64,SP,00057C5-40-28AUG23

AutoPowr™/IVT™ - トランスミッションモード

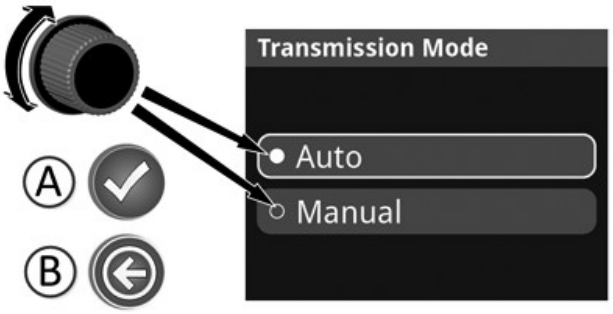
1. 「トランスミッション」メニューのトランスミッションモードにアクセスします。「AutoPowr™/IVT™ - メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。



LX368316—UN—22JAN19

A：**確定**

3. 「自動」または「手動」を選択して (A) で確定します。



LX368317—UN—22JAN19

A：**確定**
B：**戻る**

注記： 次の設定は、「自動」トランスミッションモードが選択されている場合のみ利用できます：「最低回転数」、「予測負荷」、「PTO OFF/ON でのドループ」。

OULXA64,SP,00057C6-40-23OCT23

AutoPowr™/IVT™ - PowrReverser™



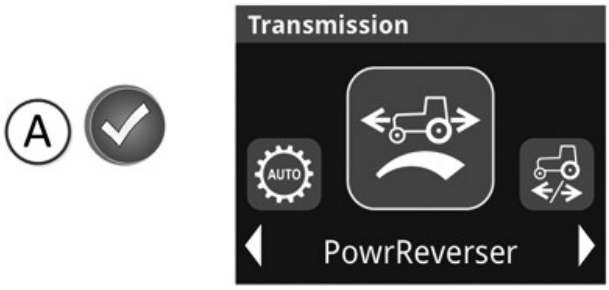
RXA0152950—UN—21JUL16

PowrReverser™ アイコン

PowrReverser™ 変調は、方向変更の感度を設定します。変調は 1～3 の 3 段階に調整できます。

「1」の設定は最小の感度で、精密な制御と滑らかな方向変更が必要な用途に使用します。「3」の設定は最高の感度です。この設定はすばやい方向変更が必要な高生産性の用途で使用されます。

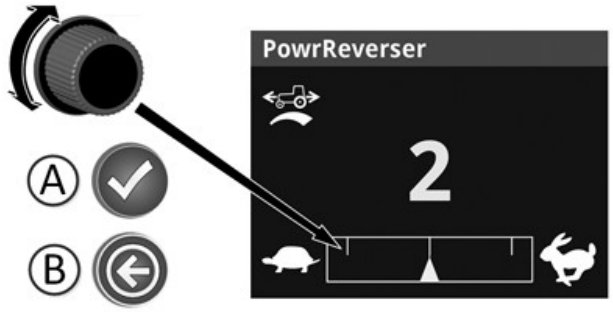
1. 「トランスミッション」メニューの PowrReverser™ にアクセスします。「AutoPowr™/IVT™ - メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。



LX361251—UN—19DEC18

A：**確定**

3. 方向変更の感度を設定して、(A) を押して確定します。「1」は感度が低で、「3」は感度が高です。



LX386923—UN—16APR20
方向変更の感度の調整

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,SP,00057C7-40-29AUG23

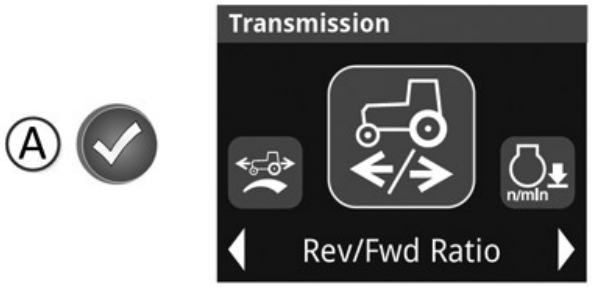
AutoPowr™/IVT™ - 後進/前進速度比



RXA0152953—UN—21JUL16
「後進/前進速度比」アイコン

前進から後進にまたはその反対に方向を変える場合は、自動速度変更を選択できます。異なる前進速度と後進速度を選択することで、用途に合わせて運転操作を最適に適応させることができます。

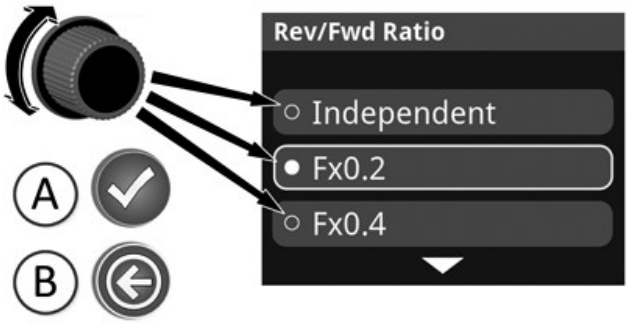
1. 「トランスミッション」メニューの前進/後進速度比にアクセスします。「AutoPowr™/IVT™ - メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。



LX361257—UN—19DEC18

A：**確定**

3. 速度増加の大きさを選択して、(A) で確定します。表示される値は、後進速度を計算するために前進速度に掛ける乗算率です。**例**：前進走行に速度 **10 km/h** を保存して、後進速度の比率として **Fx0.2** を選択した場合、後進速度 **10 km/h x 0.2 = 2 km/h** が方向変更に適用されます。



LX361258—UN—19DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,SP,00057C8-40-29AUG23

AutoPowr™/IVT™ - 最低回転数



RXA0152951—UN—21JUL16
「最低回転数」アイコン

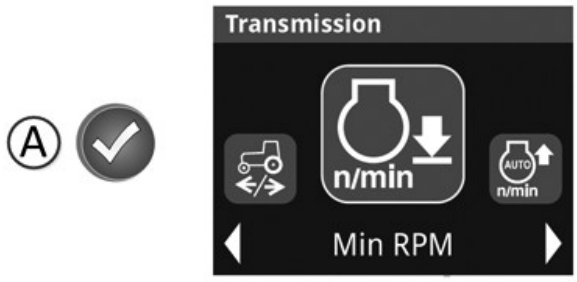
この設定は、「自動」トランスミッションモードがアクティブの場合のみ有効です。

エンジン回転数の場合は、最低値を指定できます。トランスミッションの制御は、エンジンに指定された最低回転数を下回らないように適切なギヤに自動的にシフトします。これは、エンジンの最低回転数を必要とする作業で利点があります。

1. 「トランスミッション」メニューの「最低回転数」

にアクセスします。「AutoPowr™/IVT™ - メニュー」を参照してください。

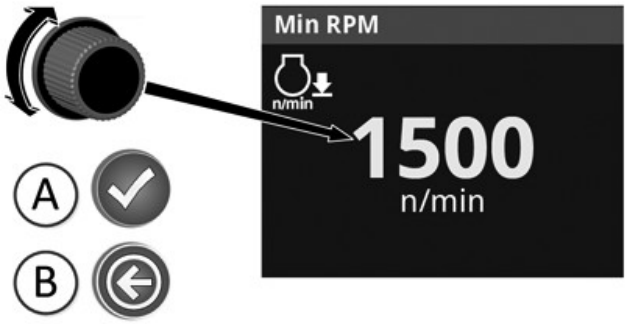
2. ボタン (A) で確定します。



LX361259—UN—19DEC18

A：**確定**

3. エンジンの最低回転数を設定して (A) で確定します。*最低回転数は、900 ~ 2100 rpm の範囲で設定できます。または、「自動」設定を選択できます。これは最低回転数 1200 rpm に相当します。*



LX368296—UN—19DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,SP,00057C9-40-29AUG23

AutoPowr™/IVT™ - トランスミッション、予測負荷



RXA0152954—UN—21JUL16

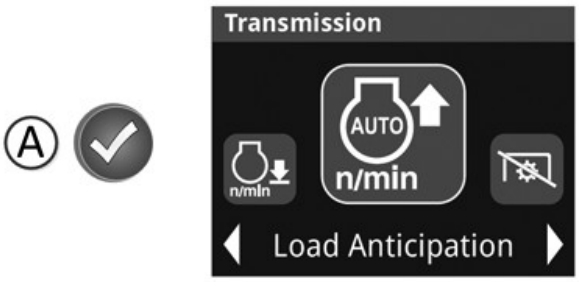
「予測負荷」アイコン

この機能は、「自動」トランスミッションモードを選択している場合のみ有効です。

予測負荷が有効になっている場合、作業を開始するとすぐにエンジン回転数は予想される負荷に合わせて自動的に調整されます。予測負荷は個々の用途に対して選択できます。「自動」設定では、ディスプレイに表示されているすべての用途で予測負荷が有効になります。

- PTO をオンにする ⇒ エンジン回転数が最高回転数に自動的に上昇します。
- ヒッチの動き ⇒ ヒッチの動きが検出されると、エンジン回転数は自動的に 1500 rpm に上昇します。
- EH (電気油圧式) SCV の操作 ⇒ EH SCV の動作を検出すると、エンジン回転数は 1500 rpm に自動的に上昇します。

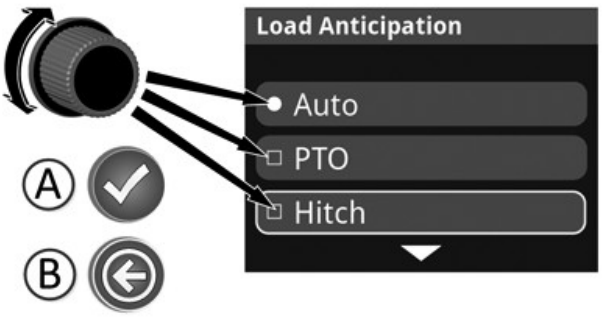
1. 「トランスミッション」メニューの「予測負荷」にアクセスします。「AutoPowr™/IVT™ - トランスミッション、メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。



LX361261—UN—19DEC18

A：**確定**

3. アプリケーションを選択して (A) で確定します。*工場初期設定は「自動」で、すべての用途でエンジン回転数の調整が有効になっています。*

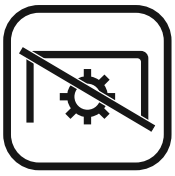


LX361262—UN—19DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,SP,00057CA-40-29AUG23

AutoPowr™/IVT™ - PTO ON/OFF でのドループ



RXA0152956—UN—21JUL16
「*PTO OFF* でのドループ」アイコン



RXA0152957—UN—21JUL16
「*PTO ON* でのドループ」アイコン

PTO OFF：**PTO シャフトに依存しないドループ**
PTO ON：**PTO シャフトがオンのときのみのドループ**

PTO OFF . . PTO がオフのときのドループ
PTO ON . . . PTO シャフトがオンになったときのドループ

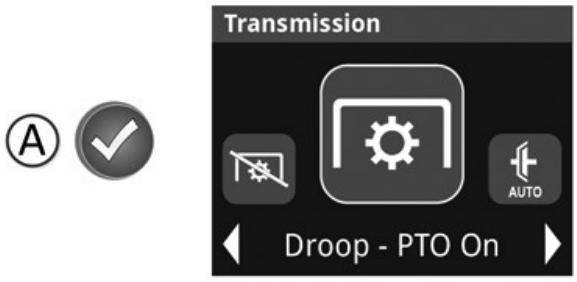
この機能は、「自動」トランスミッションモードを選択している場合のみ有効です。

ドループにより、自動制御される速度伝達比を調整できます。比率を自動的に減らすことで、トランスミッション制御は最低値未満にエンジン回転数が下がるのを防止します。この自動適合により、エンジンは適切な回転数範囲で常に運転され、作業を行うための十分なトルクが得られます。

高ドループを選択すると、負荷に対する応答が遅くなります。低ドループを選択すると、負荷に対する応答が早くなります。

- 高ドループ - エンジン回転数が低いときにのみギヤ比が調整されます。
- 低ドループ - エンジン回転数が高いときにギヤ比はすでに調整されています。

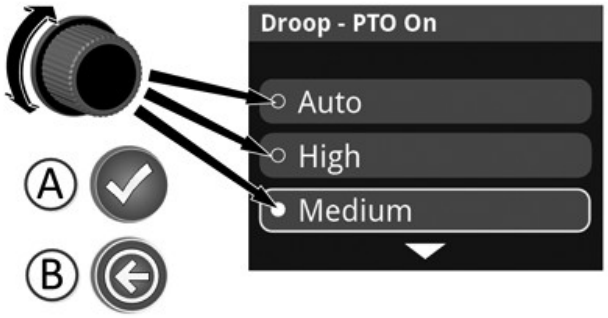
1. 「トランスミッション」メニューの「ドループ」にアクセスします。「AutoPowr™/IVT™ - メニュー」を参照してください。
   - PTO OFF - ドループ OFF
   - PTO ON - ドループ ON
2. ボタン (A) で確定します。



LX361265—UN—19DEC18
PTO オン時のドループ

A：**確定**

3. 回転数低下の感度を選択して (A) で確定します。***工場出荷時の設定は「自動」です。つまり、設定はあらゆる状況に使える設定を使って調整されます。通常はこの設定で十分です。***



LX368292—UN—19DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

- 自動ドループ (推奨)
- 高ドループ (加速に悪影響あり)
- 中間ドループ
- 低ドループ

OULXA64,SP,00057CB-40-29AUG23

AutoPowr™/IVT™ - オートクラッチ



RXA0153891—UN—19SEP16
オートクラッチの絵記号

オートクラッチは自動クラッチ機能です。AutoClutch が ON のときは、トラクターを停止するためにクラッチペダルを踏む必要はありません。

トラクターにブレーキをかけるときに両方のブレーキ

ペダルを踏むと、速度が下がるか、トラクターが停止します。ブレーキペダルを放すと、アクセルレバールまたはアクセルペダルによって現在指令されている速度までトラクターは自動的に加速します。

オートクラッチ感度は、種々の運転状況に合わせて適合できます。

注意： 車両の制御を失って、致命的なけがや大きな物的損害が発生する危険があります。

オートクラッチ機能の設定不良と不適切な運転により、制御不能な運転状況が発生することがあります。

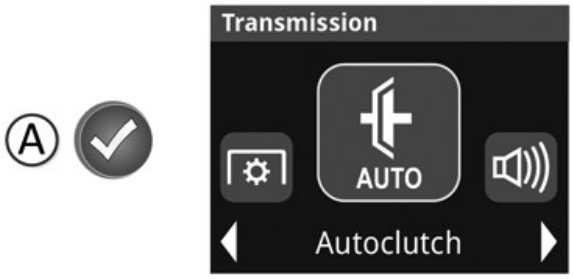
トランスミッションの設定や運転スタイルについては、下記の点に注意してください。

- オートクラッチ機能を有効にした状態でブレーキをかけると、エンジンの制動効果が低下することがあります。
- トレーラーを使用しているときは、特に急な滑りやすい道路で感度を低く設定してください。
- トレーラーのブレーキ効果が少なすぎると、トレーンの伸びが不十分になる可能性があります。
- オートクラッチがオフのときは、トラクターを停止するためにクラッチペダルを踏む必要があります。
- AutoClutch は、両方のブレーキペダルを連結したときにのみ機能します。ペダルを個別に操作しても(ステアリング操作等)、自動クラッチ機能は作動しません。

注記： ステアリングブレーキを使用する (1 つのブレーキペダルのみを踏み込む) 運転操作の場合 エンジン回転数は 900 rpm 未満に低下してはなりません。低下した場合、オートクラッチ機能が再び有効になります。

始動後、AutoClutch は ON のままになります。オペレータがオートクラッチをオフにした場合は、トラクターを次回始動するとき自動的にオンになります。

1. 「トランスミッション」メニューの「オートクラッチ」にアクセスします。「AutoPowr トランスミッション - メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。

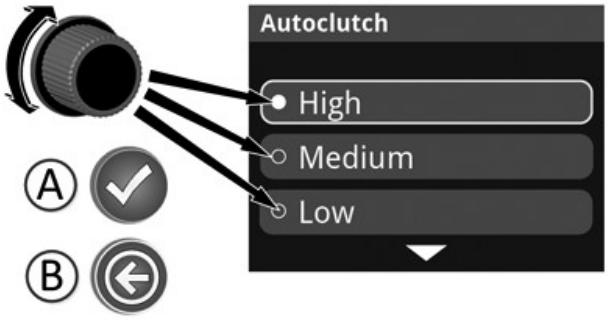


LX361266—UN—19DEC18

A：**確定**

3. AutoClutch 機能の感度を選択して (A) で確定します。*工場出荷時の設定は「高」です。この設定はほとんどの用途で十分です。別の設定が選択されている場合、トラクターを再始動しても選択は有効なままです。*

AutoClutch 感度の設定	
オフ	自動クラッチ機能を OFF にします。OFF は、ブレーキペダルを操作していない場合のみ選択できます。「OFF」設定はトラクターを再始動したときに保存されていません。
低	特に滑りやすい地盤条件でトレーラーを牽引する場合にお勧めします。
中	トレーラーを牽引して少し起伏の多い地形を運転する場合。
高	主にトレーラーなしでの走行やトレーラー付きで平坦な地面上を走行する場合 (工場出荷時の設定)。



LX361267—UN—19DEC18

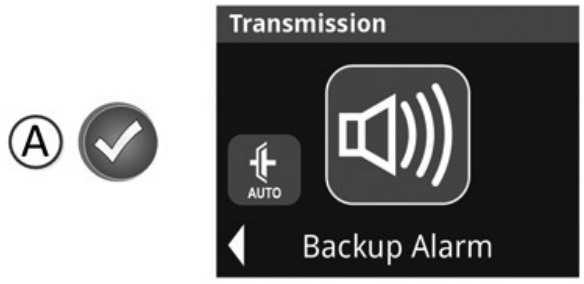
A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,SP,00057CC-40-29AUG23

AutoPowr™/IVT™ - バックアップアラーム

バックアップアラームを使用すると、事故防止に役立ちます。また、地域の法律によって必要になる場合があります。バックアップアラームが作動すると、移動の方向を後進に命令したときに警報音が鳴ります。警報音は後進走行しているトラクターの近くの人に警告します。

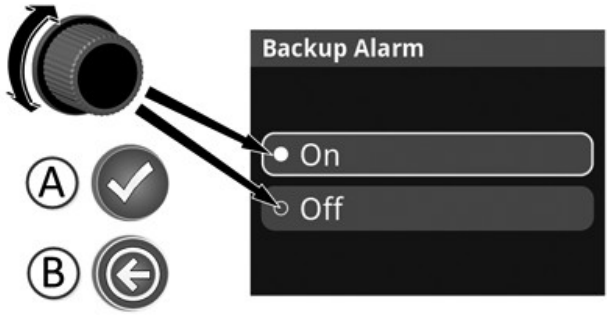
1. 「トランスミッション」メニューの「バックアップアラーム」にアクセスします。「AutoPowr™/IVT™ トランスミッション — メニュー」を参照してください。
2. ボタン (A) で確定します。



LX361268—UN—19DEC18

A：**確定**

3. バックアップアラームをオンまたはオフに切り替えて、(A) で確定します。



LX361269—UN—19DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,SP,00057CD-40-28AUG23

ヒッチ - 最大吊上げ力

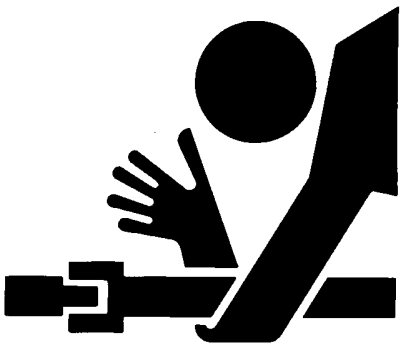
最大吊上げ力に関する情報は「仕様」セクションに記載されています。

注記： 公道を運転するときは、車軸荷重とタイヤ耐荷重に関する法的な制約に従ってください。これらの法的制約により、許容される最大リフト力は記載値より小さい場合があります。

LX25458,MY20,00009FE-40-19JUN23

PTO シャフト - 一般情報

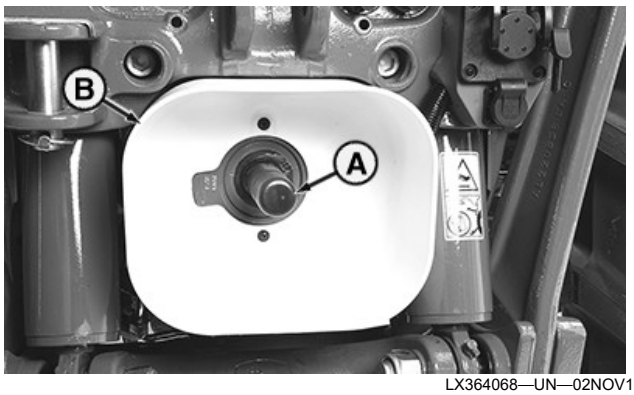
フロント PTO — PTO シールド



TS276—UN—23AUG88

注意： PTO で駆動される作業機を取り付ける場合のみ保護キャップ (A) を取り外します。

作業機を取り外したらすぐに保護キャップを再度取り付けてください。



LX364068—UN—02NOV18

保護キャップと *PTO* シールド

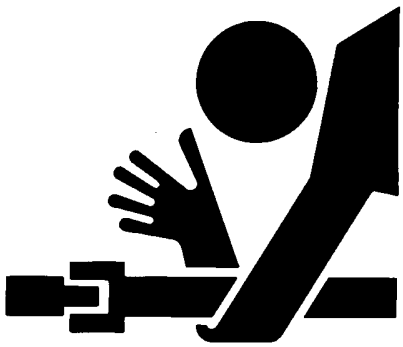
注意： PTO シールド (B) がある場合にのみ PTO シャフトを操作してください。PTO をオフにしてから作業機を上げてください。

注意： PTO の使用前に、ユニバーサルジョイントの屈曲部の最大許容角度を決定する必要があります。作業中は PTO ガードとユニバーサルジョイントシャフトが接触しないようにする必要があります。

PTO 接続時は、手袋を着用してください。

OULXA64,6M,000561C-40-15JUN23

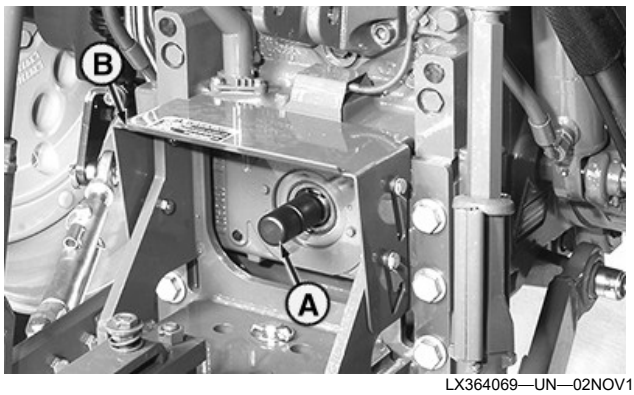
リア PTO — PTO シールド



TS276—UN—23AUG88

注意： PTO で駆動される作業機を取り付ける場合のみ保護キャップ (A) を取り外します。

作業機を取り外したらすぐに保護キャップを再度取り付けてください。



LX364069—UN—02NOV18

マスターシールド (B) を上に折りたたむと作業機を接続できますが、後で再度平らにする必要があります。*ここに記載したもの以外にもさまざまな種類の PTO ガードがあります。*

注意： マスターシールドが図の位置にない場合は、絶対に PTO を作動させないでください。PTO をオフにしてから作業機を上げてください。

注意： PTO の使用前に、ユニバーサルジョイントの屈曲部の最大許容角度を決定する必要があります。作業中は PTO ガードとユニバーサルジョイントシャフトが接触しないようにする必要があります。特にコーナーの旋回時は注意してください。

直径 45 mm (1.77 in) のシャフト、20 スプラインを使用したタイプ 3 PTO の場合、PTO シールド部の隙間が制約を受けることあります。操作時はこのことに注意し、不要な損傷を防止してください。

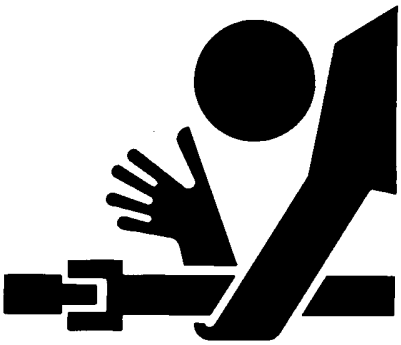
PTO 接続時は、手袋を着用してください。

注意： ユニバーサルジョイントシャフトにはガード (C) を必ず配置し、シャフトとともに回転しないようにしてください。PTO シャフトを完全に覆い、シャフトと共に回転しないガードを取り付けない限り、ユニバーサルジョイントシャフトを作動させないでください。



LX1049906—UN—18FEB11
OULXA64,6M,000561D-40-15JUN23

回転しない PTO ガード



TS276—UN—23AUG88

注意： 回転する部品による生命の危険があります。

衣服や体が回転部品に巻き込まれるおそれがあります。これは生命を脅かすけがにつながります。

アタッチメントが接続されていない場合は、PTO シャフトを回転しない PTO ガードで覆う必要があります。



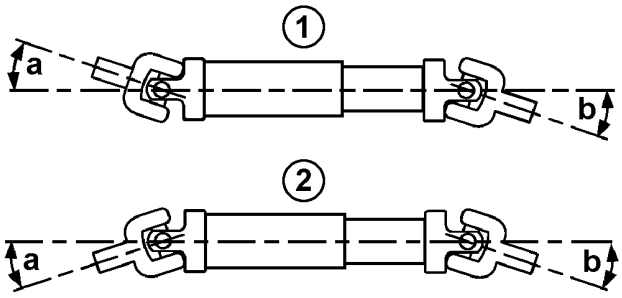
LX514250—UN—12MAY22

リア PTO を使用しない場合は、PTO ドライブシャフトを回転しない PTO ガードで覆います。

PTO ガードを 2 本のピンと整列させて、カチッと音がするまで時計回りに回します。

oulxa64,1652677773998-40-23MAY22

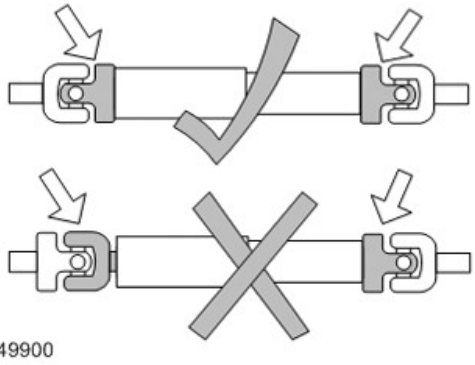
操作に関する指示



LX1049749

LX1049749—UN—21MAY10

U ジョイントシャフトの関節の角度を確認します。



LX1049900—UN—22FEB11

結合部のヨークを互いに正しく整列させます。

1：**Z 形レイアウト**
2：**W 形レイアウト**

可能な限り U ジョイントの角度 (a) と (b) を U ジョイントの両端で同じにしてください。

これに該当しない用途 (PTO 接続した状態での急旋回など) では、等速駆動軸の使用をお勧めします。

注記： この 2 つの概略図では U ジョイントのシールドは示されていません。U ジョイントの使用時にはガードは必須です。

重要： さまざまな作業機の取扱説明書に記載されている作動条件のみが許されます。これは、特に関節部の最大許容角度、カプラー、フリーホイールクラッチと過負荷クラッチの限度を超える使用、および成形パイプを互いに結合するときの前述のオーバーラップ量に適用されます。

重要： PTO で駆動される作業機を使用する前に、U ジョイントを定期的に潤滑していることを確認してください。メーカーの提供するオペレータマニュアルの指示に従ってください。

重要： 複数部品からなる伸縮式 U ジョイントでは、各端部のヨークを図のように整列させる必要があります。各端部のヨークは互いに 90° にならないようにする必要があります (右図の矢印参照)。

LX25458,MY20,0000A00-40-30MAR23

PTO 回転速度

標準 PTO 速度を実現するエンジン回転数は「仕様」セクションの「エンジン」に記載されています。

LX25458,0000A01-40-16MAY22

PTO オプション

重要： 540 シリーズリア PTO の場合、動力入力が 70 kW (95 hp) を超えていない場合のみ 540 rpm で操作できます。

トラクターには次のいずれかの PTO バージョンを装備することができます：

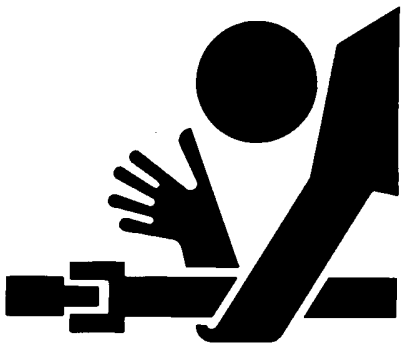
リア PTO	用途
• 時計回りに回転、逆転可	540/1000
• 時計回りに回転、シフト可能	540/540E/1000

フロント PTO	用途
• 時計回り (移動の方向から見た場合)	1000

重要： フロント PTO は、作業機の動力入力が 80 kW (109 PS, 107 hp) を超えていない場合のみ、作業機を駆動できます。

OULXA64,6M,000561E-40-08MAR21

フロント PTO



TS276—UN—23AUG88

注意： 回転する部品による生命の危険があります。

不適切な部品、保護装置の紛失、または PTO シャフトの不適切な取り扱いにより重大事故が発生することがあります。

- **エンジンが停止している場合のみ、PTO シャフトの接続と接続解除、および他のすべての作業を実行してください。**
- **エンジンをオフにして、イグニッションキーを抜き、エンジンの無許可の始動を防止してください。**
- **メーカーが推奨する適切な PTO シャフトのみを使用してください。**
- **破損していない部品のみを使用してください。**
- **PTO シャフトを操作する前に、すべてのガードを適切に取り付けてください。**
- **PTO シャフトは許容速度でのみ操作してください。作業機のメーカーの仕様も参照してください。**
- **危険ゾーンに人がいない場合にのみ、PTO をオンにしてください。この取扱説明書のセクション 05「安全」セクションおよびセクション 60A「操作に関する注意事項」も参照してください。**

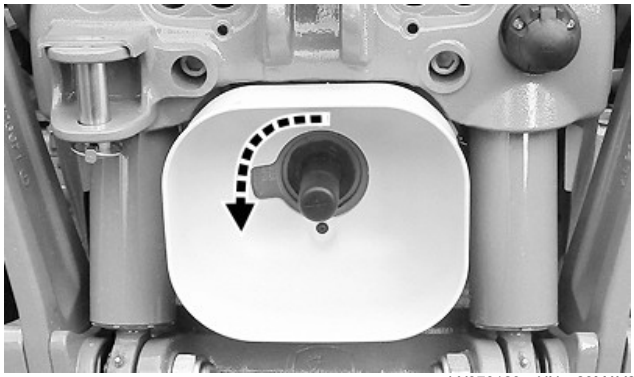
注意： PTO で駆動する作業機を取り付けるときのみ、保護カバーを取り外してください。

作業機を取り外したらすぐに保護キャップを再度取り付けてください。

重要： 時計回りに回転するフロント PTO (移動の方向から見た場合) は、1000 rpm の定格速度 (エンジン回転数 1969 rpm) で作動します。このフロント PTO には、次のいずれかの PTO スタブシャフトがあります：

- **欧州の場合は 6 歯数**
- **北米の場合は 21 歯数**

重要： フロント PTO は、動力入力が 80 kW (109 PS、107 hp) を超えていない場合のみ作業機を駆動できます。



LX373123—UN—23MAY21

時計回りに回転するフロント *PTO (*移動の方向から見た場合*)*

注記： PTO が自動的にオフになってすぐに再始動できない場合は、該当する診断トラブルコードに従ってください。始動に対して高い抵抗があった場合、またはオイルが非常に冷たい場合は、この情報がコントロールソフトウェアに登録されて PTO はオフになります。PTO は 30 秒経過するまで再起動できません。

OULXA64,MXtoMR,000561F-40-23SEP21

フロント PTO の接続と接続解除

注意： PTO を使用しない場合は常に PTO を切り離してください。

注意： PTO を解除の位置にシフト変更した瞬間は、高慣性の作業機は静止できません。惰性で下っている間は作業機に近づかないでください。接続されている作業機が停止するまで、作業機で作業を行わないでください。

重要： 安全かつ適切な操作をするために、ドライバは部品の相互作用を十分に理解し、PTO を使用する際は適切な手順に従うことをお勧めします。

キャブ内でリア PTO リモコンを起動させると、リモートコントロールボタンの横にあるステータス LED が点灯または点滅している限り、システムはオペレータがシートに着いているかどうかを監視しなくなります。起動すると、オペレータがシートに着いていない場合でも、フロント PTO とリア PTO は作動し続けます。

エンジンと PTO が作動中にキャブを出る前に、リモートコントロールボタンの横にあるステータス LED を定期的に確認してください。LED が点灯または点滅している場合は、PTO 自動停止機能がオフになっていることを意味します。PTO と作業機の危険領域内に誰も人がいないことを確認してください。オペレータがシートを離れても、フロント PTO と リア PTO は作動したままであることに注意してください。

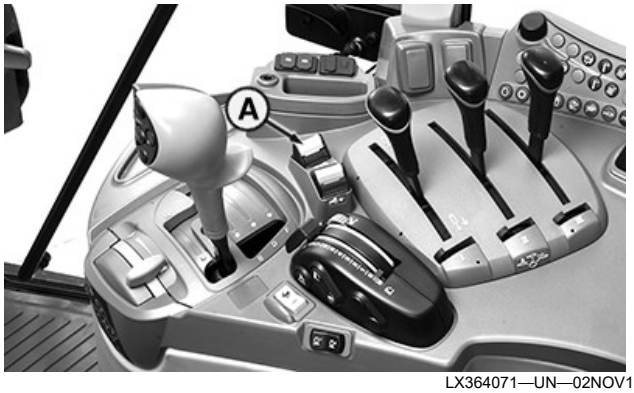


LX609912—UN—29JUL24

ステータス *LED*： リモートコントロールボタン

PTO の接続

1. スイッチ (A) を押し下げてから前方に押します。



LX364071—UN—02NOV18

CommandARM なしのキャブ

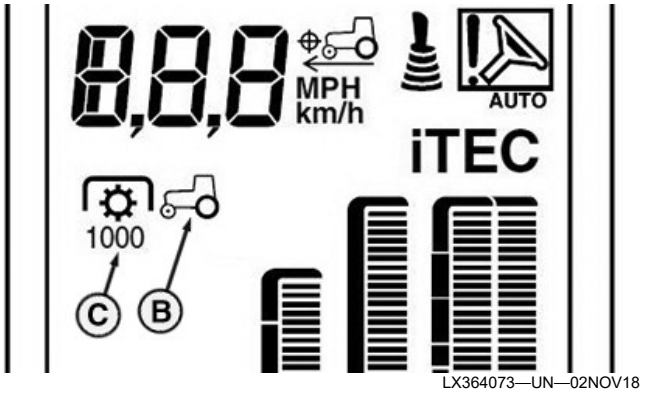


LX364072—UN—02NOV18

CommandARM 付きのキャブ

A：**フロント PTO スイッチ**

2. PTO が回転を始めて表示灯 (B) と (C) が点灯します。



LX364073—UN—02NOV18

B：**PTO 表示灯**
C：**フロント PTO 表示灯**

注記： PTO 作動中にエンジンを停止して再始動した場合、PTO は作動しません。

作業を続けるには、PTO を解除し、もう一度接続してください。

PTO の解除

1. スイッチ (A) を後ろに引いて放します。
2. 表示灯 (B)、(C) が消灯します。

OULXA64,6M,0005620-40-05AUG24

フロント PTO - PTO 自動停止機能

注意： 事故により重傷や死亡事故が発生する可能性があります。

衣服や体が回転部品に巻き込まれるおそれがあります。

エンジン運転中は整備作業を行わないでください。危険区域を回避し、危険区域に人がいないときにのみ PTO を ON にしてください。

重要： 安全かつ適切な操作をするために、ドライバは部品の相互作用を十分に理解し、PTO を使用する際は適切な手順に従うことをお勧めします。

キャブ内でリア PTO リモコンを起動させると、リモートコントロールボタンの横にあるステータス LED が点灯または点滅している限り、システムはオペレータがシートに着いているかどうかを監視しなくなります。起動すると、オペレータがシートに着いていない場合でも、フロント PTO とリア PTO は作動し続けます。

エンジンと PTO が作動中にキャブを出る前に、リモートコントロールボタンの横にあるステータス LED を定期的に確認してください。LED が点灯または点滅している場合は、PTO 自動停止機能がオフになっていることを意味します。PTO と作業機の危険領域内に誰も人がいないことを確認してください。オペレータがシートを離れても、フロント PTO と リア PTO は作動したままであることに注意してください。



LX609912—UN—29JUL24

ステータス *LED*： リモートコントロールボタン

注記： PTO の作動中は、特定の条件下で自動停止機能が有効になる場合があります。状況によっては、PTO は自動的に停止します。

次に、さまざまなシナリオを示します。

シナリオ

次の場合は、自動 PTO 停止機能が有効になっています (シナリオ 1)：

1. トラクターが静止していて、PTO がオンになっています (PTO 作動中)。
2. オペレータがシートから離れます。
3. その後 7 秒以内に、PTO が ON のままで音響警報が鳴ります。
4. 異なるオプション：
   a. オペレータは 7 秒以内に再度着席します：
      - PTO はオンのままで、音響警報がオフになります。
   b. オペレータは立ったままです：
      - 7 秒後 PTO が自動的に OFF になり、音響警報が OFF になります。
   c. オペレータは立ったままで、ボタン (A) を押してリモートコントロールモードを有効にします：
      - PTO はオンのままで、音響警報がオフになります。



LX515201—UN—21SEP23

CommandARM™ 付きのキャブ

A：**リモートコントロールモードの有効化ボタン**

オペレータが運転席に座らないで PTO を操作する (シナリオ 2)：

6M MY21 時点でのソフトウェア更新の場合、シナリオ 2 は使用できません。

1. トラクターは静止しています。
2. オペレータが運転席に座らないで PTO を ON にします。
3. PTO が起動し、ON に維持されます。

オペレータが運転席に座らないで PTO を操作する (シナリオ 3)：

1. トラクターは静止しています。
2. オペレータは運転席に座って PTO をオンにします (PTO 作動中)。
3. オペレータは、ボタン (A) を押して PTO リモートコントロールモードを有効にします。
   - ボタン (A) の表示灯が点灯し、リモートコントロールモードが有効になっていることがわかります。

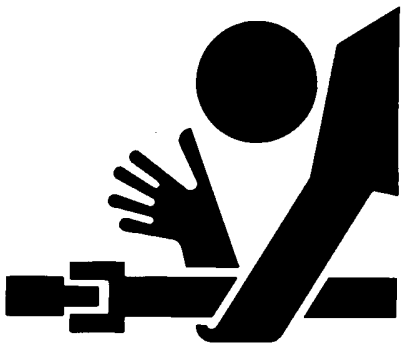
4. オペレータがシートから離れても、PTO は ON のままです。
   - 音響警報が ON になります。

オペレータが運転席に座らないで PTO を操作する (シナリオ 4):

1. トラクターは静止しています。
2. オペレータは運転席に座って PTO をオンにします (PTO 作動中)。
3. オペレータがシートから離れると：
   - PTO は ON のままです。
   - 音響警報が ON になります。
4. 異なるオプション：
   a. オペレータは 7 秒以内に再度着席します：
      - PTO はオンのままで、音響警報がオフになります。
   b. オペレータは立ったままで、ボタン (A) を押してリモートコントロールモードを有効にします：
      - PTO はオンのままで、音響警報がオフになります。
   c. オペレータは立ったままで、リモートコントロールモードを有効にしません：
      - 7 秒後 PTO が自動的に OFF になり、音響警報が OFF になります。

OULXA64,6M,0005621-40-05AUG24

リア PTO



TS276—UN—23AUG88

注意： 回転する部品による生命の危険があります。

不適切な部品、保護装置の紛失、または PTO シャフトの不適切な取り扱いにより重大事故が発生することがあります。

- **エンジンが停止している場合のみ、PTO シャフトの接続と接続解除、および他のすべての作業を実行してください。**
- **エンジンをオフにして、イグニッションキーを抜き、エンジンの無許可の始動を防止してください。**
- **メーカーが推奨する適切な PTO シャフトのみを使用してください。**
- **破損していない部品のみを使用してください。**
- **PTO シャフトを操作する前に、すべてのガードを適切に取り付けてください。**
- **PTO シャフトは許容速度でのみ操作してください。作業機のメーカーの仕様も参照してください。**
- **危険ゾーンに人がいなかった場合のみ、PTO をオンにしてください。この取扱説明書のセクション 05「安全上の注意事項」およびセクション 60A「操作に関する注意事項」も参照してください。**

注意： PTO で駆動する作業機を取り付けるときのみ、保護カバーを取り外してください。

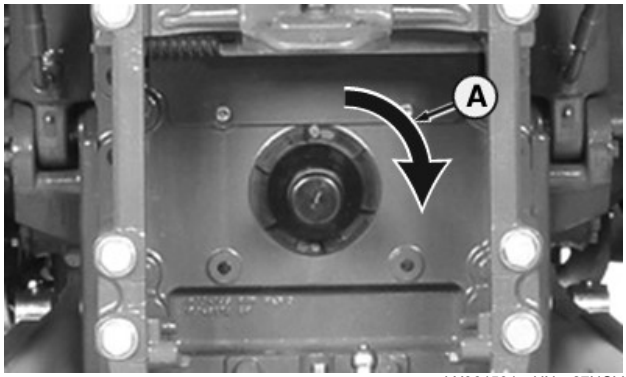
作業機を取り外したらすぐに保護キャップを再度取り付けてください。

重要： 装置に応じて、リア PTO には異なる PTO スタブシャフトと PTO 出力を装備できます。

• このセクションの「リア PTO - PTO スタブシャフトの変更」を参照してください。

•対応する標準速度については、「エンジン」 (セクション 500A) を参照してください。

重要： 作業機の出力要件が PTO 出力と一致している場合のみ、リア PTO で作業機を操作してください。



LX364534—UN—27NOV19

A：回転方向

注記： PTO が自動的にオフになってすぐに再始動できない場合は、該当する診断トラブルコードに従ってください。オイルが非常に冷えている場合は、コントロールソフトウェアによってこれが登録され、PTO がオフになります。PTO は 30 秒経過するまで再起動できません。

OULXA64,6R,0005B8F-40-23SEP21

リア PTO の接続と接続解除

注意： PTO を使用しない場合は常に PTO を切り離してください。

注意： PTO を解除の位置にシフト変更した瞬間は、高慣性の作業機は静止できません。惰性で下っている間は作業機に近づかないでください。接続されている作業機が停止するまで、作業機で作業を行わないでください。

重要： 安全かつ適切な操作をするために、ドライバは部品の相互作用を十分に理解し、PTO を使用する際は適切な手順に従うことをお勧めします。

リア PTO リモコンが有効になると、オペレータがシートに着いているかどうかは、エンジンが再始動されるか、リモートコントロールボタンが再度押されてリモコン機能が無効になるまで監視されません。一度起動すると、オペレータがシートに座っていないときでもフロント PTO とリア PTO は作動し続け、リア PTO リモコンが有効になります。

エンジンが作動中にキャブを出る前に、リモートコントロールボタンの横にある LED を定期的に確認してください。LED が点灯または点滅している場合は、PTO 自動停止機能がオフになっていることを意味します。PTO と作業機の危険領域内に誰も人がいないことを確認してください。フェンダーのリモコンスイッチを起動させると、フロント PTO とリア PTO が作動したままになったり、リア PTO が作動し始めたりすることに注意してください。

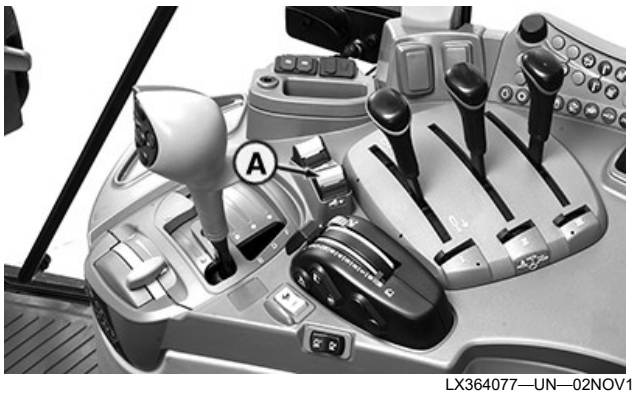


LX609912—UN—29JUL24

ステータス *LED*： リモートコントロールボタン

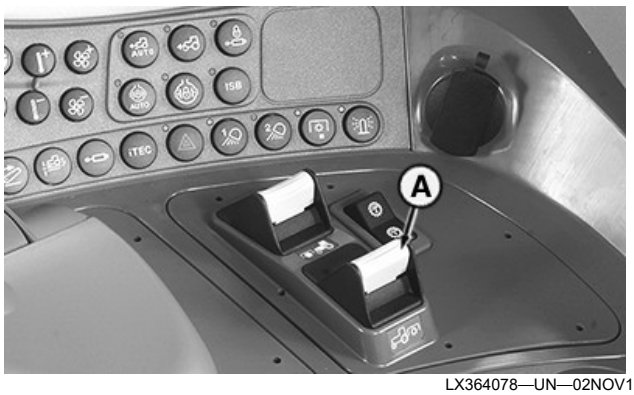
PTO の接続

1. スイッチ (A) を押し下げてから前方に押します。



LX364077—UN—02NOV18

CommandARM™ なしのキャブ

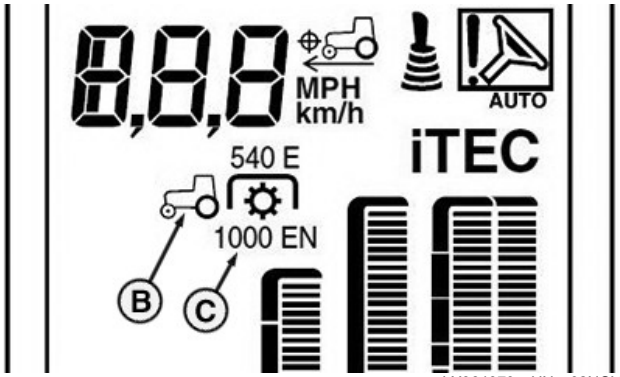


LX364078—UN—02NOV18

CommandARM™ 付きのキャブ

A：**リア PTO スイッチ**

2. PTO シャフトが回転を始めて、表示灯 (B) と、選択した標準速度と共に (C) が点灯します。



LX364079—UN—02NOV18

B：**PTO 表示灯**
C：**リア PTO 表示灯**

3. 現在の PTO 回転速度は図のように表示されます。



LX364085—UN—07NOV18

注記： PTO 作動中にエンジンを停止して再始動した場合、PTO は作動しません。

作業を続けるには、PTO を解除し、もう一度接続してください。

PTO の解除

1. スイッチ (A) を後ろに引いて放します。
2. 表示灯 (B)、(C) が消灯します。

OULXA64,6M,0005622-40-02AUG24

リア PTO — 標準回転速度の選択 (シフト可能 PTO)

注意： 装置をの接続するときは、必ずエンジンを OFF にしてください。

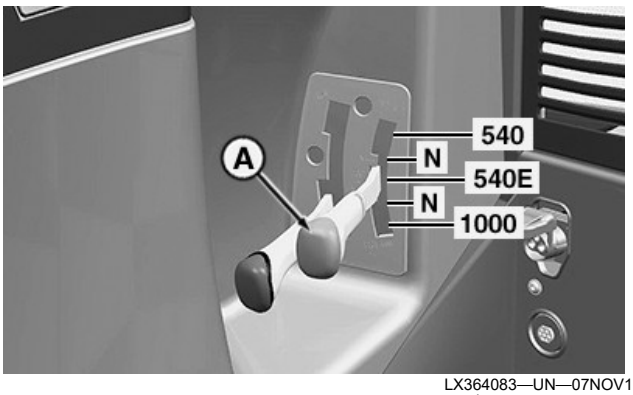
注意： PTO の接続前に、取り付けた作業機に対して選択した PTO 回転速度が正しいことを確認してください。回転数が不適切な場合インプルメントに重大な損傷が生じます。

事故の危険！

「リア PTO の接続」の説明に従って PTO を接続および接続解除します。標準の回転速度を選択するには、PTO の接続を解除する必要があります。「リア PTO -

作業機の接続」(セクション 60C) を参照してください。

1. レバー (A) を使用して、必要な PTO 回転速度を選択します。

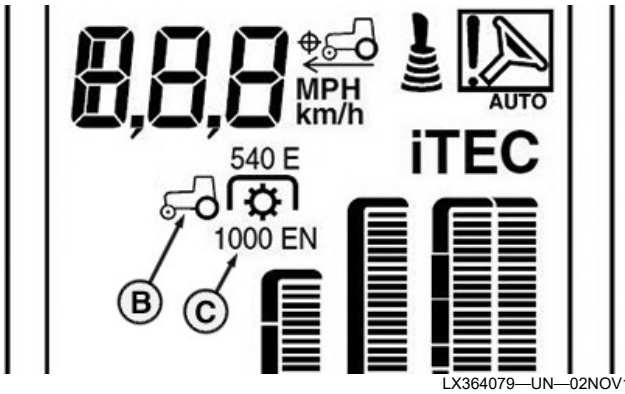


LX364083—UN—07NOV18

CommandARM™ なしのキャブ

A：**PTO 回転速度レバー**

2. PTO をオンにすると、表示灯 (B) と、選択した標準速度と共に (C) が点灯します。



LX364079—UN—02NOV18

OULXA64,6M,0005623-40-29AUG23

リア PTO — リモートコントロールと機能

注意： **回転する部品による生命の危険があります。**

衣服や体が回転部品に巻き込まれ、重大な事故につながる恐れがあります。

エンジン運転中は整備作業を行わないでください。危険区域を回避し、危険区域に人がいないときにのみ PTO を ON にしてください。

重要： **安全かつ適切な操作をするために、ドライバは部品の相互作用を十分に理解し、PTO を使用する際は適切な手順に従うことをお勧めします。**

リア PTO リモコンが有効になると、オペレータがシートに着いているかどうかは、エンジンが再始動されるか、リモートコントロールボタンが再度押されてリモコン機能が無効になるまで監視されません。一度起動すると、オペレータがシートに座っていないときでもフロント PTO とリア PTO は作動し続け、リア PTO リモコンが有効になります。

エンジンが作動中にキャブを出る前に、リモートコントロールボタンの横にある LED を定期的に確認してください。LED が点灯または点滅している場合は、PTO 自動停止機能がオフになっていることを意味します。PTO と作業機の危険領域内に誰も人がいないことを確認してください。フェンダーのリモコンスイッチを起動させると、フロント PTO とリア PTO が作動したままになったり、リア PTO が作動し始めたりすることに注意してください。



LX609912—UN—29JUL24

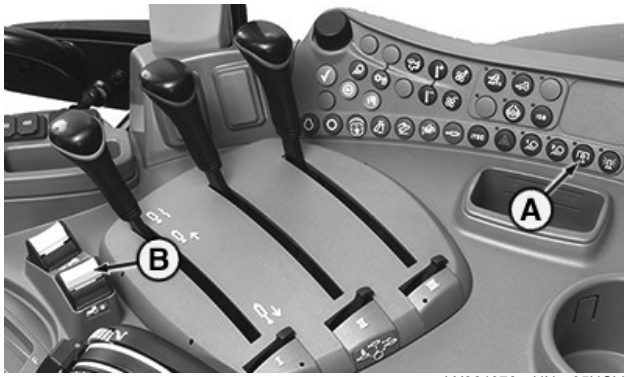
ステータス *LED*： リモートコントロールボタン

注記： 状況によっては、PTO は自動的に停止します。

「リア PTO の接続」の説明に従って PTO を接続および接続解除します。リア PTO をキャブの外で操作するには、**最初**にリア PTO のリモートコントロールを起動する必要があります。

注記： MY25 以降のトラクターのみ。リモコンを接続すると、PTO 離席機能が自動的に起動します。この機能は、次回エンジンが始動するまで有効なままとなり、再始動の必要はありません。このセクションの「リア PTO - PTO 自動停止機能 (MY25 以降)」を参照してください。

1. 駐車ブレーキロックを作動させて、ボタン (A) を押します。



LX364076—UN—05NOV18

CommandARM™ なしのキャブ



LX364080—UN—05NOV18

CommandARM™ 付きのキャブ

2. スイッチ (B) でリア PTO を接続します。
   - PTO はまだ始動していません。
   - ハザード警告灯が点滅します。
   - 警報音が鳴ります。
   - ボタン (A) の表示灯が点灯します。

   フェンダーのボタン (C) を起動して、リア PTO をオンにします。



LX364451—UN—27SEP19



LX364081—UN—08NOV18

3. ボタン (C) を使用して、次のようにリア PTO をテスト操作または連続操作用に ON にすることができます：

   a. **テスト操作**

      ボタン (C) を押して 4 秒以内に放します (ハザードライトが点滅し、警報音が鳴ります)。

      リア PTO が短い間始動し、もう一度静止します。

   b. **連続運転**

      ハザードライトが消え、警報音が鳴らなくなるまでボタン (C) を押します (約 4 秒)。

      リア PTO は、設定した PTO 回転速度で連続して作動します。

4. リア PTO を OFF にするには、ボタン (D) を押すか (ハザードライトが点滅し、警報音が鳴ります) 、運転キャビンのリア PTO スイッチ (B) を押します。

注記： 運転キャビン内のスイッチ (B) のみでリア PTO をオンにした場合は、ボタン (C) でリア PTO をオフにすることができますが、再びオンにすることはできません。

OULXA64,6M,0005624-40-02AUG24

リア PTO - PTO 自動停止機能 (MY25 以降)

2025 年モデルのソフトウェアから、PTO 自動停止機能に影響を与える新しい離席機能が導入されました。次の説明では、PTO リモコンを永続的に起動させる方法について説明します。

注意： 事故により重傷や死亡事故が発生する可能性があります。

衣服や体が回転部品に巻き込まれるおそれがあります。エンジン運転中は整備作業を行わないでください。

危険区域を回避し、危険区域に人がいないときにのみ PTO を ON にしてください。状況によっては、PTO は自動的に停止します。

重要： 安全かつ適切な操作をするために、ドライバは部品の相互作用を十分に理解し、PTO を使用する際は適切な手順に従うことをお勧めします。

リア PTO リモコンが有効になると、オペレータがシートに着いているかどうかは、エンジンが再始動されるか、リモートコントロールボタンが再度押されてリモコン機能が無効になるまで監視されません。一度起動すると、オペレータがシートに座っていないときでもフロント PTO とリア PTO は作動し続け、リア PTO リモコンが有効になります。

エンジンが作動中にキャブを出る前に、リモートコントロールボタンの横にある LED を定期的に確認してください。LED が点灯または点滅している場合は、PTO 自動停止機能がオフになっていることを意味します。PTO と作業機の危険領域内に誰も人がいないことを確認してください。フェンダーのリモコンスイッチを起動させると、フロント PTO とリア PTO が作動したままになったり、リア PTO が作動し始めたりすることに注意してください。

注記： リモコンを起動すると、PTO 離席機能が有効になります。この機能は、次回エンジンが始動するまで有効なままとなり、再始動の必要はありません。

リモコンが有効な状態で、フェンダースイッチを使用して PTO をオフにすると、ハザード警告信号と音響信号が起動します。

リモートコントロールボタンの LED の 2 つのモード：



LX609912—UN—29JUL24

LED 点灯： これは、リモコンが有効であることを示し、ドライバは PTO 自動停止機能をトリガーさせることなくシートから立ち上がることができます。

LED 点滅： リモコンが作動し、フェンダーにあるリモートスイッチを使用して PTO をオフにすると、LED が点滅し始めます。これは、リモコンがまだ有効であること、および自動停止機能がオフになっていることをドライバに知らせる役割を果たします。**このステータスは、次回エンジンが再始動するまで有効なままです。**

PTO リモコンを有効にするシナリオ

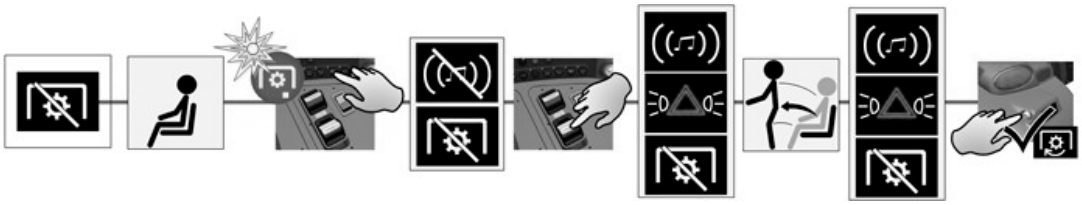


LX609908—UN—29JUL24

シナリオ *1*

シナリオ 1
初期状況： ドライバはシートに着き、駐車ブレーキロックがかかっており、PTO が作動しています。

1. 駐車ブレーキロックをかけます。
2. PTO が ON の状態で、ドライバが立ち上がります。
3. 音響信号が鳴り、PTO が作動し続けます (7 秒以上)。
4. 立ち上がってから 7 秒以内にリモートコントロールボタンを押します。
5. 黄色の LED が点灯して、リモコンが有効になっていることを示します。音響信号がオフになり、PTO は作動し続けます。フェンダーのリモートスイッチを使用して PTO を操作します。



LX609909—UN—29JUL24

シナリオ *2*

シナリオ 2
初期状況： ドライバはシートに着き、駐車ブレーキロックがかかっており、PTO は作動していません。

1. 駐車ブレーキロックをかけます。
2. PTO がオフの状態で、ドライバはシートに着いたままリモコンのボタンを押します。
3. 黄色の LED が点灯して、リモコンが有効であることを示します。
4. PTO スイッチをオンの位置にします。
5. 音響信号がオンになり、PTO はスタンバイ状態ですが作動しません。ハザード警告と音響信号がオンになっています。
6. シートから離れる際、フェンダーのリモートスイッチで PTO をオンにするまで、ハザード警告信号と音響信号はオンのままです。

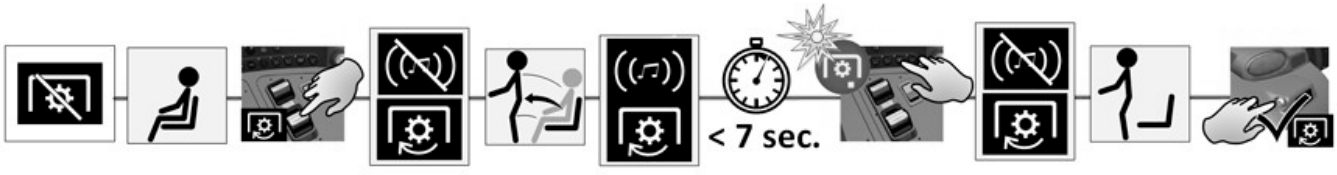


LX609910—UN—29JUL24

シナリオ *3*

シナリオ 3
初期状況： ドライバはシートに着き、駐車ブレーキロックがかかっており、PTO は作動していません。

1. 駐車ブレーキロックをかけます。
2. PTO がオフの状態で、ドライバはシートに座ったまま PTO スイッチをオン位置にします。
3. PTO が作動を開始し、音響信号がオフになります。
4. シートに着いたまま、リモートコントロールボタンを押します。
5. PTO は作動し続け、黄色の LED が点灯してリモコンが有効であることを示します。
6. シートから立ち上がり、フェンダーのリモートスイッチを使用して PTO を操作します。



LX609911—UN—29JUL24

シナリオ *4*

シナリオ 4
初期状況： ドライバはシートに着き、駐車ブレーキロックがかかっており、PTO は作動していません。

1. 駐車ブレーキロックをかけます。
2. PTO がオフの状態で、ドライバはシートに座ったまま PTO スイッチをオン位置にします。
3. PTO が作動を開始し、音響信号がオフになります。
4. シートから離れると、PTO は作動したままとなり、音響信号が鳴ります。
5. 7 秒以内にリモートコントロールボタンを押します。
6. 音響信号がオフになります。PTO は作動し続け、黄色の LED が点灯してリモコンが有効であることを示します。フェンダーのリモートスイッチを使用して PTO を操作します。

oulxa64,6M,1718719099640-40-02AUG24

リア PTO - PTO 自動停止機能 (~ MY25)

注意： 事故により重傷や死亡事故が発生する可能性があります。

衣服や体が回転部品に巻き込まれるおそれがあります。エンジン運転中は整備作業を行わないでください。

危険区域を回避し、危険区域に人がいないときにのみ PTO を ON にしてください。

重要： 安全かつ適切な操作をするために、ドライバは部品の相互作用を十分に理解し、PTO を使用する際は適切な手順に従うことをお勧めします。

リア PTO リモコンが有効になると、オペレータがシートに着いているかどうかは、エンジンが再始動されるか、リモートコントロールボタンが再度押されてリモコン機能が無効になるまで監視されません。一度起動すると、オペレータがシートに座っていないときでもフロント PTO とリア PTO は作動し続け、リア PTO リモコンが有効になります。

エンジンが作動中にキャブを出る前に、リモートコントロールボタンの横にある LED を定期的に確認してください。LED が点灯または点滅している場合は、PTO 自動停止機能がオフになっていることを意味します。PTO と作業機の危険領域内に誰も人がいないことを確認してください。フェンダーのリモコンスイッチを起動させると、フロント PTO とリア PTO が作動したままになったり、リア PTO が作動し始めたりすることに注意してください。



LX609912—UN—29JUL24

ステータス *LED*： リモートコントロールボタン

注記： PTO の作動中は、特定の条件下で自動停止機能が有効になる場合があります。状況によっては、PTO は自動的に停止します。

次に、さまざまなシナリオを示します。

シナリオ

次の場合は、自動 PTO 停止機能が有効になっています (シナリオ 1)：

1. トラクターが静止していて、PTO がオンになっています(PTO 作動中)。
2. オペレータがシートから離れます。
3. その後 7 秒以内に、PTO が ON のままで音響警報が鳴ります。
4. 異なるオプション：
   a. オペレータは 7 秒以内に再度着席します：
      - PTO はオンのままで、音響警報がオフになります。
   b. オペレータは立ったままです：
      - 7 秒後 PTO が自動的に OFF になり、音響警報が OFF になります。
   c. オペレータは立ったままで、ボタン (A) を押してリモートコントロールモードを有効にします：
      - PTO はオンのままで、音響警報がオフになります。
      - PTO は、フェンダーのリモコンスイッチで制御できます。



LX515201—UN—21SEP23

CommandARM™ 付きのキャブ

A：**リモートコントロールモードの有効化ボタン**

オペレータが運転席に座らないで PTO を操作する (シナリオ 2)：

6M MY21 時点でのソフトウェア更新の場合、シナリオ 2 は使用できません。

1. トラクターは静止しています。
2. オペレータが運転席に座らないで PTO を ON にします。
3. PTO が起動し、ON に維持されます。

オペレータが運転席に座らないで PTO を操作する (シナリオ 3)：

1. トラクターは静止しています。
2. オペレータは運転席に座り、ボタン (A) を押してリモートコントロールモードを有効にします。
   - ボタン (A) の表示灯が点灯し、リモートコント

ロールモードが有効になっていることがわかります。

3. オペレータは PTO をオンにします (PTO は作動しません)。
   - 音響警報が ON になります。
4. オペレータはシートから離れて、フェンダーのリモコンスイッチにより PTO を ON/OFF にできます。

オペレータが運転席に座らないで PTO を操作する (シナリオ 4):

1. トラクターは静止しています。
2. オペレータは運転席に座って PTO をオンにします (PTO 作動中)。
3. オペレータは、ボタン (A) を押してリモートコントロールモードを有効にします。
   - ボタン (A) の表示灯が点灯し、リモートコントロールモードが有効になっていることがわかります。
4. オペレータがシートから離れても、PTO はオンのままで、フェンダーのリモコンスイッチにより制御できます。
   - 音響警報が ON になり、ハザードライトがオンになります。

オペレータが運転席に座らないで PTO を操作する (シナリオ 5):

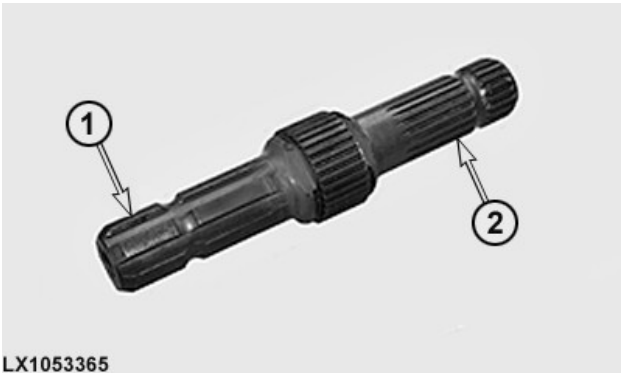
1. トラクターは静止しています。
2. オペレータは運転席に座って PTO をオンにします (PTO 作動中)。
3. オペレータがシートから離れると：
   - PTO は ON のままです。
   - 音響警報が ON になります。
4. 異なるオプション：
   a. オペレータは 7 秒以内に再度着席します：
      - PTO はオンのままで、音響警報がオフになります。
   b. オペレータは立ったままで、ボタン (A) を押してリモートコントロールモードを有効にします：
      - PTO はオンのままで、音響警報がオフになります。
      - PTO は、フェンダーのリモコンスイッチで制御できます。
   c. オペレータは立ったままで、リモートコントロールモードを有効にしません：
      - 7 秒後 PTO が自動的に OFF になり、音響警報が OFF になります。

OULXA64,6M,0005625-40-02AUG24

リア PTO — PTO スタブシャフトの交換

注意： エンジンを停止して駐車ブレーキロックをかけます。許可されていない操作を防止するためにキースイッチを抜きます。

異なるリア PTO スタブシャフトを使用して、リア PTO を操作することができます。



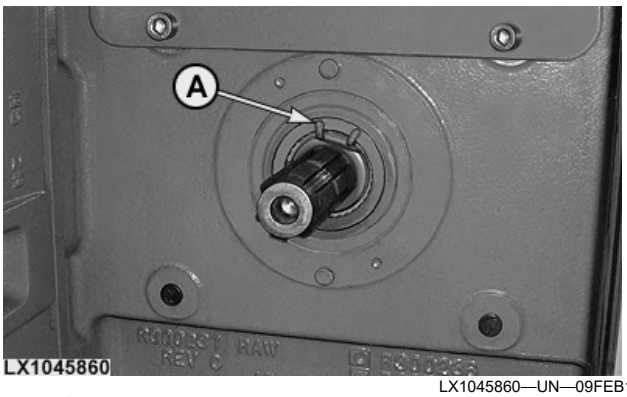
LX1053365—UN—16JAN12

1：**タイプ 1 / 6 スプライン**
2：**タイプ 2 / 21 スプライン**

PTO スタブシャフト	作業機の定格出力
540 rpm 用タイプ 1 / 6 スプライン .	最大 70 kW
1000 rpm 用タイプ 1 / 6 スプライン* .	最大 110 kW
1000 rpm 用タイプ 2 / 21 スプライン .	最大 130 kW

* 北米仕様は対象外

PTO スタブシャフトを変更するには、エンジンを停止してスタブシャフトから不純物を取り除きます。



LX1045860—UN—09FEB11

A：**止め輪**

プライヤでスナップリング (A) を圧縮して、PTO スタブシャフトをスナップリングと一緒に取り外します。

PTO スタブシャフトを取り付ける前に清掃して、John Deere HD MOLY GREASE を塗布します。

取り付けるには、スナップリング (A) を PTO スタブシャフトの溝に配置し、プライヤで圧縮して PTO ハウジングにスタブシャフトを取り付けます。スナップリング (A) が適切にはまっていることを確認します。

エンジンの停止中は、PTO スタブシャフトを手で回すことができる必要があります。

OULXA64,CAT2,0005342-40-28AUG23

リア PTO — 作業機の接続

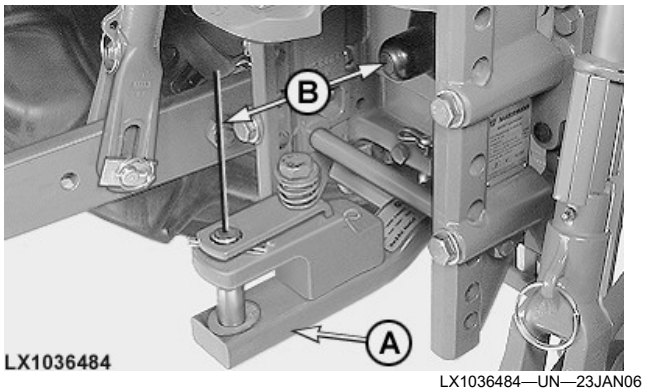
注意： エンジンを停止し、PTO の接続を解除してから PTO で駆動される作業機を取り付けてください。

注意： 高慣性の作業機は、PTO を解除位置にシフトしてもすぐには停止しません。惰走している間はインプルメントに近づかないでください。停止するまで作業機で作業をしないでください。

注意： PTO で駆動される作業機、3 点ヒッチまたはユニバーサルジョイントシャフトを清掃、調整または潤滑する前に、PTO とトラクターのエンジンを停止してイグニッションキーを抜いてください。

重要： このセクションの関連操作手順を参照してください。

1. ドローバー (A) を PTO シャフトと平行になるように整列し、所定の位置に固定します。



LX1036484—UN—23JAN06

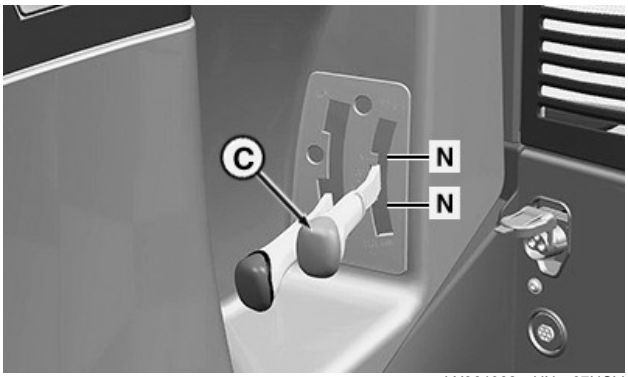
A：**ドローバー**
B：**距離**

2. PTO シャフトの端部とけん引棒端部の穴の間隔 (B) は使用する PTO スタブシャフトの種類により異なります。

   間隔を正しく設定する必要があります。

PTO スタブシャフト	**ドローバーまでの距離**
	カテゴリ 2
タイプ 1 / 6 スプライン	350 mm (13.8 in)
タイプ 2 / 21 スプライン	400 mm (15.7 in)

接続時に PTO シャフトの歯がユニバーサルジョイントシャフトの溝と整列していない場合は、次の手順に従います：



LX364082—UN—07NOV18

CommandARM™ なしのキャブ

C：**レバー**

1. エンジンを停止します。
2. レバー (C) を **N** に動かします。
3. PTO シャフトを手で適切な位置に回します。

OULXA64,6M,EU,0005627-40-28AUG23

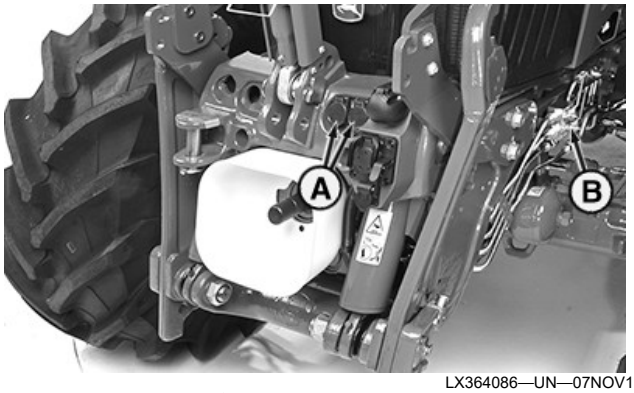
エコノミーフロントヒッチのコントロール

注意： 致命的な結果を招く可能性がある押しつぶしの危険を回避してください。

ヒッチの近くで作業するときは、予期しない動きが引き起こされて、重大な押しつぶし事故につながる可能性があります。

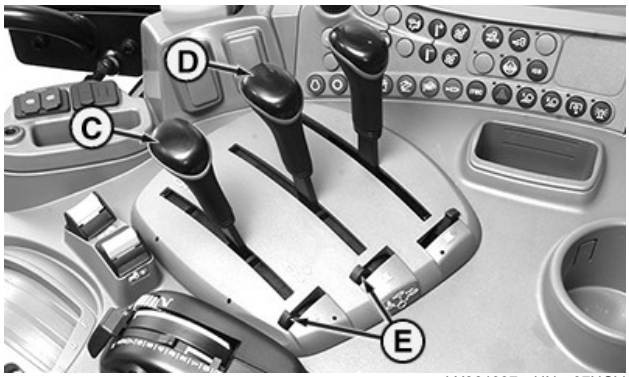
必ず先に作業機を降ろして油圧系統の圧力を解放してから修理や保守作業を行ってください。エンジンを停止して、意図しない再始動から機械を保護します。

不要なコントロール要素は必ずロックして、意図しない作動を防止してください。



LX364086—UN—07NOV18

A：**カプラー - 選択制御弁 II**
B：**フロントヒッチ - 遮断弁**



LX364087—UN—07NOV18

CommandARM™ なしのキャブ

C：**フロントヒッチ (上昇 / 下降) - SCV I による制御**
D：**フロントヒッチカプラー - SCV II による制御**



LX364088—UN—14NOV18

CommandARM™ 付きのキャブ

E：**トランスポート (輸送用) ロック / ロックボタン、SCV ON/OFF**

注意： 道路走行時や、使用しないコントロールレバーをニュートラル位置に入れておくときは、必ずトランスポート (輸送用) ロック (E) でコントロールレバーをロックしてください。

キャブ内のコントロールについての詳細は、「機械式選択制御弁 - コントロール」または「選択制御弁 (SCV)、電子制御 - コントロール」(セクション 70B) を参照してください。

OULXA64,6M,0005628-40-23MAR23

エコノミーフロントヒッチ

安全

注意： フロントヒッチを使用するときは、許容可能な最大軸荷重とタイヤ耐荷重を守ることが重要です。

注意： フロント装着式インプルメントはトラクターの運転特性にとってはマイナスです。車両を調整してトラクターの運転力学における変化に対応してください。

注意： トラクターから離れるときは必ずフロント装着式装置を地面まで下ろしてください。

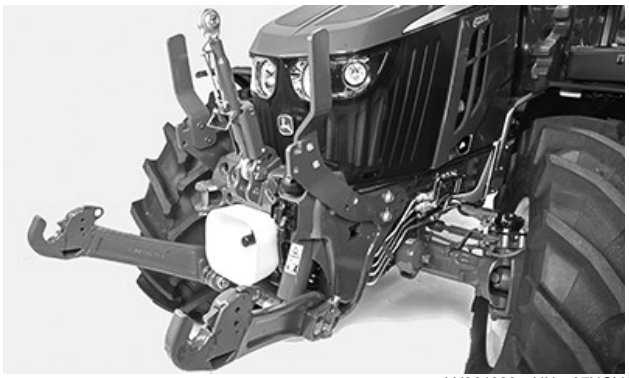
注意： フロントクイックカプラーのいずれかに作業機を接続する前に、フロント作業機を地面まで降ろし、エンジンを停止してください。

注意： 特に農場や圃場を離れた道路や交差点では、トラクター前部の寸法が変わっていることを常に忘れないでください。確信がない場合は、補佐してくれる人を求めてください。

注意： ライティングの要件を守ってください。フロント装着式インプルメントによってヘッドライトや方向指示器が隠される場合があります。この場合は、追加ライトを使用してください。

注意： フロントヒッチを使用しないときは、必ずドラフトリンクを折りたたんで (輸送位置)、固定してください。

フロントヒッチは選択制御弁 **I** で操作できます。

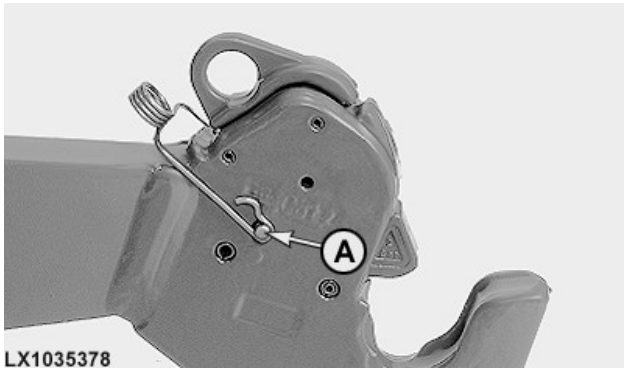


LX364089—UN—07NOV18

ドラフトリンクのフックのロック

注意： 非対称負荷のかかる作業機 (サイド装着式の草刈ユニットなど) を取り付ける場合や、丈の高い灌木帯を通り抜ける場合 (森林での作業時など) は、ドラフトリンクのカプラーのフックが誤って開かないようにする必要があります。

A — ロックパーツキット AL165485



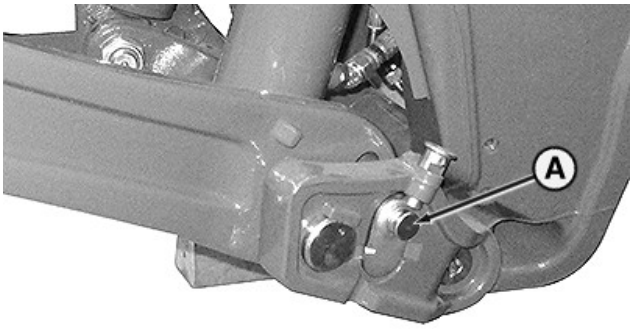
LX1035378—UN—18JAN05

ドラフトリンク、ラッチをかける

John Deere AL165485 ロックパーツキットを両方のカプラーフックに使用します。

ドラフトリンクの位置

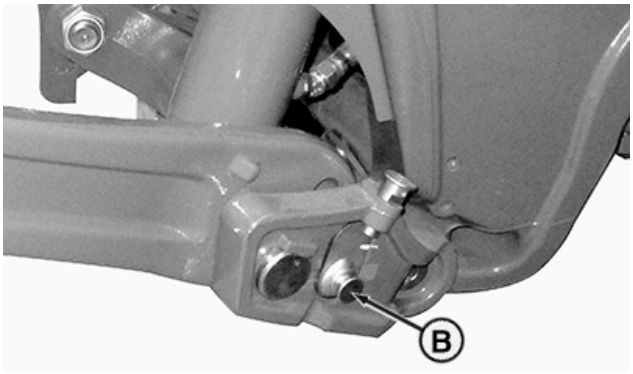
A — 垂直方向のフロートのあるドラフトリンク



LX364166—UN—29NOV18

垂直方向フロート

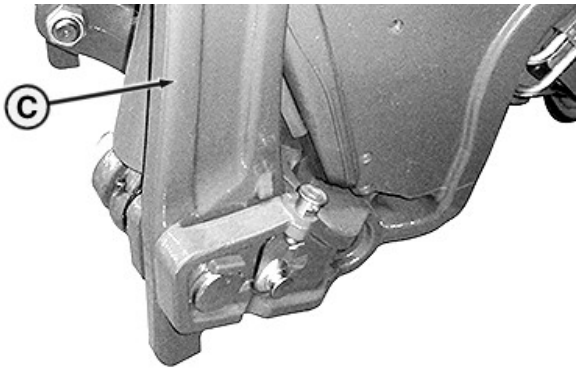
B - ロックされたドラフトリンク



LX364167—UN—28NOV18

ロックされたドラフトリンク

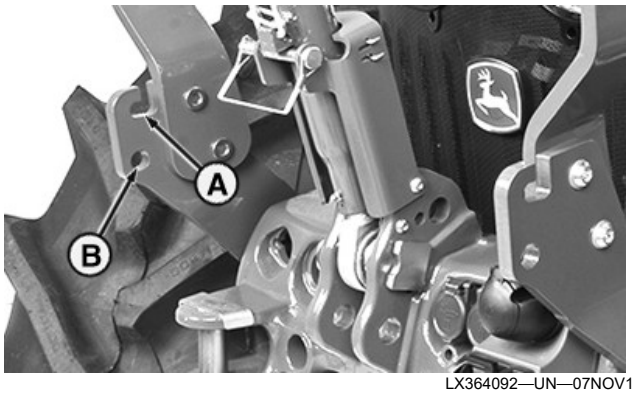
C - 輸送位置のドラフトリンク



LX364168—UN—28NOV18

輸送位置のドラフトリンク

モアデッキスプリングのブラケット (装備されている場合)



LX364092—UN—07NOV18

A - 刈取り高さ制限用のチェーンを取り付けるための開口部。

注記： チェーンが取り付けられているときにモアデッキが損傷しないように、次のモードを選択してください：

1. 単動モードを選択します： 油圧による上昇、および油圧なしでの下降。
2. *SCV I* のコントロールレバーを使用してモアデッキを上げます。
3. *SCV I* のコントロールレバーをニュートラル位置に動かして、モアデッキを下げます。

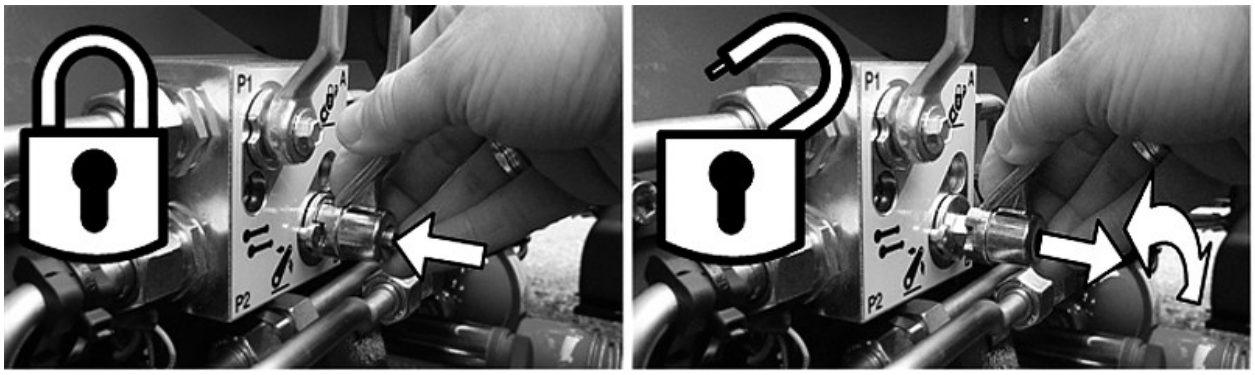
以降のページも参照してください。

B - 上下の動きを減衰させるスプリングを取り付けるための穴。

減衰用スプリングを穴 (B) にかけることができます。

遮断弁

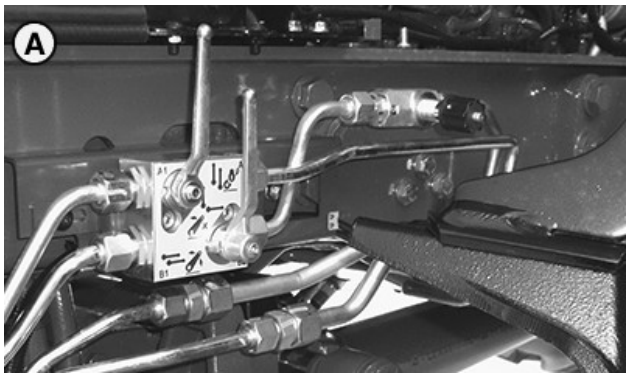
追加の遮断弁で次の設定が可能です：



LX1054666—UN—10APR12

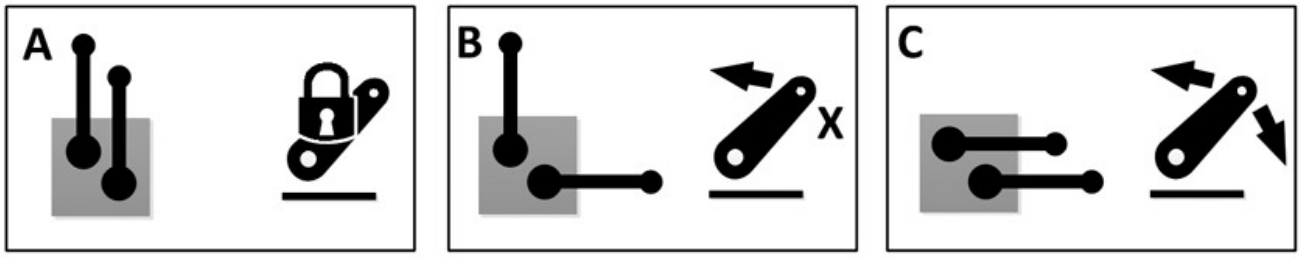
レバーの操作

⚠ 注意： SCV I が後部方向への追加カプラー (後部作業機操作用) を装備している場合は、後部作業機を SCV I で操作する前に遮断弁 (A) をブロックする必要があります。



LX315176—UN—21JUN18

輸送位置 - オイルフロー遮断



LX364400—UN—06JUN19

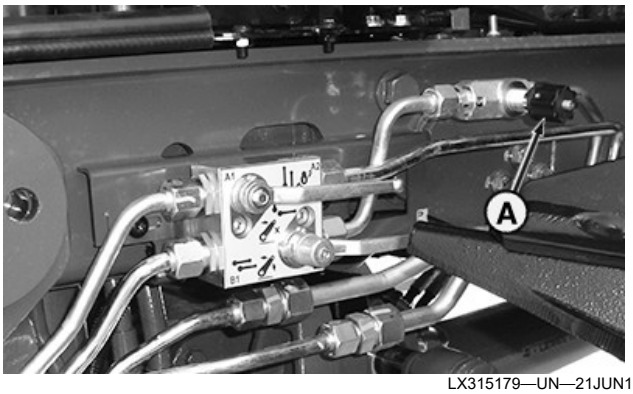
レバー位置

レバー位置/動作原理		
A	**B**	**C**
輸送位置 オイルフロー遮断、上昇/下降不可	単動モードのレバー位置 - 油圧による上昇/油圧なしでの下降	複動モードのレバー位置 - 油圧による上昇と下降

注記： チェーンが取り付けられているときにモアデッキが損傷しないように、次のモードを選択してください：

1. 単動モードを選択します： 油圧による上昇、および油圧なしでの下降。
2. *SCV I* のコントロールレバーを使用してモアデッキを上げます。
3. *SCV I* のコントロールレバーをニュートラル位置に動かして、モアデッキを下げます。

下降絞り弁



LX315179—UN—21JUN18

下降絞り弁 (A) を使用すると、前部ヒッチの下降を制御できます。

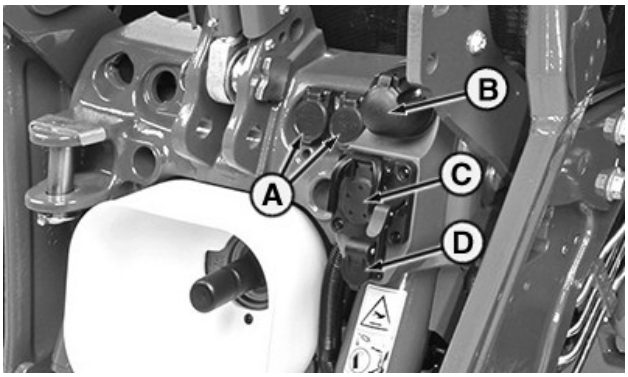
開から完全閉に回すことにより (最大 10 回転)、下降絞り弁を無限に調整できます。

- 下降絞り弁開 - 停止するまで反時計回りに回します。
- 下降絞り弁全閉 - 停止するまで反時計回りに回します。

下降率は工場で約 5～6 秒に設定されています (反時計回りに 4 回転)。

フロント作業機用カプラーおよび電源ソケット

注意： 油圧系統の最大システム圧力は 20000 kPa (200 bar) (2900 psi) です。ユーザー自身の保護とシステムを正しく機能させるため、John Deere 純正部品のみを使用してください。



LX364093—UN—07NOV18

A — カプラー、SCV II 経由のオイル供給

注意： 前部装着型作業機を接続するときは、SCV II に他の機器や作業機を接続しないでください。

カプラー (A) を使用すると、圧力がかかっていない場合のみ、油圧ホースの接続と取り外しが可能です。

ホースユニオンを接続するには、カプラーにしっかり押し込みます。

ホースの接続を外すには、ホースを強く引っ張ります。

B — 7 端子トレーラーソケット

ソケット (B) を使用して、作業機に取り付けられているライト、フラッシャー、および電気機器を接続します。トラクターの信号やその他のライトがはっきり見えない場合は、必ず牽引式作業機の補助ライトを使用してください。

注記： 適切なコネクタは通常の予備部品チャンネルを通じて入手できます。

C — ISOBUS ソケット (ISB)

ISO 規格 11783 に準拠した作業機をソケット (B) に接続できます。

D — 3 端子電源コンセントソケット (ECE)

3 端子コンセントソケットの端子 15/30 から最大 25 A の常時供給直流電流が得られます。端子 82 からは最大 5 A の常時供給直流が得られます。端子 31 はアースです。
キースイッチのキーを右に回して端子 82 に電力を供給します。端子 15/30 からはイグニッションをオフにしても電源が供給されます。

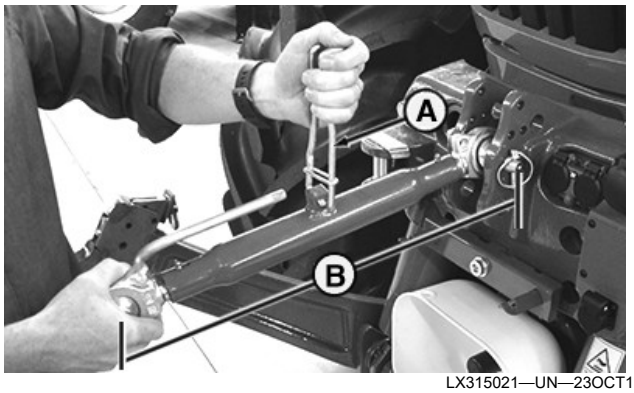
重要： 高電流を消費する電気機器を操作中は、電源回路の最大許容電流負荷 (25 A) を超過しないでください。

OULXA64,6M,EU,0005629-40-14JUL25

フロントヒッチ — センターリンク

重要： 始動前に、上昇させた作業機がトラクターと接触しないことを確認してください。この場合、センターリンクの長さと最高上昇高さの設定に注意してください。

センターリンクの長さは、調整ハンドル (A) を使用して調整できます。図のようにセンターリンクを保持し、調整ハンドル (A) を回して必要な長さに調整します。



LX315021—UN—23OCT17

A：**調整ハンドル**
B：**長さ**

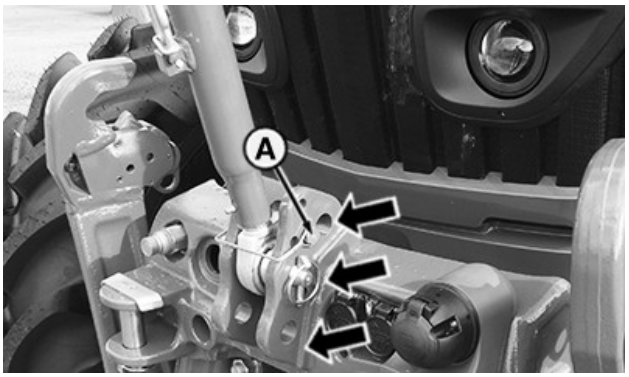
センターリンク長さ	最小長	最大長
CAT2	500 mm (19.7 in)	760 mm (29.9 in)
CAT3	530 mm (20.9 in)	730 mm (28.7 in)
油圧式センターリンク長さ		
CAT2	565 mm (22.2 in)	710 mm (28.0 in)
CAT3	565 mm (22.2 in)	710 mm (28.0 in)

規定の寸法から逸脱しないようにしてください。ねじ山の溝は許容される最大設定を示します。ねじをレシーバからそれ以上緩めないでください。調整後、ハンドルを再度センターリンクまで押し下げます。取り付けピンを作業機のマストとセンターリンクに通して固定します。

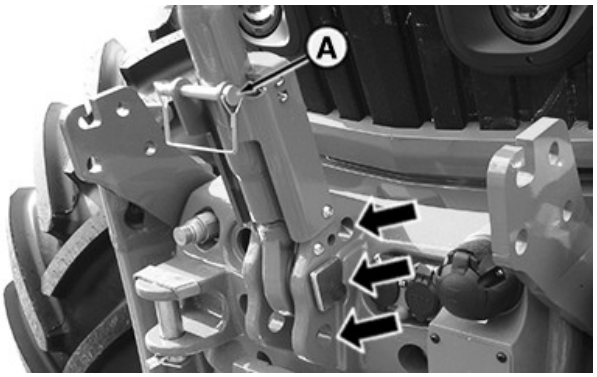
OULXA64,ALL,000562A-40-15JUN23

フロントヒッチ - センターリンクの位置

センターリンクは 3 つの位置のいずれかでトラクターに取り付けることができます。



LX315019—UN—23OCT17
カプラーフックなしのセンターリンク



LX315020—UN—23OCT17
カプラーフックありのセンターリンク

作業機に小さな傾斜角度や高いリフト力が必要な作業では、最高の位置を使用してください。

作業機に大きな傾斜角度や低いリフト力が必要な作業では、最低の位置を使用してください。

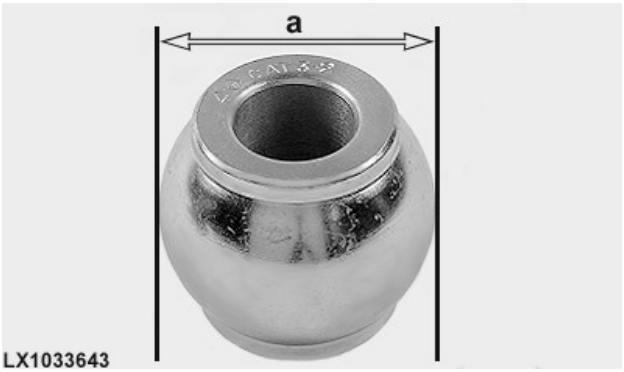
重要： センターリンクを使用しない場合は、図のようにセンターリンクを配置してロックピン (A) で固定します。ロックピン (A) の安全クリップが正しく配置されていることを確認してください。

OULXA64,ALL,000562B-40-15JUN23

フロントヒッチ — フック型センターリンク

重要： 適合するボールを使用する必要があります。

このセンターリンクはカテゴリ III のボール用です。

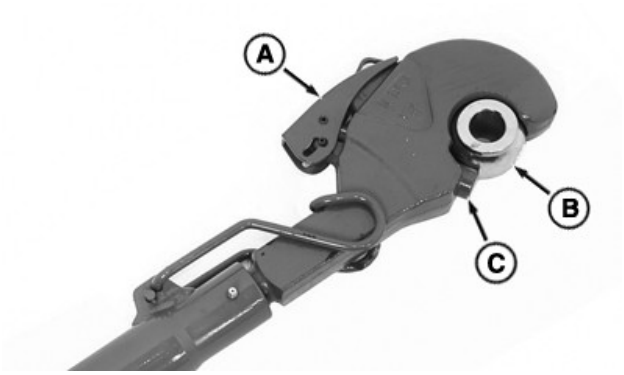


LX1033643—UN—17MAY04

カテゴリ	ボール径 (a)
III	60 mm (2.4 in)

フックの操作

制御要素 (A) を使用して、フックを手動で操作することができます。



LX234778—UN—30NOV15

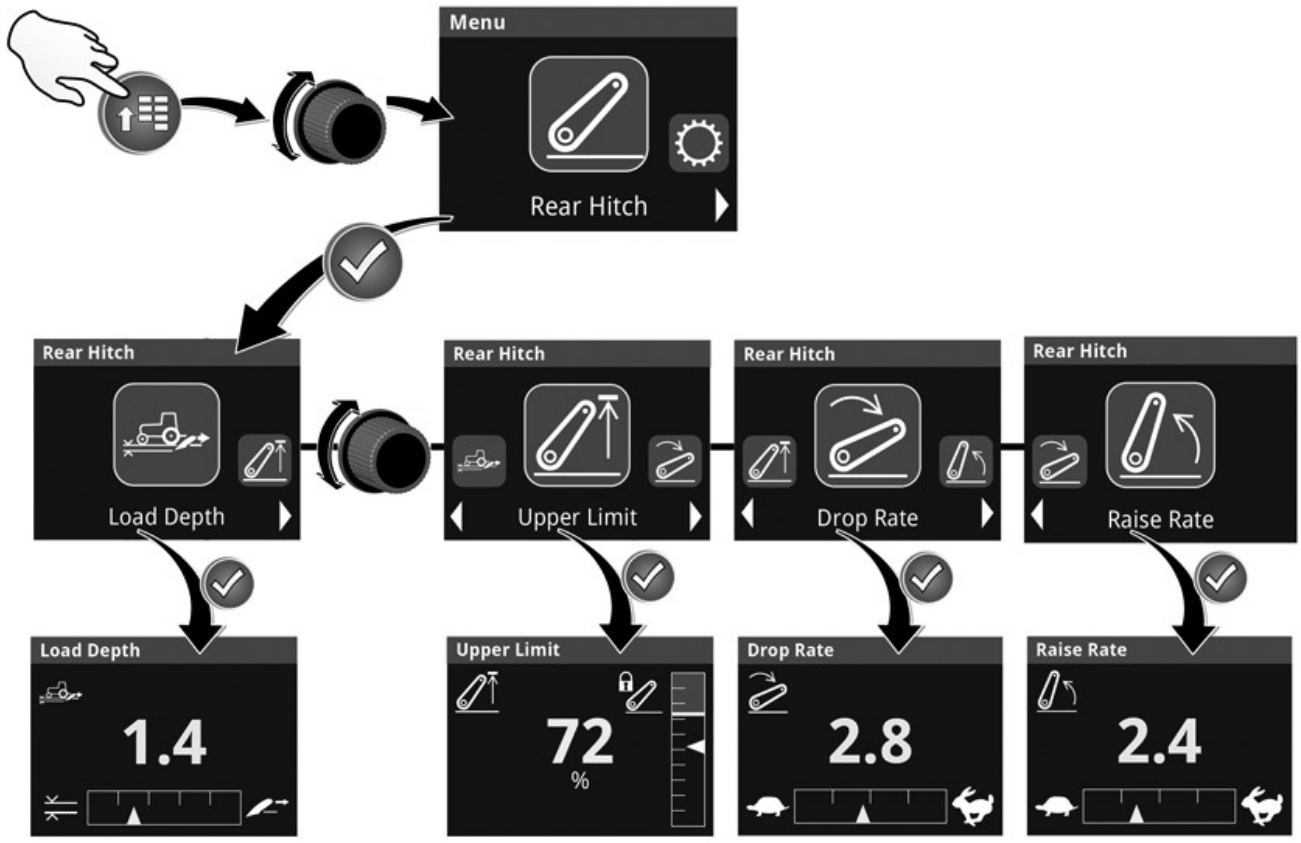
A：**制御要素**
B：**ボール**
C：**ピン**

重要： **カプラーのフックが正しくかかっていることを確認します。**

- **制御要素 (A) はカプラーフックと面一である必要があります。**
- **ボール (B) に目立った遊びがあってはなりません。**
- **ピン (C) はボールを覆う必要があります。**

OULXA64,ALL,000562C-40-15JUN23

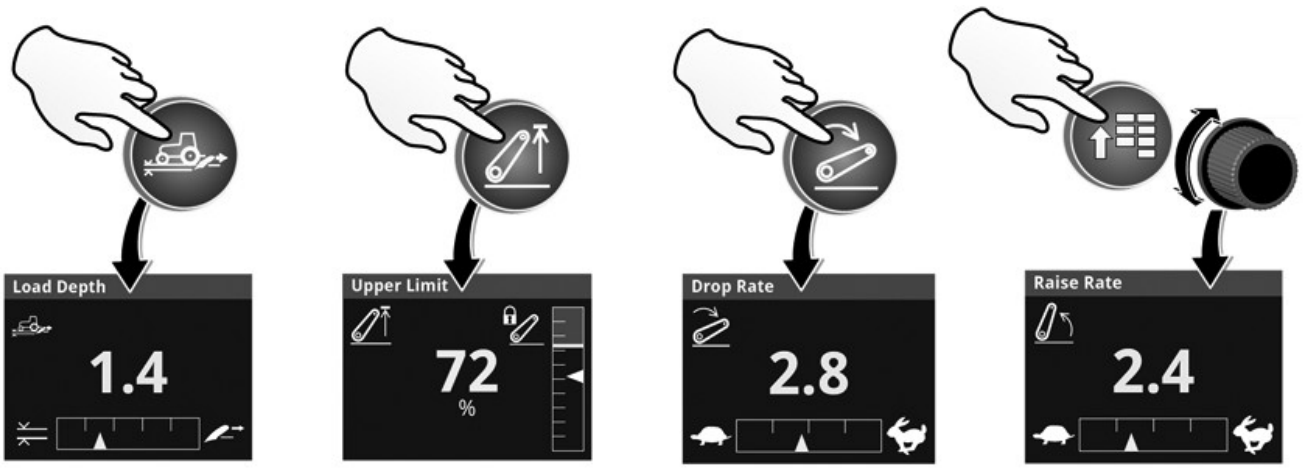
リアヒッチ - メニュー



LX368267—UN—13FEB19

リアヒッチ、メニュー

リアヒッチ設定のショートカットキー



LX368268—UN—13FEB19

リアヒッチ設定のショートカットキー

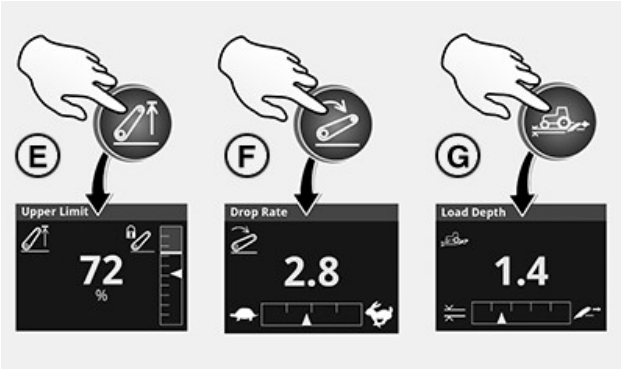
OULXA64,6M,00053AC-40-28AUG23

リアヒッチ — CommandARM™ なしでの操作

重要： **ヒッチ位置の変更はただちに行われます。**



LX364253—UN—14FEB19



LX364254—UN—14FEB19

ヒッチ機能の制御に使用するコントロール：

A . . . . . コントロールノブ、作業深さの調整
B . . . . . コントロールノブ、深さ制御の調整 (上昇/下降)
C . . . . . ボタン、ヒッチ上昇
D . . . . . ボタン、ヒッチ下降
E . . . . . ボタン、上昇限度の設定
F . . . . . ボタン、下降率の設定
G . . . . . ボタン、ドラフト/深さ制御の設定

ヒッチの起動

エンジンを始動し、次の操作モードのいずれかを実行します：

- コントロールノブ (B) をドラフトリンクの位置に対応する位置に動かします。
- コントロールノブ (B) をいずれかの終端位置に動かします。
- ボタン (C) または (D) を押します。

作業深さの設定

- コントロールノブ (B) またはボタン (D) を使用して、作業機を必要な作業深さまで下げます。
- コントロールノブ (A) を使用して、設定した作業深さを修正します。

圃場の終端での旋回

- 圃場の終端で、深さコントロールレバー (B) を後方に引いて上昇させるか、ボタン (C) を押して放します。リアヒッチは設定上昇限度 (E) まで上昇します。
- 旋回後、レバー (B) を前方にいっぱいまで押すか、ボタン (E) を押して放すことにより、リアヒッチを下げます。リアヒッチは、設定した作業深さ (A) まで、設定した下降率 (F) で自動的に下降します。

  枕地の圧縮された土壌で、作業深さにすばやく達するには (クイック上昇/下降)、ボタン (D) を押し続けます。ボタン (D) が押されている限り、設定されたドラフト力 (G) は無視されます。ボタン (D) を放すと、装置はあらかじめ設定した値に調整されます。

  クイック上昇/下降機能は、車両が動いている間のみ作動します。

注意： **事故による重傷や財産の破損の危険があります。**

トランスポートロックをかけていない場合、作業機が不意に下がる場合があります。

負荷変動に対する反応により、重大な運転状況が発生することがあります。

作業機を上昇させて運転するときや、ヒッチを使用しないときは、トランスポート (輸送用) ロックと Dampening (ダンプニング) を必ず作動させてください。

ヒッチのトランスポート (輸送用) ロックの有効化



LX364255—UN—14FEB19
ヒッチ - トランスポートロック有効

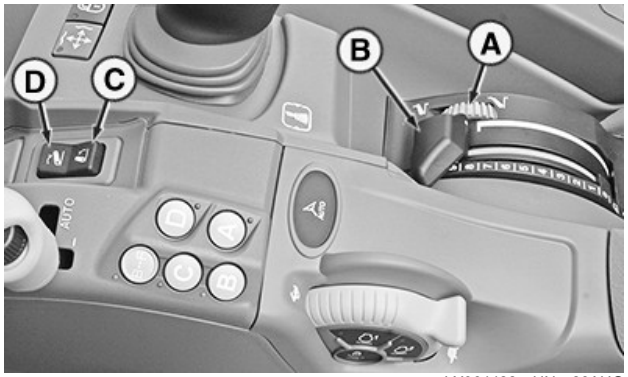
深さ制御のコントロールノブを ***0*** を超えてストップ (ロック記号) まで動かして、トランスポートロック位置 (A) に入れます。

輸送中やリアヒッチを使用しない作業を実施中は、ヒッチをロックしてください。

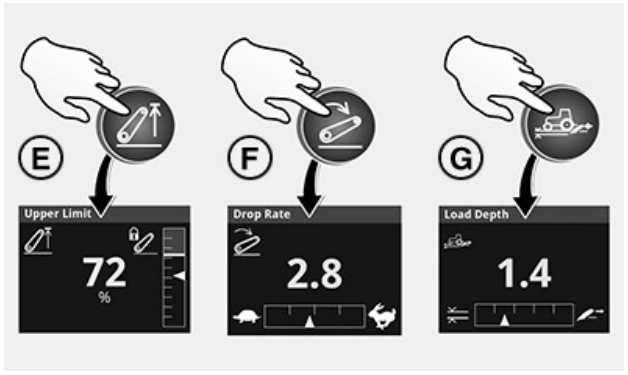
OULXA64,6M,00053AD-40-28AUG23

リアヒッチ - CommandARM™ による操作

重要： **ヒッチ位置の変更はただちに行われます。**



LX364422—UN—28AUG19



LX364254—UN—14FEB19

ヒッチ機能の制御に使用するコントロール：

A . . . . . コントロールノブ、作業深さの調整
B . . . . . コントロールノブ、深さ制御の調整 (上昇/下降)
C . . . . . ボタン、ヒッチ上昇
D . . . . . ボタン、ヒッチ下降
E . . . . . ボタン、上昇限度の設定
F . . . . . ボタン、下降率の設定
G . . . . . ボタン、ドラフト/深さ制御の設定

ヒッチの起動

エンジンを始動し、次の操作モードのいずれかを実行します：

- コントロールノブ (B) をドラフトリンクの位置に対応する位置に動かします。
- コントロールノブ (B) をいずれかの終端位置に動かします。
- ボタン (C) または (D) を押します。

作業深さの設定

- コントロールノブ (B) またはボタン (D) を使用して、作業機を必要な作業深さまで下げます。
- コントロールノブ (A) を使用して、設定した作業深さを修正します。

圃場の終端での旋回

- 圃場の終端で、深さコントロールレバー (B) を後方に引いて上昇させるか、ボタン (C) を押して放します。リアヒッチは設定上昇限度 (E) まで上昇します。
- 旋回後、レバー (B) を前方にいっぱいまで押すか、ボタン (E) を押して放すことにより、リアヒッチを下げます。リアヒッチは、設定した作業深さ (A) まで自動的に下降します。

枕地の圧縮された土壌で、作業深さにすばやく達するには (クイック上昇/下降)、ボタン (D) を押し続けます。ボタン (D) が押されている限り、設定されたドラフト力 (G) は無視されます。ボタン (D) を放すと、装置はあらかじめ設定した値に調整されます。

クイック上昇/下降機能は、車両が動いている間のみ作動します。

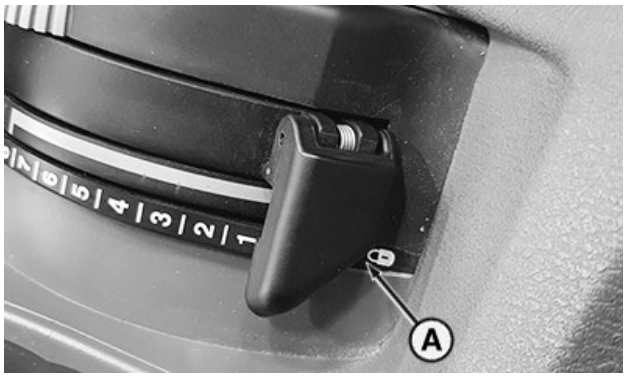
注意： **事故による重傷や財産の破損の危険があります。**

トランスポートロックをかけていない場合、作業機が不意に下がる場合があります。

負荷変動に対する反応により、重大な運転状況が発生することがあります。

作業機を上昇させて運転するときや、ヒッチを使用しないときは、トランスポート (輸送用) ロックと Dampening (ダンプニング) を必ず作動させてください。

ヒッチのトランスポート (輸送用) ロックの有効化



LX364257—UN—14FEB19

深さ制御のコントロールノブを ***0*** を超えてストップ (ロック記号) まで動かして、トランスポートロック位置 (A) に入れます。

輸送中やリアヒッチを使用しない作業を実施中は、ヒッチをロックしてください。

OULXA64,6M,00053AE-40-28AUG23

リアヒッチ - 深さ制御ストップの設定

ストップ (A) を下向きに押して、必要な作業深さを設定します。



LX364272—UN—14FEB19

CommandARM™ なしのキャブ

装置を上昇させた後、コントロールノブ (B) を設定した作業深さ (抵抗がはっきりとわかる位置) まで下げることができます。

OULXA64,6M,00053AF-40-28AUG23

リアヒッチ - 作業機を連結して負荷がかかった状態での運転

重要：**作業機の質量は大きいため、トランスポートロックをオンにしてHitch Dampening™ を有効にしても、作業機がわずかに上下する場合があります。**

作業機と路面の間に十分な隙間を確保するため、作業機を十分な高さまで上昇させてください。

独自のシャーシを持たない作業機の輸送：



LX364273—UN—14FEB19

CommandARM™ なしのキャブ

重要：**トラクターの運転前にヒッチロック/Hitch Dampening™ 機能を必ず作動させてください！**

作業機を完全に上昇させます。これを行うには、深さコントロールを ***0*** を超えてストップ (ロック記号) まで動かして、トランスポート (輸送) 位置 (A) に入れます。ヒッチがロックされます。

独自のシャーシを持つ作業機の輸送：



LX364273—UN—14FEB19

CommandARM™ なしのキャブ

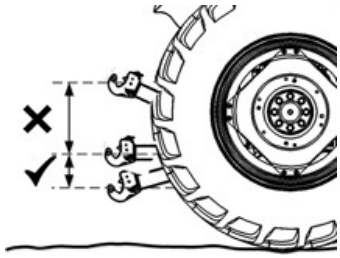
コントロールスライダー (A) をストップに達するまで前方いっぱいまで動かします (フロート位置)。

注記： 注記： リモコンを使用すると、トランスポートロックが作動している場合でもリアヒッチの高さを変更できます。

トラクターをオフにする前にトランスポートロックが作動していた場合、トラクターの再始動時にトランスポートロックは有効なままです。

その他の考慮事項：

- 最大トレーラー負荷を超えないでください (表参照)。
- カプラーフックを予期しない開放から保護してください (このセクションの説明を参照してください)。
- ねじれ防止トレーラーヒッチを使用し、メーカーの指示を順守してください。
- ドラフトリンクが水平に整列するまで、ドラフトリンクのみを上昇させます。



LX341502—UN—11JUN18

独自のシャーシを備えた作業機を輸送するときの許容牽引可能荷重
リアヒッチ、カテゴリ II 最大牽引可能荷重 10000 kg (22046 lb)*
リアヒッチカテゴリ III 最大牽引可能荷重 12000 kg (26455 lb)*
* セクション 500A の最大許容牽引可能荷重を順守してください。

低い値が示されている場合は、それらの仕様に従う必要があります。

OULXA64,6M,00053B0-40-19FEB24

リアヒッチ - Hitch Dampening

重要： 作業機の質量は大きいため、トランスポートロックをオンにしてHitch Dampening™ を有効にしても、作業機がわずかに上下する場合があります。

作業機と路面の間に十分な隙間を確保するため、作業機を十分な高さまで上昇させてください。

トラクターには、作業機を上昇させて走行するときに縦揺れを防止するための Hitch Dampening 機能が装備されています。



LX364271—UN—14FEB19

CommandARM™ なしのキャブ

ダンプニング機能の起動

1. エンジン運転中に、まず深さ制御レバーを ***0*** 位置 (A) に動かします。
2. 次に、深さコントロールレバーを (***0*** を越えて) ストップの輸送位置 (B) (南京錠アイコン) までいっぱいに動かします。

ダンプニングの解除

深さ制御レバーを輸送位置 (B) から ***0*** の先の下降方向 (1 ~ 9) に動かします。

注記： リモートコントロールの使用とエンジンの停止は、どちらも Hitch Dampening™ 機能を無効にする効果があります。

Hitch Dampening 機能を再度オンにするには、エンジン運転中に深さ制御のコントロールノブを輸送位置から動かして、もう一度輸送位置に戻します。

OULXA64,6M,00053B1-40-28AUG23

リアヒッチ - 上昇高さ制限

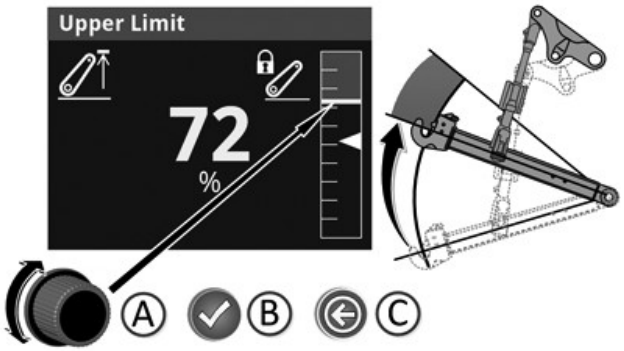
重要： 変更はただちに反映されます。

1. 上昇限度にアクセスします。



LX368358—UN—13FEB19

2. (A) で上昇限度を 30% に設定します。



LX368273—UN—13FEB19

3. ヒッチを完全に上昇させます。
4. 装置の必要な上昇高さに達するまで上昇限度を (A) で**慎重に**調整します。
5. (B) で入力を確定します。
6. (C) でページを終了します。

OULXA64,6M,00053B2-40-28AUG23

リアヒッチ - 下降率の調整

注意： 作業機が急に下降してけがをするおそれがあります。

作業機が急に下降すると、擦過や押しつぶしによるけがの危険があります。

• 下降させる前に、作業機の周囲および下側に誰もいないことを確認してください。必要な場合は、人を遠ざけてください。

• 下降の完了に 2 秒以上かかるように下降率を設定します。

重要： 下降率の変更はただちに行われます。

1. 下降率にアクセスします。



LX368359—UN—13FEB19

2. (A) で下降率を調整します。



LX368274—UN—13FEB19

下降率は以下の要因により決まります：

- コントロールノブ (A) の設定。
- 連結されている作業機の重量。

作業機が重いほど下降速度が速くなり、軽いほど遅くなります。

3. (B) で入力を確定します。
4. (C) でページを終了します。

OULXA64,6M,00053B3-40-28AUG23

リアヒッチ - 上昇率の調整

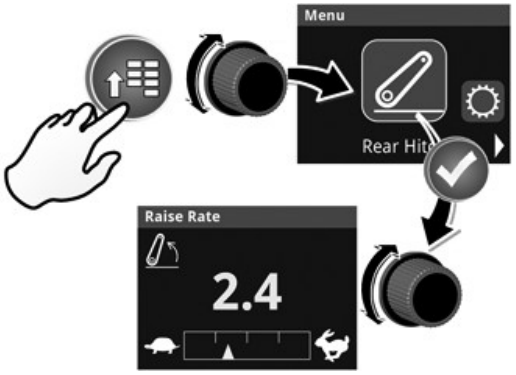
注意： 作業機が急に上昇してけがをするおそれがあります。

作業機が急に上昇すると、擦過や押しつぶしによるけがの危険があります。

• 上昇させる前に、作業機の周囲および下側に誰もいないことを確認してください。必要な場合は、人を遠ざけてください。

• 上昇動作の完了に 5 秒以上かかるように上昇率を設定します。

重要： 上昇率に対する変更はただちに行われます。



LX361249—UN—13FEB19

図のように上昇率にアクセスして、設定、保存します。

OULXA64,6M,00053B4-40-28AUG23

リアヒッチ - ドラフト/深さ制御の調整

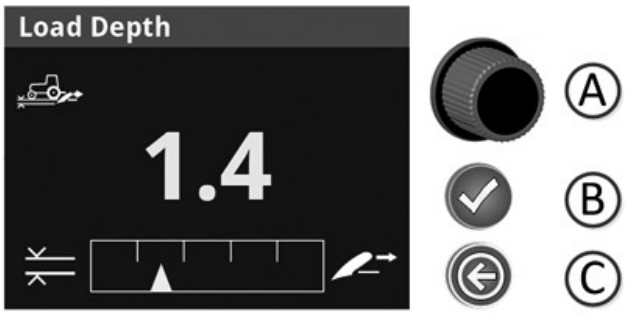
注意： 装置を 3 点ヒッチに取り付ける前に、深さ制御を「0.0」に設定する必要があります。これにより、ヒッチの意図しない上昇または下降を防止します。

1. ドラフト/深さ制御にアクセスします。



LX368357—UN—13FEB19

2. (A) でドラフト/深さ制御を設定します。

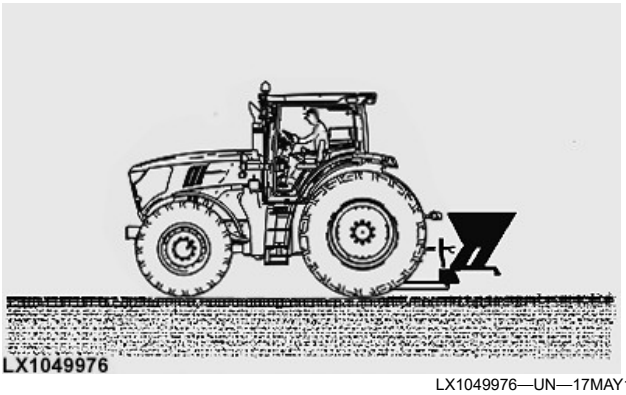


LX368272—UN—13FEB19

- 0 = 深さ制御
- 0 を超え 5 未満 = 混合制御
- 5 = 最大ドラフトコントロール

3. (B) で入力を確定します。
4. (C) でページを終了します。

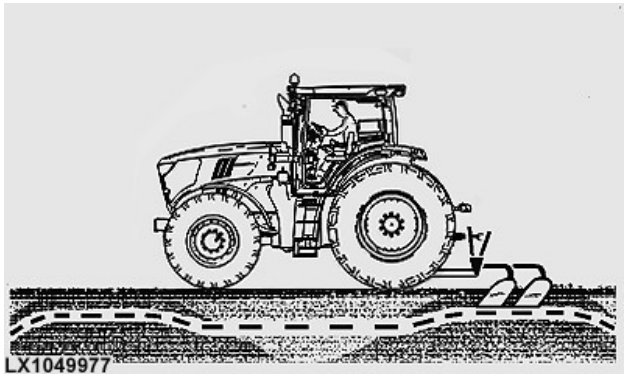
0 - 深さ制御



LX1049976—UN—17MAY11

この位置でドラフト/深さ制御を使用すると、作業機は選択した高さに保持されます。

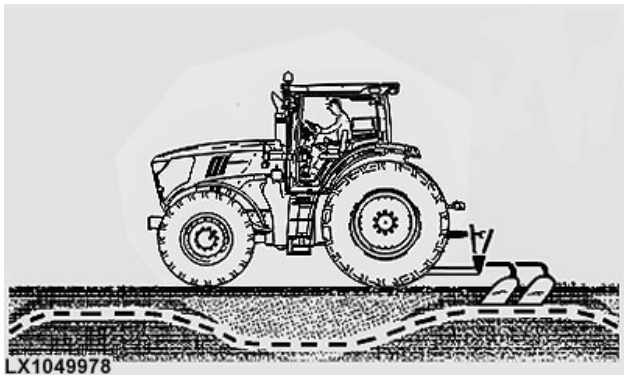
0 を超え 5 未満 - 混合制御



LX1049977—UN—18MAY11

荷重 / 深さ制御の中間位置では、深さ制御の効果やドラフトの応答性を地面の状態に応じて無段階に調整できます。

5 - 最大ドラフトコントロール

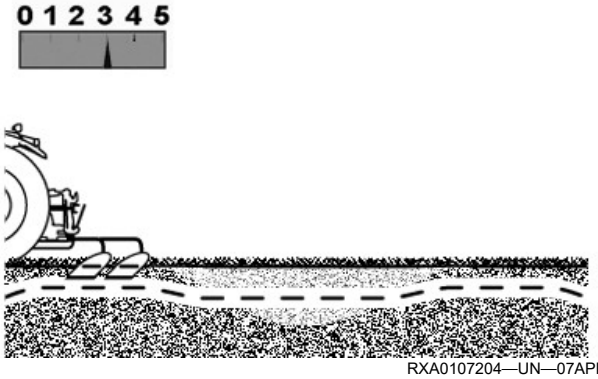


LX1049978—UN—17MAY11

荷重 / 深さ制御をこの位置にすると、抵抗 (土壌密度) が大きいほど作業機が上昇し、抵抗が小さいほど作業機が下降します。

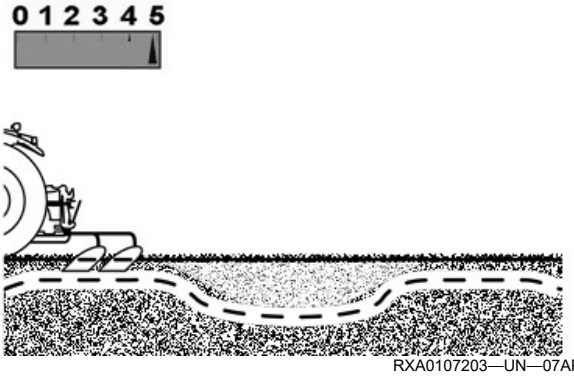
OULXA64,6M,00053B5-40-28AUG23

リアヒッチ - ドラフトコントロールの使用



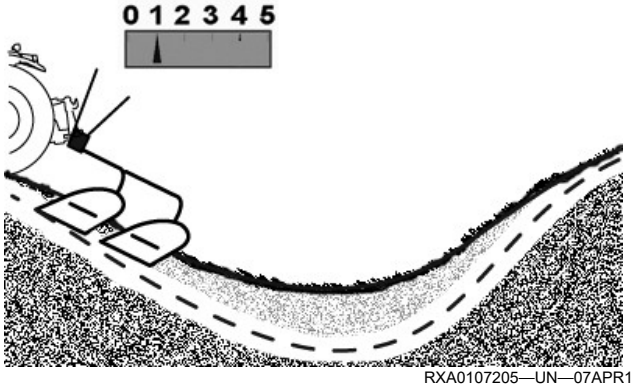
RXA0107204—UN—07APR10

土壌が均一でない場合は応答性を中間にすると深さを制御しやすい



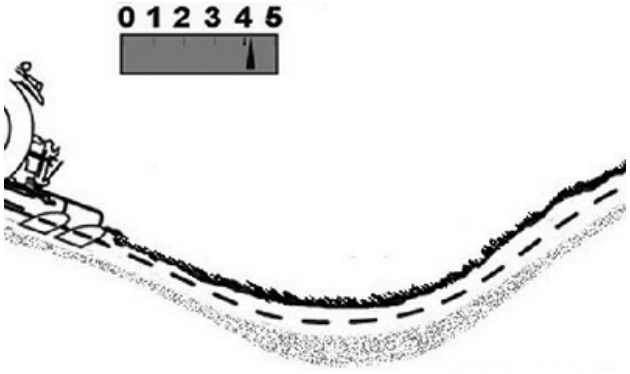
RXA0107203—UN—07APR10

土壌が均一でない場合は応答性が高いと深さのばらつきが大きくなる



RXA0107205—UN—07APR10

起伏地では応答性を低くすると深さのばらつきが大きくなる



LX314969—UN—11JUL17

波打った地形では応答性が高い方が深さに対応しやすい

ドラフトコントロールは、起伏地でフロート機能を使用しない耕うん機の作業深さを維持するために使用されます。

ドラフトコントロールは、トラクターの高い位置や傾斜、後輪の沈みを防止して、作業機が土壌に貫入しすぎないようにします。

土壌密度 / 抵抗が変化する場合、応答設定が高いと、作業深さの調整時に大きな変動が発生します。最適な設定は、作業機タイプと圃場の条件によって決まります。

• 値が高いと、ドラフトの応答性が強く / 早くなります。

• 値が低いほどドラフトの応答性が弱く / 遅くなります。

ドラフト / 深さ制御の推奨設定値は作業機タイプに応じて異なります。

一体型フィールドカルチベーター	4 ~ 5
一体化はつ土板プラウ	3 ~ 5
半一体化はつ土板プラウ	2 ~ 4
一体化チゼルプラウ	2 ~ 4
一体化リッパー / 深耕機	1 ~ 3

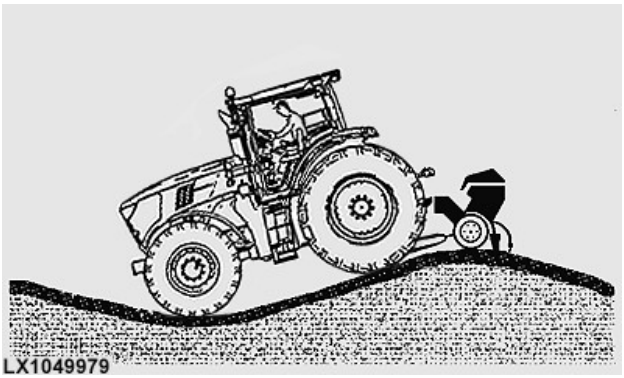
ドラフト / 深さ制御の設定を変更すると、ドラフトの応答性のみが変化します。ヒッチの深さ制御レバーを使用して、作業深さの制御または変更を行います。

注記： 作業機によっては、ドラフトの応答性の設定を低くすると、下降速度が遅くなるものもあります。作業機を速く土壌に貫入させるには、深さ制御レバーを前方のクリック位置で保持します。ヒッチは選択した下降速度で下降します。

LX25458,6M,0000A0F-40-28AUG23

リアヒッチ - フロート位置

フロート位置 (ゲージホイール付き作業機の場合) では、トラクターとは関係なく、作業機が自由に上下に動いて地形に追従できます。



LX1049979—UN—18MAY11

フロート位置をオンにするには、次のように設定を構成します：

1. ドラフト/深さ制御にアクセスします。



LX368357—UN—13FEB19

2. (A) でドラフト/深さ制御を 0.0 に設定します。



LX364320—UN—05MAR19

3. (B) で入力を確定します。
4. (C) でページを終了します。
5. 深さ制御 (A) のコントロールノブをストップに達するまで前方にいっぱいまで動かします。



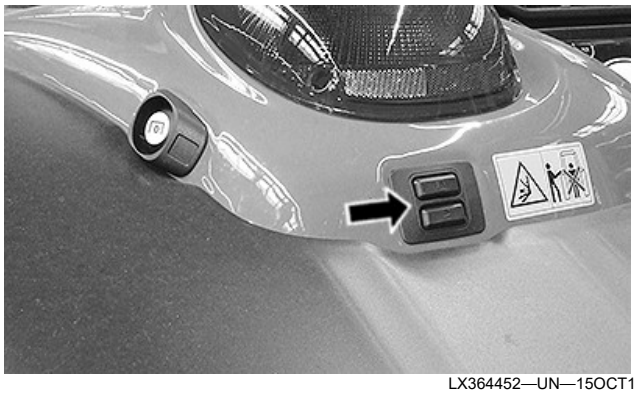
LX364273—UN—14FEB19

CommandARM™ なしのキャブ

OULXA64,00053B7-40-28AUG23

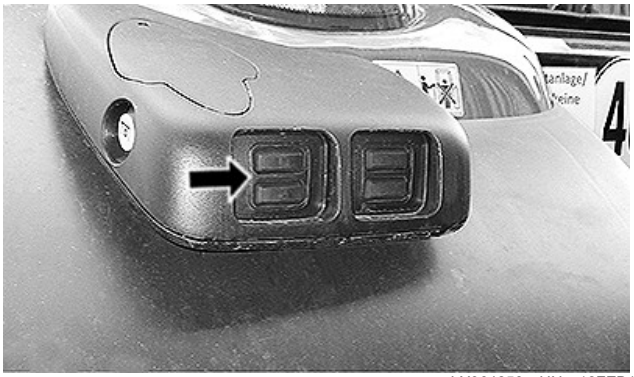
リアヒッチ - リモコン

リモートコントロールのスイッチを使用すると、ヒッチをキャブの外から操作できます。安全上の理由から、ヒッチは低速で上昇/下降します。さらに、上昇高さと作業深さの設定は考慮されません。



LX364452—UN—15OCT19

リモートコントロールスイッチ、バージョン *1*



LX364258—UN—12FEB19

リモートコントロールスイッチ、バージョン *2*

▲ 上昇スイッチを押す - 作業機の上昇

▼ 下降スイッチを押す - 作業機の下降

注記： リモートコントロールを起動すると、ヒッチの誤作動を防ぐことができます。ヒッチは、次のいずれかの操作モードで再び有効にすることができます：



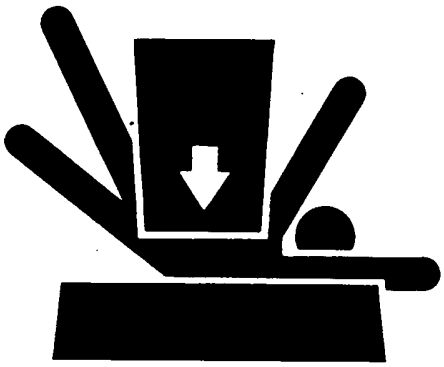
LX364259—UN—12FEB19

CommandARM™ なしのキャブ

- コントロールノブ *(A)* をドラフトリンクの位置に対応する位置に動かします。
- コントロールノブ *(A)* をいずれかの終端位置に動かします。
- スイッチ *(B)* または *(C)* を押します。

OULXA64,6M,00053B8-40-28AUG23

リアヒッチ - 直接作動



TS229—UN—23AUG88

注意： リアヒッチと作業機の直接操作が原因でけがをする危険があります!

作業機が急に下降または上昇すると、擦過や押しつぶしによるけがの危険があります。

• 上昇/下降させる前に、リアヒッチや作業機の近くに誰もいないことを確認してください。必要な場合は、人を遠ざけてください。

リアヒッチの直接作動は、必ず運転席に着席している状態で行う必要があります。

リアヒッチの電気制御システムの電気的故障が発生した場合、次のようにしてリアヒッチを操作できます。



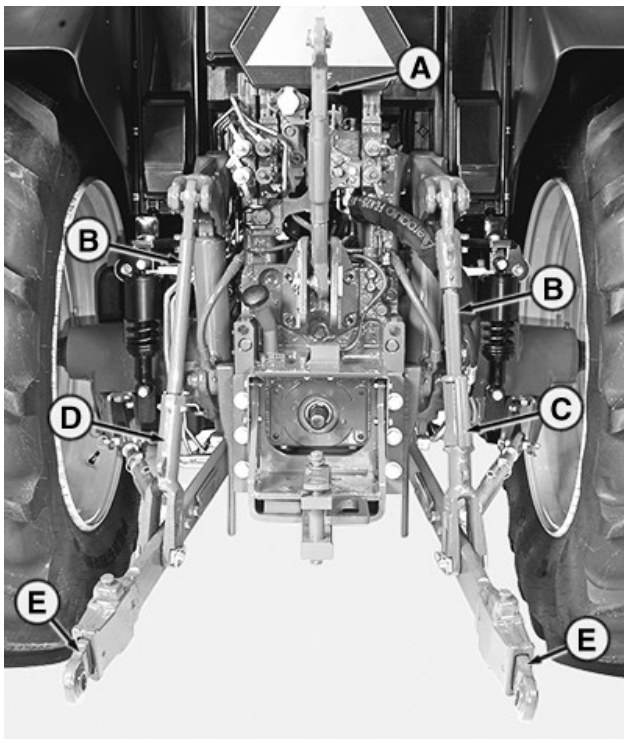
LX364261—UN—12FEB19

1. エンジンは運転状態を維持します。
2. 保護キャップを取り外します。
3. **オペレータシートから**マイナスドライバーまたは適切なコインを使って、後部連結装置が必要な位置まで上昇または下降するまでねじを回します。

注記： エンジン運転中以外でも、直接作動によってヒッチを下降させることができます。

OULXA64,SP,00053B9-40-16JUL25

3 点ヒッチ



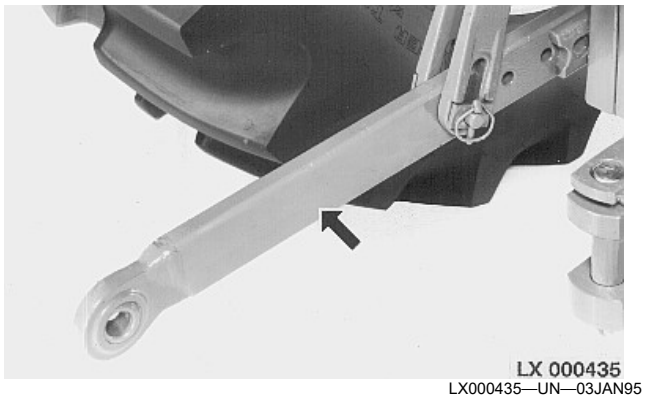
LX364319—UN—11MAR19

A：**センターリンク**
B：**リフトリンク**
C：**リフトリンク調整用クランク**
D：**ドラフトリンク**

トラクターは、平鋼ドラフトリンク、テレスコピックけん引リンク、またはクイックカップリング型 (フック型) ドラフトリンクを装備することができます。

OULXA64,SP1,00058AD-40-27NOV20

平鋼ドラフトリンク

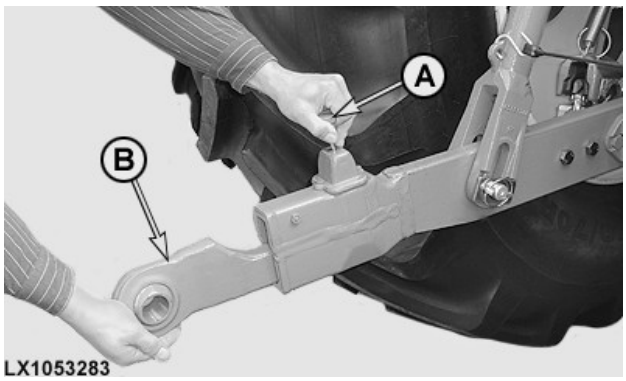


LX000435—UN—03JAN95

このタイプのドラフトリンクはカテゴリ II 作業機用です。

LX25458,0000A14-40-05JUN20

テレスコピックけん引リンク



LX1053283—UN—19SEP11

これらのドラフトリンクはカテゴリ II およびカテゴリ IIIN 作業機用です。

作業機の連結を容易にするため、ドラフトリンクを後部に延長します。

1. ロックピン (A) を持ち上げます。
2. 伸縮型牽引リンク (B) をリア側へ引きます。

作業機をドラフトリンクに取り付けて固定した後、ロックピンが所定の位置にはまるまでトラクターを後退させます。前方に短い距離だけ運転し、ドラフトリンクが固定されていることを確認してください。

LX25458,0000A15-40-05JUN20

クイックカップリング型 (フック型) ドラフトリンク

重要： **必ず正しいボールだけを使用してください！**

これらのドラフトリンクはカテゴリ III のボール用です。

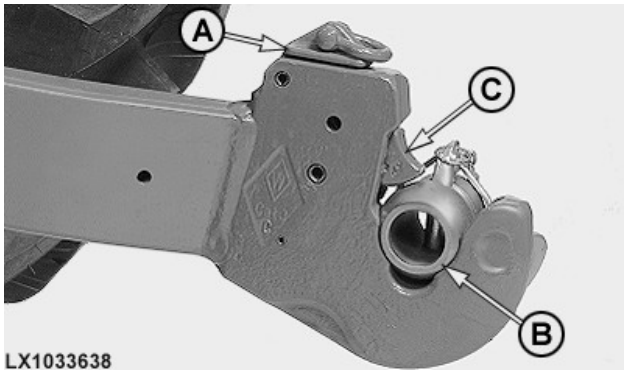


LX1033644—UN—17MAY04

カテゴリ	ボール径 (a)
III	64 mm (2.5 in)

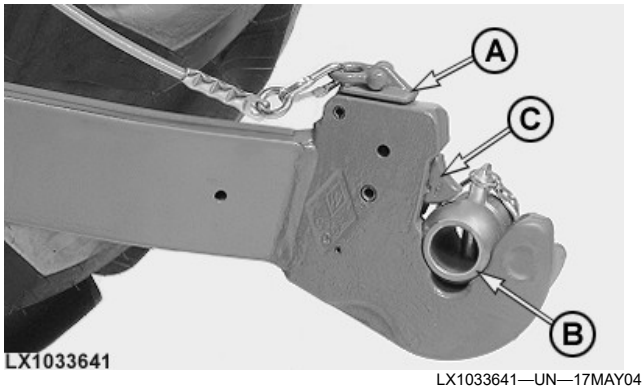
カプラーフックの操作

カプラーフックは、コントロールエレメント (A) を使用して手動またはケーブルで操作できます。



LX1033638—UN—17MAY04

カプラーフック、手動操作



LX1033641—UN—17MAY04

カプラーフック、ケーブル操作

A：**制御要素**
B：**ボール**
C：**ピン**

重要： **カプラーのフックが正しくかかっていることを確認します。**

- **制御要素 (A) はカプラーフックと面一である必要があります。**
- **ボール (B) に目立った遊びがあってはなりません。**
- **ピン (C) はボールを覆う必要があります。**

ケーブル操作のカプラーフックの場合：

ヒッチを連結した後、過剰なたるみまたは背の高い植物や枝の引っ掛かりによる偶発的な開放を防止できるようにケーブルが取り回されていることを確認します。

ドラフトリンクのフックのロック

注意： **以下の場合、ドラフトリンクの結合フックの予期しない開放によるけがのおそれがあります。**

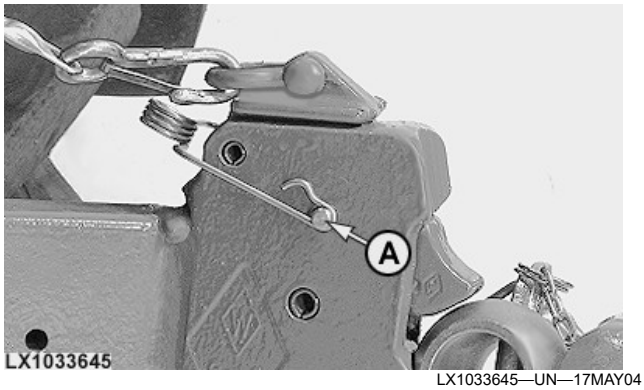
下部リンクのキャッチフックの予期しない開放によるけがの危険性。

図に示すように、ドラフトリンクカプラーフックを予期しない開放から保護してください。

次の状況を回避してください：

- **非対称荷重の装置を取り付ける (例、サイドブームモアデッキ)**
- **背の高い植物の中を運転する**
- **森林で操作する**
- **独自の下部構造を有する作業機を牽引する**

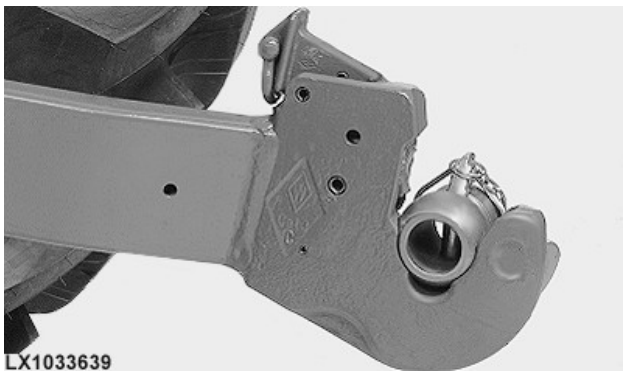
John Deere AL165485 ロックパーツキットを両方のカプラーフックに使用します。



LX1033645—UN—17MAY04

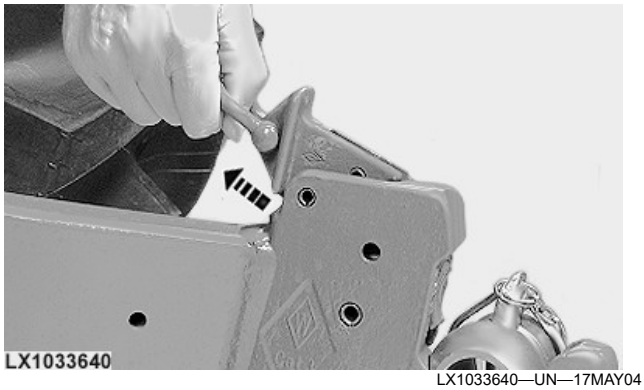
A：**ロックパーツキット**

カプラーフックは、開放位置にロックできます。

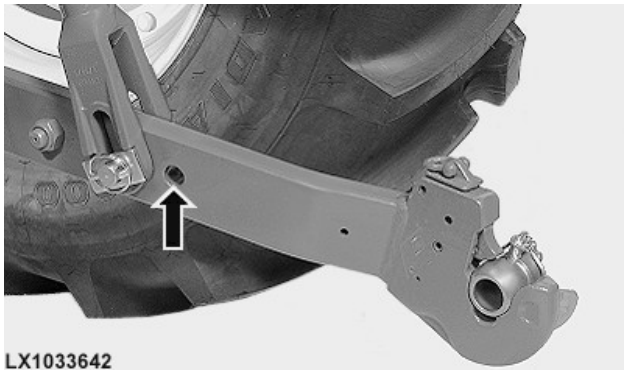


LX1033639—UN—17MAY04

カプラーフックを再度閉じるには、最初に制御部分を斜め上に引きます。



LX1033640—UN—17MAY04



LX1033642—UN—17MAY04

注記： 非常に重い、短い装置では、リフトリンクをドラフトリンクの後部穴に取り付けることができます。これにより上昇高さが減りますが、吊上げ力は増加します。

LX25458,MY20,0000A16-40-17SEP20

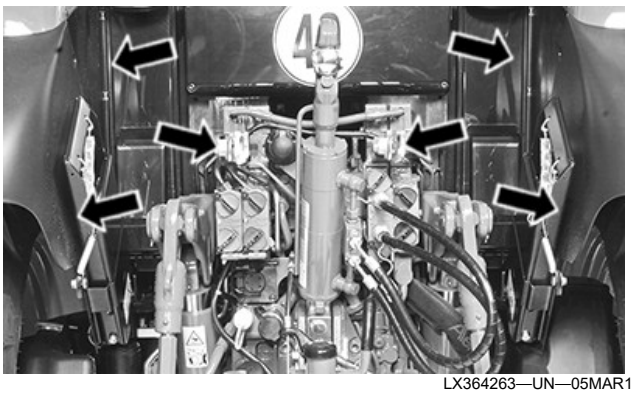
3 点ヒッチ装着式 / 牽引式作業機の取り付け

注意： 致命的な結果を生じる押しつぶしの危険！

人体の部位がトラクターと作業機の間に挟まって、動けなくなる可能性があります。

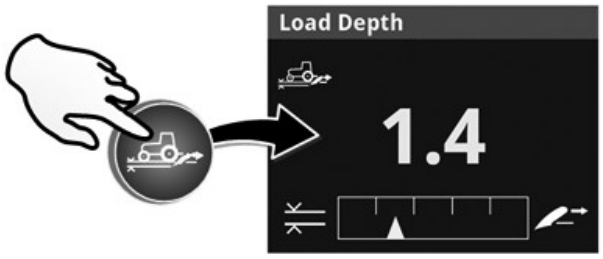
トラクターと作業機の間の危険区域に立たないでください。吊り下げられた荷の下に立たないでください。安全な位置からリアヒッチのリモコンを操作してください。作業機をヒッチに連結したり、連結を解除したりする場合は、駐車ブレーキロックをかけて注意して作業してください。

3 点ヒッチ装着式または牽引式作業機を取り付ける時は、キャブの露出部とトラクターの構成部品 (矢印参照) を損傷させないように注意してください。



LX364263—UN—05MAR19

装置を取り付けるときは、ドラフト/深さ制御が ***0.0*** に設定されていることを確認してください。



LX361247—UN—13FEB19

重要： 十分な隙間がないことによる損傷を防止してください。

ヒッチを上昇させるときに、装置がキャブトラクターの構成部品と接触する可能性があります。

取り付けを試行して隙間を確認してください。

以下の手順に従って、隙間とストップを点検します。

- 作業機を揚程の全範囲にわたって慎重に上昇させます。トラクターと接触するリスクがある場合は、操作をすぐに停止します。必要に応じて、センターリンクを調整します。
- 旋回時にトラクターと作業機が接触するかどうかを確認します。必要に応じて、ドラフトリンクストップを調整します。
- リフトリンクとタイヤの隙間を広げるには、リフトリンクをドラフトリンクの前側の穴に取り付けます。
- 「油圧センターリンク」に記載されている指示に従ってください (装備されている場合)。
- 作業機を上昇させた後、横方向に動かないようにドラフトリンクストップを調整します。
- 作業機を使用できない場合でも、ドラフトリンクとタイヤが接触しないようにドラフトリンクストップを設定する必要があります。

けん引棒が取り付けられている場合は、けん引棒を以下のいずれかの位置に動かして固定します。

- 前、ショート位置
- 左へ旋回
- 右へ旋回

OULXA64,SP1,00058AE-40-04DEC20

作業機のレベル調整

作業機を横方向で水平にするには、いずれかのリフトリンクを調整します。前後に水平にするにはセンターリンクを調整します。

LX25458,MY20,0000A18-40-16SEP20

センターリンク

重要： **設置されている装置とヒッチに連結されている装置の隙間が小さすぎることによる損傷を防止してください。**

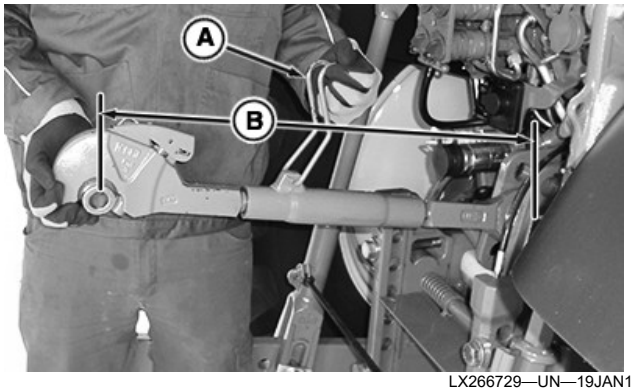
ヒッチを上昇させるときに、装置がキャブトラクターの構成部品と接触する可能性があります。

取り付けを試行して、連結または牽引されている装置との隙間をすべての位置で確認してください。

この場合、以下の設定に注意してください。

- **センターリンク長さ**
- **最大リフト高さ**

1. 調整ハンドル (A) を回して、センターリンクの長さを必要な長さ (B) に調整します。



LX266729—UN—19JAN16

A：**調整ハンドル**
B：**長さ**

センターリンクの長さ	カテゴリ II	カテゴリ III
最小長	640 mm (25.2 in)	660 mm (26.0 in)
最大長	820 mm (32.3 in)	845 mm (33.3 in)

重要： **正しくない調整長さによる損傷を防止してください。**

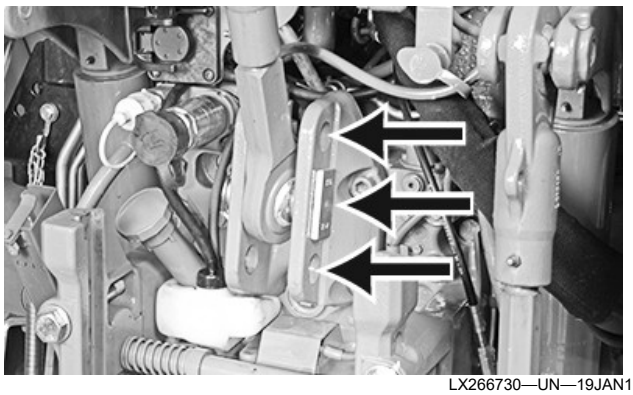
センターリンクの長さを設定するときは、不適切な設定や正しくない動作が発生することがあります。

- **指定された下側/上側の寸法を超えないでください。**
- **ねじ山の溝は許容される最大設定を示します。**
- **ねじを緩めて受け部から外さないでください。**

2. 調整後、ハンドルを再度センターリンクまで押し下げます。
3. 取り付けピンを作業機のマストとセンターリンクに通して固定します。

OULXA64,SP,4CYL,00057E1-40-17NOV20

センターリンクの位置



LX266730—UN—19JAN16

センターリンクは 3 種類の位置のいずれかでトラクターに取り付けることができます。

最低位置にすると傾斜角が最大になって吊上げ力が下がるため、鋤の作業で使用します。

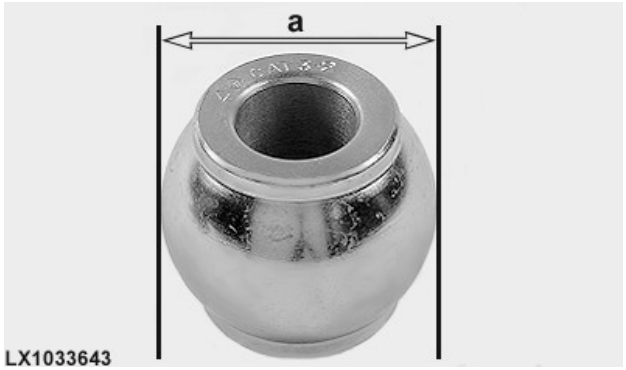
最高位置では吊上げ力が上がって、チルト角が最低になるため、この位置はダイレクトドリルなどの機械で作業するときに使用できます。

OULXA64,SO,4CYL,00057E2-40-17NOV20

フック型センターリンク

重要： **必ず正しいボールだけを使用してください！**

このセンターリンクはカテゴリ III のボール用です。

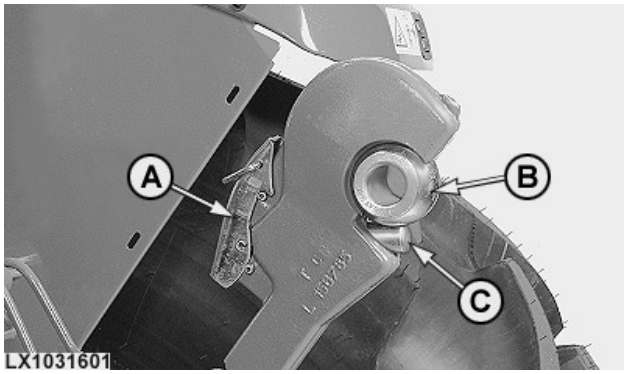


LX1033643—UN—17MAY04

カテゴリ	ボール径 (a)
III	60 mm (2.4 in)

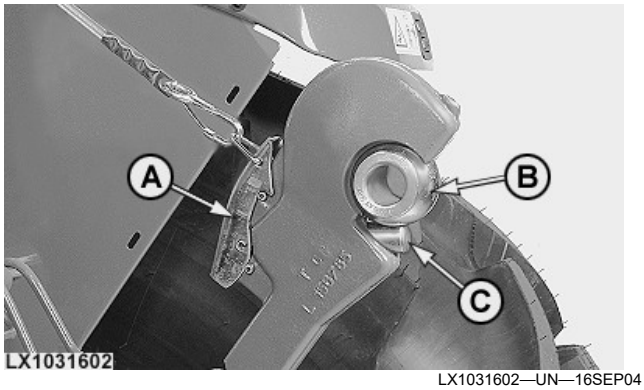
フックの操作

カプラーフックは、コントロールエレメント (A) を使用して手動またはケーブルで操作できます。



LX1031601—UN—16SEP04

カプラーフック、手動操作



LX1031602—UN—16SEP04

カプラーフック、ケーブル操作

A：**制御要素**
B：**ボール**
C：**ピン**

重要： **カプラーフックが正しくかかっていることを確認します。**

- **制御要素 (A) はカプラーフックと面一である必要があります。**
- **ボール (B) に目立った遊びがあってはなりません。**
- **ピン (C) はボールを覆う必要があります。**

ケーブル操作のカプラーフックの場合：

ヒッチを連結した後、過剰なたるみまたは背の高い植物や枝の引っ掛かりによる偶発的な開放を防止できるようにケーブルが取り回されていることを確認します。

LX25458,ALL,CAT2,0000A1B-40-09OCT20

油圧センターリンク (装備されている場合)

重要： **作業時の注意**：**センターリンクは重いので、取り付けや取り外し中に落下すると、油圧ホースや他の部品を損傷させるおそれがあります。**

重要： **操作を開始する前に次の点を点検してください**：

- **作業機を上昇させているときは、作業機がトラクターと接触しないことを確認してください。**
- **センターリンクの長さと最大上昇高さに注意してください。**

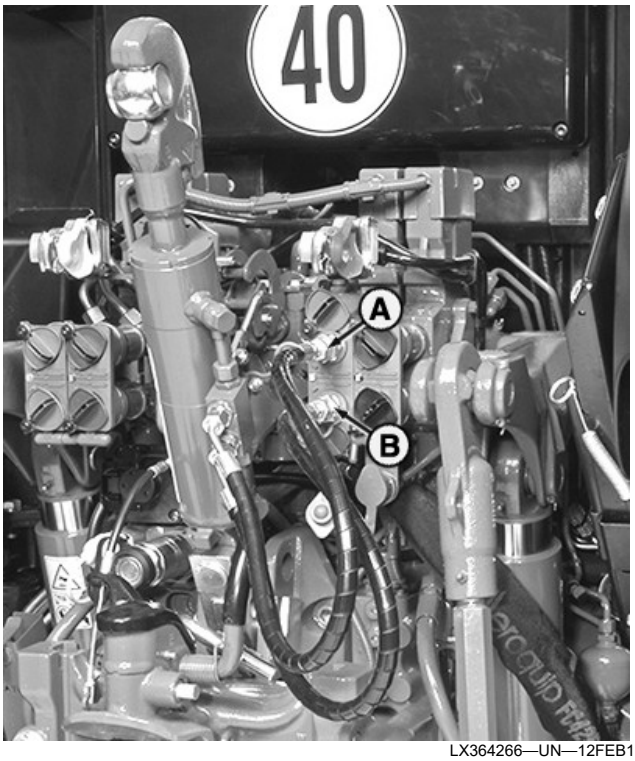
センターリンクの長さは、第 3 SCV を使用して運転席から容易に調整できます。装備されている場合は、フェンダーのリモコンスイッチからセンターリンクを作動させることもできます。(矢印を参照)



LX364265—UN—12FEB19

油圧センターリンクには、運転中のセンターリンクの調整を容易にする測定ロッドが取り付けられています。この目的のため、ロッドには位置決め用のマークがあります。ロッドは輸送時や、取り付け、取り外し中の手掛かりとしては利用できません。

ループがセンターリンクの連結部から外向きになるように油圧ホースを取り回します。供給ライン (A) を SCV III の上部ポート、供給ライン (B) を SCV III の下部ポートに接続します。



LX364266—UN—12FEB19

油圧ラインの接続

A：**SCV III 上端、センターリンクの上部リード線の接続**
B：**SCV III 下端、センターリンクの下部ラインの接続**

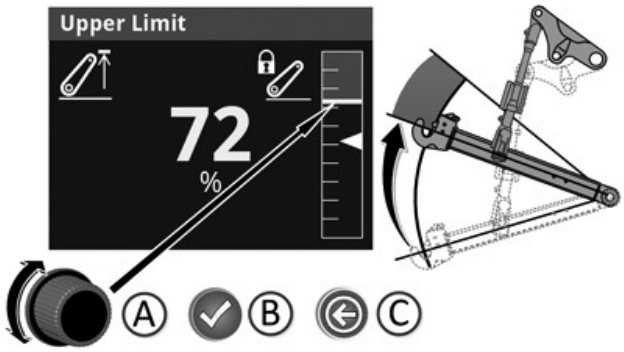
重要： **上昇限度を MAX に設定するときは特に注意して、すべてのトラクター構成部品で十分な隙間を確保してください。油圧センターリンクの収縮によって作業機がトラクターに接近することに注意してください。**

1. 上昇限度にアクセスします。



LX368358—UN—13FEB19

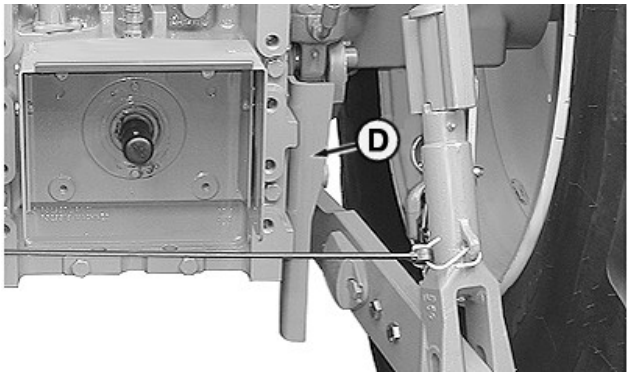
2. (A) で上昇限度を 30% に設定します。



LX368273—UN—13FEB19

3. ヒッチを完全に上昇させます。
4. 装置に必要な最大限可能な上昇高さに達するまで、上昇限度を (A) で**慎重に**調整します。
5. (B) で入力を確定します。
6. (C) でページを終了します。

過度の摩耗が PTO ハウジングのガイドレール (D) に発生する場合は、ガイドレールを新品に交換して、センターリンクと油圧ブロックの接触を防止する必要があります。



LX364268—UN—12FEB19

ガイドレール

油圧センターリンクを使用しない場合は、次の点を確認してください。

1. センターリンクが完全に収縮している。
2. センターリンクが上の 2 つの位置のいずれかに取り付けられている。
3. センターリンクがトラクターのラッチに完全にかみ合っている。

センターリンクの取り付けと取り外し時は、重量物に注意してください。

OULXA64,SP1,00058AF-40-14MAR23

リフトリンクの調整

重要： **十分な隙間がないことによる損傷を防止してください。**

ヒッチを上昇させるときに、リフトリンクとドラフトリンクがタイヤやその他のトラクター構成部品と接触する可能性があります。

以下の手順に従って、隙間とストップを点検します。

- タイヤとの隙間を広げるには、リフトリンクをドラフトリンクの前側の穴に取り付けます。
- ドラフトリンクを上昇させるときは、必ずスタビライザバーを (油圧でまたは機械的に) ロックしてください。

上昇高さおよび作業深さはリフトリンクにより増やすことができます。

上昇高さを増やす ==> リフトリンクを短くする

作業深さを増やす ==> リフトリンクを伸ばす

注記： リフトリンクが短い場合：

短い上昇経路 ==> 最大吊上げ力。

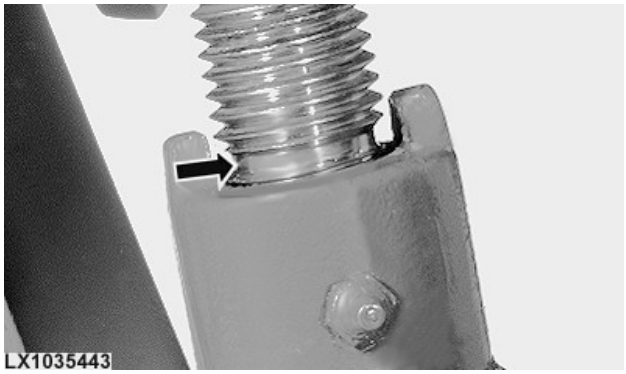
リフトリンクが長い場合：

長い上昇経路 ==> 吊上げ力が少なくなる。

重要： **正しくない調整長さによる損傷を防止してください。**

リフトリンクを設定するときは、不適切な設定や正しくない動作が発生することがあります。

リフトリンクの設定時は、次の点を確認します。



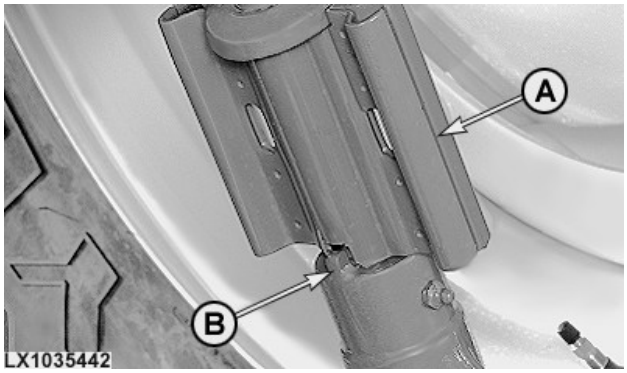
LX1035443—UN—13JAN05

ねじの溝

- 指定された下側/上側の寸法を超えないでください。
- ねじ山の溝は許容される最大設定を示します。
- ねじを緩めて受け部から外さないでください。

作業機の整列

1. 調整ハンドル (A) を押してロック (B) から外し、必要な長さに設定します。

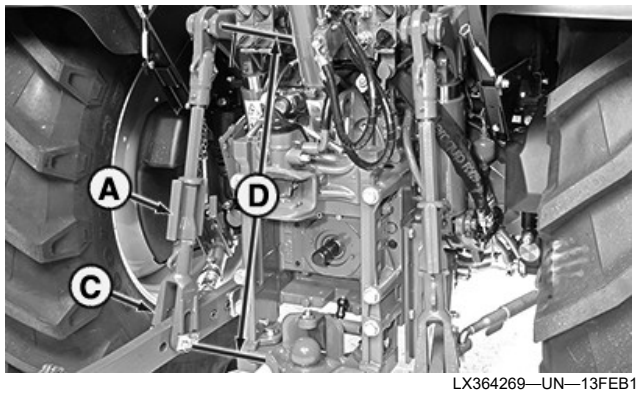


LX1035442—UN—13JAN05

A：**調整ハンドル**
B：**ロック**

2. その位置に保持するには、調整ハンドル (A) をロック (B) の中に押し下げます。

   調整ハンドルのないリフトリンク場合は、リフトリンクをドラフトリンクから取り外して、ヨーク端 (C) をねじ込むか戻します。



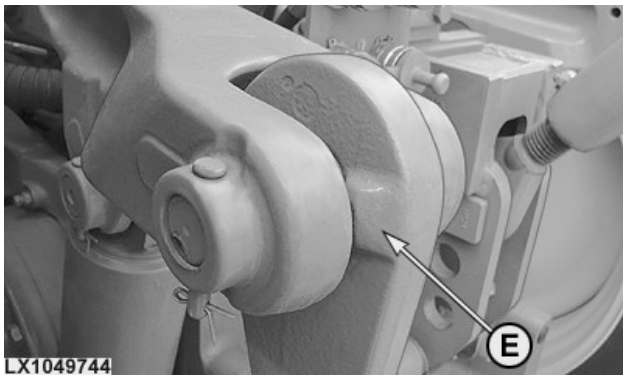
LX364269—UN—13FEB19

A：**調整ハンドル**
C：**ヨーク端**
D：**長さ**

調整長さ	CAT2/CAT3
最小長	830 mm (32.7 in)
最大長	990 mm (39.0 in)

注記： 上述のリフトリンクの寸法は、ドラフトリンクに固定されたリフトリンクの場合です (垂直方向のフロートなし)。

3. リフトアームにリフトリンクを接続する際は、図のようにストップ (E) が必ずリア側になるようにしてください。



LX1049744—UN—03MAY10

E：**ストップ (各リフトリンクに 2 箇所)**

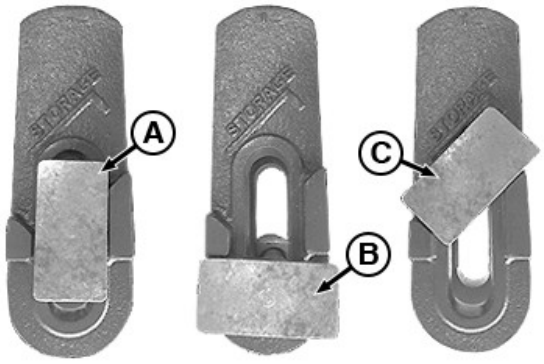
OULXA64,SP1,00058B0-40-30NOV20

リフトリンク – さまざまなユースケースに適応

重要： リフトリンクの設定が正しくないため、物損の可能性があります。

トレーラーヒッチまたはドローバーで作業機やトレーラーを牽引すると、リアヒッチと衝突する可能性があります。

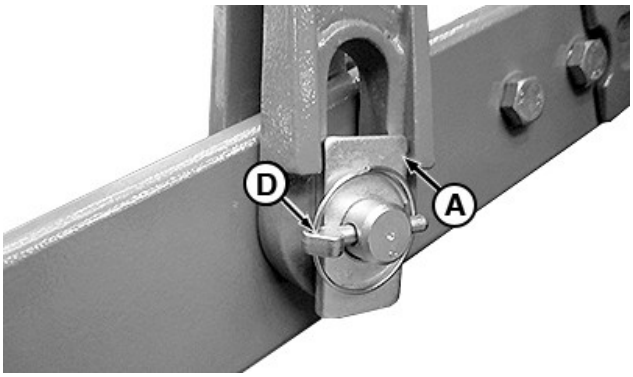
トレーラーヒッチまたはドローバーで装置を牽引する前に、リフトリンクが保管位置 (C) にあることを確認してください。



LX364625—UN—17FEB20

A：**ねじり自由フロート位置**
B：**輸送位置**
C：**保管位置 (装備されている場合)**

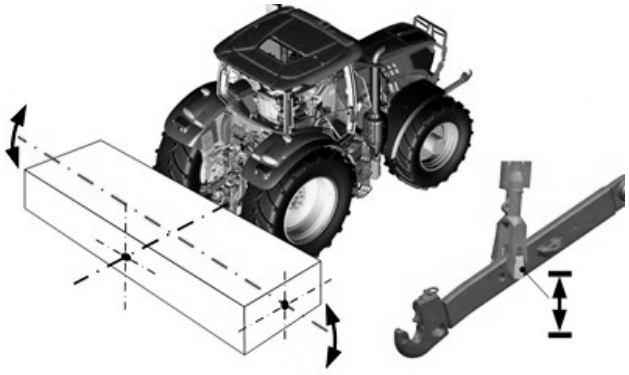
A - ねじり自由フロート位置	• この設定では、作業機は不均一な地面を補正できます。ドラフトリンクはリフトリンクの長穴で自由に動くことができるため、地面が片側を上昇させるときに作業機が回転運動で応答できます。
B - 輸送位置	• 作業機にねじり自由フロートが必要ない場合は、この設定を圃場用途に使用します。 • リアヒッチ (3 点ヒッチ) に取り付けられている作業機を輸送する場合は、この設定を使用します。リアヒッチコントロールスライダーをトランスポートロック位置に設定する必要があります。
C - 保管位置	この位置は、トレーラーヒッチまたはドローバーで牽引操作を実行する前に設定する必要があります。 1. リアヒッチから装置を取り外します。 2. リフトリンクピンを保管位置 (C) に設定します。 3. リアヒッチを上げて、リアヒッチコントロールスライダーをトランスポートロック位置に設定します。 4. 最後の手順として、リフトリンクを最短の長さに調整します。



LX364623—UN—17FEB20
ねじり自由フロート位置

A：**ねじり自由フロート位置**
D：**クイックロックピン**

ねじり自由フロート位置： ドラフトリンクはリフトリンクの長穴で自由に動くことができるため、地面が片側を上昇させるときに作業機が回転運動で応答できます。



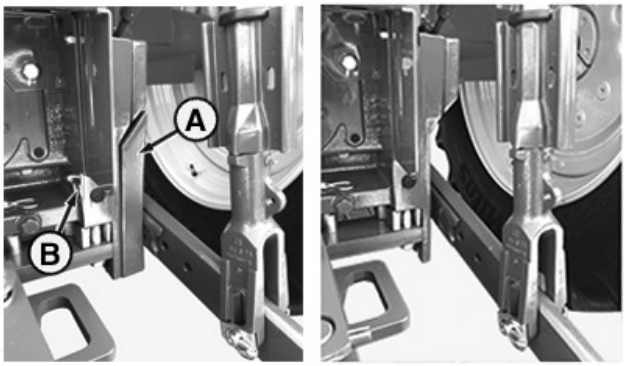
LX590945—UN—30OCT23
ねじり自由フロート位置

LX25458,ALL,0000A1D-40-06NOV23

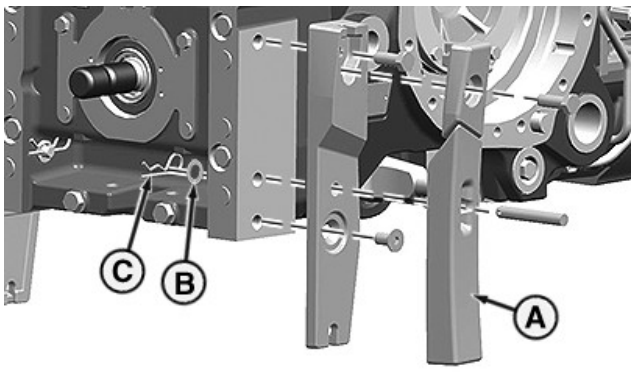
スウェイブロック (蜂の巣)、カテゴリ II (装備されている場合)

重要： **ドラフトリンクは作動範囲 (最低位置から最高位置まで) のいずれの場所でもタイヤと接触してはなりません。**

スウェイブロック (蜂の巣) (A) は、作業中および輸送中にドラフトリンクの横揺れを制限します。



LX364393—UN—15MAY19
スウェイブロック、取り付け / 取り外し



LX364394—UN—21MAY19

A：**スウェイブロック (蜂の巣)**
B：**座金**

C : コッタピン

トラクターの走行ラインに正確に追従するアタッチメントで作業するときは、スウェイブロック (蜂の巣) を装着する必要があります。

作業機 (プラウ、ディスクハローなど) が作業位置で横揺れする場合は、コッタピン (C) を外してスウェイブロック (蜂の巣) を取り外します。

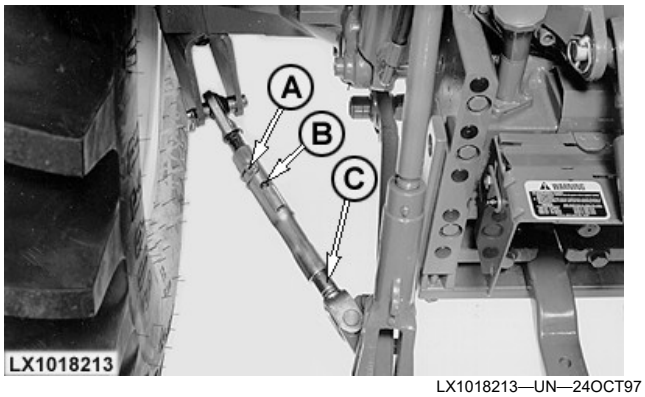
この場合、ドラフトリンクは作業位置で横揺れし、輸送位置ではロックされます。

必要に応じて、交換中に座金 (B) を使用して既存の揺れを補正します。

LX25458,0000A1E-40-18JAN23

スタビライザバー (装備されている場合)

ピン (A) やねじ付きロッド (B)、およびその他のピン位置 (C) で、スタビライザバーを任意のカテゴリに調整することができます。



LX1018213—UN—24OCT97

ねじ付きロッドのねじに、カテゴリが溝でマークされています。

ピン (A) が不要な場合 (ドラフトリンクのサイドスウェイ)、輸送ブラケットにピンを保管します (矢印を参照)。



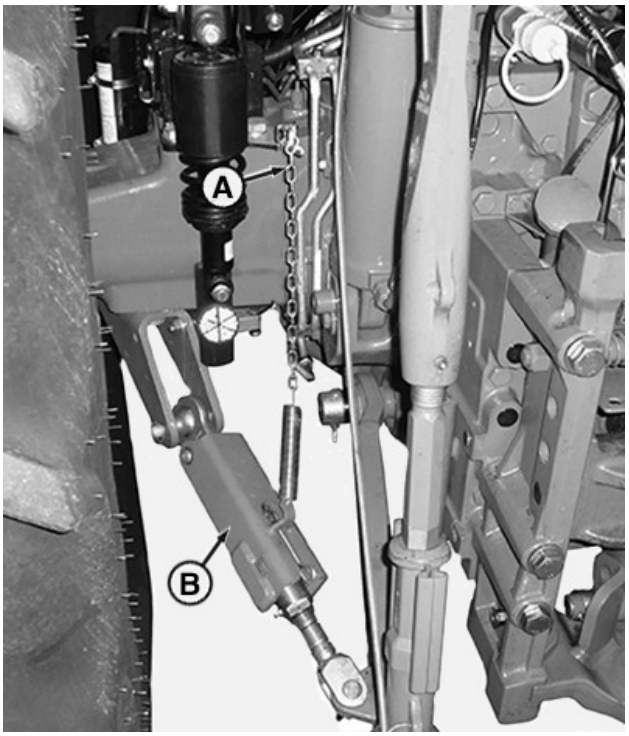
LX1018214—UN—24OCT97

LX25458,ALL,0000A20-40-09OCT20

安定化システム (装備されている場合)

重要 : 故障を防止するために、必ずチェーンの自由端を位置 (A) に取り付けます。

安定化システムはチェーン (A) とフラップカバー (B) によって作動します。フラップカバー (B) が上がっている場合はドラフトリンクに横方向の遊びがあり、そうでなければロックされます。



LX314970—UN—11JUL17

短いチェーン (A) :

ドラフトリンクは上昇位置でロックされ (固定設定)、下降位置では横方向の遊びがあります。

長いチェーン (A) :

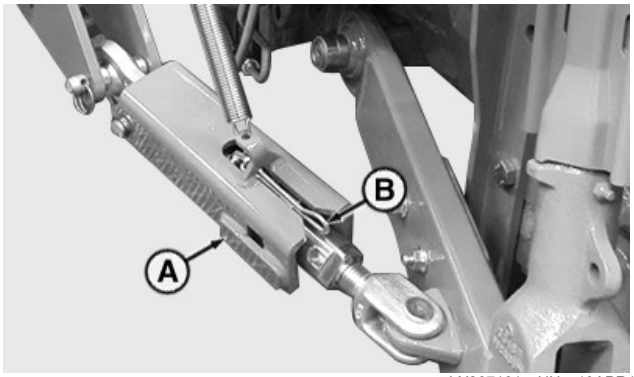
牽引リンクはすべての位置でロックされます。

重要 : 牽引リンクまたはリフトリンクがタイヤや他のトラクター部品と接触しないようにしてください。ドラフトリンクを上げるときは (作業機を取り付けていない場合でも)、油圧式または機械式スタビライザバーを固定する必要があります。

LX25458,6M,0000A21-40-09OCT20

ドラフトリンク — 展開サイズの調整

1. トラクターを作業機の中心まで運転します。
2. フラップ (A) とレバー (B) を上げます。

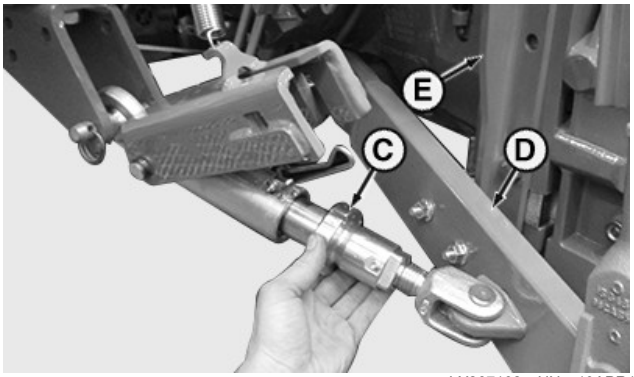


LX267101—UN—19APR17

A：**フラップ**
B：**レバー**

フラップ (A) は設定のために必ずしも上げる必要はありません。

3. 装置に応じて、スピンドル (C) を使用してドラフトリンクの展開サイズを設定してください。



LX267102—UN—19APR17

C：**スピンドル**
D：**牽引リンク**
E：**スウェイブロック (蜂の巣)**

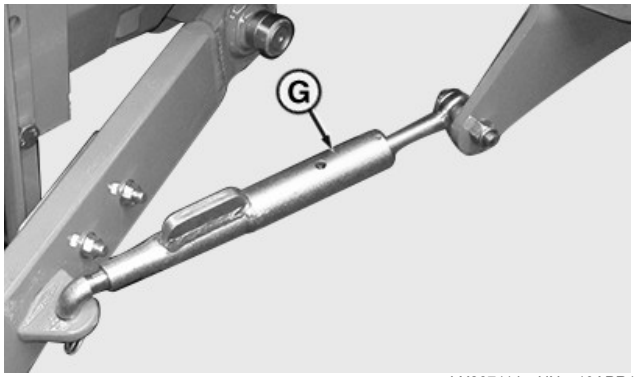
重要：**ドラフトリンク (D) がスウェイブロック(E) と接触しないように、展開サイズを十分大きくしてください。そうしないと機械的な損傷が発生するおそれがあります。**

ボール中心間で測定した広がりサイズ

カテゴリ II/IIIN	870 mm (34.5 in)
カテゴリ III (一部のモデルでは使用できません)	1010 mm (39.8 in)

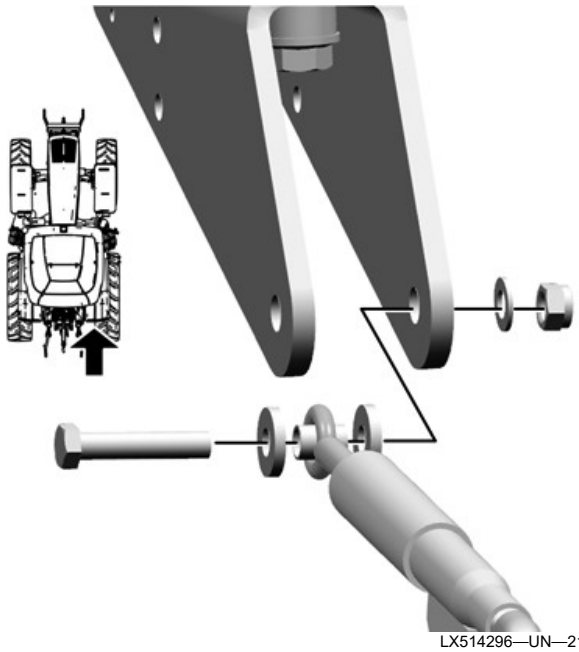
実現可能な寸法はトラクターの構成によって異なります。トラクターモデルでの使用可能性を確認してください。ヒッチの仕様については、この取扱説明書のセクション500A を参照してください。

4. 固定するには、レバー (B) をスピンドル (C) の溝に配置します。
5. フラップ (A) を下げます。
6. スペーサ (G) を調整します。



LX267114—UN—19APR17

G：**スペーサ**



LX514296—UN—21SEP22

別売

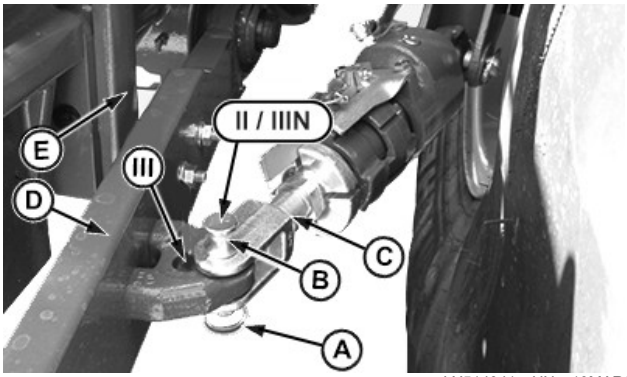
重要：**テレスコピックけん引リンクを装備し、カテゴリ IIIN からカテゴリ III に変更中の場合は、摩耗防止プレートの位置を内側から外側に変更する必要があります。次ページの「テレスコピックけん引リンク - カテゴリ III および IIIN の変更 (装備されている場合)」を参照してください。**

LX25458,ALL,0000A22-40-21SEP23

カテゴリ II/IIIN または III 用のドラフトリンクの調整 (装備されている場合)

重要：**ドラフトリンク (D) がスウェイブロック(E) と接触しないように、展開サイズを十分大きくしてください。そうしないと機械的な損傷が発生するおそれがあります。**

重要：**必ずドラフトリンクを調整して、カテゴリ II/IIIN または III 用の同じ穴に固定します。**



LX514941—UN—10MAR23

例：カテゴリ *II/IIIN* または *III* の設定

A：**スナップリング**
B：**ピン**
C：**スタビライザバー**
D：**ドラフトリンク**
E：**スウェイブロック**

1. スナップリング (A) を外します。
2. ピン (B) を取り外します。
3. スタビライザバー (C) を必要な展開サイズ (カテゴリ II/IIIN または III) に整列させます。
4. ピン (B) を配置して、スナップリング (A) を取り付けます。

LX25458,ALL,0000A23-40-15MAR23

トレーラーヒッチ

トレーラーヒッチ - 序文

本取扱説明書に記載のトレーラーヒッチを装着できます。

地域よっては、必ずしもすべてのトレーラーヒッチを使用できるわけではありません。

販売パンフレットの現在の版はその時点で信頼できます。

重要：**リフトリンクの設定が正しくないため、物損の可能性があります。**

トレーラーヒッチまたはドローバーで作業機やトレーラーを牽引すると、リアヒッチと衝突する可能性があります。

トレーラーヒッチまたはドローバーで装置を牽引する前に、リフトリンクが保管位置にあることを確認してください。

「リフトリンク — さまざまなユースケースに適応」(セクション 60E) を参照してください。

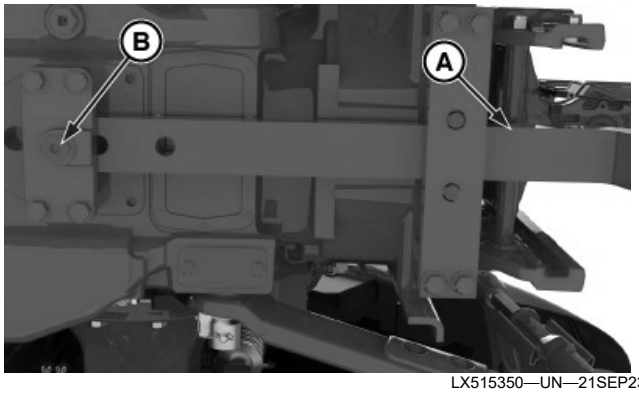
60F01,LX25458,0000A25-40-18JUN24

CAT II ドローバー

重要：**ドローバーを片側にセットして公道で牽引することは禁止されています。**

ドローバーは、あらゆる牽引式装置、特に PTO 駆動の作業機の牽引に使用します。ドローバーを位置決めすると、リアアクスル荷重が増加し、フロントアクスル荷重が少し減少します。

ドローバーは揺動範囲を変えられるとともに、長さ方向に調整することもできます。最大許容静的垂直荷重と牽引荷重は「荷重と重量」(セクション 500A) に記載しています。



LX515350—UN—21SEP23

CAT II ドローバー

A：**ドローバー**
B：**六角ストッパ (1 個使用)、310 Nm (230 lb ft)**

ドローバー (A) は次の長さに設定できます。

CAT II	250 mm	350 mm	400 mm
	9.8 in	13.8 in	15.7 in

これらの長さにより PTO シャフトの端部からドローバーの取り付け位置までの距離が決まります。

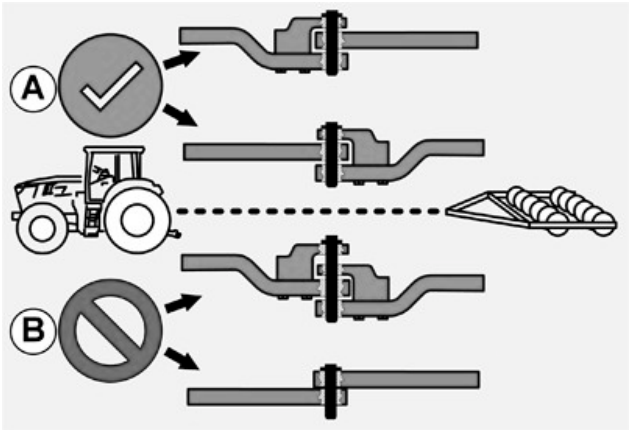
ドローバーの長さを調整するには、六角ストッパ (B) を取り外してピンを引き出します。ドローバー (A) をずらして、穴を互いに整列させます。次に、ピンを挿入して六角ストッパ (D) をねじ込み、規定のトルクで締め付けます。

注記：摩耗するけん引棒部品は、メンテナンス作業中に確認できます。セクション 220D を参照してください。必要に応じて交換してください。

60F02,LX25458,CAT2,0000A26-40-20NOV24

ドローバーの適切な使用

重要：**けん引棒を使用するときは、国の交通規制に従ってください。許可されている適切なヒッチピンのみを使用してください。ドローバーの組み合わせは図の方法に限定してください。**



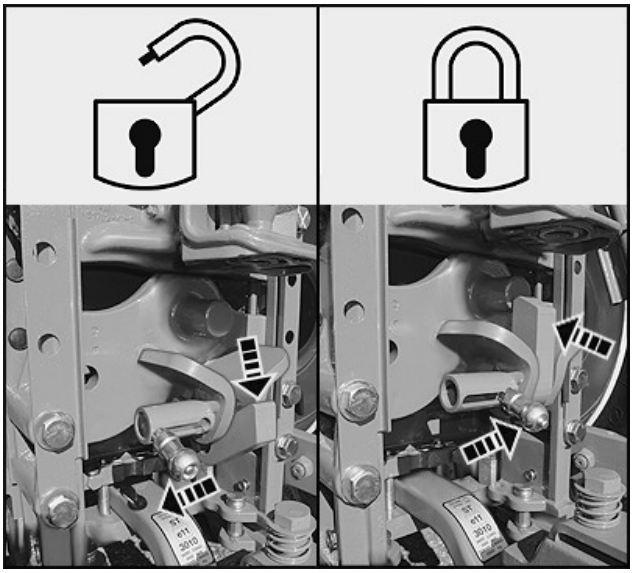
LX514944—UN—06MAR23

A：**許可**
B：**不可**

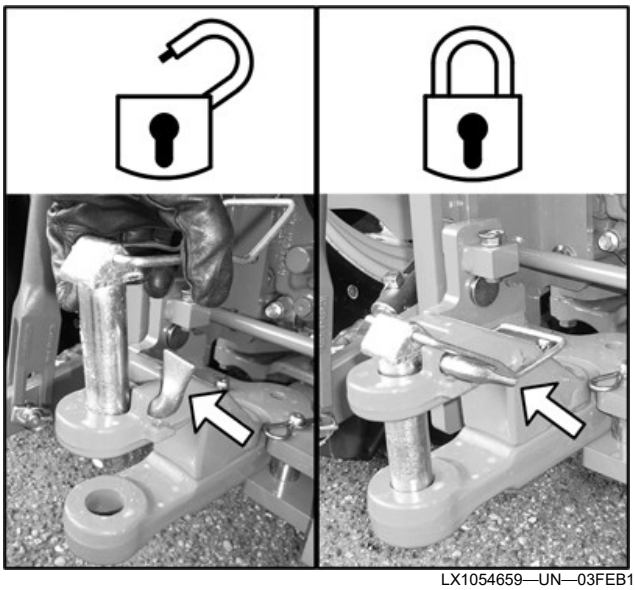
60F04,LX25458,ALL,0000A27-40-27SEP23

ヒッチピンをロックする

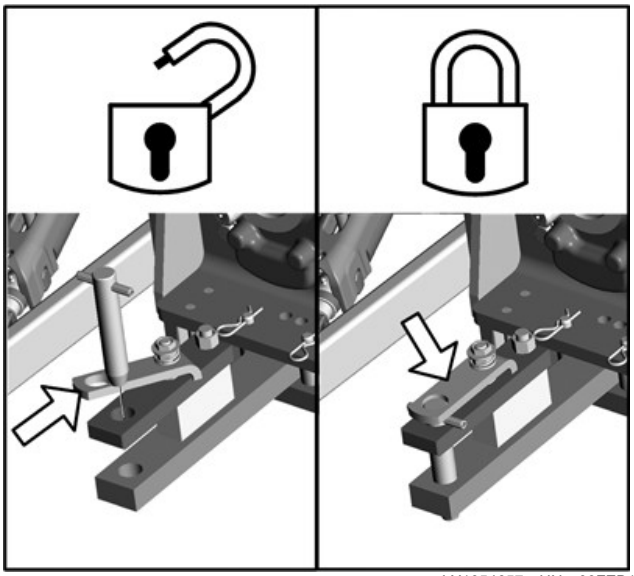
注意：**作業機をいったん取り付けた後、ヒッチピンがロックされていることを確認することが不可欠です。ピンがロックされていないと、走行中に失われ、重大な事故につながるおそれがあります。**



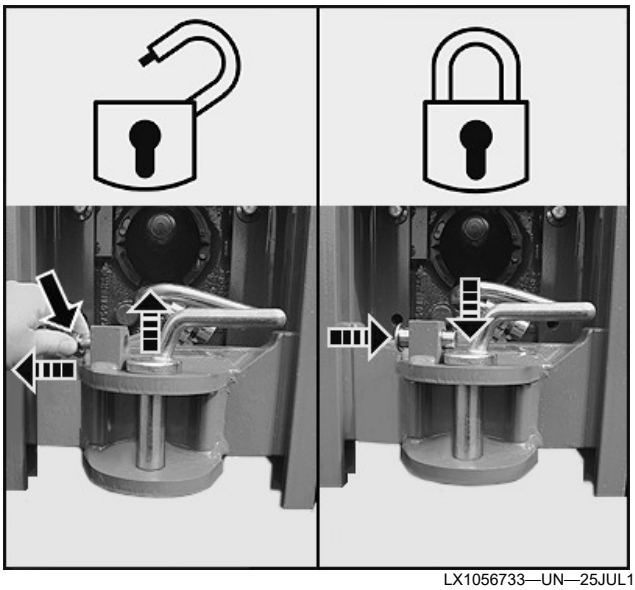
LX1056734—UN—25JUL12



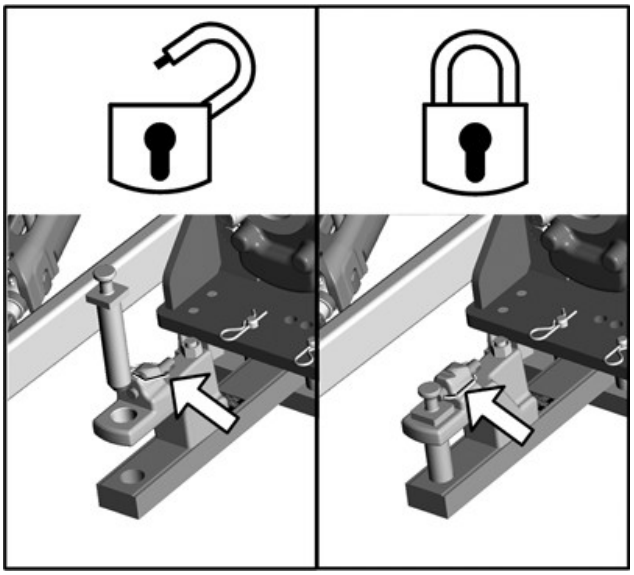
LX1054659—UN—03FEB12



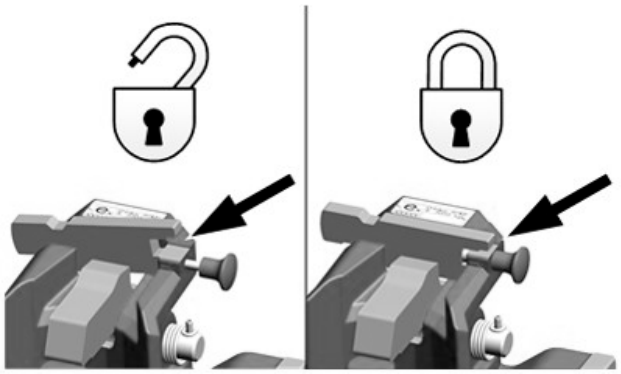
LX1054657—UN—03FEB12



LX1056733—UN—25JUL12



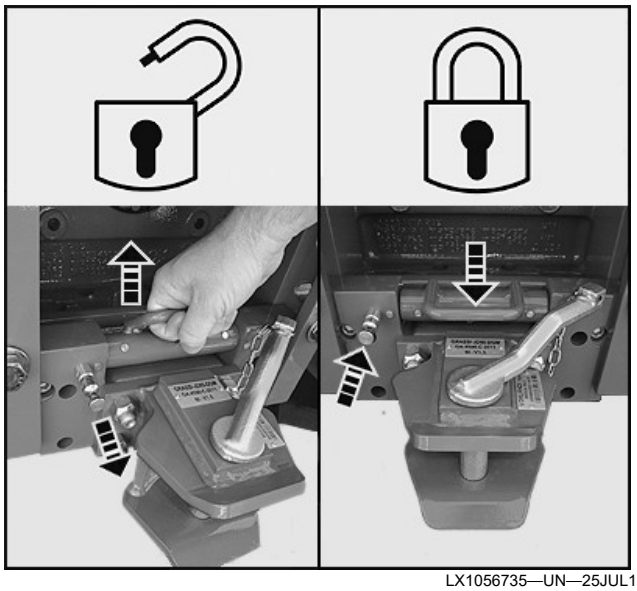
LX1054658—UN—03FEB12



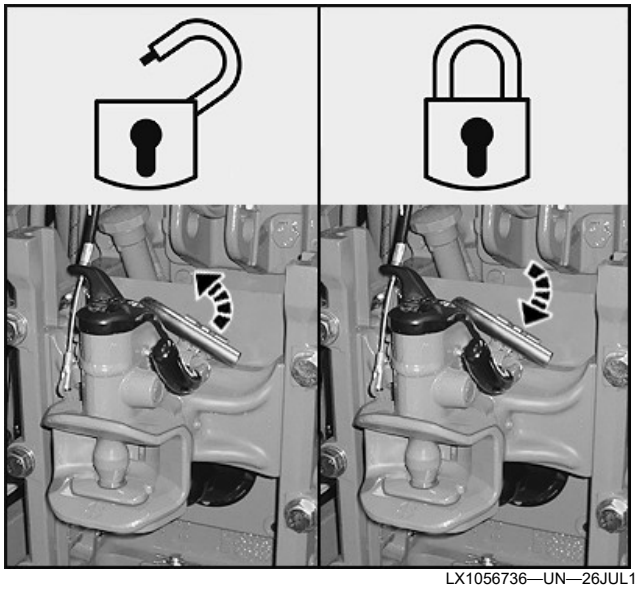
LX609871—UN—20JUN24
60F05,LX25458,ALL,0000A28-40-20JUN24

高さ調整式トレーラーヒッチのロック

注意： 作業機を取り付ける前に、高さ調整式トレーラーヒッチがロックされていることを確認してください。トレーラーヒッチがロックされていないと、作業機の取り付け時または走行時に重大な事故につながるおそれがあります。



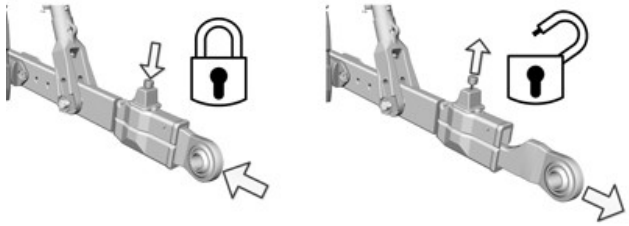
LX1056735—UN—25JUL12



LX1056736—UN—26JUL12

60F06,LX25458,ALL,0000A29-40-27SEP23

テレスコピックけん引リンク (ドラフトリンク) 用掛け金ラッチ



LX211141—UN—19AUG14

ロックされたドラフトリンク、ロック解除されたドラフトリンク

注意： 作業機を取り付けたら、テレスコピックけん引リンクが作業位置/輸送位置でロックされていることを確認することが重要です。テレスコピックけん引リンクがロックされていない場合、走行中に作業位置/輸送位置から外れて、重大な事故の原因になることがあります。

60F07,LX25458,ALL,0000A2A-40-27SEP23

ヒッチの爪

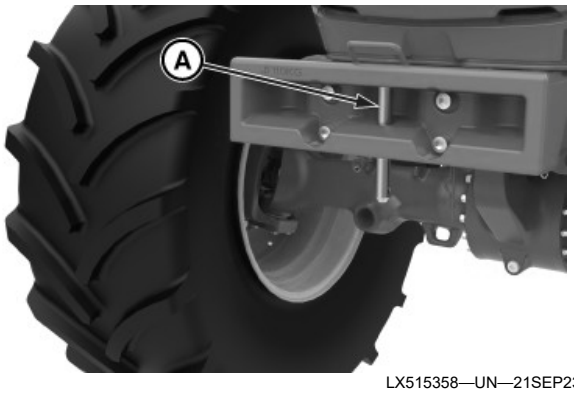
注意： ここに示すヒッチ方法は、固い路面での操作や牽引の場合のみ使用できます。トラクターをヒッチの爪で牽引する前に、必ずトレーラーまたは装着式作業機を取り外してください。

絶対に牽引ロープを使用しないでください。必ず認可されたけん引棒を使用してください。

ヒッチの爪はトラクターの先端に組み込まれており、固い路面でのトラクターの操作や牽引が可能になります。

ヒッチの爪は以下の構成部品にあります。

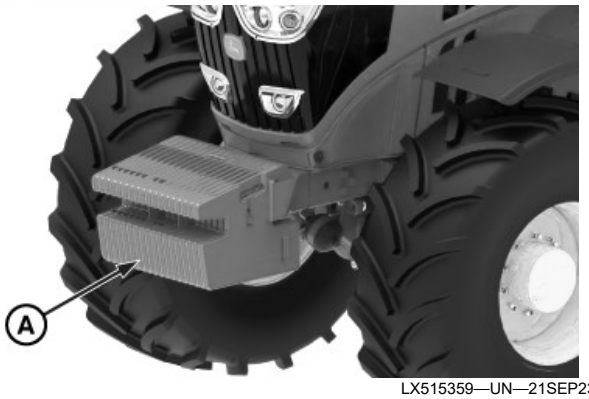
- 基本ウエイト (A)



LX515358—UN—21SEP23

ベースウェイト

• 追加ウエイト (B)



LX515359—UN—21SEP23

フロントウエイト

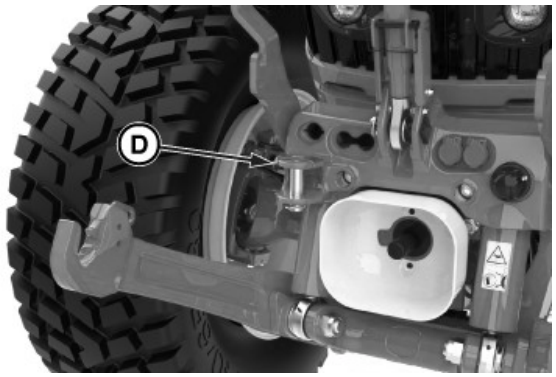
• ピックアップウエイト (C)



LX515360—UN—23NOV23

ピックアップウエイト

• 前部ヒッチ (D)



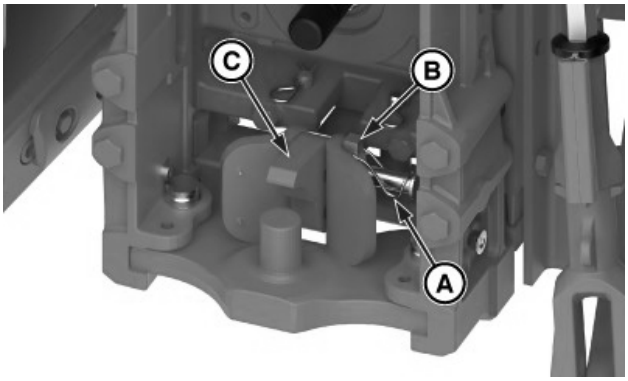
LX515361—UN—21SEP23

フロントヒッチ

60F08,OULXA64,CAB,000562D-40-27SEP23

ピトン固定またはボール形トレーラーヒッチ (固定式) (~ MY25)

ピトン固定付きトレーラーヒッチ



LX515362—UN—23NOV23

A：**スプリング**
B：**ピン**
C：**ブラケット**

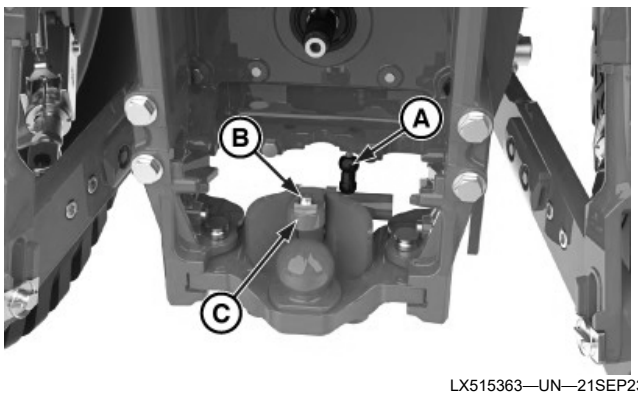
1. 装置を接続するには、スプリング (A) を上に折りたたみます。
2. ピン (B) を右にスライドさせます。
3. ブラケット (C) はスプリングにより押し上げられます。
4. 装置を取り付けてブラケット (C) を押し下げます。
5. ピン (B) を左に完全にスライドさせます。
6. スプリング (A) をロック位置 (図の位置) まで下に戻します。

ボール形ヒッチ

重要： **強制操舵用のアームを取り付けたトレーラーヒッチでは、以下を守ってください。**

- **作業機を取り付ける前に、トレーラーヒッチを取り外します。**
- **強制操舵装備のトレーラーを取り付ける前に、ドラフトリンクを取り外します。**

1. 作業機を取り付けるには、合わせピン (A) を引き上げて右にスライドさせます。



LX515363—UN—21SEP23

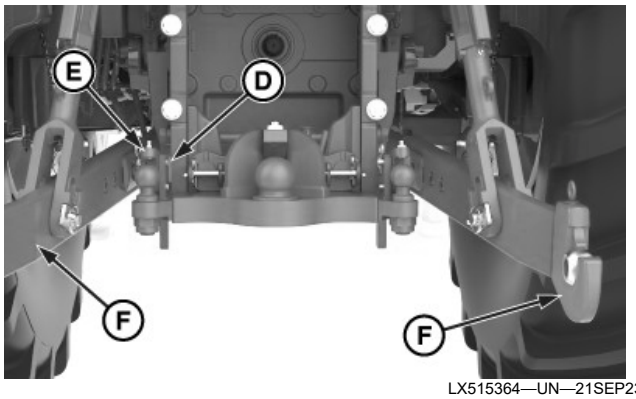
A：**ロックピン**
B：**止めねじ**

C：**ブラケット**

2. ブラケット (C) を上に動かして作業機を取り付けます。
3. ブラケット (C) を押し下げて、ロックピン (A) を左へいっぱいまで押してかみ合わせます。

   ロックピン (A) は左へいっぱいまで押した場合にのみ正しくロックされます。

   必要に応じて、8 mm (0.3 in) の六角レンチで押さえバーの止めねじ (B) を調整して、牽引する作業機のアイレット用のスペースを空けます。次に、30 mm (1.2 in) レンチを使用して、ロックナットを 300 N·m (220 lb ft) のトルクで締め付けます。
4. 強制操舵を取り付けるには、次の手順に従います：



LX515364—UN—21SEP23

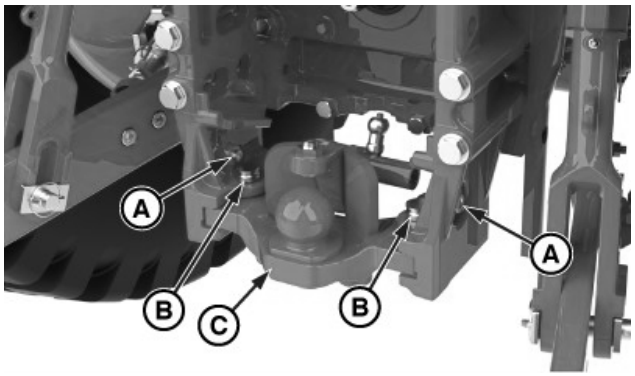
D：**ロックピン**
E：**ブラケット**
F：**ドラフトリンク**

重要： **強制操舵機能付きのトレーラーを連結する前に、ドラフトリンク (F) を取り外すことが重要です。**

   a. ロックピン (D) を引きます。
   b. ブラケット (E) を上げて強制操舵システムリンケージをかみ合わせます。
   c. ブラケット (E)、次にロックピンを最初に位置にします。

注記：トレーラーヒッチの摩耗する部品は、定期整備作業中に確認できます。セクション 220D を参照してください。必要に応じて交換してください。

牽引ヒッチ (ピトン固定 / ボール形) のドローバーへの交換



LX515365—UN—23NOV23

ボール形ヒッチ

A：**ロックピン**
B：**ロックピン**
C：**トレーラーヒッチ**

1. ロックピン (A) を外側に引きます。
2. 固定ピン (B) を取り外して、トレーラーヒッチ (C) を後部へ引き出します。
3. ドローバーを位置決めして固定します。このセクションのドローバーを参照してください。

60F09,LX25458,ALL,0000A2C-40-26JUN24

ピトン固定またはボール形トレーラーヒッチ (固定式) (MY25 ~)

注意： **トレーラーの紛失は生命を脅かします。**

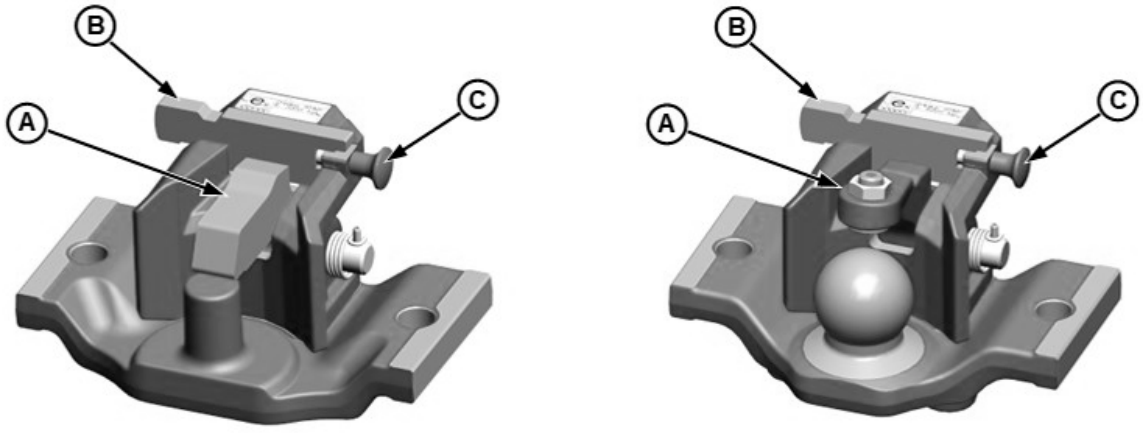
トレーラーヒッチが適切にロックされていない状態でトレーラーやその他の装置を牽引すると、ドローバーが外れてトレーラーや作業機が失われる可能性があります。

トレーラーを連結するときは、つめとラッチが良好な状態にあり、適切にロックされていることを確認してください。定期的にラッチの設定を確認してください。

注意： **挟まれて怪我をする危険があります。**

つめをロック解除すると、ラッチはスプリングによって自動的に跳ね上がります。

つめのロックを解除するときは、ラッチをしっかりと押し下げて、ストップと整列するまでゆっくりと解除します。

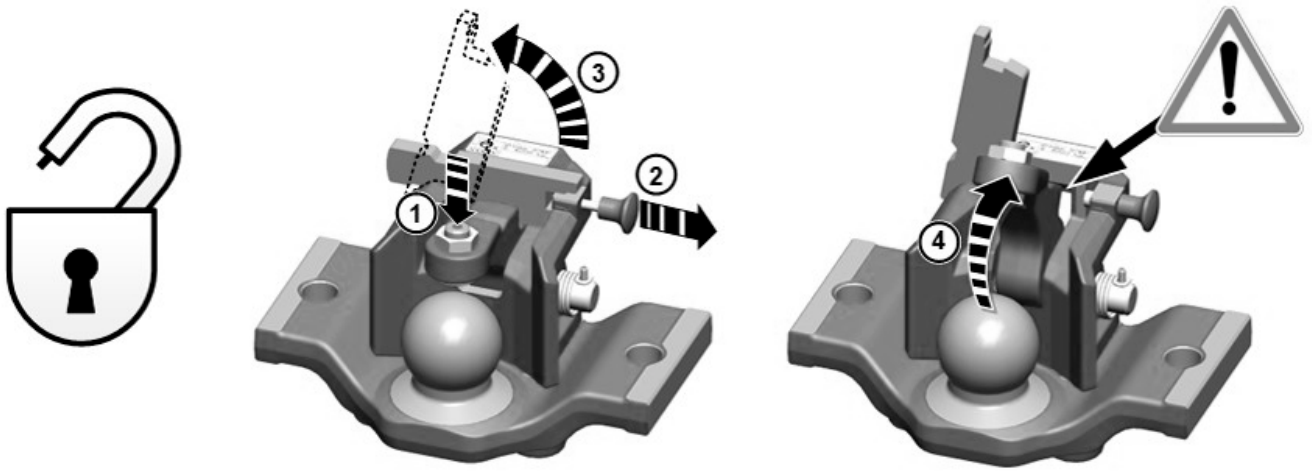


LX609881—UN—24JUN24

ピトン固定/ボール形トレーラーヒッチ

A：**ラッチ**
B：**爪**
C：**ロックピン**

トレーラーヒッチのロック解除



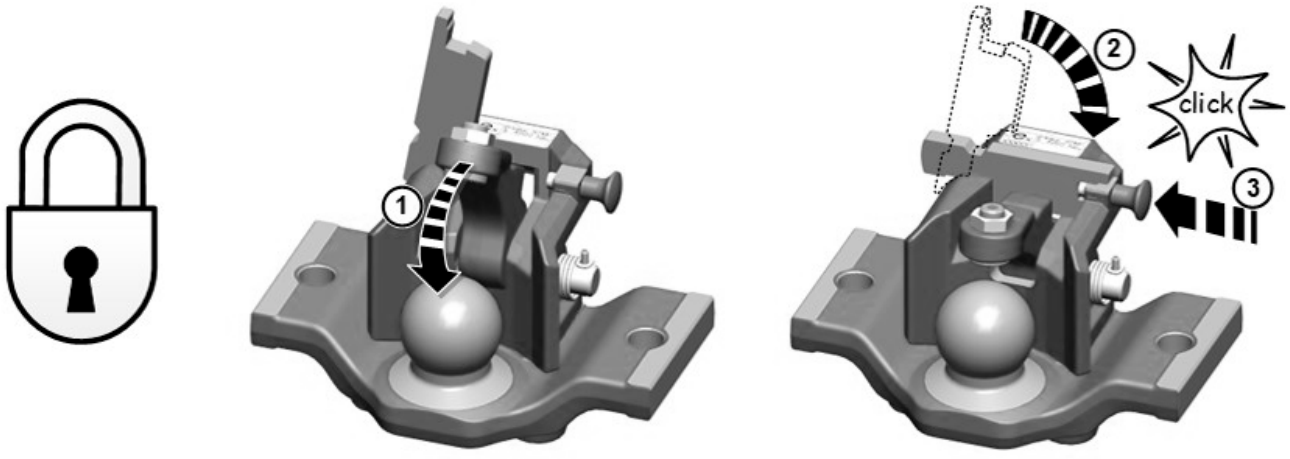
LX622476—UN—19JUN24

例： ボール形トレーラーヒッチ、ロック解除

トレーラーヒッチをロック解除するには、次の手順を実行します：

1. ラッチを押し下げます。
2. ロックピンを引いてロックを解除します。
3. つめを上に傾けます。
4. ストップと整列するまでラッチをゆっくりと解除します。

トレーラーヒッチのロック



LX622477—UN—19JUN24

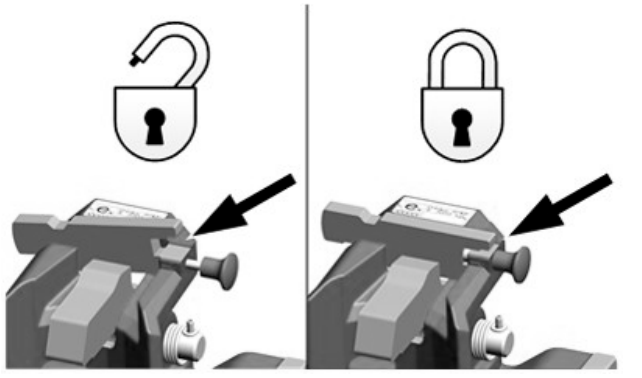
例： ボール形トレーラーヒッチ、ロック

トレーラーヒッチをロックするには、次の手順を実行します。

1. ラッチを押し下げます。
2. カチッという音がするまで、つめをロック位置まで下に傾けます。
3. ロックピンが完全に挿入され、つめがしっかりとロックされていることを確認してください。

ボール形トレーラーヒッチ専用： 必要に応じて、8 mm (0.3 in) の六角レンチでラッチの止めねじを調整して、牽引する作業機のアイレット用のスペースを空けます。次に、30 mm (1.2 in) レンチを使用して、ロックナットを 300 N·m (220 lb ft) のトルクで締め付けます。

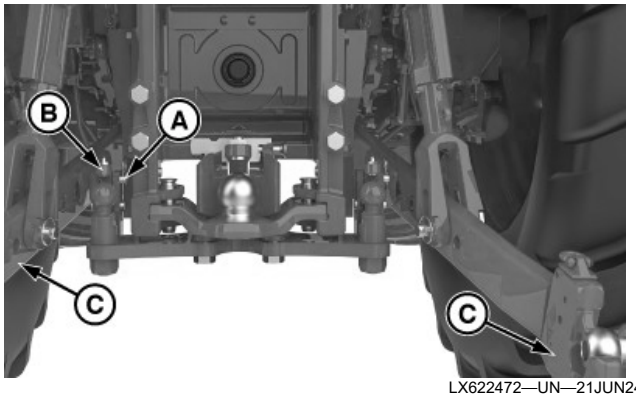
運転する前に、必ずつめがロックされていることを確認してください。



LX609871—UN—20JUN24

例： ピトン固定形トレーラーヒッチ

ボール形トレーラーヒッチへの強制操舵システムの取り付け



LX622472—UN—21JUN24

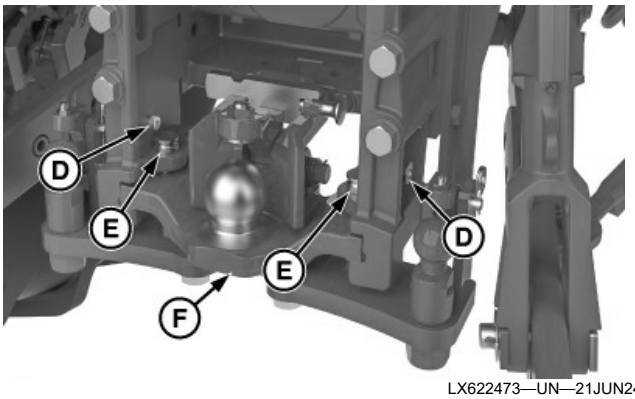
A：**ロックピン**
B：**ブラケット**
C：**ドラフトリンク**

重要： **強制操舵機能付きのトレーラーを連結する前に、ドラフトリンク (C) を取り外すことが重要です。**

1. ロックピン (A) を引きます。
2. ブラケット (B) を上げて強制操舵システムリンケージをかみ合わせます。
3. ブラケット (B)、次にロックピンを最初に位置にします。

注記： トレーラーヒッチの摩耗する部品は、定期整備作業中に確認できます。セクション 220D を参照してください。必要に応じて交換してください。

トレーラーヒッチ (ピトン固定 / ボール形) のドローバーへの交換



LX622473—UN—21JUN24

ボール形ヒッチ

D：**ロックピン**
E：**ロックピン**
F：**トレーラーヒッチ**

1. ロックピン (D) を外側に引きます。
2. ロックピン (E) を取り外して、トレーラーヒッチ (F) を後部へ引き出します。
3. ドローバーを位置決めして固定します。このセクションのドローバーを参照してください。

60F09A,oulxa64,1718705698577-40-16JAN25

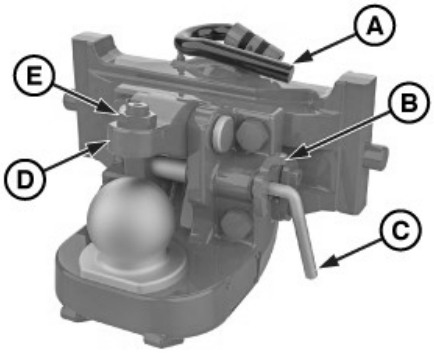
高さ調整式ボール形ヒッチ (バージョン 1)

注意： **作業機を取り付ける前に、高さ調整式トレーラーヒッチがロックされていることを確認することが重要です。トレーラーヒッチがロックされていないと、作業機の取り付け時または走行時に重大な事故につながるおそれがあります。**

重要： **強制操舵用アーム付きのボールジョイントヒッチの場合、以下を守ってください**：

- **作業機を取り付ける前に、トレーラーヒッチを取り外す必要があります。**
- **強制操舵付きトレーラーを連結する前に、ドラフトリンク (F) を取り外すことが重要です。**

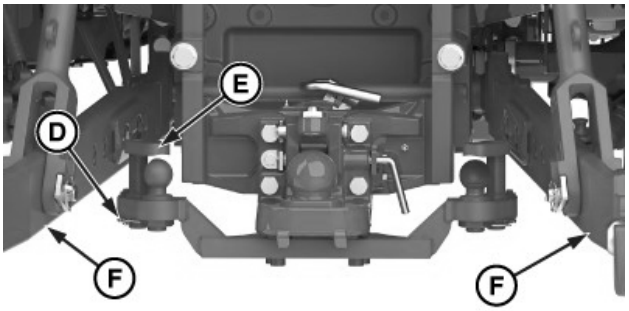
注記： 取り付け位置に応じて決まる静的垂直荷重と走行速度については、「荷重と重量」(セクション 500A) を参照してください。



LX515366—UN—17NOV23

A：**レバー**
B：**ロック**
C：**ロックピン**
D：**ブラケット**
E：**止めねじ**

1. レバー (A) でトレーラーヒッチを必要な高さに位置決めします。
2. 装置を接続するには、ロック (B) を上に折りたたみます。
3. ロックピン (C) を右にスライドさせます。
4. ブラケット (D) を上に動かして作業機を取り付けます。
5. ブラケット (D) を押し下げて、ロックピン (C) を完全に左に押してかみ合わせます。
6. ロック (B) でロックピン (C) を固定します。
7. 必要に応じて、8 mm (0.3 in) 六角レンチでリテーナの止めねじ (E) を調整し、牽引する作業機のアイレット用スペースを空けます。次に、30 mm (1.2 in) レンチを使用して、ロックナットを 300 N·m (220 lb ft) のトルクで締め付けます。
8. 強制操舵を取り付けるには、次の手順に従います：



LX515367—UN—24NOV23

D：**ロックピン**
E：**ブラケット**
F：**牽引リンク**

重要： **強制操舵機能付きのトレーラーを連結する前に、ドラフトリンク (F) を取り外すことが重要です。**

a. 固定ピン (D) を引き上げて右にスライドさせます。

b. ブラケット (E) を上げて強制操舵システムリンケージをかみ合わせます。

c. ブラケット (E) を押し下げて、固定ピン (D) を完全に左に押してかみ合わせます。

注記： トレーラーヒッチの摩耗する部品は、定期整備作業中に確認できます。セクション 220D を参照してください。必要に応じて交換してください。

60F10,LX25458,ALL,0000A2D-40-28SEP23

高さ調整式ボール形ヒッチ (バージョン 2)

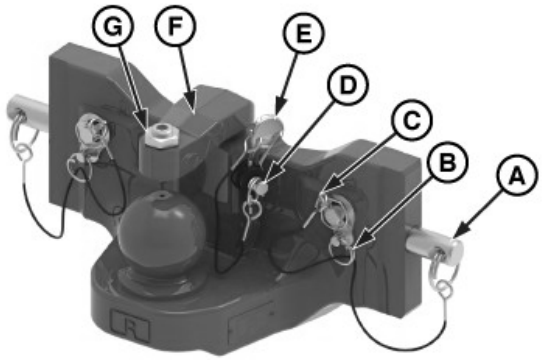
注意： 作業機を取り付ける前に、高さ調整式トレーラーヒッチがロックされていることを確認することが重要です。トレーラーヒッチがロックされていないと、作業機の取り付け時または走行時に重大な事故につながるおそれがあります。

重要： 強制操舵用アーム付きのボールジョイントヒッチの場合、以下を守ってください：

• 作業機を取り付ける前に、トレーラーヒッチを取り外す必要があります。

• 強制操舵付きトレーラーを連結する前に、ドラフトリンク (F) を取り外すことが重要です。

注記： 取り付け位置に応じて決まる静的垂直荷重と走行速度については、「荷重と重量」(セクション 500A) を参照してください。



LX515368—UN—24NOV23

A：ロックピン
B：ロックピン
C：クイックロックピン
D：ロックピン
E：ロックピン
F：ブラケット
G：止めねじ

1. トレーラーヒッチを必要な高さに位置決めします。

注意： けがを防止してください。

トレーラーヒッチは重いので、不適切な取り扱いをすると大けがの原因になります。

a. 両側のクイックロックピン (C) を取り外します。

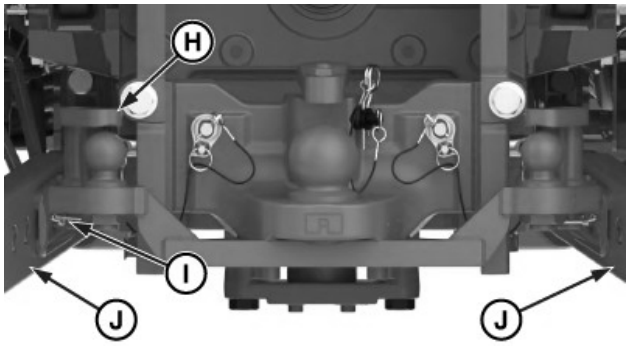
b. 両側のロックピン (B) を引き出します。

c. 両側でロックピン (A) を引き出して、トレーラーヒッチの高さを調整します。

d. ロックピン (A) を両側いっぱいに押し込んで、ロックピン (B) で固定します。

e. 両側のクイックロックピン (C) を取り付けます。

2. 作業機を取り付けるには、ロックピン (E) を取り外してロックピン (D) を右に引きます。
3. ブラケット (F) を上に動かして作業機を取り付けます。
4. ブラケット (F) を押し下げて、ロックピン (D) を完全に左に押してかみ合わせます。
5. ロックピン (E) を取り付けます。
6. 必要に応じて、8 mm (0.3 in) 六角レンチでリテーナの止めねじ (G) を調整し、牽引する作業機のアイレット用スペースを空けます。次に、30 mm (1.2 in) レンチを使用して、ロックナットを 300 N·m (220 lb ft) のトルクで締め付けます。
7. 強制操舵を取り付けるには、次の手順に従います：



LX515369—UN—24NOV23

H：ブラケット
I：クイックロックピン
J：牽引リンク

重要： 強制操舵機能付きのトレーラーを連結する前に、ドラフトリンク (J) を取り外すことが重要です。

a. クイックロックピン (I) を取り外して、ブラケット (H) を取り外します。

b. 強制操舵システムリンケージを取り付けます。

c. ブラケット (H) を取り付けて、クイックリリースピン (I) を取り付けます。

注記：トレーラーヒッチの摩耗する部品は、定期整備作業中に確認できます。セクション 220D を参照してください。必要に応じて交換してください。

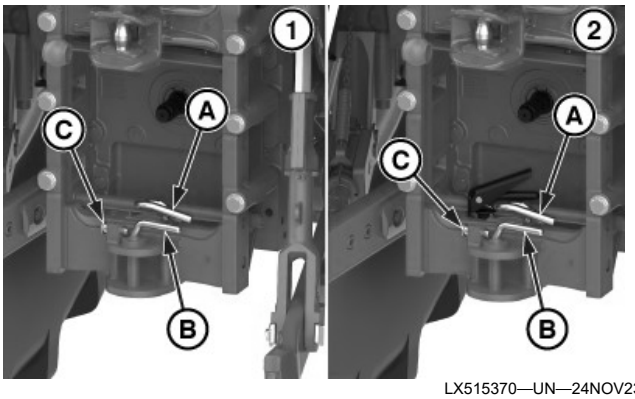
60F11,LX25458,0000A2E-40-24NOV23

高さ調整式トレーラーヒッチ

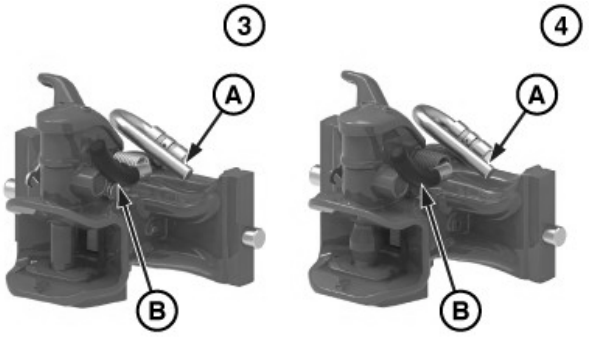
重要：**ヒッチピン径と同じけん引用アイのあるトレーラーのみを使用してください。**

回転するけん引用アイ付きのトレーラーを回転するトレーラーヒッチで使用することは許可されていません。

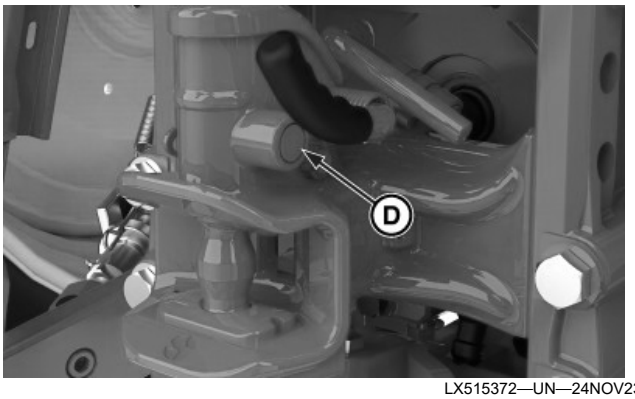
動作の異なる 4 種類のトレーラーヒッチバージョン (1 ~ 4) のいずれかをトラクターに装備できます。



LX515370—UN—24NOV23



LX515371—UN—23NOV23



LX515372—UN—24NOV23

A：**高さ調整レバー**
B：**コントロールレバー**
C：**ロックピン**
D：**インジケーターピン**

すべてのトレーラーヒッチはレバー (A) で高さを調整できます。

トレーラーヒッチは、レバー (B) により開閉できます。

ロックピン (C) をかみ合わせると、コントロールレバー (1 ~ 2) がロックされます。

また、トレーラーヒッチ (3 ~ 4) は、牽引される作業機のアイレットを挿入しても閉じます。

トレーラーヒッチ (3 ~ 4) は、リモートコントロールによって運転席から操作することもできます。

トレーラーヒッチ (3 ~ 4) は、インジケーターピン (D) がハウジングと面一のときにロックされます。

最大許容静的垂直荷重および牽引荷重は、セクション 500A に記載しています。

注記：トレーラーヒッチの摩耗する部品は、定期整備作業中に確認できます。セクション 220D を参照してください。必要に応じて交換してください。

60F12,LX25458,ALL,0000A2F-40-30NOV23

トレーラーヒッチのリモートコントロール (装備されている場合)

レバー (A) で、トレーラーヒッチを運転席から開くことができます。



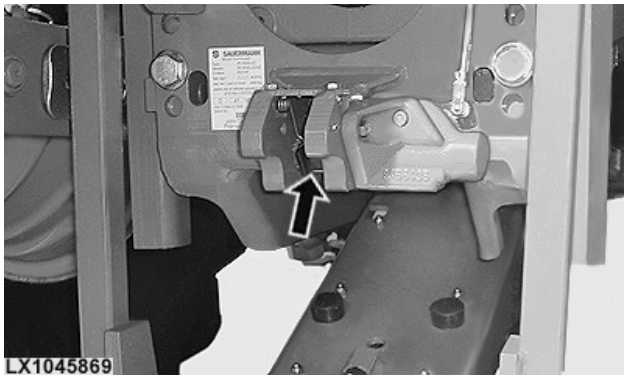
LX364094—UN—08NOV18

60F14,SP,OULXA64,6M,000562E-40-27SEP23

油圧ピックアップヒッチ (機械駆動)

注意：**走行前に、トレーラーヒッチが完全に上昇して水平位置と垂直位置の両方でロックされていることを確認してください。**

ヒッチを下げている状態で、絶対に受け側開口部を触らないでください (矢印参照)。けがをするおそれがあります！



LX1045869—UN—15FEB11

開口部に絶対に手を置かないでください。

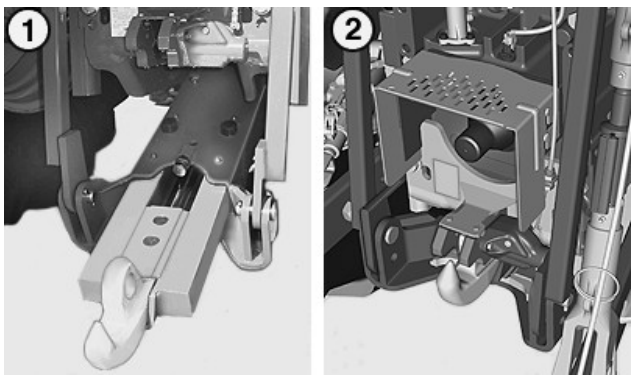
重要： **解放レバーが操作しにくい場合、またはヒッチフックが自動的にロックされない場合は (上の手順 2 または 6)、リフトリンクの設定やトレーラーヒッチのフックの設定の点検を依頼してください。**

注記： 摩耗する油圧ピックアップヒッチ部品は、定期整備作業中に確認できます。セクション 220D を参照してください。必要に応じて交換してください。

このトレーラーヒッチは、ヒッチと 1 台の選択制御弁により操作できます。



LX364094—UN—08NOV18



LX267108—UN—10APR17

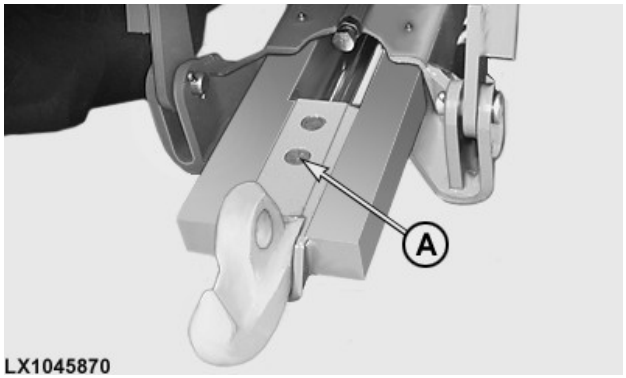
トレーラー取り付け位置 - 保管位置のヒッチ

A：**解放レバー**
1：**トレーラー取り付け位置のトレーラーヒッチ**
2：**保管位置のトレーラーヒッチ**

1. ドラフトリンクを最大高さまで上げ、SCV でヒッチのフックを完全に格納します。
2. 解放レバー (A) を引き、ドラフトリンクを下げます。ヒッチのフックが保管位置から動くまで解放レバーを保持します (レバーは開位置のまま)。
3. SCV を作動させて、ヒッチのフックを完全に伸ばします。
4. ドラフトリンク/ヒッチのフックを適切な高さまで下げます。
5. ヒッチのフックが作業機のけん引用アイにかかるようにドラフトリンクを上げてから、トレーラーヒッチを完全に上げます。
6. 選択制御弁ユニットでヒッチのフックが**完全にロックされる**までヒッチのフックを後退させます。解放レバー (A) はホーム位置に戻ります。
7. ドラフトリンクを下げます。
8. ヒッチが正しくロックされていることを確認します。この場合、ドラフトリンクを下げても**下がりません**。また、選択制御弁を操作しても**伸長しません**。

最大許容静的垂直荷重および牽引荷重は、セクション 500A に記載しています。

トレーラーヒッチのフックは、工具を使わなくてもドローバーにより交換できます。それにはピン (A) を持ち上げて外します。



LX1045870—UN—15FEB11

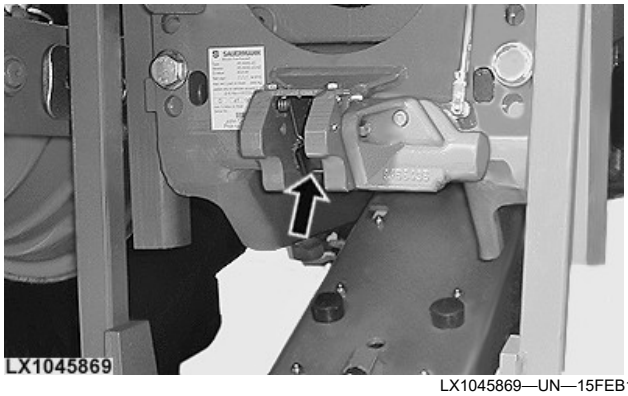
不要な場合、サスペンション装置はサイドフレームのホルダーに保管できます (オプションの付属品)。

60F15,SP,OULXA64,6M,000562F-40-16JUL25

油圧ピックアップヒッチ (電動)

注意： **走行前に、トレーラーヒッチが完全に上昇して水平位置と垂直位置の両方でロックされていることを確認してください。**

ヒッチを下げている状態で、絶対に受け側開口部を触らないでください (矢印参照)。けがをするおそれがあります！



LX1045869—UN—15FEB11
絶対に開口部に手を置かないでください！

重要： **解放レバーが操作しにくい場合、またはヒッチフックが自動的にロックされない場合は (上の手順 2 または 6)、リフトリンクの設定やトレーラーヒッチのフックの設定の点検を依頼してください。**

注記： 摩耗する油圧ピックアップヒッチ部品は、定期整備作業中に確認できます。セクション 220D を参照してください。必要に応じて交換してください。

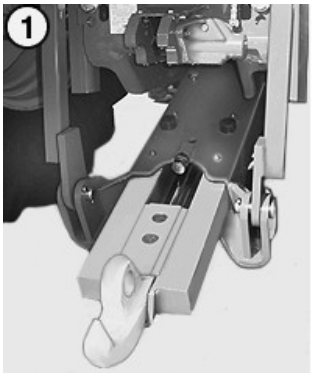
このトレーラーヒッチは、リアヒッチとスイッチ (B) を介して作動させることができます。

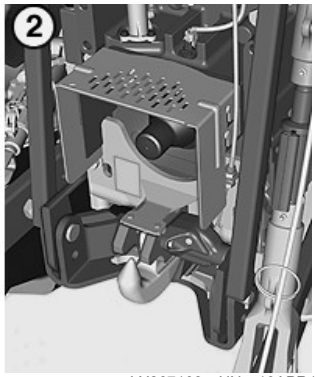


LX364094—UN—08NOV18



LX364173—UN—03DEC18





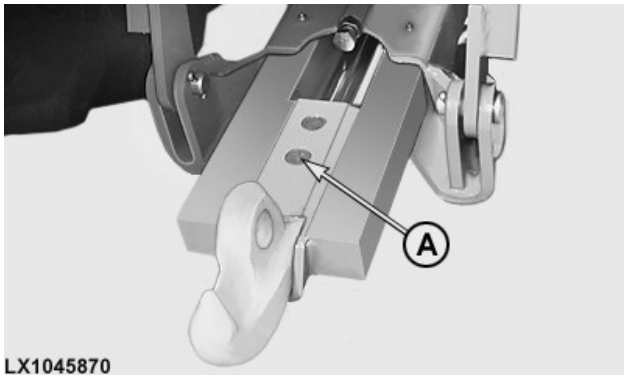
LX267108—UN—10APR17
トレーラー取り付け位置/保管位置のヒッチ

A：**解放レバー**
B：**スイッチ、収縮/伸長**
1：**トレーラー取り付け位置のトレーラーヒッチ**
2：**保管位置のトレーラーヒッチ**

1. ドラフトリンクをできるだけ高く上昇させ、スイッチ (B) でヒッチのフックを完全に後退させます (スイッチの上部を押します)。
2. 解放レバー (B) を引いてヒッチのフックが保管位置から動くまでレバーを保持します (レバーは開位置のまま)。
3. スイッチ (A) を使用してヒッチのフックを完全に伸長させます (スイッチの下側を押します)。
4. ドラフトリンク/ヒッチのフックを適切な高さまで下げます。
5. ヒッチのフックが作業機のけん引用アイにかかるようにドラフトリンクを上げてから、トレーラーヒッチを完全に上げます。
6. スイッチ (B) で、ヒッチフックが**完全にロックされる**までヒッチフックを後退させます。レバー (A) はホーム位置に戻ります。
7. ドラフトリンクを下げます。
8. ヒッチが正しくロックされていることを確認します。この場合、ドラフトリンクを下げてもヒッチは**下がりません。**また、スイッチを操作してもヒッチは**伸長しません。**

最大許容静的垂直荷重および牽引荷重は、セクション 500A に記載しています。

トレーラーヒッチのフックは、工具を使わなくてもドローバーにより交換できます。それにはピン (A) を持ち上げて外します。

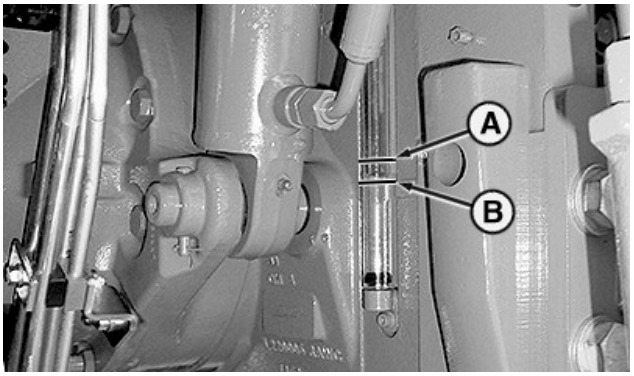


LX1045870—UN—15FEB11

不要な場合、サスペンション装置はサイドフレームのホルダーに保管できます (オプションの付属品)。

60F16,SP,OULXA64,6M,0005630-40-16JUL25

選択制御弁 (SCV) — 最大許容オイル取り出し量



LX364279—UN—19FEB19

A：**最高レベルマーク**
B：**最低レベルマーク**

チッピングトレーラーで使用するような大型の油圧シリンダを操作する場合、接続ラインを介してトランスミッションケースからオイルを取り出すことができます。

重要： **オイル取り出し量を最大にするには、次の条件に適合する必要があります。**

- **エンジン停止時の最大トランスミッションオイルレベルが (A) であること**
- **トラクターの傾きがすべての方向で 3° 以下であること**
- **作動油が使用温度であること**
- **移動速度が 3 km/h (1.9 mph) 未満**

最大許容オイル取り出し量

追加オイルリザーバーなし	15 L (4.0 US gal)
追加オイルリザーバーあり	32 L (8.58 US gal)*

最大オイル取り出し中は、トラクターをすべての方向で 3° 以上傾斜させないでください。トラクターが 3° 以上傾くと、それに従ってオイル取り出し量が少なくなります。

必要に応じて、最大 10 L (2.6 US gal) をトランスミッションケースに追加することができます。これにより、取り出すことができる量が結果的に増加します。オイルレベルが点検窓の MAX マークを超えている場合は、40 km/h (25 mph) を超える速度で輸送作業を行わないでください。

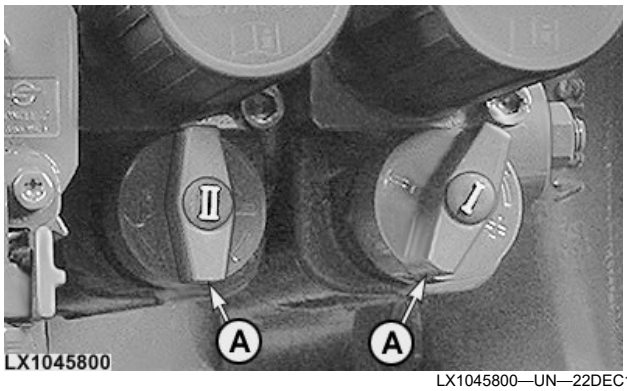
注記： オイルの取り出しによってオイルレベルが MIN マークを下回ったら、牽引、PTO の操作、高速運転などの重作業は絶対に行わないでください。

オイルを補給するときは、推奨されるトランスミッションオイルと作動油のみを使用してください。「トランスミッションオイルと作動油」(セクション 200E) を参照してください)。

* トラクター静止時のみ。「オイル取り出し量」(セクション 500A) も参照してください。

OULXA64,SP1,00058B2-40-29AUG23

選択制御弁 (SCV) - ハイドロスタティック駆動 (PC 油圧システム) におけるオイル取り出し量



LX1045800—UN—22DEC10

重要： **絶対に外部バルブによって流量を調整しないでください。必ず流量制御弁 (A) を使用してください。**

トランスミッションオイルまたは作動油の最大流量は、トラクターに設置する油圧ポンプのサイズによります。

ポンプサイズ	流量
35 cm³ (2.1 in³)	80 l/min (21.1 gpm)

エンジンを停止します。ハイドロスタティックドライブの油圧ホースを接続します。カプラーのアイコンをメモします。

重要： **ハイドロスタティックドライブ付き装置は、操作時のみシリーズ 450 の SCV に接続してください。**

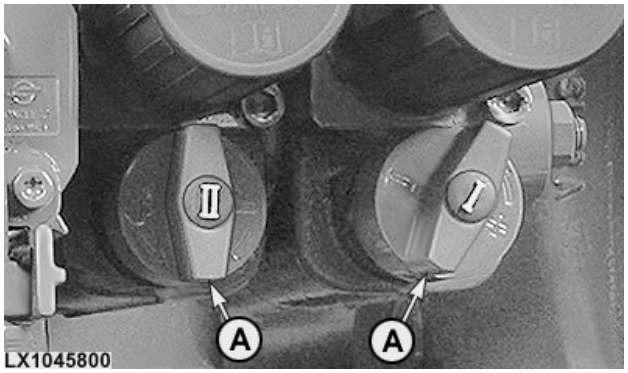
エンジンを始動します。制御レバーを格納位置にします。ハイドロスタティックドライブをオフにするには、制御レバーをフロート位置にします。エンジンを停止して油圧ホースを外します。

重要： **背圧が発生してハイドロスタティック駆動装置とホースが破損する場合があるため、コントロールレバーをニュートラル位置にしないでください。**

重要： **運転中は、ハイドロスタティック駆動用のオイルの取り出しは制限されています。「オイル取り出し量」(セクション 500A) を参照してください。**

OULXA64,6M,4CYL,00057E6-40-29AUG23

選択制御弁 (SCV) - ハイドロスタティック駆動 (PFC 油圧システム) におけるオイル取り出し量



LX1045800—UN—22DEC10

重要： **絶対に外部バルブによって流量を調整しないでください。必ず流量制御弁 (A) を使用してください。**

カプラーで得られる作動油の最大流量は 96 L/min (26.4 gal/min) です。

エンジンを停止します。ハイドロスタティックドライブの油圧ホースを接続します。カプラーのアイコンをメモします。

重要： **ハイドロスタティックドライブ付き装置は、操作時のみシリーズ 450 の SCV に接続してください。**

エンジンを始動します。制御レバーを格納位置にします。ハイドロスタティックドライブをオフにするには、制御レバーをフロート位置にします。エンジンを停止して油圧ホースを外します。

重要： **背圧が発生してハイドロスタティック駆動装置とホースが破損する場合があるため、コントロールレバーをニュートラル位置にしないでください。**

重要： **運転中は、ハイドロスタティック駆動用のオイルの取り出しは制限されています。「オイル取り出し量」(セクション 500A) を参照してください。**

OULXA64,6M,6CYL,0005632-40-29AUG23

大容量油圧シリンダの使用

大容量油圧シリンダや伸縮式シリンダの操作には、ユーザーによる特別な注意が必要です。油圧式傾斜機能付きのトレーラーの操作時など、説明書を参照してください。

- トレーラーを傾けるときは、エンジン回転数を、1800 ~ 2100 rpm に維持します。
- トレーラーを傾ける前に、最大許容オイル取り出し量が油圧シリンダの充填に必要なオイル容量に対応しているかどうかを確認します。トレーラーの取扱説明書に記載されている情報と最大許容オイル取り出し量を比較します。「選択制御弁 - 最大許容オイル取り出し量」(セクション 70) および「オイル取り出し量」(セクション 500A) を参照してください。

重要： **必要なオイルの量が最大許容オイル取り出し量を超過している場合やオイルの取り出しが早すぎる場合は、これによりキャビテーションが発生する可能性があります。キャビテーションは異常に大きい音でわかり、機械的損傷の原因になります。伸縮式シリンダなど、大容量油圧シリンダの操作時は、大きい音が突然発生していないか注意してください。キャビテーションが疑われる場合は、すぐに油圧シリンダの操作を停止してください。エンジン回転数を変えても改善することはないため、変更しないでください。**

500A,401,OULXBER,00030BD-40-04MAR24

予備オイルリザーバー



LX364274—UN—18FEB19

予備オイルリザーバー (A) によりオイル取り出し量を増やすことができます。

取り出せる最大オイル量は以下のとおりです。

最大許容オイル取り出し量

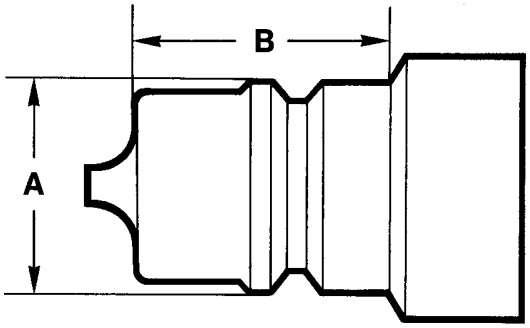
32 L (8.5 US gal)

チッピングトレーラー等の多量のオイルを必要とする用途で予備のオイルを使用することができます。

注記：トランスミッションに過剰に充填するよりも、予備オイルリザーバーを使用する方が利点があります。「オイル取り出し量」(セクション 500A) を参照してください。

OULXA64,SP1,00058B1-40-17NOV20

選択制御弁 (SCV) の継手



LX 006613

LX006613—UN—15AUG94

ISO 標準準拠の継手のみを使用してください。

寸法 (A) は 23.66 ~ 23.74 mm (0.931 ~ 0.934 in) である必要があります。

寸法 (B) は 24 mm (0.945 in) 以上である必要があります。

OULXA64,6R,0005B53-40-17MAR21

SCV への油圧ホースの接続



LX266990—UN—10OCT16

注意： 高圧の液体が噴き出すと、皮膚に侵入して大けがをするおそれがあります。システムのラインを外す前に圧力を解放して、危険を回避してください。

事故が発生した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚に浸透した液体は、数時間以内に外科的に除去する必要があります。除去しないと、壊疽を引き起こす場合があります。

注意： けがをしないようにしてください。装置を取り付ける前に、油圧ホースを接続し、装置が意図せず動くことのないよう以下の点に注意してください。

• エンジンを停止します。

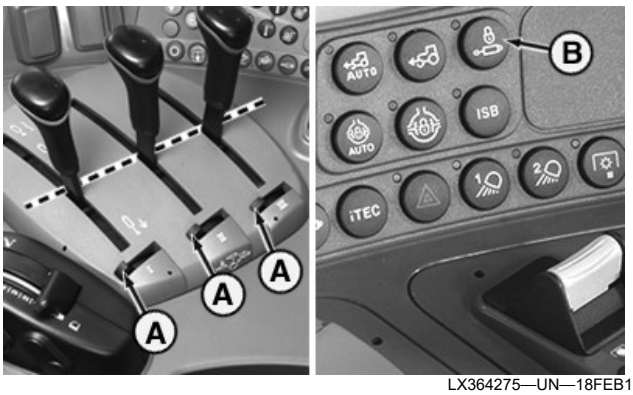
• SCV のコントロールをニュートラル位置に設定してロックします。

重要： 物理的な損傷、ねじれ、経時変化、および暴露により油圧ホースが破損する場合があります。ホースを定期点検してください。

泥、ほこり、その他の異物は油圧系統に損傷を与えるおそれがあります。油圧ホースと SCV を十分に清掃してから作業機をトラクターに接続してください。

重要： SCV の接続部付近や電子機器をスチーム洗浄または高圧洗浄機で清掃すると、装置が損傷するおそれがあります。6900 kPa (69 bar) (1000 psi) 以上の圧力を使用する高圧洗浄機の場合は、接続部から 200 mm (8 in) 以上離して洗浄する必要があります。

1. **駐車ブレーキロックをかけて、エンジンを停止します。**
2. SCV のコントロールをロックアウトします：
   - SCV のコントロールレバーをニュートラル位置に動かしてロックします。



LX364275—UN—18FEB19

機械式/電動式

A：**ロックレバー、SCV**
B：**ロックボタン、SCV**

- 機械式ジョイスティックの場合[1]:

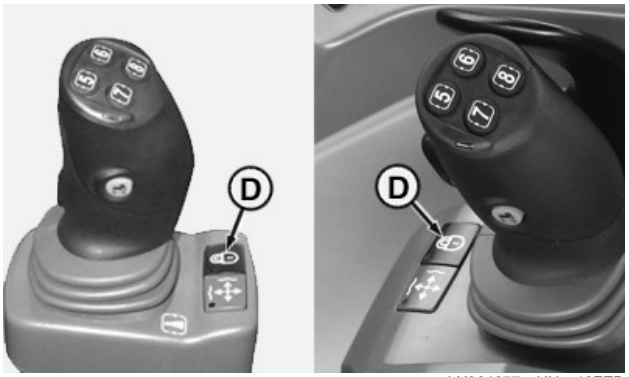


LX364276—UN—18FEB19

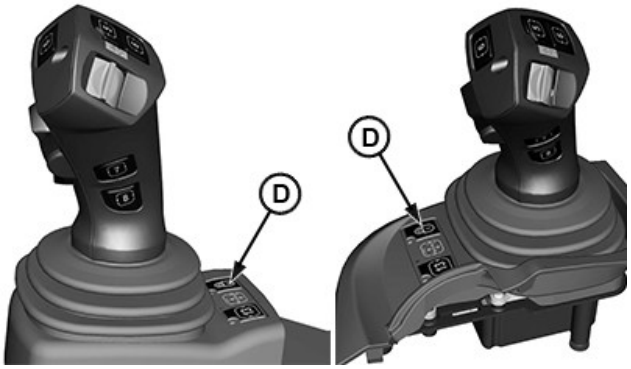
ジョイスティックをニュートラル位置に動かして、ロックリング (C) を右に回します。

- 電動式ジョイスティックの場合[1]:

[1] *装備されている場合*



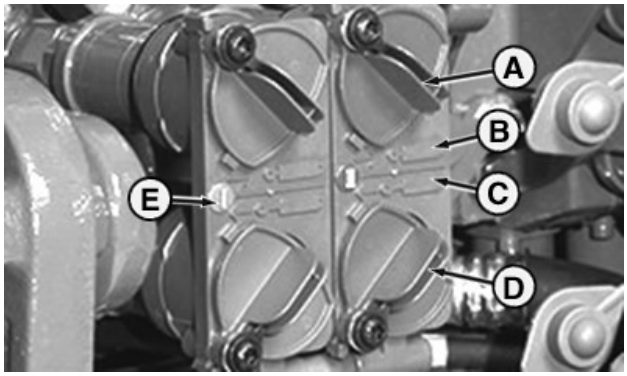
LX364277—UN—18FEB19
右アームレストの電気式ジョイスティック *(バージョン 1)/ CommandARM™*



LX514895—UN—08NOV22
右アームレストの電気式ジョイスティック *(バージョン 2)/ CommandARM™*

ジョイスティックをニュートラル位置に動かして、ロックボタン (D) を押します。

3. ダストキャップを清掃して脇へよけます。



LX364278—UN—18FEB19

A：**収縮カプラー**
B：**格納アイコン**
C：**伸長アイコン**
D：**伸長カプラー**
E：**識別番号**

重要：**油圧ホースは正しくカプラーに接続してください。ホースの接続が逆になっていると、機械はシステムの制御に想定どおりに応答しません。**

後部の SCV の割り当て
収縮 = 上側ポート
伸長 = 下側ポート

注記： SCV は I ~ IV (E) のマークが付けられています。

4. ホースの接続先の記号 (B) または (C) を点検して、シリンダの動く方向に対応しているかどうか確認します。

単動シリンダの場合：

- 伸長用のホースを下部カプラー (D) に挿入します。

複動シリンダの場合：

- 収縮用のホースをカプラー (A) の上部に挿入します。
- 伸長用のホースを下部カプラー (D) に挿入します。

5. ホースをしっかりカプラーに押し込んでください。

注記： SCV は色分けされています。ホース識別キットは、通常の予備部品チャンネルを通じて入手できます。

SCV の識別	
SCV	**色**
I	緑
II	青
III	茶
IV	黒

OULXA64,6M,0005634-40-15JUL25

SCV からの油圧ホースの取り外し



LX266990—UN—10OCT16

⚠ 注意： 意図しない油圧部品の動きによるけがのリスクがあります。

加圧された油圧部品で作業するときは、次のような高い危険があります：

- **加圧されたオイルが漏れて出る。**

- **作業機の意図しない動きが引き起こされる。**

この危険を回避するには、油圧ホースの接続を解除する前に次の手順に従ってください：

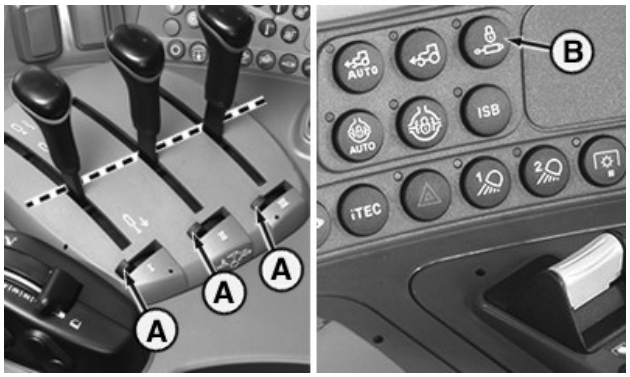
1.作業機を地面に降ろします。

2.ホースとラインを減圧します。

3.制御弁をニュートラル位置に設定してロックします。

1. 作業機を地面に降ろします。
2. **駐車ブレーキロックをかけて、エンジンを停止します。**
3. イグニッションをオンにして、選択制御弁を「伸長」位置と「収縮」位置に数回動かします。

   ** 電動式 SCV と電動式ジョイスティックを使用する場合のみ必要です。*
4. 次のように SCV のコントロールをロックするか、トランスポートロックを有効にします：
   - SCV のコントロールレバーをニュートラル位置に動かしてロックします。



LX364275—UN—18FEB19

機械式/電動式

A：**ロックレバー、SCV**
B：**ロックボタン、SCV**

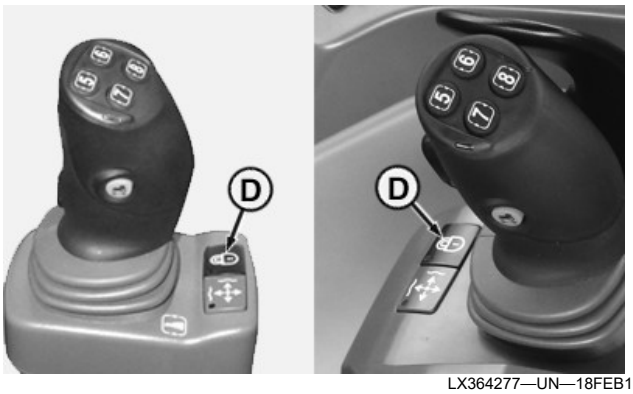
- 機械式ジョイスティックの場合[2]：



LX364276—UN—18FEB19

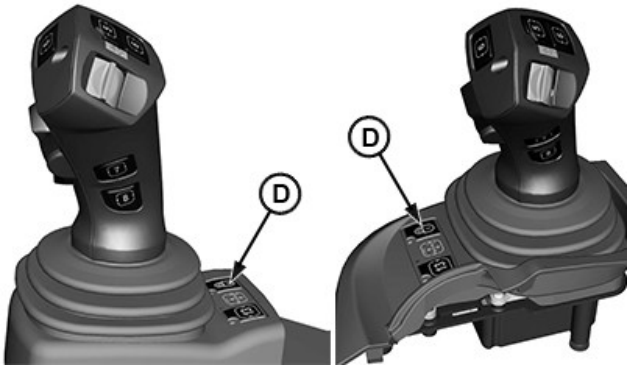
ジョイスティックをニュートラル位置に動かして、ロックリング (C) を右に回します。

- 電動式ジョイスティックの場合[2]：



LX364277—UN—18FEB19

右アームレストの電気式ジョイスティック *(バージョン 1)/ CommandARM™*



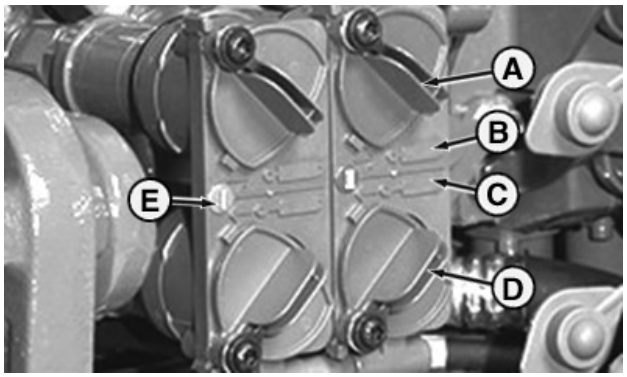
LX514895—UN—08NOV22

右アームレストの電気式ジョイスティック *(バージョン 2)/ CommandARM™*

ジョイスティックをニュートラル位置に動かして、ロックボタン (D) を押します。

重要： **ホースの接続を解除するときは力をかけないでください。ホースを押し付けないで真っ直ぐに引いて外します。そうでない場合、カプラーが損傷する可能性があります。**

5. ホースをカプラーから**真っ直ぐ**引き抜きます。



LX364278—UN—18FEB19

A：**収縮カプラー**
B：**収縮アイコン**
C：**伸長アイコン**
D：**伸長カプラー**

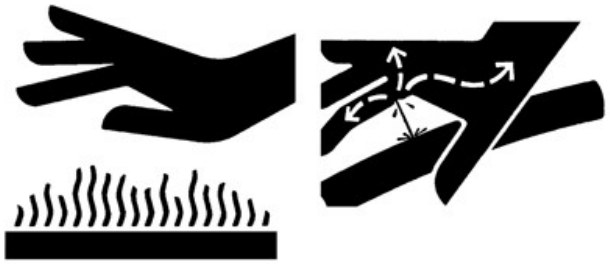
[2] 装備されている場合

E：**識別番号**

6. ダストキャップをカプラーに取り付けて締め付けます。

OULXA64,6M,0005635-40-23MAR23

フロントヒッチでの SCV との油圧ホースの接続または接続の解除 (装備されている場合)



LX266990—UN—10OCT16

注意： 高圧の液体が噴き出すと、皮膚に侵入して大けがをするおそれがあります。システムのラインを外す前に圧力を解放して、危険を回避してください。

事故が発生した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚に浸透した液体は、数時間以内に外科的に除去する必要があります。除去しないと、壊疽を引き起こす場合があります。

注意： けがをしないようにしてください。装置を取り付ける前に、油圧ホースを接続し、装置が意図せず動くことのないよう以下の点に注意してください。

• エンジンを停止します。

• SCV のコントロールをニュートラル位置に設定してロックします。

重要： 物理的な損傷、ねじれ、経時変化、および暴露により油圧ホースが破損する場合があります。ホースを定期点検してください。

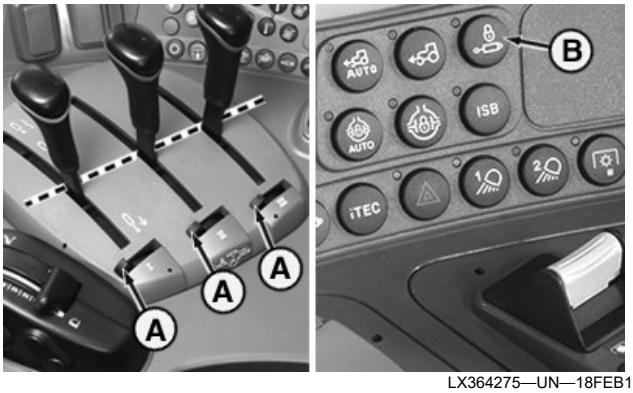
泥、ほこり、その他の異物は油圧系統に損傷を与えるおそれがあります。油圧ホースと SCV を十分に清掃してから作業機をトラクターに接続してください。

重要： SCV の接続部付近や電子機器をスチーム洗浄または高圧洗浄機で清掃すると、装置が損傷するおそれがあります。6900 kPa (69 bar) (1000 psi) 以上の圧力を使用する高圧洗浄機の場合は、接続部から 200 mm (8 in) 以上離して洗浄する必要があります。

注記： トラクター前部や右側の階段[3]の下にある油圧接続は (装備されている場合)、ジョイスティックで操作します。

油圧ホースの接続

1. 駐車ブレーキロックをかけて、エンジンを停止します。
2. SCV のコントロールをロックアウトします：
   - SCV のコントロールレバーをニュートラル位置に動かしてロックします。



LX364275—UN—18FEB19

機械式/電動式

A：**ロックレバー、SCV**
B：**ロックボタン、SCV**

   - 機械式ジョイスティックの場合[3]：

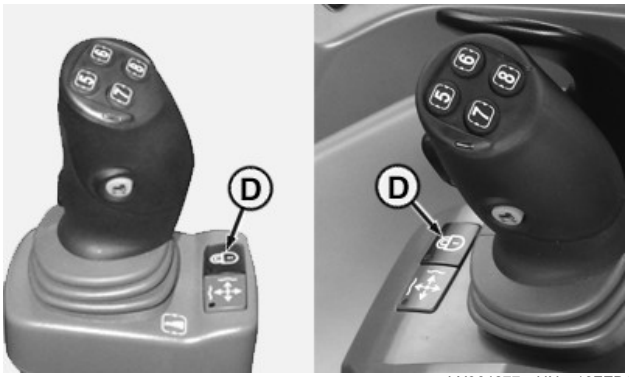


LX364276—UN—18FEB19

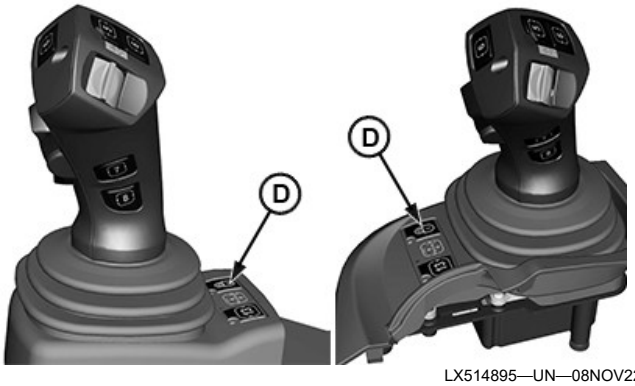
ジョイスティックをニュートラル位置に動かして、ロックリング (C) を右に回します。

   - 電動式ジョイスティックの場合[3]：

[3] *装備されている場合*



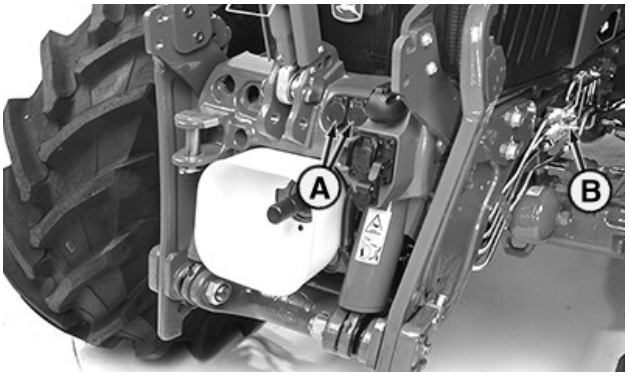
LX364277—UN—18FEB19
右アームレストの電気式ジョイスティック *(バージョン 1)/ CommandARM™*



LX514895—UN—08NOV22
右アームレストの電気式ジョイスティック *(バージョン 2)/ CommandARM™*

ジョイスティックをニュートラル位置に動かして、ロックボタン (D) を押します。

3. 遮断弁 (B) をロックします。



LX364086—UN—07NOV18
A：**フロントヒッチの SCV II カプラー**
B：**フロントヒッチの遮断弁**

4. ダストキャップを清掃して脇へよけます。

重要： **作業機の油圧ホースは正しくカプラーに接続してください。ホースの接続が逆になっていると、機械はシステムの制御に想定どおりに応答しません。**

フロントヒッチのカプラーの割り当て
伸長 = 左ポート
収縮 = 右ポート

5. ホースをカプラーにしっかり押し込みます。

油圧ホースの取り外し

注意： **けがを防止してください。作業機を取り外す前に、作業機を地面まで下げて SCV コントロールをロックアウトし、作業機が動かないようにしてください。**

1. 駐車ブレーキロックをかけます。
2. 作業機を地面に降ろします。
3. エンジン運転中に SCV をフロート位置に数秒間入れます。
4. **エンジンを停止します。**
5. SCV のコントロールをロックアウトします：
   - SCV コントロールレバーをニュートラル位置に動かして、(A) または (B) でロックします。
   - 機械式ジョイスティックの場合[4]：
     ジョイスティックをニュートラル位置に動かして、ロックリング (C) を右に回します。
   - 電動式ジョイスティックの場合[4]：

     ジョイスティックをニュートラル位置に動かして、ロックボタン (D) を押します。
6. フロントヒッチの遮断弁 (B) をロックします。

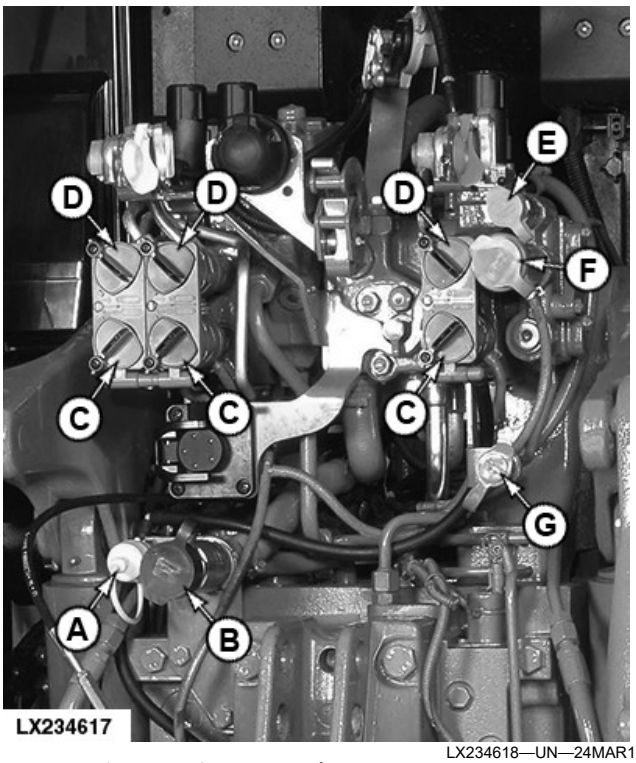
重要： **ホースの接続を解除するときは力をかけないでください。ホースを押し付けないで真っ直ぐに引いて外します。そうでない場合、カプラーが損傷する可能性があります。**

7. ホースをカプラーから**真っ直ぐ**引き抜きます。
8. ダストキャップをカプラーに取り付けて締め付けます。

OULXA64,6M,0005636-40-23MAR23

[4] *装備されている場合*

作業機および油圧モーターの油圧接続



LX234618—UN—24MAR15

A：**パワービヨンドの無圧力戻りポート (漏れオイル)**
B：**パワービヨンドの無圧力戻りポート (大量オイル)**
C：**SCV の伸長用カプラー (I ~ III)**
D：**SCV の収縮用カプラー (I ~ III)**
E：**パワービヨンドの LS ポート (パイロットオイル)**
F：**パワービヨンドの圧力ポート**
G：**油圧トレーラーブレーキ用カプラー**

重要：**負荷検出油圧系統を装備している作業機の場合、パワービヨンドバルブの対応する接続を使用する必要があります。**

注記：詳しくは、以降のページの「選択制御弁への作業機の接続」も参照してください。

油圧モーターの接続/操作

この機能に推奨される最小の油圧モーターを選択してください。これにより、特にその他の機能で高圧でのポンプ動作が求められる場合に、動力の損失や作動油の過熱を抑えます。

油圧モーターの操作

- すべてのインライン制御弁が全開になっていることを確認します。
- インラインオリフィスが取り外されていることを確認します。
- ブリードスクリュー (装備されている場合) を閉じます。

追加戻りポートやパワービヨンドバルブのないトラクターでの油圧接続：

油圧モーターを次のように接続します：

- SCV の収縮用の接続部 (D) に圧力ラインを接続します。
- 戻り管を伸長用の接続部 (C) に接続します。
- 接続が不注意に反転した場合にフローの急な停止や戻り管への逆流を防止するため、専用戻りポートを使用します。

油圧シリンダなど、作業機を次のように接続します：

- 圧力ラインを伸長用の接続部 (C) に接続します。
- 戻り管を収縮用の接続部 (D) に接続します。

無圧力リターンポートありのトラクターでの油圧接続：

- SCV の収縮用の接続部 (D) に圧力ラインを接続します。
- 戻り管を戻りポート (B) に接続します。
- 専用戻りホース先端部は不要ですが、使用することもできます。

レバーを収縮用クリック位置まで前に動かし、油圧モーターを作動させます。SCV 流量制御によりモーターの回転数を調整します。これにより、ポンプは必要な圧力でのみ作動します。

レバーをフロートに入れて油圧モーターを停止します。これにより、SCV への戻りオイルの圧力超過や、油圧モーターの戻りポート使用時のキャビテーションによるシールの損傷から油圧モーターを保護します。

パワービヨンドバルブありのトラクターでの油圧接続

パワービヨンドバルブを介して接続するには、別途流量制御弁が必要です。

- 油圧モーターの圧力ラインを圧力ポート (F) に接続します。
- 油圧モーターの戻り管を戻りポート (B) に接続します。
- LS パイロットラインをポート (E) に接続します。

パワービヨンドバルブを介してパワービヨンドを機能させるには、ポンプ圧力を調整するためのパイロット信号が必要であり、そのために LS パイロットオイルラインを使用します。装置によっては改造が必要なものもあります。専用油圧カップリングは、通常の予備部品チャンネルを介して入手できます。

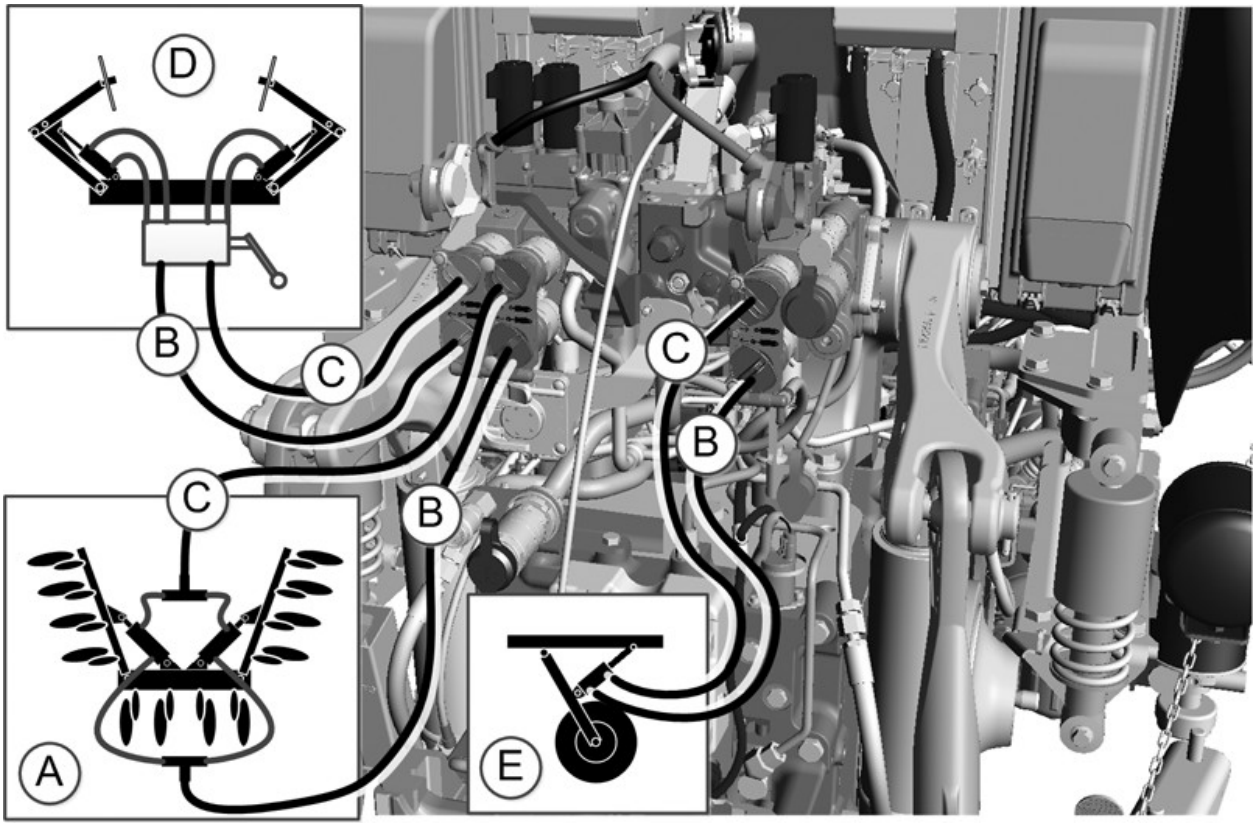
ケースドレン付き油圧モーターの油圧接続

油圧モーターによっては、内部の漏れ用のケースドレンラインが別にあります。これを戻りポート (A) に接続してオイルをオイル溜めに導きます。

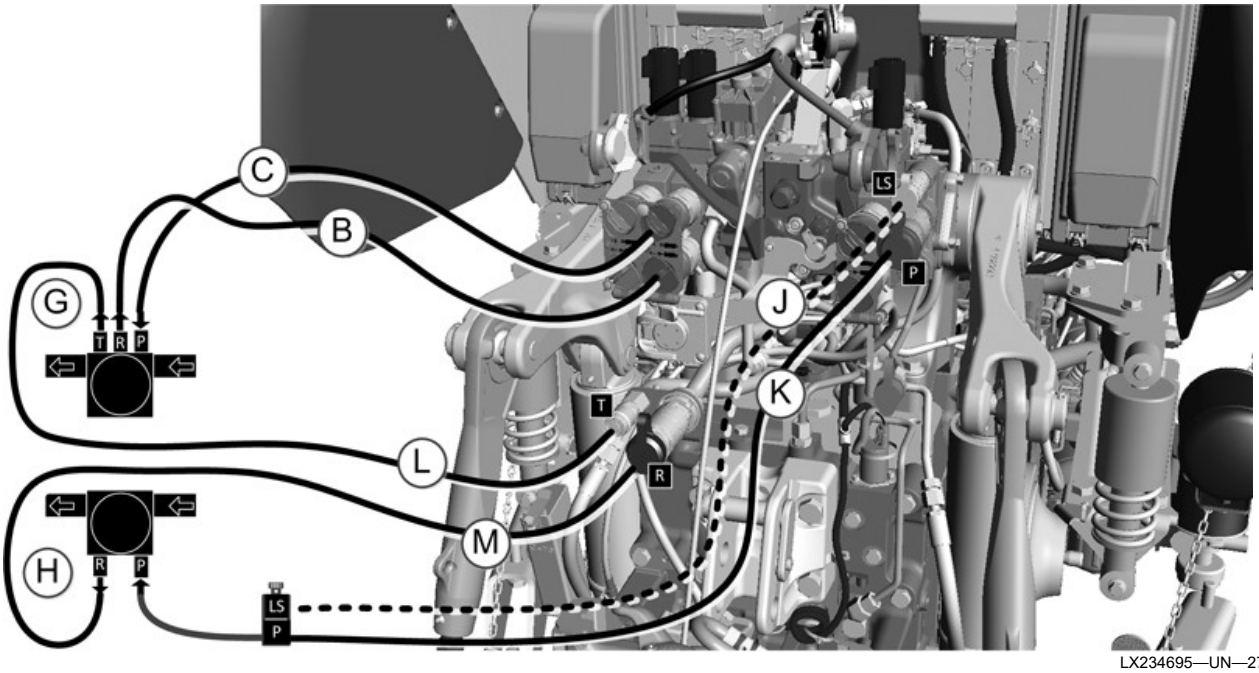
OULXA64,6M,0005637-40-15JUL25

SCV への作業機の接続

サンプル図



LX228720—UN—27APR15



LX234695—UN—27APR15

A - 折りたたみ機構の例 (並列に接続された複動シリンダ)。

B - 伸長用 SCV ポート。

C - 収縮用 SCV ポート。

D - 整流弁により 2 台の複動シリンダを個別に作動させるトラックマーカーの場合。

E - 複動シリンダを経由して深さゲージホイールを作動させる例。

G - モーターケースを空にするための油圧モーターのドレンポート。

H - リークオフ (漏れ用) ポートなしの油圧モーター (ポンプなど)。

J - LS パイロットオイル用ホース、パワービヨンドバルブに接続。

K - 圧力オイル用ホース、パワービヨンドバルブに接続。

L - 油圧モーターケースのドレン用ホース (油圧モーターのケースを空にするためにリークオフ (漏れ) オイルを戻す)。

M - 大量オイル用戻りポート

この図は、代表的な用途を示し、トラクター油圧系統への作業機の接続方法を説明しています。作業機の取扱説明書も参照してください。

折りたたみ機構 (A) を搭載した装置には、複動シリンダが装備されています。これらは、収縮 (右側 SCV) と伸長 (左側 SCV) の機能に用いる SCV に接続されています。図の例では、シリンダの圧力ラインが T 継手により互いに接続されており、2 つの折りたたみ機構を同時に作動させることができます。

例 (D) に示すように転流弁を使用すれば、1 つの SCV のみを使用して 2 つの用途で制御を行うことが可能です。整流弁を使用することにより、類似した機能を連続で、互いに独立して制御することができます。

複動シリンダを使用する装置 (ゲージホイール (E) の下降等) を、収縮 (右側 SCV) と伸長 (左側 SCV) の機能に用いる SCV に接続します。

油圧モーター (G) にドレンポート (F) がある場合は、戻りポート (L) に接続することが非常に重要です。これにより、油圧モーターのケース内で油圧が上昇して損傷することを防ぎます。例 (G) は SCV を介して接続された油圧モーターを示しています。SCV を調整して連続的に流れるようにします。

独立した油圧系統を持つ作業機の油圧モーター (H) を図のように接続する必要があります。油圧モーターの戻り管と制御弁の接続を、パワービヨンドバルブのポート (J、K、M) に接続する必要があります。

重要：**圧力ラインと戻り管を持つ油圧モーターを SCV に接続する場合、戻りポートに追加チェックバルブを使用する必要があります。これにより SCV の誤作動による損傷を防ぐことができます。必ず、SCV をフロート位置にして油圧モーターをオフにしてください。これにより、油圧モーターがなめらかに惰性運転します。SCV をニュートラルにして油圧モーターを OFF にすると回転運動が急停止し、作業機の油圧モーターが損傷するおそれがあります。**

LX25458,6M,0000A38-40-23MAR23

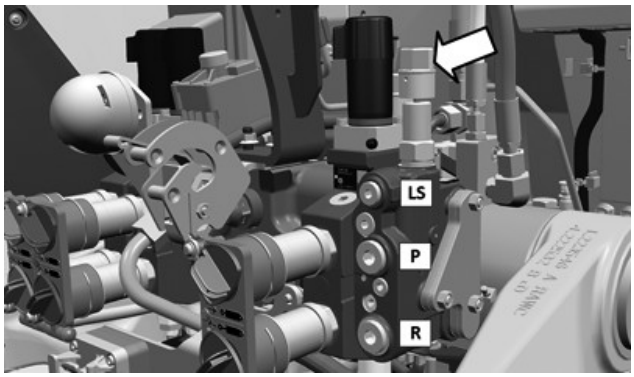
調整可能パワービヨンドバルブ

パワービヨンドバルブは、作業機の独立制御弁をトラクターの油圧系統に接続するために使用されます。接続する作業機の取扱説明書をお読みください。

注記： クローズドセンター油圧システムのある作業機のみが完全に互換性があります。オープンセンター系統を接続した場合、複数の機能が動作しません。

作業機オイルラインのフロー抵抗によって生じた負荷検出圧力 (LS) の低下により、故障や応答時間の低下が発生する可能性があります。調整可能なパワービヨンドバルブを使用すると、受信 LS 信号をブーストすることで、油圧機能を強化できます。

受信 LS 信号が低すぎる場合は、ノブを時計回りに、**+** 方向に回して (矢印参照)、この信号をブーストすることができます。ブースト効果を減らすには、ノブを反時計回りに、**-** 方向に回します。



LX412354—UN—12NOV20

パワービヨンドバルブ

LS：**負荷検出ポート (M14 x 1.5 ねじ)**
P：**圧力ポート (M22 x 1.5 ねじ)**
R：**戻りポート (M22 x 1.5 ねじ)**

重要：**LS 圧力を必要な程度に高く、かつ可能な限り低く設定すると、経済的な動作が確保されます。パワービヨンド LS 圧力の設定が高すぎる場合、燃料消費が不必要に増加します。**

- 調整範囲：4—24 ±3 bar (400 ~ 2400 ± 300 kPa、58—348 ±44 psi)
- LS ポートからの許容流量：2 ~ 4.5 L/min (0.5 ~ 1.2 US gpm)
- 作業機の制御弁での必要流量：3.7 L/min (1.0 US gpm)

OULXBER,00030B9-40-13NOV20

選択制御弁 (SCV) - コントロール

SCV - コントロールの設定

設定については、セクション 70C を参照してください：

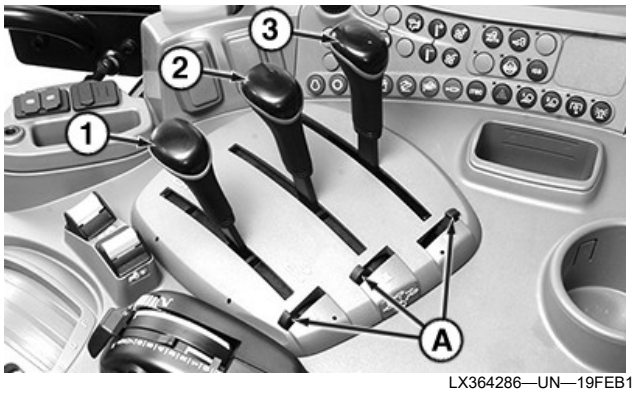
- 機械式 SCV - 上昇率
- 機械式 SCV - 機能モードの設定
- 機械式 SCV - シリーズ 450 の圧力設定
- 電子 SCV - メニュー
- 電子 SCV - SCV 流量とフロー時間の調整
- 電子 SCV - ローダーモード
- 電子 SCV - ジョイスティックモード
- 電子 SCV - 詳細設定

OULXA64,6M,0005638-40-28AUG23

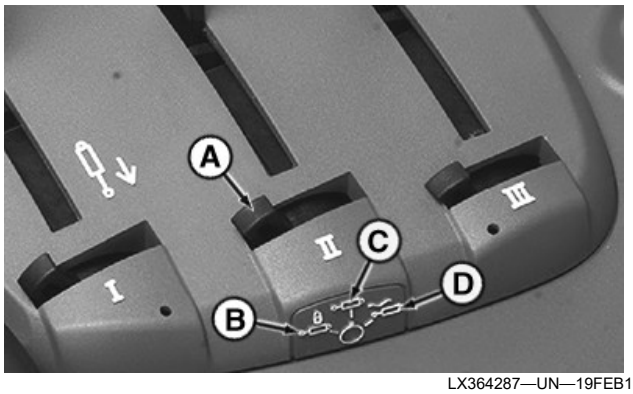
機械式 SCV - コントロール

注意： 不要なコントロール要素は必ずロックして、意図しない作動を防止してください。

SCV I ~ III のコントロールレバー



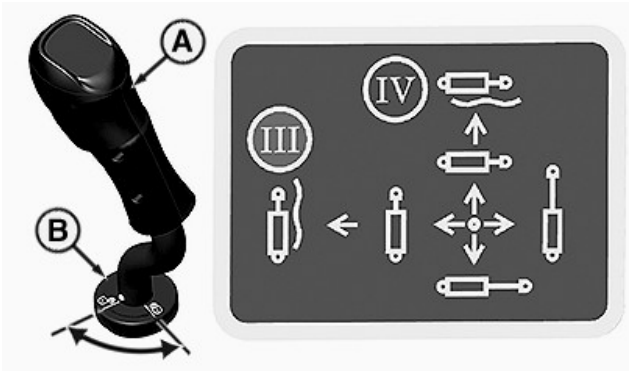
LX364286—UN—19FEB19



LX364287—UN—19FEB19

1：**SCV I コントロールレバー**
2：**SCV II コントロールレバー**
3：**SCV III コントロールレバー**
A：**コントロールレバーのロック用レバー**
B：**コントロールレバーをニュートラル位置にロック (輸送用ロック)**
C：**伸長および収縮位置のコントロールレバー**
D：**伸長および収縮位置、およびフロート位置にロックされたコントロールレバー**

SCV III および IV 用ジョイスティック (装備されている場合)



LX364344—UN—26MAR19

A：**ジョイスティック**
B：**ロックリング (輸送用ロック)**

SCV の設定については、セクション 70C を参照してください。

- 選択制御弁、機械式 - 上昇率
- 選択制御弁、機械式 - 機能モードの設定
- 選択制御弁、機械式 - シリーズ 450 の圧力設定

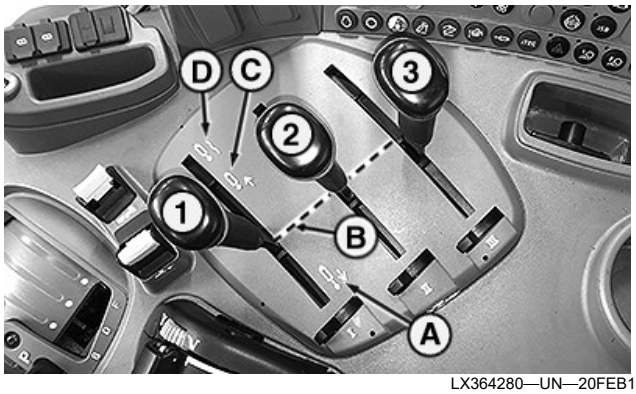
OULXA64,6M,0005639-40-28AUG23

機械式 SCV - コントロールレバー

注意： ホースが逆になっていないことを確認して、けがを防止してください。ホースを逆に接続すると、シリンダは収縮すべきときに伸長します。

重要： 道路を運転中や SCV コントロールレバーが不要な場合は、選択制御弁が意図せずに作動しないようにロックしてください。次のページの「選択制御弁、機械式 - 輸送用ロック」も参照してください。

SCV I ~ III のコントロールレバー



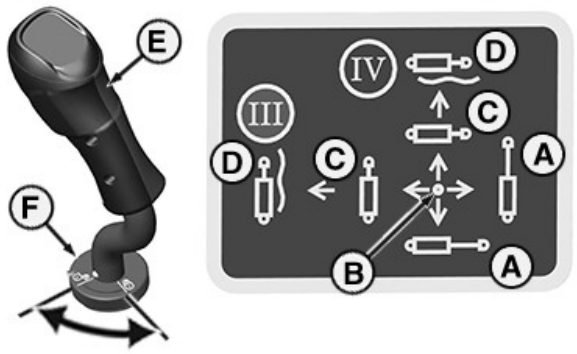
LX364280—UN—20FEB19

SCV コントロールレバー I ~ III

1：**コントロールレバー、SCV I**
2：**コントロールレバー、SCV II**
3：**コントロールレバー、SCV III**
A：**伸長**
B：**ニュートラル位置**
C：**収縮**

D：**フロート位置**

SCV III および IV 用ジョイスティック (装備されている場合)



LX364345—UN—26MAR19

A：**伸長**
B：**ニュートラル位置**
C：**収縮**
D：**フロート位置**
E：**ジョイスティック**
F：**ロックリング (輸送用ロック)**

次の説明は、作動防止ロック機能を備えた選択制御弁に関するものです：

A — 伸長 (デテント位置)
レバーを伸長デテント位置に動かして放すと、油圧シリンダが伸長していた場合のみ、レバーはニュートラル位置に戻ります。油圧シリンダはその位置に保持されます。

A/B：**ニュートラルと伸長デテント位置の間の位置**
レバーをニュートラルと伸長デテントの間に動かすと、シリンダはゆっくりと伸長します。レバーをデテント位置に向けて動かすほど、油圧シリンダは速く伸長します。レバーを放すと、レバーはニュートラル位置に戻り、油圧シリンダはその位置に保持されます。

B - ニュートラル位置 (収縮と伸長の間)
ニュートラル位置では油圧シリンダが所定の位置に保持されます。

B/C：**ニュートラルと収縮デテント位置の間の位置**
レバーをニュートラルと収縮デテントの間に動かすと、シリンダはゆっくりと収縮します。レバーをデテント位置に向けて動かすほど、油圧シリンダは速く収縮します。レバーを放すと、レバーはニュートラル位置に戻り、油圧シリンダはその位置に保持されます。

C — 収縮 (デテント位置)
レバーを収縮デテント位置に動かして放すと、油圧シリンダが収縮している場合のみ、レバーはニュートラル位置に戻ります。油圧シリンダはその位置に保持されます。

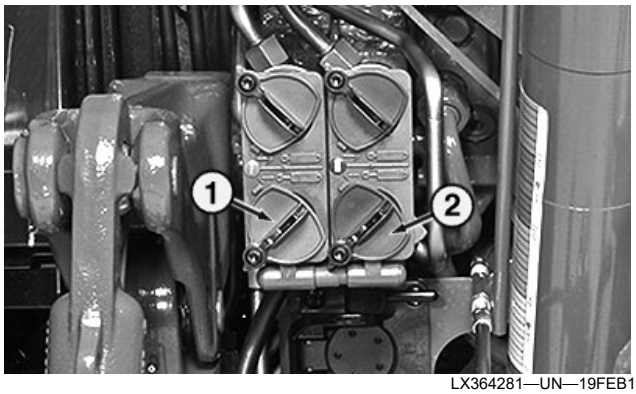
D — フロート位置 (デテント位置)
レバーを、収縮デテント位置を越えてフロート位置に留める (デテントさせる) と、油圧シリンダのピストンが自由に動くことができるようになり、取り付けた作業機は地形に追従できるようになります。

注記： 追加の外部バルブを使用している場合は、コントロールレバーをニュートラル位置に動かして、各油圧機能をオフにします。

注記： 作業機から油圧を解放するには、エンジン運転中にレバーをフロート位置 (D) に動かします。

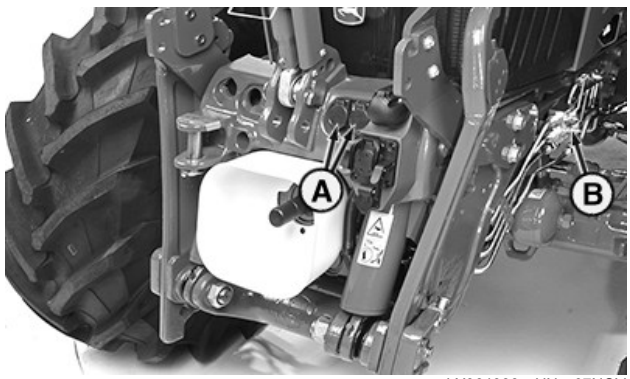
注意： (エコノミー) フロントヒッチとフロントカプラーを取り付けている場合に事故の危険があります。

SCV I と II は 2 つの用途に使用できないことに注意してください。



LX364281—UN—19FEB19
SCV I および II

1：**SCV I**
2：**SCV II**



LX364086—UN—07NOV18
エコノミーフロントヒッチ

A：**フロントカプラー、SCV II**
B：**遮断弁**

SCV I の使用：

- **SCV I を使用する場合は、遮断弁 (B) が閉じていることを確認してください。**
- **フロントヒッチを使用する場合は、遮断弁が開いていること、他の作業機が SCV I に接続されていないことを確認してください。**

SCV II の使用：

- **SCV II を使用する場合は、他の作業機がフロントカプラー (A) に接続されていないことを確認してください。**

- **フロントカプラー (A) を使用する場合は、他の作業機が SCV II に接続されていないことを確認してください。**

SCV の設定については、セクション 70C を参照してください。

OULXA64,6M,000563A-40-28AUG23

機械式 SCV - 輸送用ロック

注意： 作業機やトラクター部品の予期しない動きによる致命的なけがの危険があります。

選択制御弁に接続された作業機の機能が誤ってトリガーされ、致命的な事故が発生することがあります。

道路走行時や選択制御弁が不要な場合は、トランスポートロックを有効にする必要があります。レバーをニュートラル位置に動かして、レバー (A) でロックします。



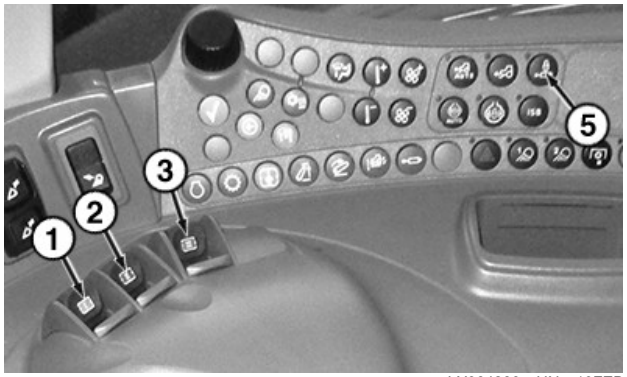
LX364282—UN—19FEB19

レバー (A) を使用して、選択制御弁の各コントロールレバーをニュートラル位置にロックできます (トランスポートロック)。必要に応じて、コントロールレバーをフロート位置にロックできます。

OULXA64,6M,000563B-40-28AUG23

電子制御 SCV - コントロール

注意： 不要なコントロール要素は必ずロックして、意図しない作動を防止してください。



LX364283—UN—19FEB19

CommandARM™ なしのキャブ



LX364284—UN—19FEB19

CommandARM™ 付きのキャブ



LX364285—UN—20FEB19

SCV III 専用リモートコントロール

1：**SCV I コントロールレバー**
2：**SCV II コントロールレバー**
3：**SCV III コントロールレバー**
4：**SCV IV コントロールレバー[1]**
5：**SCV コントロールレバーのロックボタン**
A：**SCV III 専用リモコン (収縮/伸長)[1]**

SCV の設定については、セクション 70C を参照してください。

- 電子制御 SCV – メニュー
- 電子制御 SCV - SCV 流量とフロー時間の調整
- 電子制御 SCV – ローダーモード
- 電子制御 SCV – ジョイスティックモード

[1] 装備されている場合

- 応答性については、「電子制御 SCV – 詳細設定」を参照してください

OULXA64,6M,000563C-40-28AUG23

電子制御 SCV - コントロールレバー

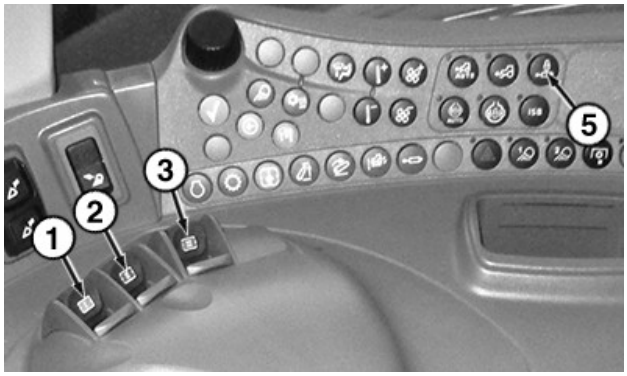
注意： SCV をジョイスティックに割り当て済みの場合は、すべての SCV をジョイスティックを介して操作することもできます。使用する前に、ボタン (5) を押して現在の割り当てを確認してください。誤用により、重大な事故が発生することがあります。「ジョイスティック、電気制御」(セクション 70D) を参照してください。

注意： ホースが逆になっていないことを確認して、けがを防止してください。ホースを逆に接続すると、シリンダは収縮すべきときに伸長します。

重要： 路上を運転中、または SCV レバーがニュートラル位置にある必要がないときは、SCV のロックボタン (5) を起動します。

注記： SCV コントロールレバーをクリック位置に動かすと、設定した流量とフロー時間に応じて選択した機能が有効になります。SCV コントロールレバーは、オペレータが物理的に保持していない限り、伸長および収縮クリック位置に留まりません。

注記： フロートを使用すると、作業機の遮断時に油圧モーターを惰性で動かすことができます。



LX364283—UN—19FEB19

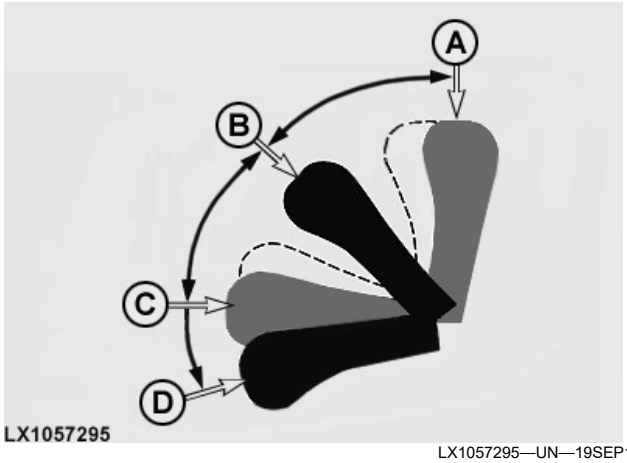
CommandARM™ なしのキャブ



LX364284—UN—19FEB19

CommandARM™ 付きのキャブ

1：**SCV I コントロールレバー**
2：**SCV II コントロールレバー**
3：**SCV III コントロールレバー**
4：**SCV IV コントロールレバー**[2]
5：**SCV コントロールレバーのロックボタン**



LX1057295—UN—19SEP13

A：**伸長 (クリック位置)**
B：**ニュートラル位置**
C：**収縮 (クリック位置)**
D：**フロート位置 (戻り止め)**

A — 伸長 (クリック位置)
レバーを伸長クリック位置に動かして放すと、ニュートラル位置に戻り、油圧シリンダはあらかじめ設定された流量とプリセットフロー時間に従って伸長します。

A/B — ニュートラルと伸張クリック位置の間の位置
レバーをニュートラルと伸張クリック位置の間に動かすと、シリンダがゆっくりと伸張します。レバーをさらにクリック位置方向に動かすと、油圧シリンダが速く伸張します。レバーを放すと、レバーはニュートラル位置に戻り、油圧シリンダはその位置に保持されます。

B - ニュートラル位置 (収縮と伸長の間)
ニュートラル位置では油圧シリンダが所定の位置に保持されます。

レバーを放すと、レバーはフロート位置 (D) に戻り止めされない限り中央位置 (ニュートラル) に戻ります。

[2] *装備されている場合*

B / C — ニュートラルと収縮位置の間の位置
レバーをニュートラルと収縮クリック位置の間に動かすと、シリンダはゆっくりと収縮します。レバーをさらにクリック位置方向に動かすと、油圧シリンダはより速く収縮します。レバーを放すと、レバーはニュートラル位置に戻り、油圧シリンダはその位置に保持されます。

C — 収縮 (クリック位置)
レバーを収縮クリック位置に動かして放すと、レバーがニュートラル位置に戻り、油圧シリンダはあらかじめ選択された流量とあらかじめ設定されたフロー時間に従って収縮します。

D — フロート位置 (デテント位置)
収縮クリック位置を越えてレバーを動かしてフロート位置に留める (デテントする) と、油圧シリンダのピストンが自由に動き、取り付けられた作業機は地形に追従できます。

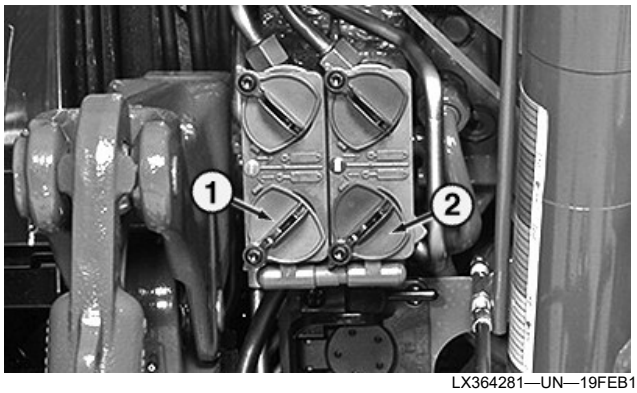
注記： コントロールレバーをクリック位置で放すと、レバーは自動的にニュートラル位置に戻ります。

注記： 追加の外部バルブを使用している場合は、コントロールレバーをニュートラル位置に動かして、各油圧機能をオフにします。

注記： 作業機から油圧を解放するには、エンジン運転中にレバーをフロート位置 (D) に動かします。

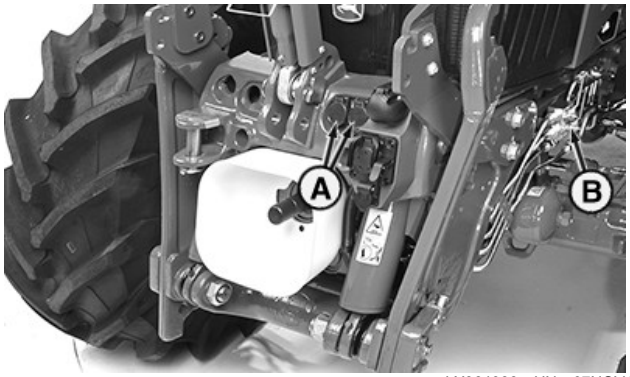
⚠ 注意： (エコノミー) フロントヒッチとフロントカプラーを取り付けている場合に事故の危険があります。

SCV I と II は 2 つの用途に使用できないことに注意してください。



LX364281—UN—19FEB19
SCV I および II

1：**SCV I**
2：**SCV II**



LX364086—UN—07NOV18
エコノミーフロントヒッチ

A：**フロントカプラー、SCV II**
B：**遮断弁**

SCV I の使用：

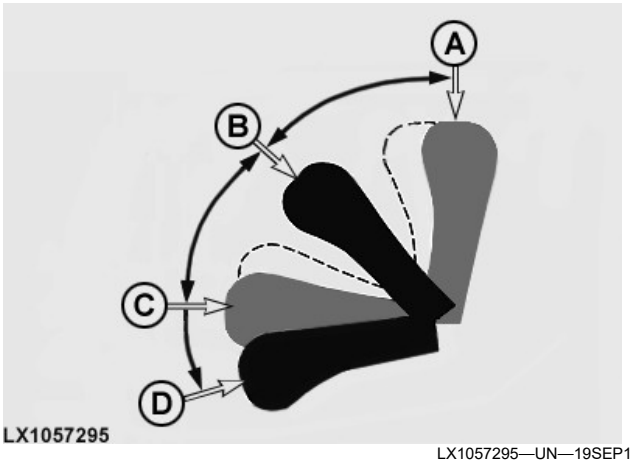
- **SCV I を使用する場合は、遮断弁 (B) が閉じていることを確認してください。**
- **フロントヒッチを使用する場合は、遮断弁が開いていること、他の作業機が SCV I に接続されていないことを確認してください。**

SCV II の使用：

- **SCV II を使用する場合は、他の作業機がフロントカプラー (A) に接続されていないことを確認してください。**
- **フロントカプラー (A) を使用する場合は、他の作業機が SCV II に接続されていないことを確認してください。**

OULXA64,6M,000563D-40-28AUG23

電子制御 SCV - ニュートラル位置



LX1057295—UN—19SEP13

A：**伸長 (クリック位置)**
B：**ニュートラル位置**
C：**収縮 (クリック位置)**
D：**フロート位置 (戻り止め)**

ニュートラル位置 (B) を使用すると、フロー時間が終了するまで流れを継続することができます。フロー時

間を指定しなかった場合は、伸長と収縮のバルブの両方がオフになります。

注記： トラクターを始動する前に、SCV のレバーをニュートラル位置にします。

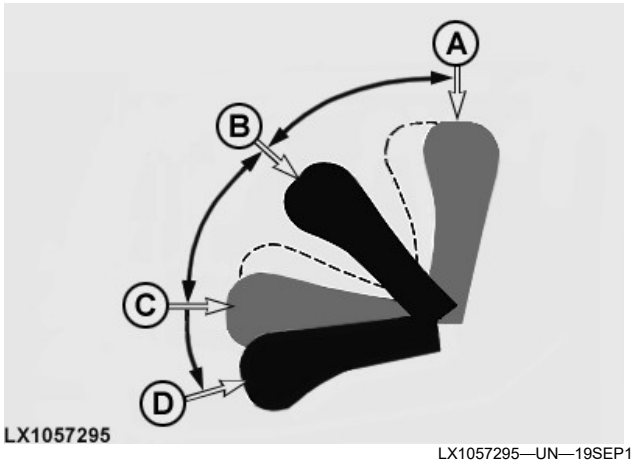
伸長または収縮位置のレバーは、放すと自動的にニュートラル位置に戻ります。フロート位置は戻り止めのままです。

ニュートラルまたはフロート以外の位置は、エンジン始動後にレバーをニュートラルに入れ直すまで無視されます。

OULXA64,6M,000563E-40-28AUG23

電子制御 SCV - 伸長および伸長クリック位置

伸長



LX1057295—UN—19SEP13

A：**伸長 (クリック位置)**
B：**ニュートラル位置**
C：**収縮 (クリック位置)**
D：**フロート位置 (戻り止め)**

レバーをニュートラル (B) と伸長クリック位置 (A) の間に動かすと、シリンダがゆっくり伸長します。レバーをクリック位置 (A) に向けて動かすほど、油圧シリンダが速く伸長します。レバーを放すと、レバーはニュートラル位置に戻り、油圧シリンダはその位置に保持されます。

注記： 伸長位置では、フロー時間の設定は無視されます。

伸長クリック位置

レバーを伸長位置 (A) に動かして放します。レバーはニュートラル位置に戻り、油圧シリンダはあらかじめ設定されたデテント時間とあらかじめ選択した流量に従って伸長します。

設定流量は維持されます。

レバーをクリック位置に動かした時点で、流量のフロー時間が始まります。フロー時間は、時間になった時にシリンダが完全に伸長されるように調節する必要があります。

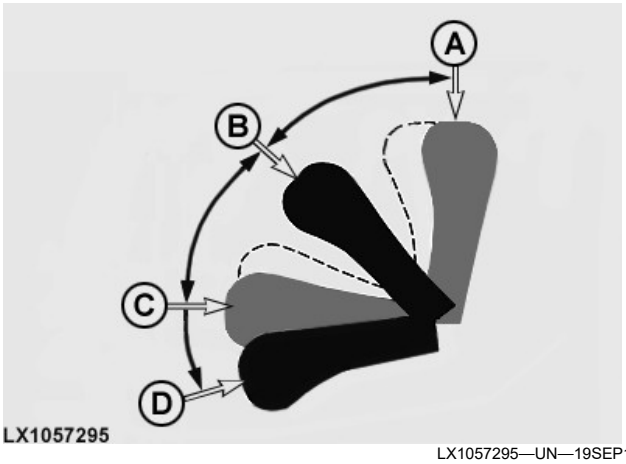
注記： 0.8 秒未満でレバーがクリック位置からニュートラルに戻らない場合は、クリック位置に関連する設定はキャンセルされます。

レバーをニュートラルから動かして、クリック位置に関連する設定をキャンセルできます。

OULXA64,6M,000563F-40-28AUG23

電子制御 SCV - 収縮および収縮クリック位置

収縮



LX1057295—UN—19SEP13

A：**伸長 (クリック位置)**
B：**ニュートラル位置**
C：**収縮 (クリック位置)**
D：**フロート位置 (戻り止め)**

レバーをニュートラル (B) と収縮クリック位置 (C) の間に動かすと、シリンダがゆっくり収縮します。レバーをクリック位置 (C) に向けて動かすほど、油圧シリンダが速く収縮します。レバーを放すと、レバーはニュートラル位置に戻り、油圧シリンダはその位置に保持されます。

注記： 収縮位置では、フロー時間の設定は無視されます。

収縮クリック位置

レバーを収縮位置 (C) に動かして放します。レバーはニュートラル位置に戻り、油圧シリンダはあらかじめ設定されたフロー時間と流量に従って収縮します。

流量は維持されます。

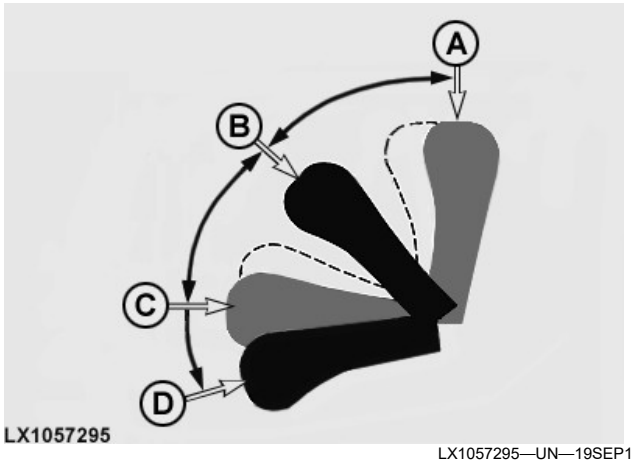
レバーをクリック位置に動かした時点で、流量のフロー時間が始まります。フロー時間は、時間になった時にシリンダが完全に収縮されるように調節する必要があります。

注記： 0.8 秒未満でレバーがクリック位置からニュートラルに戻らない場合は、クリック位置に関連する設定はキャンセルされます。

レバーをニュートラルから動かして、クリック位置に関連する設定をキャンセルできます。

OULXA64,6M,0005640-40-28AUG23

電子制御 SCV - フロート位置 (戻り止め)



LX1057295—UN—19SEP13

A：**伸長 (クリック位置)**
B：**ニュートラル位置**
C：**収縮 (クリック位置)**
D：**フロート位置 (戻り止め)**

レバーを収縮クリック位置 (C) を越えて前方いっぱいのフロート位置に動かして静止させます。油圧シリンダのピストンがフロート位置で自由に動けるようになり、取り付けた作業機は地面の隆起に追従できるようになります。

この機能を無効にするには、レバーを手動でニュートラルに戻します。

注記： 時間の設定はフロート位置では無視されます。

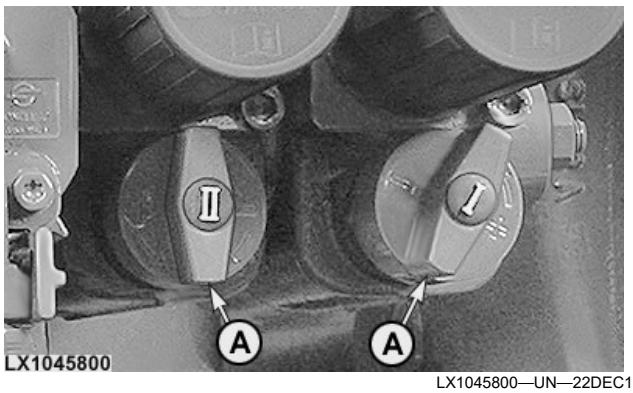
エンジンを停止する前にレバーをフロート位置 (D) に戻し、以後の始動時もレバーをフロート位置 (D) のままにした場合は、レバーをニュートラル (B) に戻すまでフロート機能は無効のままになります。サイドパネルで、ロックボタンが点灯したままになります。

レバーをフロート位置で使用した後、前後方向に動かします。これにより、油圧シリンダがオイルで満たされます。

OULXA64,6M,0005641-40-28AUG23

選択制御弁 (SCV) - 設定

機械式 SCV - 上昇率



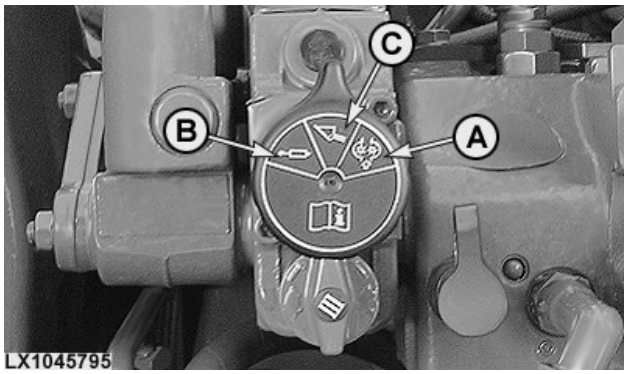
LX1045800—UN—22DEC10

流量制御弁 (A) を使用すると、油圧シリンダの伸長および収縮 (上昇および下降) 率を調整できます。下降させるときは、SCV コントロールレバーがフロート位置に動かされていないことを確認してください。

重要：**油圧シリンダが完全に伸長および収縮するには 1.5 秒以上かかります。収縮や伸長を高速で行うと、損傷の原因になることがあります。**

LX25458,6M,0000A3D-40-28AUG23

機械式 SCV - 機能モードの設定



LX1045795—UN—22DEC10

SCV シリーズ450

A：**ロック機能 1**
B：**ロック機能 2**
C：**ロック機能なし**

このトラクターには、200 シリーズまたは 450 シリーズの選択制御弁を装備できます。

200 / 450 シリーズ選択制御弁では、「上昇」、「下降」、「フロート位置」に加えロック機能 (A) を利用できます。

ロック機能 (A) は、手動で動かすまでコントロールレバーを「上昇」または「下降」位置に保持します。

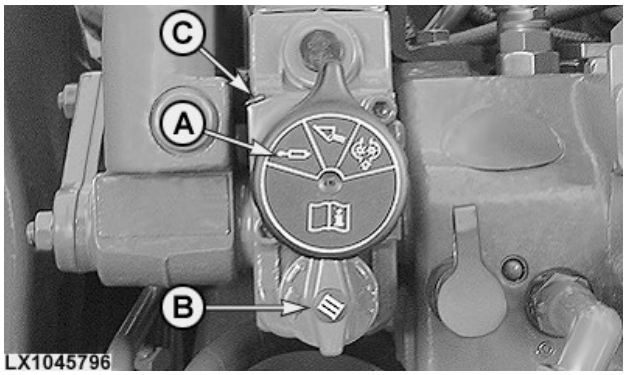
450 シリーズ選択制御弁には追加のロック機能 (B) もあり、オイル回路の圧力があらかじめ設定した値に達するまで (油圧シリンダが終端位置に達したときなど) 上昇または下降位置にコントロールレバーを保持できます。

位置 (C) ではどのロック機能も作動しません。コントロールレバーを放すとすぐにニュートラル位置に戻ります。

作業機 (例：油圧シリンダ) を接続する際、圧力接続 (例：伸長シリンダ) は下側のカプラーに繋ぐ必要があります。200 シリーズ選択制御弁では、エンジン停止時の漏れ (シリンダの収縮など) による突然の圧力損失をバルブにより防ぎます。450 シリーズの選択制御弁では、漏れの可能性がさらに減少します。

LX25458,6M,0000A3E-40-28AUG23

機械式 SCV - シリーズ 450 の圧力設定



LX1045796—UN—22DEC10

A：**ロック機能**
B：**流量制御弁**
C：**プラグ**

注記： すべての選択制御弁は、18000 kPa (180 bar、2610 psi) の圧力でオフに切り替わるように工場で調整されています。

ロック機能にある選択制御弁のオフへの切り替わりが早すぎる場合 (コントロールレバーがニュートラル位置になるのが早すぎる場合)、またはオフへの切り替わりが遅すぎるかまったくオフにならない場合 (コントロールレバーがニュートラル位置になるのが遅すぎるか、まったくその位置にならない場合) は、次の手順に従ってください：

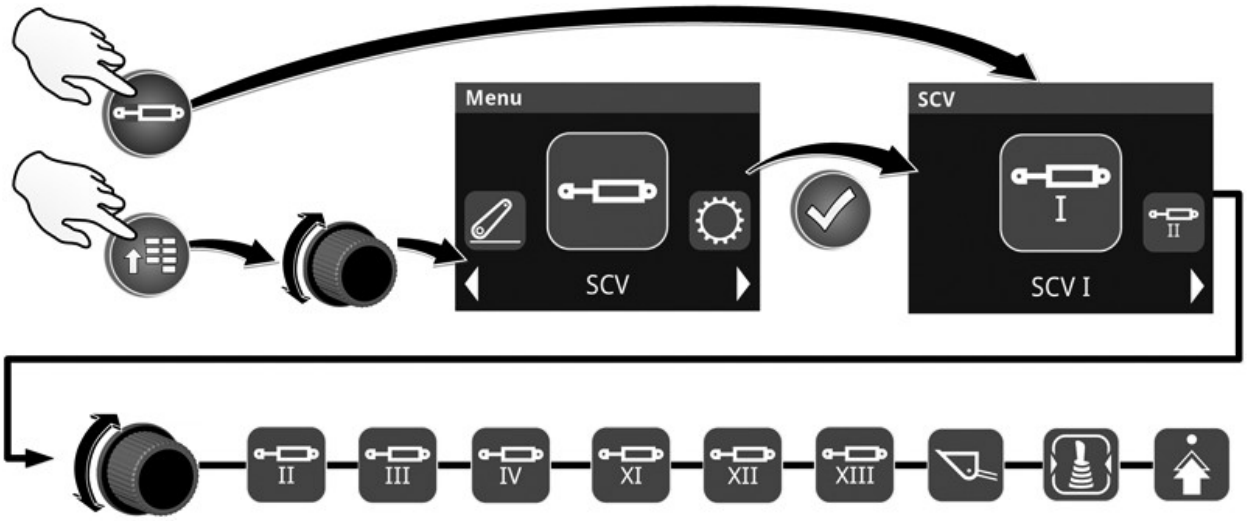
1. 各コネクタ (装備されている場合) の油圧ホースの接続を外します。
2. ロック機能 (A) を作動させて (右側いっぱいまで)、流量制御弁 (B) を中間位置に動かします。
3. プラグ (C) を外して、1.5 mm (0.06 in) の六角レンチを挿入します。
4. エンジンを始動し、ねじを時計回りにいっぱいまで回します。
5. SCV コントロールレバーを上昇または下降位置に入れます (コントロールレバーは上昇または下降位置に留まります)。
6. コントロールレバーがニュートラル位置に戻るまで、ねじを反時計回りに回します。

注記： 1 回転させると、圧力が約 2000 kPa (20 bar、290 psi) 変化します。

7. プラグを取り付けます。

LX25458,6M,0000A3F-40-28AUG23

電子制御 SCV - メニュー

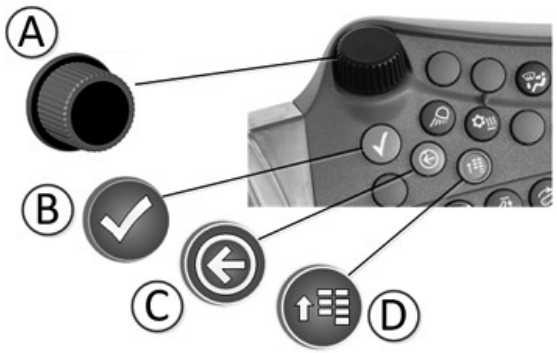


LX368280—UN—17DEC18

フル装備のディスプレイ

- SCV のボタンでコントロールユニットの設定にアクセスします。
- メインメニューからコントロールユニットの設定にアクセスします。

設定を行うための重要なコントロール：



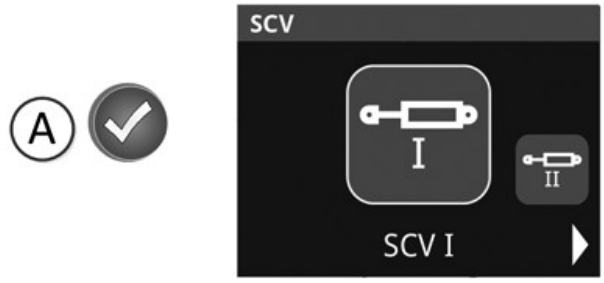
LX361250—UN—17DEC18

A：**選択と設定**
B：**選択の確定**
C：**1 ステップ戻る**
D：**メインメニューへのアクセス**

OULXA64,6M,0005643-40-28AUG23

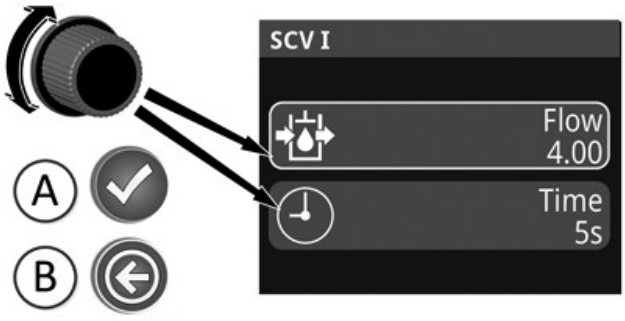
電子制御 SCV - SCV 流量とフロー時間の調整

1. メニューにアクセスします。「選択制御弁 (SCV)、電子制御 - メニュー」を参照してください。
2. 必要な SCV にアクセスして設定を行います。例：SCV I。次に、ボタン (A) で確定します。



LX368285—UN—17DEC18

3. 流量またはフロー時間を選択します。ボタン (A) で選択を確定します。

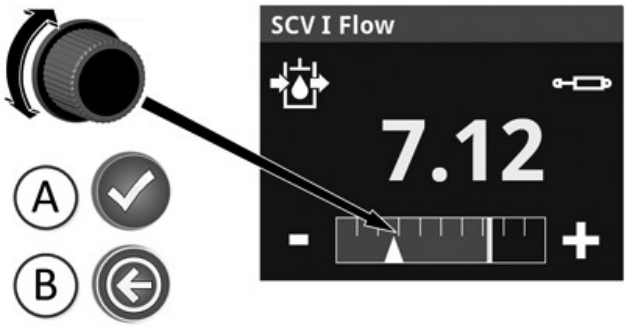


LX368286—UN—17DEC18

A：**確定**

B：**戻る**

4. 流量を設定してボタン (A) で確定します。

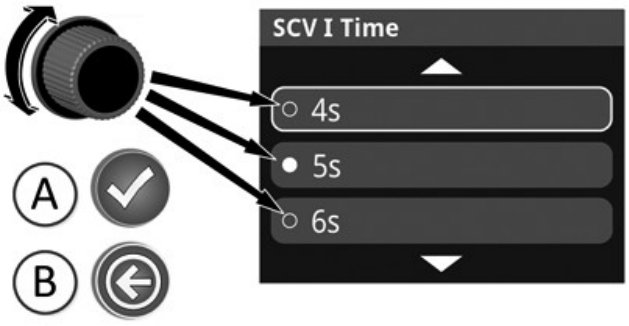


LX368287—UN—17DEC18

流量、設定

A：**確定**
B：**戻る**

5. フロー時間を選択してボタン (A) で確定します。



LX368288—UN—17DEC18

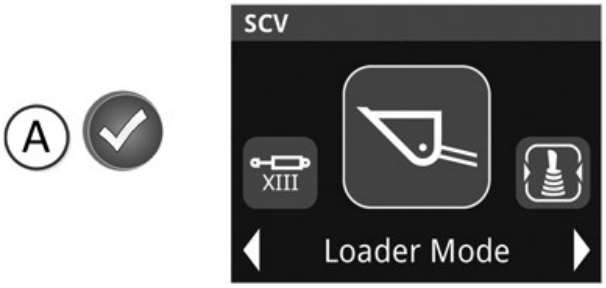
フロー時間、設定

OULXA64,6M,0005644-40-28AUG23

電子制御 SCV - ローダーモード

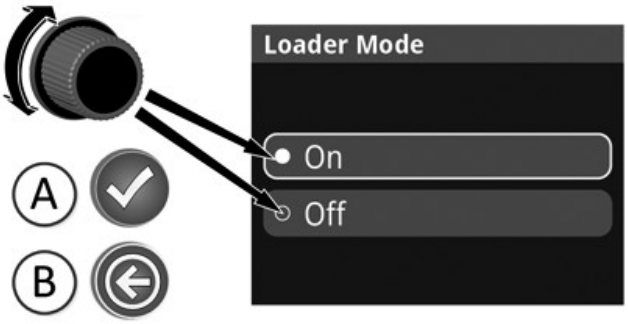
注記： ローダーモードは、ジョイスティックを介した操作のみに使用できます。

1. メニューにアクセスします。「選択制御弁 (SCV)、電子制御 - メニュー」を参照してください。
2. ローダーモードを選択し、ボタン (A) で確定します。



LX368281—UN—17DEC18

3. ON または OFF を選択してボタン (A) で確認します。



LX368282—UN—17DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

OULXA64,6M,0005645-40-28AUG23

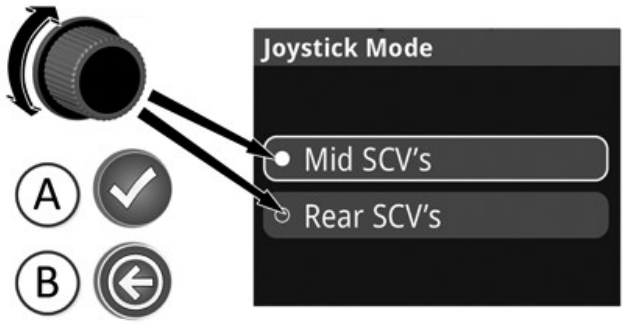
電子制御 SCV - ジョイスティックモード

1. メニューにアクセスします。「選択制御弁 (SCV)、電子制御 - メニュー」を参照してください。
2. ジョイスティックモードを選択してボタン (A) で確定します。



LX368283—UN—17DEC18

3. ミドルまたはリア SCV を選択します。ミドル = SCV XI、XII、XIII。



LX368284—UN—17DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

- ミドル SCV が選択されている場合、SCV XI、XII、XIII の設定フロー時間は無視されます。
- リア SCV スイッチを選択すると、ローダーモードが OFF になります。

OULXA64,6M,0005646-40-28AUG23

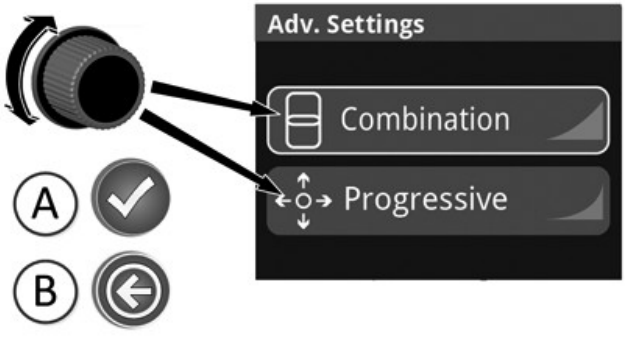
電子制御 SCV - 詳細設定

1. メニューにアクセスします。「選択制御弁 (SCV)、電子制御 - メニュー」を参照してください。
2. 詳細設定を選択してボタン (A) で確定します。



LX368289—UN—17DEC18

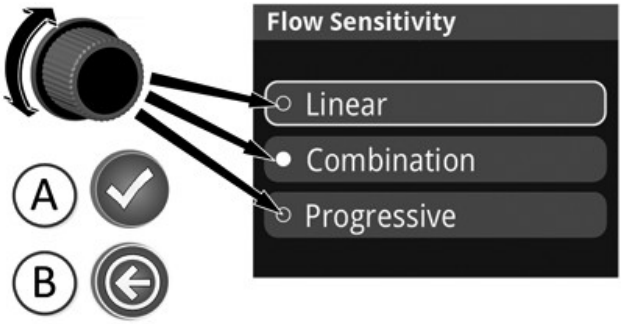
3. コントロールレバーまたはジョイスティックの絵記号を選択して、ボタン (A) で確定します。



LX368291—UN—17DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

4. 感度を選択してボタン (A) で確定します。



LX368290—UN—17DEC18

A：**確定**
B：**戻る**

コントロールレバーまたはジョイスティックを操作するときの流量の挙動：

- **直線**： 流量はレバー位置に比例します。
- **組み合わせ**： レバーの動きの初期の範囲で流量が低くなり、後で増加します。応答性は敏感です。
- **累進**： レバーの動きの初期の範囲で流量が非常に低くなり、後で増加します。応答性は非常に敏感です。

OULXA64,6M,0005647-40-28AUG23

オペレータ着席センサー (北米、オーストラリア、ニュージーランドのみ)

オペレータが運転席から離れて、トランスミッションと SCV の制御が次のように切り替えられている場合は、警報音が鳴ります：

1. トランスミッションがパーキングまたはニュートラル位置
2. SCV 制御が「**Continuous**」(連続) または「**Timed Detent**」(時限デテント) モード

5 秒後、警報音はオフになります。

注記： SCV はオペレータがシートから離れても解除されません。

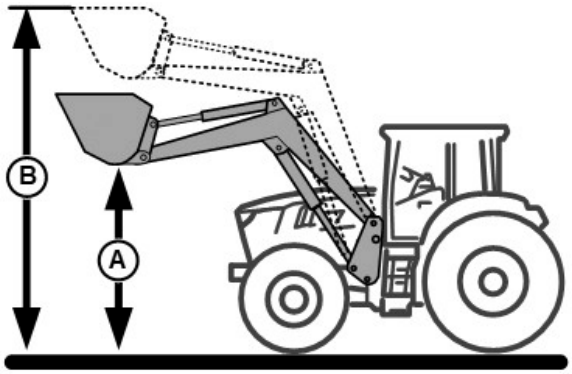
LX25458,6M,0000A40-40-27MAR23

公道でのローダーの運転

注意： けが、装置への損傷、環境への悪影響が発生する恐れがあります。

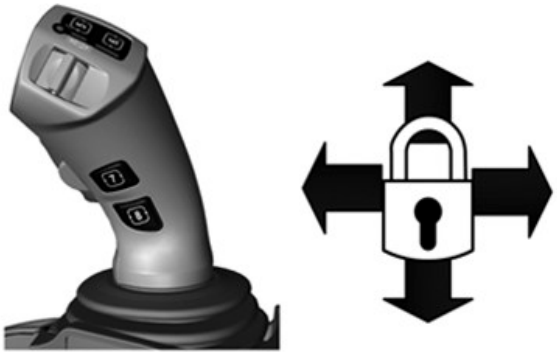
以下に記載されている安全上の注意事項に従い、現地の規制で定められた特定の要件に従ってください。

- ローダーが荷降ろしされ、ブームが現地の法律で定められた高さまで上昇していることを確認します。たとえば、一部の国では、公道で運転する際に地面からフロントローダーまでの最小高さ (A) が 2 m (6.5 ft)、最大高さ (B) が 4 m (13 ft) である必要があります。
- フロントローダーとその上の構造物 (通路、橋、信号機、電線など) が接触しないようにしてください。
- 運転者の前進方向の視界が遮られていないことを確認します。
- 照明装置と車両登録プレートの視界が損なわれていないことを確認してください。
- 上昇した重心を考慮して運転スタイルを適合させます。これには、ゆっくりとコーナリングすることや、車両が傾いているときにより注意を払うことが含まれます。
- 特に道路交差点での操舵時や旋回時は、車両の長さが長くなることに注意してください。
- フロントローダーのジョイスティックをロックして、ローダーの意図しない動きを防止します。このマニュアルを参照してください。



LX665247—UN—23JUN25

例： 最小高さと最大高さ

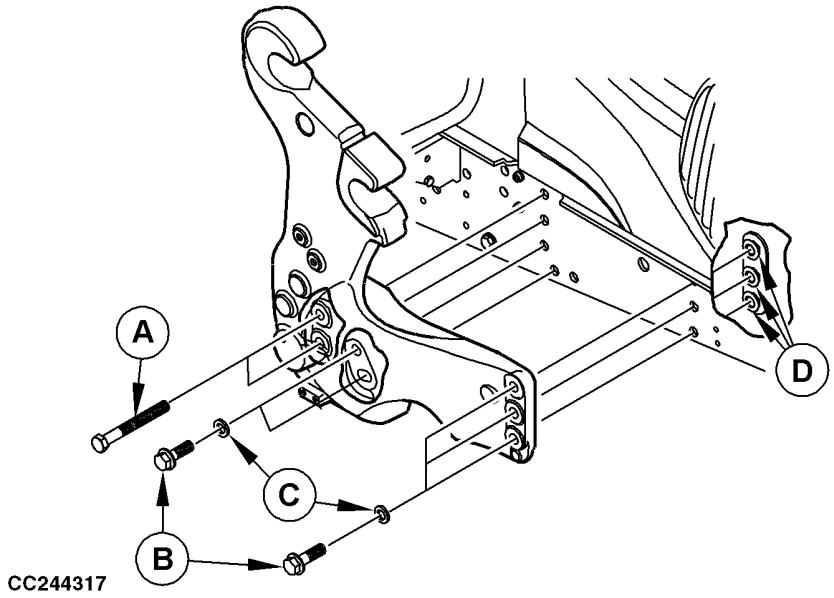


LX665248—UN—23JUN25

例： フロントローダージョイスティックのロック

80D,oulxa64,1750679636006-40-24JUN25

ローダー 620R/623R 用フロントローダー取り付けフレーム



CC244317—UN—04JUN15

John Deere 製フロントローダー取り付けフレーム用金具					
項目	名称	標準	寸法	識別/等級	コーティング
(A)	フランジ付き ボルト	JDS121	M20 x 2.5 x 160	10.9	亜鉛
(B)	フランジ付き ボルト	JDS121	M20 x 2.5 x 70	10.9	亜鉛
(D)	フランジ付き 六角ナット	ISO4161	M20 x 2.5	10	亜鉛

John Deere 製フロントローダー取り付けフレーム用金具							
項目	名称	標準	内径	外径	厚さ	材料	コーティング
(C)	ウォッシャー	JDS130	21.4 mm (0.9 in)	42 mm (1.5 in)	5 mm (0.1 in)	300HV	亜鉛

重要： John Deere が点検および認定したフロントローダーを購入できます。

John Deere フロントローダー取り付けフレームを取り付けるときは、上図に示す適切な取り付け要素のみを使用してください。

取り付けねじのトルクを定期的に点検してください。フロントローダー整備の取扱説明書と取り付け説明書に従ってください。

項目	測定	仕様
フランジ付きボルト	トルク	620 N·m (457 lb·ft)

LX25458,ALL,0000A41-40-18JUN25

フロントローダー - 油圧クイックリリース (装備されている場合)



LX364288—UN—20FEB19

フロントローダーの作業機を変更するときにロックおよびロック解除するには、ボタン (A) を押します。

注記： 詳しくは、フロントローダーの取扱説明書を参照してください。

OULXA64,6M,0005648-40-28AUG23

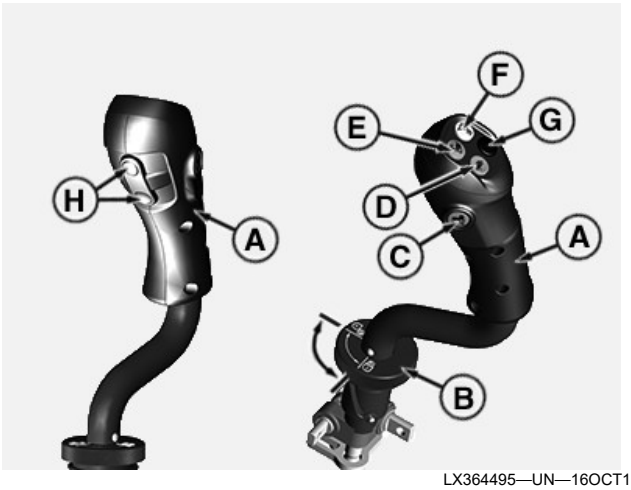
フロントローダー - エンジン回転数がリフト機能に与える影響

エンジン回転数を上げることにより、フロントローダーのリフト機能が改善します。アクセルレバーを使用して、必要な最低エンジン回転数を設定します。

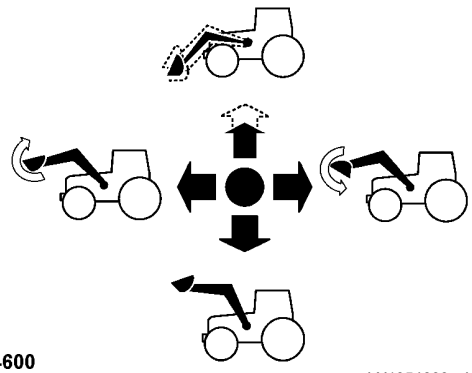
LX25458,0000A43-40-19JUN23

機械式ジョイスティック (工場取り付け) – コントロール

注意： フロントローダーを使用しない場合は、ジョイスティックをロックする必要があります。それには、ロックリング (B) を回して、ジョイスティックを動かせないことを確認してください。そうしないとトラクターが動いている間にフロントローダーが誤って作動し、重大事故につながるおそれがあります。



LX364495—UN—16OCT19



LX1054600

LX1054600—UN—10OCT11

A：**ジョイスティック**
B：**ロックリング (トランスポートロック)**
C：**ボタン、移動の方向の変更**
D：**ギヤシフトボタン、シフトダウン**
E：**ギヤシフトボタン、シフトアップ**
F：**ローダーサスペンションシステムの起動ボタン**[1]
G：**ボタン、作業機の切換弁の起動**[1]
H：**ロッカースイッチ、追加制御弁の収縮 / 伸長**[1]

注記： 図に示すジョイスティックはオプションのコントロールを備えています。

基本機能：

- ロッキングリングを右に回す = ロック
- ロッキングリングを左に回す = ロック解除
- レバーをリア側に動かす = フロントローダー上昇
- レバーを抵抗を感じるまでフロント側に動かす = フロントローダー下降
- レバーを抵抗を感じる位置の先まで前に動かす (戻り止め) = フロントローダーをフロート位置へ
- レバーを左に動かす = バケットロールバック
- レバーを右に動かす = バケットが傾斜して下がる

詳細機能とプログラミング：

ジョイスティック (A) を使用すると、2 台の選択制御弁を同時に作動させることができます。

第 3 の制御弁をロッカースイッチ (H) で起動して、追加機能を制御できます。

ボタン (C) を押すと、移動の方向が変わります。

ローダーサスペンションシステムはボタン (F) でオンとオフを切り替えます。ローダーサスペンションシステムをオンにすると、ボタン (F) の LED が点灯します。

ギヤシフトボタン (D) と (E) を使用すると、トランスミッションのギヤをシフトできます。*CommandQuad™ PLUS トランスミッション搭載のトラクターでは、トランスミッションをグループ A、B、C、または D で操作している場合のみ、ギヤを切り替えることができます。*

[1] *装備されている場合*

ローダーサスペンションシステムの起動と解除 (装備されている場合)

1. ボタン (F) を押しながら、イグニッションをオンにします。
2. ボタンの LED が点滅し始めるまでさらに 5 秒以上ボタン (F) を押し続けます。
3. ボタンを放し、5 秒以内に再度押してプログラミングモードに入ります。
4. ローダーサスペンションシステムの現在のプログラミングは次のように示されます：

   LED 常時消灯 ► ローダーサスペンションシステムは解除されています

   LED 常時点灯 ► ローダーサスペンションシステムは起動しています
5. ボタン (F) でローダーサスペンションシステムを起動または解除します。
6. プログラミングモードを終了して設定を保存するには、ジョイスティックのいずれかのボタンを押すか、イグニッションをオフにします。

注記： ローダーサスペンションシステムは、エンジンを始動するたびにオフのままです。

作業機の切換弁の起動または解除 (装備されている場合)

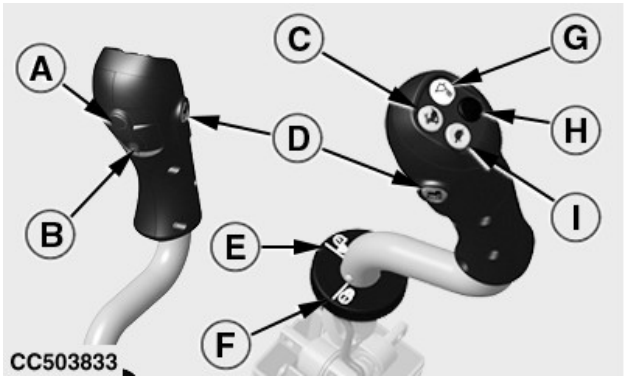
ボタン (G) を短く押して、作業機の整流弁を起動します。これにより、他の機能を制御できます。

ボタン (G) をもう一度押して、作業機の整流弁をオフにします。

注記： 詳細は、作業機の取扱説明書を参照してください。

OULXA64,6M,0005345-40-16AUG23

機械式ジョイスティック (後付け)、6M シリーズトラクター用 R シリーズローダー (MY20 ~) – コントロール



CC503833—UN—16MAR21

A：**第 3 機能**
B：**機能なし**
C：**ギアシフトアップ**

D：**後進**
E：**ロック解除位置**
F：**ロック機能**
G：**ローダーサスペンションシステム**
H：**第 4 機能**
I：**ギアシフトダウン**

意図しない動きを防止するため、ジョイスティックをニュートラル位置にロックできます。

- ジョイスティックをロックするには、ジョイスティックがニュートラル位置にあるときに、ロックを位置 (F) に回します。
- ジョイスティックをロック解除するには、ロックを位置 (E) に回します。

注記： 第 4 機能を使用するには、フロントエンド装置を必要な切換弁で装着する必要があります。

第 3 機能または第 4 機能を起動するには、次のようにします。

- 上部ロッカースイッチ (A) を押し続け、第 3 機能を選択します。
- ボタン (H) を押し続けて第 4 機能を選択します。

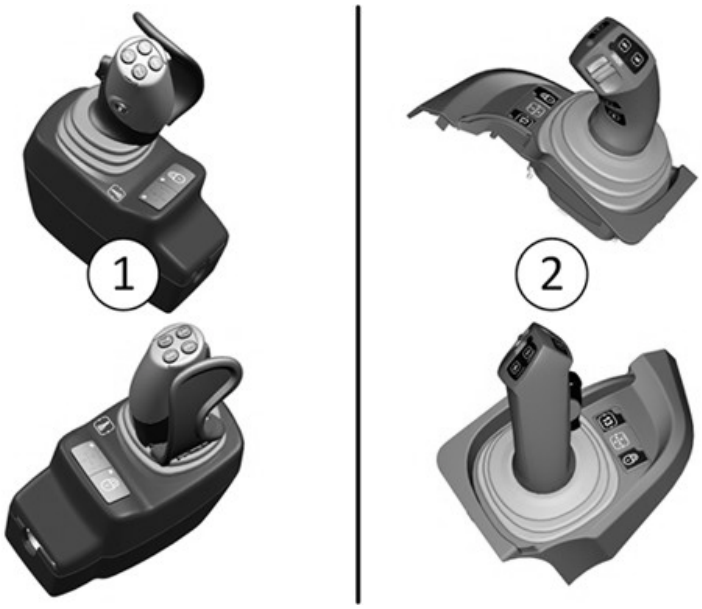
レバーを右側に押すと作業機が開き、左側に引くと作業機が閉じます。

トラクターのトランスミッションはジョイスティックで制御できます。

- ボタン (D) を押して、トラクターの走行方向を反転します。
- ボタン (C) を押してギアをシフトアップします。
- ボタン (I) を押してギアをシフトダウンします。

oulxa64,1656420189013-40-27MAR23

電気式ジョイスティック – バージョンの識別



LX514274—UN—27JUL22

ジョイスティックのバージョン

トラクターには、2 種類のバージョンのジョイスティックを装備できます。

1. バージョン (1) は、フラップの動きを通じてオペレータの手を検出します。
2. バージョン (2) は、センサーを介してオペレータの手を検出します。

oulxa64,1655899194890-40-29AUG23

電気式ジョイスティック (バージョン 1) - コントロール

注意： 致命的な事故の危険！

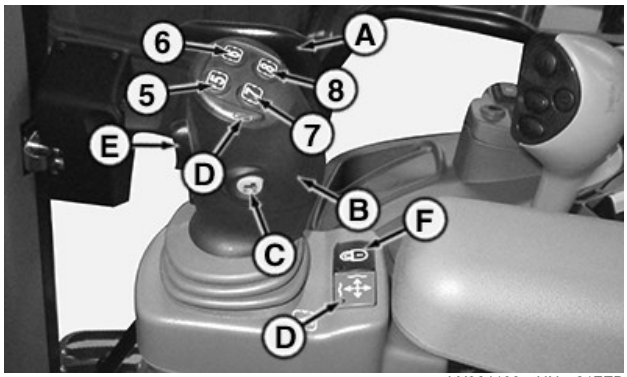
操作エラーが作業機やフロントローダーの不測の動きを引き起こす恐れがあります。

- **常に慎重に集中して作業してください。**
- **切換弁の状態に注意してください。**
- **フロントローダーを iTEC™ と共に操作しないでください。**
- **フロントローダーで作業するには、必ずローダーモードを起動してください。**

- **フロントローダーで作業中は、時限デテント位置を使用しないでください。**
- **道路を運転中にジョイスティックが不要な場合は、ロックボタン (F) でジョイスティックをロックします。ジョイスティックをロックすると、ボタン (F) が点灯します。**

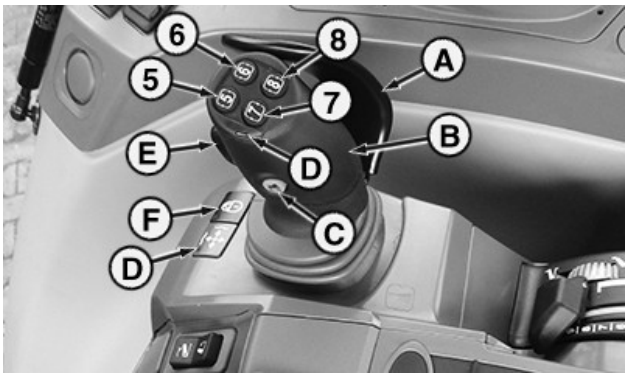
重要：**工場出荷時設定以外の既定の設定が有効な場合は、モーターを起動した後にメッセージが表示されます。このメッセージは、現在の設定に精通するようにドライバーに促します。メッセージの確認後にのみ、機能を利用できます。「コントロールのセットアップ」(セクション 30AA)を参照してください。**

ISOBUS 作業機を考慮したプリセットの場合は、必ず作業機の取扱説明書に従ってください。



LX364108—UN—21FEB19

右アームレストのジョイスティック



LX364109—UN—14NOV18

CommandARM™ のジョイスティック

5：**ギヤシフトボタン、シフトアップ**
6：**ボタン、ローダーサスペンションシステムの起動[2]**
7：**ギヤシフトボタン、シフトダウン**
8：**ボタン、切換弁[2]**
A：**ハンドフラップ、ジョイスティックの起動**
B：**ジョイスティック**
C：**ボタン、移動の方向の変更**
D：**表示灯、ジョイスティック有効**
E：**ロッカースイッチ、上昇/下降**
F：**ロックボタン、ジョイスティック ON/OFF**

重要：**シートを右にいっぱいまで回すと、右側のアームレストのジョイスティックがサイドコンソールと接触する可能性があります。シートの旋回、シート高さ、前後位置の調整を点検して、接触しないようにしてください。**

ジョイスティック (B) を使用して、右乗降ステップの後ろにある SCV[3] XI ~ XIII を操作できます。

ジョイスティック (B) を使用して、2 つの SCV を同時に操作できます。第 3 の制御弁をロッカースイッチ (E) で起動して追加機能を制御できます。

抵抗が感じられる位置 (カチッと音がする位置) を越えてロッカースイッチを動かして放すと、接続した作業機の油圧シリンダが、あらかじめ設定されたフロー時間と流量に基づいて収縮または伸長します。

ボタン (8) を押すと、作業機の切換弁が作動して追加の機能を制御できます。

注記：詳細は、作業機の取扱説明書を参照してください。

ローダーサスペンションシステムはボタン (6) でオンとオフを切り替えます。ローダーサスペンションシステムをオンにすると、ボタン (6) の LED が点灯します。

注記：ローダーサスペンションシステムは、エンジンを始動するたびにオフのままです。

ギヤシフトボタン (5) と (7) を使用すると、トランスミッションのギヤをシフトできます。

ボタン (C) を押すと、移動の方向が変わります。

ジョイスティックのロックを解除するには、ボタン (F) を押します。表示灯 (D) は、ジョイスティックを使用する準備が整っている場合は緑です。

ジョイスティックのレイアウト、機能、ロック機能について詳しくは、以下のページを参照してください。

「コントロールのセットアップ」セクション 30A も参照してください。

OULXA64,6M,000564A-40-28AUG23

電気式ジョイスティック (バージョン 1) - レイアウトと機能

注意：**フロントローダーで作業する前に、必ずローダーモードを有効にしてください。そうしないと、予期しない機能が起動するおそれがあります。「選択制御弁 (SCV)、電子制御 - ローダーモード」(セクション 70C) を参照してください。**

[2] 欧州モデルのみ

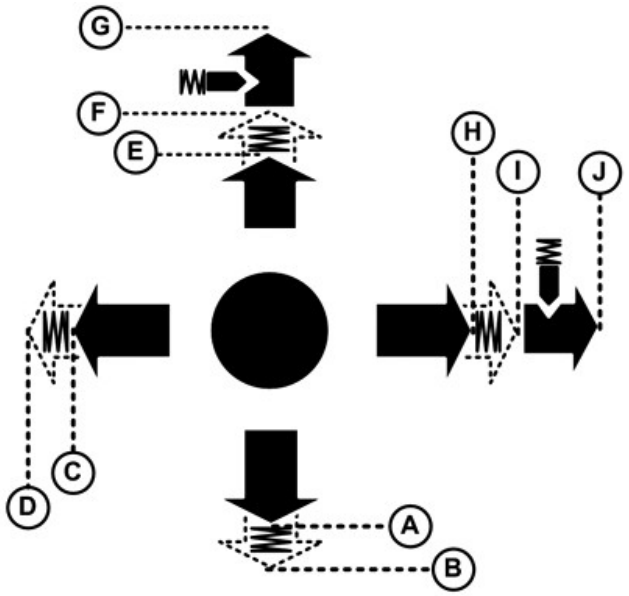
[3] 選択制御弁

重要： **レバーの前後方向と左右方向に対して、およびジョイスティックのロッカースイッチに対して、さまざまな機能を割り当てることができます。この割り当ては、「コントロールのセットアップ」ページのみで表示できます。セクション 30AA を参照してください。**

注記： オイル温度が 20°C (68°F) 未満の場合、フロントローダーの反応が鈍くなります。自動化機能はこの影響を受けることがあります。

SCV の設定については、セクション 70C を参照してください。

- 選択制御弁、電子制御 - フロー時間の設定
- 選択制御弁、電子制御 - 流量の設定
- 応答性については、「選択制御弁 (SCV)、電子制御 - 詳細設定」を参照してください。



LX341506—UN—31JUL18

A 作業機の機能が目的の速度で実行されるまで、ジョイスティックを後方に引きます。抵抗を感じる位置の先までレバーを動かさないでください。

B 抵抗を感じる位置 (クリック位置) の**先まで**ジョイスティックを後方に引き、レバーを放します。
• SCV コントロールを使用する場合：
接続した装置の油圧シリンダは、あらかじめ設定されたフロー時間と流量に従って伸長します。
• ローダーモードの場合：
ローダーモードでは、フロー時間の設定は無視されます。

C 作業機の機能が目的の速度で実行されるまで、ジョイスティックを左へ引きます。抵抗を感じる位置の先までレバーを動かさないでください。

D 抵抗を感じる位置 (クリック位置) の**先まで**ジョイスティックを左へ引き、レバーを放します。
• SCV コントロールを使用する場合：
接続した装置の油圧シリンダは、あらかじめ設定されたフロー時間と流量に従って伸長します。
• ローダーモードの場合：
ローダーモードでは、フロー時間の設定は無視されます。
ローダーモードでは、抵抗を続けて 2 回感じる位置 (クリック位置) の先までジョイスティックを左に動かし、そこに保持すると、バケットシェーク機能が有効になります。レバーがクリック位置から離れると、この機能は停止します。

E 作業機の機能が目的の速度で実行されるまで、ジョイスティックを前方に押します。抵抗を感じる位置の先までレバーを動かさないでください。

F 抵抗を感じる位置 (クリック位置) の**先まで**ジョイスティックを前方に押し、レバーを放します。
• SCV コントロールを使用する場合：
接続した装置の油圧シリンダは、あらかじめ設定されたフロー時間と流量に従って収縮します。
• ローダーモードの場合：
ローダーモードでは、フロー時間の設定は無視されます。

G ジョイスティックを前方いっぱいまで押し、デテント位置に入れてフロート位置を有効にします。レバーは手で引き戻すまで戻り止め位置に留まります。

H 作業機の機能が目的の速度で実行されるまで、ジョイスティックを右へ引きます。抵抗を感じる位置の先までレバーを動かさないでください。

I 抵抗を感じる位置 (クリック位置) の**先まで**ジョイスティックを右へ引き、レバーを放します。
• SCV コントロールを使用する場合：
接続した装置の油圧シリンダは、あらかじめ設定されたフロー時間と流量に従って収縮します。
• ローダーモードの場合：
ローダーモードでは、フロー時間の設定は無視されます。
ローダーモードでは、抵抗を続けて 2 回感じる位置 (クリック位置) の先までジョイスティックを右に動かし、そこに保持すると、バケットシェーク機能が有効になります。レバーがクリック位置から離れると、この機能は停止します。

J ジョイスティックを右いっぱいまで動かし、デテント位置に入れてフロート位置を有効にします。レバーは手で引き戻すまで戻り止め位置に留まります。

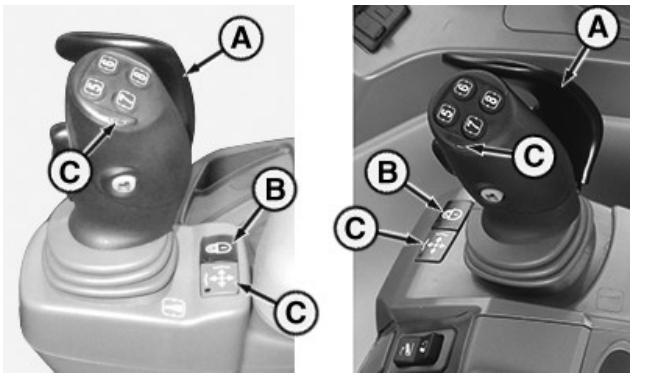
OULXA64,6M,000564B-40-28AUG23

電気式ジョイスティック (バージョン 1) - ロック機能 (トランスポートロック)

注意： 作業機やトラクター部品の予期しない動きによる致命的なけがの危険があります。

不適切な操作や誤ってトリガーされた機能により、生命を脅かす状況が発生することがあります。

道路走行時およびジョイスティックが不要な場合は、ロックボタン (B) を使用してジョイスティックの機能を無効にしてください。機能が無効になると、ボタン (B) の表示灯が点灯します。



LX364289—UN—21FEB19

CommandARM™ なし/CommandARM™ 付き

A：**ジョイスティック起動用のハンドフラップ**
B：**ロックボタン、ジョイスティック ON/OFF**
C：**表示灯、ジョイスティックのロック解除**

ロックボタン (B) は、ジョイスティックのすべてのフロントローダー機能をロックまたはロック解除します。トランスミッションの機能 (オレンジ色のボタン) は阻止から除外されます。

ロックボタン (B) の表示灯が点灯しているときは、ジョイスティックがロックされています。

表示灯 (C) が点灯していると、ジョイスティックはロック解除されています。

トラクターを再始動するたびに、ジョイスティックがロックされたままになります。

ハンドフラップ (A) により、ジョイスティックが偶発的に作動することを防ぎます。ハンドフラップが (オペレータの手で) 開かれている間は、レバーが機能します。オペレータの手がハンドフラップに置かれた後、フロントローダーが機能しない場合は、ハンドフラップが開いていたときにレバーが中央デテント位置になかったことが原因の可能性があります。レバーを中央デテント位置に戻してシステムを有効化します。

レバーをニュートラル位置に 10 分以上保持すると、油圧機能がロックアウトされます。このロックをリセットするには、手をハンドフラップから離します。故障 (システムの一部が機能しない、エラーになるなど) の場合は、システムを前述の手順で完全に、または部分的に再起動することもできます。

注記： 寒冷気候では、しばらくの間ローダーが作動しない場合があります。作動油の温度が 0°C (32°F) を下回ると、伸縮式アーム/バケット/グラブバルブのステッピングモーターの作動がゆっくりになります。温度が -25°C (-13°F) を下回ると、機能は完全に停止します。フロントローダー機能をいくつか作動させてシステムをウォームアップしてください。

注記： ジョイスティックをロックしても、ギヤシフト機能 (オレンジ色のボタン) はアクティブのままです。

OULXA64,6M,000564C-40-28AUG23

電気式ジョイスティック (バージョン 2) - コントロール

注意： 致命的な事故の危険！

操作エラーが作業機やフロントローダーの不測の動きを引き起こす恐れがあります。

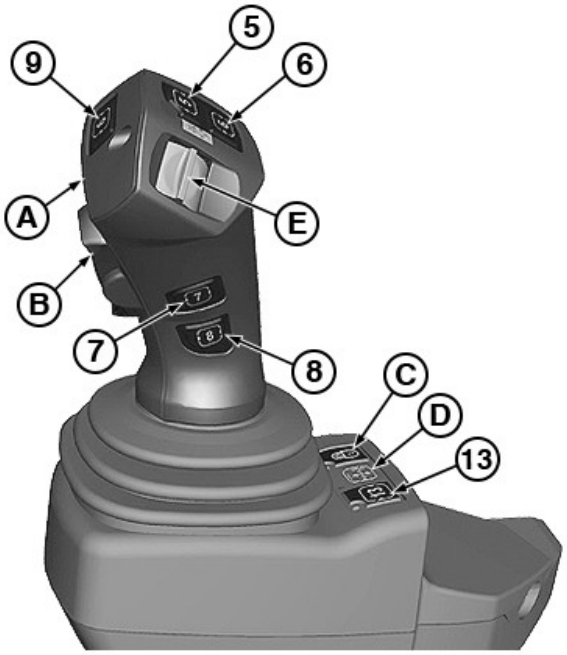
- **常に慎重に集中して作業してください。**
- **道路を運転するときや、コントロールを使用しないときは、必ずトランスポートロックを作動させてください。これは、ジョイスティック、ヒッチおよび SCV のコントロール等に適用されます。[4].**
- **フロントローダーと iTEC™ を同時に使用しないでください。**

重要： シートが右側にいっぱいまで旋回させた位置にある場合は、右アームレストのジョイスティックがサイドコンソールに接触する可能性があります。シートの旋回、シート高さ、前後位置の調整を点検して、接触しないようにしてください。

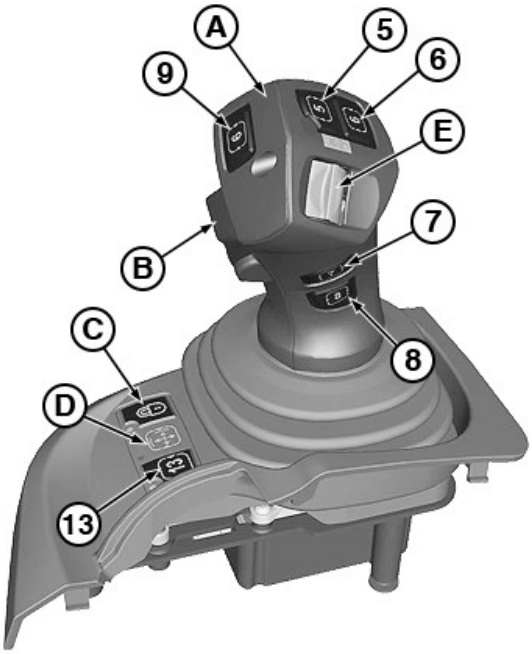
ボタン (C) でジョイスティックをロック解除すると、次の機能が有効になります：

- ボタン (5) ~ (9)
- ロッカースイッチ (B)
- 動きの軸

[4] 選択制御弁



LX373058—UN—28APR21
右アームレストのジョイスティック



LX373059—UN—28APR21
CommandARM™ の電気式ジョイスティック

5：**ギヤシフトボタン、シフトアップ**
6：**ギヤシフトボタン、シフトダウン**
7：**切換弁 1 用ボタン**
8：**切換弁 2 用ボタン**
9：**エラーメッセージが表示された後、有効化モードでのみ使用されます**
13：**ローダーサスペンションシステムの起動ボタン**

A：**ジョイスティック**
B：**上昇/下降ロッカースイッチ**
C：**ロックボタン、ジョイスティック ON/OFF**
D：**表示灯、ジョイスティック有効**
E：**移動の方向の変更用ロッカースイッチ**

ジョイスティック (A) を使用して、2 つの SCV[5] を同時に操作できます。ロッカースイッチ (B) により追加の SCV を操作できます。抵抗が感じられる位置 (クリック位置) を越えてロッカースイッチを動かして放すと、接続されている油圧シリンダが収縮または伸長します。

シフトアップおよびシフトダウン機能をギヤシフトボタン (5) と (6) に割り当てます。これは、以下のトランスミッションのみに適用されます。

- AutoQuad™ PLUS トランスミッション
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション
- ダイレクトドライブトランスミッション

注記： エンジンを停止すると、ローダーサスペンションシステムは無効になります。必要に応じて、エンジンを再始動した後にローダーサスペンションシステムを起動します。

詳しくは、セクション 30A の「コントロールのセットアップ」を参照してください。

oulxa64,1655900941527-40-28AUG23

電気式ジョイスティック (バージョン 2) - ハンドプレゼンス検出システム

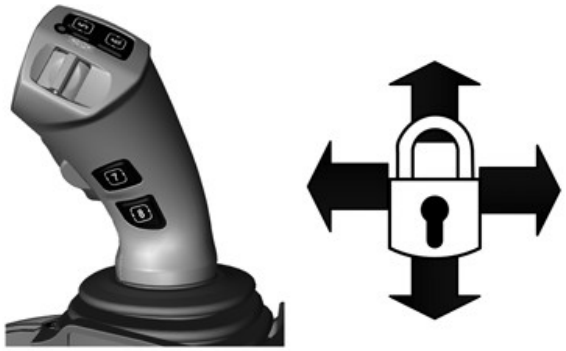


LX514242—UN—02FEB22
ハンドプレゼンス検出システムは、ジョイスティックがオペレータの手を検出した場合にのみ機能を起動します。ジョイスティックの軸に割り当てられている一部の機能は、ハンドプレゼンスが検出された場合にのみ使用できます。オペレータの手が検出されると、緑の LED が点灯します。

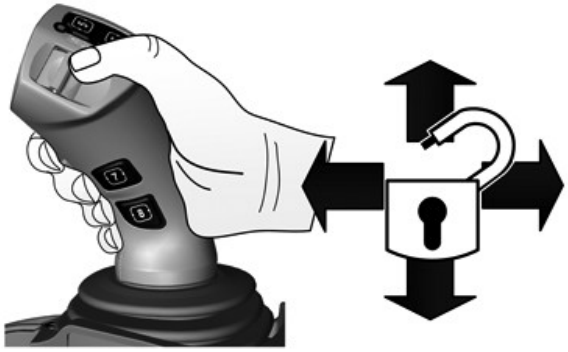
注記： ジョイスティックの軸は、オペレータの手がジョイスティックで検出されるまでロックされたままです。ハンドプレゼンス検出システムの操作が可能になるのは、ジョイスティックを手で完全につかんだ場合のみです。

[5] 選択制御弁

機能を起動するには、ジョイスティックをニュートラル位置にする必要があります。手が検出されるとすぐに、緑の LED が点灯します。



LX514066—UN—27AUG21
ジョイスティック軸の機能が無効



LX514067—UN—27AUG21
ジョイスティック軸の機能が有効

例外：

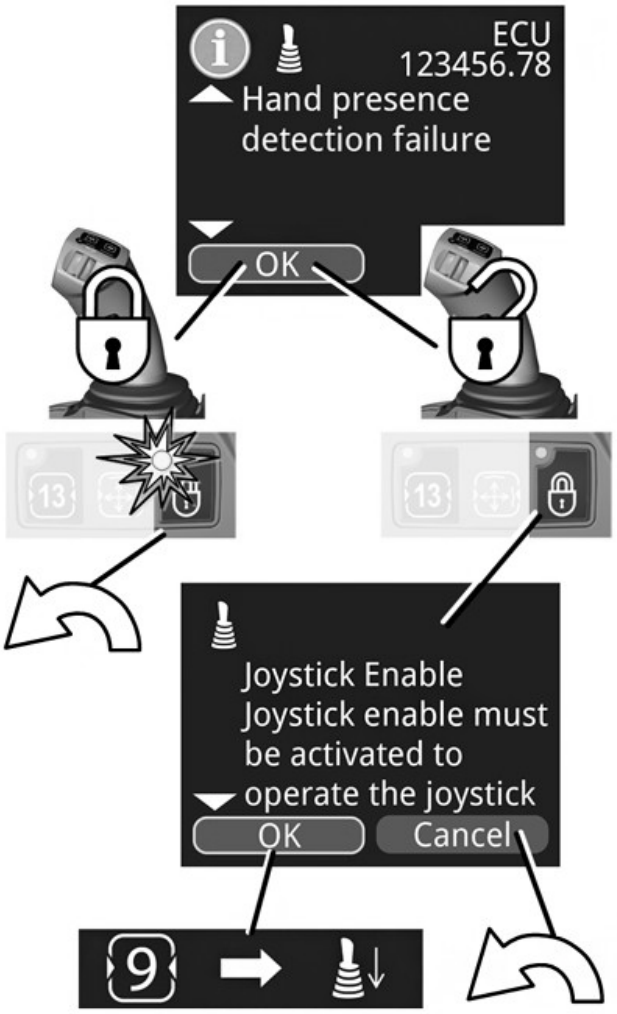
- トランスポートロックが有効 (ロックボタンの横の LED が ON) である場合、この操作は無効になります。
- エラーメッセージがディスプレイに表示された場合は、このセクションの「電気ジョイスティック - ハンドプレゼンス検出システム、エラーメッセージ」を参照してください。

oulxa64,1655900413370-40-28AUG23

電気式ジョイスティック (バージョン 2) - ハンドプレゼンス検出システム、エラーメッセージ

システムまたはセンサーの故障により、エラーメッセージが発生します。このメッセージが表示された場合、ジョイスティックの軸の機能がロックされます。トラクターを再起動して、問題が解決しているかどうかを確認してください。解決していない場合は、下記の手順に従います。

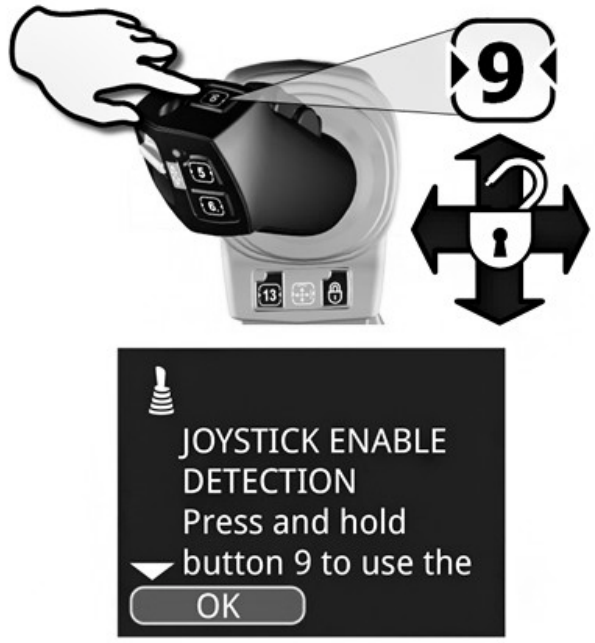
注記： オペレータは、ボタン (9) をジョイスティックを有効にするボタンとして一時的に定義することで、ロックモードをオーバーランできます。ジョイスティックの軸の機能を有効にするには、ジョイスティックの操作中にボタン (9) を押し続ける必要があります。



LX514275—UN—15JUL22

1. [OK] でエラーメッセージを確認した後、次の 2 つの反応が発生する可能性があります。
   - ジョイスティックが現在ロックされている場合、システムは前の画面に戻ります。
   - ジョイスティックが現在ロック解除されている場合、ダイアログは次のメッセージとともに続行されます。
2. [OK] を押して確定し、ジョイスティック有効化モードを起動します。ボタン [9] の現在の割り当てが変更されます。ボタン [9] でジョイスティックの軸の機能を有効にできるようになりました。

   [キャンセル] を選択すると、エラーメッセージが表示される前の画面に戻ります。この場合、ジョイスティックの軸の機能は無効のままとなります。



LX514276—UN—15JUL22

3. ジョイスティックの操作中にボタン [9] を押し続けます。これは、現在の作業を続行できる一時的な設定です。

重要： **John Deere 販売店またはその他の整備工場に、ハンドプレゼンス検出システムの点検を依頼してください。**

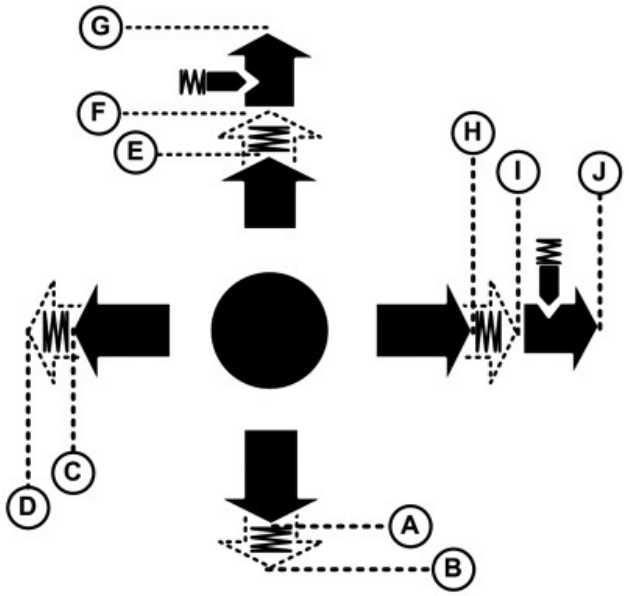
注記： ジョイスティック有効化モードを起動すると、システムは起動するたびに関連するメッセージを表示します。[OK] を押して確定し、メッセージを閉じます。

oulxa64,1655900453394-40-16JUL25

電気式ジョイスティック (バージョン 2) - レイアウトと機能

注意： **フロントローダーで作業する前に、必ずローダーモードを有効にしてください。そうしないと、予期しない機能が起動するおそれがあります。「選択制御弁 (SCV)、電子制御 - ローダーモードの起動/解除」セクション 70C を参照してください。**

注記： オイル温度が 20°C (68°F) 未満の場合、フロントローダーの反応が鈍くなります。自動化機能はこの影響を受けることがあります。



LX341506—UN—31JUL18

A 作業機の機能が目的の速度で実行されるまで、ジョイスティックを後方に引きます。抵抗を感じる位置の先までレバーを動かさないでください。

B 抵抗を感じる位置 (クリック位置) の**先まで**ジョイスティックを後方に引き、レバーを放します。
• SCV コントロールを使用する場合：
接続した装置の油圧シリンダは、あらかじめ設定されたフロー時間と流量に従って伸長します。
• ローダーモードの場合：
ローダーモードでは、フロー時間の設定は無視されます。

C 作業機の機能が目的の速度で実行されるまで、ジョイスティックを左へ動かします。抵抗を感じる位置の先までレバーを動かさないでください。

D 抵抗を感じる位置 (クリック位置) の**先まで**ジョイスティックを左へ動かし、ジョイスティックを放します。
• SCV コントロールを使用する場合：
接続した装置の油圧シリンダは、あらかじめ設定されたフロー時間と流量に従って伸長します。
• ローダーモードの場合：
ローダーモードでは、フロー時間の設定は無視されます。
ローダーモードでは、抵抗を続けて 2 回感じる位置 (クリック位置) の先までジョイスティックを左に動かし、そこに保持すると、バケットシェーク機能が有効になります。レバーがクリック位置から離れると、この機能は停止します。

E 作業機の機能が目的の速度で実行されるまで、ジョイスティックを前方に押します。抵抗を感じる位置の先までレバーを動かさないでください。

F 抵抗を感じる位置 (クリック位置) の**先まで**ジョイスティックを前方に押し、レバーを放します。
• SCV コントロールを使用する場合：
接続した装置の油圧シリンダは、あらかじめ設定されたフロー時間と流量に従って収縮します。
• ローダーモードの場合：
ローダーモードでは、フロー時間の設定は無視されます。

G ジョイスティックを前方いっぱいまで押し、デテント位置に入れてフロート位置を起動します。レバーは手で引き戻すまで戻り止め位置に留まります。

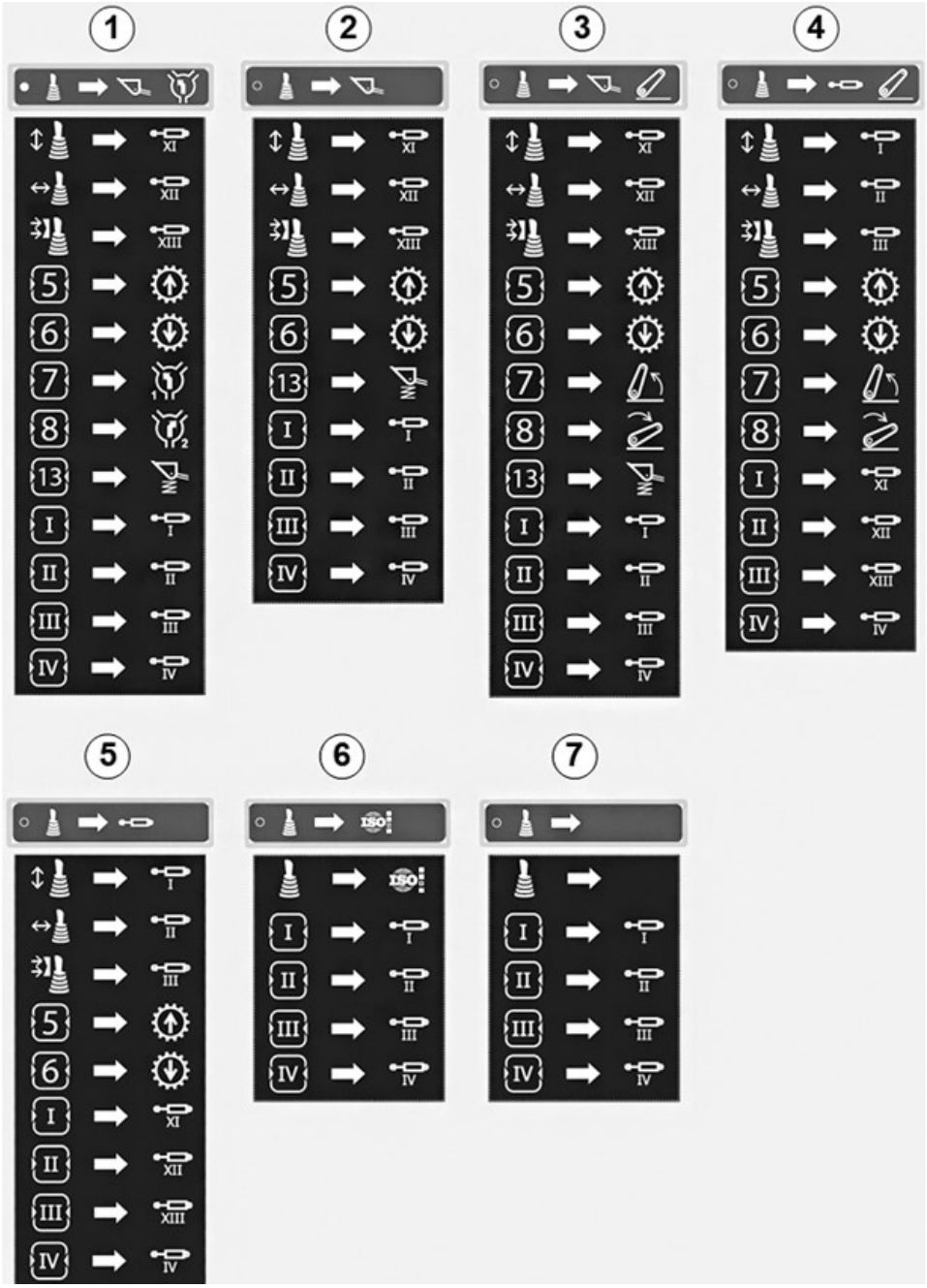
H 作業機の機能が目的の速度で実行されるまで、ジョイスティックを右へ動かします。抵抗を感じる位置の先までレバーを動かさないでください。

I 抵抗を感じる位置 (クリック位置) の**先まで**ジョイスティックを右へ動かし、ジョイスティックを放します。
• SCV コントロールを使用する場合：
接続した装置の油圧シリンダは、あらかじめ設定されたフロー時間と流量に従って収縮します。
• ローダーモードの場合：
ローダーモードでは、フロー時間の設定は無視されます。
ローダーモードでは、抵抗を続けて 2 回感じる位置 (クリック位置) の先までジョイスティックを右に動かし、そこに保持すると、バケットシェーク機能が有効になります。レバーがクリック位置から離れると、この機能は停止します。

J ジョイスティックを右いっぱいまで動かし、噛み合わせてフロート位置を起動します。レバーは手で引き戻すまで戻り止め位置に留まります。

oulxa64,1655900510473-40-28AUG23

電気式ジョイスティック (バージョン 2) – 使用可能なプリセット



LX514277—UN—27JUL22

使用可能なプリセット

使用可能なプリセット/電気式ジョイスティック (バージョン 2)						
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
ミッド E-SCV	ミッド E-SCV	ミッド E-SCV	リア E-SCV	リア E-SCV	ISOBUS AUX コントロール	未割当
切換弁あり	切換弁なし	リアヒッチ	リアヒッチ	リアヒッチコントロールなし		
トラクターの構成に応じた 7 つのプリセットがあり、そのうち 4 つのみを使用できます。使用可能なすべての機能が図に示されていますが、ディスプレイには実際に存在する機能のみが表示されます。						

oulxber,1658847058655-40-28AUG23

電気式ジョイスティック (バージョン 2) - ロック機能 (トランスポートロック)

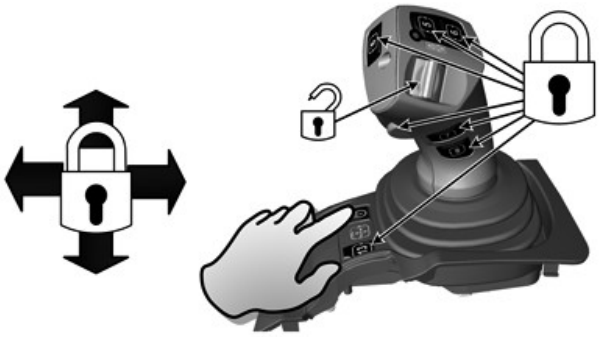
注意： **生命を脅かすけがをする重大な事故。**

ジョイスティックの意図しない操作により、ローダーやフロント作業機の危険な反応が起こります。

ジョイスティックを使用しない場合は、必ずトランスポートロックボタンを押してジョイスティックをロックしてください。トランスポートロックボタンの LED が点灯している必要があります。

ジョイスティックのロック：

トランスポートロックボタンを押して、ボタン [5]、[6]、[7]、[8]、[9]、[13]、ロッカースイッチ、ジョイスティックの軸の機能を無効にします。



LX514062—UN—02SEP21



LX514063—UN—27AUG21

トランスポートロック有効

注記： トランスポートロックが有効な場合、移動方向を変更するボタンは操作可能なままです。

トランスポートロックが ON の場合、ロックボタンの表示灯 LED が点灯します。

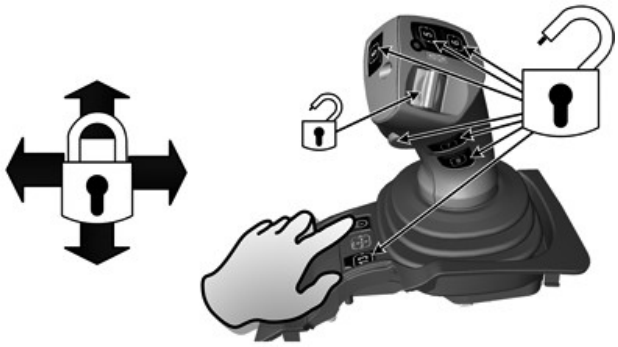


LX514072—UN—02SEP21

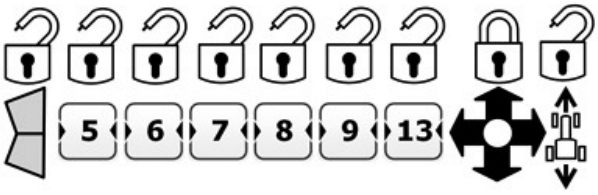
トランスポートロック有効

ジョイスティックのロック解除：

トランスポートロックボタンを再度押してジョイスティックのロックを解除します。ボタン [5]、[6]、[7]、[8]、[9]、[13]、およびロッカースイッチは有効です。ジョイスティック軸の機能は、オペレータの手がシステムによって検出されない限り、無効なままです。



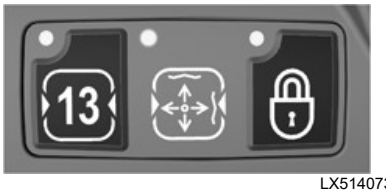
LX514064—UN—02SEP21



LX514065—UN—27AUG21

トランスポートロックがオフの状態

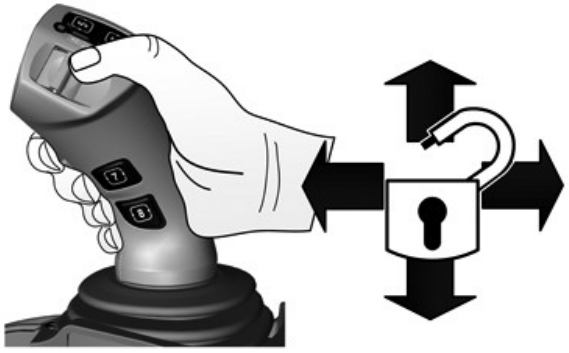
トランスポートロックを OFF にした場合、ロックボタンの表示灯 LED は OFF です。



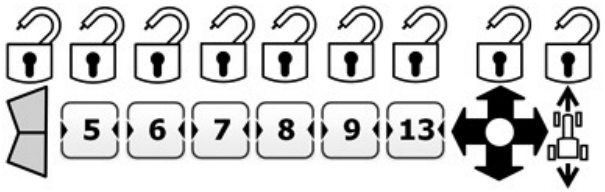
LX514073—UN—02SEP21

すべての *LED* が消灯した状態

手の検出：



LX514067—UN—27AUG21



LX514075—UN—02SEP21

手を検出した状態

ハンドプレゼンス検出システムは、オペレータがジョイスティックを完全につかんだときにジョイスティックの軸を起動します。ジョイスティックが起動するには、ニュートラル位置にある必要があります。

ジョイスティックで手が検出されると、ハンドプレゼンス検出システムの表示灯 LED が ON になります。



LX514074—UN—02SEP21

手を検出、*LED* オン

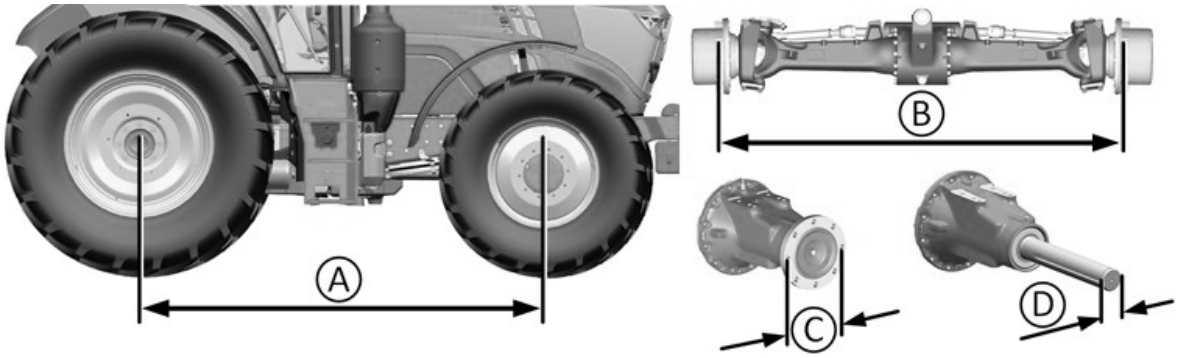
注記： システムまたはセンサーの故障により、エラーメッセージが生成されます。メッセージが表示された場合、ジョイスティックの機能は無効になります。この場合は、このセクションの「電気式ジョイスティック — ハンドプレゼンス検出システム、エラーメッセージ」を参照してください。

トラクターを再始動するたびに、ジョイスティックがロックされたままになります。

寒冷気候では、しばらくの間ローダーが作動しない場合があります。作動油の温度が 0°C (32°F) を下回ると、伸縮式アーム/バケット/グラブバルブのステッピングモーターの作動がゆっくりになります。温度が -25°C (-13°F) を下回ると、機能は完全に停止します。フロントローダー機能をいくつか作動させてシステムをウォームアップしてください。

oulxa64,1655900559686-40-28AUG23

トラクターモデルと対応する車軸 - 概要、6M トラクター、キャブ付き (MY20 ~)



LX521931—UN—08APR22

A：ホイールベース
B：フランジ間の幅
C：フランジ付き車軸、ボルト中心径
D：ラックアンドピニオン車軸、シャフト径

トラクター					フロントアクスル	リア車軸			
モデル	フレームバージョン	エンジン	単位	(A) 軸距 (WB)	(B) フランジ間の幅	(C) フランジ付き車軸、ボルト中心径		(D) ラックアンドピニオン車軸、シャフト径	
6090M	MC	4 気筒	mm (in)	2400 (94.5)	1680 (66.1)	203 (8.0)	275 (10.8)	79 (3.1)	86 (3.4)
6100M	MC	4 気筒	mm (in)	2400 (94.5)	1680 (66.1)	203 (8.0)	275 (10.8)	79 (3.1)	86 (3.4)
6110M	MC	4 気筒	mm (in)	2400 (94.5)	1680 (66.1)	203 (8.0)	275 (10.8)	79 (3.1)	86 (3.4)
6120M	MC	4 気筒	mm (in)	2400 (94.5)	1680 (66.1)	203 (8.0)	275 (10.8)	79 (3.1)	86 (3.4)
6110M	MX	4 気筒	mm (in)	2580 (101.6)	1680 (66.1)	203 (8.0)	275 (10.8)	79 (3.1)	86, (3.4)
6125M	MX	4 気筒	mm (in)	2580 (101.6)	1680 (66.1)	203 (8.0)	275 (10.8)	79 (3.1)	86, (3.4)
6130M	MX	4 気筒	mm (in)	2580 (101.6)	1680 (66.1)	203 (8.0)	275 (10.8)	79 (3.1)	86, (3.4)
6140M	MX	4 気筒	mm (in)	2580 (101.6)	1680 (66.1)	203 (8.0)	275 (10.8)	79 (3.1)	86, (3.4)
6140M	MM	6 気筒	mm (in)	2765 (108.8)	1940 (76.4)	—	275 (10.8)	—	92 (3.6)
6145M	MM	4 気筒	mm (in)	2765 (108.8)	1940 (76.4)	—	275 (10.8)	—	92 (3.6)
6155M	MW	6 気筒	mm (in)	2765 (108.8)	1940 (76.4)	—	275 (10.8)	—	92 (3.6)
6155MH	MW	6 気筒	mm (in)	2765 (108.8)	1940 (76.4)	—	275 (10.8)	—	92 (3.6)
6175M	MR	6 気筒	mm (in)	2800 (110.2)	1940 (76.4)	—	275 (10.8)	—	92 (3.6)
6195M	MR	6 気筒	mm (in)	2800 (110.2)	1940 (76.4)	—	275 (10.8)	—	92 (3.6)
6210M	MR	6 気筒	mm (in)	2800 (110.2)	1940 (76.4)	—	335 (13.2)	—	100 (3.9)

OULXA64,00061D7-40-06MAR25

タイヤとホイール - 序文

操作説明に記載されているホイール、タイヤ、ゲージを取り付けることができます。

一部の地域では、すべてのタイヤを使用できない場合があります。

表示されているタイヤは、お使いのトラクターのモデルと互換性がない場合があります。

販売パンフレットの現在の版はその時点で信頼できます。

80,ALL,LX25458,0000A46-40-17SEP24

一般的なホイール、タイヤ、トレッドのガイドライン

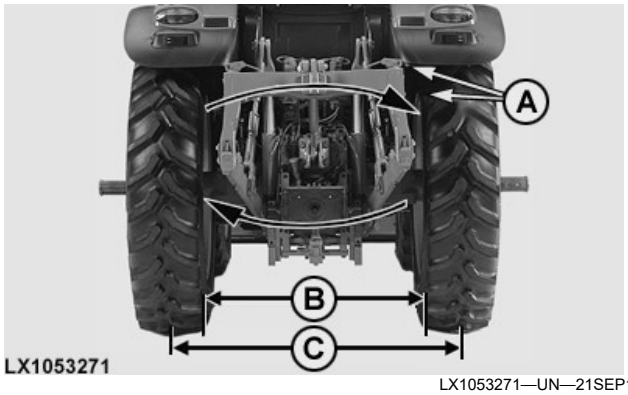
注意： けがをしたり、トラクターが不安定にならないようにしてください。トレッド幅が 1524 mm (60 in) 未満のシングルタイヤのトラクターを絶対に運転しないでください。

重要： 重荷重を牽引する場合は、シングルタイヤ間で 2800 mm (110 in) を超えないでください。

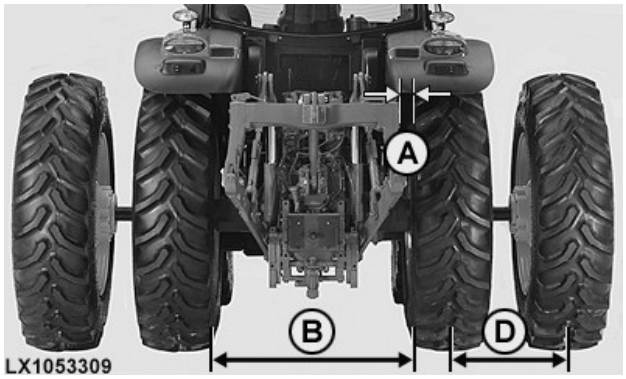
重要： タイヤをドラフトリンクやリフトリンクに接触させないでください。牽引リンクのフロント側の穴にリフトリンクを取り付けることにより、リフトリンクとタイヤの間隔を広げることができます。

ドラフトリンクを上げるときは (作業機を取り付けていない場合でも)、油圧式または機械式スタビライザバーを固定する必要があります。

これらすべての手段を講じてもドラフトリンクやリフトリンクと接触する場合は、トレッド幅を増やしてください。



LX1053271—UN—21SEP11



LX1053309—UN—20SEP11

A：**内側のホイールとフェンダーの間隔**
B：**駆動ホイールの内側間の間隔**
C：**タイヤ中心線間の最小間隔**
D：**デュアルタイヤの中心線間の最小間隔**

ホイールを車軸の反対側に取り付け、リムの位置を変更することにより設定範囲を広げることができます。タイヤをトラクターの反対側に移動する際は、タイヤの回転方向を確認してください。

重要： タイヤとフェンダーとの間隔 (A) は 25 mm (1 in) 以上確保する必要があります。スノーチェーンをタイヤに取り付ける場合、タイヤからフェンダー (側壁からフェンダー、および走行面からフェンダー) までの距離は 100 mm (3.94 in) 以上である必要があります。

各タイヤをトラクターの中心線から等しい位置にした状態で、タイヤ間の間隔 (B) は 1070 mm (42 in) 以上にする必要があります。

トレッド設定を最小にすることにより、燃料タンクとフェンダーの十分な間隔を得ることができます。

タイヤの中心線間の最小間隔 (C) は 1524 mm (60 in) に維持する必要があります。

作業機とリアタイヤ間に十分な間隔があることを点検してください。

同じ車軸にラジアルタイヤとバイアスタイヤを混ぜないでください。

同じ車軸に取り付けられたデュアルタイヤは、内側に取り付けられたタイヤの空気圧を超えてはなりません。

鋳鉄ホイールを装着しているトラクターでは、スチールディスク付きホイールを外側に取り付ける必要があります。このセクション / グループの「ホイールの使用 (簡易取り付け)」も参照してください。

ラジアルタイヤの空気圧を上げすぎると、機械性能が低下します。適切な空気圧にすると、牽引性能が最適になります。

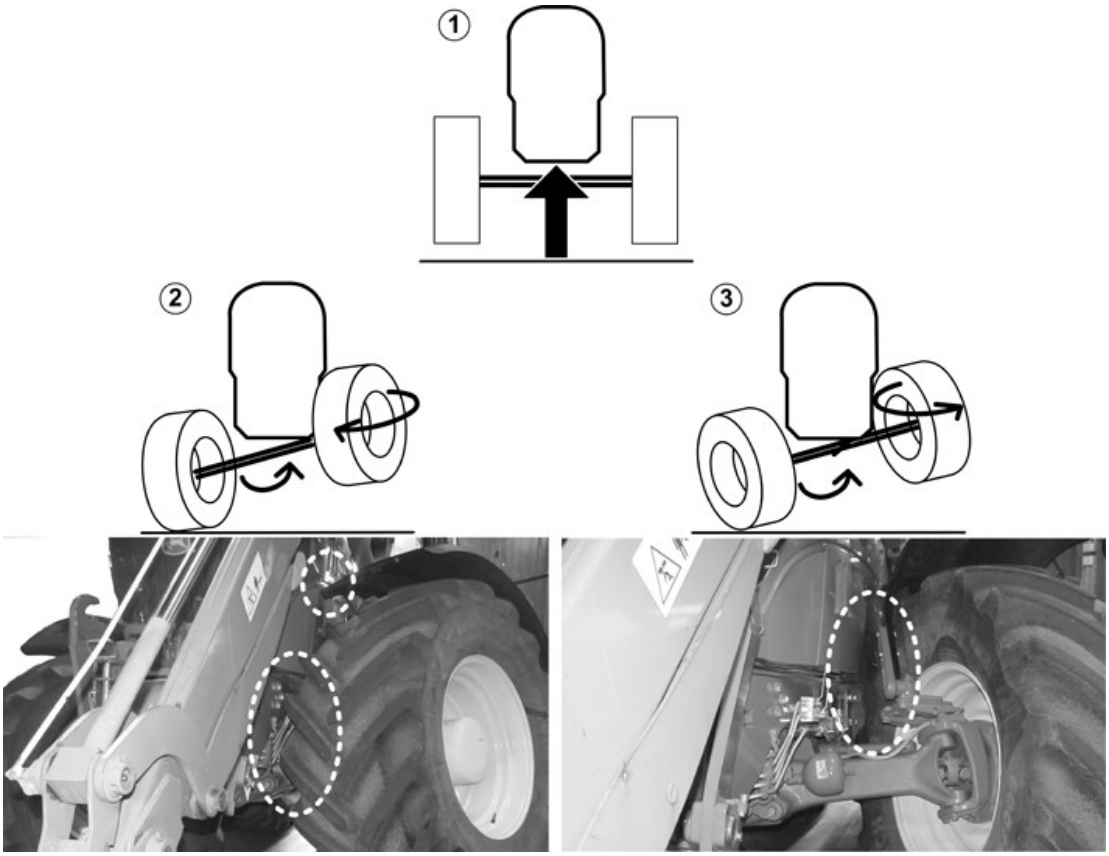
「タイヤとリムの関連付け」に関する最小ホイール間隔 (D)。トレッドはタイヤの中心間で測定します。

タイヤ幅	間隔 (D)
480 mm (18.4 in)	626 mm (24.6 in)

「タイヤとリムの関連付け」に関する最小ホイール間隔 (D)。トレッドはタイヤの中心間で測定します。	
520 mm (20.8 in)	670 mm (26.4 in)
620 mm (24.5 in)	801 mm (31.5 in)
650 mm (25.5 in)	825 mm (32.5 in)
710 mm (28.0 in)	910 mm (35.8 in)

OULXA64,6M,ALL,000564E-40-05MAY22

前輪またはフェンダーとトラクター部品の接触の防止



LX245295—UN—09JUL15

重要： **ホイール、トレッド幅、ステアリングストップなどを変更したら、ホイールやフェンダーがトラクターの部品と接触しないことを確認する必要があります。これは、トラクター前部に追加の装置を後付けした場合にも当てはまります。**

以下のテストを慎重に実行します。接触すると、損傷することがあります。

注意： **テスト中はエンジンを始動しないでください。モーターアシストなしでステアリングを操作します。**

1. 車軸をストップまで前後に旋回させることができるようにトラクターの前部をジャッキアップします。
2. 車軸を左いっぱいまで旋回させて、ステアリングを右いっぱいまで回します。トラクター部品に対するホイールとフェンダーの隙間を点検します。
3. ステアリングホイールを左いっぱいまで回します。トラクター部品に対するホイールとフェンダーの隙間を点検します。
4. 軸を右に旋回させて、手順を繰り返します。

重要： **接触しないように、ステアリングストップを調整して十分な隙間を維持します。以下の該当するフロントアクスルの「ステアリングストップの調整に関する注意事項」と「ピボットフェンダーとステアリングストップの調整」を参照してください。**

- **(セクション 80B) を参照してください。**
- **タイヤ情報に関する関する付属書、グループ 40**

負荷がかかって隙間が減ることがあるため、ステアリングストップを近すぎる設定にしないでください。

ステアリングストップを深さ 10 mm (0.4 in) 以上ねじ込むことができることを確認する必要があります。

注記： 作業条件で許される場合は、トレッド幅を広くしてトラクター部品との接触を回避できます。

LX25458,ALL,0000A48-40-29APR22

異なるタイヤサイズへの変更

重要： 異なるタイヤサイズへの変更は、トラクターに許可されている場合のみ可能です。

1.5 ~ 4% の正の前輪リードを得るには、前輪と後輪のサイズ比を正確に設定します。そうしないと、タイヤが変形するか著しく摩耗します。正しいギヤ比が使用されていることを確認します。

場合によっては、新しいタイヤの組み合わせに変更するにはトラクター構成の広範な変更が必要となります。

例：

- 前輪駆動車軸出力用ギア対の変更 「前輪駆動 - 速度伝達比の変更の情報」の詳細については、修理マニュアルを確認してください。
- ステアリングバルブを交換する必要あるかどうかを確認してください。必要に応じて、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
- コントロールユニットのソフトウェアでのタイヤサイズの変更
- 新しいタイヤの組み合わせに応じてオイル点検窓を交換します。

以下のリストのすべての情報を考慮し、右欄の推奨事項に従ってください。

症状	問題	解決方法
表示速度が実際の速度よりも低いまたは高い。	車輪回転数を求めるパラメータが新しいタイヤに適合していません。	最高速度の調整が不可欠です。John Deere 販売店またはその他の整備工場によるパラメータの修正が必要です。
非常用ステアリング特性の悪化。	前輪のタイヤサイズを変更すると、必要な操舵力が増加することがあります。これは、特にモーターでアシストされていないステアリングの特性に影響を与えます。	新しいフロントタイヤを使用するために別のステアリングバルブが必要かどうかを確認してください。 不適切なステアリングバルブを使用した場合、運転ライセンスが無効になります。
レーダー使用時のエラーメッセージ。	レーダーのキャリブレーションがタイヤサイズに適合していません。	レーダーのキャリブレーションが必要です。
タイヤや前輪駆動クラッチの摩耗の増大。	前輪リードの値が悪化する場合があります。	タイヤの組み合わせを点検します。速度伝達比の変更が必要になる場合があります。

症状	問題	解決方法
ドライブトレーンに無理な力がかかることがあります。	リアアクスルとフロントアクスル間の伝達比が適合していません。	タイヤの組み合わせを点検します。速度伝達比の変更が必要になる場合があります。
タイヤがトラクター部品と接触する可能性があります。	トレッド幅やタイヤサイズを変更すると、ステアリングストップとフェンダーの再調整が必要になります。	ステアリングストップとフェンダーの調整を実施してください。
フロントタイヤの耐荷重が悪化する可能性があります。	荷重指数の小さいタイヤを使用すると、耐荷重が低下します。	いつもの作業を実施できなくなる可能性があります。
オイル点検窓に示されたオイルレベルが正しくない。	別のタイヤサイズに変更すると、リア車軸とフロント車軸の高さ比が変わる可能性があります。これがオイルレベルに影響を与えます。	オイル点検窓を交換する必要があるかどうかを確認します。
自動スイッチオフ[1]前輪駆動の が機能しません。	前輪駆動の自動接続 / 解除の最大許容解除は、タイヤの種類、トレッド幅、ステアリングストップに応じて決まり、ディスプレイで選択できる角度よりも小さく設定できます。	自動接続 / 解除の解除を設定します。該当する取扱説明書の「前輪駆動を使用する」(セクション 50A) を参照してください。

LX25458,ALL,0000A49-40-10JUL25

タイヤの組み合わせの変更

重要： **1.5 ~ 4% の正の前輪リードを得るには、前輪と後輪のサイズ比を正確に設定します。そうしないと、タイヤが変形するか著しく摩耗します。正しいギヤ比が使用されていることを確認します。**

場合によっては、新しいタイヤの組み合わせに変更するにはトラクター構成の広範な変更が必要となります。

例：

- 前輪駆動車軸出力用ギア対の変更 「*前輪駆動 - 速度伝達比の変更の情報*」の詳細については、修理マニュアルを確認してください。
- ステアリングバルブを交換する必要あるかどうかを確認してください。必要に応じて、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
- コントロールユニットのソフトウェアでのタイヤサイズの変更
- 新しいタイヤの組み合わせに応じてオイル点検窓を交換します。

注記： 計算の説明とギヤ比の変換手順については、修理マニュアルを参照してください。修理マニュアルのセクション 50A、グループ 15 (速度伝達比の変更) を参照してください。修理マニュアルのセクション 80A、グループ 15 (異なるタイヤサイズへの変更) を参照してください。

[1] *装備されている場合*

一般情報：

タイヤの SRI (速度定格指数)はトラクターの速度測定に影響します。タイヤの SRI が変化する場合は、該当するコントロールユニットで SRI 設定を確認して調整することが重要です。

***6R トラクター**： 診断マニュアルのセクション 245、グループ CCU の「CCU 085 - 取り付け後輪のタイヤ速度定格指数 (SRI)、ステータス」を参照してください。*

***6M トラクター**： 診断マニュアルのセクション 245、グループ 10B の「DCT 6266 - タイヤサイズ」を参照してください*

OULXBER,0003156-40-10JUL25

デュアルホイールの使用 (簡易取り付け)

重要： **ダブルタイヤホイールをフロント車軸に取り付けないでください。**

フロートまたは土壌圧縮緩和の目的でのみ、ダブルタイヤホイールをトラクターのリア車軸で使用できます。

圃場でのみ使用し、公道を走行する前に取り外してください。

重要： **デュアルホイールを使用する場合は、ホイールディスク補強材を取り付ける必要があります。ホイールディスク補強材付きのホイールがない場合は、一部のトラクター用の追加装置としてホイールディスク補強材を注文してください (ホイールごとにハブ 1 個を使用する場合は、ラックアンドピニオン車軸には適用されません)。**

デュアルホイールの使用時は、最大許容トレーラー荷重が制限される場合があります。該当する取扱説明書の「仕様」(セクション 500A) を参照してください。

注記： ホイールナットは定期的に規定のトルクで締め直してください。該当する取扱説明書のセクション 220C を参照してください。

デュアルホイールの利点：

- 土壌の荷重支持能力が不十分な場合は、デュアルホイールにより耕うん、運転安定性、および取り扱いが向上します。
- デュアルホイールは接地圧力を減らします。その結果、それぞれのホイールによる土壌圧縮が減ります。

デュアルホイールの短所：

- トラクションの増加により、トランスミッションとリア車軸の部品に過負荷がかかる場合があります。トレーラーの許容荷重に注意してください。デュアルホイールの使用に関する質問については、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
- デュアルホイール付きトラクターは、操縦が困難です。固い地面上で旋回すると、タイヤの摩耗が増えます。
- デュアルホイールでは個々のタイヤにかかる荷重が減少しますが、それでもメーカーが推奨するタイヤ空気圧を維持する必要があります。
- ホイールの取り付けについては、このセクションの「ホイールの安全な交換」を参照してください。

LX25458,ALL,0000A4A-40-14JUL25

タイヤの安全な整備



RXA0103438—UN—11JUN09

タイヤやリム部品の破裂は死傷事故の原因となることがあります。

適切な装置と十分な経験がない場合は、タイヤの取り付けを行わないでください。

常に正しいタイヤ空気圧を維持してください。推奨タイヤ空気圧を超えてタイヤに空気を入れないでください。決して、ホイールおよびタイヤアセンブリを溶接したり加熱したりしないでください。加熱すると空気圧が上がり、タイヤが爆発します。溶接すると、ホイールが構造的に弱くなったり、変形することがあります。

タイヤに空気を入れるときは、クリップオン式のチャックと、タイヤアセンブリの前や上ではなく片側に立つことができる程度に十分長い延長ホースを使用してください。必要に応じて安全ケージを使用してください。

ホイールを点検し、圧不足、切れ、泡、リムの損傷、ラグボルトとナットの不足がないかどうかを確認します。

ホイールとタイヤは非常に重量があります。ホイールとタイヤを取り扱うときは、安全なリフト装置を使用するか、持ち上げ、取り付け、または取り外しのアシスタントを依頼してください。

DX,WW,RIMS-40-28FEB17

ホイールの安全な交換

注意： ホイールの交換が完了するまでトラクターを操作しないでください。

後輪にホイールウエイトを使用している場合、取り外しと取り付けは John Deere 販売店またはその他の整備工場に実施を依頼する必要があります。

ホイール交換の際は、危険ゾーンに誰もいないことを確認してください。

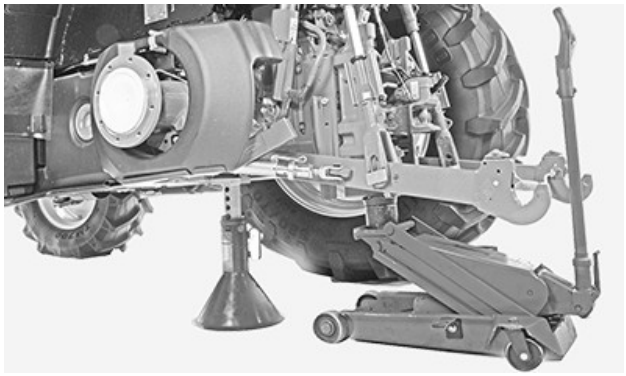
ホイールを取り外すときは、トラクターが安全に支持されていることを確認してください。

取り外したホイールを保管する場合は、倒れないようにしてください。



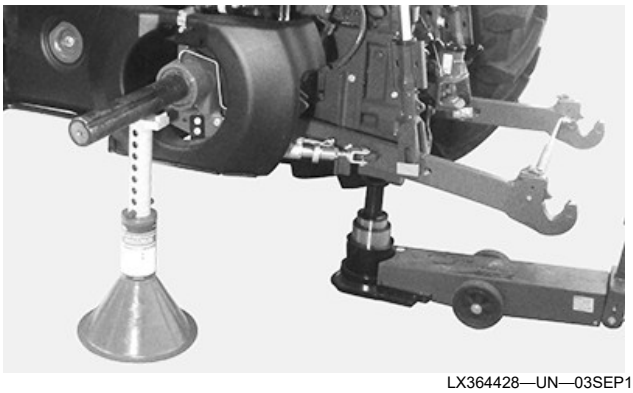
LX364426—UN—28AUG19

KJD10581 - ホイールドーリー



LX364427—UN—28AUG19

例： *JT02043* または *JT02044*



LX364428—UN—03SEP19

例： *JT02043* または *JT02044*

JT02043：**サポートスタンド、482 ~ 736 mm (19 ~ 29 in)**
JT02044：**サポートスタンド、863 ~ 1117 mm (34 ~ 44 in)**

トラクターのホイールのサイズと重量が大きいため、ホイールを交換する際は以下の点に注意してください。

- ホイールを交換する前に、トラクターを固い水平な地面に配置します。
- 駐車ブレーキロックをかけて輪止めを置き、トラクターが動くのを防ぎます。
- 許可されていない操作を防止するためにキースイッチを抜きます。
- 後輪を取り外すときは、くさびでフロントアクスルの振動を防止します。
- トラクターをジャッキアップする際は、推奨するリフトポイントのみを使用します。「トラクターのジャッキアップ - リフトポイント」
  - (セクション 210) も参照してください。
  - タイヤ情報に関する関する付属書、グループ 20
- 十分な吊上げ力を備えた、安定したジャッキを使用してください。該当する取扱説明書の「荷重と重量」(セクション 500A) を参照してください。
- ホイールが完全に地面から離れたら、トラクターのジャッキアップを止めてください。
- 特に後輪を取り外す際は、適切なホイールドリーを使用してください。特殊工具番号 KJD10581 を使用して、通常の特殊工具の注文変更を通じて入手できます。
- デュアルホイール (複車輪) の場合： 特殊工具が必要な場合があり、デュアルホイールの取り付けに関するメーカーの指示に従う必要があります。
- 適切なサポートスタンドを使用してトラクターを支持します。欧州連合の範囲内では、CE 証明のあるホイストのみが許可されています。EU の範囲外では、図に示す特殊工具を使用できます。「トラクターのジャッキアップ - リフトポイント」と「認可済み、承認済みの吊り具」
  - (セクション 210) も参照してください。
  - タイヤ情報に関する関する付属書、グループ 20
- ホイールを取り付けるときは、ボルトのトルクに注意してください。該当する取扱説明書の「ホイールボルトとホイールウエイトの締め付け」(セクション 220C)を参照してください。

OULXA64,6M,000564F-40-10JUL25

ホイールをホイールウエイト付きに交換

注意： 後輪のホイールウエイトの取り付けは、John Deere 販売店またはその他の整備工場に依頼してください。不適切な取り扱いによりけがをするおそれがあります。

LX25458,ALL,0000A4D-40-10JUL25

タイヤの組み合わせ - 調整式フロントアクスル、キャブ付き 6M トラクター (MY20 ~)

注記： タイヤメーカーの公式な表では、SRI や荷重指数などの特定のタイヤ情報をすべて確認できます。

お住まいの国で適用可能なタイヤの組み合わせについては、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

タイヤの組み合わせ - 調整式フロントアクスル、キャブ付きトラクター 6090M ~ 6155M (MY20~)							
後輪		前輪		モデル			
				MC	MX	MM	MW
サイズ	SRI	サイズ	SRI	6090M 6100M 6110M 6120M	6110M ティア 2 6125M ティア 2 6130M 6140M	6140M ティア 2 6145M	6155M
320/90R42	800	11.00-16 -F2	450	X	X	—	—
340/85R38 13.6R38	750	11.00-16 -F2	450	X	X	—	—
420/85R34 16.9R34	750	11.00-16 -F2	450	X	X	—	—
420/85R38 16.9R38	800	11.00-16 -F2	450	X	X	—	—
460/85R30 18.4R30	725	11.00-16 -F2	450	X	X	—	—
460/85R34 18.4R34	775	11.00-16 -F2	450	X	X	—	—
460/85R38 18.4R38	825	11.00-16 -F2	450	X	X	X	X

oulxa64,1734525437544-40-16JUL25

タイヤの組み合わせ - 前輪駆動車軸、キャブ付き 6M トラクター (MY20 ~)

重要：タイヤの組み合わせやタイヤメーカーを変更する場合は、速度伝達比を確認する必要があります。このセクションの「タイヤの組み合わせの変更」を参照してください。

注記：タイヤメーカーの公式な表では、SRI や荷重指数などの特定のタイヤ情報をすべて確認できます。

お住まいの国で適用可能なタイヤの組み合わせについては、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

タイヤの組み合わせ - 前輪駆動車軸、キャブ付き 6M トラクター (MY25 ~)

後輪		前輪		モデル (フレームバージョン)					
				(MC)	(MX)	(MM)	(MW)	(MW)	(MR)
サイズ	SRI	サイズ	SRI	6090M 6100M 6110M 6120M	6110M 6125M 6130M 6140M	6140M 6145M	6155M	6155MH	6175M 6195M 6210M
13.6-46 -R2	875	13.6-38 -R2	775	X	X	—	—	—	—
270/95R48	850	270/80R36	650	X	X	X	—	—	—
300/95R46	850	270/95R32	650	X	X	X	—	—	—
320/90R42	800	320/85R28 12.4R28	600	X	X	—	—	—	—
320/90R50	900	320/85R34 -R1	675	—	X	X	X	—	X
320/90R50	900	320/90R50	900	—	—	—	—	X	—
320/90R54	950	320/90R42	800	—	—	—	X	—	—
340/85R38 13.6R38	750	280/85R28 11.2R28	575	X	X	—	—	—	—
		340/85R24 13.6R24	575	X	X	—	—	—	—
380/80R38	750	320/85R28 12.4R28	600	X	X	—	—	—	—
		340/85R24 13.6R24	575	X	X	—	—	—	—
380/90R46	900	320/85R34 -R1	675	—	X	X	X	—	X
		380/85R30	675	—	X	X	X	—	X
		340/85R28	625	—	—	X	—	—	—
380/90R50	950	320/85R38	725	—	—	—	—	—	X
420/80R46 -R1	900	380/85R30	675	—	—	—	X	—	X
		420/85R28	675	—	—	—	X	—	X
420/85R34 16.9R34	750	340/85R24 13.6R24	575	X	X	—	—	—	—
420/85R38 16.9R38	800	340/85R28 13.6R28	625	X	X	X	—	—	—
		320/85R28 12.4R28	600	X	X	X	—	—	—
		380/85R24 14.9R24	600	X	X	X	—	—	—
460/85R30 18.4R30	725	340/85R24 13.6R24	575	X	X	—	—	—	—
460/85R34 18.4R34	775	380/85R24 14.9R24	600	X	X	—	—	—	—
		340/85R24 13.6R24	575	X	X	—	—	—	—
460/85R38 18.4R38	825	380/85R28 14.9R28	650	X	X	X	X	—	X
		420/70R28	650	X	X	X	X	—	—
		340/85R28 13.6R28	625	X	X	X	—	—	—
		420/85R24 16.9R24	625	X	X	X	X	—	—
		380/85R24 14.9R24	600	X	X	X	—	—	—

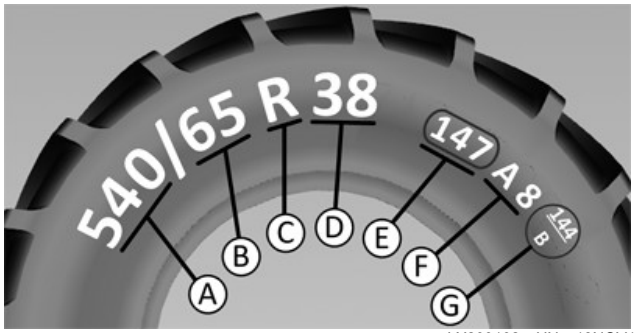
タイヤの組み合わせ - 前輪駆動車軸、キャブ付き 6M トラクター (MY25 ~)									
後輪		前輪		モデル (フレームバージョン)					
				(MC)	(MX)	(MM)	(MW)	(MW)	(MR)
サイズ	SRI	サイズ	SRI	6090M 6100M 6110M 6120M	6110M 6125M 6130M 6140M	6140M 6145M	6155M	6155MH	6175M 6195M 6210M
460/85R42 480/80R42	875	320/85R34 -R1	675	—	—	X	X	—	X
		380/85R30	675	—	—	X	X	—	X
		420/85R28	675	—	—	X	X	—	X
480/70R34	750	380/70R24	575	X	X	—	—	—	—
480/70R38	800	380/70R28	625	X	X	X	—	—	—
		420/70R24	600	X	X	X	—	—	—
480/80R34 -R4	775	400/80R24 -R4	600	X	X	—	—	—	—
480/80R38 -R4	825	400/80R28 -R4	650	X	X	X	X	—	—
		440/80R24 -R4	625	X	X	X	X	—	—
480/80R46 -R1	925	380/85R34 -R1	725	—	—	X	X	—	X
		420/85R30	700	—	—	X	X	—	X
520/70R34	775	420/70R24	600	X	X	—	—	—	—
520/70R38	825	420/70R28	650	X	X	X	X	—	—
		380/70R28	625	X	X	X	—	—	—
		480/70R24	625	X	X	X	X	—	—
		420/70R24	600	X	X	—	—	—	—
520/85R38 20.8R38	875	380/85R30	675	—	—	X	X	—	X
		420/85R30 16.9R30	700	—	—	X	X	—	—
		420/85R28	675	—	—	X	X	—	X
		480/70R28	675	—	—	X	X	—	—
520/85R42	925	380/85R34 -R1	725	—	—	—	—	—	X
		420/85R30 16.9R30	700	—	—	X	X	—	X
		480/70R30	700	—	—	—	—	—	X
		460/85R30 18.4R30	725	—	—	—	—	—	X
540/65R34	750	440/65R24	575	X	X	—	—	—	—
540/65R38	800	480/65R24	600	X	X	X	—	—	—
540/80R38 -R4	875	440/80R28 -R4	675	—	—	X	X	—	—
580/70R38	875	480/70R28	675	—	—	X	X	—	—
		540/65R28	675	—	—	X	X	—	X
580/70R42	900	480/70R30	700	—	—	—	—	—	X
600/65R34	775	480/65R24	600	X	—	—	—	—	—
600/65R38	825	480/65R28	650	X	X	X	X	—	—
620/70R42	925	480/70R30	700	—	—	—	—	—	X
		540/65R30	700	—	—	—	—	—	X
		600/65R28	700	—	—	—	—	—	X
650/65R38	875	540/65R28	675	—	—	X	X	—	X
650/65R42	925	540/65R30	700	—	—	—	—	—	X
		600/65R28	700	—	—	—	—	—	X
650/65R42 -R4	925	540/65R30 -R4	700	—	—	—	—	—	X
VF 650/65R42	925	VF 540/65R30	700	—	—	—	—	—	—
650/75R38	925	600/65R28	700	—	—	—	—	—	X
		540/65R24	625	X	X	X	X	—	—
		480/70R24	625	—	X	—	—	—	—
710/70R38	925	480/70R30	700	—	—	—	—	—	X
		600/65R28	700	—	—	—	—	—	X

oulxa64,1733736915481-40-16JUL25

タイヤラベリング - タイヤの耐荷重の確認

注意： どのような状況でもタイヤ耐荷重と許容車軸荷重を超えないでください。

取扱説明書に記載されているタイヤ耐荷重は、走行速度 40 km/h (25 mph) に適用されます。



LX299192—UN—18NOV16

タイヤのサイドウォールのメーカー情報の例

特定の走行速度におけるタイヤ耐荷重：
最大許容走行速度 (F) におけるタイヤの耐荷重 (E) の仕様は、タイヤのサイドウォールで確認できます。

タイヤメーカーが同じタイヤで別の走行速度を承認している場合は、追加の情報 (G) が掲載されています。この場合、特にタイヤ耐荷重は最大許容走行速度に関連して変わる可能性があることに注意してください。

A	タイヤ幅	幅 (mm)
B	タイヤ	タイヤ幅に対する高さの比
C	種類	R = ラジアル、 — = クロスプライ (例：18.4-38)
D	リム直径	直径 (in)
E	タイヤ荷重指数 (LI)	タイヤあたりの最大許容耐荷重、速度指数 (F) に関連。
F	速度指数	(E) が適用される最大許容走行速度。
G	タイヤ荷重指数 (LI) 速度指数	別の許容走行速度におけるタイヤ耐荷重。

タイヤの詳細および荷重指数と走行速度に関する表についてはタイヤ販売店にまたはタイヤメーカーに直接お問い合わせください。

速度指数	**A6**	**A8**	**B**	**C**	**D**
km/h	30	40	50	60	65
mph	19	25	31	37	40

例：タイヤ 540/65R38 147A8 (144/B)

- タイヤ荷重指数 (LI) ... ***147*** ⇒ タイヤあたりの耐荷重 3075 kg (6780 lb)
- 速度指数 ... ***A8*** ⇒ 40 km/h (25 mph)

+

- タイヤ荷重指数 (LI) ... ***144*** ⇒ タイヤあたりの耐荷重 2800 kg (6175 lb)
- 速度指数 ... ***B*** ⇒ 50 km/h (31 mph)

速度指数に関連する耐荷重の許容偏差、パーセント単位：

速度指数	**許容走行速度**		**タイヤの荷重指数の許容偏差**：		
	km/h	**mph**	**30 km/h (19 mph)**	**40 km/h (25 mph)**	**50 km/h (31 mph)**
A6	30	19	± 0%	- 10%	—
A8	40	25	+ 7%	± 0%	- 9%
D	65	40	+ 15%	+ 9.5%	+ 5%

LX25458,ALL,0000A56-40-01FEB22

タイヤ荷重指数

重要： どのような状況でもタイヤ耐荷重と許容車軸荷重を超えないでください。「荷重と重量」および「最大許容車軸荷重とタイヤ耐荷重」(セクション 500A) を参照してください。

タイヤ業界では、「荷重指数」と呼ばれる数字によりタイヤの定格荷重を規定しています。荷重指数は、この表に示すメーカーの定格タイヤ圧の各タイヤが支持できる最大重量を示しています。

デュアルを装着しているトラクターの場合、タイヤあたりの耐荷重は 88% に減少します。

負荷指数	タイヤあたりの最大荷重[a]		負荷指数	タイヤあたりの最大荷重[a]		負荷指数	タイヤあたりの最大荷重[a]	
	シングルタイヤ kg (lb)	ダブルタイヤ kg (lb)		シングルタイヤ kg (lb)	ダブルタイヤ kg (lb)		シングルタイヤ kg (lb)	ダブルタイヤ kg (lb)
100	800 (1764)	704 (1552)	130	1900 (4189)	1672 (3686)	160	4500 (9921)	3960 (8730)
101	825 (1819)	726 (1601)	131	1950 (4299)	1716 (3783)	161	4625 (10196)	4070 (8973)
102	850 (1874)	748 (1649)	132	2000 (4409)	1760 (3880)	162	4750 (10472)	4180 (9215)
103	875 (1929)	770 (1698)	133	2060 (4542)	1813 (3997)	163	4875 (10748)	4290 (9458)
104	900 (1984)	792 (1746)	134	2120 (4674)	1866 (4113)	164	5000 (11023)	4400 (9700)
105	925 (2039)	814 (1795)	135	2180 (4806)	1918 (4229)	165	5150 (11354)	4532 (9991)
106	950 (2094)	836 (1843)	136	2240 (4938)	1971 (4346)	166	5300 (11684)	4664 (10282)
107	975 (2150)	853 (1892)	137	2300 (5071)	2024 (4462)	167	5450 (12015)	4796 (10573)
108	1000 (2205)	880 (1940)	138	2360 (5203)	2077 (4579)	168	5600 (12346)	4928 (10864)
109	1030 (2271)	906 (1998)	139	2430 (5357)	2138 (4714)	169	5800 (12787)	5104 (11252)
110	1060 (2337)	933 (2056)	140	2500 (5512)	2200 (4850)	170	6000 (13228)	5280 (11640)
111	1090 (2403)	959 (2155)	141	2575 (5677)	2266 (4996)	171	6150 (13558)	5412 (11931)
112	1120 (2469)	986 (2173)	142	2650 (5842)	2332 (5141)	172	6300 (13889)	5544 (12222)
113	1150 (2535)	1012 (2231)	143	2725 (6008)	2398 (5287)	173	6500 (14330)	5720 (12610)
114	1180 (2601)	1038 (2289)	144	2800 (6173)	2464 (5432)	174	6700 (14771)	5896 (12998)
115	1215 (2679)	1069 (2357)	145	2900 (6393)	2552 (5626)	175	6900 (15212)	6072 (13386)
116	1250 (2756)	1100 (2425)	146	3000 (6614)	2640 (5820)	176	7100 (15653)	6248 (13774)
117	1285 (2833)	1131 (2493)	147	3075 (6779)	2706 (5966)	177	7300 (16094)	6424 (14162)
118	1320 (2910)	1162 (2561)	148	3150 (6945)	2772 (6111)	178	7500 (16535)	6600 (14550)
119	1360 (2998)	1197 (2638)	149	3250 (7165)	2860 (6305)	179	7750 (17086)	6820 (15036)
120	1400 (3086)	1232 (2716)	150	3350 (7385)	2948 (6499)	180	8000 (17637)	
121	1450 (3197)	1276 (2813)	151	3450 (7606)	3036 (6693)	181	8250 (18188)	
122	1500 (3307)	1320 (2910)	152	3550 (7826)	3124 (6887)	182	8500 (18739)	
123	1550 (3417)	1364 (3007)	153	3650 (8047)	3212 (7081)	183	8750 (19290)	
124	1600 (3527)	1408 (3104)	154	3750 (8267)	3300 (7275)	184	9000 (19841)	
125	1650 (3638)	1452 (3201)	155	3875 (8543)	3410 (7518)	185	9250 (20393)	
126	1700 (3748)	1496 (3298)	156	4000 (8818)	3520 (7760)	186	9500 (20944)	
127	1750 (3858)	1540 (3395)	157	4125 (9094)	3630 (8003)	187	9750 (21495)	
128	1800 (3968)	1584 (3492)	158	4250 (9370)	3740 (8245)	188	10000 (22046)	
129	1850 (4079)	1628 (3589)	159	4375 (9645)	3850 (8488)	189	10300 (22707)	
						190	10600 (23369)	

[a] *最大定格圧力時。*

oulxa64,ALL,1667456365593-40-08NOV22

タイヤ圧

タイヤの寿命と良好な性能は、適切なタイヤ空気圧に左右されます。不適切に空気を入れたタイヤは、早期摩耗が発生します。空気を入れすぎたタイヤはトラクションが減少し、空転が増加します。

適切なタイヤ空気圧は作業条件や負荷だけでなく、トラクターモデル、タイヤサイズ、メーカーによって決まるため、詳しくは John Deere 販売店、その他の整備工場、またはタイヤメーカーに問い合わせることをお勧めします。

LX25458,ALL,0000A57-40-10JUL25

タイヤ空気圧のガイドライン

タイヤが冷えている間に、10 kPa (0.1 bar) (1 psi) 目盛りの正確なダイヤルゲージまたは棒ゲージを使用してタイヤ空気圧を点検します。

注記： 液体バラストを注入したタイヤの場合は、専用の空気-水ゲージを使用してください。バルブステムを底部に配置して測定してください。

適切な空気圧のラジアルタイヤでは側壁に変形が見られます。これは正常で、タイヤを傷つけることはありません。

空気圧が 83 kPa (0.8 bar) (12 psi) より低い場合は、低圧による空気漏れの危険が大きくなるので、頻繁に点検する必要があります。

注記： タイヤを高駆動力条件でシングルとして使用する場合は、ビードスリップが発生することがあります。空気圧を上げると改善されますが、駆動力が落ちます。

タイヤの最大空気圧はタイヤの側壁に記載されています。

適切なタイヤ空気圧の決定

一体型作業機の場合、リアアクスルにかなりの重量がかかります。適切な空気圧を決定するときは、必ずこの重量を含めます。適切なタイヤ空気圧を決定するため、後述のようにトラクターを計量します。

後部装着型作業機 - フロントアクスルは作業機を下げて計量する必要があります。リアアクスルは作業機を上げて計量します。

フロント作業機 - フロントアクスルは作業機を上げて計量する必要があります。リアアクスルは作業機を下げて計量する必要があります。

フロントおよびリア作業機 - 前部と後部の両方の作業機を上げてトラクターを計量します。

測定した重量に合わせてタイヤ空気圧を設定します。*操作条件が変わった場合は、バラストおよびタイヤ空気圧を調整する必要がある場合があります。*次のタイヤ空気圧の表を参照してください。表にないタイヤについては、メーカーの推奨する空気圧を参照してください。

タイヤ空気圧の管理

ローダーを装着して操作するトラクターは、重量の移動を補うため、フロントタイヤ空気圧を記載値より 30 kPa (0.3 bar) (4 psi) 上げます。

急な傾斜面での運転や畝プラウを行うトラクターは、重量転移を補うため、基準圧力 80 kPa (0.8 bar) (12 psi) の場合は、リアタイヤ空気圧を記載値より 30 kPa (0.3 bar) (4 psi) 高くしてください。80 kPa (0.8 bar) (12 psi) 未満の基準圧力の場合は、空気圧を 30% 上げてください。

作業機の牽引運転の場合は、適切な空気圧まで圧力を下げます。

重量のあるヒッチ装着式作業機を取り付けたトラクターは、ステアリングを安定させるためにフロント鋳造ウエイトが追加されるので、フロントタイヤとリアタイヤの空気圧を高くして追加重量を支える必要があります。

LX25458,ALL,0000A58-40-03SEP24

道路走行時の非常に高い屈曲 (VF) フロントタイヤの特殊要件

注意：トラクターの制御を失うことにより、けがや物的損害が発生する危険があります。

油圧ステアリングアシスタンスが故障した場合、ステアリングホイールを回すのに必要な力は、法的に定められた値を超えてはいけません。これは、道路走行時に特定のタイヤ圧を維持するためにタイヤが必要な場合 (表参照) に適用されます。このタイヤ圧の仕様は、タイヤメーカーの推奨事項に関係なく適用する必要があります。

重要：最大許容車軸荷重については、セクション 500A を参照してください。

注記：表には、すべてのモデルで使用できないタイヤサイズが含まれています。現在車両の前輪に取り付けられているタイヤサイズのみを考慮してください。

注記：すべてのアタッチメント、ホイール、その他の付属品がすべてのトラクターと市場で利用できるわけではありません。

Bridgestone VF-Tires VT-TRACTOR のフロントタイヤ圧

タイヤサイズ	荷重指数	空気圧	次の移動速度以下：	フレームバージョンのトラクター
		bar (psi)	km/h (mph)	
VF 480/65R28	148D/145E	1.6 (23)	50 (31)	MX
VF 480/65R28	148D/145E	1.8 (26)	50 (31)	MM と MW
VF 540/65R28	154D/151E	1.6 (23)	50 (31)	MW
VF 540/65R30	155D/152E	1.5 (22)	50 (31)	MW
VF 540/65R30	155D/152E	1.6 (23)	50 (31)	MR
VF 540/65R30	155D/152E	1.8 (26)	50 (31)	MT
VF 600/65R28	159D/156E	1.6 (23)	50 (31)	MW、MR、MT
VF 600/70R28	164D/160E	1.6 (23)	50 (31)	MR および MT
VF 600/70R30	165D/161E	1.6 (23)	50 (31)	MT

Trelleborg VF-Tires TM1000 PT のフロントタイヤ圧

タイヤサイズ	荷重指数	空気圧	次の移動速度以下：	トラクターモデル
		bar (psi)	km/h (mph)	
VF 540/65R30	158D/155E	1.5 (22)	50 (31)	MW
VF 540/65R30	158D/155E	1.6 (23)	50 (31)	MR
VF 540/65R30	158D/155E	1.8 (26)	50 (31)	MT
VF 600/70R28	167D/164E	1.6 (23)	50 (31)	MR および MT
VF 600/70R30	170D	1.6 (23)	50 (31)	MT

Trelleborg VF-Tires TM1060 のフロントタイヤ圧

タイヤサイズ	荷重指数	空気圧	次の移動速度以下：	トラクターモデル
		bar (psi)	km/h (mph)	
VF 520/60R28	149D	1.6 (23)	50 (31)	MX
VF 520/60R28	149D	1.4 (20)	50 (31)	MM と MW
VF 600/60R28	157D	1.4 (20)	50 (31)	MW
VF 600/60R30	158D	1.4 (20)	50 (31)	MW
VF 600/60R30	158D	1.6 (23)	50 (31)	MR

Continental VF-Tires VF TractorMaster のフロントタイヤ圧

タイヤサイズ	荷重指数	空気圧	次の移動速度以下：	トラクターモデル
		bar (psi)	km/h (mph)	
VF 600/60R30	162D	1.4 (20)	50 (31)	MW
VF 600/60R30	162D	1.6 (23)	50 (31)	MR
VF 600/70R30	168D	1.6 (23)	50 (31)	MT

Nokian VF-Tires Soil King VF のフロントタイヤ圧				
タイヤサイズ	荷重指数	空気圧	次の移動速度以下：	トラクターモデル
		bar (psi)	km/h (mph)	
VF 600/70R30	168D	1.6 (23)	50 (31)	MT

Michelin VF-Tires XeoBib のフロントタイヤ圧				
タイヤサイズ	荷重指数	空気圧	次の移動速度以下：	トラクターモデル
		bar (psi)	km/h (mph)	
VF 600/60R28	146D	1.4 (20)	50 (31)	MW

Michelin VF-Tires AxioBib 2 のフロントタイヤ圧				
タイヤサイズ	荷重指数	空気圧	次の移動速度以下：	トラクターモデル
		bar (psi)	km/h (mph)	
VF 540/65R30	155D/152E	1.5 (22)	50 (31)	MW
VF 540/65R30	155D/152E	1.6 (23)	50 (31)	MR
VF 540/65R30	155D/152E	1.8 (26)	50 (31)	MT
VF 600/60R30	162D	1.4 (20)	50 (31)	MW
VF 600/60R30	162D	1.6 (23)	50 (31)	MR
VF 600/70R30	168D	1.6 (23)	50 (31)	MT

80,MP,ALL,oulxa64,1725275924510-40-13JUN25

タイヤ空気圧の選択

タイヤ空気圧は、車両の挙動、牽引力、燃料消費の判定に重要な役割を果たします。

正しいタイヤ空気圧は多くの異なる容易にによって決まるため、一般的な推奨事項をお伝えすることはできません。

タイヤ空気圧を選択するときの考慮事項：

- タイヤメーカー
- タイヤサイズ
- 機械の軸荷重
- 機械のバラスト
- タイヤをフロントで使用するか、リアで使用するか
- 作業の性質
- 土壌条件
- 予想移動速度

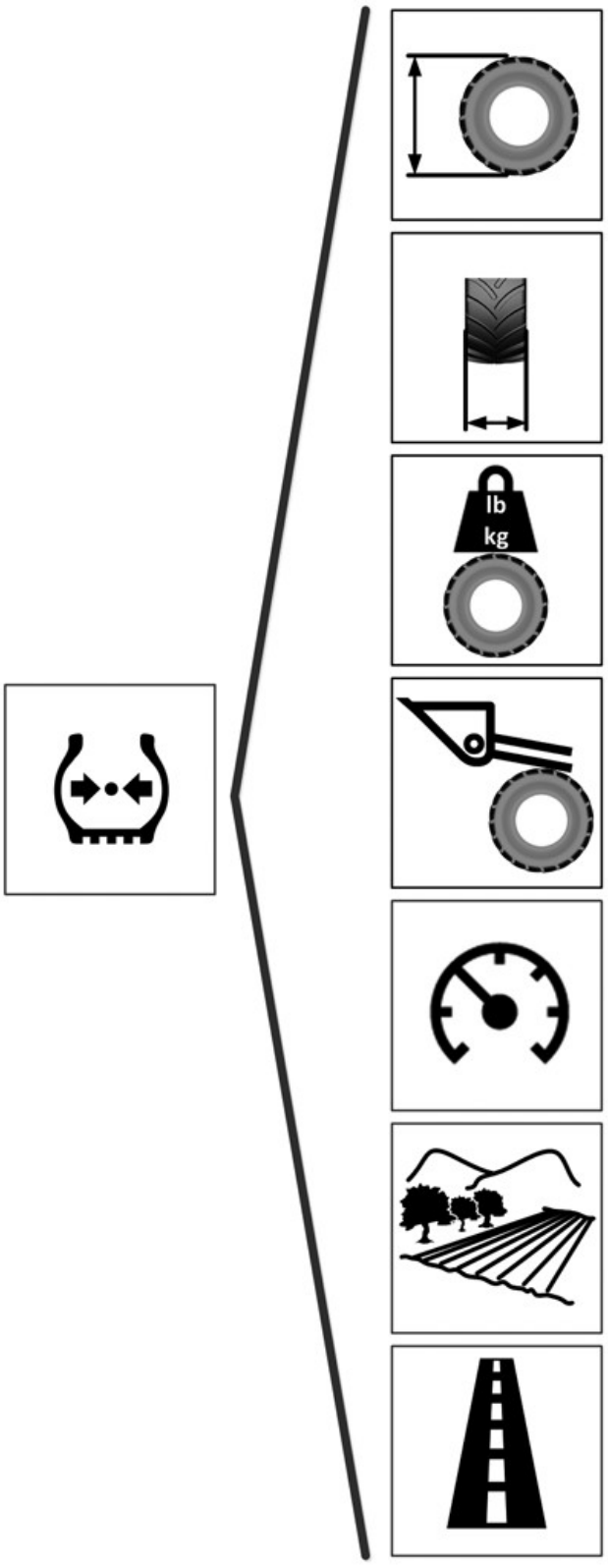
重要：**この取扱説明書で引用されているタイヤ空気圧はメーカーの推奨タイヤ空気圧を織り込んでいます。**

タイヤは、タイヤの側壁に記載されている最大値よりも高い圧力まで空気を入れてはなりません。

他の圧力値がない場合:

特定の用途に適した空気圧を確認するには、タイヤメーカーが提供しているタイヤ空気圧の表を参照してください。多くのタイヤメーカーは、推奨タイヤ空気圧を計算できるアプリを自社のインターネットポータルで提供しています。

条作物タイヤ、特殊タイヤ、液体バラスト入りタイヤのタイヤ空気圧には特に注意する必要があります。疑問がある場合は、正しいタイヤ空気圧をタイヤメーカーから取得してください。



LX299189—UN—16NOV16
LX25458,ALL,0000A59-40-05NOV21

前輪、タイヤ、トレッド幅 (MC)

タイヤとホイール - 序文

操作説明に記載されているホイール、タイヤ、ゲージを取り付けることができます。

一部の地域では、すべてのタイヤを使用できない場合があります。

表示されているタイヤは、お使いのトラクターのモデルと互換性がない場合があります。

販売パンフレットの現在の版はその時点で信頼できます。

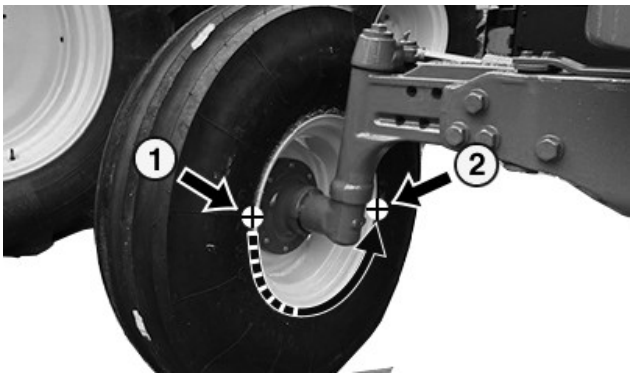
80,ALL,LX25458,0000A46-40-17SEP24

調整式フロントアクスル - トーインの点検

1. トラクターを直線で約 15 m (50 ft) 運転し、ホイールがまっすぐな位置にあることを確認します。

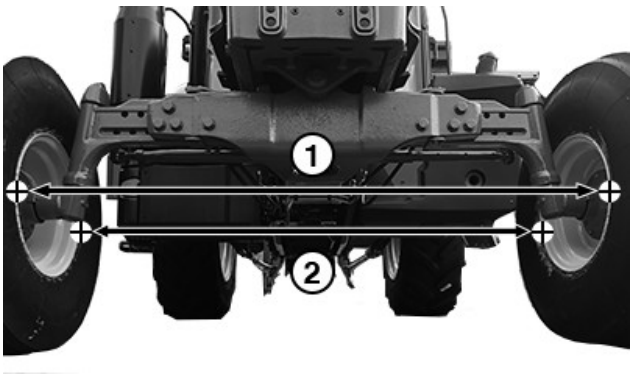
⚠ 注意： 測定中はエンジンを停止して、トラクターが動き出さないように固定してください。

2. まず、2 つの前輪の前部 (1) で、車軸高さの位置に (+) のマークをそれぞれ付けます。



LX372927—UN—24NOV20

3. 前部 (1) で、右側リムの端から左側リムの端までの距離を測定し、この測定値を書き留めます。



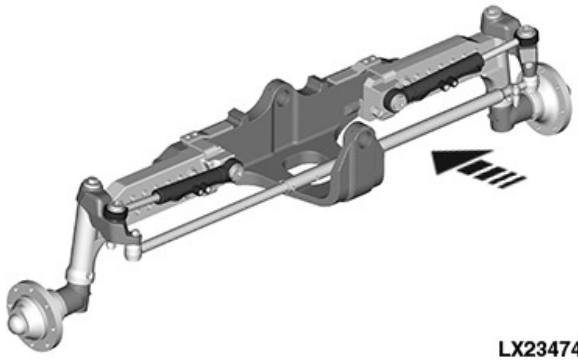
LX372928—UN—24NOV20

4. 前輪の半周分だけトラクターを前進させ、(+) のマークを後側 (2) に移動させます。
5. 後部で、右リムフランジから左リムフランジまでの距離 (2) を測定し、測定値を書き留めます。

前部寸法 (1) は後部寸法 (2) よりも 3 ~ 9 mm (0.12 ~ 0.35 in) 狭くなる必要があります。

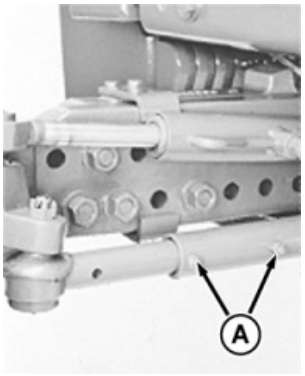
LX25458,TYPEB,0000A5B-40-15MAR22

調整式フロントアクスルタイプ B - トーインの調整

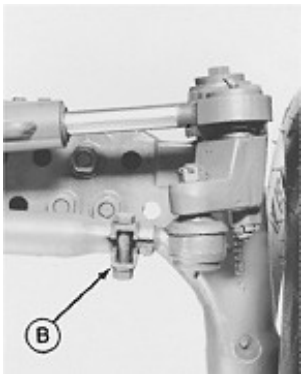


LX234745—UN—28AUG15

調整式フロントアクスルタイプ *B*



RW55002A—UN—02AUG99



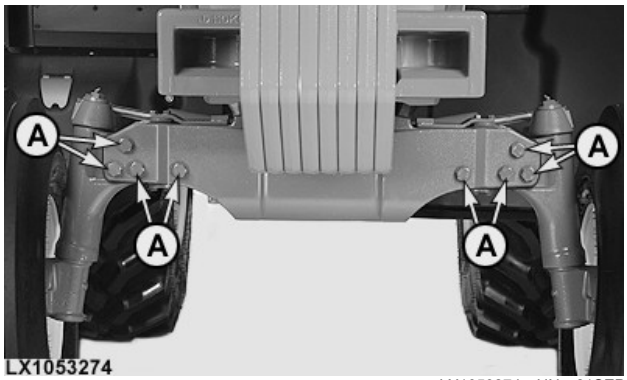
RW55003—UN—25JUN93

A：**タイロッドのねじ**
B：**クリップ**

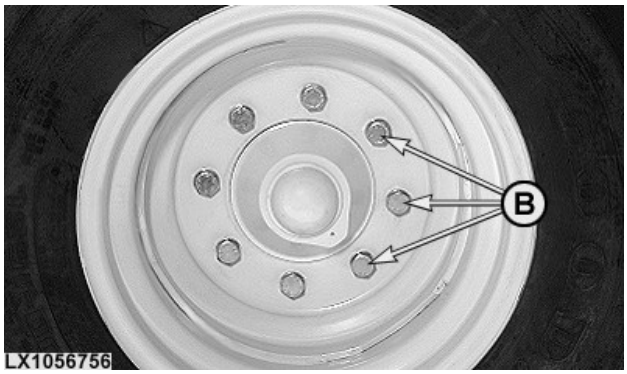
1. タイロッドチューブからボルト (A) を取り外して、クランプ (B) を緩めます。
2. チューブを回転させてタイロッドを長くまたは短くします。トーインを 3 ~ 9 mm (0.12 ~ 0.35 in) に調整します。
3. ボルトを再度取り付けて ナットを 61 N·m (45 lb ft) のトルクで締め付けます。次に、クランプを 68 N·m (50 lb ft) のトルクで締め付けます。

LX25458,6M,0000A5C-40-15MAR22

調整式フロントアクスルタイプ B - 車軸ボルトとホイールボルトの締め付け



LX1053274—UN—21SEP11



LX1056756—UN—01OCT12

A：**車軸ボルト**
B：**ホイールボルト**

注意： **けがを防止してください。ホイールボルトまたは車軸の部品が緩んだ状態では、絶対にトラクターを運転しないでください。ホイールボルトは非常に重要であるため、再度締め付ける必要があります。ホイールボルトの定期点検を容易に行えるようにホイールとバラストを取り付けます。**

規定のトルクで締め付けます。

車軸ボルトのトルク：
調整式フロントアクスルの車軸ボルト (A)：600 N·m (445 lb·ft)

前輪駆動なしフロントアクスルのホイールボルトのトルク：
標準の車軸ディスク - ハブのボルト (B)：310 N·m (230 lb·ft)

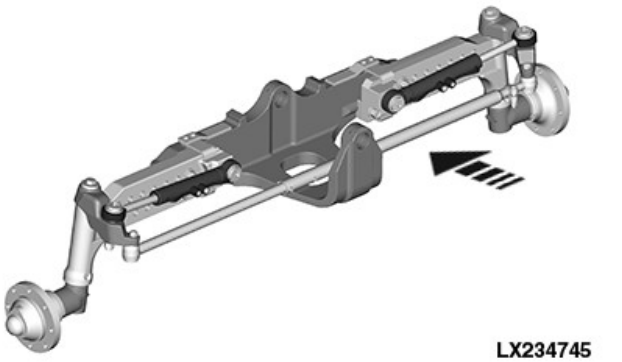
トラクターを 100 m (100 yd) 運転してからボルトを規定のトルクで締め直します。

3 運転時間後にすべてのボルトを締め直して、**10 運転時間**後に締め直します。

LX25458,6M,0000A5D-40-15MAR22

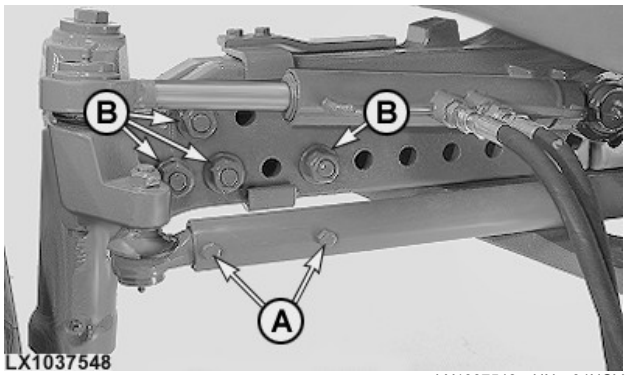
調整式フロントアクスル タイプ B - ホイールトレッドの調整

重要： **ジャッキをエンジンオイルパンの下に置かないでください。**



LX234745—UN—28AUG15

調整式フロントアクスルタイプ *B*



LX1037548—UN—04NOV05

A：**タイロッドボルト**
B：**車軸ボルト**

1. トラクターの前側を持ち上げます。
2. タイロッドからボルト (A) を、車軸の片側からボルト (B) を取り外します。
3. アクスルニーを必要な位置にスライドさせます。
4. 車軸ボルト (B) を取り付けます。規定のトルクで締め付けます。

仕様

車軸ボルト：トルク. . . . . 600 N m (445 lb·ft)

注記： 両側を常に同じ設定に調整します。

5. トラクターの反対側で手順 2 ~ 4 を繰り返します。
6. ロッドを車軸と同じ値に調整します。
7. ボルト (A) をタイロッドに取り付け、規定のトルクで締め付けます。

仕様

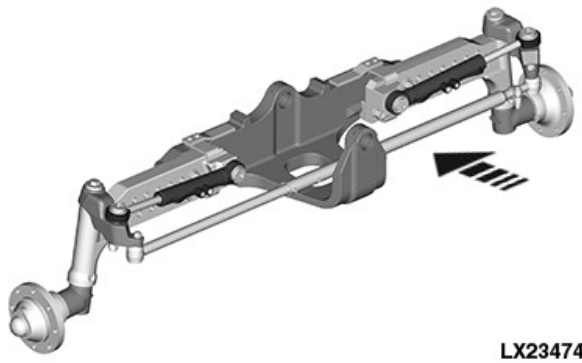
タイロッドボルト：トルク. . . . . 61 N m (45 lb·ft)

8. トーインを確認し、必要に応じて調整します。

注記： トレッド設定によっては、フレームレールから追加のホース長を引き出さなければならない場合があります。トレッドの設定を内側に調整する場合は、ホースの長さが余分な部分をフレーム内に引き戻す必要があります。

LX25458,6M,0000A5E-40-15MAR22

調整式フロントアクスルタイプ B - トレッド幅



LX234745—UN—28AUG15

調整式フロントアクスルタイプ *B*

フロントアクスルは 7 種類のトレッド幅のいずれかに設定できます。

重要： **フロントローダー作業の場合は、1700 ~ 1860 mm (66.9 ~ 73.2 in) のトレッド幅を選択してください。**

ホイールを取り外してトレッドを調整した場合は、ホイールボルトを 310 N·m (230 lb ft) のトルクで締め付けます。

重要： **トレッド調整後、4 時間および 8 時間の運転後にこれらのボルトのトルクを点検し、その後 100 時間の運転中に頻繁に点検してください。**

タイヤ	SRI	タイヤバルブの位置		車軸の位置						
				1	2	3	4	5	6	7
10.00-16	425	In	mm	1551	1653	1755	1857	1959	2061	2163
			in	61.1	65.1	69.1	73.1	77.1	81.1	85.2
		車外	mm	1592	1694	1796	1898	2000	2102	2204
			in	62.7	66.7	70.7	74.7	78.7	82.8	86.8
11.00-16	450	In	mm	1548	1650	1752	1854	1956	2058	2160
			in	60.9	65.0	69.0	73.0	77.0	81.0	85.0
		車外	mm	1589	1691	1793	1895	1997	2099	2201
			in	62.6	66.6	70.6	74.6	78.6	82.6	86.7
11L-15	390	In	mm	1554	1656	1758	1860	1962	2064	2166
			in	61.2	65.2	69.2	73.2	77.2	81.3	85.3
		車外	mm	1595	1697	1799	1901	2003	2105	2207
			in	62.8	66.8	70.8	74.8	78.9	82.9	86.9

LX25458,6M,0000A5F-40-15MAR22

前輪駆動のフロントタイヤ

タイヤ幅：

納入時に取り付けられていたタイヤよりも幅の広いタイヤを取り付けることを目的としている場合は、最初に技術的要件を確認する必要があります。ガイダンスシステムの調整が必要になる場合があります。

タイヤ摩耗について：

左右のタイヤが異なる早さで摩耗している場合は、車軸の形状を点検して、設定を修正する必要があります。

LX25458,ALL,0000A60-40-11JUL25

前輪駆動車軸 — トーインの点検と調整

トラクターのバラストがトーインの設定に影響する場合があります。1150 kg (2535 lb) を超えるフロントバラストを永続的に使用する場合は、トーインを点検して必要に応じて調整する必要があります。

適切なトーイン調整は走行特性とタイヤ摩耗に良い効果があります。

重要： **常に重いバラストウエイトを搭載してトラクターを連続運転する場合は、始動前にトーインを点検する必要があります。その際、全バラストを搭載してトーインを決定する必要があります。**

注記： 規定の調整は -1.5 ~ +1.5 mm (-0.06 ~ +0.06 in) の範囲になります。トーインを点検して調整します。

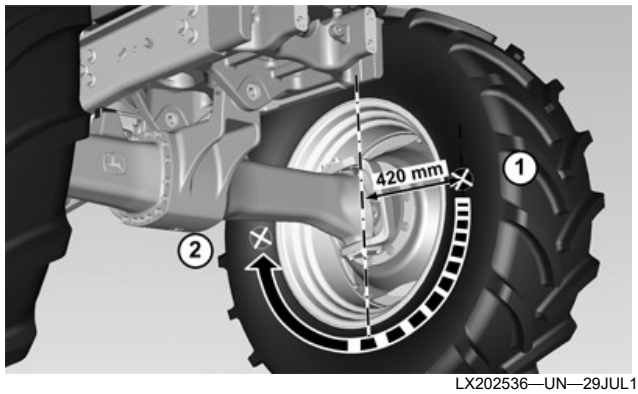
LX25458,ALL,0000A61-40-11JUL25

前輪駆動車軸 — トーインの点検 (従来の方法)

1. トラクターを直線で約 15 m (50 ft) 運転し、ホイールがまっすぐな位置にあることを確認します。

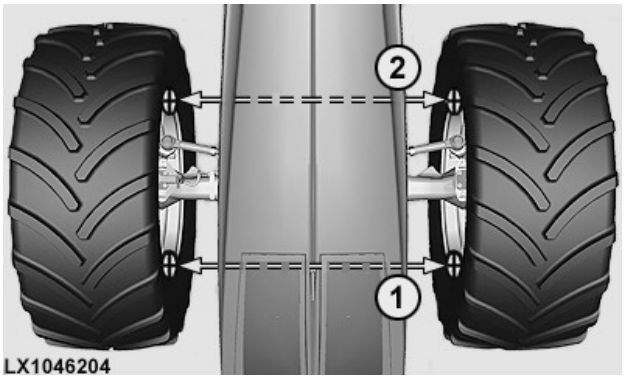
注意： **測定中はエンジンを停止して、トラクターが動き出さないように固定してください。**

2. ホイールの中心を起点にして 420 mm (16.5 in) を測り、両方のホイールの内側に 2 つの X マーク (1) と (2) を付けます。2 つのマークが車軸の高さ (ホイール直径の半分) になるようにします。



LX202536—UN—29JUL13

3. フロント側で左右のホイール間の距離 (1) を測定して値をメモします。



LX1046204—UN—16JUN11

4. 前輪の半周分だけトラクターを前進させ、(X) のマークを後側 (2) に移動させます。

5. リア側で距離 (2) を測定し、値をメモします。

フロント側の寸法 (1) はリア側の寸法 (2) に対応している必要があります。± 1.5 mm (0.06 in) の偏差は許容されます。

LX25458,ALL,0000A62-40-11MAR25

前輪駆動車軸 - レーザーホイール測定工具の使用によるトーインの点検



LX1054620—UN—25OCT11

レーザーホイール測定工具によるテスト

注意： **「安全と修理に関する一般的な手順」に従ってください。取扱説明書のセクション 05A および 80 を参照してください。**

レーザーホイール測定工具の使用によるトーインの点検

重要： **レーザーホイール測定工具を使用して、トーインの点検と調整を行うことをお勧めします。レーザーホイール測定工具は作業条件のトラクターのみで使用できます。以下の例では、標準の市販の工具を使用しています。**

一般的な安全と修理に関する情報

1. トラクターが作業条件になるようにバラストを装備します。

2. トラクターを平坦な固い地面の上に駐車し、トラクターが動き出すのを防止してください。
3. ホイールをまっすぐに整列させてエンジンを停止します。
4. レーザーホイール測定工具の取扱説明書を参照してください。
5. 工具キット (A) と (B) をトラクターに取り付けます。
6. レーザービームを目盛 (C) に向けて、タイロッドを調整して、ビームが可能な限り 0 になるようにタイロッドを調整します。詳しくは、工具キットの取扱説明書を参照してください。

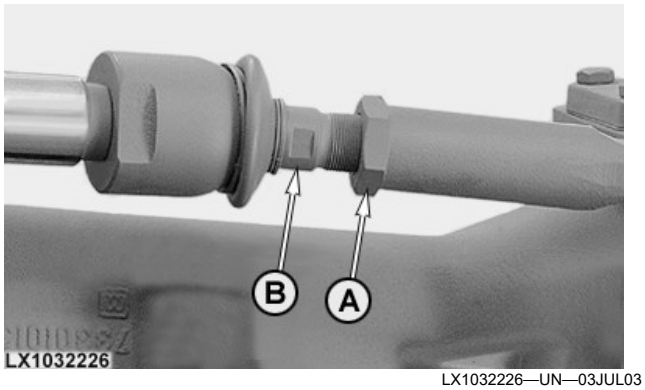
LX25458,ALL,0000A63-40-07SEP23

前輪駆動車軸 — トーインの調整

1. 前輪を直進走行に整列させ、エンジンを停止し、トランスミッションを駐車位置に入れてキースイッチを抜きます。

重要： **両方のタイロッドを均等に調整して、トーイン設定を生成する必要があります。**

2. ロックナット (A) を緩めます。



LX1032226—UN—03JUL03

注記： ± 1.5 mm (0.06 in) のトーインは許容範囲です。このセクションの「トーインの点検」を参照してください。

3. ロッド (B) を回して適切なトーインまたはトーアウトに調整します。

仕様

最大トーインまたはトーアウト：距離	1.5 mm 0.06 in

4. ロックナット (A) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

ロックナット：トルク	345 N·m 255 lb·ft

LX25458,ALL,0000A64-40-07SEP23

2、8、16、32 ポジションリムを使用している前輪のトレッド調整手順

注意： 生命を脅かすけがをする重大な事故。

ホイールとトラクター部品が接触すると、けがや物的損傷が発生します。

トラック幅の設定やホイール構成の変更時は、トラクターの構成部品から 50 mm (2 in) 以上の距離を保つよう徹底してください。この最小距離を維持できない場合は、トラック幅を広げて設定するか、適切なホイール構成を使用する必要があります。

重要： **トレッド調整後、以下の点を確認します**：

- **すべてのホイールボルトとホイールナットを規定のトルクで締め付けます。運転開始から 4 時間後と 8 時間後にホイールナットとホイールボルトのトルクを点検し、その後 100 時間の運転中も頻繁に点検してください。**
- **ホイールの自由な動きを確認し、新しいトレッド幅に合わせてフェンダーを調整します。ステアリングを両方向に完全にロックするまで回し、車軸をストップまで揺動させます。**
- **ホイールがトラクターの構成部品と接触しないようにステアリングストップを調整します。「前輪またはフェンダーとトラクター部品の接触の防止」(セクション 80) も参照してください。**
- **前輪駆動の自動接続/解除の停止角度を設定します[1]。「前輪駆動の接続」(セクション 50A) を参照してください。**
- **タイヤを交換した後、またはトレッド幅を調整した後に、ステアリング角度センサーのキャリブレーションを実行します。支援が必要な場合は、John Deere 販売店または他の整備工場にお問い合わせください。**

重要： **タイヤの側壁とトラクターの部品間の距離は 50 mm (2 in) 以上にしてください。**

タイヤの走行面 (エッジ) とトラクターの部品間の距離は 60 mm (2.4 in) 以上にする必要があります。

スノーチェーンをタイヤに取り付ける場合、タイヤからトラクターの部品 (サイドウォールからフェンダー、および走行面からトラクターの部品) までの距離は 100 mm (4 in) 以上である必要があります。

詳細については、「フェンダーの設定」(セクション 80B) を参照してください。

重要： **ハブ拡幅の場合は、ホイールのトルクを使用してください。**

注記： フロントローダーで作業する場合、次のいずれかのトレッド幅を設定します。

[1] 装備されている場合

- *8* ボルト円の前輪の場合は、*1750 ~ 1850 mm (68.9 ~ 72.8 in)* のトレッド幅を使用してください。
- *10* ボルト円の前輪の場合は、*1750 ~ 1950 mm (68.9 ~ 76.8 in)* のトレッド幅を使用してください。

2 ポジションリム付きの前輪

トレッド幅は、タイヤ一式をトラクターの反対側に取り付けることにより変更できます。その場合は、タイヤ回転方向を維持してください。

8、16、32 ポジションリム付きの前輪

ホイールリムを再配置するか逆にすることにより、ホイールトレッドを調整できます。

さらに、ホイール全体をトラクターの反対側に取り付けることができます。その場合は、タイヤ回転方向を維持してください。

注記： トレッド幅の調整前に、ホイールディッシュと前輪のリムとの位置関係に注意してください。このセクションのトレッド幅の表に添えられた図を参照してください。

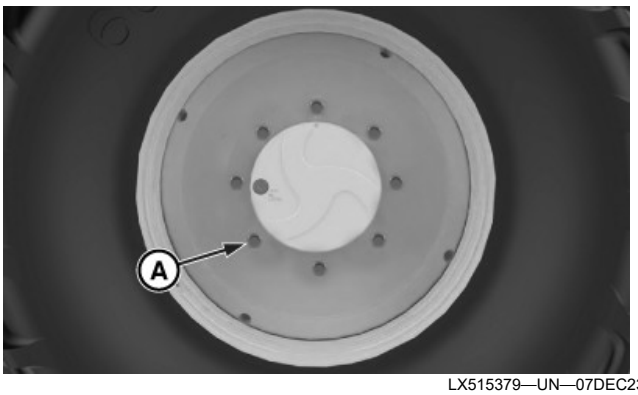
以下を参照してください。

- **前輪のホイールボルトの締め付け - 前輪駆動車軸付き** (このセクション)

80A,MP15,oulxa64,1693918994955-40-16JUL25

前輪のホイールボルトの締め付け - 前輪駆動車軸付き

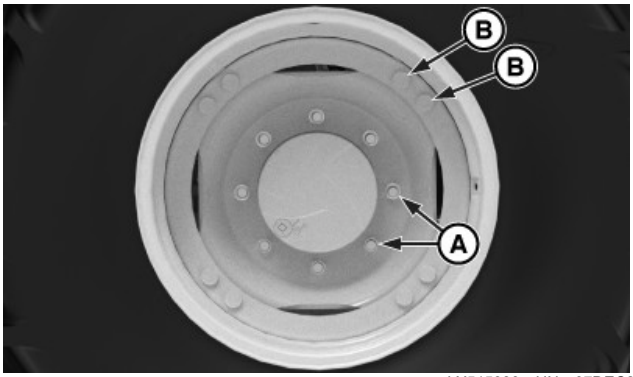
前輪駆動車軸装備の車両のホイールボルトの締め付け — 8 ボルト円の前輪



LX515379—UN—07DEC23

8 ボルト円および丸形ホイールディッシュ付き前輪

A：**300 N·m (220 lb·ft)**

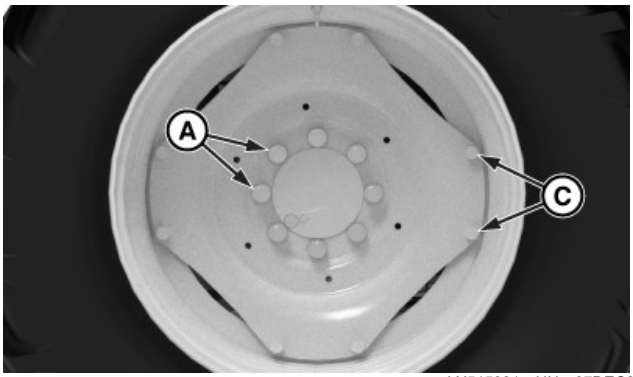


LX515380—UN—07DEC23

8 穴円および角形ホイールディッシュ付き前輪

A：**300 N·m (220 lb·ft)**
B：**210 N·m (155 lb·ft)**

トルクの仕様は、8 穴円および丸形ホイールディッシュ付き前輪にも適用されます。

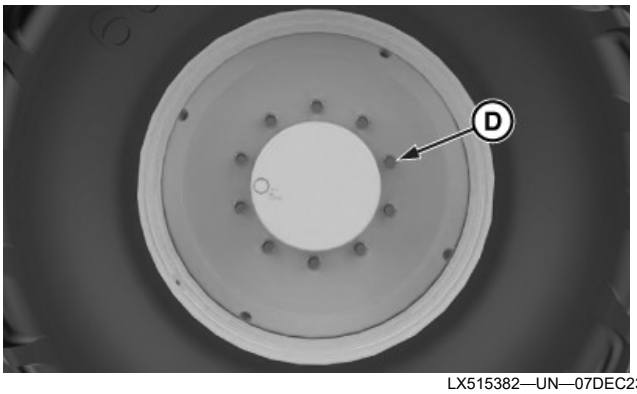


LX515381—UN—07DEC23

8 ボルト円とワッフルリム付き前輪

A：**300 N·m (220 lb·ft)**
C：**金色ボルト - 280 N·m (205 lb·ft)**
C：**灰青色ボルト - 265 N·m (195 lb·ft)**

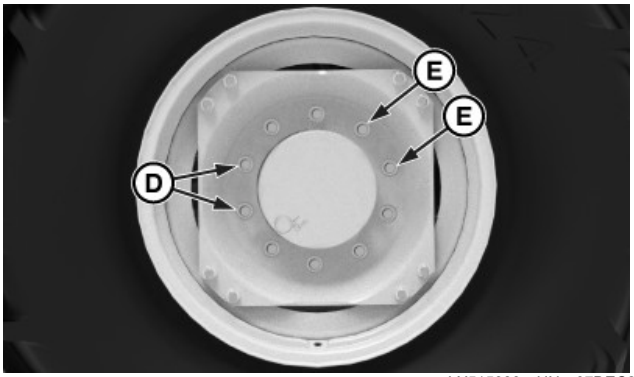
前輪駆動車軸装備の車両のホイールボルトの締め付け - 10 ボルト円の前輪



LX515382—UN—07DEC23

10 ボルト円および丸形ホイールディッシュ付き前輪

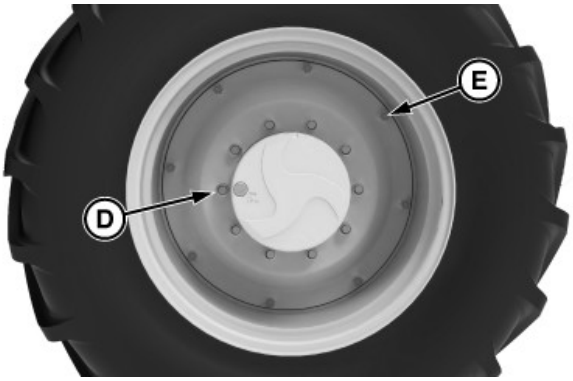
D：**480 N·m (355 lb·ft)**



LX515383—UN—07DEC23

10 ボルト円と角形ホイールディッシュ付き前輪

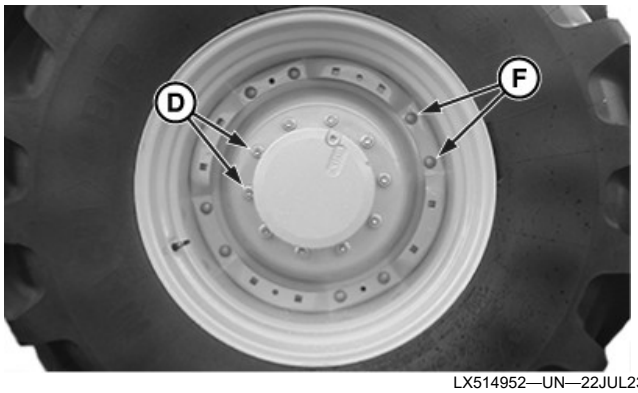
D：**480 N·m (355 lb·ft)**
E：**210 N·m (155 lb·ft)**



LX622662—UN—06DEC24

10 ボルト円および丸形ホイールディッシュ付き前輪

D：**480 N·m (355 lb·ft)**
E：**210 N·m (155 lb·ft)**



LX514952—UN—22JUL23

10 ボルト円とワッフルリム付き前輪

D：**480 N·m (355 lb·ft)**
F：**金色ボルト - 280 N·m (205 lb·ft)**
F：**灰青色ボルト - 265 N·m (195 lb·ft)**

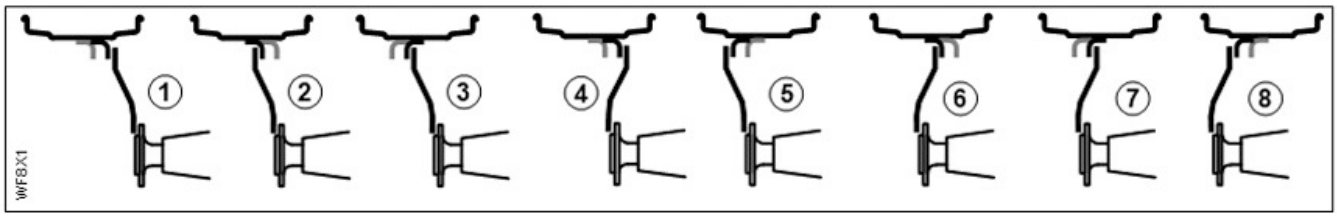
220C,03,oulxa64,1708350054893-40-06DEC24

リムアセンブリ構成の図

注記： リムクラスターの仕様は、前輪と後輪に対するものです。

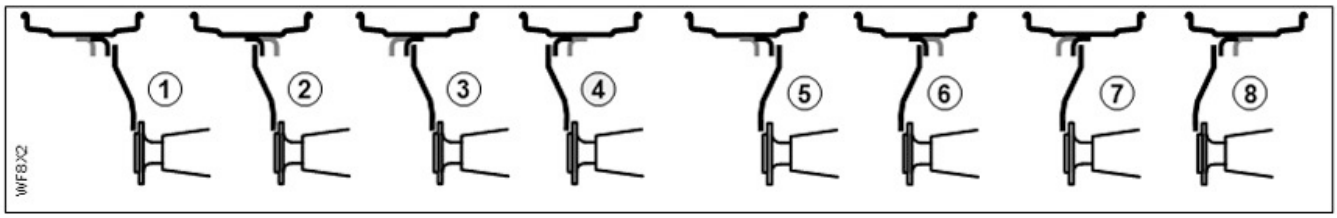
リムの組み立て構成を図に示します。トレッド設定表に示されている該当のリムクラスター番号を参照してください。

8 ポジションリム



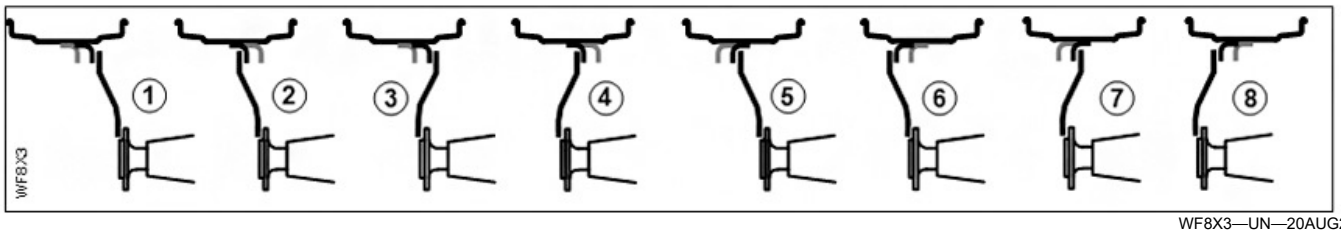
WF8X1—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *WF8X1*



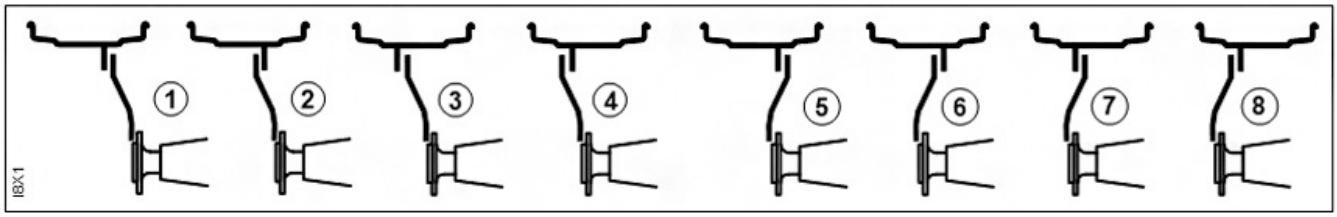
WF8X2—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *WF8X2*



WF8X3—UN—20AUG24

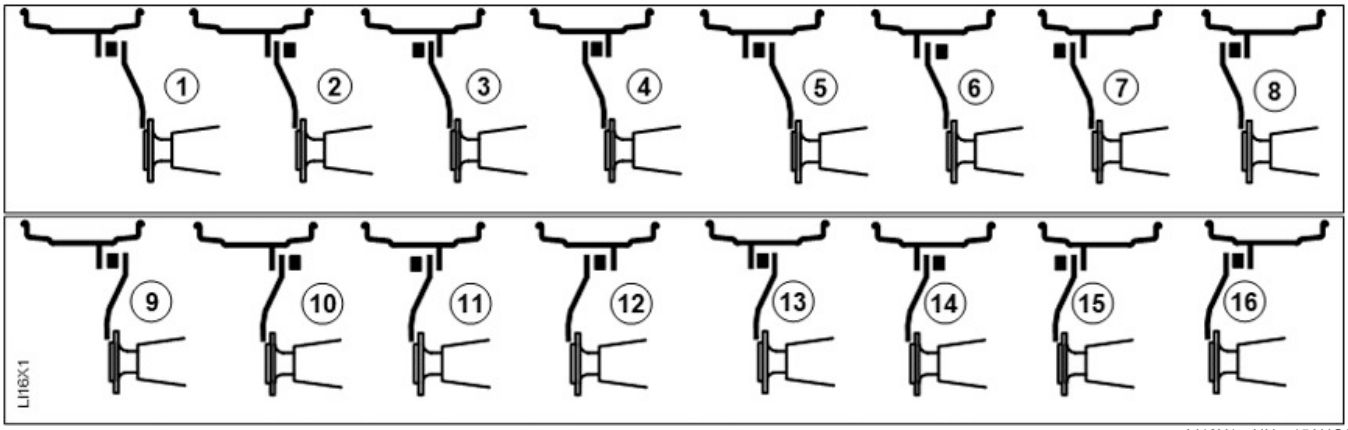
リムクラスタータイプ *WF8X3*



I8X1—UN—20AUG24

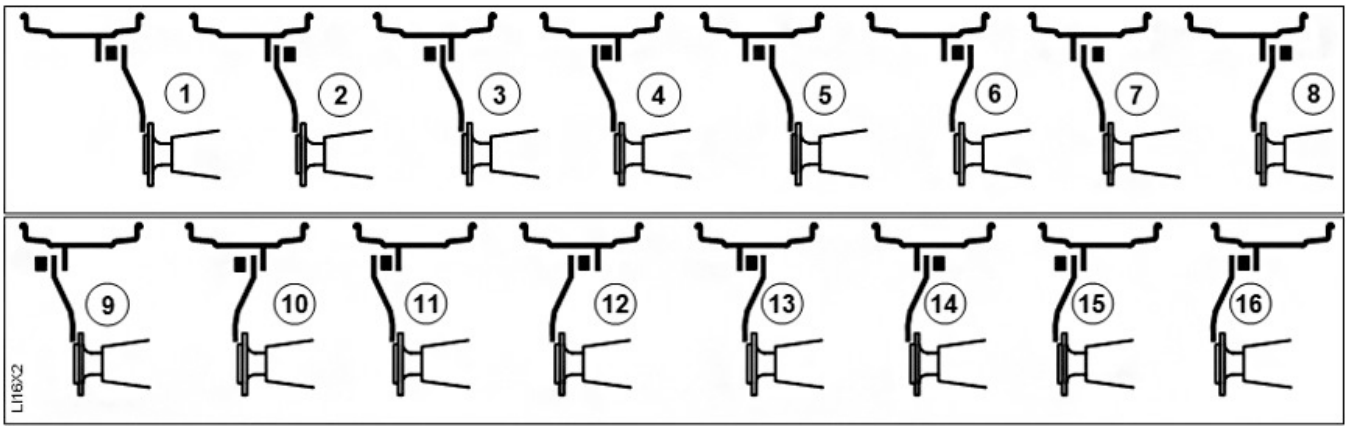
リムクラスタータイプ *I8X1*

16 ポジションリム



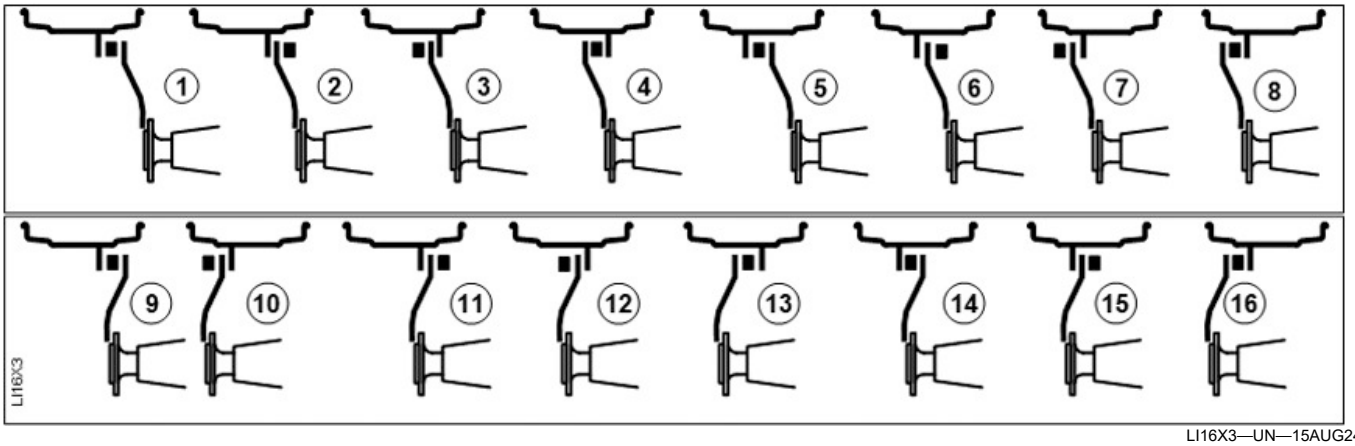
LI16X1—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *LI16X1*



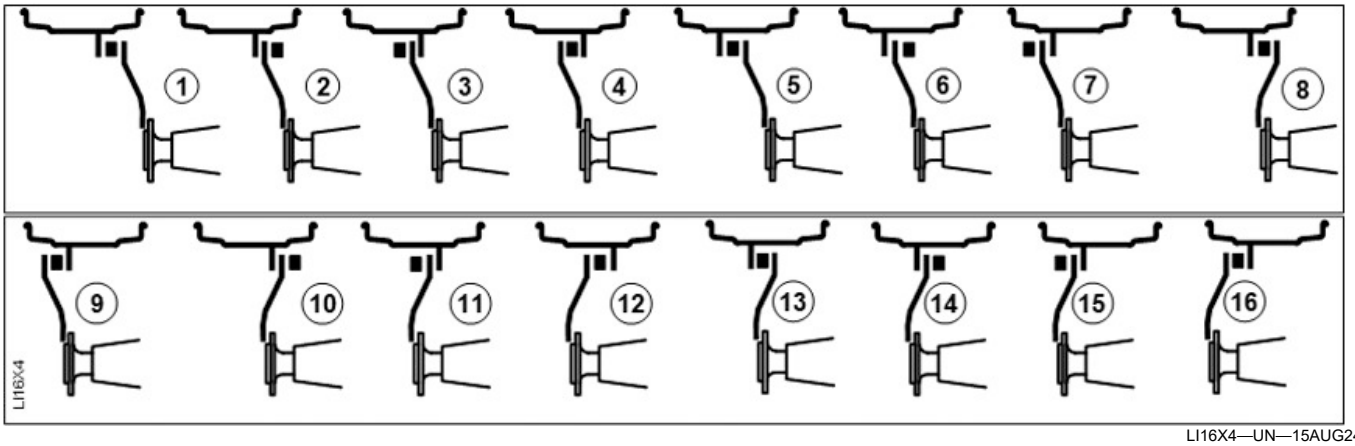
LI16X2—UN—20AUG24

リムクラスタータイプ *LI16X2*



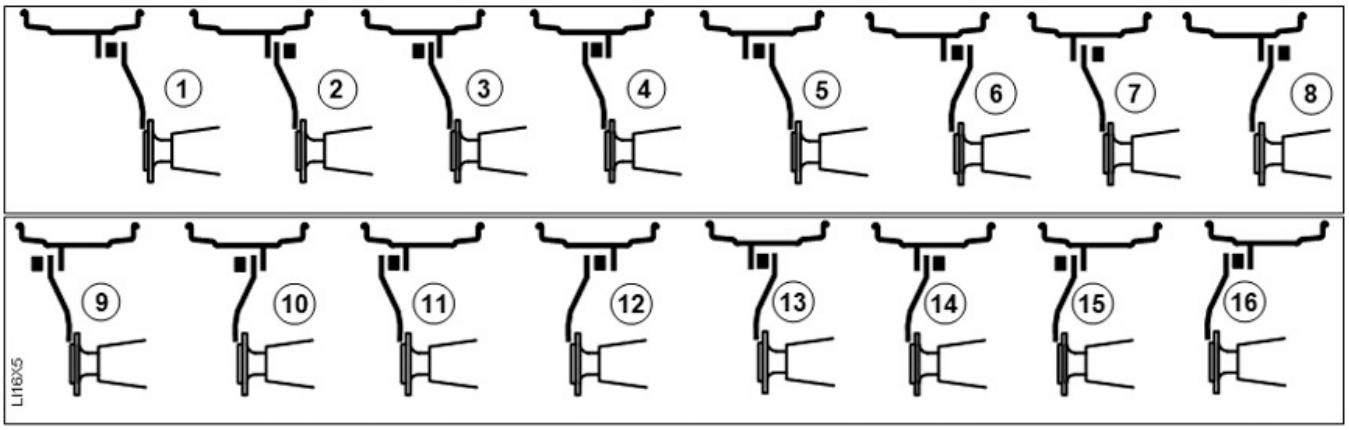
LI16X3—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *LI16X3*



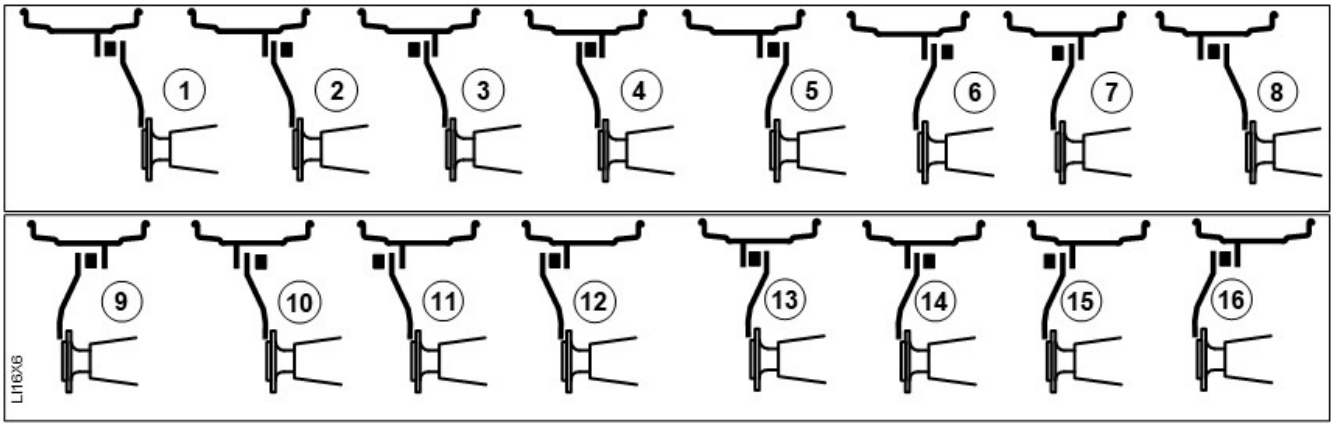
LI16X4—UN—15AUG24

クラスタータイプ *LI16X4*



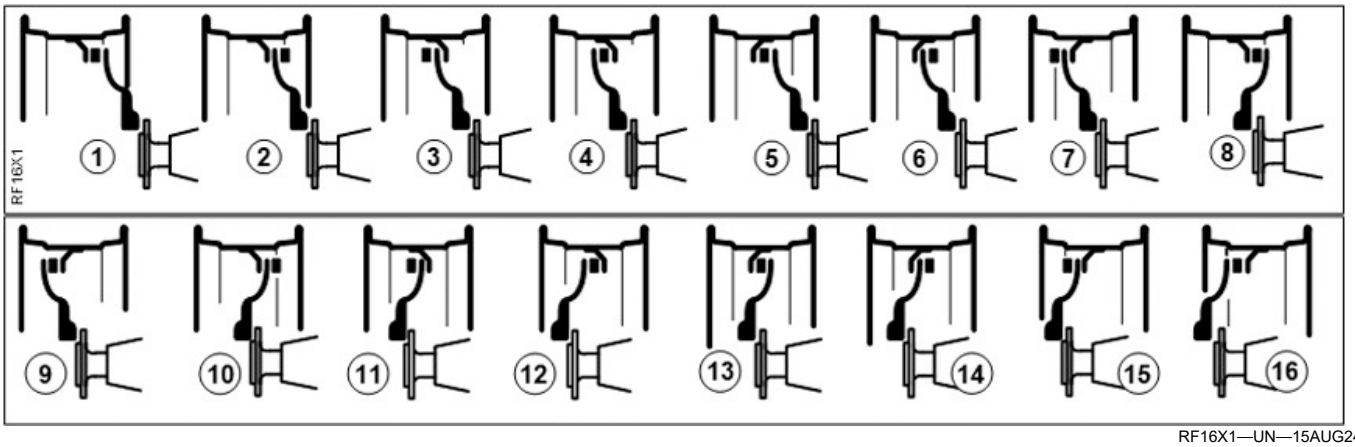
LI16X5—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *LI16X5*



LI16X6—UN—15AUG24

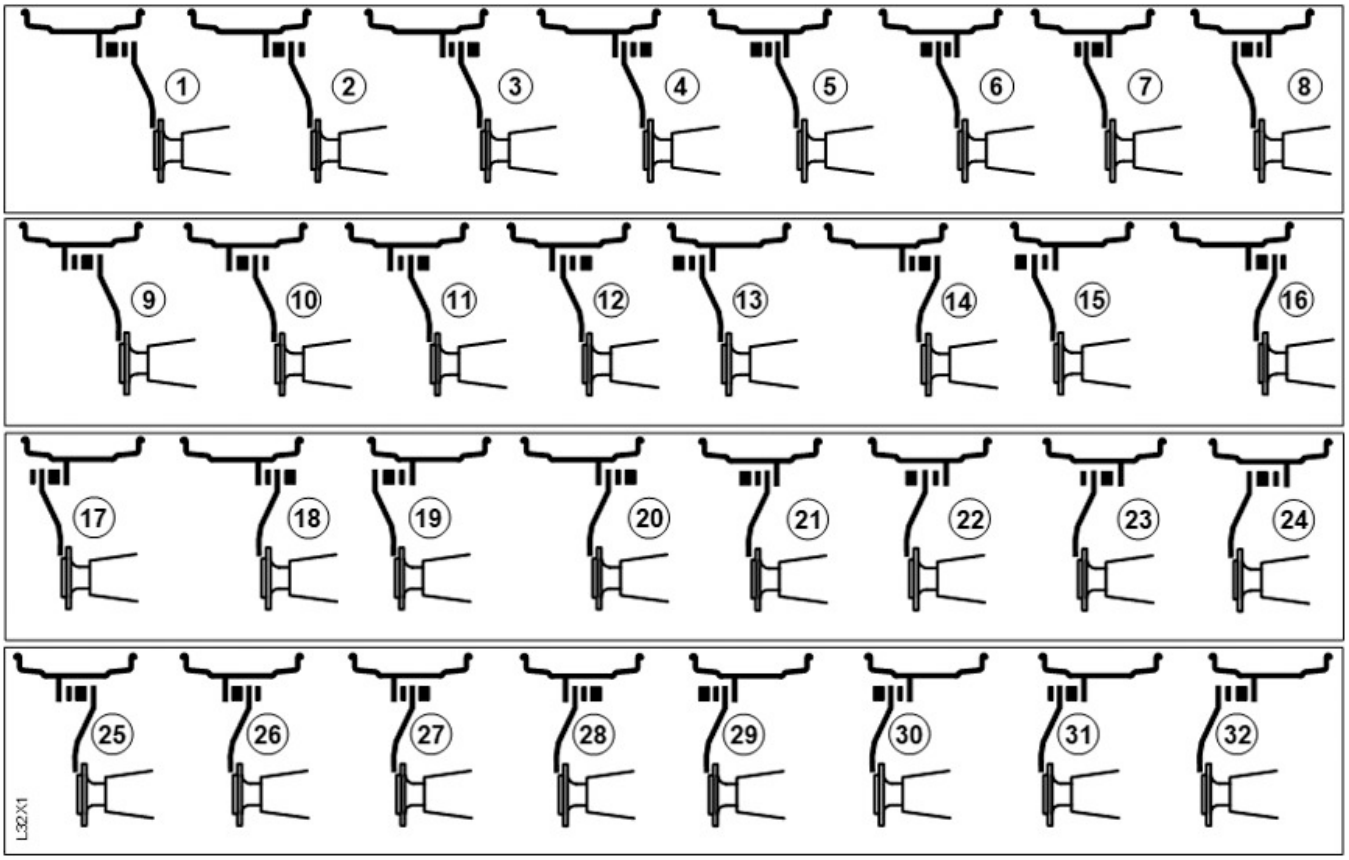
リムクラスタータイプ *LI16X6*



RF16X1—UN—15AUG24

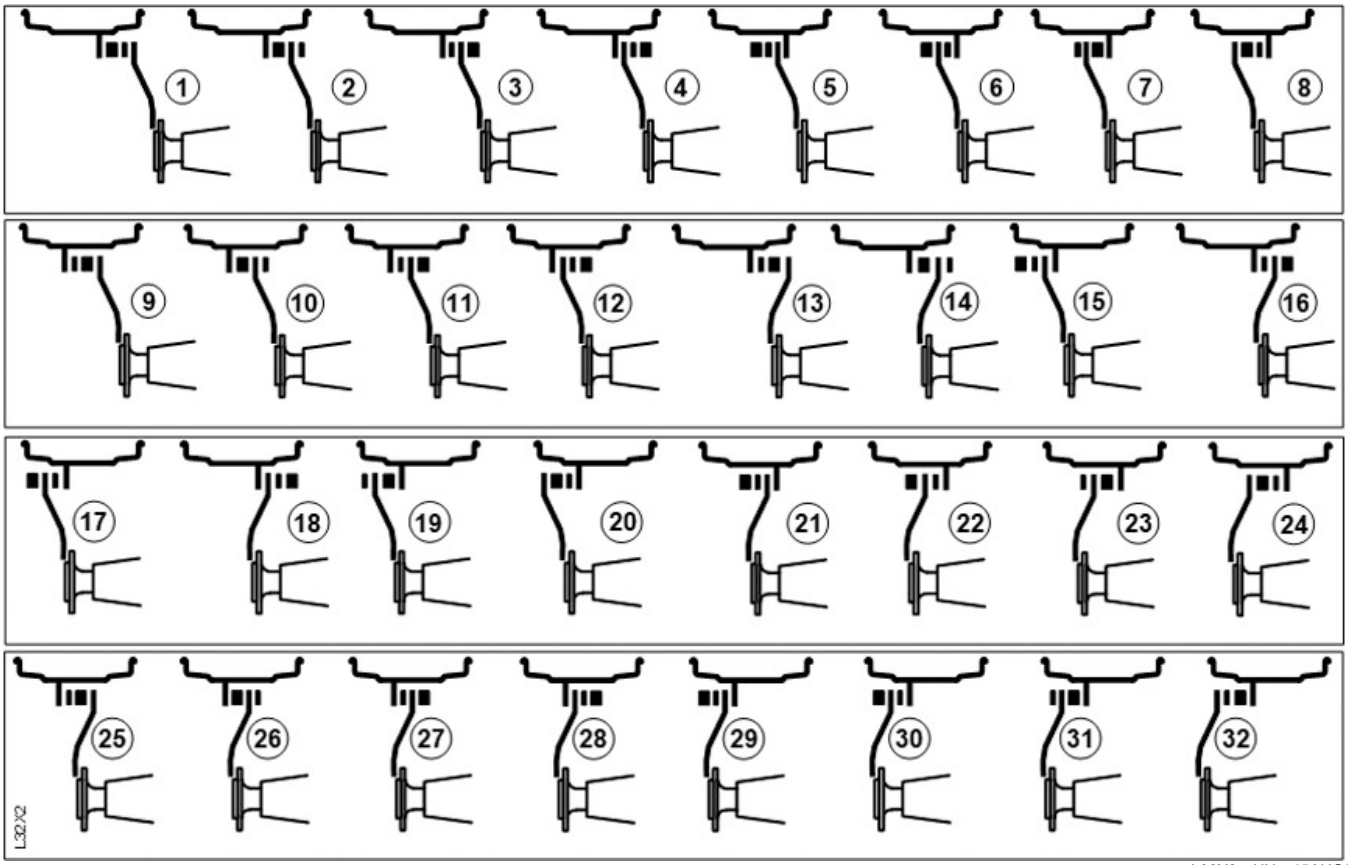
リムクラスタータイプ *RF16X1*

32 ポジションリム



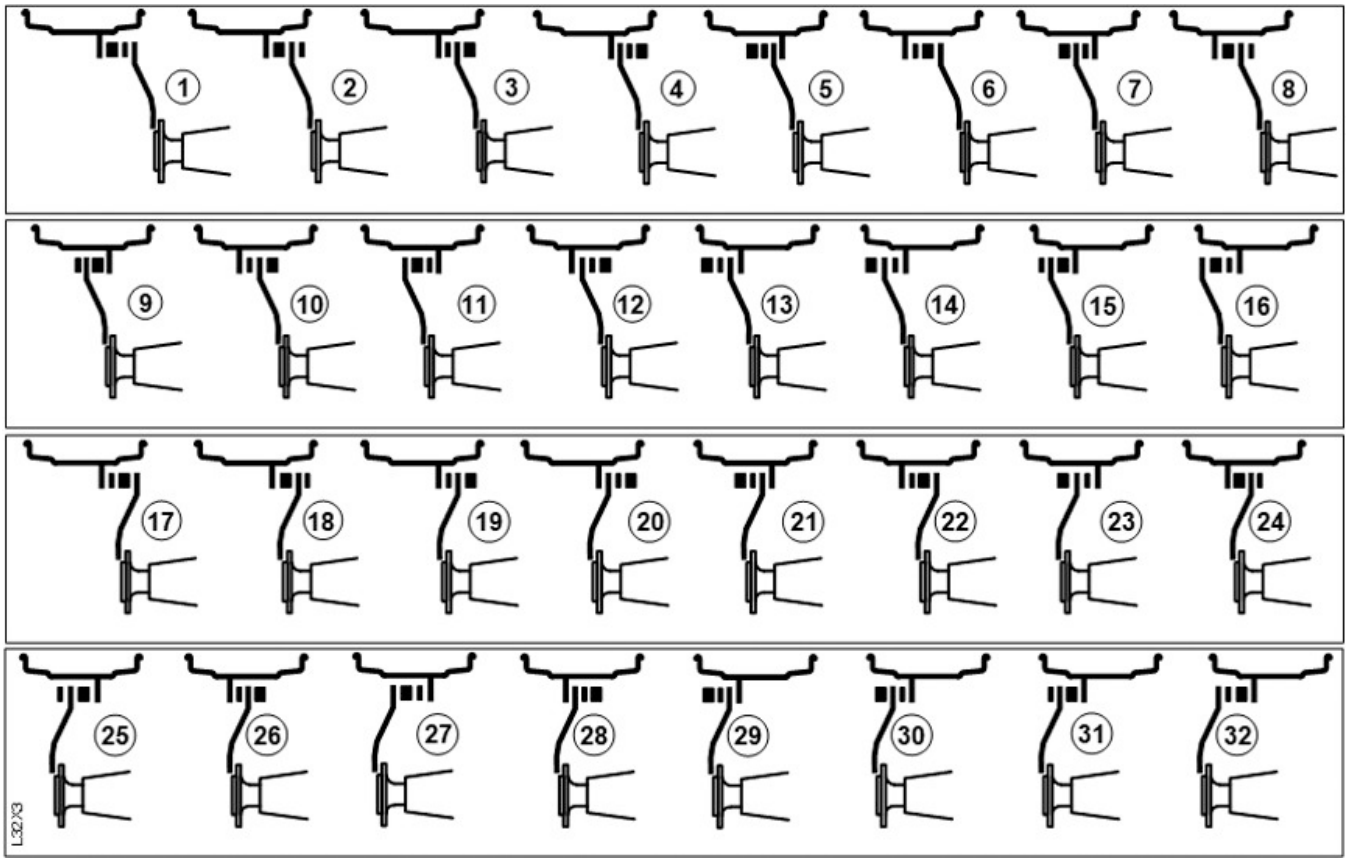
L32X1—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *L32X1*



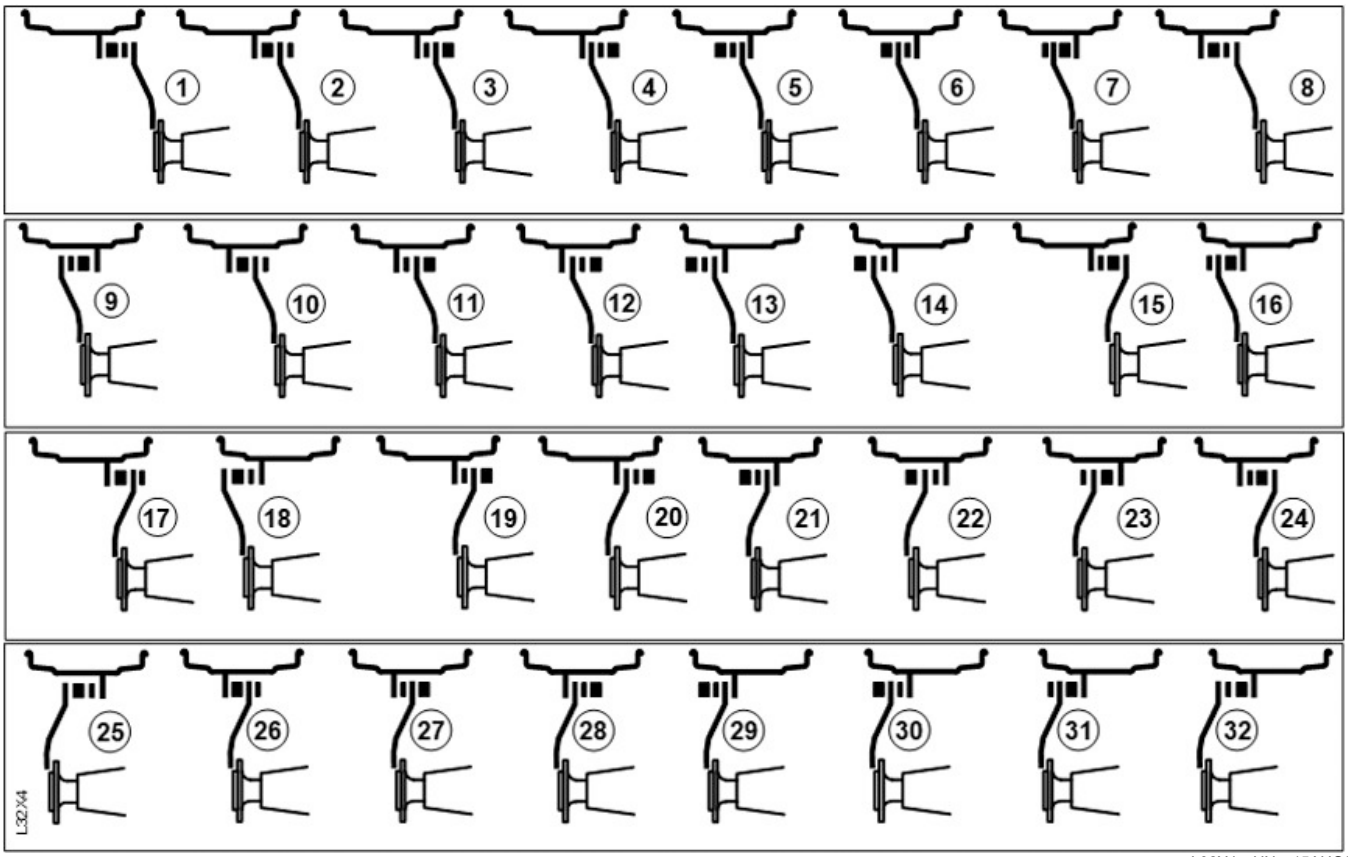
L32X2—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *L32X2*



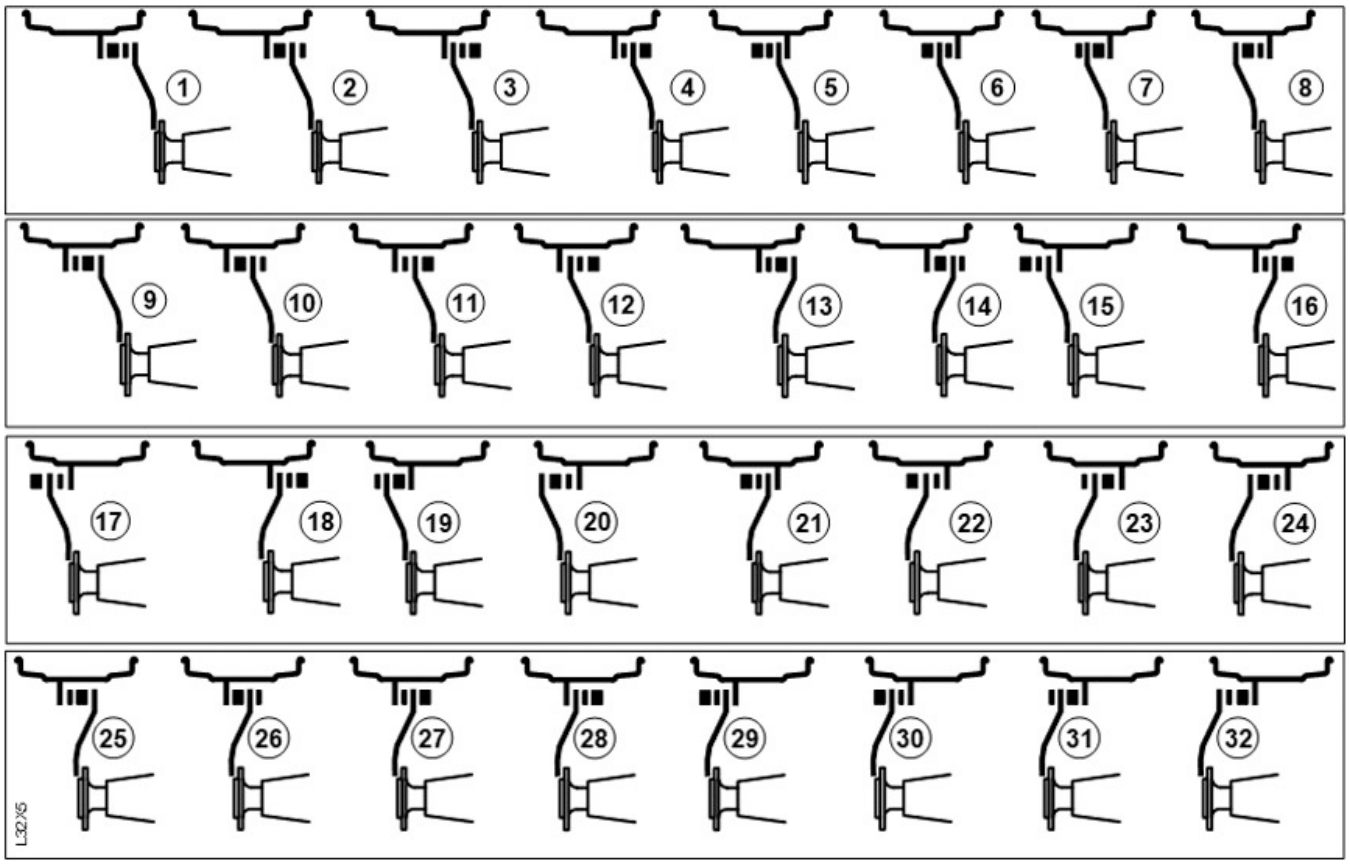
L32X3—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *L32X3*



L32X4—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *L32X4*



L32X5—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *L32X5*

jg60889,1725535450838-40-18SEP24

スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) - 2 ポジションリムを使用した前輪のトレッド幅 (MC フレームバージョン)

重要： **2 ポジションリムを使用している前輪のトレッド調整手順に従ってください。**

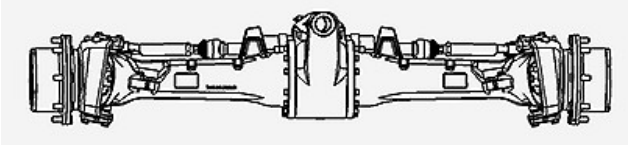
重要： **次の表は、標準リムを使用したホイールにのみ適用されます。標準以外のリムは異なる深さまで押し込まれる場合があります。その結果、表に示す値は無効になります。**

重要： **トレッドの設定後、フェンダーとステアリングストップを調整する必要があります。その後、ステアリングをいっぱいまで回して、フロント車軸を揺らします。ホイールまたはフェンダーがトラクター部品に接触する場合は、ステアリングストップを修正してください。**

参照先：

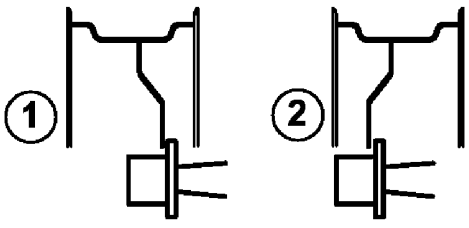
1. **「スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) — フェンダーとステアリングストップの調整」(セクション 80B)。**
2. **「前輪またはフェンダーとトラクター部品の接触の防止」(セクション 80)。**

注記： 特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。



LX1057503—UN—13MAY15

スリーピースフロントアクスル



LX1053400—UN—07MAR12

スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) - 2 ポジションリムを使用した前輪のトレッド幅 (MC フレームバージョン)				
タイヤ	部品番号	単位	リムとホイールディッシュの配置	
			位置 1	位置 2
280/85R28	AL242149	mm	1816	1526
		in	71.5	60.1
320/85R28	AL242149	mm	1816	1526
		in	71.5	60.1
340/85R24	AL242144	mm	1816	1524
		in	71.5	60.0
340/85R28	AL242157	mm	1814	1524
		in	71.4	60.0
380/70R24	AL242144	mm	1816	1524
		in	71.5	60.0
380/70R28	AL242157	mm	1814	1524
		in	71.4	60.0
380/85R24	AL242144	mm	1816	1524
		in	71.5	60.0
380/85R28	AL242157	mm	1814	1524
		in	71.4	60.0
400/80R24 -R4	AL242144	mm	1816	1524
		in	71.5	60.0
400/80R28 -R4	AL242157	mm	1814	1524
		in	71.4	60.0
420/70R24	AL242144	mm	1816	1524
		in	71.5	60.0
420/70R28	AL242157	mm	1814	1524
		in	71.4	60.0
420/85R24	AL242140	mm	1814	1522
		in	71.4	59.9
440/65R24	AL242140	mm	1816	1524
		in	71.5	60.0
440/80R24 -R4	AL242140	mm	1814	1522
		in	71.4	59.9
480/65R24	AL242140	mm	1816	1524
		in	71.5	60.0
480/65R28	AL242155	mm	1814	—
		in	71.4	
480/70R24	AL242140	mm	1814	—
		in	71.4	
540/65R24	AL234984	mm	1812	—
		in	71.3	
- この位置に取り付けることはできません。				

jg60889,1738926659912-40-07FEB25

スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) - 16 ポジションリムを使用した前輪のトレッド幅 (MC フレームバージョン)

重要： 16 ポジションリムによる前輪のトレッド調整手順に従ってください。

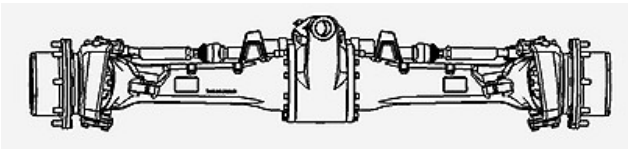
重要： 次の表は、標準リムを使用したホイールにのみ適用されます。標準以外のリムは異なる深さまで押し込まれる場合があります。その結果、表に示す値は無効になります。

重要：トレッドの設定後、フェンダーとステアリングストップを調整する必要があります。その後、ステアリングをいっぱいまで回して、フロント車軸を揺らします。ホイールまたはフェンダーがトラクター部品に接触する場合は、ステアリングストップを修正してください。

以下のセクションを参照してください：

1. **スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) — 車軸カテゴリと車軸タイプの概要**
2. **スリーピースフロント車軸 (バージョン 2) — 固定フェンダーとステアリングストップの調整**
3. **前輪またはフェンダーとトラクター部品の接触の防止**

注記： 特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。



LX1057503—UN—13MAY15

スリーピースフロントアクスル

リムクラスター列には、必要なリムアセンブリ情報を見つけるために使用する必要があるグラフィック番号が表示されます。

スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) - 16 ポジションリムを使用した前輪のトレッド幅 (MC フレームバージョン)

タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 1	位置 2	位置 3	位置 4	位置 5	位置 6	位置 7	位置 8
270/80R36	AL209735	LI16X1	mm	2022	1992	1952	1922	1818	1788	1748	1718
			in	79.6	78.4	76.9	75.7	71.6	70.4	68.8	67.6
270/95R32	AL242260	LI16X1	mm	2006	1986	1934	1914	1830	1810	1758	1738
			in	79.0	78.2	76.1	75.4	72.0	71.3	69.2	68.4
340/85R24	AL162975	LI16X1	mm	2016	1986	1954	1924	1812	1782	1750	1720
			in	79.4	78.2	76.9	75.7	71.3	70.2	68.9	67.7
380/70R24	AL162975	LI16X1	mm	2016	1986	1954	1924	1812	1782	1750	1720
			in	79.4	78.2	76.9	75.7	71.3	70.2	68.9	67.7
380/85R24	AL162975	LI16X1	mm	2016	1986	1954	1924	1812	1782	1750	1720
			in	79.4	78.2	76.9	75.7	71.3	70.2	68.9	67.7
400/80R24 -R4	AL162975	LI16X1	mm	2016	1986	1954	1924	1812	1782	1750	1720
			in	79.4	78.2	76.9	75.7	71.3	70.2	68.9	67.7
420/70R24	AL162975	LI16X1	mm	2016	1986	1954	1924	1812	1782	1750	1720
			in	79.4	78.2	76.9	75.7	71.3	70.2	68.9	67.7
420/85R24	AL162976	LI16X1	mm	2014	1984	1952	1922	1810	1780	1748	1718
			in	79.3	78.1	76.9	75.7	71.3	70.1	68.8	67.6
440/65R24	AL162976	LI16X1	mm	2016	1986	1954	1924	1812	1782	1750	1720
			in	79.4	78.2	76.9	75.7	71.3	70.2	68.9	67.7
440/80R24 -R4	AL162976	LI16X1	mm	2014	1984	1952	1922	1810	1780	1748	1718
			in	79.3	78.1	76.9	75.7	71.3	70.1	68.8	67.6
480/65R24	AL162976	LI16X1	mm	2016*	1986	1954	1924	1812	1782	1750	1720
			in	79.4*	78.2	76.9	75.7	71.3	70.2	68.9	67.7
480/70R24	AL162976	LI16X1	mm	2014*	1984	1952	1922	1810	1780	1748	1718
			in	79.3*	78.1	76.9	75.7	71.3	70.1	68.8	67.6
540/65R24	AL226981	LI16X1	mm	2018*	1988*	1952*	1922	1814	1784	1748	1718
			in	79.4*	78.3*	76.9*	75.7	71.4	70.2	68.8	67.6

\- この位置に取り付けることはできません。
* 車両全幅 2.55/2.75 m (100/108 in) 超。地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。

スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) - 16 ポジションリムを使用した前輪のトレッド幅 (MC フレームバージョン)

タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 9	位置 10	位置 11	位置 12	位置 13	位置 14	位置 15	位置 16
270/80R36	AL209735	LI16X1	mm	1622	1592	1552	1522	1418	1388	1348	—
			in	63.9	62.7	61.1	59.9	55.8	54.6	53.1	
270/95R32	AL242260	LI16X1	mm	1606	1586	1534	1514	1430	1410	1358	—

スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) - 16 ポジションリムを使用した前輪のトレッド幅 (MC フレームバージョン)											
タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 9	位置 10	位置 11	位置 12	位置 13	位置 14	位置 15	位置 16
			in	63.2	62.4	60.4	59.6	56.3	55.5	53.5	
340/85R24	AL162975	LI16X1	mm	1616	1586	1554	1524	1412	1382	1350	—
			in	63.6	62.4	61.2	60.0	55.6	54.4	53.1	
380/70R24	AL162975	LI16X1	mm	1616	1586	1554	1524	1412	1382	—	—
			in	63.6	62.4	61.2	60.0	55.6	54.4		
380/85R24	AL162975	LI16X1	mm	1616	1586	1554	1524	—	—	—	—
			in	63.6	62.4	61.2	60.0				
400/80R24 -R4	AL162975	LI16X1	mm	1616	1586	1554	1524	—	—	—	—
			in	63.6	62.4	61.2	60.0				
420/70R24	AL162975	LI16X1	mm	1616	1586	1554	1524	—	—	—	—
			in	63.6	62.4	61.2	60.0				
420/85R24	AL162976	LI16X1	mm	1614	1584	1552	1522	—	—	—	—
			in	63.5	62.4	61.1	59.9				
440/65R24	AL162976	LI16X1	mm	1616	1586	1554	1524	—	—	—	—
			in	63.6	62.4	61.2	60.0				
440/80R24 -R4	AL162976	LI16X1	mm	1614	1584	1552	1522	—	—	—	—
			in	63.5	62.4	61.1	59.9				
480/65R24	AL162976	LI16X1	mm	1616	1586	1554	1524	—	—	—	—
			in	63.6	62.4	61.2	60.0				
480/70R24	AL162976	LI16X1	mm	1614	1584	—	—	—	—	—	—
			in	63.5	62.4						
540/65R24	AL226981	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
- この位置に取り付けることはできません。 * 車両全幅 2.55/2.75 m (100/108 in) 超。地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。 *** リムアセンブリ構成の図を参照してください。											

jg60889,1738926802398-40-07FEB25

スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) - 32 ポジションリムを使用した前輪のトレッド幅 (MC フレームバージョン)

重要： **32 ポジションリムを使用している前輪のトレッド調整手順に従ってください。**

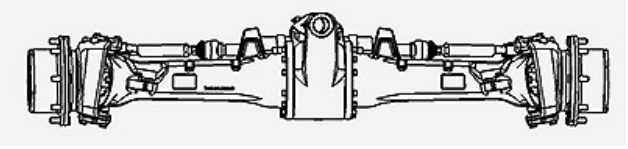
重要： **次の表は、標準リムを使用したホイールにのみ適用されます。標準以外のリムは異なる深さまで押し込まれる場合があります。その結果、表に示す値は無効になります。**

重要： **トレッドの設定後、フェンダーとステアリングストップを調整する必要があります。その後、ステアリングをいっぱいまで回して、フロント車軸を揺らします。ホイールまたはフェンダーがトラクター部品に接触する場合は、ステアリングストップを修正してください。**

以下のセクションを参照してください：

1. **スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) — 車軸カテゴリと車軸タイプの概要**
2. **スリーピースフロント車軸 (バージョン 2) — 固定フェンダーとステアリングストップの調整**
3. **前輪またはフェンダーとトラクター部品の接触の防止**

注記： 特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。



LX1057503—UN—13MAY15
スリーピースフロントアクスル

リムクラスター列には、必要なリムアセンブリ情報を見つけるために使用する必要があるグラフィック番号が表示されます。

スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) - 32 ポジションリムを使用した前輪のトレッド幅 (MC フレームバージョン)											
タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 1	位置 2	位置 3	位置 4	位置 5	位置 6	位置 7	位置 8
280/85R28	AL242102	L32X1	mm	2102	2072	2042	2012	1980	1950	1920	1890
			in	82.8	81.6	80.4	79.2	78.0	76.8	75.6	74.4
320/85R28	AL242102	L32X1	mm	2102	2072	2042	2012	1980	1950	1920	1890
			in	82.8	81.6	80.4	79.2	78.0	76.8	75.6	74.4
340/85R28	AL242101	L32X1	mm	2100	2070	2040	2010	1978	1948	1918	1888
			in	82.7	81.5	80.3	79.1	77.9	76.7	75.5	74.3
380/70R28	AL242101	L32X1	mm	2100	2070	2040	2010	1978	1948	1918	1888
			in	82.7	81.5	80.3	79.1	77.9	76.7	75.5	74.3
380/85R28	AL242101	L32X1	mm	2100	2070	2040	2010	1978	1948	1918	1888
			in	82.7	81.5	80.3	79.1	77.9	76.7	75.5	74.3
400/80R28 -R4	AL242101	L32X1	mm	2100*	2070	2040	2010	1978	1948	1918	1888
			in	82.7*	81.5	80.3	79.1	77.9	76.7	75.5	74.3
420/70R28	AL242101	L32X1	mm	2100*	2070*	2040	2010	1978	1948	1918	1888
			in	82.7*	81.5*	80.3	79.1	77.9	76.7	75.5	74.3
480/65R28	AL242106	L32X1	mm	2100*	2070*	2040*	2010*	1978	1948	1918	1888
			in	82.7*	81.5*	80.3*	79.1*	77.9	76.7	75.5	74.3

- この位置に取り付けることはできません。
* 車両全幅 2.55/2.75 m (100/108 in) 超。地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。

スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) - 32 ポジションリムを使用した前輪のトレッド幅 (MC フレームバージョン)											
タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 9	位置 10	位置 11	位置 12	位置 13	位置 14	位置 15	位置 16
280/85R28	AL242102	L32X1	mm	1846	1816	1786	1756	1724	1702	1694	1672
			in	72.7	71.5	70.3	69.1	67.9	67.0	66.7	65.8
320/85R28	AL242102	L32X1	mm	1846	1816	1786	1756	1724	1702	1694	1672
			in	72.7	71.5	70.3	69.1	67.9	67.0	66.7	65.8
340/85R28	AL242101	L32X1	mm	1844	1814	1784	1754	1722	1700	1692	1670
			in	72.6	71.4	70.2	69.1	67.8	66.9	66.6	65.7
380/70R28	AL242101	L32X1	mm	1844	1814	1784	1754	1722	1700	1692	1670
			in	72.6	71.4	70.2	69.1	67.8	66.9	66.6	65.7
380/85R28	AL242101	L32X1	mm	1844	1814	1784	1754	1722	1700	1692	1670
			in	72.6	71.4	70.2	69.1	67.8	66.9	66.6	65.7
400/80R28 -R4	AL242101	L32X1	mm	1844	1814	1784	1754	1722	1700	1692	1670
			in	72.6	71.4	70.2	69.1	67.8	66.9	66.6	65.7
420/70R28	AL242101	L32X1	mm	1844	1814	1784	1754	1722	1700	1692	1670
			in	72.6	71.4	70.2	69.1	67.8	66.9	66.6	65.7
480/65R28	AL242106	L32X1	mm	1844	1814	1784	1754	1722	1700	1692	1670
			in	72.6	71.4	70.2	69.1	67.8	66.9	66.6	65.7

- この位置に取り付けることはできません。
* 車両全幅 2.55/2.75 m (100/108 in) 超。地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。

スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) - 32 ポジションリムを使用した前輪のトレッド幅 (MC フレームバージョン)											
タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 17	位置 18	位置 19	位置 20	位置 21	位置 22	位置 23	位置 24
280/85R28	AL242102	L32X1	mm	1664	1642	1634	1612	1580	1550	1520	1490
			in	65.5	64.6	64.3	63.5	62.2	61.0	59.8	58.7
320/85R28	AL242102	L32X1	mm	1664	1642	1634	1612	1580	1550	1520	1490

スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) - 32 ポジションリムを使用した前輪のトレッド幅 (MC フレームバージョン)											
タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 17	位置 18	位置 19	位置 20	位置 21	位置 22	位置 23	位置 24
			in	65.5	64.6	64.3	63.5	62.2	61.0	59.8	58.7
340/85R28	AL242101	L32X1	mm	1662	1640	1632	1610	1578	1548	1518	1488
			in	65.4	64.6	64.3	63.4	62.1	60.9	59.8	58.6
380/70R28	AL242101	L32X1	mm	1662	1640	1632	1610	1578	1548	1518	1488
			in	65.4	64.6	64.3	63.4	62.1	60.9	59.8	58.6
380/85R28	AL242101	L32X1	mm	1662	1640	1632	1610	1578	1548	1518	1488
			in	65.4	64.6	64.3	63.4	62.1	60.9	59.8	58.6
400/80R28 -R4	AL242101	L32X1	mm	1662	1640	1632	1610	1578	1548	1518	—
			in	65.4	64.6	64.3	63.4	62.1	60.9	59.8	
420/70R28	AL242101	L32X1	mm	1662	1640	1632	1610	1578	1548	1518	—
			in	65.4	64.6	64.3	63.4	62.1	60.9	59.8	
480/65R28	AL242106	L32X1	mm	1662	1640	1632	1610	1578	—	—	—
			in	65.4	64.6	64.3	63.4	62.1			

- この位置に取り付けることはできません。
* 車両全幅 2.55/2.75 m (100/108 in) 超。地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。

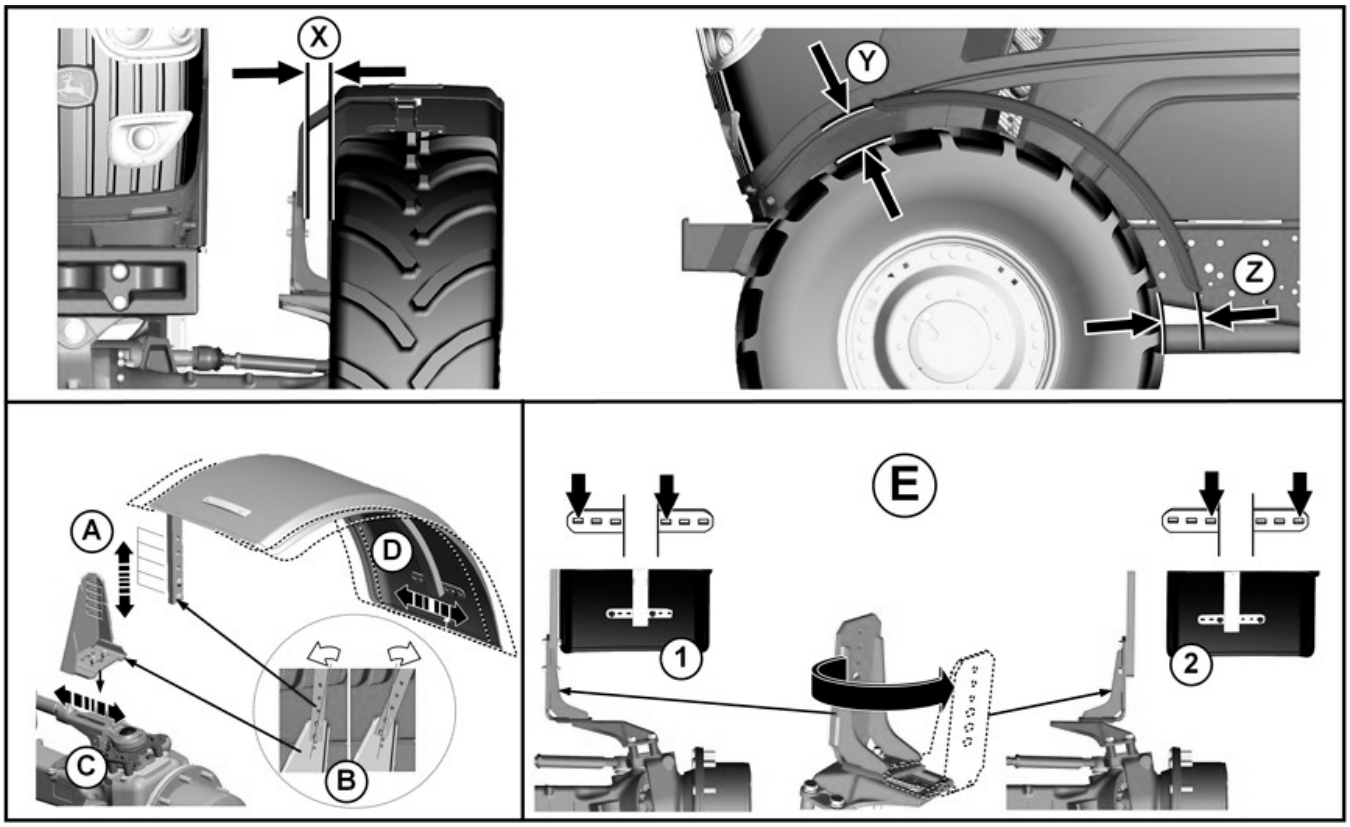
スリーピースフロントアクスル (バージョン 2) - 32 ポジションリムを使用した前輪のトレッド幅 (MC フレームバージョン)											
タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 25	位置 26	位置 27	位置 28	位置 29	位置 30	位置 31	位置 32
280/85R28	AL242102	L32X1	mm	1446	1416	1386	1356	1324	1294	—	—
			in	56.9	55.7	54.6	53.4	52.1	50.9		
320/85R28	AL242102	L32X1	mm	1446	1416	1386	1356	—	—	—	—
			in	56.9	55.7	54.6	53.4				
340/85R28	AL242101	L32X1	mm	1444	1414	—	—	—	—	—	—
			in	56.9	55.7						
380/70R28	AL242101	L32X1	mm	1444	—	—	—	—	—	—	—
			in	56.9							
380/85R28	AL242101	L32X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
400/80R28 -R4	AL242101	L32X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
420/70R28	AL242101	L32X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
480/65R28	AL242106	L32X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								

- この位置に取り付けることはできません。
* 車両全幅 2.55/2.75 m (100/108 in) 超。地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。

jg60889,1738915860905-40-07FEB25

ステアリングストップとフェンダー - 設定

フェンダーの設定



LX622470—UN—03JUN24

図に示す各種オプションを使用して、ホイール位置に応じてフェンダーを調整します。フェンダーの位置を調整する際は、推奨される最小距離を維持してください：

(X) = フェンダーブラケットとホイール間 50 mm (2 in)

(Y) = 上部のフェンダーとホイール間 60 mm (2.4 in)

(Z) = 後部の固定フェンダーとホイール間 60 mm (2.4 in)

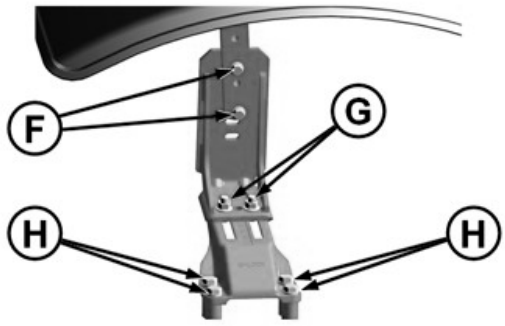
(Z) = 後部のピボットフェンダーとホイール間 80 mm (3.2 in)

A — 高さ調整： 高さ調整ボルトを取り外し、フェンダーを必要な高さまで上げてボルトを再度挿入します。ねじを締め付ける前に、フェンダー (B) を旋回させて、フェンダーに応じた距離 (Y) と (Z) にします

C — サイド調整 1： フェンダーはコンソール上で左右に動かすことができます。ねじを緩め、フェンダーを必要な位置に動かして、ねじを締め付けます。

D — サイド調整 2： 必要に応じて、フェンダーオーバーレイの位置を固定ブラケットに対して左右に変更できます。これにより、幅設定 1 が十分でない場合に調整できます。

E — サイド調整 3： 最小幅 **(1)** または最大幅 **(2)** を調整するために、フェンダーサポートはコンソール上で 180°回転する必要があります (図を参照)。



LX514324—UN—09AUG23

F：**ボルト、フェンダーとコンソール間、90 N・m (65 lb・ft)**
G：**ボルト、コンソールとサポート間、160 N・m (120 lb・ft)**
H：**ボルト、サポートとナックルハウジング間、170 N・m (125 lb・ft)**

重要： **トレッドまたはフェンダーの設定を変更するたびに、ステアリングストップの設定を確認する必要があります。そうしなかった場合、ホイールとフェンダーが他の部品と接触したときに損傷します。**

重要： **非対称のフェンダーサポートが装備されている場合は、180 度回転させた後にフェンダーサポートが後方を向いていることを確認してください。そのためには、左フェンダーサポートを左車軸側から右に、またはその逆に変更します。**

oulxa64,MP,1691658019098-40-04JUN24

ステアリングストップの設定

重要： **車両の前部で状況が変化した場合は、ステアリングストップの設定を確認します。以下は、ステアリングストップを点検する必要がある例です**：

- **フェンダーまたはホイール位置の変更**
- **タイヤサイズの変更**
- **バラストウエイトの追加**
- **フロント作業機の取り付け**
- **追加装置の取り付け**

1. 車軸を左側のストップまで十分に振動させます。



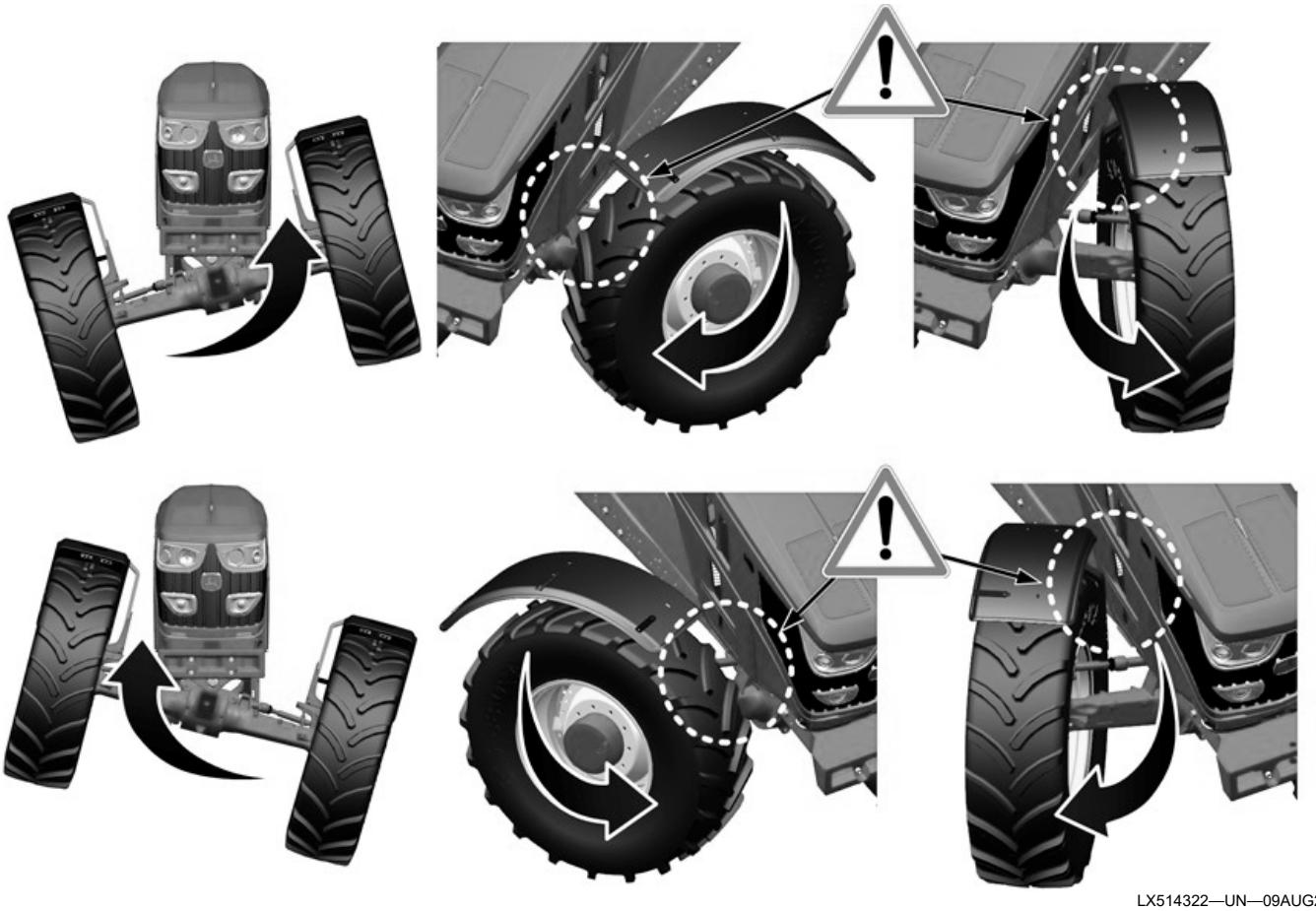
LX514326—UN—09AUG23

注意： **必要なステアリングの動きによる事故のリスクがあります。**

可動部品の近くに留まると、挟まれて大けがをする可能性があります。

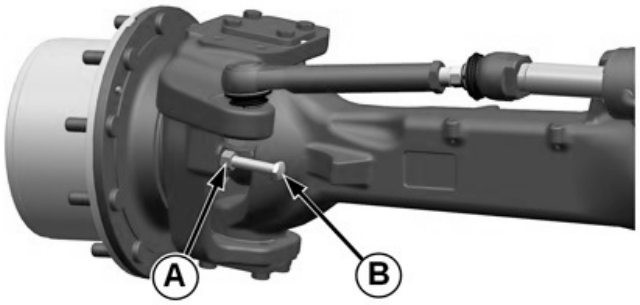
エンジン作動時の点検中は、トラクターに人を近づけないでください。

2. ホイールまたはフェンダーがトラクターの部品に触れる前に、ゆっくりと右にステアリングしてステアリングを停止します。右ステアリングストップを約 20 mm (0.8 in) の隙間に設定します。



LX514322—UN—09AUG23

3. ホイールまたはフェンダーがトラクターの部品に触れる前に、ゆっくりと左にステアリングしてステアリングを停止します。左ステアリングストップを約 20 mm (0.8 in) の隙間に設定します。
4. 車軸を右側のストップまで十分に振動させます。
5. 手順 2 と 3 を繰り返し、必要に応じてステアリングストップの設定を修正します。



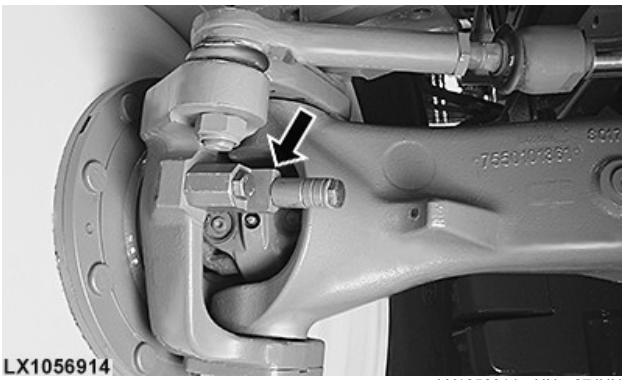


LX514325—UN—09AUG23

重要： ステアリングストップを設定するときは、ねじ (B) が車軸ハウジングのカムと正しく整列していることを確認してください。ねじ (B) はねじ穴に 20 mm (0.8 in) 以上残す必要があります。そうしておかないと、ねじが抜け出します。ロックナット (A) を 120 N·m (89 lb·ft) のトルクで締め付けます。ストップまで 5 回ステアリングし、ロックナットを規定のトルクで締め直します。

設定するたびに次の点を確認します： 前輪駆動の自動接続 / 解除の停止角度を設定します。該当する取扱説明書の「前輪駆動を使用する」(セクション 50A) を参照してください。

注記： ステアリングストップのねじ (B) の長さが十分でない場合、または車軸ハウジングのカムと整列しない場合は、ステアリングストップキットを使用できます。必要に応じて、ステアリングストップキット AL225331 がお使いの装置に適しているか確認します。



LX1056914—UN—27JUN13

ステアリングストップキット *AL225331*

oulxa64,MP,1691658019215-40-10JUL25

後輪、タイヤ、トレッド幅 (MC)

タイヤとホイール - 序文

操作説明に記載されているホイール、タイヤ、ゲージを取り付けることができます。

一部の地域では、すべてのタイヤを使用できない場合があります。

表示されているタイヤは、お使いのトラクターのモデルと互換性がない場合があります。

販売パンフレットの現在の版はその時点で信頼できます。

80,ALL,LX25458,0000A46-40-17SEP24

2、8、16、32 ポジションリムを使用している後輪のトレッド調整手順 (フランジ付き車軸)

注意： 生命を脅かすけがをする重大な事故。

ホイールとトラクター部品が接触すると、けがや物的損傷が発生します。

トラック幅の設定やホイール構成の変更時は、トラクターの構成部品から 25 mm (1 in) 以上の距離を保つよう徹底してください。この最小距離を維持できない場合は、トラック幅を広げて設定するか、適切なホイール構成を使用する必要があります。

重要： トレッド調整後、以下の点を確認します：

- **すべてのホイールボルトとホイールナットを規定のトルクで締め付けます。運転開始から 4 時間後と 8 時間後にホイールナットとホイールボルトのトルクを点検し、その後 100 時間の運転中も頻繁に点検してください。**
- **ホイールが自由に動くことを確認します。**
- **ドラフトリンクやリフトリンクにタイヤが接触しないようにしてください。接触している場合は、次の点に注意してください：**

1. **リフトリンクをドラフトリンクの前穴に取り付けて、リフトリンクからタイヤまでの距離を増やします。**
2. **作業機を取り付けていない場合でも、ドラフトリンクを持ち上げるときは、スタビライザバー (油圧または機械式) をロックする必要があります。**
3. **これらすべての処置を実施してもドラフトリンクやリフトリンクと接触する場合は、トレッド幅を増やしてください。**

重要： タイヤの側壁とトラクターの部品間の距離は 25 mm (1 in) 以上にしてください。

タイヤの走行面 (エッジ) とトラクターの部品間の距離は 25 mm (1 in) 以上にする必要があります。

スノーチェーンをタイヤに取り付ける場合、タイヤからトラクターの部品 (サイドウォールからフェンダー、および走行面からトラクターの部品) までの距離は 100 mm (4 in) 以上である必要があります。

重要： ハブエクステンションには、ホイールのトルクを使用してください。

注記： 特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。

2 ポジションリム付きの後輪

トレッド幅は、タイヤ一式をトラクターの反対側に取り付けることにより変更できます。その場合は、タイヤ回転方向を維持してください。

8、16、32 ポジションリム付きの後輪

ホイールリムを再配置するか逆にすることにより、ホイールトレッドを調整できます。

さらに、ホイール全体をトラクターの反対側に取り付けることができます。その場合は、タイヤ回転方向を維持してください。

重要： 次の表は、標準リムを使用したホイールにのみ適用されます。標準以外のリムは異なる深さまで押し込まれる場合があります。その結果、表に示す値は無効になります。

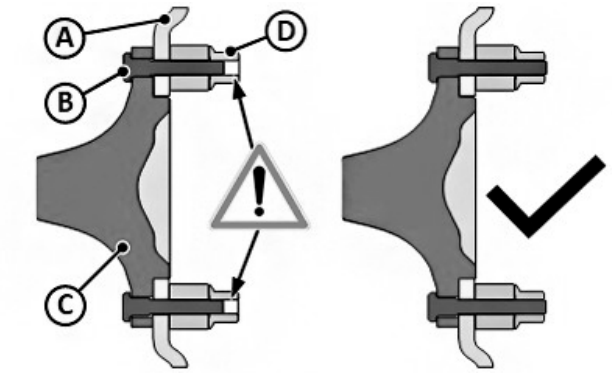
注記： トレッド幅の調整前に、ホイールディッシュと後輪のリムとの位置関係に注意してください。該当する「タイヤ情報に関する付属書」グループ 30 のトレッド幅の表に添えられた図を参照してください。

注記： 一部の国では、公道を走行する車両の全幅は 2.55 m (100 in) を超えてはなりません。

注意： 生命の危険と大きな物的損害。

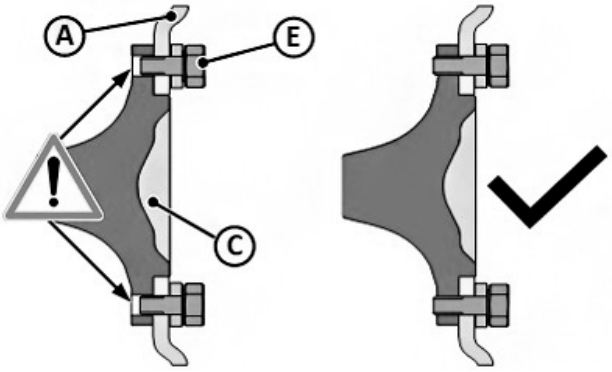
ねじやホイールボルトがなくなったり、緩んだり、短すぎたりすると、ホイールが損失する可能性があります。

ホイールを取り付けるときは、すべてのねじが締め付けられていることを確認し、使用するねじに十分な深さがあることを確認することが重要です。



LX601411—UN—19DEC23

例： 例： 図はフランジ付き車軸、ナット付きバージョン



LX601412—UN—19DEC23

例： 例： 図はフランジ付き車軸、ねじ付きバージョン

A：**リム**
B：**ボルト**
C：**ハブ (フランジ)**
D：**ナット**
E：**ねじ**

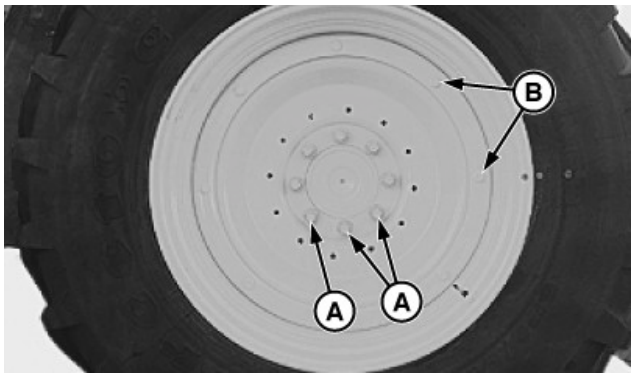
ホイールを交換する場合は、使用しているホイールセットの要件に従ってファスナを使用するようにしてください。ねじ、ナット、座金、ブッシング、および補強リングは、使用する車軸リムの組み合わせに一致している必要があります。予備パーツカタログに従って、オリジナル部品のみを使用してください。

以下を参照してください。

リアホイールボルトの締め付け - フランジ付き車軸 (このセクション)

OULXA64,ALL,0005665-40-10JUL25

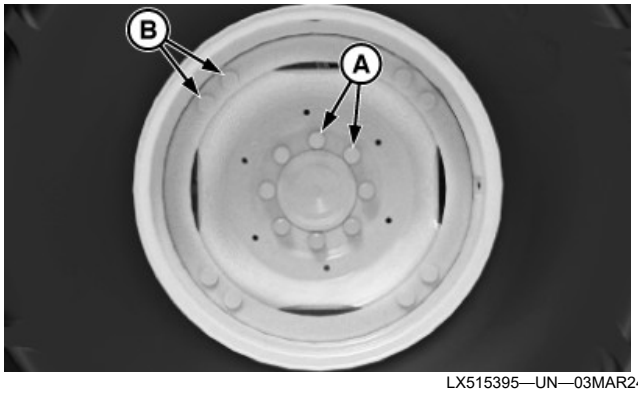
リアホイールボルトの締め付け - フランジ付き車軸



LX515393—UN—03MAR24

8 穴円と丸形ホイールディッシュ付き後輪

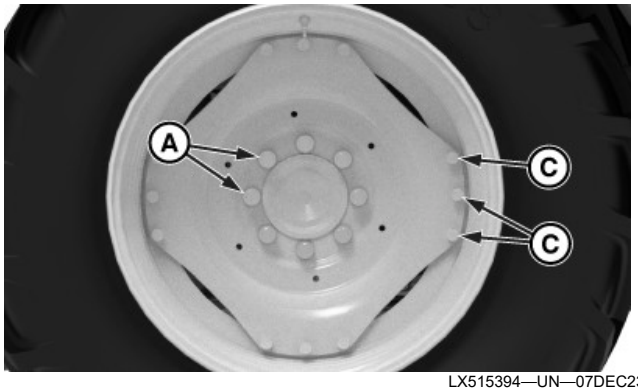
A：**500 N·m (370 lb·ft)**
B：**210 N·m (155 lb·ft)**



LX515395—UN—03MAR24

8 穴円および角形ホイールディッシュ付き後輪

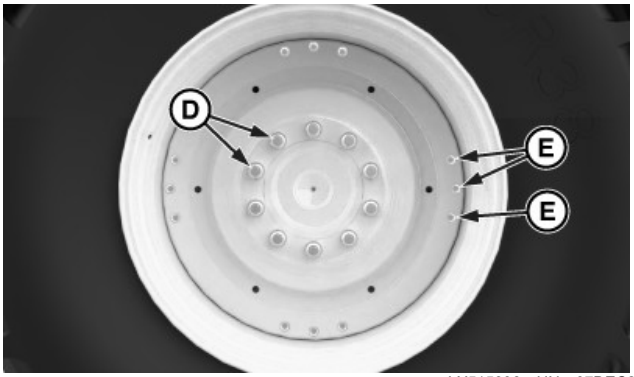
A：**500 N·m (370 lb·ft)**
B：**210 N·m (155 lb·ft)**



LX515394—UN—07DEC23

8 ボルト円とワッフルリム付き後輪

A：**500 N·m (370 lb·ft)**
C：**金色ボルト - 280 N·m (205 lb·ft)**
C：**灰青色ボルト - 265 N·m (195 lb·ft)**



LX515396—UN—07DEC23

10 ボルトサークルとワッフルリム付き後輪

D：**600 N·m (445 lb·ft)**
E：**金色ボルト - 280 N·m (205 lb·ft)**
E：**灰青色ボルト - 265 N·m (195 lb·ft)**

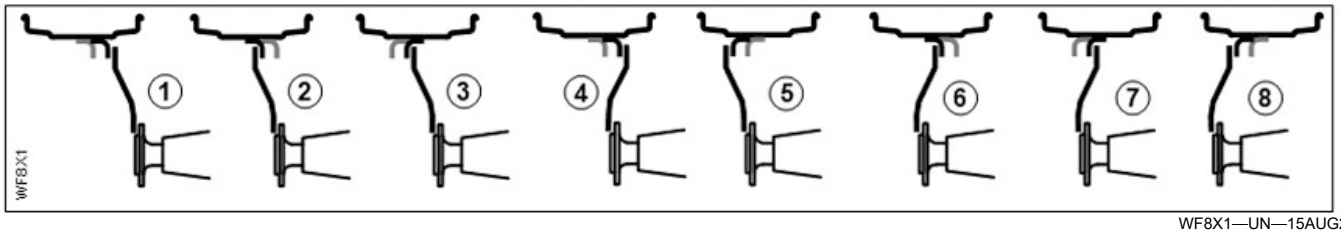
220C,10,oulxa64,1708350054724-40-27FEB24

リムアセンブリ構成の図

注記： リムクラスターの仕様は、前輪と後輪に対するものです。

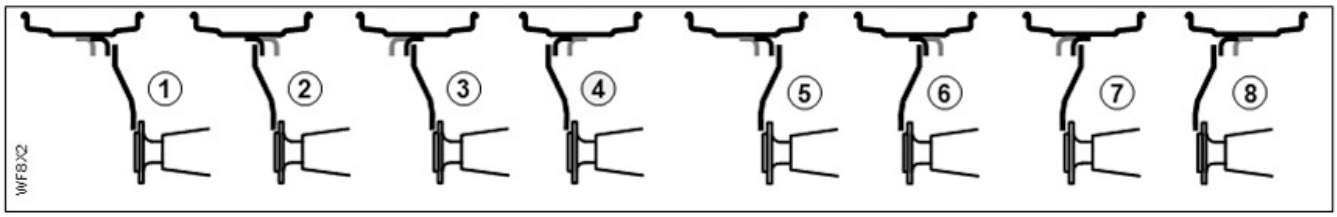
リムの組み立て構成を図に示します。トレッド設定表に示されている該当のリムクラスター番号を参照してください。

8 ポジションリム



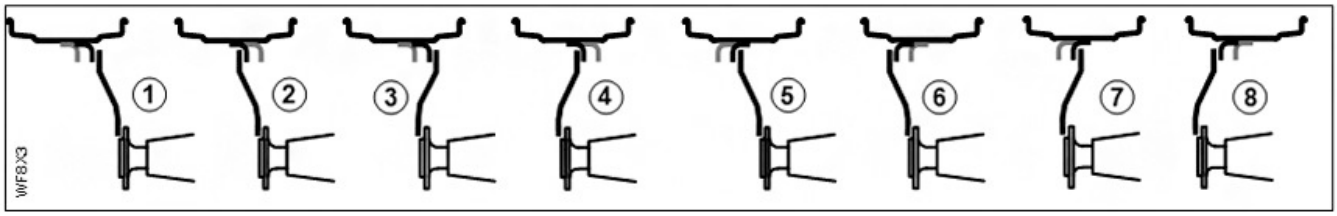
WF8X1—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *WF8X1*



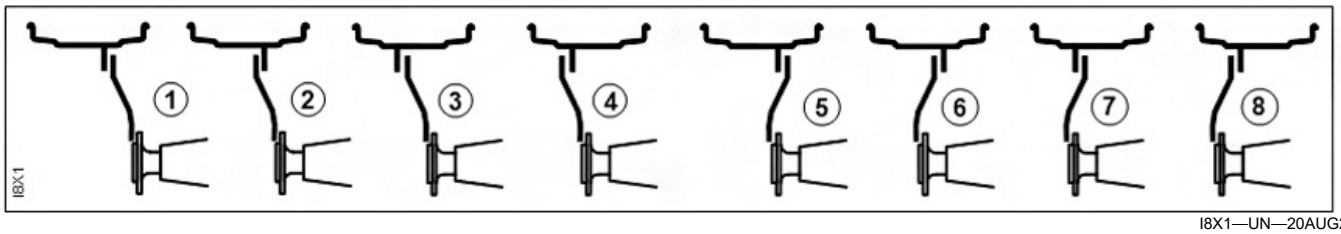
WF8X2—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *WF8X2*



WF8X3—UN—20AUG24

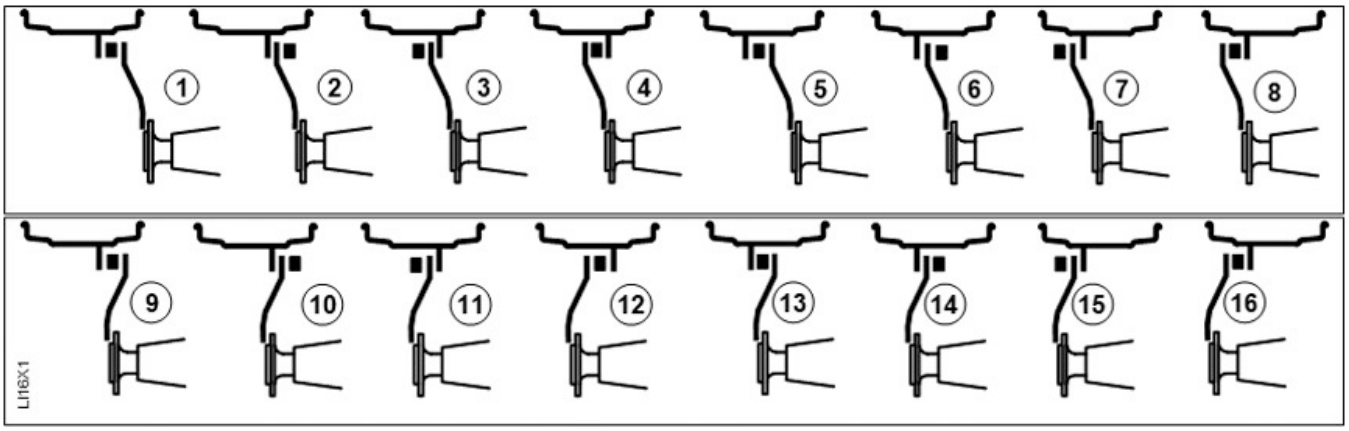
リムクラスタータイプ *WF8X3*



I8X1—UN—20AUG24

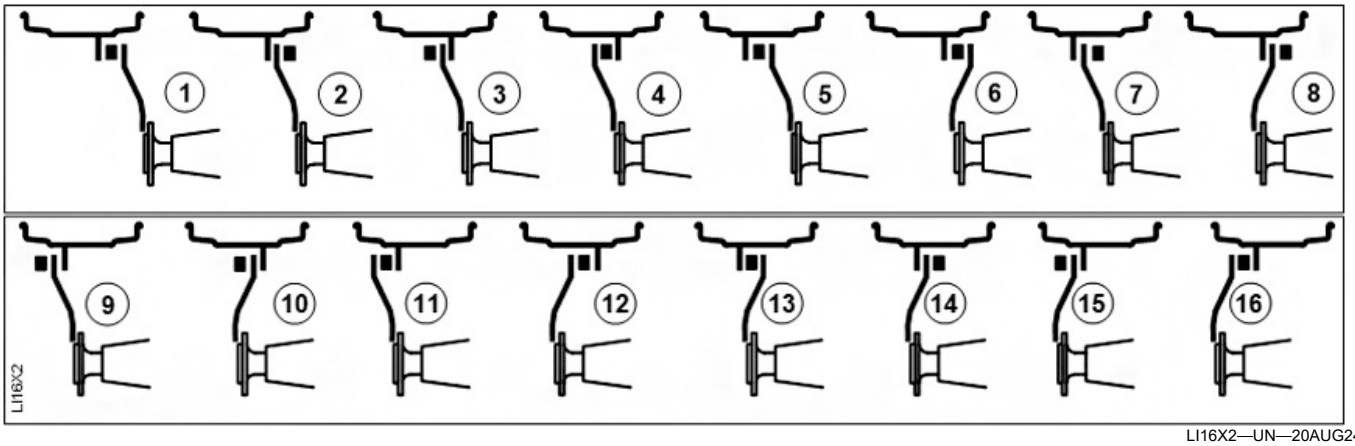
リムクラスタータイプ *I8X1*

16 ポジションリム



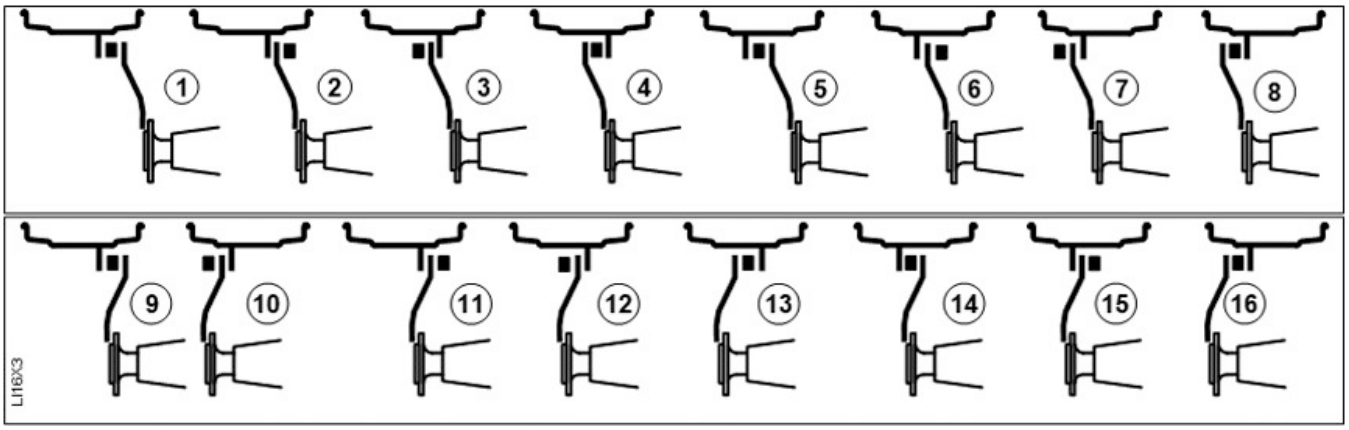
LI16X1—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *LI16X1*



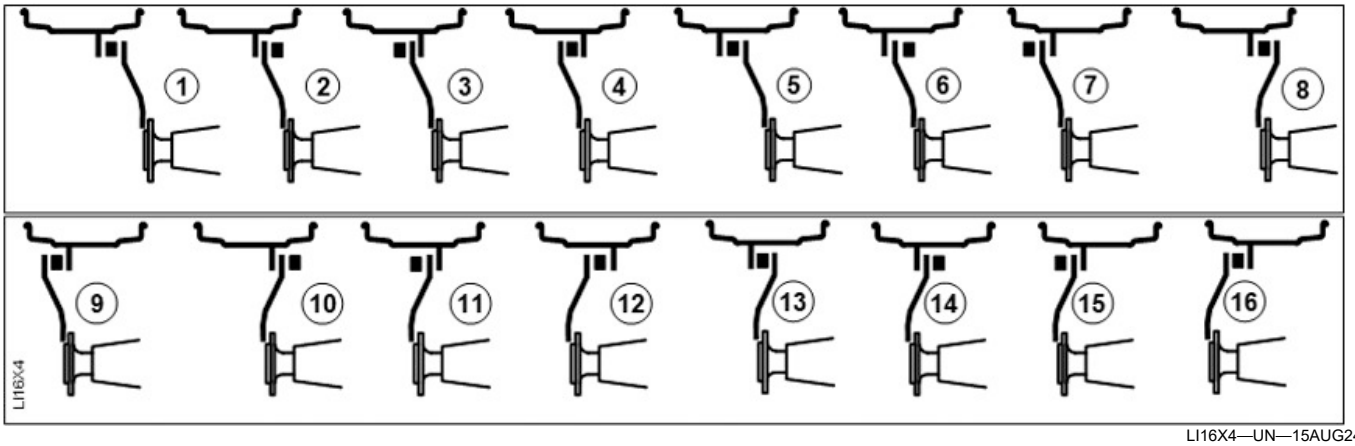
LI16X2—UN—20AUG24

リムクラスタータイプ *LI16X2*



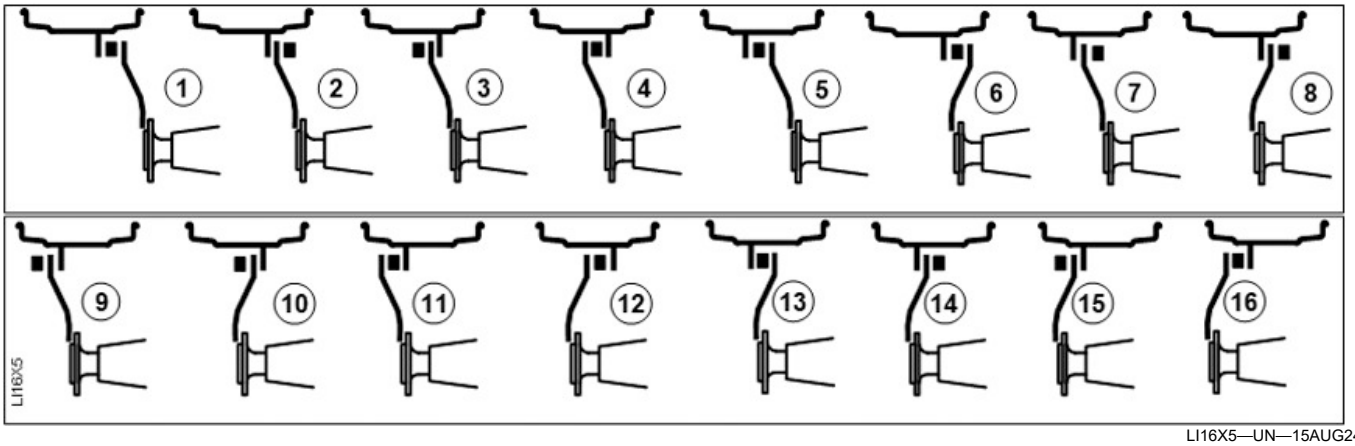
LI16X3—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *LI16X3*



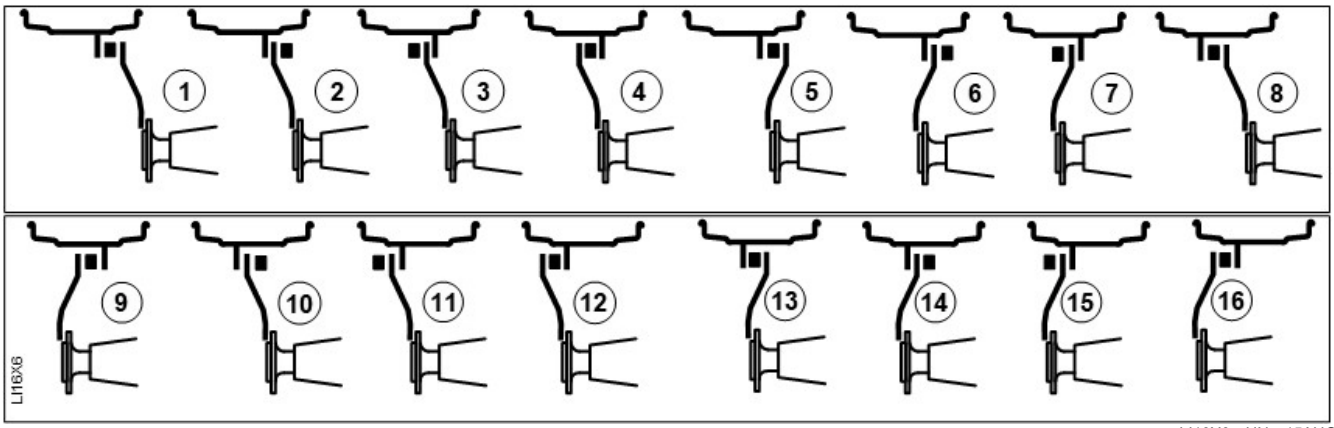
LI16X4—UN—15AUG24

クラスタータイプ *LI16X4*



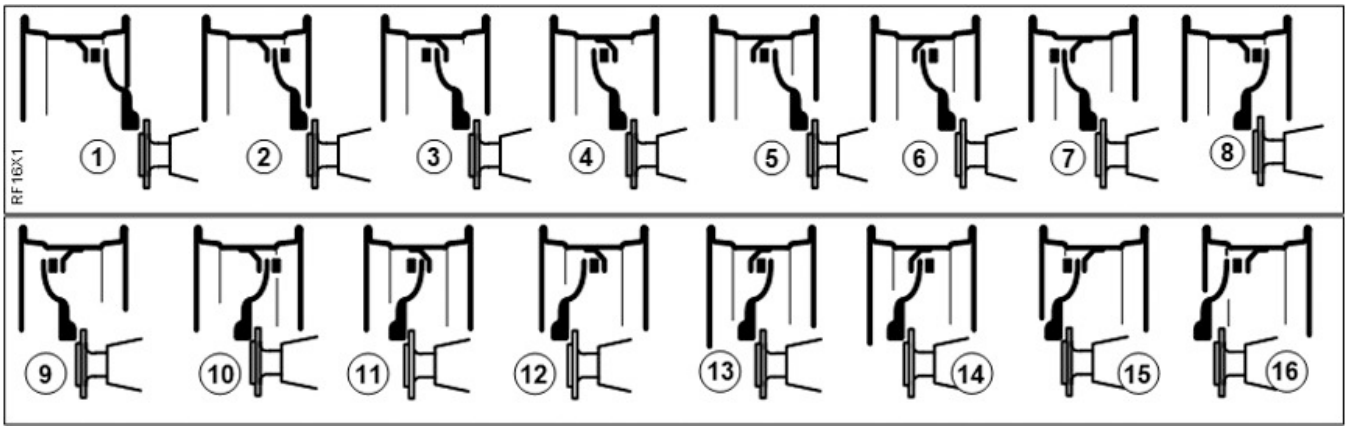
LI16X5—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *LI16X5*



LI16X6—UN—15AUG24

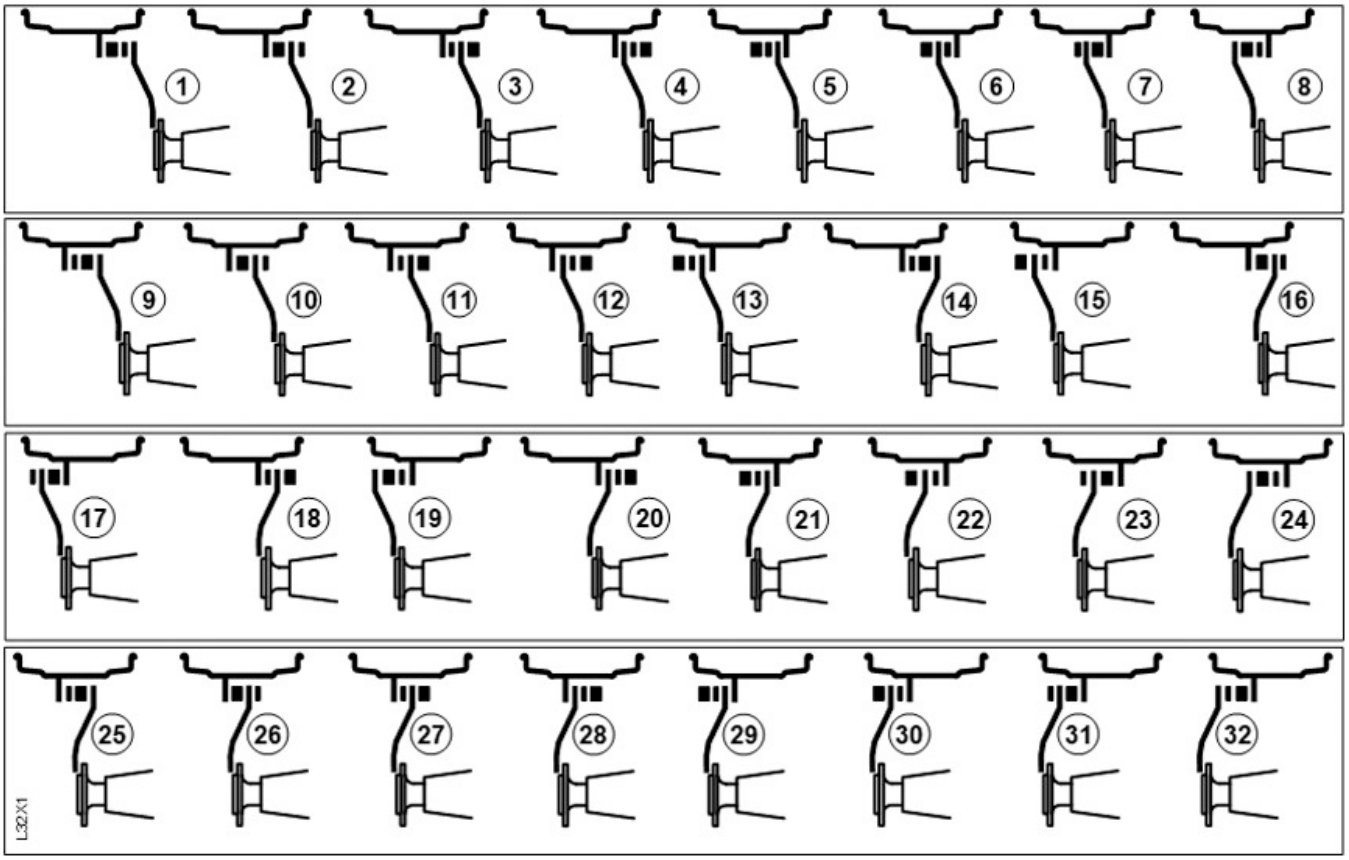
リムクラスタータイプ *LI16X6*



RF16X1—UN—15AUG24

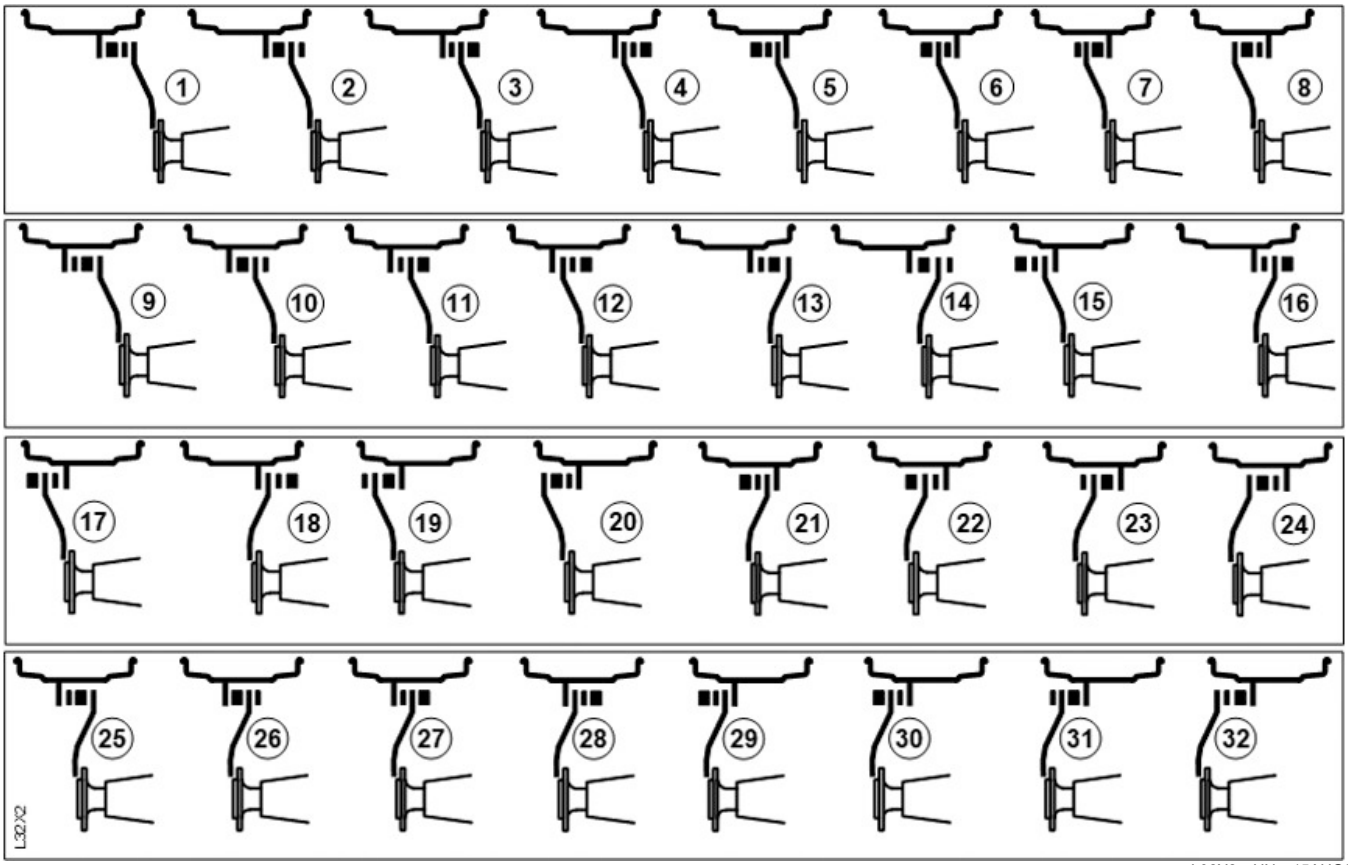
リムクラスタータイプ *RF16X1*

32 ポジションリム



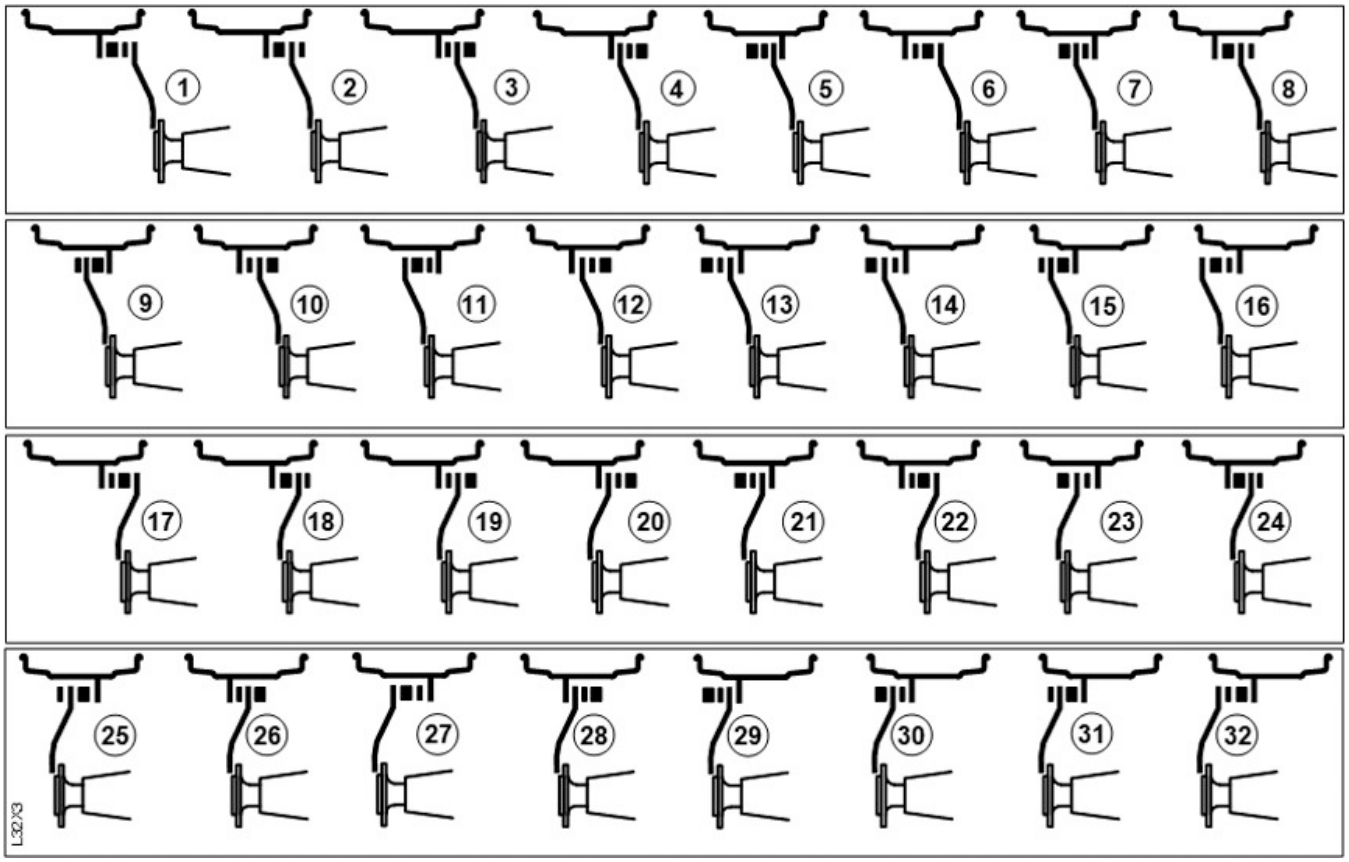
L32X1—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *L32X1*



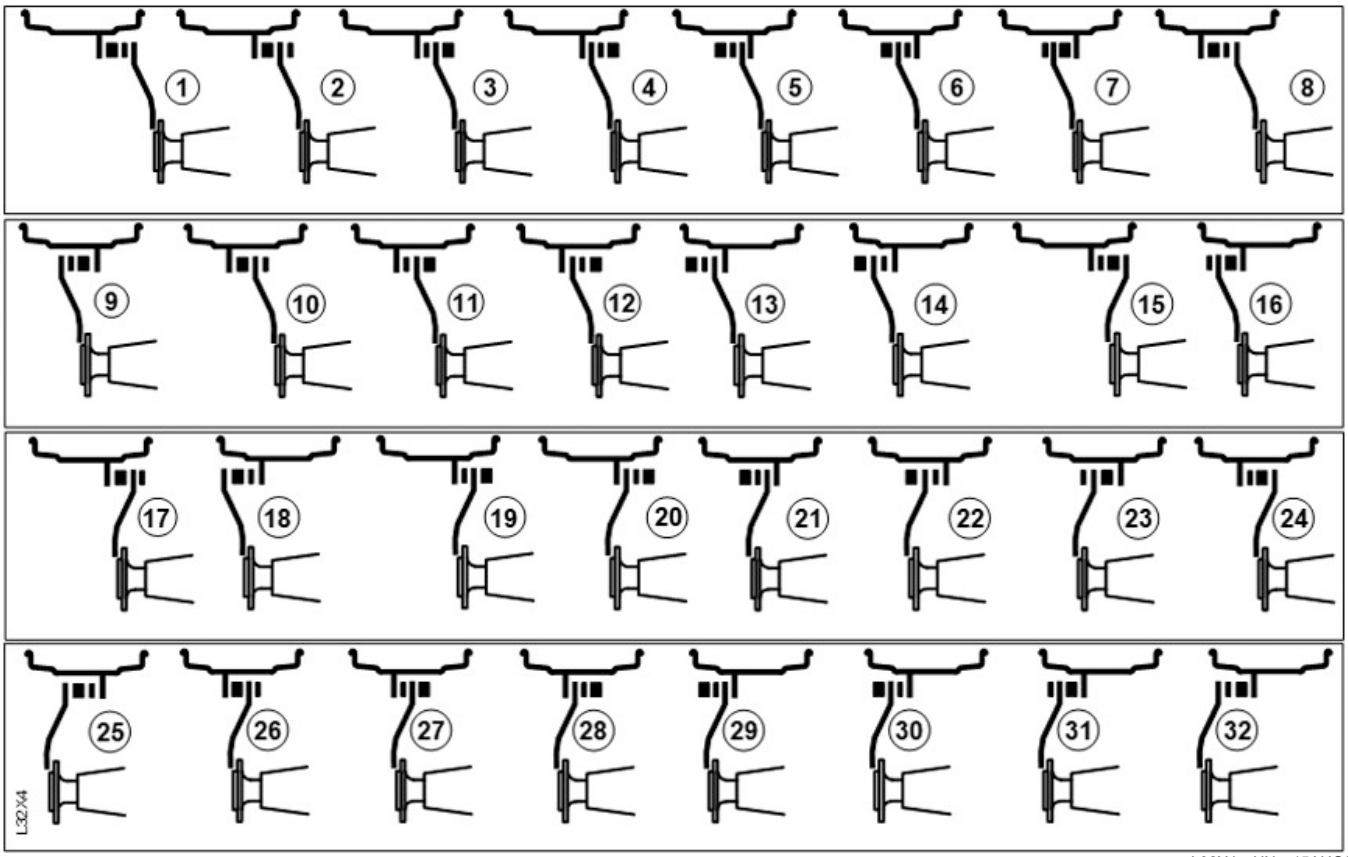
L32X2—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *L32X2*



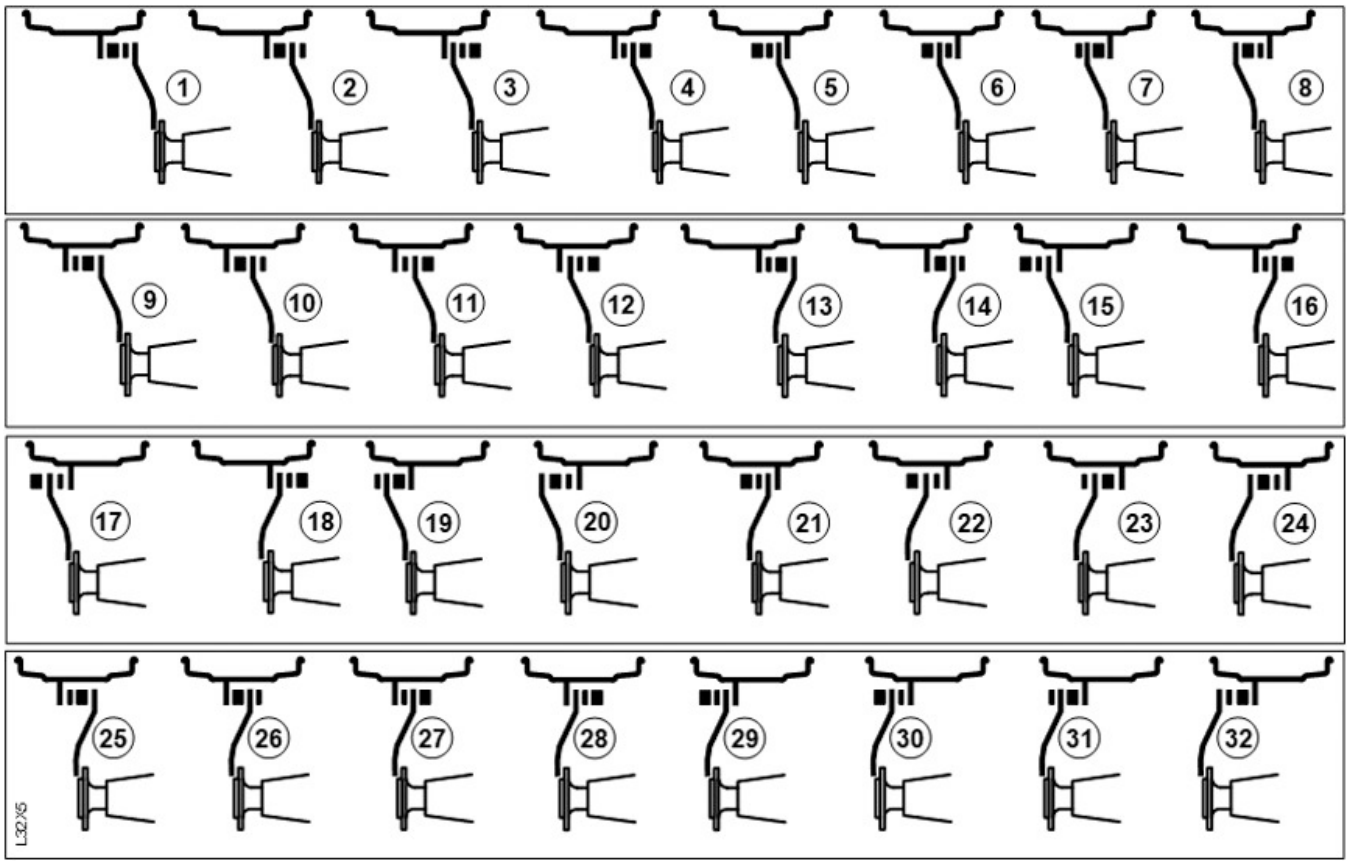
L32X3—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *L32X3*



L32X4—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *L32X4*

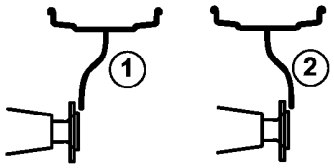


L32X5—UN—15AUG24

リムクラスタータイプ *L32X5*

jg60889,1725535450838-40-18SEP24

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン)



LX1053403—UN—12MAR12

重要： **2 つの位置のリムによるリアホイールトレッドの調整に関する指示に従ってください。**

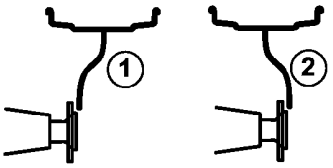
注記： 特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン)				
タイヤ	部品番号	単位	リムとホイールディッシュの配置	
			位置 1	位置 2
16.9R34	AL242267	mm	1816	—
		in	71.5	
16.9R38	AL242182	mm	1816	—
		in	71.5	
18.4R30	AL242259	mm	1816	—
		in	71.5	
18.4R34	AL242267	mm	1816	—
		in	71.5	
18.4R38	AL242182	mm	1816	—
		in	71.5	
420/85R34	AL242267	mm	1816	—

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン)				
タイヤ	部品番号	単位	リムとホイールディッシュの配置	
			位置 1	位置 2
		in	71.5	
420/85R38	AL242182	mm	1816	—
		in	71.5	
460/85R30	AL242259	mm	1816	—
		in	71.5	
460/85R34	AL242267	mm	1816	—
		in	71.5	
460/85R38	AL242182	mm	1816	—
		in	71.5	
480/70R34	AL242267	mm	1816	—
		in	71.5	
480/70R38	AL242182	mm	1816	—
		in	71.5	
480/80R34 -R4	AL242267	mm	1816	—
		in	71.5	
480/80R38 -R4	AL242182	mm	1816	—
		in	71.5	
520/70R34	AL242171	mm	1816	—
		in	71.5	
520/70R38	AL242168	mm	1812	—
		in	71.3	
540/65R34	AL242171	mm	1816	—
		in	71.5	
540/65R38	AL242168	mm	1812	—
		in	71.3	
600/65R34	AL242171	mm	1816	—
		in	71.5	
- この位置に取り付けることはできません。				

jg60889,1738918159383-40-10MAR25

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン)



LX1053403—UN—12MAR12

重要： **2 つの位置のリムによるリアホイールトレッドの調整に関する指示に従ってください。**

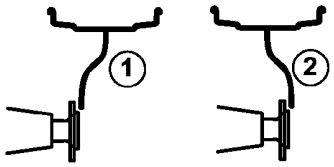
注記： 特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン)				
タイヤ	部品番号	単位	リムとホイールディッシュの配置	
			位置 1	位置 2
16.9R34	AL242266	mm	1700	—
		in	66.9	
16.9R38	AL242255	mm	1700	—
		in	66.9	
18.4R34	AL242266	mm	1700	—
		in	66.9	

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン)				
タイヤ	部品番号	単位	リムとホイールディッシュの配置	
			位置 1	位置 2
18.4R38	AL242255	mm	1700	—
		in	66.9	
420/85R34	AL242266	mm	1700	—
		in	66.9	
420/85R38	AL242255	mm	1700	—
		in	66.9	
460/85R34	AL242266	mm	1700	—
		in	66.9	
460/85R38	AL242255	mm	1700	—
		in	66.9	
480/70R34	AL242266	mm	1700	—
		in	66.9	
480/70R38	AL242255	mm	1700	—
		in	66.9	
480/80R34 -R4	AL242266	mm	1700	—
		in	66.9	
480/80R38 -R4	AL242255	mm	1700	—
		in	66.9	
520/70R34	AL242257	mm	1700	—
		in	66.9	
520/70R38	AL242178	mm	1700	—
		in	66.9	
540/65R34	AL242257	mm	1700	—
		in	66.9	
540/65R38	AL242178	mm	1700	—
		in	66.9	
600/65R34	AL242257	mm	1700	—
		in	66.9	
600/65R38	AL205108	mm	1700	—
		in	66.9	
- この位置に取り付けることはできません。				

jg60889,1738927524021-40-12FEB25

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅、ヘビーデューティタイプ - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン)



LX1053403—UN—12MAR12

重要： **2 つの位置のリムによるリアホイールトレッドの調整に関する指示に従ってください。**

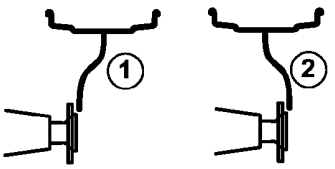
注記： 特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅、ヘビーデューティタイプ - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン)				
タイヤ	部品番号	単位	リムとホイールディッシュの配置	
			位置 1	位置 2
16.9R38	AL236806	mm	1812	—

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅、ヘビーデューティタイプ - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン)				
タイヤ	部品番号	単位	リムとホイールディッシュの配置	
			位置 1	位置 2
		in	71.3	
18.4R38	AL236806	mm	1812	—
		in	71.3	
420/85R38	AL236806	mm	1812	—
		in	71.3	
460/85R38	AL236806	mm	1812	—
		in	71.3	
480/70R38	AL236806	mm	1812	—
		in	71.3	
480/80R38 -R4	AL236806	mm	1812	—
		in	71.3	
520/70R38	AL236805	mm	1812	—
		in	71.3	
540/65R38	AL236805	mm	1812	—
		in	71.3	
- この位置に取り付けることはできません。				

jg60889,1739261512906-40-12FEB25

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅、ヘビーデューティタイプ - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン)



LX1053403—UN—12MAR12

重要： **2 つの位置のリムによるリアホイールトレッドの調整に関する指示に従ってください。**

注記： 特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅、ヘビーデューティタイプ - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン)				
タイヤ	部品番号	単位	リムとホイールディッシュの配置	
			位置 1	位置 2
16.9R38	AL236804	mm	1700	1558
		in	66.9	61.3
18.4R38	AL236804	mm	1700	—
		in	66.9	
420/85R38	AL236804	mm	1700	1558
		in	66.9	61.3
460/85R38	AL236804	mm	1700	1558
		in	66.9	61.3
480/70R38	AL236804	mm	1700	—
		in	66.9	
480/80R38 -R4	AL236804	mm	1700	—
		in	66.9	
520/70R38	AL228769	mm	1700	—
		in	66.9	
540/65R38	AL228769	mm	1700	—

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅、ヘビーデューティタイプ - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン)				
タイヤ	部品番号	単位	リムとホイールディッシュの配置	
			位置 1	位置 2
		in	66.9	
600/65R38	AL228770	mm	1700	—
		in	66.9	
- この位置に取り付けることはできません。				

jg60889,1738927574786-40-12FEB25

8 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン)

重要： **8 ポジションリムによる後輪のトレッド調整要領に従ってください。**

注記： 特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。

リムクラスター列には、必要なリムアセンブリ情報を見つけるために使用する必要があるグラフィック番号が表示されます。

8 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン)											
タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 1	位置 2	位置 3	位置 4	位置 5	位置 6	位置 7	位置 8
16.9R34	AL242194	WF8X2	mm	1928	1816	1716	1604	—	—	—	—
			in	75.9	71.5	67.6	63.1				
18.4R34	AL242194	WF8X2	mm	1928	1816	1716	1604	—	—	—	—
			in	75.9	71.5	67.6	63.1				
420/85R34	AL242194	WF8X2	mm	1928	1816	1716	1604	1528	—	—	—
			in	75.9	71.5	67.6	63.1	60.2			
460/85R34	AL242194	WF8X2	mm	1928	1816	1716	1604	—	—	—	—
			in	75.9	71.5	67.6	63.1				
480/70R34	AL242194	WF8X2	mm	1928	1816	1716	1604	—	—	—	—
			in	75.9	71.5	67.6	63.1				
480/80R34 -R4	AL242194	WF8X2	mm	1928	1816	1716	1604	—	—	—	—
			in	75.9	71.5	67.6	63.1				
- この位置に取り付けることはできません。 *** リムアセンブリ構成の図を参照してください。											

jg60889,1738927621426-40-12FEB25

16 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン)

重要： **16 ポジションリムを使用している後輪のトレッド調整手順に従ってください。**

注記： 特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。

リムクラスター列には、必要なリムアセンブリ情報を見つけるために使用する必要があるグラフィック番号が表示されます。

16 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン)											
タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 1	位置 2	位置 3	位置 4	位置 5	位置 6	位置 7	位置 8
13.6-46 -R2	AL242263	LI16X4	mm	2000	1928	1872	1800	1732	1660	1604	1600
			in	78.7	75.9	73.7	70.9	68.2	65.4	63.1	63.0
16.9R34	AL218728	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5

16 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン)											
タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 1	位置 2	位置 3	位置 4	位置 5	位置 6	位置 7	位置 8
16.9R38	AL218732	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5
16.9R38	AL220757	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5
18.4R34	AL218728	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5
18.4R38	AL218732	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5
18.4R38	AL220757	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5
270/95R48	AL209743	LI16X1	mm	1918	1888	1846	1816	1714	1684	1642	1612
			in	75.5	74.3	72.7	71.5	67.5	66.3	64.6	63.5
300/95R46	AL209739	LI16X1	mm	1918	1888	1846	1816	1714	1684	1642	1612
			in	75.5	74.3	72.7	71.5	67.5	66.3	64.6	63.5
420/85R34	AL218728	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5
420/85R38	AL218732	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5
420/85R38	AL220757	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5
460/85R34	AL218728	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5
460/85R38	AL218732	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5
460/85R38	AL220757	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5
480/70R34	AL218728	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5
480/70R38	AL218732	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5
480/70R38	AL220757	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5
480/80R34 -R4	AL218728	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5
480/80R38 -R4	AL218732	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5
480/80R38 -R4	AL220757	LI16X1	mm	1916	1886	1846	1816	1712	1682	1642	1612
			in	75.4	74.3	72.7	71.5	67.4	66.2	64.6	63.5
520/70R34	AL242147	LI16X6	mm	1912	1892	1840	1820	—	—	—	—
			in	75.3	74.5	72.4	71.7				
540/65R34	AL242147	LI16X6	mm	1912	1892	1840	1820	—	—	—	—
			in	75.3	74.5	72.4	71.7				
600/65R34	AL242147	LI16X6	mm	1912	1892	1840	1820	—	—	—	—
			in	75.3	74.5	72.4	71.7				

- この位置に取り付けることはできません。
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。

16 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン)											
タイヤ	**部品番号**	**リムクラスター*** **	**単位**	**リムとホイールディッシュの配置**							
				位置 9	**位置 10**	**位置 11**	**位置 12**	**位置 13**	**位置 14**	**位置 15**	**位置 16**
13.6-46 -R2	AL242263	LI16X4	mm	1532	1528	1472	—	—	—	—	—
			in	60.3	60.2	58.0					
16.9R34	AL218728	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
16.9R38	AL218732	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
16.9R38	AL220757	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
18.4R34	AL218728	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
18.4R38	AL218732	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
18.4R38	AL220757	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
270/95R48	AL209743	LI16X1	mm	1518	1488	1446	1416	—	—	—	—
			in	59.8	58.6	56.9	55.7				
300/95R46	AL209739	LI16X1	mm	1518	1488	1446	1416	—	—	—	—
			in	59.8	58.6	56.9	55.7				
420/85R34	AL218728	LI16X1	mm	1516	—	—	—	—	—	—	—
			in	59.7							
420/85R38	AL218732	LI16X1	mm	1516	—	—	—	—	—	—	—
			in	59.7							
420/85R38	AL220757	LI16X1	mm	1516	—	—	—	—	—	—	—
			in	59.7							
460/85R34	AL218728	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
460/85R38	AL218732	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
460/85R38	AL220757	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
480/70R34	AL218728	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
480/70R38	AL218732	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
480/70R38	AL220757	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
480/80R34 -R4	AL218728	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
480/80R38 -R4	AL218732	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
480/80R38 -R4	AL220757	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
520/70R34	AL242147	LI16X6	mm	1652	—	—	—	—	—	—	—
			in	65.0							
540/65R34	AL242147	LI16X6	mm	1652	—	—	—	—	—	—	—
			in	65.0							
600/65R34	AL242147	LI16X6	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								

- この位置に取り付けることはできません。
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。

jg60889,1738918268266-40-10MAR25

16 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン)

重要：**16 ポジションリムを使用している後輪のトレッド調整手順に従ってください。**

注記： 特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。

リムクラスター列には、必要なリムアセンブリ情報を見つけるために使用する必要があるグラフィック番号が表示されます。

16 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン)

タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 1	位置 2	位置 3	位置 4	位置 5	位置 6	位置 7	位置 8
270/95R48	AL242142	LI16X1	mm	1908	1888	1832	1812	1720	1700	1644	1624
			in	75.1	74.3	72.1	71.3	67.7	66.9	64.7	63.9
300/95R46	AL209740	LI16X1	mm	1918	1888	1846	1816	1714	1684	1642	1612
			in	75.5	74.3	72.7	71.5	67.5	66.3	64.6	63.5
320/90R42	AL242204	LI16X1	mm	1908	1888	1832	1812	1720	1700	1644	1624
			in	75.1	74.3	72.1	71.3	67.7	66.9	64.7	63.9
520/70R34	AL242192	LI16X1	mm	1908	1888	1840	1820	1708	1688	1640	1620
			in	75.1	74.3	72.4	71.7	67.2	66.5	64.6	63.8
540/65R34	AL242192	LI16X1	mm	1908	1888	1840	1820	1708	1688	—	—
			in	75.1	74.3	72.4	71.7	67.2	66.5		
600/65R34	AL242192	LI16X1	mm	1908	1888	1840	1820	1708	1688	—	—
			in	75.1	74.3	72.4	71.7	67.2	66.5		

- この位置に取り付けることはできません。
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。

16 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン)

タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 9	位置 10	位置 11	位置 12	位置 13	位置 14	位置 15	位置 16
270/95R48	AL242142	LI16X1	mm	1508	1488	1432	1412	—	—	—	—
			in	59.4	58.6	56.4	55.6				
300/95R46	AL209740	LI16X1	mm	1518	1488	1446	1416	—	—	—	—
			in	59.8	58.6	56.9	55.7				
320/90R42	AL242204	LI16X1	mm	1508	1488	1432	1412	—	—	—	—
			in	59.4	58.6	56.4	55.6				
520/70R34	AL242192	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
540/65R34	AL242192	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
600/65R34	AL242192	LI16X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								

- この位置に取り付けることはできません。
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。

jg60889,1738927673059-40-12FEB25

32 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン)

重要：**32 ポジションリムを使用している後輪のトレッド調整手順に従ってください。**

注記： 特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。

リムクラスター列には、必要なリムアセンブリ情報を見つけるために使用する必要があるグラフィック番号が表示されます。

32 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン)

タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 1	位置 2	位置 3	位置 4	位置 5	位置 6	位置 7	位置 8
13.6R38	AL242258	L32X1	mm	2002	1972	1942	1912	1872	1842	1812	1782
			in	78.8	77.6	76.5	75.3	73.7	72.5	71.3	70.2
18.4R30	AL242109	L32X1	mm	2000	1970	1940	1910	1872	1842	1812	1782
			in	78.7	77.6	76.4	75.2	73.7	72.5	71.3	70.2
340/85R38	AL242258	L32X1	mm	2002	1972	1942	1912	1872	1842	1812	1782
			in	78.8	77.6	76.5	75.3	73.7	72.5	71.3	70.2
380/80R38	AL242258	L32X1	mm	2002	1972	1942	1912	1872	1842	1812	1782
			in	78.8	77.6	76.5	75.3	73.7	72.5	71.3	70.2
460/85R30	AL242109	L32X1	mm	2000	1970	1940	1910	1872	1842	1812	1782
			in	78.7	77.6	76.4	75.2	73.7	72.5	71.3	70.2
520/70R38	AL242190	L32X1	mm	2002	1972	1942	1912	1872	1842	1812	1782
			in	78.8	77.6	76.5	75.3	73.7	72.5	71.3	70.2
540/65R38	AL242190	L32X1	mm	2002*	1972	1942	1912	1872	1842	1812	1782
			in	78.8*	77.6	76.5	75.3	73.7	72.5	71.3	70.2

- この位置に取り付けることはできません。
* 車両全幅 2.55/2.75 m (100/108 in) 超。地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。

32 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン)

タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 9	位置 10	位置 11	位置 12	位置 13	位置 14	位置 15	位置 16
13.6R38	AL242258	L32X1	mm	1746	1716	1686	1656	1616	1602	1586	1572
			in	68.7	67.6	66.4	65.2	63.6	63.1	62.4	61.9
18.4R30	AL242109	L32X1	mm	1744	1714	1684	1654	1616	1600	1586	—
			in	68.7	67.5	66.3	65.1	63.6	63.0	62.4	
340/85R38	AL242258	L32X1	mm	1746	1716	1686	1656	1616	1602	1586	1572
			in	68.7	67.6	66.4	65.2	63.6	63.1	62.4	61.9
380/80R38	AL242258	L32X1	mm	1746	1716	1686	1656	1616	1602	1586	1572
			in	68.7	67.6	66.4	65.2	63.6	63.1	62.4	61.9
460/85R30	AL242109	L32X1	mm	1744	1714	1684	1654	1616	1600	1586	1570
			in	68.7	67.5	66.3	65.1	63.6	63.0	62.4	61.8
520/70R38	AL242190	L32X1	mm	1746	1716	1686	1656	1616	—	—	—
			in	68.7	67.6	66.4	65.2	63.6			
540/65R38	AL242190	L32X1	mm	1746	1716	1686	1656	—	—	—	—
			in	68.7	67.6	66.4	65.2				

- この位置に取り付けることはできません。
* 車両全幅 2.55/2.75 m (100/108 in) 超。地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。

32 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン)											
タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 17	位置 18	位置 19	位置 20	位置 21	位置 22	位置 23	位置 24
13.6R38	AL242258	L32X1	mm	1556	1542	1526	1512	1472	—	—	—
			in	61.3	60.7	60.1	59.5	58.0			
18.4R30	AL242109	L32X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
340/85R38	AL242258	L32X1	mm	1556	1542	1526	1512	1472	1442	—	—
			in	61.3	60.7	60.1	59.5	58.0	56.8		
380/80R38	AL242258	L32X1	mm	1556	1542	1526	1512	1472	—	—	—
			in	61.3	60.7	60.1	59.5	58.0			
460/85R30	AL242109	L32X1	mm	1556	—	—	—	—	—	—	—
			in	61.3							
520/70R38	AL242190	L32X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
540/65R38	AL242190	L32X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								

- この位置に取り付けることはできません。
* 車両全幅 2.55/2.75 m (100/108 in) 超。地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。

32 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm (MC フレームバージョン)											
タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 25	位置 26	位置 27	位置 28	位置 29	位置 30	位置 31	位置 32
13.6R38	AL242258	L32X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
18.4R30	AL242109	L32X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
340/85R38	AL242258	L32X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
380/80R38	AL242258	L32X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
460/85R30	AL242109	L32X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
520/70R38	AL242190	L32X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
540/65R38	AL242190	L32X1	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								

- この位置に取り付けることはできません。
* 車両全幅 2.55/2.75 m (100/108 in) 超。地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。

jg60889,1738918323221-40-12FEB25

32 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン)

重要：**32 ポジションリムを使用している後輪のトレッド調整手順に従ってください。**

注記： 特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。

リムクラスター列には、必要なリムアセンブリ情報を見つけるために使用する必要があるグラフィック番号が表示されます。

32 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン)

タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 1	位置 2	位置 3	位置 4	位置 5	位置 6	位置 7	位置 8
13.6R38	AL242128	L32X2	mm	2024	1994	1964	1934	1894	1864	1834	1804
			in	79.7	78.5	77.3	76.1	74.6	73.4	72.2	71.0
13.6-46 -R2	AL242117	L32X5	mm	2034	2004	1974	1944	1894	1864	1834	1804
			in	80.1	78.9	77.7	76.5	74.6	73.4	72.2	71.0
16.9R38	AL242126	L32X2	mm	2024	1994	1964	1934	1894	1864	1834	1804
			in	79.7	78.5	77.3	76.1	74.6	73.4	72.2	71.0
18.4R38	AL242126	L32X2	mm	2024	1994	1964	1934	1894	1864	1834	1804
			in	79.7	78.5	77.3	76.1	74.6	73.4	72.2	71.0
340/85R38	AL242128	L32X2	mm	2024	1994	1964	1934	1894	1864	1834	1804
			in	79.7	78.5	77.3	76.1	74.6	73.4	72.2	71.0
380/80R38	AL242128	L32X2	mm	2024	1994	1964	1934	1894	1864	1834	1804
			in	79.7	78.5	77.3	76.1	74.6	73.4	72.2	71.0
420/85R38	AL242126	L32X2	mm	2024	1994	1964	1934	1894	1864	1834	1804
			in	79.7	78.5	77.3	76.1	74.6	73.4	72.2	71.0
460/85R38	AL242126	L32X2	mm	2024	1994	1964	1934	1894	1864	1834	1804
			in	79.7	78.5	77.3	76.1	74.6	73.4	72.2	71.0
480/70R38	AL242126	L32X2	mm	2024	1994	1964	1934	1894	1864	1834	1804
			in	79.7	78.5	77.3	76.1	74.6	73.4	72.2	71.0
480/80R38 -R4	AL242126	L32X2	mm	2024	1994	1964	1934	1894	1864	1834	1804
			in	79.7	78.5	77.3	76.1	74.6	73.4	72.2	71.0
520/70R38	AL242125	L32X2	mm	2024*	1994	1964	1934	1894	1864	1834	1804
			in	79.7*	78.5	77.3	76.1	74.6	73.4	72.2	71.0
540/65R38	AL242125	L32X2	mm	2024*	1994*	1964	1934	1894	1864	1834	1804
			in	79.7*	78.5*	77.3	76.1	74.6	73.4	72.2	71.0
600/65R38	AL242124	L32X2	mm	2024*	1994*	1964*	1934	1894	1864	1834	1804
			in	79.7*	78.5*	77.3*	76.1	74.6	73.4	72.2	71.0

- この位置に取り付けることはできません。
* 車両全幅 2.55/2.75 m (100/108 in) 超。地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。

32 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン)

タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 9	位置 10	位置 11	位置 12	位置 13	位置 14	位置 15	位置 16
13.6R38	AL242128	L32X2	mm	1724	1694	1664	1634	1624	1594	1594	1564
			in	67.9	66.7	65.5	64.3	63.9	62.8	62.8	61.6
13.6-46 -R2	AL242117	L32X5	mm	1730	1700	1670	1640	1634	1604	1590	1574
			in	68.1	66.9	65.7	64.6	64.3	63.1	62.6	62.0
16.9R38	AL242126	L32X2	mm	1724	1694	1664	1634	1624	1594	1594	1564
			in	67.9	66.7	65.5	64.3	63.9	62.8	62.8	61.6
18.4R38	AL242126	L32X2	mm	1724	1694	1664	1634	1624	1594	1594	—
			in	67.9	66.7	65.5	64.3	63.9	62.8	62.8	
340/85R38	AL242128	L32X2	mm	1724	1694	1664	1634	1624	1594	1594	1564
			in	67.9	66.7	65.5	64.3	63.9	62.8	62.8	61.6
380/80R38	AL242128	L32X2	mm	1724	1694	1664	1634	1624	1594	1594	1564
			in	67.9	66.7	65.5	64.3	63.9	62.8	62.8	61.6
420/85R38	AL242126	L32X2	mm	1724	1694	1664	1634	1624	1594	1594	1564
			in	67.9	66.7	65.5	64.3	63.9	62.8	62.8	61.6
460/85R38	AL242126	L32X2	mm	1724	1694	1664	1634	1624	1594	1594	1564
			in	67.9	66.7	65.5	64.3	63.9	62.8	62.8	61.6
480/70R38	AL242126	L32X2	mm	1724	1694	1664	1634	1624	1594	1594	—

32 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン)

タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 9	位置 10	位置 11	位置 12	位置 13	位置 14	位置 15	位置 16
			in	67.9	66.7	65.5	64.3	63.9	62.8	62.8	
480/80R38 -R4	AL242126	L32X2	mm	1724	1694	1664	1634	1624	1594	1594	—
			in	67.9	66.7	65.5	64.3	63.9	62.8	62.8	
520/70R38	AL242125	L32X2	mm	1724	1694	1664	1634	1624	—	—	—
			in	67.9	66.7	65.5	64.3	63.9			
540/65R38	AL242125	L32X2	mm	1724	1694	1664	—	—	—	—	—
			in	67.9	66.7	65.5					
600/65R38	AL242124	L32X2	mm	1724	1694	1664	—	—	—	—	—
			in	67.9	66.7	65.5					

- この位置に取り付けることはできません。
* 車両全幅 2.55/2.75 m (100/108 in) 超。地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。

32 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン)

タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 17	位置 18	位置 19	位置 20	位置 21	位置 22	位置 23	位置 24
13.6R38	AL242128	L32X2	mm	1564	1534	1534	1504	1494	1464	—	—
			in	61.6	60.4	60.4	59.2	58.8	57.6		
13.6-46 -R2	AL242117	L32X5	mm	1560	1544	1530	1500	1494	1464	—	—
			in	61.4	60.8	60.2	59.1	58.8	57.6		
16.9R38	AL242126	L32X2	mm	1564	—	—	—	—	—	—	—
			in	61.6							
18.4R38	AL242126	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
340/85R38	AL242128	L32X2	mm	1564	1534	1534	1504	1494	1464	1434	—
			in	61.6	60.4	60.4	59.2	58.8	57.6	56.5	
380/80R38	AL242128	L32X2	mm	1564	1534	1534	1504	1494	—	—	—
			in	61.6	60.4	60.4	59.2	58.8			
420/85R38	AL242126	L32X2	mm	1564	1534	1534	—	—	—	—	—
			in	61.6	60.4	60.4					
460/85R38	AL242126	L32X2	mm	1564	—	—	—	—	—	—	—
			in	61.6							
480/70R38	AL242126	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
480/80R38 -R4	AL242126	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
520/70R38	AL242125	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
540/65R38	AL242125	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
600/65R38	AL242124	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								

- この位置に取り付けることはできません。
* 車両全幅 2.55/2.75 m (100/108 in) 超。地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。

32 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm (MC フレームバージョン)

タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置							
				位置 25	位置 26	位置 27	位置 28	位置 29	位置 30	位置 31	位置 32
13.6R38	AL242128	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
13.6-46 -R2	AL242117	L32X5	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
16.9R38	AL242126	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
18.4R38	AL242126	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
340/85R38	AL242128	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
380/80R38	AL242128	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
420/85R38	AL242126	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
460/85R38	AL242126	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
480/70R38	AL242126	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
480/80R38 -R4	AL242126	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
520/70R38	AL242125	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
540/65R38	AL242125	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								
600/65R38	AL242124	L32X2	mm	—	—	—	—	—	—	—	—
			in								

- この位置に取り付けることはできません。
* 車両全幅 2.55/2.75 m (100/108 in) 超。地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。

jg60889,1738927712583-40-12FEB25

調整式リアアクスルと組み合わせたスチール製調整式ホイール

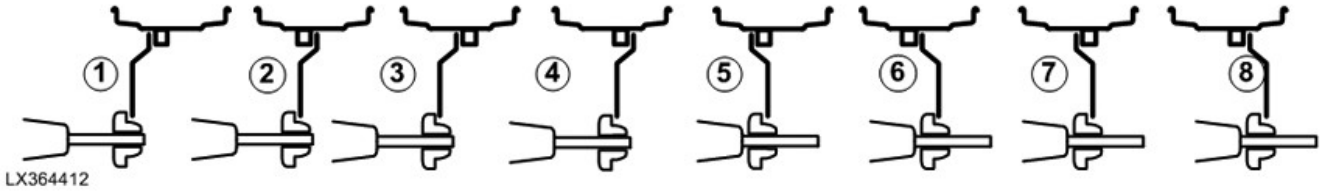
注意：**トラクターの制御を失うことにより、けがや物的損害が発生する危険があります。**

ホイールの酷使によって損傷が生じ、危険な運転状況が発生します。

過大な応力を避けて、許容されるホイール取り付けのみを使用してください。

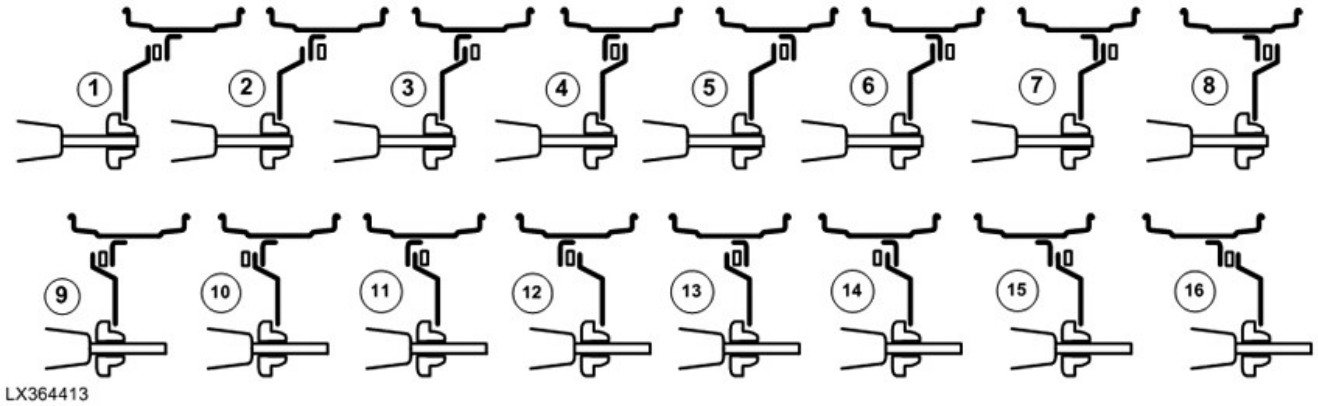
スチール製調整式ホイールを調整式リアアクスルで使用する場合は、図のようにリムとホイールディッシュを取り付けます。

図に示すホイールとハブの位置のみを使用してください。図から逸脱しているホイールの取り付けは許可されていません。



LX364412—UN—02JUL19

8 ポジションの場合のスチール製調整式ホイール。ホイールポジションが *5* ~ *8* の場合、ホイールハブの位置を遵守する必要があります。



LX364413—UN—02JUL19

16 ポジションの場合のスチール製調整式ホイール。ホイールポジションが *9* ~ *16* の場合、ホイールハブの位置を遵守する必要があります。

OULXA64,ALL,00053EC-40-22FEB22

後輪に関する注意事項 — ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 79 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き

注意： 生命を脅かすけがをする重大な事故。

ホイールとトラクター部品が接触すると、けがや物的損傷が発生します。

トラック幅の設定やホイール構成の変更時は、トラクターの構成部品から 25 mm (1 in) 以上の距離を保つよう徹底してください。この最小距離を維持できない場合は、トラック幅を広げて設定するか、適切なホイール構成を使用する必要があります。

注意： ホイールボルトやホイールナットを不適切に締め付けたり、紛失したりすると、けがの危険があります。

不適切に締め付けられたホイールボルトやホイールナットは、車両を運転中に緩んで紛失することがあります。車両の制御を失って、致命的なけがや大きな物的損害が発生する危険があります。

• ホイールに付属のホイールボルトやホイールナットのみを使用してください。

• 別の種類のホイールボルトやホイールナットは絶対に使用しないでください。

• 絶対にホイールボルトやホイールナットが緩んだ状態で車両を運転しないでください。

• すべてのホイールボルトとホイールナットを規定のトルクで締め付けます。

• 運転を開始する前に、すべてのホイールボルトとホイールナットが所定の位置に取り付けられていること、およびしっかりと密着していることを確認します。

重要： タイヤの側壁とトラクターの部品間の距離は 25 mm (1 in) 以上にしてください。

タイヤの走行面 (エッジ) とトラクターの部品間の距離は 25 mm (1 in) 以上にする必要があります。

スノーチェーンをタイヤに取り付ける場合、タイヤからトラクターの部品 (サイドウォールからフェンダー、および走行面からトラクターの部品) までの距離は 100 mm (4 in) 以上である必要があります。

重要： スチールホイールとフランジ付き車軸を装備したトラクターでは、クランプオン式デュアルホイールを使用しないでください。

重要： トレッドの調整後、ホイールが自由に回転することを確認してください。

タイヤをドラフトリンクやリフトリンクに接触させないでください。牽引リンクのフロント側の穴にリフトリンクを取り付けることにより、リフトリンクとタイヤの間隔を広げることができます。

ドラフトリンクを上げるときは (作業機を取り付けていない場合でも)、油圧式または機械式スタビライザバーを固定する必要があります。

これらすべての手段を講じてもドラフトリンクやリフトリンクと接触する場合は、トレッド幅を増やしてください。

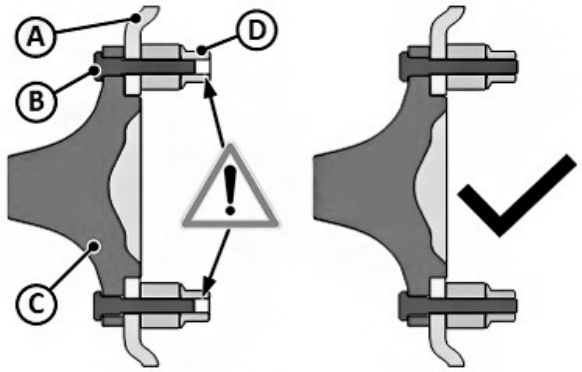
3 運転時間後および 10 運転時間後に規定のトルクでボルトを締め直します。

注記： 特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。

注意： 生命の危険と大きな物的損害。

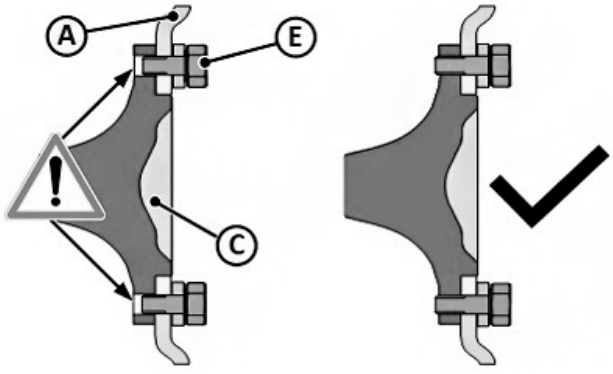
ねじやホイールボルトがなくなったり、緩んだり、短すぎたりすると、ホイールが損失する可能性があります。

ホイールを取り付けるときは、すべてのねじが締め付けられていることを確認し、使用するねじに十分な深さがあることを確認することが重要です。



LX601411—UN—19DEC23

例： 例： 図はフランジ付き車軸、ナット付きバージョン



LX601412—UN—19DEC23

例： 例： 図はフランジ付き車軸、ねじ付きバージョン

A：リム
B：ボルト
C：ハブ (フランジ)
D：ナット
E：ねじ

ホイールを交換する場合は、使用しているホイールセットの要件に従ってファスナを使用するようにして

ください。ねじ、ナット、座金、ブッシング、および補強リングは、使用する車軸リムの組み合わせに一致している必要があります。予備パーツカタログに従って、オリジナル部品のみを使用してください。

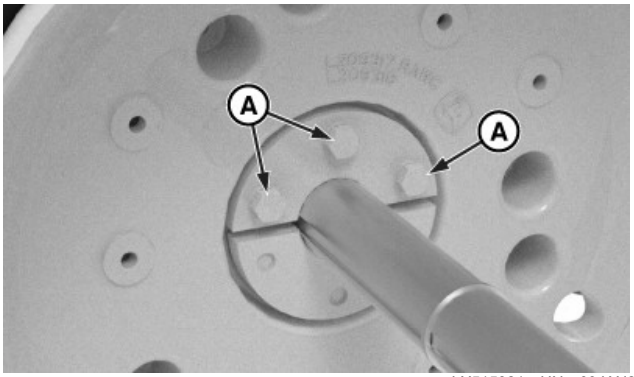
以下を参照してください。

後輪ホイールボルトの締め付け — ラックアンドピニオン車軸、ハブ直径 79 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き (このセクション)。

LX25458,4CYL,0000A8C-40-10JUL25

後輪ボルトの締め付け — ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 79 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き

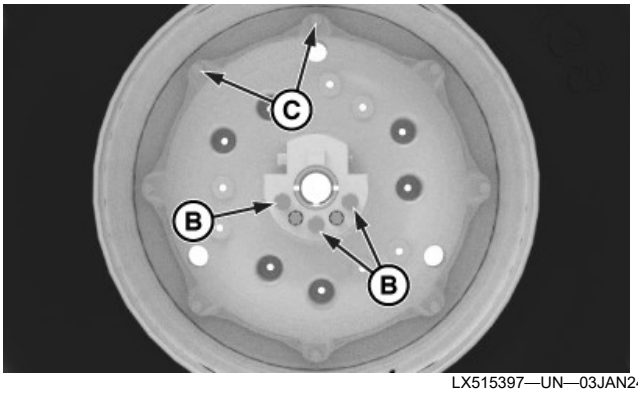
ホイールボルト (A) ~ (C) の締め付け - 鋳鉄ホイール



LX515821—UN—03JAN24

ピニオンハブ片側と鋳鉄ディッシュ

A：**ピニオンハブ片側と鋳鉄ディッシュ - 220 N·m (160 lb ft)**

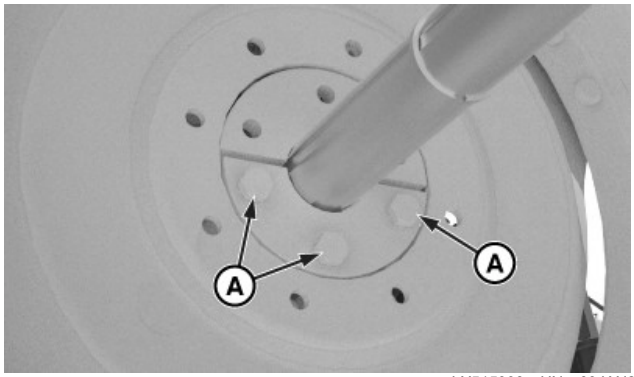


LX515397—UN—03JAN24

鋳鉄ホイール

B：**ハブ片側のホイールハブ - 400 N·m (300 lb ft)**
C：**鋳鉄ディッシュのリム - 210 N·m (155 lb ft)**

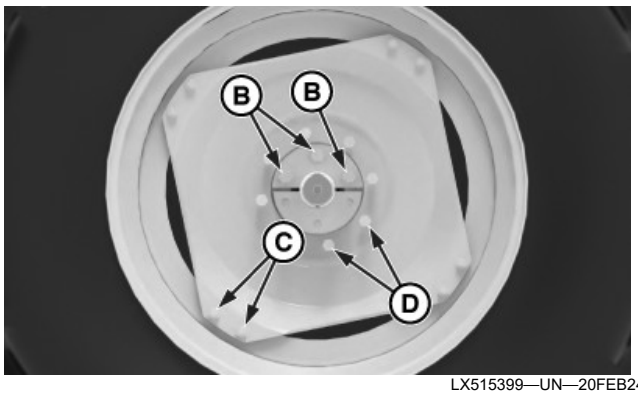
ホイールボルト (A) ~ (D) の締め付け - スチールホイール



LX515398—UN—03JAN24

ピニオンハブ片側と鋳鉄ディッシュ

A：**ピニオンハブ片側とスチール製ディッシュ - 220 N·m (160 lb ft)**



LX515399—UN—20FEB24

スチールホイール

B：**ハブ片側のホイールハブ - 400 N·m (300 lb ft)**
C：**スチール製ディッシュのリム - 210 N·m (155 lb-ft)**
D：**ホイールハブのスチール製ディッシュ - 400 N·m (300 lb ft)**

220C,15,79,oulxa64,1708350054527-40-19APR24

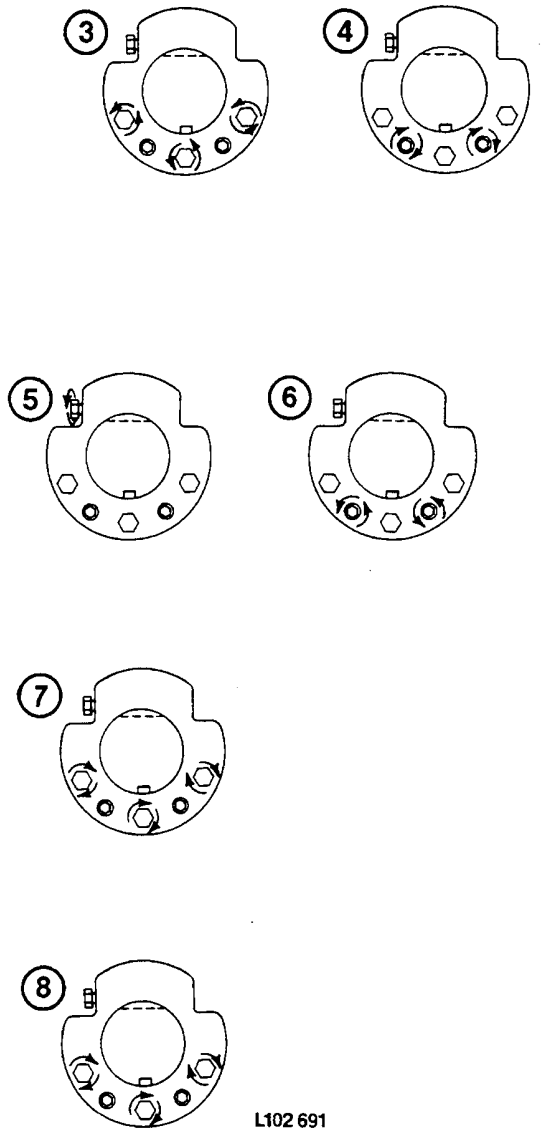
ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 79 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き — トレッド幅の調整

重要： **タイヤの側壁とフェンダー間の距離は 25 mm (1.0 in) 以上にしてください。**

タイヤの走行面 (エッジ) とフェンダー間の距離は 25 mm (1.0 in) 以上にする必要があります。

スノーチェーンをタイヤに取り付ける場合、タイヤからトラクターの部品 (サイドウォールからフェンダー、および走行面からトラクターの部品) までの距離は 100 mm (4 in) 以上である必要があります。

後輪の調整



L102 691

L102691—UN—13APR00

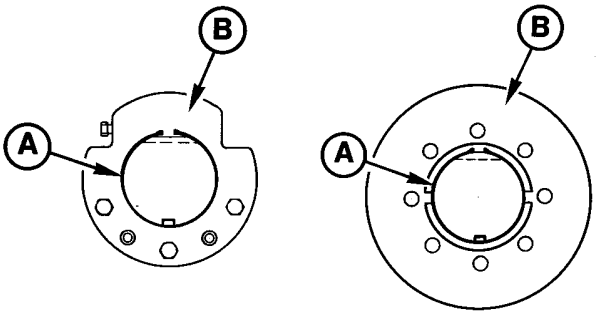
注記： 各ホイールに 2 個未満のホイールウエイトを取り付けている場合のみ、ホイールを調整できます。

1. ワイヤブラシで車軸を清掃します。
2. 車軸のラックが上を向くようにトラクターをジャッキアップして後輪を回転させます。
3. 取り付けねじを緩めます。
4. ボルトの頭がホイールハブの面と面一になるまでジャッキボルトを締め付けます。

注記： ホイールハブが緩まない場合は、ホイールディスクの背後のボルト 3 本も緩めます。これが機能しない場合は、車軸の端部を重作業用のハンマーで数回たたいて、もう一度ジャッキボルトを均等に締め付けます。これにより、ハブ半分を浸透油に浸漬しやすくなります。

5. 必要な位置に達するまで、調整ボルトをねじ込んだり、緩めたりします。
6. トレッド幅を調整した後、ジャッキボルトをストップに当たるまで完全に緩めます。力をかけないでください！
7. ねじ山を潤滑して、取り付けボルトを交互に 400 Nm (300 lb ft) のトルクで締め付けます。取り付けボルトを規定のトルクで締め付けるときは、ジャッキボルトが自由に回る必要があります。そうでない場合は、ジャッキボルトを緩めて取り付けボルトを規定のトルクで締め直します。
8. ホイールトレッド調整を完了したら、タイヤとホイールバラストウエイトがトラクターに接触しないことを確認します。次に、トラクターを約 50 m (160 ft) 運転して停止し、取り付けボルトを 400 N•m (300 lb ft) のトルクで締め付けます。ボルトは、4 時間後、8 時間後、および次の 100 時間内に数回締め直す必要があります。該当する取扱説明書の「整備間隔の順守」(セクション 210) の慣らし運転期間を参照してください。

ホイールハブの回転 (ピニオン内側)



LX008633

LX008633—UN—16AUG94

LX008634

LX008634—UN—16AUG94

A：**スナップリング**
B：**ホイールハブ**

ホイールハブを緩める、調整する、締め付ける手順については、前のページを参照してください。

1. 組み付けを容易にするために後輪を取り外します。
2. スナップリング (A) を取り外します。ホイールハブ (B) が最大幅になるように調整ボルトを回転させます。ホイールハブ (B) を取り外します。
3. ホイールを車軸の必要な位置に配置します。ホイールハブ (B) を回転させて取り付けます。
4. ホイールとスナップリング (A) を取り付けます。さらに組み付ける手順については、前のページを参照してください。

LX25458,4CYL,0000A8D-40-19APR24

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 79 mm (MC フレームバージョン)

重要：トレッド調整手順に従って、ホイールボルトを締め付けてください。*後輪に関する注意事項 - ラックアンドピニオン車軸、ハブ直径 86 mm/92 mm/100 mm* を参照してください。

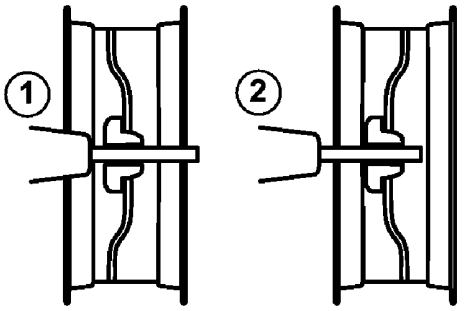
重要：トレッドの調整後、ホイールが自由に回転することを確認してください。

タイヤをドラフトリンクやリフトリンクに接触させないでください。牽引リンクのフロント側の穴にリフトリンクを取り付けることにより、リフトリンクとタイヤの間隔を広げることができます。

ドラフトリンクを上げるときは (作業機を取り付けていない場合でも)、油圧式または機械式スタビライザバーを固定する必要があります。

これらすべての手段を講じてもドラフトリンクやリフトリンクと接触する場合は、トレッド幅を増やしてください。

注記： 特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。



LX1056800—UN—29OCT12

後輪のトレッド幅 - ラックアンドピニオン車軸

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 79 mm (MC フレームバージョン)					
タイヤ	部品番号	単位	リムとホイールディッシュの配置 (鋳鉄ホイール付き後輪)		
			最小 (1)	ショートラックアンドピニオン車軸 228.6 cm (90 in)	ミディアムラックアンドピニオン車軸 255 cm (100.4 in)
				最大 (2)	最大 (2)
16.9R34	AL220759	mm	1828	2184*	2448*
		in	72.0	86.0*	96.4*
16.9R38	AL220758	mm	1828	2184*	2448*
		in	72.0	86.0*	96.4*
18.4R34	AL220759	mm	1828	2184*	2448*
		in	72.0	86.0*	96.4*
18.4R38	AL220758	mm	1828	2184*	2448*
		in	72.0	86.0*	96.4*
420/85R34	AL220759	mm	1828	2184*	2448*
		in	72.0	86.0*	96.4*
420/85R38	AL220758	mm	1828	2184*	2448*
		in	72.0	86.0*	96.4*
460/85R34	AL220759	mm	1828	2184*	2448*
		in	72.0	86.0*	96.4*
460/85R38	AL220758	mm	1828	2184*	2448*
		in	72.0	86.0*	96.4*
480/70R34	AL220759	mm	1828	2184*	2448*
		in	72.0	86.0*	96.4*
480/70R38	AL220758	mm	1828	2184*	2448*
		in	72.0	86.0*	96.4*
480/80R34 -R4	AL220759	mm	1828	2184*	2448*
		in	72.0	86.0*	96.4*
480/80R38 -R4	AL220758	mm	1828	2184*	2448*
		in	72.0	86.0*	96.4*
520/70R34	AL227027	mm	1828	2184*	2448*
		in	72.0	86.0*	96.4*
520/70R38	AL227024	mm	1828	2184*	2448*

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 79 mm (MC フレームバージョン)					
タイヤ	部品番号	単位	リムとホイールディッシュの配置 (鋳鉄ホイール付き後輪)		
			最小 (1)	ショートラックアンドピニオン車軸 228.6 cm (90 in)	ミディアムラックアンドピニオン車軸 255 cm (100.4 in)
				最大 (2)	最大 (2)
		in	72.0	86.0*	96.4*
540/65R34	AL227027	mm	1828	2184*	2448*
		in	72.0	86.0*	96.4*
540/65R38	AL227024	mm	1828	2184*	2448*
		in	72.0	86.0*	96.4*
600/65R34	AL227027	mm	1828	2184*	2448*
		in	72.0	86.0*	96.4*
* 車両全幅 2.55/2.75 m (100/108 in) 超。地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。					

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 79 mm (MC フレームバージョン)					
タイヤ	部品番号	単位	リムとホイールディッシュの配置 (鋳鉄ハブに 2 ポジション用スチールホイールを使用している後輪)		
			最小 (1)	ショートラックアンドピニオン車軸 228.6 cm (90 in)	ミディアムラックアンドピニオン車軸 255 cm (100.4 in)
				最大 (2)	最大 (2)
16.9R34	AL242266	mm	1535	1926	2190*
		in	60.4	75.8	86.2*
16.9R38	AL242255	mm	1535	1924	2188*
		in	60.4	75.7	86.1*
18.4R34	AL242266	mm	1576	1926	2190*
		in	62.0	75.8	86.2*
18.4R38	AL242255	mm	1576	1924	2188*
		in	62.0	75.7	86.1*
420/85R34	AL242266	mm	1511	1926	2190*
		in	59.5	75.8	86.2*
420/85R38	AL242255	mm	1511	1924	2188*
		in	59.5	75.7	86.1*
460/85R34	AL242266	mm	1550	1926	2190*
		in	61.0	75.8	86.2*
460/85R38	AL242255	mm	1550	1924	2188*
		in	61.0	75.7	86.1*
480/70R34	AL242266	mm	1575	1926	2190*
		in	62.0	75.8	86.2*
480/70R38	AL242255	mm	1575	1924	2188*
		in	62.0	75.7	86.1*
480/80R34 -R4	AL242266	mm	1589	1926	2190*
		in	62.6	75.8	86.2*
480/80R38 -R4	AL242255	mm	1589	1924	2188*
		in	62.6	75.7	86.1*
520/70R34	AL242257	mm	1614	1926	2190*
		in	63.5	75.8	86.2*
520/70R38	AL242178	mm	1614	1924	2188*
		in	63.5	75.7	86.1*
540/65R34	AL242257	mm	1650	1926	2190*
		in	65.0	75.8	86.2*
540/65R38	AL242178	mm	1650	1924	2188*

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 79 mm (MC フレームバージョン)					
タイヤ	部品番号	単位	リムとホイールディッシュの配置 (鋳鉄ハブに 2 ポジション用スチールホイールを使用している後輪)		
			最小 (1)	ショートラックアンドピニオン車軸 228.6 cm (90 in)	ミディアムラックアンドピニオン車軸 255 cm (100.4 in)
				最大 (2)	最大 (2)
		in	65.0	75.7	86.1*
600/65R34	AL242257	mm	1663	1926	2190*
		in	65.5	75.8	86.2*
600/65R38	AL205108	mm	1663	1926	2190*
		in	65.5	75.8	86.2*
* 車両全幅 2.55/2.75 m (100/108 in) 超。地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。					

jg60889,1739261820169-40-12FEB25

スチール製調整式ホイールを使用した後輪のトレッド幅 - ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 79 mm (MC フレームバージョン)

重要：**トレッド調整手順に従って、ホイールボルトを締め付けてください。*後輪に関する注意事項 - ラックアンドピニオン車軸、ハブ直径 86 mm/92 mm/100 mm* を参照してください。**

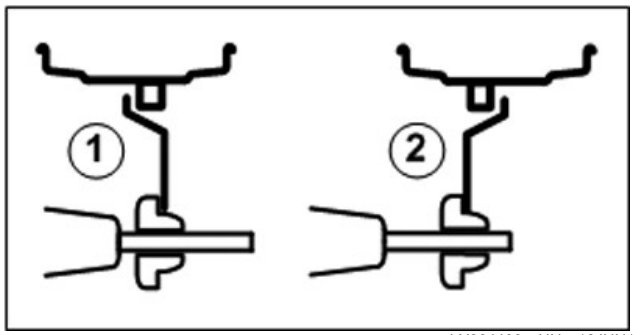
重要：**トレッドの調整後、ホイールが自由に回転することを確認してください。**

タイヤをドラフトリンクやリフトリンクに接触させないでください。牽引リンクのフロント側の穴にリフトリンクを取り付けることにより、リフトリンクとタイヤの間隔を広げることができます。

ドラフトリンクを上げるときは (作業機を取り付けていない場合でも)、油圧式または機械式スタビライザバーを固定する必要があります。

これらすべての手段を講じてもドラフトリンクやリフトリンクと接触する場合は、トレッド幅を増やしてください。

注記： 特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。



LX364403—UN—12JUN19

トラック調整ホイールによる後輪のトレッド調整 - ラックアンドピニオン車軸

スチール製調整式ホイールを使用した後輪のトレッド幅 - ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 79 mm (MC フレームバージョン)						
タイヤ	部品番号	リムクラスター***	単位	リムとホイールディッシュの配置 (鋳鉄ハブにスチール製調整式ホイールを使用している後輪)		
				最小 (1)	ショートラックアンドピニオン車軸 228.6 cm (90 in)	ミディアムラックアンドピニオン車軸 255 cm (100.4 in)
					最大 (2)	最大 (2)
13.6-46 -R2	AL242117	L32X5	mm	1445	1598	1862
			in	56.9	62.9	73.3
320/90R42	AL242204	LI16X1	mm	1407	1722	1986
			in	55.4	67.8	78.2
*** リムアセンブリ構成の図を参照してください。						

jg60889,1738918530917-40-12FEB25

後輪に関する注意事項 - ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 86、92、100 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き

注意： 生命を脅かすけがをする重大な事故。

ホイールとトラクター部品が接触すると、けがや物的損傷が発生します。

トラック幅の設定やホイール構成の変更時は、トラクターの構成部品から 25 mm (1 in) 以上の距離を保つよう徹底してください。この最小距離を維持できない場合は、トラック幅を広げて設定するか、適切なホイール構成を使用する必要があります。

注意： ホイールボルトやホイールナットを不適切に締め付けたり、紛失したりすると、けがの危険があります。

不適切に締め付けられたホイールボルトやホイールナットは、車両を運転中に緩んで紛失することがあります。車両の制御を失って、致命的なけがや大きな物的損害が発生する危険があります。

• ホイールに付属のホイールボルトやホイールナットのみを使用してください。

• 別の種類のホイールボルトやホイールナットは絶対に使用しないでください。

• 絶対にホイールボルトやホイールナットが緩んだ状態で車両を運転しないでください。

• すべてのホイールボルトとホイールナットを規定のトルクで締め付けます。

• 運転を開始する前に、すべてのホイールボルトとホイールナットが所定の位置に取り付けられていること、およびしっかりと密着していることを確認します。

重要： タイヤの側壁とトラクターの部品間の距離は 25 mm (1 in) 以上にしてください。

タイヤの走行面 (エッジ) とトラクターの部品間の距離は 25 mm (1 in) 以上にする必要があります。

スノーチェーンをタイヤに取り付ける場合、タイヤからトラクターの部品 (サイドウォールからフェンダー、および走行面からトラクターの部品) までの距離は 100 mm (4 in) 以上である必要があります。

重要： スチールホイールとフランジ付き車軸を装備したトラクターでは、クランプオン式デュアルホイールを使用しないでください。

重要： トレッドの調整後、ホイールが自由に回転することを確認してください。

タイヤをドラフトリンクやリフトリンクに接触させないでください。牽引リンクのフロント側の穴にリフトリンクを取り付けることにより、リフトリンクとタイヤの間隔を広げることができます。

ドラフトリンクを上げるときは (作業機を取り付けていない場合でも)、油圧式または機械式スタビライザバーを固定する必要があります。

これらすべての手段を講じてもドラフトリンクやリフトリンクと接触する場合は、トレッド幅を増やしてください。

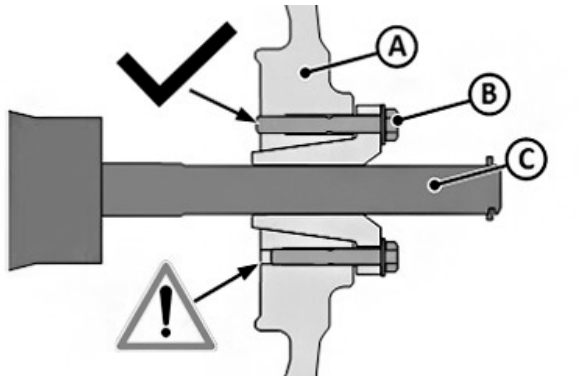
3 運転時間後および 10 運転時間後に規定のトルクでボルトを締め直します。

注記： 特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。

注意： 生命の危険と大きな物的損害。

ねじやホイールボルトがなくなったり、緩んだり、短すぎたりすると、ホイールが損失する可能性があります。

ホイールを取り付けるときは、すべてのねじが締め付けられていることを確認し、使用するねじに十分な深さがあることを確認することが重要です。



LX601413—UN—18JAN24

例： 図はラックアンドピニオン車軸の *1* つのバージョン

A：**鋳鉄ディッシュ**
B：**ねじ**
C：**ラックアンドピニオン車軸**

ホイールを交換する場合は、使用しているホイールセットの要件に従ってファスナを使用するようにしてください。ねじ、ナット、座金、ブッシング、および補強リングは、使用する車軸リムの組み合わせに一致している必要があります。予備パーツカタログに従って、オリジナル部品のみを使用してください。

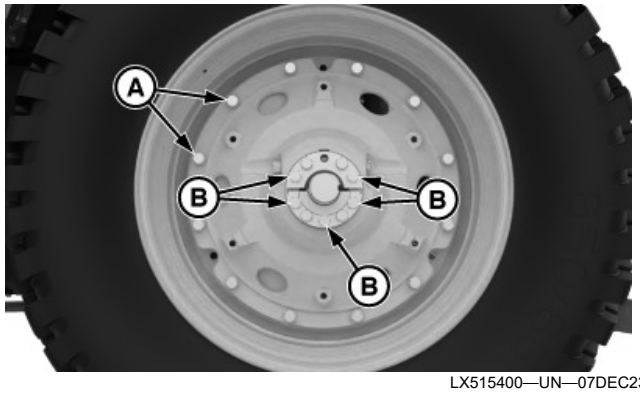
以下を参照してください。

後輪ボルトの締め付け — ラックアンドピニオン車軸、ハブ直径 86、92、100 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き (このセクション)

LX25458,ALL,0000A94-40-10JUL25

後輪ボルトの締め付け — ラックアンドピニオン車軸、ハブ直径 86、92、100 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き

取り付けねじ (A)、(B) の締め付け - 鋳鉄ホイールを鋳鉄ハブに



LX515400—UN—07DEC23
鋳鉄ディッシュと鋳鉄ハブ

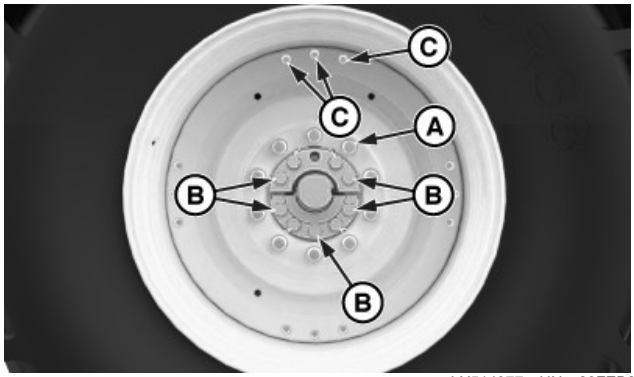
A：**550 N·m (405 lb·ft)**
B：**550 N·m (405 lb·ft)**

38 in 以上のリアホイールリムは、他のボルト穴よりも小さいボルト穴が 1 つと、互いに正反対の位置に長穴が 1 つあります。

重要： **ハーフシェルの取り付けねじ (B) が緩んでいる場合は、両方のハーフシェルを均等に締め付けて、ハブの破損やねじの緩みを防止してください。**

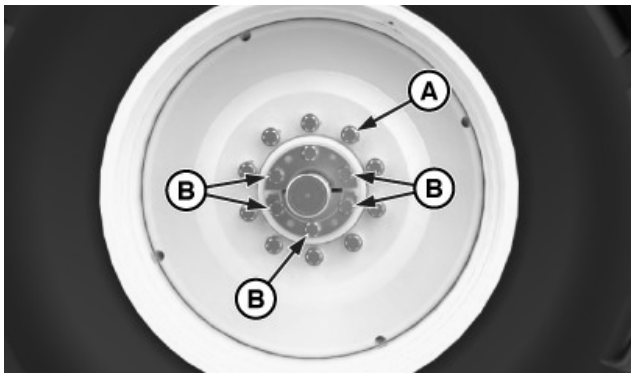
1. ハーフシェルが正しく密着していることを確認して、取り付けねじ (B) を 204 N·m (150 lb ft) のトルクで、星形パターンで締め付けます。
2. ねじ (B) を 410 N·m (300 lb ft) のトルクで締め直します。
3. トラクターを約 100 m (110 yd) 運転してから、ねじ (A)、(B) を 550 N m (405 lb ft) のトルクで締め付けます。
4. **3 運転時間**後、および **10 運転時間**後にねじを締め直します。

ホイールボルト (A) および (C) の締め付け — スチール製ディッシュと鋳鉄ハブ間



LX514977—UN—23FEB24
スチールディッシュと鋳鉄ハブ、バージョン *1*

A：**600 N·m (445 lb·ft)**
B：**550 N·m (405 lb·ft)**
C：**金色ボルト - 280 N·m (205 lb·ft)**
C：**灰青色ボルト - 265 N·m (195 lb·ft)**



LX514976—UN—26FEB24
スチールディッシュと鋳鉄ハブ間、バージョン *2 (*一部のモデルでは使用不可*)*

A：**600 N·m (445 lb·ft)**
B：**550 N·m (405 lb·ft)**

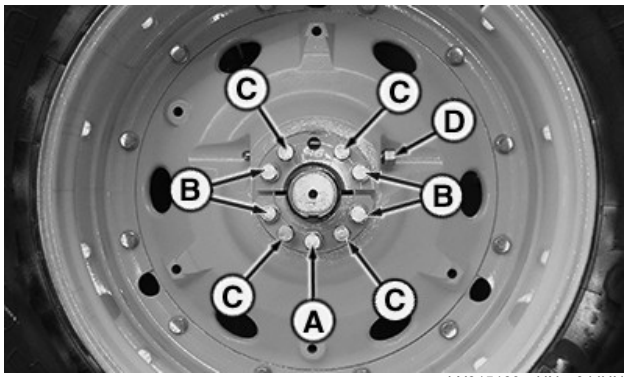
1. ボルト (A) を取り付けて手締めします。
2. 星形パターンで、ボルトを 600 N·m (445 lb ft) のトルクで締め付けます。
3. **3 運転時間**後にボルトを締め直します。
4. **10 運転時間**後にボルトを締め直します。

80C,MP22,oulxa64,1731592090213-40-11DEC24

ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 86、92、100 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き — 鋳鉄ホイール後輪のトレッド幅の調整

注意： **けがをしないようにしてください。トランスミッションギアが入り、後輪が地面から離れた状態では、絶対にエンジンをかけないでください。前輪駆動トラクターでは、前輪が駆動され、後輪がサポートから外れます。車軸を回転させるには、前輪駆動をオフにして、トランスミッションをニュートラルにする必要があります。**

1. 図のようにトラクターを平坦な場所でジャッキアップし、ピニオン (D) の調整が上になるようにホイールを回転させます。



LX315169—UN—04JUN18

A：**ハーフシェルの中央の取り付けねじ**
B：**ハーフシェルの取り付けねじ**
C：**ジャッキねじ**
D：**調整ピニオン**

2. ねじ (A) を止めナットに対して緩めます。
3. ねじ (B) を緩めます。
4. ハーフシェルを緩めたり押して外したりするには、ジャッキねじ (C) を締め付けます。ねじを 550 N·m (405 lb ft) のトルクで締め付けます。

注記：ハーフシェルが緩みにくい場合は、浸透油を使用し、重いハンマーで車軸の端部をたたきます。

5. 調整ピニオン (D) で必要なトレッド幅にセットします。*トレッド幅の制限を守ってください。*
6. ジャッキねじ (C) を停止するまでいっぱいに緩めます。

注意：**絶対に、リム、ホイール、またはハブが緩んだ状態でトラクターを運転しないでください。**

重要：**ハーフシェルの面を均一に維持して、ハブの破損やねじの緩みを防止してください。**

7. ハーフシェルが正しく密着していることを確認して、取り付けねじを次のように締め付けます。
   a. ねじ (A) を締め付けて、ねじ (B) を対角線上に 204 N·m (150 lb ft) のトルクで締め付けます。
   b. 次に、同じ順にねじを 410 N·m (300 lb ft) のトルクで締め付けます。
   c. トラクターを 100 m (100 yd) 以上運転してからボルトを 550 Nm (405 lb ft) のトルクで締め付けます。

重要：**運転を開始してから最初の週は、3 運転時間および 10 運転時間後に毎日すべてのネジを締め直します。翌週からは、250 運転時間ごとに締め直してください。**

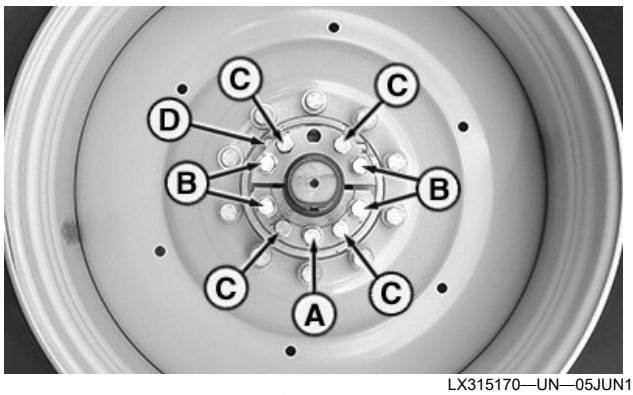
8. ジャッキねじ (C) を手締めします。

LX25458,ALL,0000A95-40-19APR24

ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 86、92、100 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き — スチールホイール後輪のトレッド幅の調整 (調整ピニオン付き)

注意：**けがをしないようにしてください。トランスミッションギアが入り、後輪が地面から離れた状態では、絶対にエンジンをかけないでください。前輪駆動トラクターでは、前輪が駆動され、後輪がサポートから外れます。車軸を回転させるには、前輪駆動をオフにして、トランスミッションをニュートラルにする必要があります。**

1. 図のようにトラクターを平坦な場所でジャッキアップし、ピニオン (D) の調整が上になるようにホイールを回転させます。



LX315170—UN—05JUN18

A：**ハーフシェルの中央の取り付けねじ**
B：**ハーフシェルの取り付けねじ**
C：**ジャッキねじ**
D：**調整ピニオン**

2. ねじ (A) を止めナットに対して緩めて取り外します。
3. ねじ (B) を緩めます。
4. ハーフシェルを緩めたり押して外したりするには、ジャッキねじ (C) を締め付けます。ねじを 550 N·m (405 lb ft) のトルクで締め付けます。

注記：ハーフシェルが緩みにくい場合は、浸透油を使用し、重いハンマーで車軸の端部をたたきます。

5. 調整ピニオン (D) で必要なトレッド幅にセットします。*トレッド幅の制限を守ってください。*
6. ジャッキねじ (C) を停止するまでいっぱいに緩めます。

注意：**絶対に、リム、ホイール、またはハブが緩んだ状態でトラクターを運転しないでください。**

重要：**ハーフシェルの面を均一に維持して、ハブの破損やねじの緩みを防止してください。**

7. ハーフシェルが正しく密着していることを確認して、取り付けねじを次のように締め付けます。
   a. ねじ (A) を締め付けて、ねじ (B) を対角線上に 204 N·m (150 lb ft) のトルクで締め付けます。
   b. 次に、同じ順にねじを 410 N·m (300 lb ft) のトルクで締め付けます。
   c. トラクターを 100 m (100 yd) 以上運転してからボルトを 550 Nm (405 lb ft) のトルクで締め付けます。

   重要：**運転を開始してから最初の週は、3 運転時間および 10 運転時間後に毎日すべてのネジを締め直します。翌週からは、250 運転時間ごとに締め直してください。**

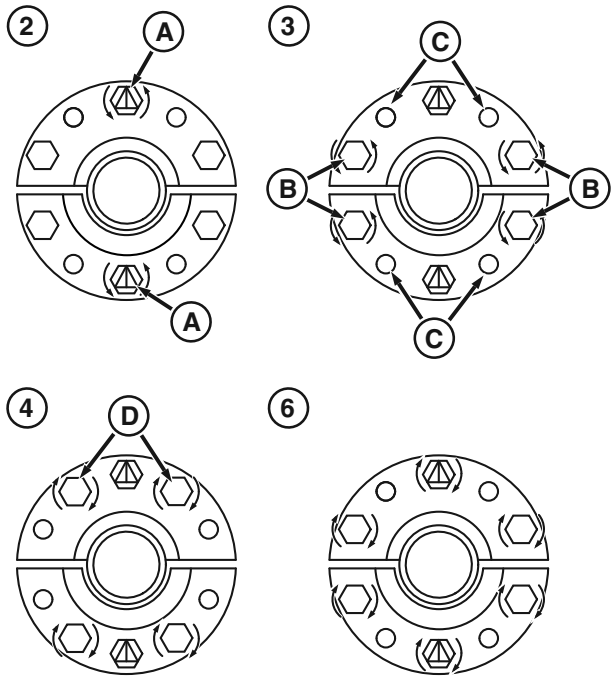
8. ジャッキねじ (C) を手締めします。

LX25458,ALL,0000A96-40-19APR24

ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 86、92、100 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き — スチールホイール後輪のトレッド幅の調整 (調整ピニオンなし)

注意：**けがをしないようにしてください。トランスミッションギアが入り、後輪が地面から離れた状態では、絶対にエンジンをかけないでください。前輪駆動トラクターでは、前輪が駆動され、後輪がサポートから外れます。車軸を回転させるには、前輪駆動をオフにして、トランスミッションをニュートラルにする必要があります。**

1. トラクターを平坦な場所で上昇させ、車軸のラックが上になるようにホイールを回転させます。



RXA0063068—UN—14OCT02



RW21374—UN—28JUL92

A：**ハーフシェルの中央の取り付けねじ**
B：**ハーフシェルの取り付けねじ**
C：**ジャッキねじの穴**
D：**ジャッキねじ**

2. 中央の取り付けねじを止めナット (A) に対して緩めます。
3. ねじ (B) を取り外します。
4. ハーフシェルを緩めたり、押し外したりするには、ねじをジャッキねじ用の穴 (C) に取り付けます。必要に応じて、ジャッキねじ (D) を 550 N·m (405 lb ft) のトルクで締め付けます。

注記：ハーフシェルが緩みにくい場合は、浸透油を使用し、重いハンマーで車軸の端部をたたきます。

5. ジャッキねじ (D) を取り外します。ホイール調整工具 JDG667A[1] を、取り外したジャッキねじでハーフ

[1] *通常の John Deere 特殊工具チャンネルから入手可能です。*

シェルの取り付けねじ用の穴 (B) に取り付けます。ホイールを必要な位置まで移動します。*トレッド幅の制限を守ってください。*

6. 調整工具とねじを取り外します。

注意：**絶対に、リム、ホイール、またはハブが緩んだ状態でトラクターを運転しないでください。**

重要：**ハーフシェルの面を均一に維持して、ハブの破損やねじの緩みを防止してください。**

7. ハーフシェルが正しく密着していることを確認して、取り付けねじを次のように締め付けます。
   a. ハーフシェルの取り付けねじを穴 (A) と (B) に配置します。
   b. 中央のねじ (A) を締め付けて、ねじ (B) を対角線上に 204 N·m (150 lb. ft) のトルクで締め付けます。
   c. 次に、同じ順にねじを 410 N·m (300 lb ft) のトルクで締め付けます。
   d. トラクターを 100 m (100 yd) 以上運転してからボルトを 550 Nm (405 lb ft) のトルクで締め付けます。

重要：**運転を開始してから最初の週は、3 運転時間および 10 運転時間後に毎日すべてのネジを締め直します。翌週からは、250 運転時間ごとに締め直してください。**

LX25458,ALL,0000A97-40-10JUL25

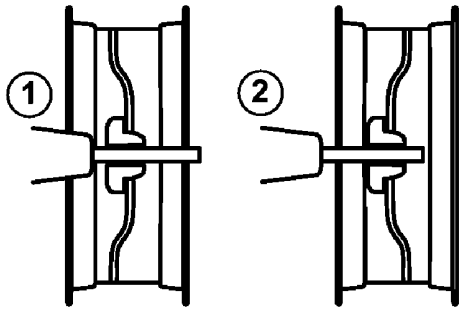
重要：**トレッドの調整後、ホイールが自由に回転することを確認してください。**

タイヤをドラフトリンクやリフトリンクに接触させないでください。牽引リンクのフロント側の穴にリフトリンクを取り付けることにより、リフトリンクとタイヤの間隔を広げることができます。

ドラフトリンクを上げるときは (作業機を取り付けていない場合でも)、油圧式または機械式スタビライザバーを固定する必要があります。

これらすべての手段を講じてもドラフトリンクやリフトリンクと接触する場合は、トレッド幅を増やしてください。

注記：特定の国では、公道を走行する車両全体の幅は 2.55 m (100 in) を超えることができません。



LX1056800—UN—29OCT12
後輪のトレッド幅 - ラックアンドピニオン車軸

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 86 mm (MC フレームバージョン)

重要：**トレッド調整手順に従って、ホイールボルトを締め付けてください。*後輪に関する注意事項 - ラックアンドピニオン車軸、ハブ直径 86 mm/92 mm/100 mm* を参照してください。**

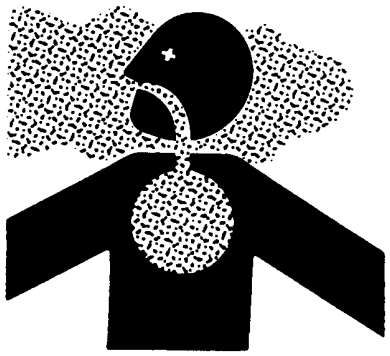
2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 86 mm (MC フレームバージョン)				
タイヤ	部品番号	単位	リムとホイールディッシュの配置 (鋳鉄ホイール付き後輪)	
			最小 (1)	ショートラックアンドピニオン車軸 243.8 cm (96 in) 最大 (2)
420/85R38	AL233007	mm	1511	1890
		in	59.5	74.4
460/85R38	AL233007	mm	1550	1890
		in	61.0	74.4
480/70R38	AL233007	mm	1575	1890
		in	62.0	74.4
480/80R38 -R4	AL233007	mm	1589	1890
		in	62.6	74.4
520/70R38	AL233006	mm	1614	1890
		in	63.5	74.4

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 86 mm (MC フレームバージョン)				
タイヤ	部品番号	単位	リムとホイールディッシュの配置 (鋳鉄ホイール付き後輪)	
			最小 (1)	ショートラックアンドピニオン車軸 243.8 cm (96 in)
				最大 (2)
540/65R38	AL233007	mm	1650	1890
		in	65.0	74.4
540/65R38	AL233006	mm	1650	1890
		in	65.0	74.4
600/65R38	AL233005	mm	1663	1890
		in	65.5	74.4

2 ポジションリムを使用した後輪のトレッド幅 - ラックアンドピニオン車軸、シャフト直径 86 mm (MC フレームバージョン)				
タイヤ	部品番号	単位	リムとホイールディッシュの配置 (鋳鉄ハブに 2 ポジション用スチールホイールを使用している後輪)	
			最小 (1)	ショートラックアンドピニオン車軸 243.8 cm (96 in)
				最大 (2)
16.9R38	AL225064	mm	1612	2139*
		in	63.5	84.2*
18.4R38	AL225064	mm	1612	2139*
		in	63.5	84.2*
270/95R48	AL242166	mm	1612	2139
		in	63.5	84.2
420/85R38	AL225064	mm	1612	2139*
		in	63.5	84.2*
460/85R38	AL225064	mm	1612	2139*
		in	63.5	84.2*
480/70R38	AL225064	mm	1612	2139*
		in	63.5	84.2*
480/80R38 -R4	AL225064	mm	1612	2139*
		in	63.5	84.2*
520/70R38	AL242163	mm	1614	2139*
		in	63.5	84.2*
540/65R38	AL242163	mm	1650	2139*
		in	65.0	84.2*
600/65R38	AL207669	mm	1663	2139*
		in	65.5	84.2*
* 車両全幅 2.55/2.75 m (100/108 in) 超。地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。				

jg60889,1739261982768-40-12FEB25

農薬には触らない



TS220—UN—15APR13



TS272—UN—23AUG88

注意： 囲いのあるキャビンも蒸気、煙霧、ほこりの吸引に対する保護は与えません。

1. 殺虫剤が存在する環境で作業をする場合は、長袖、長ズボン、靴、靴下を着用してください。
2. 殺虫剤の使用説明書で求められている場合は、キャビン内部で適切なマスクを着用してください。
3. キャビンから出て次の作業を行う際は、殺虫剤使用方法で必要とされている保護具を着用してください。
   - 散布された場所での作業
   - 清掃、交換、方向変更を必要とするノズルなど、汚染されたアプリケーション装置での作業
   - 混合、積み込み作業
4. キャビンに再度入る前には、保護具を取り外してキャビンの外のきっちりと閉まる箱などの容器に保管するか、またはキャビン内ではプラスチックの袋などの殺虫剤に耐える容器に保管してください。
5. キャビンに入る前には靴やブーツをきれいにして土などの汚染された物質を取り除いてください。

DX,CABS1-40-27NOV12

車両からの有害殺虫剤の除去

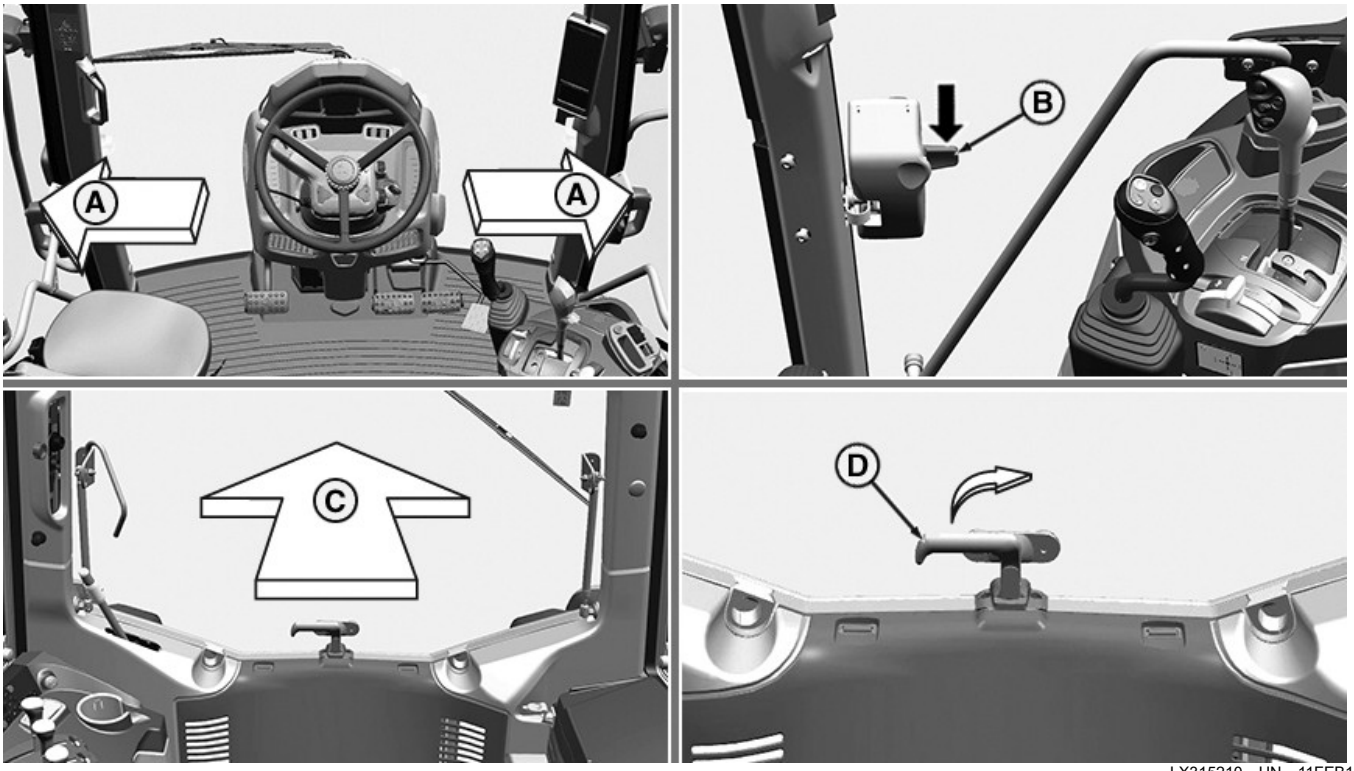
注意： 有害な殺虫剤の散布中には、殺虫剤が車両の内外にたまります。 有害な殺虫剤の使用説明書に従って車両の清掃を行ってください。

有害な殺虫剤にさらされた場合は、車両の内外を毎日清掃して目に見える泥や汚染物質の蓄積を避けてください。

1. キャビンの床をほうきで掃くか掃除機をかけてください。
2. キャビンの天井と内装材を清掃してください。
3. 車両外部全体を洗浄してください。
4. 規制や指令に従い、有害な濃度の活性または非活性成分を含む洗浄水を廃棄してください。

DX,CABS2-40-24JUL01

非常出口



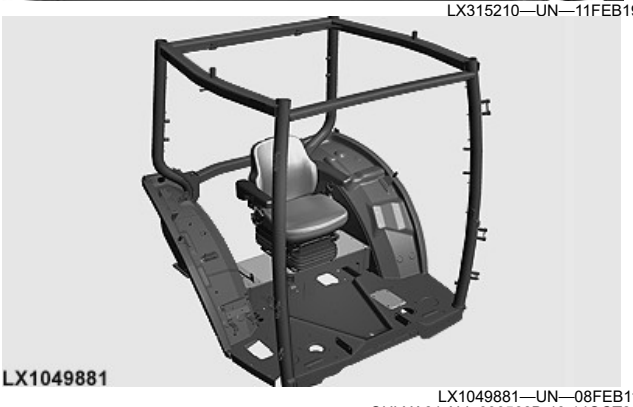
LX315210—UN—11FEB19

非常時は、2 つのドア (A) を通じてキャブから出ることができます。それにはレバー (B) を引いてドアを解放し、押して開きます。

非常時はリアウィンドウ (B) の開口部を通じてキャブから出ることもできます。レバー (D) を右に回してウィンドウを解放し、押して開きます。

キャブに右側のドアが装備されていない場合は、非常用ハンマー (装備されている場合) でガラスを割るか、コッタピンを引き出して開きます。

OULXA64,SP,000568A-40-23SEP20



LX1049881—UN—08FEB11
OULXA64,ALL,000568B-40-14OCT20

転倒時保護構造

注意： オペレータのキャブには転倒時保護構造が装備されています。この構造に対する変更は許可されていません。この指示に従わなかった場合、ROPS の剛性が影響を受けます。

トラクターが転覆した場合、または衝突が発生した場合、転倒時保護構造は非常に大きな応力にさらされます。安全上の理由から、ロップスが損傷した場合は必ず交換する必要があります。

落下物保護構造



LX412372—UN—18JAN21
情報ラベル - 証明規格

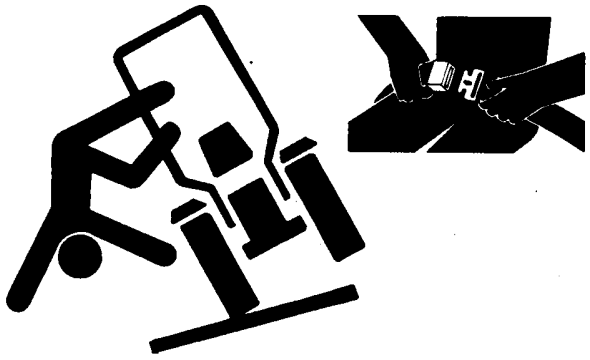
トラクターのキャブには、John Deere FOPS を装備することができます。FOPS は運転位置のオペレータを頭上からの落下物からさらに保護するアタッチメントです。規格では、特定の農業用途で操作されているときに落下物にさらされる可能性があるトラクターに対する要件を定義しています。

John Deere FOPS が装備されている場合、シートの背後のトリムパネルに情報ラベルがあります。このラベルには、当該 John Deere FOPS がテストされた規格に関する情報が掲載されています (矢印を参照)。

重要： John Deere FOPS を装備しているキャブ付きのトラクターは、林業用途で使用するためのものではあります。

OULXBER,00030C2-40-25JAN21

シートベルトの着用



TS205—UN—23AUG88

注意： 事故が起こったときのけがのリスクを最小限に抑えるため、トラクターを運転するときは必ずシートベルト (A) を着用してください。

この教習シートは、オペレータのトレーニングまたは機械の問題の診断専用です。

他の搭乗者をトラクターと装置に乗せないでください。



LX315209—UN—28SEP18
教習シート付きのトラクター

A：シートベルト

- ラッチを保持し、シートベルトを引いて体にかけます。
- ラッチをベルトのバックルに挿入します。
- カチッと音が鳴るのを確認します。
- シートベルトのラッチを引き、ベルトが確実に固定されていることを確認します。
- シートベルトを腰にぴったり合わせてください。

シートベルトと取り付け金具は年に 1 回点検してください。セクション 220D を参照してください。

OULXA64,SP,NA,000568C-40-21MAR23

キャブ サスペンション装備のトラクター

キャブのスプリングエレメントは、工場で平均的な負荷に合わせてあらかじめ設定されています。故障が発生した場合は、設定を点検して必要に応じて変更します。

「機械式キャブサスペンションの点検」(セクション 220D) を参照してください。

故障	原因	処置
キャブで振動が増幅される。	ダンパーの故障。	John Deere 販売店またはその他の整備工場に依頼して古い部品を新しい部品に交換してください (必ず両側で行ってください)。
サスペンションが軟らかすぎる (キャブが大きく揺れ、停止時に強い衝撃がある)。	予備張力が不十分。	設定を修正してください。
サスペンションが硬すぎる。	過剰な予備張力。	設定を修正してください。

OULXA64,SP,000568E-40-15JUL25

シートの調整

シートの調整と機能 (6M シリーズ)

注意： 狭い場所での怪我の危険を避けてください！以下は、シートを調整しているときに挟み込まれる危険があることを示しています。

- **キャブ内に置いた物。**
- **キャブ内の追加の機器。**
- **隣接する構成部品との隙間がほとんどない。**

トラクターが静止しているときだけシートを調整してください。コントロール要素や他のコンポーネントと誤って接触することのない位置にシートを設定してください。

トラクターを運転するときは、必ず運転席を移動方向に併せてラッチをかけます。

コントロールの位置：

注記： 図では、可能性のあるすべてのコントロールを示しています。装置によっては、一部のコントロールが使用できない場合があります。



LX514283—UN—12AUG22

標準シート *(MSG95G)*



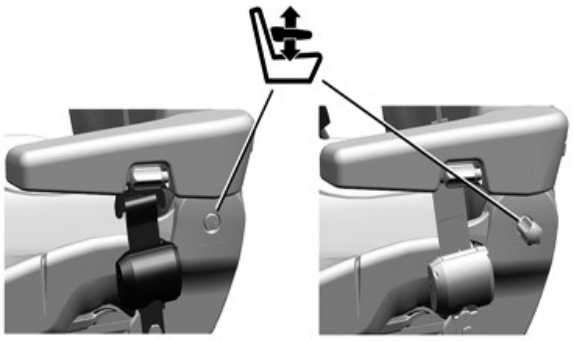
LX514313—UN—08MAY23

プレミアムシート *(MSG97AL)*



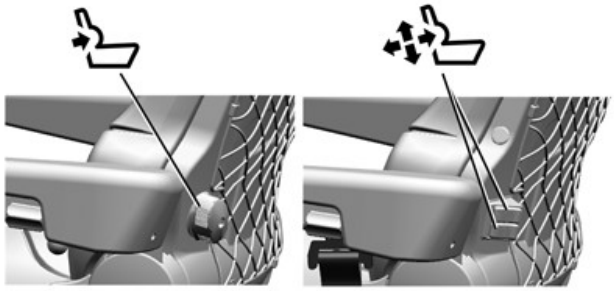
LX514286—UN—23AUG22

エコノミーシート *(MSG85)*



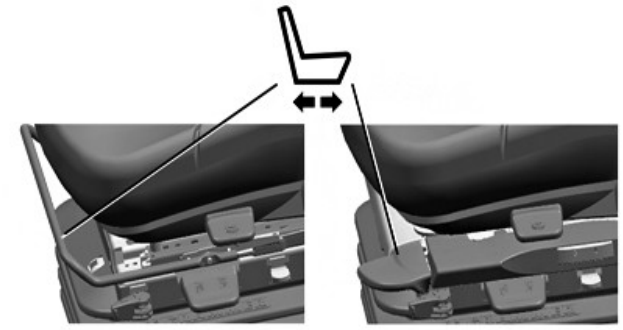
LX514266—UN—10AUG22

考えられる種類



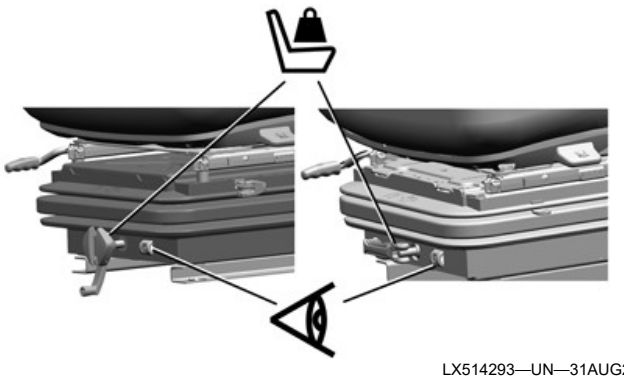
LX514285—UN—10AUG22

考えられる種類



LX514284—UN—10AUG22

考えられる種類



LX514293—UN—31AUG22

考えられる種類 *(MSG85 のみ)*

シートの調整と機能：



LX514263—UN—20MAY22

シートクッションの調整：
レバーを引き上げて必要なシート深さを設定します。レバーを放してシートをその位置にロックします。



LX514264—UN—20MAY22

シートのチルト調整：
レバーを引き上げて必要なシートの傾きを設定します。
レバーを放してシートをその位置にロックします。



LX514265—UN—20MAY22

前後位置調整：
レバーを引き上げて必要なシート位置を設定します。
レバーを放してシートをその位置にロックします。



LX514311—UN—05MAY23

垂直シートダンピング：
レバーを希望の位置 (1、2、3、4、5) に回転させて、垂直シートダンピングを調整します (位置 1 = ソフト、5 = ハード)。推奨



LX514252—UN—20MAY22

前後方向サスペンション：
レバーを前へ - 前後方向サスペンションなし。
レバーを後ろへ - 前後方向サスペンションあり。


LX514255—UN—20MAY22

高さ調整：
MSG85
シートを上方向に調整するには、シートをカチッと音がする位置 (デテント位置 3 箇所) まで上げます。下方向に調整するには、シートを停止位置まで上げてから下げます。
MSG95G、MSG97AL
体重の調整を行った後、シートを任意の高さに調整できます。
1. シートに座り、キースイッチをオン (IGN) にします。
2. レバーを完全に引く、または押して、シートを上下に動かして適切な位置に設定します。*注記：上限または下限に達すると、自動高さ調整が作動します。これにより、ダンピングの機能が保証されます。*


LX514254—UN—20MAY22

重量調整：
高さ調整中のコンプレッサの損傷を回避するには、コンプレッサを最大で 1 分間運転する必要があります (コンプレッサ付きシートのみ)。
MSG85
1. シートに座り、重量調整ノブを回して体重を調整します。
2. 重量インジケーターを見て設定を確認します。調整範囲 = 50 ~ 130 kg (110 ~ 285 lb)
MSG95G
1. シートに座り、キースイッチをオン (IGN) にします。
2. 空気圧がドライバの体重に合うまでレバーを少し引いて上に保持します。インジケーター目盛に緑のマークが表示されたら、レバーを放します。調整範囲 = 50 ~ 130 kg (110 ~ 285 lb)
MSG97AL
1. シートに座り、キースイッチをオン (IGN) にします。
2. レバーを少し引き上げて放し、自動体重調整を開始します。エアコンプレッサが適切な空気圧を設定するまで動かさないでください。調整範囲 = 50 ~ 130 kg (110 ~ 285 lb)


LX514261—UN—20MAY22

シートヒーター：
シートヒーターは、トグルスイッチで ON と OFF を切り替えます。


LX514281—UN—05AUG22

背もたれエクステンション：
背もたれエクステンションをエンドストップの様々な増分で引き上げて、高さに合わせて個別に調整できます。背もたれエクステンションを取り外すには、エンドストップの上に引き上げます。


LX514256—UN—20MAY22

回転の調整：
モデルによっては、シートを右および左に (可能な場合) 回転できます。
レバーを持ち上げて、シートを必要なデテント位置に回転させます。レバーを押し下げると、シートは次のデテント位置に自動的にかみ合います。
重要： **乗車および降車時には左方向にのみ回転させます。***注： ジョイスティックをアームレストに装備している場合、運転席は最初のデテント位置までしか回りません。ステアリングホイールにぶつからないよう注意してください。*


LX514257—UN—20MAY22

横方向サスペンションの調整：
MSG95G および MSG97AL - レバーを前方に動かして、横方向サスペンションを起動させます。レバーを後方に動かすと、横方向サスペンションが解除されます。


LX514258—UN—20MAY22

背もたれのチルト調整：
レバーを上に引いたままにします。背もたれを希望する位置まで傾けて、レバーのラッチをカチッと音がする位置まで戻します。


LX514259—UN—20MAY22

アームレスト高さの調整：
バージョン 1： 両側のプラスチックキャップを取り外して、調節ねじを緩めます。アームレストを必要な位置に配置します。
調節ねじを締め付けて、プラスチックキャップを取り付けます。
バージョン 2： **ノブ**を回してクランプを緩めます。アームレストを好みの位置に合わせ、ノブを回してアームレストを固定します。


LX514262—UN—20MAY22

アームレストのチルト調整：
ノブを回してチルト角度を調整します。アームレストを 30°下方向に下げるには、ノブをアームレストに押し込みます。


LX514260—UN—20MAY22

背もたれのランバーサポートの調整：
電気バージョンでは、2 つのロッカースイッチでランバーサポートの位置と強度を調整します。



LX514268—UN—05AUG22

背もたれのランバーサポートの調整：
機械バージョンの調整ノブを回してランバーサポートの強度を調整します。

oulxa64,1662385380394-40-29JAN24

CommandARM™ — 高さの調整

注意： 限られたスペースによりけがをする危険！

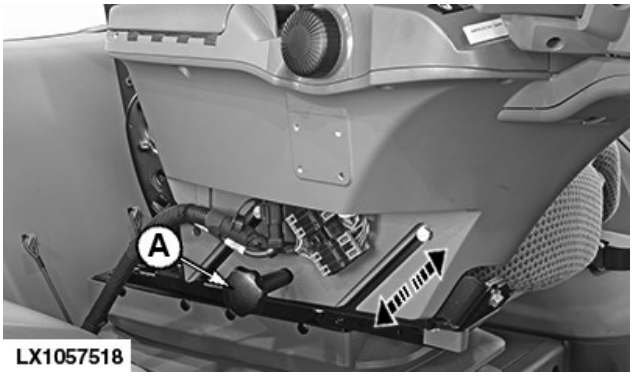
以下は、シートを調整しているときに挟み込まれる危険があることを示しています。

- **キャブ内に置いた物。**
- **キャブ内の追加の機器。**
- **隣接する構成部品との隙間がほとんどない。**

トラクターが静止しているときだけシートを調整してください。

コントロール要素や他のコンポーネントと誤って接触することのない位置にシートを設定してください。

1. ノブ (A) を緩めます。



LX1057518—UN—28AUG15

2. CommandARM™ を必要な位置に調整します。
3. ノブ (A) を締め付けます。

OULXA64,ALL,0005681-40-23SEP20

トレーニング用の教習シート

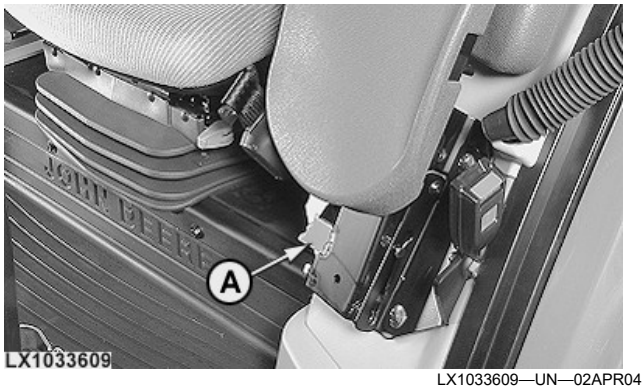
注意： 教習シートは、オペレータのトレーニングや機械の問題の診断用にのみ用意されています。

他の搭乗者をトラクターと装置に乗せないでください。

運転するときは、必ずシートベルトを着用してください。

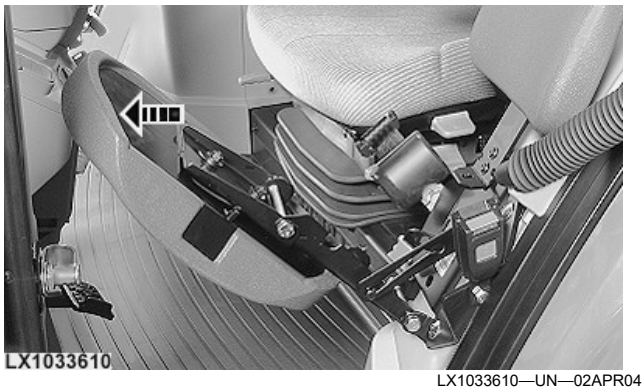
教習シートはインストラクタの移動手段のみを目的としています (John Deere 承認済み)。

1. ロック (A) を押します。



LX1033609—UN—02APR04

2. シートを前に傾けます。



LX1033610—UN—02APR04

3. シートを時計回りに 90° 回します。



LX1033611—UN—02APR04

4. シートを後に傾けます。ピン (B) が適切な穴にかみ合うことを確認します。



LX1033612—UN—02APR04

OULXA64,SP,NA,EX,0005682-40-15OCT20

ステアリングホイールの調整

注意：トラクターが動いているときにステアリングホイールの設定を調整した場合、けがの危険があります。

ステアリングホイールは必ずトラクターが静止しているときに調整してください。



LX364123—UN—15NOV18

A：**ステアリングホイールチルト用レバー**
B：**ステアリングホイール高さ用ねじ**

ステアリングホイールのチルト調整

1. レバー (A) を操作します。
2. チルトを調整します。
3. レバーを放して、ステアリングコラムがロックされているかどうか確認します。

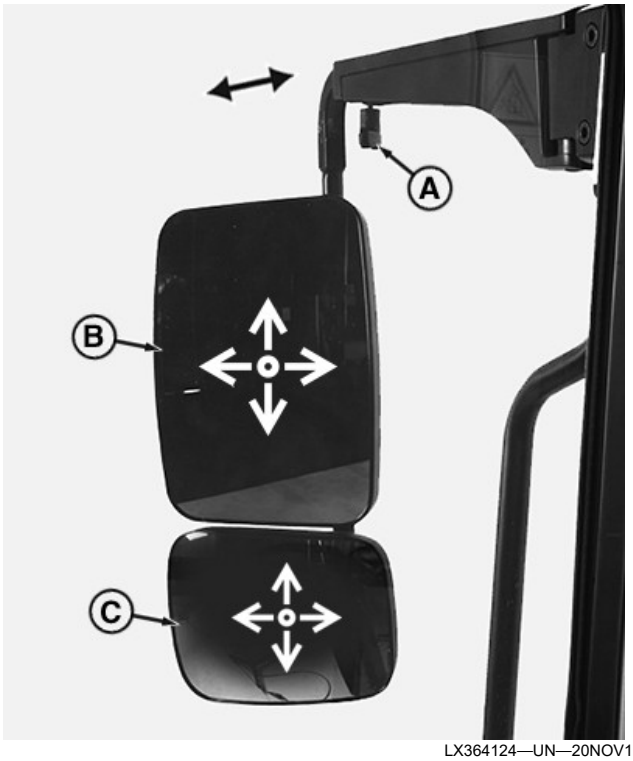
レバー (A) を操作すると、ステアリングコラムが自動的に縦位置になり、乗り降りが容易になります。

ステアリングホイール高さの調整

1. ねじ (B) を解放します。
2. 高さを調整します。
3. ねじを締め付けます。

OULXA64,SP,0005683-40-23SEP20

外部ミラー、手動調整可能



LX364124—UN—20NOV18

サンプル図

1. ねじ (A) を緩めます。
2. ミラーアームを必要な位置までスライドさせます。
3. ねじ (A) を締め付けます。
4. ミラー (B) と (C) を必要な位置に調整します。
5. 柔らかい布でミラー面をきれいにします。

OULXA64,ALL,0005684-40-23SEP20

室内ミラーの調整



LX514917—UN—06DEC22

1. ミラーを必要な位置までスライドさせます。
2. 柔らかい布でミラー面をきれいにします。

oulxa64,SP,All,1669987917852-40-12JAN23

乗降ステップ

乗降ステップと手すり

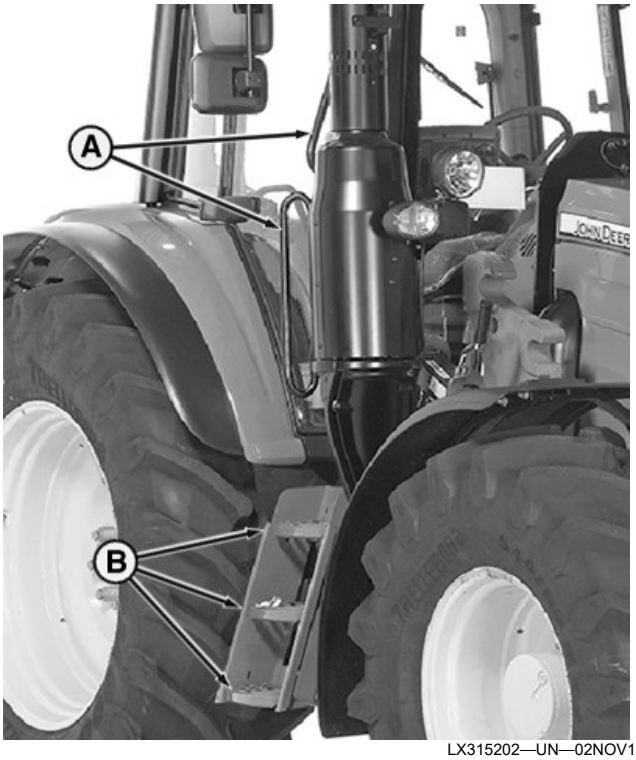
注意： 排気系統の非常に高温の部品による火傷の危険があります。

部品に触れないでください。

出入りするときは、必ず手すりをつかんでください。

注記： 乗り降りの前に、雪、氷、泥を除去してください。

乗り降りするときは、乗降ステップ (B) を利用してください。必ず手すり (A) をつかんでください。他の方法で出入りすることは禁止されています。



LX315202—UN—02NOV18

トラクターの右側



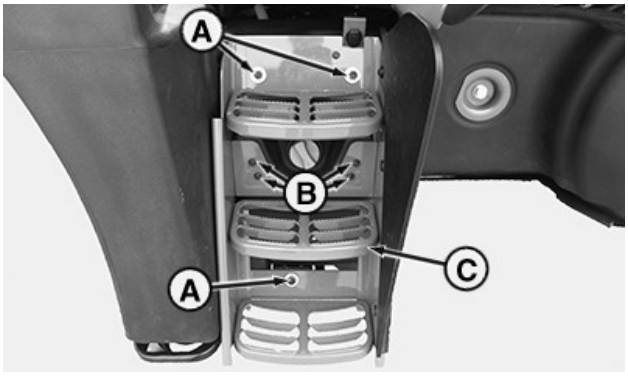
LX364436—UN—28AUG19

トラクターの左側

A：**手すり**
B：**乗降ステップ**

OULXA64,SP,0005685-40-23SEP20

左側の乗降ステップの取り外しと取り付け



LX343078—UN—16APR18

1. ねじ (A) を取り外します。
2. ねじ (B) を取り外して乗降ステップ (C) を取り外します。
3. 取り付けは、以下の仕様を守って取り外しとは逆の順に行います：
   - 乗降ステップ (C) を配置して、ねじ (B) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

DEF タンクの乗降ステップ、取り付けねじ：トルク. . . . . 17 N·m (13 lb·ft)

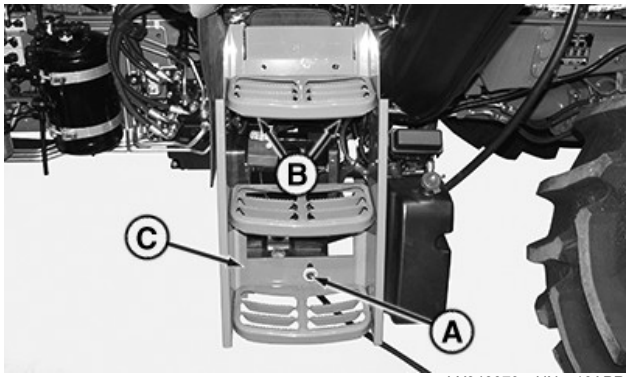
- ねじ (A) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

燃料タンクの乗降ステップ、取り付けねじ：トルク. . . . . 100 N·m (74 lb·ft)

OULXA64,SP1,00058C0-40-03MAY23

右側の乗降ステップの取り外しと取り付け



LX343079—UN—16APR18

1. ねじ (A) を取り外します。
2. ナット (B) を緩めて乗降ステップ (C) を上に取り外します。
3. 取り付けは、以下の仕様を順守しながら取り外しと逆の順に行います：

   ねじ (A) とナット (B) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

ブラケットの乗降ステップ、取り付けねじ：トルク. . . . . 122 N·m (90 lb·ft)
ブラケットの乗降ステップ、ナットの締め付け：トルク. . . . . 122 N·m (90 lb·ft)

OULXA64,SP1,00058C1-40-03MAY23

ワイパーおよびウォッシャーシステム

A — フロントガラスワイパー



LX364142—UN—26NOV18

フロントガラスワイパー用ロータリースイッチ (A) :

- 0 = オフ
- 1 = 間欠
- 2 = 低速ワイプ
- 3 = 高速ワイプ
- 4 = フロントガラスウォッシャー ON
  スイッチをステアリングコラムに向かって押します。

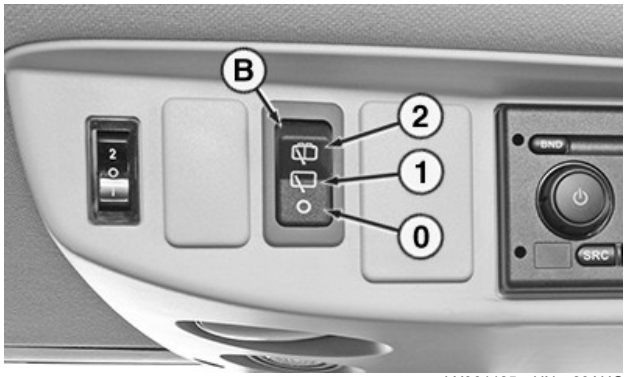
注記： フードの上にワイパーモーターがあるトラクターでは、次のようにワイパーアームを整備位置に入れてワイパーブレードを交換します。

1. キースイッチを ON にします。
2. ワイパースイッチを間欠位置 (1) に動かします。
3. キースイッチを 5 秒以内に OFF にします。
4. ワイパーは現在のサイクルを完了します。
5. ワイパーはその後、自動的にサービス位置に移動します。
6. ワイパーブレードを交換する。
7. キースイッチを ON に回すと、ワイパーが駐車位置に戻ります。

B - リアウィンドウワイパー

重要： リアワイパーがホーム位置に戻ったことを確認するまでは、絶対にリアウィンドウを全開にしないでください。

リアウィンドウワイパー/ウォッシャーステムは、リアウィンドウを閉じないと作動しません。



LX364425—UN—28AUG19

リアウィンドウワイパーのスイッチ (B) :

- 0 = オフ
- 1 = オン
- 2 = リアウィンドウウォッシャー ON

供給タンク



LX364127—UN—15NOV18

温度が凍結温度以下まで下がる可能性がある場合は、システムの損傷を防止するため、適切な不凍液溶液を供給タンク (C) の水に追加してください。

OULXA64,SP1,00058C2-40-28JUN22

ヒーター / 換気 / エアコンシステム (HVAC)

重要： 高い性能を常に維持するために、天候や季節に関わらずエアコンシステムを毎月 2、3 分オンにしてください (エンジンはローアイドル)。温度コントロールは最大冷房 (約 16 °C (29 °F)) に設定します。

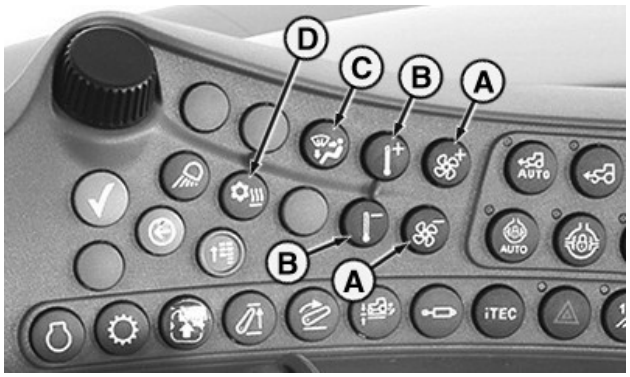
外気温が 4°C (39°F) よりも低い場合は、まずキャブ内の温度ができるだけ高くなるようにキャブを暖める必要があります (ヒーターシステムを使用)。

注記： エアコンシステムはブロワが作動している場合のみ機能します。

冬期は、エアコンシステムをヒーターと連動させてキャブの空気から湿気を除去することができます。

重要： カテゴリ 2 キャブ付きトラクターの場合、カテゴリ 2 ではファン回転速度を 3 以上に設定する必要があります。

エアコンシステムの操作



LX364116—UN—26NOV18

A：**ブロワ速度 +/-**
B：**温度 +/-**
C：**気流分配の選択**
D：**エアコンシステムの ON/OFF**

1. +/- ボタンでブロワ速度 (A) を設定します。
2. エアコンシステム (D) を ON にします。
3. +/- ボタンで温度 (B) を設定します。
4. ボタン (C) を数回押して、気流分配を調整します。エアルーバーを必要な位置に動かします。



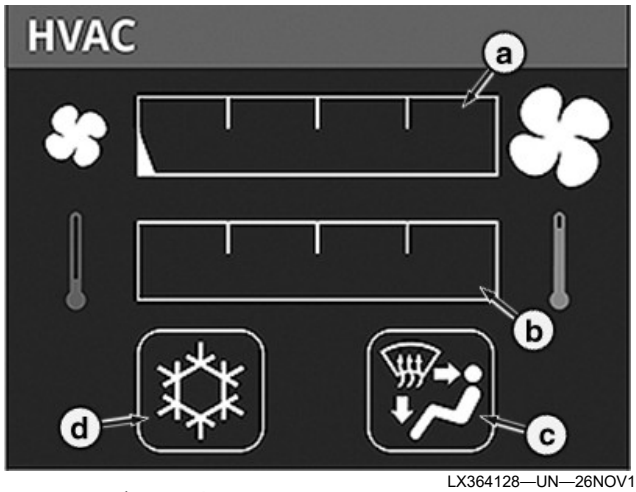
LX364129—UN—20NOV18

- **c1 -** 気流を運転キャビン全体に均等に分配します。
- **c2 -** 気流を足元に向けます。
- **c3 -** 気流をオペレータに向けます。
- **c4 -** フロントガラスの霜取りと除湿を行います。



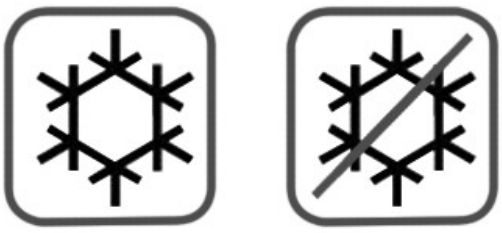
LX364130—UN—20NOV18

設定は次のように表示されます：



LX364128—UN—26NOV18

a：**選択したブロワ速度**
b：**選択した温度**
c：**選択した気流分配**
d：**エアコンシステムの ON/OFF**



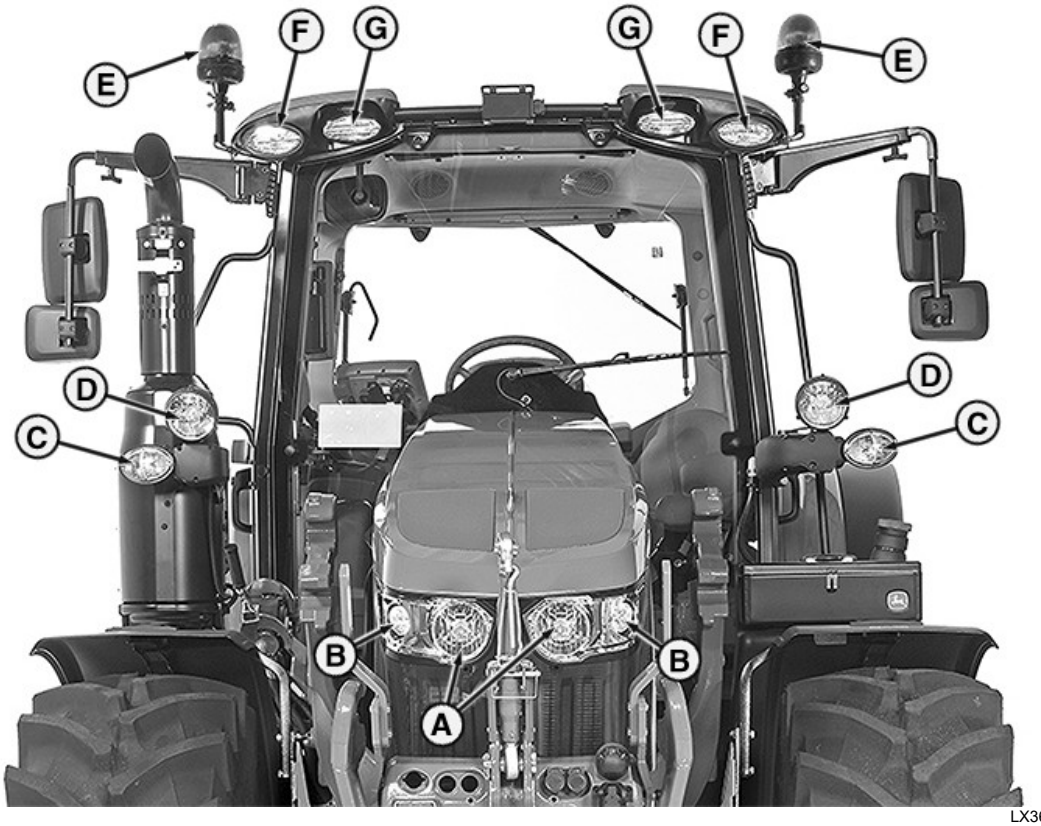
LX364131—UN—20NOV18

エアコンシステムの *ON/OFF*

OULXA64,SP,0005689-40-16JAN23

ライト

ライトの概要



LX364132—UN—26NOV18

A：**ローおよびハイビームヘッドライト**
B：**作業灯**[1]
C：**方向指示灯とクリアランスライト**
D：**追加ヘッドライト**[1] **(ロービームおよびハイビーム) または作業灯**[1]
E：**ビーコンライト**[1]
F：**作業灯**[1]
G：**作業灯**[1]

注記： LED ヘッドライトを装備している場合、リフレクタの上部はロービーム用、下部はハイビーム用です。ロービームとハイビームを同時に操作することはできません。

注記： H9 バルブを前端部作業灯 (B) に使用しないでください。

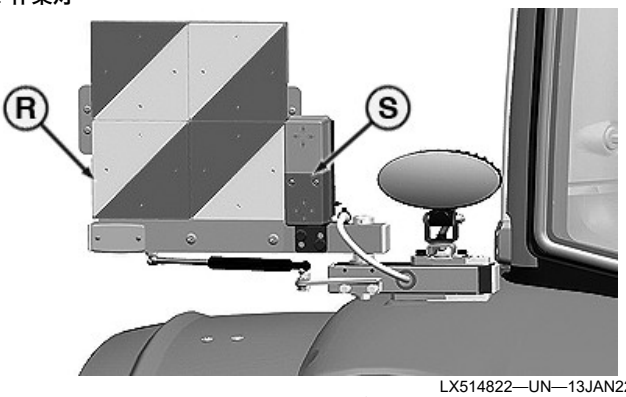
図に示されているトラクターには、オプションのライトが装備されています。

[1] *装備されている場合*



LX364133—UN—21NOV18

H：作業灯[2]
I：作業灯[2]
J：作業灯[2]



LX514822—UN—13JAN22
先端ライト付き警告標識

K：ナンバープレートライト
L：テールライト/停止灯/方向指示灯
M：ライト用 7 ピントレーラーソケット
R：両側の警告標識[2]
S：両側の先端ライト：テールライト/ブレーキランプ/ターンシグナル[2]

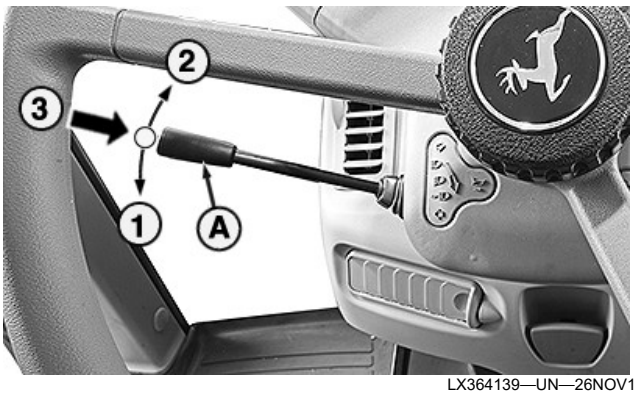
重要： 道路上で両方の警告サイン (装備されている場合) を開きます。

地域の道路交通規則またはその他の適用可能な規則を順守する必要があります。

OULXA64,SP1,EU,00058C3-40-28NOV22

[2] 装備されている場合

方向指示器とホーン用シフトレバー



LX364139—UN—26NOV18

自動復帰しない方向指示器

シフトレバー (A) を必要な方向に最初に抵抗を感じる位置の先まで動かして、そのままにします。これにより、方向指示灯が点灯します。方向指示器をオフにするには、シフトレバー (A) をニュートラル位置 (3) まで戻します。

自動復帰式方向指示器[3]

シフトレバー (A) を適切な方向に最初に抵抗を感じる位置の先のデテント位置まで動かします。1 秒以内にシフトレバーをニュートラル位置まで戻します。これにより方向指示器が作動し、一定時間後に自動的に停止します。

点滅時間は、トラクターで牽引しているトレーラーの台数により異なります。

トラクターへの連結：	点滅時間：
トレーラー 0 台	50 m (164 ft)
トレーラー 1 台	70 m (229 ft)
トレーラー 2 台	90 m (295 ft)

シフトレバーを再度同じ方向に戻り止め位置まで動かして、1 秒以内 にニュートラル位置に戻すと、ライトの点滅が停止します。

注記： 点滅頻度の増加は、方向指示器のバルブの故障を示しています。故障したバルブをすぐに交換します。セクション 220B を参照してください。

ホーン

シフトレバー (A) をステアリングコラムに向けて押します。シフトレバー (A) を押している限りホーンが鳴ります。

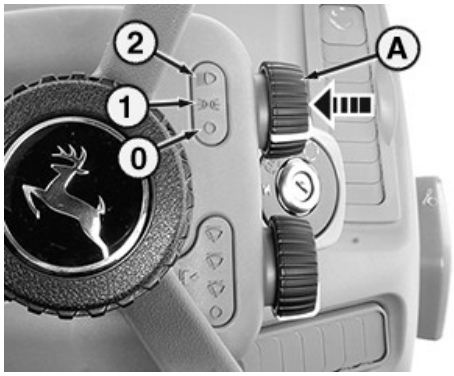
OULXA64,SP,0005690-40-09FEB21

ライトスイッチ

注意： 公道での作業灯の使用は許可されていません。

重要： エンジンを停止した場合、ライトとハイビームヘッドライトは点灯したままで、自動的に消灯しません。エンジンを長時間停止したままにする場合は、その前にロービームおよびハイビームヘッドライトを消灯させてください。

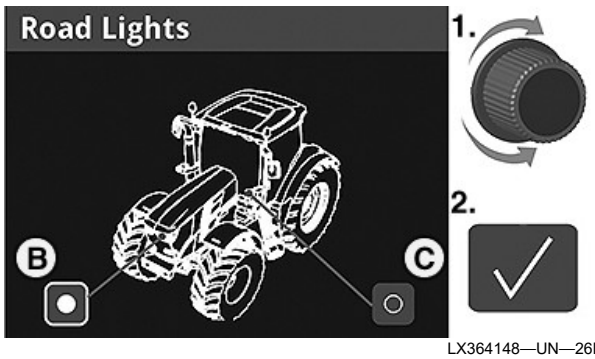
A — ライトスイッチ、位置



LX364141—UN—28NOV18

0 = 消灯
1 = パーキングランプ点灯
2 = ヘッドライト点灯 (公道)

ヘッドライトを点灯させると、現在選択しているヘッドライトのライトページが約 10 秒間表示されます。変更は、図のように直接行うことができます。



LX364148—UN—26NOV18



LX364149—UN—26NOV18

B：**フードのロー / ハイビームヘッドライト**
C：**キャブフレームのロー / ハイビームヘッドライト (オプション)**

[3] 北米以外

選択内容は保存され、ライトを OFF にした後またはトラクターを停止した後も有効なままです。

B — ハイ / ロービームヘッドライトのシフトレバー、位置：



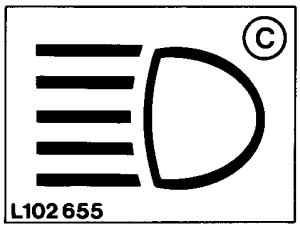
LX364140—UN—26NOV18

▲ — ヘッドライト点滅器、シフトレバーをステアリングホイールに向けて引き、放す

• — ロービームヘッドライト、シフトレバーは中心位置

▼ — ハイビームヘッドライト、シフトレバーをステアリングホイールから離れる方向に押して作動させます。

C — ハイビームヘッドライトをオンにすると、表示灯が点灯します。



L102655—UN—15AUG94

OULXA64,SP1,EU,00058C4-40-19NOV20

ヘッドライトの選択

注記： 追加ヘッドライト (ハイ / ロービームヘッドライト) をキャブフレームに取り付けることができます。

1. ボタン (A) を押します。



LX364150—UN—28NOV18

A：**ライトボタン**

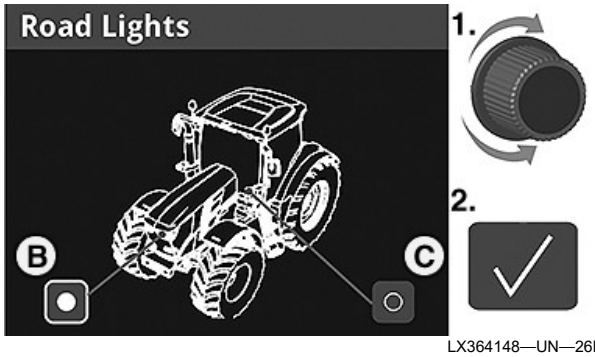
2. 表示されたページを選択して確定します。



LX364151—UN—28NOV18

ヘッドライトのライトページ

3. 現在選択しているヘッドライトのライトページが表示されます。変更は図のように行うことができます。



LX364148—UN—26NOV18



LX364149—UN—26NOV18

B：**フードのロー / ハイビームヘッドライト**
C：**キャブフレームのロー / ハイビームヘッドライト (オプション)**

選択内容は保存され、ライトを OFF にした後またはトラクターを停止した後も有効なままです。

OULXA64,SP1,EU,00058C5-40-19NOV20

作業灯の選択

注意： 公道での作業灯の使用は許可されていません。

重要： エンジンを停止した場合、作業灯は点灯し続けて自動的に消灯しません。長時間エンジンを停止する場合は、前もって作業灯を消灯してください。

作業灯のオンとオフの切り替え

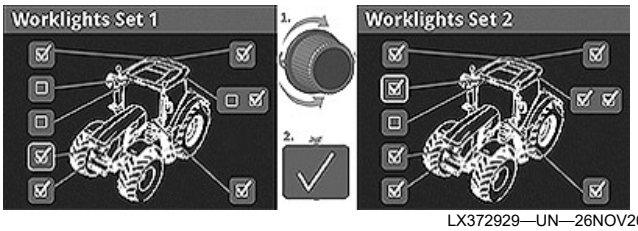
ボタン (A) または (B) を押します。



LX364152—UN—28NOV18

A：**作業灯 1 ON/OFF**
B：**作業灯 2 ON/OFF**

- 最後に使用した設定が有効になります。
- 選択したボタン (A) または (B) の表示灯が点灯します。
- 最後に使用した設定 (作業灯 1 または 2) のページが約 10 秒間表示されます。
- 変更は、図のように直接行うことができます。



LX372929—UN—26NOV20

作業灯のグループ

取り付けられているライトのみが表示されます。

選択内容は保存され、ライトを消灯させた後またはトラクターを停止した後も有効なままです。

スイッチ (A) を使用して、フロントローダーの作業灯をオンまたはオフにします。



LX364154—UN—28NOV18

作業灯のグループ

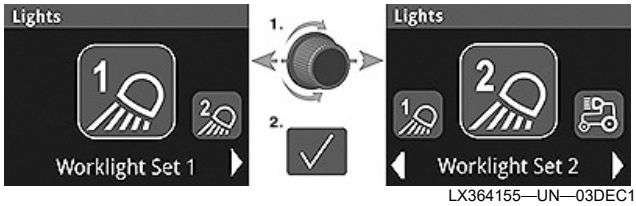
注記： ヘッドライトをオンまたはオフにして、作業灯のグループに分けることができます。

1. ボタン (A) を押します。



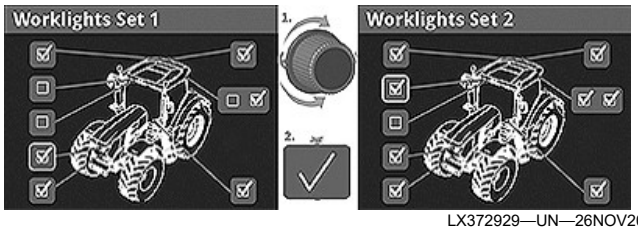
LX364150—UN—28NOV18

2. 必要なページを選択して「確定」ボタンを押します。



LX364155—UN—03DEC18

3. 必要なライトを選択します。



LX372929—UN—26NOV20

作業灯のグループ

取り付けられているライトのみが表示されます。

4. ボタン (A) を押してページを終了します。



LX364156—UN—28NOV18

ページを離れると、設定が保存されます。

注記： 作業灯を選択しなかった場合は、次回作業灯をオンにしたときに工場出荷時設定が使用されます。

OULXA64,SP,EU,0005693-40-26NOV20

ISOBUS 作業機の作業灯

注意： **公道での作業灯の使用は許可されていません。**

重要： **エンジンを停止した場合、ワークライトは点灯し続け、自動的に消灯しません。長時間エンジンを停止する場合は、前もって作業灯を消灯してください。**

注記： ISOBUS 装備のトラクターでは、ISOBUS ソケットを介して作業機のライトを制御できます。ISOBUS 作業機の取扱説明書を参照してください。

ISOBUS 作業機のライトの機能については、4 種類のユーザー設定を保存できます。ユーザー設定では、同時に点灯する作業灯をグループ分けすることができます。

ユーザー設定は、診断アドレス TEC 000031 ~ TEC 000034 を介してセットアップします。「診断トラブルコードの入力 (顧客レベル)」セクション 300B を参照してください。

ユーザー設定は、7 桁のコードで入力する必要があります。このコードは 0 と 1 で構成されます。コードの各位置は、1 つのライトまたはライトのグループを表します。

「0」は OFF を意味します。

「1」は ON を意味します。

ユーザー設定のコードの作成：

7 つの桁それぞれを「0」または「1」に置き換えます。これは、ライトをオンにするかオフにするかに応じて決まります。

サンプルコード：

_ _ _ _ _ _ 1	追加装置のワークライト、オプション 2
_ _ _ _ _ 0 _	追加装置のワークライト、オプション 1
_ _ _ _ 0 _ _	作業機の作業灯、右前
_ _ _ 1 _ _ _	作業機の作業灯、左前
_ _ 0 _ _ _ _	装置のワークライト、右横
_ 1 _ _ _ _ _	装置のワークライト、左横
1 _ _ _ _ _ _	作業機の作業灯、後

下から上の入力値を使用することで、1 1 0 1 0 0 1 を作成します。

コードをメモして対応する診断アドレスに入力します。

	スイッチの設定			
照明オプション	I	II	III	IV
診断アドレス	TEC 000031	TEC 000032	TEC 000033	TEC 000034
キースイッチの位置	オン	オン	オン	オン
ハイ/ロービームヘッドライトシフトレバー (A) の位置	ロービーム	ハイビーム	ロービーム	ハイビーム
作業灯 1 または 2 のボタン	(B)	(B)	(C)	(C)



LX364226—UN—24JAN19

ハイ/ロービームヘッドライトのシフトレバー



LX364157—UN—28NOV18

作業灯のボタン

OULXA64,SP,EU,0005694-40-21APR23

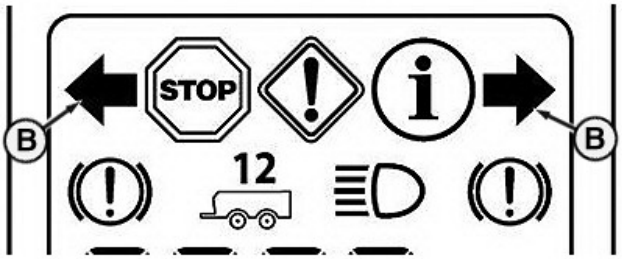
ハザードライトの点灯

トラクターが他の車両にとって危険になった場合は、ハザードライトをオンにする必要があります。

ボタン (A) を押して、ハザードライトをオンにします。



LX364143—UN—26NOV18



LX364165—UN—28NOV18

ハザードライトをオンにすると、ボタン (A) の表示灯が点灯し、両方の点滅表示灯 (B) が明滅します。

OULXA64,SP,0005696-40-24SEP20

ビーコンライト (オプション)

ビーコンライトは現地の法律で推奨される場合に使用する必要があります (極端な低速走行時、極端なトラクター幅など)。

ボタン (A) を押して、ビーコンライトを ON または OFF にします。



LX364144—UN—26NOV18

ビーコンライトをオンにすると、ボタン (A) の表示灯が点灯します。

OULXA64,SP,0005697-40-24SEP20

室内灯



LX364145—UN—28NOV18

A：**スイッチ**
B：**ライト**
C：**ライト**

スイッチ (A) の位置	ライト (C)
0	OFF
1	IN
2	ON ドア開時

パーキングランプまたはヘッドライトがオンのときは、ライト (B) がトランスミッションシフトレバーを照らします。

OULXA64,SP,0005698-40-24SEP20

乗降ステップライト



LX364146—UN—26NOV18

乗降ステップライト (A) は、トラクターが静止した場合、およびキャブドアが開いた場合のみ点灯します。

OULXA64,SP,0005699-40-24SEP20

7 ピントレーラーソケット

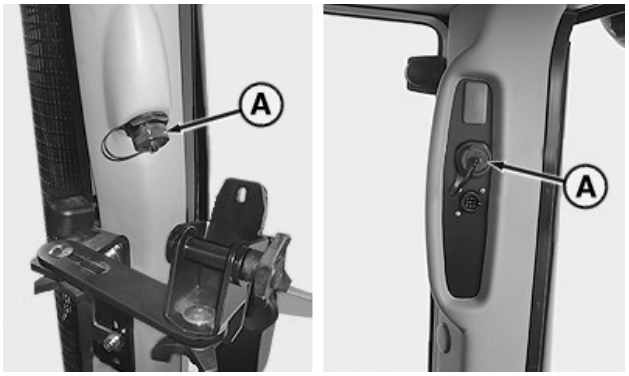
「電源コンセントソケット」(90H) を参照してください。

LX25458,ALL,0000AAA-40-05JUN20

電源コンセントメス端子

GreenStar™ ディスプレイ用メス端子

GreenStar™ ディスプレイはメス端子 (A) に接続することができます。



LX314953—UN—05JUL17

キャブフレーム、右前/右後

ピン	U	R	V
保護	10 A	10 A	アース
12 V 時の出力	120 W	120 W	—
有効	イグニッション ON	常時プラス	—

OULXA64,SP,000569A-40-24SEP20

ユニバーサルディスプレイ用イーサネットソケット (装備されている場合)

ユニバーサルディスプレイはソケット (A) に接続することができます。



LX514864—UN—23FEB22

A ポスト、右

OULXA64,SP,ALL,00060D6-40-23FEB22

3 端子電源コンセントソケットおよび電源コンセントソケットストリップ (12 V、ECE)

重要： 高電流の電装品を作動させて、複数の電源タップを使用しているときは、電源回路の最大許容電流負荷を超えないでください。車載回路に接続されているすべての電装品の負荷を合計した全負荷に注意してください。これには別のソケットを使って車載回路に接続されている電装品も含まれます。

A — 3 端子メス電源コンセント (12 V、ECE)



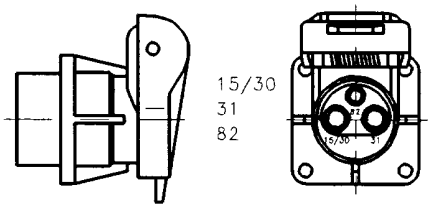
LX364170—UN—28NOV18

後部パネル、右



LX364182—UN—03DEC18

サイドコンソール、左



LX1017965

LX1017965—UN—10OCT97

3-ピン電源コンセントソケット *(12 V、ECE)*

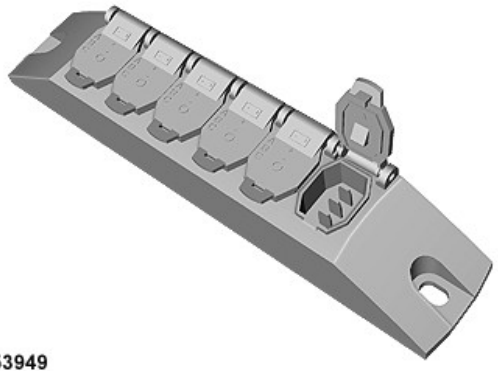
ピン	15/30	31	82
ヒューズ保護	30 A *最大連続負荷 25 A*	アース	10 A *最大連続負荷 5 A*
12 V 時の電力	*最大 300 W*	—	*最大 60 W*
有効	常時プラス	—	イグニッション ON

3 端子電源タップ (12 V、ECE)、ドアとスイッチコンソール間



LX364181—UN—03DEC18

3-ピン電源コンセントストリップ



LX1053949—UN—15JUL11

ピン	A	B	C
保護	30 A 最大連続 25 A	アース	10 A 最大連続 5 A
12 V 時の出力	最大 300 W	—	最大 60 W
有効	常時プラス	—	イグニッション ON

OULXA64,SP,EU,000569E-40-30SEP22

12 V 電源コンセントソケット/シガーライター



LX364159—UN—28NOV18

12 V 電源コンセントソケット

ピン	1	2
保護	10 A	アース
12 V 時の出力	120 W	—
有効	イグニッション ON	—

シガーライターの代わりに 12 V メス端子 (A) を装備できます。

最大負荷 = 120 W

OULXA64,SP,000569C-40-26AUG22

ISO 規格 11786 準拠の信号ソケット

7 端子信号ソケットは 10 A ヒューズで保護されています。



LX364171—UN—28NOV18

後部パネル

ピン	配線色	説明
1	赤	GPS 移動速度
2	茶	車輪回転数
3	オレンジ	リア PTO 回転速度
4	黄	作業機スイッチ*
5	—	—
6	赤	イグニッション ON 時の電源 10 A、120 W (12 V 時)

ピン	配線色	説明
7	黒	アース

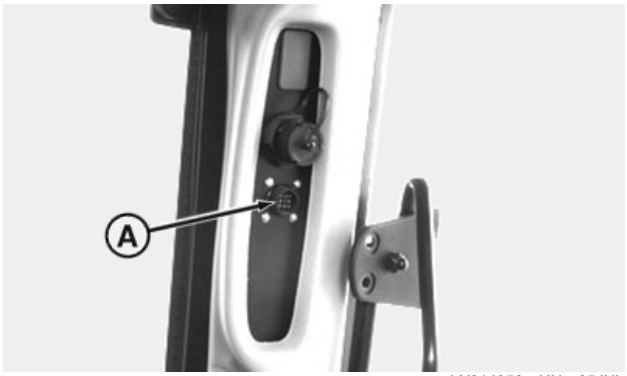
* またはヒッチの状態 (作業機が作業位置かどうか)。クエリは構成可能です。

注記： アドレス CLC 063 (信号ソケット (ピン 4) 用切替時供給出力) を使用して、ピン 4 の情報源を構成できます。 情報源には、作業機スイッチまたはリアヒッチがあります。

既定では、ここで作業機スイッチを構成します。

OULXA64,SP,EU,00056A0-40-14JUL25

キャブの ISOBUS メス端子



LX314956—UN—05JUL17

キャブフレーム、後部

(A) — ISO 規格 11783 準拠のメス端子

ピン	7	9
保護	10 A	アース
12 V 時の出力	120 W	—
有効	イグニッション ON	—

ISOBUS 作業機のジョイスティックまたはモニターをソケットにできます。

OULXA64,SP,000569D-40-24SEP20

整備用メス端子 (CAN バス)

ソケット (A) は、メンテナンスや診断**のみに**適しています。他の装置を接続しないでください。



LX364160—UN—28NOV18

ピン	A	B
ヒューズ保護	アース	10 A
12 V 時の電力	—	120 W
有効	—	常時プラス

OULXA64,SP,00056A1-40-24SEP20

ラジオ A - メモリストレージとマルチメディア機器の接続

重要： この USB ポートは、オーディオデータの送信にのみ適しています。他の装置を接続しないでください。



LX364172—UN—03DEC18

A - オーディオデータ送信用 USB インターフェース。

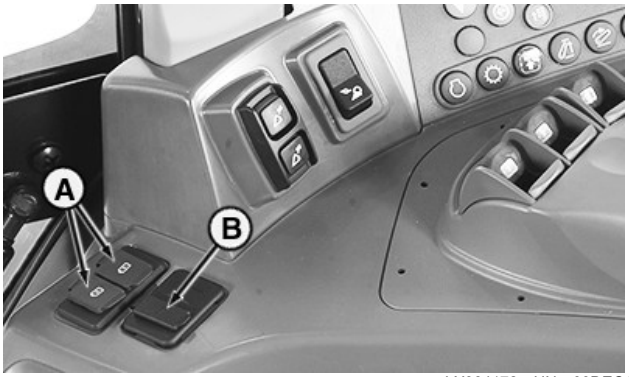
B - 外部音源用 AUX ポート (3.5 mm ステレオジャック)

詳しくは、ラジオのマニュアルを参照してください。

OULXA64,SP,0005E22-40-15JAN24

ラジオ B - メモリストレージとマルチメディア機器の接続

重要： この USB ポートは、スマートフォンなどの充電にのみ適しています。他の装置を接続しないでください。



LX364172—UN—03DEC18

A - USB 充電ソケット、各充電ソケット 2.4 A/12 W
イグニッション ON 時に有効

B - オーディオ信号送信用 3.5 mm ステレオジャック

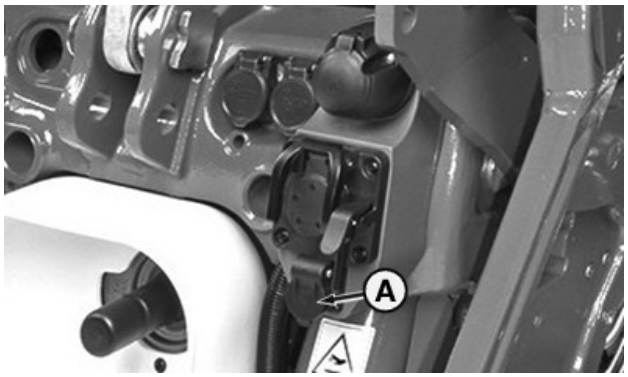
詳しくは、ラジオのマニュアルを参照してください。

OULXA64,SP,000569B-40-15JAN24

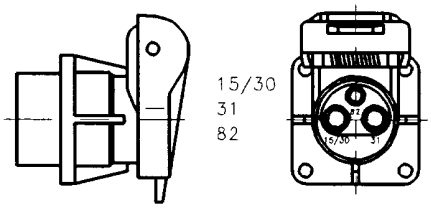
3 端子メス電源コンセント (12 V、ECE)、フロントヒッチ

重要： 高電流の電装品を作動させて、複数の電源タップを使用しているときは、電源回路の最大許容電流負荷を超えないでください。車載回路に接続されているすべての電装品の負荷を合計した全負荷に注意してください。これには別のソケットを使って車載回路に接続されている電装品も含まれます。

A — 3 端子メス電源コンセント (12 V、ECE)



LX364230—UN—28JAN19



LX1017965

LX1017965—UN—10OCT97

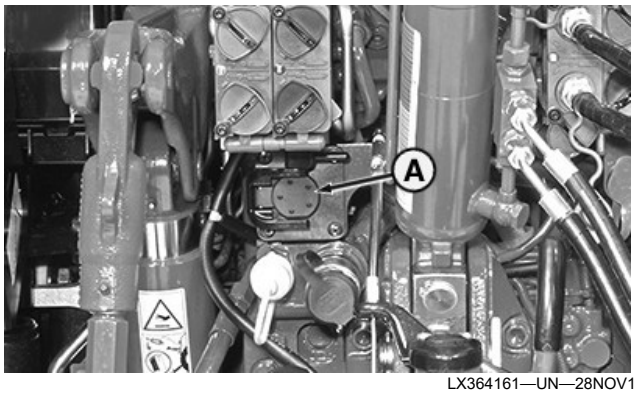
3-ピン電源コンセントソケット *(12 V、ECE)*

ピン	15/30	31	82
ヒューズ保護	30 A *最大連続負荷 25 A*	アース	10 A *最大連続負荷 5 A*
12 V 時の電力	*最大 300 W*	—	*最大 60 W*
有効	常時プラス	—	イグニッション ON

OULXA64,SP,EU,000569F-40-26AUG22

ISOBUS メス端子 (ISB)、リアヒッチ

重要： 高電流の電気機器を作動させているときは、電源回路の最大許容電流負荷を超過しないでください。車載回路に接続されているすべての電装品の負荷を合計した全負荷に注意してください。これには別のソケットを使って車載回路に接続されている電装品も含まれます。



LX364161—UN—28NOV18

ピン	1	2	3	4
保護	アース	アース	60 A	30 A
12 V 時の出力	—	—	720 W	360 W
有効	—	—	イグニッション ON	イグニッション ON

ISO 規格 11783 に適合する作業機は、ソケット (A) に接続できます。

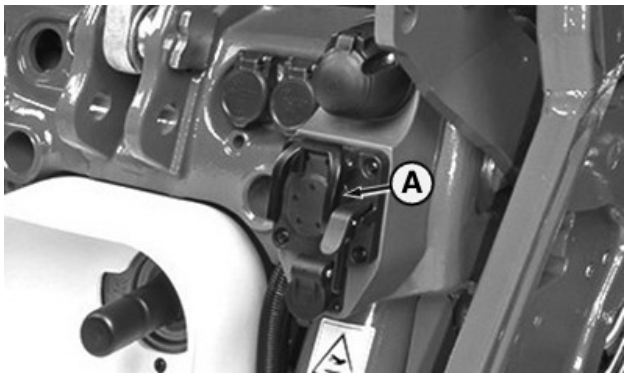
使用する前に作業機メーカー提供の取扱説明書を読み、取扱説明書および作業機上に示されている安全上の注意事項をすべて守ってください。

注記： ISOBUS 作業機のヘッドライトと作業灯は、ISOBUS メス端子を介して制御できます。詳しくは、「ライト - ISOBUS 作業機の作業灯」(セクション 90G) および ISOBUS 作業機の取扱説明書を参照してください。

OULXA64,SP,00056A2-40-02MAY23

ISOBUS メス端子 (ISB)、フロントヒッチ (一部のモデルには装備されていません)

重要： 高電流の電気機器を作動させているときは、電源回路の最大許容電流負荷を超過しないでください。車載回路に接続されているすべての電装品の負荷を合計した全負荷に注意してください。これには別のソケットを使って車載回路に接続されている電装品も含まれます。



LX364231—UN—28JAN19

ピン	1	2	3	4
保護	アース	アース	60 A	30 A
12 V 時の出力	—	—	720 W	360 W
有効	—	—	イグニッション ON	イグニッション ON

ISO 規格 11783 に適合する作業機は、ソケット (A) に接続できます。

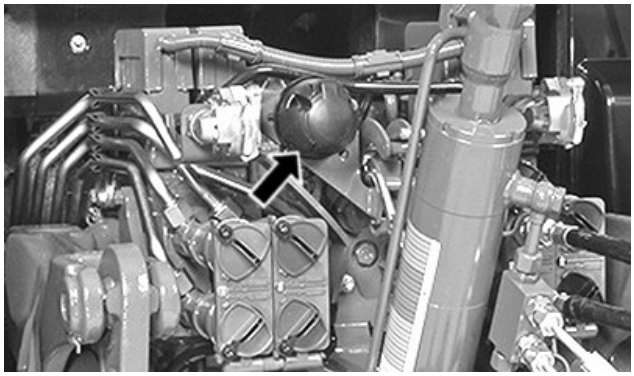
使用する前に作業機メーカー提供の取扱説明書を読み、取扱説明書および作業機上に示されている安全上の注意事項をすべて守ってください。

注記： ISOBUS 作業機のヘッドライトと作業灯は、ISOBUS メス端子を介して制御できます。詳しくは、「ライト - ISOBUS 作業機の作業灯」(セクション 90G) および ISOBUS 作業機の取扱説明書を参照してください。

OULXA64,SP,EU,00056A3-40-28MAR23

7 ピントレーラーソケット、リアヒッチ

トレーラーライトはトレーラーソケットを介して制御されます。



LX364147—UN—28NOV18

ピン	31	54
保護	アース	15 A
12 V 時の出力	—	180 W
アクティブなライセンス	—	イグニッション ON

トラクターの後部ライトが作業機によって見えにくい場合は、作業機用の追加のライトをトレーラーソケットに接続します。

イグニッションを OFF にしている場合のみ、コネクタの接続/解除を実行してください。

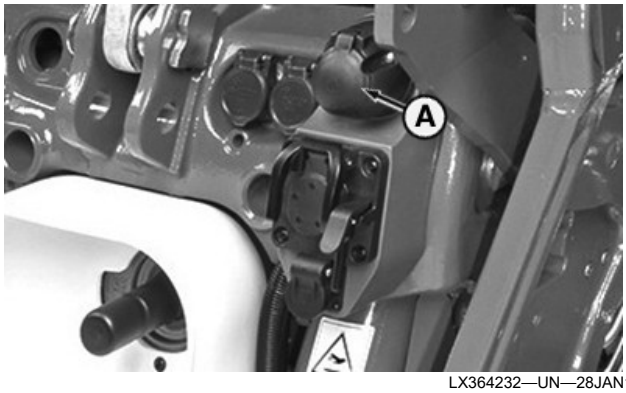
注記： 適切なコネクタは通常の予備部品チャンネルを通じて入手できます。

注記： ISOBUS 作業機のヘッドライトと作業灯は、ISOBUS メス端子を介して制御できます。詳しくは、「ライト - ISOBUS 作業機の作業灯」(セクション 90G) および ISOBUS 作業機の取扱説明書を参照してください。

OULXA64,SP,EU,00056A4-40-15JUL25

7 端子トレーラーソケット、フロントヒッチ

トレーラーのライトはトレーラーソケットを介して制御されます。



LX364232—UN—28JAN19

トラクターの後部ライトが作業機によって見えにくい場合は、作業機用の追加のライトをトレーラーソケットに接続します。

イグニッションを OFF にしている場合のみ、コネクタの接続/解除を実行してください。

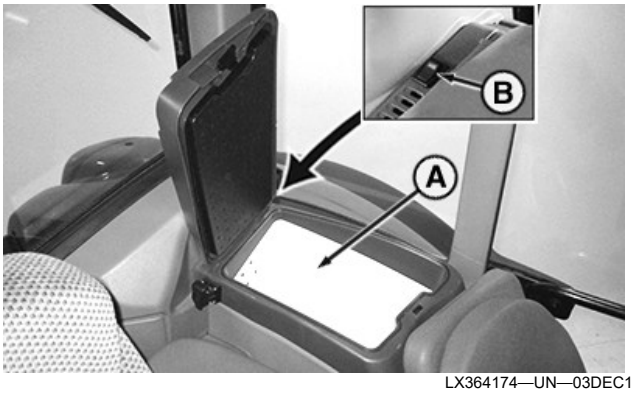
注記： 適切なコネクタは通常の予備部品チャンネルを通じて入手できます。

注記： ISOBUS 作業機のヘッドライトと作業灯は、ISOBUS メス端子を介して制御できます。詳しくは、「ライト - ISOBUS 作業機の作業灯」(セクション 90G) および ISOBUS 作業機の取扱説明書を参照してください。

OULXA64,SP,EU,00056A5-40-15JUL25

保管トレイ

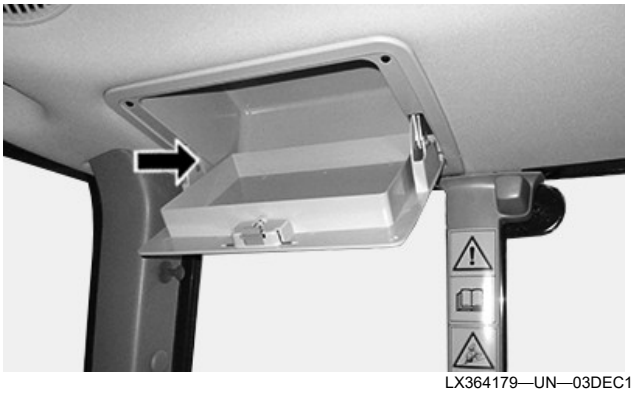
冷蔵庫を保管トレイ (A) に組み込むことができます。スイッチ (B) で冷蔵ボックスのオンとオフを切り替えます。



LX364174—UN—03DEC18

冷蔵庫のある保管トレイ、左コンソール

このトラクターはキャブルーフに収納ボックスを装備できます。



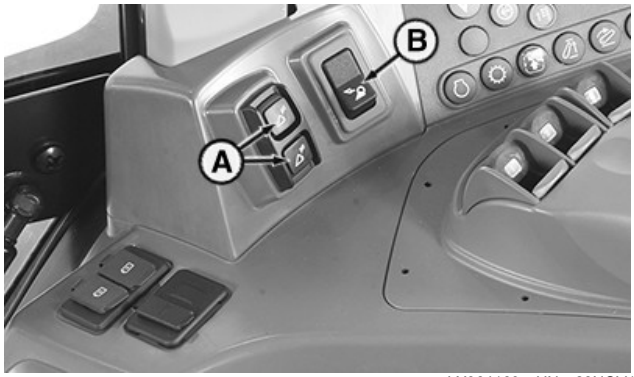
LX364179—UN—03DEC18

収納ボックスには救急箱を入れておくことができます。

OULXA64,SP,00056A6-40-24SEP20

フロントローダーの油圧クイックリリースと作業灯のコントロール (装備されている場合)

注意： **公道での作業灯の使用は許可されていません。**



LX364169—UN—28NOV18

A：**急速油圧解除のボタン**
B：**作業灯スイッチ**

フロントローダーの作業機を変更するときにロックおよびロック解除するには、ボタン (A) を押します。

注記： 詳しくは、フロントローダーの取扱説明書を参照してください。

作業灯を ON にしたら、スイッチ (B) でフロントローダーの作業灯を ON および OFF にすることができます。「作業灯の選択」(セクション 90G) も参照してください。

OULXA64,SP,00056A7-40-26APR23

バックアップアラームのオンとオフの切り替え (オプション装置)

1. トランスミッションボタン (A) を押します。



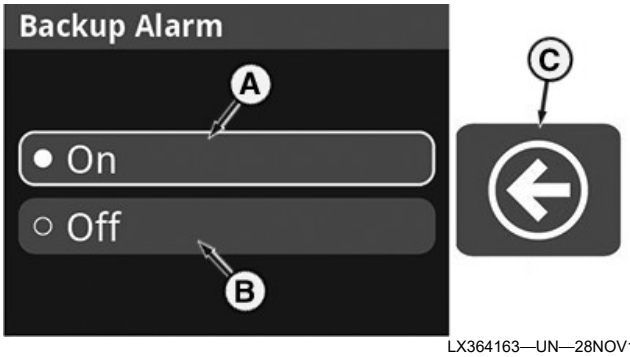
LX364164—UN—29NOV18

2. 表示されたページを選択して確定します。



LX364162—UN—28NOV18

3. アラートの「ON」または「OFF」を選択します。



LX364163—UN—28NOV18

A：**アラート ON**
B：**アラート OFF**
C：**戻るボタン**

4. ボタン (C) を押してページを終了します。

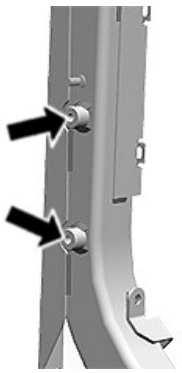
   変更は自動的に適用されます。

OULXA64,00056A8-40-24SEP20

追加モニターの取り付け

ほとんどの場合、キャブポストには追加の装置の取り付けに使用できるねじ穴やブッシングが備えられています。

トリムパネルを取り外して取り付け点を確認します。例を参照してください。



LX372948—UN—21APR21

例

トリムパネルの後側にはマークが付いていて、該当する穴をあける必要があります。マークが見つからない場合は、穴パターンを測定してトリムパネルに転記します。

重要：**モニターのマニュアルを参照するか、計器を制御してください。**

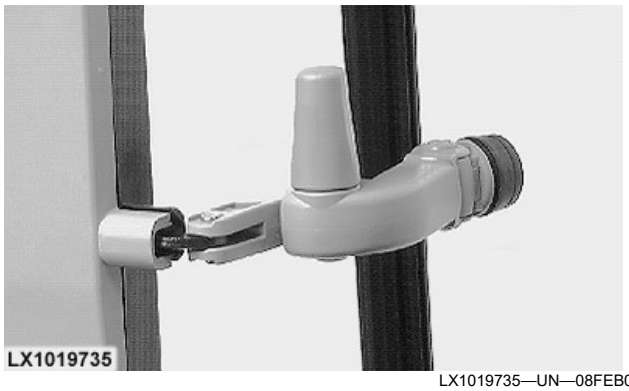
OULXA64,All,00056A9-40-20APR21

リアウィンドウとサイドウィンドウを開く

重要：**リアワイパーがホーム位置に戻ったことを確認するまでは、絶対にリアウィンドウを全開にしないでください。**

リアウィンドウワイパー/ウォッシャーステムは、リアウィンドウを閉じないと作動しません。

サイドウィンドウとリアウィンドウを開けて換気を行うことができます。



LX1019735—UN—08FEB00

サイドウィンドウ



LX1056678—UN—19JUL12

リアウィンドウ

OULXA64,SP,00056AA-40-24SEP20

リアウィンドウ - ケーブルガイド

ケーブルダクト 2 個がリアウィンドウにあります (矢印参照)。



LX1056646—UN—19JUL12

1. リアウィンドウを開きます。
2. ゴムプラグを取り外して、用意されている切れ目で分離します。

3.ケーブルを配置します。
4.ゴムプラグとケーブルを挿入して、リアウィンドウを閉めます。

OULXA64,SP,00056AB-40-24SEP20

ルーフハッチ (装備されている場合)

ハンドル (A) でルーフハッチを開閉します。

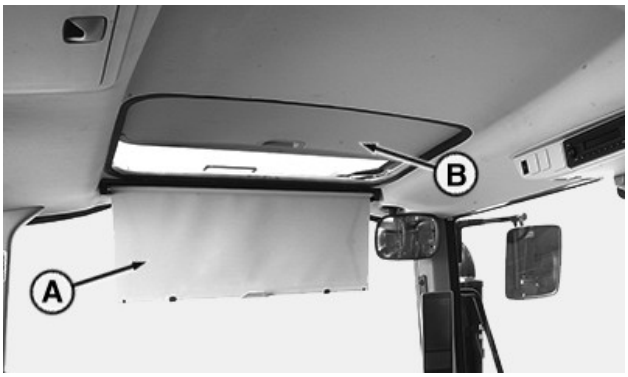


LX266854—UN—20JUL16

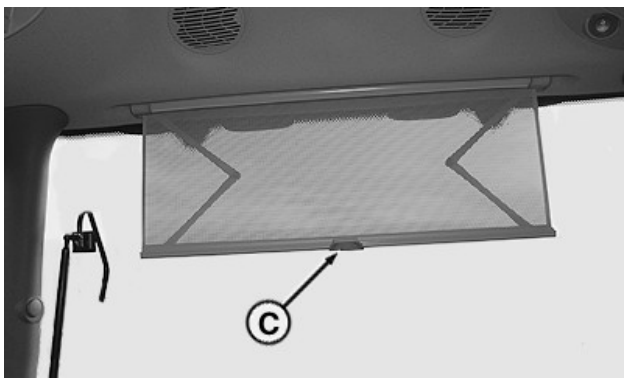
OULXA64,SP,00056AC-40-24SEP20

引き下げ式サンシェード

必要に応じて、引き下げ式サンシェードを使用して直射日光を遮断することができます。



LX364178—UN—03DEC18



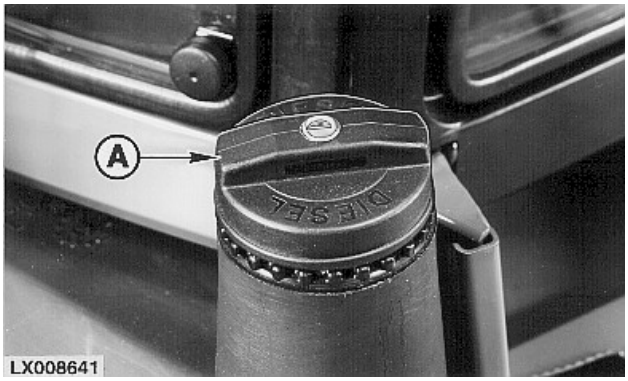
LX266903—UN—20JUL16

A：引き下げ式サンシェード (フロントガラス)
B：引き下げ式サンシェード (パノラマルーフ)
C：引き下げ式サンシェード (リアウィンドウ)

OULXA64,SP,00056AD-40-24SEP20

ロック可能なタンクフィラーキャップ

トラクターにロック可能なタンクフィラーキャップ (A) を装備できます。



LX008641—UN—15AUG94

OULXA64,ALL,00056AE-40-24SEP20

バラスト方法

シングルタイヤ装着のトラクターに対するバラスト情報とガイドライン

基本的なバラストの定義

バラストとは次の目的のためにトラクターのシャーシとホイールの一方または両方に取り付ける質量です。

• **総重量**を増加させる。

• フロント車軸とリア車軸間の重量分布 (静的バランス) を管理する。静的とは、トラクターが駐車しているときにフロントとリア車軸の荷重が決まることを意味します。

フロントとリア車軸間の静的重量分布は、**重量配分**とも呼ばれます。これは、トラクターの静的重量がフロント車軸とリア車軸で支えられている割合で表されます。たとえば、フロント車軸がトラクターの静的総重量の 40% を支えている場合、このトラクターは 40/60 の重量配分があるといいます。この形式では、フロント車軸重量の割合が常に最初に書かれます。

ある種の作業機 (被牽引型、一体型、半一体型) に対してバラストにより**適切にバラストが設定されている**トラクターは、その種の作業機に対して正しい**総重量**と**静的バランス**の両方を備えています。

主な考慮点

バラストの**量**と、特にバラストの**位置**は、使用する装置のタイプと動作速度に大きく左右されます。

バラストは次の目的で必要となります。

1. 圃場で牽引負荷がかかっているときおよび圃場や道路での輸送でステアリング操作性と安定性を得るために、フロントアクスルが適切な重量を支持するようにする。

2 . 大きな牽引負荷を効率的に引くように十分な牽引力を生み出す。

3. 前輪駆動接続時のトラクターで「パワーホップ」(高負荷時の制御不能なリズミカルなバウンス) の発生を最小限度に抑える前後バランスを実現する。

4. トラクターのフロントにローダーやフロント作業機が取り付けられたときに、牽引力、ブレーキ力、安定性が得られるよう十分な重量がリアアクスルで支持されるようにする。

作業機を別の作業機に取り換えるときは、トラクターのバラストの再配分が必要になることがあります。

100,01,All,LX25458,0000AAF-40-13FEB24

エンジンの馬力に基づくトラクター重量の一般的ガイドライン (UN ECE R120、測定単位に PS を使用)

圃場での牽引用途でホイール経由で効率的に動力を地面に伝達するために必要なトラクターの総重量は走行速度によって異なります。基本的なガイドラインとして、表はエンジン馬力 (PS)[1] 当たりの推奨重量を、大きな牽引力の複数のドラフト速度レンジと速度しきい値に対して示しています。

		重	中	ライト
走行速度	km/h	≤ 7.2	7.2 ~ 8.7	≥ 8.7
	mph	≤ 4.5	4.5 ~ 5.4	≥ 5.4
車両重量 / 馬力 (PS)[a] (UN ECE R120)	kg	56	50	46
	lb	125	110	100

指示走行速度

[a]変換係数： 1 PS (メートル法) = 0.7355 kW

これらの圃場速度では、最適な動力伝達には空転は通常 8 ~ 12% の範囲が適切です。トラクターが圃場で高い牽引力を必要とするときは、車輪の滑り率がこの範囲を一時的に超えることが可能ですが、連続的にこの範囲に留まらないようにしてください。

注記： 空転の連続的モニターにはレーダーの使用を推奨します。空転を手動で確認することは可能ですが、連続的な空転は示されません。

重要： **ドライブトレインの寿命を延ばすため、トラクターは、前輪駆動を接続している場合、連続全出力負荷時に 6.6 km/h (4.1 mph) 未満の速度で絶対に運転しないでください。また、前輪駆動なしのトラクターは 7.0 km/h (4.3 mph) 未満で絶対に運転しないでください。特殊な用途に最適化されている一部のトラクターモデルは速度しきい値が異なる可能性があります (固有の値については、表を参照してください)。過大な牽引状況で走行速度がこのレベルを一時的に下回ることは可能ですが、通常の運転中は高いレベルに復帰する必要があります。これはあらゆるタイプのトランスミッションを搭載したトラクターに当てはまります。自動モードで運転している AutoPowr/IVT トランスミッションを搭載したトラクターの場合、エンジンは高牽引力状況にさらされませんが、最小走行速度のガイドラインに従う必要があります。**

表に示す速度しきい値は、用途に合わせてトラクター重量を最適化する追加の手段として使用できます。これらのしきい値未満の速度で、かつ重牽引条件で空転が増加し、エンジンがストールしない場合、トラクターは正しくバラストされています。

		前輪駆動車軸付きトラクター	前輪駆動車軸なしのトラクター
車両重量 / 馬力 (PS)[a] (UN ECE R120)	kg	56	56
	lb	125	125
重牽引用の低い速度しきい値	km/h	6.6	7.0

[1] 変換係数： 1 PS (メートル法) = 0.7355 kW

		前輪駆動車軸付きトラクター	前輪駆動車軸なしのトラクター
	mph	4.1	4.3

車両タイプによっては、過大な牽引での走行速度しきい値を下げてください

[a]*変換係数： 1 PS (メートル法) = 0.7355 kW*

100,02,All,LX25458,0000AB0-40-14JAN25

ウエイトの選択

注意： 前後のウエイトを選択するときは、許容車軸重量、および作業機を含む許容総重量を超過しないようにしてください。

ウエイトの取り付けと使用可能最大個数については、現地の法規制に従ってください。操舵性を維持するため、空車時の質量の 20% 以上をフロントアクスルに加える必要があります。空車質量とは、特殊装置、作業機、トレーラー、バラストを含めず、ただし作動油と潤滑剤、満タンの燃料タンク、オペレータ (体重 75 kg) を含めたトラクターの質量です。

注意： ウエイトを取り扱うときは適切な吊上げ用具 / ホイストを使用してください。

重要： 常に重いバラストウエイトを搭載してトラクターを連続運転する場合は、始動前にトーインを点検する必要があります。

トラクターの安全と性能は、フロントアクスル (フロントウエイト) とリアアクスル (ホイールウエイト、液体バラスト充填タイヤの使用、ピックアップウエイト) の適切なバラストに左右されます。

100,03,All,LX25458,0000AB1-40-13FEB24

後輪にかかる荷重

後輪にかかる荷重を検討するときは、トラクターで作業を行うときに約 10-15% の空転が残っていることに注意してください。これは最大牽引力を得られる範囲です。

ただし、後輪にかかる荷重は、走行速度 7 km/h (4.3 mph) で、エンジンが定格速度および全能力で運転されている場合にのみ十分大きい必要があります。過負荷の可能性がある場合、または 7 km/h (4.3 mph) よりも低い走行速度でエンジンがストールする可能性がある場合は、後輪にかかっている荷重が高すぎます。

バラストが少なすぎる場合：

- 過度の滑りとその結果による牽引力の減少
- タイヤ摩耗の増加
- 燃料使用量大

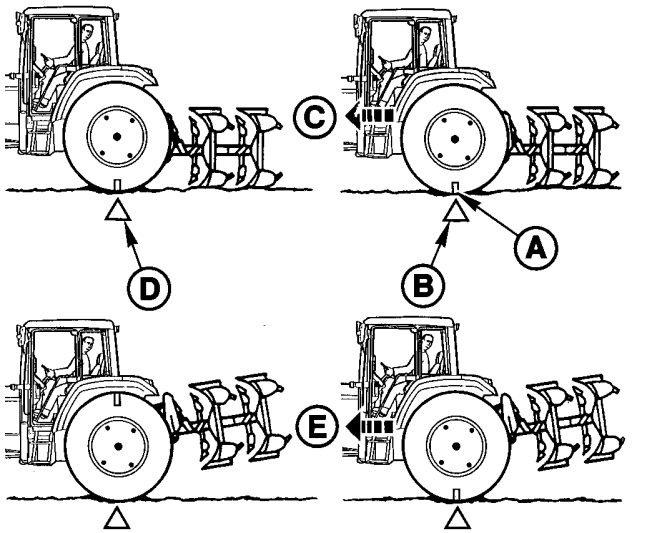
バラストが多すぎる場合：

- 転がり抵抗の増加とその結果による牽引力の減少
- タイヤとトランスミッションの負荷が高すぎる
- 土の締固め
- 燃料使用量大

注記： ホイールあたりのリアホイールウエイトは 3 個までにしてください。さらに、最大許容トラクター幅に関する法規定を順守する必要があります。

100,04,All,LX25458,0000AB2-40-13FEB24

後輪の空転の測定



LX000402—UN—15AUG94

1. タイヤ (A) にマークを付けます。
2. スタート地点の地面 (B) にマークを付けます。
3. 作業機を下げた状態で、後輪が 10 回転 (C) するまで走行します。
4. 地点 (D) にマーカーを置きます。
5. 作業機を上げた状態で地面のマーク間の距離を再度走行し、後輪の回転数 (E) をカウントします。

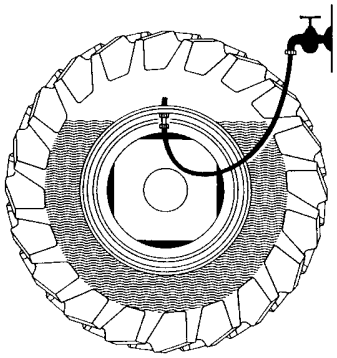
回転数によって次の車輪の滑りがわかります。

- 10.0 回転 = 0% の空転
- 9.5 回転 = 5% の空転
- 9.0 回転 = 10% の空転
- 8.5 回転 = 15% の空転
- 8.0 回転 = 20% の空転
- 7.5 回転 = 25% の空転
- 7.0 回転 = 30% の空転

注記： GPS またはレーダーセンサー装備のトラクターでは、ディスプレイのスリップインジケーターを使用できます (装備されている場合)。レーダーセンサーのキャリブレーションに従う必要があります。

100,05,All,LX25458,0000AB3-40-13FEB24

タイヤへの水の注入



LX009450

LX009450—UN—03JAN95

タイヤに水を注入するには、ホイールをジャッキアップして回転させ、チューブバルブが上になるようにします。バルブインサートの代わりに、ウォーターバルブをバルブステムにねじ込みます。水が流れ込んでいる間、ウォターバルブの横の開口部から空気が抜けます。この開口部から水が流れ出したら、注入を止めます。タイヤサイズに応じて、これには 10～30 分かかります。その後、ウォーターバルブをバルブインサートと交換し、通常の空気圧までタイヤを膨らませます。タイヤに注入可能な容量はタイヤサイズとメーカーによって異なります。必要に応じて、John Deere 販売店、その他の整備工場、またはタイヤメーカーにお問い合わせください。

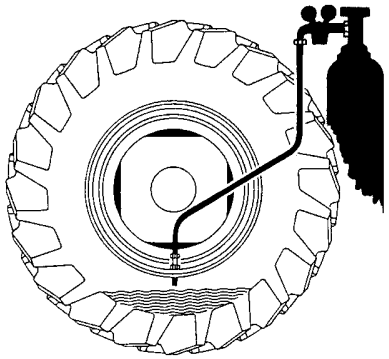
凍結のおそれがある場合は、不凍液を足してください。タイヤメーカーにより水と塩化カルシウムの溶液が推奨されています。

不凍液は高い位置に置いた容器から吸引によって入れます。迅速に行うにはポンプを使用します (後できれいな水でポンプをすすぎます)。-25° C (-13° F) まで有効な不凍液を 100 l (26.4 US gal) 作るには、34 kg (75 lb) 塩化カルシウムを 86 l (22.7 US gal) の水に溶かします。この溶剤によって重量が 120 kg (269 lb) 増えます。塩化カルシウムを水に加えます。逆ではないことに注意してください。ラジエータにはこの不凍液を注入しないでください。

注記： 50 km/h (31 mph) トランスミッションのトラクターでは、タイヤに液体バラストを充填することは推奨されません。

100,06,All,LX25458,0000AB4-40-16JUL25

タイヤからの抜き取り



LX009451

LX009451—UN—03JAN95

ホイールをジャッキアップします。バルブインサートを取り外した後、水が流れ出るままにします。

タイヤの残りの水を排出させるために、ホースエクステンションを注入バルブに取り付けてポンプで空気をタイヤに入れます。空気圧によって残りの水がタイヤから押し出されます。

100,07,All,LX25458,0000AB5-40-13FEB24

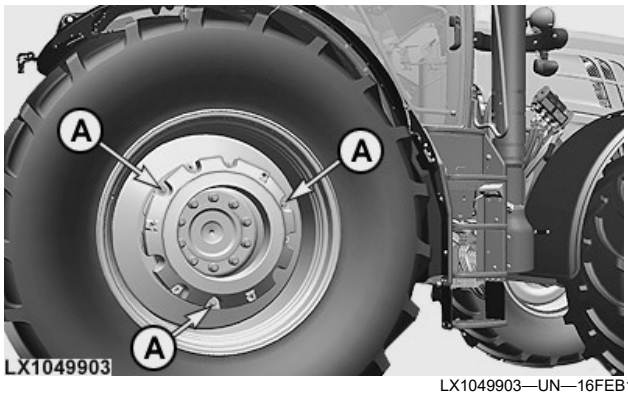
ホイールウエイトの安全な交換 (タイプ A)

注意： ホイールウエイトの取り付けは、John Deere 販売店またはその他の整備工場に依頼してください。不適切な取り扱いによりけがをするおそれがあります。

重要： 運転を開始してから 3 時間後、および 10 時間後に基本ウエイトの取り付けねじを締め直してください。

その後はホイールボルトと同じ間隔で取り付けねじを点検してください。

取り付けねじ (A)、ホイールウエイトとホイールディスク間



LX1049903—UN—16FEB11

直径 *655 mm (25.8 in)* のホイールウエイト

A：**取り付けねじ**

ハードウェアトルク、ホイールウエイトとホイールディスク間	
取り付けねじ、M16	310 N·m (230 lb·ft)
取り付けねじ、M20	610 N·m (450 lb·ft)

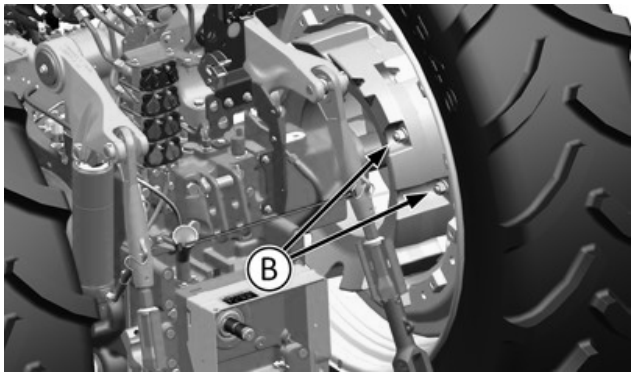
ラックアンドピニオン車軸付き鋳鉄製後輪の内側ホイールウエイトのあるトラクター専用

以下のトラクターにのみ適用：			
MX フレームバージョン	—	—	6R 110 6R 120 6R 130 6R 140 6R 150
MR フレームバージョン	6175M 6195M 6210M	6M 175 6M 180 6M 195 6M 200 6M 220 6M 240	6R 175 6R 195 6R 215
MT フレームバージョン	—	6M 230 6M 250	6R 230 6R 250

重要： 内側ホイールウエイトを取り付ける場合は、2.1 m (82.7 in) の最小トレッド幅を順守する必要があります。

内側のホイールウエイトとトラクター部品間の最小距離が 25 mm (1 in) である限り、トレッド幅をより狭くすることが可能です。トラック幅を設定する際は、これらの隙間を確認する必要があります。

取り付けねじ (B)、ホイールウエイトと鋳鉄ディスク間。



LX514877—UN—30JUN22

内側ホイールウエイトと鋳鉄ディスク間

B：**取り付けねじ、M20**

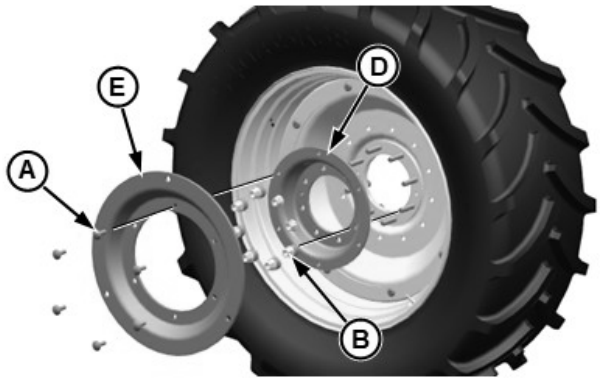
ハードウェアトルク、ホイールウエイトと鋳鉄ディスク間	
取り付けねじ、M20	610 N·m (450 lb·ft)

ホイールウエイトのオプション取り付けバージョン

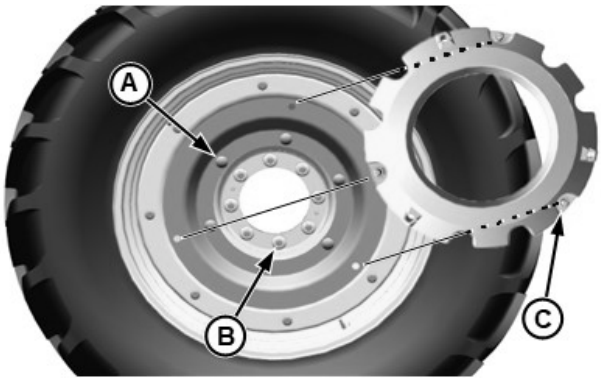
ホイールディスクに鋳鋼製取り付けリングを取り付ける穴がない場合は、鋼板 2 枚 (D) と (E)、長いホイールねじ (B) をホイールフランジに組み付けます。次に、取り付けリング (ベースウエイト) を鋼板 (D) と (E) に取り付けます。この後、ホイールウエイトを通常通り取り付けることができます。ホイールねじ (B) の締め付けトルクは変わらないことに注意し、セクション 80C で指定されているトルクで締め付けてください。

金具

A	M16 ねじ (スチールディスクに 6 本、鋳造ディスク付きラックアンドピニオン車軸に 3 本使用)
B	ホイールねじ、鋼板とホイールフランジ間。
C	M20 ねじ、バラストウエイト、ウエイト取り付けリング (タイプ A)。
D	ホイールフランジに取り付ける鋼板 (ラックアンドピニオン車軸を装備している場合はありません)。
E	プレート (D) に取り付けた鋼板 (ラックアンドピニオン車軸が装備されている場合は鋳鉄ディスクに直接取り付け)。



LX680538—UN—10JUL25



LX680537—UN—09JUL25

ホイールウエイトのオプションの組み立て

A：**M16 ねじ、200 N·m (148 lb·ft)**
B：**締め付けトルク (セクション 80C 参照)**
C：**M20 ねじ、610 N·m (450 lb·ft)**

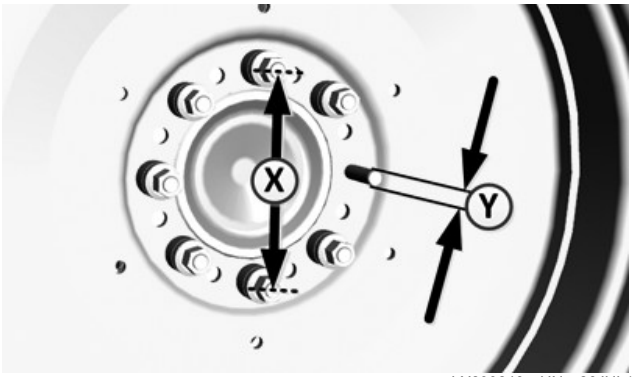
100,11,ALL,OULXA64,000598A-40-10JUL25

ホイールウエイトの安全な交換 (タイプ B)

注意： ホイールウエイトの取り付けは、John Deere 販売店またはその他の整備工場に依頼してください。不適切な取り扱いによりけがをするおそれがあります。

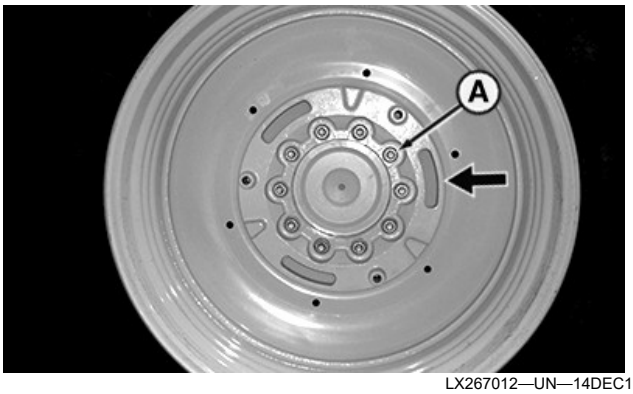
重要： ハードウェアトルクは、ボルト中心径 (X) とねじサイズ (Y) に応じて決まります。

表でトルクを確認してください。



LX299248—UN—26JUL17

取り付けねじ (A)、基本ウエイトとホイール間



LX267012—UN—14DEC16

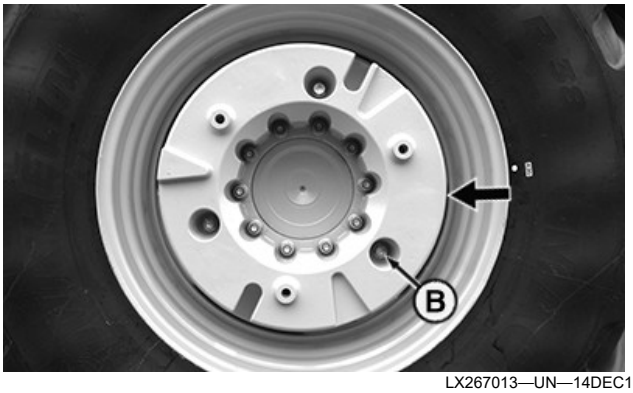
直径 *(∅) 335 mm* 位置のベースウエイト

ハードウェアトルク、基本ウエイトとホイール間	
∅ 335 mm、M22 x 1.5	600 N·m (445 lb·ft)
∅ 275 mm、M20 x 1.5	500 N·m (370 lb·ft)
∅ 203 mm、M20 x 1.5	500 N·m (370 lb·ft)

重要： 運転を開始してから 3 時間後、および 10 時間後に基本ウエイトの取り付けねじ (A) を締め直してください。

その後はホイールボルトと同じ間隔で取り付けねじ (A) を点検してください。

取り付けねじ (B)、ホイールウエイトと基本ウエイト / ホイールウエイト間



LX267013—UN—14DEC16

直径 *(∅) 335 mm* のホイールウエイト

ハードウェアトルク、ホイールウエイト	
∅ 335 mm、M20 x 1.5	500 N·m (370 lb·ft)
∅ 275 mm、M20 x 1.5	500 N·m (370 lb·ft)
∅ 203 mm、M20 x 1.5	500 N·m (370 lb·ft)

重要： **その後、100 運転時間後に 1 回取り付けねじをホイールウエイトごとに点検します。**

100,12,All,LX25458,0000AB6-40-10JUL25

3 点ヒッチのウエイト

注記： 運転中は、可能な限り地上高が多くなるように 3 点ヒッチを上昇させてください。

注意： **トラクターを駐車するときは、必ずピックアップウエイトを地面まで下げてください。**

重要： **常にトラクターのバランス / バラストが適切であることを確認してください。**

重要： **ピックアップウエイト前部にある牽引用のヒッチジョーを負荷の牽引のために絶対に使用しないでください。**

100,20,All,LX25458,0000AB7-40-13FEB24

前部ヒッチへのピックアップウエイトの取り付け

注意： **センターリンクに接続するまではピックアップウエイトを上昇させないでください。**

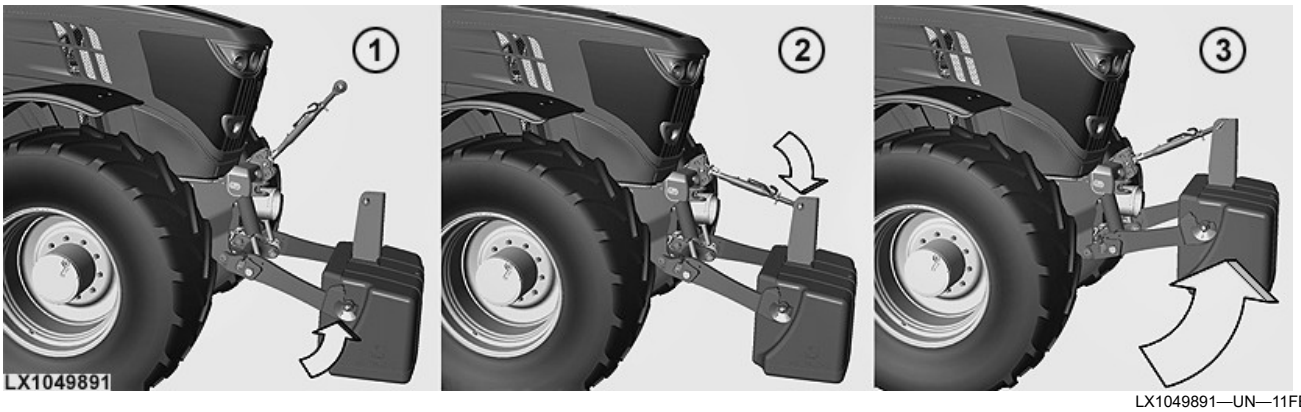
注意： **トラクターの後部に適切なカウンターウエイトがない場合は、フロント側バラストを使用しないでください。**

注意： **後部に作業機を取り付けない場合は、圃場までの運転前にリアヒッチにピックアップウエイトを取り付けてください。**

注意： **バラストが不適切な場合は、操縦特性に悪影響があります。**

重要： **許容車軸荷重、およびタイヤとホイールリムの耐荷重を守ってください。**

ピックアップウエイト上昇時の危険な揺れを防止するため、次の取り付け手順に従ってください。

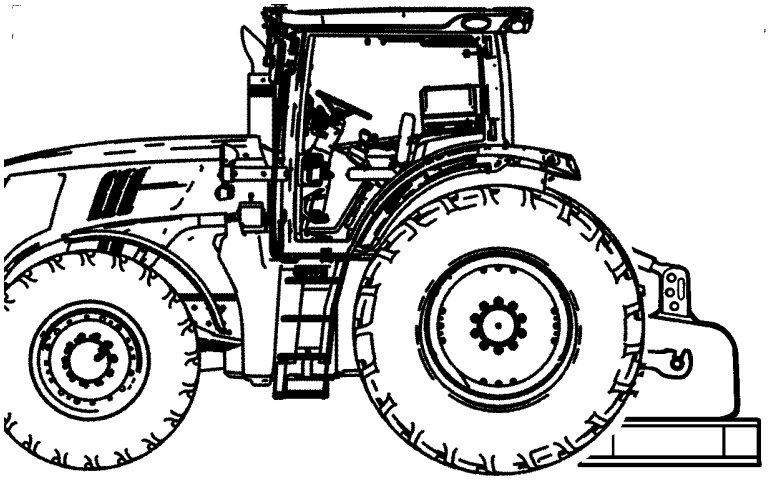


LX1049891—UN—11FEB11

1. ピックアップウエイトをドラフトリンクに連結します。ただし、この段階ではウエイトを上昇させません。
2. センターリンクを調整し、ピックアップウエイトに連結します。
3. ピックアップウエイトをできるだけ高く上昇させます。
4. ピックアップウエイトの取り外しは取り付け手順の逆順で行います。

100,21,All,OULXA64,00056AF-40-13FEB24

リアヒッチへのピックアップウエイトの取り付け



LX1046222—UN—13JUL11

注意： センターリンクに接続するまではピックアップウエイトを上昇させないでください。

注意： ドラフトリンクのフックが適切に閉じていることを確認してください。

注意： ロックピンをすべて取り付けます。

注意： トラクターの前端に十分な重量 (フロントローダーなど) がないと、操舵に悪影響を与える場合があります。

重要： 許容リアアクスル荷重、およびタイヤとホイールリムの耐荷重を守ってください。

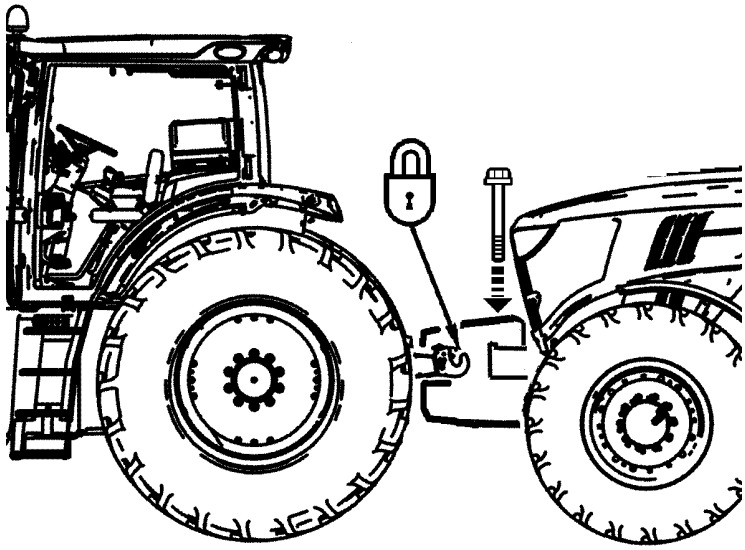
1. 調整スプリングロッドとアイレットねじを取り外します。
2. ドローバーを最短位置にして横に旋回させます。
3. 高さ調整式トレーラーヒッチを取り外します。
4. センターリンクブラケットをピックアップウエイトに取り付けます。
5. 作業機の場合と同様に、トラクターをピックアップウエイトまで後退させます。

注記： 特大タイヤを装着しているトラクターでは、リフトリンクを最大長に調整する必要がある場合があります。

100,30,All,LX25458,0000AB8-40-13FEB24

基本ウエイトへのピックアップウエイトの取り付け

別のトラクターによるピックアップウエイトの配置



LX1046223—UN—13JUL11

注意： 危険ゾーンに誰もいないことを確認してください。

注意： ピックアップウエイトを受けるトラクターで駐車ブレーキロックをかけてください。

注意： サポートトラクターのヒッチの深さ制御を選択してください。

注意： ドラフトリンクのフックが接続されていることを確認してください。

重要： 前端への取り付けは、前輪駆動のトラクターのみに許可されます。

重要： 許容車軸荷重、およびタイヤとホイールリムの耐荷重を守ってください。取扱説明書メーカーの注意事項を参照してください。

重要： 取り付け中は、センターリンクを使用しないでください。

注記： ピックアップウエイトをいったん取り付けると、通常の追加フロントウエイトは使用できなくなります。ただし 180 kg (400 lb) ウエイトパックはこの例外になります。

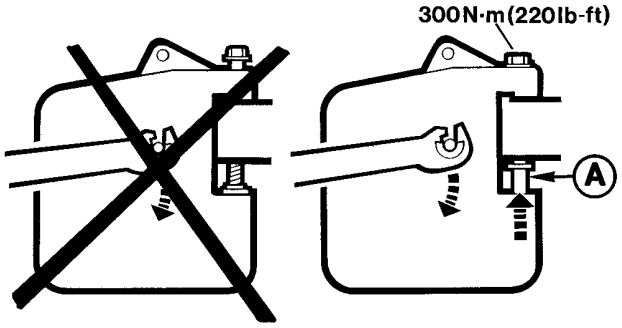
1. 適切なトラクターのドラフトリンクからピックアップウエイトを吊り下げます。

重要： 取り付け中は、センターリンクを使用しないでください。

2. ピックアップウエイトを取り付けるトラクターの前部にトラクターを後退させます。
3. ピックアップウエイトを基本ウエイト上まで下げます。音がして所定の位置に嵌ります。

注意： 止めねじが完全にねじ込まれてしっかり収まるまで、ピックアップウエイトを吊り下げたままにしてください。止めナット (A) を基本ウエイトと確実に接触させてください。

4. 止めねじを取り付けて、300 N·m (220 lb·ft) のトルクで締め付けます。

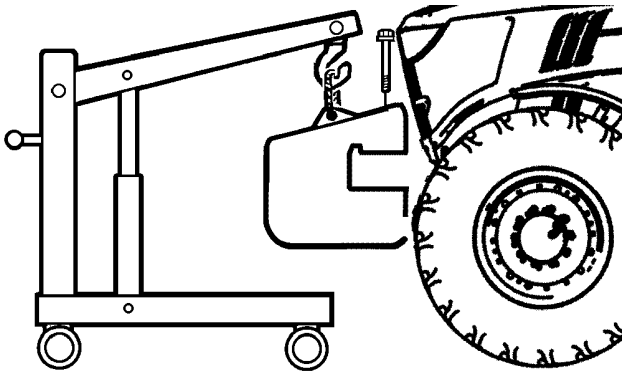


LX013465

LX013465—UN—03APR96

5. 止めナット (A) を基本ウエイトに接触させてください。
6. 取り付けを行っているトラクターのドラフトリンクを解除して、ウエイト受けピンを可能な限り奥までねじ込みます。

クレーンまたは適切なホイストによるピックアップウエイトの取り付け



LX1046224—UN—13JUL11

注意： 市販のリフト機器を使用する場合は、耐荷重が十分であることを確認してください。

注意： 認定を受けたリフト装置のみを使用してください。

1. 鋳造アイレットでウエイトを吊り下げます。
2. ピックアップウエイトを基本ウエイト上まで下げます。音がして所定の位置に嵌ります。

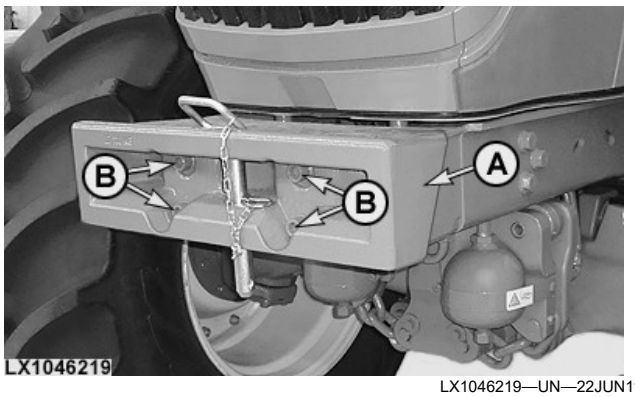
注意： 止めねじが完全にねじ込まれてしっかり収まるまで、ピックアップウエイトを吊り下げたままにしてください。止めナット (A) を基本ウエイトと確実に接触させてください。

3. 止めねじを取り付けて、300 N·m (220 lb·ft) のトルクで締め付けます。
4. 止めナットを基本ウエイトに接触させてください。
5. ホイストを取り外します。

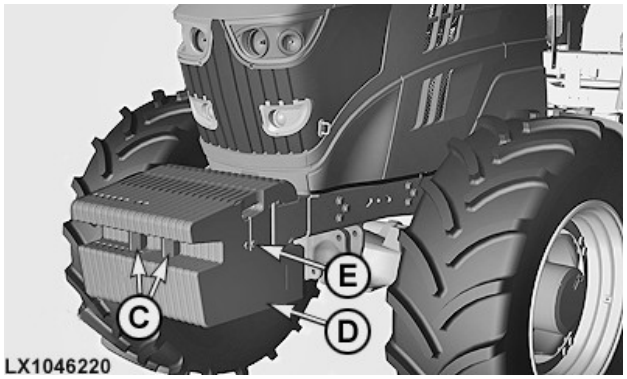
100,31,All,LX25458,ALL,0000AB9-40-13FEB24

フロントウエイトの取り付け

ベースウェイト 1 個 (A) と追加ウエイト 18 個 (E) を取り付けることができます。ベースウェイトはフロントウエイト用のキャリアです。



LX1046219—UN—22JUN11



LX1046220—UN—22JUN11

A：ベースウェイト
B：取り付けねじ
C：ジョー
D：追加ウエイト
E：ねじ

重要： 基本ウエイト (A) の取り付けボルト (B) を 600 Nm (440 lb·ft) のトルクで、追加ウエイト (D) のボルト (E) を 230 Nm (170 lb·ft) のトルクで締め付けます。

最大 18 個の追加ウエイト (D) をトラクターに取り付けることができます。

EU と 北米では異なるフロントウエイトが出荷・取り付けされています。

ベースウェイトを取り付ける前に、フロントシールドをメインフレームから取り外します。

地域	追加ウエイトごとの重量	追加ウエイト 18 個の重量
EU、品番： L38451.	50 kg (110 lb)	900 kg (1980 lb)
北米、品番： R127764	43 kg (95 lb)	774 kg (1710 lb)

ウエイト重量が 10 kg (22 lb) 増加するごとにフロント車軸の負荷は 12 kg (26.5 lb) 増加します。

重要： 6 個以上の追加ウエイトを取り付けるときは、ジョー (C) を形成するように取り付ける必要があります。

ジョー付きヒッチは、固い路面上での入換えや牽引用のみに使用してください。

100,40,All,LX25458,0000ABA-40-13FEB24

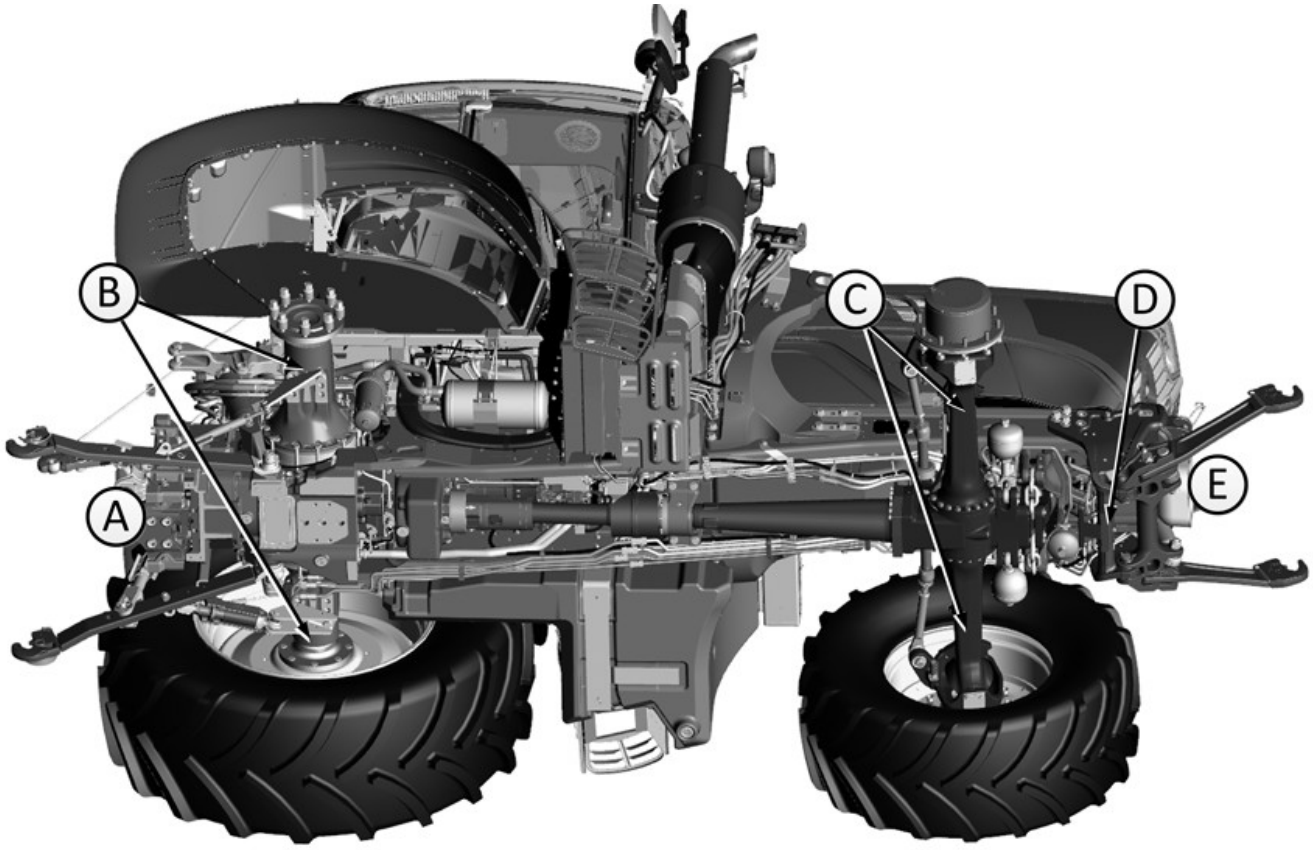
トラクターの輸送

動かないトラクターは、平床式キャリアーでの輸送が最適です。

トラクターを低床トラックや平台レールワゴンで輸送する前に、トラクターのエンジンを覆うフードが固定されいること、ドア、ルーフハッチ (装備している場合) およびウィンドウが正しく閉じられていることを確認してください。

110,001,ALL,LX25458,ALL,0000ABB-40-10APR24

トラクターを連結してトレーラーを輸送する



LX299237—UN—19JUL17

A：後部のサスペンション装置
B：リアアクスル
C：前輪駆動車軸のアクスルニー
D：フロントヒッチのリアクロスメンバー
E：前部のサスペンション装置



LXL220473—UN—26FEB21
結束ラベル *(装備されている場合)*

積荷を不適切に固定すると、走行中に積荷やトラクター自体の連結が外れて、輸送しているトラクターが自体が外れる高いリスクがあります。

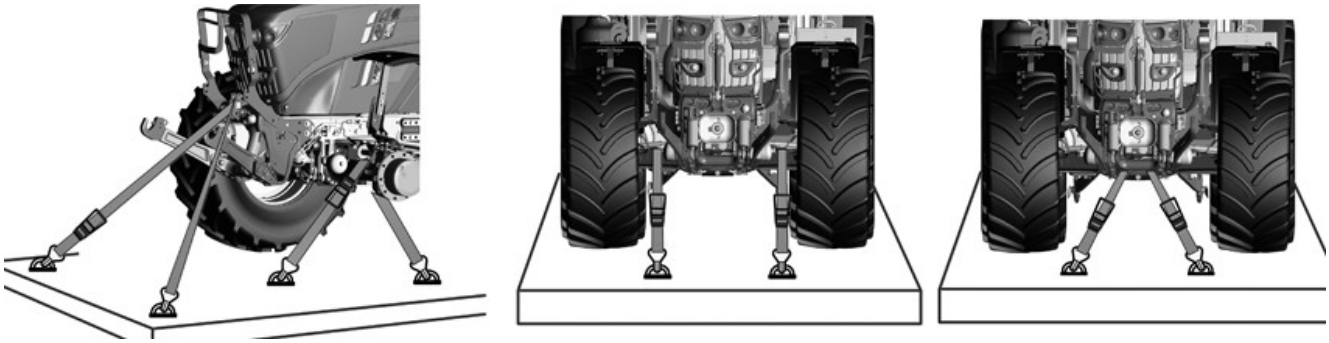
このトラクターは、固縛ストラップやテンションチェーンなどの適切な装置を取り付けることができる十分な数の固定点を備えています。さらに、ロック可能な輪止めを使用してください。緩いくさびは、紛失する可能性があるため許可されていません。必ず積荷の固定に関する法的要件を順守してください。

トラクターの重量に合わせて固縛ストラップやテンションチェーンのサイズを選択してください。

注意： 紛失積荷による生命の危険。

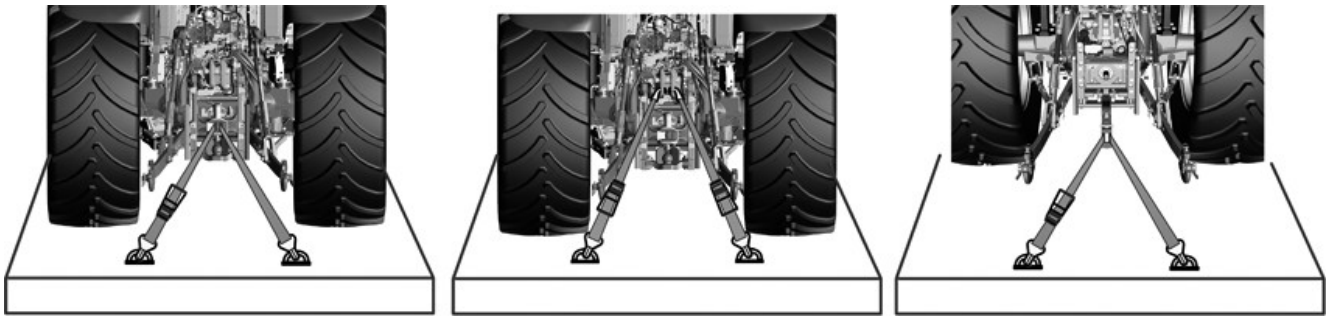
重要：**トラクターの損傷を防止してください。固縛中は、エッジプロテクターや保護カフを使用してください。固縛ストラップやテンションチェーンは、ライン、ホース、ケーブル、その他の敏感な部品に結束しないでください。**

前側： トラクターの固縛ポイントの例。さらに、基本ウエイトで利用可能な牽引装置および追加ウエイトを使用できます。



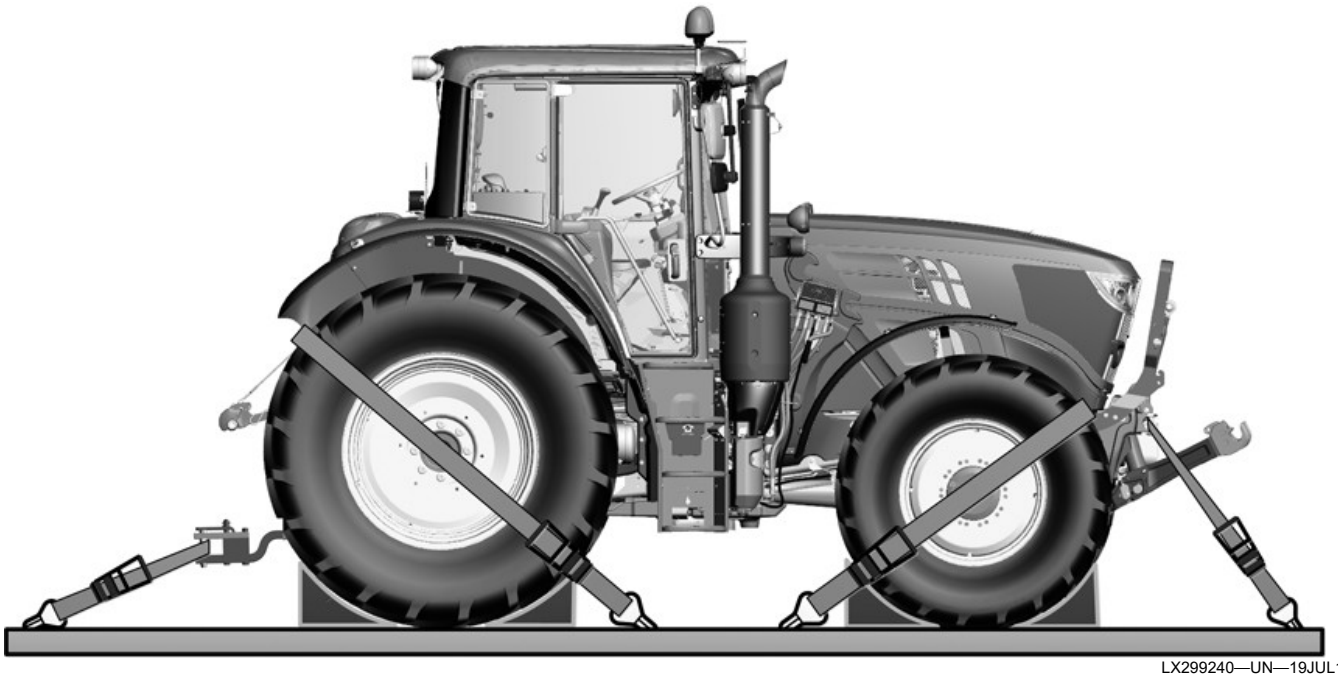
LX299238—UN—19JUL17

後側： トラクターの固縛ポイントの例。



LX299239—UN—19JUL17

ホイールを横断して固縛されたトラクターの例。前部および後部に固定された追加の積荷と輪止めの使用。

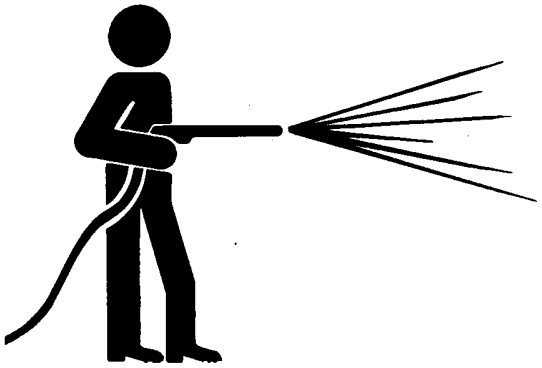


LX299240—UN—19JUL17

例： トレーラーに連結されたトラクター

110,002,ALL,LX25458,0000ABC-40-10APR24

荷下ろし後の機械の洗浄



T6642EJ—UN—18OCT88

重要： **路面の塩分や海水の塩による腐食を避けてください。冬季期間中にトラックで運搬した装置や貨物船で運搬した装置はすぐに洗浄してください。**

機械の構成部品の故障や損傷を防止してください。電子部品、電気部品、コネクタ、ベアリング、油圧シール、フューエルインジェクションポンプ、またはその他の壊れやすい部品に対して高圧噴射を直接当てないでください。水の影響を受けやすい部品に対しては水圧を下げてください。

シールのような部品に水が貫入しないようにしてください。これらの部品に対して 45° 未満の角度で直接噴射を当てないでください。

機械の塗装が変色しないようにしてください。強力な石鹸や化学洗剤、または酸、腐食剤、研磨剤入りの洗剤を使用しないでください。機械の表面で洗剤が乾かないようにしてください。洗剤で機械を洗浄したら、すぐに洗い流してください。

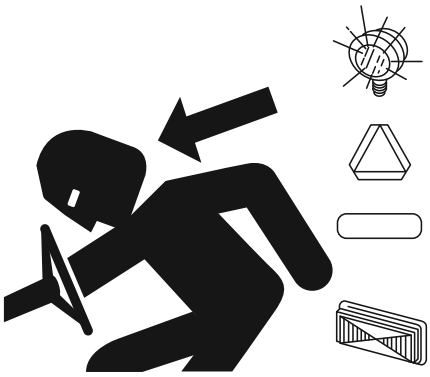
上から下に向かって洗浄するようにしてください。輸送中に塩が堆積する可能性があるパネルの裏や隠れた場所を洗浄してください。

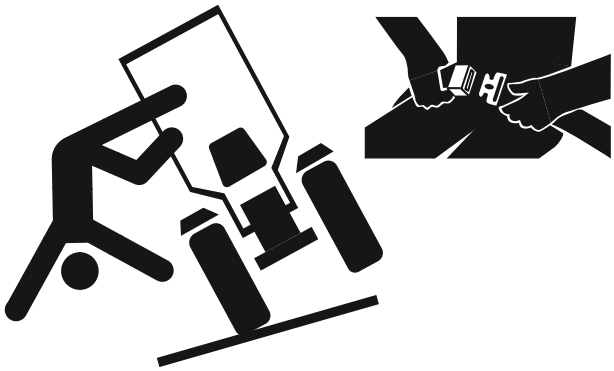
洗剤を使用する場合、濃度が適切なものを使用する必要があります。機械の表面で洗剤が乾かないようにし、すぐに上から下に向けて洗い流してください。お近くの John Deere 取扱店で、装置に適合し、出荷時の保護コーティングの除去に適したクリーナを用意しています。

不適切な洗剤の使用、濃度の超過、洗い流しの遅れや不足があると、輸送後に塗装が変色するおそれがあります。

DX,WASH-40-14MAR14

公道での運転





RXA0086597—UN—09FEB06

注意：**トラクターを制御できなくなって死傷事故を起こさないようにしてください。道路でトラクターを運転するときは、以下に注意してください。**

- **シートベルトを着用してください。**
- **フットブレーキ**：**両方のブレーキペダルを互いに連結します。**
- **スロットルレバーの代わりに、アクセルペダルを使用します。**
- **凍ったり濡れたりしている路面や砂利道で運転するときは減速してください。**
- **バラストをトラクターに適正に装備します。**
- **AutoPowr/IVT トランスミッションを搭載しているトラクターでは、ホイールのロックや横滑りを防止してください。**
- **穴、溝、急カーブ、斜面、障害物を避けてください。トラクターが横転するおそれがあります。**
- **後方の交通状態に常に注意を払ってください。特に曲がり角では注意し、方向指示灯を使用してください。**
- **主要道路や公道を走行するときは、法律で禁止されている場合を除き、必ず点滅ライトを作動させてください。**
- **公道を走行する前に、タイヤとフェンダーに泥が付いていないことを確認してください。**

道路でトラクターを運転する前に、ヘッドライト、点滅警告灯、テールライトを点検します。バックミラーを調整し、ウィンドウをきれいにします。

ライト - ヘッドライトと方向指示器は昼夜とも使用してください。装置のライティングと識別に関する法規定に従ってください。ライティングおよび識別が見えること、良好な状態であることを確認してください。ライトとマーカーの損傷や紛失が修理されていることを確認するか、すぐに修理してください。作業機の安全ライトは、通常の予備部品チャンネルから入手できます。

ブレーキ：ブレーキペダルを踏み込んで、デフロックがかかっていないことを確認してください。**道路走行の前にブレーキペダルを連結してください。** ブレーキの過度な使用は避けてください。

前輪駆動：トラクターの輸送時は前輪駆動を解除してください。道路走行時は、前輪駆動スイッチを「Brake Assist (ブレーキアシスト)」位置に入れて 4 輪ブレーキをきかせます。

選択制御弁 — ロックボタンを使って選択制御弁のコントロールレバーを物理的にロックし、コントロールレバーに誤って触れても起動しないようにしてください。

ジョイスティック — ジョイスティックをロックするか、ロックボタンでブロックして、誤って触れた場合に作動できないようにしてください。

フロント/リアヒッチ — 輸送中に誤って上昇/下降レバーにぶつかって作業機が下降しないように、ヒッチを輸送位置に入れるかロックしてください。セクション 60D および 60E を参照してください。

110,004,ALL,LX25458,0000ABE-40-10JUL25

牽引負荷とバラスト付きの輸送

注意：**負荷を牽引中にトラクターの制御を失ってけがをしないように注意してください。速度、牽引負荷のウエイト、および傾斜地などの条件によって停止距離が増加します。**

IVT トランスミッション装備のトラクターでは、滑りやすい下り斜面でホイールがロックして横滑りすることがあります。「滑りやすい傾斜地での運転」(セクション 50J または 50K) を参照してください。

絶対に作業機の最高輸送速度を超える速度で輸送しないでください。牽引式作業機の輸送の前に、作業機の標識または作業機の取扱説明書に記載されている情報から最大輸送速度を決定してください。このトラクターは、ほとんどの被牽引作業機に対して許容されている最高輸送速度を超える輸送速度で運転できます。作業機の取扱説明書で作業機コードを参照して、必要なフロントウエイトを確認してください。作業機の最大輸送速度に従わなかった場合、または適切なバラストを装備していない場合は、次の危険があります：

- **トラクター / 作業機の組み合わせの制御を失う**
- **ブレーキ機能の低下または喪失**
- **作業機のタイヤの故障**
- **作業機フレームや部品の損傷**

ブレーキ付きおよびブレーキなしの装置を牽引する場合のガイドラインに従ってください。「安全速度での牽引された装置の輸送」(セクション 05) を参照してください。

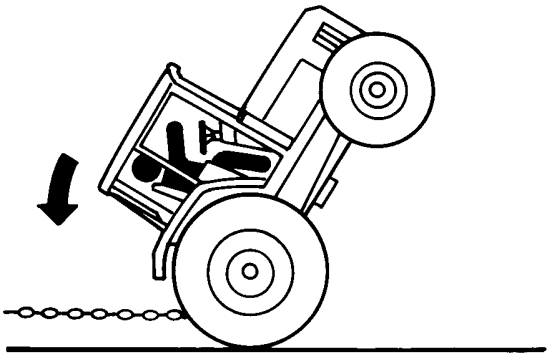
トラクターは、牽引負荷を牽引するために十分に重く、十分な力があり、十分なブレーキ力を備えている必要があります。トラクターにバラストを追加するか、作業機負荷を軽くしてください。

安全に制御を維持できる程度にゆっくりと走行してください。横滑りに警戒してください。特に重い装置の輸送時は、傾斜地、でこぼこの路面、急カーブで低速ギアにシフトしてください。

トランスミッションがニュートラル位置に入っている状態や、クラッチが解除されている状態では絶対に運転しないでください。

110,006,TOW1,NA,EX,LX25458,0000ABF-40-10APR24

ぬかるみからの機械の脱出



TS1645—UN—15SEP95



TS263—UN—23AUG88

ぬかるみにはまった機械の引き出しには安全上の問題が付きまとい、ぬかるみにはまったトラクターの後ろへの転倒、牽引トラクターの転倒、牽引チェーンやドローバー (ケーブルは推奨しません) の損傷やその伸長状態からの巻き上がりといった危険があります。

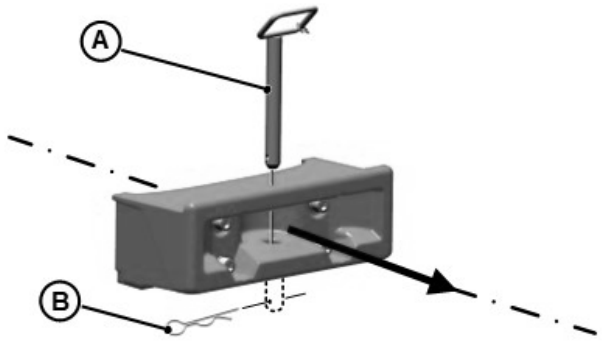
泥にはまった場合にはトラクターを後退させてください。 牽引しているインプルメントからヒッチを外してください。 後輪の背後から泥を取り除きます。 ホイールの後ろに板を敷いてしっかりした基盤を作り、ゆっくりと後退させてください。 必要に応じてすべてのホイールの前から泥を取り除き、ゆっくりと前進してください。

別のユニットで牽引する必要がある場合は、ドローバーまたは長いチェーンを使用してください (ケーブルの使用は推奨しません)。 チェーンに損傷がないことを確認してください。 牽引装置のあらゆる部分が荷重に対して十分な大きさと強度を備えていることを確認してください。

必ず、牽引しているユニットのドローバーにヒッチを連結してください。 フロントプッシュバー取り付けポイントには連結しないでください。 動く前に周囲の人を遠ざけてください。 徐々に力をかけてたるみを取ってください。 急激に引っ張ると、牽引装置がはねて鞭のように動いたり、巻き上がったりして危険です。

DX,MIRED-40-07JUL99

ぬかるみにはまった機械の解放 - 牽引ポイント



LX647518—UN—30JUN25

ベースウエイトでの牽引ポイント

A：**牽引ボルト (AL241988)**
B：**スプリングロックピン (L12491)**

さらに、セクション 05 の「ぬかるみにはまった機械の解放」と関連する安全上の注意事項を参照してください。

ぬかるみにはまった機械の前進方向への解放： ぬかるみにはまった機械の解放は、前部装着式ベースウエイトの牽引ポイントでのみ行うことをお勧めします。前部と後部の両方に取り付けた作業機またはバラストウエイトの接続を外します。牽引ボルト AL241988 (A) とスプリングロックピン (B) (L12491) を使用して牽引装置を取り付けます。

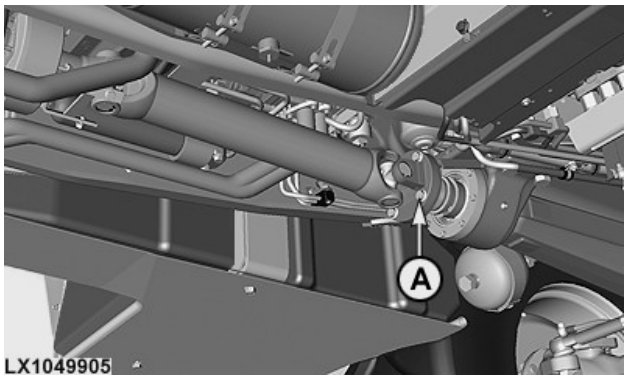
認定牽引荷重は、機械の許容総重量に 1.5 を掛けた値です。これは、牽引方向が機械とまっすぐな場合にのみ適用されます (矢印参照)。

ぬかるみにはまった機械の後進方向への解放： 前部と後部の両方に取り付けた作業機の接続を外します。牽引装置をトレーラーヒッチに取り付けます。牽引する前に、取扱説明書に記載されている耐荷重やトレーラーヒッチの型式プレートを点検してください。絶対に最大許容牽引荷重を超えないようにしてください。

重要： **Quick-Tatch の重量、ピックアップウエイト、フロントヒッチなどの牽引ポイントで、ぬかるみにはまった機械を牽引することは許可されていません。これらの牽引ポイントは、トレーラーの操作時など、低負荷である場合専用です。**

110,009,MP,All,oulxa64,1747216528807-40-30JUN25

トラクターの牽引



LX1049905—UN—17FEB11

注意： **絶対に 10 km/h (6 mph) を超える速度でトラクターを牽引しないでください。**

エンジンの停止中は、ステアリングホイールを回すために必要な力が大きくなり、ペダルの踏み込みも長くなります (油圧の補助がないため)。

副変速レバーとリバースドライブレバーの両方をニュートラル位置にシフトします。

トランスミッションオイルのレベルが点検窓のマークの間にあることを確認します。前輪を上げてトラクターを牽引する場合は、以下の注意事項を守ってください。

- 絶対に 30 cm (12 in) 以上車輪を上げないでください。
- 前輪を 15 cm (6 in) 上げるごとに 4 L (1 US gal) のトランスミッションオイルと作動油をトランスミッションに追加します。
- 牽引完了後、余分なオイルを抜き取ります。

重要： **エンジンを運転できる場合は、前輪駆動をオフにしてください。**

エンジンを運転できない場合は、ねじ (A) を外してユニバーサルジョイント式ドライブシャフトの接続を外してください。これによりタイヤの過度な摩耗を防ぐことができます。こうして、タイヤの過度の摩耗を防止します。

重要： **フロントウエイトのジョー付きヒッチは、舗装道路で牽引する場合のみ使用できます。**

LX25458,SP,0000AC2-40-29AUG23

PowrQuad™ PLUS トランスミッション - トラクターの牽引

トラクターを牽引する必要がある場合は、「トラクターの牽引」(セクション 110) を参照してください。

oulxa64,6M,1690953288607-40-28AUG23

AutoQuad™ PLUS トランスミッション — トラクターの牽引

トラクターを牽引する必要がある場合は、「トラクターの牽引」(セクション 110) を参照してください。

oulxa64,6M,1690952772371-40-28AUG23

CommandQuad™ PLUS トランスミッション - トラクターの牽引

「CommandQuad™ PLUS トランスミッション - トラクターの牽引」(セクション 50H) を参照してください。

OULXA64,6M,00056B1-40-28AUG23

AutoPowr™/IVT™ — トラクターの牽引

トラクターを牽引する必要があり、駐車ブレーキロックを解除できない場合は、セクション 110 の手順に従ってください：

- トラクターの牽引
- 駐車ブレーキロックの手動解除

OULXA64,6M,0005813-40-02AUG23

駐車ブレーキロックの手動解除

注意： エンジンを運転していない場合、またはトランスミッションオイル回路に故障がある場合は、駐車ブレーキロックを手動で解除する必要があります。

• 駐車ブレーキロックを解除する前に、イグニッションを ON にし、カムホームモードを起動する必要があります。

• エンジンが故障した場合、バッテリー電圧が十分残っていて、油圧系統に故障がないときにステアリングおよびブレーキシステムは油圧でのみアシストされます。

• トラクターが静止したら、駐車ブレーキロックをもう一度かけることができます。

• CommandCenter™ の指示に従います。

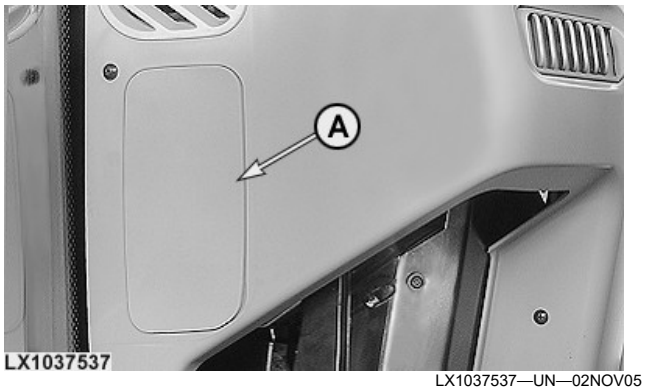
注意： 駐車ブレーキロックを手動で解除するには、さらにリバースドライブレバーが駐車 (P) 位置である必要があります。

注意： 駐車ブレーキロックが正しく機能している限り、つまり、ｒリバースドライブレバーで操作できる限り、トラクターは (短時間のテストドライブのためであっても) 駐車ブレーキロックを手動で解除して操作してはなりません。

注意： 駐車ブレーキロックが解除されると、トラクターは動く可能性があります。トラクターを固定して前後どちらにも動かないようにしてください。

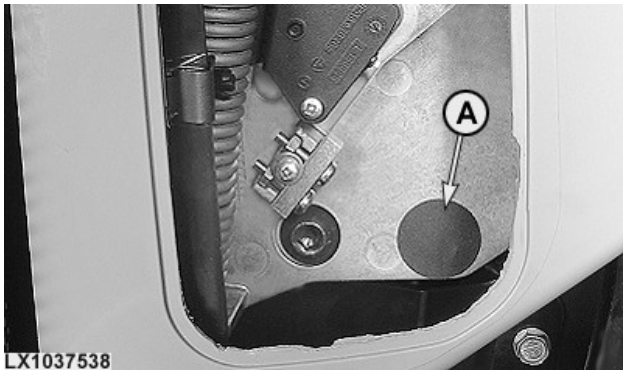
注意： 牽引後は、駐車ブレーキロックの手動解除用ボーデンケーブルを外す必要があります。

1. カバー (A) を取り外します。



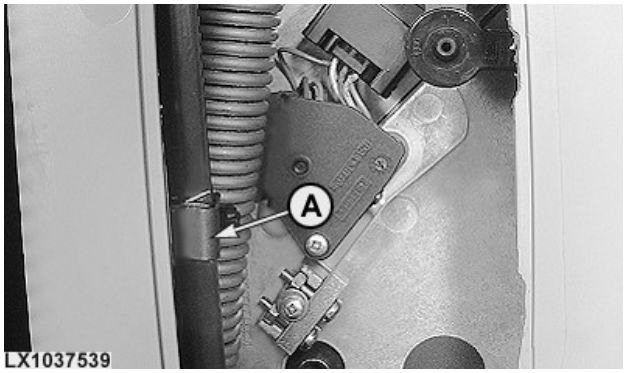
LX1037537—UN—02NOV05

2. 接着ホイル (A) を取り外します。



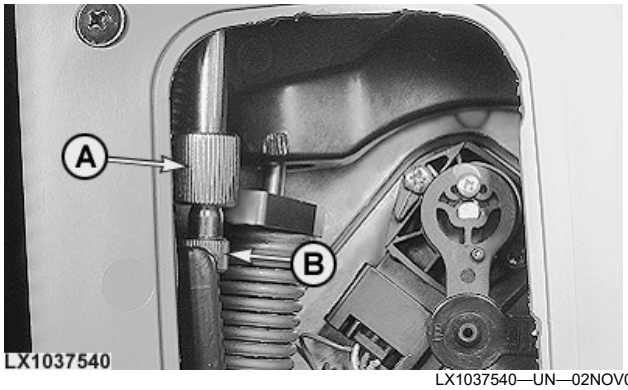
LX1037538—UN—02NOV05

3. クランプ (A) からボーデンケーブルを外します。



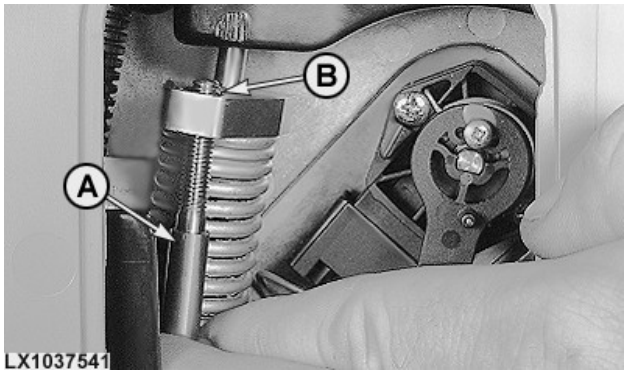
LX1037539—UN—02NOV05

4. ねじ込みピン (A) と刻み付きナット (B) を緩めます。



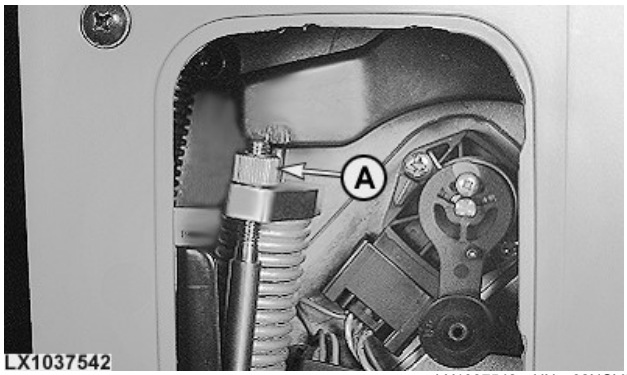
LX1037540—UN—02NOV05

5. クラッチペダルを少し踏み込みます。
6. クラッチペダルまたはアダプタのアイレット (B) にボーデンケーブル (A) をねじ込んで通します。



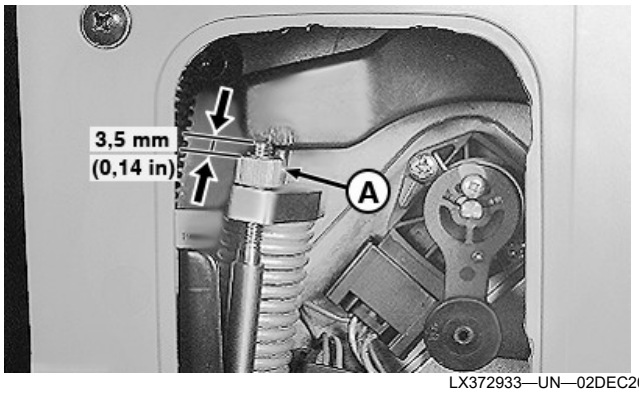
LX1037541—UN—02NOV05

7. 図のように、刻み付きナット (A) をねじ山に可能な限りいっぱいまで回します。



LX1037542—UN—02NOV05

8. クラッチペダルをいっぱいまで踏み込んで放します。
9. 図のように刻み付きナット (A) を調整します。



LX372933—UN—02DEC20

重要：駐車ブレーキロックを完全に解除するには、ボーデンケーブルはたるみがなく張っている必要があります。

10. クラッチペダルをいっぱいまで踏み込みます。

重要：クラッチペダルをストップまで踏み込むことができず、ねじ込みピンをそれ以上調整できない場合は、クラッチペダルをストップに対して踏み込めるようになるまで刻み付きナットを緩めてください。

11. 止めねじ (A) をねじ穴にねじ込み、クラッチをこの位置に固定して駐車ブレーキロックを解除位置に維持します。



LX1037543—UN—02NOV05

OULXA64,0005814-40-13JAN23

ディーゼル燃料

地域で使用可能なディーゼル燃料の特性については、地元の燃料販売店にお問い合わせください。

一般に、ディーゼル燃料は販売される地域の低温要件に合わせて混合されます。

EN 590 または ASTM D975 に規定されたディーゼル燃料を推奨します。動物油脂と植物油の水素化処理によって生成される再生可能ディーゼル燃料は、石油系ディーゼル燃料と基本的に同一のものです。EN 590、ASTM D975 または EN 15940 に適合する再生可能ディーゼル燃料は、すべての混合比での使用が承認されています。

必要な燃料特性

あらゆる場合に燃料は次の特性に適合する必要があります。

最低 40 のセタン価。特に -20°C (-4°F) 未満の温度または 1675 m (5500 ft) を超える高度では、47 を超えるセタン価を推奨します。

曇り点は予想される最低周囲温度よりも低い必要があります。または、**目詰まり点** (CFPP: Cold Filter Plugging Point) は曇り点よりも 10°C (18°F) 以上低い必要があります。

燃料潤滑性は ASTM D6079 または ISO 12156-1 に従って測定した場合、最大摩耗痕径 0.52 mm に合格する必要があります。最大傷跡直径 0.45 mm が推奨されます。

ディーゼル燃料の品質と硫黄含有量は、エンジンを運転する地域に存在するすべての排ガス規制に適合する必要があります。硫黄含有量が 10 000 mg/kg (10 000 ppm) を超えるディーゼル燃料を使用しないでください。

銅、鉛、亜鉛、スズ、黄銅、および青銅などの**物質**は、燃料酸化反応の触媒として機能して、燃料系統の沈殿物や燃料フィルタの詰まりを発生させる可能性があるため、燃料の取り扱い、分配、および保管などを行う装置での使用を回避する必要があります。

e-ディーゼル燃料

e-ディーゼル燃料 (ディーゼル燃料とエタノールの混合物) を使用しないでください。John Deere の機械に e-ディーゼル燃料を使用した場合は、機械の保証が受けられなくなるおそれがあります。

注意： e-ディーゼル燃料使用時の火災や爆発による大けがや死亡事故を防止してください。

560 kW を超えるインテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ III B、ステージ IV、ステージ V エンジンに適した硫黄含有量

- 硫黄含有量が最大 500 mg/kg (500 ppm) のディーゼル燃料のみを使用してください。

インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ III B、ステージ IV エンジン、ステージ V エンジンに適した硫黄含有量

- 硫黄含有量が最大 15 mg/kg (15 ppm) の超低硫黄ディーゼル (ULSD) 燃料のみを使用してください。

Tier 3 および Stage III A エンジンの硫黄含有量

- 硫黄含有量が 1000 mg/kg (1000 ppm) 未満のディーゼル燃料の使用をお勧めします。
- 硫黄含有量が 1000 ~ 2000 mg/kg (1000 ~ 2000 ppm) のディーゼル燃料を使用すると、オイルとフィルタの交換間隔が短くなります。
- 硫黄含有量が 2000 mg/kg (2000 ppm) より多いディーゼル燃料を使用する場合は、事前に最寄りの John Deere 販売店にお問い合わせください。

Tier 2 および Stage II エンジンの硫黄含有量

- 硫黄含有量が 2000 mg/kg (2000 ppm) 未満のディーゼル燃料の使用をお勧めします。
- 硫黄含有量が 2000 ~ 5000 mg/kg (2000 ~ 5000 ppm) のディーゼル燃料を使用すると、オイルとフィルタの交換間隔が短くなります。[1]
- 硫黄含有量が 5000 mg/kg (5000 ppm) より多いディーゼル燃料を使用する場合は、事前に最寄りの John Deere 販売店にお問い合わせください。

その他のエンジンの硫黄含有量

- 硫黄含有量が 5000 mg/kg (5000 ppm) 未満のディーゼル燃料の使用をお勧めします。
- 硫黄含有量が 5000 mg/kg (5000 ppm) より多いディーゼル燃料を使用すると、オイルとフィルタの交換間隔が短くなります。

重要： 使用済みディーゼルエンジンオイルや他のどの種類の潤滑油であってもディーゼル燃料と混合しないでください。

不適切な燃料添加剤を使用すると、ディーゼルエンジンの燃料噴射装置が損傷することがあります。

DX,FUEL1-40-01NOV22

ディーゼル燃料の取り扱いと保管

注意： 火災の危険を減らしてください。燃料の取り扱いに注意してください。エンジン運転中は燃料タンクに給油しないでください。燃料タンクへの給油中や燃料系統の整備中は、喫煙しないでください。

寒冷気候での水分凝縮や凍結を避けるため、毎日の作業終了時に燃料タンクを満タンにしてください。

[1] *エンジンオイルとフィルタの整備間隔について詳しくは、「DX,ENOIL12,OEM」、「DX,ENOIL12,T2,STD」、または「DX,ENOIL12,T2,EXT」を参照してください。*

すべての貯蔵タンクは可能な限り一杯に補充して、結露を最小限に抑えてください。

水分が入らないように、必ず燃料タンクのキャップとカバーをすべて適切に取り付けてください。燃料の水分含有量を定期的に監視してください。

バイオディーゼル燃料の使用時は目詰まりが早くなるので、より頻繁に燃料フィルタを交換する必要があります。

毎日、エンジン始動前にエンジンオイルレベルを点検してください。オイルレベルの上昇はエンジンオイルの燃料希釈を示していることがあります。

重要：**燃料タンクはフィラーキャップから通気されます。新品のフィラーキャップが必要な場合は、必ず元の通気穴付きキャップと交換してください。**

燃料を長期間保管する場合や燃料の入れ替わりが遅い場合は、燃料を安定させるために、燃料コンディショナを追加してください。遊離水の抜き取りを継続し、四半期ごとに燃料の大量貯蔵タンクを維持量の殺生物剤で処置すると、微生物の増殖が防止されます。

DX,FUEL4-40-01MAR25

ディーゼル燃料の潤滑性

米国、カナダ、および EU で生産されるほとんどのディーゼル燃料は、フューエルインジェクションシステム部品の適切な作動と耐久性を保証する十分な潤滑性を備えています。ただし、世界の一部の地域で生産されるディーゼル燃料には、必要な潤滑性を備えていないものがあります。

重要：**自分の機械で使用するディーゼル燃料が適切な潤滑特性を示すことを確認してください。**

燃料潤滑性が ASTM D6079 または ISO 12156-1 によって評価される最大傷跡直径 0.52 mm に合格しなければなりません。最大傷跡直径 0.45 mm が推奨されます。

使用する燃料の潤滑性が低いまたは不明な場合は、John Deere Fuel-Protect Diesel Fuel Conditioner (または同等品) を指定の濃度で加えてください。

バイオディーゼル燃料の潤滑性

燃料の潤滑性は、B20 (20% バイオディーゼル) までのバイオディーゼル混合燃料では大幅に改善されます。B20 以上のバイオディーゼル混合燃料では燃料の潤滑性が増加しにくくなります。

DX,FUEL5-40-07FEB14

ディーゼル燃料のテスト

燃料分析プログラムは、ディーゼル燃料の品質監視に役立ちます。燃料分析では、計算セタン指数、燃料の種類、硫黄分、水分、外観、寒冷時の運転に対する適合性、バクテリア、曇り点、酸価、微粒子汚染、ASTM D975 または同等の仕様に対する燃料の適合性など、重要なデータを取得できます。

ディーゼル燃料分析については、John Deere 販売店または他の整備工場にお問い合わせください。

DX,FUEL6-40-01MAR25

バイオディーゼル燃料

バイオディーゼルは、植物油または動物油脂から採取した長鎖脂肪酸のモノアルキルエステルから構成される燃料です。バイオディーゼル混合燃料は、容積基準で石油系ディーゼル燃料と混合されたバイオディーゼルです。

バイオディーゼルを含む燃料を使用する前に、この取扱説明書の「バイオディーゼルの使用要件と推奨事項」を確認してください。

環境法および規制によってバイオ燃料が推奨または禁止されている場合があります。オペレータはバイオ燃料を使用する前に適切な政府機関に相談してください。

欧州連合内で運転される John Deere™ ステージ V エンジン

ディーゼルまたはノンロードガスオイル (軽油) を使用して欧州連合内でエンジンを運転する場合は、FAME 濃度が容積比 8% (B8) を超えない燃料を使用してください。

欧州連合内で運転される排ガスフィルタ装備の John Deere™ エンジン (ステージ V エンジンを除く)

B20 までのバイオディーゼル混合燃料は、バイオディーゼル (100% バイオディーゼルまたは B100) が ASTM D6751、EN 14214、または同等の規格に適合する場合のみ使用できます。B20 の使用時は、2% の出力低下と 3% の燃費低下を見込んでください。

B20 を超えるバイオディーゼル濃度は排出ガス制御システムに悪影響を及ぼす場合があるので使用しないでください。静止再生頻度が増える、すすがたまる、灰除去の回数が増えるなど、その他のリスクが生じます。

B10 ~ B20 のバイオディーゼル混合燃料を使用するときは、燃料清浄剤と分散添加剤を含んでいる John Deere™ 燃料コンディショナまたは同等品が必要です。また、より低濃度のバイオディーゼル混合燃料を使用する場合も John Deere™ 燃料コンディショナの使用を推奨します。

排ガスフィルタ非装備の John Deere™ エンジン

B20 までのバイオディーゼル混合燃料は、バイオディーゼル (100% バイオディーゼルまたは B100) が ASTM D6751、EN 14214、または同等の規格に適合する場合のみ使用できます。B20 の使用時は、2% の出力低下と 3% の燃費低下を見込んでください。

これらの John Deere™ エンジンは B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料 (最大 100% バイオディーゼル) で運転できます。バイオディーゼル燃料が法律で許可

され、かつ EN 14214 の仕様に適合する場合にのみ (主にヨーロッパで入手可能)、B20 を超えるレベルで運転してください。B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料で運転するエンジンは、すべての該当する排出ガス規制に完全には準拠していない場合があり、認められない場合もあります。100% バイオディーゼルの使用時は、最大 12% の出力低下と 18% の燃費低下を見込んでください。

B10 ~ B100 のバイオディーゼル混合燃料を使用するときは、燃料清浄剤と分散添加剤を含んでいる John Deere™ 燃料コンディショナまたは同等品が必要です。また、より低濃度のバイオディーゼル混合燃料を使用する場合も John Deere™ 燃料コンディショナの使用を推奨します。

バイオディーゼルの使用要件と推奨事項

すべてのバイオディーゼル混合燃料の石油系ディーゼル部分は、ASTM D975 (US) または EN 590 (EU) 商業規格の要件を満たす必要があります。

米国のバイオディーゼル利用者には、(National Biodiesel Board：全米バイオディーゼル会議認定の) BQ-9000 認定生産者が生産したバイオディーゼル混合燃料を、BQ-9000 認定販売業者から購入することを強くお勧めします。公認販売業者および認定生産者は次の Web サイトで検索できます。http://www.bq9000.org

バイオディーゼルには残灰が含まれています。灰のレベルが ASTM D6751 または EN14214 で認められている最大値を超えると、灰の堆積が速まり、エグゾーストフィルタがある場合は必要なクリーニング回数が増える可能性があります。

バイオディーゼル燃料の使用時は、特にディーゼル燃料から切り替えると、より頻繁に燃料フィルタを交換する必要があります。毎日、エンジン始動前にエンジンオイルレベルを点検してください。オイルレベルの上昇はエンジンオイルの燃料希釈を示す場合があります。B20 までのバイオディーゼル混合燃料は、バイオディーゼル生産日から 90 日以内に使用しなければなりません。B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料は、バイオディーゼル生産日から 45 日以内に使用してください。

B20 までのバイオディーゼル混合燃料の使用時には、次の事項を考慮する必要があります：

- 寒冷気候での流性低下
- 安定性と保管の問題 (吸湿、微生物増殖)
- フィルタの制限と目詰まりの可能性 (通常、中古エンジンで初めてバイオディーゼルに切り替えるときの問題)
- シールやホースからの燃料漏れの可能性 (主に、古いエンジンでの問題)
- エンジン部品の耐用年数の減少

燃料がこの取扱説明書に記載された仕様に準拠していることを確認するには、燃料販売店に分析証明書を要求してください。

バイオディーゼル燃料の保管と性能を向上するには、John Deere™ 燃料製品について John Deere™ 取扱店にお問い合わせください。

B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料の使用時には、次の事項も考慮する必要があります。

- 燃料清浄剤 / 分散剤を含んでいる John Deere™ 燃料添加剤やコンディショナまたは同等品を使用しない場合、コーキングやインジェクターノズルの詰まりが発生し、出力損失やエンジンの失火の原因になる可能性があります。
- クランクケースのオイル希釈の可能性 (より頻繁なオイル交換が必要になる)
- 内部部品のラッカリングまたは焼き付きの可能性
- スラッジや沈殿の形成
- 高温時に燃料の熱酸化の可能性
- 燃料処理装置、分配装置、保管装置で使用されるその他の材料 (銅、鉛、亜鉛、錫、黄銅、青銅など) との互換性の問題
- 油水分離器の効率低下
- バイオディーゼルにさらされた塗料の損傷の可能性
- フューエルインジェクション装置の腐食の可能性
- エラストマーシールまたはガスケットの材質劣化の可能性 (主に古いエンジンでの問題)
- 燃料システム内の高い酸性度の可能性
- B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料にはより多くの灰が含まれるため、B20 を超える混合燃料を使用すると灰の堆積が速まり、排ガスフィルタがある場合は必要なクリーニング回数が増える可能性があります。

重要：**圧搾植物原料油はどの濃度でも、燃料として John Deere™ エンジンに使用することはできません。使用するとエンジン故障の原因となる可能性があります。**

DX,FUEL7-40-13JAN18

ディーゼルエンジンに対する寒冷気候の影響を最小限に抑える方法

John Deere ディーゼルエンジンは、寒冷気候で有効に作動するように設計されています。

ただし、効果的な始動と寒冷気候での運転のためには、若干の追加のケアが必要です。以下の情報は、寒冷気候がエンジンの始動および運転に与える影響を最小限に抑えるための手順の概要です。追加情報や各地で使用可能な寒冷時の始動補助装置については、John Deere 販売店または他の整備工場にお問い合わせください。

冬用燃料の使用

温度が 0 °C (32 °F) より低いときは、冬用燃料 (北米では No. 1-D) が寒冷気候での運転に最も適しています。冬用燃料は曇り点、流動点がより低く設定されています。

曇り点とは、燃料内でワックス分が析出し始める温度

のことです。このワックスは燃料フィルタの目詰まりの原因になります。**流動点**とは、燃料の動きが見られる最低温度のことです。

注記： 一般的に、冬用等級のディーゼル燃料の BTU (熱容量) は低く設定されています。冬用燃料を使用すると出力や燃費が低下する場合がありますが、他のエンジン性能には影響しません。寒冷気候での運転時における低出力の苦情のトラブルシューティングを行う前に、使用中の燃料の等級を確認してください。

吸気ヒーター

吸気ヒーターは、寒冷気候での始動補助のために一部のエンジンで使用可能なオプションです。

クーラントヒーター

エンジンブロックヒーター (クーラントヒーター) は、寒冷気候での始動補助のために使用可能なオプションです。

季節に適した粘度のオイルと適切なクーラント濃度

次のオイル交換までの期間に予想される気温範囲に基づいて、季節に適した粘度等級のエンジンオイル、および推奨されている適切な濃度のケイ酸塩不凍液を使用してください。(このセクションの「ディーゼルエンジンオイル」と「エンジンクーラント」の要件を参照してください)。

ディーゼル燃料コールドフロー添加剤

John Deere Fuel-Protect Diesel Fuel Conditioner (Winter Formula) を使用してください。これは、冬用でない等級の燃料 (北米では No. 2-D) を寒冷時期に処理する、ゲル化防止剤または同等の燃料コンディショナを含んでいます。通常、これによって燃料曇り点より約 10 °C (18 °F) 低い温度まで操作性が拡張されます。さらに低い温度での運転には、冬用燃料を使用してください。

重要： 外気温が 0 °C (32 °F) より低いときは燃料を処理してください。最適な結果を得るためには、未処理燃料を使用してください。ラベルに記載されたすべての推奨事項に従ってください。

バイオディーゼル燃料

バイオディーゼル混合燃料で運転する場合は、気温がそれほど低くないときでもワックス分が析出する可能性があります。5°C (41°F) になったら John Deere Fuel-Protect Diesel Fuel Conditioner (Winter Formula または同等品) の使用を開始して、寒冷気候でのバイオディーゼル燃料の処理を行ってください。温度が 0°C (32°F) より低いときは、B5 以下のブレンドを使用します。温度が -10 °C (14 °F) より低いときは、冬用の石油系ディーゼル燃料のみを使用してください。

ウィンターフロント

布類、段ボール、または固いウィンターフロントは、John Deere エンジンでは推奨されません。使用すると、エンジンクーラント、オイル、およびチャージエア温度が過度に高くなる可能性があります。これは、エンジン寿命の短縮、出力の損失、燃費の低下につながります。ウィンターフロントはファンやファンドライブ部品を異常に酷使し、故障を早める可能性もあります。

ウィンターフロントを使用する場合は、フロントグリル部を完全に閉鎖しないでください。グリルの中心の約 25% は常に開放されたままにする必要があります。いかなる場合でも、空気の流れを妨げる装置でラジエータコアを直接塞がないでください。

ラジエータシャッター

サーモスタット制御式ラジエータシャッターシステムが装備されている場合は、過度なインテークマニホールド温度を防止するため、クーラントが 93°C (200°F) に達する前にシャッターを完全に開放するなどの方法で、システムを調整してください。手動で制御するシステムは推奨されません。

空冷式アフタークーラーを使用する場合は、インテークマニホールド空気温度が、チャージエアクーラーから出てくるときの最大許容温度に達するまで、シャッターを完全に開放する必要があります。

DX,FUEL10-40-02MAR25

ディーゼル燃料の補助添加剤

ディーゼル燃料は、多くの理由から性能またはその他の作動上の問題の原因となることがあります。たとえば、不十分な潤滑性、汚染物質、低セタン値、および燃料システム堆積物を生成させるさまざまな特性があります。これらの問題や他の問題については、このオペレータマニュアルの他のセクションでも説明します。

エンジンの性能と信頼性を最適化するため、このオペレータマニュアルの各所に記載される燃料品質、保管、および取り扱いに関する推奨事項によく従ってください。

エンジンの燃料システムの性能と信頼性を維持する際にさらに役立つように、John Deere は燃料添加剤製品ファミリをほとんど世界中の市場向けに開発しています。主要製品として、Fuel-Protect Diesel Fuel Conditioner (冬季 / 夏季処方の汎用コンディショナ) と Fuel-Protect Keep Clean (フューエルインジェクタ堆積物の除去および予防) があります。これらの製品や他の製品を入手できるかは市場ごとに異なります。ニーズに適した燃料添加剤の入手方法と詳細については、現地の John Deere 取扱店にお問い合わせください。

DX,FUEL13-40-07FEB14

排ガス処理用尿素水

ディーゼルエグゾーストフルード (DEF)：選択接触還元 (SCR) を装備したエンジンへの使用

エンジンの排出ガス性能を維持するには、仕様に従って DEF を使用し、補給することが重要です。

排ガス処理用尿素水 (DEF) は、選択接触還元 (SCR) システムを装備したエンジンの排気システムに注入される高純度の液体です。DEF の純度を保つことは、SCR システムの故障防止のために重要です。DEF を必要とするエンジンでは、ISO 22241-1 に従って尿素水溶液 32 (AUS 32) の要件に適合する製品を使用しなければなりません。

John Deere Diesel Exhaust Fluid の使用をお勧めします。John Deere Diesel Exhaust Fluid は、John Deere 取扱店から用途に適したさまざまなサイズのパッケージで入手できます。

John Deere 排ガス処理用尿素水 (DEF) を入手できない場合は、米国石油協会 (API) の排ガス処理用尿素水 (DEF) 証明制度または AdBlue™ の排ガス処理用尿素水 (DEF) 証明制度よって認定されている排ガス処理用尿素水 (DEF) を使用してください。容器上の API 認定マークまたは AdBlue™ 名を探してください。



RG30211—UN—08MAR18

排ガス処理用尿素水 (DEF) は次のいずれかの名前で呼ばれる場合があります。

- 尿素
- 尿素水溶液 32
- AUS 32
- AdBlue™
- NOx 還元剤
- 触媒溶液

DX,DEF-40-13JAN18

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクの補給



TS1731—UN—23AUG13

AdBlue は VDA (ドイツ自動車工業会) の商標です。

注意：目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

DEF を摂取しないでください。DEF を摂取した場合は、すぐ医師に連絡してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

重要：DEF の供給に使用する部品の洗浄には、蒸留水のみを使用してください。水道水は排ガス処理用尿素水 (DEF) を汚損する可能性があります。蒸留水を入手できない場合は、清浄な水道水で洗浄してから、十分な量の DEF でよくゆすいでください。

排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触したりした場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) は塗装済みおよび未塗装の金属面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。

DEF をエンジンの燃料タンクや他の液体の容器に入れた場合は、システムから DEF を適切にパージするまでエンジンを運転しないでください。システムの抜き取りと清掃については、John Deere 販売店または他の整備工場にお問い合わせください。

DEF タンクに補充するときは十分な注意を払ってください。DEF タンクのキャップを外す前にキャップの周辺にごみがないことを確認してください。汚染および蒸発防止のため、使用しないときは DEF 容器を密閉してください。

DEF がはね散って、肌、目、口に入らないようにしてください。

DEF の取り扱いは危険ではありませんが、スチール、鉄、亜鉛、ニッケル、銅、アルミニウム、マグネシウムなどの材料が腐食するおそれがあります。DEF の運搬や保管には適切な容器を使用してください。ポリエチレン、ポリプロピレン、またはステンレス製の容器をお勧めします。

肌に長時間触れることは避けてください。うっかり肌に触れた場合は、すぐに石けん水で洗ってください。

DEF の保管や小出しに使う容器に泥やほこりがつかないようにします。容器やじょうごは蒸留水でよく洗浄して汚れを取り除きます。

ディーゼル燃料やクーラントなど、認可されていない液体を DEF タンクに補充した場合は、それをタンクから抜き取り、蒸留水で洗浄してから新品または良質な排ガス処理用尿素水を補充してください。「排ガス処理溶液尿素水 (DEF) のテスト」を参照してください。

水を DEF タンクに追加していた場合は、タンクの洗浄が必要です。このマニュアルの「DEF タンクの洗浄」参照。タンクに注入した後、排ガス処理用尿素水 (DEF) 濃度を点検してください。「排ガス処理溶液尿素水 (DEF) のテスト」を参照してください。

オペレータは常に適切な DEF レベルを保つ必要があります。排ガス処理用尿素水 (DEF) レベルは毎日点検し、必要に応じてタンクに補給してください。注入口は、以下の DEF のエンボスマーク付きの青色のキャップで識別できます。

DX,DEF,REFILL-40-01MAR25

ディーゼルエグゾーストフルード (DEF) の保管

注意： 目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

DEF を摂取しないでください。DEF を摂取した場合は、すぐ医師に連絡してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

重要： 後処理装置の部品をいじったり取り外したりするのは違法です。要求される仕様に適合しない DEF を使用したり、DEF なしでエンジンを作動させたりしないでください。

絶対に農業用尿素と水の混合による DEF の生成を試みないでください。農業用尿素は必要な仕様に適合しないため、後処理システムを損傷させる可能性があります。

凍結防止のために何らかの薬剤や添加剤を DEF に加えないでください。薬剤や添加剤を DEF に加えると、後処理システムを損傷させる可能性があります。

絶対に水や他の液体を DEF の代わりとして、または DEF に加えて補充しないでください。手を加えた DEF による作動、または無認可の DEF の使用により、後処理システムが損傷するおそれがあります。

以下の保管に関する情報は参照用であり、ガイドラインとしてのみ使用してください。

DEF は極端な外気温にならない場所に保管することをお勧めします。排ガス処理用尿素水 (DEF) は −11°C (12°F) で凍結します。30°C (86°F) を超える温度にさらされると、排ガス処理用尿素水 (DEF) が徐々に劣化するおそれがあります。直射日光の当たる場所に DEF を保管しないでください。

蒸発および汚染防止のため、使用しないときは専用の DEF 保管容器に密閉する必要があります。DEF の運搬や保管には、ポリエチレン、ポリプロピレン、またはステンレス製の容器をお勧めします。

理想的な DEF 保管条件は次のとおりです。

- –5°C ~ 30°C (23°F ~ 86°F) の温度で保管
- 汚染および蒸発防止のため、専用容器に密閉して保管

これらの条件のもとでは、DEF は通常 18 か月以上使用可能です。DEF を高温で保管すると、DEF の利用可能な期間は 30°C (86°F) から 5°C (9°F) 上がるごとに約 6 か月短縮する可能性があります。

DEF の保管期間や保管状況が不明の場合は、DEF をテストしてください。「排ガス処理溶液尿素水 (DEF) のテスト」を参照してください。

DEF タンクでの長期保管 (12 か月以上) は推奨されません。長期保管が必要な場合は、エンジンを作動させる前に DEF をテストしてください。「排ガス処理溶液尿素水 (DEF) のテスト」を参照してください。

12 か月以内に使い切れる量の DEF を購入することをお勧めします。

DX,DEF,STORE-40-15JUL20

排ガス処理用尿素水 (DEF) のテスト

重要： 適切な濃度の排ガス処理用尿素水 (DEF) を使用することは、エンジンと後処理システムの性能にとって非常に重要です。長期保存や他の条件により、DEF 濃度が低下することがあります。

DEF 品質が疑わしい場合は、DEF タンクまたは保管用タンクから清浄な容器にサンプルを採ります。DEF は透明でわずかなアンモニア臭があります。DEF が濁って色がつき、アンモニア臭が強くなった場合は、仕様を満たしていない可能性があります。この状態の排ガス処理用尿素水 (DEF) は使用しないでください。タンクを空にして蒸留水でフラッシングし、新品または良好な DEF を補充します。タンクに注入した後、排ガス処理用尿素水 (DEF) 濃度を点検してください。

DEF が目視テストと嗅覚テストに合格した場合は、DEF 測定用に較正された携帯型屈折計で DEF 濃度を点検します。

エンジンを長期保管していた場合、またはエンジンやパッケージ DEF フルードに水が混入した疑いがある場合は、DEF 濃度を点検してください。

John Deere の SERVICEGARD 特殊工具プログラムから、次の 2 つの工具を入手できます。

- JDG11594 デジタル排ガス処理用尿素水 (DEF) 屈折計：濃度測定値を簡単に読み取れるデジタルツールです
- JDG11684 排ガス処理用尿素水 (DEF) 屈折計：低価格な代替ツールで、アナログ読み取りに対応しています

測定方法については、各工具に付属の説明書を参照してください。

適切な排ガス処理用尿素水 (DEF) 濃度は 31.8 ~ 33.2% 尿素です。DEF 濃度が基準値内にない場合は、DEF タンクを空にして蒸留水でフラッシングし、新品または良好な DEF を補充します。パッケージされた排ガス処理用尿素水が仕様に適合しない場合は、排ガス処理用

尿素水パッケージを廃棄し、新品または良好な 排ガス処理用尿素水と交換します。

DX,DEF,TEST-40-01MAR25

ディーゼルエグゾーストフルード (DEF) の廃棄

DEF が地面に少しこぼれてもほとんど問題はありませんが、大量の DEF は防止してください。 大量にこぼれた場合は、除去について現地の環境関係機関に問い合わせてください。

大量の DEF が基準値内にない場合は、廃棄について DEF 販売業者に問い合わせてください。 大量の DEF を地面に捨てたり、DEF を汚水処理施設に送り出したりしないでください。

DX,DEF,DISPOSE-40-13JUN13

エンジンオイル - ファイナルティア 4 エンジン専用

ディーゼルエンジン慣らし運転用オイル

新品のエンジンには、工場で John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルが充填されています。慣らし運転期間中は、指定のオイルレベルを維持するため、必要に応じて John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを追加してください。

エンジン部品の慣らし運転が適切に行われるように、さまざまな条件下で、特に最小限のアイドリングで重い負荷をかけてエンジンを運転します。

新品のエンジンまたはリビルトエンジンの初期運転中は、最短 100 時間から最長 500 時間の間にオイルとオイルフィルタを交換します。

エンジンオーバーホール後、John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを補給します。

John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルを入手できない場合は、次のいずれかに適合する SAE 10W-30 粘度等級のディーゼルエンジンオイルを使用します。

- API サービス分類 CK-4
- API サービス分類 CJ-4
- ACEA オイルシーケンス E9
- ACEA オイルシーケンス E6

このいずれかのオイルを新品のエンジンまたはリビルトエンジンの初期運転中に使用する場合は、最短 100 時間から最長 250 時間の間にオイルとオイルフィルタを交換します。

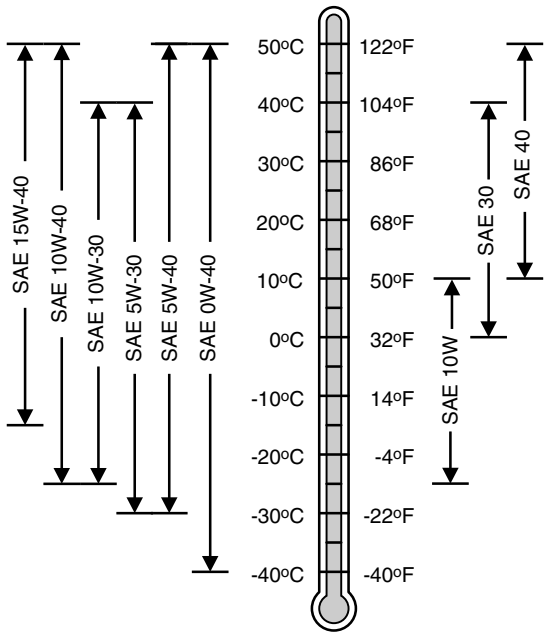
重要：**新品のエンジンやリビルトエンジンの初期慣らし運転期間中は、他のエンジンオイルを使用しないでください。**

John Deere Break-In Plus™ エンジンオイルは、すべての排出ガス規制認定レベルの John Deere ディーゼルエンジンで使用できます。

慣らし運転期間後は、John Deere Plus™ II またはこのマニュアルで推奨している他のディーゼルエンジンオイルを使用します。

oulxa64,ALL,LX,ENOIL,BREAKIN-40-13FEB23

ディーゼルエンジンオイル — インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ IIIB、ステージ IV、およびステージ V



TS1743—UN—25APR19

気温範囲とオイル粘度

適用可能なオイル規格と抜き取り間隔に従わない場合、保証対象とはならないエンジンの重大な損傷が発生する可能性があります。排出ガス規制に関する保証など、保証は John Deere™ のオイル、部品、または整備の使用を条件としていません。

次のオイル交換までの期間に予想される気温範囲に基づいたオイル粘度を使用してください。

推奨エンジンオイルは John Deere Plus-50™ II です。

John Deere Plus-50™ II エンジンオイルを使用すると、整備間隔を延ばすことができます。エンジンオイルの交換間隔の表を参照してください。詳細については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

John Deere Plus-50™ II エンジンオイルを入手できない場合は、次の 1 つ以上に適合するエンジンオイルを使用できます。

- API サービス分類 CK-4
- API サービス分類 CJ-4
- ACEA オイルシーケンス E9
- ACEA オイルシーケンス E6

1.0% を超える硫酸塩灰分、0.12% を超えるリン、または 0.4% を超える硫黄を含むエンジンオイルを使用しないでください。

マルチグレード粘度のディーゼルエンジンオイルをお勧めします。

ディーゼル燃料の品質と燃料硫黄含有量は、エンジン

Plus-50 は Deere & Company の商標です。

を運転する地域のすべての排出ガス規制に準拠する必要があります。

重要：**最大硫黄含有量が 15 mg/kg (15 ppm) の超低硫黄ディーゼル (ULSD) 燃料のみを使用してください。**

DX,ENOIL14-40-23APR19

エンジンオイルとフィルタの整備間隔

適用可能なオイル規格と抜き取り間隔に従わない場合、保証対象とはならないエンジンの重大な損傷が発生する可能性があります。排出ガス規制の保証を含む保証は、John Deere のオイル、部品、または整備の使用を条件としていません。

オイルやフィルタの推奨点検間隔は、オイルパン容量、使用されるエンジンオイルとフィルタの種類、ディーゼル燃料の硫黄含有量の組み合わせに基づきます。実際の整備間隔は操作やメンテナンスの慣行によって異なります。

認可されたオイルの種類 このセクションの「ディーゼルエンジン慣らし運転用オイルとディーゼルエンジンオイル」を参照してください。

オイル分析を使用してオイルの状態を評価し、オイルやフィルタの適切な点検間隔を選択する目安にしてください。エンジンオイル分析について詳しくは、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

推奨される整備間隔より運転時間が短い場合でも、最低 12 か月に 1 回はオイルとオイルフィルタを交換してください。

ディーゼル燃料の硫黄含有量はエンジンオイルやフィルタの整備間隔に影響します。燃料の硫黄濃度が高いとオイルやフィルタの点検間隔が短くなります。

ディーゼル燃料の硫黄含有量に関連する定期整備間隔については、「**エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔**」(セクション 210A～210D) を参照してください。

高地でエンジンを運転する場合、オイルの交換間隔が短くなります。詳しくは、「高地で運転する場合のディーゼルエンジンオイルの整備間隔」を参照してください。

重要：**エンジンの損傷を防止するため、「エンジンオイルとフィルタのメンテナンス間隔を短くする要因」を参照してください。「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」(セクション 210A～210D) を参照してください。**

oulxa64,ALL,LX,ENOIL-40-16JUL25

高高度での運転時のディーゼルエンジンオイルの点検間隔

1675 m (5500 ft) 以上の高度でエンジンを運転するときは、過度なオイルの劣化およびエンジンの損傷を防止するため、オイルとフィルタの点検間隔を推奨値の 50% に短縮してください。

オイル分析により、点検間隔を延長できる場合があります。

認可されているオイルの種類のみを使用してください。

推奨時間数の例	対応する高高度での時間数
125	60
150	75
175	85
200	100
250	125
275	135
300	150
350	175
375	185
400	200
500	250

DX,ENOIL,SERV,HIALT-40-11NOV14

エンジンクーラント

ディーゼルエンジンクーラント (ウェットスリーブシリンダライナー付きエンジン)

該当するクーラント規格および抜き取り間隔に従わないと、保証の対象とはならない重大なエンジンの損傷が発生するおそれがあります。保証 (排出ガス規制に関する保証など) は John Deere のクーラント、部品、または整備の使用を条件としていません。

推奨クーラント

以下のプレミックスタイプのエンジンクーラントをお勧めします。

- **John Deere COOL-GARD™II**
- **John Deere COOL-GARD II PG**

COOL-GARD II 予混合タイプのクーラントは、次の表に示すように、凍結予防の限界の異なる複数の濃度で用意されています。

COOL-GARD II プレミックス	凍結予防の限界
COOL-GARD II 20/80	-9°C (16°F)
COOL-GARD II 30/70	-16°C (3°F)
COOL-GARD II 50/50	-37°C (-34°F)
COOL-GARD II 55/45	-45°C (-49°F)
COOL-GARD II PG 60/40	-49°C (-56°F)
COOL-GARD II 60/40	-52°C (-62°F)

すべての COOL-GARD II 予混合タイプの製品がすべての国で販売されているわけではありません。

毒性のないクーラントの処方が必要な場合は、COOL-GARD II PG を使用してください。

その他の推奨クーラント

次のエンジンクーラントも推奨されています。

- John Deere COOL-GARD II Concentrate (上質水との 40 ~ 60% の混合)

重要： **クーラント濃縮液と水を混合するときは、40% 未満または 60% を超える濃度のクーラントを使用しないでください。40% 未満は腐食防止用の添加剤としては不十分です。60% を超えると、クーラント凍結や冷却システムの問題が発生することがあります。**

その他のクーラント

その他、次の基準に適合するエチレングリコール系またはプロプレングリコール系のクーラントを使用できます。

- ASTM D6210 の要件に適合するプレミックスクーラント
- 2-エチルヘキサン酸 (2-EHA) を含まない添加剤パッケージで調合されている
- ASTM D6210 の要件に適合するクーラント濃縮液 (濃縮液と上質水の 40 ~ 60% の混合液)

これらの基準のいずれかに適合するクーラントを入手できない場合は、少なくとも次の化学的または物理的特性を備えた濃縮タイプまたは予混合タイプのクーラントを使用します。

- John Deere のキャビテーションテスト方法または 60% 負荷以上でのフリートスタディランに従って、シリンダライナーのキャビテーションを保護する
- 亜硝酸塩を使わない添加剤パッケージで調合されている
- 2-エチルヘキサン酸 (2-EHA) を含まない添加剤パッケージで調合されている
- 冷却システムの金属 (鋳鉄、アルミ合金、真鍮などの銅合金) を腐食から保護する

水質

冷却システムの性能にとって水質は重要です。エチレングリコール系とプロプレングリコール系エンジンクーラント濃縮液と混合するには、脱イオン水や脱塩水を推奨します。

クーラントの交換間隔

指定間隔で冷却システムをフラッシングして新しいクーラントを補充します。この間隔は使用するクーラントによって異なります。

COOL-GARD II または COOL-GARD II PG を使用する場合、交換間隔は 6 年または 6000 運転時間です。

COOL-GARD II または COOL-GARD II PG 以外のクーラントを使用する場合、交換間隔は 2 年または 2000 運転時間に短縮されます。[1]

重要： **冷却システムシーリング添加剤、またはシーリング添加剤を含む不凍液を使用しないでください。**

エチレングリコール系とプロプレングリコール系のクーラントを混合しないでください。

亜硝酸塩を含むクーラントは使用しないでください。

DX,COOL3-40-25AUG20

温暖気候での運転

John Deere エンジンは、推奨エンジンクーラントを使用して運転するように作られています。

凍結予防の必要がない地域で運転する場合も、推奨されるエンジンクーラントを必ず使用してください。

[1] クーラント分析により「その他のクーラント」の点検間隔を最長まで延長できる場合があります。ただし、Cool-Gard™ II の点検間隔を超えることはできません。クーラント分析では、通常の点検間隔を超えてクーラントを使用し、データによりクーラントが有効寿命に達したことが示されるか、最長の点検間隔に至るまで 1000 時間ごとに一連のクーラントのサンプリングを行います。

COOL-GARD は Deere & Company の商標です。

重要： ***緊急時のみ*、クーラントの代わりに水を使用できます。**

クーラントとして水を使用した場合は、クーラント添加剤を追加しても、発泡、高温アルミニウムや鉄の腐食、酸化物の付着、キャビテーションが発生します。

できるだけ早く冷却システムを空にして、推奨されるエンジンクーラントを補充してください。

DX,COOL6-40-15MAY13

クーラント濃縮タイプと混合する場合の水質

エンジンクーラントは 3 つの化学成分の組み合わせです。つまりエチレングリコール (EG) またはプロプレングリコール (PG) 不凍液、抑制クーラント添加剤、上質水を組み合わせたものです。

冷却システムの性能にとって水質は重要です。エチレングリコール系とプロプレングリコール系エンジンクーラント濃縮液と混合するには、脱イオン水や脱塩水を推奨します。

冷却システムで使用するすべての水は、次に示す品質の最低仕様に適合する必要があります。

塩化物	<40 mg/L
硫酸塩	<100 mg/L
全固形物	<340 mg/L
全溶解物 / 硬度	<170 mg/L
pH	5.5 ~ 9.0

重要： **ボトル飲料水には高濃度の全蒸発残留物が含まれることが多いので使用しないでください。**

凍結予防

エンジンクーラント内のグリコールと水の相対濃度により、凍結予防の限界が決まります。

エチレングリコール	凍結予防の限界
40%	-24°C (-12°F)
50%	-37°C (-34°F)
60%	-52°C (-62°F)
プロプレングリコール	**凍結防止限界**
40%	-21°C (-6°F)
50%	-33°C (-27°F)
60%	-49°C (-56°F)

60% エチレングリコールまたは 60% プロプレングリコールを超える冷却水の混合液を使用しないでください。

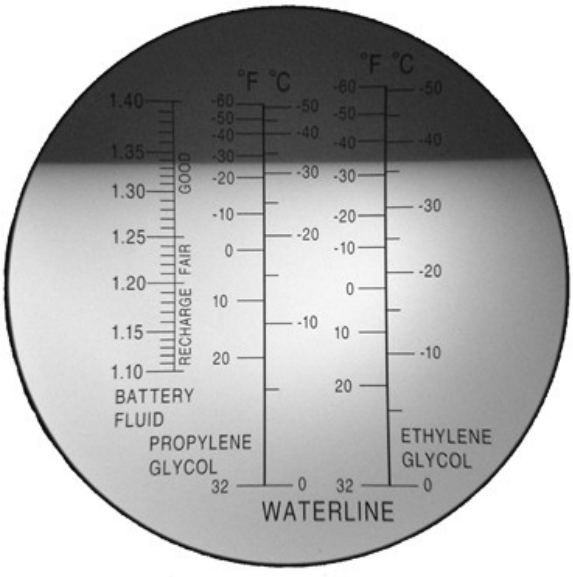
DX,COOL19-40-13JAN18

クーラントの凝固点のテスト



TS1732—UN—04SEP13

SERVICEGARD™ 品番 75240



TS1733—UN—04SEP13

50//50 クーラント 1 滴を屈折計の窓に落とした様子

携帯型クーラント屈折計の使用は、最も迅速、容易、かつ正確にクーラントの凝固点を確認する方法です。この方法は、十分な結果を得られない試験紙や浮遊式の比重計より正確です。

クーラント屈折計は John Deere 取扱店から SERVICEGARD™ 工具プログラムで入手できます。品番 75240 は、現場で正確な凝固点を確認する経済的な解決策になります。

この工具は次のように使用します。

1. 冷却システムを外気温まで冷まします。
2. ラジエータキャップを開いてクーラントを露出します。
3. 付属のスポイトで少量のクーラントサンプルを採取します。

SERVICEGARD は Deere & Company の商標です。

4. 屈折計の蓋を開き、クーラント 1 滴を窓に落として、蓋を閉じます。
5. アイピースから覗き、必要に応じて焦点を合わせます。
6. テスト中のクーラントの種類 (エチレングリコール系クーラントまたはプロプレングリコール系クーラント) ごとに示された凝固点を読み取ります。

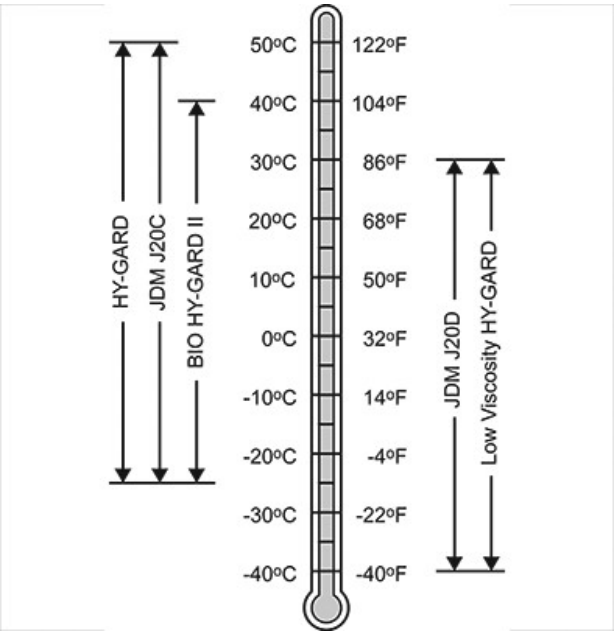
DX,COOL,TEST-40-13JUN13

その他の潤滑剤

トランスミッションオイルと作動油

以下に指定するオイルは次の場合に使用します：

- 油圧系統
- 全てのトランスミッション
- フロント PTO



RG30204—UN—08MAR18

気温範囲に適したオイル

次のオイル交換までの期間に予想される気温範囲に応じたオイル粘度を使用してください。

以下のオイルを推奨します。

- John Deere Hy-Gard™
- John Deere Low Viscosity Hy-Gard™

以下のいずれかに適合する他のオイルも使用できます。

- John Deere Standard JDM J20C
- John Deere Standard JDM J20D

生分解性溶液が必要な場合は、John Deere Bio Hy-Gard™ II オイルを使用してください。[1]

重要： **IVT 装備のトラクターで有効**：

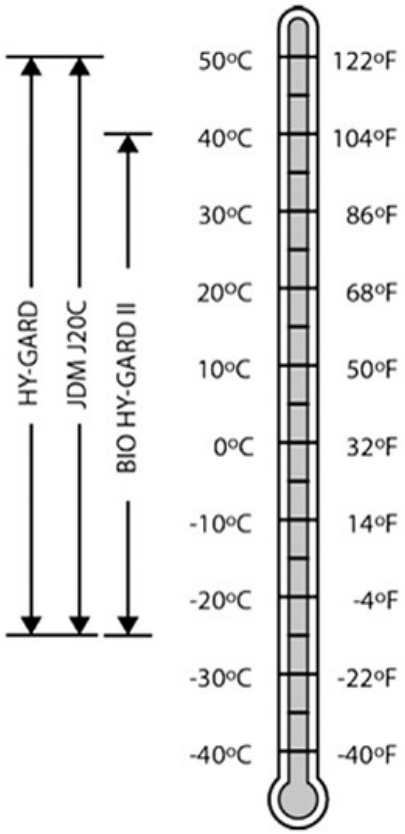
John Deere Hy-Gard™ または John Deere BIO Hy-Gard™ II のみを使用できます。

Hy-Gard Low Viscosity は使用しないでください。John Deere 仕様 JDM J20D に適合するオイルは使用しないでください。

重要： **フロント PTO には、効率を向上させる John Deere BIO Hy-Gard™ II の使用をお勧めします。**

LX25458,0000ADB,DX,ANTI-40-29JUN25

前輪駆動車軸用オイル



LX315180—UN—20JUN18

気温範囲に適したオイル

次のオイル交換までの期間に予想される気温範囲に基づいたオイル粘度を使用してください。

オイルの適合性の概要		
オイルの種類	ディスクブレーキ非装備の車軸	ディスクブレーキ装備の車軸
John Deere Hy-Gard™	はい	はい
John Deere Low Viscosity Hy-Gard™	なし	なし
Bio Hy-Gard™ II オイル	はい	なし
仕様に準拠する他のオイル：		
John Deere Standard JDM J20C	はい	はい

Hy-Gard は Deere & Company の商標です
Bio Hy-Gard は Deere & Company の商標です

[1] *Bio Hy-Gard II は、CEC-L-33-T-82 試験法による 21 日以内に 80% 以上の生分解性に適合し、それ以上の性質を有しています。Bio Hy-Gard II を鉱油と混合しないでください。混合によって生分解性が低下し、適正なオイルリサイクルができなくなります。*

John Deere Standard JDM J20D	なし	なし

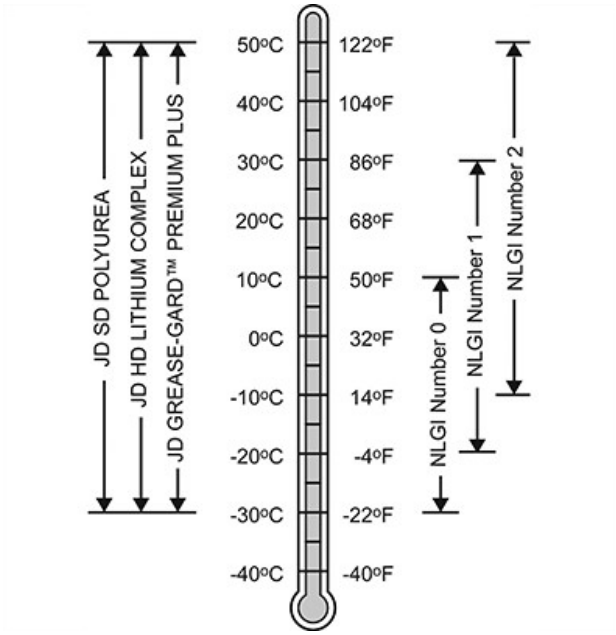
Hy-Gard は Deere & Company の商標です。
Bio Hy-Gard は Deere & Company の商標です。

重要： 不適切なオイルを使用すると、故障や損傷が発生します。

LX25458,0000ADC,LX,OILFA-40-09OCT20

多目的極圧 (EP) グリース

重要： 自動潤滑システムの場合は、異なる外気温度を考慮する必要があります。



RG30199—UN—08MAR18
気温範囲に適したグリース

NLGI グリースちょう度番号、および点検間隔中に予想される気温範囲に基づいたグリースを使用してください。

John Deere SD POLYUREA GREASE をお勧めします。

以下のグリースも推奨されています。

- John Deere™ HD Lithium Complex Grease
- John Deere™ Grease-Gard™ Premium Plus

以下の条件に適合する他のグリースも使用できます。

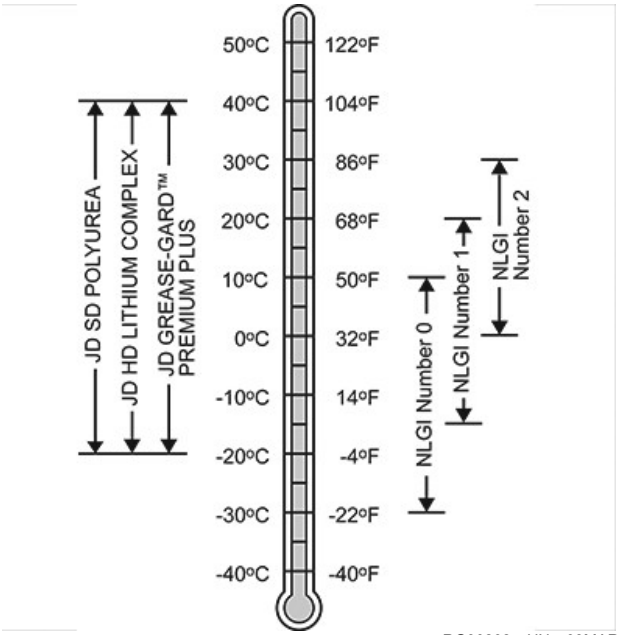
- NLGI 性能分類 GC-LB
- ISO-L-X-BDHB 2 または DIN KP 2 N-10 リチウム錯体、非合成基油 (100 ~ 220 mm2/s @40°C)

Grease-Gard は Deere & Company の商標です。

重要： グリースで使用されている一部の種類の増ちょう剤、基油、および添加剤は他のグリースと互換性がありません。グリースの混合は避ける必要があります。種類の違うグリースを混合する前に、グリースサプライヤにお問い合わせください。

DX,GREA1-40-13JAN18

自動潤滑システム用グリース



RG30202—UN—08MAR18
気温範囲に適したオイル

NLGI グリースちょう度番号、および整備間隔中に予想される気温範囲に基づいたグリースを使用してください。

John Deere SD POLYUREA GREASE をお勧めします。

以下のグリースも推奨されています。

- John Deere™ HD Lithium Complex Grease
- John Deere™ Grease-Gard™ Premium Plus

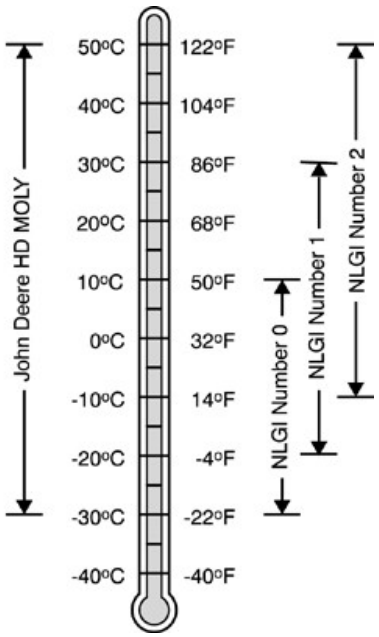
以下の条件に適合する他のグリースも使用できます：

- NLGI 性能分類 GC-LB
- ISO-L-X-BDHB 2 (ISO 6743-9 準拠) または DIN KP 2 N-20 (DIN 51825 準拠) リチウム錯体、非合成基油 (100 ~ 220 mm²/s @40°C)

重要： グリースで使用されている一部の種類の増ちょう剤、基油、および添加剤は他のグリースと互換性がありません。グリースの混合は避ける必要があります。種類の違うグリースを混合する前に、グリースサプライヤにお問い合わせください。

DX,GREA2-40-13JAN18

グリース



TS1674—UN—31OCT03

NLGI グリースちょう度番号、および整備間隔中に予想される気温範囲に基づいたグリースを使用してください。

John Deere HD MOLY GREASE をお勧めします。

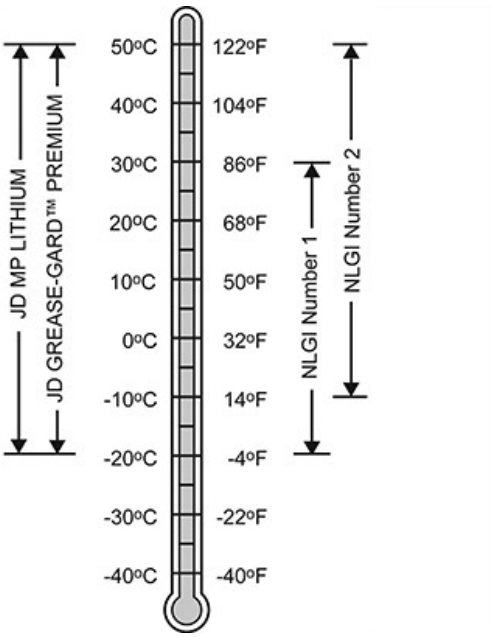
以下の条件に適合する他のグリースも使用できます：

- NLGI 性能分類 GC-LB、3 ~ 5% の二硫化モリブデンを含む

重要： **一部の種類のグリース増ちょう剤は他のものと混合できません。種類の違うグリースを混合する前に、グリースサプライヤにお問い合わせください。**

DX,GREA4-40-29JUN25

汎用グリース



RG30200—UN—08MAR18

気温範囲に適したグリース

重要： **自動潤滑システムの場合は、異なる外気温度を考慮する必要があります。**

NLGI グリースちょう度番号、および整備間隔中に予想される気温範囲に基づいたグリースを使用してください。

次のグリースをお勧めします：

- **John Deere™ MP リチウムグリース**
- **John Deere™ Grease-Gard™ Premium**

以下のグリースも推奨されています。

- John Deere™ HD Lithium Complex Grease
- John Deere™ Grease-Gard™ Premium Plus
- John Deere™ SD Polyurea Grease

以下の条件に適合する他のグリースも使用できます。

- NLGI 性能分類 GC-LB
- ISO-L-X-BCEB 2 または DIN K 2 K-10 リチウム、非合成基油 (100 ~ 220 mm²/s @40°C)

重要： **グリースで使用されている一部の種類の増ちょう剤、基油、および添加剤は他のグリースと互換性がありません。グリースの混合は避ける必要があります。種類の違うグリースを混合する前に、グリースサプライヤにお問い合わせください。**

DX,GREA5-40-13JAN18

Grease-Gard は Deere & Company の商標です。

潤滑剤の混合

通常は、異なるブランドまたは種類のオイルを混合しないでください。オイルメーカーは、一定の仕様や性能要件に適合するように添加剤を配合しています。

異なるオイルを混ぜると、これらの添加剤が適切に機能しなくなり、潤滑性能が低下することがあります。

DX,LUBMIX-40-18MAR96

潤滑剤の保管

清浄な潤滑剤を使用した場合のみ、装置は最も効率的に作動します。

すべての潤滑剤の取り扱いには清潔な容器を使用してください。

粉塵、湿気、その他の汚染から保護された場所に潤滑剤と容器を保管してください。 水分や埃がたまらないように容器は横向きに保管してください。

すべての容器に適切にマークを付けて、中身を識別できるようにしてください。

すべての古い容器およびその中に残留している潤滑剤は適切に処分してください。

DX,LUBST-40-11APR11

安全なメンテナンスとクリーニング



TS249—UN—23AUG88

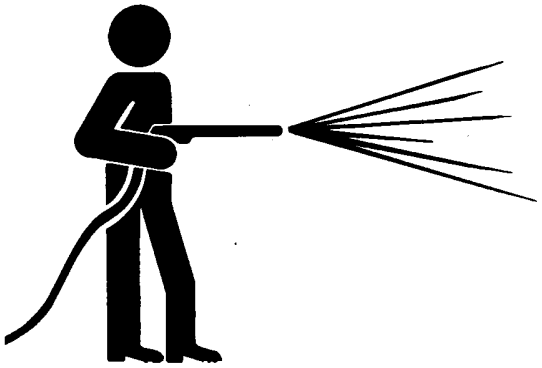
注意： 手が届きにくい場所の整備作業を行う場合は、必ず適切な足場、台、安全タラップを使用してください。

アクセスできない部分でクリーニングやメンテナンス作業 (例、ルーフライトの調整、冷却システムのメンテナンス作業、右側ドアのないトラクターでの右外側ミラーの調整、およびその他の同様の作業) を行うときは特別な注意が必要です。

注意： 作業者が登ることを目的としていないトラクターの部品に登ってこれらの作業を実施することは許可されていません。トラクターの部品が濡れている、汚れている、または凍結している場合は、特に落下する危険があります。

210,02,ALL,LX25458,0000AE4-40-20DEC23

高圧洗浄機の使用



T6642EJ—UN—18OCT88

重要： 高圧洗浄はトラクターを清掃する手段として非常に有効です。トラクターを損傷しないために、シール面、シールや銘板を洗浄する際は 1 m (39 in) 以内に近づかず、45 ~ 90° の角度で噴霧してください。最大圧力は 12000 kPa (120 bar) (1740 psi) を超えないでください。

どのような状況でも、熱くなっている部品 (エンジン等) に冷たい水を噴霧したり洗浄したりしないでください。回転式ノズルや 50°C (122°F) を超える温度の水は使用せず、またシール部には当てないでください。ジェット水流は常に動かしながら使用してください。冷却装置、ベアリング、電子/電気装置は、高圧洗浄機で洗浄しないでください。高圧洗浄機と取り付けている装置の取扱説明書の手順に従ってください。

210,03,ALL,LX25458,0000AE5-40-20DEC23

整備間隔の順守

重要： 推奨点検間隔は平均的な条件を対象としています。機械を悪条件で運転する場合は、より頻繁に整備してください。

慣らし運転期間中に、以下の整備作業を行う必要があります。

- 毎日または 10 運転時間ごとの整備 - セクション 210A、210B、210C 参照。
- 最初の 4、8、100 運転時間以内に、すべてのホイールボルトとホイールナットのトルクを繰り返し点検します。セクション 220C で、以下を参照してください。
  - ホイールボルトの締め付け
  - ホイールウエイトの締め付け
- 100 運転時間後の整備 - セクション 210A、210B、210C 参照。

重要： 新品またはリビルドエンジンの慣らし運転期間中、および John Deere Break-In Plus™ エンジンオイル (慣らし運転オイル) を使用しているときは、最初の 100 時間後にオイルとフィルタを交換します。

仕様に準拠するエンジンオイル (John Deere Plus-50™ II など) を使用します。セクション 200C の該当する仕様を参照してください。

セクション 210A、210B、210C に示されている時間間隔ですべての整備を実施して記録します。

210,04,ALL,LX25458,0000AE6-40-20DEC23

メンテナンス間隔

注意： エンジンを運転中にトラクターの整備を行わないでください。

潤滑とメンテナンスを実行する間隔は、積算時間計に示される実際の経過運転時間に依存します。積算時間計は、エンジン運転中にいつでも作動し、エンジン累積運転時間を示します。

メンテナンスの期限に達すると、警告音がエンジン始

動時に鳴ります (連続 5 回のエンジン始動時)。これにより整備期限であることをオペレータに知らせます。

エンジンタイプと排気系統に応じて、次の整備間隔が適用可能です。

エンジンの種類と排気系統	整備間隔
4 気筒エンジン：	毎
• ファイナルティア 4	500 時間
• ティア 3	500 時間
• ティア 2	500 時間
6 気筒エンジン：	毎
• ファイナルティア 4	750 時間
• ティア 3	750 時間
• ティア 3 (6210M)	
• ティア 2	500 時間
	500 時間

アワーメーターが使用可能な状態であることを常に点検してください。

潤滑および定期整備間隔は通常の作業条件でのものです。悪条件で作業する場合はこれらの間隔を短くしてください。

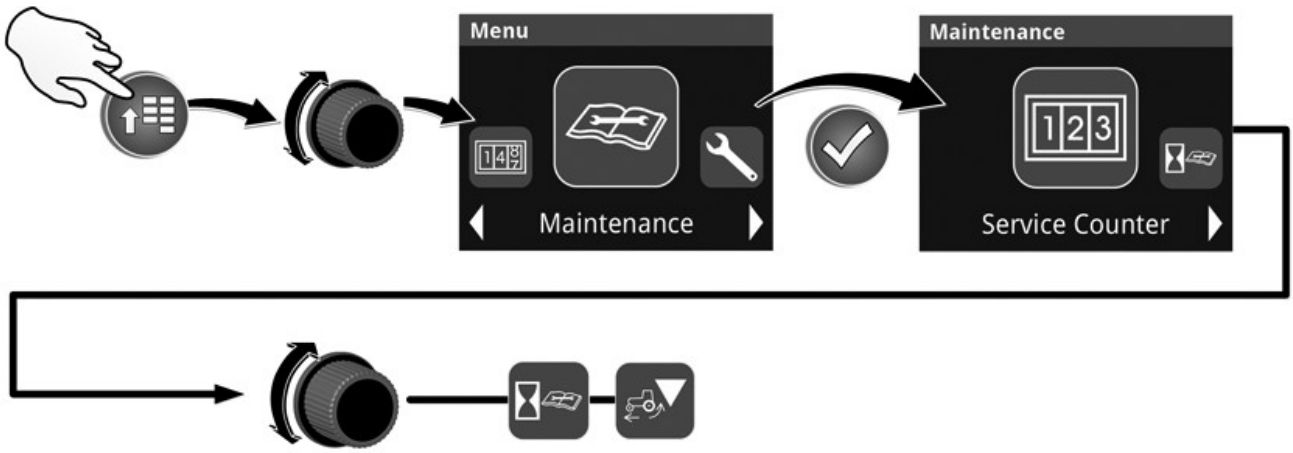
重要： 機械の整備、清掃、または修理の後は、安全ガードやシールドを再度取り付けてからトラクターの運転を再開してください。

210,05,OOS,SP,OULXA64,00053F5-40-20DEC23

メンテナンスメニュー

メンテナンスメニューへのアクセス

メニューボタンを押してメンテナンスメニューを選択し、確定します。



LX368243—UN—04FEB19

「メンテナンス」メニューの設定項目：

- アワーメータ/整備期限日
- 整備間隔の選択

アワーメータ/整備期限日

メンテナンスメニューで、次の整備のリマインダ機能を設定します。この目的のために、前回の整備以降の運転時間がカウントされます。期限日の 20 時間前に、システムは各始動時に次回の整備を通知します。

整備が完了した後、時間をリセットして次の整備間隔を入力する必要があります。このセクションの「整備間隔」を参照してください。

1. 整備カウンターにアクセスして (A) で確定します。



LX368244—UN—04FEB19

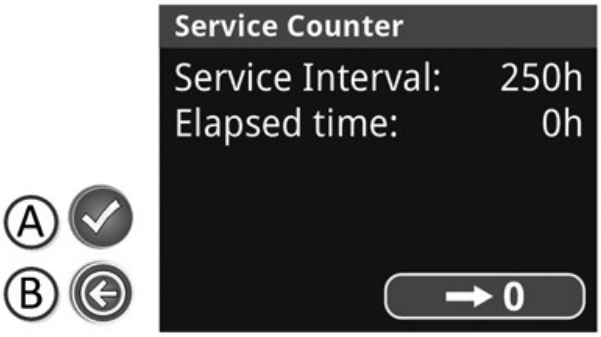
A：**確定**
B：**戻る**

2. ボタンを 3 秒間押して、整備カウンターをゼロにリセットするのを確定します。



LX368245—UN—04FEB19

3. 整備カウンターにゼロが表示されます。整備間隔を入力します。このセクションの「整備間隔」を参照してください。



LX368247—UN—04FEB19

A：**確定**
B：**戻る**

整備間隔

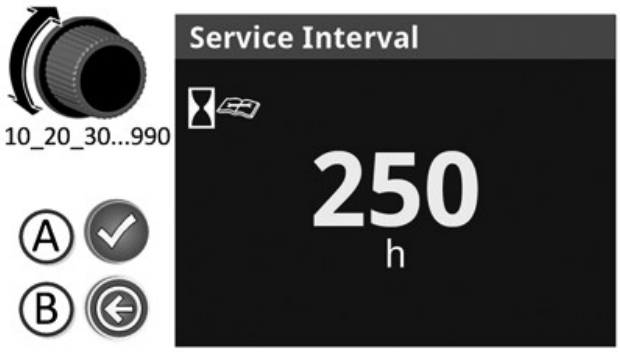
次の整備の注意喚起機能を使用できるように、整備間隔を入力する必要があります。

1. 整備間隔にアクセスして (A) で確定します。



LX368240—UN—04FEB19

2. 次の整備間隔を設定して (A) で確定します。



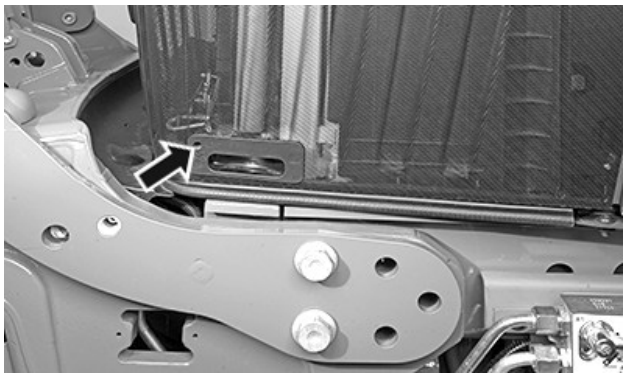
LX368241—UN—04FEB19

整備間隔の設定

210,06,SP,OULXA64,00056B2-40-20DEC23

フードを上げる

ラッチを解除してフード (バージョン 1) を上げる



LX364419—UN—28AUG19

適切な工具 (例、ドライバ) を使用して、ラッチを押し込んでフードを上に折りたたみます。

ラッチを解除してフード (バージョン 2) を上げる



LX364437—UN—30AUG19

ラッチを押し込んでフードを上に折りたたみます。

ラッチを解除してフードガードを下に折りたたむ (装備されている場合)



LX267123—UN—12APR17

注記： トラクターがフードプロテクタを装備している場合 (フロントローダー)、フードを開くにはフードプロテクタを折りたたむ必要があります。

210,07,SP1,OULXA64,00058C6-40-20DEC23

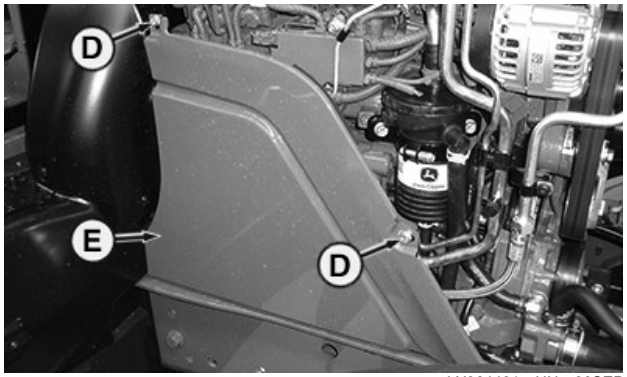
整備用ドアを開く

1. フードを開きます。
2. ねじ (A) とナット (B) を取り外します。



LX364352—UN—02APR19

3. シールド (C) を取り外します。
4. ねじ (D) を取り外します。整備用ドア (E) を取り外します。

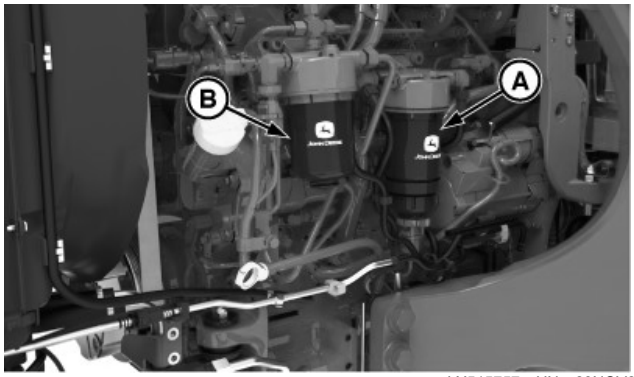


LX364461—UN—30SEP19

210,09,SP1,OULXA64,00058C7-40-20DEC23

燃料系統からのエア抜き (4 気筒エンジン)

注意： 燃料ラインに残っている高圧流体により、大けがをすることがあります。燃料ライン、センサー、または他の燃料噴射ポンプとノズル間にある部品の接続を外したり、修理したりしないでください。



LX515757—UN—28NOV23

A：**一次燃料フィルタ**
B：**二次燃料フィルタ**

燃料タンクが空になった場合、または燃料フィルタ (A) および (B) を交換した場合は、必ず燃料系統のエア抜きを行う必要があります。

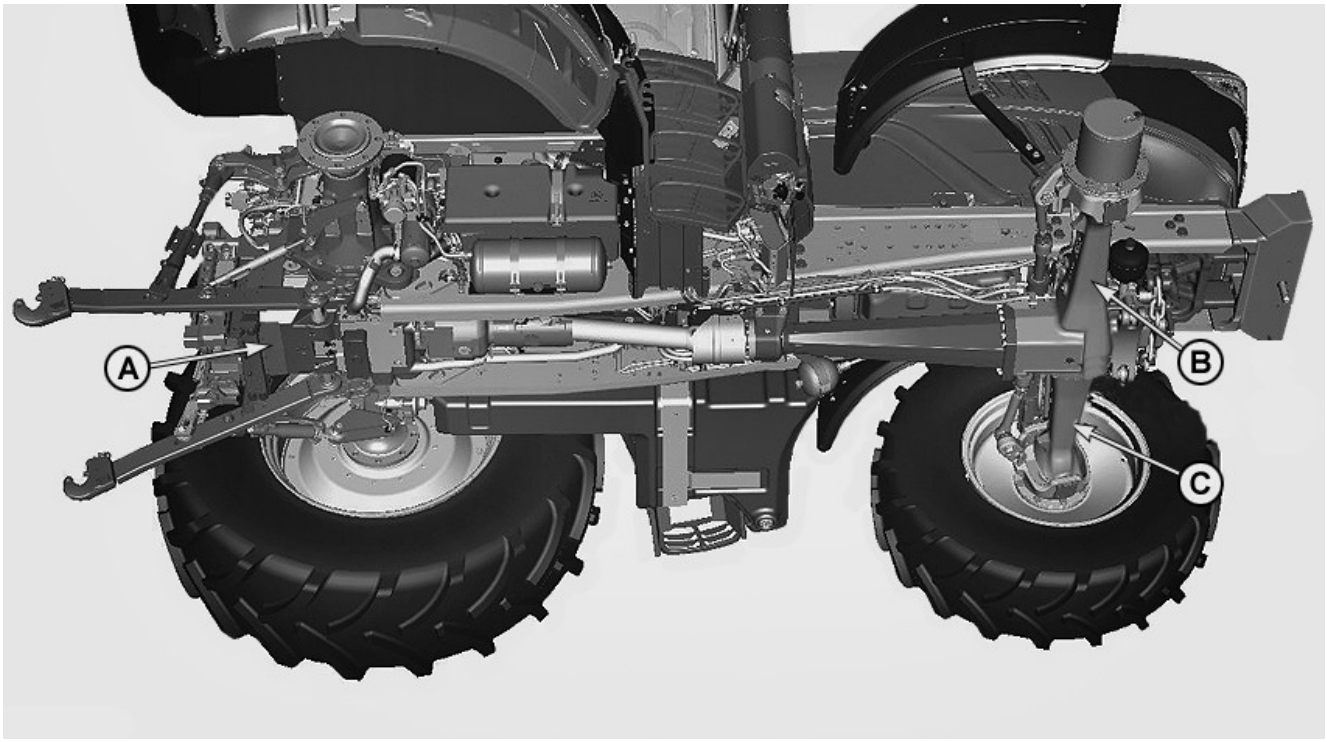
キースイッチを最初のスイッチ位置まで右に回して、燃料供給ポンプを約 120 秒間運転します。必要に応じて繰り返します。

210,10,4CYL,SP1,OULXA64,00058E2-40-21DEC23

トラクターのジャッキアップ、リフトポイント

リフトポイント - まとめ

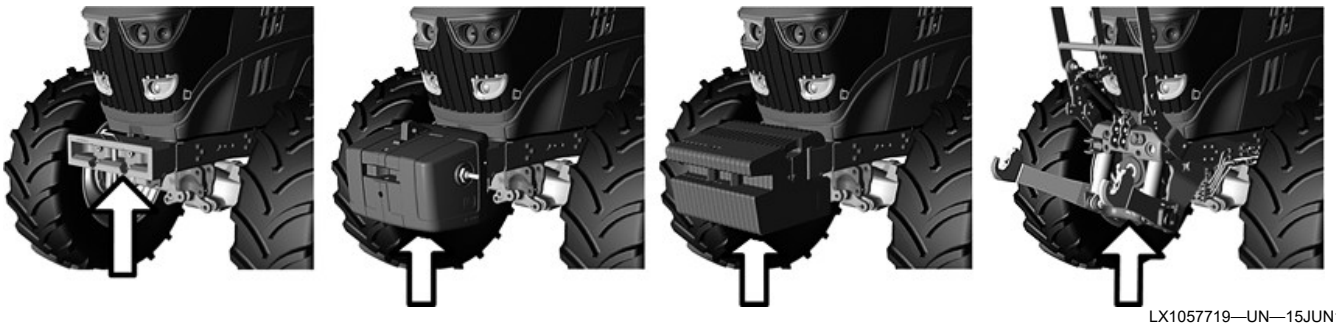
トラクターのジャッキアップ用の推奨リフトポイントを図に示します。十分な吊上げ力を備えた、安定したジャッキを使用してください。該当する取扱説明書の「荷重と重量」(セクション 500A) を参照してください。



LX1057721—UN—15JUN12

A：**トラクター後部を上げる (後輪の取り外しなど)**
B：**車軸の右端を上げる (右前輪の取り外しなど)**
C：**車軸の左端を上げる (左前輪の取り外しなど)**

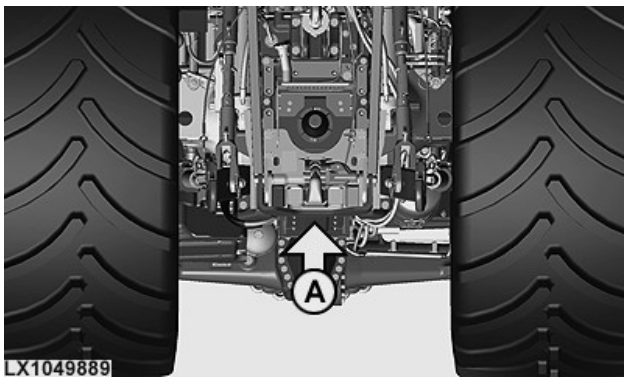
リフトポイント、トラクターの前部中心



LX1057719—UN—15JUN12

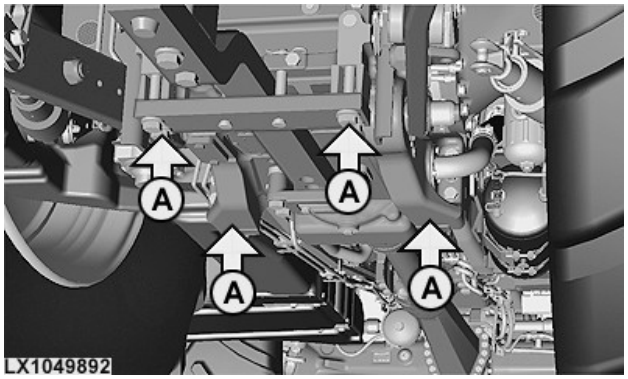
トラクターの前部中央を上げる *(*トラクターの装備によって異なる*)*

後部のリフトポイント



LX1049889—UN—11FEB11

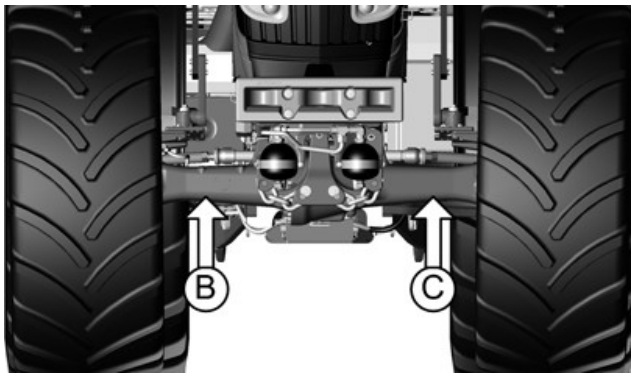
ピックアップヒッチあり



LX1049892—UN—11FEB11

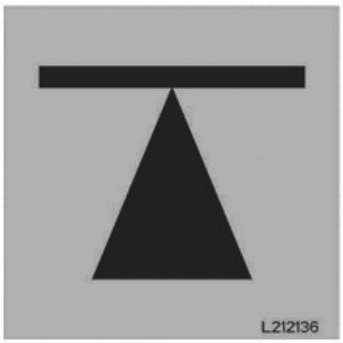
なし

フロントアクスルのリフトポイント



LX1057720—UN—15JUN12

前輪交換のために車軸を上げる



RXA0127282—UN—23JUL12

リフトポイントラベル *(*装備されている場合*)*

B：**右前輪取り外しのために車軸の右端を上げる**
C：**左前輪取り外しのために車軸の左端を上げる**

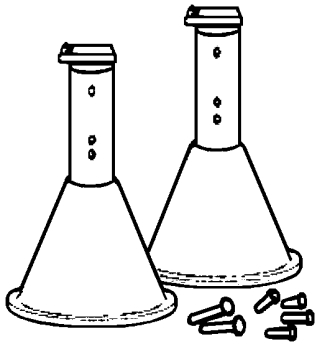
認可済み、承認済みの吊り具

注意： 認可、承認済みのホイストだけを使用してください。

トラクターのジャッキアップは、しっかりした水平な地面上でのみ行ってください。

トラクターでの作業を進める前に、まず適切なサポートスタンドを使用してトラクターを固定してください。欧州連合の範囲内では、CE 証明のあるホイストのみが許可されています。

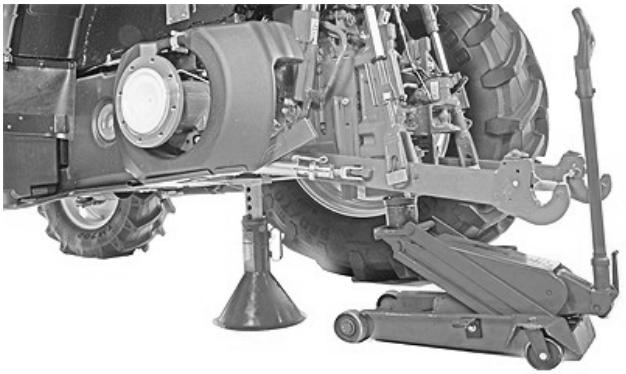
注記： 適切なサポートスタンドを自動車整備用品サプライヤから入手してください。EU の範囲外では、図に示すサポートスタンド (CE 証明書なし) を John Deere 流通機構から入手できます。



JT07211

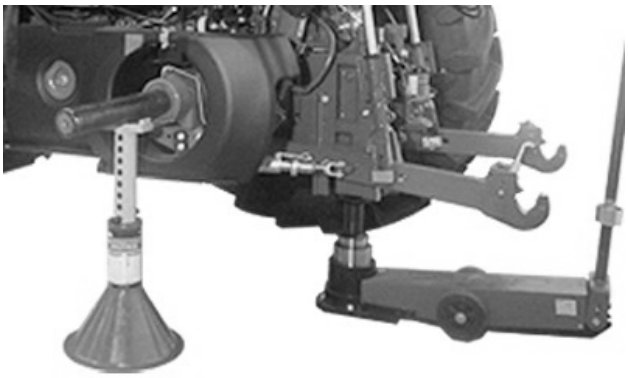
JT07211—UN—14DEC06

例： *JT02043* または *JT02044*



LX515430—UN—12JUN23

例： *JT02043* または *JT02044*



LX515431—UN—12JUN23

例： *JT02043* または *JT02044*

JT02043：**サポートスタンド、482 ~ 736 mm (19 ~ 29 in)**
JT02044：**サポートスタンド、863 ~ 1117 mm (34 ~ 44 in)**

210,16,SP,6R,OULXA64,00056B5-40-20DEC23

トラクターの状態に関する一般指示事項

重要： **特定の整備作業には、技術的経験と専用の装置が必要です。**

定期的または遅くとも点検間隔ごとにトラクターの徹底した目視点検を実施してください。以下を確認してください。

- 安全装置やガードが所定の位置にあり、正しく取り付けられている。
- すべての警告銘板と説明パネルが所定の位置にあり、読みやすい。
- タイヤの状態が良好。
- すべてのラインやホースの状態が良好。
- 電気ケーブルやアース接続の状態が良好。
- 熱にさらされる部分に可燃物がない。
- トラクターに漏れがない。

注記： 通常の時間間隔で実施する必要のない整備は、「整備」(必要に応じて、毎年、2 年ごと、3 年ごと) に示しています。その中の定期的な整備 (毎年、2 年ごと、3 年ごと) は、整備記録簿のセクション 210B で扱っています。

210,17,ALL,LX25458,0000AEB-40-10JUL25

油圧ホースの点検/交換

油圧ホースは定期的に (年 1 回以上)、漏れ、よじれ、切れ目、破れ目、摩耗、膨張、腐食、生地の露出、その他の摩耗や損傷の兆候がないか点検してください。

摩耗または損傷しているホースは直ちに交換してください。

交換用ホースは通常の予備部品チャンネルを通じて入手できます。

210,18,ALL,LX25458,0000AEC-40-10JUL25

オルタネータに関する重要な指示事項

重要： **補助バッテリーや充電器のケーブルは、この目的用の電極にのみ接続する必要があります。**

バッテリーの接続を外している間はバッテリーのプラスケーブル (+) を適切に絶縁して、オルタネータが損傷しないようにしてください。

「補助バッテリーによるエンジンの始動」(セクション 20) も参照してください。

注記： オルタネータには過電圧保護機能があります。



LX364348—UN—02APR19

エンジン運転中は、一瞬でもオルタネータの回路を短絡させたり、アースに接続したりしないでください。

バッテリーを適切な電極に接続して充電します。(+) と (-) を不適切に接続すると、整流ダイオードがすぐ壊れます。

電気システムの修理を行う前に、バッテリーのアーストラップ (—) の接続を外します。このような作業を行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子 (-) の接続を外します。

210,19,SP1,OULXA64,00058C8-40-20DEC23

ホイールとタイヤに関する注意

重要： **タイヤ交換または片側から反対側へのホイールの変更の後は、すべてのホイールボルトとホイールナットを規定のトルクで締め付けてください。運転開始から 4 時間後と 8 時間後にホイールナットとホイールボルトのトルクを点検し、その後 100 時間の運転中も頻繁に点検してください。セクション 220C を参照してください。**

以下の部品を交換した後、

- ホイール/タイヤ
- トレッド幅
- フェンダー
- ステアリングストップ

操舵時にホイールとフェンダーがトラクター構成部品と接触しないことを確認することは非常に重要です。「前輪またはフェンダーとトラクター部品の接触の防止」(セクション 80) を参照してください。

210,20,ALL,LX25458,0000AEE-40-20DEC23

初回始動の前と日常の整備に関する注意事項

重要： **初回始動の前または日常の整備中に、次の整備を実施してください**：

• 整備 - 毎日または 10 時間ごと、セクション 210B 参照。

注記： 初回始動の前およびトラクターの整備を長期間行わなかった場合は、以下の作業も実施する必要があります。

- 燃料タンクから水と残留物の抜き取ります。
- エンジンフードとキャブの下側からごみやその他の異物を取り除きます。

210,21,ALL,0LX25458,000AEF-40-20DEC23

エンジンシリアル番号、ステージ、後処理装置に関する情報

エンジンシリアル番号	エンジンの準拠ステージ	後処理装置
4 気筒エンジン 4045G	ティア 2 / ステージ II	なし
4 気筒エンジン 4045L	ティア 3/ステージ IIIA	Yes (はい)
4 気筒エンジン 4045U	ファイナルティア 4 / ステージ IV およびステージ V	Yes (はい)
6 気筒エンジン 6068G	ティア 2 / ステージ II	なし
6 気筒エンジン 6068L	ティア 3/ステージ IIIA	Yes (はい)
6 気筒エンジン 6068U	ファイナルティア 4 / ステージ IV およびステージ V	Yes (はい)

210,23,OOS,SP,LX25458,0000AF1-40-20DEC23

エアコンシステムの起動の手順

重要： **長期間停止していたことによる損傷を防止してください。**

初回操作の前にエアコンコンプレッサを接続する必要があります。

初回操作の前および長期停止期間の後は、始動手順に従ってください。

始動手順：

1. エンジンを始動して、ローアイドル設定で運転します。



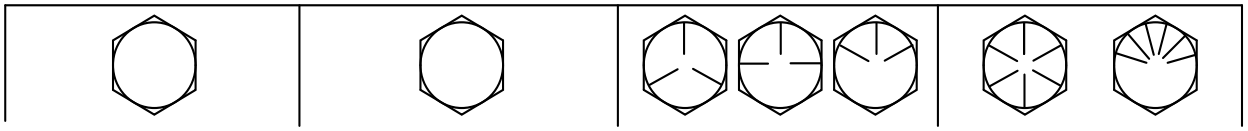
LX364349—UN—02APR19

A：**ブロワ**
B：**ヒーター**
C：**エアコンシステムの ON/OFF**

2. ブロワ (A) を 10 分間オンにして、ヒーター (B) を最大熱出力に設定します。
3. エアコンシステム (C) をオンにして、ブロワを最高設定に設定します。エンジンをさらに 10 分間運転します。
4. その後、手順を完了したら、エンジンを停止できます。

210,24,SP,OULXA64,00056B7-40-20DEC23

ユニファイインチボルトとねじのトルク値



TS1671—UN—01MAY03

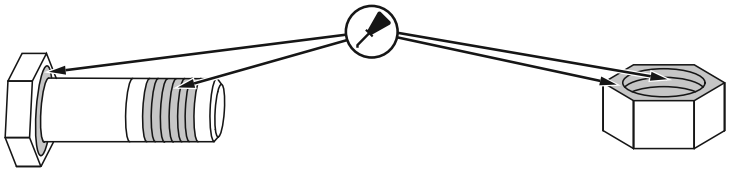
ボルトまたはネジのサイズ	SAE 等級 1[a]				SAE 等級 2[b]				SAE 等級 5、5.1、5.2				SAE 等級 8 または 8.2			
	六角頭[c]		フランジ付き[d]		六角頭[c]		フランジ付き[d]		六角頭[c]		フランジ付き[d]		六角頭[c]		フランジ付き[d]	
	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in
1/4	3.1	27.3	3.2	28.4	5.1	45.5	5.3	47.3	7.9	70.2	8.3	73.1	11.2	99.2	11.6	103
													N·m	lb·ft	N·m	lb·ft
5/16	6.1	54.1	6.5	57.7	10.2	90.2	10.9	96.2	15.7	139	16.8	149	22.2	16.4	23.7	17.5
									N·m	lb·ft	N·m	lb·ft				
3/8	10.5	93.6	11.5	102	17.6	156	19.2	170	27.3	20.1	29.7	21.9	38.5	28.4	41.9	30.9
					N·m	lb·ft	N·m	lb·ft								
7/16	16.7	148	18.4	163	27.8	20.5	30.6	22.6	43	31.7	47.3	34.9	60.6	44.7	66.8	49.3
	N·m	lb·ft	N·m	lb·ft												
1/2	25.9	19.1	28.2	20.8	43.1	31.8	47	34.7	66.6	49.1	72.8	53.7	94	69.3	103	75.8
9/16	36.7	27.1	40.5	29.9	61.1	45.1	67.5	49.8	94.6	69.8	104	77	134	98.5	148	109
5/8	51	37.6	55.9	41.2	85	62.7	93.1	68.7	131	96.9	144	106	186	137	203	150
3/4	89.5	66	98	72.3	149	110	164	121	230	170	252	186	325	240	357	263
7/8	144	106	157	116	144	106	157	116	370	273	405	299	522	385	572	422
1	216	159	236	174	216	159	236	174	556	410	609	449	785	579	860	634
1-1/8	305	225	335	247	305	225	335	247	685	505	751	554	1110	819	1218	898
1-1/4	427	315	469	346	427	315	469	346	957	706	1051	775	1552	1145	1703	1256
1-3/8	564	416	618	456	564	416	618	456	1264	932	1386	1022	2050	1512	2248	1658
1-1/2	743	548	815	601	743	548	815	601	1665	1228	1826	1347	2699	1991	2962	2185

記載されている公称トルク値は、手動トルクレンチなどのレンチ精度を 20% と想定した一般的な用途に限定したものです。
特定の用途のために異なるトルク値や締め付け手順が指定されている場合は、これらの値を使用しないでください。
ロックナット、ステンレススチール製留め具、または U ボルトのナットについては、特定の用途の締め付け手順を参照してください。

留め具は、同じ等級またはそれ以上の等級のものと交換してください。より高い等級の留め具を使用する場合は、元の強さで締め付けてください。

- 留め具のねじ山が清浄であることを確認します。
- 以下の図に示すように、Hy-Gard™ または同等のオイルを頭の下および留め具のねじ山に薄く塗ります。
- 過剰なオイルによる止まり穴での油圧ロックアップの可能性を減らすため、オイルの量を控えめにしてください。
- ねじ山を正しくかみ合わせます。

ボルトまたはネジのサイズ	SAE 等級 1[a]		SAE 等級 2[b]		SAE 等級 5、5.1、5.2		SAE 等級 8 または 8.2	
	六角頭[c]	フランジ付き[d]	六角頭[c]	フランジ付き[d]	六角頭[c]	フランジ付き[d]	六角頭[c]	フランジ付き[d]

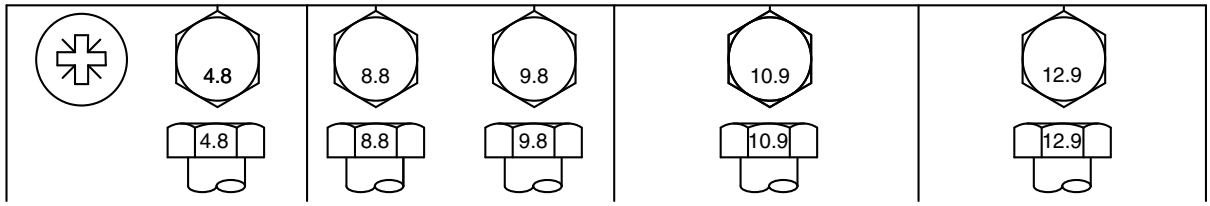


TS1741—UN—22MAY18

[a]*等級 1 は、6 in (152 mm) より長い六角キャップスクリューと、他のすべての長さのボルトおよびねじに適用されます。*
[b]*等級 2 は、長さ 6 in (152 mm) までの (六角ボルトではなく) 六角キャップスクリューに適用されます。*
[c]*六角頭の列の値は、ISO 4014 および ISO 4017 六角頭、ISO 4162 六角穴付き頭、および ISO 4032 六角ナットに有効です。*
[d]*六角フランジ付きの列の値は、ASME B18.2.3.9M、ISO 4161、または EN 1665 の六角フランジ付き製品に有効です。*

DX,TORQ1-40-09MAY22

メトリックボルトとねじのトルク値



TS1742—UN—31MAY18

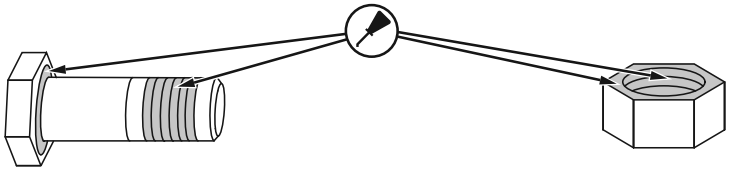
ボルトまたはネジのサイズ	4.8クラス				等級 8.8 または 9.8				等級 10.9				等級 12.9			
	六角頭[a]		フランジ付き[b]		六角頭[a]		フランジ付き[b]		六角頭[a]		フランジ付き[b]		六角頭[a]		フランジ付き[b]	
	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in	N·m	lb·in
M6	3.6	31.9	3.9	34.5	6.7	59.3	7.3	64.6	9.8	86.7	10.8	95.6	11.5	102	12.6	112
									N·m	lb·ft	N·m	lb·ft	N·m	lb·ft	N·m	lb·ft
M8	8.6	76.1	9.4	83.2	16.2	143	17.6	156	23.8	17.6	25.9	19.1	27.8	20.5	30.3	22.3
			N·m	lb·ft	N·m	lb·ft	N·m	lb·ft								
M10	16.9	150	18.4	13.6	31.9	23.5	34.7	25.6	46.8	34.5	51	37.6	55	40.6	60	44.3
	N·m	lb·ft														
M12	—	—	—	—	55	40.6	61	45	81	59.7	89	65.6	95	70.1	105	77.4
M14	—	—	—	—	87	64.2	96	70.8	128	94.4	141	104	150	111	165	122
M16	—	—	—	—	135	99.6	149	110	198	146	219	162	232	171	257	190
M18	—	—	—	—	193	142	214	158	275	203	304	224	322	245	356	263
M20	—	—	—	—	272	201	301	222	387	285	428	316	453	334	501	370
M22	—	—	—	—	365	263	405	299	520	384	576	425	608	448	674	497
M24	—	—	—	—	468	345	518	382	666	491	738	544	780	575	864	637
M27	—	—	—	—	683	504	758	559	973	718	1080	797	1139	840	1263	932
M30	—	—	—	—	932	687	1029	759	1327	979	1466	1081	1553	1145	1715	1265
M33	—	—	—	—	1258	928	1398	1031	1788	1319	1986	1465	2092	1543	2324	1714
M36	—	—	—	—	1617	1193	1789	1319	2303	1699	2548	1879	2695	1988	2982	2199

記載されている公称トルク値は、手動トルクレンチなどのレンチ精度を 20% と想定した一般的な用途に限定したものです。
特定の用途のために異なるトルク値や締め付け手順が指定されている場合は、これらの値を使用しないでください。
ロックナット、ステンレススチール製留め具、または U ボルトのナットについては、特定の用途の締め付け手順を参照してください。

留め具は、同じ等級またはそれ以上の等級のものと交換してください。より高い等級の留め具を使用する場合は、元の強さで締め付けてください。

- 留め具のねじ山が清浄であることを確認します。
- 以下の図に示すように、Hy-Gard™ または同等のオイルを頭の下および留め具のねじ山に薄く塗ります。
- 過剰なオイルによる止まり穴での油圧ロックアップの可能性を減らすため、オイルの量を控えめにしてください。

ボルトまたはネジのサイズ	4.8クラス		等級 8.8 または 9.8		等級 10.9		等級 12.9	
	六角頭[a]	フランジ付き[b]	六角頭[a]	フランジ付き[b]	六角頭[a]	フランジ付き[b]	六角頭[a]	フランジ付き[b]
• ねじ山を正しくかみ合わせます。								



TS1741—UN—22MAY18

[a]六角頭の列の値は、ISO 4014 および ISO 4017 六角頭、ISO 4162 六角穴付き頭、および ISO 4032 六角ナットに有効です。
[b]六角フランジ付きの列の値は、ASME B18.2.3.9M、ISO 4161、または EN 1665 の六角フランジ付き製品に有効です。

DX,TORQ2-40-09MAY22

整備間隔 - ファイナルティア 4 エンジン装備のトラクター専用 (4 気筒)

一般情報

- この取扱説明書の技術情報は、印刷時点での最新の情報に対応しています。
- 内容には国やモデル固有の差異がある可能性があります。ここで説明しているすべてのオプションがお使いのトラクターに装備されているわけではないことを考慮してください。
- 国によっては、説明されている一部のモデルが使用できない場合があります。
- オプション装置と関連する仕様について質問がある場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

500A,000,OULXA64,0005EA5-40-10JUL25

注記

本取扱説明書にはお客様のトラクターの整備スケジュールが記載されています。トラクターの最高の性能、経済性、耐用年数を引き出すため、本取扱説明書の仕様に従って確実にすべての整備を実施し、本取扱説明書に記録してください。
トラクターに対して実施されたすべての整備の正確な記録を残すことで、売却時に最も有利な価格を得られる可能性が高くなります。購入を考えている人はこれらの記録から、トラクターが定期的に整備されていることを確認できます。この小冊子は、トラクターの全履歴を容易に追跡できるので、付加的な保安手段としても役立ちます。

すべての John Deere オイル、グリース、整備製品は、トラクターに最大の保護と性能を提供するように最適化されています。このため、John Deere 純正整備製品や交換部品のみを使用することをお勧めします。
保証された権利を守るために、スケジュールされているすべての整備を確実に実施し、記録してください。お使いのトラクターが延長保証 (John Deere PowerGard™) の対象となっている場合は、保証期間中これらの記録をつけることが重要です。

210AtoC,001ALL,LX25458,0000AF4-40-10JUL25

毎日または 10 運転時間ごとの整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。

電気システム：

- ☐ ライトを点検します。

点検：

- ☐ エンジンオイルレベル
- ☐ クーラントレベル
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルレベル
- ☐ 燃料フィルタを点検し、油水分離器を水抜きします。
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ ブレーキを点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。[1]

潤滑、トラクターを非常に湿潤でぬかるんだ条件で運転している場合：

- ☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
- ☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
- ☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
- ☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
- ☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ
- ☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
- ☐ リアアクスルベアリング

[1] 凝縮水を排出した場合は、レシーバドライヤーカートリッジを交換します。そうでなければ、遅くとも 1500 時間または 2 年ごとに交換します。

OULXA64,SP1,EX,00058C9-40-01SEP23

整備 (必要に応じて、1 年ごと、2 年ごと、および 3 年ごと) - ファイナルティア 4 エンジン装備のトラクターのみ (4 気筒)

整備手順	必要に応じて	1 年ごと	2 年ごと	3 年ごと
ヒューズとリレーの交換	•			
キャビンエアフィルタの清掃 (キャビンエアフィルタを 1500 運転時間ごとまたは 2 年ごとに交換)	•			
ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。	•			
冷却システム - ビスカスファンの点検	•			
燃料系統のエア抜き	•			
機械式キャブサスペンションの点検	•			
潤滑箇所へのグリース給油 (高圧洗浄機で洗浄後)	•			
リア PTO - PTO スタブシャフトサポートの潤滑 (リバーシブル PTO スタブシャフト)	•			
トランスミッションオイルフィルタの交換 (注意灯が点滅し、対応する情報が表示されたとき、または 500 時間ごと)	•			
作動油フィルタの交換 (注意灯が点滅し、対応する情報が表示されたとき、または 500 時間ごと)	•			
トレーラーヒッチ - すべての構成部品の摩耗の点検、すべての構成部品の適切な作動の点検	•			
前輪と後輪 - ホイール交換の後、およびトレッド幅を調整した後、以下に示すボルトのトルクを点検します。4 運転時間後および 8 運転時間後に点検し、次の 100 運転時間中に頻繁に点検します (「メンテナンス - 500 時間ごと」参照)。 • 車軸のホイールディスク • リムのホイールディスク • ホイールウェイト	•			
ホイール - デュアルホイールの取り付け、取り付けねじのトルクの点検 (メーカーの仕様参照)	•			
長期停止期間の後はエアコンシステムの起動の手順を順守 (「整備 - 一般情報」参照)	•			
燃料タンク通気穴 (装備されている場合) - 埃の多い環境で操作している場合、堆積物がないかフィルタを点検 (少なくとも 3000 時間ごと)	•			
DEF タンク - フィラーネックの画面の清掃	•			
DEF タンクの通気 - 特に埃の多い環境で操作している場合、堆積物がないかフィルタを点検 (遅くとも 3000 時間ごと)。	•			
DEF システムの定期的な (または 4,500 時間ごとの) 整備 • DEF タンクの清掃 • DEF 供給装置のフィルタの交換	•			•
フロントローダー取り付けフレーム - 取り付けねじのトルクの点検 (フロントローダーの取扱説明書と取り付け説明書参照)	•	•	•	•
シートベルトの損傷の点検および正常に作動することを確認 (または 500 時間ごとのいずれか早い時期)		•	•	•
油圧ホースの点検		•	•	•
エンジン - 駆動ベルトの摩耗の点検 (または 500 時間ごとのいずれか早い時期)		•	•	•
エンジンオイルの交換 (または 500 時間ごとのいずれか早い時期)		•	•	•
キャブ - 活性炭フィルタを交換します (装備されている場合)。セクション 220E を参照してください。		•	•	•
エンジンエアクリーナ - 一次フィルタの交換 (注意灯が点滅して対応する情報が表示されたとき、または 1500 時間ごと)			•	
エンジンエアクリーナ - 二次エレメントの交換 (一次フィルタの交換 4 回目ごと、または 4500 時間ごと)				•
キャビンエアフィルタの交換 (エンジンエアクリーナの一次フィルタを交換したとき、または 1500 時間ごと)			•	
キャブ - 再循環エアフィルターの交換 (エンジンエアクリーナの一次フィルタを交換したとき、または 1500 時間ごと)			•	
エアブレーキシステム - レシーバドライヤーカートリッジの交換 (圧縮空気タンク点検時に凝縮水が出てきた場合は早めの交換が必要、または 1500 時間ごと)			•	

OULXA64,SP1,EX,00058CA-40-17JUL25

定期整備 — ファイナルティア 4 エンジン搭載のトラクター専用 (4 気筒)

次に挙げる運転時間数に達した時点で、表で指定されている整備間隔を適用します。

注記： 整備作業を行うときは、必ず損傷がないか点検し (油圧ライン、ワイヤハーネスなど)、必要に応じて交換してください。

運転時間	整備間隔は次の間隔を含みます	運転時間	整備間隔は次の間隔を含みます
10	10	5000	10 + 500
100	10 + 100	5500	10 + 500
500	10 + 500	6000	10 + 500 + 1500 + 3000 + 6000
1000	10 + 500	6500	10 + 500
1500	10 + 500 + 1500	7000	10 + 500
2000	10 + 500	7500	10 + 500 + 1500
2500	10 + 500	8000	10 + 500
3000	10 + 500 + 1500 + 3000	8500	10 + 500
3500	10 + 500	9000	10 + 500 + 1500 + 3000 + 4500
4000	10 + 500	9500	10 + 500
4500	10 + 500 + 1500 + 4500	10000	10 + 500 + 10000

LX25458,FT4,500STD,0000AF7-40-28AUG23

エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔

重要： 推奨される整備間隔より運転時間が短い場合でも、最低 12 か月に 1 回はオイルとオイルフィルタを交換してください。

エンジンオイルとフィルタを交換するたびに、次回のオイルとフィルタの交換サービスの日付、運転時間、および時間を記録する必要があります。

これには、「*エンジンオイルとフィルタの交換*」の点検フォームを使用します。このセクションを参照。

オイルの整備間隔を短くする要因があることに注意してください。最後の表を参照してください。

表で指定されている硫黄含有量よりも高い硫黄含有量のディーゼル燃料を使用しないでください。

エンジンオイルとフィルタの整備間隔の条件 — ティア 2 エンジンのみ									
エンジンおよび排出ガス規制	**6M モデルの概要**	**6R モデルの概要**	**エンジンの種類**	**13 桁のエンジンシリアル番号**	**オイルパンサイズ (L/KW)**	**(JDS-135G) ディーゼル燃料の硫黄含有量が次の場合：**	**使用されているエンジンオイルとオイルフィルタ：**	**初期エンジンオイル交換サービス (慣らし運転用オイル)**	**一定間隔時間**
4 気筒 ティア 2、ステージ II エンジン	6110M 6125M	—	4045HL289	CD4045-**G**xxxxxx	0.17—0.20	2000 mg/kg (2000 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	500
4 気筒 ティア 2、ステージ II エンジン	6110M 6125M	—	4045HL289	CD4045-**G**xxxxxx	0.17—0.20	2000 ~ 5000 mg/kg (2000 ~ 5000 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	400
6 気筒 ティア 2、ステージ II エンジン	6140M 6155M 6175M 6195M	—	6068HL289	CD6068-**G**xxxxxx	0.15—0.21	2000 mg/kg (2000 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	500
6 気筒 ティア 2、ステージ II エンジン	6140M 6155M 6175M 6195M	—	6068HL289	CD6068-**G**xxxxxx	0.15—0.21	2000 ~ 5000 mg/kg (2000 ~ 5000 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	400
*使用開始 100 時間後、遅くとも使用開始 500 時間後。									

エンジンオイルとフィルタの整備間隔の条件 — ティア 3 エンジンのみ									
エンジンおよび排出ガス規制	**6M モデルの概要**	**6R モデルの概要**	**エンジンの種類**	**13 桁のエンジンシリアル番号**	**オイルパンサイズ (L/KW)**	**(JDS-135G) ディーゼル燃料の硫黄含有量が次の場合：**	**使用されているエンジンオイルとオイルフィルタ：**	**初期エンジンオイル交換サービス (慣らし運転用オイル)**	**一定間隔時間**
4 気筒 ティア 3、ステージ III PSN エンジン	6130M 6140M	6R 110 6R 130	4045HL536	CD4045-**L**xxxxxx	0.16 ~ 0.20	50 mg/kg 未満 (50 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	500
4 気筒 ティア 3、ステージ III PSN エンジン	6130M 6140M	6R 110 6R 130	4045HL536	CD4045-**L**xxxxxx	0.16—0.20	50 ~ 500 mg/kg (50 ~ 500 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	500
6 気筒 ティア 3、ステージ III PVN エンジン	6155M 6155MH 6175M 6195M	6R 145 6R 155 6R 175 6R 195 6R 215	6068HL535 6068HL538	CD6068-**L**xxxxxx	0.14—0.22	50 mg/kg 未満 (50 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	750
6 気筒 ティア 3、ステージ III PVN エンジン	6155M 6155MH 6175M 6195M	6R 145 6R 155 6R 175 6R 195 6R 215	6068HL535 6068HL538	CD6068-**L**xxxxxx	0.14—0.22	50 ~ 500 mg/kg (50 ~ 500 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	500
6 気筒 ティア 3、ステージ III PTE エンジン	6210M	—	6068HL290	CD6068-**L**xxxxxx	0.14	1000 mg/kg 未満 (1000 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	500
6 気筒 ティア 3、ステージ III PTE エンジン	6210M	—	6068HL290	CD6068-**L**xxxxxx	0.14	1000 ~ 2000 mg/kg (1000 ~ 2000 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	400
6 気筒 ティア 3、ステージ III PSN エンジン	—	6R 230	6068HL530	CD6068-**L**xxxxxx	0.14—0.22	50 mg/kg 未満 (50 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	750
6 気筒 ティア 3、ステージ III PSN エンジン	—	6R 230	6068HL530	CD6068-**L**xxxxxx	0.14—0.22	50 ~ 500 mg/kg (50 ~ 500 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	500
6 気筒 ティア 3、ステージ III PSN エンジン	—	6R 250	6068HL530	CD6068-**L**xxxxxx	0.13	50 mg/kg 未満 (50 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	750
6 気筒 ティア 3、ステージ III PSN エンジン	—	6R 250	6068HL530	CD6068-**L**xxxxxx	0.13	50 ~ 500 mg/kg (50 ~ 500 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	500
*使用開始 100 時間後、遅くとも使用開始 500 時間後。									

エンジンオイルとフィルタの整備間隔の条件 — ファイナルティア 4、ステージ IV、ステージ V エンジンのみ									
エンジンおよび排出ガス規制	**6M モデルの概要**	**6R モデルの概要**	**エンジンの種類**	**13 桁のエンジンシリアル番号**	**オイルパンサイズ (L/KW)**	**(JDS-135G) ディーゼル燃料の硫黄含有量が次の場合：**	**使用されているエンジンオイルとオイルフィルタ：**	**初期エンジンオイル交換サービス (慣らし運転用オイル)**	**一定間隔時間**
4 気筒 超低硫黄ディーゼル (ULSD) を使用する場合、ファイナルティア 4、ステージ IV、ステージ V エンジン。	6090M 6100M 6110M 6120M	—	4045HL290	CD4045-**U**xxxxxx	0.15—0.20	最大 15 mg/kg (15 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	500
4 気筒 超低硫黄ディーゼル (ULSD) を使用する場合、ファイナルティア	6130M 6140M 6145M	6R 110 6R 120 6R 130	4045HL555 4045HL556 4045HL557	CD4045-**U**xxxxxx	0.15—0.20	最大 15 mg/kg (15 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	500

エンジンオイルとフィルタの整備間隔の条件 — ファイナルティア 4、ステージ IV、ステージ V エンジンのみ									
エンジンおよび排出ガス規制	**6M モデルの概要**	**6R モデルの概要**	**エンジンの種類**	**13 桁のエンジンシリアル番号**	**オイルパンサイズ (L/KW)**	**(JDS-135G) ディーゼル燃料の硫黄含有量が次の場合：**	**使用されているエンジンオイルとオイルフィルタ：**	**初期エンジンオイル交換サービス (慣らし運転用オイル)**	**一定間隔時間**
4、ステージ IV、ステージ V エンジン。		6R 140 6R 150							
6 気筒 超低硫黄ディーゼル (ULSD) を使用する場合、ファイナルティア 4、ステージ IV、ステージ V エンジン。	6155M 6155MH 6175M 6195M	6R 145 6R 155 6R 165 6R 175 6R 185 6R 195 6R 215 6R 230 6R 250	6068HL550 6068HL555 6068HL557 6068HL558	CD6068-**U**xxxxxx	0.13—0.22	最大 15 mg/kg (15 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	750
6 気筒 超低硫黄ディーゼル (ULSD) を使用する場合、ファイナルティア 4、ステージ IV、ステージ V エンジン。	6155M 6155MH 6175M 6195M	6R 145 6R 155 6R 165 6R 175 6R 185 6R 195 6R 215 6R 230 6R 250	6068HL550 6068HL555 6068HL557 6068HL558	CD6068-**U**xxxxxx	0.13—0.22	15 mg/kg 以上 (15 ppm)	John Deere Plus-50™ II および JD 認定フィルタ	100 ~ 500 時間*	500
*使用開始 100 時間後、遅くとも使用開始 500 時間後。									

エンジンオイルとフィルタのメンテナンス間隔を短くする要因	通常の間隔が短くなる割合
Plus 50 以外のオイルを使用している場合	50%
標高 1675 m (5500 ft) を超える場所でエンジンを運転する場合	50%
B20 を超えるバイオディーゼル混合燃料 (20% を超えるバイオディーゼル燃料) を使用している場合	50%
例： 通常の間隔が 750 時間で、トラクターを 1675 m を超える高高度で運転する場合、オイルとフィルタの交換間隔は 375 時間 (750 時間の 50%) に短縮されます。	

oulxa64,ALL,1675235443150-40-17JUL24

エンジンオイルとフィルタの交換

整備に使用される部品： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：	**整備に使用される部品**： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：	**整備に使用される部品**： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：

このセクションの「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」を参照してください。

整備に使用される部品： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：	**整備に使用される部品**： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：	**整備に使用される部品**： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：

このセクションの「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」を参照してください。

LX25458,ALL,0000AF9-40-14FEB23

エンジンオイルとフィルタの交換

整備に使用される部品： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：	**整備に使用される部品**： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：	**整備に使用される部品**： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：
このセクションの「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」を参照してください。		

整備に使用される部品： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：	**整備に使用される部品**： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：	**整備に使用される部品**： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：
このセクションの「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」を参照してください。		

LX25458,ALL,0000AF9-40-14FEB23

エンジンオイルとフィルタの交換

整備に使用される部品： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：	**整備に使用される部品**： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：	**整備に使用される部品**： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：

このセクションの「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」を参照してください。

整備に使用される部品： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：	**整備に使用される部品**： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：	**整備に使用される部品**： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回のエンジンオイルとフィルタの交換**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：

このセクションの「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」を参照してください。

LX25458,ALL,0000AF9-40-14FEB23

エンジンオイルとフィルタの交換

整備に使用される部品： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ	**整備に使用される部品**： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ	**整備に使用される部品**： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ
運転時間：.	運転時間：.	運転時間：. . . . .
日付：.	日付：.	日付：. . . . .
次回のエンジンオイルとフィルタの交換：	**次回のエンジンオイルとフィルタの交換**：	**次回のエンジンオイルとフィルタの交換**：
運転時間：.	運転時間：.	運転時間：. . . . .
または日付：.	または日付：.	または日付：. . . . .
署名者：.	署名者：.	署名者：. . . . .
販売店印：	販売店印：	販売店印：

このセクションの「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」を参照してください。

整備に使用される部品： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ	**整備に使用される部品**： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ	**整備に使用される部品**： ☐ Plus-50™ II および JD 認定フィルタ ☐ その他のオイルやフィルタ
運転時間：.	運転時間：.	運転時間：. . . . .
日付：.	日付：.	日付：. . . . .
次回のエンジンオイルとフィルタの交換：	**次回のエンジンオイルとフィルタの交換**：	**次回のエンジンオイルとフィルタの交換**：
運転時間：.	運転時間：.	運転時間：. . . . .
または日付：.	または日付：.	または日付：. . . . .
署名者：.	署名者：.	署名者：. . . . .
販売店印：	販売店印：	販売店印：

このセクションの「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」を参照してください。

LX25458,ALL,0000AF9-40-14FEB23

[3] 「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルターの整備」参照

• エンジンエアフィルタは、関連する情報がコーナーポストディスプレイに表示された場合、または 2 年ごと、あるいは 1500 運転時間ごとのいずれか早い時期に交換します。一次エンジンエアフィルタには最大 6 つのクリーニングサービスが許可されています。一次エンジンエアフィルタを交換するたびに、キャビンエアフィルタを交換します。
• 活性炭フィルタ (CAT 1 および CAT 2 キャブのみ) については、活性炭フィルタの追加メンテナンスを参照してください。
• 二次フィルタは、4500 運転時間ごと、または一次フィルタの 4 回目の交換ごと、あるいは 3 年後のいずれか早い時期に交換します。

交換したフィルタ： ☐ 一次フィルタおよびキャビンのエアフィルタ ☐ 活性炭フィルタ (CAT 1 および CAT 2 キャブのみ) ☐ 二次フィルタ 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の整備**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：	**交換したフィルタ**： ☐ 一次フィルタおよびキャビンのエアフィルタ ☐ 活性炭フィルタ (CAT 1 および CAT 2 キャブのみ) ☐ 二次フィルタ 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の整備**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：	**交換したフィルタ**： ☐ 一次フィルタおよびキャビンのエアフィルタ ☐ 活性炭フィルタ (CAT 1 および CAT 2 キャブのみ) ☐ 二次フィルタ 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の整備**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：
交換したフィルタ： ☐ 一次フィルタおよびキャビンのエアフィルタ ☐ 活性炭フィルタ (CAT 1 および CAT 2 キャブのみ) ☐ 二次フィルタ 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の整備**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：	**交換したフィルタ**： ☐ 一次フィルタおよびキャビンのエアフィルタ ☐ 活性炭フィルタ (CAT 1 および CAT 2 キャブのみ) ☐ 二次フィルタ 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の整備**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：	**交換したフィルタ**： ☐ 一次フィルタおよびキャビンのエアフィルタ ☐ 活性炭フィルタ (CAT 1 および CAT 2 キャブのみ) ☐ 二次フィルタ 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の整備**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：

注記： 過酷な運転条件 (極端に埃の多い環境など) では、この点検間隔が短くなる可能性があります。本取扱説明書の「整備 / 必要に応じて」を参照してください。

OULXA64,SP,00056CD-40-10DEC24

[3] 「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルターの整備」参照

• エンジンエアフィルタは、関連する情報がコーナーポストディスプレイに表示された場合、または 2 年ごと、あるいは 1500 運転時間ごとのいずれか早い時期に交換します。一次エンジンエアフィルタには最大 6 つのクリーニングサービスが許可されています。一次エンジンエアフィルタを交換するたびに、キャビンエアフィルタを交換します。
• 活性炭フィルタ (CAT 1 および CAT 2 キャブのみ) については、活性炭フィルタの追加メンテナンスを参照してください。
• 二次フィルタは、4500 運転時間ごと、または一次フィルタの 4 回目の交換ごと、あるいは 3 年後のいずれか早い時期に交換します。

交換したフィルタ： ☐ 一次フィルタおよびキャビンのエアフィルタ ☐ 活性炭フィルタ (CAT 1 および CAT 2 キャブのみ) ☐ 二次フィルタ 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の整備**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：	**交換したフィルタ**： ☐ 一次フィルタおよびキャビンのエアフィルタ ☐ 活性炭フィルタ (CAT 1 および CAT 2 キャブのみ) ☐ 二次フィルタ 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の整備**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：	**交換したフィルタ**： ☐ 一次フィルタおよびキャビンのエアフィルタ ☐ 活性炭フィルタ (CAT 1 および CAT 2 キャブのみ) ☐ 二次フィルタ 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の整備**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：
交換したフィルタ： ☐ 一次フィルタおよびキャビンのエアフィルタ ☐ 活性炭フィルタ (CAT 1 および CAT 2 キャブのみ) ☐ 二次フィルタ 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の整備**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：	**交換したフィルタ**： ☐ 一次フィルタおよびキャビンのエアフィルタ ☐ 活性炭フィルタ (CAT 1 および CAT 2 キャブのみ) ☐ 二次フィルタ 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の整備**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：	**交換したフィルタ**： ☐ 一次フィルタおよびキャビンのエアフィルタ ☐ 活性炭フィルタ (CAT 1 および CAT 2 キャブのみ) ☐ 二次フィルタ 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の整備**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：

注記： 過酷な運転条件 (極端に埃の多い環境など) では、この点検間隔が短くなる可能性があります。本取扱説明書の「整備 / 必要に応じて」を参照してください。

OULXA64,SP,00056CD-40-10DEC24

冷却システムの整備

クーラントを交換し、サーモスタットを点検します。
- Cool-Gard™ II 使用の場合は、6 年後または 6000 運転時間ごと (いずれか早い時期)。
- 別のクーラント使用の場合は、2 年後または 2000 運転時間ごと (いずれか早い時期)。

充填内容： ☐ Cool-Gard™ II ☐ 別のクーラント 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の補充**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：	**充填内容**： ☐ Cool-Gard™ II ☐ 別のクーラント 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の補充**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：	**充填内容**： ☐ Cool-Gard™ II ☐ 別のクーラント 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の補充**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：
充填内容： ☐ Cool-Gard™ II ☐ 別のクーラント 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の補充**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：	**充填内容**： ☐ Cool-Gard™ II ☐ 別のクーラント 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の補充**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：	**充填内容**： ☐ Cool-Gard™ II ☐ 別のクーラント 運転時間： . . . . . . 日付： . . . . . . **次回の補充**： 運転時間： . . . . . . または日付： . . . . . . 署名者： . . . . . . 販売店印：

LX25458,ALL,0000AFF-40-24FEB22

冷却システムの整備

クーラントを交換し、サーモスタットを点検します。
- Cool-Gard™ II 使用の場合は、6 年後または 6000 運転時間ごと (いずれか早い時期)。
- 別のクーラント使用の場合は、2 年後または 2000 運転時間ごと (いずれか早い時期)。

充填内容： ☐ Cool-Gard™ II ☐ 別のクーラント 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回の補充**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：	**充填内容**： ☐ Cool-Gard™ II ☐ 別のクーラント 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回の補充**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：	**充填内容**： ☐ Cool-Gard™ II ☐ 別のクーラント 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回の補充**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：
充填内容： ☐ Cool-Gard™ II ☐ 別のクーラント 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回の補充**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：	**充填内容**： ☐ Cool-Gard™ II ☐ 別のクーラント 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回の補充**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：	**充填内容**： ☐ Cool-Gard™ II ☐ 別のクーラント 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . **次回の補充**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . . . 署名者：. . . . . . 販売店印：

LX25458,ALL,0000AFF-40-24FEB22

DEF システムの整備

必要に応じて、遅くとも 4500 運転時間ごと、または 36 か月ごとのいずれか早い時期に排ガス処理用尿素水 (DEF) システムのメンテナンス実行します。 システムの次の部品を整備または交換する必要があります： • DEF タンクのクリーニング • DEF 供給装置フィルタの交換 • インライン DEF フィルタの交換		
作業実施：	**作業実施**：	**作業実施**：
運転時間：	運転時間：	運転時間： . . . . .
日付：	日付：	日付： . . . . .
次回の整備：	**次回の整備**：	**次回の整備**：
運転時間：	運転時間：	運転時間： . . . . .
または日付：	または日付：	または日付： . . . . .
署名者：	署名者：	署名者： . . . . .
販売店印：	販売店印：	販売店印：

必要に応じて、遅くとも 4500 運転時間ごと、または 36 か月ごとのいずれか早い時期に排ガス処理用尿素水 (DEF) システムのメンテナンス実行します。 システムの次の部品を整備または交換する必要があります： • DEF タンクのクリーニング • DEF 供給装置フィルタの交換 • インライン DEF フィルタの交換		
作業実施：	**作業実施**：	**作業実施**：
運転時間：	運転時間：	運転時間： . . . . .
日付：	日付：	日付： . . . . .
次回の整備：	**次回の整備**：	**次回の整備**：
運転時間：	運転時間：	運転時間： . . . . .
または日付：	または日付：	または日付： . . . . .
署名者：	署名者：	署名者： . . . . .
販売店印：	販売店印：	販売店印：

LX25458,FROM,MY19,0000B01-40-05JUN20

DEF システムの整備

必要に応じて、遅くとも 4500 運転時間ごと、または 36 か月ごとのいずれか早い時期に排ガス処理用尿素水 (DEF) システムのメンテナンス実行します。 システムの次の部品を整備または交換する必要があります： • DEF タンクのクリーニング • DEF 供給装置フィルタの交換 • インライン DEF フィルタの交換		
作業実施： 運転時間：. . . . . . 日付：.	**作業実施**： 運転時間：. . . . . . 日付：.	**作業実施**： 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . .
次回の整備： 運転時間：. . . . . . または日付：.	**次回の整備**： 運転時間：. . . . . . または日付：.	**次回の整備**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . .
署名者：.	署名者：.	署名者：. . . . .
販売店印：	販売店印：	販売店印：

必要に応じて、遅くとも 4500 運転時間ごと、または 36 か月ごとのいずれか早い時期に排ガス処理用尿素水 (DEF) システムのメンテナンス実行します。 システムの次の部品を整備または交換する必要があります： • DEF タンクのクリーニング • DEF 供給装置フィルタの交換 • インライン DEF フィルタの交換		
作業実施： 運転時間：. . . . . . 日付：.	**作業実施**： 運転時間：. . . . . . 日付：.	**作業実施**： 運転時間：. . . . . . 日付：. . . . .
次回の整備： 運転時間：. . . . . . または日付：.	**次回の整備**： 運転時間：. . . . . . または日付：.	**次回の整備**： 運転時間：. . . . . . または日付：. . . . .
署名者：.	署名者：.	署名者：. . . . .
販売店印：	販売店印：	販売店印：

LX25458,FROM,MY19,0000B01-40-05JUN20

1 年ごと

• シートベルトに損傷がないか点検し、正常に作動することを確認します。
• エンジンオイルを交換します。エンジン駆動ベルトに摩耗がないか点検します。
• 油圧ホースに損傷がないか点検します。
• フロントローダーブラケットのねじを締め付けます。
• 活性炭フィルタの交換 (装備されている場合) は、CAT 1 および CAT 2 キャブのみで行ってください。このセクションの「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照。

点検完了： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：	**点検完了**： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：	**点検完了**： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：
点検完了： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：	**点検完了**： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：	**点検完了**： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：
点検完了： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：	**点検完了**： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：	**点検完了**： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：
点検完了： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：	**点検完了**： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：	**点検完了**： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：

1 年ごと

• シートベルトに損傷がないか点検し、正常に作動することを確認します。 • エンジンオイルを交換します。エンジン駆動ベルトに摩耗がないか点検します。 • 油圧ホースに損傷がないか点検します。 • フロントローダーブラケットのねじを締め付けます。 • 活性炭フィルタの交換 (装備されている場合) は、CAT 1 および CAT 2 キャブのみで行ってください。このセクションの「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照。		
点検完了： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：	**点検完了**： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：	**点検完了**： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：
点検完了： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：	**点検完了**： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：	**点検完了**： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：
点検完了： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：	**点検完了**： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：	**点検完了**： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：
点検完了： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：	**点検完了**： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：	**点検完了**： 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：

OULXA64,SP,00056CF-40-10DEC24

100 運転時間後の整備

清掃：

☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。

☐ 燃料フィルタを点検し、油水分離器を水抜きします。

電気システム：

☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。

☐ ライトを点検します。

ボルトのトルクの点検：

☐ ドローバー

☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール

☐ トレーラーヒッチ

☐ ピックアップヒッチ

☐ フロントヒッチ取り付けフレーム

☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

☐ エンジンオイルレベル

☐ クーラントレベル

☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。

☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルレベル

☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。

☐ ブレーキを点検します。

☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。[1]

交換：

☐ 作動油フィルタ

☐ トランスミッションオイルフィルタ

☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイル

☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイル

☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル

潤滑：

☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ

☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント

☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング

☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント

☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ

☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)

☐ すべてのトレーラーヒッチ

☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト

☐ リアアクスルベアリング

[1] 凝縮水を排出した場合は、レシーバドライヤーカートリッジを交換します。そうでなければ、遅くとも 1500 時間または 2 年ごとに交換します。

時間：

注記：. . . . . 販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058CB-40-01SEP23

500 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
- ☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ ドローバー
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

- ☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
- ☐ クーラントレベル
- ☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
- ☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイルレベル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイルレベル
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルレベル
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
- ☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
- ☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
- ☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
- ☐ フットブレーキ - 操作点検
- ☐ 非常ブレーキ - 操作点検
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。[1]
- ☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
- ☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
- ☐ すべてのトレーラーヒッチを点検します。

交換：

- ☐ 燃料フィルタ
- ☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
- ☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
- ☐ 作動油フィルタ
- ☐ トランスミッションオイルフィルタ
- ☐ フロント PTO - オイルフィルタ
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
- ☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]

潤滑：

- ☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
- ☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
- ☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
- ☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
- ☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ
- ☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
- ☐ リアアクスルベアリング
- ☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[1] 凝縮水を排出した場合は、レシーバドライヤーカートリッジを交換します。そうでなければ、遅くとも 1500 時間または 2 年ごとに交換します。

[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3] 「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照

時間：　　注記： . . . . . 販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058CC-40-01SEP23

1000 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
- ☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ ドローバー
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

- ☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
- ☐ クーラントレベル
- ☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
- ☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイルレベル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイルレベル
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルレベル
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
- ☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
- ☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
- ☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
- ☐ フットブレーキ - 操作点検
- ☐ 非常ブレーキ - 操作点検
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。[1]
- ☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
- ☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
- ☐ すべてのトレーラーヒッチを点検します。

交換：

- ☐ 燃料フィルタ
- ☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
- ☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
- ☐ 作動油フィルタ
- ☐ トランスミッションオイルフィルタ
- ☐ フロント PTO - オイルフィルタ
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
- ☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]

潤滑：

- ☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
- ☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
- ☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
- ☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
- ☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ
- ☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
- ☐ リアアクスルベアリング
- ☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[1] 凝縮水を排出した場合は、レシーバドライヤーカートリッジを交換します。そうでなければ、遅くとも 1500 時間または 2 年ごとに交換します。
[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3]「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照

時間：　　注記：　. . . . . 　販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058CD-40-01SEP23

1500 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
- ☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ

- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ ドローバー
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

- ☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
- ☐ クーラントレベル
- ☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
- ☐ フロントアクスルサスペンション - アキュムレータの点検
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
- ☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
- ☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
- ☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
- ☐ フットブレーキ - 操作点検
- ☐ 非常ブレーキ - 操作点検
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
- ☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ

交換：

- ☐ 燃料フィルタ
- ☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
- ☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
- ☐ エンジンエアクリーナ - 一次フィルタ[3]
- ☐ 作動油フィルタ
- ☐ トランスミッションオイルフィルタ
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルを交換し、インテークスクリーンを清掃します。
- ☐ フロント PTO - オイルフィルタ
- ☐ フロント PTO - オイル
- ☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
- ☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]
- ☐ キャビンエアフィルタ[3]
- ☐ キャブ - 再循環エアフィルター[3]
- ☐ エアブレーキシステム - レシーバドライヤーカートリッジを交換します。

潤滑：

- ☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
- ☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
- ☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
- ☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
- ☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ
- ☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
- ☐ リアアクスルベアリング
- ☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3]「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照

時間：

注記：. . . . . 販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058CE-40-01SEP23

2000 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
- ☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ ドローバー
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

- ☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
- ☐ クーラントレベル
- ☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
- ☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイルレベル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイルレベル
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルレベル
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
- ☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
- ☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
- ☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
- ☐ フットブレーキ - 操作点検
- ☐ 非常ブレーキ - 操作点検
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。[1]
- ☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
- ☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
- ☐ すべてのトレーラーヒッチを点検します。

交換：

- ☐ 燃料フィルタ
- ☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
- ☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
- ☐ 作動油フィルタ
- ☐ トランスミッションオイルフィルタ
- ☐ フロント PTO - オイルフィルタ
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
- ☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]

潤滑：

- ☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
- ☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
- ☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
- ☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
- ☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ
- ☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
- ☐ リアアクスルベアリング
- ☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[1] 凝縮水を排出した場合は、レシーバドライヤーカートリッジを交換します。そうでなければ、遅くとも 1500 時間または 2 年ごとに交換します。
[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3]「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照

時間：　　注記： . . . . . 販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058CF-40-01SEP23

2500 運転時間後の整備

清掃：
- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。

電気システム：
- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
- ☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：
- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ ドローバー
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：
- ☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
- ☐ クーラントレベル
- ☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
- ☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイルレベル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイルレベル
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルレベル
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
- ☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
- ☐ フットブレーキ - 操作点検
- ☐ 非常ブレーキ - 操作点検
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。[1]
- ☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
- ☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
- ☐ すべてのトレーラーヒッチを点検します。

- ☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
- ☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。

交換：

- ☐ 燃料フィルタ
- ☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
- ☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
- ☐ 作動油フィルタ
- ☐ トランスミッションオイルフィルタ
- ☐ フロント PTO - オイルフィルタ
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
- ☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]

潤滑：

- ☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
- ☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
- ☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
- ☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
- ☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ
- ☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
- ☐ リアアクスルベアリング
- ☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[1] 凝縮水を排出した場合は、レシーバドライヤーカートリッジを交換します。そうでなければ、遅くとも 1500 時間または 2 年ごとに交換します。
[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3]「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照

時間：　　注記：　. . . . . 　販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058D0-40-01SEP23

3000 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。
- ☐ 燃料タンク通気穴 - フィルタを点検します (装備されている場合)。
- ☐ DEF タンク通気穴 - フィルタを点検します。

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。

☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
☐ ホイール - 前輪と後輪
☐ ホイール - リムのホイールディスク
☐ ホイール - ホイールウエイト
☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
☐ ドローバー
☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
☐ トレーラーヒッチ
☐ ピックアップヒッチ
☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
☐ エンジン - バルブタペットを調整します。
☐ クーラントレベル
☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
☐ フロントアクスルサスペンション - アキュムレータの点検
☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
☐ フットブレーキ - 操作点検
☐ 非常ブレーキ - 操作点検
☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。
☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
☐ すべてのトレーラーヒッチ

交換：

☐ 燃料フィルタ
☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
☐ エンジンエアクリーナ - 一次フィルタ[3]
☐ 作動油フィルタ
☐ トランスミッションオイルフィルタ
☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルを交換し、インテークスクリーンを清掃します。
☐ フロント PTO - オイルフィルタ
☐ フロント PTO - オイル
☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイル
☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイル
☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]
☐ キャビンエアフィルタ[3]
☐ キャブ - 再循環エアフィルター[3]
☐ エアブレーキシステム - レシーバドライヤーカートリッジを交換します。

潤滑：

☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
☐ すべてのトレーラーヒッチ
☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
☐ リアアクスルベアリング
☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3]「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照

時間：　　注記：　. . . . . 販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058D1-40-01SEP23

3500 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
- ☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ ドローバー
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

- ☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
- ☐ クーラントレベル
- ☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
- ☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイルレベル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイルレベル
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルレベル
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
- ☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
- ☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
- ☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
- ☐ フットブレーキ - 操作点検
- ☐ 非常ブレーキ - 操作点検
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。[1]
- ☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
- ☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
- ☐ すべてのトレーラーヒッチを点検します。

交換：

- ☐ 燃料フィルタ
- ☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
- ☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
- ☐ 作動油フィルタ
- ☐ トランスミッションオイルフィルタ
- ☐ フロント PTO - オイルフィルタ
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
- ☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]

潤滑：

- ☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
- ☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
- ☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
- ☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
- ☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ
- ☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
- ☐ リアアクスルベアリング
- ☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[1] 凝縮水を排出した場合は、レシーバドライヤーカートリッジを交換します。そうでなければ、遅くとも 1500 時間または 2 年ごとに交換します。
[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3]「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照

時間：　　注記：　. . . . . 販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058D2-40-01SEP23

4000 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
- ☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ ドローバー
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

- ☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
- ☐ クーラントレベル
- ☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
- ☐ フットブレーキ - 操作点検

- ☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
- ☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイルレベル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイルレベル
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルレベル
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
- ☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
- ☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
- ☐ 非常ブレーキ - 操作点検
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。[1]
- ☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
- ☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
- ☐ すべてのトレーラーヒッチを点検します。

交換：

- ☐ 燃料フィルタ
- ☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ²
- ☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
- ☐ 作動油フィルタ
- ☐ トランスミッションオイルフィルタ
- ☐ フロント PTO - オイルフィルタ
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
- ☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)³

潤滑：

- ☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
- ☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
- ☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
- ☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
- ☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ
- ☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
- ☐ リアアクスルベアリング
- ☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[1] 凝縮水を排出した場合は、レシーバドライヤーカートリッジを交換します。そうでなければ、遅くとも 1500 時間または 2 年ごとに交換します。
²「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
³「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照

時間：　　注記：　. . . . . 販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058D3-40-01SEP23

4500 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。
- ☐ DEF タンクを清掃します。[4]

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
- ☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ ドローバー
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

- ☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
- ☐ クーラントレベル
- ☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
- ☐ フロントアクスルサスペンション - アキュムレータの点検
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
- ☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
- ☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
- ☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
- ☐ フットブレーキ - 操作点検
- ☐ 非常ブレーキ - 操作点検
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
- ☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
- ☐ すべてのトレーラーヒッチを点検します。

交換：

- ☐ 燃料フィルタ
- ☐ DEF 供給装置のフィルタ[4]
- ☐ インライン DEF フィルタ4
- ☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
- ☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
- ☐ エンジンエアクリーナ - 一次フィルタ[3]
- ☐ エンジンエアクリーナ - 二次フィルタ[3]
- ☐ 作動油フィルタ
- ☐ トランスミッションオイルフィルタ
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルを交換し、インテークスクリーンを清掃します。
- ☐ フロント PTO - オイルフィルタ
- ☐ フロント PTO - オイル
- ☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
- ☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]
- ☐ キャビンエアフィルタ[3]
- ☐ キャブ - 再循環エアフィルター[3]
- ☐ エアブレーキシステム - レシーバドライヤーカートリッジを交換します。

潤滑：

- ☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
- ☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
- ☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
- ☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
- ☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ
- ☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
- ☐ リアアクスルベアリング
- ☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3]「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照
[4]「DEF システムの整備」参照

時間：　　注記：　. . . . . 販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058D4-40-01SEP23

5000 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
- ☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ ドローバー
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

- ☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
- ☐ クーラントレベル
- ☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
- ☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイルレベル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイルレベル
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルレベル
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
- ☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
- ☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
- ☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
- ☐ フットブレーキ - 操作点検
- ☐ 非常ブレーキ - 操作点検
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。[1]
- ☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
- ☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
- ☐ すべてのトレーラーヒッチを点検します。

交換：

- ☐ 燃料フィルタ
- ☐ フロント PTO - オイルフィルタ

- ☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
- ☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
- ☐ 作動油フィルタ
- ☐ トランスミッションオイルフィルタ
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
- ☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]

潤滑：

- ☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
- ☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
- ☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
- ☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
- ☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ
- ☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
- ☐ リアアクスルベアリング
- ☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[1] 凝縮水を排出した場合は、レシーバドライヤーカートリッジを交換します。そうでなければ、遅くとも 1500 時間または 2 年ごとに交換します。
[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3]「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照

時間：　　注記：　. . . . . 　販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058D5-40-01SEP23

5500 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
- ☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

☐ ドローバー

点検：

☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
☐ クーラントレベル
☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイルレベル
☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイルレベル
☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルレベル
☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
☐ フットブレーキ - 操作点検
☐ 非常ブレーキ - 操作点検
☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。[1]
☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
☐ すべてのトレーラーヒッチを点検します。

交換：

☐ 燃料フィルタ
☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
☐ 作動油フィルタ
☐ トランスミッションオイルフィルタ
☐ フロント PTO - オイルフィルタ
☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]

潤滑：

☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
☐ すべてのトレーラーヒッチ
☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
☐ リアアクスルベアリング
☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[1] 凝縮水を排出した場合は、レシーバドライヤーカートリッジを交換します。そうでなければ、遅くとも 1500 時間または 2 年ごとに交換します。
[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3]「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照

時間：　　注記：　. . . . . 販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058D6-40-01SEP23

6000 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。
- ☐ 燃料タンク通気穴 - フィルタを点検します (装備されている場合)。
- ☐ DEF タンク通気穴 - フィルタを点検します。

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
- ☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ ドローバー
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

- ☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
- ☐ エンジン - バルブタペットを調整します。
- ☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
- ☐ フロントアクスルサスペンション - アキュムレータの点検
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
- ☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
- ☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
- ☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
- ☐ フットブレーキ - 操作点検
- ☐ 非常ブレーキ - 操作点検
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
- ☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ

交換：

- ☐ クーラント[5]
- ☐ 燃料フィルタ
- ☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
- ☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)[2]
- ☐ エンジンエアクリーナ - 一次フィルタ[3]
- ☐ 作動油フィルタ
- ☐ トランスミッションオイルフィルタ
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルを交換し、インテークスクリーンを清掃します。
- ☐ フロント PTO - オイルフィルタ
- ☐ フロント PTO - オイル
- ☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
- ☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]
- ☐ キャビンエアフィルタ[3]
- ☐ キャブ - 再循環エアフィルター[3]
- ☐ エアブレーキシステム - レシーバドライヤーカートリッジを交換します。

潤滑：

- ☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
- ☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
- ☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
- ☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
- ☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ
- ☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
- ☐ リアアクスルベアリング
- ☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3]「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照
「[5] 冷却システムの整備」参照

時間：　　注記：　. . . . . 販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058D7-40-01SEP23

6500 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
- ☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ ドローバー
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

- ☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
- ☐ クーラントレベル
- ☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
- ☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイルレベル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイルレベル
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルレベル
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
- ☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
- ☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
- ☐ フットブレーキ - 操作点検
- ☐ 非常ブレーキ - 操作点検
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。[1]
- ☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
- ☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
- ☐ すべてのトレーラーヒッチを点検します。

☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。

交換：

☐ 燃料フィルタ
☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
☐ 作動油フィルタ
☐ トランスミッションオイルフィルタ
☐ フロント PTO - オイルフィルタ
☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]

潤滑：

☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
☐ すべてのトレーラーヒッチ
☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
☐ リアアクスルベアリング
☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[1] 凝縮水を排出した場合は、レシーバドライヤーカートリッジを交換します。そうでなければ、遅くとも 1500 時間または 2 年ごとに交換します。
[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3]「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照

時間：　　注記：　. . . . . 　販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058D8-40-01SEP23

7000 運転時間後の整備

清掃：

☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。

電気システム：

☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
☐ 移動防止装置を点検します。
☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
☐ ライトを点検します。
☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ ドローバー
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

- ☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
- ☐ クーラントレベル
- ☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
- ☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイルレベル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイルレベル
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルレベル
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
- ☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
- ☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
- ☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
- ☐ フットブレーキ - 操作点検
- ☐ 非常ブレーキ - 操作点検
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。[1]
- ☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
- ☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
- ☐ すべてのトレーラーヒッチを点検します。

交換：

- ☐ 燃料フィルタ
- ☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
- ☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
- ☐ 作動油フィルタ
- ☐ トランスミッションオイルフィルタ
- ☐ フロント PTO - オイルフィルタ
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
- ☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]

潤滑：

- ☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
- ☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
- ☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
- ☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
- ☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ
- ☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
- ☐ リアアクスルベアリング
- ☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[1] 凝縮水を排出した場合は、レシーバドライヤーカートリッジを交換します。そうでなければ、遅くとも 1500 時間または 2 年ごとに交換します。
[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3]「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照

時間：

注記：. . . . . 販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058D9-40-01SEP23

7500 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
- ☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ ドローバー
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

- ☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
- ☐ クーラントレベル
- ☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
- ☐ フロントアクスルサスペンション - アキュムレータの点検
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
- ☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
- ☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
- ☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
- ☐ フットブレーキ - 操作点検
- ☐ 非常ブレーキ - 操作点検
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
- ☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ

交換：

- ☐ 燃料フィルタ
- ☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
- ☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
- ☐ エンジンエアクリーナ - 一次フィルタ[3]
- ☐ 作動油フィルタ
- ☐ トランスミッションオイルフィルタ
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルを交換し、インテークスクリーンを清掃します。
- ☐ フロント PTO - オイルフィルタ
- ☐ フロント PTO - オイル
- ☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
- ☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]
- ☐ キャビンエアフィルタ[3]
- ☐ キャブ - 再循環エアフィルター[3]
- ☐ エアブレーキシステム - レシーバドライヤーカートリッジを交換します。

潤滑：

- ☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
- ☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
- ☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
- ☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ

- ☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
- ☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
- ☐ リアアクスルベアリング
- ☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3] 「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照

時間：　　注記：　. . . . . 販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058DA-40-01SEP23

8000 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
- ☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ ドローバー
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

- ☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
- ☐ クーラントレベル
- ☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
- ☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイルレベル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイルレベル
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルレベル
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
- ☐ フットブレーキ - 操作点検
- ☐ 非常ブレーキ - 操作点検
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。[1]
- ☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。

- ☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
- ☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
- ☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
- ☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
- ☐ すべてのトレーラーヒッチを点検します。

交換：

- ☐ 燃料フィルタ
- ☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
- ☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
- ☐ 作動油フィルタ
- ☐ トランスミッションオイルフィルタ
- ☐ フロント PTO - オイルフィルタ
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
- ☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]

潤滑：

- ☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
- ☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
- ☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
- ☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
- ☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ
- ☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
- ☐ リアアクスルベアリング
- ☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[1] 凝縮水を排出した場合は、レシーバドライヤーカートリッジを交換します。そうでなければ、遅くとも 1500 時間または 2 年ごとに交換します。
[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3]「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照

時間：　　注記：　. . . . . 　販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058DB-40-01SEP23

8500 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。

☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。

☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
☐ ホイール - 前輪と後輪
☐ ホイール - リムのホイールディスク
☐ ホイール - ホイールウエイト
☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
☐ ドローバー
☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
☐ トレーラーヒッチ
☐ ピックアップヒッチ
☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
☐ クーラントレベル
☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイルレベル
☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイルレベル
☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルレベル
☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
☐ フットブレーキ - 操作点検
☐ 非常ブレーキ - 操作点検
☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。[1]
☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
☐ すべてのトレーラーヒッチを点検します。

交換：

☐ 燃料フィルタ
☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
☐ 作動油フィルタ
☐ トランスミッションオイルフィルタ
☐ フロント PTO - オイルフィルタ
☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]

潤滑：

☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
☐ すべてのトレーラーヒッチ
☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
☐ リアアクスルベアリング
☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[1] 凝縮水を排出した場合は、レシーバドライヤーカートリッジを交換します。そうでなければ、遅くとも 1500 時間または 2 年ごとに交換します。
[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3]「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照

時間：

注記：. . . . . 販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058DC-40-01SEP23

9000 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。
- ☐ 燃料タンク通気穴 - フィルタを点検します (装備されている場合)。
- ☐ DEF タンク通気穴 - フィルタを点検します。
- ☐ DEF タンクを清掃します。[4]

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
- ☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ ドローバー
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

- ☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
- ☐ エンジン - バルブタペットを調整します。
- ☐ クーラントレベル
- ☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
- ☐ フロントアクスルサスペンション - アキュムレータの点検
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
- ☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
- ☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
- ☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
- ☐ フットブレーキ - 操作点検
- ☐ 非常ブレーキ - 操作点検
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
- ☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ

交換：

- ☐ 燃料フィルタ
- ☐ DEF 供給装置のフィルタ[4]
- ☐ インライン DEF フィルタ4
- ☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
- ☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
- ☐ エンジンエアクリーナ - 一次フィルタ[3]
- ☐ エンジンエアクリーナ - 二次フィルタ[3]
- ☐ 作動油フィルタ
- ☐ フロント PTO - オイルフィルタ
- ☐ フロント PTO - オイル
- ☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
- ☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]
- ☐ キャビンエアフィルタ[3]
- ☐ キャブ - 再循環エアフィルター[3]

- ☐ トランスミッションオイルフィルタ
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルを交換し、インテークスクリーンを清掃します。
- ☐ エアブレーキシステム - レシーバドライヤーカートリッジを交換します。

潤滑：

- ☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
- ☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
- ☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
- ☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
- ☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ
- ☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
- ☐ リアアクスルベアリング
- ☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3]「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照
[4]「DEF システムの整備」参照

時間：　　注記：　. . . . . 販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058DD-40-01SEP23

9500 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
- ☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ ドローバー
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

- ☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
- ☐ クーラントレベル
- ☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
- ☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイルレベル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイルレベル
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルレベル
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
- ☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
- ☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
- ☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
- ☐ フットブレーキ - 操作点検
- ☐ 非常ブレーキ - 操作点検
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。[1]
- ☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
- ☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
- ☐ すべてのトレーラーヒッチを点検します。

交換：

- ☐ 燃料フィルタ
- ☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
- ☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
- ☐ 作動油フィルタ
- ☐ トランスミッションオイルフィルタ
- ☐ フロント PTO - オイルフィルタ
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
- ☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]

潤滑：

- ☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
- ☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
- ☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
- ☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
- ☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ
- ☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
- ☐ リアアクスルベアリング
- ☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[1] 凝縮水を排出した場合は、レシーバドライヤーカートリッジを交換します。そうでなければ、遅くとも 1500 時間または 2 年ごとに交換します。
[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3]「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照

時間：　　注記：　. . . . . 　販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058DE-40-01SEP23

10000 運転時間後の整備

清掃：

- ☐ ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲を清掃します。
- ☐ エンジンエアクリーナ - プレクリーナーを清掃します。
- ☐ 燃料タンクを整備し、油水分離器を水抜きします。

電気システム：

- ☐ 診断トラブルコードにアクセスし、エラーを修正してから、診断トラブルコードを消去します。
- ☐ 移動防止装置を点検します。
- ☐ PTO 作動 - 安全装置を点検します。
- ☐ ヒューズボックス - 目視点検と清掃
- ☐ ライトを点検します。
- ☐ ライト - ヘッドライトの設定を点検します。
- ☐ アクセス可能なすべてのアースケーブルの安全性を点検します。

ボルトのトルクの点検：

- ☐ 調整式フロントアクスル - 車軸ボルト
- ☐ ホイール - 前輪と後輪
- ☐ ホイール - リムのホイールディスク
- ☐ ホイール - ホイールウエイト
- ☐ ホイール - ダブルタイヤホイールの取り付け
- ☐ ドローバー
- ☐ トレーラーヒッチ、ガイドレール
- ☐ トレーラーヒッチ
- ☐ ピックアップヒッチ
- ☐ フロントヒッチ取り付けフレーム
- ☐ フロントローダー取り付けフレーム

点検：

- ☐ エンジン - 駆動ベルトの摩耗 (擦れ) を点検します。
- ☐ クーラントレベル
- ☐ 吸気ホース - 漏れを点検します。
- ☐ 前輪駆動車軸 - 車軸ハウジング、オイルレベル
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキなしのファイナルドライブ、オイルレベル
- ☐ トランスミッションおよび油圧系統 - オイルレベル
- ☐ リークオイル回収容器を点検します (装備されている場合)。
- ☐ キャブ - ドア、ウィンドウ、およびケーブル貫通部のすべてのゴムシールの正しい密着、摩耗、脆性を点検します。
- ☐ キャブ - ドアとウィンドウのすべての開閉機構の機能を点検します。
- ☐ シートベルトに損傷がないか点検し、正常な作動状態であることを確認します。
- ☐ ブレーキシステム - エア抜きして、点検します。
- ☐ フットブレーキ - 操作点検
- ☐ 非常ブレーキ - 操作点検
- ☐ エアブレーキシステム - 圧縮空気タンクの凝縮水を点検します。[1]
- ☐ エアブレーキシステム - 注入に必要な時間を確認します。
- ☐ エアブレーキシステム - 非常ブレーキおよび駐車位置 (駐車ブレーキロック) の機能を点検します。
- ☐ エアブレーキシステム - カプラーの目視点検と操作点検。
- ☐ 駐車ブレーキロック - 操作点検
- ☐ すべてのトレーラーヒッチを点検します。

交換：

- ☐ 燃料フィルタ
- ☐ エンジンオイルとエンジンオイルフィルタ[2]
- ☐ エンジン - クランクケース通気穴のフィルタ (オイルセパレータ)
- ☐ 作動油フィルタ
- ☐ トランスミッションオイルフィルタ
- ☐ フロント PTO - オイルフィルタ
- ☐ 前輪駆動車軸 - ブレーキ付きファイナルドライブ、オイル
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 圧力アキュムレータ
- ☐ キャブ - 活性炭フィルタ (装備されている場合)[3]

潤滑：

- ☐ フロントヒッチ - シリンダと 3 点ヒッチ
- ☐ 調整式フロントアクスル - 潤滑ポイント
- ☐ 前輪駆動車軸 - ピボットベアリング
- ☐ 前輪駆動車軸 - ユニバーサルジョイントシャフトを含むすべてのユニバーサルジョイント
- ☐ フロントアクスルサスペンション - 油圧シリンダ
- ☐ エンジンとトランスミッションの間のユニバーサルジョイントシャフト (装備されている場合)
- ☐ すべてのトレーラーヒッチ
- ☐ 3 点ヒッチ - リフトリンクとロックシャフト
- ☐ リアアクスルベアリング
- ☐ リア PTO - PTO スタブシャフトサポート (リバーシブル PTO スタブシャフト)

[1] 凝縮水を排出した場合は、レシーバドライヤーカートリッジを交換します。そうでなければ、遅くとも 1500 時間または 2 年ごとに交換します。

[2]「エンジンオイルとフィルタの交換」および「エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔」参照
[3] 「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」参照

時間：　　注記： . . . . . 販売店印：

日付：

. . . . . .

作業実施者：

. . . . . .

. . . . . .

OULXA64,SP1,EX,00058DF-40-01SEP23

その他の整備に関する情報

重要：**以下のページはその他すべての整備に関する記録用です。この取扱説明書の説明に従って整備作業を実施してください。各整備間隔で必要な作業の一覧については、この整備小冊子を参照してください。**

次の表は、運転時間があるレベルに達したとき、どの点検間隔を適用すべきかを示すものです。

例：アワーメーターで 18,000 時間になる機械を整備する必要があります。

そのため、該当する整備を把握します。

この表には、18 00 運転時間後に、4500 運転時間後および 6000 運転時間後と同様の整備の実施が必要となることが明記されています。

運転時間	実施する整備：	運転時間	実施する整備：
100	100	10500	1500
500	500	11000	500
1000	500	11500	500
1500	1500	12000	6000
2000	500	12500	500
2500	500	13000	500
3000	3000	13500	4500
3500	500	14000	500
4000	500	14500	500
4500	4500	15000	3000
5000	500	15500	500
5500	500	16000	500
6000	6000	16500	1500
6500	500	17000	500
7000	500	17500	500
7500	1500	18000	4500 + 6000
8000	500	18500	500
8500	500	19000	500
9000	3000 + 4500	19500	1500
9500	500	20000	10000
10000	10000	20500	500

その他の整備に関する記録の記載例：

実施する整備は、**4500 + 6000** 時間ごとの整備に相当します。	表示されている運転時間：.....**18000**
注記：.	日付：.....xxx
XXX	署名：.....xxxx
XXX	販売店印：
XXX	

LX25458,500STD,0000B19-40-13OCT22

その他の整備の記録

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。	表示されている運転時間：. . . . .
注記：.	日付：. . . . .
. . . . .	署名：. . . . .
. . . . .	販売店印：
. . . . .	

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . . 日付 : . . . . . . 署名 : . . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . . 日付 : . . . . . . 署名 : . . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . . 日付 : . . . . . . 署名 : . . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . . 日付 : . . . . . . 署名 : . . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . . 日付 : . . . . . . 署名 : . . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . . 日付 : . . . . . . 署名 : . . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . . 日付 : . . . . . . 署名 : . . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . . 日付 : . . . . . . 署名 : . . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . . 日付 : . . . . . . 署名 : . . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . 日付 : . . . . . 署名 : . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . 日付 : . . . . . 署名 : . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . 日付 : . . . . . 署名 : . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . . 日付 : . . . . . . 署名 : . . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . . 日付 : . . . . . . 署名 : . . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . . 日付 : . . . . . . 署名 : . . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . . 日付 : . . . . . . 署名 : . . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . . 日付 : . . . . . . 署名 : . . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記 :	表示されている運転時間 : . . . . . . 日付 : . . . . . . 署名 : . . . . . . 販売店印 :

実施した整備は ..... 時間ごとの整備に相当します。 注記：.	表示されている運転時間：. . . . . . 日付：. . . . . . 署名：. . . . . . 販売店印：

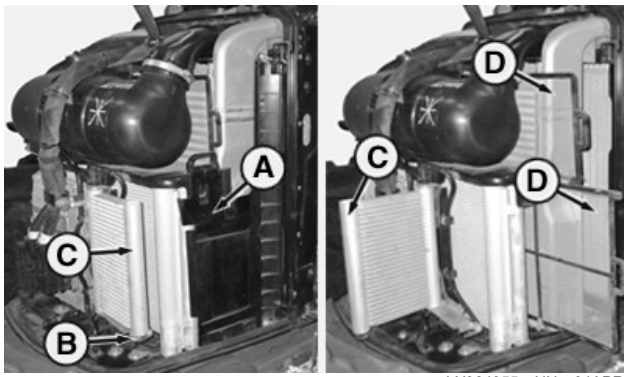
LX25458,ALL,0000B1A-40-29SEP20

ラジエータ、ビスカスファン、コンデンサ、およびエンジンの周囲の清掃

良好なエンジンの運転、効率的な冷却およびエアコンのためには、部品の外側を清潔に保つことも重要です。

エンジン周辺部とラジエータから汚れを除去します。

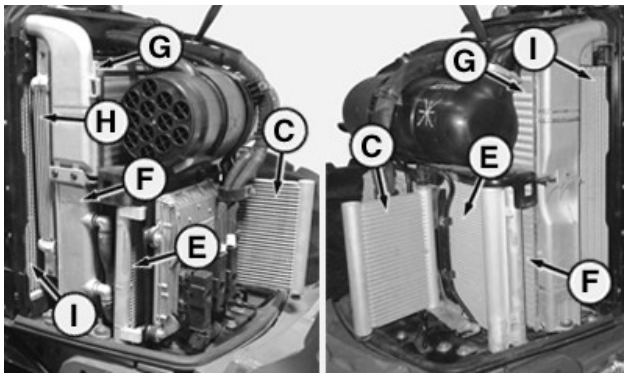
1. 両側のカバー (A) を取り外します。



LX364355—UN—04APR19

A：**カバー**
B：**ロック**
C：**燃料クーラー**
D：**保護スクリーン (装備されている場合)**

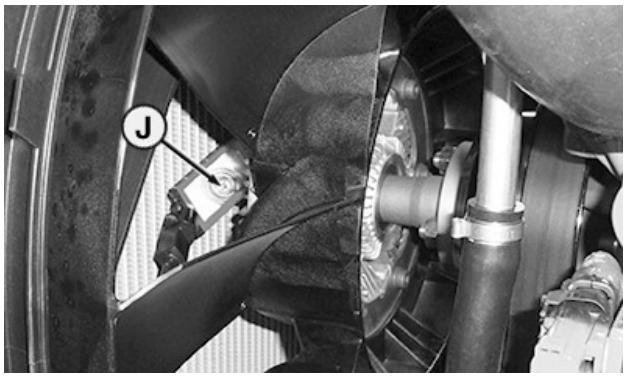
2. ロック (B) を緩めて、燃料クーラー (C) を横に回します。
3. 保護スクリーン (D) を引き出してごみを取り除きます。
4. 要素 (C) から (I) まで慎重にごみを取り除きます。



LX364356—UN—04APR19

C：**燃料クーラー**
E：**エアコンコンデンサ**
F：**トランスミッションオイルクーラー**
G：**チャージエアクーラー**
H：**フロント PTO オイルクーラー**
I：**ラジエータ**

5. 保護スクリーンを再配置します。
6. 燃料クーラー (C) を元に位置に戻して、ロック (B) で固定します。
7. カバーを元の位置に取り付けます。
8. ミラーを使用して、冷却フィンを点検し、装備されている場合はビスカスファンのバイメタルスプリング (J) に泥がないか点検します。必要に応じて清掃します。



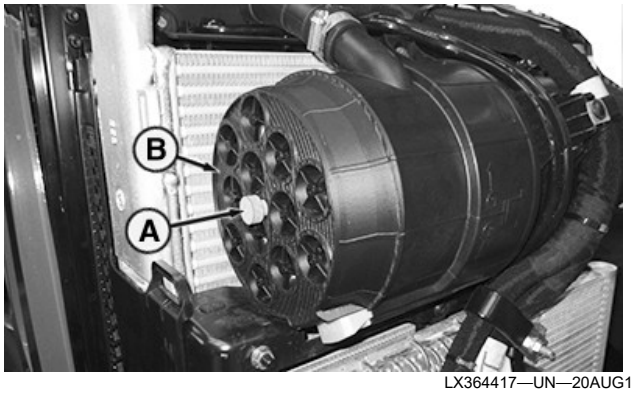
LX364357—UN—04APR19
ビスカスファンのバイメタルスプリング

OULXA64,SP1,00058E0-40-20NOV20

エンジンエアクリーナ - プレクリーナーの清掃

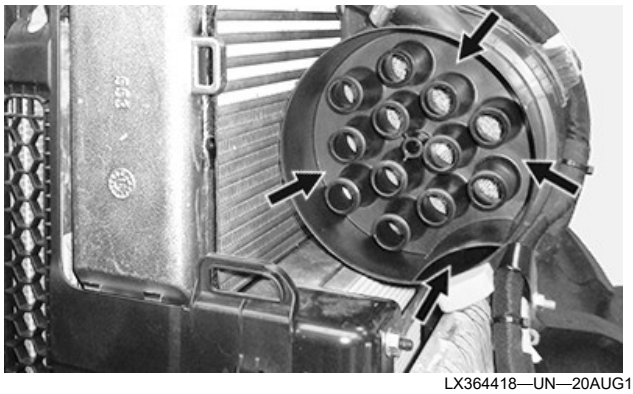
重要：**プレクリーナーやメインフィルタエレメントがない状態でエンジンを運転しないでください！**

1. 継手 (A) を緩めて、ハウジングカバー (B) を取り外します。



LX364417—UN—20AUG19

2. ハウジングカバーとハウジングにごみがないか点検し、必要に応じて清掃します。



LX364418—UN—20AUG19

3. ハウジングカバー (B) を元の位置に配置して、正しく密着していることを確認します。
4. 継手 (A) を手で締め付けます。

OULXA64,SP1,00058E1-40-20NOV20

キャビンエアフィルターの清掃

注意：**キャブに活性炭フィルタが後付けされている場合、エアフィルタを清掃することはできません。活性炭フィルタは新品と交換する必要があります。**

重要：**キャビンエアフィルターは 1500 時間または 2 年ごとのいずれか早い時期に交換してください。**

注記：キャブに活性炭フィルタが後付けされている場合、点検間隔は 500 時間運転後、または遅くとも年 1 回とします。

キャビンエアフィルターの清掃

1. 両側のカバー (A) を取り外します。



LX234635—UN—07APR15

2. 両側のフィルタカートリッジ (B) を取り出して、軽くたたいて清掃します。
3. エアフィルタハウジングと空気通路のほこりを清掃します。
4. 取り付けは、取り外しと逆の順に行います。

フィルタカートリッジを配置するときは、フィルタカートリッジが所定の溝に正しく位置していることを確認してください。

再循環エアフィルターの清掃

1. カバー (C) を取り外します。



LX314936—UN—30JUN17

2. 両側で、再循環エアフィルター (D) を取り外して、軽くたたいて清掃します。



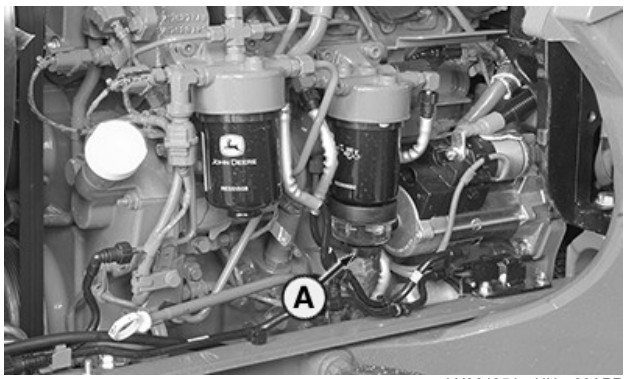
LX314937—UN—30JUN17

3. エアフィルタハウジングと空気通路のほこりを清掃します。
4. 取り付けは、取り外しと逆の順に行います。

220A,05,SP,OULXA64,00056E8-40-22DEC23

燃料フィルタの点検 (4 気筒エンジン)

水または沈殿した付着物がフィルタに残っている場合は以下の処置を行います：



LX364354—UN—03APR19

A：**ドレンねじ**

1. ドレンねじ (A) を 3/4 回転開きます。水と沈殿した付着物が排出されたら、すぐにねじを締め直します。
2. キースイッチのキーを右の最初のスイッチ位置まで

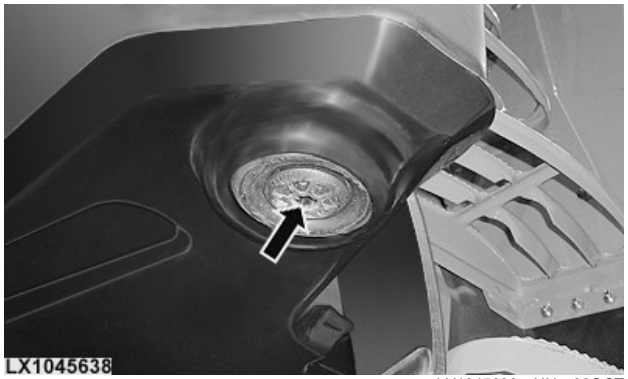
回して、燃料供給ポンプを作動させます。ポンプを約 120 秒間運転します。

燃料フィルタに水がある場合は、燃料タンクの油水分離器から抜き取ります。このセクションの「燃料タンクの整備」を参照してください。

OULXA64,SP1,4CYL,00058E3-40-30MAY23

燃料タンクの整備

1/2 in 正方形断面のキーでドレンねじを 1 回転緩めます。水とスラッジを抜き取ります。ドレンねじを再度挿入して手で締め付けます。



LX1045638—UN—08OCT10

220A,07,ALL,25458,0000B43-40-22DEC23

燃料タンク通気穴のフィルタの点検（バヨネットロック付きタンクキャップのみ）および（ショートシャフト）

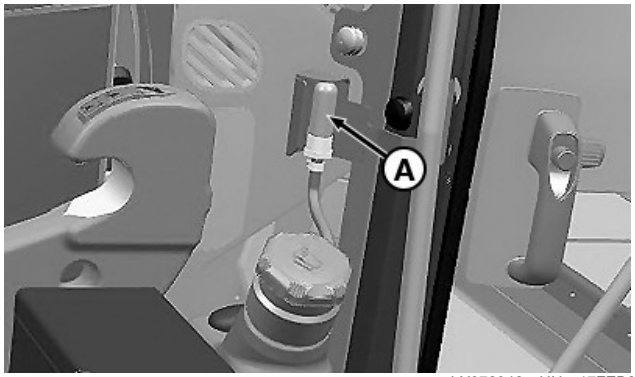
注記： 非常に埃の多い環境で操作している場合は、タンク通気口フィルタに堆積物がないか点検してください。

注記： 図に示す燃料キャップ付きのトラクターでのみフィルタを点検します。



LX514951—UN—26JUN23

1. 堆積物がないかフィルタ (A) を点検します。必要に応じて、フィルタを外して交換します。



LX372942—UN—17FEB21

注記： 新品のフィルタをねじ込み、手締めします。

2. 取り付けは、取り外しと逆の順に行います。

OULXA64,SP1,0005A79-40-26JUN23

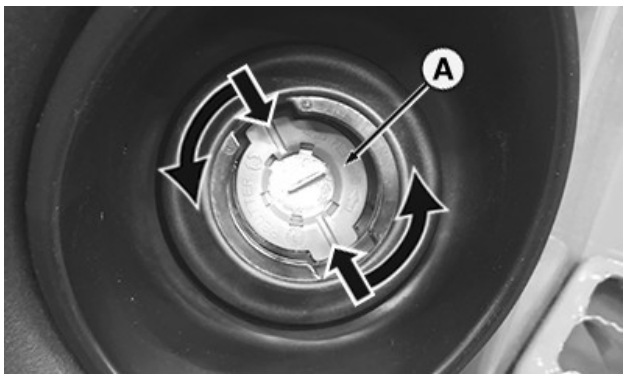
DEF タンクでのフィラーネックのスクリーンの清掃

注意： 目に入らないようにしてください。目に入った場合は、ただちに大量の水で 15 分以上洗い流してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

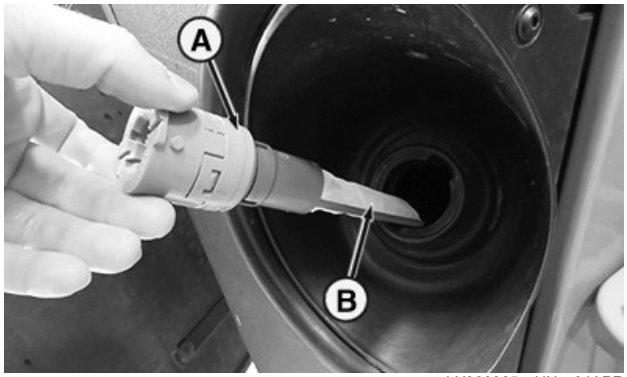
重要： 排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触したりした場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) は塗装済みおよび未塗装の金属面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。

排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれた場合にそのまま乾かしたり布で拭いたりしただけでは、白い跡が残ります。こぼれた排ガス処理用尿素水を不適切に清掃すると、選択触媒還元 (SCR) システムの漏れの診断を妨げることがあります。

1. DEF タンクのキャップを取り外します。
2. 適切な工具を使用して、フィラー・ネック (A) を反時計回りに回して取り外します。



LX364392—UN—09MAY19



LX360365—UN—04APR19

サンプル図

A：**フィラーネック**
B：**スクリーン**

3. スクリーン (B) を蒸留水または DEF で洗浄して、損傷がないか点検します。損傷した部品を交換します。
4. 取り付けは、取り外しと逆の順に行います。

220A,09,ALL,LX25458,0000B44-40-22DEC23

DEF タンク通気穴フィルタの点検

注意： **目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。**

重要： **排ガス処理用尿素水 (DEF) が何らかの物にかかった場合は、すぐに水で洗い流してください。**

注記： 非常に埃の多い環境で操作している場合は、タンク通気口フィルタに堆積物がないか点検してください。

1. フィルタ (A) をホルダーから外します。



LX343101—UN—05JUN18

A：**排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク通気口フィルタ**

2. 堆積物がないかフィルタ (A) を点検します。必要に応じて、フィルタを外して交換します。

注記： 新品のフィルタをねじ込み、手締めします。

3. 取り付けは、取り外しと逆の順に行います。

OULXA64,SP1,00058E4-40-20APR23

排ガス処理用尿素水 (DEF) タンクの清掃

注意： **目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。**

重要： **排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触したりした場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) は塗装済みおよび未塗装の金属面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。**

排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれた場合にそのまま乾かしたり布で拭いたりしただけでは、白い跡が残ります。こぼれた DEF を適切に清掃しないと、SCR (選択触媒還元) システムの漏れの診断で問題になることがあります。

DEF タンクに異物や他の液体が入った場合は、DEF タンクを空にしてフラッシングし、新しい DEF で充填します。

DEF の品質に疑いがある場合は、DEF タンクからサンプリングし、透明の容器に入れます。DEF は透明でわずかなアンモニア臭があります。DEF が濁って色がつき、アンモニア臭が強くなった場合は、仕様を満たしていない可能性があります。この状態の排ガス処理用尿素水 (DEF) は使用しないでください。

1. ドレンプラグ (装備されている場合) を取り外し、劣化した DEF を DEF タンクから抜き取るかサイホンで吸い出します。

注記： 清掃は DEF タンクを取り付けた状態でも取り外した状態でも可能です。

2. DEF タンクを新品の DEF で清掃します。

   エンジンを運転する前に、DEF は目視、臭気、濃度の点検に合格する必要があります。詳しくは、「燃料、潤滑剤、およびクーラント」のセクションの「ディーゼル排ガス処理用尿素水 (DEF) - 選択接触還元 (SCR) 装備エンジンでの使用」を参照してください。

3. DEF タンクを空にするかサイホンで吸い出します。

注記： DEF タンクがきれいになるまで手順 2 ~ 3 を繰り返してください。

4. **初期バージョン**：DEF 供給装置フィルタと DEF タンクヘッダーサクションスクリーンを交換します。

   後期バージョン：DEF 供給装置フィルタと DEF インラインフィルタを交換します。

5. 取り外した場合は、DEF タンクドレンプラグを取り付けます。
6. 取り外した場合は、DEF タンクを取り付けます。
7. DEF タンクに新品の DEF を注入します。
8. JDG11594、JDG11684 などの屈折計を使用して、排ガス処理用尿素水 (DEF) 濃度を点検します。適切な DEF 濃度は 31.8～33.2% です。詳しくは認定取扱店にお問い合わせください。
9. 排ガス処理用尿素水 (DEF) が仕様内にないか、透明に見えないか、わずかなアンモニア臭がない場合は、最寄りの正規販売店にお問い合わせください。

DX,DEF,CLEANTANK-40-18SEP19

バッテリーの電気回路の接続解除

注意： けがや爆発のおそれがあります！安全上の注意事項、「バッテリーの安全な取り扱い」(セクション 05) に従ってください。

注意：

電気回路の接続解除：
マイナス端子(-)のアースケーブルの接続を外します。適切な絶縁テープで絶縁するなどして、接続ポイントとバッテリーの極が触れないように保護してください。

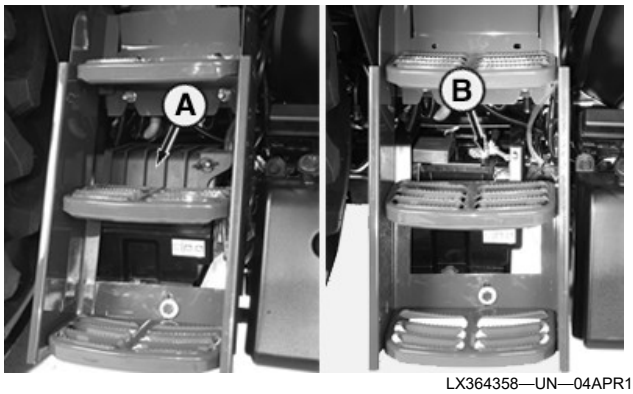
バッテリーを取り外す前に：
すべてのバッテリー端子の接続を外します。必ずマイナス端子 (-) の接続を外してからプラス端子 (+) の接続を外します。バッテリーを再接続する場合は、プラス端子(+)から始めて、最後にマイナス端子(-)を接続します。順序を間違えると、電気システムに深刻な損傷を与え、最悪の場合は爆発を引き起こす可能性があります。

重要： 車両を 30 日以上使用しない場合は、バッテリーを取り外すことをお勧めします。バッテリーを清掃し、涼しく乾燥した場所に保管し、フル充電してください。バッテリーのトリクル充電器を使用する場合は、メーカーの取扱説明書を読んで、その装置が適切かどうかを確認してください。

重要： エンジンを OFF にしてから 4 分以上待って、電気回路の接続を外してください。DEF システムは、ラインをフラッシングするためにこの時間を必要とします。排ガス処理用尿素水 (DEF) が正常に作動するためには、電気回路の接続解除によってこの手順を中断させないことが重要です。

電気回路の接続解除：

1. カバー (A) を外します。



LX364358—UN—04APR19

カバー/マイナス端子

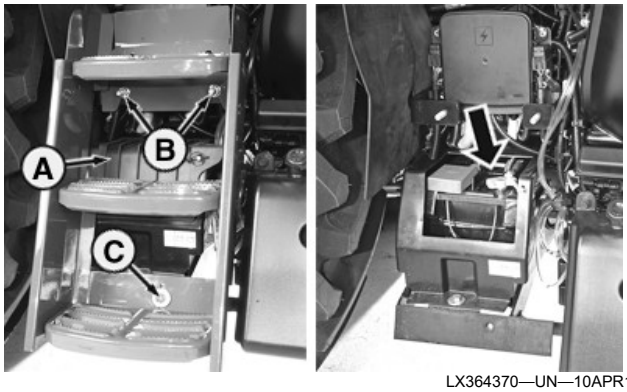
2. マイナス (-) 端子のアースケーブルの接続を外して、誤って接触しないようにバッテリー端子を保護します。ここに示すバージョンでは、マイナス端子は (B) のマークの位置にあります。

「バッテリーへのアクセス」を改善するには、右側乗降ステップを取り外します。以下の説明を参照してください。

OULXA64,SP1,00058E5-40-20JUL23

バッテリーへのアクセス

1. カバー (A) を取り外して、必要に応じて乗降ステップを取り外します。



LX364370—UN—10APR19

2. ナット (B) とねじ (C) を取り外します。
3. 乗降ステップを取り外します。
4. 取り付けは、取り外しと逆の順に行います。

   ナット (B) とねじ (C) を規定のトルクで締め付けます。

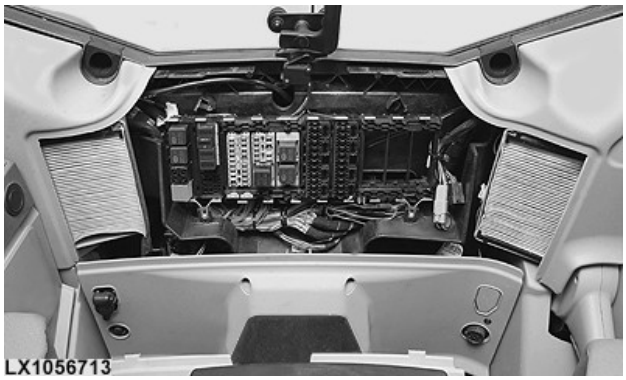
仕様

ブラケットの乗降ステップ、取り付けねじ：トルク	122 N·m (90 lb·ft)
ブラケットの乗降ステップ、ナットの締め付け：トルク	122 N·m (90 lb·ft)

OULXA64,SP1,00058E6-40-20NOV20

ヒューズへのアクセス

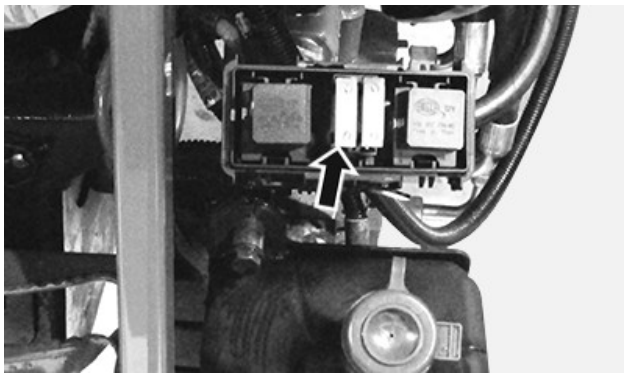
LCS - ロードセンターセカンダリ (LCS) 回路のヒューズとリレーは、運転席の裏にあります。



LX1056713—UN—12JUL12

LCS - ヒューズとリレー

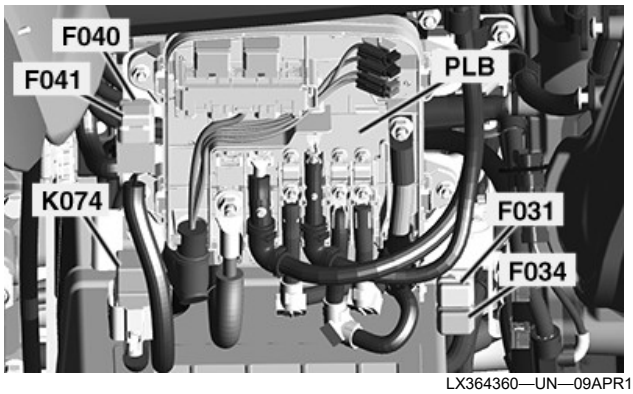
PSB - 電源ソケットボックス (PSB) のヒューズとリレーは、右側乗降ステップの横にあります。



LX364361—UN—04APR19

PSB - ヒューズとリレー

以下のヒューズとリレーは、右乗降ステップの背後にあります：



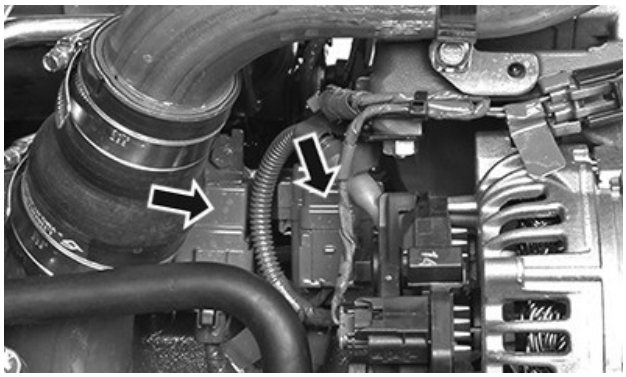
LX364360—UN—09APR19

PLB - ヒューズとリレー

- **PLB** - **P**ower **L**ink **B**ox (電源リンクボックス) のヒューズとリレー
- **F031** - 10 A、バッテリー遮断スイッチ付きラジオ用ヒューズ[1]
- **F034** - 10 A、バッテリー遮断スイッチ付き StarFire™ 受信機用ヒューズ[1]
- **F040** - 10 A、フロントヒッチ (ELX) の 3 ピン電源コンセントソケット用ヒューズ[1]
- **F041** - 30 A、フロントヒッチ (BAT) の 3 ピン電源コンセントソケット用ヒューズ[1]
- **K074** - フロントヒッチの 3 ピン電源コンセントソケット用リレー[1]

ヒューズとリレーにアクセスするには、乗降ステップを取り外します。このセクションの「バッテリーへのアクセス」を参照してください。

電気始動補助装置のヒューズとリレーは、エンジンの右側にあります。



LX364362—UN—04APR19

エンジンのヒューズ

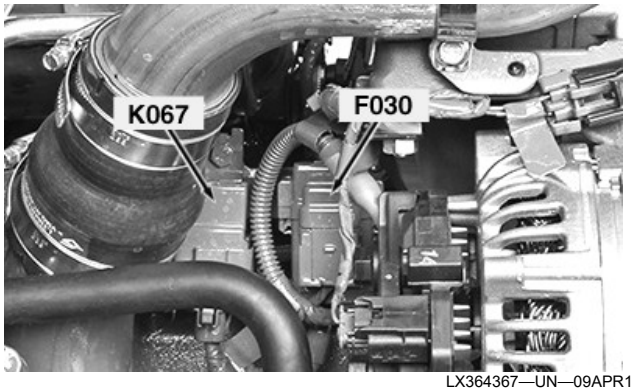
OULXA64,SP1,00058E7-40-21NOV23

電気始動補助装置のヒューズとリレー

重要：**電気システムへの損傷を防ぐため、表に記載されている値よりも高い定格のヒューズは絶対に使用しないでください。**

重要：**トラクター納品時は一部のヒューズ位置が空になっています。該当のオプションを装備するまでこれらを空のままにしておいてください。**

ヒューズ (F030) とリレー (K067) はエンジンの右側にあります。



LX364367—UN—09APR19

電気始動補助装置のヒューズとリレー

F30：**ヒューズ、70 A**
K067：**電気始動補助装置のリレー**

フードを開けてカバーを取り外します。

ヒューズ (F030) またはリレー (K067) を点検し、必要に応じて交換します。

カバーを取り付けてフードを閉じます。

OULXA64,SP1,00058E8-40-20NOV20

[1] *装備されている場合*

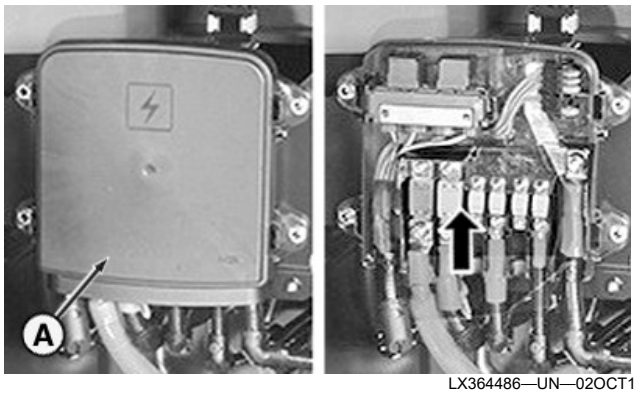
PLB - ヒューズ/リレー

一般情報

重要：電気システムへの損傷を防ぐため、表に記載されている値よりも高い定格のヒューズは絶対に使用しないでください。

重要：トラクター納品時は一部のヒューズ / リレーの位置が空になっています。該当のオプションを装備するまでこれらを空のままにしておいてください。

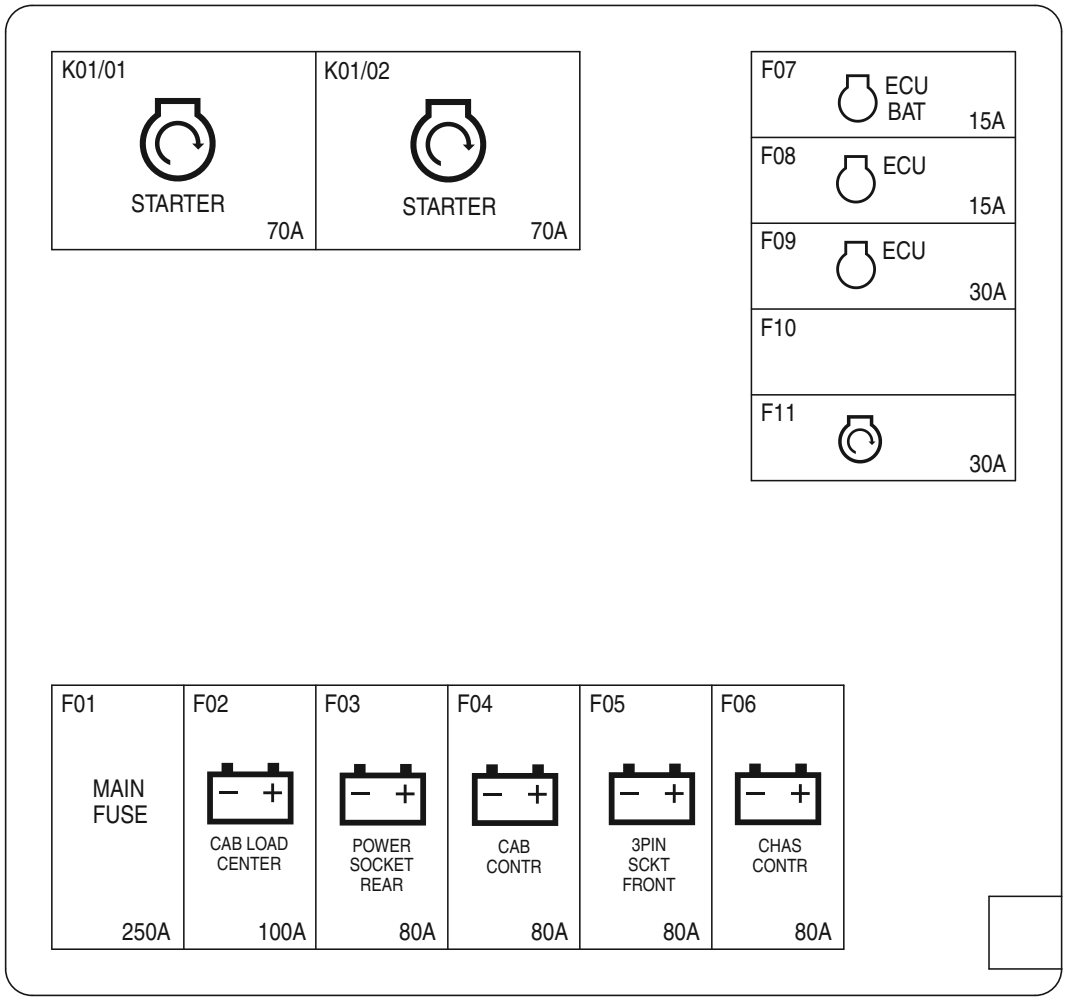
注記：トラクターの装備によっては、下記のすべてのヒューズ/リレーが取り付けられていない場合があります。



LX364486—UN—02OCT19

ヒューズとリレーにアクセスするには、乗降ステップとカバー (A) を取り外します。このセクションの「バッテリーへのアクセス」を参照してください。

ヒューズボックス (PLB) の概要



LX358941

LX358941—UN—31JUL18

ヒューズ / リレー (PLB)

ヒューズ番号	定格 (アンペア)	電装品	トルク
F01_PLB	250 A	メイン	11 N·m (8.1 lb·ft)
F02_PLB	100 A	ヒューズ/リレーボックスの電源 (LCS)	11 N·m (8.1 lb·ft)
F03_PLB	80 A	ヒューズ/リレーボックスの電源 (PSB)	4.5 N·m (3.3 lb·ft)
F04_PLB	80 A	キャブコントロールユニットの電源	4.5 N·m (3.3 lb·ft)
F05_PLB	80 A	3 端子電源コンセントソケット用電源 (フロントヒッチ)	4.5 N·m (3.3 lb·ft)
F06_PLB	80 A	リアシャーシコントロールユニットの電源	4.5 N·m (3.3 lb·ft)
F07_PLB	15 A	エンジンコントロールユニット (BAT)	-
F08_PLB	15 A	エンジンコントロールユニット (BAT)	-
F09_PLB	30 A	エンジンコントロールユニット (BAT)	-
F10_PLB	-	不使用	-
F11_PLB	30 A	スタータモーター (ソレノイドスイッチ)	-

リレー番号	定格 (アンペア)	電装品
K01/01_PLB	70 A	スタータリレー 1
K01/02_PLB	70 A	スタータリレー 2

OULXA64,SP,00056F4-40-12OCT20

LCS - ヒューズとリレー、その 1

一般情報

重要： 電気システムへの損傷を防ぐため、配置図に記載されている値より高い定格のヒューズは絶対に使用しないでください。

重要： トラクター納品時は一部のヒューズ位置が空になっています。該当のオプションを装備するまでこれらを空のままにしておいてください。

注記： トラクターの装備によっては、下記のすべてのヒューズ/リレーが取り付けられていない場合があります。

LCS - ロードセンターセカンダリ (LCS) 回路のヒューズとリレーは、運転席の裏にあります。

ラッチを押し下げてカバーを取り外します。



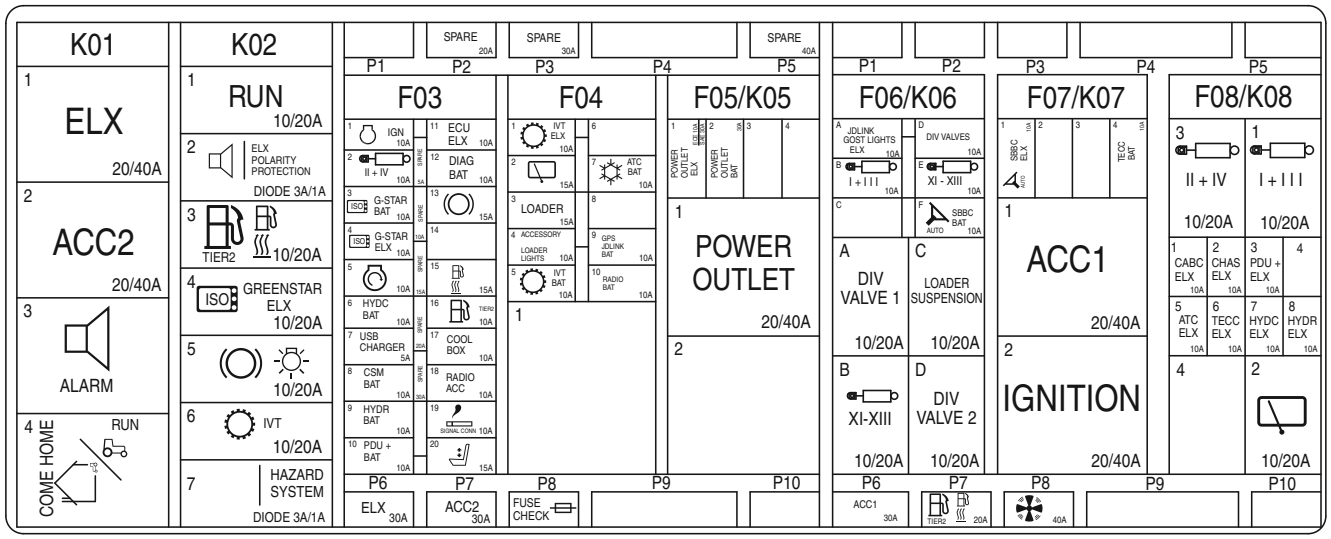
LX1058125—UN—06SEP12



LX1058126—UN—06SEP12

LCS - ヒューズ/リレーボックス

LCS - ヒューズ/リレーボックスの概要



LX358940

LX358940—UN—30JUL18

OULXA64,SP,00056F2-40-11FEB21

LCS - ヒューズとリレー、その 2

LCS-01 - リレー

リレー番号	定格 (アンペア)	電装品
K01/01_LCS	20/40 A	エレクトロニクス電源用リレー (ELX1)
K01/02_LCS	20/40 A	エレクトロニクス電源用リレー (ELX2)
K01/03_LCS	-	音響アラーム、部品情報
K01/04_LCS	-	カムホームコネクタ、部品情報

LCS-02 - リレーとダイオード

リレー番号	定格 (アンペア)	電装品
K02/01_LCS	10/20 A	イグニッションリレー
K02/02_LCS	1 A	音響警報用ダイオード
K02/02_LCS	3 A	電子機器電源用ダイオード (ELX1)
K02/03_LCS	10/20 A	燃料プレヒーター用リレー[a] 燃料ポンプおよび燃料予熱式ヒーター用リレー[b]
K02/04_LCS	10/20 A	GreenStar™ 用リレー (AMS)
K02/05_LCS	10/20 A	ブレーキライト用リレー
K02/06_LCS	10/20 A	トランスミッション有効化用リレー (AutoPowr™/IVT™トランスミッション)
K02/07_LCS	1 A	不使用
K02/07_LCS	3 A	ハザード警告灯用ダイオード

[a]ファイナルティア 4/ステージ IV ディーゼルエンジン搭載のトラクター (ECU レベル 34)、エンジンシリアル番号： CD4045UXXXXXX
[b]ティア 2/ステージ II ディーゼルエンジン搭載のトラクター、(ECU レベル 16) エンジンシリアル番号 CD4045GXXXXXX

LCS-03 - ヒューズ

ヒューズ番号	定格 (アンペア)	電装品
F03/01_LCS	10 A	切替時供給電源プラス (IGN)
F03/02_LCS	10 A	ステッパモーター E-SCV II、E-SCV IV
F03/03_LCS	10 A	GreenStar™ (AMS)、外部モニター (BAT)
F03/04_LCS	10 A	GreenStar™ (AMS) (ELX)
F03/05_LCS	10 A	キースイッチ
F03/06_LCS	10 A	フロントシャーシコントロールユニット (BAT)
F03/07_LCS	5 A	USB 充電器
F03/08_LCS	10 A	キャブスイッチモジュールコントロールユニット (BAT)
F03/09_LCS	10 A	E-SCV/フロントローダーコントロールユニット (BAT)
F03/10_LCS	10 A	コーナーポストディスプレイ、イモビライザコントロールユニット (BAT)
F03/11_LCS	10 A	エンジンコントロールユニット、イモビライザコントロールユニット (ELX)
F03/12_LCS	10 A	整備用ソケット (X571)
F03/13_LCS	15 A	ブレーキランプ
F03/14_LCS	-	不使用
F03/15_LCS	15 A	燃料プレヒーター
F03/16_LCS	10 A	燃料ポンプ[a]
F03/17_LCS	10 A	電気冷蔵庫
F03/18_LCS	10 A	ラジオ (ACC)
F03/19_LCS	10 A	シガーライター、信号ソケット (ACC)
F03/20_LCS	15 A	運転席 (ACC)

[a]ティア 2/ステージ II ディーゼルエンジン搭載のトラクター、(ECU レベル 16) エンジンシリアル番号 CD4045GXXXXXX

LCS-04 - ヒューズとリレー

ヒューズ番号	定格 (アンペア)	電装品
F04/01_LCS	10 A	トランスミッションコントロールユニット (AutoPowr™/IVT™トランスミッション) (ELX)
F04/02_LCS	15 A	リアウィンドウワイパー/ウォッシャーポンプ (ELX)
F04/03_LCS	15 A	X037F-1 - 付属品 (リード線 0362)、フロントローダー、ピックアップヒッチ (E-PUH) (ELX) 用コネクタ
F04/04_LCS	10 A	X037F-3 - 付属品 (リード線 0372)、フロントローダー、フロントローダー作業灯 (ELX) 用コネクタ
F04/05_LCS	10 A	トランスミッションコントロールユニット (AutoPowr™/IVT™トランスミッション) (BAT)
F04/06_LCS	-	不使用
F04/07_LCS	10 A	エアコンコントロールユニット (BAT)
F04/08_LCS	-	不使用
F04/09_LCS	10 A	JDLink™、バッテリー遮断スイッチ (BAT) なしの StarFire™ 受信機
F04/10_LCS	10 A	バッテリー遮断スイッチ (BAT) なしのラジオ

リレー番号	定格 (アンペア)	電装品
K04/1_LCS	-	不使用

LCS-05 - ヒューズとリレー

ヒューズ番号	定格 (アンペア)	電装品
F05/01_LCS	10 A 30 A	3-ピン電源コンセントソケット、補助電源コンセントソケットストリップ (ECE) (ELX) 3-ピン電源コンセントソケット、補助電源コンセントソケットストリップ、7-ピン電源コンセントソケット (SAE) (ELX)
F05/02_LCS	30 A 30 A	3 端子電源コンセントソケットおよび電源ソケットストリップ (ECE) (BAT) 3 端子電源コンセントソケットおよび電源ソケットストリップ (SAE) (BAT)
F05/03_LCS	-	不使用
F05/04_LCS	-	不使用

リレー番号	定格 (アンペア)	電装品
K05/1_LCS	20/40 A	ソケットへの電源用リレー (ELX)
K05/2_LCS	-	不使用

LCS-06 - ヒューズとリレー

ヒューズ番号	定格 (アンペア)	電装品
F06/A_LCS	10 A	JDLink™、トレーラリング信号ライト (地域オプション) (ELX)
F06/B_LCS	10 A	ステッパモーター E-SCV I、E-SCV III
F06/C_LCS	-	不使用
F06/D_LCS	10 A	フロントローダー用リレー
F06/E_LCS	10 A	ステッパモーター E-SCV XI、E-SCV XII、E-SCV XIII
F06/F_LCS	10 A	ステアリングコントロールユニット (AutoTrac™) (BAT)

リレー番号	定格 (アンペア)	電装品
K06/A_LCS	10/20 A	制御弁 1 用リレー (フロントローダー)
K06/B_LCS	10/20 A	ステッパモーター用リレー E-SCV XI、E-SCV XII、E-SCV XIII
K06/C_LCS	10/20 A	フロントローダーサスペンションシステム用リレー (フロントローダー)
K06/D_LCS	10/20 A	制御弁 2 用リレー (フロントローダー)

LCS-07 - ヒューズとリレー

ヒューズ番号	定格 (アンペア)	電装品
F07/01_LCS	10 A	ステアリングコントロールユニット (AutoTrac™) (ELX)
F07/02_LCS	-	不使用
F07/03_LCS	-	不使用
F07/04_LCS	10 A	コントロールユニット TEC (BAT)

リレー番号	定格 (アンペア)	電装品
K07/1_LCS	20/40 A	付属品 (ACC) 電源用リレー
K07/2_LCS	20/40 A	切替時供給電源プラス用リレー (IGN)

LCS-08 - ヒューズとリレー

ヒューズ番号	定格 (アンペア)	電装品
F08/01_LCS	10 A	キャブコントロールユニット (ELX)
F08/02_LCS	10 A	リアシャーシコントロールユニット (ELX)
F08/03_LCS	10 A	コーナーポストディスプレイ (ELX)
F08/04_LCS	-	不使用
F08/05_LCS	10 A	エアコンコントロールユニット (ELX)
F08/06_LCS	10 A	コントロールユニット TEC (ELX)
F08/07_LCS	10 A	フロントシャーシコントロールユニット (ELX)
F08/08_LCS	10 A	E-SCV およびフロントローダー用コントロールユニット (ELX)

リレー番号	定格 (アンペア)	電装品
K08/1_LCS	10/20 A	ステッパモーター用リレー E-SCV I, E-SCV III
K08/2_LCS	10/20 A	リアウィンドウワイパー/ウォッシャーポンプ用リレー
K08/3_LCS	10/20 A	ステッパモーター用リレー E-SCV II、E-SCV IV
K08/4_LCS	-	不使用

LCS-FRAME1 - ヒューズ

ヒューズ番号	定格 (アンペア)	電装品
F01FRM/P1_LCS	-	不使用
F01FRM/P2_LCS	-	不使用 (予備ヒューズ 20 A)
F01FRM/P3_LCS	-	不使用 (予備ヒューズ 30 A)
F01FRM/P4_LCS	-	-
F01FRM/P5_LCS	-	不使用 (予備ヒューズ 40 A)
F01FRM/P6_LCS	30 A	電子機器の電源 (ELX1)
F01FRM/P7_LCS	30 A	電子機器の電源 (ELX2)
F01FRM/P8_LCS	-	ヒューズテスター
F01FRM/P9_LCS	-	不使用
F01FRM/P10_LCS	-	不使用

LCS-FRAME2 - ヒューズ

ヒューズ番号	定格 (アンペア)	電装品
F02FRM/P1_LCS	-	不使用
F02FRM/P2_LCS	-	不使用
F02FRM/P3_LCS	-	不使用
F02FRM/P4_LCS	-	不使用

ヒューズ番号	定格 (アンペア)	電装品
F02FRM/P5_LCS	-	不使用
F02FRM/P6_LCS	30 A	アクセサリ (ACC) 用電源
F02FRM/P7_LCS	20 A 20 A	燃料予熱式ヒーター [a] 燃料ポンプと燃料予熱式ヒーター[b] 燃料ポンプ
F02FRM/P8_LCS	40 A	ファンモーター
F02FRM/P9_LCS	-	不使用
F02FRM/P10_LCS	-	不使用

[a]*ファイナルティア 4/ステージ IV ディーゼルエンジン搭載のトラクター (ECU レベル 34)、エンジンシリアル番号： CD4045UXXXXXX*
[b]*ティア 2/ステージ II ディーゼルエンジン搭載のトラクター、(ECU レベル 16) エンジンシリアル番号 CD4045GXXXXXX*

OULXA64,SP,00056F3-40-21NOV23

PSB - ヒューズ/リレー

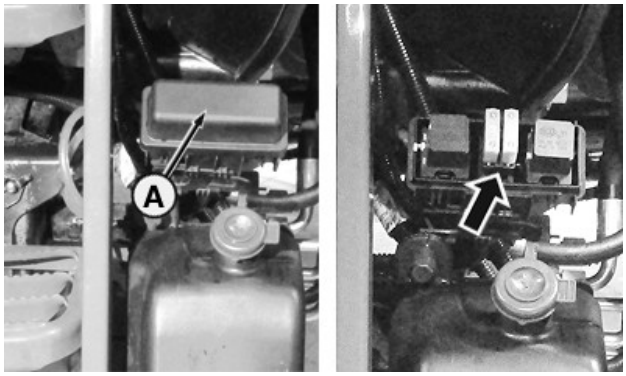
一般情報

重要： **電気システムへの損傷を防ぐため、表に記載されている値よりも高い定格のヒューズは絶対に使用しないでください。**

重要： **トラクター納品時は一部のヒューズ / リレーの位置が空になっています。該当のオプションを装備するまでこれらを空のままにしておいてください。**

注記： トラクターの装備によっては、下記のすべてのヒューズ/リレーが取り付けられていない場合があります。

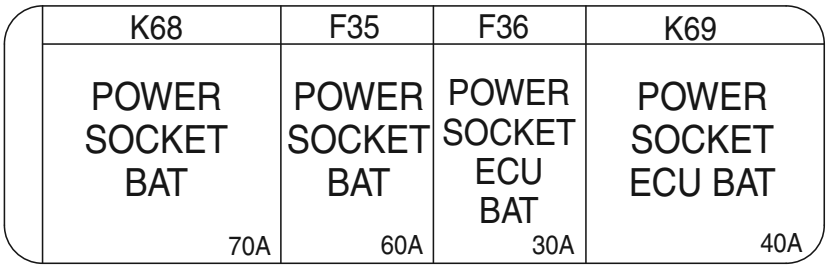
ヒューズとリレーにアクセスするには、乗降ステップとカバー (A) を取り外します。このセクションの「バッテリーへのアクセス」を参照してください。



LX364369—UN—10APR19

右側乗降ステップの後

ヒューズボックス (PSB) の概要



LX1058150

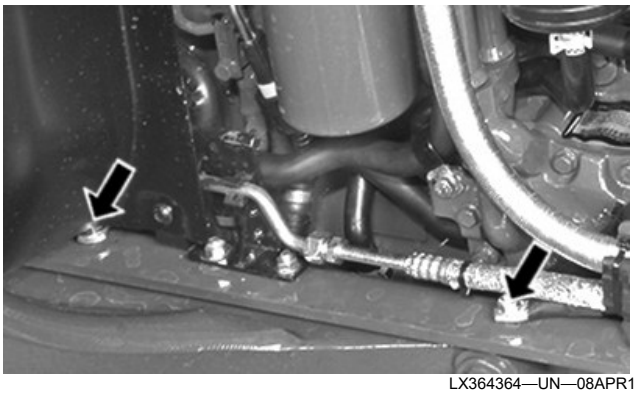
LX1058150—UN—11SEP12

ヒューズ/リレー (PSB)

ヒューズ番号	定格 (アンペア)	電装品	リレー番号	定格 (アンペア)	電装品
F35_PSB	60 A	作業機ソケット用ヒューズ (部品用電源) (BAT)	K068_PS-B	70 A	作業機電源用リレー (部品の電源) (BAT)
F36_PSB	30 A	作業機ソケット用ヒューズ (作業機コントロールユニット用電源)	K069_PS-B	20/40 A	作業機電源用リレー (作業機コントロールユニット用電源) (BAT)

OULXA64,SP1,00058E9-40-20NOV20

エンジンのアース接続の点検



LX364364—UN—08APR19

アースケーブルに摩耗や損傷の兆候がないか点検します。取り付けねじがしっかりと締まっていることを確認します。

アースケーブルが損傷している場合は交換します。

OULXA64,SP1,00058EA-40-20NOV20

スタータモーター

スタータスイッチを作動させたときにスタータモーターが回転しない場合は、スタータシステムの厳密な点検を実施します。バッテリーの充電レベルが十分であるかを点検します。ケーブルが断線していないか、摩耗していないか、ケーブルの接続部が緩んでいないか、酸化していないかを確認します。

可能性のある故障の原因を修理した後、それでもスタータモーターが回転しない場合は、点検と修理を受ける必要があります。

LX25458,ALL,0000B51-40-10JUL25

PTO 作動の安全装置の点検

重要：**フロント PTO とリア PTO について個別に安全装置の点検を実施してください。**

1. 駐車ブレーキロックをかけます。
2. エンジンを始動し、運転したままにします。
3. PTO を接続し、PTO スタブシャフトが回転しているかどうか確認します。

注記：リア PTO を点検するときは、PTO 回転数の選択と接続を実施してください。

4. PTO の接続を解除しないでエンジンを停止します。
5. エンジンをもう一度始動し、運転したままにします。PTO は回転してはなりません。
6. パワーテイクオフが回転を始めた場合は、安全装置の修理を受ける必要があります。

LX25458,ALL,0000B52-40-10JUL25

動き出し防止装置の点検 (PowrQuad™ PLUS および AutoQuad™ PLUS トランスミッション)

1. 副変速レバーをニュートラル位置 (A) に入れます。



LX364209—UN—22JAN19

2. リバースドライブレバー (B) を前進または後進位置に動かします。



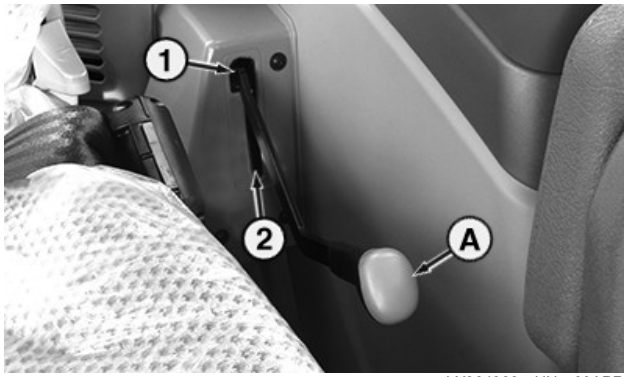
LX364365—UN—08APR19

3. エンジンを始動して 6 ~ 7 秒間待ちます。N の表示が点灯します。
4. クラッチを踏んでいずれかのレンジに入れます。クラッチペダルをゆっくり放します。トラクターが動き始めてはなりません。動いた場合は、直ちに John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

OULXA64,SP,00056F8-40-16JUL25

動き出し防止装置の点検 (CommandQuad™ トランスミッション)

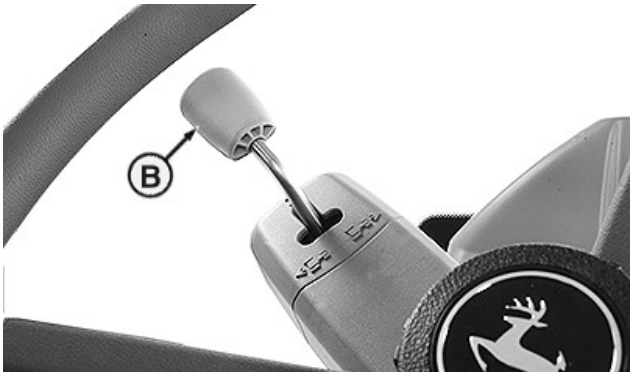
1. レバー (A) を位置 (1) に動かして駐車ブレーキロックをかけます。



LX364366—UN—09APR19

A：**駐車ブレーキロックレバー**
1：**駐車ブレーキロックがかかっている**
2：**駐車ブレーキロック解除**

2. リバースドライブレバー (B) を前進または後進位置に動かします。



LX364365—UN—08APR19

B：**リバースドライブレバー**

3. エンジンを始動して 6 ~ 7 秒間待ちます。N の表示が点灯します。
4. ブレーキをかける。
5. レバー (A) を位置 (2) に動かして駐車ブレーキロックを解除します。
6. ブレーキを解除してアクセルペダルまたはハンドスロットルを操作します。トラクターが動き始めてはなりません。動いた場合は、直ちに John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

OULXA64,SP,00056F9-40-16JUL25

動き出し防止装置の点検 - (AutoPowr™/IVT™ トランスミッション)

1. リバースドライブレバー (A) を前進または後進位置に入れます。



LX372926—UN—18NOV20

A：**リバースドライブレバー**

2. エンジンを始動して 6 ~ 7 秒間待ちます。N の表示が点灯します。
3. クラッチペダルを踏み込み、ゆっくり解放します。トラクターが動き始めてはなりません。動いた場合は、直ちに John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

OULXA64,SP,0005868-40-16JUL25

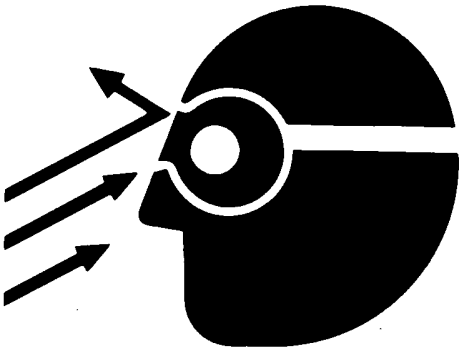
ライトテスト

特に公道で運転する前には、ライトが適切に動作するか確認してください。

すべての法的規則に従ってください。

220B,700,ALL,LX25458,0000B54-40-02APR24

ハロゲンバルブの安全な取り扱い



TS266—UN—23AUG88



H39474—UN—30JUN00

A：**ハロゲン電球**

注意： ハロゲンバルブ (A) には圧力のかかったガスが入っています。ハロゲンランプを正しく取り扱わないと、粉々になって飛散することがあります。けがを防止するため、次のように取り扱ってください。

- **ハロゲンバルブを交換する前に、ライトを消灯し、放置して冷まします。ハロゲンバルブの交換が完了するまでスイッチはオフのままにしてください。**
- **安全ゴーグルと手袋を着用してください。**
- **ハロゲンバルブは口金の部分のみを持ってください。ハロゲンバルブはオイルから遠ざけてください。素手でさらならいように手袋を着用してください。**
- **ハロゲンバルブを落とさないでください。また、傷がつかないように注意してください。濡らさないようにしてください。**
- **落としたバルブまたはガラスに傷があるランプは使用しないでください (破片が飛散する危険性があります)。**
- **使用済みのハロゲンバルブは新品のハロゲンバルブの箱に入れて正しく廃棄してください。子供が触らないようにしてください。**

220B,701,ALL,LX25458,0000B55-40-02APR24

安全なメンテナンスとクリーニング



TS249—UN—23AUG88

注意： 手が届きにくい場所の整備作業を行う場合は、必ず適切な足場、台、安全タラップを使用してください。

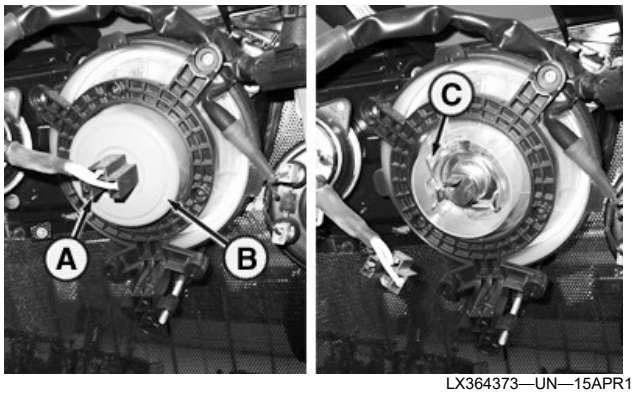
アクセスできない部分でクリーニングやメンテナンス作業 (例、ルーフライトの調整、冷却システムのメンテナンス作業、右側ドアのないトラクターでの右外側ミラーの調整、およびその他の同様の作業) を行うときは特別な注意が必要です。

注意： 作業者が登ることを目的としていないトラクターの部品に登ってこれらの作業を実施することは許可されていません。トラクターの部品が濡れている、汚れている、または凍結している場合は、特に落下する危険があります。

220B,702,ALL,LX25458,0000B56-40-02APR24

エンジンフードのヘッドライトのバルブの交換

1. ライトをオフにし、バルブを冷まします。
2. エンジンフードを開け、コネクタ (A) の接続を外します。



LX364373—UN—15APR19

3. カバー (B) を取り外して、クランプ (C) を緩めます。

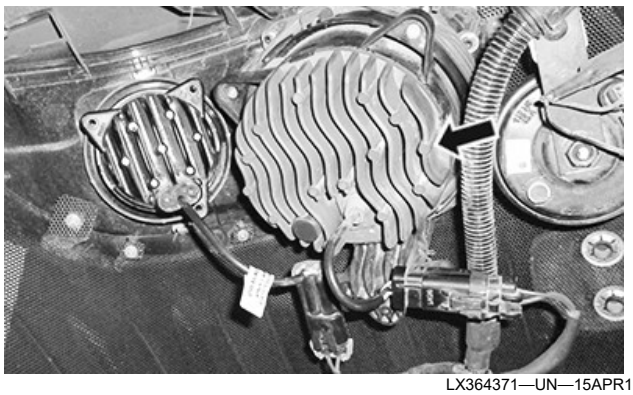


LX364374—UN—16APR19

4. 新品のバルブを清潔な布でつかんで配置し、クランプ (C) で固定します。
5. カバー (B) とコネクタ (A) を取り付けます。

6. エンジンフードを閉めます。

注記：LED ライトの場合は、LED ライト全体を交換します。



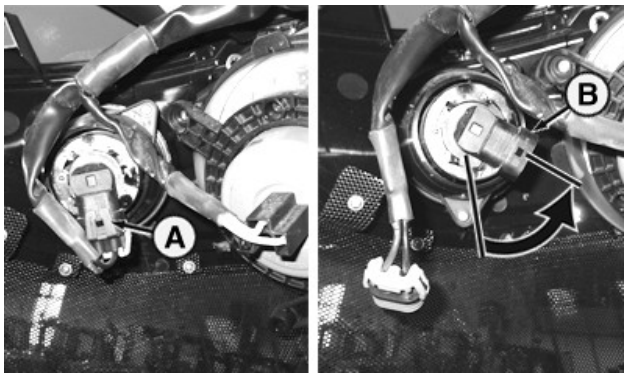
LX364371—UN—15APR19

LED ヘッドライト

220B,710,MC,OULXA64,00058EB-40-02APR24

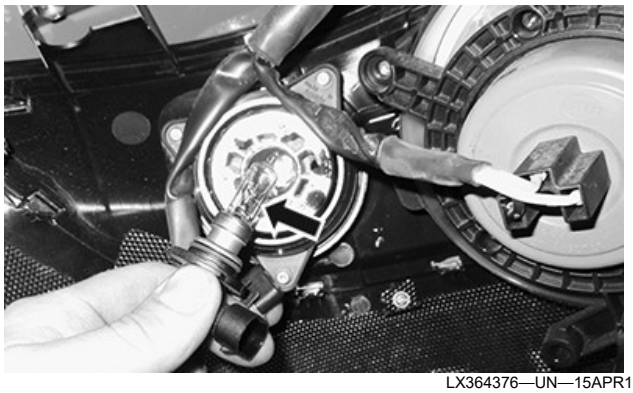
エンジンフードの作業灯のバルブの交換

1. ライトをオフにし、バルブを冷まします。
2. エンジンフードを開け、コネクタ (A) の接続を外します。



LX364375—UN—15APR19

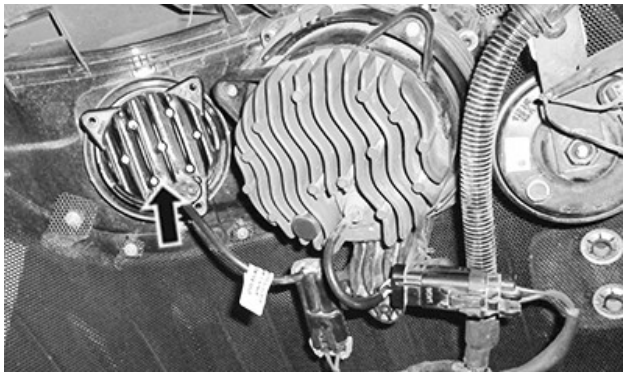
3. ソケット (B) を反時計回りに回して取り外します。
4. 清潔な布を使用して、新品のバルブを取り付けます。



LX364376—UN—15APR19

5. ソケット (B) をハウジングに配置して、時計回りに回します。
6. コネクタ (A) を取り付けて、エンジンフードを閉めます。

注記：LED ライトの場合は、LED ライト全体を交換します。



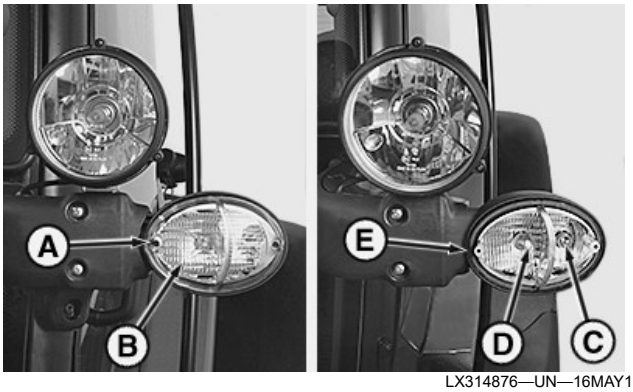
LX364372—UN—15APR19

LED 作業灯

220B,713,MC,OULXA64,00058EC-40-02APR24

キャブフレームの方向指示灯およびクリアランスライトのバルブの交換

1. ライトをオフにし、バルブを冷まします。
2. ねじ (A) を取り外し、ヘッドライトのレンズ (B) を取り外します。



LX314876—UN—16MAY17

3. **方向指示灯のバルブ (C) の交換**：
   a. バルブ (C) を取り外すには、バルブを押して反時計回りに回します。
   b. きれいな布を使って新しいバルブを配置し押しながら時計回りに回して取り付けます。
4. **クリアランスライトのランプ (D) の交換**：
   a. バルブ (D) を取り外すには、バルブを押して反時計回りに回します。
   b. きれいな布を使って新しいバルブを配置し押しながら時計回りに回して取り付けます。

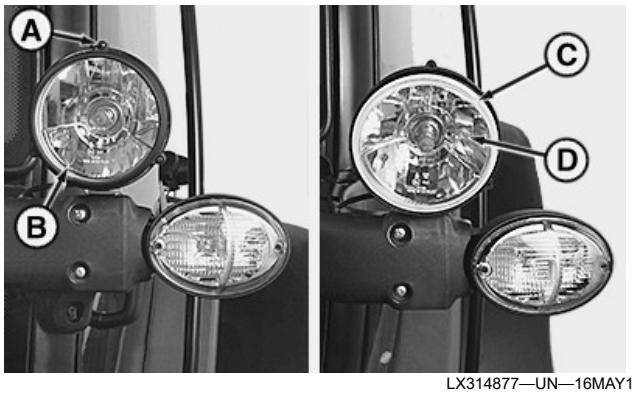
注記： シール (E) が正しくしっかりはまっているか確かめます。

5. ヘッドライトレンズ (B) を配置し、ボルト (A) を締め付けます。

220B,715,ALL,OULXA64,0005A12-40-02APR24

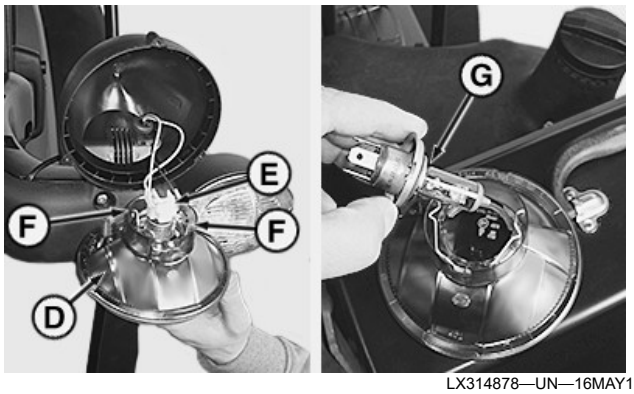
キャブフレームのヘッドライトのランプの交換

1. ライトをオフにし、バルブを冷まします。
2. ねじ (A) を取り外し、取り付けフレーム (B) を取り外します。



LX314877—UN—16MAY17

3. シール (C) を取り外し、ハウジングからライト (D) を外します。
4. コネクタ (E) の接続を外し、クランプ (F) を解除します。



LX314878—UN—16MAY17

5. バルブ (G) を取り外します。
6. 新品のバルブを清潔な布でつかんで配置し、クランプ (F) で固定します。
7. コネクタ (E) を取り付け、ライト (D) をハウジングに配置します。
8. シール (C) を取り付け、正しくはまっていることを確認します。
9. 取り付けフレーム (B) を配置して、ねじ (A) を締め付けます。

注記： LED ライトの場合は、LED ライトモジュールを交換するか、必要に応じてライト全体を交換します。



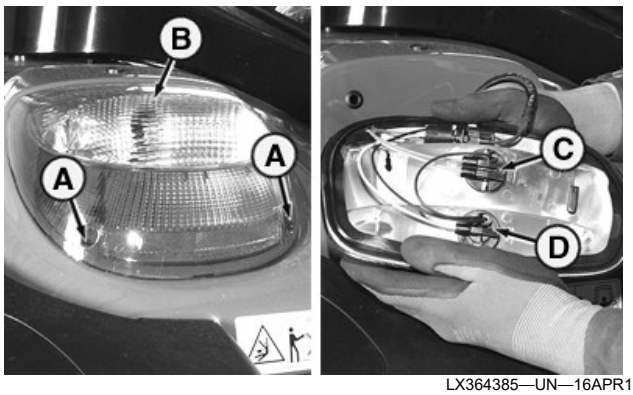
LX364382—UN—16APR19

LED ライト

220B,716,ALL,OULXA64,0005A13-40-02APR24

フェンダーのテールライトおよび停止灯/方向指示灯のバルブの交換

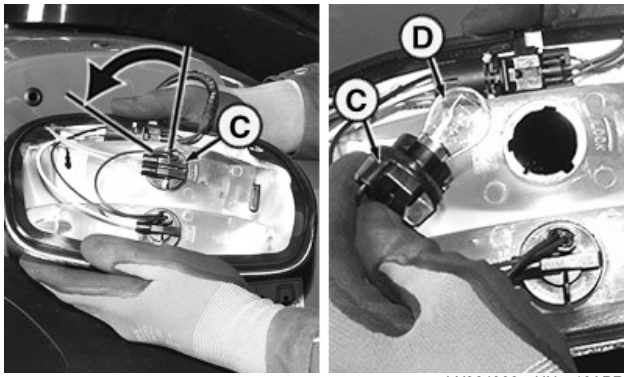
1. ライトをオフにし、バルブを冷まします。
2. ねじ (A) を外して、ハウジング (B) を取り外します。



LX364385—UN—16APR19

A：**ねじ**
B：**ハウジング**
C：**ソケット、停止灯**
D：**ソケット、方向指示灯**

3. **テールランプ/停止灯のバルブの交換**



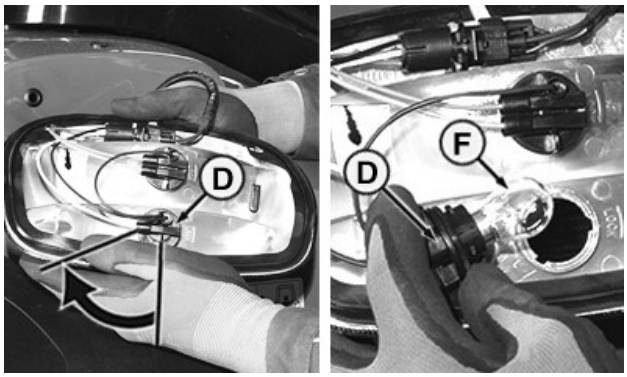
LX364386—UN—16APR19

テールライト/ブレーキランプ

C：**テールライトおよび停止灯のメス端子**
D：**テールライト / 停止灯のバルブ**

a. ソケット (C) を反時計回りに回して取り外します。
b. 清潔な布を使用して、新品のバルブ (D) をソケットに配置します。
c. ソケット (C) をハウジングに配置して、時計回りに回します。

4. **方向指示灯のバルブの交換**：



LX364387—UN—16APR19

方向指示灯

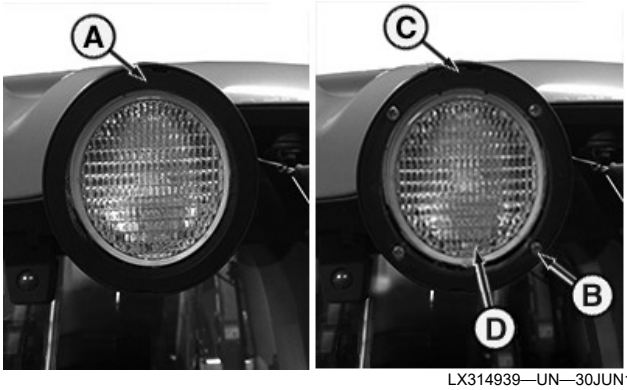
D：**ソケット、方向指示灯**
F：**バルブ、方向指示灯**

a. ソケット (D) を時計回りに回して取り外します。
b. 清潔な布を使用して、新品のバルブ (F) をソケットに配置します。
c. ソケット (D) をハウジングに配置して、反時計回りに回します。

5. ハウジング (B) を取り付けて、ねじ (A) で締め付けます。

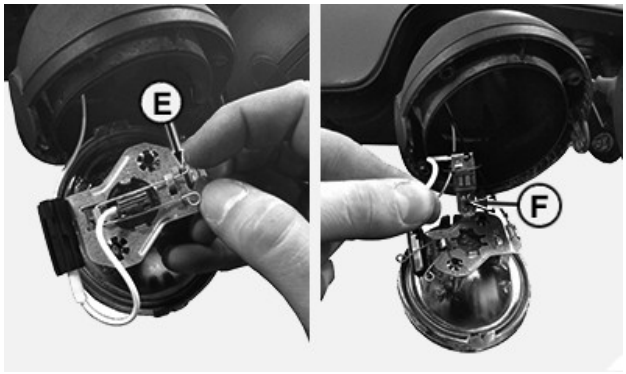
220B,717,6M,LX25458,0000B5D-40-02APR24

作業灯のバルブ (丸型) の交換



LX314939—UN—30JUN17

キャブルーフ後部の作業灯



LX314940—UN—30JUN17

1. ライトをオフにし、バルブを冷まします。
2. カバー (A) を外します。
3. ねじ (B) を取り出して、スナップリング (C) を取り外します。
4. ライト (D) をハウジングから分離します。
5. ロック (E) を解除し、バルブ (F) をコネクタから外します。
6. 清潔な布を使用して、新品のバルブをコネクタに接続します。
7. バルブ (F) をライトに配置し、デテント (E) を取り付けます。
8. ライトをハウジングに配置します。
9. 固定リング (C) を配置してねじ (B) を締め付けます。
10. カバー (A) を取り付けます。

注記： *LED ライトの場合は、LED ライトモジュールを交換するか、必要に応じてライト全体を交換します。*

220B,718,6M,OULXA64,00056FC-40-02APR24

作業灯のバルブ (楕円形) の交換

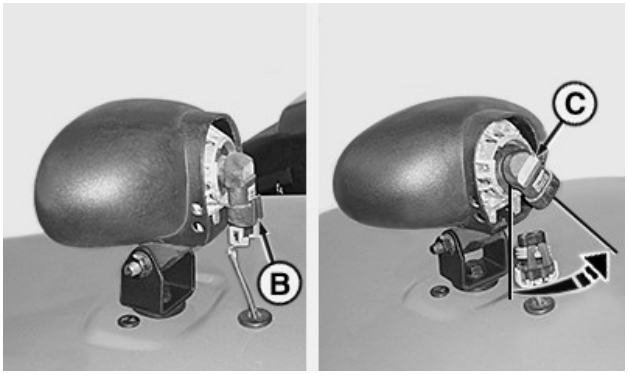
1. ライトをオフにし、バルブを冷まします。

2. カバー (A) を外します。



LX1057351—UN—13NOV13
フェンダー後部の作業灯

3. コネクタ (B) の接続を外します。



LX314875—UN—16MAY17

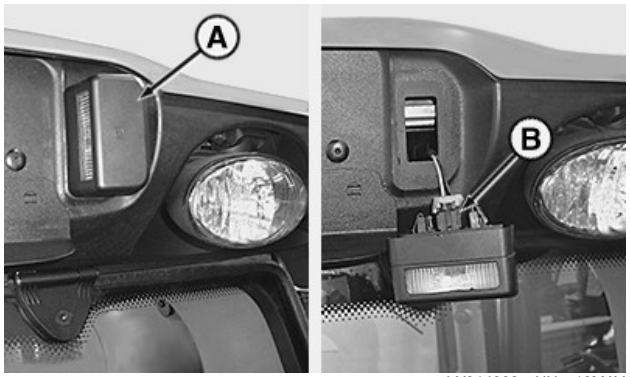
4. ソケット (C) を反時計回りに回転させてハウジングから取り外します。
5. 清潔な布を使用して、新品のバルブをソケットに取り付けます。
6. ソケット (C) をハウジングに配置して、時計回りに回します。
7. コネクタ (B) を取り付けてカバー (A) を取り付けます。

注記： LED ライトの場合は、LED ライトモジュールを交換するか、必要に応じてライト全体を交換します。

220B,719,6M,OULXA64,00056FD-40-02APR24

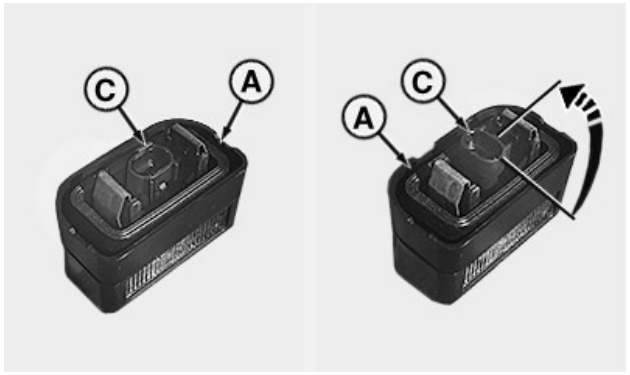
ナンバープレートライトバルブの交換

1. ライトをオフにし、バルブを冷まします。
2. ナンバープレートライト (A) の接続をキャブとコネクタ (B) から外します。



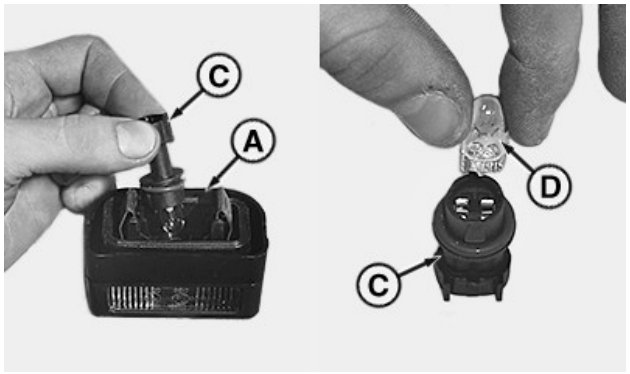
LX314882—UN—16MAY17

3. ソケット (C) を反時計回りに 90° 回し、取り外します。



LX314883—UN—16MAY17

4. バルブ (D) を取り外します。



LX314884—UN—16MAY17

5. 清潔な布を使用して、新品のバルブをソケット (C) に配置します。
6. ソケット (C) をライセンスプレートライト (A) に配置し、時計回りに回します。
7. コネクタ (B) を取り付け、ナンバープレートライト (A) をルーフに取り付けます。

220B,725,ALL,OULXA64,0005A15-40-02APR24

ビーコンライトバルブの交換



TS249—UN—23AUG88

注意： 手が届きにくい場所の整備作業を行う場合は、必ず適切な足場、プラットフォーム、安全タラップを使用してください。

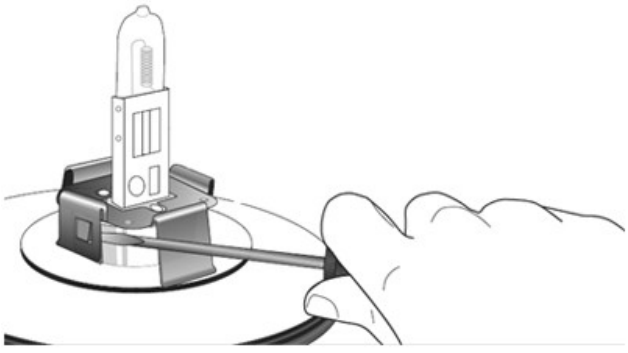
作業者が登ることを目的としていないトラクターの部品に登ってこれらの作業を実施することは許可されていません。トラクターの部品が濡れている、汚れている、または凍結している場合は、特に落下する危険があります。

1. **取り外し**： ライトを開けます。



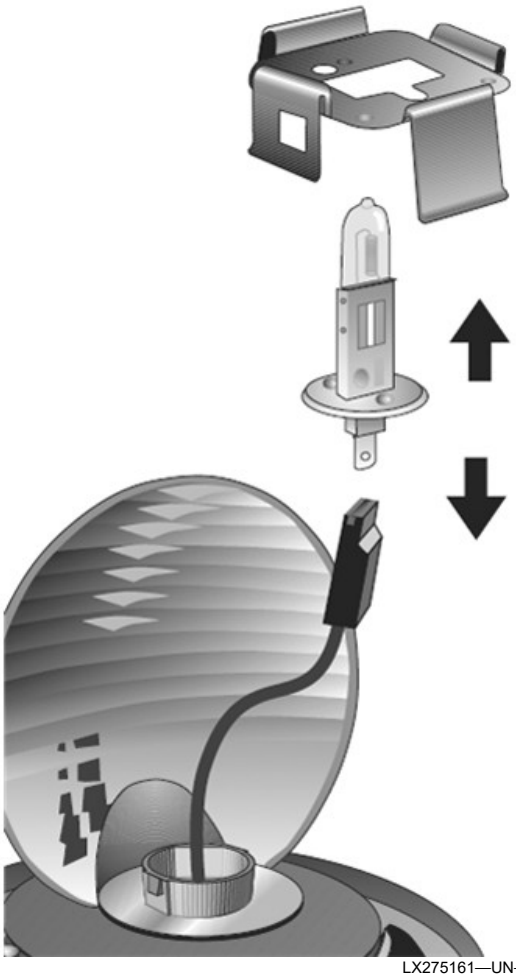
LX275159—UN—03MAR16

2. 保持クランプを外します。



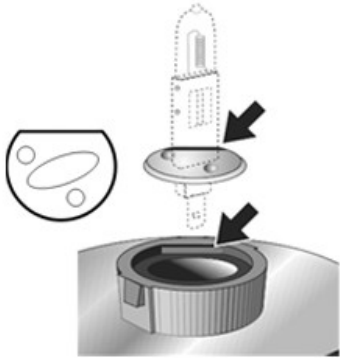
LX275160—UN—03MAR16

3. バルブを取り外します。



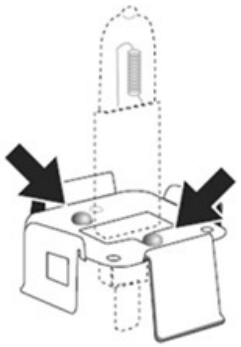
LX275161—UN—03MAR16

4. **取り付け**： 新品のバルブをケーブルに接続して、バルブの口金をソケットに挿入します。口金の輪郭とソケットが整列していることを確認してください。



LX275162—UN—03MAR16

バルブ： H1 - 12V、55W (8GH 002 089-131)



LX275163—UN—03MAR16

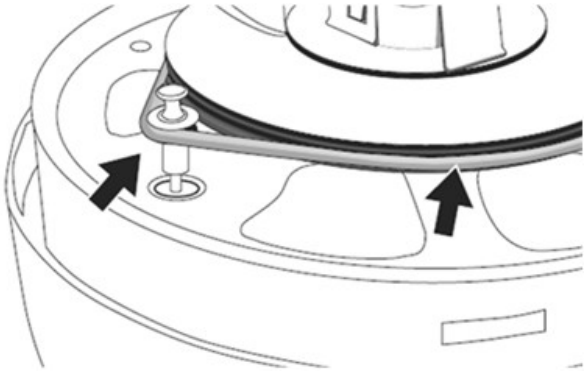
5. 固定クリップを取り付けて、口金のピンが固定クリップの窪みにかみ合うように整列させます。
6. 固定クリップがソケットにかみ合うまで押し下げます。



LX275164—UN—03MAR16

ビーコンライトを閉めます。

注記： 駆動ベルトが滑って外れた場合、図のように再度取り付ける必要があります。



LX275165—UN—03MAR16

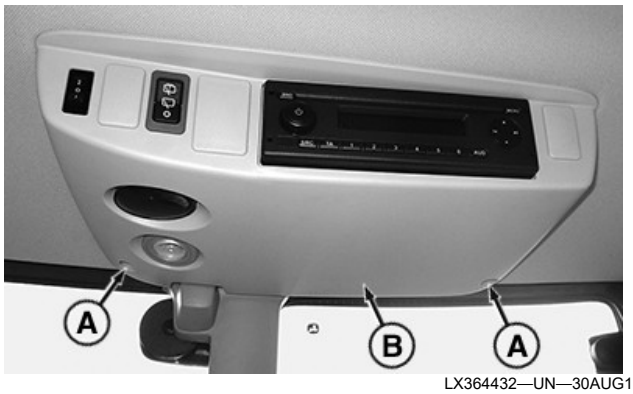
重要： 駆動ベルトが正しく取り付けられていることを点検します。ドライブベルトが図のように取り付けられている場合のみ、指定の回転数を得ることができます。図に示す配置は、電源電圧が 12V の場合に有効です。

重要： ビーコンライトの可動部品を潤滑しないでください。

220B,730,ALL,OULXA64,0005A16-40-02APR24

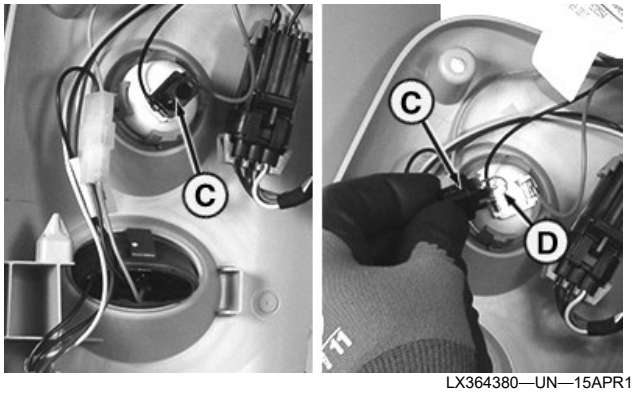
キャブのライトのバルブの交換

1. ライトをオフにし、バルブを冷まします。
2. ねじ (A) を取り外してハウジング (B) を取り外します。



LX364432—UN—30AUG19

3. ソケット (C) をハウジングから外して、バルブ (D) を取り外します。



LX364380—UN—15APR19

4. 清潔な布を使用して、新品のバルブ (D) をソケット (C) に配置します。
5. ソケット (C) をハウジングに配置します。
6. ハウジング (B) を取り付けて、ねじ (A) で締め付けます。

220B,735,6M,OULXA64,00056FE-40-02APR24

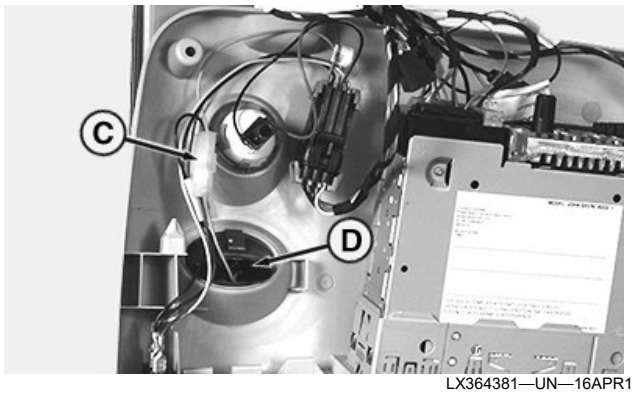
トランスミッションシフトユニットのライトのバルブ交換

1. ライトをオフにし、バルブを冷まします。
2. ねじ (A) を取り外してハウジング (B) を取り外します。



LX364432—UN—30AUG19

3. コネクタ (C) の接続を外して、バルブ (D) を取り外します。

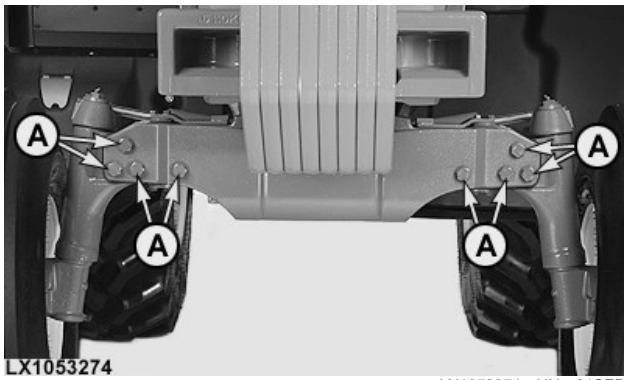


LX364381—UN—16APR19

4. 新品のバルブ (D) をハウジングに配置して、コネクタ (C) を接続します。
5. ハウジング (B) を取り付けて、ねじ (A) で締め付けます。

220B,740,6M,OULXA64,00056FF-40-02APR24

フロントアクスルボルトの締め付け - 調整式フロントアクセル、タイプ B

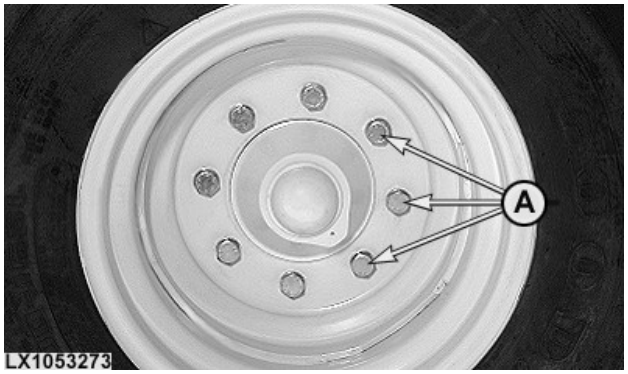


LX1053274—UN—21SEP11

A：**600 N·m (445 lb·ft)**

LX25458,2WD,0000B60-40-29APR22

フロントホイールボルトの締め付け - 調整式フロントアクセル、タイプ B



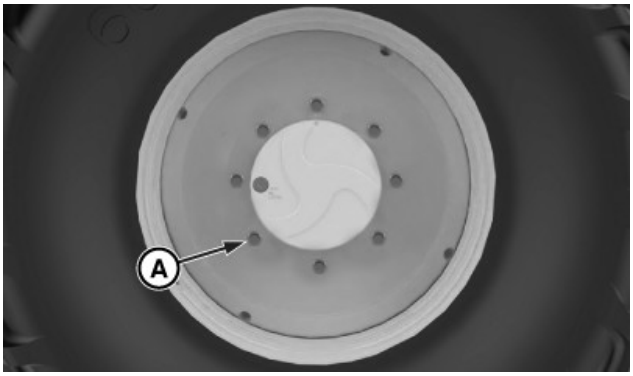
LX1053273—UN—14SEP11

A：**310 N·m (230 lb·ft)**

LX25458,2WD,0000B61-40-13JAN23

前輪のホイールボルトの締め付け - 前輪駆動車軸付き

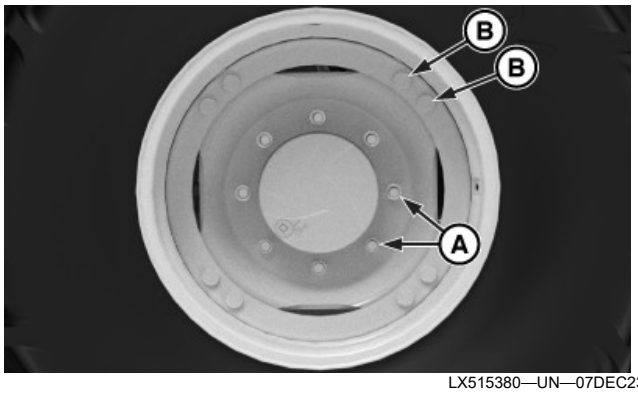
前輪駆動車軸装備の車両のホイールボルトの締め付け — 8 ボルト円の前輪



LX515379—UN—07DEC23

8 ボルト円および丸形ホイールディッシュ付き前輪

A：**300 N·m (220 lb·ft)**

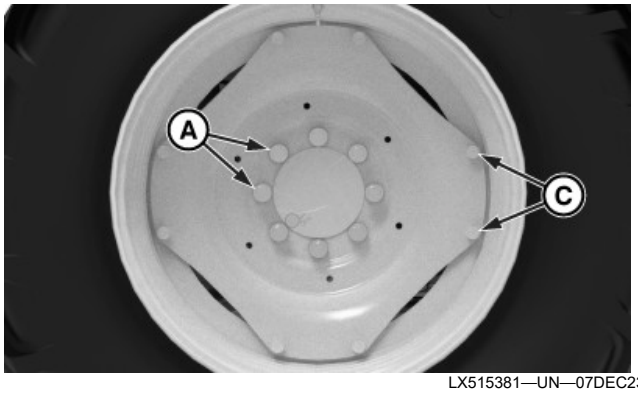


LX515380—UN—07DEC23

8 穴円および角形ホイールディッシュ付き前輪

A：**300 N·m (220 lb·ft)**
B：**210 N·m (155 lb·ft)**

トルクの仕様は、8 穴円および丸形ホイールディッシュ付き前輪にも適用されます。

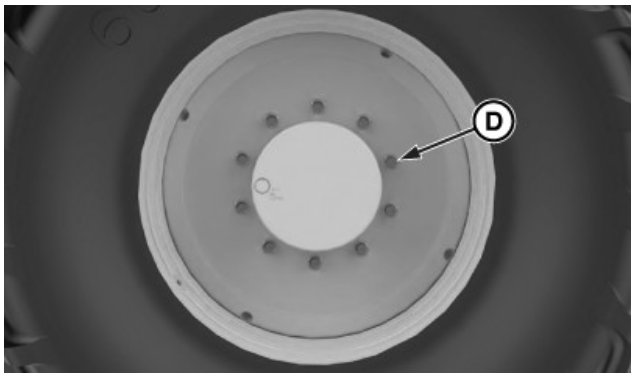


LX515381—UN—07DEC23

8 ボルト円とワッフルリム付き前輪

A：**300 N·m (220 lb·ft)**
C：**金色ボルト - 280 N·m (205 lb·ft)**
C：**灰青色ボルト - 265 N·m (195 lb·ft)**

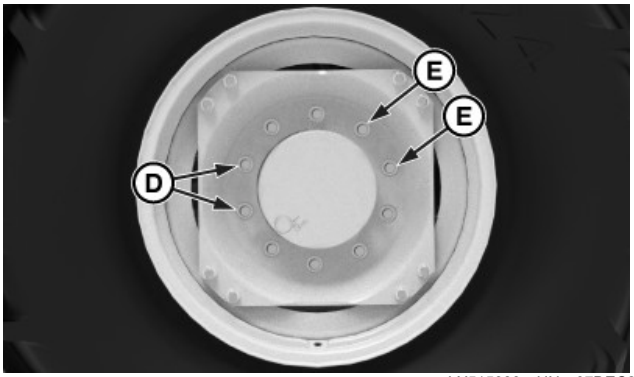
前輪駆動車軸装備の車両のホイールボルトの締め付け - 10 ボルト円の前輪



LX515382—UN—07DEC23

10 ボルト円および丸形ホイールディッシュ付き前輪

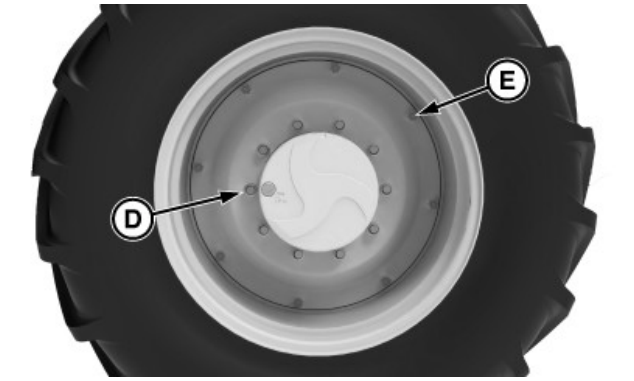
D：**480 N·m (355 lb·ft)**



LX515383—UN—07DEC23

10 ボルト円と角形ホイールディッシュ付き前輪

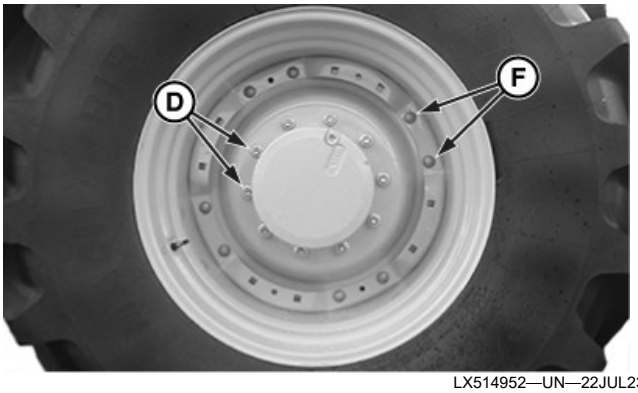
D：**480 N·m (355 lb·ft)**
E：**210 N·m (155 lb·ft)**



LX622662—UN—06DEC24

10 ボルト円および丸形ホイールディッシュ付き前輪

D：**480 N·m (355 lb·ft)**
E：**210 N·m (155 lb·ft)**



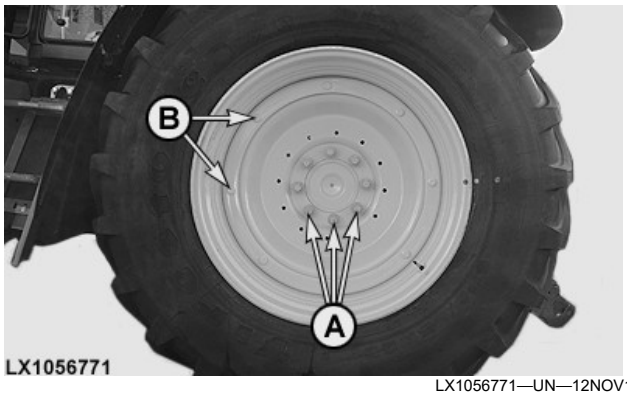
LX514952—UN—22JUL23

10 ボルト円とワッフルリム付き前輪

D：**480 N·m (355 lb·ft)**
F：**金色ボルト - 280 N·m (205 lb·ft)**
F：**灰青色ボルト - 265 N·m (195 lb·ft)**

LX25458,ALL,0000B62-40-19MAR25

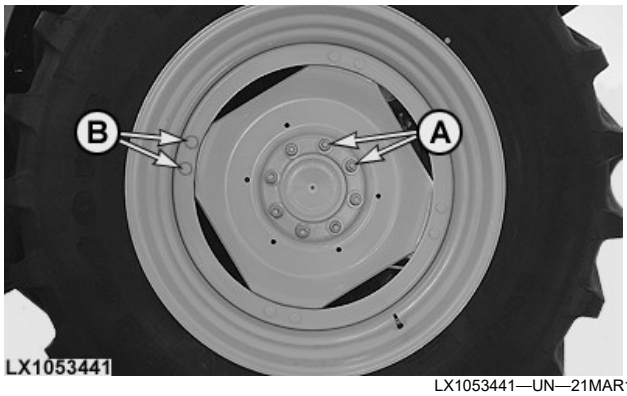
リアホイールボルトの締め付け - フランジ付き車軸



LX1056771—UN—12NOV12

8 穴円と丸形ホイールディッシュ付き後輪

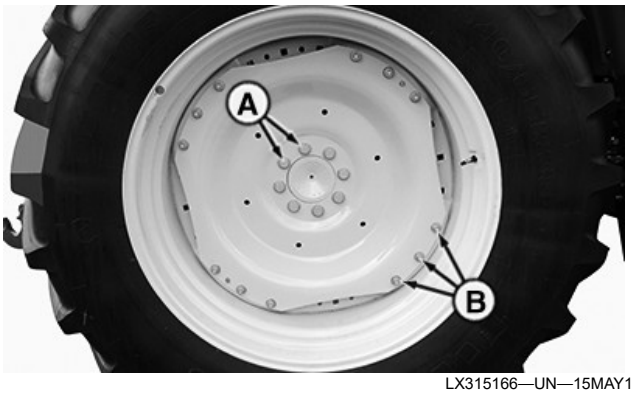
A：**500 N·m (370 lb·ft)**
B：**210 N·m (155 lb·ft)**



LX1053441—UN—21MAR12

8 穴円および角形ホイールディッシュ付き後輪

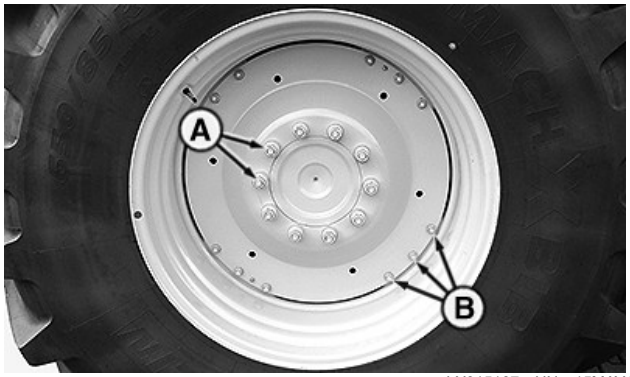
A：**500 N·m (370 lb·ft)**
B：**210 N·m (155 lb·ft)**



LX315166—UN—15MAY18

8 ボルト円とワッフルリム付き後輪

A：**500 N·m (370 lb·ft)**
B：**金色ボルト - 280 N·m (205 lb·ft)**
B：**灰青色ボルト - 265 N·m (195 lb·ft)**



LX315167—UN—15MAY18

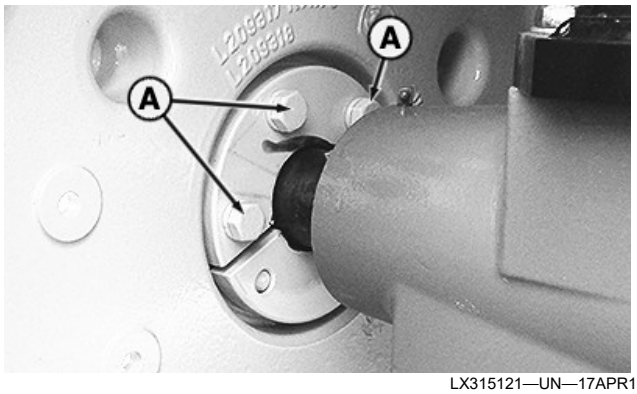
10 ボルトサークルとワッフルリム付き後輪

A：**600 N·m (445 lb·ft)**
B：**金色ボルト - 280 N·m (205 lb·ft)**
B：**灰青色ボルト - 265 N·m (195 lb·ft)**

LX25458,ALL,0000B64-40-07SEP23

後輪ボルトの締め付け — ラックアンドピニオン車軸、ハブ直径 79 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き

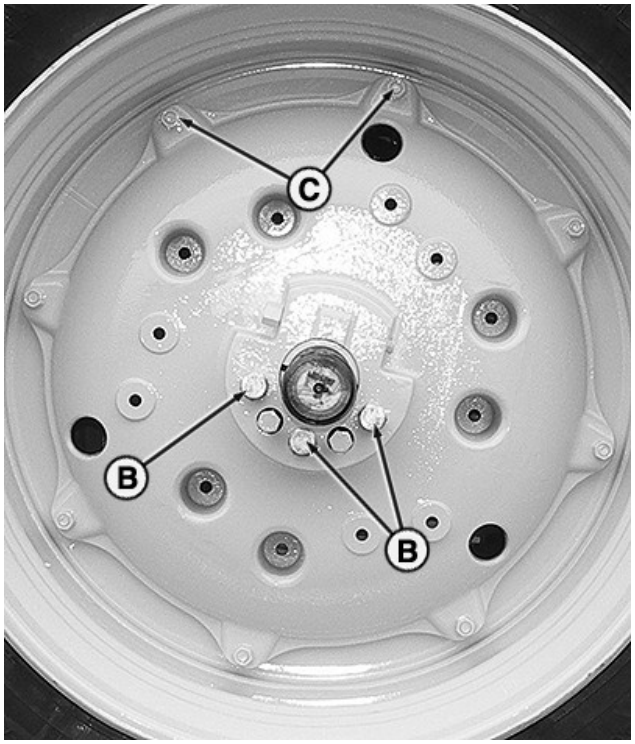
ホイールボルト (A) ~ (C) の締め付け - 鋳鉄ホイール



LX315121—UN—17APR18

ピニオンハブ片側と鋳鉄ディッシュ

A：**ピニオンハブ片側と鋳鉄ディッシュ - 220 N·m (160 lb ft)**

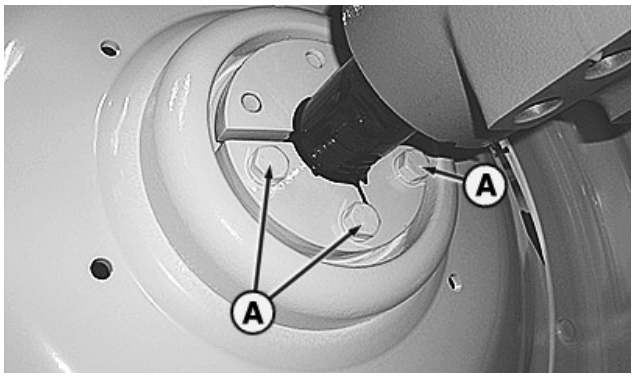


LX315120—UN—17APR18

鋳鉄ホイール

B：**ハブ片側のホイールハブ - 400 N·m (300 lb ft)**
C：**鋳鉄ディッシュのリム - 210 N·m (155 lb ft)**

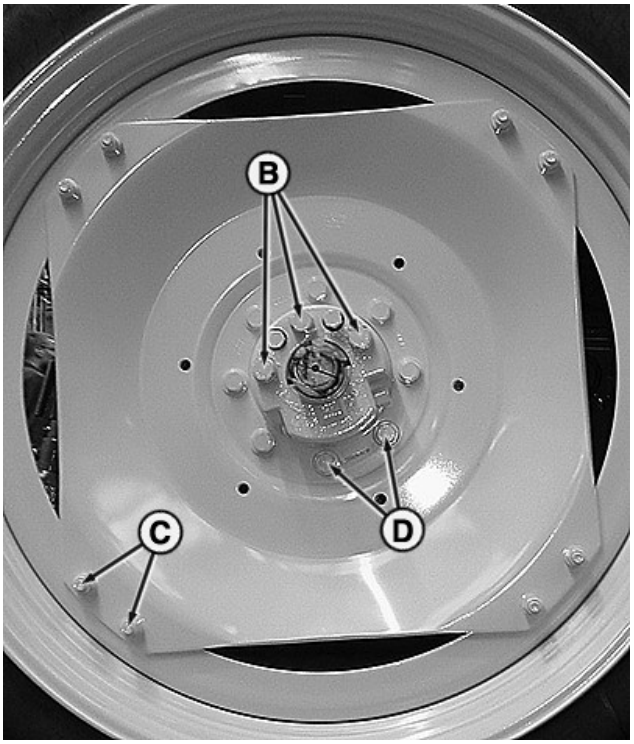
ホイールボルト (A) ~ (D) の締め付け - スチールホイール



LX315125—UN—17APR18

ピニオンハブ片側と鋳鉄ディッシュ

A：**ピニオンハブ片側とスチール製ディッシュ - 220 N·m (160 lb ft)**



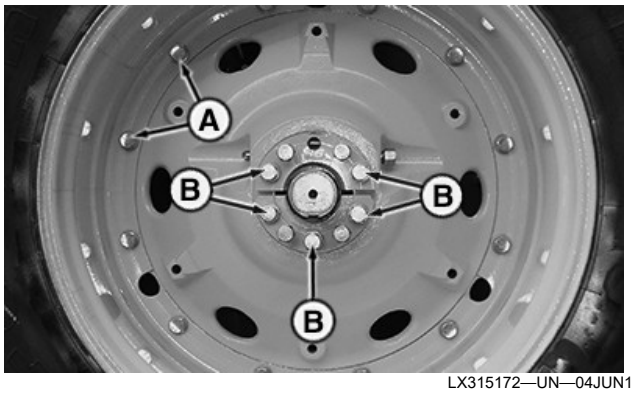
LX315124—UN—17APR18

スチールホイール

B：**ハブ片側のホイールハブ - 400 N·m (300 lb ft)**
C：**スチール製ディッシュのリム - 210 N·m (155 lb-ft)**
D：**ホイールハブのスチール製ディッシュ - 400 N·m (300 lb ft)**

LX25458,ALL,0000B65-40-07SEP23

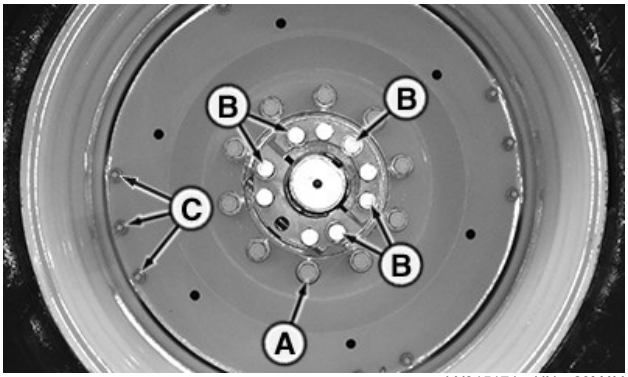
後輪ボルトの締め付け — ラックアンドピニオン車軸、ハブ直径 86、92、100 mm、シングルテーパークランプスリーブ付き



LX315172—UN—04JUN18

鋳鉄ディッシュと鋳鉄ハブ

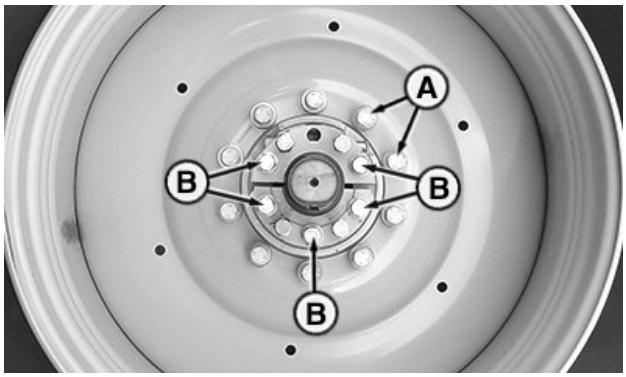
A：**550 N·m (405 lb·ft)**
B：**550 N·m (405 lb·ft)**



LX315174—UN—29MAY18

スチールディッシュと鋳鉄ハブ、バージョン *1*

A：**600 N·m (445 lb·ft)**
B：**550 N·m (405 lb·ft)**
C：**金色ボルト - 280 N·m (205 lb·ft)**
C：**灰青色ボルト - 265 N·m (195 lb·ft)**



LX315173—UN—04JUN18

スチールディッシュと鋳鉄ハブ間、バージョン *2 (*一部のモデルでは使用不可*)*

A：**600 N·m (445 lb·ft)**
B：**550 N·m (405 lb·ft)**

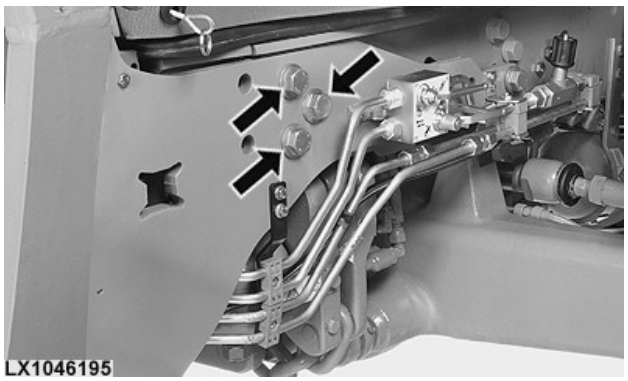
LX25458,ALL,0000B66-40-07SEP23

ホイールウエイトのボルトの締め付け

「ホイールウエイトの安全な交換」(セクション　100)を参照してください。

LX25458,ALL,0000B67-40-13OCT20

フロントヒッチの金具トルクの点検 -



LX1046195—UN—14JUN11

取り付けねじの金具のトルクを両側で点検します。

前部ヒッチとメインフレーム間

- 金色ボルト - 550 N·m (405 lb·ft)
- 灰青色ボルト - 500 N·m (370 lb·ft)

OULXA64,ALL,0005701-40-07SEP23

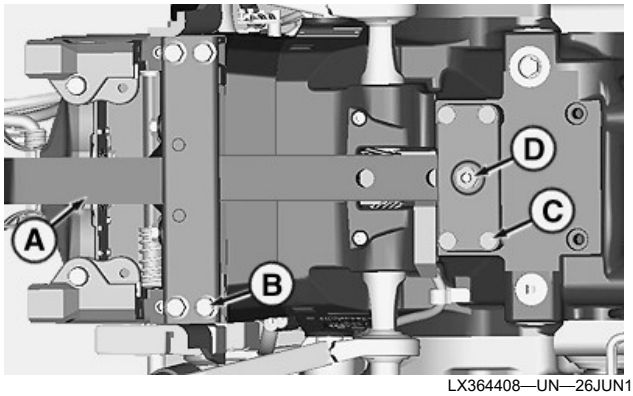
フロントローダー取り付けフレーム (メンテナンス)

重要： 取り付けねじのトルクを定期的に点検してください。フロントローダーのメンテナンスについては、取扱説明書と取り付け説明書に従ってください。

LX25458,ALL,0000B68-40-13OCT20

CAT II ドローバーのねじの締め付け

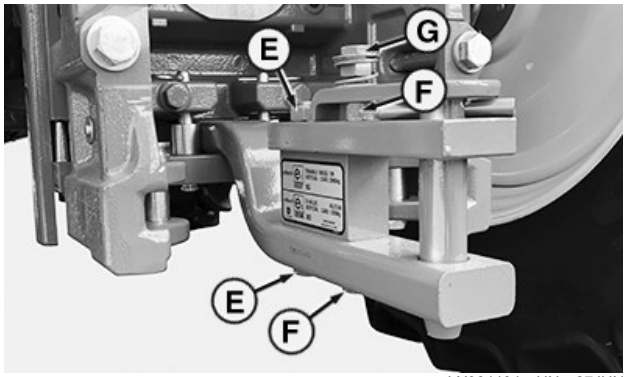
CAT II ドローバー - 標準バージョン



LX364408—UN—26JUN19

CAT II ドローバー - 標準バージョン

A：**ドローバー**
B：**ねじ (4 本使用) - 310 N·m (230 lb·ft)**
C：**ねじ (4 本使用) - 310 N·m (230 lb·ft)**
D：**ストッパプラグ (1 個使用) - 310 N·m (230 lb·ft)**

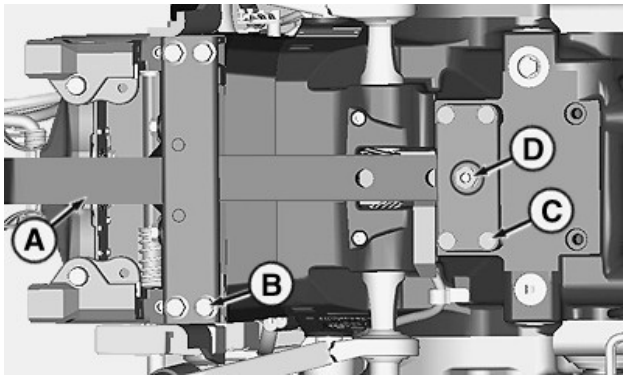


LX364404—UN—27JUN19

CAT II ドローバー - 標準バージョン

E：**ボルトとナット - 520 N·m (385 lb·ft)**
F：**ボルトとナット - 375 N·m (275 lb·ft)**
G：**ナット - 70 N·m (50 lb·ft)**

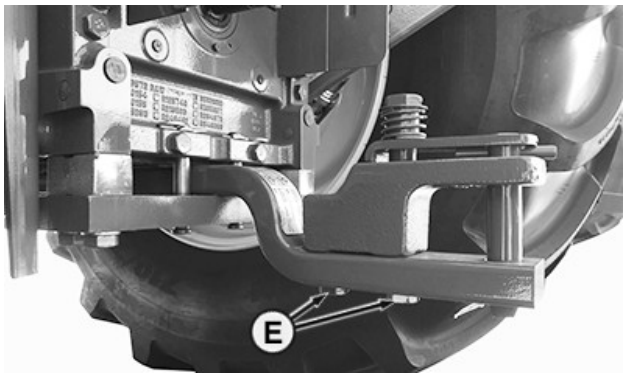
CAT II ドローバー - ヘビーデューティタイプ



LX364408—UN—26JUN19

CAT II ドローバー - ヘビーデューティタイプ

A：**ドローバー**
B：**ねじ、M16 (4 本使用) - 310 N·m (230 lb·ft)**
B：**ねじ、M20 (4 本使用) - 490 N·m (360 lb·ft)**
C：**ねじ、M16 (4 本使用) - 260 N·m (190 lb·ft)**
C：**ねじ、M20 (4 本使用) - 610 N·m (450 lb·ft)**
D：**ストッパプラグ (1 個使用) - 310 N·m (230 lb·ft)**



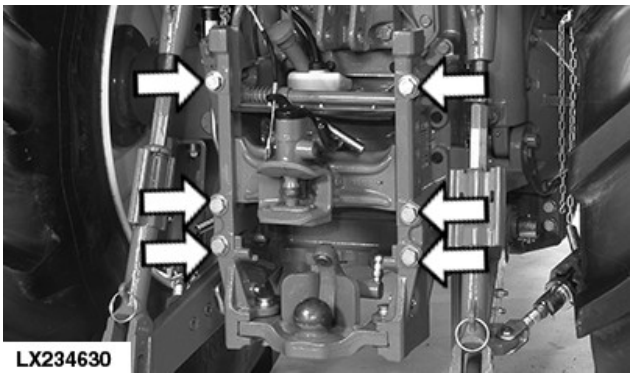
LX364405—UN—26JUN19

CAT II ドローバー - ヘビーデューティタイプ

E：**ねじ (2 本使用) - 435 N·m (320 lb·ft)**

LX25458,ALL,0000B69-40-07SEP23

トレーラーヒッチのねじの締め付け - ガイドレール



LX234630—UN—07APR15

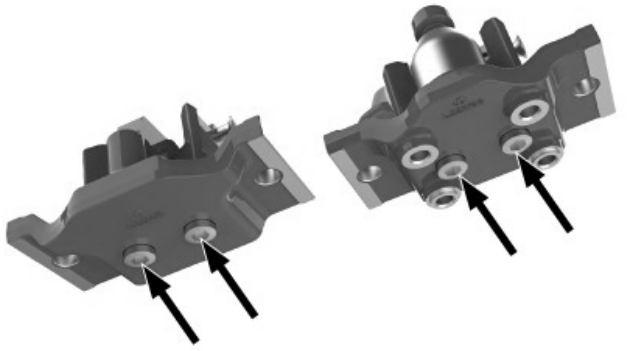
ガイドレールと PTO ハウジング間 取り付けねじ	金具のトルク
灰色/灰色-青	475 N·m (350 lb·ft)

注記： 475 N m (350 lb ft) のトルクは、工場取り付けのトレーラーヒッチにのみ適用されます。

後付けトレーラーヒッチの締め付けトルクについては、関連する取り付け説明書を参照してください。

LX25458,ALL,0000B6A-40-21APR23

ピトン固定またはボール形トレーラーヒッチ (固定式) のねじを締めます



LX622478—UN—24JUN24

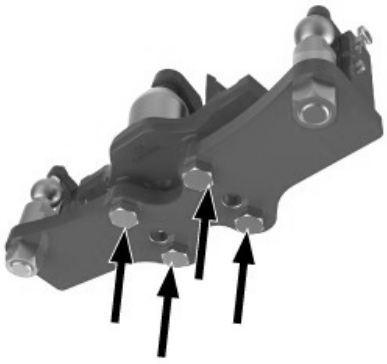
ピトン固定/ボール形トレーラーヒッチ

取り付けねじの金具トルクを点検します。

- 金具のトルク、ブラケットとトレーラーヒッチ間 — 650 N・m (480 lb・ft)

220C,80,oulxa64,1718882446568-40-24JUN24

強制操舵用アーム付きボール形ヒッチのねじの締め付け



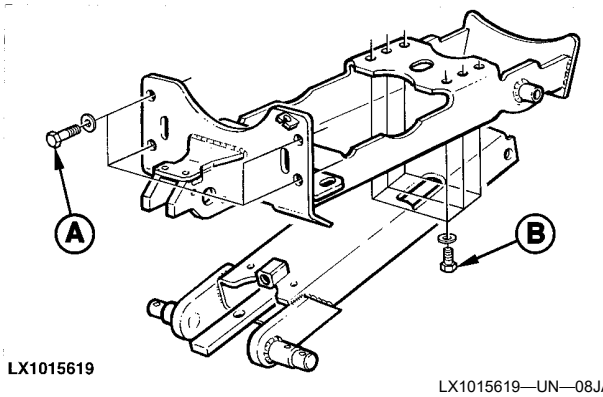
LX622479—UN—24JUN24

取り付けねじの金具トルクを点検します。

- ハードウェアトルク、強制操舵用アームとトレーラーヒッチ間 — 490 N·m (360 lb·ft)

LX25458,ALL,0000B6B-40-20JUN24

ピックアップヒッチのねじの締め付け



LX1015619—UN—08JAN97

取り付けねじ (A)、(B) のハードウェアトルクを点検します。

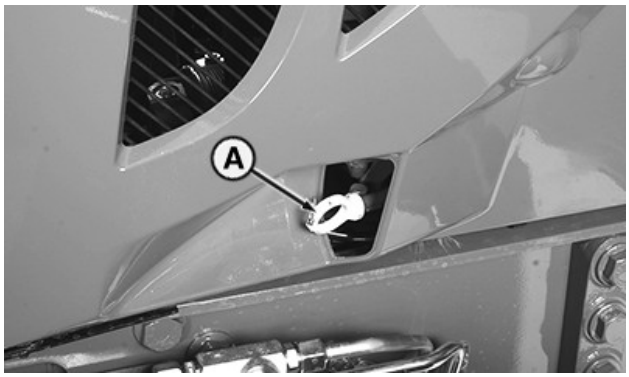
取り付けねじ (A)	
M20	500 N·m (370 lb·ft)

取り付けねじ (B)	
M16	310 N·m (230 lb·ft)
M20	500 N·m (370 lb·ft)

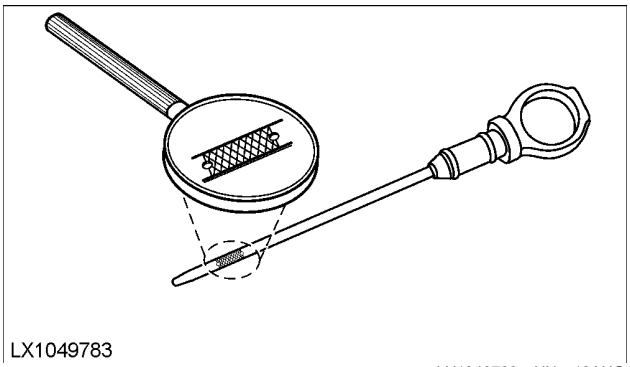
OULXA64,ALL,EU,0005702-40-13OCT20

エンジンオイルレベルの点検

検油棒による点検の手順：



LX364300—UN—21FEB19



LX1049783—UN—12AUG10

A：**検油棒**

1. エンジンオイルレベル点検の前提条件：
   - トラクターを平坦な場所に駐車します。
   - パークロック ON
   - エンジン OFF

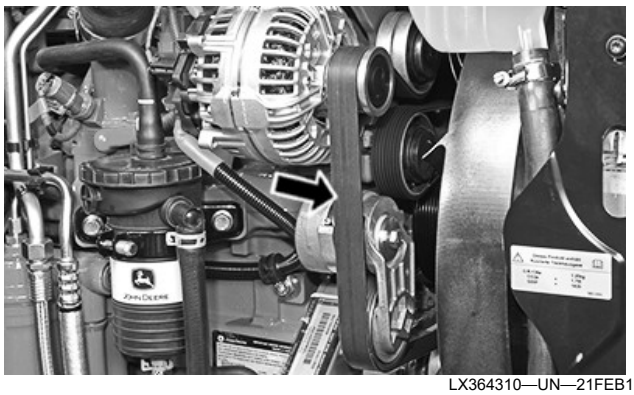
エンジンオイルレベルの 2 とおりの点検方法：	
冷間時エンジンオイル	**温間時エンジンオイル**
オイルが冷めているとき、エンジンを長時間停止していたとき (朝、エンジンを始動する前など) に点検します。	エンジンが暖機完了している場合、エンジンを停止して約 40 分待ちます (オイル温度約 40 °C、104 °F)。

2. 検油棒 (A) を使用して、エンジンオイルのレベルを点検します。
3. 検油棒を取り外し、拭き取って清掃し、止まるまで差し込んでから取り出します。
4. オイルレベルは、デップスティックのクロスハッチ領域内にある必要があります。オイルがクロスハッチの上端よりも上にある、または下端よりも下にある場合、オイルレベルを修正する必要があります。

   オイルレベルがディップスティックの下のマークより低い場合は、エンジンを始動しないでください。
5. 必要に応じて、適切な粘度のオイルを補充します。セクション 220C を参照してください。

OULXA64,SP1,00058ED-40-20NOV20

エンジン駆動ベルトの摩耗の点検



LX364310—UN—21FEB19

駆動ベルトに摩耗の兆候がある場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

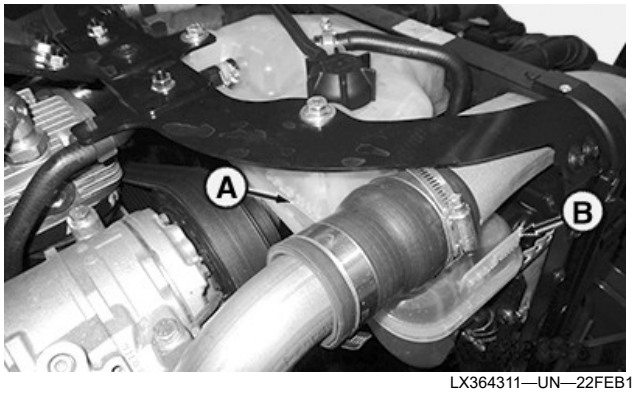
OULXA64,SP1,00058EE-40-17JUL25

冷却システムのビスカスファンの点検

ビスカスファンの点検は、John Deere 販売店またはその他の整備工場に依頼してください。

LX25458,ALL,0000B6F-40-10JUL25

クーラントレベルの点検



LX364311—UN—22FEB19

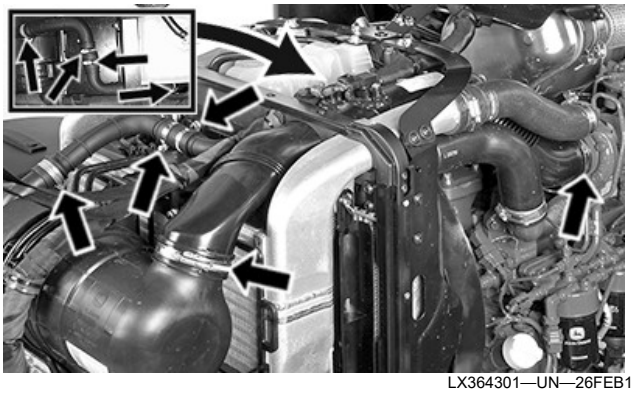
クーラントレベルを最高レベルマーク (A) の近くにする必要があります。

どのような状況でも、最低マーク (B) を下回ってはなりません。

必要に応じて補充してください。「クーラントの交換」(セクション 220E) を参照してください。

OULXA64,SP1,00058F0-40-20NOV20

吸気ホースの点検 (4 気筒エンジン)



LX364301—UN—26FEB19

ホースはエンジンの種類により異なります。

ホースを点検し、必要に応じてホースクランプを締め付けます。

ホースの漏れや損傷は、エンジン内に埃が入る原因になります。

OULXA64,SP1,00058F2-40-08JUN22

前輪駆動車軸 (730、733、735) の車軸ハウジングのオイルレベルの点検



TS281—UN—15APR13

注意： 高温の部品や高温の加圧オイルによるけがの危険があります。

高温の面に触れると、けがを負う可能性があります。

高温面や高温のオイルに触れないでください。

オイルが温かいときに (約 40 °C、103 °F)、オイルレベルを点検してください。

レベルねじ込みプラグはゆっくりと緩めてください。

注記： レベルねじ込みプラグの位置は車軸の種類によって異なります。

1. オイルレベルねじ込みプラグ (A) を取り外して新品の O リングを取り付けます。オイルはドレンねじ穴と同じ高さにする必要があります。



LX364297—UN—21FEB19

2. 必要に応じて、この時点でオイルを補給します。

使用オイル	Hy-Gard™ トランスミッションオイルと作動油。セクション 200E も参照してください。

Hy-Gard は Deere & Company の商標です。

3. オイルレベルねじ込みプラグを 90 Nm (66 lb ft) のトルクで締め付けます。「燃料、潤滑剤、作動油、およびクーラント」セクションに記載されているトランスミッションオイルを必ず使用してください。

注記： 最初の 100 運転時間後、および最初の 1500 運転時間後に車軸ハウジングのオイルを交換します。その後は、1500 運転時間ごとまたは 2 年に 1 回のいずれか早い時期に交換します。

LX25458,0000B73-40-30AUG23

前輪駆動車軸 (730、733、735) のブレーキなしファイナルドライブのオイルレベルの点検



TS281—UN—15APR13

注意： 高温の部品や高温の加圧オイルによるけがの危険があります。

高温の面、付属品、またはホースおよびリード線に触れると、けがの原因になります。

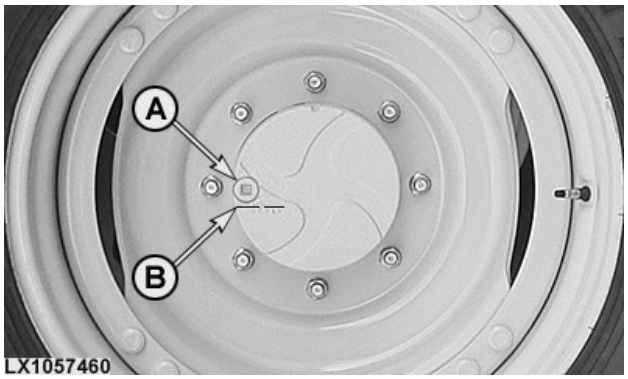
高温面や高温のオイルに触れないでください。

オイルが温かいときに (約 40 °C、103 °F)、オイルレベルを点検してください。

レベルねじ込みプラグはゆっくりと緩めてください。

注記： 使用開始から 100 時間後と 1500 時間後にファイナルドライブのオイルを交換します。その後は、1500 運転時間ごとまたは 2 年に 1 回のいずれか早い時期に交換します。

1. **オイルレベル**マーク (B) が水平になるまでホイールを回転させます。



LX1057460—UN—21AUG14

2. オイルレベルねじ込みプラグ (A) を取り外して新品の O リングを取り付けます。オイルはドレンねじ穴と同じ高さにする必要があります。
3. 必要に応じて、この時点でオイルを補給します。

使用オイル	Hy-Gard™ トランスミッションオイルと作動油。セクション 200E も参照してください。

Hy-Gard は Deere & Company の商標です。

4. 新品の O リングをレベルねじ込みプラグに取り付けて、レベルねじ込みプラグを 90 Nm (66 lb-ft) のトルクで締め付けます。

LX25458,0000B74-40-30AUG23

フロントアクスルサスペンションのアキュムレータの点検

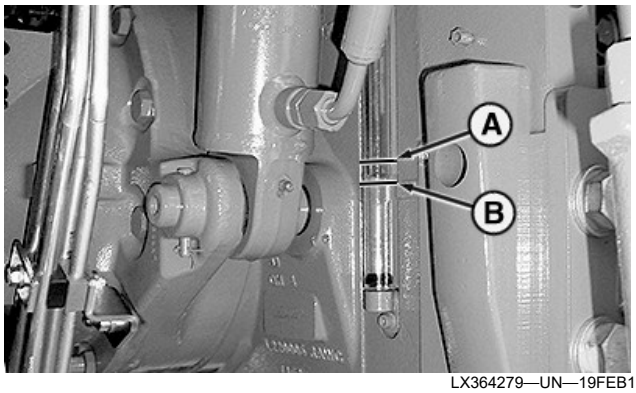
フロントアクスルサスペンション - 圧力アキュムレータの点検は、John Deere 販売店またはその他の整備工場に依頼してください。

OULXA64,ALL,00570D-40-17JUL25

トランスミッション / 油圧系統のオイルレベルの点検

重要： **オイルが冷めているときにオイルレベルを点検してください。可能であれば、トラクターを一晩置いて翌朝オイルレベルを点検してください。**

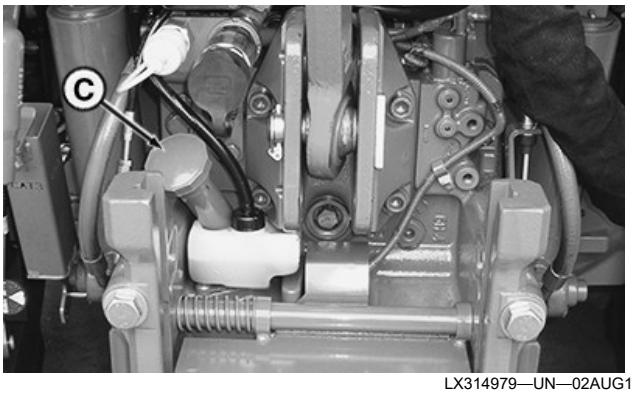
1. トラクターを水平に駐車します。
2. 駐車ブレーキロックをかけます。
3. トランスミッションからオイルを吸い上げるドラフトリンク、フロントローダー、フロント作業機、およびその他の作業機を下げます。
4. オイルレベルは点検窓のマーク (A) と (B) の間にある必要があります。



LX364279—UN—19FEB19

A：**最高レベルマーク**
B：**最低レベルマーク**

5. 必要に応じて、適切な粘度のオイルをフィラーネック (C) から補給します。セクション 200E を参照してください。

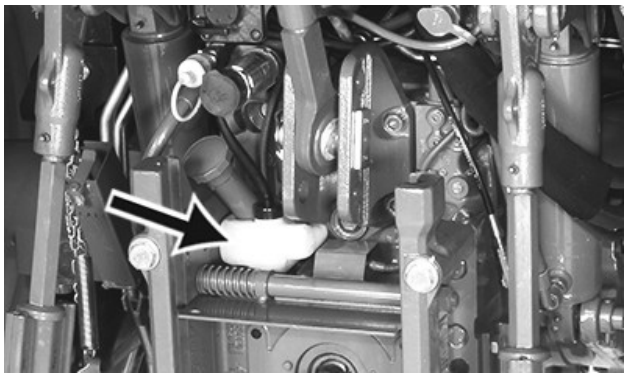


LX314979—UN—02AUG17

C：**フィラーネック**

OULXA64,SP1,00058F3-40-21APR23

リークオイル回収容器の点検 (装備されている場合)



LX266759—UN—26JAN16

必要に応じて、リークオフオイル容器を点検して空にしてください。容器のオイルは廃油として廃棄してください。

LX25458,4CYL,0000B79-40-06OCT21

油圧ホースの点検

重要： **油圧ホースは定期的に (年 1 回以上)、漏れ、よじれ、切れ目、破れ目、摩耗、膨張、腐食、生地の露出、その他の摩耗や損傷の兆候がないか点検してください。**

摩耗または損傷しているホースは直ちに交換してください。

交換用ホースは通常の予備部品チャンネルを通じて入手できます。

LX25458,0000B7A-40-10JUL25

機械式キャブサスペンションの点検

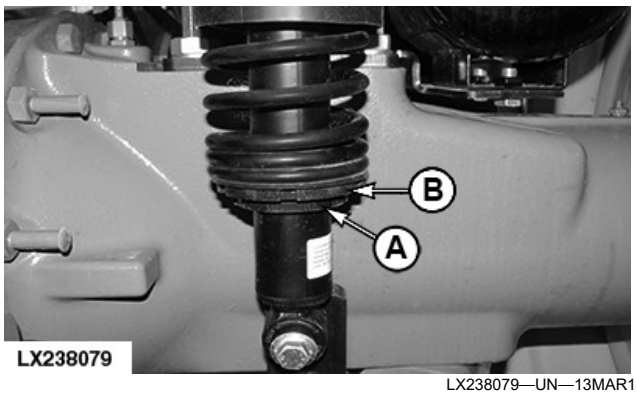
キャブのスプリングエレメントは、工場で平均的な負荷に合わせてあらかじめ設定されています。故障が発生した場合は、設定を点検して必要に応じて変更します。

故障	原因	処置
キャブで振動が増幅される。	ダンパーの故障。	John Deere 販売店またはその他の整備工場に依頼して古い部品を新しい部品に交換してください (必ず両側で行ってください)。
サスペンションが軟らかすぎる (キャブが大きく揺れ、停止時に強い衝撃がある)。	予備張力が不十分。	設定を修正してください。
サスペンションが硬すぎる。	過剰な予備張力。	設定を修正してください。

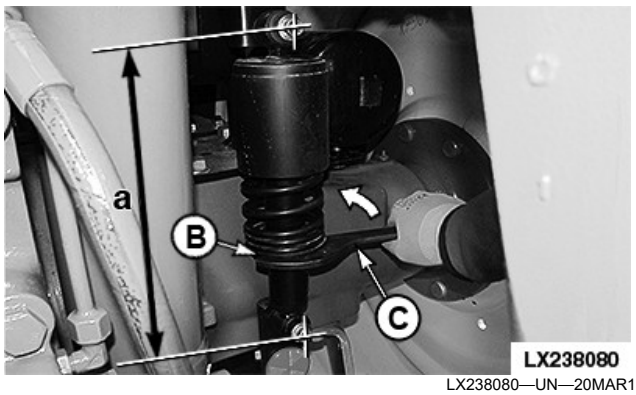
必要な工具： フックレンチ DIN1810–A 80–90。

個人保護対策： 安全ゴーグルと手袋。

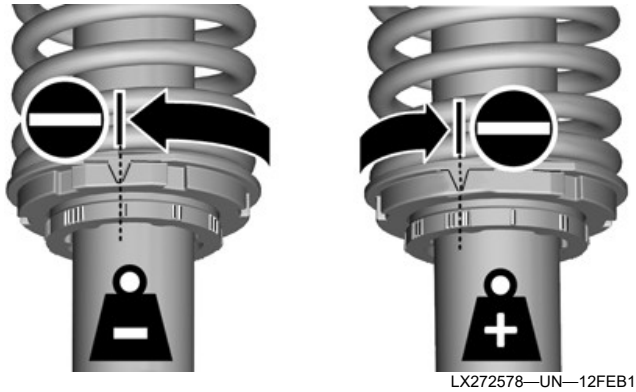
設定を点検し修正してください。



LX238079—UN—13MAR15



LX238080—UN—20MAR15



LX272578—UN—12FEB16

A：**マーク I ~ IIIII の戻り止め設定**
B：**矢印マーカーによるリングの調整**
C：**フックレンチ DIN1810–A 80–90**
a：**最適設定 340 mm (13.39 in)**

1. エンジンを停止して駐車ブレーキロックをかけます。

注意： **エンジンが誤って始動しないように、キースイッチを抜いてください。作業機を地面に降ろします。スプリングに触れないでください。**

2. キャブに必要なウエイトを設置してください (オペレータとおおよそ同等の重量にしてください)。
3. 寸法 (a) を測定します。隙間が約 340 mm (13.39 in) であれば、修正は不要です。
4. 修正する場合は、フックレンチ (C) を使用して調整

リング (B) を回し、(a) が約 340 mm (13.39 in) になる戻り止め設定にします。

5 つのデテント設定があり、それぞれ 3 mm (0.18 in) 変化します。図のように調整を行います。調整リングを I から IIIII または IIIII から I のマークまで動かさないようにしてください。

重要： **絶対に調整リングを I から IIIII または IIIII から I のマークまで直接動かさないでください。スプリングのストラットに修復不可能な損傷が生じる原因になります。**

両側を常に同じ段階に設定してください。

注記： 工場出荷時の設定 = レベル 3。

OULXA64,SP,0005709-40-16JUL25

キャブのドア、ウィンドウ、ルーフハッチの閉機構とゴムシールの点検

ドア、ウィンドウ、ルーフハッチのすべてのゴムシールを点検し、ケーブルの貫通接続の正しい密着、摩耗、脆性を点検します。不良なゴムシールは交換してください。

ドア、ウィンドウ、ルーフハッチのすべての閉機構を点検します。

OULXA64,ALL,000570C-40-01OCT20

シートベルトの点検

シートベルトの取り付け具、バックル、ベルト、引き込み部に損傷の見られる場合は、シートベルト全体を交換してください。

シートベルトと取り付け金具は少なくとも年に 1 回点検してください。取り付け金具の緩みや切断、擦り切れ、異常な重摩耗、変色、光沢など、ベルトの損傷がないか点検します。各機械に対して認可されている交換部品のみを使用してください。

LX25458,ALL,0000B7B-40-10JUL25

ブレーキの点検

注意： **駐車ブレーキロックをかけます。**

エンジンを始動する前にブレーキペダルを踏んでください。ペダルを強く踏んでも、ストップまでいっぱいに踏み込むことはできません。30 秒待ってから点検を繰り返します。

重要： **ペダルがストッパまでいっぱいに踏み込める場合は、故障が発生していることを示すため、必ず John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。**

LX25458,ALL,0000B7C-40-10JUL25

ブレーキシステムのエア抜きと点検

ブレーキシステムのエア抜きと点検は、John Deere 販売店またはその他の整備工場に依頼してください。

LX25458,ALL,0000B7D-40-10JUL25

エアブレーキシステムの凝縮水の点検

注意： **けがの危険。**

アンロードバルブから空気や水を放出する際には、大きな音が発生し、高圧で噴出することがあります。これにより飛散物や大きな騒音、急激な放出によるけがの危険があります。

エアブレーキシステムから凝縮水および空気圧を放出する際に、けがを防止し、安全な作業手順を確保してください。作業を始める前に、保護めがね、耳栓、および手袋を着用してください。

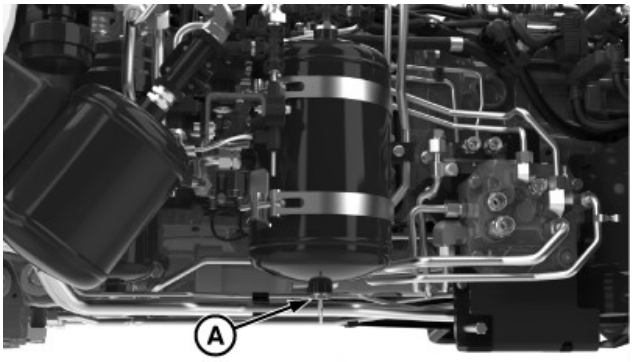
空気や水を放出する際は、噴出の直線上から離れた位置に立ってください。アンロードバルブは徐々に開けて、放出を制御し、騒音や飛散を最小限に抑えてください。

重要： **圧縮空気タンクの日常点検中に凝縮水 (水) が見つかった場合は、エアドライヤカートリッジを直ちに交換する必要があります。**

エアドライヤカートリッジは 1500 時間または遅くとも 2 年ごとに交換してください。セクション 220E を参照してください。

重要： **圧縮空気タンクにタイヤへの空気注入用接続を装備することができます。**

タイヤ空気用の接続にはエアタンクの最大圧力 (800 kPa、8 bar、116 psi) がかかります。タイヤに空気を入れすぎないでください。



LX515570—UN—17DEC23

圧縮空気タンクから水を抜き取るには、バルブのピン (A) を横に押すか引きます。

手で作業せず、適切な工具を使用してください。

エアドライヤカートリッジを交換する必要がある場合は、圧縮空気圧を完全に解放し、エアドライヤカートリッジを交換してください。セクション 220E を参照してください。

OULXA64,SP1,00058F4-40-16JUN25

手動操作ヒッチの摩耗の点検

注意： 摩耗限界に達した部品や摩耗限界を超えた部品は新品に交換する必要があります。

ヒッチピンの直径 (A) を点検します。

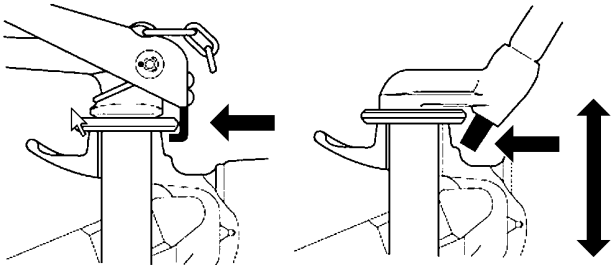


LX1031437—UN—24SEP03

仕様

ピン、リンク：摩耗限度または直径. . . . . 最小 29.0 mm (最小 1.14 in)

ヒッチピンの垂直方向の許容遊びを点検します。



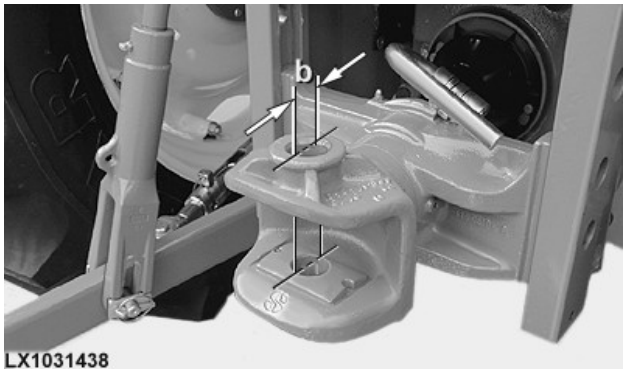
LX1047989

LX1047989—UN—23SEP09

仕様

ピン、リンク：遊び. . . . . 最大 6 mm (最大 0.24 in)

受け穴の直径 (b) を点検します。



LX1031438—UN—24SEP03

仕様

上部と下部の受け穴 (移動方向で測定)：摩耗限度または直径. . . . . 最大 35.0 mm (楕円形) [最大 1.38 in (楕円形)]

ヒッチとサポート間の遊び (c) を確認します。



LX1048786—UN—09DEC09

仕様

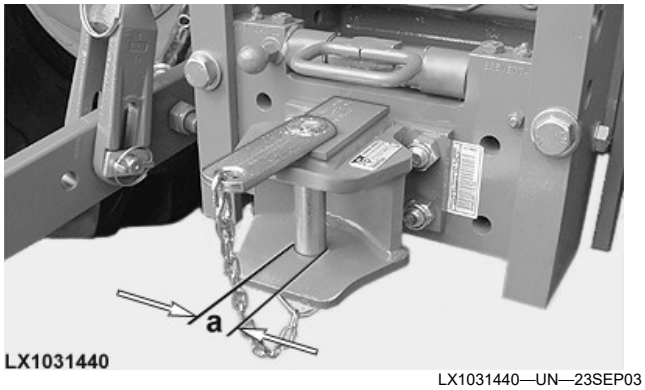
トレーラーヒッチと受け穴：遊び. . . . . 最大 3.0 mm (最大 0.12 in)

LX25458,ALL,0000B7E-40-01OCT20

CUNA トレーラーヒッチ (手動操作) の摩耗の点検

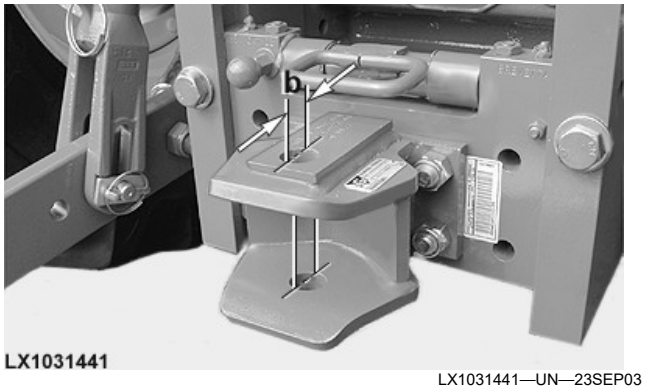
注意： 摩耗限界に達した部品や摩耗限界を超えた部品は新品に交換する必要があります。

ヒッチピンの直径 (A) を点検します。



LX1031440—UN—23SEP03

受け穴の直径 (b) を点検します。



LX1031441—UN—23SEP03

呼び径 28.0 mm (1.10 in) のヒッチピンタイプ C の仕様

仕様

ヒッチピン：摩耗限度または最小径. . . . . 26.5 mm (1.04 in)

仕様

上部と下部の受け穴 (移動方向で測定)：摩耗限度または最大許容径. . . . . 31.0 mm (楕円形) [1.22 in (楕円形)]

呼び径 43.0 mm (1.69 in) のヒッチピンタイプ D2 の仕様

仕様

ヒッチピン：摩耗限度または最小径. . . . . 41.0 mm (1.61 in)

仕様

上部と下部の受け穴 (移動方向で測定)：摩耗限度または最大許容径. . . . . 46.0 mm (楕円形) [1.81 in (楕円形)]

呼び径 51 mm (2.01 in) のヒッチピンタイプ D3 の仕様

仕様

ヒッチピン：摩耗限度または最小径. . . . . 49.0 mm (1.93 in)

仕様

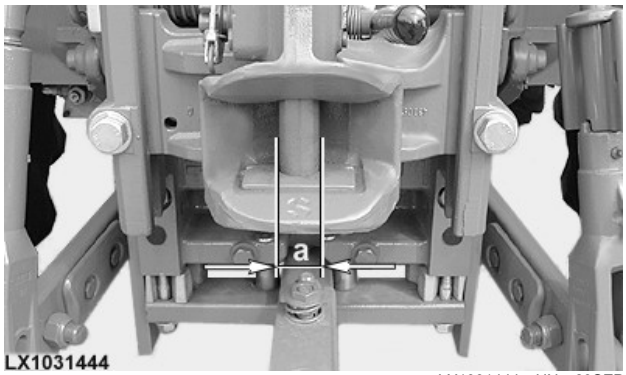
上部と下部の受け穴 (移動方向で測定)：摩耗限度または最大許容径. . . . . 54.0 mm (楕円形) [2.13 in (楕円形)]

LX25458,ALL,0000B7F-40-12OCT20

トレーラーヒッチ (遠隔操作) の摩耗の点検

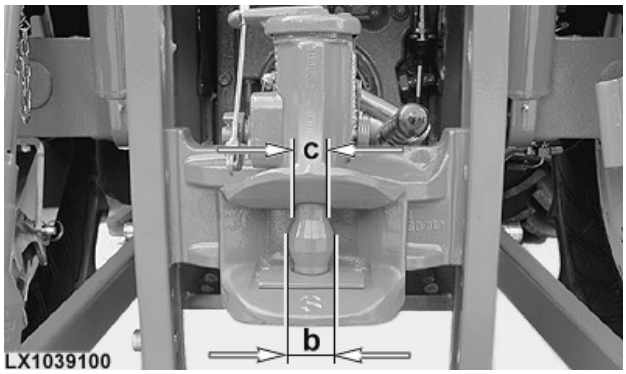
注意： 摩耗限界に達した部品や摩耗限界を超えた部品は新品に交換する必要があります。

ヒッチピンの直径 (a、b、c) を点検します。



LX1031444—UN—23SEP03

ストレートサイド型ヒッチピン



LX1039100—UN—11JUL06

ボール型ヒッチピン

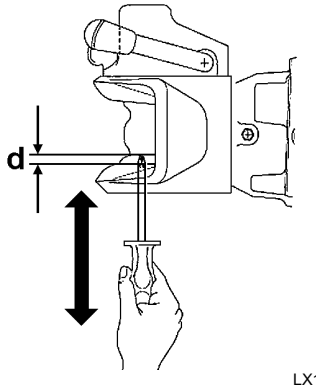
仕様

ボール型ヒッチピン：摩耗限度または直径 (a). . . . . 最小 29 mm (最小 1.14 in)

ボール型ヒッチピン：摩耗限度または直径 (b). . . . . 最小 36.5 mm (最小 1.44 in)

ボール型ヒッチピン：摩耗限度または直径 (c). . . . . 最小 27 mm (最小 1.06 in)

ヒッチピンの垂直方向遊び (D) を点検します。



LX1047991—UN—23SEP09

仕様

ピン、リンク：遊び. . . . . 最大 2.5 mm (最大 0.1 in)

受け穴の直径 (c) を点検します。

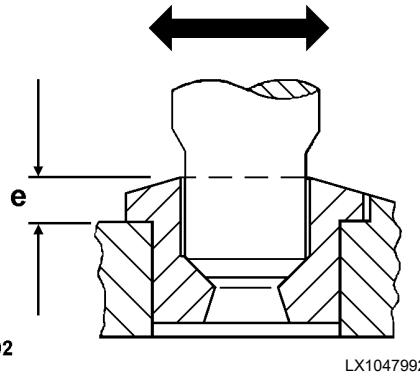


LX1031443—UN—23SEP03

仕様

下部の受け穴 (移動の方向)：摩耗限度または直径. . . . . 最大 34.0 mm (楕円形) [最大 1.33 in (楕円形)]

摩耗プレートの厚さ (e) を点検します。



LX1047992—UN—23SEP09

仕様

摩耗プレート：材料の厚さ. . . . . 最小 6 mm (最小 0.24 in)

下部ピンガイドの遊びを点検します。

仕様

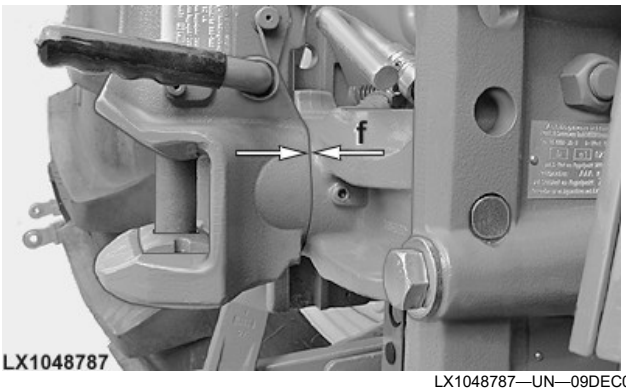
下部ピンガイドのピン：遊び. . . . . 最大 2.5 mm (最大 0.1 in)

ヒッチピンまたは穴の摩耗を点検します。

仕様

ヒッチピンと穴：摩耗. . . . . 最大 1.5 mm (最大 0.06 in)

トレーラーヒッチと受け穴間の遊び (f) を確認します。



LX1048787—UN—09DEC09

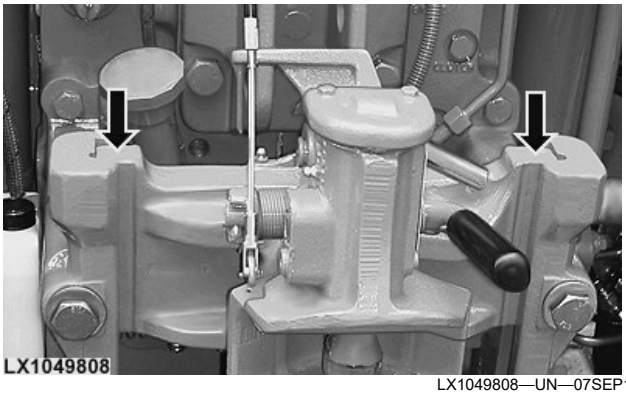
仕様

トレーラーヒッチと受け穴：遊び. . . . . 最大 3.0 mm (最大 0.12 in)

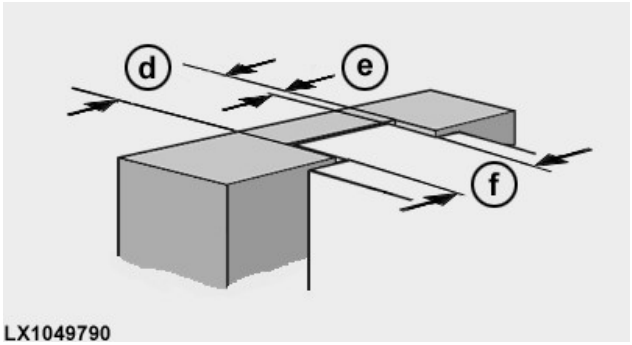
LX25458,ALL,0000B80-40-12OCT20

トレーラーヒッチ、ガイドレールの点検

要素 (d)、(e)、(f) での遊びと摩耗を確認します。それにはヒッチジョーを可能な位置すべてに固定して遊びを測定します。



LX1049808—UN—07SEP10



LX1049790—UN—20AUG10

d：**ガイドレールの幅**
e：**ガイドレールの遊び**
f：**スライドの厚さ**

仕様

引き/押し方向のガイド要素
(e)：遊び. . . . . 最大 2.4 mm
(最大 0.09 in)

ガイドレール、トレーラー取り
付けの溝 (d)：摩耗. . . . . 最大 1.2 mm
(最大 0.05 in)

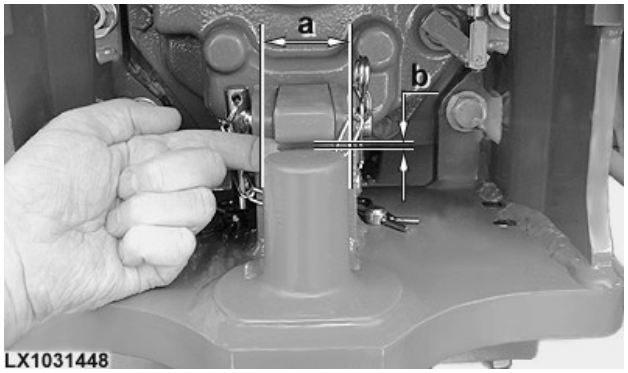
ガイドレール、キャリッジのガ
イド (f)：摩耗. . . . . 最大 0.8 mm
(最大 0.03 in)

LX25458,ALL,0000B81-40-01OCT20

ピトン固定型トレーラーヒッチの摩耗の点検

注意： 摩耗限界に達した部品や摩耗限界を超えた部品は新品に交換する必要があります。

キャッチでの隙間 (b) を点検します。



LX1031448—UN—09SEP03

仕様

キャッチでの隙間：最大許容隙
間. . . . . 10.0 mm
(0.39 in)

ピンの直径 (a) を点検します。

仕様

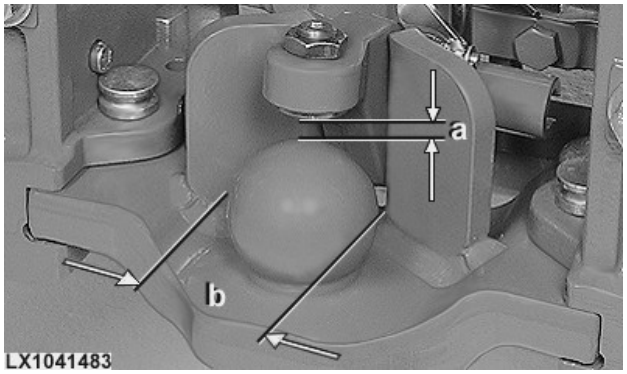
ピン：摩耗限度または最小径. . . . . 41.5 mm
(1.63 in)

LX25458,ALL,0000B82-40-12OCT20

ボールジョイントヒッチの摩耗の点検

注意： 摩耗限界に達した部品や摩耗限界を超えた部品は新品に交換する必要があります。

キャッチでの隙間 (b) を点検します。



LX1041483—UN—19DEC06

仕様

キャッチでの隙間：最大許容隙
間. . . . . 4.0 mm
(0.16 in)

ボールの直径 (b) を点検します。

仕様

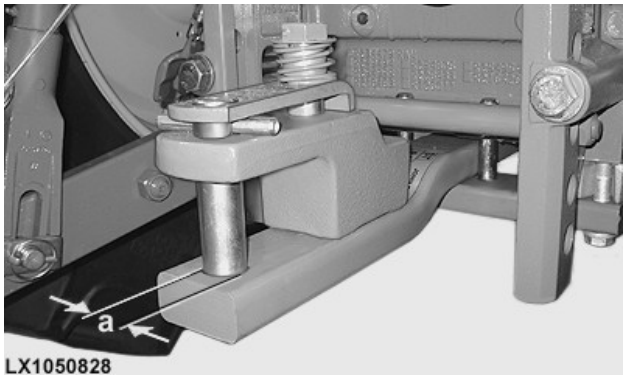
ボールの直径：摩耗限度または
最小径. . . . . 78.0 mm
(3.07 in)

LX25458,ALL,0000B83-40-12OCT20

ドローバーの摩耗の点検

注意： 摩耗限界に達した部品や摩耗限界を超えた部品は新品に交換する必要があります。

ピンの直径 (a) を点検します。



LX1050828—UN—08OCT10

カテゴリ 2 ヒッチピン、呼び径 31.5 mm (1.24 in) の仕様：

仕様

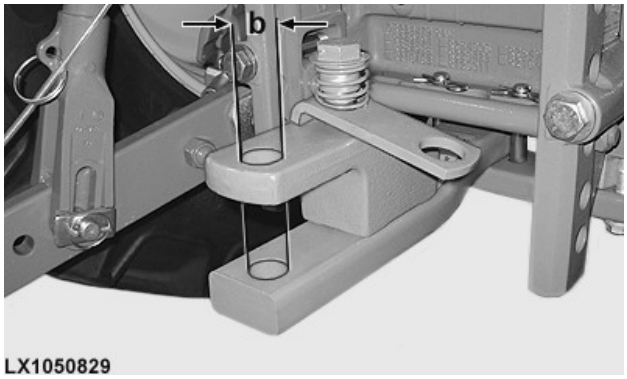
ドローバー、ピン：摩耗限度ま
たは最小径. . . . . 29.5 mm
(1.16 in)

カテゴリ 3 ヒッチピン、呼び径 40.0 mm (1.57 in) の仕様：

仕様

ドローバー、ピン：摩耗限度ま
たは最小径. . . . . 37.5 mm
(1.48 in)

ピン受け穴の直径 (b) を点検します。



LX1050829—UN—08OCT10

カテゴリ 2 受け穴、呼び径 33.0 mm (1.30 in) の仕様：

仕様

上部と下部の受け穴 (移動方向で測定) : 摩耗限度または最大許容径. . . . . 35.0 mm (楕円形) [1.38 in (楕円形)]

カテゴリ 3 受け穴、呼び径 41.0 mm (1.61 in) の仕様：

仕様

上部と下部の受け穴 (移動方向で測定) : 摩耗限度または最大許容径. . . . . 43.0 mm (楕円形) [1.69 in (楕円形)]

LX25458,ALL,EU,0000B84-40-12OCT20

ピックアップヒッチ上の牽引フックの摩耗の点検

注意： **摩耗限界に達した部品や摩耗限界を超えた部品は新品に交換する必要があります。**

キャッチでの隙間 (a) を点検します。

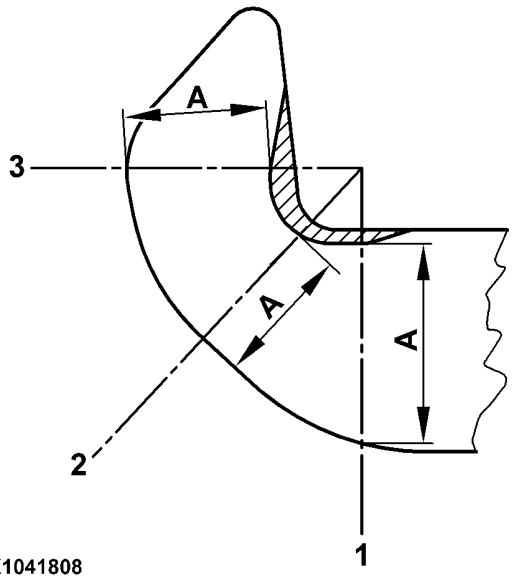


LX1031446—UN—24SEP03

仕様

キャッチでの隙間 : 最大許容隙間. . . . . 10.0 mm (0.39 in)

ピックアップヒッチ型式プレートから「D」値 (測定単位 = kN) を確認します。



LX1041808—UN—27NOV06

型式プレートに示される「D」値が 65 以下の場合は、次の摩耗許容値 (A) を守ってください。

仕様

牽引フック、フックの厚さ (D は 65 以下) : 最小値 (A)、直径 1 . . . . . 43.5 mm (1.71 in)

最小値 (A)、直径 2. . . . . 42.0 mm (1.65 in)

最小値 (A)、直径 3. . . . . 40.5 mm (1.59 in)

型式プレートに示される「D」値が 65 より大きい場合は、次の摩耗許容値 (A) を守ってください。

仕様

牽引フック、フックの厚さ (D は 65 より大) : 最小値 (A)、直径 1. . . . . 45.0 mm (1.77 in)

最小値 (A)、直径 2. . . . . 43.5 mm (1.71 in)

最小値 (A)、直径 3. . . . . 42.0 mm (1.65 in)

OULXA64,ALL,EU,000570B-40-27NOV20

バルブの交換

「整備 – 金具のトルクの点検」(セクション 220B) を参照してください。

LX25458,ALL,0000B85-40-29AUG23

エンジンオイルフィルタの交換



TS281—UN—15APR13

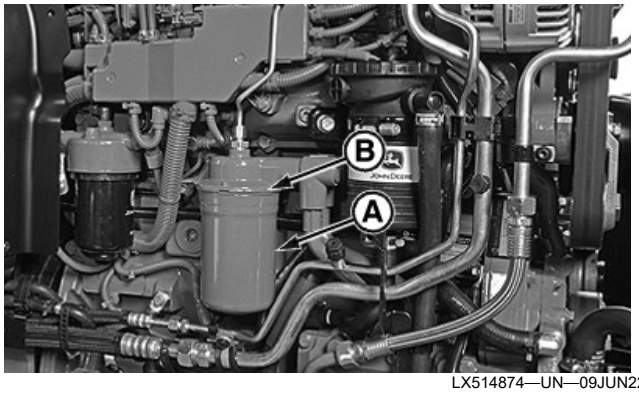
注意： 高温の部品や高温のオイルによるけがの危険があります。

高温の面、付属品、またはホースおよびリード線に触れると、けがの原因になります。

高温面や高温のオイルに触れないでください。

オイルが温かいときに (約 40°C、103°F)、オイルフィルタを交換してください。

1. オイルフィルタ (A) を緩めて取り外します。



LX514874—UN—09JUN22

サンプル図

2. 取り付け面 (B) を清掃します。
3. 必要に応じて、取り付け面のダストシールを新品に交換します。ダストシール上のラグがフィルタエレメントの取り付け面の凹部とかみ合うようにします。
4. 新品のフィルタのシールリング (C) にオイルを薄く塗ります。



LX1029276—UN—08JUL02

5. 新品のフィルタをねじ込み、手締めします。
6. エンジンオイルを補給した後、エンジンを始動し、フィルタの取り付け部に漏れがないか点検します。
7. エンジンを停止し、オイルレベルを点検します。「エンジンオイルレベルの点検」(セクション 220D) を参照してください。

注記： エンジンオイルを交換する場合は、必ずエンジンオイルフィルタも交換してください。

LX25458,OOS,SP,0000B86-40-08JUN22

エンジンオイルの交換



TS281—UN—15APR13

注意： 高温の部品や高温のオイルによるけがの危険があります。

高温の面、付属品、またはホースおよびリード線に触れると、けがの原因になります。

高温面や高温のオイルに触れないでください。

オイルが温かいときに (約 40°C、103°F)、オイル交換を実施してください。

重要： 効率を強化した多機能オイル John Deere Plus-50™ II、5W-40 をお勧めします。

以下の仕様を順守する必要があります：

ACEA E9/E7

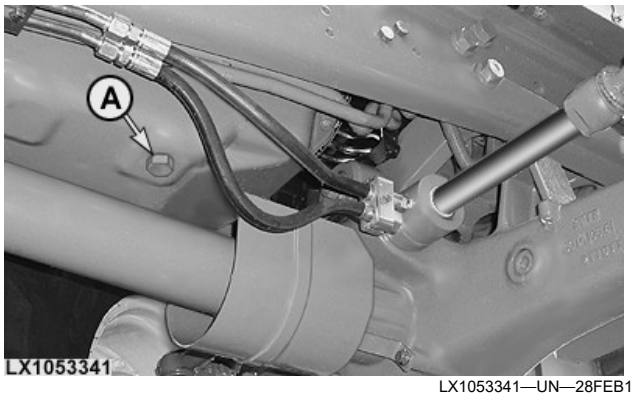
API CK-4;CJ-4;CH-4;SNSLSJ

JD：RGS 50027

注記： 初回のエンジンオイル交換 (Brake-In Plus™ オイル) については、最短 100 時間から最長 500 時間の運転時間の間にエンジンオイルを交換します。

*通常のエンジンオイル交換 (Plus 50 II オイル) については、500 運転時間ごと、ただし最低年に 1 回エンジンオイルを交換します。「**エンジンオイルとエンジンオイルフィルタの整備間隔**」(セクション 210A ~ 210D) を参照してください。*

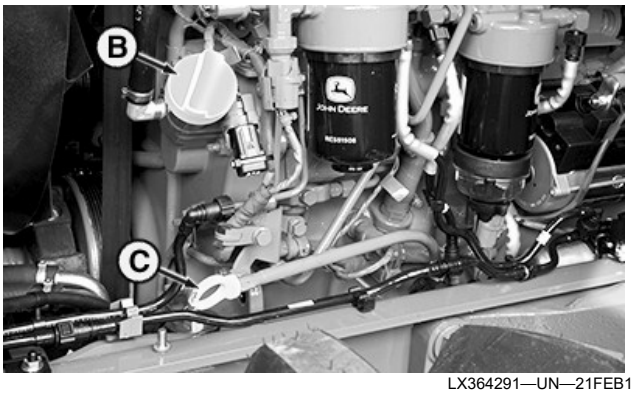
1. エンジンオイルが温かいときにオイル交換を実施してください (約 40°C、103°F)。エンジンを停止します。
2. オイル回収用の適切な容器を下側に置いて、ドレンねじ (A) を取り外します。



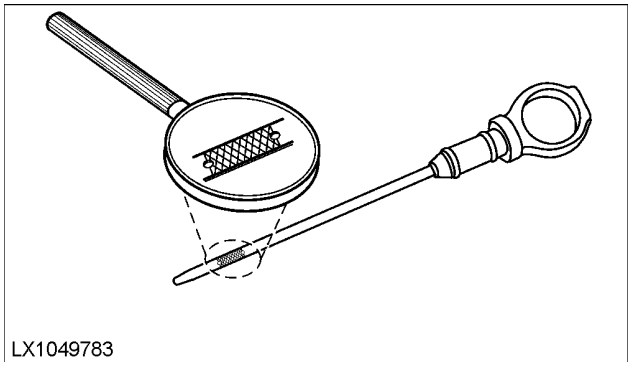
LX1053341—UN—28FEB12

4 気筒エンジンのオイルドレンねじ

3. オイルをドレンしている間にフィルタを交換します。
4. オイルドレンねじを再度取り付けて 50 N·m (37 lb·ft) のトルクで締め付けます。新品のシールワッシャを使用します。
5. 適切な粘度の新品のオイルをフィラーネック (B) からクランクケースに注入します。セクション 200C を参照してください。



LX364291—UN—21FEB19



LX1049783—UN—12AUG10

B：**オイルフィラーネック**
C：**検油棒**

仕様

注入量：量. . . . . 約 16 L
約 4.2 US gal

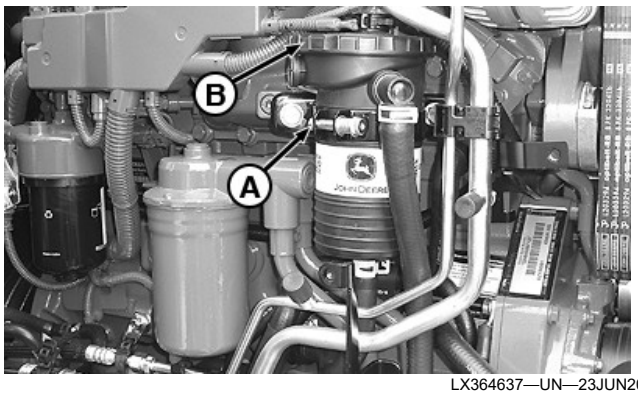
6. 検油棒 (C) でオイルレベルを確認します。オイルレベルが検油棒のハッチングの上部にあることを確認してください。必要に応じて適正なレベルまで注入します。
7. エンジンを短時間運転し、フィルタのベースとオイルドレンねじで漏れがないか点検します。
8. エンジンを停止し、キースイッチを抜きます。
9. オイルレベルを再点検します。オイルレベルは、検油棒の上部マークに達している必要があります。

注記： 「エンジンオイルレベルの点検」セクション 220 も参照してください。

OULXA64,SP1,00058F6-40-17FEB23

エンジンクランクケース通気穴のオイルセパレータフィルタの交換 (装備されている場合)

1. クランプ (A) を緩めます。



LX364637—UN—23JUN20

サンプル図

2. カバー (B) を開いてフィルタを取り外します。
3. ハウジングを清掃し、新品のフィルタを取り付けます。

4. カバーを取り付けて締め付けます。
5. ハウジングを位置決めしてクランプ (A) を締め付けます。

LX25458,4CYL,0000B89-40-06OCT21

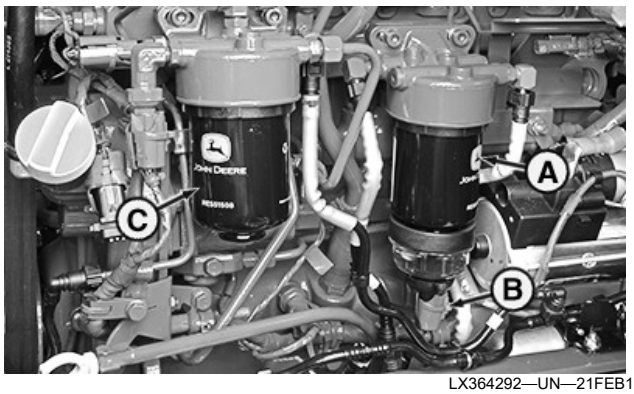
燃料フィルタの交換

⚠ 注意：エンジンを停止し、キースイッチを抜きます。

重要：

- **必ず両方のフィルタを交換します。**
- **現地の法律や条例に従って、抜き取った燃料と使用済みフィルタを廃棄します。**
- **燃料を燃料フィルタにプライミング (あらかじめ注入) しないでください。**

1. 一次燃料フィルタを交換します。



LX364292—UN—21FEB19

A：**一次燃料フィルタ**
B：**コネクタ**
C：**二次燃料フィルタ**

   a. フィルタの外部と周囲を清掃します。
   b. 水センサーからコネクタ (B) の接続を外します。
   c. ドレンバルブを開いて燃料を適切な容器に抜き取ります。
   d. フィルタ (A) を緩めて取り外します。
   e. 油水分離器をフィルタから取り外します。
   f. 油水分離器のシールリングを清掃して、燃料で潤滑します。
   g. 油水分離器を新品のフィルタに取り付けます。
   h. 新品のフィルタのシールリングを燃料で潤滑します。
   i. 新品のフィルタを取り付け座に取り付けます。シールが取り付け面に接触したら、さらに 3/4 回転を締め付けます。
   j. コネクタ (B) を再接続します。

2. 二次燃料フィルタを交換します。
   a. フィルタの外部と周囲を清掃します。
   b. フィルタ (C) を緩めて外します。抜き取る燃料を適切な容器に受けます。
   c. 新品のフィルタのシールリングを燃料で潤滑します。
   d. 新品のフィルタ (C) を取り付けて締め付けます。
3. 燃料フィルタの使用を開始します。
   a. キースイッチのキーを最初の切り替え位置まで右に回し、燃料供給ポンプを約 120 秒間作動させます。必要に応じて繰り返します。
   b. エンジンを始動し、ハイアイドルで 2 分間以上運転します。

OULXA64,SP1,00058F8-40-21DEC23

エンジンエアクリーナの交換

重要：**一次フィルタがない状態では、絶対にエンジンを運転しないでください。**

重要：**エンジンの一次エアクリーナを交換するたびに、キャビンのエアフィルタも必ず交換してください。**

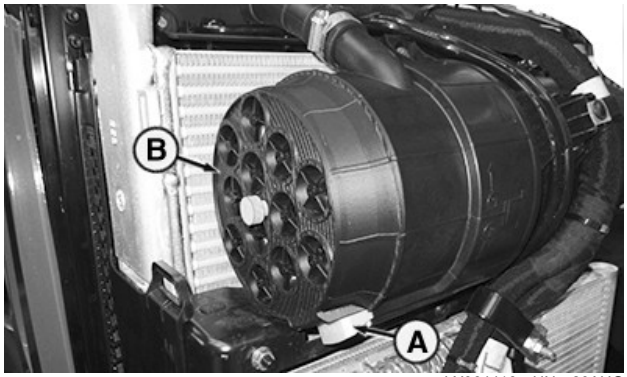
注記：エンジンエアクリーナが詰まっているというメッセージがデジタル表示に示された場合は、その日に一次フィルタを交換する必要があります。

最初のメッセージが表示された後も、トラクターはその日の作業を完了できる程度は操作できます。しかし次にメッセージが表示された後は、安全性の理由によりトラクターの作動は制限されます。したがって必ずフィルタを交換する必要があります。

エンジンエアクリーナを交換するたびに、プレクリーナーに埃が溜まっていないか点検して、必要に応じて清掃してください。「エンジンエアクリーナ - プレクリーナの清掃」(セクション 220A) を参照してください。

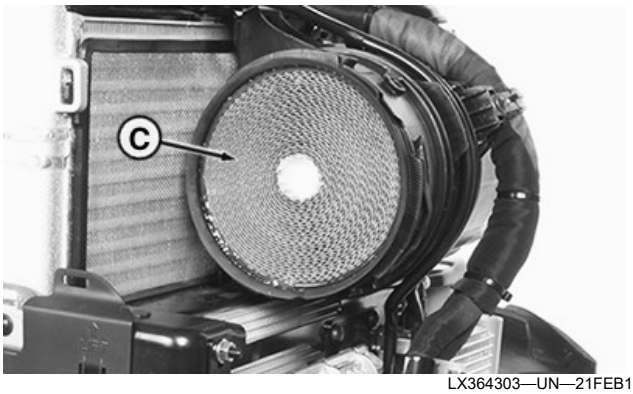
二次フィルタは一次フィルタを 3 回交換するまでに、あるいは 4,500 時間または 3 年ごとのいずれか早い時期に交換する必要があります。「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」(セクション 210B) を参照してください。

1. ラッチ (A) を外してハウジングカバー (B) を取り外します。



LX364416—UN—20AUG19

2. 一次フィルタエレメント (C) を交換して、正しく取り付けられていることを確認します。



LX364303—UN—21FEB19

3. ハウジングカバー (B) を配置して、ラッチ (A) で固定します。

OULXA64,SP1,00058F9-40-04MAR24

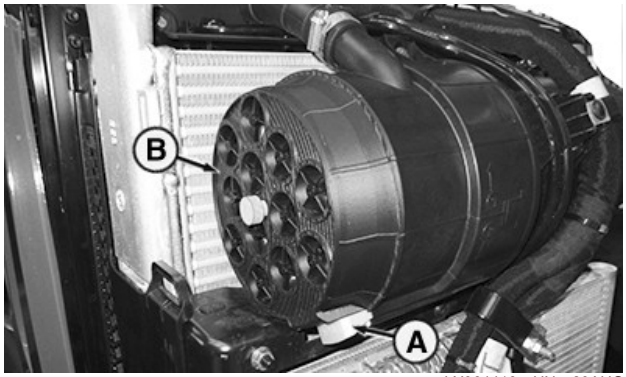
エンジンエアクリーナの二次フィルタの交換

重要： **一次および二次フィルタがない状態では絶対にエンジンを運転しないでください。**

重要： **二次エレメントは清掃しないでください。必ず新品と交換してください。**

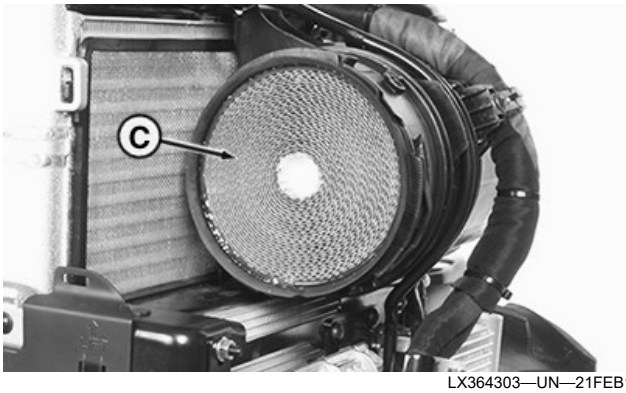
注記： 二次フィルタは一次フィルタを 3 回交換するまでに、あるいは 4,500 時間または 3 年ごとのいずれか早い時期に交換する必要があります。「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」(セクション 210B) を参照してください。

1. ラッチ (A) を外してハウジングカバー (B) を取り外します。



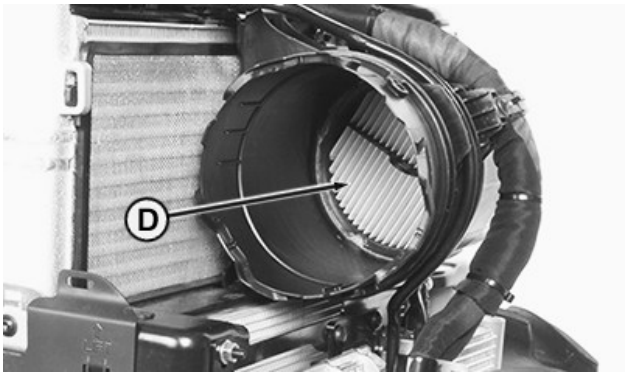
LX364416—UN—20AUG19

2. 一次フィルタ (C) を取り外します。



LX364303—UN—21FEB19

3. 二次フィルタ (D) を交換し、正しく取り付けられていることを確認します。



LX364304—UN—21FEB19

4. 一次フィルタエレメント (C) を取り付けて、正しく取り付けられていることを確認します。
5. ハウジングカバー (B) を配置して、ラッチ (A) で固定します。

OULXA64,SP1,00058FA-40-04MAR24

キャビンエアフィルターの交換

重要： **キャビンエアフィルターは 1500 時間または 2 年ごとのいずれか早い時期に交換してください。「エンジンエアクリーナとキャビンエアフィルタの整備」(セクション 210B) を参照してください。**

キャビンエアフィルターの交換

1. 欧州用トラクターのみ：装備されている場合は、キャブの左 A ポストにあるキャブの分類ラベルを参照して、正しいキャビンエアフィルターを注文します。

キャビンエアフィルター	
キャブの分類が CAT1 のトラクターの場合:	キャブの分類が CAT2 のトラクターの場合:
フィルタエレメント AL225552 - 白色。	フィルタエレメント AL225554 - 青色。

2. 両側のカバー (A) を取り外します。



LX234635—UN—07APR15

3. 両側のキャビンエアフィルター (B) を取り外します。
4. エアフィルタハウジングと空気通路のほこりを清掃します。
5. 取り付けは、取り外しと逆の順に行います。

   新しいフィルタを配置するときは、フィルタカートリッジが所定の溝に正しく位置していることを確認してください。

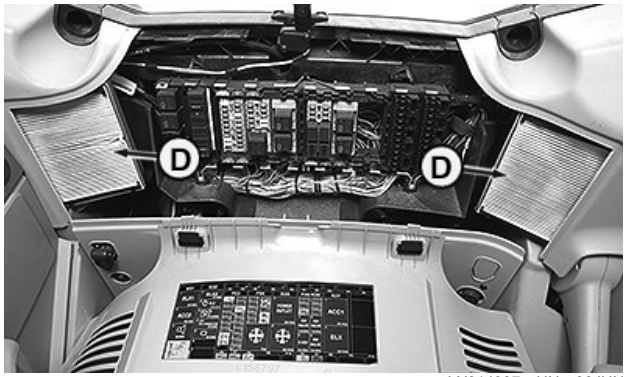
再循環エアフィルターの交換

1. カバー (C) を取り外します。



LX314936—UN—30JUN17

2. 両側の再循環エアフィルター (D) を取り外します。



LX314937—UN—30JUN17

3. エアフィルタハウジングと空気通路のほこりを清掃します。
4. 取り外しと逆の手順で、新しいフィルタカートリッジを取り付けます。

OULXA64,SP,0005717-40-17MAY23

キャビンエアフィルターの活性炭フィルタの交換 (装備されている場合)

注意： キャブに活性炭フィルタが後付けされている場合、エアフィルタを清掃することはできません。活性炭フィルタは新品と交換する必要があります。

重要： 500 運転時間ごと、または遅くとも年に 1 回、活性炭フィルタを交換してください。

このグループの「キャビンエアフィルターの交換」を参照してください。

OULXA64,500h,0005718-40-17MAY23

クーラントの交換



TS281—UN—15APR13

注意： 高温の加圧クーラントによるけがの危険があります。

冷却システム、付属品、またはホースおよびリード線の高温面に触れると、けがの原因になります。

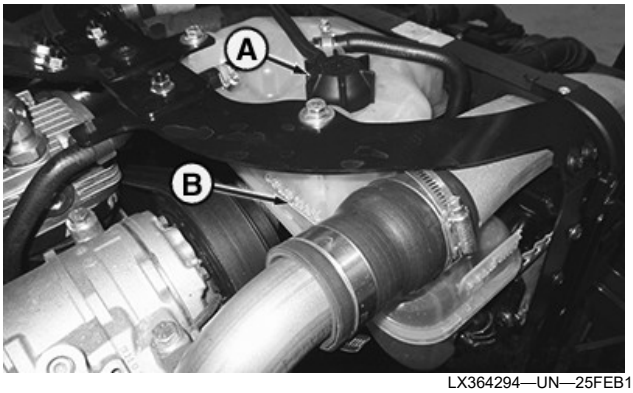
高温面や高温のクーラントに触れないでください。

クーラントの温度が沸点より下がるまで、膨張タンクのキャップ (A) を開けないでください。まずキャップを緩めて圧力を逃がし、その後キャップを完全に取り外してください。

注記： エンジンクーラントに関する点検間隔の指示に従ってください。

John Deere Cool-Gard™ II および Premix で冷却システムを改善し、規定の間隔でクーラントをテストしている場合は、6 年または 6000 時間の運転時間を最初の整備間隔とします。最初の整備後、計画点検間隔 (2 年または 2000 時間の運転時間) は、使用されるクーラントおよびクーラントが推奨間隔でテストされているかどうかに応じて 6 年または 6000 時間に延長できます。本取扱説明書の「ディーゼルエンジンクーラント」(セクション 200D) で推奨されているエンジンクーラントの点検間隔に従ってください。

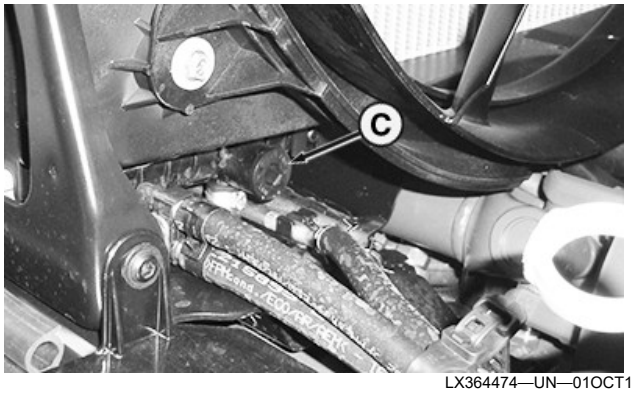
1. キャブ内のヒーターコントロールを右いっぱいまで回します。
2. まずキャップ (A) を緩めて取り外します。



LX364294—UN—25FEB19

A：**膨張タンクキャップ**
B：**膨張タンクの最高マーク**

3. クーラント排出時に受けるための容器をドレンの下に設置します。ドレンプラグ (C) を開きます。



LX364474—UN—01OCT19

4. クーラントを抜き取った後、ドレンプラグ (C) を閉めて規定のトルクで締め付けます。

仕様

クーラント：ドレンプラグ：トルク. . . . . 4 ~ 5 N·m (3 ~ 3.7 lb·ft)

重要： **熱いエンジンに冷たい水やクーラントを絶対に注入しないでください。必ず温水を使用するか、エンジンが冷めるまで待ってください。**

5. MAX マーク (B) まで清浄な水をシステムに注入し、キャップ (A) を閉じます。

注意： **エンジンを始動する前に必ずフードを閉じてください。**

6. 使用温度に達するまでエンジンを運転します。エンジンを停止し、システムをドレンします。
7. 再びドレンプラグを閉じ、システムに清浄な水を注入します。
8. 再び使用温度に達するまでエンジンを運転します。エンジンを停止して、システムから再度抜き取ります。
9. ドレンプラグ (C) を閉じて、システムの MAX マーク (B) まで指定されたクーラントを注入します (セクション 200D を参照してください)。
10. エンジンを始動して 5 分間運転します。
11. エンジンを停止し、クーラントを MAX マーク (B) まで追加します。
12. エンジンを始動して使用温度まで暖機します。
13. エンジンを停止し、クーラントを MAX マーク (B) まで追加します。
14. キャップ (A) を戻して閉めます。
15. 効率的な冷却のためには、ラジエータスクリーンを清浄に維持する必要があります。汚れやオイルを除去して、曲がったフィンを慎重にまっすぐにします。

OULXA64,00058FB-40-20NOV20

排ガス処理用尿素水 (DEF) 供給装置フィルタの交換

注意： **目に入らないようにしてください。目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。**

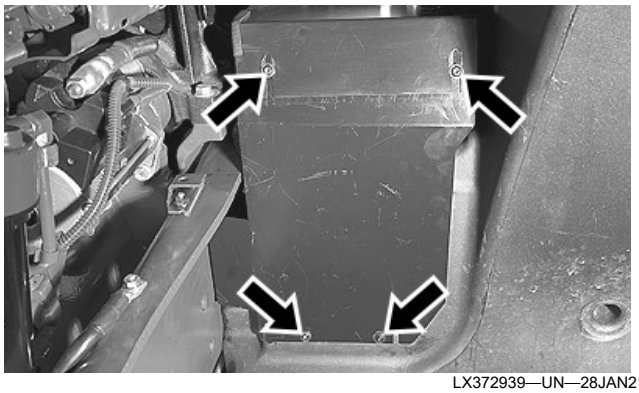
重要： **排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触したりした場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) は塗装済みおよび未塗装の金属面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。**

排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれた場合にそのまま乾かしたり布で拭いたりしただけでは、白い跡が残ります。こぼれた DEF を適切に清掃しないと、SCR (選択触媒還元) システムの漏れの問題の診断を妨げることがあります。

注記： インライン DEF 供給装置フィルタの位置については、お使いの John Deere 装置のテクニカルマニュアルまたは O.E.M メーカーのテクニカルマニュアルを参照してください。

重要： システムとフィルタの損傷を防止してください。フィルタを交換する前に、DEF システムが凍結していないことを確認してください。システムが凍結している場合は、システムが完全に解凍されるまでエンジンを運転してください。

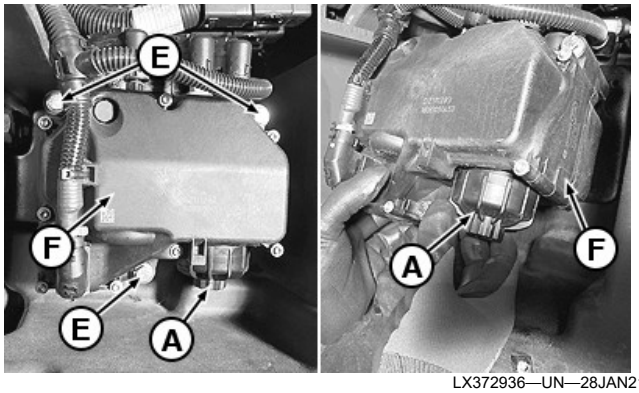
1. ねじとカバーを取り外します。



LX372939—UN—28JAN21

カバーの取り外し

2. DEF 供給装置フィルタカバー (A) のねじを緩めます。

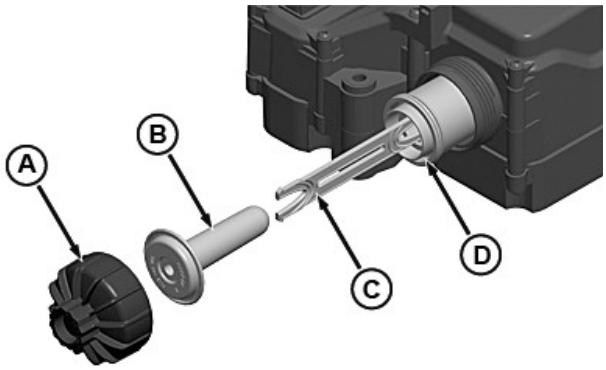


LX372936—UN—28JAN21

ハウジングを慎重に傾ける

A：**DEF 供給装置フィルタカバー**
E：**ねじ**
F：**DEF 供給装置ハウジング**

3. ねじ (E) を取り外します。
4. 図のように、ラインを曲げたり、損傷したりすることなく、ハウジング (F) を慎重に傾けます。
5. DEF 供給装置フィルタカバー (A) を取り外します。



RG22534—UN—21MAR13

DEF 供給装置フィルタ

A：**DEF 供給装置フィルタカバー**
B：**DEF ドージングユニットフィルタイコライジングエレメント**
C：**DEF 供給装置フィルタ工具 (新品のフィルタに付属)**
D：**DEF 供給装置フィルタ**

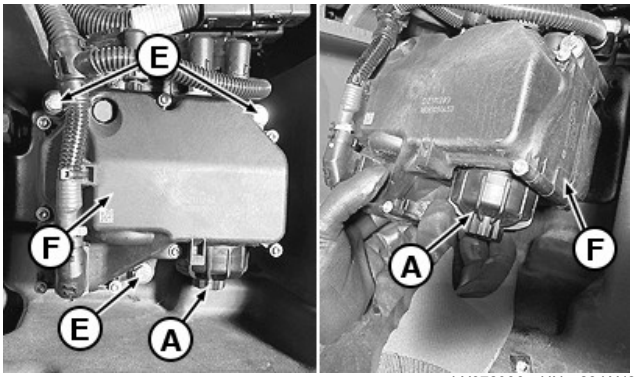
6. DEF 供給装置フィルタイコライジングエレメント (B) を取り外して廃棄します。

注記： DEF 供給装置フィルタ工具 (C) は新品のフィルタに付属しています。

7. DEF 供給装置フィルタ工具 (C) の「黒い」端部を、カチッと音がするか DEF 供給装置フィルタ工具が完全にはまった音が聞こえるまで、DEF 供給装置フィルタ (D) に挿入します。

注記： 取り外しやすくするために、ドライバーなどの工具を DEF ドージングユニットフィルタ工具の溝に挿入しても構いません。

8. DEF 供給装置から、DEF 供給装置フィルタ工具と DEF 供給装置フィルタを引き出します。DEF 供給装置フィルタと DEF 供給装置フィルタ工具を廃棄します。
9. 蒸留水で、DEF 供給装置のねじ山と合わせ面を洗浄します。
10. DEF フィルタの O リングを清浄な DEF で潤滑します。DEF 供給装置に DEF 供給装置フィルタを慎重に挿入します。
11. 新品の DEF 供給装置フィルタイコライジングエレメントを DEF 供給装置フィルタに取り付けます。
12. DEF 供給装置フィルタカバー (A) を配置して、約 2 ねじ山分ねじ込みます。



LX372936—UN—28JAN21
ハウジングを慎重に配置する

A：**DEF 供給装置フィルタカバー**
E：**ねじ**
F：**DEF 供給装置ハウジング**

13. 図のように、ラインを曲げたり、損傷したりすることなく、ハウジング (F) を慎重に配置します。
14. ねじ (E) を配置し、規定のトルクで締め付けます。

    • ホルダーなし、ホイールベース 2400 mm (94.5 in) の 6090M ~ 6120M トラクター専用。

仕様

DEF 供給装置ハウジングと燃料タンク：トルク. . . . . 17 N·m (150 lb·in)

    • ホルダー付きトラクター専用。• ホイールベース 2400 mm (94.5 in) の 6090M ~ 6120M トラクター用ではありません。

仕様

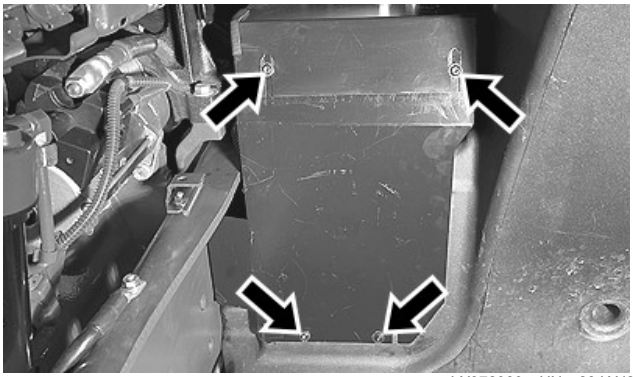
DEF 供給装置ハウジングとホルダー：トルク. . . . . 25 N·m (221 lb·in)

15. DEF 供給装置フィルタカバー (A) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

DEF 供給装置フィルタカバー：トルク. . . . . 23 N·m (204 lb·in)

16. カバーを配置し、ねじを規定のトルクで締め付けます。



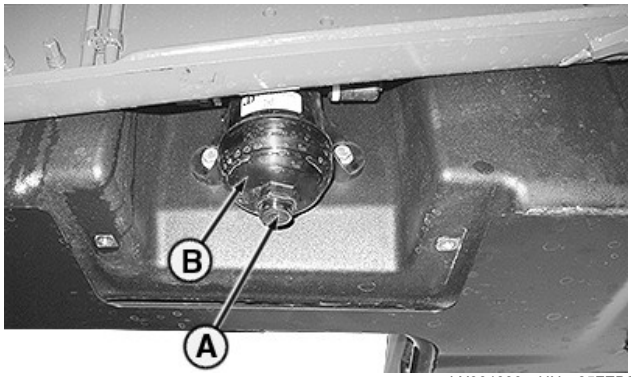
LX372939—UN—28JAN21
カバーの配置

仕様

DEF 供給装置のカバー：トルク. . . . . 25 N·m (221 lb·in)

OULXA64,19,DX,DEF,CHANGE,FILT-40-16JUL25

直列 DEF フィルターの取り付け位置



LX364633—UN—25FEB20
わかりやすくするために、タンクのカバーは表示していません。

A：**ドレンねじ**
B：**ハウジング**

フィルタの交換については、以降のページの「直列 DEFフィルタの交換」を参照してください。

OULXA64,SP1,00058FC-40-08JUN22

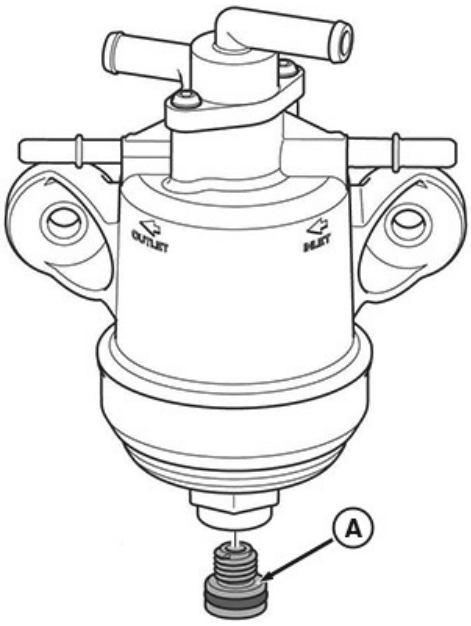
排ガス処理用尿素水 (DEF) インラインフィルタの交換

注意： けがを防止してください。DEF が目に入った場合は、すぐに大量の水で 15 分以上洗浄してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。DEF を摂取しないでください。DEF を摂取した場合は、すぐ医師に連絡してください。詳しくは、製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

重要：**車両の部品や表面の腐食を防止してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) がこぼれたり、保管タンク以外の表面に接触したりした場合は、清浄な水ですぐに洗浄してください。排ガス処理用尿素水 (DEF) は塗装済みおよび未塗装の金属面に対して腐食性があり、プラスチックやゴム製の部品を変形させる場合があります。DEF がこぼれた場合にそのまま乾かしたり布で拭いただけでは、白い跡が残ります。こぼれた DEF を不適切に清掃すると、SCR (選択触媒還元) システムの漏れの問題の診断を妨げることがあります。**

注記：インライン DEF フィルタの位置については、ご使用になっている John Deere 装置のテクニカルマニュアルまたは OEM メーカーのテクニカルマニュアルを参照してください。

重要：**システムとフィルタの損傷を防止してください。フィルタを交換する前に、DEF システムが凍結していないことを確認してください。システムが凍結している場合は、システムが完全に解凍されるまでエンジンを運転してください。**



RG30728—UN—08AUG18

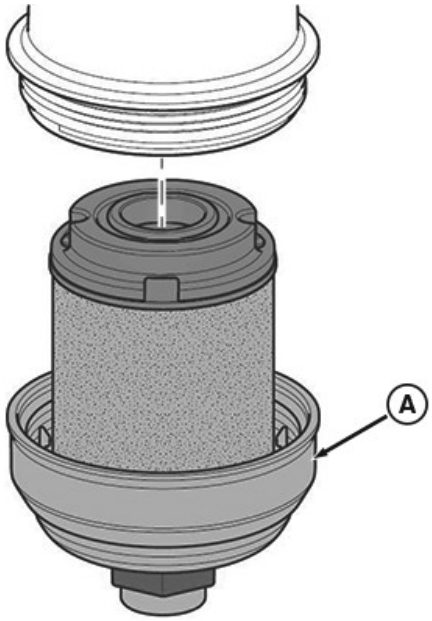
DEF フルードの抜き取り

A：**O リング付きドレンプラグ**

1. ドレンプラグと O リング (A) を取り外して廃棄します。

注記：容器は DEF と互換性があり、300 mL (0.32 qt) 以上の容量がある必要があります。

2. DEF を適切な容器に抜き取ります。



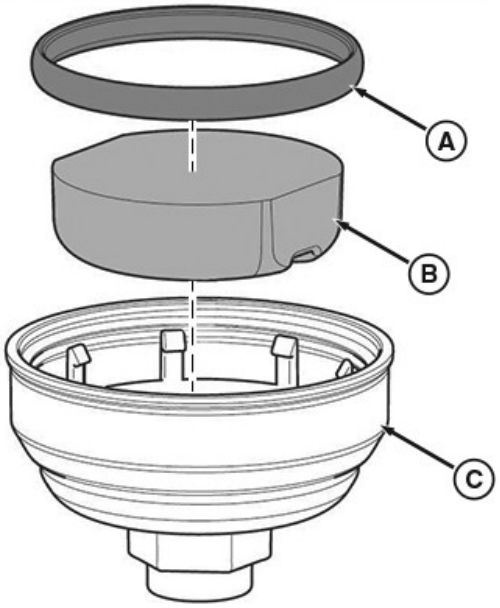
RG30727—UN—08AUG18

フィルタの取り外し

A：**フィルタハウジング**

3. フィルタハウジング (A) を反時計回りに回して引き下げます。
4. フィルタをハウジング (A) から取り外して廃棄します。

注記：必要に応じて、フィルタを軽くたたいてフィルタハウジング (A) から緩めます。



RG30726—UN—08AUG18

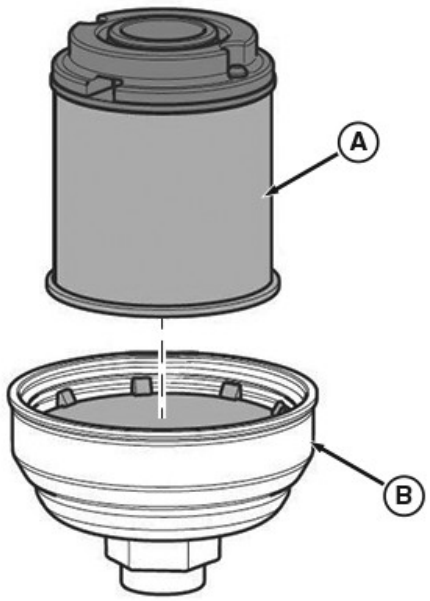
フィルタハウジングの構成部品

A：**O リング**
B：**泡補正エレメント**
C：**フィルタハウジング**

5. O リング (A) と泡補正エレメント (B) を取り外して廃棄します。

注記： 新品の部品を取り付ける前にフィルタハウジングを清浄な DEF で洗浄して、沈殿物のごみや汚れを除去する必要があります。

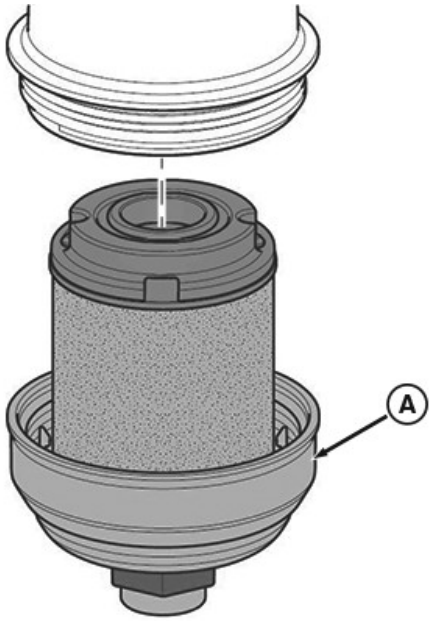
6. 新品の O リング (A) と泡補正エレメント (B) をフィルタハウジング (C) に取り付けます。



RG30725—UN—08AUG18
フィルタハウジングと部品の取り付け

A : **フィルタ**
B : **フィルタハウジング**

7. 新品のフィルタ (A) をフィルタハウジング (B) に取り付けます。



RG30727—UN—08AUG18
インライン *DEF* フィルタハウジングの取り付け

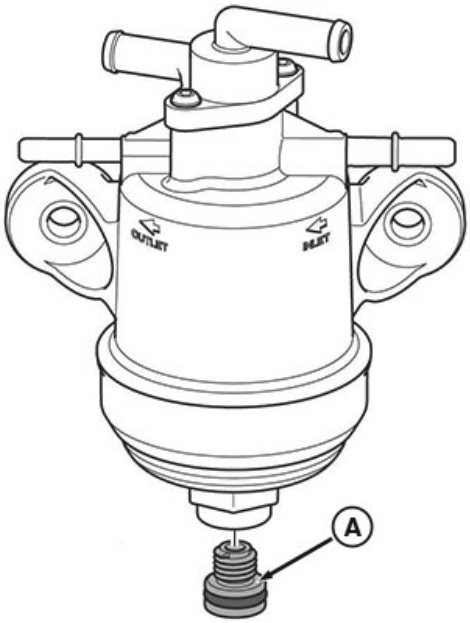
A : **フィルタハウジング**

8. O リング付きのフィルタハウジング (A)、泡補正エレメント、およびフィルタエレメントを取り付けます。

9. フィルタハウジング (A) を時計回りに回して、規定のトルクで締め付けます。

仕様

インライン DEF フィルタハウジング：トルク	25 N·m (221 lb·in)



RG30728—UN—08AUG18
インライン *DEF* フィルタドレンプラグ

A : **O リング付きドレンプラグ**

10. O リング (A) 付きの新品のドレンプラグを取り付けます。規定のトルクで締め付けます。

仕様

インライン DEF フィルタドレンプラグ：トルク	4 N·m (35 lb·in)

DX,DEF,CHANGE,INLINE,FILT-40-15APR20

前輪駆動車軸 — オイル交換の手順 (車軸ハウジングおよびファイナルドライブ)

最初の 100 運転時間後、および最初の 1500 運転時間後に、ブレーキなし前輪駆動車軸の車軸ハウジングとファイナルドライブのオイルを交換します。その後は、1,500 運転時間ごとまたは 2 年に 1 回のいずれか早い時期にオイルを交換します。セクション 200E に記載しているトランスミッションオイルを必ず使用してください。

注記： ブレーキ付き前輪駆動車軸の場合は、最初の 100 運転時間後、最初の 500 時間後、その後は 500 時間運転するごとにファイナルドライブのオイルを交換します。

必ず長時間運転後に適切にオイルを交換してください。

LX25458,500H,0000B93-40-15OCT21

前輪駆動車軸 (730、733、735) - ブレーキ付きファイナルドライブのオイル交換



TS281—UN—15APR13

注意： 高温の部品や高温の加圧オイルによるけがの危険があります。

高温の面に触れると、けがを負う可能性があります。

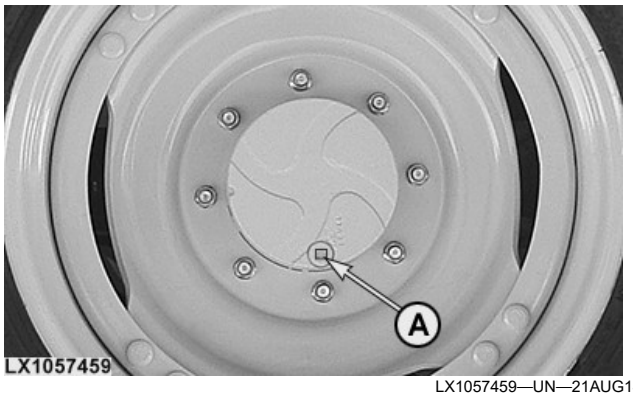
高温面や高温のオイルに触れないでください。

オイルが温かいときに (約 40°C、103°F)、オイル交換を実施してください。

ドレン / レベルねじ込みプラグをゆっくりと緩めます。

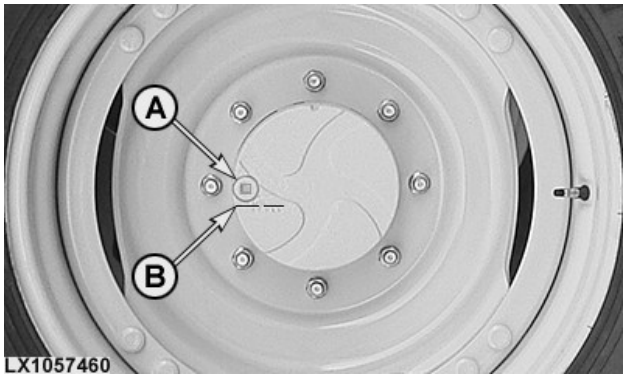
注記： 最初の 100 時間後、最初の 500 時間後、その後は 500 時間運転するごとにブレーキ付きファイナルドライブのオイルを交換します。

1. ドレンねじ (A) が一番下になるまでホイールを回転させます。ねじを取り外して、オイルを抜き取ります。



LX1057459—UN—21AUG14

2. **オイルレベル**マーク (B) のラインが水平になるようにホイールを 90° 回転させ、ドレンねじ穴から新品のオイルを注入します。オイルはドレンねじ穴と同じ高さにする必要があります。



LX1057460—UN—21AUG14

3. ドレンねじに新品の O リングを取り付けます。
4. ドレンねじをねじ込んで、90 Nm (66 lb ft) のトルクで締め付けます。

使用オイル	Hy-Gard™ トランスミッションオイルと作動油。セクション 200E も参照してください。
容量	セクション 500A の該当するトラクターの「容量」を参照してください。

Hy-Gard は Deere & Company の商標です。

OULXA64,4CYL,0005832-40-29AUG23

前輪駆動車軸 (730、733、735) - ブレーキなしファイナルドライブのオイル交換



TS281—UN—15APR13

注意： 高温の部品や高温の加圧オイルによるけがの危険があります。

高温の面に触れると、けがを負う可能性があります。

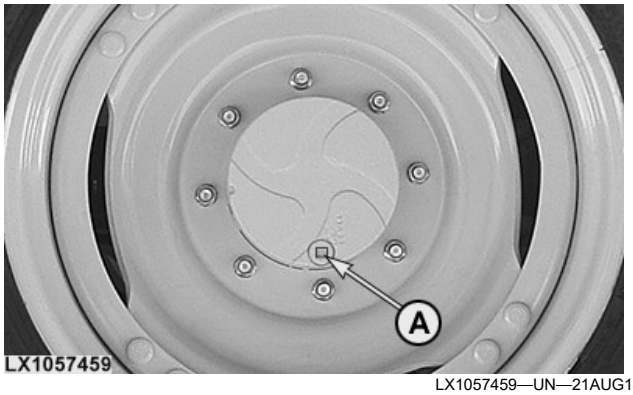
高温面や高温のオイルに触れないでください。

オイルが温かいときに (約 40°C、103°F)、オイル交換を実施してください。

ドレン/レベルねじ込みプラグをゆっくりと緩めます。

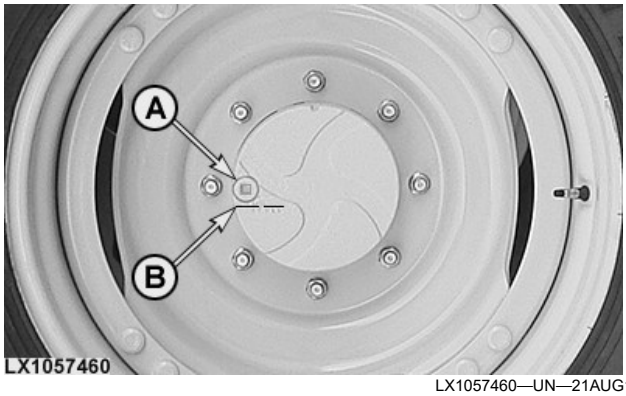
注記： 使用開始から 100 時間後と 1500 時間後にファイナルドライブのオイルを交換します。その後は、1,500 運転時間ごとまたは 2 年に 1 回のいずれか早い時期にオイルを交換します。

1. ドレンねじ (A) が一番下になるまでホイールを回転させます。ねじを取り外して、オイルを抜き取ります。



LX1057459—UN—21AUG14

2. **OIL LEVEL** マーク (B) のラインが水平になるようにホイールを 90°回転させ、ドレンねじ穴から新品のオイルを注入します。オイルはドレンねじ穴と同じ高さにする必要があります。



LX1057460—UN—21AUG14

3. ドレンねじに新品の O リングを取り付けます。
4. ドレンねじをねじ込んで、90 Nm (66 lb ft) のトルクで締め付けます。

使用オイル	Hy-Gard™ トランスミッションオイルと作動油。セクション 200E も参照してください。
容量	セクション 500A の該当するトラクターの「容量」を参照してください。

Hy-Gard は Deere & Company の商標です。

LX25458,4CYL,0000B94-40-30AUG23

前輪駆動車軸 (730、733、735) - 車軸ハウジングのオイル交換



TS281—UN—15APR13

注意： 高温の部品や高温の加圧オイルによるけがの危険があります。

高温の面に触れると、けがを負う可能性があります。

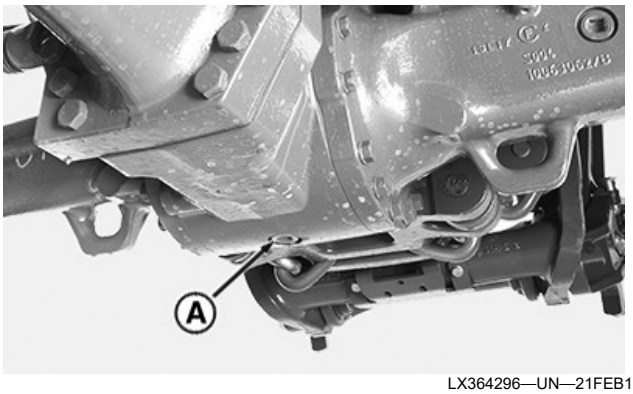
高温面や高温のオイルに触れないでください。

オイルが温かいときに (約 40°C、103°F)、オイル交換を実施してください。

レベルねじ込みプラグはゆっくりと緩めてください。

注記： 最初の 100 運転時間後、および最初の 1500 運転時間後に車軸ハウジングのオイルを交換します。その後は、1,500 運転時間ごとまたは 2 年に 1 回のいずれか早い時期にオイルを交換します。

1. ドレンねじ (A) を取り外してオイルを抜き取ります。



LX364296—UN—21FEB19

2. ドレンねじに新品の O リングを取り付けます。
3. オイルドレンねじを再度取り付けて 90 N·m (66 lb·ft) のトルクで締め付けます。
4. フィラーねじ (A) を取り外して、新品の O リングを取り付けます。新品のオイルを注入します。オイルレベルはフィラー穴に達している必要があります。フィラーねじを再度取り付けます。



LX364297—UN—21FEB19

注記： ねじの位置は車軸の種類によって異なります。

使用オイル	Hy-Gard™ トランスミッションオイルと作動油。セクション 200E も参照してください。
容量	セクション 500A の該当するトラクターの「容量」を参照してください。

Hy-Gard は Deere & Company の商標です。

LX25458,4CYL,0000B95-40-30AUG23

トランスミッションオイルと作動油フィルタの交換



TS281—UN—15APR13

注意： 油圧系統の部品や高温のオイルによるけがの危険があります。

油圧系統、付属品、またはホースおよびリード線の高温面に触れると、けがの原因になります。

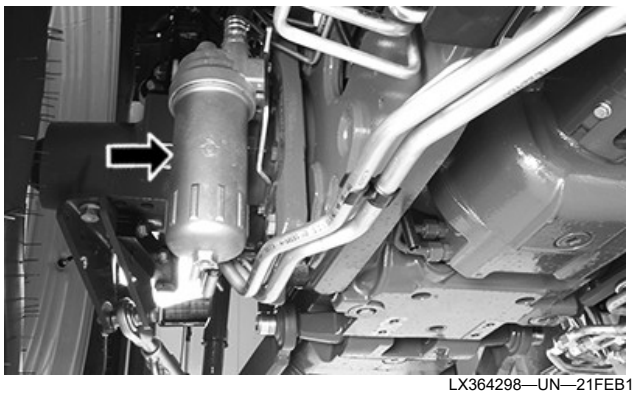
高温面や高温のオイルに触れないでください。

オイルが温かいときに (約 40°C、103°F)、オイルフィルタを交換してください。

重要： 必ず両方のフィルタを同時に交換してください。

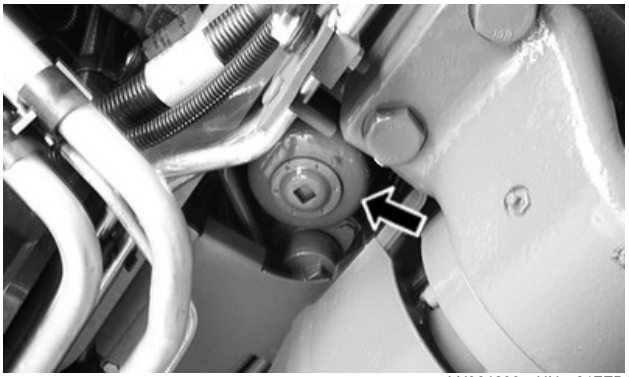
注記： セクション 210A で指定されている整備間隔に従って、トランスミッションオイルフィルタと作動油フィルタを交換します。

1. フィルタエレメントを緩めて外します。



LX364298—UN—21FEB19

作動油フィルタ



LX364299—UN—21FEB19

トランスミッションオイルフィルタ

2. 新品のフィルタのシールリングにグリースを塗ってからフィルタをねじ込みます。

   John Deere™ 純正フィルタのみ使用してください。

3. エンジンを短時間運転して、いくつかの油圧機能を作動させます。エンジンを停止し、キースイッチを抜きます。

4. 10 ~ 15 分待ってからオイルレベルを点検します。オイルレベルは、点検窓のマークの間にある必要があります。そうでない場合は、オイルレベルを調整します。

OULXA64,SP1,00058FD-40-30JUL24

トランスミッションオイルおよび作動油の交換とインテークスクリーンの清掃 (PowrQuad™、AutoQuad™、CommandQuad™ PLUS トランスミッション)



TS281—UN—15APR13

注意： 油圧系統の部品や高温のオイルによるけがの危険があります。

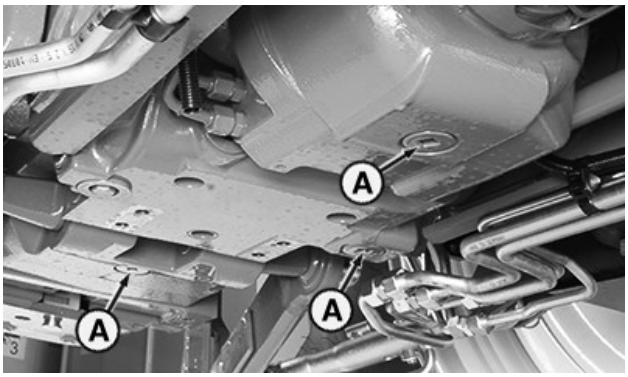
油圧系統、付属品、またはホースおよびリード線の高温面に触れると、けがの原因になります。

高温面や高温のオイルに触れないでください。

オイルが温かいときに (約 40°C、103°F)、オイル交換を実施してください。

トランスミッションオイルと作動油の抜き取り

1. エンジンを始動して油圧機能を一部作動させ、オイルを温めます。
2. トラクターを水平に駐車します。トランスミッションからオイルを吸い上げるドラフトリンク、フロントローダー、フロント作業機、およびその他の作業機を下げます。
3. エンジンを停止し、キースイッチを抜きます。
4. 駐車ブレーキロックをかけます。
5. ドレンボルト (A) および (B) を外し、オイルを適切な容器にドレンします。容量については、セクション 500A を参照してください。



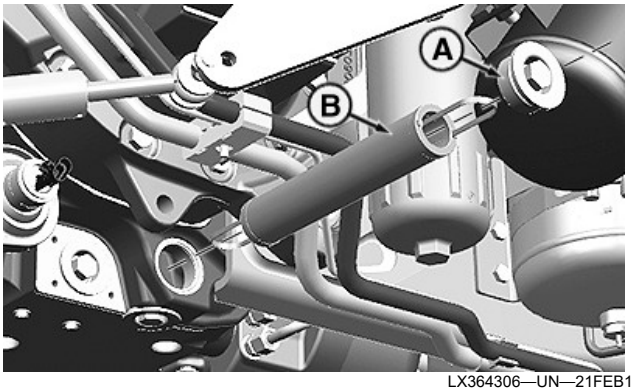
LX364305—UN—21FEB19

A：**ディファレンシャルハウジングのドレンねじ (50 N m、37 lb ft)**
B：**前輪駆動クラッチのドレンねじ (50 N m、37 lb ft)**

注記： 装備されている場合は、ドローバーを取り外します。

6. オイルを抜き取った後、ドレンねじ (A) および (B) に新品のシールリングを付けて締め付けます。

インテークスクリーンの清掃と、トランスミッションオイルと作動油の交換



LX364306—UN—21FEB19

A：**ねじ込みプラグ (50 N m、37 lb ft)**
B：**インテークスクリーン**

1. ねじ込みプラグ (A) を取り外します。
2. インテークスクリーン (B) を引き出して燃料で洗浄します。

3. インテークスクリーンを取り付ける場所を清掃します。
4. インテークスクリーンを再度取り付けます。
5. 新しいオイルを再注入する前に、シールを交換してドレンねじを 50 N·m (37 lb·ft) のトルクで締め付けます。
6. トランスミッションオイルと作動油をトランスミッションハウジングに充填します。容量については、セクション 500A を参照してください。

オイルレベルの点検

エンジンを短時間運転して、いくつかの油圧機能を作動させます。エンジンを停止します。

10 ~ 15 分間待ち、オイルレベルを確認します。オイルレベルは、点検窓のマークの間にある必要があります。そうでない場合は、オイルレベルを調整します。

OULXA64,SP1,100058FE-40-29AUG23

トランスミッションオイルと作動油の交換と、インテークスクリーンの清掃 (AutoPowr™/IVT™ トランスミッション)



TS281—UN—15APR13

注意： 油圧系統の部品や高温のオイルによるけがのリスクがあります。

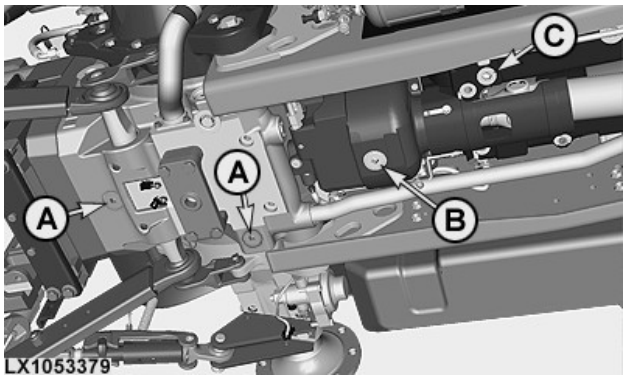
油圧系統、付属品、またはホースおよびリード線の高温面に触れると、けがの原因になります。

高温面や高温のオイルに触れないでください。

オイルが温かいときに (約 40°C、103°F)、オイル交換を実施してください。

トランスミッションオイルと作動油の抜き取り

1. エンジンを始動し、複数の油圧機能を作動させてオイルを温めます。
2. トラクターを水平に駐車します。トランスミッションからオイルを吸い上げるドラフトリンク、フロントローダー、フロント作業機、およびその他の作業機を下げます。
3. エンジンを停止し、キースイッチを抜きます。
4. 駐車ブレーキロックをかけます。
5. ドレンねじ (A)、(B)、(C) を取り外し、オイルを適切な容器に抜き取ります。容量については、セクション 500A を参照してください。



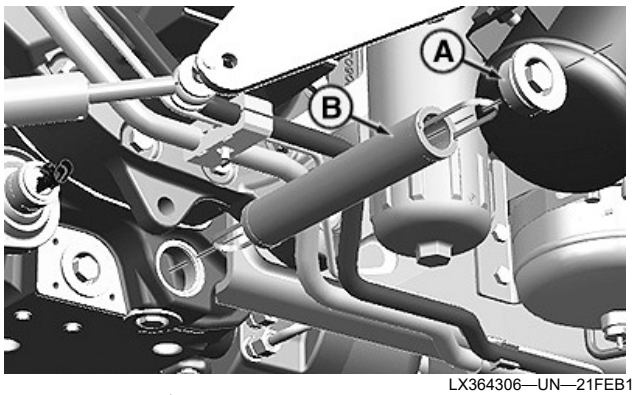
LX1053379—UN—13FEB12

A：**ディファレンシャルハウジングのドレンねじ、50 N m (37 lb ft)**
B：**前輪駆動クラッチのドレンねじ、50 N m (37 lb ft)**
C：**トランスミッションのドレンねじ、50 N m (37 lb ft)**

注記： 装備されている場合は、ドローバーを取り外します。

6. オイルを抜き取った後、ドレンねじ (A)、(B)、(C) に新品のシールリングを付けて締め付けます。

インテークスクリーンの清掃と、トランスミッションオイルと作動油の交換



LX364306—UN—21FEB19

A：**ねじ込みプラグ (50 N m、37 lb ft)**
B：**インテークスクリーン**

1. ねじ込みプラグ (A) を取り外します。
2. インテークスクリーン (B) を引き出して燃料で洗浄します。
3. インテークスクリーンを取り付ける場所を清掃します。
4. インテークスクリーンを再度取り付けます。
5. 新しいオイルを再注入する前に、シールを交換してドレンねじを 50 N·m (37 lb·ft) のトルクで締め付けます。
6. トランスミッションオイルと作動油をトランスミッションハウジングに充填します。容量については、セクション 500A を参照してください。

オイルレベルの点検

エンジンを短時間運転して、いくつかの油圧機能を作動させます。エンジンを停止します。

10 ~ 15 分待ってからオイルレベルを点検します。点検窓の最小と最大のマークの間が適正レベルです。そうでない場合は、オイルレベルを調整します。

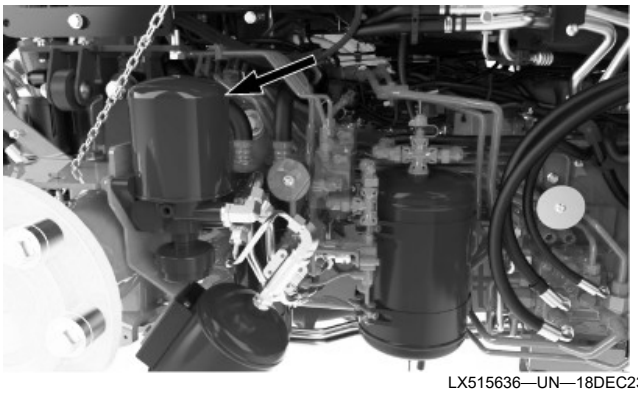
OULXA64,SP1,00058FF-40-30AUG23

エアブレーキシステムのエアドライヤカートリッジの交換

注意： この作業を行う前に、圧縮空気システム内の圧力を解放する必要があります。

注意： エアドライヤカートリッジの必要な交換時期が早まる場合があります。圧縮空気タンクの日常点検中に凝縮水 (水) が見つかった場合は、エアドライヤカートリッジを直ちに交換する必要があります。

エアドライヤカートリッジは 1500 時間ごとまたは 2 年ごとのいずれか早い時期に交換してください。



LX515636—UN—18DEC23

エアブレーキシステムからすべての凝縮水を排出し、圧縮空気圧を完全に解放してください。セクション 220D の「エアブレーキシステムの凝縮水の点検」を参照してください。

エアドライヤカートリッジを緩めて、O リングを取り外します。

新品の O リングを取り付けて、新品のエアドライヤカートリッジを締め付けます。

OULXA64,SP1,000591D-40-27JUN25

フロント PTO のオイルフィルタの交換 (装備されている場合)



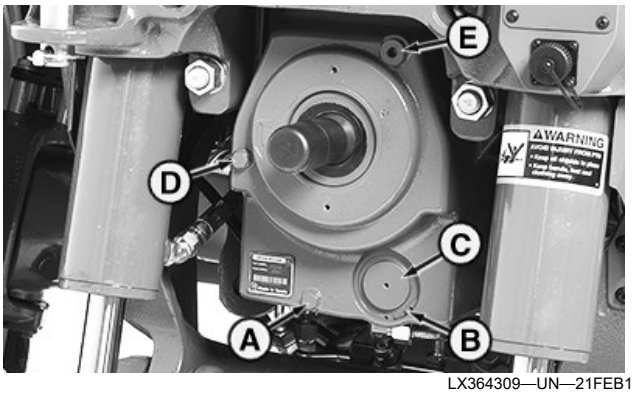
TS281—UN—15APR13

注意： 高温の部品や高温のオイルによるけがの危険があります。

高温の面、付属品、またはホースおよびリード線に触れると、けがの原因になります。

高温面や高温のオイルに触れないでください。

オイルが温かいときに (約 40°C、103°F)、オイルフィルタを交換してください。



LX364309—UN—21FEB19

A：**ドレンねじ、20 N·m (15 lb·ft)**
B：**スナップリング**
C：**カバー**
D：**ねじ、20 N·m (15 lb·ft)**
E：**ねじ、40 N·m (30 lb·ft)**。

1. オイルドレンねじ (A) を取り外し、オイルを適切な容器に抜き取ります。

注記： オイルが焦げくさかったり、非常に黒ずんで見える場合は、交換する必要があります。フィルタ交換時に破片や同様の物が見つかった場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場で PTO クラッチを修理する必要があります。

2. ボルト (D)、(E) を取り外します。
3. スナップリング (B) とカバー (C) を取り外します。
4. オイルフィルタを交換します。
5. 新品のシールリングをカバー (C) に取り付けて、正しく密着していることを確認します。

6. カバー (C) とスナップリング (B) を取り付けます。
7. 新品のシールを取り付けたオイルドレンねじを取り付けて、20 N·m (15 lb·ft) のトルクで締め付けます。
8. オイルがねじ穴 (D) から出てくるまで、新品のトランスミッションオイルと作動油をねじ穴 (E) から PTO ハウジングに注入します。
9. 新品のシールを取り付けたねじ (D) を取り付けて、20 N·m (15 lb·ft) のトルクで締め付けます。
10. 新品のシールを取り付けたねじ (E) を取り付けて、40 N·m (30 lb·ft) のトルクで締め付けます。

OULXA64,SP,0005711-40-16JUL25

フロント PTO のオイルの交換 (装備されている場合)



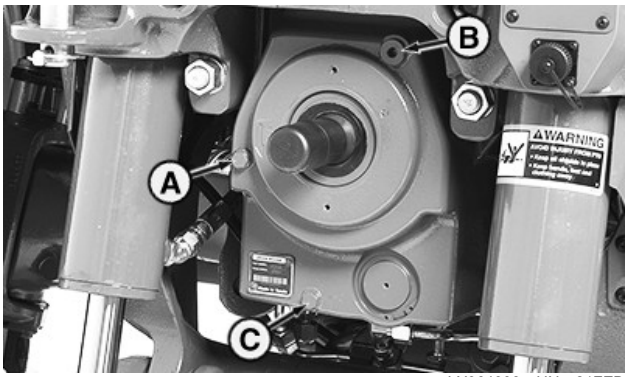
TS281—UN—15APR13

⚠ 注意： 高温の部品や高温のオイルによるけがの危険があります。

高温の面、付属品、またはホースおよびリード線に触れると、けがの原因になります。

高温面や高温のオイルに触れないでください。

オイルが温かいときに (約 40°C、103°F)、オイル交換を実施してください。



LX364308—UN—21FEB19

A：ねじ、**20 N·m (15 lb·ft)**
B：ねじ、**40 N·m (30 lb·ft)**。
C：ドレンねじ、**20 N·m (15 lb·ft)**

1. オイルドレンねじ (C) を取り外し、オイルを適切な容器に抜き取ります。

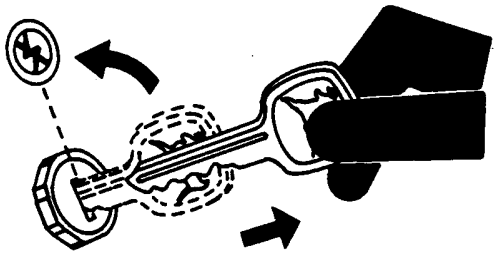
注記： 破片や同様の物が見つかった場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場で PTO クラッチを修理する必要があります。

オイルを交換するたびに、オイルフィルタも交換してください。

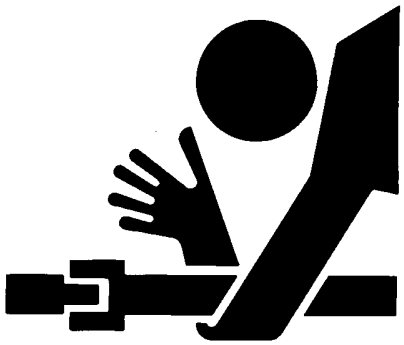
2. ねじ (A) と (B) を取り外します。
3. 新品のシールを付け忘れないようにしてオイルドレンねじ (C) を取り付けて、20 20 N·m (15 lb·ft) のトルクで締め付けます。
4. 約 2.6 L (0.69 US gal) の新しいトランスミッションオイルと作動油をねじ (B) の穴から入れ、穴 (A) からオイルが出てくるまで PTO ハウジングに追加します。セクション 200E を参照してください。
5. 新しいシールを取り付けたねじ (A) を取り付けて、20 N·m (15 lb·ft) のトルクで締め付けます。
6. 新品のシールを取り付けたねじ (B) を取り付けて、40 N·m (30 lb·ft) のトルクで締め付けます。

OULXA64,SP,0005712-40-16JUL25

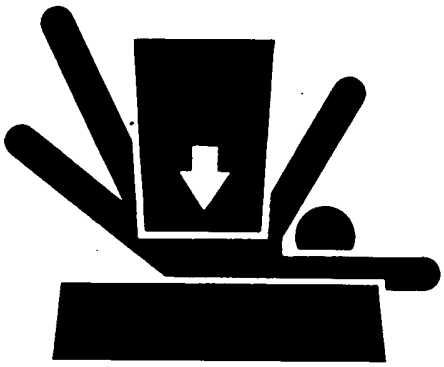
潤滑に関する一般情報



TS230—UN—24MAY89
機械の安全な駐車の順守



TS276—UN—23AUG88
エンジンを停止し、パークロックをかけている場合のみ、ユニバーサルジョイントシャフトの整備を行ってください



TS229—UN—23AUG88
機械の適切な支持

注意： 潤滑を行う前に、エンジンを停止し、前部および後部連結装置を完全に下げて、パークロックをかけます。装備されている場合は、フロントローダーを完全に下ろします。

次の手順に従って、フロントユニバーサルジョイントのグリースフィッティングにアクセスできるようにします。

1. **ステアリングをフルストップまで回転させます。**
2. **エンジンを停止してパークロックをかけます。**
3. **ホイールが自由に回転するまで、車軸ニーをジャッキで上げます。**
4. **グリースガンがグリースフィッティングに届くようになるまで、ホイールを回します。**

ホイール下の危険領域から離れてください。

重要： 通常の整備中に潤滑する必要があるすべての潤滑箇所を下に示します。

装置の種類に応じて、違いがある可能性があります。図に示すコンポーネントがない場合は、図を無視してください。

一部のコンポーネントは別の構成で利用可能です。複数の部品が表示されている場合は、関連するバージョンのみに従ってください。

潤滑手順：従来のグリースガンを使用する場合は、古いグリース、ごみ、または水が潤滑箇所から出てくるまでグリースを注入します。余分なグリースを除去して、現地の規制に従って適切に廃棄してください。1つの例外はリア車軸ベアリングです。これらは、従来のグリースガンの 6 ~ 8 ストローク以内で潤滑してください。

特殊な条件：ユニバーサルジョイントシャフトの各ユニバーサルジョイントにはアンチラップガードがあります。グリースフィッティングへのアクセス開口部にアクセスできない場合は、アンチラップガードを取り外します。

推奨グリース：「グリース」(セクション 200E) を参照してください。

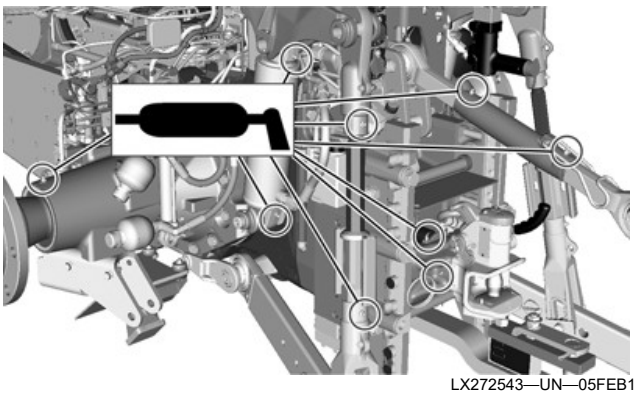
LX25458,ALL,0000B9B-40-13OCT20

不定期の潤滑

特に湿潤条件やぬかるみ条件でトラクターを操作している場合、または高圧洗浄機で洗浄した場合は、トラクターのすべての潤滑箇所を潤滑してください。

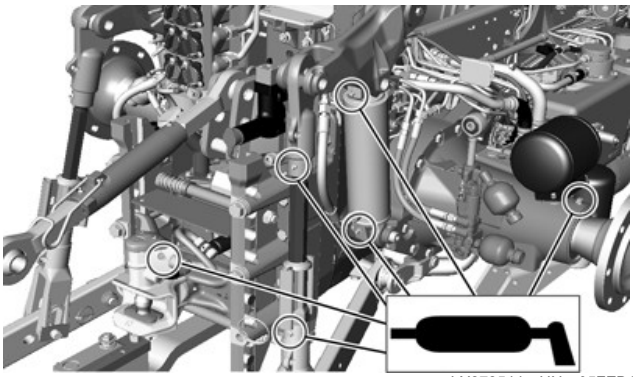
LX25458,ALL,0000B9C-40-05JUN20

トラクターの潤滑 - 潤滑箇所



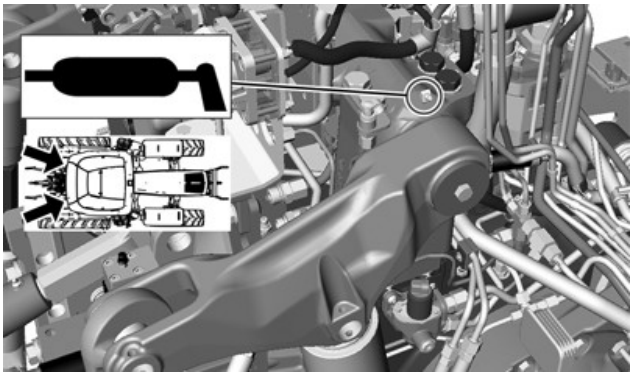
LX272543—UN—05FEB16

後部連結装置と車軸ベアリング



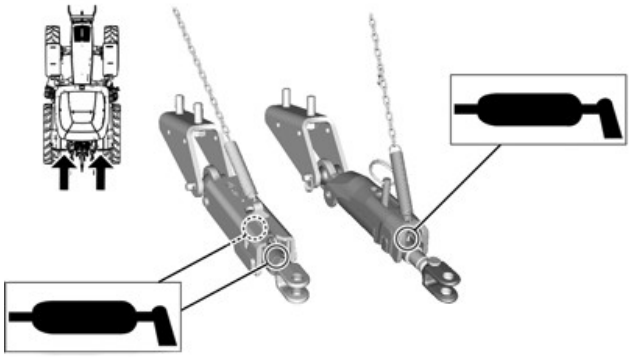
LX272544—UN—05FEB16

後部連結装置と車軸ベアリング



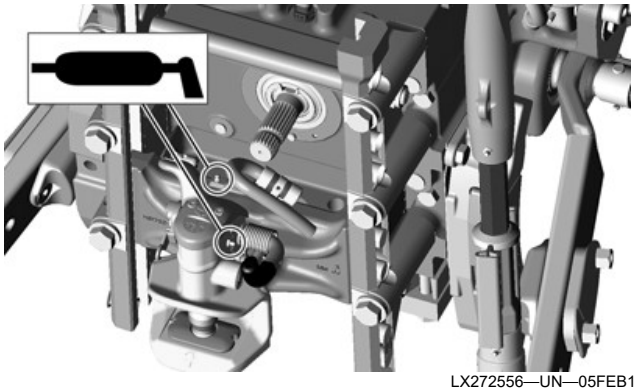
LX272545—UN—05FEB16

リアヒッチ、ロックシャフトブロック



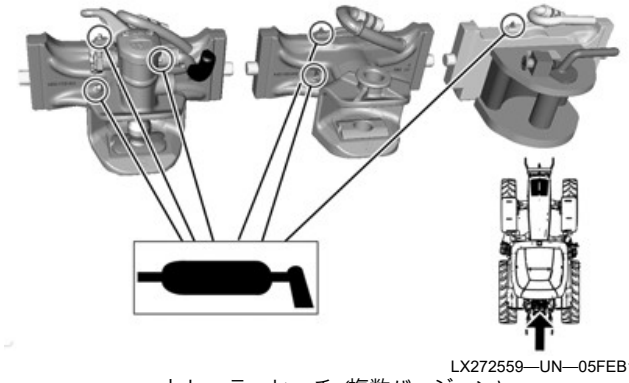
LX272560—UN—05FEB16

リアヒッチ、スタビライザ



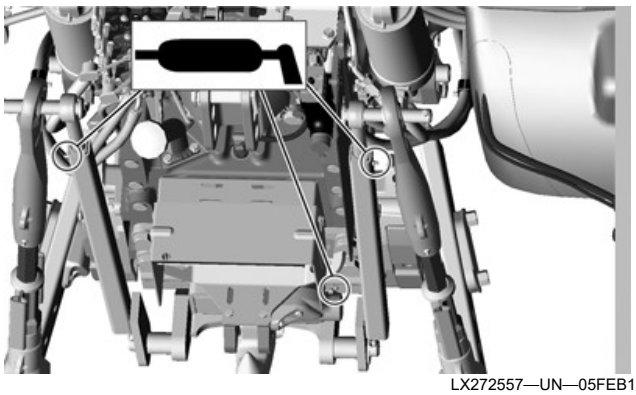
LX272556—UN—05FEB16

トレーラーヒッチ *(*装備されている場合*)*



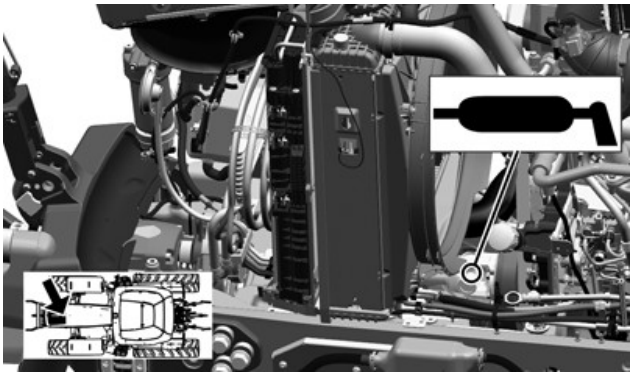
LX272559—UN—05FEB16

トレーラーヒッチ *(*複数バージョン*)*



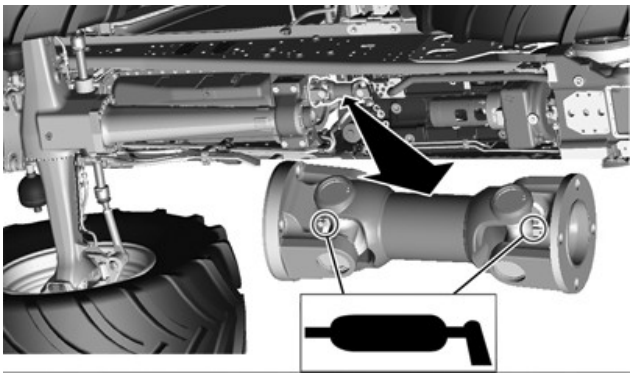
LX272557—UN—05FEB16

トラクター後部、ピックアップヒッチ専用



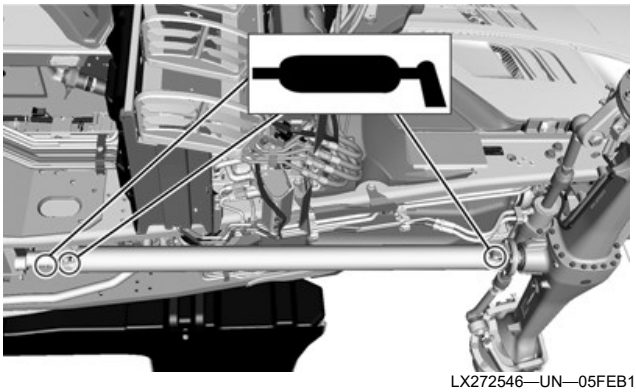
LX514883—UN—21SEP22

エンジンとフロント *PTO* 間のユニバーサルジョイントシャフト *(*グリースニップルを装備している場合*)*



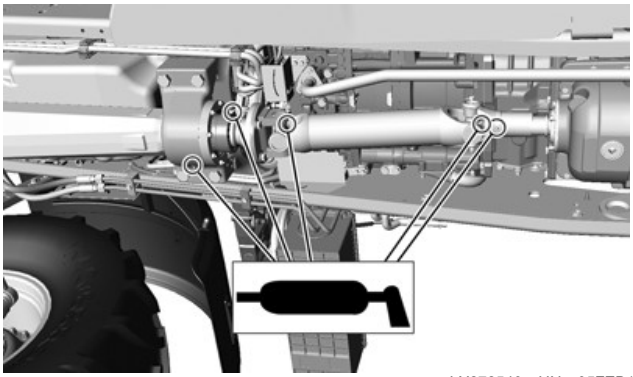
LX272558—UN—05FEB16

エンジンとトランスミッション間のユニバーサルジョイントシャフト *(*グリースニップルを装備している場合*)*



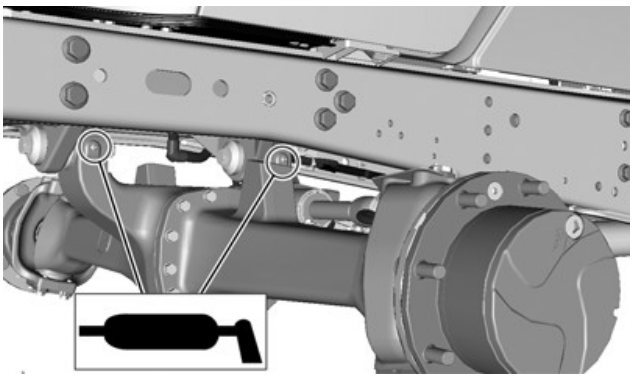
LX272546—UN—05FEB16

ユニバーサルジョイントシャフト、前輪駆動車軸、サスペンション非装備 *(*グリースニップルを装備している場合*)*



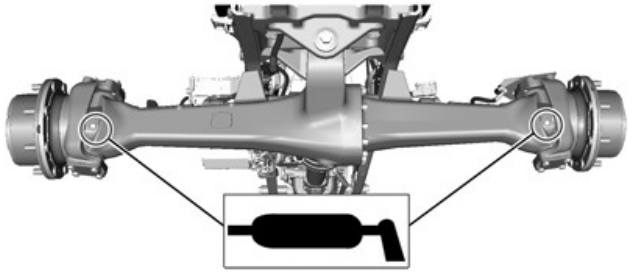
LX272549—UN—05FEB16

ユニバーサルジョイントシャフト、前輪駆動車軸、サスペンション装備 *(*グリースニップルを装備している場合*)*



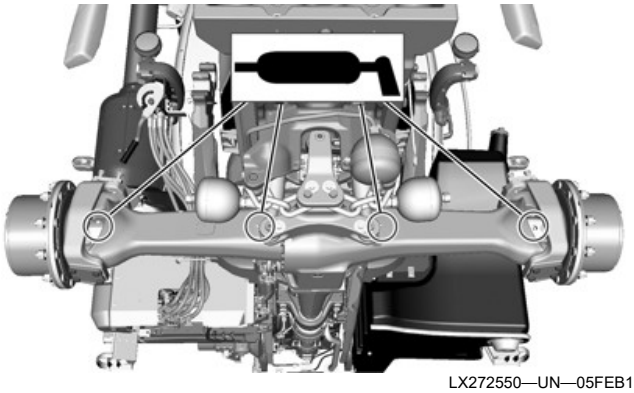
LX272547—UN—05FEB16

フローティングピン、サスペンション装備の前輪駆動車軸



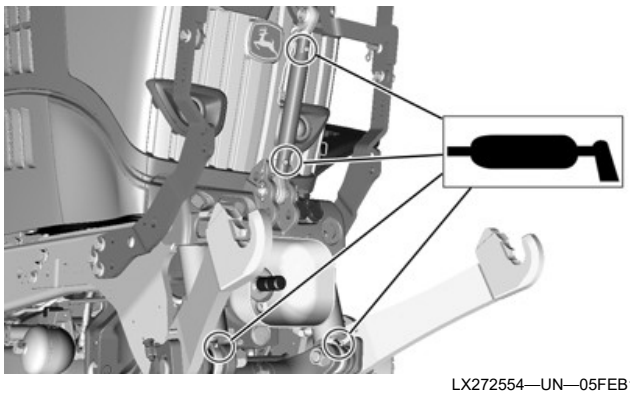
LX272548—UN—05FEB16

ユニバーサルジョイント、前輪駆動車軸、サスペンション非装備 *(*グリースニップルを装備している場合*)*



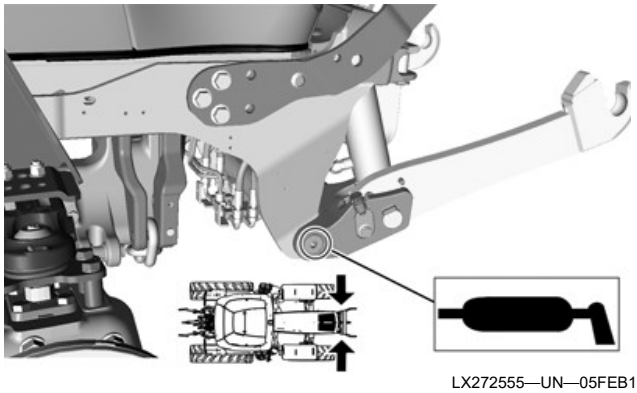
LX272550—UN—05FEB16

ユニバーサルジョイントおよび油圧シリンダ、サスペンション装備の前輪駆動車軸 *(*グリースニップルを装備している場合*)*



LX272554—UN—05FEB16

フロントヒッチ *(*装備されている場合*)*



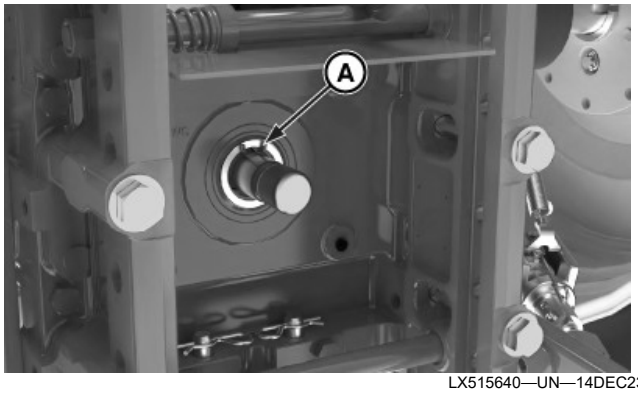
LX272555—UN—05FEB16

フロントヒッチ *(*装備されている場合*)*

OULXA64,SP,4CYL,0005836-40-15NOV23

リア PTO スタブシャフトサポートの潤滑

注意： エンジンを停止して駐車ブレーキロックをかけます。許可されていない操作を防止するためにイグニッションキーを抜きます。



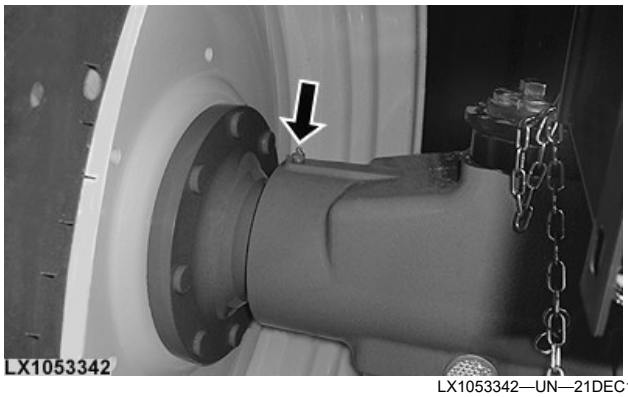
LX515640—UN—14DEC23

1. PTO スタブシャフトから汚れを落とします。
2. プライヤでスナップリング (A) を圧縮して、PTO スタブシャフトをスナップリングと一緒に取り外します。
3. John Deere HD MOLY GREASE で PTO スタブシャフトサポートを潤滑します。
4. スナップリング (A) を PTO スタブシャフトの溝に配置し、プライヤで圧縮して PTO ハウジングにスタブシャフトを取り付けます。
5. スナップリング (A) が適切にはまっていることを確認します。

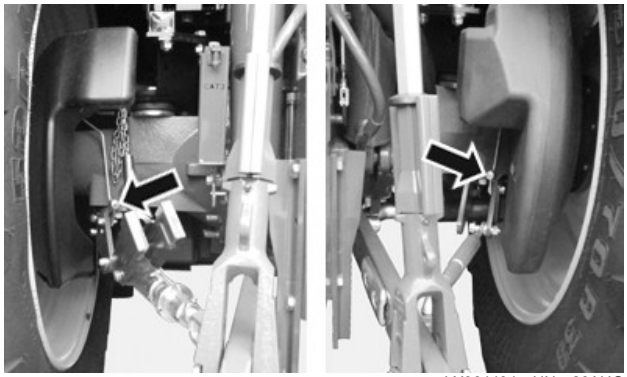
LX25458,ALL,0000B9E-40-23NOV23

リアアクスルベアリングの潤滑

重要： 非常に湿潤でぬかるんだ条件での作業時は、10 時間ごとにこの整備を実施してください。



LX1053342—UN—21DEC11

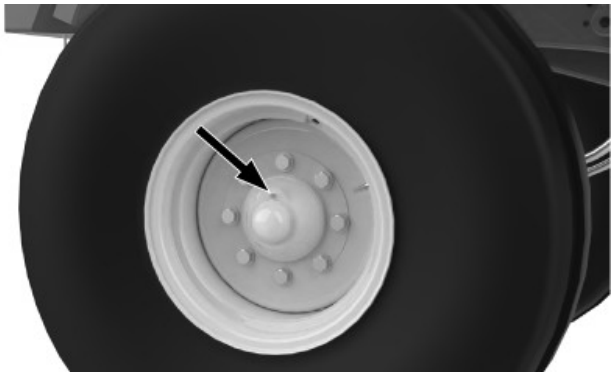


LX364434—UN—28AUG19

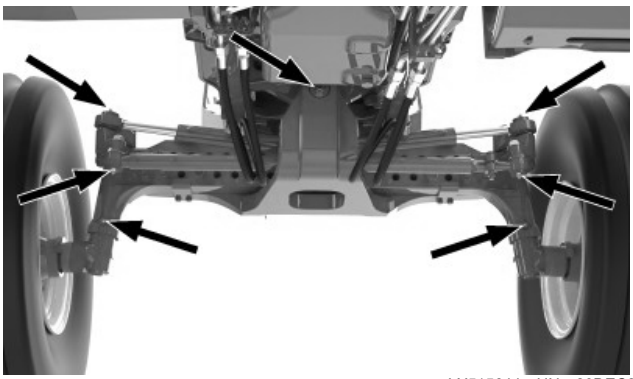
グリースガンを 6 ~ 8 回ポンピングして両方のベアリングに給油します。John Deere 多目的グリースを使用してください。

OULXA64,SP1,0005900-40-20NOV20

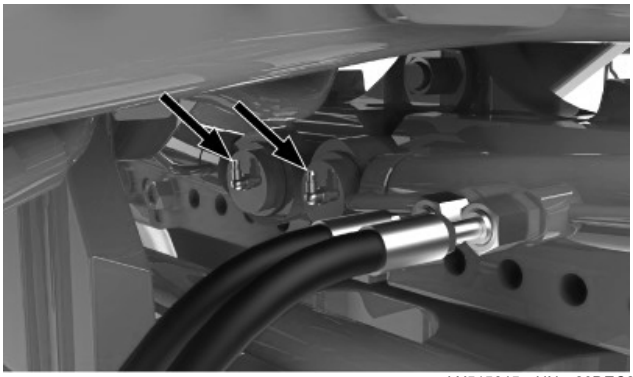
調整式フロントアクスルタイプ B のグリースニップルの潤滑



LX515643—UN—14DEC23



LX515644—UN—20DEC23



LX515645—UN—20DEC23

重要： **非常に湿潤でぬかるんだ条件での作業時は、10 時間ごとにこの整備を実施してください。**

John Deere 多目的グリスを使用してフロントアクスルのグリースニップルに給油します。

重要： **潤滑する前にすべてのグリースニップルをよく清掃してください。損傷しているグリースニップルはただちに交換してください。**

LX25458,OOS,SP,0000BA0-40-19FEB24

トラブルシューティング

トランスミッション

症状	問題	解決方法
トランスミッションオイルの温度が高すぎる	オイル供給が低い	オイルレベルを調整します。
	過度のオイル消費量	必要に応じてオイルを取り除きます。
	オイルクーラーの空気の通路が詰まっている	オイルクーラーを清掃します。
	トランスミッションオイルと作動油フィルタの詰まり	フィルタを交換します。
トランスミッションオイル圧が低い	オイル供給が低い	オイルレベルを調整します。
	トランスミッションオイルと作動油フィルタの詰まり	フィルタを交換します。
トランスミッションのシフトが緩慢で、トラクターのステアリング動作が遅い	オイルが冷えている	寒冷時始動補助装置とクーラントヒーターを使用します。
トランスミッションの始動時のギヤが速すぎるか遅すぎる	故障なし	計器ユニットで始動ギヤを変更できます。
		故障が続く場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

LX25458,OOS,SP,0000BA1-40-11JUL25

油圧系統

症状	問題	解決方法
油圧システムが機能しない	システムに十分な量のオイルがない	オイルレベルを調整します。
	電気回路が断線している	ヒューズを点検してください。
フィルタの詰まり / 迂回の警告がアクティブ	フィルタが詰まっている	フィルタを交換します。
作動油の過熱	冷却システムの負荷超過	オイルクーラーが汚れています。クーラントレベルが低い。
	選択制御弁が動作位置に偶発的に固定された	選択制御弁をニュートラル位置に入れます。
ヒッチがレバーまたはノブの位置に従わない	レバー位置または連結装置のセンサー回路が故障している	John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
負荷がかかった状態でヒッチが持ち上がらない	ヒッチにかかる荷重が重すぎる。	荷重を軽減してください。
ヒッチの持ち上がりが遅い	上昇率が遅すぎる	上昇率を調整します (セクション 60D または 60E 参照)。

症状	問題	解決方法
ヒッチの下降率が遅すぎる	加工速度が正しく調整されていない	下降率を調整します。
負荷制御の感度が不十分	システムのレギュレータが深さ制御か混合制御の位置になっている	システムのレギュレータを負荷制御の位置にします。
インプルメント取り付け時の感度が高すぎる	システムのレギュレータが負荷制御の位置になっている	システムのレギュレータを深さ制御の位置にします。
選択制御弁 (SCV) が機能しない	ホースが正しく接続されていない	ホースを正しく取り付けます。
油圧シリンダの作動が速すぎるか遅すぎる	流量の調整が不正	M-SCV で、流量制御弁を調整します。 E-SCV の場合は、CommandCenter の流量を調整します。

LX25458,ALL,0000BA2-40-16JUL25

選択制御弁 (SCV)

症状	問題	解決方法
油圧シリンダで負荷が持ち上がらない	流量の損失がある	SCV コントロールレバーを動かします。
	荷重が重すぎる	荷重を軽減してください。
	ホースの接続が正しくない。	ホースを正しく取り付けます。
	油圧シリンダのサイズが不正	正しいサイズのシリンダを使用します。
	SCV ロックボタンがアクティブ	SCV ロックボタンを解除します。
	ホースの接続が正しくないか、あるいは損傷している	ホースの接続を交換します。
油圧シリンダの伸張が速すぎるか遅すぎる	流量が正しくない	流量を調整します。
油圧シリンダが逆方向に作動する	ホース接続が不適切	ホース接続を逆にします。
ホースを接続できない	ホースのコネクタが正しくない	コネクタを ISO 標準コネクタに交換します。
SCV のデテント時間の保持時間が正しくない、あるいは解除が早すぎる	デテント時間の設定が正しくない	正しい戻り止め時間を設定します。
	SCV のコントロールレバーがニュートラル位置で解除されない	SCV バルブレバーを戻り止めから 0.8 秒以内にニュートラル位置に放します。
SCV のコントロールレバーが解除されない	コントロールレバーがフロート位置でデテントされる	レバーをフロート位置 (戻り止め位置) に押し下げないでください。

症状	問題	解決方法
	レバー機構の故障	John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
装置が作動しないか、適切に作動しない	ホース接続が不適切	作業機の取扱説明書を参照してください。

LX25458,ALL,0000BA3-40-11JUL25

エンジン

症状	問題	解決方法
エンジンが始動しにくい、または始動しない	電気システムの故障	ヒューズを点検してください。
	イモビライザのキースイッチが正しくない	右キースイッチの点検
	タンクに燃料がない	タンクに注入します。
	燃料系統内の空気の存在	燃料系統からエア抜きします。
	燃料ポンプが作動しない	キースイッチを ON に回して、燃料ポンプが作動していることを確認するためにポンプ音を聞きます。
	気候が寒冷すぎる	寒冷地始動補助装置を使用します。
	燃料フィルタが汚れている	フィルタを交換します。
	エンジンオイルの粘度が高すぎる	適切な粘度のオイルを使用してください。
	グロープラグの故障	John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
エンジンのノッキング	エンジンのオイルが不十分	オイルを追加してください。
エンジンのオーバーヒート	クーラントレベルが不十分	指定のレベルまでラジエータに注入します。冷却システムに漏れがないか点検します。
	ファンベルトの緩みや不具合	ベルトを点検して必要に応じて交換します。
	ビスカスファンが汚れている	バイメタルスプリングを圧縮空気で清掃します。
	ビスカスファンの不良	John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
	冷却システムの汚染	冷却システムのドレン、フラッシング、注入。

症状	問題	解決方法
	オイルクーラーまたは保護グリルが汚染されている	クーラーとグリルを清掃します。
	サーモスタットの故障	サーモスタットを取り外して点検します。
エンジン油圧が低い	エンジンオイルレベルが低すぎる	オイルを追加してください。
過度のオイル消費量	オイルの粘度が低すぎる	適切な粘度のオイルを補給します。
	漏れ	オイルラインとガスケットを点検します。
過度の燃料消費	燃料が不適切。	適切な燃料を使用します。
	バルブクリアランスが不適切	John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
	インジェクターが汚れているか損傷している	John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
	噴射時間の設定が正しくない	John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
	エアクリーナが詰まっているか、汚れている	エアクリーナを清掃します。
エンジンが黒または灰色の煙を排出する	燃料が不適切。	適切な燃料を使用します。
	エアクリーナが詰まっている	エアクリーナを清掃します。
	インジェクターが汚れているか損傷している	John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
エンジンからの白煙の排出	燃料が不適切。	適切な燃料を使用します。
	エンジンが冷たすぎる	通常の使用温度に達するまでエンジンを運転します。
	サーモスタットの故障	サーモスタットを交換します。
	噴射時間の設定が正しくない	John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
	グロープラグの故障	John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

LX25458,ALL,0000BA4-40-11JUL25

電気システム

症状	問題	解決方法
バッテリーが充電されない	ケーブル接続の緩みまたは酸化	清掃するか締め付けます。

症状	問題	解決方法
	オルタネータの故障	John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
	バッテリーの硫酸化	バッテリーの比重と電解液レベルを点検します。
	V ベルトの緩みや不具合	ベルト張力を調整するか、ベルトを交換します。
スタータモーターが作動しない	ケーブル接続の緩みまたは酸化	清掃するか締め付けます。
	バッテリーの消耗	バッテリーを点検し再充電してください。
	ヒューズ切れ	ヒューズを交換します。
	始動時にスタータでのクリック音がしない	始動保護カウントダウンタイマーを確認してください (オーバーヒート保護)。
	スタータ制御の故障コード	スタータ制御の故障コードを確認してください。
	スタータモーターの故障	John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
スタータモーターがゆっくり回る。	バッテリーの消耗	バッテリーを点検し再充電してください。
	ケーブル接続の緩みまたは酸化	清掃するか締め付けます。
	スタータモーターの故障	John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

LX25458,ALL,0000BA5-40-11JUL25

運転キャビン

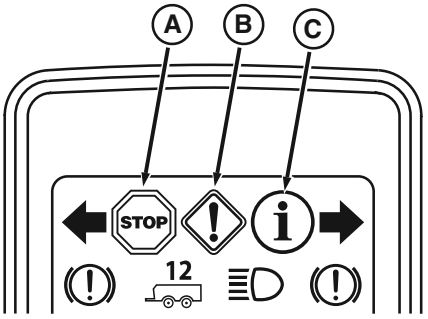
症状	問題	解決方法
ブロワがキャビンのほこりを排出しない	フィルタエレメント周りのシール不良	シールの状態を点検します。
		フィルタが適切に取り付けられているか点検します。
	フィルタ不良	フィルタを交換します。
	過度のエア漏れ	エア漏れを密閉します。
	ブロアの空気流が低すぎる	「ブロワの空気流が低すぎる」参照。

症状	問題	解決方法
ブロアの空気流が低すぎる	フィルタまたは吸気スクリーン目詰まり	点検または交換、あるいはその両方を実行します。
	ヒーターコアまたはエバポレータコアの詰まり	清掃します。
ヒーターが停止しない	ヒーターホースの接続が不適切	John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
	ボーデンケーブル / ウォーターバルブが適切に調整されていない	John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
エアコンが冷房しない	電圧が低すぎる	John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
	冷媒が不十分	John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
	駆動ベルトのスリップ	ベルトの張力を点検します。
	コンプレッサスイッチが ON になっていない	コンプレッサのスイッチを ON にします。
冷却が断続的	前コーナーにおける空気供給制限	ラジエータ、オイルクーラー、エアコンコンデンサを清掃します。
シートサスペンションが機能しない	ヒューズ切れ	ヒューズを交換します。
ラジオが機能しない	ヒューズ切れ	ヒューズを交換します。
トラクターの縦揺れ / ジャンプ	パワーホップ / ホイールホップ	負荷の配分を点検します。
		バラストを点検します。
		タイヤ圧を点検します。
		正しいバラストを選択します。
	ホイール金具の緩み	すべての金具を正しいトルクで締め付けます。

OULXA64,ALL,000571D-40-15JUL25

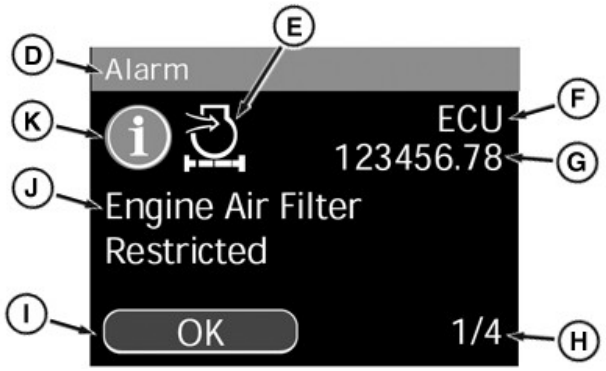
停止、整備、情報、安全警告の警告灯

重要：**警告やアラームのメッセージが表示された場合は、運転条件、エンジン性能、および周囲条件に注意してください。トラブルシューティング情報を参照してください。**



RXA0153450—UN—19AUG16

停止、整備、情報の警告灯



RXA0153449—UN—19AUG16

アラームページ

A：**停止灯**
B：**注意インジケータ**
C：**情報灯**
D：**アラームページ**
E：**システムのアイコン**
F：**コントロールソフトウェア、略称**
G：**診断トラブルコード**
H：**ページ番号**
I：**確定 (OK)**
J：**テキストフィールド/メッセージ/説明/解決策**
K：**停止、注意、または情報の記号**

注記： *STOP、注意、情報のすべての警告灯は、メッセージ、診断トラブルコード、および情報表示の故障説明を伴っています。*

警報音 (ビープ音や連続音) は、警告灯や情報ディスプレイに表示されているメッセージに対応しています。

診断トラブルコードの基本的な情報は、テキストフィールド (J) に表示されます。追加情報を呼び出すことができます。

オペレータ情報は、アイコン (E) なしのテキストフィールド (J) に表示されます。

A - 停止灯：
ライトが点滅して警報音が連続して鳴ります。重大な故障が発生し、即時対応が求められています。対応しないと、トラクターが損傷します。システム (E)、コントロールソフトウェア (F)、診断トラブルコード (G)、解決策 (J) のアイコンが表示されます。コントロールユニットソフトウェアが故障や「許容範囲外」の状態を検出すると、エラーメッセージや診断トラブルコードが表示されます。診断トラブルコードは、コントロールソフトウェアと数値で構成されています。小数点の左側の数値は故障を示します。

状況によって操作の即時終了が可能な場合は、次の手順に従います：

1. エンジン回転数をアイドリング回転数に設定します。
2. エンジンを停止します。
3. イグニッションをオンにすると、故障と解決策が表示されます。

   保存されているコードにアクセスする必要がある場合があります。このセクションの「診断アドレスの入力 (顧客レベル)」を参照してください。
4. 表示された解決策を適用します。問題が解決しない場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。
5. エンジンを再始動する前に問題を解決する必要があります。

注意インジケータまたは情報灯が点灯している場合は、トランスミッションを駐車位置に切り替えてエンジンを停止します。

B - 注意インジケータ
表示灯が点滅して安全警報音が 5 回鳴り、性能の問題または早期に解消しなければならない故障が示されます。注意インジケータが点灯して作業を続けた場合、重大な故障が発生して停止灯が点灯します。すぐに是正措置 (整備、修理、異なる方法での運転) を行わないと、性能の大幅な低下や機械の損傷が発生します。

C - 情報灯：
表示灯が点灯したままになり、アラームが 2 秒間鳴り、故障状態を示します。トラクターの操作は、損傷を引き起こすことなく続行できます。これにより、一部の機能の動作が損なわれることがあります。

異なる方法で運転すると、「範囲外」の状態が是正され、クリアされることがあります。注意インジケータまたは情報灯が点灯している場合は、「確認」と「確定」ボタンで消去できる場合があります。それでも状態が続く場合は、しばらく後に診断トラブルコードが再表示されることがあります。

トラブルシューティングをやりやすいように、問題を診断し、解決するための追加のアクセスとツールを備えている John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

OULXA64,SP,000571E-40-16JUL25

診断メニュー



RXA0152980—UN—21JUL16
診断メニュー

1. 「診断」メニューにアクセスします。このセクションの「診断アドレスの入力 (顧客レベル)」を参照してください。
2. 選択して確定します。



RXA0152981—UN—25JUL16
診断トラブルコードの選択

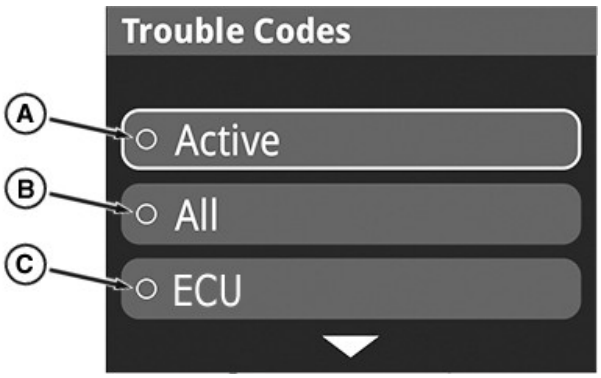


RXA0152973—UN—21JUL16
診断アドレスの選択

選択	診断トラブルコード	診断アドレス
範囲	機能領域別に表示されます。	機能領域別に表示されます。
メッセージ	アクティブなコードおよび保存されているコードが表示されます。	オペレータがアクセスまたは設定アドレスが表示されます。

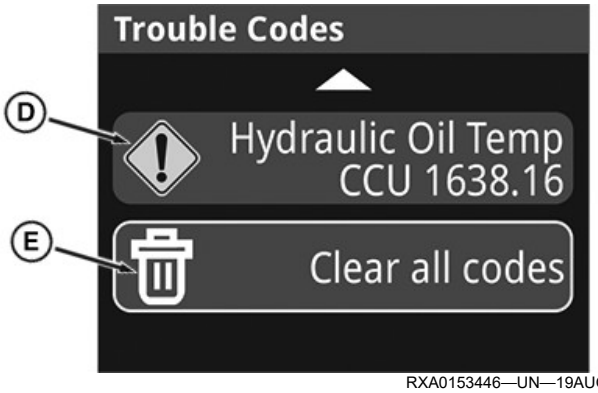
OULXA64,SP,000571F-40-13OCT20

診断トラブルコード



RXA0153445—UN—19AUG16
トラブルコードメニュー

A：**アクティブなコード**
B：**すべてのコード**
C：**コントロールソフトウェアの略称**



RXA0153446—UN—19AUG16
トラブルコードリスト

D：**診断トラブルコード**
E：**機能**： **すべてのコードを消去**



RXA0152424—UN—28OCT16
例 (コード情報)

A：**アクティブなコード (例)**

1. 診断トラブルコードメニューにアクセスします。このセクションの「診断アドレスの入力 (顧客レベル)」を参照してください。
2. 必要なメニュー項目を選択します：
   - A - アクティブなコード ▸ 現在アクティブになっているコードのみが表示されます。
   - B - すべてのコード ▸ 発生しているすべてのコード、および現在アクティブになっているコードが表示されます。1 つまたはすべての診断トラブルコードを削除できます。
   - C - コントロールソフトウェア (ECU) の略称 ▸ コントロールソフトウェアのすべてのコードが表示されます。
3. オプション (B) でコードを削除できます。[確定] ボタンを押してコードリストに移動します。すべてのコードを呼び出すには数秒かかることがあります。
4. 必要な診断トラブルコード (D) を選択して、さらに情報を得ます。

5. 矢印が表示されるまで、テキストの最後に移動します。「OK」を選択してコードを承認します。
6. コードリストに戻って、必要に応じて他のコードを点検します。
7. コードを確認した後、コードリストの最後までスクロールしてオプション (E) を選択します。確定ボタンを押して、保存されているすべてのアクティブなコードを削除します。
8. アクティブな診断トラブルコードがない場合は、「コードが保存されていません」というメッセージが表示されます。
9. 戻るボタンを使用してメインメニューに戻ります。

トラブルシューティングをやりやすいように、問題を診断し、解決するための追加のアクセスとツールを備えている John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

OULXA64,SP,0005720-40-16JUL25

診断アドレスの入力 (顧客レベル)

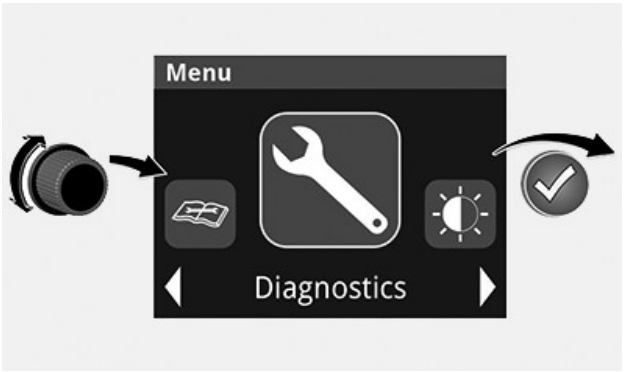
1. メニューボタンを押します。



LX361253—UN—17DEC18

注記： 診断トラブルコードやメッセージが表示された場合は、診断トラブルコードとメッセージが消えるまで確定ボタンを繰り返し押します。

2. 表示されたページを選択して確定します。

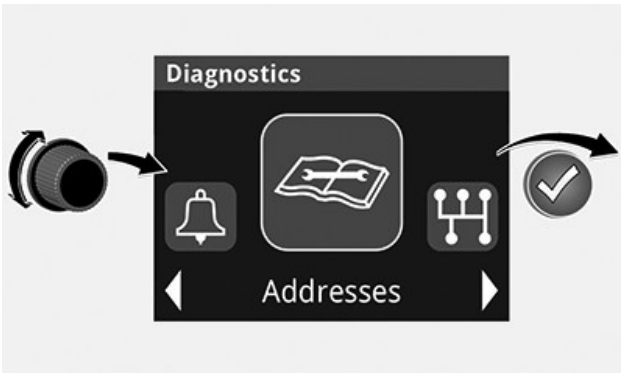


LX364202—UN—14JAN19

診断アクセス

注記： インストールしたオプションによりコントロールソフトウェアのリストは変わります。

3. 表示されたページを選択して確定します。



LX364203—UN—14JAN19

アドレスへのアクセス

4. 必要なアドレスを選択して確定します。



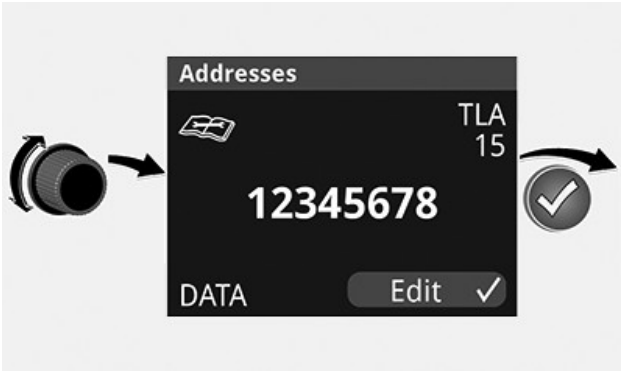
LX364204—UN—14JAN19

5. 必要な入力アドレスを選択して確定します。



LX364205—UN—14JAN19

6. 「**編集**」を選択して確定します。



LX364206—UN—14JAN19

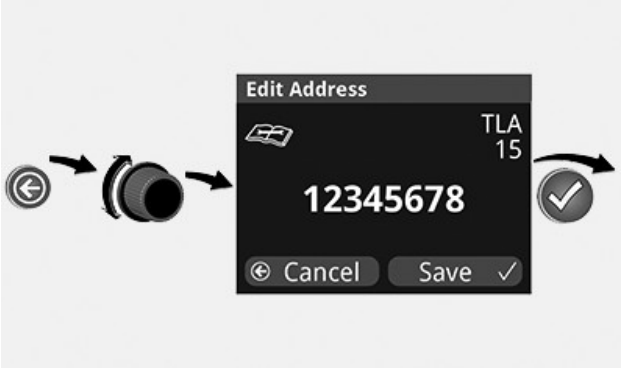
7. 入力ボックスに表示されている値を変更して確定します。



LX364207—UN—15JAN19

確定するたびに入力ボックスはさらに 1 桁移動します。

8. 保存するには、**戻る矢印ボタン** (戻る) を押して「**保存**」を選択し、確定します。



LX364208—UN—14JAN19

OULXA64,SP,0005721-40-05OCT20

長期間の停止

以下に述べる長期保管の準備は、最長 1 年間のトラクターの長期保管に適しています。この期間が経過したときは、エンジンを作動温度に達するまで運転し、いくつかの油圧機能を作動させます。その後、トラクターの保管期間を延長するための処理を行います。

重要：**30 日以上使用していない場合は、バッテリーを取り外します。**

重要：**トラクターを 6 か月以上使用しない場合は、保管および保管からの復帰に関する次の推奨事項に従うことにより、腐食と劣化を最小限に抑えることができます。**

エンジンオイルとフィルタを交換します。トランスミッションオイルとフィルタを交換します。使用済みのオイルでは適切な保護が得られません。

エアクリーナを清掃します。

エンジンを数か月だけ保管する場合、冷却システムの抜き取りやフラッシングは不要です。ただし、1 年以上の長期保管の場合は、冷却システムの抜き取り、フラッシング、再充填を行うことをお勧めします。適切なクーラントを補充します。

燃料タンクに補給します。

必要に応じて、オルタネータ / ファンベルトも取り外すことができます。

バッテリー： **車両を 30 日以上使用しない場合は、バッテリーを取り外すことをお勧めします。**バッテリーを清掃し、涼しく乾燥した場所に保管し、フル充電してください。バッテリーのトリクル充電器を使用する場合は、メーカーの取扱説明書を読んで、その装置が適切かどうかを確認してください。

トラクターの外側を塩分を含まない水で洗い、傷やひび割れのある塗装面を良質の塗料で補修します。

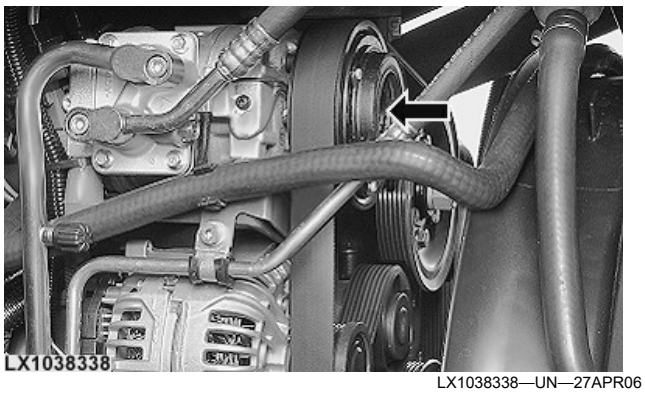
天候にさらされる未塗装の機械加工された金属面にグリースまたは防錆剤を塗布します。

通気管や排ガスアウトレット等のすべての開口部をシールします。

乾燥した、保護された場所に機械を保管します。トラクターを屋外に保管しなければならない場合は、耐水性のカンバス布やその他の適切な保護シートで覆い、強力な耐水性テープで止めます。

タイヤが地面に着かないようにトラクターをブロックアップします。タイヤを熱と日光から保護します。

エアコンシステム付きトラクター



LX1038338—UN—27APR06

トラクターにエアコンシステムが装備されている場合は、月に 1 回プーリーの内側の部品を手で数回転させてください。

LX25458,ALL,0000BA9-40-15JAN25

保管からの復帰

すべての保護カバーを取り外します。タイヤの空気圧を確認し、ブロックを外します。

バッテリーを取り付け、ケーブルを接続します。マイナス端子をアースに接続します。

トランスミッションオイルと作動油のレベルを点検します。燃料タンクが充填されていることを確認します。ラジエータのクーラントレベルを点検します。エンジンクランクケースのオイルレベルを点検します。500 時間点検を実施します。

ボンネットまたはキャビンの下に泥や異物が溜まっていないか点検します。溜まっている場合は取り除きます。

注意： **密閉された建物内では絶対にエンジンを始動しないでください。中毒の危険**！

LX25458,0000BAA-40-05JUN20

仕様

一般情報

- この取扱説明書の技術情報は、印刷時点での最新の情報に対応しています。
- 内容には国やモデル固有の差異がある可能性があります。ここで説明しているすべてのオプションがお使いのトラクターに装備されているわけではないことを考慮してください。
- 国によっては、説明されている一部のモデルが使用できない場合があります。
- オプション装置と関連する仕様について質問がある場合は、John Deere 販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

500A,000,OULXA64,0005EA5-40-10JUL25

仕様に関する注意事項

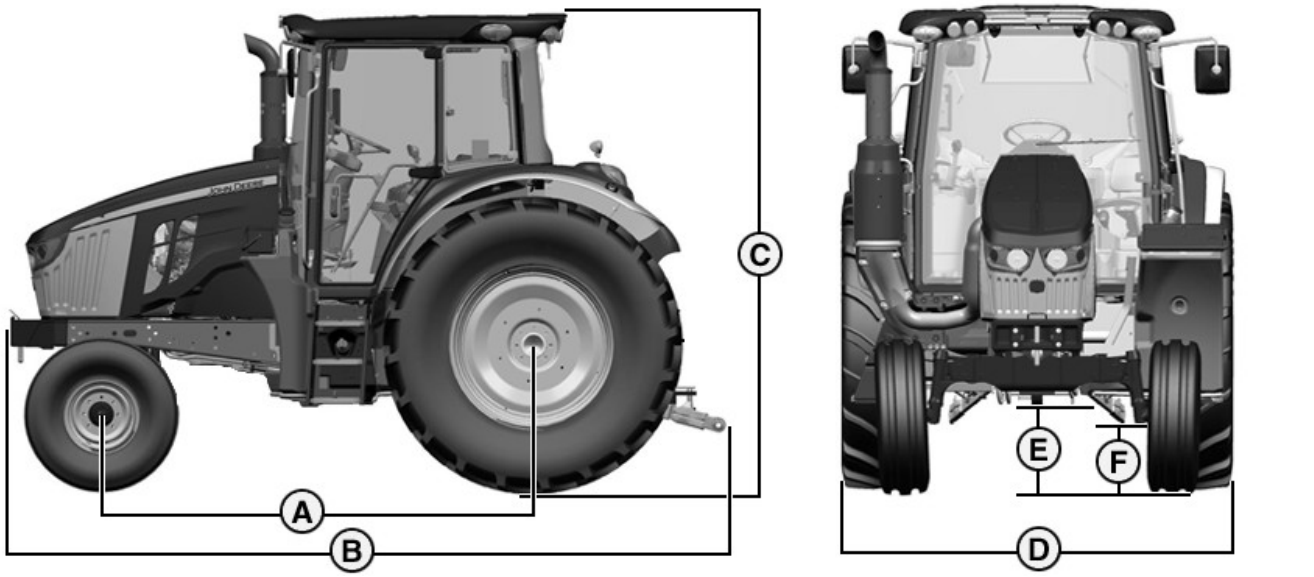
重要： 地域の特殊性や個々の車両の構成に応じて、該当する装置が使用可能な場合のみ仕様が適用されます。

この構成は車両の注文情報に記載されています。

その後の追加と改造も考慮する必要があります。

500A,001,LX25458,ALL,0000BAB-40-05APR24

寸法 (キャブと調整式フロントアクスル付き 6090M ~ 6120M)



LX364388—UN—05MAR19

	サスペンションなしキャブ		サスペンション付きキャブ	
	(mm)	(in)	(mm)	(in)
A - 軸距	2573	101.3	2573	101.3
B - 長さ				
• ベースウエイト 110 kg からリアヒッチまで、ドラフトリンク水平位置 (フック、CAT II)	4366	171.9	4366	171.9
• フロントウエイトからリアヒッチまで、ドラフトリンク水平位置 (フック、CAT II)	4781	188.2	4781	188.2
C - 高さ				
- 地面からキャブルーフまでの最大合計高さ[ab]、次の SRI のリアタイヤ装着時：				
• SRI 700	2675	105.3	2725	107.3
• SRI 725	2700	106.3	2750	108.3
• SRI 750	2725	107.3	2775	109.3
• SRI 775	2750	108.3	2800	110.2
• SRI 800	2775	109.3	2825	111.2
• SRI 825	2800	110.2	2850	112.2
D - 幅				
•フロントアクスル				
- フランジ間の最狭寸法	1608	63.3	1608	63.3
-フランジ間の最広寸法	2220	87.4	2220	87.4

• リアアクスル				
- フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm、フランジ間寸法	1552	61.1	1552	61.1
- フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm、フランジ間寸法	1664	65.5	1664	65.5
- ラックアンドピニオン車軸、ショートバージョン、ハブ直径 79 mm、面間寸法	2270	89.4	2270	89.4
- ラックアンドピニオン車軸、ロングバージョン、ハブ直径 79 mm、面間寸法	2556	100.6	2556	100.6
- ラックアンドピニオン車軸、ショートバージョン、ハブ直径 86 mm、面間寸法	2438	96.0	2438	96.0
• 道路走行時の最大幅	2550	100.4	2550	100.4
E - 最大地上高				
- 次の SRI のタイヤを装着したフロントアクスルの車軸ハウジングでの寸法 :				
• SRI 390	538	21.2	538	21.2
• SRI 425	573	22.6	573	22.6
• SRI 450	598	23.5	598	23.5
- 次の SRI のタイヤを装着したフロントアクスルの車軸ハウジングでの寸法 :				
• SRI 390	345	13.6	345	13.6
• SRI 425	380	15.0	380	15.0
• SRI 450	405	15.9	405	15.9
- けん引棒マウント付きディファレンシャルハウジング、次の SRI のリアタイヤ装着時 :				
• SRI 700	348	13.7	348	13.7
• SRI 725	373	14.7	373	14.7
• SRI 750	398	15.7	398	15.7
• SRI 775	423	16.7	423	16.7
• SRI 800	448	17.6	448	17.6
• SRI 825	473	18.6	473	18.6
- ピックアップヒッチ (クローズド) 付きディファレンシャルハウジングで、次の SRI のリアタイヤ装着時 :				
• SRI 700	301	11.9	301	11.9
• SRI 725	326	12.8	326	12.8
• SRI 750	351	13.8	351	13.8
• SRI 775	376	14.8	376	14.8
• SRI 800	401	15.8	401	15.8
• SRI 825	426	16.8	426	16.8

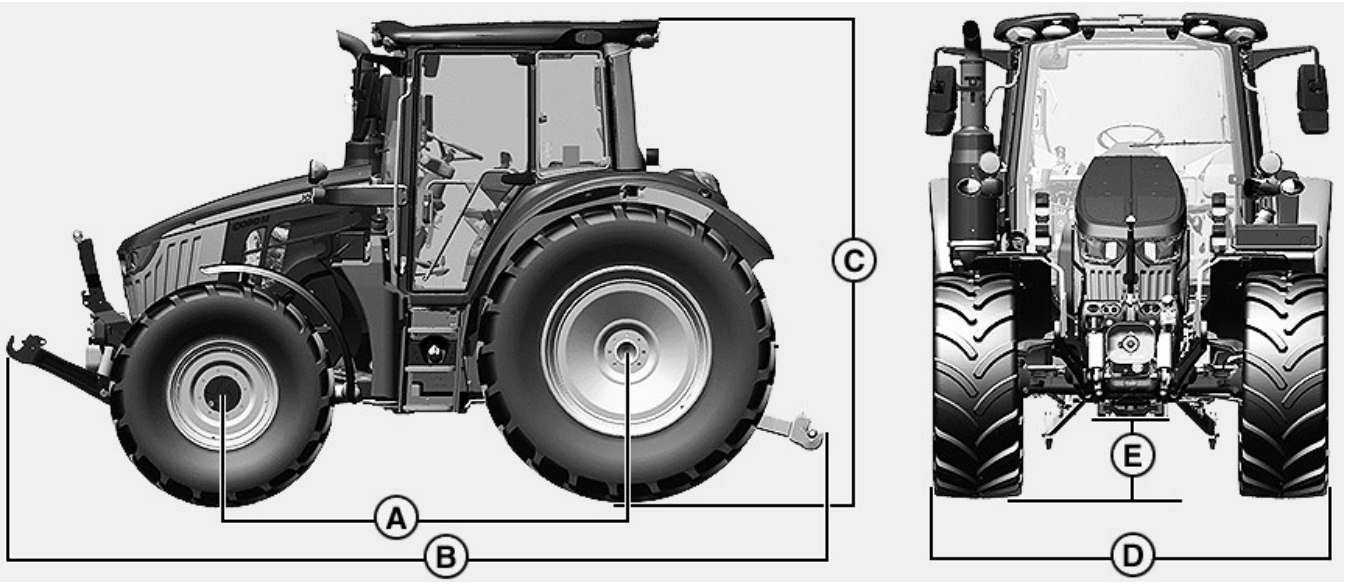
[a] *ビーコンライトなし*
[b] *アンテナなし*

重要 : トラクターの地上高および高さは、タイヤメーカー、タイヤ空気圧、バラスト、トレーラーヒッチ、連結した作業機などによって異なります。

ゲート、トンネル、橋等を通る前に、トラクターの高さを確認してください。

OULXA64,SP1,0005905-40-28AUG23

寸法 (6090M ~ 6120M、キャブと前輪駆動車軸装備)



LX364389—UN—06MAR19

	サスペンションなしキャブ		サスペンション付きキャブ	
	(mm)	(in)	(mm)	(in)
A - 軸距	2400	94.5	2400	94.5
B - 長さ				
• ベースウエイト 110 kg からリアヒッチまで、ドラフトリンク水平位置 (フック、CAT II)	4366	171.9	4366	171.9
• フロントウエイトからリアヒッチまで、ドラフトリンク水平位置 (フック、CAT II)	4781	188.2	4781	188.2
• 折りたたんだフロントヒッチのドラフトリンクからリアヒッチまで、ドラフトリンク水平位置 (フック、CAT II)	4415	173.8	4415	173.8
• 水平位置のフロントヒッチのドラフトリンクからリアヒッチまで、ドラフトリンク水平位置 (フック、CAT II)	4981	196.1	4981	196.1
C - 高さ				
- 地面からキャブルーフまでの最大合計高さ[ab]、次の SRI のリアタイヤ装着時 :				
• SRI 700	2675	105.3	2725	107.3
• SRI 725	2700	106.3	2750	108.3
• SRI 750	2725	107.3	2775	109.3
• SRI 775	2750	108.3	2800	110.2
• SRI 800	2775	109.3	2825	111.2
• SRI 825	2800	110.2	2850	112.2
D - 幅				
• フロントアクスル - フランジ間寸法	1680	66.1	1680	66.1
• リアアクスル				
- フランジ付き車軸、ボルト中心径 203 mm、フランジ間寸法	1552	61.1	1552	61.1
- フランジ付き車軸、ボルト中心径 275 mm、フランジ間寸法	1664	65.5	1664	65.5
- ラックアンドピニオン車軸、ショートバージョン、ハブ直径 79 mm、面間寸法	2270	89.4	2270	89.4
- ラックアンドピニオン車軸、ロングバージョン、ハブ直径 79 mm、面間寸法	2556	100.6	2556	100.6
- ラックアンドピニオン車軸、ショートバージョン、ハブ直径 86 mm、面間寸法	2438	96.0	2438	96.0
• 道路走行時の最大幅	2550	100.4	2550	100.4
E - 最大地上高				
- 前輪駆動車軸のフロントヒッチで、次の SRI のタイヤ装着時 :				
• SRI 550	398	15.7	398	15.7
• SRI 575	423	16.7	423	16.7
• SRI 600	448	17.6	448	17.6
• SRI 625	473	18.6	473	18.6
• SRI 650	498	19.6	498	19.6

- 前輪駆動車軸で、次の SRI のフロントタイヤ装着時：				
• SRI 550	411	16.2	411	16.2
• SRI 575	436	17.2	436	17.2
• SRI 600	461	18.1	461	18.1
• SRI 625	486	19.1	486	19.1
• SRI 650	511	20.1	511	20.1
- けん引棒マウント付きディファレンシャルハウジング、次の SRI のリアタイヤ装着時：				
• SRI 700	348	13.7	348	13.7
• SRI 725	373	14.7	373	14.7
• SRI 750	398	15.7	398	15.7
• SRI 775	423	16.7	423	16.7
• SRI 800	448	17.6	448	17.6
• SRI 825	473	18.6	473	18.6
- ピックアップヒッチ付きディファレンシャルハウジングにて、次の SRI のリアタイヤ装着時：				
• SRI 700	301	11.9	301	11.9
• SRI 725	326	12.8	326	12.8
• SRI 750	351	13.8	351	13.8
• SRI 775	376	14.8	376	14.8
• SRI 800	401	15.8	401	15.8
• SRI 825	426	16.8	426	16.8

[a] *ビーコンライトなし*
[b] *アンテナなし*

重要：トラクターの地上高および高さは、タイヤメーカー、タイヤ空気圧、バラスト、トレーラーヒッチ、連結した作業機などによって異なります。

ゲート、トンネル、橋等を通る前に、トラクターの高さを確認してください。

OULXA64,SP1,0005906-40-28AUG23

エンジン (6090M)

	6090M		
エンジンの種類			
- ファイナルティア 4/ステージ IV	4045HL290		
種類	空気対空気チャージエアクーラー付きターボ過給式ディーゼルエンジン		
UN EC E-R120 によるエンジン出力	(kW)	(PS[a])	(hp[b])
- 2100 rpm での認定済み定格エンジン出力	66	90	86
- Intelligent Power Management (出力増大) による 2100 rpm での認定済み定格エンジン出力	81	110	108
- 1900 rpm での認定済み最大エンジン出力	73	100	98
- Intelligent Power Management (出力増大) による 1900 rpm での認定済み最大エンジン出力	83	113	111
最大トルク、1600 rpm 時	(N·m)	(lb·ft)	
- 標準	421	310	
- Intelligent Power Management (出力増大)	460	339	
シリンダ数		4	
排気量	(L)	(in^3)	
	4.5	275	
		(rpm)	
ローアイドル		850	
ハイアイドル		2250	

	6090M
定格エンジン回転数	2100
定出力範囲	1500 ~ 2100
- リア PTO 540	
• 540	1948
- リア PTO 1000/540	
• 1000	1972
• 540	1977
- リア PTO 1000/540/540E	
• 1000	1972
• 540	1977
• 540E	1503
- フロント PTO 1000	1969

[a] *変換係数： 1 kW = 1.35962 PS (メートル法)*
[b] *変換係数： 1 kW は 1.34102 hp に対応 (米国)*

OULXA64,SP1,0005907-40-28AUG23

エンジン (6100M)

	6100M		
エンジンの種類			
- ファイナルティア 4/ステージ IV	4045HL290		
種類	空気対空気チャージエアクーラー付きターボ過給式ディーゼルエンジン		
エンジン出力、UN ECE-R120 準拠	(kW)	(PS[a])	(hp[b])
- 2100 rpm での認定済み定格エンジン出力	74	100	99
- Intelligent Power Management (出力増大) による 2100 rpm での認定済み定格エンジン出力	88	120	118
- 1900 rpm での認定済み最大エンジン出力	81	111	109
- Intelligent Power Management (出力増大) による 1900 rpm での認定済み最大エンジン出力	91	123	122
最大トルク、1600 rpm 時	(N·m)	(lb·ft)	
- 標準	468	345	
- Intelligent Power Management (出力増大)	502	370	
シリンダ数		4	
排気量	(L)	(in^3)	
	4.5	275	
		(rpm)	
ローアイドル		850	
ハイアイドル		2250	
定格エンジン回転数		2100	
定出力範囲		1500 ~ 2100	
- リア PTO 540			
• 540		1948	
- リア PTO 1000/540			
• 1000		1972	

	6100M
• 540	1977
- リア PTO 1000/540/540E	
• 1000	1972
• 540	1977
• 540E	1503
- フロント PTO 1000	1969

[a]*変換係数： 1 kW = 1.35962 PS (メートル法)*
[b]*変換係数： 1 kW は 1.34102 hp に対応 (米国)*

OULXA64,SP1,0005908-40-28AUG23

エンジン (6110M)

	6110M		
エンジンの種類			
- ファイナルティア 4/ステージ IV	4045HL290		
種類	空気対空気チャージエアクーラー付きターボ過給式ディーゼルエンジン		
エンジン出力、UN ECE-R120 準拠	(kW)	(PS[a])	(hp[b])
- 2100 rpm での認定済み定格エンジン出力	81	110	109
- Intelligent Power Management (出力増大) による 2100 rpm での認定済み定格エンジン出力	96	130	128
- 1900 rpm での認定済み最大エンジン出力	90	122	120
- Intelligent Power Management (出力増大) による 1900 rpm での認定済み最大エンジン出力	98	134	132
最大トルク、1600 rpm 時	(N·m)	(lb·ft)	
- 標準	515	380	
- Intelligent Power Management (出力増大)	543	400	
シリンダ数		4	
排気量	(L)	(in^3)	
	4.5	275	
		(rpm)	
ローアイドル		850	
ハイアイドル		2250	
定格エンジン回転数		2100	
定出力範囲		1500 ~ 2100	
- リア PTO 540			
• 540		1948	
- リア PTO 1000/540			
• 1000		1972	
• 540		1977	
- リア PTO 1000/540/540E			
• 1000		1972	
• 540		1977	
• 540E		1503	

	6110M
- フロント PTO 1000	1969

[a]変換係数： 1 kW = 1.35962 PS (メートル法)
[b]変換係数： 1 kW は 1.34102 hp に対応 (米国)

OULXA64,SP1,0005909-40-28AUG23

エンジン (6120M)

		6120M	
エンジンの種類			
- ファイナルティア 4/ステージ IV		4045HL290	
種類		空気対空気チャージエアクーラー付きターボ過給式ディーゼルエンジン	
エンジン出力、UN ECE-R120 準拠	(kW)	(PS[a])	(hp[b])
- 2100 rpm での認定済み定格エンジン出力	88	120	118
- Intelligent Power Management (出力増大) による 2100 rpm での認定済み定格エンジン出力	103	140	138
- 1900 rpm での認定済み最大エンジン出力	98	133	131
- Intelligent Power Management (出力増大) による 1900 rpm での認定済み最大エンジン出力	106	144	142
最大トルク、1600 rpm 時	(N·m)	(lb·ft)	
- 標準	562	415	
- Intelligent Power Management (出力増大)	585	431	
シリンダ数		4	
排気量	(L)	(in^3)	
	4.5	275	
		(rpm)	
ローアイドル		850	
ハイアイドル		2250	
定格エンジン回転数		2100	
定出力範囲		1500 ~ 2100	
- リア PTO 540			
• 540		1948	
- リア PTO 1000/540			
• 1000		1972	
• 540		1977	
- リア PTO 1000/540/540E			
• 1000		1972	
• 540		1977	
• 540E		1503	
- フロント PTO 1000		1969	

[a]変換係数： 1 kW = 1.35962 PS (メートル法)
[b]変換係数： 1 kW は 1.34102 hp に対応 (米国)

OULXA64,SP1,000590A-40-28AUG23

PTO 出力 (6090M)

最大リア PTO 出力		**6090M**	
エンジン定格速度時 (OECD コード 2 に準拠し、1000 PTO を使用して John Deere にて測定)	(kW)	(PS[a])	(hp[b])
- 標準	48	65	64
- Intelligent Power Management (出力増大)	62	84	83
PTO 標準速度時 (OECD コード 2 に準拠し、1000 PTO を使用して John Deere にて測定)			
- 標準	55	75	74
- Intelligent Power Management (出力増大)	66	90	89
最大フロント PTO 出力の制限	80	109	107

[a]変換係数： 1 kW = 1.35962 PS (メートル法)
[b]変換係数： 1 kW は 1.34102 hp に対応 (米国)

注記： 記載しているリア PTO 出力は、以下のトランスミッションオプションと追加装置を装備したトラクターで測定されています。

- *CommandQuad™ PLU* トランスミッション
- *45 cm³* 油圧ポンプ、*PFC* システム
- エアブレーキシステム非装備
- フロント *PTO* 非装備
- *1000E* オプション付きリア *PTO* なし
- エアコンシステム *OFF*

リア PTO 出力は、トランスミッションのオプションと追加装置により変わる場合があります。

OULXA64,SP1,000590B-40-28AUG23

PTO 出力 (6100M)

最大リア PTO 出力		**6100M**	
エンジン定格速度時 (OECD コード 2 に準拠し、1000 PTO を使用して John Deere にて測定)	(kW)	(PS[a])	(hp[b])
- 標準	55	75	74
- Intelligent Power Management (出力増大)	69	94	93
PTO 標準速度時 (OECD コード 2 に準拠し、1000 PTO を使用して John Deere にて測定)			
- 標準	62	84	83
- Intelligent Power Management (出力増大)	73	99	98
最大フロント PTO 出力の制限	80	109	107

[a]変換係数： 1 kW = 1.35962 PS (メートル法)
[b]変換係数： 1 kW は 1.34102 hp に対応 (米国)

注記： 記載しているリア PTO 出力は、以下のトランスミッションオプションと追加装置を装備したトラクターで測定されています。

- *CommandQuad™ PLU* トランスミッション
- *45 cm³* 油圧ポンプ、*PFC* システム
- エアブレーキシステム非装備
- フロント *PTO* 非装備
- *1000E* オプション付きリア *PTO* なし
- エアコンシステム *OFF*

リア PTO 出力は、トランスミッションのオプションと追加装置により変わる場合があります。

OULXA64,SP1,000590C-40-28AUG23

PTO 出力 (6110M)

最大リア PTO 出力		**6110M**	
エンジン定格速度時 (OECD コード 2 に準拠し、1000 PTO を使用して John Deere にて測定)	(kW)	(PS[a])	(hp[b])
- 標準	62	84	83
- Intelligent Power Management (出力増大)	75	102	101
PTO 標準速度時 (OECD コード 2 に準拠し、1000 PTO を使用して John Deere にて測定)			
- 標準	70	95	94

最大リア PTO 出力		**6110M**	
- Intelligent Power Management (出力増大)	80	109	107
最大フロント PTO 出力の制限	80	109	107

[a]*変換係数： 1 kW = 1.35962 PS (メートル法)*
[b]*変換係数： 1 kW は 1.34102 hp に対応 (米国)*

注記： 記載しているリア PTO 出力は、以下のトランスミッションオプションと追加装置を装備したトラクターで測定されています。

- *CommandQuad™ PLU* トランスミッション
- *45 cm³* 油圧ポンプ、*PFC* システム
- エアブレーキシステム非装備
- フロント *PTO* 非装備
- *1000E* オプション付きリア *PTO* なし
- エアコンシステム *OFF*

リア PTO 出力は、トランスミッションのオプションと追加装置により変わる場合があります。

OULXA64,SP1,000590D-40-28AUG23

PTO 出力 (6120M)

最大リア PTO 出力		**6120M**	
エンジン定格速度時 (OECD コード 2 に準拠し、1000 PTO を使用して John Deere にて測定)	(kW)	(PS[a])	(hp[b])
- 標準	69	94	93
- Intelligent Power Management (出力増大)	82	111	110
PTO 標準速度時 (OECD コード 2 に準拠し、1000 PTO を使用して John Deere にて測定)			
- 標準	77	105	103
- Intelligent Power Management (出力増大)	87	118	117
最大フロント PTO 出力の制限	80	109	107

[a]*変換係数： 1 kW = 1.35962 PS (メートル法)*
[b]*変換係数： 1 kW は 1.34102 hp に対応 (米国)*

注記： 記載しているリア PTO 出力は、以下のトランスミッションオプションと追加装置を装備したトラクターで測定されています。

- *CommandQuad™ PLU* トランスミッション
- *45 cm³* 油圧ポンプ、*PFC* システム
- エアブレーキシステム非装備
- フロント *PTO* 非装備
- *1000E* オプション付きリア *PTO* なし
- エアコンシステム *OFF*

リア PTO 出力は、トランスミッションのオプションと追加装置により変わる場合があります。

OULXA64,SP1,000590E-40-28AUG23

トランスミッション

PowrQuad™ PLUS トランスミッション	遊星歯車駆動装置、油圧作動式
移動方向の変更	電気油圧式、負荷条件下、クラッチ操作なし

ギヤ数	速度範囲 (km/h)	速度範囲 (mph)
16 前進ギヤ、16 リバースギヤ、クリーパーなし	2.3 ~ 30	1.4 ~ 19
クリーパートランスミッションの場合は、さらに 12 前進ギヤ、12 リバースギヤ	0.23 ~ 1.47	0.14 ~ 0.91
16 前進ギヤ、16 リバースギヤ、クリーパーなし	2.9 ~ 40	1.8 ~ 25
クリーパートランスミッションの場合は、さらに 12 前進ギヤ、12 リバースギヤ	0.29 ~ 1.86	0.18 ~ 1.16
24 前進ギヤ、24 リバースギヤ、工場出荷時クリーパーなし	1.6 ~ 40	1.0 ~ 25
24 前進ギヤ、24 リバースギヤ、工場出荷時クリーパーなし	1.4 ~ 39	0.9 ~ 24

クリーパートランスミッションの場合は、さらに 12 前進ギヤ、12 リバースギヤ	0.14 ~ 1.06	0.09 ~ 0.66

AutoQuad™ PLUS トランスミッション . . . . . 遊星歯車駆動装置、油圧作動式
移動方向の変更 . . . . . 電気油圧式、負荷条件下、クラッチ操作なし

ギヤ数	速度範囲 (km/h)	速度範囲 (mph)
24 前進ギヤ、24 リバースギヤ、工場出荷時クリーパーなし	1.6 ~ 40	1.0 ~ 25
24 前進ギヤ、24 リバースギヤ、工場出荷時クリーパーなし	1.4 ~ 39	0.9 ~ 24
クリーパートランスミッションの場合は、さらに 12 前進ギヤ、12 リバースギヤ	0.14 ~ 1.06	0.09 ~ 0.66

* 日本仕様のみ: 最高速度は 35 km/h (21.8 mph) に制限

AutoQuad™ PLUS Eco Shift™ トランスミッション. . . . . 遊星歯車駆動装置、油圧作動式
移動方向の変更 . . . . . 電気油圧式、負荷条件下、クラッチ操作なし

ギヤ数	速度範囲 (km/h)	速度範囲 (mph)
24 前進ギヤ、24 リバースギヤ、クリーパーなし	1.8 ~ 40	1.1 ~ 25
クリーパートランスミッションの追加ギヤ 12 前進ギヤ、12 リバースギヤ	0.18 ~ 1.4	0.11 ~ 0.86

CommandQuad™ PLUS トランスミッション . . . . . 遊星歯車駆動装置、油圧作動式
移動方向の変更 . . . . . 電気油圧式、負荷条件下、クラッチ操作なし

ギヤ数	速度範囲 (km/h)	速度範囲 (mph)
24 前進ギヤ、24 リバースギヤ	1.4 ~ 40*	0.9 ~ 25*

* 日本仕様のみ: 最高速度は 35 km/h (21.8 mph) に制限

CommandQuad™ PLUS Eco Shift™ トランスミッション . . . . . 遊星歯車駆動装置、油圧作動式
移動方向の変更 . . . . . 電気油圧式、負荷条件下、クラッチ操作なし

ギヤ数	速度範囲 (km/h)	速度範囲 (mph)
24 前進ギヤ、24 リバースギヤ	1.8 ~ 40	1.1 ~ 25

AutoPowr™ トランスミッション . . . . . 無段変速機械式 / 油圧式トランスミッション
移動方向の変更 . . . . . 電気式、負荷条件下、クラッチ操作なし
速度バンド . . . . . 0.05 ~ 40 km/h (0.03 ~ 25 mph)*
* 日本仕様のみ: 最高速度は 35 km/h (21.8 mph) に制限

OULXA64,SP,4CYL,EU,000584B-40-30NOV20

ヒッチ

リアヒッチ — OECD に基づくリフト力

	(mm)	(in)	(mm)	(in)
リフトシリンダ、直径	70	2.76	80	2.95
	(kg)	(lb)	(kg)	(lb)
連結点での直接持続吊上げ力*	3150	6945	4100	9040
連結点の 610 mm 後方での持続吊上げ力*	2750	6065	3600	7940
ストロークが減少した連結点に直接かかる最大吊上げ力*	4350	9590	5700	12570
カテゴリ	CAT II および IIIN		CAT II および IIIN	

重要： すべてのアプリケーションで、車軸耐荷重とタイヤ耐荷重に注意してください。

* 持続リフト力の値は、一定の距離でリフト可能な最大重量を示します。最大の吊上げ力は吊上距離を短くした場合のみ得られるため、無制限に使用できる吊上げ力の基準と見なすことはできません。

フロントヒッチ、カテゴリ	**CAT IIIN**	
フロントヒッチ、OECD に基づく吊上げ力	(kg)	(lb)
連結点における最大吊上げ力	4400	8820
連結点における持続吊上げ力	3300	7275

重要： すべてのアプリケーションで、車軸耐荷重とタイヤ耐荷重に注意してください。

OULXA64,SP1,EU,0005910-40-28AUG23

油圧系統

PC システム - 負荷検出制御と定量ポンプ付きオープンシステム	(cm³)	(in³)
ギヤ駆動ポンプ	35	2.13
定格速度での 1 分あたりの送出量	(L)	(US gal)
- 35 cm³ ポンプ	80	21.2

PFC システム - 低待機圧力と負荷検出制御付きクローズドシステム	(cm³)	(in³)
アキシャルピストンポンプ	45	2.75
定格速度での 1 分あたりの送出量	(L)	(US gal)
- 45 cm³ ポンプ	114	30.1

システム圧力：	(kPa)	(bar)	(psi)
- 最小 (スタンバイ)	4100	41	590
- 最大：	20500	205	2970
ステアリング	ハイドロスタティック		
選択制御弁：			
- シリーズ		200	
- シリーズ		450	

OULXA64,SP1,EU,0005911-40-26NOV20

容量

容量	(L)	(US gal)
燃料タンク		
- 標準	175	46.2
- オプション	205	54.2
DEF タンク	19.0	5.0
冷却システム (エンジン冷却とキャブ暖房)	20.0	5.3
エンジンクランクケース	17.0	4.5
トランスミッションおよび油圧系統、オイルの交換		
- PowrQuad™ PLUS トランスミッション	60.0	15.9
- AutoQuad™ PLUS トランスミッション	60.0	15.9
- CommandQuad™ PLUS トランスミッション	60.0	15.9
- AutoPowr™ トランスミッション	60.0	15.9
- クリーパーによる追加分	2.0	0.7
- 前輪駆動による追加分	3.0	0.8
- 補助オイルリザーバーによる追加分	20.0	5.3
フロント PTO	2.6	0.7
前輪駆動車軸		
- スリーピースフロントアクスル、タイプ	730、733、および 735	
- 車軸ハウジング (サスペンションなし車軸)	6.4	1.7
- 車軸ハウジング (サスペンション付き車軸)	6.4	1.7
- ファイナルドライブ (片側) (ブレーキなし)	0.8	0.2
- ファイナルドライブ (片側) (ブレーキ付き)	1.4	0.4
エアコンシステム	(g)	(lb)
R134a 冷媒	775 ~ 825	1.71 ~ 182

重要：**オイル交換時は、必ず注入レベルインジケーターを確認してください。**

OULXA64,SP1,EU,0005912-40-04DEC23

オイル取り出し量

作動条件	オイル点検窓におけるレベル	追加オイルリザーバーがない場合		予備オイルリザーバーあり	
傾斜した状態での運転時における最大オイル取り出し量：		(L)	(US gal)	(L)	(US gal)
- 傾斜角 3° 以下 速度 3 km/h (1.8 mph) 未満	最大	15.0	4.0	32.0	8.5
トラクターを水平位置に駐車した場合の最大オイル取り出し量：	最大	15.0	4.0	32.0	8.5
トランスミッションの最大超過注入容量 MAX マーク* よりも上に注入時		10.0	2.6	不可	
次の過剰充填**でトラクターを水平位置に駐車した場合の最大オイル取り出し量：	MAX + 10 L + (2.6 US gal)	25.0	6.6	不可	

* トラクターでトランスミッションに作動油を入れすぎている場合は、走行速度 40 km/h (24.9 mph) を超えないでください。
** トラクターを著しく傾斜した場所で運転する場合は、トランスミッションに注入しすぎないでください。

OULXA64,SP1,EU,0005913-40-26NOV20

大容量油圧シリンダの使用

大容量油圧シリンダや伸縮式シリンダの操作には、ユーザーによる特別な注意が必要です。油圧式傾斜機能付きのトレーラーの操作時など、説明書を参照してください。

- トレーラーを傾けるときは、エンジン回転数を、1800 ~ 2100 rpm に維持します。
- トレーラーを傾ける前に、最大許容オイル取り出し量が油圧シリンダの充填に必要なオイル容量に対応しているかどうかを確認します。トレーラーの取扱説明書に記載されている情報と最大許容オイル取り出し量を比較します。「選択制御弁 - 最大許容オイル取り出し量」(セクション 70) および「オイル取り出し量」(セクション 500A) を参照してください。

重要： 必要なオイルの量が最大許容オイル取り出し量を超過している場合やオイルの取り出しが早すぎる場合は、これによりキャビテーションが発生する可能性があります。キャビテーションは異常に大きい音でわかり、機械的損傷の原因になります。伸縮式シリンダなど、大容量油圧シリンダの操作時は、大きい音が突然発生していないか注意してください。キャビテーションが疑われる場合は、すぐに油圧シリンダの操作を停止してください。エンジン回転数を変えても改善することはないため、変更しないでください。

500A,401,OULXBER,00030BD-40-04MAR24

荷重と重量、その 1

トラクター重量* :	**(kg)**	**(lb)**
総重量	5680	12520
フロントアクスル荷重	2270	5000
リアアクスル荷重	3410	7520
耐荷重	4770	10520

* 詳細は次のように装備されたトラクターに適用されます。

- 380/85R24 フロントタイヤ
- 460/85R38 リアタイヤ
- AutoQuad™トランスミッション
- フランジ付きリアアクスル
- 前輪駆動車軸、サスペンションなし
- フロントフェンダー
- キャブ、サスペンションなし
- 助手席
- エアコンシステム
- リアヒッチ CAT II/IIIN
- センターリンク
- 3-in-1 ヒッチ
- 38 mm ヒッチ
- 1000/540E/540 リア PTO
- 45 cm³ 油圧ポンプ
- 選択制御弁 3 台
- エアブレーキシステム
- 110 kg (243 lb) 基本ウエイト
- DEF なし
- 燃料なし
- オペレータを含まず

注： 装備、トランスミッションのバージョン、タイヤのサイズにより重量の詳細は変わります。

最大許容フロントアクスル荷重 (調整式フロントアクスル付き)	(kg)	(lb)
- 40 km/h (25 mph) 以下の通常運転時	3000	6610
- フロントローダー付き、最高速度 10 km/h (6 mph)*	5860	12900
最大許容フロントアクスル荷重 (前輪駆動車軸付き)		
- 40 km/h (25 mph) 以下の通常運転時	4380	9700
- フロントローダー付き、最高速度 10 km/h (6 mph)**	6160	13580
最大許容リアアクスル荷重	7270	16000
最大許容総重量 (調整式フロントアクスル付き)	8500	18700
最大許容総重量 (前輪駆動車軸付き)		
• ボルト中心径 203 mm またはハブ直径 79 mm のリアアクスル	9500	20950
• ボルト中心径 275 mm またはハブ直径 86 mm のリアアクスル	10450	23050
最大許容静的垂直荷重		
- ドローバーのカテゴリ	カテゴリ II	
- ドローバー、標準作業 (道路走行) ≤ 40 km/h (25 mph) 時	(kg)	(lb)

• 250 mm (9.8 in) 伸長	2000²	4400²
- けん引棒、標準作業 (圃場で使用)		
• 250 mm (9.8 in) 伸長	2000	4400
• 350 mm (13.8 in) 伸長	1400	3085
• 400 mm (15.7 in) 伸長	1200	2645
- ドローバー、ヘビーデューティタイプ (道路走行) ≤ 40 km/h (25 mph) 時		
• 250 mm (9.8 in) 伸長	3000²	6610²
- ヘビーデューティけん引棒 (圃場作業)		
• 250 mm (9.8 in) 伸長	3000	6610
• 350 mm (13.8 in) 伸長	1800	3960
• 400 mm (15.7 in) 伸長	1600	3520
- 油圧ピックアップヒッチ		
• 牽引フック	3000	6610
• ボール	3000	6610
• CAT II ドローバー、400 mm (15.7 in)	800	1765

* フロントローダー作業には、1700 ~ 1900 mm (66.9 ~ 73.2 in) のトレッド幅を選択します。
** フロントローダー作業の場合は、1750 ~ 1950 mm (68.9 ~ 76.8 in) のトレッド幅を選択してください。
² 40 km/h (25 mph) を超える移動速度の場合、最大許容静的垂直荷重は 1250 kg (2750 lb) に制限されます。

種々のトレーラーヒッチ使用時の最大許容静的垂直荷重については、「荷重と重量 - パート 2」を参照してください。

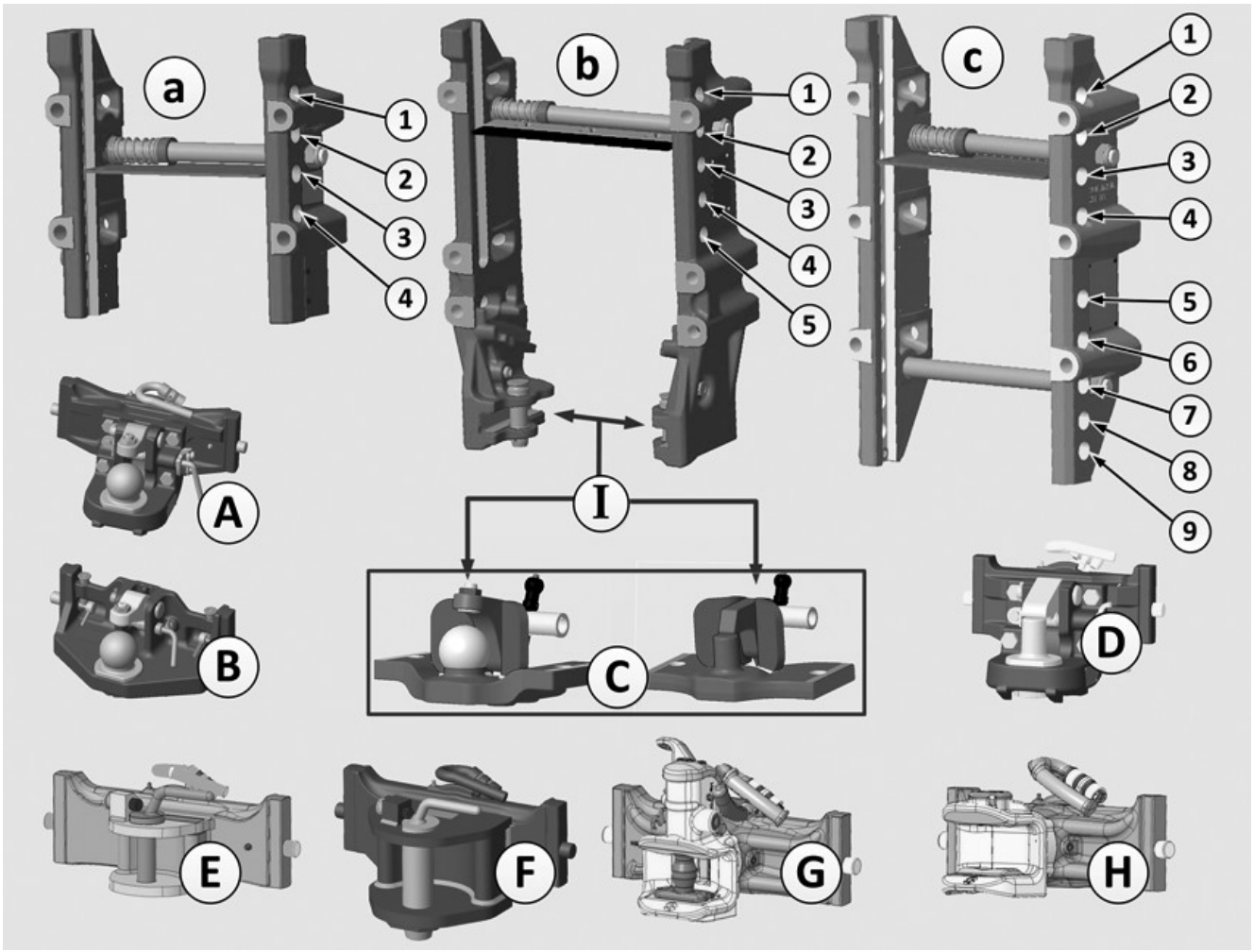
注記：トレーラーヒッチに指定されている静的垂直荷重を超過しないでください。

タイヤの許容荷重、許容車軸荷重、許容総重量を順守してください。一部の国では交通関係の法令により、許容車軸荷重と総重量が上記の値よりも低く制限される場合があります。

このセクションの「最大許容車軸荷重とタイヤ耐荷重」も参照してください。

OULXA64,SP1,EX,0005914-40-28AUG23

荷重と重量 - パート 2、MY19 ~



LX315193—UN—22AUG18

キー			
a	レール、4 か所	E	CUNA タイプ C
b	レール、5 か所 (3 in 1)	F*	CUNA タイプ D2
c	レール、9 か所	F**	CUNA タイプ D3
A	高さ調整式、ボールタイプ 1	G	自動トレーラーヒッチ
B³	高さ調整式、ボールタイプ 2	H	手動トレーラーヒッチ
C	非調整式、ボールまたはピトン固定	1 ~ 9	位置
D	高さ調整式ピトン固定	**5 インチ**	下記のみで使用できます： 6M 230、6M 250、R 175 ~ 6R 250

注記： トレーラーヒッチに指定されている静的垂直荷重を超過しないでください。

タイヤの許容荷重、許容車軸荷重、許容総重量を順守してください。一部の国では交通関係の法令により、許容車軸荷重と総重量が上記の値よりも低く制限される場合があります。

組み合わせ	各種トレーラーヒッチを使用した場合の最大許容静的垂直荷重 - MY19 ~																	
	1		2		3		4		5		6		7		8		9	
	(kg)	(lb)	(kg)	(lb)	(kg)	(lb)	(kg)	(lb)	(kg)	(lb)	(kg)	(lb)	(kg)	(lb)	(kg)	(lb)	(kg)	(lb)
Aa	2000	4400	2000	4400	2000	4400	2000	4400										
Ab	3000	6610	3000	6610	3000	6610	3000	6610	3000	6610								
Ac	3000	6610	3000	6610	3000	6610	3000	6610	3000	6610	3000	6610	3000	6610	3000	6610	3000	6610
Ba³	2000	4400	2000	4400	2000	4400	2000	4400										
Bb³	4000	8815	4000	8815	4000	8815	4000	8815	4000	8815								
Bc³	4000	8815	4000	8815	4000	8815	4000	8815	4000	8815	4000	8815	4000	8815	4000	8815	4000	8815
Da	2000	4400	2000	4400	2000	4400	2000	4400										
Db	3000	6610	3000	6610	3000	6610	3000	6610	3000	6610								
Dc	3000	6610	3000	6610	3000	6610	3000	6610	3000	6610	3000	6610	3000	6610	3000	6610	3000	6610
Ea	1500	3300	1500	3300	1500	3300	1500	3300										
Eb	1500	3300	1500	3300	1500	3300	1500	3300	1500	3300								
Ec	1500	3300	1500	3300	1500	3300	1500	3300	1500	3300	1500	3300	1500	3300	1500	3300	1500	3300
Fa*	2000	4400	2000	4400	2000	4400	2000	4400										
Fb*	2000	4400	2000	4400	2000	4400	2000	4400	2000	4400								
Fc*	2000	4400	2000	4400	2000	4400	2000	4400	2000	4400	2000	4400	2000	4400	2000	4400	2000	4400
Fa**	2000	4400	2000	4400	2000	4400	2000	4400										
Fb**	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510								
Fc**	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510
Ga	2000	4400	2000	4400	2000	4400	2000	4400										
Gb	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510								
Gc	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510
Ha	2000	4400	2000	4400	2000	4400	2000	4400										
Hb	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510								
Hc	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510	2500	5510
C ボール I	4000	8815																
C ピトン固定 I	3000	6610																

500A,490,ALL,LX25458,0000BC7-40-17APR24

最大許容車軸荷重とタイヤ耐荷重

注意：**トラクターの制御を失うことにより、けがや物的損害が発生する危険があります。**

過負荷になると、車両の不可欠な部品が故障し、重大な事故が発生します。

どのような状況でもタイヤ耐荷重と許容車軸荷重を超えないでください。

許容荷重値の決定：

- セクション 500A の関連する表で、最大許容車軸荷重を確認してください。
- 各タイヤメーカーの公式な表で、タイヤの最大許容荷重とタイヤ圧を確認してください。

詳しい情報：

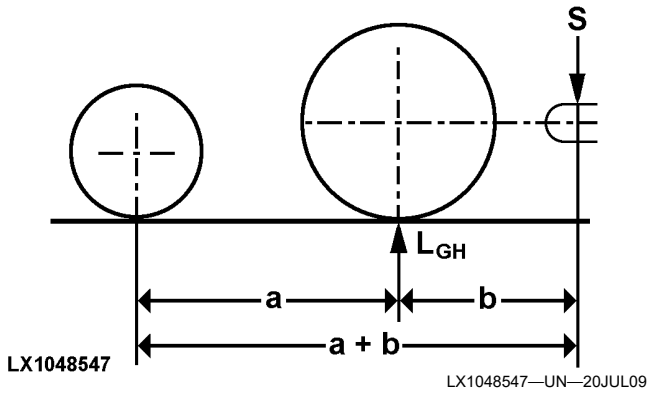
- 現在の車軸荷重を決定するには、車軸が1つある車両を車両スケールで次々に配置します。計量中は、前部と後部の作業機を完全に上げる必要があります。
- 最大許容タイヤ耐荷重は、車両の移動速度によって異なります。
- 最大許容タイヤ耐荷重は、適切なタイヤ圧によって異なります。
- このマニュアルで指定されているタイヤ圧を確認す

る必要があります。これらは他の情報よりも優先されます。

- 地域の規則により、許容値が制限される場合があります。
- セクション 80 の「タイヤラベリング - タイヤの耐荷重の確認」を参照してください。

500A,491,ALL,OULXBER,0003155-40-10JUL25

トレーラーヒッチにかかる最大許容下向き荷重の計算方法



LX1048547—UN—20JUL09

荷重指数 (LI) に対するトレーラーヒッチの最大許容下向き荷重の計算

- 荷重指数はタイヤの側壁から読み取れます。指数が表示されていない場合は、タイヤのメーカーが提供しているタイヤの耐荷重を参照してください。
- 荷重指数は速度指数 (SI) と共に表示されています。
- 原則として、タイヤの耐荷重 (kg) は LI から直接求めることができます。次の表を参照してください。

(LI)	(kg)	(LI)	(kg)	(LI)	(kg)	(LI)	(kg)
90. . .	600	111 . .	1090	132 . .	2000	153 . .	3650
91. . .	615	112 . .	1120	133 . .	2060	154 . .	3750
92. . .	630	113 . .	1150	134 . .	2120	155 . .	3875
93. . .	650	114 . .	1180	135 . .	2180	156 . .	4000
94. . .	670	115 . .	1215	136 . .	2240	157 . .	4125
95. . .	690	116 . .	1250	137 . .	2300	158 . .	4250
96. . .	710	117 . .	1285	138 . .	2360	159 . .	4375
97. . .	730	118 . .	1320	139 . .	2430	160 . .	4500
98. . .	750	119 . .	1360	140 . .	2500	161 . .	4625
99. . .	775	120 . .	1400	141 . .	2575	162 . .	4750
100 . .	800	121 . .	1450	142 . .	2650	163 . .	4875
101 . .	825	122 . .	1500	143 . .	2725	164 . .	5000
102 . .	850	123 . .	1550	144 . .	2800	165 . .	5150
103 . .	875	124 . .	1600	145 . .	2900	166 . .	5300
104 . .	900	125 . .	1650	146 . .	3000	167 . .	5450
105 . .	925	126 . .	1700	147 . .	3075	168 . .	5600
106 . .	950	127 . .	1750	148 . .	3150	169 . .	5800
107 . .	975	128 . .	1800	149 . .	3250	170 . .	6000
108 . .	1000	129 . .	1850	150 . .	3350	171 . .	6150
109 . .	1030	130 . .	1900	151 . .	3450	172 . .	6300
110 . .	1060	131 . .	1950	152 . .	3550	173 . .	6500

原則として、SI A8 は最高速度が 40 km/h (25 mph) で、SI B は最高速度が 50 km/h (31 mph) であることを意味します。SI が異なる場合は、メーカーの指示が適用されます。

次の方法でトレーラーヒッチの最大下向き荷重を計算します。

$$S = \frac{(H_{perm} - L_{GH}) * a}{a + b}$$ 、ここで

H_{perm} = リアアクスルに対するタイヤ 1 個の耐荷重 ×2 と最大許容リアアクスル荷重 (kg) の小さい方の値

L_{GH} = 後輪から地面に加わる質量 (kg) (計量により要確認)

a = ホイールベース (フロントアクスルとリアアクスルの水平方向の間隔)

b = リアオーバーハング (リアアクスル中心とヒッチ点の中心の水平方向の間隔)

最大トレーラーヒッチ下向き荷重の計算例

条件は以下の通りとします。

無搭載時のリア車軸への質量 L_{GH} = 1800 kg

ホイールベース a = 2100 mm

オーバーハング b = 600 mm

タイヤのマーキング = 130A8

トラクターの最高許容速度 = 40 km/h (25 mph)

許容リアアクスル荷重 = 3500 kg

H_{perm} = 3500 kg
(1900 kg * 2 = 3800 kg、リアアクスル荷重 = 3500 kg)

$$S = \frac{(3500\ kg - 1800\ kg) * 2100\ mm}{2100\ mm + 600\ mm} = 1322\ kg$$

注意： 車両の合計空車質量の 20% 以上をフロントアクスルに加える必要があります。

トレーラーヒッチ下向き荷重はメーカーが指定するトレーラーヒッチの制限を超えてはなりません。

500A,492,EU,EX,OULXA64,EU,EX,0005444-40-04MAR24

許容質量の計算

D 値に基づく許容トラクター質量および許容トレーラー質量の計算

EC の認定を受けて、動的な試験を経たトレーラーヒッチには必ず D 値が提示されています。これは次のように計算されます。

$$D = \frac{G * A * B}{A + B}$$ 、ここで

D = ヒッチの D 値
G = 重力加速度 9.81 m/s^2
A = トラクター質量
B = トレーラー質量

任意の D 値および任意のトラクター質量に対するトレーラー質量の計算、および任意の D 値および任意のトレーラー質量に対するトラクター質量の計算は、次の式により行います。

トラクター質量 $$A = \frac{D * B}{G * B - D}$$

トレーラー質量 $$B = \frac{D * A}{G * A - D}$$

*注記： A の計算で G*B の積が D 値よりも小さい、あるいは B の計算で G*A の積が D 値よりも小さい場合は、計算結果が負になります。この場合も、任意のトラクター質量およびトレーラー質量の組み合わせに対してこの D 値を適用しても問題ありません。*

許容トレーラー質量の計算例

条件は以下の通りとします。 D 値、D = 55 kN = 55000 N

トラクター質量 A = 7000 kg

$$B = \frac{55000\ N * 7000\ kg}{9.81\ m/s^2 * 7000\ kg - 55000\ N} = 28163\ kg$$

許容牽引質量とトラクター質量に十分注意してください。

500A,550,EU,EX,OULXA64,0005445-40-04MAR24

電気システム

	MY 21 まで	MY 21 時点で
トラクターの装備に応じたバッテリー		
-	12 V、154 Ah	12 V、154 Ah
-	12 V、174 Ah	12 V、174 Ah
過電圧保護機能付きトラクターの装備に応じたオルタネータ		
-	• 125 A (13.5 ~ 15.5 V)[a]	• 125 A (13.5 ~ 15.5 V)[a]
-	• 150 A (13.5 ~ 15.5 V)[a]	• 170 A (13.5 ~ 15.5 V)[a]
-	• 200 A (13.5 ~ 15.5 V)[a]	• 210 A (13.5 ~ 15.5 V)[a]
スタータモーター	12 V、3.0 kW (4.0 hp)	12 V、3.0 kW (4.0 hp)
アース接続	マイナス	マイナス

[a] *発電機電圧、温度により異なる*

OULXA64,SP,0005747-40-30JUN21

振動

John Deere 承認済みのすべてのオペレータシートは、78/764/EEC または (EU) 1322/2014 Annex XIV に準拠して承認された部品タイプで、シート (a_{wS}) で実際に測定された振動加速度の平均値 (≤ 1.25 m/s^2相当) が適用されています。

この値は、2002/44/EC 準拠の振動応力の計算には使用しないでください。振動ストレスの評価には John Deere 取扱店がお手伝いいたします。

振動を減らす方法

- 適切な運転スタイル (速度が速すぎないなど)
- 懸架式フロント車軸
- 懸架式キャビン
- 適切に調整されたオペレータシート
- タイヤ空気圧を調整する

DX,VIBRATION,EU-40-28FEB17

キャブ、分類

規格 EN 15695-1 および -2 は、作物保護や薬剤および液体肥料の散布に関する要件を規定しています。この規格はキャブの 4 種類のカテゴリを指定しています。「EN 15695-1 および -2 によるキャブの分類 (作物保護薬剤および液体肥料の散布用)」(セクション 90) を参照してください。

注記： すべてのキャブは、カテゴリに関する情報を含む銘板が左 A ポストにあります。詳しくは、セクション 90 を参照してください。

500A,900,CAT2,EU,GOST,OULXA64,0005748-40-04MAR24

騒音レベル

オペレータ位置での最大騒音レベル：	86 dB(A)	準拠測定方法：規則 (EU) 1322/2014 付属書 XIII のテスト方法 2
最大通過騒音：	89 dB(A)	準拠測定方法：規則 (EU) 2018/985 付属書 II

500A,901,LX25458,ALL,0000BCA-40-04MAR24

エアコンシステムの識別

注意： エアコンシステムはフッ素系温室効果ガス含んでいます。これはエアコンシステムの作動に必要です。

名称： R-134a; 1,1,1.2-テトラフルオロエタン	
化学組成：	CH_2FCF_3
モデル M に含まれる量： CO_2e 相当設計量：	800 g (1.76 lb) 1.14 t (2510 lb)
地球温暖化係数 (GWP)：	1430*
* 温室効果は 100 年の時間枠で同じ量の二酸化炭素の 1430 倍です。	

すべてのトラクターには、対応する仕様が示された銘板が貼付されています。これは、エアコンコンデンサの右上側にあります。

トラクターモデル

• 6090M • 6100M • 6110M • 6120M

500A,902,SP1,OULXA64,000591B-40-18MAR24

電気・電子機器、およびその構成要素の追加設置に関する安全のしおり

この機械は、他の機器の電磁波によって、その機能に影響を受ける可能性のある電子部品が装備されています。これらの影響は危険な可能性があります。したがって、次の安全上の注意事項に従ってください。

トラクターの車載電気システムを改造することは許可されていません。電気・電子機器を後で本機に設置する場合は、その目的のために用意されているコンセントソケットやコネクタを使用する必要があります。どの場合でも、ユーザーは電子機器や他の構成部品に影響がないかどうか確認する必要があります。これは特に次のものに対して通用されます。

- 作業機のコントロールユニット/モニター
- パフォーマンスモニター
- オーディオ / ビデオシステム、通信システム

特に、追加して設置された電子・電気機器は、EMC 指令 2004/108/EC の関連改訂版に従い、CE マークが付いている必要があります。

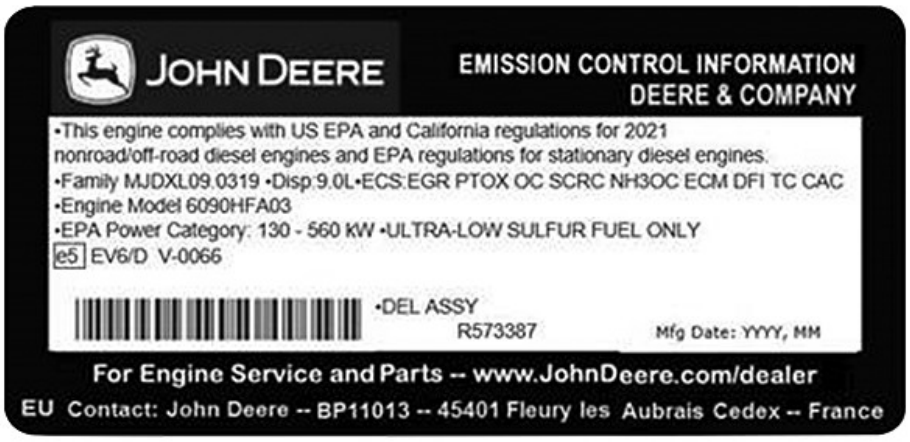
後でモバイル通信システム (無線通信、電話等) を設置する場合は、次の追加要件を満たす必要があります。

- 正当な国の法律 (ドイツでは BZT 認定) による認可を受けた機器のみを設置する。
- 機器を確実に設置する。
- 携帯型またはモバイルデバイスは、固定された外部アンテナに接続されている場合のみ車両から操作可能。
- トランスミッタは車両の電子機器から独立して設置する。
- アンテナは専門的な方法で設置し、アンテナと車両のアースの間で良好なアース接続を確保する。

配線、設置、および最大許容電流源は、機械メーカーの取付説明書に記載されているものと同様である必要があります。

500A,950,LX25458,OM,TRAK,EMV-40-04MAR24

二酸化炭素排出量 (CO_2)



RG33429—UN—04FEB21

サンプル - エンジン排ガスラベル

二酸化炭素 (CO_2) 排出量を確認するには、エンジン排ガスラベルの場所を確認してください。排ガスラベルの該当するファミリーを確認し、表を参照します。

注記： ファミリー番号の最初の文字は、表でのファミリー識別に使用しません。

排ガスラベルファミリー	CO_2 結果
_JDXL02.9323	952 g/kW-hr
_JDXL02.9327	784 g/kW-hr
_JDXL04.5337	819 g/kW-hr
_JDXL04.5338	682 g/kW-hr
_JDXL04.5304	1004 g/kW-hr
_JDXN04.5174	792 g/kW-hr
_JDXL06.8324	720 g/kW-hr
_JDXL06.8328	683 g/kW-hr
_JDXL06.8336	701 g/kW-hr
_JDXN06.8175	771 g/kW-hr
_JDXL09.0319	646 g/kW-hr
_JDXL09.0325	695 g/kW-hr
_JDXL09.0329	657 g/kW-hr
_JDXL09.0333	650 g/kW-hr
_JDXL13.5326	684 g/kW-hr
_JDXL13.6320	651 g/kW-hr
_JDXL13.5340	632 g/kW-hr
_JDXL18.0341	683 g/kW-hr
_JDXL18.0342	687 g/kW-hr
F28	870 g/kW-hr
F32	710 g/kW-hr
F33	677 g/kW-hr

この CO_2 測定値は、ラボ条件下でエンジン型式 (ファミリー) を代表する (親) エンジンを一定のテストサイクルにわたってテストして得られたものであり、特定のエンジン性能の保証を明示または黙示するものではありません。

DX,EMISSIONS,CO2-40-23JUN23

ユーラシア経済連合



TS1738—UN—26APR16

EAC マーク

この情報は、ユーラシア経済連合加入国の EAC 適合マークを表示した製品にのみ適用されます。

メーカー：
John Deere GmbH & CO. KG, John Deere Werk Mannheim, John-Deere-Str. 90, 68163 Mannheim, Germany

ユーラシア経済連合における正式代表者の名称：
有限会社
「John Deere Rus」

正式代表者の住所：
142050, Russia, Moscow region, Domodedovo district, Domodedovo, Beliye Stolbi micro district, vladenye “Warehouse 104”, Building 2

テクニカルサポートについては、販売店またはその他の整備工場にお問い合わせください。

製造日付は、製品のシリアル番号プレートまたはその近くに記載されています。

OULXA64,DX,EAC,GOST,5753-40-17JUL25

韓国 - ノンロード排出ガス規制保証ステートメント - 圧縮点火

JOHN DEERE

DXLOGOV1—UN—28APR09

韓国カリフォルニア州排出ガス規制保証ステートメント
保証の下での権利と義務

お使いの John Deere のエンジンが下記に示す追加の保証を受けられるかどうかは、エンジンにある「排出ガス規制情報」ラベルをご覧ください。エンジンが韓国で使用され、排気ガス規制情報ラベルに以下が表示されている場合、排出ガス構成部品に関する保証が適用されます。「韓国の承認」。

この証明書に記載されている保証は、お使いのエンジンの排出ガス関連部品および構成部品に限られます。排出ガス関連部品と構成部品を除くエンジン全体の保証は別途提供されます。保証に関する権利と義務に関する質問は、John Deere にお問い合わせください (1-319-292-5400)。

JOHN DEERE の保証に関する責任

John Deere は、最終購入者とその購入者からの購入者に対して、このオフロードディーゼルエンジン (>19kW) が排出ガス制御システムのすべての部品を含め、大気環境保存法 (Clean Air Conservation Act) の該当する要件に販売時点で適合して設計、製作、および装備されていること、および該当する規則に適合しなくなる材料および製造上の欠陥がないことをエンジンの使用開始日から 5 年または 3,000 運転時間のいずれか早い時期まで保証します。

保証できる条件が存在する場合、John Deere は自社の選択により、指定されている保証期間内に規制対象汚染物質のエンジンからの排出を増加させる材料または製造上の欠陥がある部品または構成部品を、排出ガス関連の部品の診断、修理または交換に関連する費用を含め、無償で修理または交換します。保証範囲はこの文書に記載の制限事項、除外事項に制約されます。排気ガスに関連する構成要素には、以下に挙げるものに関連して排気ガスを制御するために開発されたエンジン部品を含みます。

排気ガス変換しすてむ：
- O2 センサー
- 触媒コンバーター
- 微粒子トラップ
- SCR システム、供給モジュールを含む
- 供給モジュール
- 脱 NOx 触媒 / NOx トラップ
- 再生ヒーター

ポジティブクランクケースベンチレーション：
- PCV バルブ

燃料計量システム：
- 電子コントロールユニット (ECU)
- スロットル開度センサー
- マニホールド絶対圧センサー
- キャブレター / ベーパライザー
- ミキサー
- 燃料インジェクター
- 燃料圧力レギュレータ
- 水温センサー
- 燃料ポンプ
- アイドル回転数制御システム

排気ガス再循環装置 (EGR)：
- EGR 制御サーモバルブ
- EGR クーラー

空気導入システム：
- ターボチャージャ
- ウエストゲート
- ポップオフ
- バイパスバルブ
- ダクト

排気ガス保証除外事項

John Deere は、次の各項に起因する故障または不具合の保証請求を拒否することができます。
- 「オペレータマニュアル」に記載のメンテナンス要件を行わなかった場合
- 設計で意図されていないやり方でのエンジン / 装置の使用
- 誤用、無視、不適切なメンテナンス、不許可の改造や変更を行った場合
- 責任を持てない事故や、天災の場合

オフロードディーゼルエンジンは、オペレータマニュアルの「燃料、潤滑油、クーラント」セクションで指定しているディーゼル燃料で運転するように設計されています。それ以外の燃料は排出ガス制御システム / 装置に害を与える可能性があり、認められている使用方法ではありません。

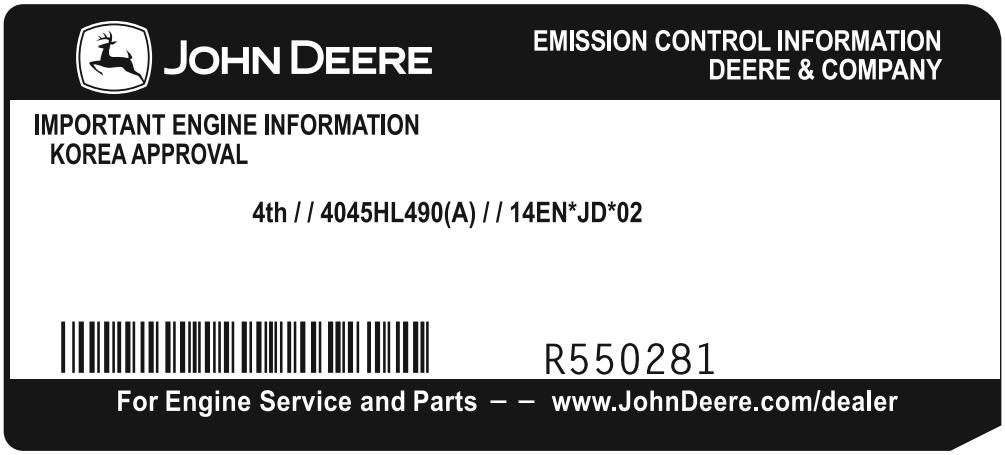
法の許す範囲において、John Deere は、標準の保証範囲に含まれていない限り、排出ガス関連部品の故障に起因する他のエンジン部品の損傷について責任を負いません。

この保証は、明示または黙示を問わず、商品性や特定の目的に対する適合性の保証など、他のすべての保証に代わるものです。この保証の下での救済措置は、ここで指定した材料やサービスの規定に制限されます。法の許す範囲において、John Deere、John Deere 認定エンジン販売店、取扱店、修理施設、または John Deere 関連会社は偶発的または間接的な損害に対して責任を負いません。

Emission_CI_Korea (09April15)

DX,EMISSIONS,FT4,CI,KO-40-05AUG22

排出ガス制御システム証明ラベル (韓国)



RG26993—UN—09APR15

エンジン排出ガスラベル

DX,EMISSIONS,LABEL,KO-40-09APR15

中国排出ガス規制保証規定

JOHN DEERE

CHINA EMISSION CONTROL WARRANTY STATEMENT
YOUR WARRANTY RIGHTS AND OBLIGATIONS

To determine if the John Deere engine qualifies for the additional warranties set forth below, look for the "Emissions Control Information" label located on the engine. If the engine is operated in China and the Emissions Control Information label contains an Information Disclosure number, refer to the "China Emission Control Warranty Statement".

Warranties stated on this certificate refer only to emissions-related parts and components of your engine. The complete engine warranty, less emissions-related parts and components, is provided separately. If you have any questions about your warranty rights and responsibilities, you should contact John Deere at 400-6576-555.

JOHN DEERE'S WARRANTY RESPONSIBILITY:

John Deere warrants to the ultimate purchaser and each subsequent purchaser that this off-road diesel engine including all parts of its emission-control system was designed, built and equipped so as to conform at the time of sale with GB20891-2014 and HJ1014-2020 and is free from defects in materials and workmanship which would cause the engine to fail to conform with applicable China regulations for a period of five years from the date the engine is placed into service or 3,000 hours of operation, whichever first occurs.

Where a warrantable condition exists, John Deere will repair or replace, as it elects, any part or component with a defect in materials or workmanship that would increase the engine's emissions of any regulated pollutant within the stated warranty period at no cost to you, including expenses related to diagnosing and repairing or replacing emission-related parts. Warranty coverage is subject to the limitations and exclusions set forth herein. Emission-related components include engine parts developed to control emissions related to the following:

Air-induction system
Fuel System
Exhaust gas recirculation systems
Aftertreatment devices
Sensors
Electronic control units

EMISSION WARRANTY EXCLUSIONS:

John Deere may deny warranty claims for malfunctions or failures caused by:

- Non-performance of maintenance requirements listed in the Operator's Manual.
- The use of the engine / equipment in a manner for which it was not designed.
- Abuse, neglect, improper maintenance or unapproved modifications or alterations.
- Accidents for which it does not have responsibility or by acts of God.

The off-road diesel engine is designed to operate on diesel fuel as specified in the Fuels, Lubricants and Coolants section in the Operators Manual. Use of any other fuel can harm the emissions control system of the engine / equipment and is not approved for use.

To the extent permitted by law John Deere is not liable for damage to other engine components caused by a failure of an emission-related part, unless otherwise covered by standard warranty.

THIS WARRANTY IS EXPRESSLY IN LIEU OF ANY OTHER WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. REMEDIES UNDER THIS WARRANTY ARE LIMITED TO THE PROVISIONS OF MATERIAL AND SERVICES AS SPECIFIED HEREIN. WHERE PERMITTED BY LAW, NEITHER JOHN DEERE NOR ANY AUTHORIZED JOHN DEERE ENGINE DISTRIBUTOR, DEALER, OR REPAIR FACILITY OR ANY COMPANY AFFILIATED WITH JOHN DEERE WILL BE LIABLE FOR INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES.

LX528019—UN—10DEC21

JOHN DEERE

中国排放物控制质保声明
您的质保权利和责任

为了确定约翰迪尔发动机是否符合下述额外质保，请查看发动机的"排放标签"。如果发动机是在中国销售使用并且"排放标签"包含信息公开编号，请参考本声明。

本质保声明只涉及与发动机排放相关的零部件。对于发动机整机以及与非排放相关零部件的质保声明将另行提供。如果您对您的质保权利和责任有任何疑问，请致电 400-6576-555 联系约翰迪尔。

约翰迪尔保修责任

约翰迪尔向最终购买者和每位后续购买者保证：该非道路柴油发动机，包括其排放控制系统的所有零件的设计、制造和配置在销售时均符合《非道路移动机械用柴油机排气污染物排放限值及测量方法(三、四阶段）》(GB20891-2014)和《非道路柴油移动机械污染物排放控制技术要求》(HJ1014—2020)标准的规定，发动机材料无缺陷，在工艺上不会导致不符合中国法规的缺陷。保修期从发动机销售之日起算五年或作业 3000 小时，先到者为准。

如符合质保条件，约翰迪尔将按其选择，修理或者更换任何在材料或工艺存在缺陷、会导致法规规定的发动机排放污染物增加的零部件，在规定的质保期内，您无需支付任何费用，包括与诊断、维修或更换排放相关零部件的费用。保修范围受以下限制和排除条款约束。排放相关的部件包括下列为控制排放物而开发的发动机零件：

进气系统
燃油系统
废气再循环系统
后处理装置
传感器
发动机电子控制单元

排放保修除外条款

约翰迪尔有权拒绝由以下原因引起故障或失效的保修申请：

- 不履行操作手册中列出的维修要求
- 不按设计的方式使用发动机/设备
- 误用、疏忽、不正确的维修或未经批准而进行的修改或改装
- 非因约翰迪尔责任导致的事故或不可抗力引起的事故

该非道路柴油发动机的运行需要使用指定的柴油机燃油，这一点在操作手册中"燃油、润滑油和冷却液"章节中明确规定。任何其它燃油的使用都可能导致发动机/设备的排放控制系统受损，因此不得使用。

在法律允许的范围内，除非标准保修另有规定，否则约翰迪尔对因排放相关零部件故障而导致的其他发动机部件损坏不承担责任。

本质保声明将替代所有其他明示或暗示的保证，包括任何促销性或出于其他目的的间接保证。本质保声明所涉及的保修服务仅限定于本声明规定的零部件和质保条款。在法律允许的情况下，约翰迪尔或任何约翰迪尔授权的发动机批发商、经销商或维修机构或任何约翰迪尔附属公司均不对间接或后继损失负责。

LX528020—UN—10DEC21
DX,EMISSIONS,NR4-40-21APR22

シリアル番号

型式プレート

以下の図は、トラクターの複数の種類の型式プレートを示しています。プレートの文字と数字は、予備品を注文する場合などに必要です。

注記： 対応する文字と数字は、このために用意されているボックスに入力する必要があります。

500B,01,ALL,LX25458,0000BE6-40-10APR24

製品識別プレートと構成部品のシリアル番号



LX515805—UN—04OCT23

製品識別プレートと構成部品のシリアル番号の移動方向の左側に表示されています (矢印を参照)。

プレートは販売店で取り付けます。地域の法律により、ステッカーの位置が変わる場合があります。

注記： 各シリアル番号の位置については以下のページを参照してください。

製品識別番号

*																	*

エンジンシリアル番号

*														*

トランスミッションのシリアル番号

*														*

前輪駆動のシリアル番号

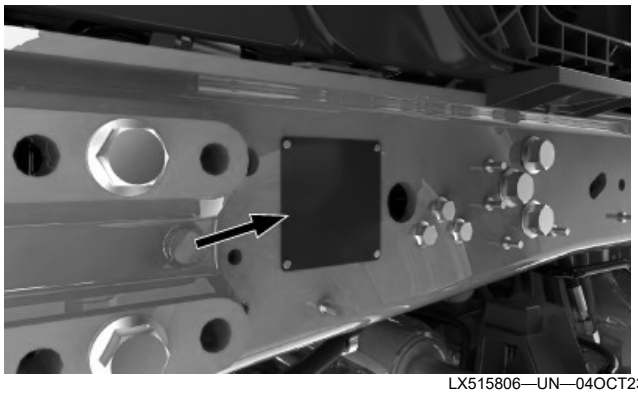
*																	*

キャブシリアル番号

*														*

500B,02,MC,OULXA64,0005901-40-10APR24

製品識別番号のプレート



LX515806—UN—04OCT23

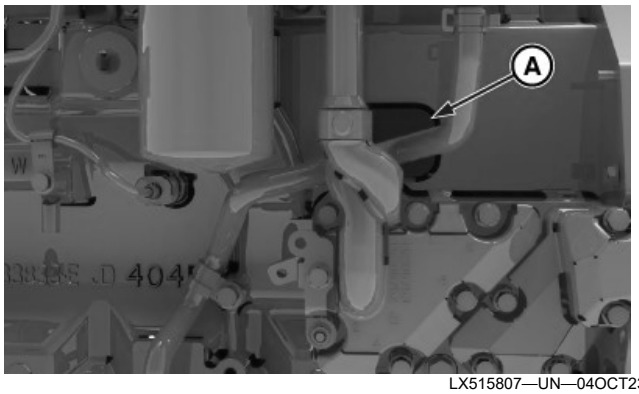
サンプル図

製品識別番号が表示されているプレートはメインフレームの右側にあります。トラクターには 2 種類の製品識別番号のうち 1 つが表示されています。適切なボックスを選択してください。

*																	*

500B,05,ALL,LX25458,0000BE8-40-10APR24

エンジンシリアル番号

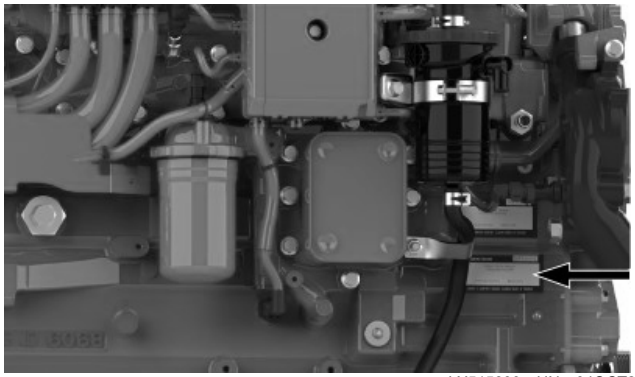


LX515807—UN—04OCT23



LX515808—UN—04OCT23

4 気筒エンジンのエンジンシリアル番号のコピー



LX515809—UN—04OCT23

6 気筒エンジンのエンジンシリアル番号のコピー

A：**エンジンシリアル番号**

エンジンシリアル番号はエンジンの右側、カバーの裏にあります。エンジンシリアル番号のコピーは図の位置にあります (矢印を参照)。これにより組立作業をせずに番号を確認することができます。

注記： エンジンシリアル番号に加えて、プレートにはエンジン型式も表示されています。エンジンのスペア部品を発注する際は、このプレートに表示されているすべての数字と文字を指定してください。

*													*

エンジンシリアル番号プレートの概要



LX565079—UN—14FEB23

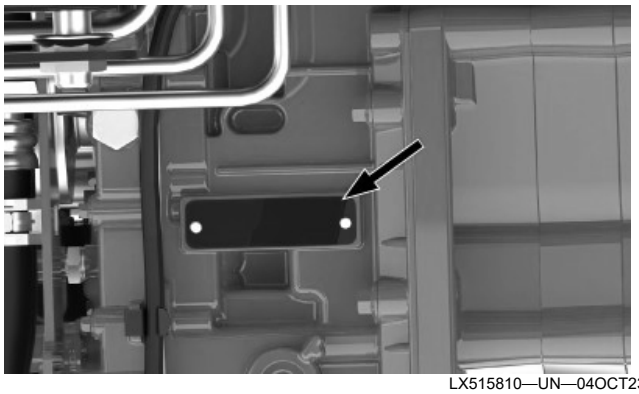
エンジンシリアル番号は 13 文字で定義されています	
最初の行	識別子 1 – エンジン工場を指定する 2 文字
1 – エンジン工場を指定する 2 文字	PE： トレオン、メキシコ、CD： フランス、サラン、J0： ロサリオ、アルゼンチン、UG： 中国、テダ
2 – シリンダ数を 1 桁で表します。	4気筒、6気筒
3 – 排気量の 3 桁 (リットル)	045： 4.5 L、068： 6.8 L
4 – 排出ガスレベルを表す 1 文字	• B = 非認証 • C = ティア 1/ ステージ I 排出ガス規制レベル • G = ティア 2/ ステージ II 排出ガス規制レベル • L = ティア 3/ ステージ IIIA 排出ガス規制レベル • R = インテリムティア 4/ ステージ IIIB 排出ガス規制レベル • U または V = ファイナルティア 4/ ステージ IV/ ステージ V 排出ガス規制レベル
5 - 6 桁	123456 = エンジン製造シーケンス番号。シーケンス番号は 000001 から始まります
エンジンの種類は 9 文字のアルファベット数字で定義されます	
6 — 4 桁	上記の項目 2 および 3 と同じ
7 – 吸気タイプの場合は 1 文字	• A = 空気対水アフタークーラー付きターボチャージャ • D = 自然吸気 • T = ターボ過給式 • H = 空気対空気アフタークーラー付きターボチャージャ • S = 空気対海水アフタークーラー付きターボチャージャ
8 - O.E.M.アプリケーション用の 1 文字または 2 文字	F： O.E.M.、FM： 船舶、FH： HazLoc、FN： 圧縮天然ガス
8 — John Deere 車両アプリケーション用の 1 文字または 2 文字	DW、KV： 構造、RW、LV、L、BM： トラクター、TJ： 林業、H、Z、CQ： コンバイン、N： ピッカー / 噴霧器、E： ウインドローア
9 – バージョンの 2 桁または 3 桁	485

10 — 2 文字と 5 桁または 6 桁のエンジン部品番号	DD12345 (Saran 専用エンジン)

500B,06,ALL,OULXA64,0005722-40-10APR24

トランスミッションのシリアル番号

注記： 数字と文字の文字列によりトランスミッションのシリアル番号を表します。

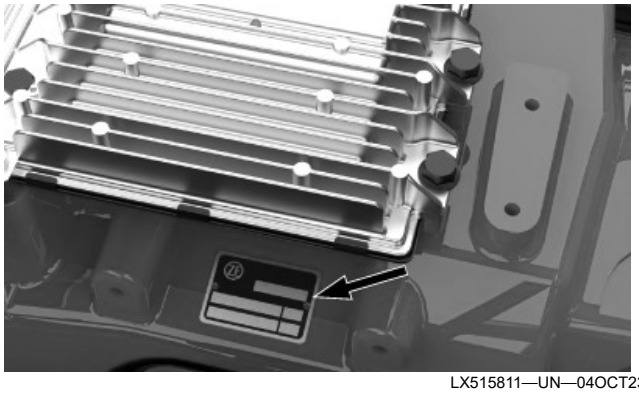


LX515810—UN—04OCT23

PowrQuad™、*AutoQuad*™、*CommandQuad*™ トランスミッション

トランスミッションシリアル番号はトランスミッションハウジングの左側あります。

*														*

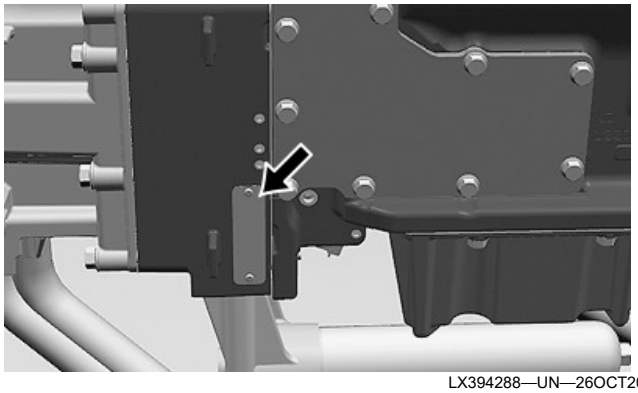


LX515811—UN—04OCT23

AutoPowr™*/IVT*™ トランスミッション

トランスミッションシリアル番号はトランスミッションハウジングの上部にあります。

*														*



LX394288—UN—26OCT20

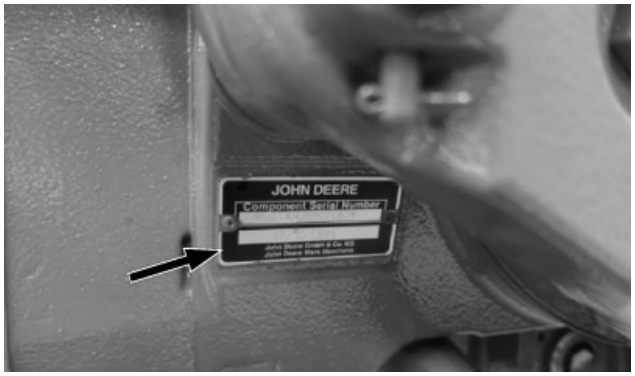
ダイレクトドライブトランスミッション

トランスミッションシリアル番号はトランスミッションハウジングの左側あります。

*														*

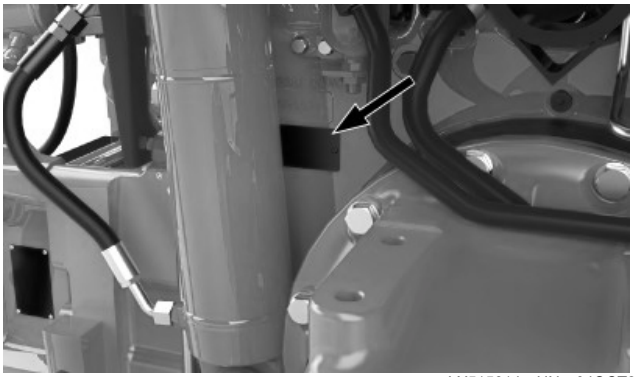
500B,05,OULXA64,00057E0-40-04DEC23

ファイナルドライブのシリアル番号によるディファレンシャル



LX515813—UN—03JAN24

ファイナルドライブのシリアル番号によるディファレンシャル *(バージョン A)*



LX515814—UN—04OCT23

ファイナルドライブのシリアル番号によるディファレンシャル *(バージョン B)*

シリアル番号は、ディファレンシャルハウジングの右側、ファイナルドライブハウジングの上にあります。

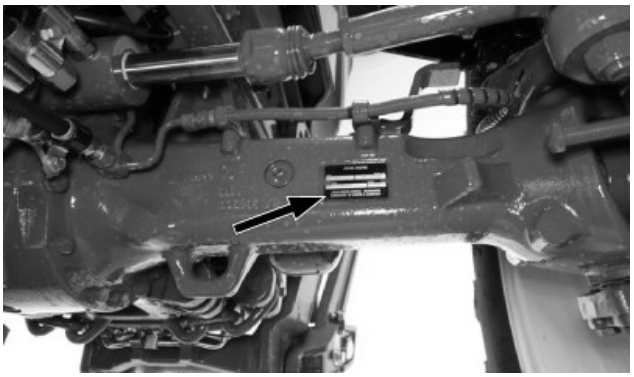
前輪駆動車軸の速度伝達比 (1,712 など) とディファレンシャルギヤペアの速度伝達比 (54/13 など) の詳細が表示されています。異なるタイヤの組み合わせを使用する場合は、この情報が必要となります。

注記： 数字と文字の文字列はファイナルドライブのシリアル番号によるディファレンシャルを表します。

*													*

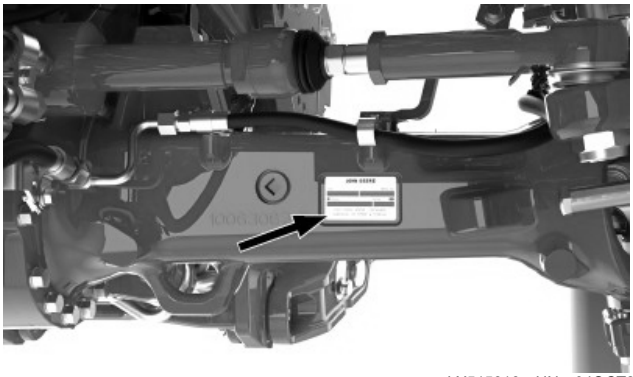
500B,08,ALL,OULXA64,0005723-40-10APR24

前輪駆動のシリアル番号



LX515815—UN—03JAN24

前輪駆動車軸 *(730 ~ 736)*



LX515816—UN—04OCT23

前輪駆動車軸 *(750、755)*

前輪駆動の番号が表示されているプレートは車軸端の後部にあります。フロント車軸の伝達比も表示されています。これらの番号は、前輪駆動のタイヤの組み合わせを変更しなければいけないときに必要になります。

*																*

500B,09,ALL,OULXA64,0005724-40-25APR24

運転キャビンのシリアル番号



LX1056760—UN—09OCT12

運転キャビンのシリアル番号は、運転席背後の油圧ポンプカバーにあります。

*														*

500B,08,OULXA64,6M,0005725-40-04DEC23

運転席のシリアル番号



LX1033432—UN—02MAR04



LX1036876

LX1036876—UN—22SEP05

例

A：**名称**
B：**部品番号 (注文時に必要)**
C：**製造日 (年 - 週)**

運転席のシリアル番号はシートの後部にあります。

シリアル番号プレート (ボックス C) の内容：

最初の 2 桁 (XXxx xx) は製造年を表します。

3 桁目と 4 桁目 (xxXX xx) は製造した週を表します。

500B,11,ALL,LX25458,0000BED-40-10APR24

サブアセンブリのシリアル番号

燃料噴射ポンプ、燃料噴射ノズル、オルタネータ、スタータモーター、ステアリングユニット (油圧ステアリングシステム)、エアコンシステムコンプレッサ (装備されている場合)、および油圧ポンプにもシリアル番号があります。これらの番号により異なる種類のサブアセンブリと区別することができます。

500B,12,ALL,LX25458,0000BEE-40-10APR24

所有権の変更

所有権の変更記録

「Machine Data (機械データ)」	
シリアル番号：	トラクターモデル：
エンジン番号：	登録番号：

所有権の変更 (1 回目)	
最初の所有者：	2 番目の所有者：
所在地：	所在地： . . . .
納品日： 購入時の運転時間： 引き渡したキー数 (イモビライザ用のみ)：	販売店印 *(販売店を通して販売された場合のみ)*

所有権の変更 (2 回目)	
2 番目の所有者：	3 番目の所有者：
所在地：	所在地： . . . .
納品日： 購入時の運転時間： 引き渡したキー数 (イモビライザ用のみ)：	販売店印 *(販売店を通して販売された場合のみ)*

所有権の変更 (3 回目)	
3 番目の所有者 :	4 番目の所有者
所在地 :	所在地 : . . . .
納品日 : 購入時の運転時間 : 引き渡したキー数 (イモビライザ用のみ) :	販売店印 *(販売店を通して販売された場合のみ)*

LX25458,0000BEF-40-05OCT20

納品前点検

納品前点検の注意事項

重要：地域の特殊性や個々の車両の構成に応じて、該当する装置が使用可能な場合のみ作業が適用されます。

この構成は車両の注文情報に記載されています。

その後の追加と改造も考慮する必要があります。

LX25458,0000BF0-40-05JUN20

整備手順

次の点検、調整、および整備作業を機械の納品前に実施しました。

1. 次のシステムの充填レベルを点検し、必要に応じて補充した。
- ☐ 1.1 エンジンオイル*
- ☐ 1.2 トランスミッション / 作動油*
- ☐ 1.3 前輪駆動車軸、オイル*
- ☐ 1.4 フロント PTO、オイル (装備されている場合)*
- ☐ 1.5 クーラント

2. 以下の部品のねじとナットが規定のトルクで締め付けられている :
- ☐ 2.1 ホイールとリム
- ☐ 2.2 追加ウエイト (装備されている場合)
- ☐ 2.3 フロント PTO (装備されている場合)
- ☐ 2.4 フロントヒッチ (装備されている場合)
- ☐ 2.5 フロントローダー、取り付けフレーム (装備されている場合)

- ☐ 3. すべてのグリースニップルを潤滑した。
- ☐ 4. ガードとシールドを点検した。
- ☐ 5. バッテリー、バッテリーを最大レベルまで充電。
- ☐ 6. 運転キャビンのコントロール (ヒーター、ブロワ、フロントガラスワイパー、フロントガラスウォッシャー) をすべて点検した。

- ☐ 7. エアコンシステムの起動の手順を順守した。セクション 210 を参照。
- ☐ 8. 運転席が適切に調整されており、顧客はすべての運転席の設定を理解している。
- ☐ 9. シートベルトを点検した。
- ☐ 10. ヘッドライトを調整した。**
- ☐ 11. ライトが正常に作動する。
- ☐ 12. 情報ディスプレイと表示灯が正常に作動する。

- ☐ 13. 移動防止機構が正常に作動している。
- ☐ 14. エンジン停止装置が正常に作動する。
- ☐ 15. トランスミッションのシフト機構が正常に作動する。

16. PTO が正常に作動する。
- ☐ 16.1 リア PTO
- ☐ 16.2 フロント PTO (装備されている場合)

17. 連結装置が正常に作動する。
- ☐ 17.1 後部連結装置
- ☐ 17.2 フロントヒッチ (装備されている場合)

- ☐ 18. 選択制御弁が正常に作動する。
- ☐ 19. トレーラーヒッチが正常に作動する。
- ☐ 20. タイヤ空気圧を点検し、必要に応じて調整した。
- ☐ 21. 完全にバラストを積んだトラクターで、フロント車軸のトーインを点検し、必要に応じて調整した。
- ☐ 22. 回転式フェンダーを調整した。
- ☐ 23. ステアリングストップを点検し、調整した。前輪駆動車軸を旋回させたときとステアリングをストップ位置にしたときの隙間を点検した。「前輪またはフェンダーとトラクター部品の接触の防止」(セクション 80) を参照してください。

- ☐ 24. ステアリングシステムが正常に作動する。
- ☐ 25. 機械式ジョイスティックで、ローダーサスペンションシステムを起動した。
- ☐ 26. 電気式ジョイスティックの場合は、調整を確認し、必要に応じてキャリブレーションを実行した。
- ☐ 27. トレーラーエアブレーキバルブのパーキングロック機能とパーキング機能を点検した。
- ☐ 28. フットブレーキと非常ブレーキを点検した。

- ☐ 29. トレーラーブレーキを点検した。
- ☐ 30. 診断トラブルコードにアクセスし、原因を修正してコードを消去した。
- ☐ 31. オペレータのニーズに応じて、ディスプレイ言語、測定単位、日付を CommandCenter™ で調整した。

- ☐ 32. 後処理装置付きトラクター (ファイナルティア 4/ステージ IV) で、自動ガスフィルタクリーニングを起動した。
- ☐ 33. トラクターモデルによっては、整備間隔の期日メッセージを設定した (「定期整備」(セクション 210B) 参照)。「定期整備」(セクション 210B) を参照してください。

- ☐ 34. アンテナを取り付けます。John Deere ラジオで、レシーバが国固有の周波数帯 (チューナーバンド) に設定されているかどうかを点検した。
- ☐ 35. StarFire™ レシーバが取り付けられている (装備されている場合)。
- ☐ 36. 塗装の状態が良好か点検した。
- ☐ 37. すべての警告と情報ステッカーが存在し、良好な状態である。

38. SMV エンブレムが取り付けられている (北米向けのみ)。
- ☐ 38.1 エンジン冷却システム
- ☐ 38.2 燃料システム
- ☐ 38.3 油圧系統

39. 次のシステムを点検し、漏れのない状態にした。
- ☐ 39.1 エンジン冷却システム
- ☐ 39.2 燃料システム
- ☐ 39.3 油圧系統

- ☐ 40. 機械をお客様に納品する前に、必須および公開されているすべての製品改善プログラムを完了する必要があります。

- ☐ 41. テスト走行を実施した。
- ☐ 42. 診断テクニカルマニュアルに従った (PowrQuad) トランスミッションのキャリブレーション (PTQ 038 – トランスミッションキャリブレーション)***
- ☐ 43. *接続された機械のセットアッププロセスを顧客と共に実施します。詳細は CCMS ソリューション 206001 を参照。*

**オイルの補充は、オイルレベルが MIN マークにあるか下回る場合のみ。*
***ライトが現地の規制に適合することを確認し、必要に応じて調整した (装備されている場合は追加ヘッドライトも含む)。*
*** PowrQuad™、AutoQuad™、または CommandQuad™ トランスミッションを装備しているトラクターの場合。

日付と署名 (販売店または整備士) : .....

6M,LX25458,0000BF1-40-13MAR24

所有者用控え

シリアル番号： _____

車両モデル： _____

取扱説明書番号： _____ 発行： _____

登録番号： _____

エンジン番号： _____

納品日： _____

所有者名： _____

納品時の運転時間： _____

所在地： _____
_____
_____

引き渡したキー数 (イモビライザ用のみ)： _____

販売店： _____

販売店印：

納品時チェックリスト

取扱店での確認項目

□ 納品前点検が完了している (「納品前点検」参照)
□ 必要なフォームやドキュメントがすべて揃っている
□ すべての銘板が貼られている
□ すべての専用機器または装置が取り付けられているか存在している
□ ホイールトレッドが仕様どおりに調整済み
□ 後輪が 38 in で、マッドガードが装着されているトラクターのみ、トレッド幅を 1900 mm (75 in) 以上に設定します。
□ 販売店の書類に写しが作成され、添付された。

納品先でお客様と確認する項目：

実演/説明

□ すべての機械警告ラベル
□ 機械上のすべてのシリアル番号の位置
□ 取扱説明書
□ 機械と作業機の潤滑箇所
□ 手入れとメンテナンス (高圧洗浄機による洗浄)
□ タイヤの手入れとメンテナンス
□ 潤滑および整備記録簿
□ 保証の手順

トラクターの操作

□ 運転席、すべての可能な運転席の設定
□ コンソール/コーナーポストディスプレイ
□ デフロック
□ トランスミッション
□ 始動と停止
□ ステアリングとステアリングシステム
□ ブレーキとブレーキシステム
□ 回転数制御
□ ライト
□ ワイパー
□ ヒーター
□ エアコンシステム
□ PTO
□ リアヒッチ、フロントヒッチ、および選択制御弁
□ 油圧ピックアップヒッチ
□ 3 点ヒッチの調整
□ 燃料系統と燃料品質
□ フルードレベルの点検 (ラジエータ、エンジン、トランスミッション)
□ コーナーポストディスプレイの設定
□ iTEC：Intelligent Total Equipment Control
□ フロントアクスルサスペンション
□ キャブサスペンション

署名 (販売店または整備士)：
日付：

LX25458,OOS,SP,0000BF3-40-15JAN25

販売店用控え

シリアル番号： _____ 車両モデル： _____

取扱説明書番号： _____ 発行： _____ 登録番号： _____

エンジン番号： _____ 納品日： _____

所有者名： _____ 納品時の運転時間： _____

所在地： _____ 引き渡したキー数 (イモビライザ用のみ)： _____

_____

_____ 販売店： _____

販売店印：

納品時チェックリスト

取扱店での確認項目

- □ 納品前点検が完了している (「納品前点検」参照)
- □ 必要なフォームやドキュメントがすべて揃っている
- □ すべての銘板が貼られている
- □ すべての専用機器または装置が取り付けられているか存在している
- □ ホイールトレッドが仕様どおりに調整済み
- □ 後輪が 38 in で、マッドガードが装着されているトラクターのみ、トレッド幅を 1900 mm (75 in) 以上に設定します。
- □ 販売店の書類に写しが作成され、添付された。

納品先でお客様と確認する項目：

実演/説明

- □ すべての機械警告ラベル
- □ 機械上のすべてのシリアル番号の位置
- □ 取扱説明書
- □ 機械と作業機の潤滑箇所
- □ 手入れとメンテナンス (高圧洗浄機による洗浄)
- □ タイヤの手入れとメンテナンス
- □ 潤滑および整備記録簿
- □ 保証の手順

トラクターの操作

- □ 運転席、すべての可能な運転席の設定
- □ コンソール/コーナーポストディスプレイ
- □ デフロック
- □ トランスミッション
- □ 始動と停止
- □ ステアリングとステアリングシステム
- □ ブレーキとブレーキシステム
- □ 回転数制御
- □ ライト
- □ ワイパー
- □ ヒーター
- □ エアコンシステム
- □ PTO
- □ リアヒッチ、フロントヒッチ、および選択制御弁
- □ 油圧ピックアップヒッチ
- □ 3 点ヒッチの調整
- □ 燃料系統と燃料品質
- □ フルードレベルの点検 (ラジエータ、エンジン、トランスミッション)
- □ コーナーポストディスプレイの設定
- □ iTEC：Intelligent Total Equipment Control
- □ フロントアクスルサスペンション
- □ キャブサスペンション

私は、トラクターを良好な状態で取扱説明書と共に受領したことをここに確認します。取扱説明書を受領しました。納品時に必要な作業がすべて実施されました。また、納品時チェックリストにより、安全な操作方法と必須の日常メンテナンス作業について説明を受けました。

所有者の署名：
日付：

索引

A

AutoPowr™
- ドループ 50J-14
- 後進/前進比 50J-12
- 予測負荷 50J-13
- 「トランスミッション」メニューの絵記号 ... 50J-10
- PowrReverser™ 50J-11
- アクセルペダルとアクセルレバー 50J-3
- オートクラッチ 50J-14
- カムホームモード 50J-9
- クラッチペダル 50J-6
- コントロール 50J-1
- トラクター、牽引 50J-9, 110-6
- トラクター、停止 50J-3
- トランスミッションモード 50J-11
- バックアップアラーム 50J-15
- ブレーキペダル、個別操作 50J-8
- メニュー 50J-10
- リバースドライブレバー 50J-1
- 寒冷時の始動 50J-8
- 最低回転数 50J-12
- 設定走行速度 50J-5
- 設定速度、ガイドラインと例 50J-6
- 操作時の特殊機能 50J-7
- 速度コントロールレバー 50J-2
- 駐車ブレーキロック、手動解除 110-7

AutoPowr™/IVT™ トランスミッション
- インテークスクリーンの清掃 220E-15
- トランスミッションオイルと作動油の交換 .220E-15

AutoQuad™
- トラクター、牽引 50G-6, 110-6

AutoQuad™ PLUS トランスミッション
- アクセルペダル 50G-5
- アクセルレバー 50G-5
- エンジン設定回転数 50G-5
- カムホームモード 30-7, 50G-6
- ギヤシフトボタン 50G-3
- クラッチ 50G-4
- コントロール 50G-1
- トランスミッションオイルと作動油の交換 .220E-14
- 寒冷時の操作 50G-6
- 自動ギヤシフト 50G-4
- 駐車ブレーキロック 50G-1
- 副変速レバー 50G-2

AutoTrac
- 次の走行パスで再アクティブ化 40-5

AutoTrac™
- ガイダンス 40-1

AutoTrac™ Universal 40-18

AutoTrac™ ガイダンス 40-1

C

CommandQuad™
- トラクター、牽引 110-6
- レンジシフトユニット 50H-4
- 始動ギヤの設定 50H-7

CommandQuad™ PLUS
- コントロール 50H-1, 50H-2
- トランスミッションの設定 50H-12
- トランスミッション設定 30A-5, 40A-1
- リバースドライブレバー 50H-3
- 駐車ブレーキロック 50H-3

CommandQuad™ PLUS トランスミッション
- アクセルペダル 50H-6
- アクセルレバー 50H-6
- エンジン設定回転数 50H-7
- オートクラッチ 50H-8
- カムホームモード 30-7, 50H-10
- クラッチペダル 50H-8
- シフトレバー 50H-5
- トラクター、停止 50H-9
- トラクターの牽引 50H-11
- トラクターの操作 50H-8
- ブレーキペダル 50H-8
- 移動速度の設定 50H-6
- 傾斜地での操作 50H-9
- 走行特性 50H-9

CommandQuad™ トランスミッション
- 動き出し防止装置、点検 220B-10, 220B-11

D

DEF
- インラインフィルタ、変更 220E-8
- タンク、清掃 220A-4
- タンク、補給 200B-1
- テスト 200B-2
- 供給装置フィルタ、交換 220E-6
- 廃棄 200B-3
- 保管 200B-2

DEF (排ガス処理用尿素水) 20B-5

DEF インラインフィルタ
- 変更 220E-8

DEF タンク
- ドレン 20-10
- 清掃 220A-4

DEF タンク、注入
- 注入 20-10

DEF フィルタ
- テスト 220A-4
- 交換 220A-4

DEF 供給装置フィルタ
- 交換 220E-6

E

E-SCV
- トラブルシューティング 300A-2

G

GreenStar™ ディスプレイ
- 電源コンセントメス端子 90H-1

H

Hitch Dampening
リアヒッチ 60E-5

I

Intelligent Power Management..... 20-5
IPM..... 20-5
ISOBUS メス端子
フロントヒッチ 90H-5
リアヒッチ 90H-4
ISOBUS 作業機
作業灯..... 90G-7
iTEC™ Basic..... 40A-1
iTEC™ メニュー..... 40A-1
IVT™
カムホームモード 50J-9
トラクター、牽引 50J-9
トラクター、停止 50J-3
ブレーキペダル、個別操作..... 50J-8
寒冷時の始動..... 50J-8
設定速度、ガイドラインと例 50J-6
操作時の特殊機能 50J-7
IVT™：
予測負荷 50J-13
「トランスミッション」メニューの絵記号... 50J-10
PowrReverser™ 50J-11
オートクラッチ 50J-14
コントロール..... 50J-1
トランスミッションモード..... 50J-11
ドループ..... 50J-14
バックアップアラーム 50J-15
メニュー 50J-10
後進/前進比..... 50J-12
最低回転数 50J-12

M

M-SCV
トラブルシューティング..... 300A-2

P

PowrQuad™
トラクター、牽引 50F-6, 110-6
PowrQuad™ PLUS トランスミッション
アクセルペダル 50F-5
アクセルレバー 50F-5
エンジン設定回転数..... 50F-5
カムホームモード 30-7, 50F-6
ギヤシフトボタン 50F-3
クラッチ 50F-4
コントロール..... 50F-1
トランスミッションオイルと作動油の交換 .220E-14
リバースドライブレバー..... 50F-1, 50G-1
寒冷時の操作..... 50F-6
駐車ブレーキロック..... 50F-1
副変速レバー..... 50F-2
PowrReverser™、IVT/AutoPowr 50J-11
PTO
オプション 60A-3
フロント PTO..... 60B-1
速度 60A-3
PTO ガード
回転しないガード 60A-2
PTO シールド
フロント PTO..... 60A-1
リアPTO..... 60A-1
PTO シャフト
操作に関する指示 60A-2
PTO 自動停止機能
フロント PTO 60B-3
リア PTO..... 60C-5, 60C-7
PTO 出力、仕様 500A-8, 500A-9

S

SCR
システムの概要 20B-7
SCV
オペレータ着席センサー..... 70C-4
コントロール.....30-11, 30-12
コントロール、機械式 70B-1
コントロール、電子..... 70B-3
コントロールレバー、デテント位置 70B-7
コントロールレバー、フロート位置 70B-7
コントロールレバー、機械式 70B-1
コントロールレバー、収縮..... 70B-6
コントロールレバー、収縮クリック位置..... 70B-6
コントロールレバー、伸長..... 70B-6
コントロールレバー、伸長クリック位置..... 70B-6
コントロールレバー、電子..... 70B-4
ジョイスティックモード..... 70C-3
トランスポートロック 70B-3
ニュートラル位置のコントロールレバー 70B-5
ハイドロスタティック駆動におけるオイル取り出し量..... 70-1, 70-2
フロー時間、設定 70C-2
ホース、接続..... 70A-1, 70A-4
ホース、接続解除 70A-2, 70A-4
メニュー 70C-2
リモコン 30-12, 70B-3
ローダーモード 70C-3
圧力調整..... 70C-1
機能モード 70C-1
最大許容オイル取り出し量..... 70-1
作業機、接続..... 70A-7
詳細設定..... 70C-4
上昇率..... 70C-1
選択制御弁 30-11, 30-12, 70A-1, 70B-1, 70C-1, 70C-2
流量、設定 70C-2
SRI - タイヤサイズ..... 50D-2

T

TLS フロントアクスル
設定 50A-2

あ

アクセルペダル
AutoQuad™ PLUS トランスミッション..... 50G-5
CommandQuad™ PLUS トランスミッション 50H-6
PowrQuad™ PLUS トランスミッション 50F-5
アクセルレバー
AutoQuad™ PLUS トランスミッション..... 50G-5
CommandQuad™ PLUS トランスミッション 50H-6
PowrQuad™ PLUS トランスミッション 50F-5
アプリケーション
AutoTrac™ 40-1
ガイダンス 40-1

い

イーサネットソケット
ソケット 90H-1
イモビライザ 30-8
イモビライザキー..... 30-8
インテークスクリーンの清掃
AutoPowr™/IVT™ トランスミッション 220E-15

え

エアコンシステム
コントロール.....30-16
運転キャビン.....90F-1
エアブレーキシステム
エアドライヤカートリッジの交換.....220E-16
凝縮水の点検.....220D-5
整備 220D-5
エグゾーストフィルタ、安全
安全、エグゾーストフィルタ 05-14
エンジン
アクセス、エンジンフード.....210-3
アクセス、整備用ドア 210-4
オイルセパレータのフィルタの交換 220E-2
オイルフィルタの交換 220E-1
仕様 500A-4, 500A-7
表示灯とディスプレイ 20-4
エンジンエアクリーナ
プレクリーナーの清掃 220A-1
一次フィルタの交換..... 220E-3
二次フィルタの交換..... 220E-4
エンジンオイル
ディーゼル
インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ IIIB、ステージ IV、およびステージ V 200CA-1
高高度での運転時の点検間隔 200CA-2
慣らし運転 200CA-1
エンジンオイル、交換 220E-1
エンジンオイルとフィルタの整備間隔
ティア 3/ステージ IIIA
PowerTech
0.10 ~ 0.119 L/kW オイルパン 200CA-2
エンジンオイルとフィルタの点検間隔
高高度での運転 200CA-2
エンジンオイルレベル 220D-1
エンジンの最低回転数 50H-15, 50J-12
エンジンの始動 20-5
エンジンの周囲
清掃 220A-1
エンジンの停止 20-7
エンジン回転数をこの回転数未満に下げないでください.....50H-15
エンジン設定回転数.....50J-4
AutoQuad™ PLUS トランスミッション..... 50G-5
CommandQuad™ PLUS トランスミッション 50H-7
PowrQuad™ PLUS トランスミッション 50F-5

お

オイル
エンジン
インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ IIIB、ステージ IV、およびステージ V 200CA-1
前輪駆動車軸..... 200E-1
オイル交換
ブレーキなしファイナルドライブ.....220E-12
ブレーキ付きファイナルドライブ.....220E-11
前輪駆動車軸、車軸ハウジング 220E-12
オイル取り出し量.....500A-12
オートクラッチ
CommandQuad™ PLUS トランスミッション 50H-8
オートクラッチ、AutoPowr™/IVT™ 50J-14
オペレータ着席センサー
SCV 70C-4
オルタネータ 210-7

か

ガイダンス
AutoTrac™ 40-1
カムホームモード..... 30-7
AutoPowr™/IVT™ 50J-9
AutoQuad™ PLUS トランスミッション..... 50G-6
CommandQuad™ PLUS トランスミッション 50H-10
PowrQuad™ PLUS トランスミッション 50F-6

き

ギヤシフトボタン
AutoQuad™ PLUS トランスミッション..... 50G-3
PowrQuad™ PLUS トランスミッション 50F-3

キャビンエアフィルター
フィルタの交換 220E-4
活性炭フィルタの交換 220E-4, 220E-5
キャビンエアフィルター、整備 220A-2
キャブサスペンション 90-3
キャブサスペンション、点検 220D-4
キャブフレームのクリアランスライト
バルブ、交換 220B-13
キャブフレームのヘッドライト
バルブ、交換 220B-14
キャブフレームの方向指示灯
バルブ、交換 220B-13
キャブライト
バルブ、交換 220B-18

く

クーラント
ディーゼルエンジン
ウェットスリーブシリンダライナー付きエンジン 200D-1
レベル、点検 220D-1
温暖気候 200D-1
凝固点のテスト 200D-2
濃縮液との混合、水質 200D-2
クーラントの交換 220E-5
クーラントヒーター 20A-1
電源ネットワークに接続 20A-2
クイックカップリング型 (フック型) ドラフトリンク . 60E-10
クラッチ
AutoQuad™ PLUS トランスミッション 50G-4
PowrQuad™ PLUS トランスミッション 50F-4
クラッチペダル
CommandQuad™ PLUS トランスミッション 50H-8
クランクケース通気穴
オイルセパレータのフィルタの交換 220E-2
クリーニング
エンジンの周囲 220A-1
コンデンサ 220A-1
ビスカスファン、バイメタルスプリング 220A-1
ラジエータ 220A-1
クリーパートランスミッションの接続 30-8, 50D-2
グリース
多目的極圧 (EP) 200E-2
グリース、汎用 200E-3
グリースニップル
調整式フロントアクスル 220F-5

け

ゲージ 30A-3

こ

コーナーポストディスプレイ 30A-1
作業モニター、読み値 30A-10
警告インジケータ 30A-2
整備警報インジケータ 30A-2
設定 30A-5
停止インジケータ 30A-2
コーナーポストユニット、情報 30A-9
コーナーポストユニットに関する情報 30A-9
コンデンサ
清掃 220A-1
コントロール
iTEC™ 30-15
ベンチレーション 30-16
AutoQuad™ PLUS トランスミッション 50G-1
CommandQuad™ PLUS 50H-1, 50H-2
PowrQuad™ PLUS トランスミッション 50F-1
SCV 30-11, 30-12
SCV、機械式 70B-1
SCV、電子 70B-3
エアコンシステム 30-16
ジョイスティック 30-13, 30-14
デフロック 30-15
パワーテイクオフ 30-9
ヒーター 30-16
リアヒッチ 30-10
レンジシフトユニット、CommandQuad™ ... 50H-4
機械式ジョイスティック 30-12
前輪駆動 30-15
コントロールと計器
AutoPowr™ トランスミッション 30-4, 30-5
コントロールのセットアップ 30A-15
コントロールのプリセット 30A-15
コントロールの構成 30A-15
コントロールの識別
AM/FM ラジオ A 30E-1
AM/FM ラジオ B 30F-2
コントロールレバー
SCV、機械式 70B-1
SCV、電子 70B-4

さ

サイドコンソールのコントロール 30-6

し

シート
調整と機能 90A-1
シートベルト 90-3
シガーライター
12 V 電源コンセントソケット 90H-2
シグナルワード、理解 05-1
シフトレバー
CommandQuad™ PLUS トランスミッション 50H-5
ジャッキアップのリフトポイント 210-5
ジョイスティック
インターロック 70D-7
コントロール 30-12, 30-14, 70D-7

トラクター 6M MY20～ 30-13, 70D-3
トランスポートロック 70D-13
トランスポートロックアウト 70D-7
レイアウト 70D-5, 70D-10
ロック 70D-13
ロック解除 70D-7, 70D-13
機械式 70D-2
機能 70D-5, 70D-10
電気式 70D-4
ジョイスティックモード
SCV 70C-3
シリアル番号 500B-1

す

スウェイブロック (蜂の巣) 60E-17
スタータモーター 220B-10
スチール製調整式ホイール
調整式リアアクスル 80C-24
ステータス情報 30A-5
ステアリングホイール 90B-1
スリーピースフロントアクスル
トレッド幅 (バージョン 2) 80A-15

せ

セキュリティ
ハロゲンバルブの取り扱い 220B-11
センターリンク 60E-13, 60E-14
フロントヒッチ 60D-5

そ

ソケット
12 V 電源コンセントメス端子 90H-2
イーサネットソケット 90H-1
シガーライター 90H-2
ユニバーサルディスプレイ 90H-1
電源タップ 90H-1
ソケットコンセント
信号ソケット 90H-2

た

タイヤ、安全な整備 05-17, 80-6
タイヤサイズ - SRI 50D-2
タイヤのラベリング 80-12
タイヤの仕様 80-12
タイヤの組み合わせ 80-5, 80-8
タイヤの組み合わせの変更 80-5
タイヤの耐荷重、確認 80-12
タイヤ摩耗 - フロントタイヤ 80A-3
タンク
DEF 20-10
タンク、燃料 20-9

て

ディーゼルエンジン、寒冷気候の影響 200A-3
ディーゼルエンジンオイル
インテリムティア 4、ファイナルティア 4、ステージ IIIB、ステージ IV、およびステージ V 200CA-1
高高度での運転時の点検間隔 200CA-2
ディーゼルエンジンに対する寒冷気候の影響 . 200A-3
ディーゼル燃料 200A-1
補助添加剤 200A-4
ディーゼル燃料、テスト 200A-2
ディーゼル燃料のテスト 200A-2
ディーゼル燃料の潤滑性 200A-2
ディスプレイ
デジタル 30A-3
ディスプレイ (コーナーポスト)
機能 30A-5
テールライト
バルブ、交換 220B-14
デフロック 50B-1
コントロール 30-15
接続/解除、手動 50B-1

と

トーイン、調整
前輪駆動車軸 80A-5
トーイン、点検
前輪駆動車軸 80A-4
調整式フロントアクスル 80A-1
トラクター、安全な運転 05-6
トラクター、駐車
CommanQuad™ PLUS 20-8, 50C-6
PowrQuad™ PLUS 20-8, 50C-5
AutoPowr™ 20-8, 50C-6
AutoQuad™ PLUS 20-8, 50C-5
IVT™ 20-8, 50C-6
トラクターのジャッキアップ 210-5
トラクターの牽引 110-6
CommandQuad™ PLUS トランスミッション 50H-11
トラクターの牽引によるエンジンの始動 20-9
トラクターの始動
補助バッテリーによる 20-6
トラクター前部の爪 60F-3
トラック
トーイン、点検、調整 (725～755) 80A-4
ドラフト / 深さ制御
リアヒッチ 60E-6
ドラフトリンク、伸縮式 60E-10
トラブルシューティング
E-SCV 300A-2
M-SCV 300A-2
エンジン 300A-3
トランスミッション 300A-1
運転キャビン 300A-5
油圧系統 300A-1
トランスポートロック
SCV 70B-3

ジョイスティック.....70D-13
トランスポートロックアウト
ジョイスティック..... 70D-7
トランスミッション
AutoPowr™、カムホームモード.....50J-9
AutoPowr™、コントロール.....50J-1
AutoPowr™、トラクターの牽引.....50J-9, 110-6
AutoPowr™、トラクターの停止.....50J-3
AutoPowr™、寒冷時の始動.....50J-8
AutoPowr™、設定速度.....50J-6
AutoPowr™、操作時の特殊機能.....50J-7
IVT™、カムホームモード.....50J-9
IVT™、コントロール.....50J-1
IVT™、トラクターの牽引.....50J-9
IVT™、トラクターの停止.....50J-3
IVT™、寒冷時の始動.....50J-8
IVT™、設定速度.....50J-6
IVT™、操作時の特殊機能.....50J-7
トラブルシューティング.....300A-1
トランスミッションオイル、交換
AutoPowr™/IVT™ トランスミッション.....220E-15
トランスミッションオイルレベル、点検.....220D-3
トランスミッションと油圧系統
オイルフィルタの交換.....220E-13
トランスミッションの設定
AutoQuad™ PLUS.....50F-7, 50G-7
トランスミッションメニューの絵記号、AutoPowr™/IVT™.....50J-10
トランスミッションモード.....50G-7
トランスミッションモード、AutoPowr™/IVT™.....50J-11
ドループ.....50H-16
ドループ、AutoPowr™/IVT™.....50J-14
トルク表
メートル法.....210-10
ユニファイインチ.....210-9
トレーラーヒッチ
ドローバー.....60F-1
ピックアップヒッチ.....60F-11
ピトン固定、固定式.....60F-4, 60F-5
ボール形 (バージョン 1)、高さ調整式.....60F-8
ボール形 (バージョン 2)、高さ調整式.....60F-9
ボール形、固定式.....60F-4, 60F-5
リモコン.....60F-10
ロック.....60F-3
高さ調整式.....60F-10
静的垂直荷重.....500A-13, 500A-16
摩耗の点検.....220D-6
トレーラーヒッチ (遠隔操作)
摩耗の点検.....220D-7
トレーラーヒッチ CUNA
摩耗の点検.....220D-7
トレーラーヒッチ、ガイドレール
摩耗の点検.....220D-8
トレーラーヒッチピトン固定
摩耗の点検.....220D-9
トレーラーブレーキ
シングルライン油圧トレーラーブレーキ.....50C-2, 50C-3
デュアルライン油圧トレーラーブレーキ.....50C-3
トレーラーブレーキテスト.....50C-5
トレーラーメス端子、7 ピン
フロントヒッチ.....90H-5
リアヒッチ.....90H-5
トレッド幅
スリーピースフロントアクスル (バージョン 2).....80A-15
フランジ付き車軸の後輪.....80C-15, 80C-18
ラックアンドピニオン車軸付きの後輪.....80C-35
後輪.....80C-11, 80C-14
前輪.....80C-15
調整式フロントアクスル.....80A-2, 80A-3
ドローバー.....60F-1
摩耗の点検.....220D-9

な

ナンバープレートライト
バルブ、交換.....220B-16

は

バイオディーゼル燃料.....200A-2
ハイドロスタティック駆動におけるオイル取り出し量
PC 油圧システム.....70-1
PFC 油圧システム.....70-2
ハイビームヘッドライト.....90G-3
ハードウェアのトルク値
メートル法.....210-10
ユニファイインチ.....210-9
ハザードライト.....90G-7
バックアップアラーム、AutoPowr™/IVT™.....50J-15
バッテリー
電気回路、接続解除.....220B-1
バッテリーへのアクセス.....220B-1
バッテリー遮断システム.....20-7
バッテリの取り扱い、安全
安全、バッテリの取り扱い.....05-12
バラスト.....100-2
ガイドライン
エンジンの馬力に基づく重量.....100-1
シングルタイヤを装着しているトラクター.100-1
バルブ、交換
エンジンフードのヘッドライト、ハイビームヘッドライト.....220B-12
エンジンフードの作業灯.....220B-13
キャブフレームのクリアランスライト.....220B-13
キャブフレームのヘッドライト.....220B-14
キャブフレームの方向指示灯.....220B-13
キャブライト.....220B-18
テールライト.....220B-14
トランスミッションシフトユニットのライト.....220B-18

ナンバープレートライト.....220B-16
ビーコンライト 220B-17
フェンダーの方向指示灯.....220B-14
作業灯.....220B-15
停止灯.....220B-14
ハロゲンバルブ
取り扱い.....220B-11
パワーテイクオフ
コントロール..... 30-9
フロント PTO..... 60B-1
リア PTO..... 60C-1
安全装置の点検.....220B-10
パワービヨンドバルブ 70A-8

ひ

ヒーター
コントロール.....30-16
運転キャビン.....90F-1
ビーコンライト..... 90G-8
バルブ、交換.....220B-17
ビスカスファン
清掃 220A-1
ピックアップヒッチ 60F-10, 60F-11
牽引フック、摩耗の点検..... 220D-10
ヒッチ
最大吊上げ力..... 60-1
仕様 500A-11
吊上げ力 500A-11
ヒッチの爪.....60F-3
ヒューズへのアクセス 220B-1

ふ

フェンダーの方向指示灯
バルブ、交換.....220B-14
フードを上げる 210-3
フットブレーキ 50C-1
フランジ付き車軸
後輪のトレッド幅 80C-15, 80C-18
ブレーキ 50C-1
エアドライヤカートリッジの交換.....220E-16
ブレーキの点検 220D-5
ブレーキペダル
CommandQuad™ PLUS トランスミッション 50H-8
ブレーキペダル、個別
使用 50J-8
ブレーキランプ
バルブ、交換.....220B-14
フロー時間
SCV 70C-2
フロート
リアヒッチ 60E-8
フロント PTO
安全装置の点検 220B-10
解除 60B-1
接続 60B-1
フロント PTO、自動停止機能 60B-3
フロントアクスル
車軸のボルト、締め付け.....220C-1
フロントアクスルサスペンション
設定 50A-2
フロントヒッチ
エコノミー 60D-1
センターリンク 60D-5
ホース、接続..... 70A-4
ホース、接続解除 70A-4
フロントローダー
作業灯..... 90I-1
油圧クイックリリース 70D-2, 90I-1

へ

ヘッドライト 90G-1, 90G-4
バルブ、交換.....220B-12

ほ

ホーン..... 90G-3
ホイール
フロント
MFWD
タイヤ荷重指数.....80-13
リア位置
タイヤ空気圧.....80-14
ホイールナット、締め付け 80A-5
ホイールボルト
締め付け、後輪 80C-2, 80C-26, 220C-2, 220C-4
締め付け、前輪 80A-6, 220C-1
ホイールラグのスタッド
調整式フロントアクスル..... 80A-2
ボール形ヒッチ
摩耗の点検 220D-9
ボルトとねじのトルク値
メートル法 210-10
ユニファイインチ 210-9

ま

マニュアル
メモ 10A-1

め

メスコンセント
CAN バス..... 90H-3
メトリックボルトとねじのトルク値 210-10
メニュー
CommandQuad™ PLUS トランスミッション 30A-5, 40A-1, 50H-12
メニュー、AutoPowr™/IVT™ 50J-10
メンテナンス、リマインダー機能 210-2

も

モニター、取り付け 90I-2

ゆ

ユニバーサルディスプレイ
ソケット 90H-1
ユニファイインチボルトおよびねじのトルク値 210-9

ら

ライト
キャブのライト、バルブの交換.....220B-18
キャブフレームのクリアランスライト、ランプの交換.....220B-13
キャブフレームのヘッドライト、ランプの交換 220B-14
キャブフレーム上の方向指示灯、ランプの交換 220B-13
テールライト、バルブの交換 220B-14
トランスミッションシフトユニットのライト 220B-18
トレーラーメス端子、7 ピン..... 90H-5
ナンバープレートライト、バルブの交換 220B-16
ハザードランプ 90G-7
ビーコンライト 90G-8
フェンダーの方向指示灯、バルブの交換 220B-14
ヘッドライト 90G-1, 90G-4
ヘッドライト、バルブの交換 220B-12
ライトスイッチ 90G-3
作業灯..... 90G-5
作業灯、ISOBUS 作業機 90G-7
作業灯、バルブの交換 220B-13, 220B-15
室内灯..... 90G-8
乗降ステップライト..... 90G-8
追加ヘッドライト..... 90G-4
停止灯、バルブの交換 220B-14
方向指示灯とホーン..... 90G-3
ライトスイッチ 90G-3
ライトの点検.....220B-11
ラジエータ
清掃 220A-1
ラックアンドピニオン車軸
スチールホイール、調整.....80C-33, 80C-34
後輪のトレッド幅 80C-35
鋳鉄ホイール、調整 80C-32

り

リア PTO
PTO スタブシャフト、交換..... 60C-8
リモコン 60C-3
安全装置の点検 220B-10
作業機の接続..... 60C-9
接続 60C-1
接続解除 60C-1
標準回転数 60C-2
リア PTO、PTO 自動停止機能 60C-5, 60C-7
リアヒッチ
Hitch Dampening 60E-5
コントロール.....30-10
ドラフト/深さ制御の調整..... 60E-6
ドラフトコントロールの使用 60E-7
フロート位置..... 60E-8
リモコン 60E-8
下降率の調整..... 60E-5
上昇高さ 60E-5
上昇率..... 60E-6
深さ制御 60E-3
操作 60E-2
直接作動 60E-9
負荷がかかった状態での運転 60E-4
リアホイール
ホイールボルト、締め付け、ラックアンドピニオン車軸 80C-25, 80C-31
リバースドライブレバー
PowrQuad™ PLUS トランスミッション 50F-1, 50G-1, 50H-3
リフトリンク 60E-15
垂直方向フロート 60E-16
輸送位置 60E-16
リモコン
SCV 30-12
SCV、電子 70B-3
トレーラーヒッチ 60F-10

れ

レイアウトマネージャー..... 30A-13
レベルゲージ、DEF (排ガス処理用尿素水)..... 20B-5

ろ

ローダーモード
SCV 70C-3
ロービームヘッドライト 90G-3

わ

ワイパー 90E-1

漢字

圧力調整
SCV 70C-1
安全
タイヤ、安全な整備..... 05-17, 80-6
トラクター、安全な運転..... 05-6
安全なメンテナンス、実行.....05-14
回転しているドライブライン、接近禁止 05-5
傾斜地、不均一な地形、および荒れた地面では十分注意してください 05-10
牽引装置、安全速度での輸送 05-9
振動 500A-20
騒音対策 05-2
安全、ROPS
ROPS、適切な取り付けの維持 05-4

安全、ステップと手すり
ステップと手掛りの正しい使用..... 05-5
安全、ホイール取り付けボルト / ナットの締め付け
ホイール取り付けボルト / ナットの締め付け 05-18
安全、火災予防
火災予防 05-3
安全、高圧流体の回避
高圧流体の回避 05-18
安全、燃料の安全な取り扱い、火災防止
火災防止、燃料の安全な取り扱い 05-2
安全、林業での操作
林業での操作での限定使用 05-7
安全ラベル..... 05A-1
安全装置
パワーテイクオフ 220B-10
安定化システム 60E-18
異なるタイヤサイズへの変更 80-4
移動速度 30A-3
CommandQuad™ PLUS トランスミッション .....
50H-6
移動速度の選択 50D-1
運転キャビン
エアコンシステム 90F-1
ヒーター 90F-1
換気 90F-1
非常出口 90-2
下降率
リアヒッチ 60E-5
回転数カウンター..... 30A-3
外側ミラー
調整 90C-1
活性炭フィルタ 220A-2
滑りの測定.....100-2
寒冷時の操作
AutoQuad™ PLUS トランスミッション..... 50G-6
PowrQuad™ PLUS トランスミッション 50F-6
寒冷時始動補助装置 20A-1
慣らし運転期間 210-1
慣らし運転用エンジンオイル 200CA-1
換気
運転キャビン.....90F-1
吸気ホースの点検.....220D-2
空気トレーラーブレーキ..... 50C-3
空気圧.....80-17
警告インジケータ..... 30A-2
牽引による始動 20-9
牽引フック (ピックアップヒッチ)
摩耗の点検 220D-10
牽引ポイント
ぬかるみにはまった機械の解放、フロント牽引ポイント
フロント牽引ポイント 110-5
牽引装置、安全速度での輸送 05-9
後処理システム
非常時 SCR ディレートオーバーライド 20-1
後処理装置表示灯の概要..... 20B-2
後進/前進速度比、AutoPowr™/IVT™ 50J-12
後輪
スチールホイール、調整.....80C-33, 80C-34
ホイールボルト、フランジ付き車軸付き 80C-2, 220C-2
ホイールボルト、ラックアンドピニオン車軸付き ..
80C-26, 220C-3, 220C-4
鋳鉄ホイール、調整 80C-32
後輪、タイヤ、トレッド幅
一般的なガイドライン 80-2
交換
エンジンオイル 220E-1
エンジンオイルフィルタ..... 220E-1
最大許容オイル取り出し量 70-1
最低回転数、AutoPowr™/IVT™ 50J-12
作業モニター..... 30A-9
読み値の選択..... 30A-10
作業機
レベル調整 60E-12
作業機、接続
パワービヨンドバルブ 70A-8
作業機の接続
SCV 70A-7
リア PTO..... 60C-9
作業灯
ISOBUS 作業機..... 90G-7
オン/オフの切り替え 90G-5
バルブ、交換..... 220B-13, 220B-15
フロントローダー..... 90I-1
選択 90G-5
仕様
PTO 出力 500A-8, 500A-9
エンジン 500A-4, 500A-7
寸法 500A-1, 500A-3
騒音レベル 500A-21
容量 500A-12
自動ギヤシフト
AutoQuad™ PLUS トランスミッション..... 50G-4
自動クラッチ機能..... 50J-14
自動潤滑システム用グリース 200E-2
室内灯..... 90G-8
実行 30A-5
車軸ボルト
調整式フロントアクスル..... 80A-2
締め付け、調整式フロントアクスル 220C-1
車両、牽引
AutoQuad™ 50G-6, 110-6
CommandQuad™ 110-6
PowrQuad™ 50F-6, 110-6
車両のコントロール
AutoPowr™ トランスミッション..... 30-4, 30-5
取り扱い
ハロゲンバルブ 220B-11
取り付けフレーム
フロントローダー.....220C-5
手すりと乗降ステップ 90D-1

手動
範囲 10A-1
重量 500A-13, 500A-16
出力増大 20-5
潤滑 220F-2
潤滑とメンテナンス
必要に応じて
DEF タンクの清掃 220A-4
潤滑剤
混合 200E-4
潤滑剤の混合 200E-4
潤滑剤の保管
保管、潤滑剤 200E-4
初回始動 210-8
助手席
トレーニング用 90A-4
詳細設定
SCV 70C-4
上昇高さ
リアヒッチ 60E-5
上昇率
SCV 70C-1
リアヒッチ 60E-6
乗降ステップと手すり 90D-1
乗降ステップライト 90G-8
信号ソケット 90H-2
深さ制御
リアヒッチ 60E-3
診断トラブルコード
診断 300B-2
診断メニュー 300B-2
寸法 500A-1, 500A-3
整備
キャビンエアフィルター 220E-4, 220E-5
活性炭フィルタ 220E-4, 220E-5
期限 210-2
経過時間 210-2
必要に応じて
DEF タンクの清掃 220A-4
毎日 210-8
整備フィルタクリーニング 20B-3
整備間隔 210-1
整備警報インジケータ 30A-2
整備用ドア、開く 210-4
静的垂直荷重 500A-13, 500A-16
積荷 500A-13, 500A-16
設定速度 30A-3
選択制御弁
継手 70A-1
前輪
ホイールボルト、MFWD 付き 80A-6, 220C-1
ホイールボルト、調整式フロントアクスル付き 220C-1
前輪駆動 50A-1
オイル交換 220E-11
コントロール 30-15
前輪駆動車軸
オイル 200E-1
オイルレベル、点検 220D-2
トーイン、調整 80A-5
トーイン、点検 80A-4
ブレーキなしファイナルドライブのオイル交換 220E-12
ブレーキ付きファイナルドライブのオイル交換 220E-11
車軸ハウジングのオイル交換 220E-12
走行特性
CommandQuad™ PLUS トランスミッション 50H-9
騒音レベル 500A-21
多目的極圧 (EP) グリース 200E-2
駐車
トレーラーブレーキテスト 50C-5
静止状態を維持する能力のテスト 50C-5
駐車ブレーキロック
AutoQuad™ PLUS トランスミッション 50G-1
CommandQuad™ PLUS 50H-3
PowrQuad™ PLUS トランスミッション 50F-1
駐車ブレーキロック、手動解除
AutoPowr™ 110-7
駐車中の排ガスフィルタークリーニング 20B-3
調整式フロントアクスル
グリースニップル 220F-5
トーイン、調整 80A-1
トーイン、点検 80A-1
トレッド幅 80A-2, 80A-3
ねじ、締め付け 80A-2
潤滑 220F-5
調整式リアアクスル
スチール製調整式ホイール 80C-24
追加ヘッドライト 90G-4
吊上げ力 500A-11
停止、注意、情報、安全警告の警告灯 300B-1
停止インジケータ 30A-2
展開サイズ、調整 60E-18
展開寸法、調整
カテゴリ III〜II/IIIN 60E-19
転倒時保護構造 90-2
点検間隔 210-1
電源コンセントソケット
3 端子電源コンセントストリップ (12 V) 90H-1
3 端子電源コンセントソケット (12 V) 90H-1
3.5 mm ステレオジャック 30E-3, 30F-3, 90H-3
ISOBUS メス端子 90H-4, 90H-5
USB インターフェース 30E-3, 30F-3, 90H-3
ケーブルの取り回し 90I-2
トレーラーメス端子、7 ピン 90H-5
電源コンセントメス端子
ISOBUS 90H-3
3 ピン電源コンセントソケット (12 V) 90H-4
GreenStar™ ディスプレイ 90H-1

電話
マイク 30E-3
動き出し防止装置、点検
CommandQuad™ トランスミッション 220B-10, 220B-11
動き出し防止装置の点検 220B-10
二酸化炭素排出量 500A-22
認可された非常時使用
SCR ディレートオーバーライドオプション .. 20-1
燃料
タンク 20-9
ディーゼル 200A-1
バイオディーゼル燃料 200A-2
取り扱いと保管 200A-1
潤滑性 200A-2
燃料システム
エア抜き 210-4
燃料タンク通気穴
フィルタの交換 220A-3
フィルタの点検 220A-3
燃料の保管 200A-1
燃料フィルタ 220A-2
フィルタの交換 220E-3
燃料系統からのエア抜き 210-4
燃料再補充時、静電気発生リスクの防止 05-4
燃料消費量の低減 50D-1
燃料補充時の静電気発生リスクの防止 05-4
排ガスフィルタークリーニング-自動 20B-3
排ガスフィルタクリーニング、一般情報 20B-1
排ガスフィルタクリーニングの概要 20B-3
排ガスフィルタクリーニングモード無効 20B-3
排ガス処理用尿素水 (DEF)
SCR を装備したエンジンで使用 200B-1
排ガス処理用尿素水 (DEF) タンク
スクリーン、清掃 220A-3
排ガス性能
不正改造 2
排出ガス
必要な言語
EPA 2
排出ガス制御システム
証明ラベル
韓国 500A-24
汎用グリース 200E-3
非常出口 90-2
表示灯の概要 20B-2
負荷がかかった状態での運転
リアヒッチ 60E-4
副変速レバー
AutoQuad™ PLUS トランスミッション 50G-2
PowrQuad™ PLUS トランスミッション 50F-2
平鋼ドラフトリンク 60E-10
片輪ブレーキ
CommandQuad™ PLUS トランスミッション 50H-9
保管 400-1
保管からの復帰 400-1
保証
ノンロード排出ガス規制保証ステートメント - 圧縮点火
EPA
韓国 500A-23
方向指示灯 90G-3
摩耗の点検
CUNA トレーラーヒッチ 220D-7
トレーラーヒッチ 220D-6
トレーラーヒッチ (遠隔操作) 220D-7
トレーラーヒッチ、ガイドレール 220D-8
ピトン固定 220D-9
ボール形ヒッチ 220D-9
毎日の整備 210A-1
油圧クイックリリース
フロントローダー 70D-2, 90I-1
油圧センターリンク 60E-14
油圧ホースの 1 年ごとの点検 220D-4
油圧系統
吊上げ力 500A-11
油圧ポンプ 500A-11
輸送
公道での運転 110-4
積荷 110-4
追加ウエイト付き 110-4
予測負荷、AutoPowr™/IVT™ 50J-13
予測負荷、トランスミッションの設定 50J-13
予測負荷トランスミッションの設定 50H-16
予備オイルリザーバー 70-2
容量 500A-12
用語集 00-1
流量
SCV 70C-2
輪止め 50C-6
漏電回路遮断器 (GFCI) 20A-2

John Deere のサービスがお客様の現場を守ります

John Deere 製部品



TS100—UN—23AUG88

当社は、正規の John Deere 製部品を迅速にお届けして、ダウンタイムを最小限に抑えます。

豊富で充実した在庫を常に維持し、お客様のニーズを先取りしてお応えいたします。

DX,IBC,A-40-04JUN90

適切な工具

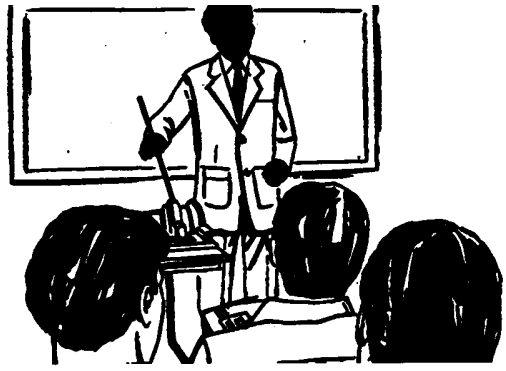


TS101—UN—23AUG88

お客様の時間と経費を無駄にしないように、当社のサービス部門は、精密工具と検査機器を使用して迅速に故障を特定し、修理を行います。

DX,IBC,B-40-04JUN90

十分な訓練を受けた技術員



TS102—UN—23AUG88

John Deere 整備士にとって学習期間が終了することはありません。

お客様の機器およびそのメンテナンス方法を担当者に習得させるため、訓練教育は定期的に行われています。

その結果が、お客様に信頼していただける知識です。

DX,IBC,C-40-04JUN90

迅速なサービス



TS103—UN—23AUG88

当社の目標は、お客様の望む時に、お客様の望む場所で、迅速で効率的なケアを提供することです。

お客様の所在地、または当社にて、それぞれの状況に応じた修理を行うことができます。 何でもご安心してご相談ください。

卓越した JOHN DEERE のサービス： いつでも必要な時にお応えいたします。

DX,IBC,D-40-04JUN90

メモ